

目 录

(上 册)

序言	章开沅 (1)
《清康熙湖广武昌府志校注》前言	(3)
校注凡例	(8)

卷 首

序文	(1)
武昌府志序	徐国相 (1)
武昌府志序	石 琳 (3)
序	胡戴仁 (5)
序	丁 炜 (7)
序	成 光 (9)
序	叶映榴 (10)
序	龚士稔 (12)
序	姚淳焘 (14)
武昌府志序	裴天锡 (15)
武昌府志节要纪略	裴天锡 (17)

武昌府志序	朱 璘(18)
武昌府志序	张 芑(20)
武昌府志序	陈肇昌(22)
武昌府志序	亢从时(23)
〔补刻重印〕序	朱留绪(24)
凡例	(25)
修志姓氏	(28)

卷之一

图考志	(33)
武昌府城图	(34)
武昌府总图	(36)
江夏县图	(38)
武昌县图	(40)
咸宁县图	(42)
嘉鱼县图	(44)
蒲圻县图	(46)
崇阳县图	(48)
通城县图	(50)
兴国州图	(52)
大冶县图	(54)
通山县图	(56)
武昌府公署图	(58)
武昌府学宫图	(60)
星野志	(62)
武昌府	(62)

江夏县	(64)
武昌县	(64)
咸宁县	(64)
嘉鱼县	(64)
蒲圻县	(65)
崇阳县	(65)
通城县	(65)
兴国州	(65)
大冶县	(65)
通山县	(65)
沿革志	(65)
武昌府	(66)
江夏县	(67)
武昌县	(67)
咸宁县	(68)
嘉鱼县	(68)
蒲圻县	(68)
崇阳县	(69)
通城县	(69)
兴国州	(70)
大冶县	(70)
通山县	(71)
方域志	(71)
武昌府	(71)
江夏县	(72)
武昌县	(73)

咸宁县	(74)
嘉鱼县	(74)
蒲圻县	(75)
崇阳县	(76)
通城县	(76)
兴国州	(77)
大冶县	(78)
通山县	(78)
建置志	(79)
江夏县	(81)
武昌县	(83)
咸宁县	(85)
嘉鱼县	(87)
蒲圻县	(88)
崇阳县	(91)
通城县	(93)
兴国州	(95)
大冶县	(97)
通山县	(98)

卷之二

山川志	(101)
武昌府	(101)
江夏县	(101)
武昌县	(107)
咸宁县	(113)

嘉鱼县	(116)
蒲圻县	(119)
崇阳县	(124)
通城县	(130)
兴国州	(133)
大冶县	(135)
通山县	(139)
古迹志	(141)
武昌府	(142)
江夏县	(142)
附:坟墓	(146)
武昌县	(147)
附:坟墓	(152)
咸宁县	(153)
附:坟墓	(153)
嘉鱼县	(154)
附:坟墓	(155)
蒲圻县	(155)
附:坟墓	(156)
崇阳县	(156)
附:坟墓	(158)
通城县	(158)
附:坟墓	(159)
兴国州	(159)
附:坟墓	(161)
大冶县	(162)

附:坟墓	(163)
通山县	(164)
附:坟墓	(165)
学校志	(165)
武昌府	(165)
江夏县	(166)
武昌县	(167)
咸宁县	(167)
嘉鱼县	(168)
蒲圻县	(168)
崇阳县	(169)
通城县	(169)
兴国州	(170)
大冶县	(170)
通山县	(170)
武昌府儒学制	(171)
江夏县儒学制	(171)
历代秩祀记	(172)
封建志	(189)
武昌府	(190)

卷之三

坛祠志	(196)
武昌府	(196)
江夏县	(197)
武昌县	(201)

咸宁县	(203)
嘉鱼县	(204)
蒲圻县	(205)
崇阳县	(206)
通城县	(207)
兴国州	(208)
大冶县	(209)
通山县	(210)
田赋志	(211)
武昌府	(211)
江夏县	(214)
武昌县	(217)
咸宁县	(220)
嘉鱼县	(222)
蒲圻县	(225)
崇阳县	(227)
通城县	(229)
兴国州	(232)
大冶县	(234)
通山县	(236)
武昌卫	(238)
武昌左卫	(242)
水利志	(245)
江夏县	(245)
武昌县	(246)
咸宁县	(247)

嘉鱼县	(247)
蒲圻县	(248)
崇阳县	(248)
通城县	(248)
兴国州	(249)
大冶县	(250)
通山县	(250)
税课款目	(250)
河渠水道	(252)
风俗志	(253)
武昌府	(254)
武昌县	(254)
咸宁县	(255)
嘉鱼县	(255)
蒲圻县	(255)
崇阳县	(255)
通城县	(256)
兴国州	(256)
大冶县	(256)
通山县	(257)
灾异志	(257)
武昌府	(258)
兵事志	(268)
兵防志	(275)

卷之四

秩官志	(279)
武昌府	(279)
江夏县	(288)
武昌县	(294)
咸宁县	(302)
嘉鱼县	(307)
蒲圻县	(312)
崇阳县	(319)
通城县	(325)
兴国州	(329)
大冶县	(334)
通山县	(341)
武秩志	(347)
武昌城守	(349)
兴国营	(350)
道士袱营	(351)
武昌卫	(351)
武昌左卫	(352)

卷之五

宦迹志	(353)
武昌府	(353)
江夏县	(361)

武昌县	(363)
咸宁县	(366)
嘉鱼县	(369)
蒲圻县	(373)
崇阳县	(381)
通城县	(386)
兴国州	(389)
大冶县	(393)
通山县	(397)
选举志[一]	(398)
武昌府	(399)
进士	(399)
举人	(401)
贡监	(406)
武科进士	(409)
举人	(409)
江夏县	(410)
进士	(410)
举人	(412)
贡监	(416)
武科进士	(419)
举人	(419)
辟荐	(420)
武勋	(421)

卷之六

选举志[二]	(422)
武昌县	(422)
进士	(422)
举人	(423)
贡监	(426)
武科进士	(430)
举人	(431)
辟荐	(432)
武勋	(432)
咸宁县	(432)
进士	(432)
举人	(434)
贡监	(436)
辟荐	(439)
嘉鱼县	(440)
进士	(440)
举人	(441)
贡监	(443)
武科进士	(447)
举人	(447)
辟荐	(447)
武勋	(448)
蒲圻县	(448)
进士	(448)

举人	(450)
贡监	(455)
武科进士	(459)
举人	(459)
辟荐	(459)
武勋	(460)
崇阳县	(460)
进士	(460)
举人	(462)
贡监	(465)
武科进士	(469)
举人	(469)
辟荐	(470)
武勋	(470)
通城县	(470)
进士	(470)
举人	(471)
贡监	(472)
武科进士	(475)
举人	(475)
辟荐	(475)
兴国州	(476)
进士	(476)
举人	(479)
贡监	(482)
武科进士	(484)

举人	(484)
辟荐	(485)
武勋	(485)
大冶县	(486)
进士	(486)
举人	(487)
贡监	(489)
武科进士	(492)
举人	(492)
辟荐	(493)
通山县	(493)
进士	(493)
举人	(494)
贡监	(495)
武科进士	(498)
举人	(498)
辟荐	(498)

(下 册)

卷之七

人物志[一]	(499)
勋德列传	(499)
忠烈列传	(504)

儒林列传	(512)
劳绩列传	(524)
刚正列传	(531)
经济列传	(542)

卷之八

人物志〔二〕	(552)
才猷列传	(552)
端良列传	(569)
文章列传	(584)
武功列传	(598)
笃行列传	(601)
孝义列传	(612)
孝行	(612)
义烈	(621)
附录	(624)

卷之九

人物志〔三〕	(626)
隐逸列传	(626)
流寓〔列传〕	(636)
江夏县	(636)
武昌县	(638)
咸宁县	(640)
蒲圻县	(640)
崇阳县	(640)

兴国州	(641)
大冶县	(642)
通山县	(642)
贞女列传	(642)
江夏县	(642)
武昌县	(649)
咸宁县	(654)
嘉鱼县	(655)
蒲圻县	(657)
崇阳县	(659)
通城县	(660)
兴国州	(661)
大冶县	(662)
通山县	(664)
附 录	(665)
仙释〔列传〕	(665)
江夏县	(665)
武昌县	(667)
嘉鱼县	(668)
蒲圻县	(669)
兴国州	(670)
大冶县	(670)
方伎〔列传〕	(671)
江夏县	(671)
武昌县	(672)
崇阳县	(673)
逸编	(673)

卷之十

艺文志[一]	(677)
骚	(678)
赋	(680)
诗	(692)
五言古	(692)
七言古	(708)
五言律	(721)
七言律	(737)
五言排律	(768)
七言排律	(771)
五言绝句	(772)
七言绝句	(774)
诗余	(782)
箴	(787)
铭	(790)
赞	(792)

卷之十一

艺文志[二]	(793)
奏谢表疏	(793)
疏	(796)
书	(814)
序	(821)
碑〔记〕	(843)

卷之十二

艺文志[三]	(866)
记	(866)
杂著	(965)
杂考	(979)
索引	(985)
参考文献	(1021)
后记	(1025)

序 言

章开沅

方志之学,清人章学诚倡导最力。其《州县请立志科议》称:“有天下之史,有一国之史,有一家之史,有一人之史。传状志述,一人之史也;家乘谱牒,一家之史也;郡府县志,一国之史也;综纪一朝,天下之史也。比人而后有家,比家而后有国,比国而后有天下。惟分者极其详,然后合者能择善而无憾也。”章氏把郡府县志看作“一国之史”,不同于近代之国家,无非宗主之下的诸侯封地而已。所以他在《为张吉甫司马撰大名县志序》中说得更明白:“郡县志乘,即封建时列国史官之遗。……《周官·外史》:‘掌四方之志。’注‘谓若晋之《乘》,楚之《梲杙》,鲁之《春秋》。’是一国之史,无所不载,乃可为一朝之史之所取裁。夫子作《春秋》,而必征百国宝书,是其义也。”这已经把国家之史与地方之史之间的区别与关联讲得清清楚楚。

章学诚还有为方志立三书之议,对我们现今的史学工作更有启发。其要义是:“凡欲经纪一方之文献,必立三家之学,而始可以通古人之遗意也。仿纪传正史之体而作志,仿律令典例之体而作掌故,仿文选文苑之体而作文征。三者相辅而行,缺一不可;合而为一,尤不可也^①。”把掌故、文征与方志并列,认为不可缺一亦不可合一,这也是他从长期学术实践中形成的真知灼见。

^① 章学诚:《文史通义·方志立三书》,见叶瑛《文史通义校注》,中华书局1985年5月第1版。

章氏曾入毕沅幕府^①，编修《湖北通志》，流风余韵，至今更盛。武汉地方志编纂委员会办公室同仁，积多年努力之功，搜集有关武汉旧志，计通志 6 种、府志 5 种、县志 12 种、小志 10 余种，绝大多数为明、清时期编撰，堪称较为完备。计划将陆续校订重印，并将各志序跋结集刊行。编者索序，无以应对，略叙先贤宏论，聊缀卷首而已。岁暮天寒，笔枯思滞，尚祈鉴谅。

丁亥冬于实斋^②

① 毕沅(1730—1797 年)。清江苏镇洋(今太仓)人，乾隆进士，官至湖广总督。治学范围较广。 ② 丁亥冬句：2007 年 12 月初序于实斋。

《清康熙湖广武昌府志校注》前言

武昌城是中国历史名城,最早建于三国初期,名为夏口城。其具体建城时间,一据《水经注·江水三》,为魏黄初二年(公元 221 年)“孙权所筑也”;一据《三国志·吴书·吴主传》,为黄武二年(公元 223 年)孙权“城江夏山”,距今 1790 年或 1788 年。

武昌城位于中国腹地——江汉平原东端,长江中游与其最大支流汉江交汇处,向为水陆交通要冲,素具重要的军事战略地位,很早就是重要的屯兵设防基地和战略指挥中心,历代统治者均遣大将坐镇,重兵驻防,悉心经营。晚清有“东南形势金陵为险,天下大局武汉为重”之说(明代后期出现的“武汉”一词为武昌府和汉阳府的合称),主要指武昌城在政治上、军事上的重要性而言。

武昌城很早即为重要的地区政治中心。三国初期,为县级以上政区江夏郡治所。南朝刘宋时,武昌城为郢州州治。隋开皇九年(公元 589 年)改郢州为鄂州。唐元和元年(公元 806 年),鄂州设立军事建制,称为武昌军。北宋(公元 960—1127 年)初期,全国 15 个监司区划之一的荆湖北路,其下辖的鄂州治所为武昌城。元代建立行省制度,世祖至元十八年(公元 1281 年)鄂州为湖广行省治所,武昌城开始成为省级行政中心,至今未辍。成宗大德五年(公元 1301 年),鄂州路改称武昌路。顺帝至正二十四年(公元 1346 年),武昌路改为武昌府。明洪武元年(公元 1368 年),武昌城为湖广布政司和武昌府、江夏县治所。清康熙三年(公元 1664 年),为湖北布政司治所——有清一代,武

昌城始终为省、府、县三级治所。中华民国建立后,废府留县,武昌府裁撤,但为保存辛亥革命武昌首义之地域名称,改江夏县为武昌县(原武昌县改为寿昌县,旋改鄂城县)。从元代武昌路改为武昌府(公元1346年),到1912年裁撤,历时566年。

武昌府的领辖,明洪武时,辖九县一州,即江夏县、武昌县(鄂城县)、咸宁县、嘉鱼县、蒲圻县、崇阳县、通城县、大冶县、通山县和兴国州(阳新县),即湖北境内长江从洪湖至武穴段的江南地区。清康熙时,领辖范围因之。

明清两代,武昌城作为省、府、县三级治所,产生过多种方志。明以前诸多志书今已无存,明清通志有明嘉靖《湖广图经志》(1522年刻本)、万历《湖广总志》(1591年刻本)、清康熙《湖广通志》(1684年刻本)、雍正《湖广通志》(1733年刻本)、嘉庆《湖北通志》(1804年刻本)等五部,县志有清康熙《江夏县志》(1714年刻本)、康熙《江夏县志》(1722年刻本)、乾隆《江夏县志》(1793年刻本)、同治《江夏县志》(1869年刻本)等4部,而武昌府志只有1部,即清康熙《湖广武昌府志》。

康熙十二年(公元1673年),廷臣奏诏天下修辑志书,武昌府因为此前资料较少,创始艰难,一直未能成书。康熙二十二年(公元1683年),杜毓秀莅任武昌知府,奉檄催修,志在速成,不数月告成初稿。有星野、建置、山川、古迹、学校、田赋、水利、风俗、灾异、兵事、封爵、选举、秩官、宦绩、人物、艺文等16卷,但未曾刊印,只存抄本。因成书仓促,又因主要成员教谕张石虹升迁未能竣事,质量也不令人满意,台、宪合檄命重修。康熙二十四年(公元1685年),名进士裴天锡继任知府,至任即以修志为己任,与前广东提学道陈肇昌组织罗人龙等,在各县撰志和原16卷基础上重修,由裴天锡亲自统稿,于两年后(康熙二十六年,公元1687年)成书上报,而后付梓。

该志在原稿基础上增加图考、沿革、方域、坛祠、武秩等 5 目,改《封爵》为《封建》,将《选举》分为 2 目,《人物》、《艺文》均分为 3 目,共 26 目,12 卷。

据台北汉美图书有限公司印行的《中国地方志总目提要》(1996 年出版)介绍,康熙二十二年(公元 1683 年)抄本,“水利志叙事特详,以武昌郡滨临大江,江夏、咸宁、嘉鱼、蒲圻四邑与水为邻,故堤防视为重要。艺文志搜罗较富,凡有关武昌郡事者无不毕登,然非滥收”。在此基础上修纂的康熙二十六年(公元 1687 年)刻本,“资料比较翔实,书中山川、民俗、田赋、人物等志中有关近日武汉辖区事颇多,可为考武汉史实者研究”。湖北巡抚石琳在序言中称赞“是书……文而不浮、质而不俚、条理而不紊”。布政使胡戴仁也称赞该志“一则曰守正,再则曰核真,三则曰褒不轻褒,而贬之义已存;美非徒美,而恶之鉴已寓。且于《人物》一志,条分缕析,惜墨如金,轩轻重轻,直如烛照计。此固以史之权默寓于志之内,不仅以志为志者,正有一段深心、苦心存乎其间”。

我们在整理中感到,该志资料翔实,如实反映了当时当地的实际状况,价值较高;还有一些资料,涉及历史上的重大题材,更显难得。如反映武昌城经济繁荣的史料方面,《田赋志》所载当时税款中有“田房、当、铁、茶、酒、牙帖、盐帖”等,见证市场发达、行业众多;《兵事志》述及左良玉掠武昌城三昼夜,足见武昌已是三楚财富的集中地。

又如,该志《人物志·武功列传》程九伯条记载,顺治二年(公元 1645 年)五月,程九伯将“逆闯李自成……歼杀之于小源口”;《兵事志》记载,“李自成……窜至通山县九宫山,为农夫陈九伯乘便以锄击死”(程九伯、陈九伯原文不一致),曾为研究李自成归宿者引为重要史料。

再如,该志《山川志》江夏县“赤壁山”条所记“一曰赤矶”,嘉鱼县

“赤壁山”条所引《沔阳州图经》：“汉建安十三年，周瑜败曹操于此”，《古迹志》嘉鱼县“赤壁”条所记“与乌林相对，相传周瑜败曹操故处”，已经为赤壁地点的争论者多次引证。

再如，该志《封建志》从春秋“周夷王时，熊渠兴兵至鄂”，封“中子红为鄂王”以及“吴王孙权称帝于武昌”（鄂城）开始，对历代封王、封侯于武昌府境内者均有记载。特别是从明初朱元璋封其第六子朱桨为第一代楚王开始，至明末第九代楚王朱华燬被张献忠部“以肩舆沉之江”，其世系更替的记载完整、明了；对于明王朝在武昌府各地的其他十多位朱姓王的世系更替，也有明确记载，都是研究明代地方史的权威史料。

据《中国地方志联合目录》（中华书局 1985 年出版）介绍，康熙二十二年（公元 1683 年）《武昌府志》16 卷抄本存于北京图书馆（今中国国家图书馆），但缺失第一卷。《湖广武昌府志》康熙二十六年（公元 1687 年）刻本存于北京、天津、中国科学院、上海辞书出版社、南京、中科院南京地理研究所、浙江省、武汉大学、湖南师范学院等 9 个图书馆。光绪翻刻本存于湖北省图书馆。康熙三十四年（公元 1695 年）朱昌绪补刻本存于上海图书馆（缺卷七）、山东省图书馆。另有 1940 年铅印本，存于南京图书馆；民国抄本，存于北京大学图书馆。

我们这次整理以国家图书馆数字方志资源库本（2009 年 7 月下载，简称国图本）为工作底本，以武汉大学图书馆藏《湖广武昌府志》（简称武大本）、江苏古籍出版社 2001 年版《中国地方志集成·湖北省府县志辑》版本（简称江苏本）以及武汉地方志办公室多年前从湖南师范学院获得的复印本（简称湖南本）相互参校，并参考康熙三十四年（公元 1695 年）朱昌绪补刻本。校勘所得在正文相关处出校记予以说明，希冀形成新的善本。

武昌府领辖地域,今为武汉市江南地域和黄石市、鄂州市、咸宁市全部地域。《湖广武昌府志》国内存世仅约 10 部,研究者和一般读者均难得查阅,《清康熙湖广武昌府志校注》的出版,对于这个地区各个地方的历史研究,提供了便利。

武昌府领辖地域,亦即今武汉城市圈的南半部。2007 年 12 月 14 日,国家正式批准武汉城市圈为资源节约型和环境友好型建设综合配套改革试验区,要求武汉城市圈根据“两型社会”建设的要求,全面推进各个领域的改革,切实走出一条有别于传统模式的工业化、城市化发展新路,为推动全国体制改革、实现科学发展与社会和谐,发挥示范和带动作用。《清康熙湖广武昌府志校注》的出版,对于研究武汉城市圈内诸多城市和城镇与武汉的历史联系,取得历史的借鉴,进而推动武汉城市圈“两型社会”的建设,具有积极的现实意义。

编 者

2011 年 4 月

校注凡例

一、《清康熙湖广武昌府志校注》整理以国家图书馆数字方志资源库本为工作底本(简称国图本),以武汉大学图书馆藏《湖广武昌府志》(简称武大本)、江苏古籍出版社 2001 年版《中国地方志集成·湖北省府县志辑》版本(简称江苏本),以及武汉地方志办公室多年前从湖南师范学院获得的复印本(简称湖南本),相互参校,并参考康熙三十四年朱昌绪补刻本。校勘所得在正文相关处出校记予以说明。

二、全志整理贯彻保持原貌的原则。

三、原文中繁体字改为简体字。通假字不改,注出本字。异体字、俗体字、雕版工人习用字等非规范字,改为现代汉语通用字。断句采用现代标点。

四、原文竖排改为横排,双行夹注改为单行小楷,以别于正文之宋体。注文较短只一句时,不加标点。

五、原文较长时,于文意转折处酌予分段。

六、原文引用他书,如系节抄,不作增补;所引如有衍、脱、误、倒,以致文意不通者,则加校改。校勘所得,用()号表明为误字,[]号表明为正字。校注者根据其体例和文意补入的少许文字,亦以[]号标明。

七、原文中漫漶缺损字,如无他证,用虚缺号□表示,且一字一个虚缺号。如缺损字数不详,以校记说明。

八、疑难字词、语法酌加注释。

九、每卷内首次出现的帝王年号、干支纪年等,加注公历纪年。

卷 首^①

序 文^②

武昌府志序

皇上圣武布昭，削平反侧^③，东渐西被^④，幅员广远，自生民以来所未有也。爰命直、省各修《通志》^⑤，下其事于郡、邑^⑥。而石虹张君^⑦，

① 原各序之前无题，校注者所增。 ② 武大本仅裴天锡《序》、《节要纪略》和亢从时《序》三篇。国图本删去裴天锡《节要纪略》和亢从时《序》，增为九篇序，顺序为徐国相、石琳、丁炜、胡戴仁、成光、叶映榴、裴天锡、朱璘、张芑。江苏、湖南本皆为12篇，多3篇，而朱序则为朱璘序前一部分与朱留绪序后一部分的混合体。三个版本与《修志姓氏》顺序都相同的只有徐、石。其后二位江苏本和湖南本顺序同《修志姓氏》，即胡、丁，而国图本为丁、胡。以下国图本为成、叶、裴、朱璘、张，江苏本为裴、张、陈、姚、二朱、成、叶、龚，湖南本为成、叶、龚、姚、裴、二朱、张、陈。据《修志姓氏》和序文，徐、石为“总裁”，胡、丁与成、叶、龚、姚同为“提调”，裴为“主修”，张、朱璘为“同修”，陈为客座参与，亢为编书时的下属，初成书时的同等职务者，朱留绪为补刻重印的主持者，应该按这样的顺序排列。国图本仅胡、丁顺序颠倒，然同为“提调”，差异不大。湖南本仅二朱混合的序位置不当，应该是再版者由于按官职地位的考虑造成的。同理，江苏本的变动，应该也是再版者根据当时的地位变化做出的。今据此分析排列，以符合原貌和时代顺序。

③ 反侧：对抗和心怀不满的人，指南明抵抗政权和反叛的三藩。 ④ 东渐西被：指清统治范围向四方扩展，举东、西以赅南、北。 ⑤ 爰：语首助词。直：直隶，今河北省。 ⑥ 郡、邑：指府和县。 ⑦ 张希良，字石虹，黄安人。

向尝司训是邦^①，《武昌府志》出其手裁，彬彬乎^②，征文考献，简核精严^③，良史才也。已而捷南宫读中秘书^④，未获竣事^⑤。新任裴守视事伊始^⑥，即以修辑为己任。凡夫故老之所传，家乘之所述^⑦，与夫残碑断碣之间，无不搜剔詮次焉^⑧。请政于余^⑨。

余谓武昌乃都会之地，四方风气所萃，章程、声教为诸郡所观效^⑩，而朝廷封疆大吏及监司以下，咸于此驻节焉^⑪。虽曰“郡志”，实与楚“通志”等^⑫，所关系者，岂浅鲜哉^⑬？故为之考分野，则翼轸之墟^⑭，善言天者必有验于人也。揽疆圉^⑮，则联荆岷而吞云梦^⑯，所谓设险以守国也。按户口，则知登耗之数^⑰，当思藏富于民也。列官师，则循卓者政迹毕书^⑱，而余仅纪其爵里姓氏焉，即褒贬所由寓也。至《人物》、《艺文》，尤易徇情而泛滥^⑲，乃自勋德以下^⑳，纲举目张，而古文、诗词所登，皆楚材之隽也，岂徒以侈闻见、矜博洽而已哉！

昔紫阳夫子出守南康^㉑，首阅志乘^㉒。识者以为知所先务。其后政迹之盛，驾轶龚、黄^㉓。语云：“前事之不忘，后事之师也。”武昌夙称名郡，而民生、风俗之间，古何以盛？今何以衰？古何以醇？今何以漓^㉔？则教养生聚，以副当宁子惠元元之至意^㉕，是亦在上者之责也。故于载

① 司训：明清时县学教谕的别称。 ② 彬彬：文质兼备。 ③ 简核：审核。 ④ 捷：考中。 ⑤ 张希良曾在前任杜太守主持下制定体例，编写了一些内容，因被选拔担任国家史官而中辍。 ⑥ 裴守：湖广武昌知府裴天锡。视事：指官员就职治事。 ⑦ 家乘：家谱之类。 ⑧ 詮次：选择。 ⑨ 政：通“正”，纠正。 ⑩ 声教：声威和教化。 ⑪ 驻节：指身居要职之官员设府办公。节：符节，古代官员的凭信和标志。 ⑫ 楚：指湖广，即两湖地区。 ⑬ 鲜：小。 ⑭ 详见《星野志》 ⑮ 圉：边境。 ⑯ 岷：岷首山，这里指所在地襄阳。 ⑰ 登耗：增减。 ⑱ 循卓：循良、卓异。 ⑲ 泛滥：形容过多。 ⑳ 勋德：有突出功勋和德行的人。 ㉑ 紫阳夫子：宋朱熹居崇安时，题其厅事为“紫阳书屋”，故称。 ㉒ 乘：春秋时晋史书名，这里与“志”同指史书。 ㉓ 驾轶：超过。龚、黄：指汉代循良之吏龚遂、黄霸。 ㉔ 漓：浇漓，浮薄。 ㉕ 副：符合。当宁：指皇帝。元元：老百姓。

笔之余^①，深属望于裴守^②，而余亦欲与同事诸君子共勉焉。

皇清康熙二十六年 岁次丁卯 孟春上浣之吉^③

总督湖广等处地方军务兼理粮饷 兵部尚书兼都察院右副都御史

徐国相撰



(徐国相印)



(大司马)

武昌府志序

从来载籍所垂，在国曰史，在直省、在郡、在邑曰志。志之始，其权舆于《九丘》乎^④？孔安国曰：丘，聚也。土地所生，风气所宜，皆聚于此书也。至东汉后，南阳有风俗之记，襄阳有耆旧之编^⑤，而体益以明备焉。所谓不出户而知天下者，盖由此其推也。

康熙丁卯春，武昌裴守刻郡志^⑥。既成，请序于余。余三复而起曰^⑦：圣天子揆文奋武^⑧，驱除残孽^⑨，寰宇升平，即海外台湾诸境从未隶疆索者^⑩，亦稽首请吏焉^⑪。幅员之广，超轶古今。爰允廷臣所请，修《一统志》^⑫，甚盛典也。然以为不采之直、省通志，则考核无资，而非郡邑各以其书献焉，不无残阙简略、挂一漏万之惧。则一方之记载，而为

① 载笔：写作散文，包括史书和公文。 ② 属：寄托。 ③ 孟春：春季之第一月，即正月。 上浣，即上澣。唐代官员办公九日，休息一日。休息日中多浣洗，故称。又泛指上旬。之吉：朔日。 ④ 权舆：起源。《九丘》：传说古代书名，孔安国《尚书·序》认为是九州之志。 ⑤ 指《南阳风俗记》和《襄阳耆旧传》，相传为地方志书。 ⑥ 刻：刻版，指出版。 ⑦ 三复：反复阅读。

⑧ 揆：掌管。 ⑨ 残孽：指南明抵抗政权和反叛的三藩。 ⑩ 索：法。此亦指疆域。 ⑪ 吏：臣服。 ⑫ 根据序言，诏各地修志也是为编此志作准备，同时，也是为炫耀武功、慑服人心、标榜盛世。

我皇朝征文考献所取裁焉，可不慎欤？

阅是书为卷十有二，自《图考》以下为目二十有六^①。然《人物》则有“勋德、忠烈、劳绩”之属异其名，《艺文》则有“赋、诗、箴、铭、表、疏、书、序、碑记”之篇殊其体。诸类之中，又各自为纲目焉。何其文而不浮、质而不俚、条理而不紊之若是耶？武昌为三楚都会，辎轩、冠盖之所萃^②，声名、文物之所统^③，江、黄、汉、襄诸境之所观感而则效^④。乃比年来军需旁午^⑤，室有悬末，闾阎困乏已极^⑥，而贪黷之胥役、游惰之罢民^⑦，亦于此托处焉。官其地者恒难之^⑧。然语云“不知为吏，观已成事。”诚由是书，而神明于其间焉^⑨。善何以劝？恶何以惩？催科何以寓抚字之方^⑩？礼乐何以靖兵刑之气^⑪？举而行之，裕如也。余新奉简书^⑫，旦夕有抚滇之行。既喜郡志之成，足以为三楚生色，而裴守将来亦如《志》中之“循吏”以传焉，是余所厚望也夫。

皇清康熙二十六年 岁次丁卯 孟春上浣之吉

巡抚湖广等处地方兼提督军务 都察院右副都御史石琳撰



(石琳之印)



(大中丞章)

① 这是根据原书目录所列志目（参见国图、江苏本）统计的数目，其中《选举》跨五、六卷，《人物》跨七、八、九卷，《艺文》跨十、十一、十二卷，皆分别记数。《凡例》没有的《兵防》、《武秩》似乎已有其一，方足此数。② 三楚：楚国地域辽阔，秦、汉有西、东、南楚之称，合称三楚。辎 yóu 轩、冠盖：泛指使臣、官员之车乘，代指官员。③ 声名：声誉和名望，这里指名流。文物：文献、古物。统：同萃，汇集。④ 则效：效法。⑤ 比年：近年。军需旁午：形容军事繁忙。⑥ 闾阎：指民间。⑦ 罢：疲的通假字。⑧ 难：认为难。⑨ 神明：像神明一样通晓。⑩ 抚字：对百姓安抚体恤。⑪ 靖：使安宁。⑫ 简书：指策命、征召等文书。

序

志书何昉乎^①？缘其意，大都本于《汉书》十《志》，然则志者亦史之所从出也^②。且《乘》而曰晋^③，《樛机》而曰楚，《春秋》而曰鲁^④，史亦何尝非志之所从出乎？夫志既为史所从出，而史又为志所从出，何不取其地之藩封与荐绅之仕至将相者编为“世家”？将相以下事多可纪，难以专家名之者编为“列传”？而其余名有独著，或为循吏、酷吏，或为文苑、儒林，或为隐逸、游侠，或为方外、伎术^⑤，或为货殖、列女^⑥，俱附“列传”之中。然后以其沿革、形胜、天官、地理、河渠、田赋、食货、五行、礼乐、祠祀、兵革、风俗之类，编之为志，一如史家之所为？庶几义例更严，而褒贬抑扬之间，其为激劝彰瘡而砺世磨钝也^⑦，不更重乎！

余尝为此说，而人多不能从，则以作志之体，但取长于记事，强半主于案而不断^⑧；而作志之人又复忧谗畏讥，则亦惟取善善之心^⑨，长而已矣^⑩。以故略则非失之鄙，则失之疏；详则非失之诞，则失之滥。何者？是非予夺之义不存乎其间^⑪，而其废兴存亡也则亦无足轻重。今古相沿，谁有起而更张者？然即今所谓志者而言之，当胜国之季^⑫，置而不讲^⑬，听其抱残守缺者，业已二十余年。

迨及我朝定鼎又二十余年，势有不暇。自请修《通志》之疏托始于卫曲沃，旋值今上聪明天纵，加意右文^⑭，纂修《通志》、《一统志》之令相继而下，然后天下靡然向风，莫不以修志为事。然其间详略、废兴，盖亦有幸、不幸焉。何者？使其地为都会而又为名胜之区也，则虽本地文

① 昉：天明，引申为起源。 ② 指志取材于史。 ③ 曰：被用作名称。

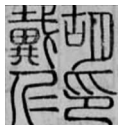
④ 春秋时，楚国史书名《樛机》，鲁国史书名《春秋》。 ⑤ 方外：尘世之外，这里指僧道之流。伎术：技艺、方术，这里指有技艺和方术的人。 ⑥ 货殖：经商盈利，这里指从事这类经营的人。列女：有突出事迹，值得称数的女子。 ⑦ 彰瘡：表彰和惩治。磨钝：比喻激励落后的人。 ⑧ 强半：多半。案而不断：引用记载而不作评论。 ⑨ 善善：赞扬善者和善事。 ⑩ 长：使增长。 ⑪ 是非予夺：判断是非，提倡和禁止。 ⑫ 胜国：被战胜的国家，指明朝。 ⑬ 讲：分析、比较。 ⑭ 托始：开始。卫曲沃：请求修志的大臣的称谓。右文：崇尚文治。

献淹没不传，而骚人墨客之所凭吊，马蹄、帆影之所流连，遇物而铭，登高而赋，往往散见于他册，则千针补衲、集腋成裘，不难一朝而顿还旧观。使其地为遐陬僻壤也^①，则舍本地故典藏在有司者^②，而欲求空谷足音^③，几幸万一于从旁之弋获，则问津无处。较之名胜为难，理势然也。夫武昌之为武昌，夫固凭吊流连、遇物而铭、登高而赋，人所艳称而不容埋没者，则哀而辑之也^④，不独文献足征，抑亦风谣可采。其继《通志》^⑤，而又有《武昌郡志》^⑥。咄嗟！而办也固宜^⑦。

虽然^⑧，难言之矣。何者？以志为志，而瓦注视之^⑨，则味如嚼蜡；以史为志，而金注视之，则啖蔗可期^⑩。善乎！太守裴君之为志也，一则曰守正，再则曰核真^⑪，三则曰褒不轻褒，而贬之义已存；美非徒美，而恶之鉴已寓。且于《人物》一志，条分缕析，惜墨如金，轩轻重^⑫，直如烛照数计。此固以史之权默寓于志之内，不仅以志为志者，正有一段深心、苦心存乎其间。即此可知，其为吏，亦非仅仅齷齪于簿书、期会^⑬，而以吏为吏者也。余故乐观其成，而为之序。

时 康熙二十有六年 岁次丁卯 上巳前六日^⑭

湖广湖北等处承宣布政使司布政使 金台胡戴仁伊祁父漫书^⑮



(胡戴仁印)



(金台)

① 遐陬：边远一隅。 ② 有司：古代设官分职，各有专司，故称官吏为有司。 ③ 空谷足音：语出《庄子·徐无鬼》，指极难得的信息。 ④ 哀：聚。 ⑤ 《通志》：指清康熙《湖广通志》。 ⑥ 《武昌郡志》：即本《武昌府志》。 ⑦ 而：连词。办：成功。 ⑧ 虽然：即使如此。 ⑨ 瓦注：以瓦器为赌注，比喻不受重视。下文“金注”反之。 ⑩ 啖蔗：以食甘蔗由尖及根，喻渐入佳境。 ⑪ 核：实。 ⑫ 轩轻：古代前高后低的车叫轩、前低后高的车叫轻。此同重轻，指褒贬。 ⑬ 齷齪：指碌碌无为。簿书、期会：指拟发公文和召集会议等公务政事活动。 ⑭ 上巳：古代节日名，汉以前以农历三月上旬巳日为“上巳”，魏晋以后，则定“上巳”为三月三日。 ⑮ 金台：即黄金台。相传为燕昭王筑，置千金其上以招贤。此指古燕都所在的北京。

序

不佞陈臬于楚将一年^①，《武昌郡志》适于是年春仲告成，太守裴君请不佞序其简端^②。

不佞惟是审克明允、摘伏奸宄之为兢兢^③，未暇及文事也。既而叹曰^④：夫志亦史也。古人文之精者为史，六经皆史也。六经之有《春秋》，犹法律之有断案。《春秋》者，圣人之刑书也。是非二百四十年之事于万八千字之中^⑤，笔则笔、削则削^⑥，何其简且严也。虽以游、夏之徒，未尝口授其微义，而独以同耻许左氏^⑦，故其《传》与《语》多得夫子之秘旨焉^⑧。其后历代诸史，厥体非一，或为“记”、或为“书”、或为“志”。虽其高下、烦简之不同，终不能效《春秋》谨严之法。

余独有感于楚以《梲杌》名史^⑨，为有合乎古人之遗意也。盖古人以善为常，多不纪载；以恶为反常，故特纪之。如《尧典》之篇，朱、兜、共、鯀之恶^⑩，在所必载；《春秋》为乱贼而作，圣人于此有惧心焉^⑪。夫民之多僻^⑫，非其性也，气蔽习徇^⑬，迫势而动，弗得已焉耳。人亦有言：“恶恶如有疾”^⑭。是故求其标本、缓急而理之生道也^⑮，不然^⑯，刚愎褊

① 不佞：不聪明，自己的谦称。陈臬：典出《尚书》，谓张布刑法。此指担任司法官职。楚：指湖北。② 简端：指书之卷首。③ 审克：审核、查实。摘伏：揭发隐秘的坏人坏事。④ 既：完成，指看完。⑤ 是非：肯定和批判。

⑥ 笔：指记载。削：指修改。⑦ 同耻：孔子曾说“丘明耻之，吾亦耻之”，即观点相同。左氏：指左丘明。⑧ 《传》与《语》：指《左传》和《国语》。⑨ 梲杌：传说中古凶兽或凶人名。此指史书。⑩ 朱：尧子丹朱，相传不肖。兜、共、鯀：驩兜、共工、夏鯀，相传尧、舜时的部族领袖，四凶之一。《尚书·舜典》记载分别被舜放逐于崇山、幽州，殛于羽山。⑪ 惧心：使人戒惧的用心。⑫ 僻：乖僻。

⑬ 气蔽习徇：为气所蔽，为习所循。即赌气和为习气驱使。⑭ 恶恶：厌恶罪恶。⑮ 理之生道：给他们活路。⑯ 不然：不这样。

隘^①，视民之不善若不欲其生，而欲民不忍于为恶，难矣！《书》曰：“无忿疾于顽，无求备于一夫。”^②是故善政者明教以达政，善教者因政而寓教，无逾于“志”矣。太守曰^③：“史有褒贬，志则有褒无贬；史兼美恶，志则有美无恶；志与史今昔有不同者。”盖不佞三复斯志，而知郡之名虽武^④，而实则文也。他不具论，其间贤人才士、勋绩政事、文学气节，历代显晦不同，而百世之下使人兴起，如汉费祎，晋孟嘉，唐李邕，宋冯京、李义山，明魏观、廖道南、吴裕、李承芳、[李]承箕、魏裳、吴国伦、郭正域、余玉节、贺逢圣、熊开元诸君子，表而扬之，赫赫如昨，其裨世教岂浅鲜哉！观其所可^⑤，则所否可知也；审其所褒，则所黜可知也。昔夫子以“知我、罪我”属之《春秋》，而又曰：“谁毁？谁誉？如有所誉者，其有所试。”^⑥盖始终无毁也。呜呼！四凶不出^⑦，而流窜放殛将何施？奸慝不作，而墨、劓、剕、宫为焉用？不佞职虽司刑，心未尝不期无刑也^⑧。夫长于仁者，未必或短于义；专于秋者，未始不根于春。不佞序《鄂志》而为斯言，以见《春秋》圣人之刑书出于不得已。后之读斯志者，苟明斯义，而志之与史、刑之与教若一之矣。

康熙二十六年 岁次丁卯 仲春

湖广湖北等处提刑按察使司按察使 温陵丁炜撰



(丁炜之印)



(雁水氏)

① 刚愎褊隘：暴躁狭隘。 ② 见《尚书·君陈》。顽：指顽愚之民。一夫：指一人。 ③ 太守：指裴天锡。 ④ 武：作谓语，叫作“武”。 ⑤ 可：赞许。 ⑥ 见《论语·卫灵公》。试：测试，指根据。 ⑦ 四凶：一般无“丹朱”而有“三苗”，这里指上文朱、兜、共、鲧四人。 ⑧ 期：希望。

序

古[往]今来,天地则犹是也,而时序之推移、人事之变易,瞬息皆为陈迹。不有所托,乌能同其不朽耶^①? 结绳之世,固无论矣^②。自伏羲氏画八卦^③,演河图^④,泄天地之秘,而文字于焉托始^⑤。嗣后《典》、《坟》、《丘》、《索》备载故实^⑥,以传于后世。尼山夫子集其大成^⑦,赞修、删定为《易》、为《书》、为《诗》、为《礼》、为《春秋》,皆谓之经。于《春秋》,独又谓之史。史者,纂列国记事之书,而寓其褒贬者也。封建既废,区夏混一^⑧,于是无列国之书而有郡国之志。所谓推移变易而能托以不朽者,又在乎此。汉班固以十《志》列于史内,大一统也。我皇上御宇之二十二年^⑨,削平反侧,四海同风,幅员之广,古今莫及。诏天下修辑志乘,以备观览。一时良二千石,莫不征文考献,相继告成。而余于《武昌》一志,独为三致意焉^⑩。

盖武昌固楚中一大都会也,声名、文物之盛,甲于他郡,非具良史之才、良史之学与良史之识者,又何能胜任而愉快乎? 世之兼才、学与识,而不值其地^⑪、不遇其时者亦多矣。太守裴君固兼而有之也^⑫,而又适值其地、适遇其时,岂不甚幸? 然自军兴以来,典籍沦亡,郡邑之志悉已没于寒烟衰草之中,几几不可复考。一旦搜罗补辑,靡有阙遗,使向之没于寒烟衰草之中者,顿复旧观。信乎,太守裴君之有功于斯志也,更

① 乌:何。 ② 结绳:在绳上打结以助忆,这是在文字产生之前,人类的早期记事方法。与下面“画八卦”、“演河图”一样,都被古人认为是文字的起源或早期阶段。 ③ 伏羲氏:传说中的远古部族首领、三皇之一,风姓,教民渔猎等。

④ 演:传布;阐发。 ⑤ 托:寄托。 ⑥ 《典》、《坟》、《丘》、《索》:《三坟》、《五典》、《八索》、《九丘》,传说中的古代典籍。 ⑦ 尼山夫子:孔子。尼山,同尼丘,山名,在山东省曲阜东南。相传孔子父母祷于此生孔子,故称。 ⑧ 区夏:诸夏之地,指华夏、中国。 ⑨ 御宇:统治天下。 ⑩ 三致意:再三表达自己的欣赏。

⑪ 值:遇到;碰上。 ⑫ 之:指才、学与识。

非浅矣！若夫一篇之中纲举目张，体裁各称；而《人物》、《艺文》之际，尤必加意采择，淳淳以裨益世道、人心是务；洵非具良史之才、学与识者，不克臻此。岂徒侈闻见之博洽、托往事于不朽，如曩昔所称郡国志而已哉！

时 康熙二十有六年 岁次丁卯 仲春谷旦

湖广分守武昌道布政使司参议加二级 成光仲谦父



(成光之印)



(中谦)

序

《周官》“外史”掌四方之志^①，而“小行人”之职^②，则察侯国之利害与礼俗、政教逆顺之属，各为一书，反命于王。汉制命天下计书先上太史，则是有志而后有史，志其史之权舆乎？武昌守裴君，史才也。能史而不得与于作史者之林，则退而修其郡国之志。今观其书：为卷十有二，为目二十^③；考据犁然^④，属词斐然；而于存逸、详略之际，有良史风焉。其叙《沿革》、《建置》则详之，而《星野》则略。盖星土之说^⑤，往往相反而不相配；郑康成谓：“虽有郡国所入度，非古数也”：求详则舛矣。《山川》、《古迹》，国之望也。《学校》、《田赋》，国之所以为教、养也。众篇之中，三致意焉^⑥。“形胜”在《方域》、《山川》之内，“物产”寓《田赋》^⑦、《风俗》之中，吾夫子赞《易》道而黜《八索》，述“职方”而除《九

① 《周官》：《周礼》的古称。 ② 小行人：《周礼》中官名。 ③ 《选举》、《人物》、《艺文》不按卷重复记数，除去《凡例》没有《兵防》、《武秩》，则目数为二十，似合此数。然石序计入，为卷二十六；则不计入，应为二十一卷，可见此处有讹夺。 ④ 犁然：形容明辨。 ⑤ 星土：同星野。 ⑥ 三：指多次。 ⑦ 寓：寄寓。

丘》，识其大者、远者而已。叙《封建》志有国^①，叙《坛祠》志有祀礼也。乃大书《坛祠》而寺观之废兴略焉，不以淫祀褻祭义也。“陵墓”附于《古迹》^②，而记载独详，使后之观者，知忠臣、孝子不泯没于寒烟蔓草之中，而闻风兴起^③，为世道人心计，至深远矣。言《水利》犹史之“河渠、沟洫”也，言《灾异》犹史之“天官、五行”也。以理乱警庶官^④，故次《兵事》^⑤，以循良风有位^⑥，故次《秩官》。而《人物》、《艺文》二志，则录其可法、可传者，不以车笠去留之^⑦。然守之言曰：“吾于《旌典》^⑧、《宦绩》、《选举》、《风俗》，犹有所待焉”者，非第征信之未尽也^⑨，以为三楚大邦，军兴以来稍削弱凋弊矣^⑩，故于名节、风猷^⑪、文章[风]俗尚有厚望焉。以仰答圣天子倚重良二千石意，且使生斯土、官斯土者皆勉自树立，以成一道同风之治，是则作书者苦心也。岂直裴司空《禹贡》地域之图^⑫、谢希逸随国立篇之说^⑬，记山川、疆里以夸博洽者哉？

余不敏，不及共删订之役，而乐观其成。

是为序。

时 皇清康熙二十六年 岁丁卯 仲春谷旦

赐进士出身 朝议大夫 湖广分守湖北粮储道布政使司参议 前翰林院庶吉士叶映榴撰



(叶映榴印)



(苍岩)

① 国：藩国，指楚国。 ② 陵墓：即“坟墓”。 ③ 兴起：因感动而奋起。
④ 理乱：治乱。庶官：众官。 ⑤ 事：江苏本因形近误为“焉”字。 ⑥ 风：通“讽”，讽谏。 ⑦ 车笠：乘车与戴笠。此喻地位高低。 ⑧ 《旌典》：表彰贞烈之事，指《人物》。 ⑨ 非第：不仅。 ⑩ 削弱：残损疲弱。 ⑪ 风猷：指人的风采品格。 ⑫ 直：只。晋裴秀官至司空，著《禹贡地域图》十八篇。 ⑬ 谢希逸：字野臣，寄居江都。精历算之学，书不传。

序

古者列国有史，掌记时事，今郡国之志是也。第体裁记述^①，必资良史；而起敝维风^②，乃称实录。故鲁侯动稽故实，楚相必究《典》、《坟》^③。凡观风察治者，咸于是乎稽之，不特此也。尝考周秦时，犹于夏秋间遣轺轩之使求异代方言，还奏藏于秘室。此执简于朝^④，与载笔于野者无殊理。凡序志乘者，久已详之矣。今圣天子广励文教，博求典籍，诏天下志乘俱加修纂，于是山陬海澨^⑤，无不先后成书。

余兹读《武昌郡志》而有感焉！武昌为全楚十五郡之冠，接洞庭，连彭蠡；西通巴蜀，东控吴越；东南一大都会也。余以乙丑春奉简命来理驿盐诸务，捧符就道^⑥，叱驭星驰。履境之初，凭轼流览：远瞩衡岳、潇湘之胜，近眺黄鹄、汉沔之奇。风云蔚秀，人物霞蒸^⑦。因念先端毅公筮仕蕲水时^⑧，去今五十余载。时移势迁，而名山胜水自苍然不改于旧。曩者苏长公之醉卧于浠水石桥也^⑨，有词云“解鞍欹枕绿杨桥，杜宇数声春晓^⑩”。千古读之，风流如在。我先公词章传播海内，今已崇祀兰溪“名宦”^⑪，日与坡仙追逐、啸咏于风马云舆中^⑫，亦未可知。第余承乏楚省，睹城郭楼台、波涛烟树，安往非昔日来游、来歌之地？羹墙如

① 第：只是。 ② 起敝、维风：改变不良习气，维护风教。 ③ 楚相：指楚国良史倚相。 ④ 简：古人用来写字的竹简。 ⑤ 山陬：山角落，指偏僻处。海澨，海滨。 ⑥ 捧符：带着符节印信。 ⑦ 霞蒸：原指云霞蒸腾的样子，借指人才辈出。 ⑧ 端毅公：龚鼎孳，卒谥端毅。明崇祯进士，康熙间官至礼部尚书。为人放旷，颇为时所讥。洽闻博学，诗、公文并工。清初与吴伟业、钱谦益齐名，称为江左三大家。筮仕：古人将出做官时，卜问吉凶。后泛指初为官。蕲水：即蕲江。源湖南省湘乡县，汇入湘江。因流过楚大夫蕲尚墓，故名。 ⑨ 苏长公：同下面“坡仙”，皆苏轼。 ⑩ 杜宇：即杜鹃鸟。 ⑪ 崇祀兰溪名宦：尊显地供奉在兰溪“名宦祠”。 ⑫ 啸：撮口吹气发声，即今吹口哨。

见^①，笑语莫亲，潜然出涕，其能已乎！盖纪载之迹，多在山川；而性情之感，由于观览。

余自抵任以来，鞅掌簿书^②，日不暇给，将欲周览胜概而未遑也。乃太守裴君以卓、鲁之能^③，修南、董之业^④，郡志告成，既授之梓，而来问序于余。受而披阅之，则见夫治乱得失、因革损益，上下千百年事历历如在指掌间，而又摛词简雅，寓意风规^⑤，足为后世之劝戒，煌煌乎大观也。昔人遍野，览九州志乘，在北则称康对山之《武功志》^⑥，在南则称王文恪之《苏州志》^⑦。《武功》取材简严，失之过略^⑧。《苏州》始成时颜之曰《姑苏志》^⑨，杨循吉一见之即掷于地曰：“姑苏是王台名耳，以之概全部，其他何足观？”^⑩若兹之详略得宜，论定有体，较之二《志》，几为过之。将今之珥笔于兰台石室者^⑪，方取资于此，诎徒令观风察治之人，不叹阙略已哉？

时 康熙丁卯岁 季春月吉旦

督理湖广通省驿传 兼理清军 盐法道 按察使司僉事龚士稹千谷父拜书^⑫



（龚士稹印）



（千谷）

① 羹墙：传尧死后，舜仰慕三年，坐则见尧于墙，食则见尧于羹。后以羹墙为追念前辈之意。② 鞅掌：指职事纷扰繁忙。③ 卓、鲁：汉代卓茂、鲁恭均为贤能良吏。④ 南、董：春秋时齐国史官南史与晋国史官董狐，皆为著名直笔史家。⑤ 摛词：铺陈文辞。风、规：讽谏、规劝。⑥ 康对山：明康海，字德涵，号对山。弘治进士第一，授修撰。⑦ 王文恪：明王鏊。⑧ 《武功志》仅三卷。⑨ 颜：题写书名于封面上。⑩ 此据陈继儒《见闻录》。⑪ 兰台石室：指太史官署。⑫ 稹：《学校志》作“禛”。

序

自封建废^①，分天下为三十六郡，太守皆得自达于天子^②，故天下易治也。汉于长沙、九江之间，始置江夏郡。而九州之牧辖诸太守，相沿为道、为路、为省之不同，莫不镇以重臣、监以方面。太守之权以分，而省会之地乃独重于他郡。

武昌郡者，江汉间一大都会也。江之南，广袤千里。豫章东界，山谷阻深。地非神皋^③，故岁或不稔，率仰湖南、江北之粮以自给。而民亦多野朴，无华器之美、奔竞之失。以故闾阎鲜末富^④，庠序崇实学^⑤。虽曰地气使然，亦数十年来渐摩风化以至此也。惟昔志书之设，哀集十邑合为成编，顾旧本阙如，渺无可据。惟我昭代^⑥，制作大备。命而郡志乃以次修辑。时太守杜君常，与今史张子石虹谋之。然杜君不克尽石虹之才，故其书未克也^⑦。余同年裴君继守兹郡，于退食之暇^⑧，加之讨论，曰：详略失中，前后亡次。其若统纪录，爰总各属，而亲为删订。昼夜校讎，两年劳勋。省斋陈先生复时时相与折衷^⑨。

书既成，余取而读之。其有关于政治之得失与民俗之厚薄者，靡不录也；其有乖于理道之大防与经史之明训者^⑩，靡不去也。不独见其才高而识远，而维持名教之功，亦于是为不浅矣。以余游涉三楚，溯潜汉而窥衡湘，屡值乘书告成^⑪，咸得览其指归，叙其端末。要之^⑫，控全荆，蔽上游，则首郡为尤重。使非博雅君子，兼擅三长^⑬，岂易胜任而愉快

① 封建：封国建诸侯。 ② 达：传达。 ③ 神皋：肥沃的土地。

④ 末富：指经营工商业致富。 ⑤ 庠序：学校。 ⑥ 昭代：政治清明的时代。

⑦ 克：成功。 ⑧ 退食：公余休息。 ⑨ 省斋：寓居我省。名肇昌。折衷：指商榷不同意见。 ⑩ 理道：治国之道。大防：大堤。此谓重要的界限。

⑪ 乘书：方志书。 ⑫ 要之：总之。 ⑬ 三长：才、学、识。

哉！斯举也，裴君固通才，敷扬国华^①，洞达民隐。较昔人以儒术饰吏治，殆有合焉。而余藉手^②，以副圣天子文治之隆。不朽盛事，垂诸来世。后之读是书者，其亦有鉴于铨次之苦心云^③。

时 康熙二十六年 岁次丁卯 仲春谷旦

赐进士出身 提督湖广通省学政 按察使司佥事加三级 荇溪年弟姚淳焘拜题于鄂城公署之天藜阁^④



(姚淳焘印)



(陟山氏)

武昌府志序

“志”、“记”始于“图经”^⑤，“图经”始于《禹翳》^⑥。《周礼》职载“地官”，《尔雅》详释“泽藪”，是故周知民数，瞩目伦物^⑦。经国巨猷^⑧，疆理^⑨要典，莫尚于斯焉。

皇上御宇之二十二年，诏直省纂修《通志》。是岁，郡邑群牧礼聘名士，先后勒成^⑩。而《武昌府志》奉台、宪合檄重修^⑪，天锡不敏，闻命兢业，簿书之暇^⑫，从事缥緡^⑬，与郡之大夫、人士日夕征推，为卷一十有

① 国华：国家的杰出人材。 ② 藉手：借助。 ③ 铨次：编排次序。

④ 荇溪：浙江水名。源天目山，入太湖。传夹岸多荇，秋花飘飘如雪，故名。荇，芦苇的花。年弟：科举时代，对同年登科者的自称。 ⑤ “图经”：附有地图或画的地理志等书籍。 ⑥ 《禹翳》：指《山海经》，语本西汉刘秀《上〈山海经〉表》：“（禹）盖与伯翳主驱禽兽，命山川，类草木，别水土。” ⑦ 伦、物：人之常情，事物的常理。 ⑧ 巨猷：同要典，要务。 ⑨ 疆理：治政。 ⑩ 勒成：写作成书。 ⑪ 台、宪：湖广和国家派驻机构的领导。檄：命令。重修：第一次报送本没通过，故称。 ⑫ 簿书：指公务。 ⑬ 缥緡：青白色和浅黄色的丝织品，古人用来作书的封套，后泛指书。这里指撰述。

二,大指分载于诸目之首^①。

夫古今虽异,山川不改;畎赋既定,经制有常:此固无烦深论。惟《沿革》、《人物》,旧志多舛。武昌府在汉为江夏郡,领城十四,而云杜、竟陵、靳春、郗、郢等县,非今所属。献帝末,刘备分荆州,以江夏郡与孙权。权乃以安陆诸邑立江夏郡,以沙羡诸邑立武昌郡。晋咸和中,因汝南流冗侨置汝南郡于涂口^②,即今之金口也。是时地域淆属,俱不得竟称武昌。宋孝武以江夏郡治夏口,则今之武昌矣。而夏口有二:一在江北,一在江南。至南北六朝,侨徙纷纭,废置靡定。史无《表》、《志》,惟见诸《本纪》中,庶几可考。而《列传》所称某郡、县人,皆当稽今昔之废置,详定其去取。若遽因郡名收入,混滥、讹误,殊非所宜。

郭明龙《江夏志》,亦未之详考也。至于廛市之谣传、俚谚,古迹之神鬼不经,扰乱笔墨,荧惑视听;而节士、烈媛,或致湮没,若此真谬^③,可胜慨叹!今即未及痛薙故本^④,而甄别为多。又尝怪《明一统志》^⑤,每采小说家流,违经背史,如以春秋麋为静乐国^⑥,关壮缪称寿亭侯^⑦,载在祀典,见诸诏制,名卿、硕彦,曾罕厘正。仙释与左道相涉,形胜与险厄无干,《广舆》、《纪略》^⑧,递相祖述^⑨,亦何费此铅槧为哉^⑩?

夫作志,务博非难,守正为难。必于礼乐、兵刑、风俗、名教有所裨益,斯为足尚^⑪。故兹于仙释,讹俗害义者必删除,神丛、淫祀畔道者必驳正,以庶几仰合圣朝一道同风之盛焉。若夫辞之不文,闻之不广,无以塞台、宪委付至意,用滋惕矣^⑫。

① 指:旨意。 ② 侨置:六朝时南北分裂,诸朝所属州郡沦陷之后,往往在该地流亡人民聚居的地方重置此州郡,称为侨置。 ③ 真谬:真,同“颠”,谓颠倒错乱。 ④ 痛薙:坚决删除。 ⑤ 传世有李贤等撰《大明一统志》等。

⑥ 麋:春秋时国名,在今湖北省郧县西,为楚所灭。 ⑦ 关壮缪:关羽卒谥壮缪,曾被曹操表封为“汉寿亭侯”,俗以“汉”为朝代名而误夺。 ⑧ 《广舆》、《纪略》:指当时传世的《舆地广记》类大型地理志。 ⑨ 祖述:效仿。 ⑩ 铅槧:书写。铅,铅粉笔;槧,木板:皆古人书写所用工具。 ⑪ 尚:通“上”。 ⑫ 用:由,因。

皇清康熙二十六年 岁次丁卯 春正月谷旦
赐同进士出身 湖广武昌府知府 裴天锡谨撰



(裴天锡印) (长龄)

武昌府志节要纪略

《府志》纂述之由,前《序》固约其概矣,而其间或进求全备未尽征信,尚有俟于后之君子者。盖武郡自兵燹以来,典籍沦轶,骤承修辑之命,搜遗乘于渺见,寻坠绪之茫茫。而前守杜君毓秀遽谓:浹月之中,编稿成书。夫疾趋鲜矩步,而促弦无逸响。其为草创荒略,岂顾问哉?天锡不敏,起而论定之。其《方域》之不淆于《沿革》也,《古迹》之弗惑乎鬼神也,《祠祀》之弗蔽于淫邪也,“仙释”之弗涉于左道也,“揽取”之弗杂于稗、野也^①:固也。至《人物》、《艺文》为古轶轩之所采,“外史”、“小史”之所秉笔而博取,以与国史相表里者。然《志》之人物与《史》异:《史》有褒贬,而《志》则有褒无贬;《史》兼美恶,而《志》则有美无恶。惟褒不轻褒而贬之义已存,美非徒美而恶之鉴已寓。名必当其实,目必从乎纲。体裁断于一手,力薅谀墓之浮夸^②;繁简不泥一例,并免鹄鳧之訾诮^③。管窥所及,不敢不勉也。《志》之《艺文》亦与《史》异,《史》之中登其人则文可毕登,置其人则文亦竟置;而《志》则山川有定区,非其境则弗入也;感会无定属,合其地则弗遗也。然诗、赋必择乎雅驯,序、记必系乎典制,书、疏必关乎治要,传、志必本乎核真。删益所加,不敢不慎也。若夫或举而或漏,偶隘而偶踰,意可谅其所未逮乎?

① “揽取”:摘取。此指方技。 ② 薅:去除。谀墓:过分地说已去世者的好话。 ③ 鹄鳧:指类似。

然则曷言乎？尚有所俟也。即如纶音之旌典宜重也，而访求难遍，遂弗敢以袭承；《选举》之甲乙宜合也，而铨次多端，犹未列为表叙。《宦迹》因传疑之虑，而差过于简；《风俗》俟久道之化，而未括其详。至“物产”应附《田赋》之末，第其常者既不必书、亦不胜书，而一二稍称珍异者只沿习于舆图，非亲接于耳目，故宁自安固陋而阙如也。此则所谓进求全备未尽征信，而有俟于后之君子者也。总之，是编之成，实拮据于烬烟蠹简之余，虽经府庠学博、江夏司训，郡之大夫、人士诸君子网罗旧闻，摭拾典故，而天锡不敏，讨论流失，两阅寒暑。俯念才识短浅，鞅掌簿书，终廛考镜不遑之愧焉^①。爰复校而识之，如此，庶几兢凜之心或可祈鉴于哲人也夫！

武昌郡守裴天锡又识

武昌府志序

国有史，郡邑有志，志即史所从出也。今天子神圣聪明，崇尚经术，特命廷臣搜访藏书缮本。惟以经学、史乘，实有关系修齐治平、助成德化者，方为有用。大哉，王言^②！史乘一书，竟与经学并重，则于史所从出，安得不详求夫志哉！虽然，志亦难言之矣。古今之风尚各异，体裁之繁简悬殊，要非有大过乎人之才、与大过乎人之学与识^③，鲜克征今稽古、修废补阙^④，以定千百年之掌故胜任而愉快者^⑤。况武昌郡自罹兵燹后，典籍沦亡，旧志散轶。一旦而欲旁搜博采，集为成书，则更难也。顾鄂为三楚都会，四方风气咸于是乎则效。其间江汉潏洄，诸峰竞秀，文章、德业，代多炳烺天衢，即董宣、陶侃、谢尚诸名宦辈，其流风如昨也。岂今日而表章巨典可以任其废坠，致文教之邦等于固陋与？我

① 廛：接受。 ② 湖南本惑于其字清玉，不察另起顶格示敬体例，因形近讹为玉，误。 ③ 要非：若不是。 ④ 鲜克：很少能。 ⑤ 掌故：江苏、湖南本从此接朱留绪残文，合二朱序而一，语意当然不可能完全。

郡伯裴公堂台，甫下车，即慨然以郡志为己任。乃考遗献，汇残编。于公务倥偬之余，午夜篝灯，句梳字栉。略者详之，缺者补之。浅陋者删之，荒诞、渎乱者厘定之。焦心苦思，三阅寒暑而后告成。璘于乙丑叨莅兹土，谬膺佐政。虽未敢曰与有成劳，亦常与我公编摩之下^①，反复繙诵^②，而见其纲举目张、条分缕（晰）[析]。凡《疆域》^③、《建置》、《食货》^④、《典礼》^⑤、《学校》、《武备》，因革利弊，靡不犁然毕具，粲若列眉^⑥。至忠臣、孝子，则面目如生；义士、贞女，则精灵不昧。与夫《宦迹》、《名贤》^⑦，则恍然晤对同堂。使千百世之下，知所观感、砥砺，所以维世道而正人心者，非浅鲜也。若乃为《记》、为《传》^⑧，为叙赞及诸杂记^⑨，笔意又几与龙门子长等^⑩。[予]为之欣然曰：“是诚足增光鄂郡矣。”璘维曩时筮仕晋阳，奉檄修志，亦期阐幽（晰）[析]疑、敷文揆藻，而愧未能。今睹斯志，不觉爽然自失，益服公之才、与公之学与识也。以是献之阙廷而贮之史馆，以资采择，其于昭代文治，且有裨焉，宁仅为黄鹤、鹦鹉之区修明表著而已哉。

是为序。

皇清康熙二十六年 岁次丁卯 正月望日

武昌府同知古虞朱璘顿首拜撰



（朱璘之印）



（青岩^⑪）

……市东南人，年逾六旬……巡……^⑫

① 编摩：同编集。 ② 繙：翻阅。 ③ 《疆域》：指《方域》。 ④ 《食货》：指《田赋》。 ⑤ 《典礼》：指《坛祠》。 ⑥ 列眉：两眉对列，谓真切无疑问。

⑦ 《名贤》：指《人物志》。 ⑧ 《传》：指《人物志》。 ⑨ 叙：指序。赞：指箴、铭。

⑩ 龙门子长：司马迁字子长，龙门人。 ⑪ 据后文《修志姓氏》，朱璘字清玉，与此印文不合。

⑫ 此残文仅国图本有，惜多数字不清晰，难作判断，姑存待考。

武昌府志序

粤自成周以来^①，列国皆有纪事之史，此志之所由始也。顾志详而史略，志之详皆效法于史，史之略亦皆取材于志。《尚书》、《春秋》，史也，而已列于经。至司马氏创为《史记》^②，分凡起例，古所未有，即班、范方绳趋尺步^③，而其余又安能出其范围？故后世、郡国之志悉效之。左氏将传《春秋》，先访求列国事实，国别为语，猎其英华作《春秋传》；其先所访求于列国者，别为一书，国人传诵之，号为《国语》。故后世郡国之志必先成而后悉上其书，以备修史者之采择。

今圣天子咸五登三^④，同风一道，环海内外，悉入版图。将撰《大清一统志》，以垂万世，爰诏直、省纂修《通志》。

楚雄南服^⑤，疆宇最大。征文考献，载笔维难。试问今日《典》、《坟》、《丘》、《索》之籍，《樛杕》、楚书之纪，所谓有文可征者，尚有传焉者乎？循蜚^⑥、祝融之烈^⑦，风后^⑧、山甫^⑨之勋，所谓有献可考者，尚有存焉者乎？至于倚相之纪史^⑩，屈子之赋《骚》，濂溪之著太极^⑪，今尚有旁搜博采、明体适用，而能载笔如其人焉者乎？且全楚居十五国之一^⑫，而武昌又为十五郡之倡^⑬，四方之风气不齐，咸于是乎取则焉。非有旷代逸才，安能于文献无征之日，珥笔从事^⑭，克胜表章修明之任

① 粤：句首语气助词。 ② 司马氏：汉代史家司马迁。 ③ 班、范：《汉书》作者班固，南朝宋史家、《后汉书》作者范曄。绳趋尺步：指模仿。 ④ 咸五登三：谓超越五帝三王。登，超过；咸，同。这里与登同义互文。 ⑤ 南服：古代将王畿以外地区分为五服，故南方地区为南服。 ⑥ 循蜚：蜚，又作飞，指传说中太古时代十纪中之第七纪。 ⑦ 祝融：楚国的始祖。 ⑧ 风后：相传黄帝大臣。 ⑨ 山甫：即仲山甫，周宣王时贤臣。 ⑩ 倚相：楚国的良史，能读《坟》、《典》、《丘》、《索》之书。 ⑪ 濂溪：湖南省道县水名。宋理学家周敦颐居溪边，世称濂溪先生。太极：指其所著关于太极图的学说。 ⑫ 十五国之一：国家的十五分之一，即十五省之一。 ⑬ 倡：首。 ⑭ 珥笔：古代史官上朝，常插笔冠侧，以便记录，谓之珥笔。

哉^①？

唯我郡伯裴公堂台，聘名儒，延贤士，广搜遗闻，博谏掌故。虽编辑分于群才，而笔削裁于一手。三阅寒暑^②，遂以成编。芑承乏半刺^③，输饷神京，未获与分纂之劳。兹得请而备阅之，见其自《星野》、《方域》以递及《人物》、《艺文》，各为一书，烦简得宜，纪载不啻，因得默识其苦心，皆以潜寓夫经世之务。思方域何以保障，灾异何以消弭，户口何以勤抚字，田赋何以缓征求，学校、农桑、兵刑、盐铁之何以尽其职，忠臣、孝子、义夫、节妇之何以励其行，古法之可施者几何端^④，弊政之当除者几何事，又何以振千古之文风、作百世之士气？一一可以托诸言而见诸事。不特与楚省之《通志》互为表里，而于熙朝之国史足相裨益者也^⑤。

芑尝读白乐天《江州司马厅记》，言：“江州左匡庐，右江湖，土高气清，富有佳境。”守土重臣不可游观，惟佐政者得从容山水间，以是为乐。而武昌更为东南一大都会，其山川之美、文物之繁，为有心者所亟欲纵览。乃簿书劳攘，临眺无暇。何幸于我公编摩之迹，俱得寓诸目而会诸心^⑥！校乐天游观之乐^⑦，不啻过之^⑧，且因以知志之属词、比事无敢或苟者^⑨，而史氏之别善恶、示褒讥、正赏罚、备法戒，即于是乎在也。芑又乌容赞一词哉^⑩！又乌容赞一词哉！

皇清康熙二十六年 岁次丁卯 正月谷旦

武昌府通判 龙眠张芑拜撰^⑪



(张芑之印)



(雪岑^⑫)

① 章：彰显。 ② 阅：经过。 ③ 半刺：对州郡长官下属如长史、通判等的称呼。 ④ 端：种类。 ⑤ 熙朝：兴盛之朝。 ⑥ 寓诸目：即寓之于目，意谓观看。 ⑦ 校：比较。 ⑧ 不啻：不仅。 ⑨ 属词、比事：写作时遣词与排比史事。 ⑩ 乌容：何容。 ⑪ 龙眠：安徽省桐城县西北三十里龙眠山。 ⑫ 岑：张芑字雪岭，与此印文不合。

武昌府志序

康熙十二年，诏撰《大清一统志》，并编纂直、省《通志》。于是湖广所隶郡、邑各开局，先后有成。

《总志》修于癸丑之秋^①，以用武中辍，甲子始更成之。《武昌府志》未有定本^②。乙丑春，太守长龄裴公以听政之暇博谕掌故^③，于时各属皆以“志”上。江夏为附郭首邑^④，明万历初，郭文毅公始记山川、田赋、先贤、仕籍，略而不详；今刘公朝英加辑焉。武昌县则修于熊公登。大冶前修于谢公铄，今修于陈公邦寄。通山修于任公钟麟。兴国修于王公之宾。蒲圻、嘉鱼修于张公圻、李公元震。通城、崇阳、咸宁修于丁公克扬、高公景之、何公庭韬；亦既斑然可考。然或僻境狭于见闻，旷代失于悠谬^⑤，虽老儒硕学几经驳订，而体裁不一，雅俚杂陈。惟裴公以名进士翔洽艺林，家有赐书，腹储笥笈^⑥。下车以来^⑦，百务厘举^⑧。余闲铅槧，燕寝风清^⑨，两烛并燃，十行俱下。是书之成，实资笔削。

昔常璩《华阳国志》^⑩，本在流传，而奥博如杨用修^⑪，初称未见。郭缘生《武昌先贤传》，亦存天壤，而廖氏《楚纪》，略少援引。搜猎之难，古今共叹。至于《列传》之文，原非一手；诗文杂著，荟稂良多^⑫。兹则式雅芟繁^⑬，引绳就槩^⑭，视诸旧本，别有标裁^⑮。肇昌陋守故闻，亦得从公于迈^⑯。典型尚在，斯文足征，此则皆公之功也。

今天子圣神文武，四海会同。六府孔修^⑰，庶土交正^⑱。史馆之志，

① 《总志》：指《湖广通志》。 ② 上报后，被要求重修。 ③ 长龄：裴天锡的字。掌故：史实。 ④ 附郭：在城附近。 ⑤ 悠谬：荒谬。 ⑥ 笥笈：竹制书箱。 ⑦ 下车：谓官员到任。 ⑧ 厘举：整治兴办。 ⑨ 燕寝：卧室，此指公余休息。 ⑩ 《华阳国志》：述远古至东晋永和三年巴蜀地区历史和地理、风俗。 ⑪ 奥博：指学问深厚广博。 ⑫ 荟：汇集。良：颇。 ⑬ 式：用，以。芟：删。 ⑭ 引绳就槩：绳，指木工用的墨线；槩，矩尺；引指规范。 ⑮ 标裁：取舍。 ⑯ 于：动词词头。迈：行。 ⑰ 六府：古以金、木、水、火、土、谷为六府。 ⑱ 庶土交正：各地俱得其正。庶土，众土。交，俱。

则上藏册府；寰宇之记，亦各有“图经”。楚在中原，辟疆维大。武昌为诸郡纲领，观其山川、城域、田赋、建置、人物、艺文，方策之上，旁瞻共瞩，瞭然在目。斯有以倡十五郡之纪载，而与《总志》互为损益，用备甲观参考^①。猗与，盛哉！肇昌既诂纂著之成^②，益服才猷之大。因再拜复于裴公，而序诸简端。

时 皇清康熙二十六年 岁在丁卯 正月之望^③

赐进士 内升候补京堂 前任广东提学道陈肇昌顿首谨题



(陈肇昌印)



(眉齋)

武昌府志序

间尝读汉史，见夫萧酈侯何入关独收图籍^④，因周知海内户口、阨塞而开炎汉之祚；迄宋朱文公熹^⑤，宦辙所至，必考谗志乘^⑥，察其厝置所宜、与夫控驭所急^⑦；识者咸以为知务。由是知列省、郡乘，即《周礼·天官》“外史、小史”之所掌，《冬官》“职方氏”之所辨，用以恢皇图而展帝紘，著风教而昭劝惩，所关顾不重与？武昌郡志屡经兵燹，断简残篇半销沉于荒烟蔓草，征文考献几无以存往昭来。维圣天子文德覃敷，车书一统。山陬海澨，罔弗率俾^⑧。因广修史之义，诏纂修《通志》以成盛世不刊之谟。诸上台恪遵功令，下其事于所属各郡，檄令补葺成帙，用光盛典。于是，郡伯裴公堂台延集名宿，开局棘院^⑨，搜辑遗编，諏咨掌故，举郡志数十年来所未备者。广以学士之所传，参以乘、记之所述，晰疑阐幽，

① 甲观：原为汉代楼观之名，为皇太子居地，后借指国家藏书之馆。

② 诂：欣喜。 ③ 望：月相名，旧历每月十五日（月大为十六七），月亮最圆满，称望。

④ 萧酈侯何：汉开国功臣萧何，封酈侯。 ⑤ 朱文公熹：朱熹，南宋嘉泰初谥文。 ⑥ 谗：知。 ⑦ 厝置：同措置。 ⑧ 俾：比的通假字，从。

⑨ 棘：用棘刺围，指设置。

芟繁钩要，凡矢公矢慎^①，数易稿而有成绪。从时获以管窥，取而繙阅之。见其叙次周详，条贯毕具。其《山川云物》为一书^②，其《赋役》、《户口》^③、《风俗》为一书，其《古迹》、《人物》、《艺文》为一书，其《兴废》^④、《建置》、《兵戎》^⑤、《灾异》为一书，而知即此可以察世运之升降焉，可以考政治之得失焉，可以验风尚之媿恶焉^⑥。后之莅斯土而披斯志也，修其政，保乂其土地、人民，俾岁时以和，堤防以固，财用以裕，闾阎皆型仁而讲让，胶庠皆好礼而束修^⑦。是则有得于斯志而遗其体也，可法也！苟或不然，上有负乘维鹑之惕^⑧，而下惭环向待泽之殷，是则无得于斯志而流其害也，可戒也！夫前事之不忘，后事之师也。诚晰利弊之源流，施补救之缓急。修其教，不易其俗；齐其政，不易其宜。于以一道同风，裕如也，宁仅矜淹雅、侈闻见已哉？今志正在整辑垂成，将授之梓。私心窃念我堂台任其劳，后人享其逸，式古型今，亦当知归功之有自也。从时备员佐政，猥膺简命，行将买舟赴新安，且与鄂渚谢矣。爰存数言，俟附简末，不忘一时共事之谊云尔。

是为序。

原任湖广武昌府同知 今升江南徽州府知府 临汾亢从时谨撰

[补刻重印]序

……也，全书急为搜集原板，幸所失无几。乃于他得原本勘对，令工书者缮写付梓，以补其阙，俾后之观者庶无不全之叹；而一郡之山川、人物，与夫增革损益，亦有所考云^⑨。

时 康熙三十四年 岁次乙亥 季夏

知武昌府事 京江朱留绪谨识^⑩

① 矢：誓。 ② 云物：景物。书：指卷。此为泛指，或当时所分卷。下同。

③ 《户口》：指《方域志》的编户。 ④ 《兴废》：指《沿革志》。 ⑤ 《兵戎》：指《兵事志》、《兵防志》等。 ⑥ 媿 mēi：善。 ⑦ 胶庠：殷称序，周称胶。后泛指学校。 ⑧ 负乘维鹑：皆指才、德不称职。 ⑨ 考：考证。 ⑩ 京江：京口。今江苏省丹徒县。

凡 例

一 史与经并垂，而志即史之遗也。顾志武昌之郡邑，与志天下之郡邑不同。武昌自明季兵燹以后^①，典籍沦亡，老成凋谢^②。文献无征，莫此为甚。今特广为搜辑，始克成书。但愧乏三长，未必有当大雅云。

一 前代序文，俱已失传。今奉檄纂修，自总裁以下各宪，俱有弁言^③，用光梨枣^④，已极一时之盛。若余言之，载于简末，犹之附骥焉尔^⑤。

一 省会形胜，甲于三楚。欲使尺幅之间，得领大概^⑥，此《图考》之所由绘也，故首列之。

一 《星野》^⑦，楚当翼、轸^⑧，由来旧矣。武昌一郡，或谓入翼，或谓入轸，或谓兼入翼、轸。诸说不一，姑存之以备考。

一 《方域》、《建置》，俱可载《沿革》之中，《志》必分其目者，以郡自鄂王始封^⑨，而后夏汭、江夏^⑩，不一其名^⑪；武昌^⑫、咸宁诸邑，或有隶、有不隶焉。至若方域有定界，建置有定称，一切官署、仓廩，以及关隘、桥梁之设，仍旧贯而时加葺焉，则有司事也，故与《沿革》而并志。

一 武昌为水陆具区^⑬，名山、大川，不可胜纪。古来高人、逸士，

① 燹 xiǎn: 火。 ② 老成: 学识渊博的人。 ③ 弁言: 序。 ④ 梨枣: 指本书。古代多用梨、枣木雕版印书，故称。 ⑤ 附骥: 以蝇附骥尾至千里，喻沾光出名。 ⑥ 领: 了解。 ⑦ 星野: 即星宿分野。古人认为天象与人间祸福有关，人间地域各有对应星宿。这里作状语，是“按照星野的划分”的意思。 ⑧ 翼、轸: 属二十八宿中南方朱雀七宿。 ⑨ 鄂王: 楚始封鄂王。 ⑩ 夏汭、江夏: 皆今武昌之古称。 ⑪ 不一其名: 名称不一样。 ⑫ 武昌: 今鄂州。 ⑬ 具: 具备。

类多寄迹焉。黄鹤仙踪^①、枣亭遗址^②，省会之彰彰者也^③。凡属在十邑，可考而知矣。故志《山川》，而《古迹》次之。

一 国家文教覃敷^④，学校之设，远迈前朝。迺者圣天子亲临阙里^⑤，五言一律，光昭云汉，尤旷古所未有也。《志》之所载，敢不视昔而加详。

一 封建之制^⑥，自鬻熊以来^⑦，武昌一郡，历代俱有分藩^⑧。“滔滔江汉，南国之纪”^⑨，亦一大都会也，靡敢或遗。

一 楚俗崇尚巫风，自国朝以来，殆少变矣。然淫祠不毁，非所以为训也，故志《坛壝》^⑩。而凡载在《祀典》者则书之，其余概置不录。

一 《田赋》之志也：郡则总其纲，县则分其目。凡夏税、秋粮，以及茶、铁等税，俱遵闾属《全书》以志之。司兹（上）[土]者，庶乎简明易考。

一 武郡滨江^⑪，而江、咸、嘉、蒲四邑^⑫，尤与水为邻。堤固，民受其利；堤圯^⑬，民受其害。利、害之相去，何啻什、伯[佰]^⑭？疏之、浚之，不可也；计唯有防之而已^⑮，故堤之所系匪轻。

一 十邑风俗，微有不同，采诸县《志》，存其真也。余闻之：风俗与化推移。主持之责，厥有所归。

一 妖不胜德，自古记之，“灾异”何足志？然修、省之说^⑯，自天子以至于庶人，不可废也。爰仿编年、纪月之法而特书。

一 兵，凶器也；战，危事也。武昌一郡，自孙、刘用兵^⑰，而后史不绝书，而明季之困顿为尤甚。幸而王师南下，江汉永清，志之以见国家

① 黄鹤仙踪：指黄鹤楼及有关古迹。 ② 枣亭：仙枣亭。 ③ 彰彰：显著。

④ 覃敷：广布。 ⑤ 迺：近来。 ⑥ 封建之制：按照分封建诸侯的制度。

⑦ 鬻熊：周文王师，封为楚祖。 ⑧ 藩：藩国。 ⑨ 语见《诗经·小雅·四月》。纪：表率。

⑩ ●wéi：坛类总称。此同祠。 ⑪ 武郡：武昌府。

⑫ 江、咸、嘉、蒲：江夏、咸宁、嘉鱼、蒲圻。 ⑬ 圯：毁。 ⑭ 什、佰：十倍、百倍。

⑮ 防：筑堤限制。 ⑯ 修、省：修身、省察。 ⑰ 孙、刘用兵：指赤壁之战。孙、刘：孙权、刘备。

神武，商、周莫及耳。

一 《秩官》与《宦绩》，相继而起者也。《秩官》，自明以前则从略，其时未有府名也，其十属亦间有缺焉；《宦绩》，则自汉而唐、而宋、以迄国朝，或以文学传、或以治术传、或以品谊之卓越传，此亦考镜得失之林也，故独详。

一 《选举》，首重乎科目，以古制之难行也。胜国以来，名宦接踵，大抵以经义起家，故历历志之。至若辟、荐类多异人^①，贡、监^②岂乏佳士？武科之选^③，亦当今所并重。咸载之，以垂不朽。

一 唯楚有材，古志之矣。显而勋德，以及才猷；隐而端良，以及方技。举凡忠、孝、节、义，靡不具载。然而挂漏者犹多。语云：“存什一于千百”。聊资文献之征，此《人物》之所以志也。后之君子，亦将有所感发而兴起焉。

一 文以人传，人亦以文传。屈原《九章》，无论矣；他若赋、若诗、若序、若记，凡有关于楚地、楚事者，毕登焉。非敢滥也，盖亦不敢没其实耳。

一 “夏五”、“郭公”^④，《春秋》不废成文，以疑传疑也。志则何疑焉？善则与众善之，恶则与众恶之，不过窃取诗人之意，以为美、刺而已。古云：“后之视今，亦犹今之视昔”^⑤，可不慎与？

① 辟：征召。 ② 贡、监：科举类型。 ③ 武科：武类科举。 ④ “夏五”、“郭公”：皆为《春秋》脱、缺的地方。 ⑤ 《兰亭集序》文。

修志姓氏

总裁

总督湖广等处地方军务兼理粮饷,兵部尚书兼都察院右副都御史
徐国相 行清^①,辽东广宁人。

巡抚湖广等处地方、兼提督军务,都察院右副都御史 石琳 琅公,满洲人。

提调^②

湖广湖北等处承宣布政使司布政使 王定国 贞元,奉天辽阳人^③。

湖广湖北等处承宣布政使司布政使 胡戴仁 伊祁,直隶容城人,戊子^④。

湖广湖北等处提刑按察使司按察使加五级 张道祥 拙存,江南徐州人^⑤。

湖广湖北等处提刑按察使司按察使 丁炜 雁水,福建晋江人,拔贡^⑥。

湖广分守武昌道布政使司参议加二级 成光 仲谦,直隶大名人,恩荫^⑦。

湖广布政使司参议,分守湖北督粮道,今升光禄寺少卿 田雯 纶

① 行清:字。下同。 ② 提调:武大本作鉴定。 ③ 此条武大本有。

④ 戊子:公元1648年。举进士干支年。下同。 ⑤ 此条武大本有。

⑥ 拔贡:科举类型。下同。 ⑦ 恩荫:汉、唐为门荫,宋改恩荫。遇国家庆典,规定内官员获准送定额子孙入国子监读书并入仕。清代规定文官为朝官四品以上、外官三品以上,武官为二品以上。

霞,山东德州人,甲辰^①。

湖广分守湖北督粮道,布政使司参议 叶映榴 苍岩,江南上海人,辛丑。

湖广按察使司督理湖北驿传、盐法道,布政使司参议加二级,今升山东学道 宫梦仁 定山,直隶静海籍,庚戌。江苏南泰州人,癸丑^②。

督理湖广通省驿传兼理清军盐法道,按察使司僉事 龚士稔 千谷,江南合肥人,恩荫。

提督湖广通省学政,按察使司僉事加三级 姚淳焄 陟山,浙江乌程人,丁未。

主修

武昌府知府 裴天锡 长龄,江南江阴人,丁未。

同修^③

武昌府清军、水利兼理税务加一级,今升徽州知府 亢从时 正斋,山西临汾人,贡士^④。

武昌府清军、水利兼理税务同知 朱璘 清玉,浙江上虞人,贡监。

武昌府粮、捕通判 张芑 雪岭,江南桐城人,贡士。

协修

江夏县知县加三级 马云会 赓臣,奉天辽阳人,荫生。

武昌县知县,今升礼部仪制、清吏司 卜陈彝 简庵,浙江秀水人,甲辰^⑤。

武昌县知县 王之纪 燕朋,辽东沈阳人,荫监。

咸宁县知县 詹象泰 岱岩,江南武进人,贡监。

① 此条武大本有。 ② 此条武大本有。他以两种身份中过两次科举考试。 ③ 同修:武大本作协修。 ④ 此条武大本有。 ⑤ 此条武大本有。

嘉鱼县知县	年昌龄	炽生,辽东广宁人,监生 ^① 。
嘉鱼县知县	荆振日	鹤甸,江南□阳人,举人。
蒲圻县知县	李 清	□□,山西安邑人,监生 ^② 。
蒲圻县知县	霍际斯	文辽,广东南海人,举人。
崇阳县知县	李特生	仙滋,河南武安人,举人 ^③ 。
崇阳县知县	石如璫	石芝,河南陈留人,丙辰。
通城县知县	张圣典	亦庵,奉天人,监生。
兴国州知州	张辉祖	大可,榆林人,恩荫。
大冶县知县	文 经	燮臣,广西灌阳人,癸卯。
通山县知县	沈士薰	阮亭,浙江山阴人,己酉 ^④ 。
通山县知县	刘 焯	国火,河南人,举人。

编辑

武昌府儒学教授	罗人龙	骧子,枝江人,岁贡。
武昌府儒学训导	石永年	凤池,黄梅人,选贡。
江夏县儒学教谕	王 煜	鲁东,黄陂人,举人,己酉科。
江夏县儒学训导	鲁 录	以载,孝感人,岁贡 ^⑤ 。
武昌县儒学教谕	张仲经	纶季,黄冈人,丙午举人。
训导	程光禧	静斋,黄冈人,岁贡。
咸宁县儒学教谕	喻良臣	牧廷,汉阳人,岁贡。
训导	杨嘉桂	天根,远安人,岁贡。
嘉鱼县儒学教授	邹 蓼	巾岸,景陵人,丁酉举人。
训导	钟应遂	诚庵,黄安人,岁贡。
蒲圻县儒学教谕	李必泰	岩饗,蕲州人,戊子科举人。
训导	卢世铨	简宸,慈利人,岁贡。
崇阳县儒学训导	陶大任	莘叟,彝陵人,岁贡。

①②③④⑤ 此条武大本有。

通城县儒学教谕	陈待举	子远,攸县人,岁贡。
训导	吴中贤	元著,通道人,岁贡。
兴国州儒学学正	陈敏常	荡亭,黄冈人,癸卯举人。
训导	陈 琰	公璧,九谿街人,岁贡。
大冶县儒学教谕	王禹书	大夏,湘潭人,岁贡。
训导	邓逢晋	仲昭,石门人,岁贡。
通山县儒学训导	龚家仁	帝以,公安人,岁贡。

分订

贡生 常士元 周世甦^①

生员 邹士聰 易嘉谋^②

武昌府学廩膳生员	凌天阁	刘纯臣
	徐致和	陈光裕

增广生员	刘若崧	定成隆
------	-----	-----

附学生员	熊象云	徐士珍
------	-----	-----

江夏县学廩膳生员	陈圣裔	郭 炳
----------	-----	-----

增广生员	白 眉	欧阳玉生
------	-----	------

附学生员	陈奇俊	徐致大
------	-----	-----

武昌县学廩膳生员	吕音亮	贺 璋	叶道复
----------	-----	-----	-----

增广生员	周有孚	孟寿湄
------	-----	-----

附学生员	张 临
------	-----

咸宁县学廩膳生员	郑邦赞	阚 綖
----------	-----	-----

增广生员	孟佐盛
------	-----

附学生员	余云腾
------	-----

嘉鱼县学廩膳生员	邓 涛
----------	-----

增广生员	程孟言
------	-----

①② 武大本有。

附学生员	邓 灏		
蒲圻县学廩膳生员	万室宪	张锡彤	沈中扶
增广生员	戴 礼	任奇仔	
附学生员	李 焕		
崇阳县学廩膳生员	王士藻	陈鼎祚	
增广生员	王洪远		
附学生员	刘之清		
通城县学廩膳生员	习孔绮	刘启先	
增广生员	吴家璟		
附学生员	皮必元		
兴国州学廩膳生员	乐元声	吴乾生	卢 湛
增广生员	卢秉政	张翰抃	
附学生员	瞿学元		
大冶县学廩膳生员	王之典	余光烷	
增广生员	方世年		
附学生员	余国栋		
通山县学廩膳生员	吴 崧 ^①	周曰宝	

校 阅^②

生员	潘作祚	朱应逵	鲁余龙
	鲁演泗	张 棣	

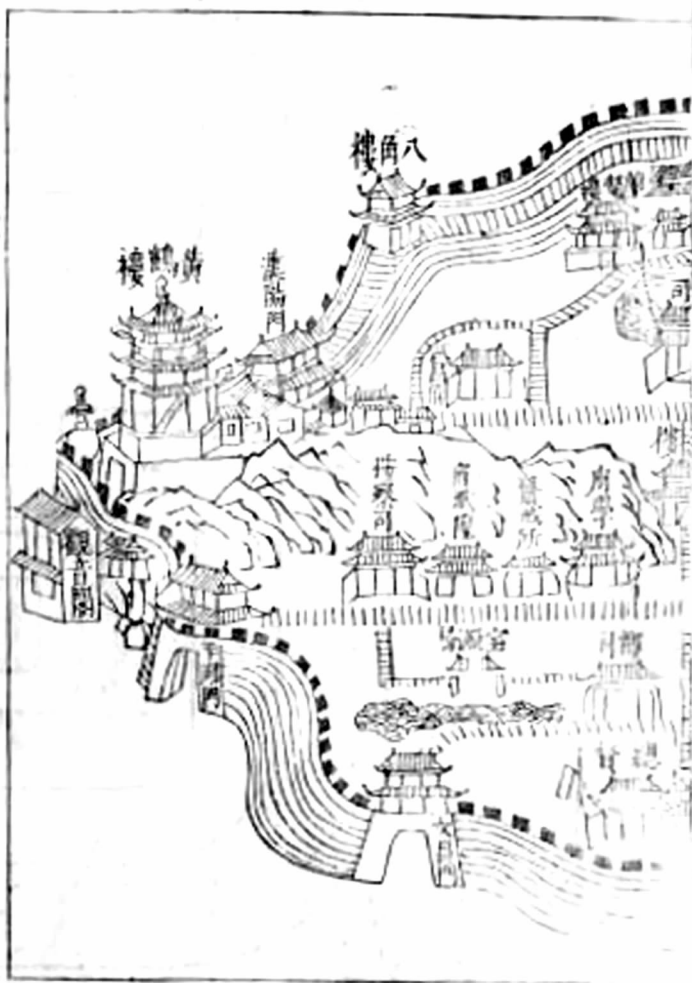
① 国图、江苏本无以下二人，湖南本有。 ② 武大本有，其他本无此类及以下人名。

卷之一

图考志

荆楚,九州冲要也。武昌,三楚会城也。有《府城图》,以示形胜。有《府总图》,以正疆域^①。有十属图,以列州县。其间道里远近,方輿广狭^②,山川险易,悉载焉。披阅之余,不啻了如指掌矣。志《图考》^③。

① 正:正确了解。 ② 方輿:面积。 ③ 志:作志。



武昌府城圖左^①

① 此二圖系武大有。

武 昌 府



武昌府城图右

圖

總

里二十七

西至漢陽府漢陽縣界七里



上白四界縣州

武昌府總圖左

武

昌

府

北至

東至江西九江府瑞昌縣界五百二十二里



武昌府总图右

縣圖

里二十七

西至漢陽府漢陽縣界七里



里七十二

江夏縣圖左

東至武昌縣界七十里

江

夏

北至黃



南至咸

江夏縣圖右

圖

縣

州南黃岡縣分屬

礪磧

西至江夏縣界一百二十里



里五十界

武昌縣圖左

武

四

北臨大江

東至江中白田洲蘄州界八十里



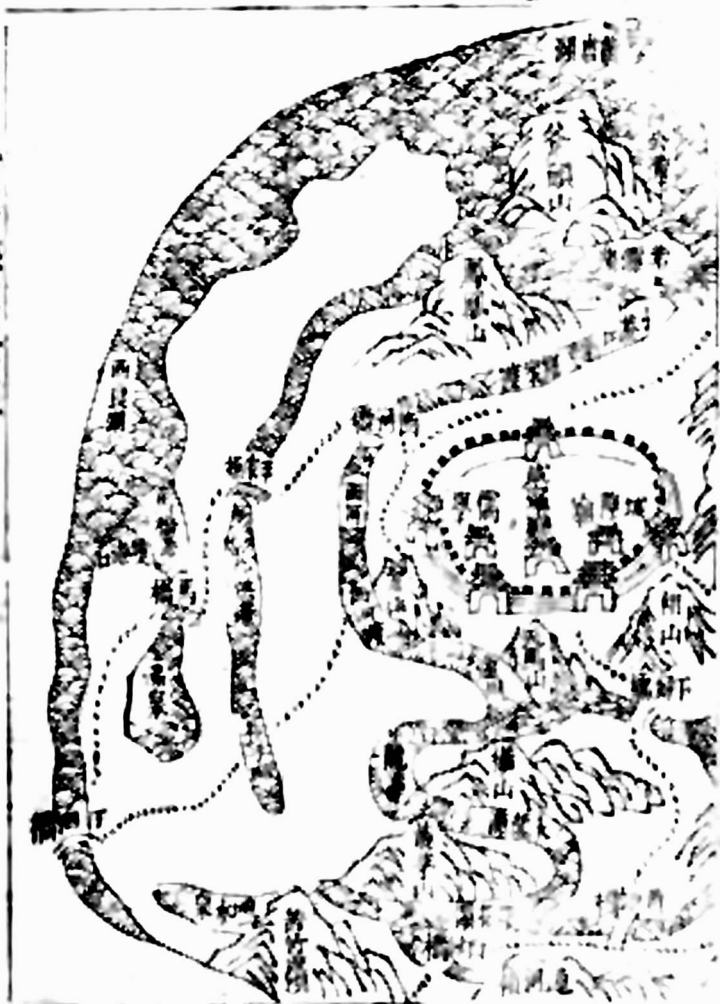
武昌县图右

圖

縣

里五十

西至蒲圻縣界三十里



咸宁县图左

寧

咸

東至興國州界五十里

縣夏江至北



縣山通至南

咸宁县图右

圖

縣

里百一路工界

西至湖南岳州府臨湘縣界一百三十七里



里五十五

嘉魚縣圖左

魚

嘉

漢中陽漢至江大臨北

東至咸寧縣界八十里



縣城在東南

嘉魚縣圖右

圖

縣

里十四里

西至岳州府臨湘縣界四十里

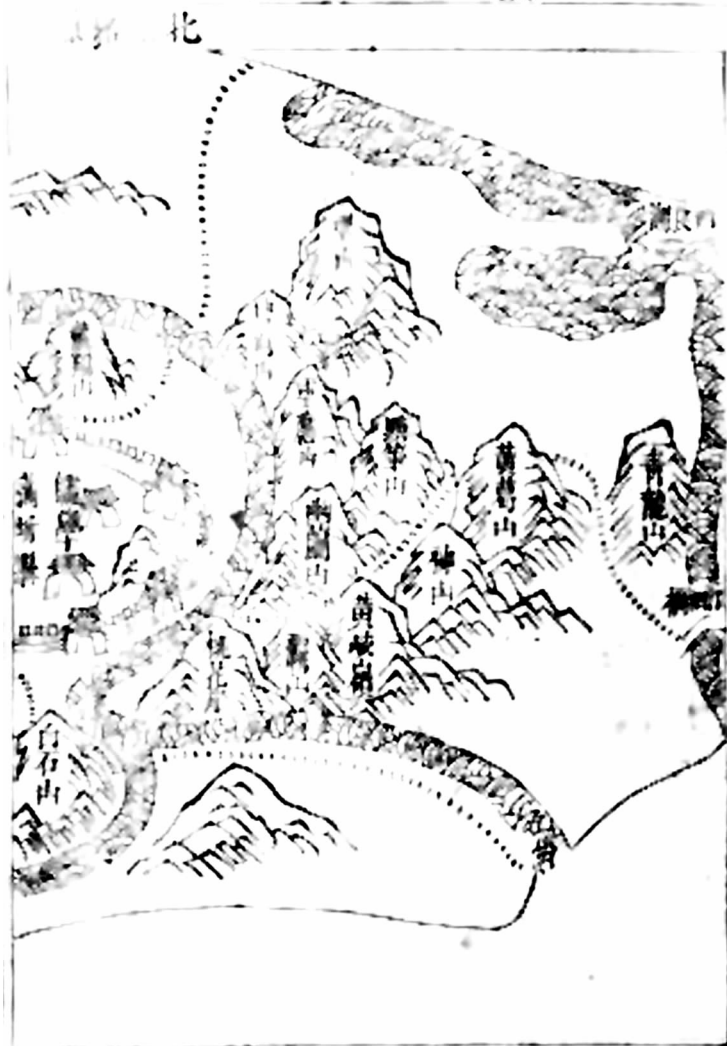


里十四里

蒲圻縣圖左

蒲 圻

東至武寧縣界七十里



南至崇陽縣

蒲圻縣圖右

圖

縣

里十三

西至通城縣界六十五里



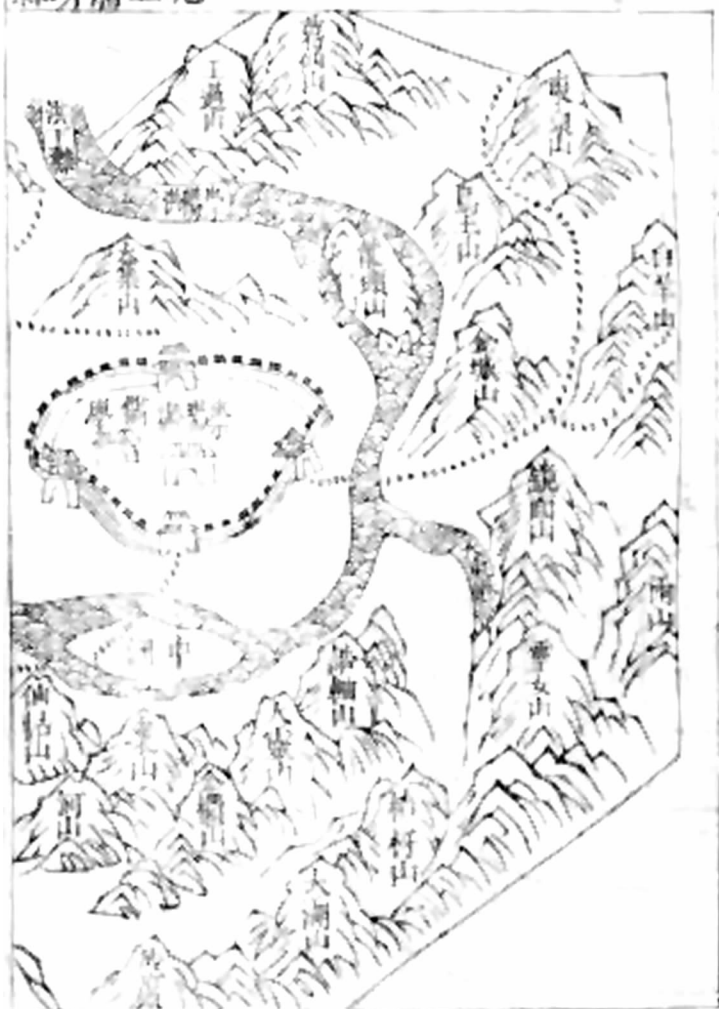
里十二百一

崇阳县图左

崇陽

縣城至北

東至通山縣界四十五里



寧廣昌南西江至南

崇阳县图右

圖 縣

里十

西至岳州府臨湘縣界四十里



里十四

通城县图左

通城

北至崇陽

東至崇陽縣界四十五里



南至岳州府平

通城县图右

圖

州

里

西至通山縣界二百三十里



里十四百一

興國州圖左

興 國

東至江西九江府瑞昌縣界九十里



兴国州图右

圖

里十五

西至武昌縣界四十五里



里半界

大冶縣圖左

大 治

北至武昌

東至興國州界三十里



南至毗鄰

大冶县图右

圖

縣

里十三界

西至崇陽縣界四十五里



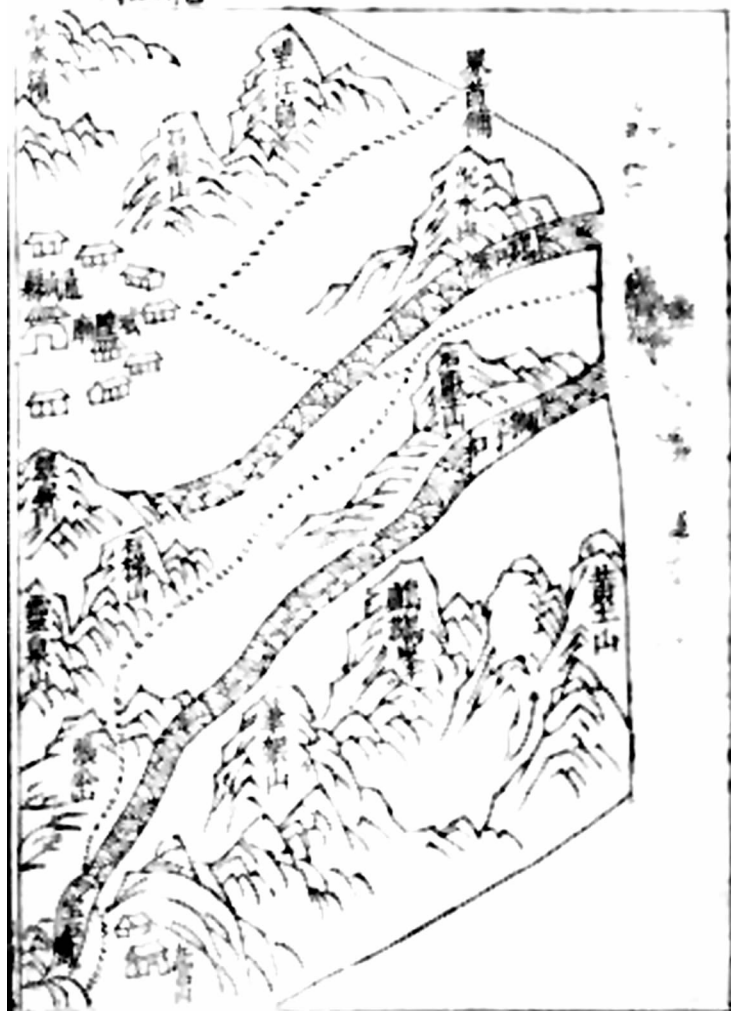
里十八界縣

通山县图左

東至興國州界三十里

通山

北至大興



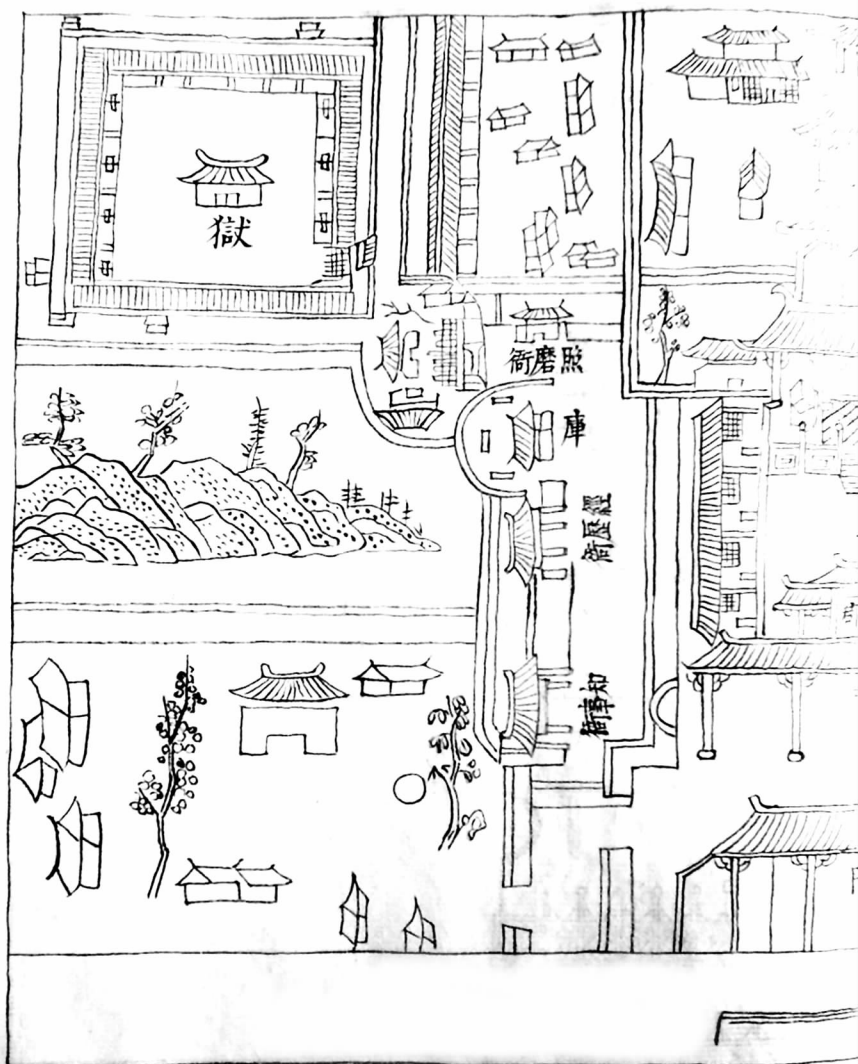
南至江西廣昌

通山县图右

圖

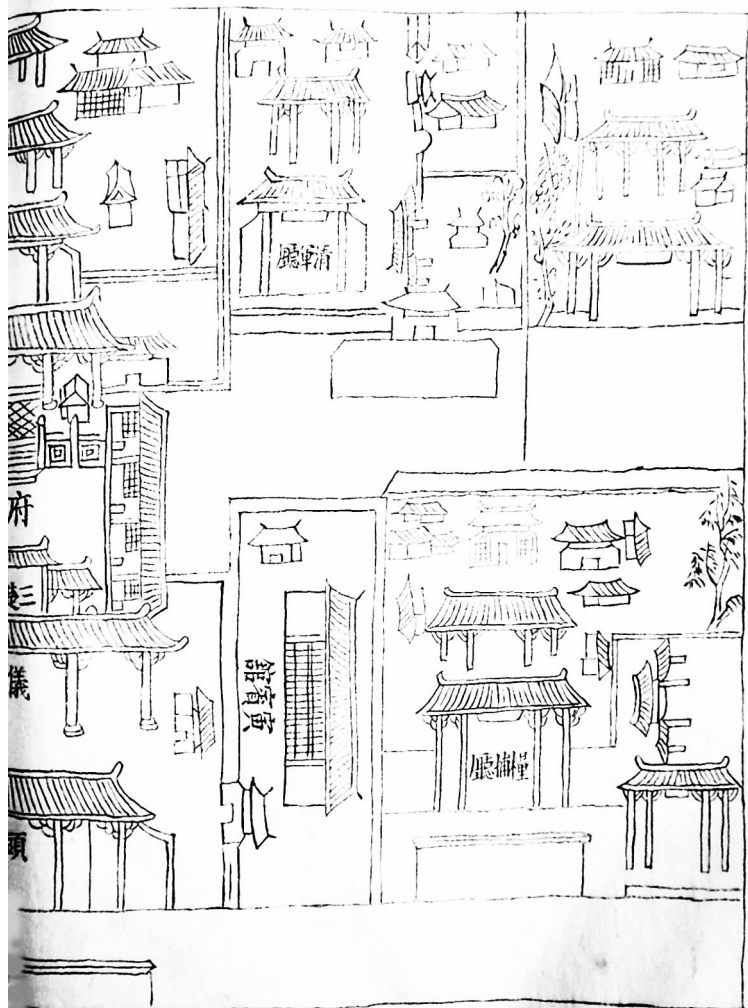
署

公



武昌府公署圖左

武昌府

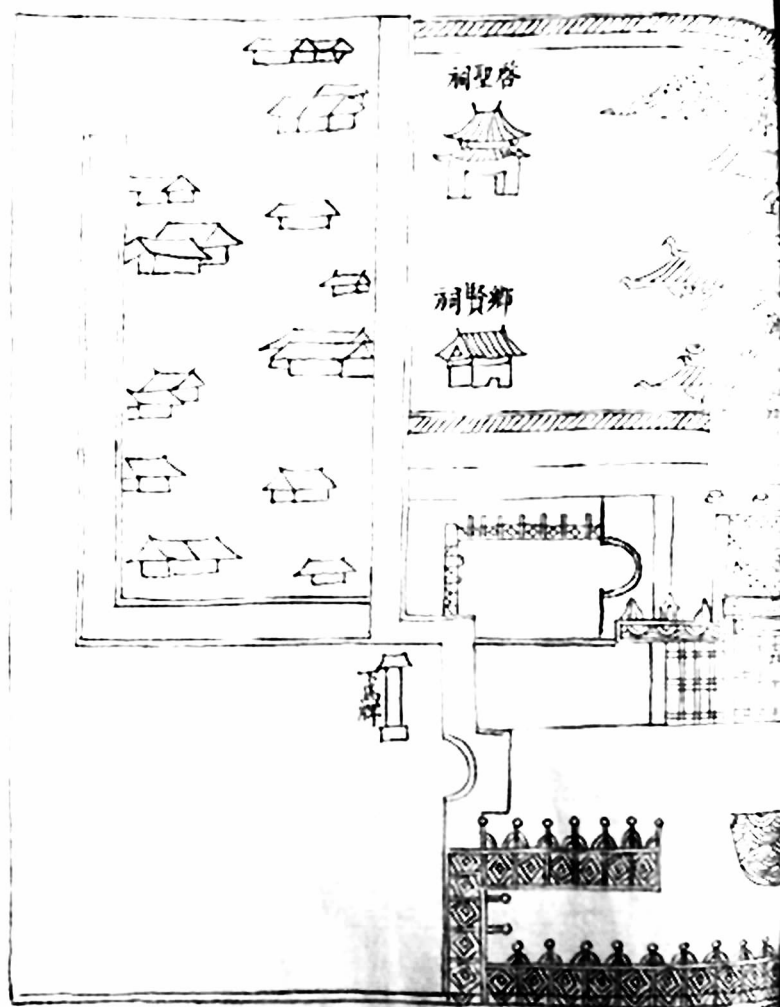


武昌府公署图右

圖

宮

學

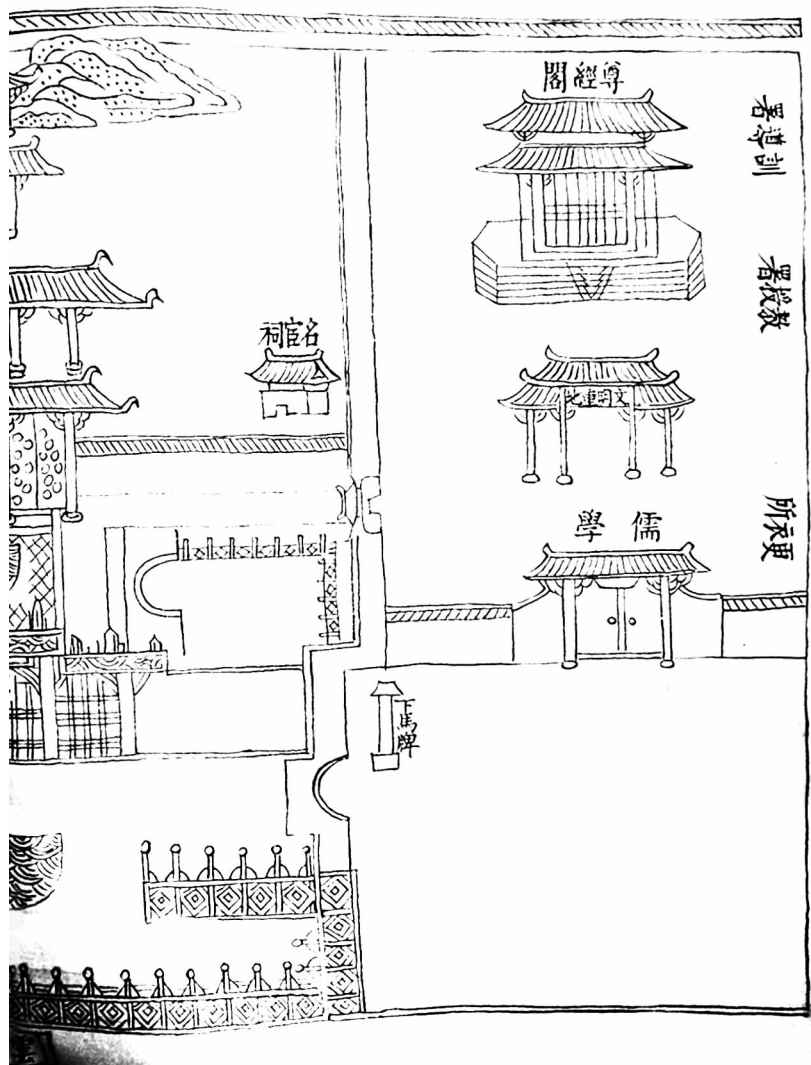


武昌府學宮圖左

府

昌

武



武昌府學宮圖右

星野志

星野见于《保章》^①，襍祥始于《左传》。后来称引，鬼谷^②、张良，识者不胜嗤笑。然而，人道虽迩^③，天道不远。故在天垂象、在物见变曰襍，吉凶之兆曰祥。是以圣人畏焉。

旧说：楚当翼轸；而武昌入翼十二度，入轸亦十二度；东南属邑，有拦入斗分者^④。或谓：在天一度，应地二千九百二十三里。今环武属，不过千里，而遥郡既入翼，不当复兼轸斗也。其说如此，旧《志》必首星野^⑤，无所发明^⑥，今姑录大端^⑦。志《星野》。

武昌府

《周礼·保章氏》以星(土)[野]辨九州之地，封域皆有分星^⑧。郑注曰^⑨：“鹑尾^⑩，楚也。”《春秋元命苞》曰：“轸星，散为荆州^⑪。”江夏入轸十二度。

《史记·天官书》、《汉[书]·天文志》并云：“翼轸，荆楚^⑫。”注：“翼，二十二星；轸，四星：皆为鹑尾，在(巳)[巴]楚之分。”又曰：“吴楚

① 《保章》：《周礼·春官·保章氏》。 ② 鬼谷：战国楚人。因隐居鬼谷，故自号鬼谷子。相传长于养性持身和纵横捭阖之术。这里指伪托其著的《鬼谷子》。 ③ 迩：近。 ④ 斗分：斗宿对应地域。斗宿：属北方玄武七宿。

⑤ 首：首先安排。 ⑥ 发明：阐发。 ⑦ 大端：大概。 ⑧ 分星：对应的星宿。 ⑨ 郑：东汉郑玄。 ⑩ 鹑尾：十二次之一，对应为南方朱雀七宿中的张、翼、轸。十二次：与二十八星宿同为黄道附近天空的分区， ⑪ 散：广义。

⑫ 荆楚：《汉书》作荆州。

之疆，候在荧惑^①，占于(乌)[鸟]衡^②。”

蔡邕《月令·章句》云：“起张^③十二度，至轸六度，为荆州。”

《晋[书]·天文志》：“翼轸，楚荆州。”“江夏入翼十二度。”

《星经》^④：“玉衡^⑤，主荆州。”又云：“荧惑，主楚。”又云：“翼，二十二星，凡十九度；轸，四星，凡十七度。”

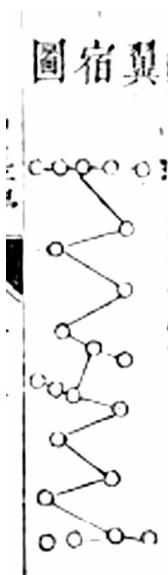
《宋志》^⑥：“天市西垣第二星曰楚^⑦。”又：“北斗第二星曰璇，其分楚^⑧。”

《元志》^⑨：“鄂州北极出地三十一度半^⑩。”苏辰图注：“轸十度，楚之尾。”

荆为《禹贡》九州之一^⑪，江夏附焉。历考星属，其辰巳。其北斗，玉衡(第五星)。其五星，荧惑。其五行，丙丁。其天市，西垣。其十二次，舍鹑尾。其二十八宿，翼轸。

① 候：同下文占，占候的代表星。荧惑：火星别名。因其隐现不定，运行奇特，使人迷惑，故名。唐张守节《史记正义》指出同鸟衡，为南方之星。② 鸟衡：星名。唐张守节《史记正义》认为即柳宿，亦属二十八宿中南方朱雀七宿。

③ 张：张宿，亦属二十八宿中南方朱雀七宿。④ 《星经》：古人合战国擅长天文之甘德、石申的天文著作而成。秦火后仅残余。传世本据清钱大昕考证，为后人采《晋书》、《隋书》的《天文志》而成。⑤ 玉衡：北斗第五星名。⑥ 《宋志》：《宋史·天文志》。⑦ 《宋史·天文志》为“天市垣：西蕃十一星：南一曰韩，二曰楚……”⑧ 《宋史·天文志》为“北斗二曰璇，其分楚”。⑨ 《元志》：《元史·天文志》。⑩ 《元史·天文志》在“四海测验”和“鄂州”下。⑪ 《禹贡》：《尚书》篇名。约成书于周秦之际，分当时中国为九州，保存了古代重要的地理资料。



翼宿圖



軫宿圖

江夏縣

附郭^①,分野與府同。

武昌縣

與府同

咸寧縣

與府同

嘉魚縣

與府同

^① 附郭:在府城附近。

蒲圻县

与府同

崇阳县

《志》云^①：“旧隶长沙^②，属轸度。”

通城县

《志》云：“旧隶南郡^③，属轸十二度。”

兴国州

《志》云：“介吴楚之间，属翼十二度、斗一度。”

大冶县

与州同

通山县

与州同

沿革志

志地里者，惟沿革为难，其间改徙、侨置不一。《春秋传》诸国、邑，杜预《注》惟据前、后汉书《地（里）[理]志》及晋所建立，其前无闻焉。

① 《志》：旧《志》，旧有的《武昌志》，不详。下同。 ② 长沙：郡名。

③ 南郡：秦白起攻楚取郢后置郡，汉有十八县，辖境东到武昌、黄冈。

江夏郡、县多非今武昌地。今之武昌，古为鄂渚，亦名夏口^①。夏口者，取对江夏渚名^②。自孙权割据，侨立武昌郡，使程普为太守，以阳新、沙羡属焉。沙羡，汉县，属江夏郡，今之江夏县也。羡，晋灼读如侠^③，又读如延，又读如衍。其地多沙汀，延衍百余里。《周礼·春官·典瑞》“羡以起度”注^④：“羡，长也。”羡之为字，从羊，从次。次，涎本字。俗讹从次，又以次讹作以，俗遂音以。旧《志》皆然，不悟其讹也。又如酈，或省作𪚩。《史记·春申[君列]传》“踰龟隘之塞”，今汝宁府罗山县也。汉黄香、黄琼皆江夏酈人；孟宗，本酈人，葬江夏郡之新阳^⑤，故《晋书·列传》孟陋，武昌人。旧《志》并收入江夏县，皆不详考沿革，致兹舛误。今《人物》列香、琼、宗、陋于江夏者，姑仍旧《志》。而疆理沿革，何可不详焉？悉考正于左。志《沿革》。

武昌府

《禹贡》荆州之域，天文翼轸分野。自周彝王时^⑥，地属楚。楚熊渠封其子红为鄂王，始名鄂。春秋时谓之夏渚。秦属南郡。汉置江夏郡，治沙羡。三国时，吴分江夏更置武昌郡，治武昌县，徙都焉。晋以武昌隶江州，江夏隶荆州。东晋更置汝南郡^⑦。刘宋于江夏县置江夏郡，兼置郢州。齐分郢为十四郡，江夏郡统六县。梁置上隼郡，分置北新州。隋平陈，改置鄂州。大业初^⑧，为江夏郡。唐复为鄂州。天宝初^⑨，改江夏郡。乾元初^⑩，复为鄂州，属江南道。元和初^⑪，升武昌军节度。五代

① 夏口：地名，即今武汉市江北地区，因为夏水汇入长江的入水口而得名。夏水：古河流名。约于今湖北省沙市东南分长江水而成，流至今湖北省沔阳（后称仙桃）县附近汇入汉江。下文中汉江也称夏水。② 夏渚：夏（汉）水汇入长江的地方，一说水北。③ 颜师古注引。④ 郑玄注。⑤ 新阳：三国吴析益阳县地置新阳县，晋称新康，隋并入益阳。唐复，寻省。故城在今湖南省宁乡县西十里。⑥ 彝：通夷，下同。⑦ 汝南郡：侨置，参见裴序。⑧ 大业：隋炀帝年号，公元605—618年。⑨ 天宝：唐玄宗年号，公元742—756年。⑩ 乾元：唐肃宗年号，公元758—760年。⑪ 元和：唐宪宗年号，公元806—820年。

时唐遥改武清军,南唐复为武昌军。宋开宝八年平江南^①,鄂州隶江南道,统县九:曰江夏、曰武昌、曰蒲圻、曰嘉鱼、曰崇阳、曰永安、曰永兴、曰通山、曰大冶;后以鄂州属荆湖北路。元至元中^②,置鄂州路;大德中^③,改武昌路。明洪武(甲)[丙]辰年改武昌府^④,领州一、县九。国朝因之。

江夏县

周彝王时楚子熊渠甚得江汉民和,乃封其中子红为鄂王,始名鄂。春秋时谓之夏汭。汭者,水入之名;一曰:水北也。秦分楚为四郡,江夏属南郡。汉高帝六年置江夏郡,治沙羡。今江夏县本汉沙羡地,属江夏郡。献帝时刘表据荆州,以黄祖为江夏守,始于沙羡置邑,即今江夏。吴孙权自公安徙都于鄂,分置江夏以县,属武昌郡。晋武帝太康元年平吴^⑤,以江夏隶荆州。东晋咸和中^⑥,以汝南民流寓夏口,乃创汝南郡,治涂口^⑦。太元降为汝南县^⑧,复隶江夏郡。刘宋复于沙羡置江夏郡。兼置郢州,治江夏。隋文帝平陈,改置鄂州。大业初,为江夏郡。寻废郡为鄂州,以州领县。改汝南曰江夏县,名江夏始此,犹治涂口。唐初改郡为州,贞观中改为鄂州^⑨。天宝初仍名江夏郡,乾元初复为鄂州。明初降陈理,改为省会,邑名如故。编户六十二里。国朝因之。

武昌县

春秋时,楚封鄂王于此。秦为鄂县,属南郡。汉属江夏郡。吴始改

① 开宝:宋太祖年号,公元968—976年。 ② 至元:元世祖、惠宗年号,公元1271—1294年、1335—1340年。 ③ 大德:元成宗年号,公元1297—1307年。 ④ 洪武:明太祖年号,公元1368—1398年。 ⑤ 太康:晋武帝年号,公元280—289年。 ⑥ 咸和:晋成帝年号,公元326—334年。 ⑦ 涂口:今金口,参见裴序。 ⑧ 太元:晋孝武帝年号,公元376—396年。 ⑨ 贞观:唐太宗年号,公元627—649年。

武昌县。晋别立鄂县，并隶武昌郡。隋省鄂县入武昌，唐因之，属鄂州。宋升为武昌军，后又更名寿昌军。元改武昌县，明仍旧。编户为三十七里，距府城东一百八十里。国朝因之。

咸宁县

咸宁，本隋江夏县南境。唐（太）[大]历初置永安镇，五代时吴杨行密改为场。南唐保（太）[大]十三年^①，割江夏南境三乡为永安县，隶鄂州。宋开宝初，改为咸宁县。元祐元年^②，又割蒲圻长乐乡以益之。元属武昌路，明属武昌府。编户一十六里，距府城南二百四十里。国朝因之。

嘉鱼县

嘉鱼县，汉入沙羡。晋太康元年，始著为沙阳县。梁升为沙州。隋废入蒲圻，为鲇洑镇，并沙羡为鄂州。五季南唐改镇为场^③，升元六年升场为县^④。保（太）[大]十一年，始升为嘉鱼县。其地有鱼岳山^⑤，取《诗》“南有嘉鱼”之义为名^⑥。元大德五年，改鄂州为武昌路。明复改路为府，嘉鱼为府属邑。编户一十二里，距府城西南二百四十里。国朝因之。

蒲圻县

蒲圻，汉沙羡县地。吴赤乌二年城沙羡^⑦，乃置蒲圻县于西良湖之圻^⑧。湖多蒲，故曰蒲圻。分武昌为两部，自武昌至蒲圻为右部。晋太

① 保大：南唐前主年号，公元943—957年。 ② 元祐：宋哲宗年号，公元1086—1094年。 ③ 五季：五代末年。 ④ 升元：南唐烈祖年号，公元937—942年。 ⑤ 鱼岳山：详《山川志》。 ⑥ 南有嘉鱼：《诗经》篇名。 ⑦ 赤乌：三国吴大帝年号，公元238—251年。城：筑城。 ⑧ 西良湖：详《山川志》。圻：通碛，岸。

康元年，分蒲圻置沙阳县。以沙阳、沙羡属武昌；以蒲圻属长沙。齐江夏郡统六县，蒲圻属之。梁属上雋郡，隋属江夏郡，并沙阳入蒲圻。唐高宗平萧铣，复置鄂州。统七县，一曰蒲圻。武德九年^①，以旧治邻水，多淤洳，乃迁于凤山监。绍兴二年^②，荆湖北路置鄂州，仍统七县，蒲圻隶焉。元至元十一年，属武昌路。明太祖讨陈理于武昌，降之，改武昌路为府。蒲圻编户三十里，距府城南三百六十里。国朝因之。

崇阳县

崇阳旧属鄂州。汉属长沙下雋县。梁置上雋郡，陈又置雋州，隋废，以其地入蒲圻。唐置唐年县。五代时，吴杨行密始改为宗阳县。南唐复曰唐年。宋熙宁五年^③，割通城镇为县，始名崇阳，属湖北路。间废，旋复。元仍其名，属武昌路。明属武昌府，编户一十一里，距府城东南四百二十五里。国朝因之。

通城县

春秋时，鄂属。秦，南郡。汉高帝六年，分南郡置下雋县，属长沙，吴、晋因之。梁置上雋郡。陈改雋州，齐改上雋县，俱隶巴陵。隋废州并入蒲圻，属鄂州。唐天宝中，属唐年县；元和中，始置通城镇。五代时，吴杨行密改唐年为宗阳。梁、晋又改临夏。南唐复为唐年。宋开宝八年，改宗阳为崇阳，置巡镇。熙宁五年，升通城镇为县。嘉定十五年^④，以武昌县升为寿昌军，领县七，通城属焉。绍兴五年，复降为镇，归崇阳。十七年，仍升为县。元仍之，属武昌路。明属武昌府。编户一十五里，距府城东南五百里。国朝因之。

① 武德：唐高祖年号，公元618—626年。 ② 绍兴：宋高宗年号，公元1131—1162年。 ③ 熙宁：宋神宗年号，公元1068—1077年。 ④ 嘉定：年号无此，熙宁五年至绍兴五年间无十五年者，疑误。

兴国州

州本秦南郡地。汉高帝六年^①，析南郡更置江夏郡，统县十四，下雉属焉。今兴国州昌平乡下洋有下雉潭。新莽^②，县改曰“闰光”。东汉献帝十三年，复为下雉县，属江夏郡。孙权自公安徙治鄂，更鄂曰武昌。析鄂之南郡置阳新，以武昌、下雉、浔阳、阳新、柴桑、沙羡六县为武昌郡。东晋义熙中^③，以吴头楚尾之交，废下雉入阳新。宋复隶武昌郡。隋开皇九年，置鄂州，废阳新县为富川县。十八年，改富川县曰永兴。唐太宗元年，分天下为十道，以鄂州隶江南。鄂州领县五，永兴隶焉。五代属吴。南唐以永兴县属地设通羊镇，置青山场兴炉冶。寻复以通羊镇置通山县，以青山场为大冶县。宋平江南，鄂州隶江南道，永兴属焉。太平兴国二年^④，以永兴县为永兴军。三年，升永兴军为兴国军，县仍为永兴，割鄂之大冶、通山属焉。元至元十二年，仍兴国军。十四年，升为兴国路，领永兴。至正十二年^⑤，伪将丁普郎^⑥、徐明达陷兴国，改兴国为军。十八年，伪汉陈友谅复改兴国为路。三十三年，明引兵取兴国，改为府。洪武九年，改为州，永兴县入焉，属武昌府。领县二，编户四十坊里。距府城东三百八十里。国朝因之。

大冶县

大冶，本隋武昌县地。至唐，皆永兴地。南唐置于永兴，置青山场，以兴铁冶。宋乾德间^⑦，升场并析武昌三乡置大冶县，仍属鄂州。太平兴国二年，改永兴为兴国军，割鄂之大冶属焉。元属兴国路。明改路为州，领大冶、通山二县，属武昌府。编户三十九里，距府城东二百五十

① 汉高帝：即汉高祖。 ② 新莽：王莽的新朝。 ③ 义熙：晋安帝年号，公元405—418年。 ④ 太平兴国：宋太宗年号，公元977—984年。 ⑤ 至正：元惠宗年号，公元1341—1368年。 ⑥ 伪：同下文伪汉，指与朱元璋对峙的另一起义领袖陈友谅建立的汉政权。 ⑦ 乾德：宋太祖年号，公元963—968年。

里。国朝因之。

通山县

旧《志》云：通山本汉下雎地。三国吴为阳新。隋末为永兴县之新丰，属鄂州。唐因之。五代时，杨行密起铁冶，置羊山镇征赋。南唐始置通山县。旧有青山镇、通羊镇，各摘一字而以“通山”名县。宋太平兴国三年改羊山，寻复通山。绍兴四年，仍降为镇。五年，复为县，属兴国军。元仍之。明编户为六里，距府城东南四百八十里。国朝因之。

方域志

惟王建国，画疆分野^①，既绣错而区^②，亦犬牙相制^③。其为维系，至深远也。后世土断不分，于是有衅起争桑、怨成瓠脱之事矣^④。武昌统十属而为郡，其地缩于西北而盈于东南。考其道里之远近、限界之绸缪^⑤，封守形势、控扼机宜，了然可知矣志《方域》。

武昌府

四至^⑥

东至江西九江府瑞昌县界五百二十二里，西至汉阳府汉阳县界七里，南至岳州府临湘县四百里，北至黄州府黄冈县七十二里。自府至京师二千八百八十五里。

① 画：划分。② 绣错：错杂如绣。区：区分。③ 犬牙相制：像犬牙一样互相交错，以相互牵制。④ 衅起争桑，怨成瓠脱：因争桑树，变成仇敌。瓠脱：屯戍和守望的土堡。这里指戒备和敌视。⑤ 绸缪：曲折。⑥ 四至：四边所至，即四面边境的情况。下同。

统属 九县一州

江夏县 附郭 武昌县 咸宁县 嘉鱼县 蒲圻县
崇阳县 通城县 兴国州 大冶县 通山县

形胜

江汉为池^①，襟带吴楚^②。南抵五岭，北通襄汉。控接湘川雍梁津要^③。至孙吴夏口筑城，坚号“万人之敌”^④；梁齐军屯冲要，险称烽火之山^⑤。尤为境内之纲领，防守之重地云。

江夏县

四至

东至武昌县界七十二里，南至咸宁县界一百三十七里，西渡江至汉阳县界七里三分，北至黄冈县界七十二里。

编户^⑥ 六十二里^⑦

兴仁里	崇文二	崇文三	附城村	从善村	附籍一
附籍二	仁受里	茂和里	嘉会里	宣明里	弼化里
崇文一	河街一	河街二	河街三	河街四	草埠村
通会一	通会二	来苏二	来苏三	来苏四	永丰一
永丰二	上西一	上西二	下西径	横山村	招贤村
保安一	保安二	太平一	太平二	黄合一	黄合二
上恩一	上恩二	下恩武	修贤一	修贤二	修贤三
夹山一	夹山二	夹山三	龙泉一	龙泉二	龙泉三
湘东一	湘东二	湘东三	长乐村	积善一	积善二

① 池：护城河，堑壕。 ② 襟带：控制。 ③ 抵、控、接：同通，指交通可达。 ④ 万人之敌：夏口城号，详《建置志》。 ⑤ 烽火之山：详《山川志》

⑥ 编户：在编民户。下同。 ⑦ 里：古代地方行政组织。

依仁一 依仁二 依仁三 三城一 三城二 三城三
三城四 积善三

按：顺治三年^①，下恩里、二里归并上恩一里，为六十二里。

形胜

西有长江之险，东有九峰之隘^②。山川环护，风气所钟。其金城壁峭如城^③。吴陆渙曾屯兵旅夏汭^④，要扼夏首^⑤。梁侯瑱尝积糗粮夜泊山^⑥，与白杨湖^⑦、曹公城及黄军浦^⑧，均属地利，往迹攸存^⑨。

武昌县

四至

东至蕲州白田洲界八十里，西至江夏县严婆丘界一百二十里，北至黄冈县大江心五里，南至大冶县“大驿路”界十五里。又南跨大冶至咸宁一百五十里。

编户 三十七里

洪道乡三里	永福乡三里	神山乡五里	贤庾乡四里
符石乡四里	灵溪乡七里	马迹乡八里	县市三里

形胜

地襟江、沔，依阻湖、山。郎亭踞樊山之峻^⑩，逻洲扼三江之流^⑪。

① 顺治：清世祖年号，公元1644—1661年。 ② 九峰：山名，详《山川志》。
③ 金城：山名，详《山川志》。 ④ 陆渙：吴江夏太守。 ⑤ 夏首：义同夏口。
⑥ 侯瑱：大都督，江州刺史。夜泊山：详《山川志》。 ⑦ 白杨湖：又作白杨浦，详《山川志》。 ⑧ 曹公城：夏口城号，详《建置志》。黄军浦：详《山川志》。
⑨ 往迹：古迹。攸：谓词词头，无义。 ⑩ 郎亭：山名，详《山川志》。踞：依托。樊山：山名，详《山川志》。 ⑪ 逻洲：一名芦洲，详《山川志》。三江：诸江河的泛称。

实为楚东之门户，昔人故称“樊楚”。

咸宁县

四至

东至兴国州界五十里，西至蒲圻县界三十里，南至通山县界五十里，北至江夏县界四十五里。又北至府城二百四十里。

编户 一十六里

一都	二都	三都	四都	上五都	下五都
六都	上七都	下七都	八都	九都	十都
上十一都	十二都	上十三都	下十三都		

形胜

鄂渚上游，控扼险阻。铜鼓山称雄峙^①，宿曹湖作寨沟^②。唇齿辅车，实相倚赖。

嘉鱼县

四至

东至咸宁界八十里，南至蒲圻界茗山五十五里^③，西至临湘县界“新店”一百三十七里，北至汉阳县界“潦水甲”一百里。

编户 一十二里

宣化里	广贤里	净居里	清洪里	受澌里	丰义里
邵陵里	西安里	石塘里	上怀仁里	下怀仁里	
左湖里					

① 铜鼓山：又称铜鼓尖山，详《山川志》。 ② 宿曹湖：详《山川志》。寨沟：护城河。 ③ 茗山：详《山川志》。

形胜

地势蜿蜒，襟山带水。龙潭、鱼岳之奇^①，牛首^②、马鞍之秀^③，罗立森蔚^④；而赤壁山耸峙西南^⑤，岳公城蟠护东北^⑥。属邑之胜，斯其选矣。

蒲圻县

四至

东至咸宁县界汀泗桥七十里^⑦，西至临湘乡界新店四十里，南至崇阳县界壶头四十里^⑧，北至嘉鱼县界障山四十里。

编户 三十里

一七都上	一七都下	二四都上	三 都
三都下	五 都	六、八都	九 都
十 都	十一、三都	十四、五都	十四都下
十八都上	十八都下	十九都上	十九都下
十五都	十六都	二十三、四、五都上	
二十六都	二十七都	二十三、四、五都下	
上三十都上	上三十都下	下三十都上	
下三十都下	三十二、四都上	三十二、四都下	
县市上	县市下		

形胜

凤凰蹲其前，龙翔峙其北。东则丰财矗胜，西则马鞍关锁^⑨。川岩

① 龙潭、鱼岳：山名，详《山川志》。 ② 牛首：即牛头山，详《山川志》。

③ 马鞍：与牛首并列、对偶，似亦山名，《山川志》嘉鱼县无，疑有误。 ④ 罗立：围绕耸立。森蔚：树林繁茂。 ⑤ 赤壁山：详《山川志》。 ⑥ 岳公城：关隘名，详《建置志》。 ⑦ 汀泗桥：桥名，参见《建置志》。 ⑧ 壶头：山名，详《山川志》。 ⑨ 凤凰、龙翔、丰财、马鞍：皆山名，详《山川志》。关锁：成为关隘。

萦绕,灵杰攸钟^①。

崇阳县

四至

东至通山县界地名白羊四十五里^②,西至通城县界地名小井六十五里,南至江西南昌府宁州界地名太原一百二十里,北至蒲圻县界地名壶头三十里^③。

编户 十一里

县市里	仁上里	仁下里	钦上里	十都	十一都
平上里	平下里	仁义里	乌石里	下里	

形胜

山有龙头、羊角,岭有乌旻、鸡鸣^④,燕子高翔,桃花远映,层峰叠翠,引人入胜。

通城县

四至

东至崇阳县鸡鸣岭四十五里^⑤,南至平江县元乌岭四十里^⑥,西至临湘县楚门界四十一里,北至崇阳县柘桥十里^⑦。

编户 一十五里

在坊里	盘庚里	石桥里	朱良里	上太里	下太里
-----	-----	-----	-----	-----	-----

① 钟:汇聚。 ② 白羊:二县间有白羊山,详《山川志》。 ③ 壶头:山名,详《山川志》蒲圻县。 ④ 龙头、羊角,乌旻、鸡鸣:龙头崖、羊角峰、乌旻峰、鸡鸣峰,详《山川志》。 ⑤ 鸡鸣岭:鸡鸣峰,详《山川志》。 ⑥ 元乌岭:详本县《山川志》。 ⑦ 柘桥:桥名,详《建置志》。

莆田里	崇仙里	修竹里	梓木里	辛安里	上黄里
下黄里	来苏里	上善里			

形胜

背隗水^①，面(银)[锡]山。东连幕阜、黄龙之奇^②，西挹洞庭^③、衡岳之胜^④。泉源四达，津要咽喉^⑤。

兴国州

四至

东至江西九江府瑞昌县界九十里，南至江西南昌府武宁县界一百四十里，西至通山县界一百三十里，北至江边黄颡口六十里江中^⑥，与黄州府蕲州分属。

编户 四十里

宣化里	丰义里	丰叶里	福庆里	长庆里	安乐里
上丰乐	下丰乐	新安里	修净里	归化里	上乐平
下乐平	修善里	仁义里	永福里	鸡口里	慈口里
宣教里	上阳辛 ^⑦	下阳辛	朝阳里	辛兴里	永城里
乐岁里	崇仁里	怀仁里	善福里	宝政里	辛亭里
永章里	东乡里	兴教里	崇庆里	兴瑞里	上双迁
下双迁	中丰乐	尊贤坊	宣化坊		

① 隗水：河流名，详《山川志》。 ② 幕阜、黄龙：俱山名，详《山川志》。

③ 挹：衬托。 ④ 洞庭、衡岳：洞庭湖和南岳衡山。 ⑤ 津要咽喉：渡口、要道像人的咽喉一样紧要。 ⑥ 黄颡口：地名，详《建置志》。 ⑦ 辛：疑“新”同音误。下同。

形胜

南北皆湖，城依山麓，江环溪绕，雄跨一方^①。

大冶县

四至

南至兴国州湖界半里，东至兴国州界三十里，北至武昌县界七十五里，西至武昌县界四十五里。

编户 二十五里

茅泽里四	兴国里一	云程里二	顾县里二	宫台里二
果城里二	启石里二	西阳里三	流水里四	章山里一
道士里一	坊市里一			

形胜

水激湫流^②，峰高西塞^③，湖山表里，实为奥区^④。

通山县

四至

东至兴国州界三十里，南至江西武宁界八十里，西至崇阳界四十五里，北至咸宁界三十里。

编户 六里

一 都 二 都 三 都 四 都 五 都 六 都

① 跨：坐落。 ② 湫：道士湫，详《山川志》。 ③ 西塞：西塞山，详《山川志》。 ④ 奥区：险固之地。

形胜

前列翠屏,后枕罗阜。东南扼九宫之岑嶺,西北襟散水之萦回^①。

建置志

分土建邦,惟城池、关隘、仓廩、庠序为大^②。廨署所以出政,坊里所以居民。《汉志》县有聚^③、有乡、有亭^④、有铁官^⑤,必书^⑥。而驿馆^⑦、津梁^⑧,今皆得书焉。观于城 域,则知废兴、建立之故;观于关隘,则知道路、攻守之形。耕三积九^⑨,以防兵凶;诵《诗》读《书》,以淑风化。《传》曰:“入其国,其教可知也。”^⑩王者省风^⑪,城郭不完^⑫,仓廩不备,则有让^⑬。是以苏秦立说,必本山河;萧何入秦,先收图籍:不綦重哉^⑭?武昌属地,皆咽喉冲要。故志《建置》,次于《方域》焉。

城池

府城旧在黄鹄山,孙吴赤乌中筑^⑮,谓之夏口。墉山堑江^⑯,周二三里。对岸为沔津^⑰,故以夏口名。刘宋更名郢城,历代因之。明洪武四年,周德兴增拓修筑^⑱,周二十里有奇,计三千九十八丈。东南高二丈

① 翠屏、罗阜、九宫、散水:翠屏山、罗阜山、九宫山、散水岭。详《山川志》。岑嶺 zú lì:高峻的样子。萦回:曲折的样子。 ② 庠序:古代地方学校。

③ 《汉志》:《汉书·地理志》 ④ 聚、乡、亭:皆古代基层居民组织。 ⑤ 铁官:古代掌管铁等冶炼铸造的官署。 ⑥ 书:记载。 ⑦ 驿馆:古代官方设置的驿站、宾馆。 ⑧ 津梁:渡口、桥梁。 ⑨ 耕三积九:古人对粮食生产和积蓄关系的概略说法。耕种三年,有一年之蓄;耕种九年,有三年之蓄。 ⑩ 见《礼记·经解》。传:与经相对而言,对儒经的解释。 ⑪ 王者省风:天子考察治理情况。

⑫ 完:完备。 ⑬ 让:责备。 ⑭ 綦:极。 ⑮ 赤乌:吴大帝孙权年号,公元238—250年。 ⑯ 墉山堑江:以山为城,以江为护城河。 ⑰ 沔津:汉江岸,指汉江汇入口。 ⑱ 周德兴:濠人。从朱元璋征讨,功多。又屡平蛮寇,建海防之策。后坐子骥乱宫,被诛。

一尺，西北高三丈九尺。池周三千三百四十三丈，深一丈九尺，阔二丈六尺。为门九个，称东曰大东、小东，西曰竹簰、汉阳、平湖，南曰新南、保安、望山，北曰草埠。嘉靖十四年^①，御史顾璘重修^②。门仍九，题大东曰宾阳，小东曰忠孝，竹簰曰文昌，新南曰中和，草埠曰武胜。国朝因之。康熙二十四年，督、抚率同城属吏修葺焉。

关隘

武昌府：地当江汉，三国时用武之地，上、下流各控扼数千里。环山而城，天堑为固。东北为夏口城，梁为曹公城，宋为万人敌城。依冈负险，形势最雄。

官署

总督部院 在望山门内 巡抚都察院 旧在凤凰山西南，顺治十二年，迁于前所营。 北察院 在督粮道署左，今为差使驻骅之所^③。 布政使司 黄鹤山北。康熙四年，布政刘显贵重建。 按察使司 在黄鹤山 分守道 在前所营 粮储道 在前府街 驿盐道 在前所营 督学道 在驿盐道右 都指挥使司 在文昌门内 武昌府 在汉阳门内，明季兵燹。顺治七年，知府王维屏重建。康熙十八年，杜毓秀重修。 清军厅 堂左 粮捕厅 堂左 经历司 堂右 知事衙 堂右 照磨所 堂右 司狱司 府西 阴阳学 医学 府城隍庙左 僧纲司 五大寺轮管 道纪司 在武当宫 料钞厂 在汉阳门外 宝源局 在按察司东南 养济院 在忠孝门外 迎恩馆 在汉阳门外 贡院 在凤凰山前。号舍旧皆板屋，明万历元年，布政司施尧臣、陈瑞易以砖瓦。 公衙门 在明废藩城前。康熙二十四年，总督徐公捐貲建，委中军傅尔学董

① 嘉靖：明世宗年号，公元1522—1566年。 ② 顾璘：字华玉。弘治进士，仕至南京刑部尚书。少负才名，多著述。 ③ 骅 fēi：古代驾车的马。

其役。凡遇庆贺大典及审录诸公务，率僚属皆在焉。 教场 在武胜门外 小教场 在废藩左，巡抚刘兆麒创建。

仓廩

军民永利仓 在城西南滨江 常平仓 在平湖门内 南粮仓 在花堤

江夏县

关隘

武昌府附郭。东北四十里曰烽火山，上为烽火城。〔东南〕二百里曰金城山。北三十里为浒黄洲镇，南五里为鲇鱼口镇，南六十里为金口镇。

官署

大堂 后堂 大门 仪门 县治旧在石子冈，后屡迁。明洪武九年封建楚王，又徙汉阳门内府治之右。知县叶奉翔以規制狭隘，又改建凤凰山下。其后修葺不一。 东西二库 六房吏舍 内衙 寅宾馆 狱舍 县丞署 堂左 主簿署 今裁 典史署 旧在堂左，今出居民房。 鲇鱼口镇巡检司 浒黄洲镇巡检司 金口镇巡检司 夏口水驿 金口水驿 将台马驿 东湖马驿 山陂马驿 仓廩府同

坊镇

仁受上	仁受下	崇文二	崇文四	崇文七
通茂兴	保护营	宾阳中和	金沙洲	保新一
保新二	保新三	大东门外	马头营	驾园铺
中所	大新接上	大新接下	河街三四铺	新有局
河街十铺	河街六九铺	新左二	新兴一	新兴三

新兴五	右零前	前所营	后所营	崇文五
-----	-----	-----	-----	-----

铺递^①

总 铺	长虹铺	和尚铺	新馆铺	石子岭
纸 坊	又狮子桥	龙泉铺	新市铺	聚仙铺
诚信铺	潘杲铺	将台铺	冷水铺	长山铺
土桥铺	山口铺	孟城铺	横山铺	青山铺
官屯铺				

桥梁

洋子江	八分渡	白洋渡	游家渡	山门渡
冶塘渡	南嘴渡	北嘴渡	得胜桥	分金桥
滋阳桥	明月桥	清风桥		

伏龙桥 中和门内。晋许逊自豫章逐蛟至此,蛟化为白驴伏桥下。

苍龙桥	平湖桥	升仙桥	广平桥	青石桥
-----	-----	-----	-----	-----

新 桥	在保安门外,今废。	长虹桥	踏泊桥
-----	-----------	-----	-----

老人桥	龙穴桥	白洋桥	李家桥	后更弘济桥
-----	-----	-----	-----	-------

张公桥	太平桥	狮子桥	见铺[递]	雨落桥
-----	-----	-----	-------	-----

果盒桥 在县南百一十里聚仙铺。桥顶有石,镌形似果盒。相传仙人对弈,有持果盒而献者,故名焉。

仙人桥	青林桥	冶湖桥	上塞桥	雷公桥
-----	-----	-----	-----	-----

曾家桥	廖家桥	阳福桥	花 堤	万金堤
-----	-----	-----	-----	-----

郭公堤	江 堤	路 堤
-----	-----	-----

① 铺递:犹驿递。铺,驿站。

武昌县

城池

县旧无城,隋大业元年,始筑土城,唐中和废^①。宋嘉祐间^②,升为武昌军。四隅为门:东曰鸣凤,西曰文昌,南曰朝都,北曰镇江。后废。明天顺间,知县杨子奎于各门创谯楼^③。嘉靖间,张铎始建县衙、卫舍。万历初^④,李有朋创举三十七里^⑤,就山凿石,期月告成^⑥。榜其四门^⑦:东曰通淮,南曰文昌,西曰望楚,北曰朝京。崇祯末^⑧,邹逢吉增筑沿城窝铺于雉堞间^⑨,以资守御^⑩。国朝康熙九年,知县熊登增高女墙数尺,次年修讫。

关隘

武昌北枕大江^⑪:西南五里曰樊口。东一里为金子矶。西四里为樊山戍。东为鸡鸣关,为上碛矶。东三十里为赤土矶。西九十里为白湖镇。南百二十里为金牛镇,其江洋关隘曰三江口。大江中有洲二,江分为三,盗尝出没。

官署

大 门 仪 门 戒石亭

听政堂 顺治十五年,知县张春枝建。 东 库 西 库

架阁库 六房吏舍 寅宾馆 土地祠

县丞衙舍 县堂左 典史衙舍 县堂右

① 中和:唐僖宗年号,公元881—885年。 ② 嘉祐:宋仁宗年号,公元1056—1063年。 ③ 谯楼:城门上的瞭望楼。 ④ 万历:明神宗年号,公元1573—1620年。 ⑤ 创举:创建。 ⑥ 期月:一个月。 ⑦ 榜:题名。

⑧ 崇祯:明毅宗年号,公元1628—1644年。 ⑨ 雉堞:城上矮墙,也泛指城墙。

⑩ 资:助。 ⑪ 枕:倚靠。

谯楼 康熙元年，知县熊登建。 狱舍 在谯楼左，今废，基存。
 申明亭 在县门东，今废。 旌善亭 在县门西，今废。
 布、按分司二司 府馆 公馆
 金子矾巡检司 在金牛镇，县南一百三十里。
 白湖镇巡检司 在县西八十里
 河泊所 旧有六，舍宇俱坏，今仅一所。
 僧会司 县治东报恩寺，今废。 演武厅 县西
 金牛镇公馆 今废 医学 今废 社学 今废 阴阳学

仓廩

预备仓 今废 东仓 在洪道乡 南仓 在马迹 西
 仓 在贤庾乡，俱废。

坊镇

仁爱坊	绣衣坊	依连坊	胜景坊	双桂坊
通津坊	肃清坊	孝感坊	崇儒坊	熙春坊
儒英坊	儒林坊	寿安坊	太平坊	文昌坊
升平坊	厚俗坊	善胜坊	思贤坊	爱道坊
岱宗坊	崇政坊	瑞秀坊	宣化坊	通淮坊
牧马港坊	宝山坊	倬甫坊	行人汊坊	梁子坊
傅老坊	石潭港坊	碎石坊	龙坑坊	板门坑坊
芦洲坊	宿口坊	向家埠坊	休口坊	槲林坊
严池坊	白鹿坊	迹矾坊	金子矾镇	县西，今废。
大追坊	赤土矾镇	县东，今废。	三江口镇	县西
武昌镇	县东	白湖镇	县西	
金牛镇	县南	华容镇	县西	保安镇

彝市 县东。陶侃为武昌太守，与五水诸蛮市易之所。
 葛店 县西

铺递

总 铺	水口铺	平安铺	梅城铺	神山铺
新桥铺	华容铺	松岭铺	各铺原有邮亭,今废。	

桥梁

益家桥	韩婆桥	蟠龙桥	卧仙桥	百花桥
太平桥	万松桥	寒溪桥		
寒溪旧石桥	石上有指迹,白昼时屡晦屡见,久而不没。			
石盘桥	南湖桥	清思桥	牧马港桥	马 桥
丁 桥	梅 桥	新 桥	拓 桥	石 桥
大 桥	鹤龙桥	桌木桥	泗洲桥	黄龙桥
黄荆桥	走马石桥	天远桥	义 堤	清思堤
石盘堤	水泾堤	马桥堤	南湖桥堤	七星塘
洪道乡塘六所	永福乡塘五所	符石乡塘十所		
神山乡塘十四所	灵溪乡塘八所	马迹乡塘九所		
贤庾乡塘七所				

咸宁县

城池

旧未有城,明万历六年,知县万应蛟建。周六百八十八丈五尺,高一丈九尺,厚一丈二尺。水洞四。城门四:东曰升阳,西曰便民,南曰来薰,北曰带河。今因之。

关隘

咸宁西五里为成山,四面峻峭,惟一径可入^①。聚粮保守,贼不能窥焉。

^① 径:小路。

官署

正 堂	泊 水	后 堂	仪 门	大 门
库 楼	应宿楼	环翠楼	六房东西	架阁库
戒石亭	土地祠	仪杖库	典史宅	寅宾馆
县 狱	榜 房	铜壶滴漏	知县张兴祖建,今废。	

布、按分司二司府公署 今废,与分司旧址并为民居。

河泊所	驿丞宅	养济院	医 学
-----	-----	-----	-----

阴阳学 置、废与医学同。

仓廩

永丰仓	预备仓有五	东 仓	西 仓	南 仓
北 仓	在市仓 与永丰廩相对			

便民仓 旧在西河畔,屡迁屡废。

坊镇

明德坊	新民坊	宣化坊	顾贤坊	毓秀坊	激浊坊
扬清坊	生贤坊	三元坊	都宪坊	绣衣坊	豸冠坊
解元坊	忠谏坊	都谏坊	忠臣坊	恩荣坊	怀义坊
由义坊	皇华坊	节义坊	马埠镇	河下镇	下马镇
龙潭镇	黄赤镇	长堤镇			

铺递

官埠铺	驾城铺	桃林铺	杨山铺	马桥铺	赤冈铺
马家桥铺	白沙铺				

桥梁

三元桥	富庶桥	下石桥	西河桥	金塘桥	鹿角桥
朱紫桥	下好桥	上好桥	皇凤桥	黄家桥	东川桥
官埠桥	横沟桥	驾城桥	小金桥	弘济桥	便道桥

北洪桥	马 桥	平家桥	丁泗桥	竹割桥	姑嫂桥
马家桥	黄巨桥	白沙桥	游家桥	芙蓉桥	杨湖桥
洗马桥	黄石桥	观山桥	贺胜桥	罗家渡	张沙渡
官船渡					

嘉鱼县

城池

县旧无城，明正统时，土垣木栅，环治以居。万历间改筑。高不及三雉，阔可及寻；周围四里；东西广里余，南北袤二里。为门四：曰望东，曰南薰，曰西成，曰（止）〔北〕钥。国朝增修，居民赖焉。

关隘

嘉鱼西七十里，曰赤壁山、乌林矶。西北八十里，为石头口镇。东北为岳公城，四十里为簰（州）〔洲〕镇。

官署

县 门	仪 门	大 堂	后 堂	架 阁
穿 堂	司房东西	知县宅	跻春台	在内衙
典史衙	在治署之东	佐理厅	典史宅	在衙后
申明、旌善二亭	在县门西，今废。			
图 匾	布、按二司分司	俱废	公 馆	在县东，今废。
簰（州）〔洲〕镇巡检司	在县北	簰（州）〔洲〕水驿	在县北	
石头口巡检司	在县西	鱼山水驿	在县北	
石头口水驿	在县西	黄冈湖河泊所	旧有四所，今废其三。	
僧会司	道会司	俱废	税（稞）〔课〕局	在县西，今废。
惠民药局	阴阳学	医 学	养济院	俱废

仓廩

漕粮仓 今为城守营房 积谷仓 盈置仓 预备仓四处
南 仓 东 仓 西 仓 北 仓 俱废
预备仓 在县治东,今亦废焉。

坊镇

承流坊	宣化坊	文庙坊	育贤坊	崇儒坊
里仁坊	丰乐坊	(昼)[画]锦坊		解元坊
迎恩坊	折桂坊	青云坊	云梯坊	继芳坊
石头口镇	簪洲镇			

铺递

县前铺 石井铺 录岭铺 舒桥铺 洪水铺

桥梁

龙津桥	大通桥	梅漈桥	静宝桥	熟湖桥
官 桥	舒 桥	大桥渡	头陀港渡	三港渡
上夹口渡	六溪口渡	石头口渡		

驾部口[渡] 在县东。宋景帝迎文帝于江陵。文帝至,龙跃负舟在此,故名。

蒲圻县

城池

蒲圻城池周七百丈,高一丈七尺。城楼凡六:南曰迎薰,北曰拱极,东曰聚奎,西曰宝成;又西曰丰乐,又北曰水门。明万历三年,胡其高创建。国朝康熙初知县张圻隆重修。

关隘

蒲圻南八十里,为羊楼镇。

官署

正 堂	穿 堂	赞政厅	丰财库
仪(伏)[仗]库		架阁库	戒石亭
仪 门	寅宾馆	吏 廨	狴 狴 仓 监
谯 楼	县丞宅	主簿宅	典史宅
钟鼓楼	今废	旌善亭	申明亭 俱废
布、按分司	二司	府 馆	汀泗公馆 巡检司
凤山驿	县北	官塘驿	县东
港口驿	县西	河泊所	税(稞)[课]司
惠民药局	俱久废	养济院	县南
僧会司	道会司		
演武场	旧在县西北云盘塘侧,后易五岳观前山地。		
医 学	阴阳学	俱废	

仓廩

预备仓 废 常丰仓 在县治西南,万历三十八年,署县同知叶文懋重修。 便民仓 南粮仓 今废

坊镇

兴贤坊	毓贤坊	澄清坊	积庆坊	育才坊
阜俗坊	仙游坊	仁美坊	使星坊	甘露坊
梅隐坊	忠信坊	忠孝坊	登瀛坊	腾蛟坊
凤 坊	岩治承宣坊	沙阳保障坊	以上坊树	
学士坊	擢秀坊	登云坊	传桂坊	宾兴坊
宾贤坊	联桂坊	登第坊	飞腾坊	绣衣坊

钟英坊	桂林坊	折桂坊	攀桂坊	登第坊
飞鸢坊	鹏举坊	世美坊	蜚英坊	三凤坊
三麟坊	解元坊	会魁坊	太史坊	奎壁坊
司马坊	柱史坊	钦使存问坊	三世侍郎坊	
总督部院坊	以上敕建坊树		白 尊	荆 沙
大 田	官 田	峡 山	萧 桥	斗 门
马 垵	白 石	来 山	城 西	杨 林
港 口	洪 石	枫 桥	黄 土	土 桥
黄 龙	青 落	南 勤	占 岑	汀 泗
安 丰	坪 下	石 坑	洋 泉	双 丘
大 贵	上 寺	池 江	官 桥	马 狮
郭 连	洪 山	方 桥	劈 精	白 驹
龙 柏	新 兴	官 塘	以上四十乡	黄 龙
车 埠	新 店	石坑渡		
泉 口	以上六镇		汀泗渡	

铺递

彪勲铺	下垵铺	詹家岑铺	石子冈铺	官塘铺
龙坑铺	五洪铺	白石铺	来山铺	港口铺
洪石铺	蓼坪铺	荆港铺	凤山铺	

桥梁

风清桥	浮 桥	双路口桥	慧林桥	大石桥
荆港桥	桃花桥	无疆桥	新 桥	芦阁港桥
五洪桥	嘉水桥	蓝港桥	雷公桥	杨梅桥
黄沙桥	花林桥	夜珠桥	太平桥	胡家桥
大姑桥	小姑桥	峡山桥	东港桥	七宝桥
龙会桥	嘉凤桥			

瑞鸾桥 二桥崇祯二年,知县林增志鼎修。上建有庵,曰万年庵。
 松田桥 瑶圃桥 白水桥 龚家桥 栎木桥
 萧 桥 车埠桥 窑头桥 斗门桥 长泉桥
 罗田桥 弓背桥 大礮桥 长春桥 杉岭桥
 彪勲桥 樊师桥 金阮桥 永昌桥 梅澥桥
 月仙桥 青龙桥 竹山桥 江施桥 卧虹桥
 虾子桥 黄龙桥 永济桥 在瓦窑港

崇阳县

城池

本土城。明成化十三年^①,刘信拓西北。弘治^②,李锐始筑四围。万历,王可宾谯^③;田龙始筑石城,周六百十四丈九尺八寸,高一丈四尺,厚五尺。兵燹倾圮^④。国朝康熙十二年,蔡兴捐俸修葺,四门建楼。

关隘

崇阳南六十里,曰东关,曰高视山。

官署

正 堂	后 堂	柏梓楼	戒石亭	仪 门
县 门	寅宾馆	东西六房	狱 舍	土地祠
申明亭	旌善亭	典史衙	布、按分司二司	
子民堂	三不欺堂	俱“县堂”后		
列星堂	在“三不欺堂”左	府馆	乖崖读书堂	
山谷书堂	状元书院	鸣鹤书院	林泉书院	
桃溪书屋	高堤书院	僧会司	道会司	社 学
医 学	阴阳学	演武场		

① 成化:明宪宗年号,公元1465—1487年。 ② 弘治:明孝宗年号,公元1488—1505年。 ③ 谯:建谯楼。 ④ 燹:火。

仓廩

南粮仓	预备仓	义 仓	城市仓	县市仓
-----	-----	-----	-----	-----

坊镇

承流坊	宣化坊	肃政坊	澄清坊	美锦坊
兴礼坊	崇教坊	朝天坊	进士坊	居仁坊
安和坊	安仁坊	中和坊	善庆坊	利济坊
起凤坊	腾蛟坊	文秀坊	登英坊	攀桂坊
继英坊	鹏搏坊	挺秀坊	扬芳坊	雄飞坊
梯云坊	八才坊	状元坊	都宪坊	尚书坊
文宗坊	勋封坊 ^①	高节坊	卹功坊	旌节坊
桥墩港市	路口市	小港市	冯家桥市	石屋铺市
星桥铺市	洪钟埠市	桂口桥市	西塌市 ^②	黄大桥市
高桥市				

铺递

急递铺	吴城铺	光禄铺	双路铺	鹿门铺
王子铺	屏山铺	东流铺		

桥梁

甘棠桥	樵星桥	无名桥	朱紫桥	石铿桥
白泉桥	灌溪桥	劈箭桥	杨柳桥	大石桥
化钱炉桥	洪家桥	九都桥	石屋桥	穆林桥
黄沙桥	矾埠桥	清水桥	朱客桥	神口桥
五福桥	冷水桥	栎材桥	市分桥	桂林桥

① 勋 yī:古代官员将应受的封爵、名号转给本族尊长。 ② 塌:拦水的堰。

方胜桥	南星桥	义翁桥	登云桥	白马桥
桃花桥	思古桥	中洲桥	尚书桥	浮溪桥
杨花桥	通津桥	双圳桥	余思桥	东流桥
余耕桥	白泥桥	福善桥	百结桥	羊港桥
西溪桥	同济桥	青石桥	义城桥	玉涧桥
升仙桥	柳树桥	崇阳桥	状元桥	西冲桥
黄官桥	查家桥	白西桥	白东桥	白中桥
红石桥	上津渡	下津渡	吴津渡	龙泉渡
史家渡	小港渡	洪家渡	穆林渡	

通城县

城池

县(治)[旧]无城,东北临溪,西南枕山。明成化二年,知县杜敏四街筑城门设警。万历甲戌^①,知县简廷仁周缭土垣^②。癸巳^③,巡抚都御史李议建石城^④。万历戊申夏^⑤,霖雨倾圯,知县杨浩募工修葺。崇祯末,贼毁。国朝顺治六年,连雨尽倾。知县盛治杰构^⑥,丹涂^⑦。雉堞(磊)[垒]起^⑧,倍胜于旧。

关隘

通城东南五十里,曰幕阜山。吴太史慈为建昌都尉,拒刘表于此。

官署

正 堂	后 堂	敬信堂	东西书房	仪 门
头 门	戒石亭	今废	架阁库	

① 万历甲戌:公元1574年。 ② 周缭:围绕建起。 ③ 癸巳:公元1593年。 ④ 史:使同音,误。 ⑤ 万历戊申:公元1608年。 ⑥ 构:建造。
⑦ 丹涂:用红漆涂饰。 ⑧ 雉堞垒起:城上矮墙矗立。

幕 厅	土地祠	榜 门	外库房	仪杖库
旌善亭 俱废		石库楼 在“后堂”左		
东西粮房 今废		迎宾馆 今废		
县丞、主簿衙		典史衙	狱 房	狱神祠
布、按分司二司		府 馆	惠民药局	养济院
医 学	阴阳学	演武场		

仓廩

广丰仓	重义仓	预备仓	东 仓	西 仓
南 仓	北 仓	便民仓 今废		

坊镇

善政坊	善教坊	育材坊	惠民坊	澄清坊
肃政坊	兴贤坊	儒林坊	丹桂坊	扳桂坊
进士坊	擢桂坊	宾贤坊	绣衣坊	麟魁坊
科甲坊	楚南名邑坊	方伯四面坊	十里市	官塘市
麻埠市	崇古市	太平市	沙堆市	新安河市
塘湖市				

铺递

总 铺	白马铺	星桥铺	进口铺	青水铺	石屋铺
-----	-----	-----	-----	-----	-----

桥梁

拱北桥 县治北门外，宋咸淳邑人杨起莘创建。石墩架木，分九孔。明永乐间圯，至正德间大圯。朱僧募化五千余金，全用石甃^①，桥乃坚致^②。

① 甃：砌。 ② 坚致：坚固、致密。

星华桥	顾公桥	朝宗桥	青石桥	太平桥
北港桥	第一渡桥	龙奔桥	三公桥	石潭桥
南墩桥 ^①	何保桥	马港桥	乌 桥	万家桥
水口桥	柘 桥	毛公渡	县北五里	

兴国州

城池

城周七百八十丈。大东门至小西门，高一丈七尺；小西门至小东门，高一丈五尺。厚一丈一尺。门八：大南门、水南门、小南门、北门、东门、小东门、大西门、小西门。今因之。

关隘

兴国南九十里为闾閻城^②，其上为闾閻山，子胥城属焉^③。西北三里有古龙关。东六十里为富池镇，北六十里为黄颡口镇，皆临大江。

官署

正 堂	仪 门	头 门	钟鼓楼	收粮厅
土地祠	州同衙	州判衙	吏目衙	

守道衙门 在东门，南向。

巡检司衙二 一在富池镇，一在黄颡口镇。 驿 丞 在富池镇

河泊所 在漳源口 缉捕府 在肇陈

参将衙门 坐落大南门外 中军衙门 坐落北门

千总衙门 坐落大西门 把总衙门二 一在大西门，一在北门。

① 墩：方言词，指面积较大的平坦地区，多用于地名。 ② 闾閻：春秋末，吴公子光弑王僚自立为王。曾伐楚入郢。后败于越王勾践，重伤而亡。此类地名似与春秋楚吴间战争有关。 ③ 子胥：名伍员，春秋楚伍奢子。因父、兄被楚平王冤杀逃吴，后助吴王闾閻破楚郢都。最后，因进谏被吴王夫差杀死。

仓廩

漕粮仓 在富池镇 常平仓 便民仓 养济院

坊镇

尊贤坊	宣化坊	南 市	刘婆市	佛图市
龙川市	排 市	宝川市	眉潭市	章田市
阳辛市	硃口市	石田市	富池镇	黄颡口镇

铺递

总 铺	金 墩	荻 田	大 塘	启 良
白 沙	梁 公	小箕山	大箕山	倪 家
费 师	良 荐	淘 港	大丫山	小丫山
黄颡口	杨 林	硃红临江	板 桥	石 田
西 堰	高 堰	黄 垆	黄 冈	界 首
吴 塘	骆家湾	阮 滩	新 塘	阳 辛
慈 口	界 山	以上三十二铺		

桥梁

怀坡桥	石田桥	朝天桥	荻田桥	大塘桥
行者桥	官 桥	三义桥	车 桥	蒋公桥
费师桥	眉峰岩桥	双港桥	犀牛山桥	黄颡口桥
良荐桥	良荐小桥	临江桥	黄冈桥	排市桥
牙儿桥	恩波桥	西平桥	山角桥	岩头桥
思量桥	大板桥	三济石桥	黄港桥	永济桥
大丫山桥	长湖寨口桥	古龙关	杨林渡	石浮垆渡
南城渡	湄潭渡	沫口渡	港口渡	盆山渡

大冶县

城池

县旧无城。明嘉靖三十一年,兴国州同知林爱民署县,始砌砖墙,周一百六十丈。旧址设栅栏。隆庆四年,典史黄钟创门:东曰迎恩,西曰永安,北曰拱极,南曰通津。今因之。

关隘

大冶东六十里,曰西塞。西南六十里,为花油树堡。西南四十里,为黄茅塞。

官署

正 堂	穿 堂	退思堂	仕学堂	县丞宅
主簿宅	典史宅	幕 厅	金银库	架阁库
銮驾库	戒石亭	土地祠	狱 舍	寅宾馆
谯 楼	申明亭	旌善亭	布、按分司二司	
府 馆	道士汛巡检司		华家湖河泊所	
僧会司	道会司	阴阳学	医 学 俱废	
武备营	道士汛守备府			

仓廩 无

坊镇

通 津	平 政	亲 民	怀 仁	通 远
募 善	崇 信	永 安	圣 域	贤 关
万正斋故里	宋儒	天 宠	公卿台省	纶 褒
五马大夫	道士袱镇	保安镇	近河街,属武昌。	
黄石港镇	换绦桥市	姜桥市		

铺递

急递铺	接官亭	石磊铺	金桥铺	东方铺
铁山铺	长虹铺	杨岭铺	桐城铺	

桥梁

采芹桥	黄公桥	栖儒桥	洪滨桥	换绦桥
泉塘桥	太平桥	龙窟桥	永福桥	备礼桥
张荷桥	源潭桥	李家桥	乔家店桥	鹅归皈桥
新雁桥	枫香桥	祝家桥	大林桥	东方桥
石马桥	铁山桥	新 桥	大石桥	寿 桥
县前渡	黄土潭渡	青山渡	碧石渡	保安渡
金堤渡				

通山县

城池

通山旧惟小土城,岁久堙颓。明嘉靖二十八年,知县林金于县治东西择地建楼二:东曰吴楚首关,西曰荆湘要道。万历十一年,楼毁。知县张绅建重楼:东曰暘通山谷,南曰薰风解阜,西曰通羊闾閫^①,北曰北门锁钥。国朝顺治十八年,知县任钟麟重葺四门城楼:东曰升恒,南曰弦歌,西曰卿云,北曰景星。

关隘

通山东南二十里,曰“朦胧岭堡”。

官署

正 堂 后 堂 知县廨 架阁库 收藏库

^① 闾閫:街市。

仪杖库	幕 厅	正堂右	戒石亭	正堂前
典史廨	吏 舍	仪 门	狱 舍	寅宾馆
土地祠	旌善亭	申明亭	布、按分司	二司
府 馆	巡检司	道会司	僧会司	阴阳学
医 学	养济院	惠民药局		

仓廩

预备仓五 一在县治内，一在草埠，一在吴田，一在长田，一在焦岩：俱久废，今址存。

足民仓 旧设于县治内侧。康熙元年，知县任钟麟改建于县治西，积谷备赈。

坊镇

兴 孝	敦 礼	克 仁	全 忠	尚 廉
致 谦	兴 弟 ^①	敦 义	克 让	全 信
尚 节	致 和	丛 桂	五 马	飞 汉
虎榜题名	桂林一枝	攀 桂	凤 翔	登 云
绣 衣	少宗伯	鸛 荐	玉堂青锁	贞 节
新丰乡	兴善乡	崇仁乡	上管乡	下管乡
并行乡				

铺递

县前铺	花桥铺	界首铺	山口铺	平安铺
-----	-----	-----	-----	-----

桥梁

多宝桥	通津桥	青云桥	桃花桥	喜迁桥
白公桥	行远桥	登高桥	举 桥	高 桥

① 弟：悌的古字

花 桥
黄沙渡

通济桥

赛公渡

李 渡

宝石渡

卷之二

山川志

楚国山川壮郁，参衡耸峙^①，号为二岳。而云梦跨据九百里^②。“（江汉滔滔）[滔滔江汉]，南国之纪”^③。斯为渊，巨矣。武郡环带十属^④，水陆都会，高山大川，气势包络^⑤。人文财赋、轮蹄楼舰^⑥，战争守望^⑦，于是乎萃。要襟黔粤^⑧，领袖吴会^⑨，故形势莫重焉。志《山川》。

武昌府

江夏县

附郭

黄鹄山 自东南蜿蜒亘城中^⑩，故俗名“蛇山”，俯瞰大江。有矶曰黄鹄^⑪，在城西。

高观山 黄鹄脊。东有凤凰窝；西有乌龙池，清风、明月二井。

① 郁：盛。参衡：参指参岭，即武当山。衡指衡山。 ② 云梦：古云梦泽，此指洞庭湖。 ③ 《诗经·小雅·四月》。纪：表率。 ④ 武郡：武昌府。环带十属：率领十个围绕着它的下属州、县。 ⑤ 包络：环绕。 ⑥ 轮蹄：车马。楼舰：楼船、战舰。 ⑦ 守望：看守、瞭望，这里指看守、瞭望的部队和设施。 ⑧ 要襟：义同下文领袖，枢纽之意。襟：义同“领”。 ⑨ 吴会：吴县、会稽，今苏州和绍兴及其周围地区。 ⑩ 亘：东西横亘。 ⑪ 鹄：义同鹤。

凤凰山 县北。吴黄龙元年^①，有凤凰来集，故名。其麓为贡院，为县学，为都察院。今都察院迁驻前所营，仅存故址。

胭脂山 县东南。土赤如[胭]脂，一曰鞭指山。

萧山 县南六里，晋萧丹所隐居。

梅亭山 南五里^②

洪山 东十里。山下有宝通寺，上有石曰堆云、曰翠屏、曰狮子峰。有《洪山赋》镌石上。

磨儿山 东十五里。上有郊天台，相传汉昭烈祭天处^③。

紫荆山 东北城下

马岐山 东二十五里。有蛮王冢，在山南。

九鲤山 东北十里。麓下九枝，突出水面，如鱼尾然。

丰禾山 东五十里，里人报赛处^④。

九峰山 东五十里。山环如城郭，有狮子、钵盂、宝盖、沙碧、石门、扬锣、马驿、丁管、黄檗九峰。

冶塘山 东南三十里。晋宋鼓铸之所^⑤。

灵泉山 东南六十里。上有泉，下为明楚昭王及诸王墓。

惊矶山 东七十里。有石矶，波涛迅激。

白头山 东七十里。上有石，白色。

江夏山 东六十里。本名峡山，峰岭重叠。唐天宝^⑥中，改今名。

黄屯山 东四十里

石笔山 东四十余里。状如笔格^⑦，横亘长湖。

嵎梁山 南三十五里，周汤孙湖^⑧。

大观山 南五十里。土色如金，一曰金华。

① 黄龙：三国吴大帝孙权年号，公元229—231年。 ② 南：指县南。下同。 ③ 汉昭烈：三国蜀汉刘备，死谥昭烈。 ④ 报赛：古代农事完毕后举行的谢神祭祀。 ⑤ 晋宋：晋和南朝刘宋。鼓铸：鼓风铸冶。 ⑥ 天宝：唐玄宗年号，公元742—756年。 ⑦ 笔格：笔架。 ⑧ 周：环绕。

六老山 南五十里。层峦耸翠,状如六老拱揖。

夜泊山 南五十里,元守将陈也先屯兵于此。

锦绣山 南七十五里,山多桃李,花如锦绣。

八分山 南六十里。孙吴自建业徙都武昌。戴洋云:“山形八字,数不及九。”此八分所繇名也^①。有水如八字分流,旁有八分湖。有白云洞,迤逦半里许^②。有天窠^③,相传有短尾龙,每著灵应。唐贞观时封龙嘉泽侯^④,又封显应灵惠侯。元郡守李贞天旱祷雨,见巨蟹出山麓,入潭中,黑云渤起,雷雨大作,为建八分山泉亭。今土人以龙隐见卜年^⑤。

鼓楼山 南九十里。五峰秀出如楼,又名五楼山。

仙人山 南九十里,上有仙人迹。

灵 山 南九十里。一峰耸焉,上有仙迹。

鸡翅山 南九十里。《方輿记》:“昔有金鸡集焉,故名。”

大槐山 东南七十里,晋李大槐隐居之所。

赤壁山 东南七十里。一曰赤矶,滨江。

别秀山 东南八十里。三峰竞秀,别于众山。

金城山 东南二百里,吴将陆焕屯兵于此。

烽火山 东北四十里。齐清河王[高]岳[遣部将慕容俨守郢城,]梁将侯瑱[来攻]^⑥,屯兵[于此],举烽火相应。

梁城山 东北二十里,梁武帝筑城屯兵于此^⑦。

鸽子山 一名大觉,南七十里。有南岩禅院,临济埜谷禅师居之^⑧。一曰个子山。

① 繇:由的通假字。 ② 迤逦:即逶迤,蜿蜒曲折。 ③ 天窠:天然洞穴。 ④ 贞观:唐太宗年号,公元627—649年。 ⑤ 卜年:预测收成。 ⑥ 齐:北齐。补文据皮明庥等《武汉史稿》133—134页增加。 ⑦ 梁武帝:南朝梁武帝萧衍。 ⑧ 临济:郡望。埜:野的古字。

金屏山 西南八十里，众山旋绕如屏。有张睢阳庙^①。

回峰山 西南八十里。山上有驴足迹，环迹不生纤草，俗传果老牧驴处^②。

吕公洞 在府治，俗传洞宾题诗处^③。

费祎洞 在黄鹤山阴^④

石子冈 东北一里

大江 古志云：自岳州之临湘县入咸宁境^⑤。图经^⑥：自嘉鱼入江夏境，历大军山、小军山，沔汉二水所会^⑦，金沙洲障城南。至白湖入武昌县，经大冶、兴国境；凡六百余里。

夏 汭 俗讹作夏谿。汉水曲入江处，夏口之首也，侯景屯兵^⑧、积粮于此。

夏 口 正对沔口。东汉谓之夏口戍，故《唐史》称鄂州为夏口，本在江北。孙权取对岸为夏口，而江北之名始晦^⑨。又云：鲁口即夏口，正对鲁山。

龙床矶 在金口

鹦鹉洲 城西大江中，黄祖杀祢衡处。按：衡于祖（太）[长]子射席上作《鹦鹉赋》^⑩，怀忧畏祸，非狂士也。后人伤之，因以鹦鹉名洲^⑪。

白沙洲 即芦洲。在陈公套对面^⑫，其中土壤甚沃。

① 张睢阳：唐张巡。开元中进士，授清河令。考治绩最，迁真源令。安禄山反，与太守许远合守睢阳。虽后城破不屈被杀，然固守数月，遮蔽江淮，功劳显赫。后赠官扬州大都督。 ② 果老：张果老，世传八仙之一。名张果，唐方士，常倒骑白驴。唐玄宗开元间，迎入京师，赐银青光禄大夫，号通玄先生。 ③ 洞宾：吕洞宾，世传八仙之一。 ④ 阴：山的北面。 ⑤ 岳州、临湘县：湖南地名。 ⑥ 图经：附有地图或图画的地理志和有关书。 ⑦ 沔：汉水支流。 ⑧ 侯景：原为东魏大将，因与丞相高澄有矛盾附梁，封河南王。后起兵反梁，攻破建康，困死梁武帝萧衍，自立为汉帝。为镇压梁将的反抗，曾进军攻占郢州。后被梁将击败而死。 ⑨ 晦：消失。 ⑩ 射：黄射，与祢衡友善。 ⑪ 名：命名。

⑫ 陈公套：地名。

金沙洲 城南。百货云集，商贾凑至^①。兵燹后^②，移肆汉口^③。

新淤洲 拥沙渐成^④。永乐十年^⑤，立水母祠以镇之^⑥。

张公洲 县南二十五里，晋隐士张公灌园处。

黄军浦 鸚鵡洲下，吴将黄盖屯兵处。沈攸之谓^⑦：“暂泊黄金浦”，声近之讹也。

南 浦 县南三里。水出景首山，西入大江。冬涸夏溢，商舟聚泊，今名新开港。

涂 口 讹作淦口。一曰金口，南六十里。

鲇鱼口 城外

明月湖

墩子湖

东 湖

西 湖 以上俱在城内

东 湖 在城东四里

南 湖 在府城望山门外东南四里^⑧，旧名赤栏湖，通大江。

黄家湖 南十里

赛 湖 东南四里

清宁湖 南四十里

汤孙湖 东南四十里

余家湖 东北五里

斧头湖 东北二十里

鲁 湖 东南八十里，水由金口入江。

梁子湖 东八十里，水由武昌县樊口入江。

① 凑至：辐辏而至。 ② 兵燹：明末战争引起的火。 ③ 肆：开肆。

④ 拥：积。 ⑤ 永乐：明成祖年号，公元1403—1424年。 ⑥ 水母：水神。

⑦ 沈攸之：任南朝宋辅国将军时，曾到郢州任监军。后镇荆州，任开府仪同三司。萧道成专政，他发兵攻郢州，兵溃诛死。 ⑧ 望山门：南门之一。

团山湖 东九十里

郑家湖 东四十里

白(扬湖)[杨浦]① 北通大冶②

放生池 宋淳熙中郡守王齐疏请立③

曲池 东十五里

凤凰池 西南

磨剑池 头陀寺

天鹅池 武当宫西

汲福井 藩司内,今淤。

铜盘井

浪花井 在洪山小塔寺中,水沸如浪。自晋建塔以覆④,井乃安澜焉。其下通江。

蜘蛛井 在铁佛寺

八分井

义井 在长街

染井 在保安门外

卓刀泉 县东十五里,为汉昭烈郊坛。相传关羽行军,卓刀坛下,有泉出焉。明楚昭王蒐而饮之⑤,泉味甘冽。甃以石⑥,覆以亭。亭前有拜将台。

飞锡泉 唐贞观时,头陀师于八分山岭卓杖成泉。或见白龙出,即雨。

鹿跑泉 大观山上

芦花泉 东湖驿

乌龙泉 县南七十里。峰回路转,巨石夹道,或立或伏。其水夏凉冬温,甘甚。

① 参见《方域志》形胜,上有白杨垒。 ② 北:从北边。 ③ 淳熙:宋孝宗年号,公元1174—1189年。 ④ 覆:镇压。 ⑤ 蒐:寻找。 ⑥ 甃:砌。

桃花泉 县西南七十里,在石灰山口。

武昌县

西山 县西三里。沿松桥、“九曲”而登^①,峻拔幽丽。苏文忠公旧游^②,多古迹焉。

郎亭山 距县二里。高八十丈,路出“退谷”^③。五代梁朱友恭凿山开道^④,以强弩拔武昌,即此。下有窠尊石^⑤。

樊山 县西五里。《水经注》作袁山,一名寿昌山,石色紫。高九十丈,周二十里。《水经注》云:“孙权治袁山东”,即此也。

葛山 县南五里,相传葛洪炼丹处^⑥。

虎头山 东三里。旧名凤阙,吴黄龙元年,凤集于此。

万松山 樊山北

磨旗山 樊山路旁。石中有窟,俗传樊哙磨旗于此^⑦。

靠背山 江滨。俗传樊哙渡江,靠背于此,至今有迹。

石门山 西三里,对峙如门。唐武昌令马珣与元结同游石刻存^⑧。

① “九曲”:九曲亭,详《古迹志》。 ② 苏文忠公:苏轼,号东坡,谥文忠。

③ “退谷”:下详。 ④ 朱友恭:本名李彦威,朱全忠视同己子,改名。屡立军功。受朱全忠密令弑唐昭宗,后又被其作替罪羊杀死。 ⑤ 窠 wā 尊石:中间凹

下如酒尊的岩石。窠:下凹。唐元结有《窠尊诗》和《窠尊铭》。详下。 ⑥ 葛

洪:公元 281—364 年,晋丹阳句容人。字稚川,自号抱朴子。家贫好学,初好儒术,

后改神仙导养之法。西晋惠帝时为伏波将军,东晋初为司徒掾、咨议将军。其从

祖葛玄传炼丹之术于郑隐,葛洪到郑隐处学习。闻交趾出丹砂,求为句漏令。后

隐于广州罗浮山炼丹,传丹成升仙。著《抱朴子》等,除神仙外,其论炼丹涉及物质

构成等。又精医学,著有《金匮药方》一百卷、《肘后备急方》四卷。还著有碑、诔、

诗、赋百卷。《晋书》有传。 ⑦ 樊哙:公元前? 至公元前 189 年,汉沛人。少以

屠狗为业。随刘邦起义,以军功封舞阳侯。《史记》、《汉书》皆有传。磨旗:挥动旗

帜。 ⑧ 元结:公元 719—772 年,字次山。曾著《元子》十篇,又称元子。唐河南

人,天宝十二年(公元 724 年)进士。唐肃宗时,官至监察御史、道州刺史。继承陈

子昂,为古文运动先驱之一。《新唐书》有传。

莲花山 南五里，山若莲花浮水。

吉祥山 西十里，吴王微时隐此^①。

仙堂山 东十五里。相传有仙人修炼于此，彩云缭绕，白昼飞升，遗有堂基。山顶有水月庵。

凤山 东三十里

白浒山^② 西九十里。半属江夏，半属武昌。雄峙江浒，云出则雨。上有碧云寺。

神人山 西七十五里。吴建衡二年^③，有神人乘白鹿出此。

铜荣山 南一百二十里

三角山 南一百三十里。巍然数峰，秀出天表^④。

白云山 南一百三十里

武昌山 南一百五十里，峭壁险峻。

灵溪山 南一百五十里。古有灵溪观，今有灵溪寺。

虬山^⑤ 南一百五十里。山阴有龙穴。《搜神记》云^⑥：“居民每见神虬出入，旱祷则雨。”后人筑塘其下，名虬塘。

马迹山 南一百八十里，顶有双马迹。

清溪山 南一百九十里

挂榜崖 南一百二十里

箬谷^⑦ 寒溪、西山间。以谷多箬竹，故名。

退谷 樊山、郎亭二山之间，以唐元结名。

龙蟠石 东北一里。《太平御览》^⑧：“《武昌记》云：世传龙蟠于

① 微：微贱。 ② 浒：水边。 ③ 建衡：吴末帝年号，公元269—271年。

④ 天表：天外。 ⑤ 虬：传说中的无角龙。 ⑥ 《搜神记》：晋干宝撰，二十卷，记载鬼神灵异故事。原书佚，传世本为后人辑录。 ⑦ 箬：竹名，叶与笋壳似芦荻。

⑧ 《太平御览》：宋李昉等奉敕编纂的大型综合性类书。

此。”梁庾信《哀江南赋》云^①：“龙蟠凤集之乡”。

窳樽石^② 即(杯)[杯]樽石，郎亭之西。孟仕源居之，元结尝客游于此。宋令朱蕘刻“窳樽”二字。

仙人石 南一百二十里，石形岝崿^③。有古柏蟠根于上，世传神仙以(簪髻)[髻簪]相戏种而成^④。

望夫石 樊山北。昔有烈(嬪)[嬪]^⑤，夫远赴国难，携幼子餞送于此。立望而死，化为石。

八角石 南街中，石分如八卦。

万松岭 即九曲岭，在樊山临江。苏东坡颖滨游息之处，竹林夹道弥谷。建炎后，邑人伐为栋宇，遂荒。

矿岭 南一百四十里

金牛冈 县西

南冈 南湖侧。晋王敦收郭璞，诣南冈斩之，即此。

吴王冈 西七十五里，世传吴孙权驻蹕^⑥。

吴王岘^⑦ 九曲岭下

石鼓岘 金牛冈西

金牛堆 南一百二十里。《舆志》云^⑧：“有金牛数十，出于堆石上”，遗迹见存。又《太平御览》引《武昌记》亦云。

大江 在县北樊口西北五里。东坡谪黄州^⑨，尝游于此。时潘生名邠者善酿酒，东坡每饮于其家。

刘郎矶 本名刘浪，讹。

① 庾信：公元513—581年，字子山。诗文绮丽，与徐陵齐名，称徐庾体。初仕南朝梁，出使西魏，被留不放还。西魏亡，虽仕北周官至开府仪同三司，但怀念家乡。作品以《哀江南赋》为代表作。《北史》、《周书》有传。 ② 樽：同尊。

③ 岝●zuó'è：山势高峻的样子。 ④ 髻簪：古人用来固定发髻的簪子。

⑤ 嬪：妇的异体字。 ⑥ 驻蹕：古代帝王外出，中途暂时停留或驻扎。

⑦ 岘：小而高的山。 ⑧ 《舆志》：明曹学佺撰《舆地名胜志》的简称。

⑨ 黄州：在西北对江。

五 矾 《水经注》云：江水东，得五丈口。又东，得沙浦，经五矾。庾仲雍《江水记》作“五圻”^①。

安乐矾 东三十里。孙权使子出征，次于安乐，全琮^②谏止之，即此。

黄子矾 县西

上磧矾

败舶矾

白鹿矾 在神人山麓

洄 洑

樊 溪 一名樊港。舟行风浪多，辄泊寒溪樊山下。《太平御览》：“武昌樊山东有山溪，虽盛夏，凉气逼人。”唐元结尝居此，有寺。陶侃^③读书台基尚存。

涌 溪 由樊口入江

牧马港 东十里。孙权牧马处，其上即吴王故城。

长 港 江套西五里

傅老港

水门港 西六十里

螺虾港 西南十里

峥嵘洲 刘毅破桓元于此^④，今名得胜洲。

① 今本作：又得东五丈。又得次浦，江浦也。东迳五矾北，有五山，沿次江阴，故得是名矣。仲雍谓之五圻。 ② 全琮：字子璜，三国吴全柔子。仕吴，官终右大司马左军师。 ③ 陶侃：参见《宦迹志》。 ④ 刘毅：字希乐，小字盘龙。与刘裕等起兵讨平桓玄。官至荆州刺史，封南平郡开国公。后与刘裕不协，被其攻败，缢死。桓元：即桓玄（公元369—404年）。桓温子，袭爵南郡公。曾任义兴太守，后弃官居江陵。隆安二年（公元398年），与南兖州刺史王恭、荆州刺史殷仲堪起兵反对专权的会稽王司马道子及其子司马元显，被封江州刺史。次年，击走殷仲堪，领荆、江二州刺史。元兴元（公元402年）司马元显向他进攻，他攻入建康。次年底代晋自立，国号楚。不久，刘裕率北府兵讨伐，他退回江陵，兵败被杀。

芦洲 西二十里，亦名逕洲。《輿志》：“伍子胥去楚出关，于江上见渔父，求渡。渔父歌曰：‘日昭昭兮寢已暝，与子期兮芦之漪’。子胥既渡，解剑与之，曰：‘此剑值千金，其勿露。’渔父知其意，遂覆舟而死。”又《蕲水志》亦有“芦洲”，云：“子胥渡处。”一说在仪真县，名“胥浦”者是也。

杨叶洲 即白田洲。北陈初，周将独孤盛领水军趣巴、湘。太尉侯瑱自浔阳御之^①，破盛于此。

新生洲 在三江口

散花滩 西北寒溪之侧。吴王以赤壁战胜，散花犒军处。一说本吴苑囿别名。

五丈口

节渡口

西窪湖 东五十里

马翎湖 南一百五十里

磧矾湖 西五十里

马饮(浆)[浆]湖 南一百里

炭门湖 西七十里

浮石湖 南一百二十里

蚌舟湖 西九里

东湖 一名车武湖，在东二十里。相传晋车胤居此^②。

南湖 东八里，又名五丈湖。通江，冬涸。陶侃尝作塘，以遏水。

梁子湖 南一百一十里，春涨冬涸。

杯湖 元结云：“可泛杯湖”，即此。在樊山下，方广一里。

败桥湖 东一十二里。孙权造桥，后桥败，因名。

① 侯瑱：南朝陈侯弘远子。以败侯景等功，累官湘州刺史等。浔阳：郡、县名，在今江西省九江市。 ② 车胤：字武子，车浚曾孙。少时恭勤博学，因桓温辟，后知名于世。后迁吏部尚书，为元显所害。

大草湖 南一百二十里，在马迹乡金竹山之巔。

陷池 南一百二十里小石岭旁，土崖陡绝。旧传何氏宅尝得龙卵，径七寸。与他物同藏器中，物随充蒲^①。后误置盐中，龙化而宅陷。先有犬衔麻穗而戏，何女逐之，其处亦陷为井。旱祷雨，多验。

洗剑池 西山松风阁下^②。世传吴王淬剑于此，有石刻“洗剑池”三字。岸有井，清冽异常。

放生池

清思池 吴王城东凤凰台下，多莲。

聪明池 元至正五年创^③，即今泮池^④。

寿井 益家桥南。宋嘉定县尉邹应溥置四眼铁盘一^⑤，铁莲子形栏四。尝与人曰：“后有登高位、获巍科、享上寿者。”

义井 县东

醴井 县堂左。令贤则泉涌出。弘治五年^⑥，知县聂贤来任，醴井复出。遂淘涤，置栏立亭。

金牛井 金牛镇

滴滴泉 西山之阳，东晋时书此三字于崖上，四时泉滴不竭。

寒泉 吴王读书台下，世传吴王井。

菩萨泉 西山巔石窦中出，色白而甘。

白岩泉 南一百六十里。泉山清秀，幽致奇绝，有马祖禅师道场。

廉泉 府公馆前左畔。旧井壅塞，有水清莹自出。嘉靖二年^⑦，通判尹觉临县，起工浚涤。

① 充：充当，即变为。 ② 松风阁：详《古迹志》。 ③ 至正：元惠宗年号，公元1341—1368年。 ④ 泮池：县学前的水池。 ⑤ 嘉定：宋宁宗年号，公元1208—1224年。 ⑥ 弘治：明孝宗年号，公元1488—1505年。 ⑦ 嘉靖：明世宗年号，公元1522—1566年。

咸宁县

相山 县治东南数百步，宋参知政事凭京读书其上。旧有相山书院，今废。

东高山 治东里许，与相山并峙。

金灯山 县南二百步。晋善辉禅师住锡^①，夜有光如灯，至晓乃散。山之阳为金山寺^②，后迁城内，名资福寺，遂以遗址为山川坛。古松二株，见存。

天马山 去城半里，其麓建金灯阁。

凤凰山 西三里，以形似。

熨斗山 西四里，以形似。

扫帚山 南五里，巍峰卓立。

鸡子山 县南十里。相传有玉鸡饮啄林涧。一名玉鸡林，讹为玉岐林。

大野山

龟山 东四里，以形似。

浮山 一名湖山。县东八里，卓峙若浮。上有太子祠，其神无考。岁旱祷雨辄应。

五轮山

潜山 东二十里

桃花尖山 东六十里，高峻。一名钟台山。

鸡金山 县东南五十里，高数十丈。峰顶有巨石，上有窟如碗，可受二升，四时清水不涸。疾人饮之，辄愈。取水若尽，顷复如故。乡民建庙，今为寺。

① 住锡：居留。僧人云游持锡杖，居则杖住。 ② 山之阳：山南为阳。

大墓山 世传唐李靖母墓在焉^①。

辘山 东四十里,突起圆耸如车辘,一石宛若神骏。上有祠。相传元兵犯境,王晔父子三人率乡兵御河界,一方得全。土人德之,因祠其上。并名桥为架胜,以志功焉。下有古云庵,明孟司农读书之所。

石门山 东四十里

香炉山 东四十五里

黄牛山 东二十里

阮家尖山 东四十里

铜鼓尖山 在十二都,峭峙。红巾之乱,民避于此。

黄茅山 三十五里,有膏腴田地。

钟台山 东南百里,有桃花洞、李邕读书石室。

牛鼻山 东八十里。有潭,四面青萝、绿竹。

横山 南三十里

尖山 南十五里

禅台山 南三十里

挂榜山 即洪崖山,在十二都。崖壁峭削,方叠横亘。

马鞍山 南三十里

白望山 东南六十里

斧头山 北三十里

棠梨山 南三十里

金龙尖山 十二都,去县五十里。

常轮山 十二都

紫山 北二十里

鹳巢山 上十一都

龙溪山 二都

^① 李靖:(公元571—649年)隋大将韩擒虎甥。唐初从李世民,多军功,封卫国公。旧、新《唐书》有传。

碧泉山 四都

梓 山

石屋山 上十三都。岸石凹折，深敞如屋。几榻俱存，可蔽风雨。

九龙洞 南三十五里，常轮山下。

石龟洞 黄茅山下。洞门甚狭，既入，辄宽平。石盆，石床。又有石如龙首，水自中吐入石盆。祷雨，得石龟者即验。今名石燕洞。

白崖洞 在十二都

蒋师洞 上十三都。洞门凹折，入数十武，豁然宏敞。一水内流，窅不可测^①。明崇祯末，男妇避寇者数万计。贼攻之，不克。其上为黑山寨。

金龙洞

长 岭 东二十五里

双 岭 南十里

实竹岭 东四十里

石鼓岭 西三里

莲河岭 西南五十里

浚水岭 南五十里

苦竹岭 西南五十里

仙人墩 三都

朱潭脑 县西北河

旗鼓脑 县南十五里，相传为曹操治兵处。

望亲台 寓仙洞岭上

拨云台 上十一都有寺

铜鼓堤 县南四十里。堤有四门，各广二丈。古蛮獠保聚于此。今名铜门城。

西 河

^① 窅 yǎo: 深。

淦 水 源出峻水岭过金山。本名金水，讹为淦。《咸宁志》云：“邑有金山而河经焉，故字从金、从水”，非也。

贺胜桥河	官埠港	赤土港	北洪港	马桥港
丁泗桥港	桃花港	赤金港	东水湖	宿曹湖
紫潭湖	谷口湖	天井湖	西良湖	泉水湖
官埠湖 ^①	黄塘湖	大龙潭	小龙潭	白公潭
茅 潭	马鞍塘	县西二十五里。旁有石窟。多鲂鱼 ^② 。		

黄泥塘 在黄泥山上。每湖水长^③，塘水亦长。下有黄泥洞。

金莲池 学宫前 金鸡井 黄荆巷井 利民井

义 井 皂袍井 槐花井 芦苇井^④

温 泉 在潜山麓。其水如汤，有硫磺气，浴之可愈疾。

三十六人泉 县南六十里。相传三十六人祈雨救旱，水骤涌，皆湮没^⑤，故名。

沉 泉 西五十里 飞沙洞泉

鸣水泉 白岩泉 南四十里

桃花泉 东南五十里 沸泉 南十五里

大泉 小泉东南，苦竹岭下。蒋师泉 南二十五里，旱可取水。

廖家泉 南四十里 石燕泉 南四十里

嘉鱼县

龙潭山 治北山。足有潭渊，深不竭，世传有龙潜焉。

鱼岳山 县西一里。《水经注》：“在大江中，(杨)[扬]子洲南。”今距江二里，盖水势决彼填此。

灌矾山 西北半里许。上有五岳庙，今废为社稷坛。

青 山 在龙潭东北二里

① ●shàn:经过清扫供祭祀用的场地。 ② 鲂鱼:鲫鱼。 ③ 长:涨的古字。下同。 ④ 芦苇:芦菰,萝卜。 ⑤ 湮:通淹。

百疋山 北五里

白面山 南十里,山尽白石。本名白云山,当雨泽大降,则必有云气预发。

穿石山 西南十里

官帽山 西八十里

虎帽山 西南三十里

柘山 县西南一百里

望夫山 东三十里,石有足迹。

牛头山 东南七里

梅山 南五十里,多梅树。

龟湖山 西南四十里

九垓山 龟湖之东,九垓回合^①。

大岩山 高万仞。上有牛眼泉、兔儿泉,洞壑深窈^②。号南嘉第一峰。

金漈山

左径山 俱在西南

石头山 南八十里

赤壁山 西南八十里,大江之滨。西界乌陵,有诸葛拜风台古迹。

《沔阳州图经》:“汉建安十三年,周瑜败曹操于此。”

蒲圻山 《方輿胜览》^③:“在嘉鱼境。”

阴山 东南,其上产茶。

横山 南十里,有若书案。

蜀山 东北三十里,昭烈与吴会兵距曹操。

浮石山 县北

仙师山 东五里

仙迹山 县北,世传葛仙飞升处^④。

西保山 东北二十里,宋季李氏保障乡闾于此。

连洲山 东二十三里。世传山脉与前湖诸峰相连,故名连洲。水

① 回合:环绕。 ② 窈:同深,深幽。 ③ 《方輿胜览》:祝穆撰,约成书于南宋理宗时。仅分当时南方十七路。多古迹,详诗赋,实为类书。 ④ 葛仙:晋葛洪。

涨则四围皆水，水落则孤峙如卓笔。

大 崖 南三十里

杨药洞 南杨药山下，深不可测。水源混混(由)[田]田而达于洞^①。世传有尼僧吕氏者，性智慧。因岁旱，誓众入洞，驾龙行雨，且曰：“水涌出时，若等鸣鼓以助之。”时违其言，遂没，惟双履流出。今岁旱必致祷焉。

梅山洞 县南梅山之下，深广不测。中有泉，每日于辰、午、申三次涌出。岁旱致祷。

石泉洞 县西南 大崖洞 韩婆岭 东五十里

禄 岭 北三十里 天琛岭 东北六十里

白鹭墩 县东 大 江 石头口 西南八十里

嘉鱼口 西北五里 六矾口 西南，赤壁之北

白石长河 长茭荻港 青泥港

柘硃港 东陂斗港 二水东南而来，若相斗然

长 港 红硃港 舒济港

东 港 高公港 杨汭湖

李婆湖 梅澥湖 西保湖

黄石潭湖 东二十五里 石山鸟止湖

董藏湖 大、小溷湖 龟 湖

江地湖 小芦湖 密泉湖 以上县南

黄颡湖 大、小船湖^② 连珠儿湖

破鼓湖 大、小撮湖 茭 湖

芦洲湖 蚌蛤湖 陶陵湖

纲 湖 谢婆湖 致恩湖

明 湖 赤城湖 古城湖

岳公湖 以上县东 大、小彭湖 深 湖

① 混混田田：同混混沈沈，形容水势大的样子。 ② 船：吴船。

五重湖	刘婆湖	金纲湖
黎园方家湖	梅李湖	李成湖
阳港湖	南宁湖	陂口湖
彭 湖	蔡家湖	老 湖
张家湖	雁 湖	以上县东北
烧钱湖	大、小左湖	黄冈蒲潭湖
苍 湖	黄家湖	鲤鱼湖
沙池湖	金漈湖	黄冈湖
杨 湖	舒济湖	

太平湖 南三十里。往岁中涸，夜有光怪，掘之得古铸钟，秦少游为《吊铸钟文》。今灌矾山前有太平湖河泊所。

杨家洲 石头潭 清江寨

落星池 在文庙棂星门下。一石传为落星，赤莹古秀。明县尹莫公建“落星亭”，今废。

上放生池 县治东

下放生池 张家荡 韩家坑

清水塘 大崖山足

温 泉 西南，石头口上港中。其水温。

(密)[蜜]泉 县南湖中，其水甘。

蒲圻县

金叠山 在治

叠秀山 在治

马鞍山 在治。双峰壁立，西控河流。

高岭山 在县西

王家山 县西

凤凰山 西三里，三峰秀出。山半有泉、有池、有洞，下有凤凰寺。

凌岩山 县西三十里。有白龙池、朝冠石、普陀岩诸胜。

- 铁 山 西三里
- 茅 山 西十里。有风潭。
- 五洪山 西十里。有温泉,曰“汤塘”;有寒泉,曰“冷塘”。
- 独 山 西十二里,孤峰特秀。
- 偏髻山 西十五里,有“玉箫”诸峰。
- 黄茅山 西二十五里。绵亘崒嵒^①,脊如涌浪,有龙泉二。
- 石门山 距西二十八里,有双石如门。
- 洪 山 西四十里,自平畈特起^②。有古庙,创于宋淳熙间。
- 芙蓉山 西四十里,峰峦秀丽如花。
- 蒲首山 西四十里,明祭酒魏观读书处^③。
- 石马山 县南十五里
- 丰财山 县东二里
- 灵应山 东三里
- 点笔山 东七里
- 柷木山 东二十里
- 幽兰山 东三十里。有跌仙石^④,上有掌形。
- 王子山 西四十里
- 瑞云山 西四十五里
- 狮子山 西五十里
- 范包山 西五十里
- 金狮山 南十里。蹲踞如狮。上有金狮观,有紫金泉、镜潭。
- 玉岩山 西十二里
- 荆泉山 距南十二里,有洞。石台,石钟鼓。泉出洞旁,幽(黝)

① 崒嵒lóngzōng:山高峻的样子。 ② 畈:成片的田地。特起:耸立。

③ 魏观:蒲圻人,元末隐居蒲山。明洪武授诸王经历,累迁祭酒。廷臣荐知苏州,有惠政。后以谗言被诛。帝寻悔,命致祭归葬。 ④ 跌:跣的异体字,脚印。

[默]无声^①,半里许,始震撼如雷。

雪峰山 距南二十里。有雪峰寺,唐咸通二年建^②。

丫髻山 南二十里。有葛仙祠。

罗峰山 南二十里。有石屋。

白石山 南二十五里。下有白石庙,祀唐三颜公^③。侧有白石泉,汲之辄雨。

石尖山 东四十里。有玉枢观。

仙芝山 西四十里

龙盘山 东北四十里

凤隐山 东二十五里

石笔山 东北六十里

小梅山 西北五里

白鹿山 南三十里

云台山 南三十里

望夫山 南三十里。木叶盛夏中断如剪。

吴城山 南四十里。孙权尝城其下。

百岩山 南四十里。群峰簇翠。

龙翔山 县北屏障。河岸有窪樽石,石方平五六尺许。中一孔如瓮,可注酒。石上刻“熙宁癸丑上巳”等字^④。

白岭山 北五里

望山 北六里

行将山 北七里。其下有洞,每阴晦时闻洞中有钲鼓声^⑤。

① 幽默:寂静的样子。 ② 咸通:唐懿宗年号,公元860—874年。

③ 唐三颜公:颜师古及其五世从孙颜真卿、颜杲卿。 ④ 熙宁:宋神宗年号,公元1068—1077年。癸丑:公元1073年。上巳:农历节日名。汉以前为三月的第一个巳日,后多改为初三。人们到水边洗涤,驱除不祥。晋后演为踏青等。

⑤ 钲:古代铜制打击乐器,也用于发令。

- 黄龙山 距县十里。下为黄龙镇。
- 茗 山 北十里
- 香石山 北十里。有香石寺,有石如鼎,又有石如乘輿^①。
- 钉铜山 北十五里
- 丁亩山 县北二十里。有洞,洞中有石如马。
- 蟠龙山 距县二十五里
- 黄岐山 北二十五里
- 黄葛山 距县三十里
- 黄表山 县东北三十里
- 竹 山 北三十里。有洞,洞中有堂,有石伞、石瓮、石像、石床,早
祷辄应。
- 洪口山 北三十五里。有大溪。
- 神 山 北四十里。有张睢阳祠。
- 霸 山 北四十里。有黄霸祠^②。
- 观 山 北四十五里
- 牛头山
- 马头山 二山,北五十里。
- 官塘山 北五十里。下为官塘驿。
- 独 山 北五十五里
- 净苑山 北五十五里
- 留云山 北五十五里
- 月塘山 北六十里。对岸为柳山。
- 金紫山 南三十里。峰峻万仞,为诸山之冠。
- 桃花峰 南十里。下有桃花泉。

① 乘輿:车马。 ② 黄霸:字次公,汉代阳夏人。少学律令,时吏严酷,他独宽和。迁颍川太守,以政绩称汉治民吏之最。升丞相,封建成侯。卒谥定。

- 青峰山 南十二里。如卓笔^①。
- 白岩山 南十二里。如瀑布。
- 竹山洞 中有石伞、石瓮,在竹山麓。
- 迓鼓洞 在丰财山后
- 行将洞 在行将山
- 青云洞 二十五里
- 穿山洞 距县二十里
- 羊楼洞 距县六十里。东有石人泉;西有莲花洞,洞有莲花寺。
- 梅隐冈 金台冈 云盘冈
- 长崙岭 公安山前 蒲圻河
- 七里河 车埠河 任家河
- 新溪河 赤马港 龟坑港
- 荆 港 泉 港 东 洲
- 西 洲 多邑人别墅
- 大沙洲 上有大士阁。丈六金身,竹影参差。
- 小沙洲 与大沙洲相望
- 西良湖 郎当湖 盘石湖 岸为宣公堤
- 接里湖 梅 湖 锦 湖
- 沙阳湖 螺蛳港湖 真 湖 以上俱在北岸,流入江。
- 龙坑湖 马蹄湖 大罗湖
- 小罗湖 活 湖 松柏湖
- 沧 湖 左荆湖 柳山湖
- 杨林湖 以上诸湖在南岸,流入江。
- 洪下滩 沈桂滩 方石滩
- 苏家滩 鸣水滩 将军滩 中有巨石
- 江菱滩 荷塘滩 龙骨滩

① 卓:竖立。

杨树滩	落石滩	石牛滩
筒车滩	栗柴滩	芭蕉潭
木兰潭	街埠潭	上为新店镇
风潭	有石出河,高十丈,名曰海船,有洞室。	
龙回潭	中有石梁、奔洪 ^① 。	
黄龙潭	岸为黄龙镇	鸬鹚潭
龙翔潭	皂潭	黄土潭
龙坑潭	倒流潭	焦潭
界石潭	平乐潭	镜潭
马迹潭	白公潭	梅子潭
王师潭	石吼潭	石牛潭 中有巨石如牛
石坑渡	聂师渡	镜渡

黄城埠 岸下有钓台,侧有悬壁、城楼、大士像。其上自镜(潭)[渡],折而北,至此转西。缭绕学宫,为外泮池。

洗马池	在荆港
汤塘	县西南,有温泉出五洪山。
古塘	县东北
白米塘	县北
享塘	县西北,出钉铜山。
莼塘	县西
黄沙塘	县西南
汤泉	县南
神山泉	神山下

崇阳县

雨山 一名乳山。其泉如乳,祈雨辄应。五峰笋立,绵亘数

① 奔洪:即奔洄,湍急的水流。

十里。

灵女山 接通山境。山头有古城，号女城，不知所自。

白羊山 下有洞。相传东晋永昌中^①，有三人乘白羊入洞，故名以上三山，距县俱四十五里。

镜面山

杨梅山 县四十里

九峰山

金城山 宋黄(廷)[庭]坚读书处^②，名“太史书院”，至今祠之。县一十五里。

龙窖山

台 山 山顶有卓锡、龙霖二泉。岁旱祷之，投楮泉，沉则雨。

黄龙山 县南九十里

岩头山 县西五十里

黄角山 西北二十里

桃花山 翦姑山 天井山

宝林山 县西十里 八斗山 距县六十里

石门山 县五十里 铁柱山 距县七十里，半属崇阳。

大湖山 黄茆山 县八十里

西笼山 县五十里

河 山 横亘四十余里

楂枒山 县四十里。《一统志》作“拏牙”。

鼓台山

① 永昌：东晋元帝年号，公元322—323年。② 黄(廷)[庭]坚(公元1045—1105年)：字鲁直。治平四年进士，曾知鄂州，任著作左郎，迁起居舍人。早年游学于苏轼，与秦观、张耒、晁补之并称苏门四学士。诗学杜甫，能自辟蹊径，开创江西诗派。晚年位益低，名愈高，世与苏轼并称为苏黄。善真行草书。《宋史》有传。参见《宦迹志》。

金柜山 山有石洞,高四十丈。县三十五里。

铜钟山 相传山巅有寺钟,随龙水流至江夏,僧取寘^①铁佛寺,款识大历年铸。下有深潭,善没者云:“潭有铜铛^②,人从铛耳出入。”

丫髻山 县二十里

天灵山 县十五里

案 山

仙姑山 县八里

横 山 葛仙山 王过山

壶头山 形如罌壶。山有溪水,有桃花洞。以上诸山,县二十五里。

白竹山 县十二里

梧桐山 鸡笼山 县十里

大集山 葵山 居北山 县七十里

金堂山 旗山 七峰山 县六十里

马鞍山 县十里

东泉山 有泉流入蒲,溉田数百亩。为泉不一,流入崇阳。东泉,县四十里。

龙头山 县十里

乌土山 山有洞,可容千人。黄巾之难,包公立砦避之。县二十里。

龙泉山 《广輿记》:“周遭二百里,有洞可容千百人。”

白崖山 上有五龙灵应行宫。天然石灶,引水入釜。有塔。

茱萸山 唐存制禅建金界寺,以其山多蛇虺^③,种茱萸辟之,故名。

以上诸山,俱县四十里。

顿旗山 县三十里

圣人山 石龙山 金山

① 寘 zhì:安置,置放。 ② 铛:古代的一种锅,有足、耳。 ③ 虺 huǐ:古书上说的一种毒蛇。

方 山 县四十里

白泉山

灌溪山 有唐智闲禅师塔

破冈山 县五里

石屋岩 西南三十里

龙头崖 距县二十里。有流泉,石激之,声闻百步。金邑侯绵祖建亭于上。

仙 岩 石屋邃(厰)[敞],东西洞户,嵌岩深杳。有石床。岁早祷焉。县三十里。

龙窟岩 壁立如列屏。上有洞梯,栈而下。

韭菜岩 紫龟岩 悬 岩 俱县十五里

宝陀岩 轩朗若厦。宋丞相李纲建炎中手勒石铭之^①。

青峰岩 县八十里

狮子岩 县四十里

青山岩 下有龙潭。潭上有石壁、石门。县二十五里。

黄鹰岩 杨席岩 县俱二十里

雷 岩 有洞,县七十里。

黄獭岩 县三十里

虎头岩 白石岩 县俱二十里

盛家岩 县二十五里

燕子岩 距县十五里

青峰岩 县八十里

鲁溪岩 岩间有诗,漫(漈)[漈]剥落,止存二句,云:“饭和鼠耳蒸

① 李纲:(公元1083—1140年)字伯纪。宋高宗即位后为相,主张恢复中原。因与宋高宗苟安意不合,仅七十余日即罢相。卒谥忠定。《宋史》有传。建炎:宋高宗年号,公元1127—1130年。铭:作铭。

来软，羹杂羊蹄味带酸。”绍兴中^①，李孝廉避寇于此作也。鼠耳、羊蹄，二菜名。

抢水岩 罗汉岩 以上诸岩，距县四十里。

许仙岩 相传许逊逐蛟过此^②。有插剑池，石上有“许仙岩”三大字。天门道院在其上。县二十里。

羊角峰 县二十里 碧云峰 县五十里

鸡鸣峰 团云峰 峰顶上有云即雨

乌吴峰 世传有主簿于石城湾凿山引水，声如乌吴，故名。

真人峰 县二十五里 梓木峰 县四十里

雪 峰 集云峰 县三十五里

神 峰 龙崩洞

雷柱峰 县六十里 虎岩洞

龙潭洞 桃花洞 在硃沙桥下

龙泉洞 斗 洞

白羊洞 吕公洞 在美美亭下

田东洞 龙门石

香炉石 鳊鱼石

金鸡坪 相传胡丞相墓金鸡飞出，至此不见。

葛藤坪 蒲圻荆泉洞中有石田，沟塍悉具^③。居民岁时眎其燥润^④，以占凶穰。自洞门入百步，别有门，甚狭。好事裹粮信步而出，则在崇之葛藤坪，相去百余里，即此。距县三十五里。

思义坳 相传有兄弟争田，将讼之县庭。憩息于此，各悔而相为推让，故名。

连河岭 县八十里 回头岭 县二十五里

① 绍兴：宋高宗年号，公元1131—1162年。 ② 许逊：字敬之，举孝廉，受旌阳令，弃官归。学道于吴猛，周行江湖，消灭毒害。传百三十岁举家飞升，鸡犬随去。宋封神功妙济真君。 ③ 塍：同塍，田埂。 ④ 眎：视的古字。

江水岭	县七里	上峰岭	县四十里
浆坑岭	县三十八里	进口岭	县六十里
琐石岭		大丘岭	县俱七十里
白沙岭	县五十里	佛 岭	县三十里
羊角岭	县二十里	桃源岭	西四十里
石子岭		鸡冠岭	
潭头岭	距县俱十里		
大 岭	棠 岭	黄土岭	
赤土岭	县七里	袁家岭	县二里
城 岭	县十二里	梅 岭	县五十里
溟水岭	县三十里	黄 岭	
苦竹岭	县十里	官田畈	县三里
田骡畈 ^①	县四十里	城下畈	县六十里
碧田畈	负郭 ^②	小港畈	县五里
石枳畈	距县十里	浪口畈	县十里
港南畈	县二里		
张家冲	三百冲	白泉河	城下河
高枳河	太原河	龙坊河	荻洲河
许仙岩河	铁束河	柘亭河	崇阳港
吴城港	小 港	白石港	深渡港
梓木港	东 港	新安港	鲤 港
黄沙港	矾 埠	老官埠	一家埠
白马湾	石城湾	塔前滩	官陂滩
六石滩	白马滩	白云潭	河田潭
龙 潭	石牛潭	中 洲	内 洲
外 洲	夹泽洲	荻 洲	龙泉洲

① 骡:疑为螺。 ② 负郭:靠近城墙。

肥田洲	长江湖	肥田湖	泉 湖
戴家湖	芙蓉池	白龙池	洗瓜池
沔麻池	插剑池	濯锦池	南宫井
揉蓝井	葛洪井		

汤泉 城冈下。泉眼周四五丈，沸热如汤，葛洪取以炼丹。

石室泉 有石如屋，故名。

柘亭泉 蛤蟆泉 鸡笼泉

白岩泉 分水泉

通城县

锡 山 县南三百步。旧云产锡，今无之。下有灵源，岁旱祷之辄应。

南 山 县南三里

茹 山 东十里

九峰山 南城外。山有九峰，为县来脉。

团 山 东门外

相师山 南三十里。俗传黄石公尝隐此^①，后为张良师^②，故名。

鼓鸣山 西十五里 铁束山 北十里

堆 山 东北十里 锦 山 东五里

马鞍山 东十里 黄龙山 东南五十里

幕阜山 南五十里。吴都尉太史慈拒刘表从子盘^③，于此置营幕，因名焉。

① 黄石公：秦隐士。张良刺杀秦始皇失败，隐下邳。他认为孺子可教，授《太公兵法》。十三年后张良如约往寻，得黄石。张良祠之，死以随葬。传有著作。

② 张良：韩公子，其先五世相韩。秦灭韩，谋刺秦始皇失败。后参加起义军，为汉初三杰之一。封留侯。 ③ 太史慈：字子义。孙策东渡，用为建昌都尉。善射，不虚发。年四十一卒。刘表：汉宗室，荆州刺史。

白面山 西十五里 凤山 东五里,左右蜿蜒如凤。

龙头山 南七里 遥广山 西十里

宝盖山 东五里 华山 南十里

鸡笼山 东南四十里 尖山 西二十里

梧桐山 西南十五里 寿隆山 南十三里

月半山 西十里 大帐山 东十里

斗牛山 东北二十里 清凉山 南三十里

七里山 东三十五里 汤管山 东二十五里

金山 南三十五里 大龙山 西北二十里

昭灵山 东四十里 虎崖山 西三十里

蜜崖山 东南二十里。多山蜂酿蜜。嘉靖初,山顶夜忽有光,土人因祠普庵祖师。

云盖山 东北二十五里 大盘山 东南四十五里

白云山 西四十五里。上有古寺。

万峰山 东北二十五里

黄鹤山 南二十里。列三大峰,相传葛仙跨黄鹤憩此。

龙窖山 北三十里。有巨壑,云气常聚。

凤凰山 西十五里。相传曾有凤凰来集。

锡山洞 东源洞 云溪洞 石纂洞

龙潭洞 石门洞 桃源洞

王仙洞 相传仙人王子(云)[乔]游此^①

襄荷洞^② 杨师洞 白水洞 守仙洞

龙 洞 鸡鸣岭 东十五里

元鸟岭 南四十里 南楼岭 东南四十里

苦竹岭 东四十里 大岐岭 北三十五里

① 王子乔:名晋,周灵王太子。以直谏废为庶人;一说为道士浮丘生接上嵩山。② 襄 ráng 荷:多年生草木植物。

青草岭	东北三十里	五斗岭	西二十里
七斗岭	西北七里	九 岭	南二十五里
走马岭	东南二十五里	塔 岭	东三十里
伏牛岭	南二十五里	四脚岭	西三十里

沙 坪	茅 坪	白竹坳	黄泥坳
-----	-----	-----	-----

隼 水 晋下隼县以此得名。县北半里自上隼乡界发源，至拱北桥下五十步，与秀水合流而为一焉。

陆 水 即隼水，一名陆口，吴吕岱尝屯兵于此^①。

秀 水 南五十步。源自龙潭发流，经朝宗桥游县东北，与隼水合。

黄沙港 西十里。源自临湘，北流铁束山前与隼水合。

铁束港 北十里

鲤 港 东三十里

新安港 东二十里

石盘滩 西南九岭之麓。参议王鼎诗云^②：“野水纵横转北端，水中巨石镜光寒。无穷意趣真天悟，漫数龙门八节滩^③。”

老龙潭	南三十五里	石壁潭	北七里
-----	-------	-----	-----

百丈潭	西南三十五里	阴雨潭	有声如钟，岁旱可祷。
-----	--------	-----	------------

孔家源 西南四十里。孔端植子孙世居。

营家埠 北十里

东 塘	西 塘	南 塘	北 塘
-----	-----	-----	-----

甘泉井	义 井	金家井
-----	-----	-----

分水泉	南四十里	九股泉	东三十里
-----	------	-----	------

① 吕岱：字定公。体精勤。避乱南渡，入孙权府幕或出守，甚称权意。累平巨寇，封番禺侯。孙亮继位，拜大司马。卒年九十二。 ② 参议：官名。金军中，元、明中书省，明布政司、通政司，清各部，民国初年高级军事机关皆设。 ③ 漫：通漫，随意。龙门：黄河地名，以瀑布和激流有名。这里代指瀑布或激流。节：量词。

兴国州

大银山

黄姑山

龙蟠山 蜿蜒起伏，至州而止。一为州治后山，一为儒学后山：势若龙蟠，三面皆水。

蟠龙山 文庙后

白阆山 西四十里

鸡笼山 东五十里。世传伍子胥屯兵处。

大坡山 东坡谪黄州过此，有《扫壁歌》刻于石。

印山 南一里。漳[源]湖之中，形如印浮水面，圆正清碧。

黄土山 西北二百里

钟山 距州八十里。上有黑池，俗传钟繇洗笔处^①，水尽黑。

三角山 北九十里 灵仙山 南十里

渫泉山 南十三里 犀牛山 北二十里

大丫山 小丫山 北五十里

赤马山 北六十里 颜子山 南三十里

桃花山 南五十里

闾闾山 南九十里。世传伍员屯兵处，有闾闾城。

雪崖山 赤溪山

天平山 与九宫山相连。宋道士章自然仙蜕于此^②。

天柱山

百福山 俱南百里 鸟岩山 西南，北二十里。

小箕山 大箕山

石鼓山 距州八十五里。山有石鼓，鸣则雨。今不然。

① 钟繇：字元常。汉末举孝廉，累迁侍中、尚书仆射。至魏，进太傅，封东武亭侯。卒谥成。善书，若飞鸿戏海。 ② 仙蜕：用蝉蜕比喻留下遗体升仙。

天尊山 西北二十里 五龙山 北八十里

龙角山

大墓山 距州北十一里。世传唐李靖母墓在其上，有读礼堂，有墨池。上有三十六峰，峰有泉，可以祷雨。

钟城山 东南十里 黄岭山 东南三十七里

荆 山 上有玉印洞，相传卞和得璧处^①。

宋家山 东南二十五里 白崖山 西南二十五里

菁 山 有望夫石 孟嘉山^② 西南百八十里

得胜岩 南五十里 风火岩 南一百四十里

柳峰岩 南三十里 太平岩 州南

风楼岩 西百里 马鞍岩 南二十七里

风山洞 东百八十里 南岩洞 西百六十里

石屋洞 南五十里，高数十丈。

大坡洞 东南七十里 朝阳洞

荆桥洞 南五十里，内有丹灶诸景。

白云洞 在孟嘉山

凤栖洞 在阳新门。高四丈，阔二丈三尺，深半里许。有二十五景，详《州志》。

戎湖洞 北五十里，在荆山源内。亦云卞和得璞处。

甌甌洞 垒石为之，北郭外莲花池上，邑人吴国伦著书处^③。

长 河 茅田河 山谿河 鸡口港

慈口港 龙 港 妙子洲 沫 湖

肘 湖 濁子湖 常 湖 深 湖

长 港 欧家湖 西 湖 明 湖

① 卞和：传楚人，得璞于荆山。献厉王，以为诈，被砍去左足。献武王，又刖右足。文王即位，抱璞泣。王使工琢，成和氏璧，价值连城。封零阳侯，不就。

② 孟嘉：详《人物志》。③ 吴国伦：详《人物志》。

戎 湖 网 湖
舒婆湖 州之巨壑,受东南二水而统入于长河。
门坊湖 东湾湖 西湾湖 富池湖
富水湖 浑 湖 长河沫湖 海口湖
漳源湖 龙 泉 在三(教)[角]山下,早祷即雨。
瑞桧泉 庆云泉 龙角泉
逆龙泉 在五龙山下。昏浊水出,必雨。
玉山泉 玉泉 州东六十里。高二丈五尺,泉如瀑布。
西湖泉 三潮泉 泉一日三涌
石滩泉 西滩泉 鹿 泉 相传鹿跑^①
双 泉 州东南六十里

大冶县

青龙山 县东一里。蜿蜒入湖,上建有阁。水涨烟波环绕,颇有奇观。

章 山 县东一十五里。宋元嘉十三年^②,山出神鼎,江州刺史南谯王义宣以献^③。

磊 山 县东三十里,漳源湖中。

瑶 山 县东十里

磁湖山 与瑶山对

吉祥山

西塞山 县东九十里。高一百六十丈,周三十七里,乃吴、楚旧境也。

回 山 西塞山之东,相连。

虎塘山 县东北五十里

① 跑:义同刨。 ② 元嘉:南朝宋文帝年号,公元424—453年。

③ 江州:晋初分荆州及扬州置。治豫章,曾改武昌、浔阳。至明,改九江府。

黄荆山 即白额山，一名白塔岩。高八十余丈，产仙人韭。

慈云山 县西一里，普济寺后。

桃花山

铜绿山 山色紫赤。雨过，有绿点缀土石上，如雪花小豆。

金山

灵峰山 一名曼倩，亦一名东方。俗传东方朔隐^①，有刻石，妄也。

四面望之如一，气势峥嵘，林木蓊郁。

鹤泊山 相传有仙鹤泊此

灵应山

香炉山

照山 北七十里

西野山 一名龙居山，有龙王庙，疠疫祷之即应。

梅山 三峰秀丽，旧多梅花。

茗山 危峰秀出，清泉可以煮茗。

沼山 县北十里。四山围绕，中峰耸峙。

马叫山 县西南十里。一名石鼓岭，传有石鼓，无时响震，俗云石马嘶。立浮图镇之^②。今废。

天台山 莲花山 书堂山 果城山

屏风峡山 县分脉处

黄茅尖山 三峰山

葛山 黄莲铺口

猴儿山

鹿头山 县南七里

龙角山

① 东方朔：(公元前 154—前 93 年)字曼倩。为汉武帝弄臣。因以诙谐滑稽名，后人传异闻甚多，方士又附会为神仙。托名书亦多。《史记》、《汉书》有传。

② 浮图：佛教术语音译。这里指佛塔。

东方山 北连武昌县东界。多产药物，有倒松数株。其山为县北诸山之最。

铁山 宋于此置铁冶。多白石，有阴洞，龙出入焉。

白雉山 昔有白雉见于此。有狮子岭、金鸡石。绝顶有佛像，乡民遇旱则祷焉。

凤凰山 吴建业中，有凤降于此。

长乐山

牛马隘山 俗传许旌阳逐蛟至此

将军岭 在县治后。宋谢千牛将军家庙在焉，故名。

五卦山 俗传许逊卜蛟在此，故名。（土）[上]有龙蟠石、仙人床。

王母山 吕相祖塚

雷山 宫台山 下马碛山 横山

三山 在湖中

铁山寨 黄茅寨

飞云洞 回山有洞出云。唐元结避乱于此。号琦玕子，故亦称琦玕洞。

神游洞 宋建炎有人夜闻笛声，迹之^①，见一道人划然长啸^②，凌空而去。

大泉洞 二洞相对，中有石田三十六区^③。其石砂如稻颗。石钟鼓，扣之有声。尝有樵者于洞口得大鳞，乃龙也。

龙窟洞 在天台山下。深谷巉岩，林峦竞秀。

观音洞 在石牛崖阿之下。炎月入之，忘暑。

道士湫 即西塞山。塞音涩。见《水经》，云：“壁立千仞，东北对黄公九矶，故名。”^④西塞横截江流，旋涡沸激，舟人过之，每为失色。张

① 迹：痕迹。这里作谓语，顺着痕迹（即声音）追踪寻找。 ② 划然：像声形容词，响亮的声音。啸：撮口吹气发声，即今吹口哨。 ③ 区：量词，处。

④ 《水经注校》作东对黄公九山。

来诗：“已逢妩媚散花峡，不怕危亡道士矶。”

黄石矶 在黄石港，一名石茨圻。

散花洲 西塞山前。亦传周瑜破曹操于赤壁，吴王于此酿酒散花，以劳军士。

牯牛洲 俗传许旌阳逐蛟，蛟化为牛，过江登岸，故名。

新生洲 磁湖江上。宋绍兴十九年，忽生洲。如覆盆，与黄石相对。

金水潭 龙王潭 漳源湖 金 湖

磁 湖 华家湖 凌家湾湖 张家漭

放生池 采芹桥下

白莲池 东方山智印禅师所凿

虎塘池 道士洪东岳祠后

义 井

普济井

东方山井 相传智印结庵，卓锡成井^①，水极清冷。潦不溢，旱不涸。

隆济石井 兴道观井 莲花泉 龙王潭泉

金水潭泉 天台山泉 陈九仙泉 大 泉

小 泉 龙潭泉 核桃泉

异 泉 唐元结有《异泉铭》。相传内有古铁牌，祷旱者深入求之，得牌则风雨至。宋抱犊山人张宿为立碣。

百丈崖泉 玉女泉 北泉 三峰泉

龙窟洞泉 天台山泉

妙子洞泉 色碧，味甘。流注十余里，可灌田四百余亩。

中山泉 观音泉 南畔泉 石井泉

圣水泉 章山里。相传旱久潮，则雨；雨久潮，则晴。故名。

① 卓锡：用锡杖插在地上。

龙浦泉

东 泉

西 泉

通山县

翠屏山 县南半里,其山苍翠如屏。

罗阜山 县北。即山麓为县舍,民居悉依之。高大峭拔,一峰秀出。

白鹤山 县西半里许,其形类鹤。

石航山 县东二里许。山势自下流绵亘数十里而上,壁立水口,亦邑山之雄峙者。

沉水山 县东三十里。上有大龙潭,号仰天湖。张道清始修于此,后往九宫^①。又四里,有仙人岩。悬石钟鼓,扣之有声。旧《志》云:“李靖驭龙行雨,入此岩中。”

雨 山 西南四十一里

黄鹰山 西南四十里

石梯山 南五里

张公山 南六十里

石压山 东五十里

紫姑山 西十里

笔架山 东四十里

九宫山 南九十里。广八十里,高四十里。世传晋安王兄弟九人^②,因避国乱居此,造九宫殿。千岩万壑,云雾杳冥。宋张道清至此山,建“钦天瑞庆宫”于上。

杨城山 西北三十里

大城山 高峻环结。上有四石门,若城郭然。中平衍,宽广数十亩。有张平子宅遗址^③。

白羊山 西三十里。世传东晋时永昌中,有三人乘白羊入此。

① 九宫:九宫山。 ② 晋安王:字孝德,名刘子勋,南朝宋孝武帝三子。封晋安王,督江州诸军事。孝武崩,废帝赐其死。长史邓琬等奉其起兵。明帝定乱,封车骑将军。蒋琬等不受命,奉其称帝于浔阳。兵败被杀,年仅十一岁。

③ 张平子:张衡,字平子。

仙人岩 西三十里

贺仙岩 西南半里许。崖高五丈,深二丈。其中通明如屋,可游宴,冬暖夏凉。

会仙岩 去贺仙岩少许。高五丈,深六丈。门内悬数石如钟鼓,扣之有声。下有石和尚数枚。有一石床,左深不(侧)[测],投石则滴泚不止^①。

喷雪岩 东南八十里

观音岩 南四十里。宋绍兴间,居民万俊见山上云盘异常。迹之^②,则一洞窈然。有石磬、石榻、石盏、石果、石像。明侍郎朱廷立有记^③。

鸬鹚峰 东四十里

吴田洞 县北十里

石矐洞 北十五里

高坑洞 北十五里

西坑洞 东十五里

吴公洞 东十五里

大泉洞 东五里。其洞门高敞,盘折深幽,危石如门者数重。进丈余,有隙地,窍通天光。更有一门,则源水深泥,不可步矣^④。

大贤洞 西南三十里

石壁洞 南四十里,在石壁山上。路极岖险,人迹罕至。洞内宽平明爽,两房如琢,刻普陀岩状。有一白柱,大合抱,高丈许,峙其中,亦奇观也。

朦胧岭 东南二十里

新开岭 北四里。路出岭下,险峻殊绝。宣德间^⑤,始凿其岭,以通兴国。

黄虾蟆岭 东一里

散水岭 北三十里

望江岭 东南三十里

堆书台 曹公坟侧

① 滴泚:同叮咚。象声词。 ② 迹:按迹像寻找。 ③ 朱廷立:字子礼,号两崖,朱伯骥子。受学王守仁。登嘉靖进士,为官督学有声,以礼部侍郎致仕。

④ 步:行走。 ⑤ 宣德:明宣宗年号,公元1426—1435年。

通羊港 南五里许

湄 港

犀 港 西十里

城 港

长湖仔 西六里

田东湖 北十里

石牛潭 县东三里,有石如牛,开其颐^①。世传南唐洪都廩米尝耗^②。占者云:“石牛所啖^③,当在武昌之南。”因索得之,凿其颐,米不复耗。

七宫潭 东四十五里

井湾泉 县西五里

石舍泉 县东五里

白公泉 甘凉可汲,在白公桥侧。白公不知为何时人。

灵 泉 县南三十里

雨山泉 县南五十里

普庵泉 县南二里

阮婆泉

龙 泉

泉港泉 县东二十里

古迹志

昔羊叔子登岷首而叹曰^④:“自有宇宙,便有此山。古来贤哲,淹没而无闻者多矣^⑤。”其后,岷山卒以羊公显,岂不存乎其人哉?鄂渚山川雄灏^⑥,胜迹多有。登高眺祢子之洲^⑦,寻幽问郊天之址,经折戟沉沙故地。江山壁垒,足发壮怀。及观于九原^⑧,荒烟谁恤?其所以不朽者,不可思欤?故《坟墓》得附后。志《古迹》。

① 颐:下巴。 ② 洪都:今江西省南昌市。廩:粮仓。 ③ 啖:食。

④ 羊叔子:晋羊祜,字叔子。累官尚书右仆射,都督荆州诸军事。一心怀柔吴人,甚得江汉民心。入朝面陈伐吴之计,举杜预以自代。卒,赠太傅。岷首:即下文岷山,襄阳山名。 ⑤ 见《晋书》羊祜传。 ⑥ 灏:大。 ⑦ 祢子:祢衡。

⑧ 九原:墓地。

武昌府

江夏县 附郭

夏口城 在城西黄鹤山,孙权所筑。其城依山负险,周二三里。

汝南城 即汝南侨郡。故城晋咸和中寇乱^①,户口南迁,因置城于金口。

曹公城 府城东北二里。梁武帝起义兵^②,遣曹景宗筑曲水城^③。及改郢,又遣王世兴屯兵于此。

郢城 在黄鹤山,刘宋郢州治。

万人敌城 黄鹤山顶。宋建炎间,草寇犯城。郡守于其上命以强弩射之,因名。

楚王故城 在高观山下。明洪武年建^④,今废。

黄鹤楼 在黄鹤矶上。世传仙人王子安乘鹤过此。又云费文祗登仙,驾黄鹤憩此。一说辛氏沽酒,有道士数诣,辛氏不计酬。道士临别,取肴核中桔皮,画鹤于壁,曰:“客至拍手引之,鹤当飞舞以侑觞^⑤。”辛遂致富。一日道士复至,取所佩铁笛吹数弄。白云自空飞来,鹤亦飞下。道士飘然乘鹤去,辛氏即其地建楼。唐阎伯作《郢记》,以文祗事为信,或又引梁任昉^⑥,谓驾鹤者乃荀瑰,字叔玮。所遇虹裳羽衣客,而

① 咸和:晋成帝年号,公元326—334年。 ② 梁武帝:萧衍。 ③ 曹景宗:萧衍将。 ④ 洪武:明太祖年号,公元1368—1398年。 ⑤ 侑觞:助酒。
⑥ 任昉:字彦升。八岁能属文。仕齐为太学博士,沈约等皆称赞。梁武帝时任义兴新安太守,政清省,吏民便。多著述。家贫,聚书万余,多异本。

非文祗也。宋张栻亦辨其非^①。唐崔灏有诗。辞人往，多题咏。明嘉靖末，火。隆庆五年^②，都御史刘憲建，汪道昆为之记。崇祯癸未^③，又毁于贼^④。国朝顺治中^⑤，御史上官鉉重建。康熙三年^⑥，火。巡抚刘公兆麟复建，总督张公长庚记之，而大冶胡梦发为之《赋》，俱载《艺文》。

南楼 在黄鹤山巅，名白云楼。宋元祐知州方泽建^⑦。非武昌庾亮之南楼也^⑧。

雄楚楼 依城，在旧抚院后山。明万历初^⑨，都御史赵贤建。癸未毁于贼。国朝康熙十五年，布政司徐惺重建^⑩。

望江楼 汉阳门城上，即烟波楼故址。明知府汪大本建，状元黎淳记。

楚观楼 布政司前，唐牛僧孺“奇章阁”故处。宋知州陈邦光建“戏采堂”其上。后汪叔詹更名奇章阁。明弘治中，重建谯楼，大学士李东阳有记^⑪，明末寇毁。国朝顺治中重建，宏丽。未几，复毁。于康熙三年再建焦度楼，在东南子城上。度有武勇，宋明帝时为武陵王。参军沈攸之起兵至夏口，度登陴拒之，后人遂以为名。

和丰楼 在县东南，旧名高楼。宋淳熙间毁。总管刘邦翰重建，改名楚楼。在平湖门外，宋绍熙间建^⑫。

稽古阁 在府学。宋绍熙间，鄂州教授许中应建。朱文公有记。

① 张栻：张浚子。幼颖悟，长师胡弘，以古圣贤自期。累官吏部侍郎，右文殿修撰。坦荡明白，严于义利之辨，学者称南轩先生。 ② 隆庆：明穆宗年号，公元1567—1572年。 ③ 崇祯：明毅宗年号，公元1628—1644年。癸未：公元1643年。 ④ 贼：指张献忠。 ⑤ 顺治：清世祖年号，公元1644—1661年。

⑥ 康熙：清圣祖年号，公元1662—1722年。 ⑦ 元祐：宋哲宗年号，公元1086—1094年。 ⑧ 庾亮：晋明穆皇后兄。镇武昌，曾秋夜登赏南楼。 ⑨ 万历：明神宗年号，公元1573—1620年。 ⑩ 布政司：布政司布政使省称。 ⑪ 李东阳：（公元1447—1516年）字宾之，号西涯，茶陵人。历仕明英、宪、孝、武四朝，官至少师、大学士。为茶陵诗派领袖，为文典雅流利，书法擅长篆隶。 ⑫ 绍熙：宋光宗年号，公元1190—1194年。

孟宗宅 在旧武昌卫左

李兆海宅 今为修净寺

太白堂 相传李青莲读崔司空鹤楼诗阁笔之处^①。明邑令徐日久建。

竹鸡堂 元末，土人掘地得碑，镌“竹鸡堂”三字，东坡书。今废。

四贤堂 在府学。宋嘉定中，教授石继伦建，以祀周子、二程子、朱子^②，黄幹为之记^③。

李白讲书堂 在城南三十里头陀寺。又有皮日休讲书堂^④。

石镜亭 在黄鹤楼西临崖。旧有石如镜。宋贺铸有诗^⑤，后人为亭以表之。今亭废石亡。

吕仙亭 即仙枣亭遗址，明景泰四年重建^⑥。相传亭前枣树未尝实，忽有实如瓜。太守令小吏往视，小吏窃啖之，遂仙去。后人因亭焉。在黄鹤楼东。

曲水亭 在布政司前，今废。

压云亭 在黄鹤山，元世祖尝驻此。至正间建。

广永亭 在黄鹤山顶

江汉亭 在府倅厅^⑦，宋张栻记。张芸叟《南迁录》有云：“鄂倅公宇，因古城为亭榭，俯瞰汉江。”

垂崖亭 布政司内。宋李焘设张忠定像祠之^⑧，有记。

① 李青莲：李白。少居蜀中绵州青莲乡，因号青莲居士。崔司空：崔颢。阁：搁置。② 周子、二程子、朱子：著名理学家周敦颐、程颢、程颐、朱熹。③ 黄幹：字尚质，官至直学士。师事朱熹，富著述，弟子多名流。④ 皮日休：(公元834—883年)，字逸少，后改袭美。襄阳人。曾隐居鹿门山，自号鹿门子，又号醉士、酒民。咸通八年进士，任太常博士。善属文，撰《鹿门隐书》六十篇，多讥切时政。乾符中黄巢军入长安，授翰林学士，寻以讥刺被杀。有《皮子文藪》、《松陵唱和诗集》。

⑤ 贺铸：博学强记，尤长度曲。任酒使气，故不得志。藏书数万，校无一误。

⑥ 景泰：明代宗年号，公元1450—1456年。⑦ 倅：副职。⑧ 李焘：登绍兴进士，博极群书，著《续资治通鉴长编》等。

封建亭 在城南梅亭山。明太祖既降陈理，驻蹕于此。得报生六皇子，太祖喜曰：“他日以此子王楚^①。”及封王，议齐。宝三铸不成^②，因悟曰：“朕昔驻梅亭有言，其王楚乎？”一铸而宝成。

达摩亭 在金口下龙床矶上。前有大银杏树二株，相传即折芦渡江处。

涌月台 在黄鹤楼傍，三字石刻。相传“涌月”二字曹操笔，非也。按操未尝至鄂，不应有书；且“月涌大江流”，是取唐少陵句，必唐宋后人为之。《一统志》：“汉阳凤楼山下，有涌月亭，宋黄清老建。有大石，上勒‘涌月’二字。”或云：“后人移置于此，增‘台’字耳。”或说：“‘台’字截然一石，益知是清老亭中物。”今验之，“月”字泐断处，与“台”字相联，非截然一石也。

郊天台 在城东十里，今名磨儿山。相传昭烈祭天于此。

白阳台 在城北十里。旧《志》梁武攻郢城^③，遣唐修屯兵于此。

龙床台 一名凤凰窝，在高观山下。陈友谅筑台，明太祖纳降陈理时驻此。名龙床者，相传理献友谅镂金床，帝取而碎之。

北榭 在府署右，宋元祐间建，黄鲁直有诗^④。

张公洞 在龙泉，相传张宣尉屯兵于此。

磨剑池 在吕仙亭左，相传秦始皇磨剑处。

仙桃迹 在黄鹤矶上，有三桃迹。

岳松 在洪山上，为武穆王手植^⑤。明季斧于贼^⑥，今复茂。

古无影塔 在黄鹤矶上，高不三尺，题“古无影塔”四字。至今日照西畔，而塔无影。

① 王：作谓语，做王。 ② 宝：玺印。 ③ 梁武：萧衍。 ④ 黄鲁直：黄庭坚字。 ⑤ 武穆王：岳飞（公元1103—1142年），字鹏举。相州汤阴县人。历任少保、太尉，封武昌郡开国公。因极力主张抗金收复失地，反对议和投降，被赵构、秦桧诬陷免职杀害。绍兴三十二年复职，以礼改葬。后追封鄂王，谥武穆、忠武。《宋史》有传。 ⑥ 斧：作谓语，被斧砍。

宝像塔 在黄鹤楼前,元威顺王太子墓。

宝通塔 在洪山寺后

镇水铁犀 一在平湖门外,名铁牛厂;一沉于水。

元御书碑 在府学。元至顺间^①,御书“远志万里归程”六字,二碑刻。欧阳元为《赞》。

附:坟墓

蛮王墓 有二:一在城东三十里,一在马岐山。

汉祢衡墓 在鹦鹉洲畔。崇祯丙子夏^②,雷震洲尾,得一碑云:“祢处士墓”。今并沦于江。

黄杨墓 在县南三十里鹦鹉村棘林

刘将军墓 在旧演武场

晋陶侃墓 《九域志》“在江夏”^③,今失其处。

孟母墓 在凤凰山下,即孟宗母^④。

宋冯京墓^⑤ 在县南百里保安池灵溪乡。有宋司徒庙。

宋王邕墓 在城南山

朱條墓

伪汉陈友谅墓 在按察司署后。相传风雨之后,往往作祟。

明楚昭王墓^⑥

庄王墓及嗣王诸墓 俱在府城东南六十里灵泉山。

沈钟墓 在峡山村南湖嘴

① 至顺:元文宗年号,公元1328—1333年。 ② 崇祯丙子:公元1636年。

③ 《九域志》:《元丰九域志》简称,十卷。因情况较大中祥符六年修定的《九域图》有变化,由王存主编,曾肇、李德昌等重修。因不绘地形,改称“志”。分四京、二十三路和化外羁縻州,详载地里、户口、土贡、山川等。元丰八年刊。 ④ 孟宗:字恭武,三国吴江夏人。母多教助,后官至司空。孙皓时卒。 ⑤ 冯京:字当世,江夏人。自乡试至廷对俱第一。后拜翰林学士,知开封府。因与王安石论不合,被贬。后以太子少师致仕。卒谥文简。 ⑥ 详《封建志》。下同。

明楚藩八郡王墓 俱在府城东五十里，近灵泉山。

张善墓 在长乐山

吴云墓 在金口。明洪武初，使云南，不屈，死之。还葬此。

吴亮墓 在伏虎山

刘知府民悦墓 在黄鹤里

吴忠烈中裕墓 在纸坊

吴副使思温墓 在湘东里

熊襄愍廷弼墓^① 在纸坊

贺文忠逢圣墓^② 在塔步桥

郭文毅正域墓^③ 在长乐村

刘贞节墓 在二府寝

邬节妇墓 在长山铺

旧义塚 一在忠孝门外，一在洪山右侧。

新义塚 在大东门外，按察使张道祥置。

武昌县

鄂县故城 《水经注》云：“古岸有鄂县，故城盖樊楚也。”^④

鄂王城 县西南二里，楚[王]子红封国城。

吴王城 县东，周四百八十步。内有宫殿故址，今废。

吴大城 《水经注》云：“城东故城，汉将军灌婴所筑^⑤。陶侃为刺史，理其地。”又云：“吴王故宫城。前有御沟，后为天王庙。”今废。

黄石废城 县东。《江表传》云^⑥：“刘勋走入樊口，闻皖已破，将兵

① 熊襄愍廷弼：详《人物志》。 ② 贺文忠逢圣：详《人物志》。 ③ 郭文毅正域：详《人物志》。 ④ 《水经注校》为：《水经》：“江之右岸，有鄂县故城。”酈道元注：“旧樊楚也。”与此处不同。 ⑤ 《水经注校》此句前有言，此句后无“陶侃……理其地。” ⑥ 《江表传》：晋虞溥撰。记述三国事迹，尤详吴。《三国志》裴松之《注》多征引，《隋书·经籍志》著录二卷。已佚，清王仁俊有辑本。

救皖，为孙权所败，遂奔曹公”，即此处。

城塘县城 在县西七十里。隋末县令义大暄置，旧有水塘，因名。

梅城 在西五十里。《土俗编》云：“黄武二年城之”^①。今废。

作城县 西七十里，有元人余寿卿刻、西蜀李文祥书、樊西退叟作《龙巢两殿碑》。

郊天坛 在西山，又名即位坛。孙权初称尊号，祭天于南郊。牲用牡，追王父坚为始祖配天。

凤凰台 在虎头山。因凤凰见，筑台于此。周瑜、鲁肃以定建都之计。

钓台 北门外大江中。谢眺、蒋之奇俱有诗^②，孙权驻兵于此。

临津门 吴大城西北。吴城有五门：西南一门，谓之临津。

武昌西门 晋陶侃镇武昌课种柳。都尉夏施夜盗柳为己种。侃问：“此西门柳，何以盗种？”尉惊布^③，谢罪^④。

蛮市 晋西阳有豫州五水蛮^⑤，陶侃为守，作蛮市于吴城东，以为交易之所。

南楼 吴安乐宫端门。庾亮在武昌，与殷浩辈夜登南楼，据胡床，谭咏竟夕，即此。后废，今建谯楼。

捲雪楼 在县治北。明万历初，县令李有朋重修，改名“不尽亭”。

澄清楼 县治衙城后，县令李有朋建。康熙间县令熊登复建，有记。

伏虎楼

① 黄武：吴大帝孙权年号，公元222—229年。城之：筑此城。② 眺：疑“眺”误。谢眺，字玄晖。少好学，文章清丽，善草、隶，长五言诗。曾任南朝齐宣城太守。因不赞成立遥光，被其诬罪下狱死。有《谢宣城集》。蒋之奇：第进士，又举贤良方正。在淮东转运使任修水利有功，升江淮荆浙发运使，宋徽宗时拜观文殿学士。卒谥文穆。参见《宦迹志》通山县。③ 布：通怖。④ 谢罪：为错误道歉。⑤ 西阳：汉县，在今河南省光山县。后徙废，为蛮据。晋设西阳郡，在今湖北省黄冈县东。

萃景楼 俱西山左

文峰楼 县南二里,县令熊登建。

吴王故宫 张文潜《赋》云:“登西山之故墟,吊西门之衰柳。是吴王之故宫兮,昔仲谋之所有。”今不存。

安乐宫 基在吴王城内。吴缮丹阳南,谓之安乐宫。后诸葛恪更起门殿^①,为迁都计,谓之西宫。

避暑宫 即西山寺,一名圆通阁,吴王避暑于此。有银杏树二株,大可十围。明末,毁折无存。

太极殿 安乐宫前。孙权南郊即位,还升此殿。故址今不知所在。

鸡鸣阙 在宫城东

松风阁 西山寺后。宋黄(廷)[庭]坚建,后废。康熙间,县令熊登重建。

观音阁 龙蟠石上

九曲亭 宋苏子瞻建^②。后重建,废。元泰定壬午^③,判簿王野孥重建,改名“最乐亭”。明嘉靖年,改“怀坡亭”。顺治间,县令徐翀重修。

解剑亭 县东北江次。旧云:伍员渡江,解剑谢渔父于此。误传也。

广宴亭 唐广德中^④,县令马珣建,取谢元晖“樊山开广宴”之句^⑤。今废。

殊亭 马珣建,元结记,取其才殊、人殊、形殊亭又殊。今废。

怡亭 郎亭山下。亭废,有石篆书云^⑥:“怡亭,裴鷟卜夫亭之^⑦,”

① 诸葛恪:蜀汉诸葛亮兄吴诸葛瑾的儿子。封阳都侯,加扬州牧,督中外诸军事。因围新城不拔民怨,被吴主孙亮置酒诛。

② 苏子瞻:苏东坡,字子瞻。

③ 泰定:元泰定帝年号,公元1324—1328年。壬午:元泰定无壬午年,有误。

④ 广德:唐代宗年号,公元763—764年。

⑤ 谢朓,字玄晖。元,玄的避讳字,见《赠伏武昌》诗。

⑥ 篆书:刻写。

⑦ 亭之:建此亭。

李阳冰石夫篆之^①,裴虬养夫铭之^②,陇西李莒书”。石刻见存。

中允亭 金牛镇南十里张舍人宅基。沈存中《笔谭》云:“武昌张鄂登进士第、除中允时创之”。

伯履亭 寒溪寺西。宋宣政间^③,范侍郎坦谪黄州^④,游武昌作亭,以其字名。今废。

寿井亭 县南。元至正间,达鲁花赤、铁山县令王文贵同建。今废。

望楚亭 西山试剑石侧,今废。

南湖书院 县东半里。宋淳祐^⑤,权寿昌军事^⑥、京规教授黄瑞谅建。祠奉周、张、二程、晦庵、南轩、东莱七先生^⑦,辟堂筑斋。宝祐^⑧中,知府段震午增修堂庑。至元设山长领书院事^⑨,后毁于兵。明景泰间,分其一为府馆,余为布政分司。

龙川书院 金牛镇。元贞元末^⑩,设山长。今废。

东皋书院 明嘉靖间,教谕朱瓚建。今废。

凤台书院 嘉靖间,县令湛谦建,祀汪公室。

湖山书院 县西神山乡葛公市,元至元十年建,今废。

崇文书院 明崇祯间建,祠汪侯承诏,邹侯逢吉。见存。

陶侃读书堂 寒溪寺后,址今失。

① 篆之:为亭用篆字题名。 ② 铭之:为亭撰写《铭文》。 ③ 宣政:宋徽宗宣和、政和年,即公元1111—1125年。 ④ 范侍郎坦:范坦,字伯履。工山水花鸟,赐进士第,擢起居舍人。政和初复户部侍郎,多与张商英相合。张去,为人所论,贬黄州团练副使。赦复徽猷阁待制卒。 ⑤ 淳祐:宋理宗年号,公元1241—1252年。 ⑥ 寿昌军:宋改武昌县设,详《沿革志》。 ⑦ 周、张、二程、晦庵、南轩、东莱:周敦颐、张载、程颢、程颐、朱熹(号晦庵)、张栻(学者称南轩先生)、吕本中(学者称东莱先生)。 ⑧ 宝祐:宋理宗年号,公元1253—1258年。 ⑨ 至元:元世祖、惠宗年号,公元1264—1294、1335—1340年。 ⑩ 元贞元:元无,贞元为唐德宗(公元785—805年)和金海陵炀王(公元1153—1156年)年号,有误。

吴王读书堂 寒溪山间，址今失。

东坡读书堂 在寒溪山

陶公宅 县西北，后为罗汉院。记曰：“陶侃宅。”地中有黑石，中坳如樽。唐孟仕源命为“杯樽”，旧有碑。今失。

淳老庵 寒溪寺傍。宋宣政间，江西帅吴处厚从范坦游^①，建庵于此。淳老，处厚字也^②。今废。

舍利石塔 县东十里胜缘寺。隋文帝仁寿初^③，以如来感应^④，舍利分布天下^⑤，建塔百所。此为第二。

文星塔 明教瑜朱瓚筑，后废。康熙七年，县令熊登重建。

凤凰台、塔 明县令李有朋建，今存。

金牛镇塔 市中石塔一座，无考。

古烟墩二 一在燕矶风火山顶，一在屏风矶山顶。

三十六墩 县南二里，无考。

吕公洞 大江滨，有石刻“吕公洞”三字，左右有石勒^⑥。左勒云：“荆漕刺史张沉，来游武昌东台，载酒漾舟江滨^⑦，散步林石间。得陶、元、欧、苏之迹，遐想清高，命尊游目^⑧……”云云。“淳熙七年二月十七日书”。右勒云：“淳熙庚子莫春既望^⑨，邑令邯郸李楷，步自西亭，览湖山之胜。抚摩斫壁^⑩，访苏黄二先生遗迹。徜徉久之……”云云。据此，尚有永叔、子瞻、山谷书^⑪。所谓陶、元，疑陶岷^⑫、元结也。今皆亡矣。

① 吴处厚：字伯固，皇佑进士。 ② 处厚字：有误，与前字伯固矛盾。

③ 仁寿：隋文帝年号，公元601—604年。 ④ 如来：梵语佛的音译，又专用为释迦牟尼佛的十种法号之一。 ⑤ 舍利：梵语身骨的音译，后专指释迦牟尼佛焚化后结成的珠状坚硬物。 ⑥ 勒：铭文。 ⑦ 漾：泛，随意漂流。 ⑧ 尊：酒杯。此指酒。 ⑨ 1180年。莫：暮的古字。既望：农历望后一日，一般指小月十六、大月十七。 ⑩ 斫：坚硬的石头。 ⑪ 永叔、子瞻、山谷：欧阳修、苏轼、黄庭坚的字。 ⑫ 陶岷：陶渊明后，唐开元后家昆山。雅好游览，浪迹三十余年，归老于家。

吴老洞 西山背,今为土淤。

瓜 圻 县西五十里,吴王种瓜子于此。有送瓜沟,俗名为宋家沟。

附:坟墓

桓宣武墓 县西十三里

孙登墓^① 在五丈港口滨江原上

戴渊墓 县西二十里,高一丈三尺。晋骠骑将军戴若思也^②。

车武子墓^③ 县东三十里,与故居俱在车武湖之上。

赵龙图墓 吉祥寺侧。宋鄂州通判赵令巖也^④,有传。

邵应豹墓^⑤ 县南二十里城山。墓碑云:“故宋中奉大夫,开国男,菊逸先生邵公墓”。有记。

孟宗政墓^⑥ 县南一百二十里灵溪乡清水潭。碑云:“宋太尉,封永国公,谥忠毅”。

孟珙墓^⑦ 县西一百里贤庚乡金紫山。碑云:“宋太师,封吉国公,谥忠襄”。

杨昭墓 县西一百里贤庚乡土坡堡。按:昭字如山,陇西人。任至湖广行中书省参政,卒于官。留居武昌,遂葬于此。

丁鹤年墓 县西举溪寺后。碑云:“丁孝子墓”。

贞烈双姬墓 县西九十里葛店。按:明正德戊辰,优人陈旺,率其妻唐氏、女环儿赴江夏。遇贼史聪,谋杀其夫。强唐氏,不从,杀之。又强环儿,不从,亦杀之。本邑白湖张解元钟灵义之,备衣棺,更葬石,为

① 孙登:传说为晋苏门山隐士,好长啸等。 ② 戴若思:戴渊,字若思。

③ 车武子:车胤,字武子。 ④ 赵令巖:建炎初领兵戍武昌,以功封直龙图阁学士。 ⑤ 邵应豹:淳安人,从父徙武昌。字起南。举进士,曾知江夏等,有善政。后爵淳安县男。 ⑥ 孟宗政:南宋抗金名将,以荆鄂都统制卒。 ⑦ 孟珙:宗政子,少从父军中。与元夹攻灭金,后坐镇荆襄,屡拒元军。

之表。详载传。

咸宁县

成山古寨 县西五里。周十余里，四面峭壁，一径可入。

永安楼 在周堤上。周曰庠，建后废。康熙四年，县令何廷韬重建。

泠然馆 城西南半里。明万历间，邑人孟养蒙建。

读书台 在相山傍，相传宋冯京读书处，今废。其下为金莲池。

钟台 即桃花尖，县东南六十里。上有石室、石台，石钟或时自鸣。旧有修净寺，李北海读书其中。

葛仙崖 在潜山。抱朴子葛洪炼丹其上，石龟犹存。

蘋花溪 世传洪崖先生炼丹其中。常有老姥采蘋于此，问之，曰：“吾鲍姑也。忽不知所之。”

金莲池 在相山下，即枢密居第遗址，冯京以太子少师致仕。池中植莲，因以名焉。今废为学田。

附：坟墓

宋文简公冯公墓 凤凰山下，去县三里，今芜没。或曰：江夏灵溪乡有枢密墓。

宋忠臣朝奉大夫、都水监使陈求道墓^① 在蒲圻兴陂，今神道碑在县西河桥东。

元王晔墓 在县南山

方御史洙墓 [在]十二都

李布政使祥墓 在下好桥

陈都御史智墓 在官埠桥

王朝卿墓 在十二都。宋襄敏公韶之孙，晔之子。捍寇有功。元

^① 陈求道：详《人物志》。

朝列大夫张术撰碑文。按:王谒字朝卿,为枢密副使。生于龙口,葬于白沙。邑《志》恐误。

嘉鱼县

白面山邑址 县治旧在鱼岳山东南,唐保泰十一年^①,罹兵患,徙于白面山,即今白云山也。宋平江南,百姓按堵^②,复还旧治。今废址见存。

沙阳城 县东北里许,无考。

吕蒙城 县西八十里,孙权征长沙时城此。

岳公城 县东北四十里,岳武穆城此。

晚泊亭 在鱼山驿边,为迎送之所。宋淳熙十三年,晁令立。嘉泰四年^③,县令柴景望重修。后因岸圯,县令朱镗迁立。取少陵“喧哗阅使星”之句^④,更名阅星亭。久废。

观德亭 在射圃内。明洪武间,县令吴文起立。久废。

落星亭 在文庙大成殿东,有落星石。亭久废。

仰高亭^⑤ 在大成殿后,龙潭山顶。明正统十三年建^⑥。

威风亭 在凤凰山演武亭旧址。康熙八年,县尹李世锡建。

祭风台 与赤壁相邻,山顶有台,相传诸葛武侯祭风于此。

赤 壁 县西南八十里,与乌林相对,相传周瑜败曹操故处。削壁面西,上有“赤壁”二字,不知何年刻。

望夫石 山顶上一石,上有足迹如妇趾。世传夫役于外,其妇登山盼望,故名于此^⑦。

拄杖孔 县东阴山顶上。世传葛仙翁常立其巅,拄杖石开,即成石

① 保泰:即保大,十国南唐元宗年号,公元943—957年。泰通大,为太古字。

② 按堵:安定。 ③ 嘉泰:宋宁宗年号,公元1201—1204年。 ④ 少陵:杜甫又称少陵野老。 ⑤ 仰高:取《论语》颜渊赞孔子语“仰之弥高”。 ⑥ 正统:明英宗年号,公元1436—1449年。 ⑦ 名:命名。

窟。水清不溢，居民争取以疗疾。今涸。

文庙古松 元主簿狄忠手植，明初尚百余株。后渐摧折，仅存数十。邑绅熊开元后手植多株，今颇畅茂。

古柏一株 在城隍庙，可十围，不知何代植。明末枝叶尽凋，岁余复生。今青葱如故。

附：坟墓

宋郭君墓 县北龙潭山。有掘其《圻记》：“君讳一新，字德彰。旧讳弥远。复州玉河县沧浪乡清化里人^①。其先来自兴国。嘉熙己亥清野^②，南徙鄂之嘉鱼。明年八月二十四日卒，十一月初四日殓于县治北龙潭山之原。”又云：“君家世闻于时，义恤闻于乡、州县。职政于民^③，多所委任。沔阳侨治，条画裨赞力尤多。守臣将议奏补，辞以疾，弗能强。其寓居也，卜莲荷塘之上，面大江以西，志乡关之在目也。呜呼！天限南北，不获还先人之墓，此有遗憾。”原记字多讹缺，今录其大略云。

吕蒙墓 在吕蒙城内

李都御史田墓 白面山右

蒲圻县

太平城 吴孙权遣鲁肃征零陵，于此筑城。

虞帝庙 《通志》载：“至元间，监县帖木儿创建，在龙翔山西。舜南巡驻蹕于此。”又云：“在县治”。有断碑，载及二妃事，其字漫灭不可考。今俱失。

宝参读书堂 在河南浒。参为唐宰相。《通志》载：参宅在石相

① 复州：北周置，治建兴，在今湖北省仙桃（旧称沔阳）县西。曾改治竟陵，在今湖北省天门县西北。元改为复州路，又升沔阳府。 ② 嘉熙：宋理宗年号，公元1237—1240年。 己亥：公元1239年。 ③ 职：任职掌管。

寺，未第时读书于此。山神告当贵，后如其言，因舍宅为寺。

冯京读书宅 在县北西头村

赵葵故宅 在县治西梅隐坊。葵为宋置制使。葵父方宦于蒲，生葵于此。

廖明略读书轩 在凤凰山。明略为宋学士。

周登仕读书斋 在新溪。登仕为宋进士。

竹溪堂 宋苏东坡书额，在竹山洞。

魏观读书亭 在蒲首山。观为明祭酒。

葛仙山 即丫髻山。晋葛洪拜勾漏令，弃官修道处。

附：坟墓

吴将军丁奉墓 在龟湖六口。有祠。

宋李夫人墓 在县西楼下里大济寺侧。嘉熙中，光宗后母、李雍王夫人张氏葬于此。

赵副使嗣芳墓 在茅坛

百鸟护墓 在金山岭。明万历中，黄美金每冬雪煮食饲鸟。及卒，群鸟哀鸣。葬，则旋绕前导。葬毕，聚塚上数日。乡人刻石记异。

宋陈求道墓 在县东二四都兴陂。详见《忠烈传》。

李学士鹏翔墓 在黄攀桥

刘尚书维墓 在县东山麓

李参议广墓 在黄冈畈

王郎中焕墓 在一都梅家嘴

孟侍郎养浩墓 在茅坛。御祭葬。

赵参议邦桂墓 在马桥尖山

崇阳县

黄巢城 县西七十里白沙岭上

葛仙坛 东北二十五里葛仙山上。坛西清泉，远近挹其水。以祷

雨,辄应。

清远楼 十字街中,今废。

得月楼 文昌宫隼水畔。明天顺间^①,府丞万璋建。今废。

甘雨楼 明县令强兆龙建。初北门外,后移崇阳洪天风阁县后。今废。

崇经阁 元建,教谕厅左,中丞饶天民记。今废。

慈氏阁 岩头寺,李公书。

遗文堂 在灌溪寺右。有唐元和敕^②、徐浩写《金刚经碑》,学士赵麟开山碑,宋黄山谷书山诗碑,皆浸失。

愚翁亭 邑东南七里,唐隐士高骈建,今废。

北峰亭 原名卜丰,北城外,宋建。张忠定公笞市中卖菜人于此,后圯。任希彝、陈仲微重建。以岁七月二十六日率士民祭焉,遵成都仙游故事。刘信题曰“北峰亭”,有记。

南峰亭 县西,宋建,今废。

香雾亭 县后。宋张咏建,任希彝重建。有诗。

绿野亭 县圃之东北角,张咏建,今废。

春草亭 政成亭侧。宋蔡观建扁曰“蘸绿”^③,陈仲微改“春草亭”。

美美亭 上津台之顶。一山突兀,下临隼水,风景明秀。张咏建,今废。

政成亭 春草亭侧,今废。

盟鸥亭 “美美亭”下溪旁,今废。

钓雪亭 “美美亭”下。有石屹立,下临深渊。上平,坐钓俱[佳]。宋陈仲微建,今废。

咏归亭 儒学前,下临隼水。宋魏济建,今废。

① 天顺:明英宗年号,公元1457—1464年。 ② 元和:唐宪宗年号,公元806—820年。 ③ 扁:匾的古字,作谓语,制匾挂。下同。

问津亭 朱紫桥畔，元宣差普颜忽都鲁建^①。

静思亭 县治后。明洪武初顾华建，今废。

状元书院 遗址在中洲，状元李政茂读书处。

冰壶道院 官塘南。旧有馆驿，曰：桃溪馆。后加缮治，易今名，扁于正厅。径门扁曰^②：“一川风月”。又作亭池，中扁曰：“水香亭”。

花 村 西门外。桐柳夹道，出旧儒学前。

春谷园 “美美亭”畔

长松径 灌溪寺前。唐克符，别号纸衣道者，访智间禅师，为之种松于此。严士贞诗：“长松尽是克符栽。”

附：坟墓

唐司空温迁约墓 县西七十里灵塘源，侍郎胡文记。

宋丞相胡汴墓 县东回头岭上

戴都御史书墓 在背田畈

汪大理卿文盛墓 在白羊山原

邑侯李公善墓 县西一里，将乐人。

胥广文墓 县东新塘，扬州人。

通城县

雨 坛 县南三里锡山之巔，有石碑。岁旱，于此祷雨，有应。

子磐幕 县东南五十里，幕阜山之巔。吴太史慈拒刘表从子磐故迹，宋许元信有诗。

石 塔 县北一里华桥侧，满大师所建。

仙翁石 县南五十里黄龙山之巔。相传葛稚川修炼于此，未就而去，至今药炉丹灶尚存。傍产奇竹数根，风来自为扫坛。有灵湫，中有

① 宣差：帝王派遣宣读诏书等的使者。 ② 径：步道。

二黄鱼。岁旱，祷之则应。传吕纯阳有诗云^①：“山高一千八百丈，太元二十五洞天。落花飞出水冲石，翠帐拨开风卷烟。金鲤一双游碧沼，石田三亩产红莲。我来绝顶无他事，为访仙翁葛稚川。”

龙印石 县西四十里，有龙印之迹。

黄太石 县东十五里。相传有仙人黄太，尝坐炼于石上。

仙棋石 县东三十五里。相传有二仙人围棋石上^②，至今棋迹显然。

风孔岩 县西三十里四脚岭之巅。昔风孔大仙于此得道，可容四十余人。

箬姑尖 县西三十里。山顶有三石仙人。云起，夕必有雨。

破石垅 县东十五里，道旁一巨石，中裂一缝，竹木生焉。

杖鼓塘 县北十里，形肖杖鼓。为崇、通二邑之界。

附：坟墓

杨状元起萃墓 在城西南

兴国州

伍子胥营 州南九十里阖闾山。《武昌记》云：“吴王阖闾与楚相持，子胥屯兵于此。”即永兴故城。

废奉新县 西南一百二十里。吴置，隋废入富川县。

废安昌县 西北九十里。梁置，隋入富川县。

废富川县 西南五十里。陈阳新，隋改名，寻并入永兴县。

川上楼 州东富川县门上。明正德间建^③，郡守梁之禎鼎新为三层。

南薰楼 州南，郡守周鹏建。

① 吕纯阳：吕洞宾别号纯阳子。 ② 围棋：作谓语，下围棋。 ③ 正德：明武宗年号，公元1506—1521年。

富池驿楼 御史成始终登楼玩月^①,有回文诗^②。

卷雪楼 州东六十里黄龙洲上,宋时建。宋焦抑会试赴杭州,钱于楼上,有黄衣道人登楼执抑手曰:“子必中试!”抑乃题辞壁间,果得登第。楼今沉没。

望云阁 宋知军刘蒙之建,久废。

怀坡阁 富川堤上。苏东坡自黄来访李仲览,留其家。后仲览登第,瞰湖筑室,号“怀坡阁”,画东坡像于其上。王十朋过之^③,为赋《怀坡诗》。

在兹阁 原名“文在”。董其昌书额^④,为易今名。今废,基存。

政和堂 沧浪亭南,今废。

十咏堂 沧浪亭北。庆历中^⑤,王琪出守是郡^⑥,作《望江南十咏》。绍兴间,知军黄仁荣建堂,取“十咏”名之。

谋野堂 王梅溪云^⑦:“兴国江山,侣杭之西湖。堂在州宅后,富于观览。予赴夔门,张使君开宴于此。”今废。

湖山堂 在公堂后,今废。

云水草堂 在州后莲花池际,与沧浪亭对。郡守周鹏建,今废。

沧浪亭 旧在政和堂后。郡守周鹏重建于莲花池内,复筑桥数架,与云水草堂通。

释心亭 在治西,久废。

恩波亭 在放生池桥上。旧有“澄心亭”,郡守张采易名“棠阴”,张釜易名“恩波”。

鉴湖亭 治西福圣寺后岭上,今废。

① 成始终:字敬之。正统进士,拜监察御史,后升湖广按察僉事。

② 回文诗:诗体的一种,往返皆成诗篇。 ③ 王十朋:字龟龄。知兴国军,多政绩,著述中有《东坡诗集注》。参见《宦迹志》。 ④ 董其昌:明万历进士,曾任湖广副使、督湖广学政。书法神妙。 ⑤ 庆历:宋仁宗年号,公元1041—1048年。

⑥ 王琪:参见《宦迹志》。 ⑦ 王梅溪:王十朋号梅溪。

冰壶亭 永兴县治后山之巔

去思亭 治西，为郡守樊继建。

苍云亭 州东六十里罗汉寺前，古桧大数十围。知军李寿朋结亭其旁，扁今名，取东坡“老桧郁郁偕苍云”之句。

梅 山 范纯仁己酉孟冬书，二字纵横各五尺，在沙村江畔石壁上。

墨 池 西南八十里钟山上，其水墨色。相传钟繇学书于此，《九域志》亦云^①。

考经碑 在儒学戟门内，宋高宗正草御书。

三绝碑 东坡谪黄州，来访李仲览，为书范文正公所作《狄梁公碑》^②。刻于学宫，时号“三绝”。以狄公之忠、范公之文、苏公之字，故名。

古 柏 旧礼殿右。高数丈，围三尺。宋乾道庚寅年植也^③。

附：坟墓

甘宁墓 在县东六十里军山之阴。

孟嘉墓 在阳新孟家堰。嘉为阳新令。事见《传》。

孟琪墓 琪为荆帅，善相人术。李廷芝乡举，以策干琪。琪梦车骑称：“李尚书来谒。”明日，廷芝至。琪深异之，果举进士。后琪卒，廷芝感其知己，扶琪枢葬之兴国。未详其地。

彭汝砺墓 《一统志》云：“在州南三十里。”汝砺官居尚书。俗呼其地曰“下彭源”，墓侧有祠。按：《浮梁志》祀汝砺为乡贤，又载其墓。未知孰是？

李翔墓 东南三十里崇庆里内。原有碑，今没于民间。

① 参见《山川志》。 ② 范文正公：范仲淹谥文正。 狄梁公：狄仁杰唐睿宗时追封梁国公。 ③ 乾道：宋孝宗年号，公元1165—1173年。庚寅年：公元1170年。

成务墓 南二十里,地名梧坂。

夏廷震墓 南百里进阳里内

枢密墓 东南四十里大泽源,旧有石坊。

乌岩刘公四郎墓 州西百里慈口乌岩村。公墓在兴国,而子孙盛于蜀。详见给事徐纲记中。

大冶县

谢将军庙 址县治后冈。世传为晋谢文静公之后。将军驻军武昌,调署饶州团练使。宋开宝间^①,战没于齐安。江夏之民德之,为立祠祀焉。

读书堂 在灵峰山,世传东方朔读书处。又:书堂山有东方朔二子灵妙书堂,其地有灵子寺、朱盆石。

元结书堂 在回山上

止斋书堂 在崇虚观。以上俱久废,仅存遗址。

白莲阁 在东方山白莲池上,今废。

水犀亭 在磁湖江上,吴审理所居故基。李传《铭》曰:“瑶山之下,香满其亭;山巅水涯,兰馥麝芬。”今废。

占胜亭 在县南湖上,有王阜寿诗。今废。

元真子钓台 在道士洑,唐张志和隐处。

醉吟窝 在瑶山江上,有隐士居之。石上小勒云^②:“大江之滨,巉岩百尺。有卷斯阿,隐者盘旋。冥为憩息,真乐攸全……”余多剥落。

蕲竹山场 在道士洑西。世传宋太保吕文德种竹所。

青山场 南唐建炉鼓铁^③,今久废。

苏公石 在磁湖江上,二苏诗刻存焉^④。

金井 县前金湖中,世传有古淘金井。

① 开宝:宋太祖年号,公元968—976年。 ② 小勒:小字铭文。 ③ 鼓铁:鼓风冶铁。 ④ 二苏:苏轼、苏辙兄弟。

锡场 县西十里。元时，江西陈提举开炉煎银。后兵变，炉户散亡。今银矿无出。

铜矿 旧《志》：白雉山南产铜。晋、宋、梁、陈，采矿煎炼。山麓土墩，俗谓之铜灶者，其遗迹也。

铁冶所 东二十里，地名安田炉。洪武初建设，旋罢。

铁山炉 在铁山下。宋于此置炉煎铁，遗滓尚存。

昭济龙王庙碑 蛟潭之上有《碑记》，略云：县治东五里有水，溟深不可测。前俯秀峰平湖，后拥长林翠竹，厥境幽闲，名金水潭。父老相传下有神龙居焉。

异泉碑 元次山铭^①，颜鲁公书^②。明嘉靖中，王世贞檄武昌令榻印^③。令辇石送之^④，石遂碎坏。

附：坟墓

汉荆王刘贾墓 在保安，前庙后墓。高祖之从兄也。

宋高祖墓 在铁山东，前庙后墓。相传宋武帝刘裕也。

唐银青光禄大夫墓 在黄茅尖山下。姓王，名文慰，南康都昌人。为南唐武将，累仕至宋，破蛮有功。咸平初^⑤，终于位。

宋冯京祖墓 在沼山

万止斋墓 在西阳里龟山

太保吕文德墓 在道士洑

平山先生母制机墓 黄龙山寺左，谢枋得作《墓志铭》。前有制机塘。

明都御史范俊墓 在宫台里张家山，石刻尚存。

兴安伯徐祥墓 在章山，永乐二年谕葬。

① 元次山：元结字次山。 ② 颜鲁公：颜真卿封鲁郡公。 ③ 王世贞：字元美，嘉靖进士。好为古诗文，长期主持文坛。榻印：拓印。 ④ 辇：作谓语，用车转载。 ⑤ 咸平：宋真宗年号，公元998—1003年。

吕调阳祖墓 在茅潭里

黎知县墓 在道观左

余尚书祖墓 一在茗山，一在栏中桥。

胡希璵墓 在牌楼嘴

顾闳母墓 在青林嘴

通山县

文昌阁 县治东关外。明万历中，知县丘献可建。国朝知县任钟麟重建，扁曰：紫极。有记。

奎光阁 县治西关外。国朝知县任钟麟建，有记。

乖厓读书堂 县南三十里。宋张咏，号乖厓。为崇阳令，筑室读书于此。扁曰：休心。其址及钓月台犹存。

张平子宅 在城南。汉张衡，号平子，西鄂人。此其开凿之所^①。

爱山堂 县治西，宋绍兴间顾县令立。

青云馆 县治西北。明弘治间县令秦初建，为迎送科举之所。今废址存。

宿云亭 在县后。宋建，今废。

翠屏亭 在县后。宋建，今废。

劝农亭 在县西二里新牌楼山麓，明弘治己卯建^②。

飞仙亭 在九宫山，元赵孟頫有诗。

醉云亭 在白鹤山，朱廷辅建。

步虚亭 在翠屏山，县令夏纪建。

炯然亭 在翠屏山麓，侍郎朱廷立建。

去思亭 在白鹤山麓，为兴国知州杨士元立。

预备亭 县东北六里。县令张书绅建，今废。

两岸行窝 在九宫山上，侍郎朱廷立建。

① 开凿：发蒙，开始学习知识。 ② 弘治无己卯年，有误。

附:坟墓

李后主墓 在翠屏山。世传南唐李煜,以五十二棺同日出葬,为疑塚,而翠屏山其一也。今墓不存。

黄门吴母墓 广东海丰人,学训黄澄妻,葬翠屏山狮子脑。

学校志

学校之设,以育人材,士大夫经济、文章、礼义、廉耻由此出。古称“(维)[惟]楚有才”,而武昌为三楚首善,江永汉广,人才当甲诸郡^①。明洪永初^②,有诸生斋糈^③、廩食^④、读书于此。其后亶存虚名^⑤,士习窳惰^⑥,风教微矣。今圣朝尊礼师儒,崇尚文学。其亦鼓舞,惟新之会与。志《学校》。

武昌府

儒学 在府治南黄鹤山下,左长街,右府城隍庙。宋康定元年建^⑦。庆历中,大增学舍。绍兴中,都帅田师中夺为营垒,允学官朱栻请撤营修学^⑧。宋末兵燹,元延祐中重建^⑨。元末兵燹,明洪武三年重建。嘉靖二十七年,按察使万虞凯以学门不宜由西,改辟于东偏。万历戊午年,提学葛寅亮改建,乃稍迁大成殿等于旧址西,规制始阔。巡抚白圭、谢维章,布政司张公实、张敷华,按察使刘述宪、张抚,参政李琮、刘聪,参议章宏、李俊,副使俞仲才、陈孜、吴钦、焦芳,佥事冯铨、冯镐,知府沈暕、冒政,皆先后捐貲重修者。国初倾毁,总督罗绣锦、董卫国,巡抚何鸣銮、张朝珍、王新命,巡按马兆燧,布政使南洙源、李贵、徐慳,

① 甲:头等,这里作谓语,成为头等。 ② 洪、永:洪武至永乐年间。

③ 斋糈:住宿。 ④ 廩食:享受供应伙食。 ⑤ 亶:通但。 ⑥ 窳惰:懒惰。

⑦ 康定:宋仁宗年号,公元1040—1041年。 ⑧ 允:语助词。 ⑨ 延祐:元仁宗年号,公元1314—1320年。

按察使杨本针、吴毓珍、李世昌，分守道卢崇兴，分巡道萧时彦，提学道彭而述、赵渔、蒋永修，督粮道李为霖、章钦文，盐驿道李汝标、曹叶卜、余三汲，都司钱腾云，知府王羔、杜毓秀，同知聂源、张梦白、鲍复泰、唐嗣昌、牛奂、亢从时，通判宫家璧、翟凤、张凤翮、张芸，推官范体观、张箸，先后捐貲重修。康熙二十四年，总督徐公国相，巡抚石公琳，布政王定国，分守道成光，督粮道田雯，驿盐道宫梦仁、龔士禎^①，提学道姚淳焘，知府裴天锡，各捐俸修葺，焕然改观。

芹南书院 在学前，提学薛纲改社学。

濂溪书院 在文昌门内宁湖寺侧。明提学高世泰集前列诸生肄业其中，举江夏县诸生陈冉为院长，捐貲供给。

江汉书院 在忠孝门内。初系都司操捕道公署，后奉文裁缺，改为江汉书院。国朝布政司翟凤翥重修，巡抚林天擎会集多士肄业，捐资供给。

东山书院 黄鹤山东，俗传东方朔读书处。

清风书院 在清风桥西临湖。巡抚张朝珍建，以延纳名士。康熙辛酉^②，知府杜毓秀委江夏教谕张希良课江汉诸生，捐费给饷。知县刘朝英复捐费课诸生。乙丑^③，知府裴天锡重修。

江夏县

儒学 在县治西凤凰山。左为贡院，右即旧抚院址，南向莲池。宋初以附郭，县就州学，别立一斋，曰：务本。绍兴后迄元，皆因之。明洪武初，始别创于黄鹤山北。寻迁于楚藩广阜仓边，再迁入平湖门内归厚坊。弘治戊午^④，巡按王恩以規制狭隘，迁建今所。巡抚阎仲宇、岷山李公，巡按吴伯朋，分守参议吴世忠，分巡僉事赵岳駉，问礼提学张天馥、颜鲸，知府冒政、王俨，同知张仕可，通判李发、王国臣，推官李献可，

① 禎：《序》及《修志姓氏》前皆作禎。 ② 康熙辛酉：公元1681年。

③ 乙丑：公元1685年。 ④ 弘治戊午：公元1498年。

知县王铉、颜文选，教谕王廷椿，训导邹昌言、赵元祯，皆先后捐貲、董事重修者。国初颓圯殊甚，巡抚张朝珍，布政司徐惺，按察司吴毓珍，盐驿道余三汲，督粮道李为霖、章钦文，提学道蒋永修，都司钱腾云，知府杜毓秀，同知唐嗣昌，知县张其修、吴世贡、刘朝英，先后捐貲修葺。而加意倡率者，则巡抚张公，布政徐公。极力捐貲、必期有成者，则提学蒋公，教谕杜士英、张希良，训导鲁录，先后力董其事。提学蒋公有记，见《艺文》。

武昌县

儒学 在县治东南城外。旧在县西隅，宋崇宁中^①，迁于县治南一里许。淳熙中，县令周复迁建今所。嘉定中，升为寿昌军学，寻改寿昌郡学。元至正中，改为寿昌府学。大德中^②，始改为武昌县学。宋县令马天敏；元县尹赵从仕、文贵；明佥事刘敷，通判王蔓，推官沈汝璋，知县孟吉、宦绩、许诚、谢廷举、刘吴镗、聂贤商；清朱钦、湛谦、李有朋、高凌奎、何以让、刘体仁，教谕杜巽、朱瓚，训导谭思邑，进士刘学周、孟习孔，国朝知县张春枝、熊登，先后捐貲，增置重修。

东皋书院 教谕朱瓚建，并筑学堤。康熙七年，知县熊登建文星塔。

凤台书院 知县湛谦建，即汪公祠。

咸宁县

儒学 在县治东高峰之下。宋庆历四年，诏郡邑立学，咸宁立学自此始。元因之。元末兵燹，明洪武初草创。天顺中，更为修建。明知县冯昶、陈灏、施达、王介、茅信、署篆、王元英，先后捐貲，增置、重修。国朝知县周文华、何廷韬、王士瀚，教谕刘效曾，先后重修。乙丑，知府裴

^① 崇宁：宋徽宗年号，公元1102—1106年。 ^② 大德：元成宗年号，公元1297—1307年。

天锡,知县詹象泰,捐资重修。

相山书院 在相山,与儒学相对。明训导王庆重建。弘治中,都御史韩公迁于学左。正德中,知县丘魁仍迁建旧址,知县吴骢增置号房。今废。

三元书院 在县治左。明天启中^①,知县曹应聘即府馆旧址创建。今废。

湓川社学 一在县治南,知县王介建;一在中明亭,知县丘魁建。

咸嘉社学 在咸宁九都、嘉鱼四都之间。明正德中,都御史吴廷举建置,以教二邑子弟。置田租为社师束修,并养其子弟之贫者。知县赵迁有《记》。

嘉鱼县

儒学 在县治东北。旧在县南,庙、学两址湫隘殊甚^②。宋淳熙戊申^③,县尹姜偃迁文庙于龙潭山之阳,学更于县治之东。元主簿狄忠,县尹成文炜、苏靖,后先修理。明洪武中己卯^④,知县吴启文以庙、学隔越失宜,乃即庙左辟山麓为学。正统,莫震复修。嘉靖戊子^⑤,学迁于北门之内。己亥^⑥,复迁于三忠祠之基,仍分两址,即今所也。万历,蒋时馨修之。崇祯癸酉、甲戌间^⑦,知县程可登、邑绅熊开元,扩辟基址,改创重新。国朝知县李元震、教谕郭更名修。乙丑,知府裴天锡,知县年昌龄、荆振日捐资重修。

蒲圻县

儒学 在县治南。宋绍圣初,县令朱寿创建。元因之。元末兵燹,

① 天启:明熹宗年号,公元1621—1627年。 ② 湫隘:低下、狭小。

③ 宋淳熙戊申:公元1188年。 ④ 明洪武中无己卯,有误。 ⑤ 嘉靖戊子:公元1528年。 ⑥ 己亥:公元1539年。 ⑦ 崇祯癸酉、甲戌:公元1633—1634年。

明洪武中复建。宋县令张咏、薛仪老；元县尹王斌、韩世辅、谭添孙；明僉事刘敷，知县柯日新、吴俊植、葛凤仪、徐淮、吴本固、李桂、王之杰、林增志，教谕黄衷赤，县丞戴城、王岗、焦贵初、金梦麟：先后捐资、董事、增置、重修。国朝知县张苏、任溯昉、戴成名，训导李偁^①，先后捐资、董事、重修。

凤山书院 提学蔡潮建，廖道南有《赋》。嘉靖中，吴本固重修。万历中，知县吴弘济改为蕞川书院。今废。

新溪书院 《通志》载：在新店市。宋进士周登仕建，今废。

大宗书院 明末提学高世泰建，与知县曾杕共成之。

崇阳县

儒学 在县治北。旧在西关外，元末兵燹。明洪武初，迁建北城梵安故址。嗣后，参议刘规，副使薛纲及知府秦夔，同知万璋、冯璋，通判王蔓，知县顾华、赵弼、刘信、王学曾、陈洪烈、胡秉性、宋兴祖、李树声、徐应问，教谕俞绘、徐浚、张敷潜，训导龚善、罗继元，先后捐资、董事，增置、重修。国朝知县贾汉谊、教谕马世盛重修。

射圃 旧无。成化十年^②，督学严公淦命通判王蔓立于学前左。庚子^③，刘信改“敬一亭”，右创“观德亭”。今废。

折桂亭 明伦堂后。嘉靖十年，改名“敬一”，置卧碑四石。康熙二十二年，知县李特生修建。

通城县

儒学 在县治东，明洪武五年建。始于知县马极，守道赵钦汤，巡道冯应京，署县事杨文绘，教谕黄鹤鸣、徐应斗，训导冯介、罗继先，典史杨九成，先后捐资、董事、增置、重修。

① 偁：称的古字。 ② 成化：明宪宗年号，公元1465—1487年。

③ 庚子：公元1480年。

青阳书院 在儒学东门内。明嘉靖十六年,巡抚顾璘临县,见学左空虚,大建书院、号房,重门缭垣^①,为诸生读习之所。汪必东有记。

兴国州

儒学 在州治西。旧《志》:宋立军学于治西北隅。熙宁中,迁于州南。天祐中^②,迁于旧址之冈,东向。乾道中,迁于西冈,南向。元升军为路,改为路学。明改路为州,改为州学。宋知军胡师文、叶谟、虞旒孙、李寿朋;元总管申克温、石抹、帖木尔不花,文学椽陈松年;明同知翟圭,通判郑璫,知州李文声、叶普、胡瀛、李东、刘纶、吴希贤、周鹏,先后捐资、增置、重修。国朝巡道李呈祥,知州杨霖、杨遵,先后捐资修。乙丑,知府裴天锡、知州张辉祖捐资重修。

大冶县

儒学 在县治西,兴废不一。元至正元年修建,翰林学士虞集纪之。明洪武初,仍元之旧。八年,灾。十二年,重建。知县王伯时、于贤、蔡祯、刘琬、赵鼎、吴仁、杨令名、程九万、杨世华,教谕李悌,县丞王铭,典史韩升,先后捐资、董事、增置、重修。明末,寇毁。国朝刘源湛、陈飞鸣、石邦柱训导官,抚邦陈梦旸,先后捐修。康熙二十二年,知县陈邦寄、教谕王禹书,撤故更新。继又知县文经、训导邓逢晋,次第修理。

社学 旧在县西数步,知县刘琬改立县东半里。今县东之址,没于民间;而县西之址,犹属官地。

通山县

儒学 在县治东罗阜山麓。宋庆历间始立。宋、元兴废无考。明永乐中,稍迁于左重建。景泰中,仍迁旧址。知县任昂、吴莱、朱少卿、戴立、秦初、林金,教谕陈铨,侍郎朱廷立,先后捐资、增置、重修。

① 重门:偏正结构作谓语,建数重门。 ② 天祐:宋无天祐年,有误。

社学 一在道会司前，一在城隍庙左。

武昌府儒学制

先师庙 五楹，前月台，再前拜台。东西两庑，各十三楹。前戟门，三楹。戟门左右，为省牲、更衣所，各三楹。前泮池，四围石栏。跨石桥一座。又前棂星门。又前屏墙，屏外为通衢。衢南又有一池，池外有绕道。通衢之左右，砌墙二壁，各一瓮门，禁以木栅。池周围亦环以墙，使行者必绕出池屏之外。庙后明伦堂，五楹。堂前月台，左“名宦祠”，右“乡贤祠”。堂后山上“敬一亭”，藏嘉靖御制碑文^①。岁久，亭废。康熙乙丑岁^②，督宪徐公，诤国相，捐貲重建；郡守裴天锡董其役。又其右，“启圣祠”三楹。祠前隙地，向为居民所占。督宪徐公复清其界址：创造师儒讲堂及诸生肄业之舍；余留为射圃。缭以周垣。然后，武昌郡学规模弘整，焕乎改观。尊经阁三楹，在堂左。阁前有屏，有坊。坊前为学门。阁左系教授、训导宅舍，兵燹后倾圯不堪。丙寅岁^③，学道姚淳焘、郡守裴天锡捐资增造。

江夏县儒学制

先师庙 五楹。庙前月台，绕以石栏。台前拜台。东西两庑，各十一楹。前戟门，三楹。左为“名宦祠”，右为“乡贤祠”，各三楹。前泮池，跨石桥一座。又前棂星门，又前屏墙，左右木栅。屏外为通衢。庙后“明伦堂”，五楹。堂前，月台、高观黄鹤楼台，林木罗列。“可观堂”东南隅有礼门，三楹。基址污下，屋柱圯废。康熙二十三年，训导鲁录募诸生输助，并捐俸鼎建。堂后“启圣祠”，三楹。祠前“敬一亭”，藏嘉靖御制碑文。碑存，亭废。康熙二十四年，训导鲁录捐俸建砖亭一座。祠左“文昌祠”，三楹。祠右“双孝祠”，三楹。“双孝祠”左有隙地二丈

① 嘉靖：指嘉靖年间的皇帝明世宗，下同。 ② 康熙乙丑岁：公元 1685 年。 ③ 丙寅岁：公元 1686 年。

六尺,康熙二十三年,通学师生公请,县令刘朝英捐俸,各输资鼎建“奎星祠”三楹,以塞坎风^①。堂左有“尊经阁”,右有“斋房阁”,前有教谕、训导宅三所。今俱废。宅基前有屏,屏前学门三楹。

各邑儒学基址广狭不一,而庙、庑、戟门、泮池、棂星门規制皆同。外此,“明伦堂”、“启圣祠”、“名宦”、“乡贤祠”、“尊经阁”、“敬一亭”,或有位置少殊者,不必具载。仅载其附郭二学,以见学校之重,创建之难。诸上宪竭捐助之力,四十年来,而犹未大备。他可概矣。

历代秩祀记

汉

平帝元始元年^②,[诏]尊孔子曰“褒成宣尼公”。安帝延光三年^③,[诏]祀孔子及七十二弟子于阙里^④。

南[朝]宋

文帝 [诏]采晋故事,舞六佾^⑤,设“轩舞之乐”。

[北]魏

孝文帝 [诏尊孔子]称“文圣宣父”。正始七年^⑥,以颜回配^⑦。

文成帝^⑧ 敕有司行荐享之礼^⑨。

① 坎风:北风。 ② 元始:汉平帝年号,公元1—5年。 ③ 延光:汉安帝年号,公元122—125年。 ④ 阙里:在山东省曲阜城中,孔子故里和开始教学的地方。 ⑤ 六佾:春秋确立的仅次于天子的乐舞规格,用六列,列六人,共三十六人。 ⑥ 正始:北魏宣武帝年号,公元504—508年。 ⑦ 配:配享。

⑧ 文成帝:拓跋浚。 ⑨ 荐享:祭祀。

后周^①

[诏尊孔子]称“邹国公”。

隋

文帝 [诏尊孔子]称“宣师尼父”，诏州、县学以春、秋二仲月上丁释奠^②。

唐

太宗贞观二年，[诏]尊孔子为“先圣”，仍以颜回配，罢周公祀。

二十年，[诏尊孔子]称“先圣先师”。诏：诸州[学]，刺史为初献，上佐亚献，博士终献；[诸]县学，令初献、主簿终献。

二十一年，诏以左丘明、卜子夏、公羊高、谷梁赤、伏胜、高堂生、戴圣、毛萇、孔安国、刘向、郑众、杜子春、马融、卢植、郑康成、服子慎、何休、王肃、王辅嗣、杜元凯、范宁、贾逵二十二人并配享。

高宗乾封元年^③，[诏]尊孔子为“太师”。

总章元年^④，[诏]加颜回、曾参封爵，并配享。

武后[诏]封[孔子]“道隆公”

元宗^⑤ [诏]谥[孔子]“文宣王”。

开元八年^⑥，[诏]立十哲坐像，曾参特坐，俱在二十二贤之上。

开元二十七年，[诏]尊孔子为“文宣王”，颜子“兗国公”，闵损等九人为侯，曾参等为伯。

① 后周：即北周。 ② 上丁：上旬的丁日。 释奠：古代学校设酒食祭拜先圣先师的典礼。 ③ 乾封：唐高宗年号，公元666—668年。 ④ 总章：唐高宗年号，公元668—670年。 ⑤ 元：玄的避讳字。 ⑥ 开元：唐玄宗年号，公元713—741年。

宋

太祖建隆三年^①,诏庙门立戟十六。

真宗咸平中,[诏]尊孔子为“元圣文宣王”;费侯闵损以下,皆公;郈伯曾参以下,皆侯;左丘明以下,皆伯。寻避讳,改称“至圣”。

[大中]祥符四年^②,诏州城立孔子庙。

仁宗景祐元年^③,诏释奠用登歌^④。

神宗元丰七年^⑤,[诏]以孟子同颜子配享。荀况、杨雄,并从祀。

徽宗崇宁四年,[诏尊孔子为]“文宣王”,冕十二旒^⑥,服九章^⑦。

大观二年^⑧,[诏]跻子思从祀^⑨。

四年,诏先圣执镇圭,庙门用戟二十四^⑩。

理宗淳祐二年,[诏]加周敦颐、张载、程颐封爵,并朱熹从祀。

景定二年^⑪,[诏]加张栻、吕祖谦伯爵,从祀。

度宗咸淳三年^⑫,[诏]以颜回、曾参、孔伋、孟轲并配享;升颢孙师于十哲;邵雍、司马光从祀。

金

大定十年^⑬,[诏]加服十二章^⑭,纁旒九就^⑮。

元

成宗大德十一年,[诏]加孔子号曰“大成”。

① 建隆:宋太祖年号,公元960—963年。 ② 大中祥符:宋真宗年号,公元1008—1021年。 ③ 景祐:宋仁宗年号,公元1034—1038年。 ④ 登歌:古代祭典时乐师登堂演奏歌曲。 ⑤ 元丰:宋神宗年号,公元1078—1085年。

⑥ 最高礼遇。 ⑦ 帝王礼遇。 ⑧ 大观:宋徽宗年号,公元1107—1110年。

⑨ 跻:提升。 ⑩ 俱最高礼遇。 ⑪ 景定:宋理宗年号,公元1260—1264年。

⑫ 咸淳:宋度宗年号,公元1265—1274年。 ⑬ 大定:金世宗年号,公元1161—1189年。 ⑭ 最高礼遇。 ⑮ 最高礼遇。旒:同“旒”。就:量词,束。

仁宗皇庆二年^①，[诏]以许衡从祀。

文宗至顺元年，[诏]加先圣父母封爵；加颜子“兗国复圣公”、曾子“郈国宗圣公”、子思“沂国述圣公”、孟子“邹国亚圣公”；以董仲舒从祀。

明

洪武三年，[诏]定释奠、登器，各为高台。其笾豆、簠簋，悉代以瓷器。

五年，诏天下称“大成至圣文宣王”，及配享、从祀先贤、先儒。

十四年，[诏]自夫子以下，像不土绘，祀以神主。

十七年，敕每月朔、望，郡县官以下诣学行香。

二十九年，[诏]罢（杨）[扬]雄从祀，进祀董仲舒。

永乐八年，[诏]正文庙绘像衣冠。

正统元年，[诏]定从祀名爵、位次。

二年，[诏]进先儒宋胡安国、蔡沈、真德秀，元吴澄从祀。

嘉靖九年，[诏]改称“至圣先师”孔子。四配为复圣颜子，宗圣曾子，述圣子思子，亚圣孟子；从祀弟子，称“先贤”；左丘明以下，称“先儒”，去肖像，易木主。春秋上丁释奠：[府]，十笾十豆；州县，八笾八豆。舞六佾。四配，六笾六豆。十哲，四笾四豆。两庑如之。庙称大成殿，门称大成门。罢公、侯、伯封爵。申枨、申党本一人，存枨去党。其公伯寮、秦冉、颜何、荀况、戴圣、刘向、贾逵、马融、何休、王肃、王弼、杜预、吴澄十三人，罢从祀。林放、蘧瑗、郑元、郑众、卢植、服虔、范宁七人，各祀于其乡。进后苍、王通、胡瑗、欧阳修、陆九渊五人从祀。专祠祀启圣公孔氏，陈设同至圣，仅少太羹一登。以颜无繇、曾点、孔鲤、孟孙氏配享为四配，陈设同十哲。

隆庆六年，[诏]进先儒薛瑄从祀。

^① 皇庆：元仁宗年号，公元1312—1313年。

万历十四年，[诏]进先儒胡居仁、陈献章、王守仁从祀。乐用六佾，选民间子弟充之，复其市厘之役。先三日，学官演习于明伦堂下。先一日，主祀官盥祝版毕，仍亲为阅视，行三献礼。

大成殿

至圣先师孔子

四配

复圣颜子，字子渊。

宗圣曾子，字子舆。

述圣子思子，名伋。

亚圣孟子，字子舆。

十哲

闵损，字子骞。

冉耕，字伯牛。

冉雍，字仲弓。

宰予，字子我。

端木赐，字子贡。

冉求，字子有。

仲由，字子路。

言偃，字子游。

卜商，字子夏。

颛孙师，字子张。

启圣祠

启圣公孔子

四配

颜无繇，字路，回之父。

曾点，字皙，参之父。

孔鲤，字伯鱼，伋之父。

孟孙激，公宜，轲之父。

四从

程珦，字伯温，颐、颢之父。

朱松，字乔年，熹之父。

蔡元定，字季通，沈之父。

周辅成，敦颐之父。

东庀从祀诸贤

澹台子灭，字子羽。

原子宪，字子思。

南宫子适，字子容。

商子瞿，字子木。

漆雕子开，字子若。

樊子须，字子迟。

公西子赤，字子华。

梁子鳢，字叔鱼。

冉子儒，字子鲁。

伯子虔，字楷，一作子析。

冉子季，字子产。

漆雕子侈，字子敛。

漆雕子徒，字子文。

商子泽^①，字子秀。

任子不齐，字选。

公良子儒，字子正。

奚子容蒧^②，字子偕。

颜子祖，字子襄。

句子井疆，字子疆。

秦子祖，字子南。

公祖子句，字子之。

县子成，字子棋。

燕子伋，字子思。

颜子之僕，字子叔。

乐子欸，字子声。

邾子巽，字子敛。

公西子與如，字子上。

公西子蒧，字子尚。

陈子亢，字子禽。

琴子牢，字子开。

步叔子乘，字子车。

西庀从祀诸贤

宓子不齐，字子贱。

公冶子长，字子长。

公析子哀，字季沈。

高子柴，字子羔。

司马子耕，字伯牛。

有子若，字子若。

巫马子施，字子期。

颜子辛，字子柳。

曹子卹，字子循。

公孙子宠，字子石。

秦子商，字子丕。

颜子高，字子骄。

穰驷子赤，字子徒。

石子作蜀，字子明。

公夏子首，字子乘。

后子处，字子里。

公肩子定，字子仲。

郈子单^③，字子家。

罕父子黑，字子索。

荣子旂，字子桢。

左人子郢，字行。

郑子国，字子徒。

原子亢，字子抗。

廉子洁，字庸。

叔仲子会，字子期。

狄子黑，字子皙。

孔子忠，字子蔑。

① 疑刻工作“商”，下同。 ② 蒧 zhēn：植物马蓝或酸浆。 ③ 郈 qiāo：人名或地名。

施子之常，字子常。 秦子非，字子之。 申子枨，字子周。
颜子喈，字子声。

东庠从祀诸儒

左子丘明	伏子胜，字子贱。	高堂子生，字伯秦。
后子苍，字近君。	董子仲舒	王子通，字子淹。
欧阳子修，字永叔。	邵子雍，字尧夫。	司马子光，字君实。
程子颢，字伯淳。	杨子时，字中立。	罗子从彦，字仲素。
陆子九渊，字子静。	朱子熹，字元晦。	真子德秀，字景元。
许子衡，字仲平。	陈子献章，字公甫。	王子守仁，字伯安。

西庠从祀诸儒

公羊子高	谷梁子赤	毛子萇
孔子安国，字子国。	杜子子春	韩子愈，字退之。
胡子瑗，字翼之。	周子敦颐	张子载，字厚。
程子颐，字茂叔。	胡子安国，字康侯。	张子栻，字敬夫。
李子侗，字愿中。	吕子祖谦，字伯恭。	蔡子沉，字仲嘿。
薛子瑄，字德温。	胡子居仁，字叔心。	

名宦祠从祀姓名

武昌府儒学祠祀 江夏县附

旧《志》经兵火，灰烬无存。仅得之传闻，存以俟考。

明

布政司	郭子章	杜 诗	分巡	佥事	张子仁	冯应京
提学副使	杜子宁	葛寅亮	佥事	高世泰		
知府	聂 贤					

国朝

巡抚兵部尚书 张明珍 按察使 张道祥 同知 唐嗣昌

武昌县儒学祠祀

晋

太尉 陶 侃

唐

经略使 元 结

明

刑部尚书 聂 贤 赠户部尚书 汪 玺
知县 郭时民 李有朋 韩 相 教谕 杜 巽 朱 瓚
训导 严文彦 李 岐

咸宁县儒学祠祀

明

知县 冯 昶 林和生 上官仪 陈 灏 王 介 萧立业
教谕 伍 福 训导 刘 秩

嘉鱼县儒学祠祀

元

[县]令 成 宣

明

知县 姚以德 蒋 震 孙 伦 马炳然 姜 溥 吴 骥
蒋时馨 葛中选
训导 石 磐

蒲圻县儒学祠祀

唐

[县]令 郑元瑾

[县]丞 李必问

宋

[县]令 朱 寿

[县]尉 陈庆勉

主簿 侯 玉

明

知县 柯日新 黄 广 钱 昭 吴 俊 周 洪 朱 鉴
罗 列 张 佩 汪有功

县丞 汪 显

教谕 马进阶 吴复清 林民止

训导 马 敬

崇阳县儒学祠祀

宋

[县]令 张 咏 欧阳奕 段少连 李 涓 钱师仁 王 溉
陈仲微

明

知县 尹 谷 胡兴福 杨伯成 元 俊 杨 泰 焦 玘
刘 信 李 锐

训导 龚 善

通城县儒学祠祀

宋

[县]令 孔端植

明

知县 马 极 杨 庆 臧 石 褚 潭

兴国州儒学祠祀

宋

孟 嘉 王 琪 杨 绘 周紫芝 陆九渊 王十朋
虞旂孙 冯去疾 陈天祥 龙卜花

明

知州 樊 继 胡 瀛 杨 祐

大冶县儒学祠祀

元

[县]令 周 鏊

明

知县 冯万金 吴 懋 于 贤 綦 祯 杜士奎 陈九万
杨方盛 郑学陆

通山县儒学祠祀

宋

[县]令 蒋之奇

明

知县 孙 溥 林 金

教谕 陈 铨

乡贤祠从祀姓名

武昌府儒学祠祀

江夏县附祀 旧志无考

汉 孟 宗

唐 李 邕 李 邠

宋 冯 商 冯 京

明 刘仲廉 曾 敬 刘余庆 徐 鏞 徐 珏 刘钟灵

韩 楷 詹文光 冯世雍 郭 懋 周 冲 侯应爵

常居敬 张维祯 邓 真 邓 钰 王 竑 辛 浩

上 泰 张 璞 吕调音 杜一山 罗 琳 郭正域

吴裕中 任家相 贺世泰 贺逢圣 熊廷弼 佟养直

佟卜年 周文卿

国朝 杨于昆

武昌县儒学祠祀

宋 孟宗政 孟 珙 邵应豹

明 张 谔 黄 琛 刘任明 蔡 哲 邵 圭 周 墩

陈 渥 邵 铤 周 源 周 楷 胡 椿 胡 裕

熊 清 孟廷柯 孟 仿 熊 桴 孟 仇 孟习孔

吴 兹 刘学周 孟光第

咸宁县儒学祠祀

宋 冯 商 冯 京 陈 倬 陈求道
明 李朋翔 胡可仕 刘 维 方 嵩 陈 智 鲍 时
杨 瓚 赵邦柱 孟 机 孟养浩

嘉鱼县儒学祠祀

宋 李义山 李大同
元 李 英
明 李 田 吴廷举 李承箕 李承勋 尹 相 李 沂
方逢时 李 懔

蒲圻县儒学祠祀

宋 费师古
元 何槐孙
明 魏 观 王允茂 李德庸 黄 煜 王 恺 卢 中
仵 瑜 胡尧元 张东周 龚 晟 魏 溶 胡尧凯
谢存儒 魏正初 何思登 王良谟 马天锦 魏翼如
魏 裳 魏 诏 王台彦 魏 说

崇阳县儒学祠祀

明 胡兴祖 龚 善 杨 昺 龚伯宁 戴 书 王守贞
王 甸 饶天爵 汪文明 汪文盛 胡 濂 汪宗元
周 琮 宋 忠 陈 曾 汪宗伊 刘景韶

通城县儒学祠祀

唐 廖 忠
宋 方 瑗 杨启莘 廖 显 胡文忠

兴国州儒学祠祀

宋 吴 举 吴仲复 吴择仁 王希圣 盛子克 梁廷凤
张丰德 吴必泰 马 鏞 马 涛 俞 或 成 务
韩 衡 刘 谅
明 刘 珂 钟 湘 徐 纲 吴国伦 刘师颖 曹志遇
石 炬 潘师道

大冶县儒学祠祀

唐 江水清

宋 陈师德 方 珍 冯 洽

明 范 俊 周宗智 向 珍 陆 升 吕调阳

通山县儒学祠祀

明 朱廷立 吴原正 陈宗夔

国朝

祀典悉如旧制。

武昌府儒学附郭二丁释奠，布政司主之，出使官先日行香。属学，俱各州县官主之。

释奠乐章

迎神

奏《咸和之曲》，无舞。

大哉，孔圣！道德尊崇。维持王化，斯民是宗。典祀有常，精纯并隆。神其来格，于昭圣容。

初献

奏《宁和之曲》，有舞。

自生民来，谁底其盛？惟师神明，度越前圣。粢帛具成，礼容斯称。黍稷非馨，惟神之（格）〔听〕。

亚献

奏《安和之曲》，有舞。

大哉圣师，实天生德。作乐以崇，时祀无斁^①。清酤惟献，嘉牲孔硕。荐羞神明，庶几昭格。

终献

奏《景和之曲》，有舞。

百王宗师，生民物轨，瞻之洋洋，神其宁止。酌彼金罍，惟清且旨。登献惟三，于嘻成礼。

彻饌

奏《咸和之曲》，无舞。

牺象在前，豆笾在列。以享以荐，既芬既洁，礼成乐备，人和神悦。祭则受福，率遵无越。

送神

奏《咸和之曲》，无舞。

有严学宫，四方来崇。恪恭祀事，威仪雍雍。歆兹惟馨，神驭旋复。明禋斯举，咸膺百福。

望瘞^②

奏《咸和之曲》，无舞。

凡奏乐章，如行礼未终，仍复奏之，复位而止。

① ●dù:败坏。 ② 瘞:掩埋。

乐舞仪

初献舞

歌“自生民来”：“自”字稍向外开，龠、翟舞^①。“生”字蹈向里开，龠、翟舞。“民”字合手、蹲身，朝上舞。“来”字身向外，高举龠而舞。

歌“谁底其盛”：“谁”字合龠、翟，两两东西相向。“底”字转身向外，出右足。“其”字正揖。“盛”字起，平身，出左足。

歌“惟师神明”：“惟”字自下而上，东西相向。“师”字稍向前，举龠，垂翟。“神”字合龠、翟，转身，仍东西相向。“明”字举手，三合龠、翟。

歌“度越前圣”：“度”字稍前，向外，低手舞。“越”字蹈，向里，低手舞。“前”字合手，谦，进步。“圣”字回身，谦，进步，侧身向外，高举龠、翟，回面顾上。

歌“粢帛具成”：“粢”字蹲身，正朝上。“帛”字稍舞，躬身，挽手。侧身向外，呈龠耳边，面顾上。“具”字合手，正揖。“成”字起，辞，转身，复举龠，分手，正立。

歌“礼容斯称”：“礼”字合龠、翟，平执，东西相向。“容”字蹲身，正朝上。“斯”字向外，退，挽手，举龠回面朝上。“称”字仍回身，正立。

歌“黍稷非馨”：“黍”字稍前舞。“稷”字合龠、翟，蹲身，正朝上。“非”字垂手，分东西相向。“馨”字起，手相向立。

歌“惟神之听”：“惟”字左侧身，分龠、翟，垂手向外，舞。“神”字右侧身，向里，舞。“之”字正揖，朝上。“听”字鞠躬而受之，拱龠而受之，三鼓起。

亚献舞

歌“大哉圣神”：“大”字左右进步，向外，垂手，舞。“哉”字向里，

① 龠 yuè: 古乐器。翟 dí: 野鸡长尾。

垂手，舞。“圣”字身向外，举翟，垂龠，回面顾上。“神”字回身，正立。

歌“实天生德”：“实”字合龠、翟，正蹲身。“天”字起身向前舞，再向外舞。“生”字向里舞。“德”字合手，谦，进步，合手，存谦。

歌“作乐以崇”：“作”字两两相对，举龠，东西立。“乐”字上下俱分，垂手，惟中班俱垂手，转身，东西相向。“以”字俱转身，东西相向立。“崇”字上下以翟相龠。

歌“时祀无斁”：“时”字稍前舞，蹈，垂手，向外舞。“祀”字舞，蹈，向里舞。“无”字合手，谦，进步。“斁”字回身，再谦，分手，东西相向立。

歌“清酤惟(馨)[献]”：“清”字稍前，向外，开翟、龠，舞。“酤”字向里，舞。“惟”字平，合龠、翟，再开龠、翟。“馨”字复合龠、翟，朝上，正立。

歌“嘉牲孔硕”：“嘉”字侧身，垂龠，举翟，向外舞。“牲”字合龠、翟，正揖。“孔”字举手，躬身。“硕”字躬而受之。

歌“荐羞神明”^①：“荐”字鞠躬，向上，揖于右。“羞”字鞠躬，向上，揖于左。“神”字，复揖于右。“明”字平身，合龠、翟，举手，随鞠躬，拱手而上。

歌“庶几昭格”：“庶”字三舞，蹈，左手举龠，向左躬身舞。“几”字向右躬身舞。“昭”字复向左躬身舞。“格”字高拱龠、翟，躬身而受之。

终献舞：

歌“百王宗师”：“百”字向外，开龠、翟舞。“王”字向里，开龠、翟舞。“宗”字向外，垂龠，回面顾上。“师”字回身，朝上正立。

歌“生民物轨”：“生”字合龠、翟，两班上下，两两相对，交龠。“民”字合手，蹲身。“物”字侧身，(相)[向]里，垂龠。“轨”字合龠、翟，朝上正立。

① 羞：珍羞，佳肴。

歌“瞻之洋洋”：“瞻”字开龠、翟，向外舞。“之”字开龠、翟，向里舞。“洋”字正立朝上。“洋”字合龠、翟。

歌“神其宁止”：“神”字开龠、翟，向外舞。“其”字向里舞。“宁”字合手，进步。“止”字回身，东西向，平谦。

歌“酌彼金罍”：“酌”字开龠、翟，向外舞。“彼”字向里舞。“金”字朝上，正立。“罍”字合龠、翟。

歌“惟清且旨”：“惟”字垂手，向外舞。“清”字向里，垂手舞。“且”字朝上，正揖。“旨”字躬身，而受之。

歌“登献惟三”：“登”字合龠、翟，躬身，向左舞。“献”字躬身，向右舞。“惟”字如前，左右舞。“三”字朝上，拜一鼓便起。

歌“于嘻成礼”：“于”字侧身，垂手。“嘻”字向里舞。“成”字朝上，正揖。各回头，拱手。“礼”字朝南，躬身而受之，三鼓，毕。

武昌府儒学，为泮宫首善之地^①，郡邑之所观瞻。其笾豆、乐舞诸器，旧有司存，今俱废而未举。惟崇重祀典者，稽考前制，一一创兴。选乐舞生习而行之，俾礼乐咸备，俎豆辉煌。则二丁释奠之际，诸生将必圜桥门而争听睹^②，踴踴踴踴，庶几见朝廷文明之盛尔。

乡饮酒礼仪

每岁正月望日、十月朔日，于明伦堂举行。先期择郡邑中齿德之尊者，启请为宾，位于西北。府正为主，位于东南。粮府为[□，]位于东北。虚介位于(正)[西]南。教授为司正，位主后。县正、学谕、经历二司，列于东；众宾列于西。堂前设律诰，位大门。仪门内各设三揖三让牌座。

是日，赞报“宾至，请迎宾”。主出大门，揖让而入，又揖让而升。宾主交拜，布席就坐。读律扬觶^③，工歌《鹿鸣》三章、《南山有台》(六)

① 泮宫：学校。 ② 圜：围绕。 ③ 扬觶：古代饮践时扬起酒器的一种礼仪。

[五]章^①，每章各进酒一。宾起，拜辞。望阙各谢恩，仍揖让而出，赞报“宾不顾矣”。

迎送科举礼仪

择吉，于府大堂东西排设筵席。先于丹墀内扎月宫桥一座，旁侍歌妓。

是日，俟科举诸生齐集，庭参毕，各就坐。演《魁星》、《捷报》等剧毕，起席。各生到桥边，诸妓簪花、披红、奉酒。领卷价讫，鼓乐导出，府正送桥外上马。

迎送新生礼仪

凡学道案发文武新生，择吉送入各学。先于府堂齐集，簪花、披红、饮酒毕，鼓乐导出。本府及属送至文庙谒圣毕，至明伦堂。俟各生拜见师长，公燕而退^②。

封建志

三代封建皆锡有国土^③，汉法之。晋六朝而下，多以王爵，出为持节都督或中郎将刺史。明初，诸王亦以本封之国典军事，有护卫、指挥、兵校，数奉征讨。太宗既靖难^④，始夺诸王兵柄^⑤。自是之国，或不于其地，撤护卫，仰廩禄于县官，空名守藩而已。楚自昭王启国，六传而愍王弑于元子华燿，嫌于灭郢^⑥。崇祯末，华燿罹寇凶，而昭王之园见掘于校卒。呜呼，岂不悲哉！议者谓明季寇起，诸王无兵，以致宫阙陆沉，陵

① 《鹿鸣》：《诗经》小雅篇名，取宴群臣、嘉宾之义。《南山有台》：《诗经》小雅篇名，取乐得贤义。② 燕：通“宴”。③ 锡：赐予。④ 太宗：指明成祖。靖难：明成祖发动夺取明惠帝政权的政变的旗号和史称。⑤ 柄：即权。

⑥ 灭郢：指灭国。

园燔剧,则太宗立法之弊也。然而元代宽徹^①、不花父子皆以重兵出镇,红巾一呼,奔亡败溃,封藩守土则何益乎?若夫明季,楚藩庶宗不下万余,廩禄不沾,困穷无赖,或昼攫通市,或夜出南塘。崇祯十二年,巡抚以闻,许如律治。尝以伍伯缚掷江中,又可悲矣。略考历代藩封之大者,录于篇,亦可观治乱、兴亡之概云。志《封建》。

武昌府

春秋

周夷王时,熊渠兴师至鄂。立长子康为勾亶王,今江陵县;少子执疵为越章王,今云梦县;中子红为鄂王。鄂地最大。

三国

吴王孙权称帝于武昌。今武昌县也,有故城。

封沙羨侯孙奂。初,以中郎将守江夏。黄武五年,为先锋,拜扬威将军,封沙羨侯。

南[朝]宋

宋封江夏王义恭,都督荆、襄等州军事,元嘉六年封。宋主与之书曰^②:“天下艰难,国家事重,隆替、安危在吾曹尔。汝当遇士大夫以礼、小民以恩。慎忽喜怒加人。能择善而从,美自归己。不可专决,以矜独断。盖以贵凌物,物终不服;以威加人,人乌能悦?”时宋主刘义隆先为宜都王,故知民间疾苦云。

^① 宽徹:元威顺王,镇武昌。至正中,徐寿辉率红巾军陷武昌,弃城逃走。

^② 宋主:文帝刘义隆。

南[朝]齐

武帝封江夏王锋。锋好琴、书，有武力。高宗惮之，后遇害。

明帝封第三子宝元江夏王，持节都督郢州。

梁

封江夏王大欸，简文[帝]第三子。初封石城公，位中书侍郎。太清三年^①，简文[帝]即位，封江夏。大宝元年^②，奔江陵。湘东王承制^③，改封淄川王。魏克江陵，遇害。

陈

封江夏王伯义，位金紫光禄大夫。

封武昌王叔虞，宣帝第十九子。大建十四年^④，立。入隋大业^⑤，为高施令。

唐

封江夏王道宗，鄂州刺史毕王璋之子。太宗为秦王讨武周时，道宗年甫十七。登玉壁城望之，调道宗曰：“贼怙众欲战，尔计谓何？”对曰：“武席胜锋未可当，宜以计摧”。^⑥卒如所料。出为灵州总管，破梁洛仁及突厥兵数万众。高祖嘉之，封任城王。贞观元年，召拜鸿胪卿，迁大理卿。太宗方经略突厥，复授灵州都督。助李靖破颉利可汗，迁为刑部尚书。后讨吐谷浑有功，徙封江夏王、鄂州刺史。

① 太清：梁临贺王年号，公元549年。 ② 大宝：梁简文帝年号，公元550—551年。 ③ 承制：秉承皇帝的意旨便宜行事。 ④ 大：“太”的古字。太建：陈宣帝年号，公元569—582年。 ⑤ 大业：隋炀帝年号，公元605—618年。

⑥ 席：凭借。

宋

封楚恭惠王元偁，太宗子。七岁，授检校太保、泾国公。久之，领鄂州都督、武昌军节度使。真宗即位，加同中书平章。七年，薨。有文集三卷、笔札一卷，上亲制序，藏之秘阁。

封楚荣宪王似，神宗子。初，为集庆军节度使。徽宗立，改镇武昌。崇宁中，（徙）[徙]镇荆南。

元

封威顺王宽彻普化，世祖之孙、镇南王脱欢子也。泰定三年，镇武昌，赐以金印。王纵麾下怯薛丹等侵夺民利，播弄威福，以致寇盗倡乱，宗社亦随以墟^①。黄鹄矶城上石塔，即其太子墓也。

明

封楚王禔，高帝第六子也^②。母昭敬妃胡氏，生王于甲辰三月三日^③。王天资英睿，高皇后钟爱之。洪武三年夏四月乙丑，封楚王。四年春二月甲子，入大本堂读书。九年冬十月丁卯，之国武昌。皇太子率诸王公、文武群僚饯于龙江。十一年春，随皇太子往谒皇陵于凤阳。十二年十二月乙巳，随皇太子入文华殿，听儒臣进讲。十四年五月丁未，上命率江夏侯周德兴讨散毛诸洞蛮^④；十五年，复讨大庸诸洞蛮^⑤；命率汤和讨靖州^⑥、上黄诸蛮吴回儿等^⑦。捷奏，上喜曰：“真吾子也。”二十年十月，往讨云南。阿鲁秃遁走武关，至酃州擒之。二十二年，肇建宗人府，命王署之。二十四年，征西番。二十七年，道州杜回子叛，讨平

① 墟：作谓语，成为废墟。 ② 高帝：朱元璋。 ③ 甲辰：公元1364年。

④ 散毛：宣抚司名。明置，清废。在今湖北省来凤县。 ⑤ 大庸：湖南省县名，今张家界市。 ⑥ 汤和：字鼎臣。少有大志，长多计谋。元末，初从郭子兴，后归朱元璋。累功至御史大夫，封信国公卒。靖州：宋初为羁縻州，后改靖州，今湖南省靖县。 ⑦ 上黄：县名，在今湖北省荆门、南漳一带。

之。是年，复讨全州叛獠。二十八年，讨桂阳山寇，平之。二十九年八月，泸溪诸洞蛮叛^①。出师，自沅州伐山踰险至天柱山，深入苗寨，平之。三十年二月壬午，荧惑入太微。上勅曰：“自古及今，有土有国者务谨身心，观天道，察人事，罔敢自暇自逸。盖人事作于下，则天道应于上，不可谨哉！吾谕尔久矣。周天列宿，五星出入，洞烛休咎，以修人事。近荧惑入太微，太微居翼、轸，楚分野也。太微为天庭，无故而入，灾必甚焉。且五星径入而东往，犹可也。今顺入而逆出，已八十日矣。在天庭十日，占有妨君者、有妨后者、有妨相者，矧八十日乎？尔冢子悼简王忽因疾云逝，天象岂虚示哉！尔其戒愆慎德，以回天意。王受命惟谨，乃书遵朝廷、守祖训十事上之。五月乙卯，会同湘王征古州蛮林小厮。勅曰：“近蛮彝倡乱^②，尔能与民同忧，率护卫军马往征之，岂不称为贤王？夫尊居王位，安享富贵，凡宫室、衣服、舆马，皆民力所供。若能奋威武、除民患，山川鬼神，亦将助顺矣！尔其钦承。”七月辛巳，复命征清平、黔阳诸蛮，平之。三十二年五月庚寅，封王嫡子孟烷为楚世子。三十三年戊辰，王薨，谥曰昭王。

是年，封孟烷为楚王。母妃王氏。王生而孝友、仁厚，博洽，能文章。文皇帝入靖内难，诸王守边者多调内郡，恒被谴责。王辞护卫暨原赐西安名马，深自贬损。书堂招文学管时敏、贝翱、雷贯辈，昕夕讨论^③。永乐癸巳，岁旱，王躬祷仰山，澍雨随应^④。宣德甲寅，武昌大饥，发廩为糜粥济之。近城有虎为民患，王射毙之。正统四年薨，谥曰庄王。庶第一子季垵嗣。

宣德二年，封季垵为楚王，以武陵王晋封。正统八年薨，谥曰宪王。宪王无嗣。

封季垵为楚王。季垵者，庄王庶第二子也。正统九年五月，以黔阳王晋封。天顺六年三月薨，谥曰康王。康王无嗣。

① 泸溪：汉沅陵县地。隋末析置卢溪县，在今县西南。宋徙今治。清改泸溪。② 彝：一作夷，义同。③ 昕夕：早晚，指全天。④ 澍雨：大雨。

成化六年，封均钝为楚王。庄王之孙，东安恭定王季堯之子。母妃王氏，尝梦天使授元圭。已而，母邢氏有娠，生王。王幼不好狎，凝重老成，事宪、康二妃如己母。正德初，论阉瑾用事，不报。五年七月薨，谥曰靖王。长子荣湔嗣。

正德七年十月，封荣湔为楚王，母妃周氏。弘治元年十二月戊申，册立为世子。王性俭约，知民隐。居亲丧，骨立。葬时，跣行雪雨中。尝疏请仿古立宗庙，毅皇帝赐彰孝坊嘉之。嘉靖十二年薨，谥曰端王。庶第一子显榕嗣。

嘉靖十五年，封显榕为楚王。二十四年春正月，为世子英燿所弑，谥曰愍。王庶第二子英烺嗣。

嘉靖三十年，封英烺为楚王。王风仪都雅，能折节礼士大夫，有贤声。隆庆六年薨，谥曰恭。王子华燊嗣。

万历元年，封华燊为楚王。王字鹄瞻。崇祯癸未五月，献贼陷武昌，胁王降。不从，贼以肩輿沉之江。先是，楚宗华樾奏王非恭王子，楚绅给事中段然亦疏论之，上不竟其事。王享国多年，貌丰伟。岁大浸，步祷于黄鹤楼，水立退。及王之沉江也，水为沸（辟）[阔]者数尺。世子汉阳王蘊钊，先王卒。余子俱及于难。

巴陵悼简王孟燧，昭王庶第二子，洪武三十二年封。薨。无子，国除。

永安懿简王孟炯，昭王庶第三子，洪武三十二年封。薨，庄惠王季堯嗣。正统二年，以镇国将军进封。薨，子悼怀王均鏐嗣。薨，子靖懿王荣澹嗣。薨，子昭定王显梧嗣。薨，子恭顺王英峻嗣。薨，子华株嗣。

寿昌安僖王孟焯，昭王嫡第四子，洪武三十二年封。薨，子靖和王季圻嗣。薨，子庄穆王均鐵嗣。薨，无子，国除。

崇阳靖简王孟炜，昭王庶第五子，永乐二年封。薨，子庄僖王季堯嗣。薨，子端懿王均镡嗣。薨，子端隐王荣濯嗣。薨，子显休嗣。坐事夺爵，子英照降封镇国将军。

通山靖恭王孟燯^①，昭王庶第六子，永乐二年封。薨，子庄简王季垺嗣。薨，子通惠均鏊嗣。薨，子温定王荣濠嗣。薨，子端穆王显梈嗣。薨，子英炊嗣。当英燿之变，与武冈王显槐守正不阿，勅赐奖慰，赐银币有差。

通城庄靖王孟灿，昭王庶第七子，永乐二年封。薨，子荣顺王季埏嗣。薨，子僖穆王均镬嗣。薨，子温惠王荣渡嗣。薨，子怀简王显柜嗣。薨，子英熔嗣。

景陵顺靖王孟炤，昭王庶第八子，永乐二年封。薨，无子，国除。

岳阳悼惠王孟燿，昭王庶第九子，永乐二年封。薨，子恭僖王季境嗣。薨，无子，国除。

江夏康靖王孟炬，昭王庶第十子，宣德三年封。薨，子悼顺王季璫嗣。薨，子安惠王均铍嗣。薨，子端僖王荣汉嗣。薨，子显桔嗣。

东安恭定王季堧，庄王庶第三子，正统二年封。薨，长子靖康王嗣。进封楚王，是为靖王。第二子昭简王均铈进封嗣国。薨，子王荣淑嗣。薨，子显栳嗣。

大冶 王季燠，庄王庶第四子。[薨，]无子，国除。

缙云怀僖王荣淋，靖王庶第二子，弘治十五年封。[薨，]无子，国除。

保康荣康王显湍，靖王庶第三子，嘉靖六年[封。]薨，无子，国除。

武冈 王显槐，端王庶第三子，嘉靖十七年封。薨，子王嗣。

宣化 王华璧，恭王第二子，万历封。薨，无子，国除。

① ● yuè: 火, 烧, 照耀。

卷之三

坛祠志

礼：社稷坛壝，城洫水火外^①，其或捍患、御灾有功德于民，以死勤事者，得与祭典；其他淫祀无取焉。狄仁杰巡抚江南，毁淫祠一千七百房，于是奏毁天下四千余所；李德裕奏填亳州圣水，以绝妖源。其故何也？淫祀所以召乱，巫风讹言之妖作，而烧香烝水之酖兴^②。“氓之蚩蚩”^③，一至于此。今无名神丛，所在都有，告谕之不胜。而俗习之难化，久矣！自正典外，姑即事考正一二，以正讹俗焉。志《坛祠》。

武昌府

社稷坛

府 在城北五里

江夏县 统府

武昌、咸宁、嘉鱼、蒲圻、崇阳 俱在县西

通城 在县西北

兴国 在州西

大冶 在县西北

通山 在县西南

风云、雷雨、山川坛

府 在东南五里，中和门外。

① 城洫：限制。洫：护城河，这里作谓语。 ② 烝水：指灼龟、洒圣水类迷信活动。酖：“祸”的古字。 ③ 见《诗经·氓》，本义为“那汉子老实、敦厚”。这里指“老百姓愚昧、糊涂”。

江夏 统府	武昌 在县南
咸宁 在县南	嘉鱼 在县东
蒲圻 在县西	崇阳 在县东
通城 在县南	兴国州 在州西
大冶、通山 在县南	

邑厉坛

府 在武胜门外五里

江夏 统府	武昌、嘉鱼 在县北
咸宁 在县东	
蒲圻、崇阳、通城 在县北	
兴国州 在州北	大冶 在县北
通山 在县西北	

乡厉坛

江夏、武昌、咸宁、嘉鱼、蒲圻、崇阳、通城、兴国、大冶、通山 俱遵旧制，各乡一所。

城隍庙

府 在府治前黄鹤山下

江夏 在县治大门西	
武昌 在县治西	嘉鱼 在县治东南
咸宁、蒲圻 在县治北	崇阳 在县治西
通城 在县治西南	兴国 在州治东
大冶、通山 在县治东	

江夏县

东岳泰山庙 在东门外

旗纛庙 山川坛右,每岁霜降前一日都司祭。

三义庙 建自唐,在县西南。祀汉昭烈帝、汉寿亭侯关羽、车骑将军张飞。又,四庙专祀关公:一在长街;一在忠孝门内;一在水口,刘宋时建;一在卓刀泉郊天台侧。

张王庙 祀唐张巡,不一其所。

岳王庙 一在县东五里旌忠坊,祀宋岳飞。乾道六年^①,建庙于鄂,赐今额。嘉定中^②,追封“鄂王”。明正德十年^③,布政使周季凤即旧将台驿址重建,大学士杨廷和记之。一在宾阳门青草坡,万历中^④,巡抚李楨建。

茨庙 古三皇庙,在孟城。相传孟恭武建,潘浚有记。

陶侃庙 在县西,晋咸康中建^⑤,有碑。

宋大宪庙 旧在县东七里。唐牛僧孺立庙禳火灾。宋绍兴中^⑥,王信重建。明弘治己未^⑦,有鸦衔火焚民居。知府冒政祷于庙,澍雨火止^⑧,移建县西南明月桥。

江东庙 吴王孙权破黄祖于沙羡,建都武昌。有德于民,世祀不绝。

广惠庙 城东五里,祀龙神也。旧名“顺济龙王庙”。宋淳熙间^⑨,祷雨灵应,赐今额。

江汉神庙 在汉阳门楼。宋淳熙中,通判刘靖建。

晏公庙 在南门外。公名戍仔,宋末临江府人^⑩,有隐德。溺于鄱

① 乾道:宋孝宗年号,公元1165—1173年。 ② 嘉定:宋宁宗年号,公元1208—1224年。 ③ 正德:明武宗年号,公元1506—1521年。 ④ 万历:明神宗年号,公元1573—1620年。 ⑤ 咸康:晋成帝年号,公元335—342年。

⑥ 绍兴:宋高宗年号,公元1131—1162年。 ⑦ 弘治:明孝宗年号,公元1488—1505年。己未:公元1499年。 ⑧ 澍雨:大雨。 ⑨ 淳熙:宋孝宗年号,公元1174—1189年。 ⑩ 临江府:秦九江、汉豫章、隋庐陵郡地。宋淳化二年分瑞州之清江、吉州之新淦、袁州之新淦等三县为临江军;元为路;明、清为府;治清江,即今江西省樟树市(原清江县)临江镇。

阳湖，屡著灵异，元敕封平浪侯，江湖在在祀之。

孝感祠 祀孝子孟宗，在城东二里。

鲁子敬祠^① 在城西江边

周公瑾祠^② 在料钞厂右

周子祠 祀宋濂溪先生敦颐^③，在武胜门内。

双孝祠 在县学内，祀孟司空宗、黄尚书香。

文昌祠 一在明月桥，一在府学，一在县学启圣祠侧。

四贤祠 宾阳门内，祀周、朱、二程并王阳明先生^④。

忠义祠 在县北。宋建炎间^⑤，金兵渡江。郡守李宜固守，民赖以安。后为贼所掠，投寺，僧疑而杀之。百姓伤感，为立祠。太守马去疾以闻，赐今额。

表忠祠 祀明建文死难四臣：安陆姚善、应城樊士信、襄阳廖升、沅州周拱元。万历初，都宪徐学谟有记。

冯大宪祠 明万历间，税珰陈奉剥虐士民，巡道冯应京命健卒缚珰之使人投于江。为珰奏被逮，泣送江干者数千人，立祠祀焉，提学窦子儒有记。

三忠祠 祀楚三闾大夫屈原、汉长沙傅贾谊、唐工部杜甫，明末提学高世泰建。

贺公祠 在府学前，祀贺文忠公逢圣。

忠节祠 在长街。祀国朝左都督徐勇，以勇随征湖南死难，赠太子太傅。

长春寺 楚藩宫后，黄龙禅师道场左。有龙池，闻其泉有二十四孔，具以石覆。明洪武末^⑥，二蛟起，开二孔。至国朝初，废圯。驿盐道

① 鲁子敬：三国吴鲁肃，字子敬。 ② 周公瑾：三国吴周瑜，字公瑾。

③ 濂溪先生敦颐：周敦颐，居濂溪，世称濂溪先生。 ④ 周、朱、二程：周敦颐、朱熹、程颢、程颐。 ⑤ 建炎：宋高宗年号，公元1127—1130年。 ⑥ 洪武：明太祖年号，公元1368—1398年。

余三汲新之^①，更名黄龙寺。

铁佛寺 文昌门内，旧名“报恩”。梁天监中^②，邵陵王舍宅建。唐天宝中^③，有红、白二蜘蛛，出入井中为祟，铸铁佛镇之。明末，兵毁。国朝顺治中^④，总督祖泽远鼎建，巡抚刘兆麒建“藏经阁”于中。

龙华寺 在宾阳门内，明成化丁卯赐额^⑤。

宁湖寺 在明月桥北

头陀寺 黄鹤矶边，齐王筠有记。今观音阁，相传即头陀寺。明末，火。国朝初，重建。

洪山寺 原在随州大洪山，名“宝通寺”。唐宝历中^⑥，灵济慈忍禅师祈雨，断足报龙。后移此，因名洪山寺。宋置制使孟珙、都统张顺重建。明楚昭王增修，庄王请赐额。寺后有浮图^⑦。

鸚鵡寺 城东南里许，相传黄祖杀祢衡处。明郭正域有《传》。

正觉寺 在府街后。明荆州惠藩建，楚武冈王赐额。

修静寺 唐李邕宅

小塔寺 古“兴福寺”，隋仁寿间建。

灵山寺 相传汉时建，元至正间^⑧，云岩志公重建。

东岩寺 在洪山之东，唐（大）[贞]观^⑨中建，鄂国尉迟公曾憩其内，旧额曰“正心书院”。

鹿泉寺 相传有白鹿跑泉于山阳，涌沸不涸。

灵泉寺 在灵泉山，产茶。寺右有泉，四时不涸。

现华寺 在新南门外。唐为“青莲庵”，中有“青莲井”遗迹。

黄龙山如意寺 唐黄龙诲机禅师开法道场。兵燹后，止存铁佛

① 新：新修。 ② 天监：南朝梁武帝年号，公元502—519年。 ③ 天宝：唐玄宗年号，公元742—756年。 ④ 顺治：清世祖年号，公元1644—1661年。

⑤ 成化：明宪宗年号，公元1465—1487年。有误，成化无丁卯年。 ⑥ 宝历：唐敬宗年号，公元825—827年。 ⑦ 浮图：塔。 ⑧ 至正：元惠宗年号，公元1341—1368年。 ⑨ 唐大观：唐无此年号，疑贞观误。

像^①。 国朝提督祖可法、柯永盛修建，重撰碑文。

金鸡寺 在六老山

慈云寺 八分山中，前有龙湫。

兴唐寺 在双峰山阴，内有南唐所铸钟。

清淨寺 在望山门内。创于唐贞观^②，修于明宣德^③，有洪武八年御制碑。

万寿寺 在八分山西涧中一里许，有石洞。洞中有石像，高一丈许。

武当宫 黄鹤山下，平湖门内。

延福宫 宾阳门内

长春观 在宾阳门外，每岁迎春于此。

铁祖师观 文昌门内，祀真武之神也。

真武观 在九峰山第一峰下。楚昭王世子巴陵王卒，卜葬掘圻，雷雨忽作，从圻中得石刻真武像。王异之，因建真武观。

清真观 在县北十里

白鹤观 宾阳门白鹤山麓

玉虚观 洪武中，道士简志和建。

玉皇阁 在高观山，巡抚张朝珍建。

武昌县

东岳庙 在县西北。一在金牛镇，宋、元古像犹存。

吴大帝庙 县西门外教场前

马步庙 梁子湖上，祭马步之神。

龙王庙 在燕矶，县东三十里。

关公庙 在饭罗山，县南一百二十里。

① 止：仅，只。 ② 贞观：唐太宗年号，公元627—649年。 ③ 宣德：明宣宗年号，公元1426—1435年。

张睢阳庙^① 神山乡葛店

苏文忠公祠^② 寒溪寺东

赵忠显公祠 县西吉祥寺侧。宋建炎初，宗室赵令巖通判鄂州，御金人殉节。宣抚张复奏立庙，赐额“忠显”。

三贤祠 县西，祀陶公侃，陶公潜、元公结。宋建，后废。康熙十二年重建^③。

陈文忠公祠 在儒学东，延佑五年立^④，祀知兴国军陈天祥。

忠节祠 县西，祀唐张巡。一在金牛镇。

东皋祠 县南，祀关义勇武安王。旧在垅岭，旱祷必雨。市人迎之白花桥侧立庙，后倾圮。明嘉靖间^⑤，教谕朱瓚建此祠。

汪公祠 即“凤台书院”。县令汪奎因旱祷雨累日，毙于斋舍。民哀之，立祠以祀。

华山寺 在包山深谷中

西山寺 县西，旧名“资福寺”。晋太元间，远公祖师开建。

寒溪寺 旧名“资圣寺”。晋陶侃得金像于海上，因送寒溪。

华容寺 县西六十里华容市，旧名“禅林寺”。

无相寺 在樊山，梁邵陵王萧纶建。齐永明四年^⑥，乐平王移寺于“涧饮寺”基上，为“乐平寺”。宋大中祥符元年^⑦，改名。

宁国寺 金牛镇。大历四年^⑧，刺史旦直节建。宋祥符初^⑨，改今名。

灵溪观 在灵溪。吴赤乌时^⑩，介象升仙于此，有鹤笼桥、仙人沼、

① 张睢阳：唐张巡，安史之乱守睢阳数月牺牲。 ② 苏文忠公：苏东坡谥文忠。 ③ 康熙：清圣祖年号，公元1662—1722年。 ④ 延佑：元仁宗年号，公元1314—1320年。 ⑤ 嘉靖：明世宗年号，公元1522—1566年。 ⑥ 永明：南朝齐武帝年号，公元483—493年。 ⑦ 大中祥符：宋真宗年号，公元1008—1016年。 ⑧ 大历：唐代宗年号，公元766—779年。 ⑨ 祥符：即大中祥符。

⑩ 赤乌：三国吴大帝年号，公元238—251年。

炼丹井、飞泉石。后桥为雷震，有篆文曰：神仙广济之桥。时人筑坛观，名曰：灵溪。

泗洲院 金牛镇，唐建。初名“昌化”，宋改今名。

龙泉院 县南百六十里。院东有水，曰：龙泉。旱祷，立应。

报恩院 即“北山寺”，县南百七十里。景德间[建]^①，钟犹存。

永寿院 即“隐龙寺”，县南百四十里，宋祥符初建。尝有蛟起。

灵山院 县南百五十里，唐贞观二年建。

黄田院 县东四十五里，东晋建。

咸宁县

东岳庙 在县治东

关圣庙 县东一里

玉皇庙 “西河寺”前

吴王庙 在马驿姜家巷内

张中丞庙^② “资福寺”左，祀张睢阳。

文昌祠 在儒学大成门东。明景泰间建^③，今废。新建“奎星楼”，以祀“文昌奎星”。

冯文简公祠 祀宋赠司徒冯京。嘉靖间，知县李春和建于学右。

资福寺 在后街西，领僧会司。

西河寺 城西半里，为一邑胜观。

九隆寺 十二都“寓仙洞”前，明天顺间建^④。

禅台寺 县西南二十里上十一都，明景泰间重修。山顶有天泉。

白沙寺 十二都莲蓬山

海龙寺 四都碧泉山。有龙池，四时不涸。

① 景德：宋真宗年号，公元1004—1007年。 ② 张中丞：唐张巡，诏拜御史中丞。 ③ 景泰：明代宗年号，公元1450—1456年。 ④ 天顺：英宗年号，公元1457—1464年。

潜山寺 即“潜山观”，宋冯京读书之所。
多宝寺 九都，有济祖师塔。一名“尖山寺”。
青龙寺 “寓仙洞”前
崇云寺 即“新开寺”，明天顺间重建。
白水寺 县东三十里，明景泰中建。
金鸡寺 在金鸡山，明天顺间重修。上有金鸡井。

嘉鱼县

东岳庙 在东门外
张王庙 祀张巡^①，县东北里许，明洪武年建。
吴王庙 祀孙权，县西南石头口赤壁山右。
梅山龙王庙 在杨药洞口。岁旱，入洞取水祈雨有应。正统十四年重建^②。

六溪口龙王庙 元建，明洪武十六年重修。
西岳行祠 旧在西郊长堤傍，今迁于龙津桥内龙潭山麓。
文昌祠 一在儒学仪门东，一在法华寺山门西。
三忠祠 在县治东，祀关云长、张睢阳、岳武穆^③，明嘉靖间建。
岳公祠 在县治前
法华寺 县西里许，宋建隆三年建^④。
静宝寺 县东北六十里，元时建。殿中有石塔。
熟湖寺 县东，宋开宝间建^⑤。
夏田寺 在上簪洲
太平寺 在西安里
万寿寺 在丰仪里

① 张巡：赠官扬州大都督，相当周代王爵。 ② 正统：明英宗年号，公元1436—1449年。 ③ 岳武穆：岳飞谥武穆。 ④ 建隆：宋太祖年号，公元960—963年。 ⑤ 开宝：宋太祖年号，公元968—976年。

紫霞观 在白云山岭

会真观 县东南里许,宋咸淳中建^①。今为城隍庙。

真武观 一在北门外,一在凤凰山。

蒲圻县

东岳庙 一在五岳观,一在县西新店镇。

吴王庙 在西门外,祀孙权。

龙王庙 县南荆泉山

关帝祠 县北门内

颜忠烈祠 祀颜清臣,县南二十里白石山,元建。并祀颜昕、颜允臧。

张忠烈祠 祀张巡,县治东积庆坊。

文昌祠 在东门内

宣公祠 盘石湖堤上,祀筑堤邑侯宣公大勋。

延寿寺 县治叠秀山唐永正间建,领僧会司^②。

白龙寺 在凤凰山。明弘治中,楚端王铸金像大士。

凤凰寺 凤凰山下,一名“灵鹫寺”。唐建,明洪武初修。

上方寺 荆港至崖山,唐建。

青龙寺 青龙山下。中有刺史袁昭文金书《金刚经》。

慧林寺 丁亩山擂鼓尖,唐建。

雪峰寺 在雪峰山,唐开通^③,二年建。

延寿寺 在县治。唐永正间,僧威公始辟,葬此。有塔,有“藏经阁”。

金台观 县治金台冈下,唐贞观建。掘地得石,有“金台”二字,故名。

① 咸淳:宋度宗年号,公元1265—1274年。 ② 永正:有误,史无永正年号。 ③ 开通:有误,史无开通年号。

五岳观 南门外。宋端平间道士陈洞观建于叠山之阳^①。明改“山川坛”为观，后因之。

金狮观 在荆沙乡。雄踞山巅，俯瞰河流。古木蓊蔚。

崇仙观 县河东，上有葛洪丹井。

仙云观 在县河东山顶

大士阁 西门外二里大沙洲，有丈六金像。

观山道院 在三十二都道观山

崇阳县

东岳庙 县东

关将军庙 县西南二百步

吴王庙 朝京门外

伏波庙 祀汉马援^②。

太尉庙 北门外，祀张巡、许远、刘景韶。

张中丞庙 祀张巡，在北峰亭下。

廖将军庙 邑西灵应观前

乖崖祠 在分司右。宋令张咏有异政，民思而祀之。

忠显祠 县东南城上，祀宋令李涓。靖康之难^③，与敌战死，邑人立祠祀之。

王侯祠 在“岩头寺”。侯名溉。与丞相李纲并祀，王炎记。

群贤祠 北门内，祀历任贤侯。

观音寺 县治土市领僧会司

西禅寺 一名“定明院”，前有白龙池。

净刹寺 一名“灌溪”，唐元和中建^④。

① 端平：宋理宗年号，公元1234—1236年。 ② 马援：东汉建武中拜伏波将军。 ③ 靖康：宋钦宗年号，公元1126—1127年。 ④ 元和：唐宪宗年号，公元806—820年。

- 金界寺 茱萸山,唐咸和中建^①。
昌国寺 一名“岩头”。唐乾符中建^②,李纲为之碑^③。
寿宁寺 宋绍兴中建
寿安寺 一名“延寿”,宋绍兴中建。
栖真寺 岩壑林泉,甲于诸刹。元丰间^④,署令王铉记。
石栢寺 即古“龙泉院”
金莲寺 邑东七里汤泉之上
文昌观 一名“应咸观”。咸淳中建,领道会司。
广德观 唐季,故址桃花溪口。
妙峰庵 唐禅师建,县西。

通城县

- 东岳庙 县西南九峰山
关帝庙 县东南一里朝宗桥畔
廖将军庙 下太里之茹山,祀廖忠。唐宣宗时,忠集义兵与黄巢战。贼断其首,犹跃马入阵。邑因祀之。
文昌祠 旧在北门外。万历中,知县赵廷俨移祀于“青阳书院”。
隆平寺 银山下,唐开元中建^⑤。
锡山寺 县南三里,泉石奇观。
金轮寺 “石门洞”侧
凤山寺 县南五里
白云寺 县西北四十五里
石壁寺 在石壁潭
成化寺 县东

① 咸和:有误,唐无咸和年号。 ② 乾符:唐僖宗年号,公元874—879年。

③ 为之碑:为寺建碑。 ④ 元丰:宋神宗年号,公元1078—1085年。 ⑤ 开元:唐玄宗年号,公元713—741年。

东岳观 南门外
南华观 县南四十里

兴国州

东岳庙 州西北
关王庙 大东门内
高山庙 北六十里下千秋乡，祀吴孙策。

陆宣公庙 南四十里，地名刘婆市。市苦酒税，宣公出使，道经其家，谓当奏除。岁余，得免，民立庙祀之。

岳王庙 大西门内
张王庙 西北三十五里
惠泽龙王庙 东南三十里

文昌祠 大东门内
昭勇祠 在富池镇，祀吴甘宁。

叠山祠 东一里谢公墩上，祀宋叠山先生谢枋得。

三贤祠 “叠山祠”右，祀苏东坡、黄鲁直、王龟龄。

福圣寺 西一里，唐咸通八年建^①。

银山寺 北十五里。前有石壁，东坡谪黄州访李仲览，于此大书“铁壁”二字。

罗汉寺 在富池镇。有大桧树，相传陈朝所遗。

永寿寺 西六十里，正统八年赐额。

长兴寺 西七十里

双泉寺 东南六十里。有泉自寺两腋流出。

石池寺 西北二十里。寺后有石池，广十丈许。

北台寺 在双迁里。宋学士吴中复构别业于此，号“龙图书院”。后废为寺，至今称胜概焉^②。

① 咸通：唐懿宗年号，公元860—874年。 ② 概：景象。

通真观 北一里
灵仙观 南十里

大冶县

东岳庙 县东半里
岳王庙 在登山上
谢将军庙 在西北一里,祀谢铁龙。
龙王庙 县西龙潭坳
荆王庙 保安镇,祀汉刘贾。
关帝祠 采芹桥左
张王祠 伍家嘴,祀张睢阳。明万历年,知县程九万建。

万止斋祠 城隍庙左,祀宋儒万禔。
吕公祠 北门外,祀明少保文简公调阳。

文昌阁 在青龙山

普济寺 县西慈云山,领僧会司。

龙窟寺 西塞山下

东方弘化寺 智印禅师道场。唐元和,赐号“宝峰”。宋祥符中,改赐今额。

流洪寺 果城里,有古洞、泉水。

灵鹫寺 即“白雉寺”,义崇祖师道场,天宝中建。

太平寺 即“天台寺”,源公祖师道场。有倒插白果一株,枝叶下垂,不记年所。宋绍兴间建,明洪武间修。

吉祥寺 吉祥山之阳

广法寺 东北四十里。道信禅师开山,洪武间修。

凤凰寺 凤凰山上。广慧祖师道场,唐建。有古井。

七门寺 流水里。寺有古井。相传昔有孝妇,其家燕子一巢七门,因名其地。

华藏寺 在东方山背平等山,殿宇宏丽。楚世子书额,武冈王书

“显圣禅林”。

兴道观 县北一里。相传许旌阳逐妖蛟过此，后人建观。

元贞观 西塞山，唐张志和住处。

崇虚观 县西南，万止斋读书处，宋熙宁中建^①。

报恩观 西塞山。世传吕文德葬此，其子建以报恩。

迎仙观 北四十五里，太平张真人显迹。

通山县

关王庙 县西半里

三闾大夫祠 在通泮桥南。元延佑，加封三闾大夫屈原为忠节清烈公。嘉靖庚子^②，朱侍郎重建。圯，国朝知县任钟麟重建。

谢公祠 在学宫北，祀谢叠山。

马伏波祠 康熙二年，知县任钟麟建。

多宝寺 白鹤山下，僧会司居之。寺有雨花楼。

灵泉寺 在二都

翠屏寺 县西四十里

雨霖寺 三都，去县十五里。旧为“鄂武穆王庙”。

安平寺 四都，去县七十里。

永济寺 县南五里

钦天瑞庆宫 九宫山真人张道清修炼[处]。宋淳熙中，赐建。元至治间重修^③，欧阳铉有记。

洞渊观 县西，领道会司。

① 熙宁：宋神宗年号，公元1068—1077年。 ② 嘉靖庚子：公元1540年。

③ 至治：元英宗年号，公元1321—1323年。

田赋志

《周礼》为理财之书，经野定赋，量入为出，与《大学》内本外末，絜矩之道相表里^①。使舍是而言财用，古今所以痛恨于安石之新法也。今天下任土作贡，户口、田赋，为出为入，制有尝经。郡县相统，上下相程，固恪遵画一矣^②。荆州田下中，而赋上下，赋已浮田数等，而火耨水耕^③、采山渔泽以济其穷^④。“民亦劳止”^⑤，伊可悯也。迨以军兴之后，赐诏蠲租而又宽积逋^⑥、禁羨耗^⑦，德、意蒸蒸甚厚。至征收，则例一准前明万历初年，减去启、祯增加重额^⑧。什一而税，自应输将恐后，且废弛之时多偷政，而励精之朝无遁情。则民之奸欺于法外者，知所惩；而吏之神明于法中者，日益善也。将古所称用一缓二，耕九余三。宽一分，民受一分之赐，而絜矩有道者，其复见乎。志《田赋》。

武昌府

闾属全书总额

田赋款项：

原额田、地、山、塘伍万叁千伍百肆拾贰顷壹拾伍亩贰分陆毫贰丝陆忽，额载秋粮米壹拾陆万肆千陆百贰拾玖石玖斗伍升柒勺陆抄，夏税贰麦壹万叁百伍石壹斗贰升陆勺捌抄——内除江夏县拨归水乡更名项下米、麦贰千壹百壹拾肆石柒斗壹合陆勺伍抄——实在秋粮米、麦壹拾柒万贰千捌百贰拾石叁斗陆升玖合柒勺玖抄，额征并新加共银壹拾贰万伍千叁百贰两叁钱捌分伍厘贰毫陆丝叁忽肆微陆尘伍纤壹渺。

① 絜矩：法度。 ② 画一：整齐、一致。 ③ 火耨水耕：指开垦荒地，扩大耕种面积。 ④ 采山渔泽：指收罗山货水产。 ⑤ 民亦劳止：《诗经·民劳》句，指人民辛劳。 ⑥ 积逋：累积拖欠的赋税。 ⑦ 羨耗：附加税收。

⑧ 启、祯：天启、崇祯，明末熹宗、毅宗的年号，公元1621—1644年。

夏税桑貳丝壹万柒百壹拾陸斤玖两伍钱陸分壹厘叁毫叁丝,额征并新加绢价银貳千陸百叁拾玖两玖钱捌分叁毫柒丝貳忽。

原额人丁并新增人丁共壹拾肆万叁千貳百玖拾捌丁,额征并新加及增丁共银貳万捌千肆百伍拾柒两壹钱叁分肆厘陸毫陸丝柒忽捌微伍尘玖纤捌渺玖漠——内康熙十四年奉文豁免运夫故丁壹千貳百伍拾貳丁^①,豁免丁银貳百肆拾柒两貳钱玖分伍厘陆毫陆丝柒忽叁微玖尘壹纤壹渺捌漠——实征银貳万捌千貳百玖两捌钱叁分玖厘肆微陆尘捌纤柒渺壹漠。

地亩玖厘饷银肆万玖千伍拾叁两玖钱叁分捌厘壹毫伍厘柒忽。

以上田、亩、地、山、塘、丁粮并辽饷,及新增人丁,除免运丁外,实共征银貳拾万伍千貳百陆两壹钱肆分貳厘柒毫玖丝貳忽玖微叁尘叁纤捌渺壹漠,内:

一起运户、礼、工、光各部、寺,条辽冗款及新增人丁,除免运丁外,实征共银壹拾貳万捌百捌拾陆两壹钱柒分肆厘壹毫柒丝貳忽捌微肆尘肆渺玖漠。又:解费除免运丁外,实征银壹百叁拾两捌钱陆分陆厘肆毫叁丝貳忽玖微捌尘。

一 存留官役、俸食、驿站、祭祀等项,除裁充饷并免运丁外,实共征银肆万五千壹百柒拾柒两陆钱捌分伍厘捌毫叁丝肆忽捌微壹尘柒纤玖渺貳漠。

一 存留项下历案奉裁各款,除免运丁外,实征银壹万玖千肆百捌两玖钱柒分捌厘柒毫伍丝壹忽貳微壹尘伍纤肆渺。

一 兵部江济水夫银伍千捌百叁拾陸两伍钱陸分陸厘陸毫肆丝。

一 随漕项下除免运丁外,实征银壹万叁千柒百陸拾叁两伍钱玖分壹厘玖毫陸丝玖忽壹微捌尘。又:解费除免运丁外,实征银貳两貳钱柒分捌厘玖毫玖丝壹忽玖微。

① 康熙十四年:公元 1675 年。

以上通共解给银贰拾万伍千贰百陆两壹钱肆分贰厘柒毫玖丝贰忽玖微叁尘叁纤捌渺壹漠

一 漕粮兑军正肆贰耗,共本色米肆万伍千柒百柒拾肆石肆斗肆升捌合。

里纳盘船脚米柒百肆拾陆石伍斗伍升伍合伍勺

一 南粮本色正耗米叁万贰千伍百肆拾贰石

里纳驴脚米折给解充饷银叁千玖百伍两肆分

新征鹿皮,另派京扛银伍两伍钱伍分捌厘肆毫。

湖洲杂课,除减、免豁无征外,实征银叁千玖拾柒两陆钱贰厘壹毫叁丝叁忽柒微贰尘贰纤伍渺。 又:遇闰加银伍百叁拾壹两陆钱陆分叁毫壹丝陆忽玖微壹尘壹纤。

本府带征龙坑子湖课银贰拾伍两

更名田地:

原额田、地、山、塘、草场、湖套^①、基园,除改归芦课洲地及崩卸无征外,实成熟田地各项贰千玖百肆拾伍顷贰拾壹亩叁分柒厘柒毫柒丝玖忽伍微,实征银捌千玖百伍拾伍两玖钱壹分叁厘捌毫柒丝肆忽玖微壹尘肆纤肆渺肆漠。

地亩玖厘饷银玖百贰拾叁两柒钱伍分捌厘叁毫叁丝柒微贰尘捌纤肆渺贰漠捌茫。

康熙柒年,江夏县新垦地柒顷捌拾陆亩玖分,实征租谷银贰千肆拾柒两捌钱贰分陆厘柒毫肆丝捌忽。

江夏县代征黄州卫屯田捌顷肆拾玖亩玖分陆厘陆毫,实征银叁拾陆两陆厘。

芦课各洲滩,除水套、沙滩、泥垱不堪载课外,实地壹千伍百贰顷捌拾玖亩陆分叁毫壹忽,实征课银贰千叁百柒拾两玖钱贰分陆厘捌毫壹

^① 套:水湾。

丝伍微陸尘。

匠班：匠户自办

起运每年纳班银叁百叁拾陸两陸钱 解司充饷

各项额税：

田房税银玖百伍拾两

当税银肆百两

铁税银伍百两

茶税银肆百陸拾两

酒税银贰百伍拾两

牙贴税银壹千贰百壹拾肆两伍钱

盐贴税银柒百壹拾柒两

江夏县

原六十三里，奉文归并，今六十二里。

全书总额

田赋款项：

原额田、地、山、塘，壹万叁千柒百伍拾壹顷叁拾捌亩柒分伍厘肆毫，内：

上、中、下三则田肆千壹百捌拾捌顷伍拾陸亩壹分贰厘陸毫 三则均派

山乡田贰百贰拾陸顷壹拾玖亩陸分伍厘叁毫

水乡田伍百玖拾肆顷伍亩柒分贰厘壹毫

三则地叁千叁拾贰顷玖亩肆分陸厘肆毫

塘伍百伍拾贰顷壹拾捌亩肆分柒厘

山伍千壹百伍拾捌顷贰拾玖亩叁分贰厘

额载秋粮米叁万肆千伍百柒拾玖石陆斗肆合柒勺

夏税贰麦贰千贰拾捌石玖斗贰升捌合伍勺,内除拨出水乡田地米、麦贰千壹百壹拾肆石柒斗壹合陆勺伍抄,临湖各佃办纳租课另征。实征米、麦叁万肆千肆百玖拾叁石捌斗叁升壹合伍勺伍抄。

夏税桑贰丝贰千叁百柒拾陆斤陆钱壹分玖厘玖毫玖丝

额征并新加银贰万伍千玖百贰拾伍两贰钱壹厘玖毫贰丝贰忽伍尘壹纤肆渺

原额并新增共人丁贰万捌千叁百捌拾捌丁,额征并新加银伍千贰百肆拾玖两捌钱壹分叁厘贰毫玖丝叁忽捌微肆尘伍纤玖渺陆漠,内康熙四年奉文豁免运夫故丁叁百陆丁,免丁银伍拾陆两壹钱柒分柒厘肆毫贰忽陆微壹尘陆纤叁渺陆漠,实征银伍千壹百玖拾叁两陆钱叁分伍厘捌毫玖丝壹忽贰微贰尘玖纤陆渺。

地亩玖厘饷银玖千伍百陆两玖钱玖分柒厘,以上田、地、山、塘丁粮并玖厘,辽饷除免运丁外,实共征银肆万陆百贰拾伍两捌钱叁分肆厘捌毫壹丝叁忽贰微捌尘壹纤。

一起运户、礼、工各部条辽冗款及新增,除免运丁外,实征银贰万肆千壹百捌拾贰两伍钱贰分捌毫捌丝陆忽壹微贰尘玖纤柒渺陆漠。

一 存留各官役俸薪、工食、驿站、祭祀等项,除免运丁外,实征银玖千陆百贰拾壹两叁分玖厘捌毫柒丝贰忽陆微伍尘壹纤贰渺肆漠。

一 存留项下历案奉裁各款起解充饷,除免运丁外,实征银肆千壹百伍拾玖两伍钱陆分叁厘捌丝壹忽伍微。

一 兵部江济水夫额银壹千陆拾陆两玖分陆厘叁毫玖丝伍忽

一 随漕银壹千伍百玖拾陆两陆钱壹分肆厘伍毫柒丝捌忽

以上通共解给银肆万陆百贰拾伍两捌钱叁分肆厘捌毫壹丝叁忽贰微捌尘壹纤。

一 漕粮兑军正肆貳耗,共本色米陸千捌百陸拾壹石捌斗捌升捌合。

更名田地款项:

原额长江九湖鱼课,并带征嘉鱼县长河湖课及新报王家港水课,实征银壹千捌百捌拾叁两柒钱肆分伍厘玖毫。

原额临湖水乡田地壹千壹百捌顷叁拾壹亩叁分貳厘壹毫,额载秋粮米壹千玖百玖拾玖石貳斗捌升壹合貳勺叁抄肆撮,夏税麦壹百壹拾伍石肆斗貳升肆勺壹抄陸撮。

额征租银壹千伍百柒拾叁两叁分。

地亩玖厘饷银肆百玖拾壹两伍钱貳分貳厘柒毫捌丝

原额田、地、草塌、山场、湖套、基园,除各洲崩卸外并新垦实在成熟田地各项柒百捌拾顷肆拾捌亩玖分捌厘陸毫壹丝叁忽,实征银叁千柒百伍拾叁两貳钱壹分壹厘伍毫伍丝玖忽柒微。

原额谷田叁拾陸顷叁拾亩叁分肆厘捌毫貳丝,康熙七年新垦地柒顷捌拾陸亩玖分,额征谷壹千伍百叁拾陸石捌斗,实折银柒百壹拾陸两壹钱肆分捌厘捌毫。

又:嘉鱼县改归沙淤屯地芦洲,共额壹拾顷伍拾捌亩壹分伍厘伍毫陸丝,额载租银貳拾伍两叁钱玖分,外加玖厘饷银柒两壹钱貳分柒厘叁毫伍丝貳微壹尘肆纤肆渺肆漠,带征黄州卫屯田捌顷肆拾玖亩玖分陸厘陸毫,科粮壹百貳拾石,实征银叁拾陸两陸厘。

芦课项下:

各洲滩芦洲地,除纳更名并白沙洲不堪载课外,实地叁百壹拾玖顷捌拾叁亩伍分陆厘伍毫柒丝壹忽,实课银肆百肆拾叁两捌钱伍分捌厘;康熙三年丈出地壹百玖拾柒顷肆拾叁亩伍分伍厘貳毫叁丝,增课银叁

百陸拾捌兩柒錢貳分伍厘肆毫玖絲伍微陸塵：貳共實征銀捌百壹拾貳兩伍錢捌分叁厘肆毫玖絲伍微陸塵。

各項學田租谷，內除扣各佃完糧外，實征谷捌百叁拾叁石玖斗捌升肆合，麥玖石貳斗柒升壹合，地課銀壹拾伍兩肆錢：俱收貯縣中倉庫，備府、縣兩學生員及貧生婚、葬，並辦考試生員卷價、茶果，同引禮生員給賞，暨學校支用，不入正項款中。

匠班：匠戶自辦

起運南京人匠，實在納班壹百柒拾肆名。肆年壹班每名納銀壹兩捌錢，遇閏，加銀陸錢。每年共銀壹百肆兩肆錢。解司充餉

各項額稅：

田房稅銀壹百伍拾兩

當稅銀叁百叁拾兩

酒稅銀玖拾兩

牙貼稅銀陸百伍拾肆兩

鹽帖稅銀柒拾捌兩

武昌縣 叁拾里

全書總額

原額田、地、塘共陸千陸拾肆頃玖拾畝叁分叁厘，內：田叁千壹百伍拾壹頃叁拾貳畝肆厘。山鄉田叁百陸拾貳頃伍拾畝叁分。水鄉田伍百貳拾伍頃捌拾玖畝肆分玖厘。地壹千柒百叁拾壹頃貳拾畝陸分陸厘。塘貳百玖拾叁頃玖拾柒畝捌分肆厘。

額載秋糧貳萬肆千陸百壹拾伍石玖斗叁合肆勺，夏稅貳麥叁千陸百柒拾肆石陸斗柒合壹勺，秋糧內帶征。夏稅桑貳絲壹千捌百壹拾捌斤貳兩壹錢玖分叁厘叁毫叁絲，秋糧內帶征。額征並新加共銀壹萬捌

千貳百壹拾玖兩玖錢肆分柒厘貳毫柒絲肆忽貳塵叁纤伍渺。

原額并新增人丁共壹萬叁千壹百柒拾捌丁，額征并新加銀叁千陸百貳拾兩柒錢陸分玖厘捌毫貳絲叁忽貳微肆塵壹纤，內除豁免運夫故丁貳拾丁，免丁銀伍兩伍錢捌厘伍絲伍忽伍微肆塵。實征銀叁千陸百壹拾伍兩貳錢陸分壹厘柒毫陸絲柒忽柒微壹纤。

地亩玖厘餉銀柒千柒百伍兩柒錢柒分柒厘肆毫貳絲伍忽。

以上田、地、塘，丁糧、辽餉及新增丁銀，除豁免運丁外，實征銀貳萬玖千伍百肆拾兩玖錢捌分陸厘肆毫陸絲陸忽柒微貳塵肆纤伍渺，內：

一 起運戶、禮、工、光各部、寺条辽冗款，新增除免運丁外，實征銀壹萬玖千兩捌錢伍分伍厘叁毫肆絲捌微玖塵貳纤伍渺。

另：解費，除免運丁外，實征銀貳拾貳兩伍錢壹分壹厘壹毫貳絲貳忽肆微。

一 存留各官役奉食、驛站、祭祀等項，除充餉并免運丁外，實征銀伍千貳百柒拾伍兩捌錢捌分陸厘叁毫叁絲壹忽捌微捌塵陸渺。

一 存留項下歷案奉裁各款，除免運丁外，實征銀壹千捌百伍拾玖兩貳錢肆分捌厘柒毫壹絲叁忽捌微貳塵玖纤肆渺。

一 兵部江濟水夫銀捌拾叁兩玖錢柒分伍厘肆毫叁絲伍忽

一 隨漕除免運丁外，實征銀貳千伍百陸拾捌兩壹錢肆分壹厘貳毫玖絲柒微貳塵貳纤。

另：解費除免運丁外，實征銀叁錢陸分捌厘貳毫叁絲貳忽。

以上通共解給銀貳萬玖千伍百肆拾兩玖錢捌分陸厘肆毫陸絲陸忽柒微貳塵肆纤伍渺

一 漕糧兌軍正肆貳耗，共征本色米陸千柒百陸拾貳石貳斗肆升，另：正米壹石里納盤腳米貳升。

另征米捌拾肆石伍斗貳升捌合

一 南糧本色正耗米陸千捌百壹拾肆石伍斗

一 里納騾腳米折給解充餉銀捌百壹拾柒兩柒錢肆分

新征麂皮,另征京扛银肆钱壹分柒厘陆毫

湖洲杂课,内除豁免并改抵鲟、鲤鱼鲑无征外,实征银柒百柒两贰钱柒厘肆毫叁丝伍忽壹微伍尘。遇闰加银壹百柒拾贰两伍钱肆分伍厘肆毫肆丝捌忽伍微。

更名田地款项:

原额田壹拾玖顷捌拾陆亩柒分陆厘叁毫,征谷贰百陆拾捌石叁升,实折银壹百贰拾肆两玖钱壹厘玖毫捌丝。

马饮浆湖课银贰百贰拾叁两叁钱柒分伍厘玖毫陆丝伍忽。

芦课项下:

各洲芦课田地,内除泥套、沙滩、水埧不堪载课外,并丈出新增实在成熟稀芦、草榻地壹百捌拾柒顷贰拾壹亩伍分壹厘,额征课银叁百柒两陆钱肆分捌厘陆丝。

匠班:匠户自办

起运南京人匠,除在京逃绝开除外,实在纳班壹百伍拾肆名。肆年壹班。每名纳银壹两捌钱,遇闰,加银陆钱。除逃亡故绝外,见在纳班伍拾肆名,每年共征银叁拾贰两肆钱。解司充饷

各项额税:

田房税银壹百伍拾两

当税银贰拾两

铁税银贰百伍拾两

酒税银叁拾两

牙帖税银柒拾陆两

盐帖税银壹百拾柒两

咸宁县 壹拾陆里

全书总额

原额田、地、塘共叁千叁百伍拾伍顷玖拾肆亩陆分叁厘，内：
上、中、下田壹千捌百伍拾叁顷贰亩叁分柒厘。

山乡田叁百壹拾陆顷玖拾亩肆分柒厘

水乡田壹百贰拾叁顷玖拾柒亩柒分壹厘

上、中、下地玖百壹拾叁顷贰拾亩肆分捌厘。

塘坡壹百肆拾捌顷捌拾叁亩陆分

额载秋粮米壹万肆百伍拾捌石陆斗叁升肆合，夏税贰麦共柒百肆石柒斗捌合陆勺，秋粮内派。夏税桑贰丝共捌百壹拾柒斤壹拾叁两玖钱叁分，秋粮内派。额征并新加银玖千玖百伍拾玖两肆钱肆分柒厘贰忽捌微捌纤壹渺。

原额人丁壹万壹百丁，额征并新加银贰千壹百肆拾叁两陆钱贰分捌厘捌毫叁丝伍忽玖微壹尘叁纤叁渺，内除豁免运夫人丁壹百叁丁，豁免丁银贰拾壹两捌钱陆分柒毫陆丝玖忽叁微壹尘陆纤肆渺，实征银贰千壹百贰拾壹两柒钱陆分捌厘陆丝陆忽伍微玖尘陆纤玖渺。

地亩玖厘饷银叁千贰百柒拾肆两叁钱柒分捌厘捌毫柒丝伍忽

以上田地丁粮、辽饷，除豁免运丁外，实征银壹万伍千叁百伍拾伍两伍钱玖分叁厘玖毫肆丝肆忽肆微伍纤。

一起运户、礼、工、光各部、寺条辽摘裁冗款，除免运丁外，实征银陆千伍百肆拾柒两陆钱陆分叁厘叁毫柒丝玖忽玖微贰尘壹纤肆渺。

另：解费除免运丁外，实征银玖两肆钱陆分伍厘陆毫陆丝柒忽。

一 存留官役奉食、驿站、祭祀等项，除裁、充饷并免运丁外，实征银伍千贰百壹拾壹两伍钱壹分陆厘叁毫柒丝叁忽叁纤陆渺。

一 存留项下历案奉裁各款，除免运丁外，实征银贰千肆百捌拾叁两肆钱贰分捌厘壹毫贰丝柒忽。

一 兵部江济银肆百柒拾伍两壹钱陆分叁厘叁毫叁丝

一 随漕除免运丁外,实征银陆百贰拾捌两壹钱柒分伍厘捌毫壹丝叁忽肆微捌尘。

另:解费除免运丁外,实征银壹钱捌分壹厘贰毫伍丝肆忽。

以上通共解给银壹万伍千叁百伍拾伍两伍钱玖分叁厘玖毫肆丝肆忽肆微伍纤

一 漕粮兑军正肆贰耗,本色米叁千壹百壹拾壹石陆斗捌升。另:正米壹石里纳船、驴脚米叁升。

另:该米伍拾捌石叁斗肆升肆合。

一 南粮正耗本色米贰千陆百贰拾壹石

一 里纳驴脚米折给解充饷银叁百壹拾肆两伍钱贰分

新征麋皮另京扛银叁钱贰分肆厘

湖洲杂课除豁免丁银外,实征银捌拾叁两捌钱伍毫捌丝捌忽捌微,遇闰加银壹两伍钱陆分捌毫玖丝柒忽。

更名地款项:

原额田地贰顷贰拾亩,额租银贰拾贰两,加增饷银壹两玖钱捌分。

原额谷田肆拾玖顷柒拾亩,额谷壹千玖百捌拾捌石,奉文每石折银肆钱陆分陆厘。实征银玖百贰拾陆两肆钱捌厘。

杂课等项:

本府鱼课钞银壹拾贰两捌钱柒分肆厘柒毫伍丝,遇闰加银壹两柒分贰厘捌毫玖丝柒忽。

学田租课:

学田壹顷陆拾柒亩伍分贰厘伍毫,每年额租谷壹百壹拾柒石肆斗

捌合伍勺。

匠班：匠户自办

起运南京人匠，实在纳班捌拾捌名，肆年壹班。该班每名纳银壹两捌钱。遇闰加银陆钱除逃亡故绝外，见在纳班伍拾名，每年征银叁拾两。解司充饷

各项额税：

田房税银壹百两

茶税银柒拾两。

酒税银壹拾两

牙帖税银捌拾柒两

盐帖税银叁拾陆两

嘉鱼县 壹拾贰里

全书总额

原额田、地、山、塘、堰共肆千贰百陆拾叁顷叁拾玖亩玖分玖厘壹毫，内：

上、中、下田柒百玖拾陆顷壹拾伍亩伍分陆厘壹毫。

山乡田壹百贰拾贰顷捌亩捌厘玖毫

水乡田叁百陆顷玖拾玖亩玖分肆厘

上、中、下地贰千肆百叁拾顷陆拾玖亩玖分玖厘。

上中下山伍百柒拾贰顷伍拾柒亩壹分

塘叁拾肆顷柒拾贰亩伍分壹厘壹毫

堰壹拾陆亩

额载秋粮陆千贰百玖拾陆石玖升叁合肆勺，夏税贰麦肆百伍拾叁石叁斗贰升柒合陆勺，秋粮内带征。夏税桑贰丝柒百肆斤玖两陆钱玖分，秋粮内带征。额征并新加银陆千陆百壹拾肆两贰分陆厘贰毫玖丝捌忽玖微柒尘玖渺。

原额人丁肆千叁百壹拾贰丁

额征并新加银壹千壹百捌拾两贰钱伍毫壹丝伍忽贰微贰尘陆纤捌渺,内除豁免运夫人丁柒拾捌丁,豁除丁银贰拾壹两叁钱肆分捌厘柒毫壹丝陆微壹尘壹纤捌渺。

实征银壹千壹百伍拾捌两捌钱伍分壹厘捌毫肆忽陆微壹尘伍纤地亩玖厘饷银壹千玖百贰拾两叁钱陆厘叁毫

以上田、地、山、塘、堰丁粮并玖厘饷银,除免运丁外,实征银玖千陆百玖拾叁两壹钱捌分肆厘肆毫叁忽伍微捌尘伍纤玖渺。

一起运户、礼、工、光各部、寺,条辽摘裁冗款等项,除免运丁外,实征银伍千贰百壹拾伍两壹钱贰分叁厘叁毫陆丝玖忽叁微贰尘伍纤陆渺。

另:解费除免运丁外,实征银捌两贰钱陆分壹厘柒毫柒丝陆忽叁微。

一 存留各官役俸食、驿站、祭祀等项,除裁充饷并免运丁外,实征银贰千玖拾陆两柒钱壹厘肆丝伍忽玖微贰尘肆纤陆渺。

一 存留项下历案奉裁充饷,除免运丁外,实征银壹千贰百壹拾肆两肆分肆厘叁毫玖丝柒忽捌微叁尘伍纤柒渺。

一 兵部江济银伍百捌拾肆两玖钱壹厘壹毫叁丝伍忽

一 随漕除免运丁外,实征银伍百柒拾肆两肆分玖厘柒毫玖丝叁忽。

另:解费除免运丁外,实征银壹钱贰厘捌毫捌丝陆忽贰微。

以上通共解给银玖千陆百玖拾叁两壹钱捌分肆厘肆毫叁忽伍微捌尘伍纤玖渺。

一 漕粮兑军正肆贰耗,本色米贰千伍百捌拾柒石伍斗贰升。另:正米壹石里纳盘脚米叁升。

该米肆拾捌石伍斗壹升陆合

新征麋皮另加京扛银捌钱玖分壹厘

湖洲杂课并学田充饷,内除减免外,实该银陆百玖拾叁两玖钱陆分

柒厘叁毫貳丝伍忽，遇闰加银肆拾两柒钱玖分壹毫壹丝伍忽。

更名地款项：

原额田地、草榻、水淌、基地等项，内除题作芦课并改归江夏县就近征收及远年崩卸无征外，实存成熟地柒百陆拾捌顷柒拾肆亩壹分壹厘柒毫玖丝陆忽伍微，实征租银玖百柒拾玖两肆钱陆分玖毫，实征饷银贰百柒拾肆两玖钱肆分捌厘肆毫伍丝陆忽玖微捌纤肆渺貳漠捌茫。

又：茶果饷银伍拾陆两壹钱肆分貳厘捌毫壹丝叁忽捌微貳尘。

以上租、饷实征共银壹千叁百壹拾两伍钱伍分貳厘壹毫柒丝柒微貳尘捌纤肆渺貳漠捌茫。

芦课：

各洲芦课，并顺治拾柒年、康熙贰年报增清丈，内除逃荒、水套、沙滩不堪载课外，实在纳课基地、稀芦麦地、草榻共柒百玖拾陆顷贰拾捌亩壹分陆厘伍毫，实征课银壹千贰百肆拾捌两玖钱玖分叁厘肆毫肆丝。

鱼课：

本府鱼课除原减外，实征正银玖拾贰两壹钱捌分捌厘捌毫貳丝肆忽伍微，遇闰加银柒两貳钱貳分柒厘壹毫。

学田：

租谷陆拾石，折银壹拾两。奉文充饷

匠班：匠户自办

南京人匠原在纳班拾玖名。肆年壹班该班每名纳银壹两捌钱，遇闰加银陆钱。除逃亡故绝外，见在纳班壹拾柒名，每年共征银壹拾两貳钱。解司充饷

各项额税：

田房税银伍拾两

茶税银肆拾两

酒税银贰拾两

牙帖税银叁拾壹两

盐帖税银伍拾壹两

蒲圻县 叁拾里

全书总额

原额田地共伍千捌百玖拾贰顷陆拾肆亩柒分伍厘：

上田捌百叁顷陆拾柒亩陆分陆厘

中田壹千壹百伍拾壹顷伍拾伍亩捌分陆厘

下田壹千壹百贰拾顷捌亩叁分壹厘

山乡田贰百壹拾顷肆拾捌亩伍分伍厘

水乡田贰百陆拾柒顷捌亩捌分壹厘

地贰千壹百贰顷玖拾亩陆分柒厘

塘贰百叁拾陆顷捌拾肆亩捌分玖厘

额载秋粮米壹万伍千玖百肆拾玖石柒斗陆升壹合叁勺

夏税贰麦壹千壹百柒拾捌石壹斗伍合。秋粮内带派

夏税桑贰丝壹千叁百柒拾玖斤壹拾贰两伍钱捌分。秋粮内带派

额征并新加共银壹万肆千玖百肆拾两玖钱玖分柒厘叁毫玖忽捌微

柒尘肆渺

原额人丁贰万壹千壹百捌拾丁，额征并新加银肆千壹百贰拾两柒钱贰分捌厘柒毫柒丝柒忽捌微壹尘柒纤柒渺，内除豁免运夫人丁壹百叁丁，豁免丁银贰拾两叁分玖厘肆毫贰丝柒忽壹尘壹纤肆渺，实征银肆千壹百两陆钱捌分玖厘叁毫伍丝捌微陆纤叁渺。

地亩玖厘饷银伍千玖拾两贰钱壹分捌厘柒毫肆丝

以上田、地、丁粮玖厘饷银，除免运丁外，实征银贰万肆千壹百叁拾壹两玖钱伍厘肆毫陆微柒尘陆纤柒渺。

一起运户、礼、工、光各部、寺，条辽摘裁冗款等项，除免运丁外，实征银壹万贰千叁百肆拾叁两柒分伍厘叁毫肆丝叁忽肆微捌尘捌纤壹渺。

另：解费除免运丁外，实征银壹拾捌两壹钱壹厘叁毫捌丝壹忽叁微。

一 存留官役奉食、驿站、祭祀等项，除裁充饷并免运丁外，实征银陆千捌百玖拾壹两伍钱捌分陆厘肆毫肆丝捌忽伍微捌尘捌纤陆渺。

一 存留项下历案奉裁充饷，除免运丁外，实征银贰千叁百肆拾捌两玖钱玖分叁厘柒毫陆丝玖忽贰微。

一 兵部江济水夫银壹千捌拾贰两伍钱肆分陆厘

一 随漕除免运丁外，实征银壹千肆百肆拾柒两贰钱陆分叁厘伍毫壹丝捌忽柒微。

另：解费除免运丁外，实征银叁钱叁分捌厘玖毫叁丝玖忽肆微。

以上通共解给银贰万肆千壹百叁拾壹两玖钱伍厘肆毫陆微柒尘陆纤柒渺。

一 漕粮兑军正肆贰耗本色米肆千陆百柒拾壹石伍斗贰升。另：正米壹石里纳盘船脚米叁升。

共米捌拾柒石伍斗玖升壹合

一 南粮正耗本色米肆千壹百玖拾叁石伍斗

一 里纳驴脚银伍百叁两贰钱贰分

新征麀皮，另加京扛银壹两柒钱贰分贰厘陆毫

湖洲杂课共银贰百壹拾陆两伍钱壹分玖厘肆毫伍丝肆忽壹尘，遇闰加银壹拾肆两贰钱玖分柒厘玖毫肆丝。

更名地款项：

原额田地肆拾顷玖拾贰亩贰厘，租课银壹百两。

大古城租课银叁拾叁两壹分玖厘贰毫

更名地亩玖厘饷银叁拾陆两捌钱贰分玖厘贰毫柒丝

官地租银贰拾叁两玖钱肆分
学田租谷贰百肆拾壹石柒升

班匠：匠户自办

起运南京人匠，实在纳班柒拾叁名，肆年壹班。该班每名纳银壹两捌钱，遇闰加银陆钱。除逃亡故绝外，见在纳班陆拾玖名，每年征银肆拾壹两肆钱。解司充餉

各项额税：

田房税银壹百两	茶税银捌拾两
酒税银贰拾两	牙帖税银壹百贰拾两
盐帖税银壹百壹拾肆两	

崇阳县 壹拾壹里

全书总额

原额田、地、塘共叁千贰百柒顷叁拾柒亩伍分陆厘叁毫，内：

上田壹百顷

中田玖百顷

下田壹千叁百伍拾柒顷陆拾陆亩壹分陆厘玖毫肆丝

上地壹百捌拾壹顷贰拾玖亩贰分伍厘叁毫

下地伍百陆拾贰顷柒拾伍亩贰分柒厘陆毫

塘壹百伍顷陆拾陆亩捌分陆厘肆毫陆丝

额载秋粮米捌千陆百陆拾伍石陆斗壹升玖合柒勺

夏税小麦捌百壹拾贰石陆斗壹升肆合玖勺捌抄。秋粮内派

夏税桑贰丝玖百贰拾玖斤贰两柒钱伍分。秋粮内派

额征并新加银陆千陆百肆拾伍两陆钱贰分柒厘肆毫伍丝捌忽贰尘

原额并新增共人丁壹万伍百柒拾肆丁，额征并新加银壹千柒百捌两壹钱柒分玖厘捌毫玖丝肆忽壹微玖尘玖纤伍渺叁漠。内豁免运夫人

丁捌拾肆丁,豁除银壹拾叁两伍钱柒分陆厘伍毫捌丝贰忽柒微壹尘肆纤捌渺,实征银壹千陆百玖拾肆两陆钱叁厘叁毫壹丝壹忽肆微捌尘贰纤柒渺叁漠。

地亩玖厘饷银贰千捌百捌拾陆两陆钱叁分捌厘陆丝柒忽

以上田、地、塘丁粮、条辽及新增丁银,除免运丁外,实征银壹万壹千贰百贰拾陆两捌钱陆分捌厘捌毫叁丝陆忽伍微贰纤柒渺叁漠。

一起运户、礼、工、光各部、寺条辽摘裁冗款及新增人丁,除免运丁外,实征银陆千捌百肆拾玖两柒分壹厘柒丝叁忽陆微壹尘柒纤伍渺叁漠。

另:解费除免运丁外,实征银玖两捌钱叁分陆厘玖毫柒丝玖忽柒微柒尘。

一 存留各官役奉食、驿站、祭祀等项,除裁充饷并免运丁外,实征银贰千壹百叁拾陆两陆分伍厘壹毫叁丝肆微壹尘伍纤贰渺。

一 存留项下历案奉裁各款除免运丁外,实征银壹千叁百贰拾捌两柒分壹厘玖毫壹丝玖忽伍微。

一 兵部江济银叁百玖拾贰两伍钱贰分陆厘贰毫贰丝伍忽

一 随漕除免运丁外,实征银伍百壹拾壹两陆分伍厘肆毫陆丝贰忽。

另:解费除免运丁外,实征银贰钱叁分贰厘肆丝陆忽贰微。

以上通共解给银壹万壹千贰百贰拾陆两捌钱陆分捌厘捌毫叁丝陆忽伍微贰纤柒渺叁漠。

一 漕粮兑军正肆贰耗本色米贰千肆百玖拾肆石贰斗肆升。另:正米壹石里纳盘船脚米肆升

该米陆拾贰石叁斗伍升陆合

一 南粮正耗本色米贰千贰百壹石伍斗

一 里纳驴脚米折给解充饷银贰百陆拾肆两壹钱捌分
新征麋皮另京扛银捌钱陆分肆厘

更名地款项：

原额地叁拾顷叁拾捌亩陆分壹厘，额征租银壹百肆拾贰两玖钱。

地亩玖厘饷银贰拾柒两叁钱肆分柒厘肆毫玖丝

原额谷田陆顷伍拾玖亩伍分贰厘，额租谷壹百叁拾叁石陆斗肆升捌合，折银陆拾贰两贰钱柒分玖厘玖毫陆丝捌忽。

学田租课：

学田壹顷玖拾捌亩壹分叁厘柒毫伍丝，地壹拾柒亩玖分肆厘玖毫，该租课谷壹百玖拾壹石柒斗伍升柒合柒勺。

班匠：匠户自办

起运南京人匠，除在京并逃绝开除外，实在纳班伍拾名。肆年壹班该班每名纳银壹两捌钱，遇闰加银陆钱。除逃亡故绝外，见在纳班肆拾贰名，共征银贰拾伍两贰钱。解司充饷

各项额税：

田房税银伍拾两 茶税银伍拾两。

酒税银壹拾两 牙帖税银叁拾贰两

盐帖税银叁拾陆两

通城县 壹拾伍里

全书总额

原额田、地、塘共叁千玖拾顷壹拾叁亩柒分捌厘叁毫，内：

中、下则田贰千陆百伍拾顷壹拾柒亩壹分捌厘肆毫

地叁百壹拾顷壹拾肆亩捌分柒厘捌毫

塘壹百贰拾玖顷捌拾壹亩柒分贰厘壹毫

额载秋粮壹万贰千壹百捌拾贰石叁斗肆升肆合伍勺

夏税小麦壹千壹百肆拾叁石玖斗捌升壹勺。秋粮内带派

夏税桑貳丝壹千貳百貳拾貳斤柒两柒钱捌分陸厘陸毫。秋粮内带派

额征并新加银捌千陸百陸拾叁两肆钱捌分玖厘陸毫捌丝貳忽陸微捌尘陸纤肆渺

原额并新增人丁共壹万陸千伍百貳丁,额征并新加银貳千叁百壹拾两伍钱柒厘柒丝伍忽叁微玖尘壹纤玖渺,内除豁免运夫人丁捌拾捌丁,豁除丁银壹拾叁两伍钱捌分柒厘伍毫柒丝壹微伍尘貳纤陸渺肆漠,实征银貳千貳百玖拾陸两玖钱壹分玖厘五毫伍忽貳微叁尘玖纤貳渺陸漠。

地亩玖厘饷银叁千柒百捌拾貳两玖钱叁分貳厘貳毫

以上田、地、塘丁粮并玖厘饷银除免运丁外,实征银壹万肆千柒百肆拾叁两叁钱肆分壹厘叁毫捌丝柒忽玖微貳尘伍纤陸渺陸漠。

一起运户、礼、工、光各部、寺条辽摘裁冗款,及新增人丁,除免运丁外,实征银壹万壹百捌拾壹两陸钱伍分玖厘肆毫貳忽叁微陸尘捌纤叁渺。

另:解费除免运丁外,实征银壹拾壹两叁钱捌分柒厘肆毫捌丝陸忽捌微壹尘。

一 存留各官役奉食、驿站、祭祀等项,除裁充饷并免运丁外,实征银貳千壹拾柒两柒钱貳分肆厘壹毫玖丝肆忽柒微肆尘柒纤叁渺陸漠。

一 存留项下历案奉裁充饷,除免运丁外,实征银壹千貳百伍拾叁两壹钱伍分陸厘玖毫伍丝柒忽叁微。

一 兵部江济银伍百捌拾陸两柒钱貳分叁厘肆毫壹丝

一 随漕除免运丁外,实征银陸百玖拾貳两肆钱玖分叁厘肆毫肆丝捌忽柒微。

另:解费除免运丁外,实征银壹钱玖分陸厘肆毫捌丝捌忽。

以上通共解给银壹万肆千柒百肆拾叁两叁钱肆分壹厘叁毫捌丝柒忽玖微貳尘伍纤陸渺陸漠。

一 漕粮兑军正肆貳耗本色米叁千肆百捌拾玖石陸斗。另:正米

壹石里纳盘船脚米伍升。

该米壹百玖石伍升

一 南粮正耗本色米贰千陆百贰拾壹石

一 里纳驴脚米、折给解充饷银叁百壹拾肆两伍钱贰分。

新征麀皮,另加京扛银玖钱贰分捌厘捌毫。

更名地款项:

原额田地贰拾顷陆拾壹亩贰分

籽粒租课银壹百叁拾两柒钱贰分

地亩玖厘饷银壹拾捌两伍钱伍分捌毫

又:田柒拾贰亩,租谷壹百捌石,该折银伍拾两叁钱贰分捌厘。

原额地壹顷贰拾亩柒分,派纳肘布壹百贰拾肆匹,该折银捌两陆钱捌分。

地亩玖厘饷银壹两玖分伍厘叁毫

学田租谷叁拾贰石伍斗,折银柒两。

班匠:匠户自办

起运南京人匠实在纳班肆拾名,肆年壹班。该班每名纳银壹两捌钱,遇闰加银陆钱。除逃亡故绝外,见在纳班贰拾叁名,每年共征银壹拾叁两捌钱。解司充饷

各项额税:

田房税银伍拾两

茶税银壹拾两

酒税银壹拾两

牙帖税银玖两

盐帖税银叁拾叁两

兴国州 肆拾里

全书总额

原额田、地、塘伍千叁百柒拾捌顷伍分捌厘陆毫伍丝陆忽，内：

上平低湖田共肆千贰百叁顷伍亩陆分玖厘伍毫陆忽

上中低湖地共壹千柒拾顷肆拾柒亩肆分柒厘壹毫壹丝

塘壹百肆顷肆拾柒亩肆分贰厘肆丝

额裁秋粮米贰万捌千贰百柒拾陆石伍斗捌升壹合陆勺壹抄贰撮

夏税贰麦贰百伍拾壹石陆斗贰升肆合陆勺。秋粮内带派。

夏税贰丝柒百捌拾伍斤壹拾叁两伍分叁厘叁毫。秋粮内带派。

额征并新加银贰万壹千壹百伍拾贰两陆钱玖分伍厘伍丝陆忽柒微柒尘陆渺

原额人丁贰万壹千贰百伍拾丁，额征并新加银肆千壹百玖拾贰两叁钱壹分捌厘伍毫玖忽叁微伍尘陆纤玖渺。内除豁免运夫人丁叁百陆拾肆丁，豁免丁银柒拾壹两捌钱壹分壹厘玖毫肆丝玖微玖尘捌纤捌渺捌漠，实额银肆千壹百贰拾两伍钱陆厘伍毫伍丝玖忽叁微伍尘捌纤贰漠。

地亩玖厘饷银柒千捌百柒拾陆两玖钱肆分捌厘伍毫

以上田、地、塘、丁粮并玖厘饷银，除免运丁外，实征银叁万叁千壹百伍拾两壹钱伍分壹毫壹丝陆忽壹微贰尘捌纤陆渺贰漠。

一起运户、礼、工、光各部、寺条辽摘裁冗款，并茶价等项，除免运丁外，实征银壹万玖千玖百伍拾两叁钱壹分捌厘壹毫捌丝贰忽伍微叁尘陆纤捌渺。

另：解费除免运丁外，实征银叁拾两玖钱叁分陆毫玖丝陆忽伍微。

一 存留各官役奉食、驿站、祭祀等项，除裁充饷并免运丁外，实征银陆千陆百肆拾壹两叁钱肆分贰厘玖毫壹丝壹忽壹微伍尘叁纤伍渺贰漠。

一 存留项下历案奉裁，除免运丁外，实征银贰千陆百壹拾陆两肆

分陆厘玖丝陆忽柒微陆尘叁渺。

一 兵部江济银叁百柒拾伍两玖钱玖分捌厘捌毫伍忽

一 随漕除免运丁外,实征银叁千伍百叁拾伍两伍分捌厘叁毫壹丝肆忽壹微柒尘捌纤。

另:解费除免运丁外,实征银肆钱伍分伍厘壹毫壹丝。

以上通共解给银叁万叁千壹百伍拾两壹钱伍分壹毫壹丝陆忽壹微贰尘捌纤陆渺贰漠

一 漕粮兑军正肆贰耗本色米捌千玖百伍拾柒石贰斗捌升。每正米壹石里纳盘船脚米叁升。

该米壹百陆拾柒石玖斗肆升玖合

一 南粮正耗本色米柒千肆百捌拾伍石伍斗

一 里纳驴脚米、折给出解充饷银捌百玖拾捌两贰钱陆分。

湖洲杂课内除减免外,实征银壹千捌两柒钱伍分陆厘叁毫壹丝玖忽柒微陆尘贰纤伍渺,遇闰加银贰百贰拾贰两玖钱贰分壹厘贰毫叁丝叁忽肆微壹尘壹纤。

更名地款项:

原额田、地、塘共伍拾壹顷伍拾叁亩贰分捌厘陆毫玖丝

共科秋粮米贰百肆拾壹石伍斗贰合伍勺捌抄捌撮

额派租谷叁百陆拾石,该折银壹百陆拾柒两柒钱陆分。

又:该课银肆两伍钱。

芦课:

康熙贰年丈出芦洲地贰顷壹拾贰亩捌分壹厘,该课银壹两柒钱壹厘捌毫贰丝。

学田租谷伍拾伍石

班匠:匠户自办

起运南京人匠实在纳班壹百壹拾名，肆年壹班。该班每名纳银壹两捌钱，遇闰加银陆钱。除逃亡故绝外，见在纳班玖拾肆名，共征银伍拾陆两肆钱。解司充饷

各项额税：

田房税银壹百伍拾两

当税银壹拾两

茶税银肆拾两

酒税银叁拾两

牙帖税银壹百贰拾捌两伍钱

盐帖税银壹百壹拾柒两

大治县 贰拾伍里

全书总额

原额田、地、山、塘共柒千贰百贰拾叁顷叁亩肆分肆厘，内：

上、中、下民田贰千捌百贰拾壹顷捌拾壹亩陆分柒厘。官田贰顷叁为副壹分伍厘。

山乡民田壹百肆拾捌顷肆亩柒分贰厘。官田贰拾伍亩。

水乡田贰百捌拾伍顷肆拾捌亩捌分壹厘。

上、中、下民地壹千陆百玖拾玖顷伍拾玖亩肆分贰厘。官地肆拾亩陆厘。

山贰千壹百壹拾壹顷壹拾贰亩捌分伍厘。

上、中、下民塘壹百伍拾肆顷贰拾叁亩捌分陆厘，官塘叁亩捌分捌厘。

额载秋粮米壹万捌千肆百玖拾贰石捌斗捌升玖合壹勺。

夏税麦伍拾贰石叁斗柒升陆合陆勺。秋粮内带派

夏税贰丝伍百叁拾肆斤壹拾贰两玖钱捌分陆厘肆毫。秋粮内带派额征并新加银壹万壹千叁百肆拾柒两伍钱贰厘肆毫贰丝叁忽柒尘肆纤陆渺。

原额人丁壹万叁千陆百肆拾玖丁，额征并新加银叁千柒两壹钱叁分壹厘玖毫柒丝贰忽叁微伍尘柒纤玖渺，内除豁免运夫人丁捌拾伍丁，

豁除丁银壹拾捌两柒钱贰分柒厘壹毫贰忽贰微柒尘捌纤玖渺,实征银贰千玖百捌拾捌两肆钱肆厘捌毫柒丝柒尘玖纤。

地亩玖厘饷银伍千陆百两贰钱伍分壹厘伍毫柒丝伍忽。

以上田、地、山、塘丁粮并加饷等银,除免运丁外,实征银壹万玖千玖百叁拾陆两壹钱伍分捌厘捌毫陆丝捌忽壹微伍尘叁纤陆渺。

一起运户、礼、工、光各部、寺条辽摘裁冗款等项,并免运丁外,实征银壹万叁千玖拾叁两陆钱陆分伍厘陆毫叁丝伍忽壹微捌尘壹纤肆渺。

另:解费除免运丁外,实征银壹拾伍两肆钱叁分壹厘伍丝肆忽壹微。

一 存留各官役奉食、驿站、祭祀等项,除裁充饷并免运丁外,实征银叁千伍百伍拾玖两贰钱叁分陆厘叁毫贰丝柒忽捌尘贰纤贰渺。

一 存留项下历案奉裁充饷,除免运丁外,实征银壹千壹百肆拾肆两壹钱伍分柒厘伍毫叁丝柒微玖尘。

一 兵部江济银叁百贰拾陆两肆钱壹分陆厘伍毫肆丝伍忽。

一 随漕除免运丁外,实征银壹千柒百玖拾陆两玖钱贰分玖厘伍毫壹丝陆忽。

另:解费除免运丁外,实征银叁钱贰分贰厘贰毫陆丝。

以上通共解给银壹万玖千玖百叁拾陆两壹钱伍分捌厘捌毫陆丝捌忽壹微伍尘叁纤陆渺。

一 漕粮兑军正肆贰耗本色米伍千玖百陆拾陆石捌升。另:正米壹石里纳盘船脚米叁升

该米壹百壹拾壹石捌斗陆升肆合。

一 南粮正耗本色米伍千肆百伍拾壹石柒斗伍升。

一 里纳驴脚米折给解充饷银陆百伍拾肆两贰钱壹分。

湖洲杂课共银叁百捌拾柒两叁钱伍分壹厘壹丝壹忽,遇闰加银柒拾玖两伍钱肆分肆厘陆毫捌丝叁忽。

学田伍拾陆亩,该租谷肆拾捌石陆斗。

班匠：匠户自办

起运南京人匠除先后逃绝开除、并存留岁造弓箭叁名外，实在纳班壹百壹名，肆年壹班。该班每名纳银壹两捌钱，遇闰加银陆钱。除逃亡故绝外，见在纳班贰拾捌名，每年共征银壹拾陆两捌钱。解司充饷

各项额税：

田房税银壹百两

当税银肆拾两

铁税银贰百伍拾两

酒税银贰拾两

牙帖税银陆拾陆两

盐帖税银壹百贰拾玖两

通山县 陆里

全书总额

原额田、地、塘共壹千叁百壹拾伍顷叁拾壹亩叁分柒厘玖毫壹丝，内：

田壹千玖拾叁顷肆拾亩陆分贰厘玖毫捌丝。

山乡田贰拾贰顷捌拾贰亩柒分壹厘肆丝。

地壹百伍拾陆顷伍拾叁亩贰分柒厘叁丝。

塘肆拾贰顷伍拾亩柒分陆厘捌毫陆丝。

额载秋粮官、民米肆千捌百柒拾壹石壹升陆合壹勺。

夏税麦肆石捌斗叁升柒合陆勺。秋粮内带征

夏税桑贰丝壹百肆拾叁斤壹拾叁两玖钱叁分叁厘贰毫。秋粮内带征。

额征并新加银肆千肆百柒拾叁两肆钱叁分壹厘捌毫捌丝柒忽柒微伍尘捌纤贰渺。

原额人丁肆千壹百陆拾伍丁，额征并新加银玖百贰拾叁两捌钱伍

分伍厘玖毫伍丝肆忽伍微贰尘玖渺，内除豁免运夫人丁贰拾壹丁，豁免丁银肆两陆钱伍分捌厘玖丝柒忽壹微伍尘，实征银玖百壹拾玖两壹钱玖分柒厘捌毫伍丝柒忽叁微柒尘玖渺。

地亩玖厘饷银壹千肆百玖两肆钱捌分玖厘玖毫柒丝伍忽。

以上田、地丁粮并玖厘辽饷，除免运丁外，实征银陆千捌百贰两壹钱壹分玖厘柒毫贰丝壹微贰尘玖纤壹渺。

一起运户、礼、工、光各部、寺摘裁冗款等项，除免运丁外，实征银叁千伍百贰拾贰两贰钱贰分壹厘伍毫五丝玖忽叁微柒尘玖纤壹渺。

另：解费除免运丁外，实征银肆两玖钱肆分贰毫陆丝捌忽捌微。

一 存留各官役奉食、驿站、祭祀等项除裁充饷并免运丁外，实征银壹千柒百贰拾陆两伍钱捌分捌厘叁毫陆丝叁忽玖微伍尘。

一 存留项下历案奉裁充饷，除免运丁外，实征银壹千贰两贰钱陆分捌厘壹毫伍丝柒忽伍微。

一 兵部江济水夫银壹百叁拾贰两贰钱壹分玖厘叁毫陆丝。

一 随漕除免运丁外，实征银肆百壹拾叁两捌钱贰毫叁丝肆忽肆微。

另：解费除免运丁外，实征银捌分壹厘柒毫柒丝陆忽壹微。

以上通共解给银陆千捌百贰两壹钱壹分玖厘柒毫贰丝壹微贰尘玖纤壹渺。

一 漕粮兑军正肆贰耗本色米捌百柒拾贰石肆斗。另：正米壹石里纳盘船脚米叁升

该米壹拾陆石叁斗伍升柒合伍勺。

一 南粮正耗本色米壹千壹百伍拾叁石贰斗伍升。

一 里纳驴脚米折给解充饷银壹百叁拾捌两叁钱玖分。

新征麂皮另派京扛银肆钱壹分肆毫。

更名地款项：

原额田地壹拾柒顷肆亩叁分肆厘玖毫。

载课银陆拾捌两柒钱伍分叁厘。

地亩玖厘饷银壹拾伍两叁钱肆分壹厘肆毫壹丝。

班匠：匠户自办

起运南京人匠实在纳班壹拾贰名肆年壹班，该班每名纳银壹两捌钱遇闰加银陆钱。除逃亡故绝外，见在纳班壹拾名每年纳银陆两。解司充饷

各项额税：

田房税银伍拾两

茶税银壹百柒拾两

酒税银壹拾两

牙帖税银壹拾壹两

盐帖税银陆两

武昌卫

原额屯田地陆百伍拾伍顷捌拾陆亩陆分肆丝肆忽陆微叁尘玖纤，内坐落：

江夏县三则山地壹百叁拾捌顷肆亩陆分陆厘捌毫捌丝肆忽伍微贰尘叁纤陆渺

武昌县上、中二则田地拾顷贰拾叁亩壹分捌厘玖毫伍丝柒忽陆微陆尘

咸宁县上、中三则田壹百拾肆顷贰分捌厘伍毫壹丝叁忽捌微肆尘捌纤陆渺

嘉鱼县上则田三顷玖拾玖亩捌分壹厘

崇阳县中则田贰拾柒顷伍拾玖亩玖分陆厘柒丝壹忽壹微贰尘肆纤捌渺

兴国州，上、中二则田捌拾伍顷伍拾捌亩玖分壹厘玖毫肆丝玖忽叁微肆尘

大冶县上、中、下三则田地贰百柒拾陆顷叁拾玖亩柒分陆厘陆毫陆

丝捌忽壹微肆尘贰纤

应除荒芜田地拾陆顷玖拾捌亩叁分叁丝柒忽柒尘捌纤贰渺,内:

江夏县中、下二则田拾陆顷拾贰亩柒毫柒丝贰忽陆微捌尘

武昌县中则荒田壹顷柒拾贰亩陆厘伍丝柒忽陆微陆尘

咸宁县上则荒田陆拾陆亩贰分贰厘伍毫

嘉鱼县上则荒田贰顷叁拾柒亩壹厘

崇阳县中则荒田壹顷贰亩捌分捌厘壹毫捌丝玖忽贰微伍尘陆纤贰

渺

兴国州上、中二则荒田拾陆顷肆拾玖亩叁分壹厘肆丝玖忽叁微肆

尘

大冶县上、中三则荒田捌顷伍拾捌亩捌分肆毫陆丝捌忽壹微肆尘

贰纤

实在成熟田地陆百捌顷捌拾捌亩叁分柒忽伍微陆尘捌渺,内:

江夏县上、中、下三则熟田壹百贰拾壹顷玖拾贰亩陆分陆厘肆毫壹

丝壹忽捌微肆尘叁纤陆渺

武昌县上则熟田捌顷伍拾壹亩壹分贰厘玖毫

咸宁县上、中二则熟田壹百拾叁顷叁拾肆亩陆厘壹丝叁忽捌微肆

尘捌纤陆渺

嘉鱼县上则熟田壹顷陆拾贰亩捌分

崇阳县中则熟田贰拾陆顷伍拾柒亩柒厘捌毫捌丝壹忽捌微陆尘捌

纤陆渺

兴国州上则熟田陆拾玖顷玖亩陆分陆毫

大冶县上、下二则熟田贰百陆拾柒顷捌拾亩玖分陆厘贰毫

原额屯粮肆千贰百玖拾石壹斗柒合伍勺叁抄,内:

江夏县屯粮伍百叁拾玖石叁斗柒升叁合贰勺叁抄

武昌县屯粮玖拾柒石壹斗贰合玖勺
咸宁县屯粮壹千壹百贰拾肆石玖斗陆升肆合贰勺
嘉鱼县屯粮叁拾玖石玖斗捌升壹合
崇阳县屯粮壹百玖拾贰石叁斗贰升柒合贰勺
兴国州屯粮捌百贰拾叁石玖斗壹升贰合陆勺
大冶县屯粮壹千肆百柒拾贰石肆斗肆升陆合肆勺

应除荒芜粮贰百玖拾玖石陆升捌合壹勺,内:

江夏县荒粮叁拾柒石玖斗伍升捌合叁勺
武昌县荒粮拾壹石玖斗玖升
咸宁县荒粮陆石陆斗贰升贰合伍勺
嘉鱼县荒粮贰拾叁石柒斗壹合
崇阳县荒粮柒石壹斗陆升玖合叁勺
兴国州荒粮壹百叁拾贰石玖斗伍升贰合
大冶县荒粮柒拾捌石陆斗柒升伍合

实在成熟粮叁千玖百玖拾壹石叁升玖合肆勺叁抄,内:

江夏县熟粮伍百壹石肆斗壹升肆合玖勺叁抄
武昌县熟粮捌拾伍石壹斗壹升贰合玖勺
咸宁县熟粮壹千壹百拾捌石叁斗肆升壹合柒勺
嘉鱼县熟粮拾陆石贰斗捌升
崇阳县熟粮壹百捌拾伍石壹斗伍升柒合玖勺
兴国州熟粮陆百玖拾石玖斗陆升陆勺
大冶县熟粮壹千叁百玖拾叁石柒斗柒升壹合肆勺

应折征银贰千叁百肆拾陆两陆钱捌分捌厘捌毫壹丝捌忽玖微壹尘,内:

江夏县屯银贰百玖拾伍两叁分柒厘壹毫伍丝陆忽捌微壹尘

武昌县屯银伍拾叁两壹钱壹分伍厘贰毫捌丝陆忽叁微
咸宁县屯银陆百拾伍两叁钱伍分伍厘肆毫壹丝柒忽肆微
嘉鱼县屯银贰拾壹两捌钱陆分玖厘柒毫柒忽
崇阳县屯银壹百伍两贰钱贰厘玖毫柒丝捌忽肆微
兴国州屯银肆百伍拾两陆钱捌分壹毫玖丝贰忽贰微
大冶县屯银捌百伍两肆钱贰分捌厘壹毫捌丝捌微

应除荒银壹百陆拾叁两伍钱玖分贰毫伍丝柒微,内:
江夏县荒银贰拾两柒钱陆分叁厘壹毫玖丝壹微
武昌县荒银陆两伍钱伍分捌厘伍毫叁丝
咸宁县荒银叁两陆钱贰分贰厘伍毫柒忽伍微
嘉鱼县荒银拾贰两玖钱陆分肆厘肆毫肆丝柒忽
崇阳县荒银叁两玖钱贰分壹厘陆毫柒忽壹微
兴国州荒银柒拾贰两柒钱贰分肆厘柒毫肆丝肆忽
大冶县荒银肆拾叁两叁分伍厘贰毫贰丝伍忽

实征成熟银贰千壹百捌拾叁两玖分捌厘伍毫陆丝捌忽贰微壹尘,内:

江夏县屯银贰百柒拾肆两贰钱柒分叁厘玖毫陆丝陆忽柒微壹尘
武昌县屯银肆拾陆两伍钱伍分陆厘柒毫伍丝陆忽叁微
咸宁县屯银陆百拾壹两柒钱叁分贰厘玖毫玖忽玖微
嘉鱼县屯银捌两玖钱伍厘壹毫陆丝
崇阳县屯银壹百壹两贰钱捌分壹厘叁毫柒丝壹忽叁微
兴国州屯银叁百柒拾柒两玖钱伍分伍厘肆毫肆丝捌忽贰微
大冶县屯银柒百陆拾贰两叁钱玖分贰厘玖毫伍丝伍忽捌微

一 存留官俸、役食、运军、安家、屯丁口粮除裁充饷外,实存支給银玖百柒两贰钱玖分贰丝柒忽壹微捌尘玖纤玖漠贰茫。

一 起运充饷银壹千贰百柒拾伍两捌钱捌厘伍毫肆丝壹忽贰尘玖

渺捌茫

一 新增人丁貳拾名,每名征银貳钱,共征银肆两。征解都使司交收充饷。

武昌左卫

原额屯田地叁百壹顷叁拾壹亩柒分柒厘壹毫陆丝貳尘,内坐落:

武昌县三则田地壹百叁顷伍拾貳亩肆厘肆丝捌忽捌微伍尘

咸宁县三则田(亩)[地]陆拾贰顷贰拾肆亩伍分壹丝柒忽陆微柒尘

嘉鱼县三则田地拾壹顷叁拾柒亩貳分伍厘肆毫伍丝捌微

蒲圻县三则田地柒拾伍顷玖拾亩柒分捌厘捌毫陆丝捌忽玖微

崇阳县三则田地肆拾捌顷贰拾柒亩壹分捌厘柒毫柒丝叁忽捌微

应除荒芜田地陆顷玖拾壹亩伍厘肆毫,内:

武昌县荒田壹顷肆拾叁亩貳分玖厘肆毫

咸宁县荒田壹顷陆拾贰亩肆分贰厘陆毫

嘉鱼县荒田玖拾陆亩貳分柒厘肆毫

蒲圻县荒田玖亩叁分柒厘肆毫

崇阳县荒田贰顷柒拾玖亩陆分捌厘陆毫

新垦田地伍拾柒亩叁分捌厘伍毫陆丝,内:

武昌县康熙贰拾贰年开垦田贰拾壹亩壹分陆厘肆毫伍丝

崇阳县康熙贰拾年开垦田地拾叁亩玖分玖厘捌毫玖丝,康熙贰拾叁年开垦田地贰拾贰亩貳分贰厘貳毫貳丝。

实在成熟田地贰百玖拾叁顷捌拾叁亩叁分叁厘貳毫貳尘,内:

武昌县熟田壹百壹顷捌拾柒亩伍分捌厘壹毫玖丝捌忽捌微伍尘

咸宁县熟田陆拾顷陆拾贰亩柒厘肆毫壹丝柒忽陆微柒尘

嘉鱼县熟田拾顷肆拾亩玖分捌厘伍丝捌微
蒲圻县熟田柒拾伍顷捌拾壹亩肆分壹厘肆毫陆丝捌忽玖微
崇阳县熟田肆拾伍顷拾壹亩贰分捌厘陆丝叁忽捌微

原额屯粮叁千陆百陆拾叁石壹斗玖升玖合叁勺,内:
武昌县屯粮壹千贰百肆拾壹石伍斗叁升肆合伍勺
咸宁县屯粮柒百肆拾陆石玖斗陆升玖合玖勺
嘉鱼县屯粮壹百叁拾陆石肆斗柒升陆合
蒲圻县屯粮玖百伍拾捌石玖斗叁升叁合
崇阳县屯粮伍百柒拾玖石贰斗捌升伍合玖勺

应除荒粮捌拾陆石伍升肆合肆勺陆抄捌撮,内:
武昌县荒粮拾捌石柒升贰合叁勺陆抄捌撮
咸宁县荒粮贰拾石肆斗捌升肆合
嘉鱼县荒粮拾贰石壹斗肆升肆合
蒲圻县荒粮壹石玖升壹合肆勺
崇阳县荒粮叁拾肆石贰斗陆升贰合柒勺

新垦粮陆石贰斗贰升,内:
武昌县垦粮贰石伍斗肆升
崇阳县垦粮叁石陆斗捌升
实在成熟粮叁千伍百柒拾石玖斗贰升肆合捌勺叁抄贰撮,内:
武昌县熟粮壹千贰百贰拾石玖斗贰升贰合壹勺叁抄贰撮
咸宁县熟粮柒百贰拾陆石肆斗捌升伍合玖勺
嘉鱼县熟粮壹百贰拾肆石叁斗叁升贰合
蒲圻县熟粮玖百伍拾柒石捌斗肆升壹合陆勺
崇阳县熟粮伍百肆拾壹石叁斗肆升叁合贰勺
应折征银贰千伍拾壹两叁钱玖分壹厘陆毫捌忽,内:

武昌县屯银陆百玖拾伍两贰钱伍分玖厘叁毫贰丝
咸宁县屯银肆百壹拾捌两叁钱叁厘壹毫肆丝肆忽
嘉鱼县屯银柒拾陆两肆钱贰分陆厘伍毫陆丝
蒲圻县屯银伍百叁拾柒两贰厘肆毫捌丝
崇阳县屯银叁百贰拾肆两肆钱壹毫肆忽

应除荒银肆拾捌两壹钱玖分伍毫贰忽捌尘,内:

武昌县荒银拾两壹钱贰分伍毫贰丝陆忽捌尘
咸宁县荒银拾壹两肆钱柒分壹厘肆丝
嘉鱼县荒银陆两捌钱陆毫肆丝
蒲圻县荒银陆钱壹分壹厘壹毫捌丝肆忽
崇阳县荒银拾玖两壹钱捌分柒厘壹毫壹丝贰忽

新垦银叁两肆钱捌分叁厘贰毫,内:

武昌县垦银壹两肆钱贰分贰厘肆毫
崇阳县垦银贰两陆分捌毫

实征成熟银壹千玖百玖拾玖两柒钱壹分柒厘玖毫伍忽玖微贰尘,内:

武昌县屯银陆百捌拾叁两柒钱壹分陆厘叁毫玖丝叁忽玖微贰尘
咸宁县屯银肆百陆两捌钱叁分贰厘壹毫肆忽
嘉鱼县屯银陆拾玖两陆钱贰分伍厘玖毫贰丝
蒲圻县屯银伍百叁拾陆两叁钱玖分壹厘贰毫玖丝陆忽
崇阳县屯银三百三两壹钱五分贰厘壹毫玖丝贰忽

一 存留官俸、役食、运军、安家、屯丁口粮,除裁充饷外,实存支给银伍百柒拾伍两肆钱陆分玖厘捌毫贰丝玖忽贰尘伍纤柒渺陆漠。

一 起运充饷银壹千肆百贰拾肆两贰钱肆分捌厘柒丝陆忽捌微玖

尘肆纤貳渺肆漠。

一 新增人丁壹名,征银貳钱。解都使司充餉

水利志

武昌附郭曰江夏,以水名也。大江合汉沔,北绕而东^①。江、武、嘉三邑^②,治皆临江。又多湖泽,芦茭^③、(羸)[羸]蛤饶有^④。河泊所岁收课钞,维水防最重。夏秋泛滥,江、咸、嘉、蒲四邑受害。今嘉鱼马鞍山而下,郡城南金沙洲而上,江堤绵亘,几二百里。盘旋翼蔽驿舍、田庐,幸不为泽潏矣。然洪波冲啮,时易倾圯,加意培筑,望诸接踵贤牧焉。志《水利》。

江夏县

江岸 郡城西南临江,有石岸十余里。旧赖盐商照引,载石为甃^⑤。年久崩卸^⑥,将为城患,修复宜亟^⑦。

陈公套 在江南岸。明弘治辛酉^⑧,知府陈晦见大江泛涨,经营开浚,停泊贾船。人诵其德,因名焉。

长堤 江水泛涨,则江、咸、嘉、蒲四邑受其患。筑堤自江夏至嘉鱼,除山岭、高阜外,计长一万三千八百七十三丈五尺。而其工费分为五:咸、嘉、蒲各筑一,江夏筑二。故自赤矶山至夏田寺,约五千五百四十余丈云。

路堤 自金口山后龙床矶以下,至城南金沙洲共六十里,堤长约九千丈。司马熊廷弼筑之,驿递铺舍^⑨,官使往来,实重赖焉。

① 东:东去,作谓语。 ② 江、武、嘉:指江夏、武昌、嘉鱼县。 ③ 茭:茭白。 ④ 羸蛤:蚌属。 ⑤ 甃:岸堤。 ⑥ 卸:倒塌。 ⑦ 亟:尽快。
⑧ 明弘治辛酉:公元1501年。 ⑨ 驿递铺舍:建有驿递铺舍,作谓语。

花堤 在平湖门内。宋政和间^①，水溢坏城，知府陈邦光、县令李基筑之。

郭公堤 在湖中。自长街东，至新开路二里，宋都统郭果筑之。

万金堤 在县西南。宋绍兴间，役大军筑之。建压江亭，今大堤口是也。

陂五：

西径村，二； 来苏村，一； 三城村，一； 湘江东村，一。

塘四：

保安村，一； 西径村，一； 永丰，一； 湘东，一。

武昌县

堤六：

东皋堤 即义堤，在学宫前。教谕朱赞筑。张子翼修。

清思堤 在虎头山下

水泾堤 在县东二十里，岁久冲没。康熙五年，署县事黄冈县丞金殿臣重筑。后知县熊登增修。

石盘堤 在县东五里。明万历间，知县李有朋重筑。

南湖桥堤 在县南二里

丁桥堤 在县西六十里。明万历三年，知县李有朋筑，道路始通。

塘五十九：

洪道乡，六； 永福乡，五； 符石乡，十； 灵溪乡，八；

马迹乡，九； 贤庾乡，七； 神山乡，一十四。

^① 政和：宋徽宗年号，公元1111—1118年。

咸宁县

陂五：

县西南，一； 南，一； 东，二； 二都，一。

塘七：

县东，四； 西，二； 北，一。

嘉鱼县

堤三：

通山堤 在县东北，自龙潭山至鱼山驿。明弘治中，知县姜溥筑之。嘉靖癸丑^①，知县吴翰重筑之。

新堤 在县北。地势卑下，易罹水患，与江、咸、蒲三邑均害。宋政和间，知县唐均集四邑之民筑之。至乾道间，知县陈景见旧堤难筑。去三百步，因两山，距杨家潭上横亘为堤^②。

成公堤 元皇庆元年^③，知县成宣筑之。上至马鞍山，下至三角铺，捍护四邑。明成化间，堤圯。弘治间，知县姜溥首白于都御史谢绶补筑，树柳护之。正德间，复圯，都御史吴廷举疏请筑之。隆庆辛未^④，知县刘元相复请修筑。万历元年，知县杨光宇议江、咸、嘉、蒲四邑协筑之，每年各县于均徭内编银募夫。万历三十八年，复圯。大司马熊廷弼建议，知县葛中选详请，自马鞍山至江夏赤矶山，增新培旧，四邑分筑之。是时，蒲圻以堤不在蒲境，争控、迟谗，至四十三年始成。计一百二十里，统名长堤。国朝康熙四年，复圯。御史顾如华奏请修筑，论四邑救田多寡，参差其数，分任修堤：江夏准五千五百四十九丈四尺，咸宁准

① 嘉靖癸丑：公元1553年。 ② 距：穿越。 ③ 皇庆：元仁宗年号，公元1312—1313年。 ④ 隆庆：明穆宗年号，公元1567—1572年。隆庆辛未：公元1571年。

二千七百七十四丈七尺，蒲圻准二千四百五十丈，嘉鱼准三千九十九丈四尺。康熙八年，勒石为界。至二十三年，复圯。知县年昌龄请四邑修筑之，咸宁亦复迟诿如昔日蒲圻意。知府裴天锡奉督抚命勘堤踏界，劝劳课程。刻期告竣，堤乃复全。

陂一 在县南

塘一 名谭家塘，在县南。

蒲圻县

堤一

承天堤 可防江涨而壅滞山水为害

陂八：

二十三都，一； 二十七都，一； 九都，一； 二十八都，一；

上四都，一； 三都，一； 上二都，一； 下二十，一。

塘五：

十七都，一； 上三都，三； 县西，一。

崇阳县

陂十七：

金柜山东，一； 县东，四； 东南，一； 西，八； 北，一；

不顾里，一； 内石枳，在县东十七里，以石圳如枳得名。洪武，

知县元俊修。

塘十一：

县东，三； 西，二； 南，二； 西南，一； 西北，一；

东北，二。

通城县

陂十五：

坊里，一； 石桥里，一； 太平里，二； 甫田里，一；
梓木里，二； 新安里，一； 上黄里，一； 下黄里，三；
来苏里，一； 上善里，二。

兴国州

塘二百六十二：

仁义里，五； 乐平里，上五、下十七； 崇庆里，上四、下三；
东乡里，一； 兴教里，五； 修净里，二；
朝阳里，一； 归化里，一； 双迁里，上一、下三；
阳辛里，上四、下三； 慈口里，五；
修善里，一； 宣教里，四； 新兴里，四；
宣化，十一； 新亭，三； 礼乐，上五、中三、下廿六；
新安，一； 安乐，三十三； 宝政，一；
长庆，四； 怀仁，三十二； 乐岁，十六；
善福，三； 永城，六； 永福，三十六；
福庆，三； 崇仁，三； 礼义，三；
永章，四。

堰六十七：

仁义里，二； 上乐平，五； 上崇庆，五；
兴教，二； 修净，六； 朝阳，三；
归化，一； 双迁，上三、下三； 阳辛，上一、下一；
鸡口，二； 慈口，一； 修善，一；
宣教，四； 新兴，三； 宣化，三；
新亭，八； 礼乐，上一、中二、下一； 安乐，三；
崇仁，一； 礼叶，四； 礼义，一；

按(王梅)[《玉海》]：“鄂州永兴军北有长乐堰，至元十三年筑。”

今莫详其处矣。

大冶县

塘五十四：

果城里,二;	启石,四;	西杨,八;
宫台,九;	顾县,五;	茅潭,九;
云城,九;	章山,二;	流水,六。

堰十六：

果城里,一;	启石,四;	西杨,七;
茅潭,一;	云城,一;	流水,二。

通山县

陂四：

一都,三; 二都,一。

塘十一：

二都,二; 三都,二; 四都,三; 五都,二; 六都,二。

堰三：

一都,二; 六都,一。后为居民所侵。隆庆壬申^①,知州田龙亲诣其地复之。因为圳二,以疏水。癸酉旱^②,邑独无虞。

税课款目

长江关税

每年额解料钞银一万两,起解布政司拨充兵饷。国朝循旧额,专属武昌府清军厅同知职掌抽征。立料钞厂,在汉阳门外北一里夏口驿。

带征龙坑子渔课。

① 隆庆壬申:公元 1572 年。 ② 癸酉:公元 1573 年。

江夏县

梁子湖、余家湖、严家湖、金口垵、金东西湖、汤孙湖、石嘴长江、清江总、青山长河、簪洲长河、严西湖、青林黄家湖、南湖、赛湖、鲁东湖、鲁西湖、斧头湖、郭湖等渔课。

黄鹤洲地等课

芦洲地等课

武昌县

长港江套河泊所、乌翎湖河泊所、炭门湖河泊所、磧矶湖河泊所、西淦湖、马饮浆湖渔课。

芦洲地等课

咸宁县

官埠等七港，宿曹湖、紫潭湖、闲阳湖、谷口湖、天井湖、西良湖、泉水湖、官埠湖、黄塘湖、大小新潭、白公潭、茅潭等渔课。

嘉鱼县

黄湖河泊所、头陀港河泊所、致仕湖河泊所、太平湖河泊所等渔课。

芦洲地等课

蒲圻县

西良湖、郎当湖、梅湖、接里湖、盘石湖、锦湖、沙阳湖、螺丝港湖、真湖、大小罗湖、活湖、松柏湖、沧湖、尤荆湖、柳山湖、杨林湖等渔课。

崇阳县

无水利

通城县

无水利

兴国州

长河、茅田等河，沫湖、时湖、浊子湖、常湖、网湖、深湖、长港欧家湖、西湖、明湖、戎湖、舒婆湖、海口湖等渔课。

大冶县

河泾湖、华家湖、张家淦、漳源湖、月山湖等渔课。

以上诸课银数俱载入《田赋志》内^①。

通山县

无水利

河渠水道

江夏县 东有梁子湖，与武昌县分界。县东之水多潴于梁子湖，由樊口入江。

武昌县 诸溪、港，水多汇入高家河，潴于梁子湖。（出）〔由〕樊溪九十曲，出樊口入江。

江夏县 南有斧头湖，水出金口入江。

咸宁县 有官埠港、赤口港、北洪等港，皆合淦水，汇为紫潭、白马桥河、汀泗河，潴于西良湖。又有桃花港、贺胜桥河，潴于黄塘湖。与西

^① 此行应在“通山县”条下。

良湖水，俱潴于江夏之斧头湖，出金口入江。

嘉鱼县 陆水经吕蒙城西，又经蒲矶山，出蒲矶口入江。

蒲圻县 陆水自江西〔武〕宁县修水发源北流，至通城会隼水，至崇阳会桃溪水，合流折东。复西，由壶头山四十里过荆港。北经县治南，数回，出六溪口入江。又有在县西南四十里发源，（港口）〔会〕望湘桥及龙桥诸泉，折而西入马蹄湖。由黄盖湖，（由）〔出〕石头口入江。

通城县 秀水在县南五十步。隼水在县北半里，至北洪桥下与秀水合流。会黄沙等港水，历崇阳、蒲圻界。

兴国州 境多水，若：鸡口、慈口、龙（潭）〔港〕、山溪等河皆会于长河。自排市而下，由富池口入江。若海口湖、漳源湖水，则直放于大江。

大冶县 河发源于西阳、茅潭诸里，绕洪滨桥，合而东流。至县前为金湖，直由漳源口入江。

通山县 诸山溪水或会于大冶，或会于兴国焉。

风俗志

语曰：千里不同风，百里不同俗。是故，太师陈诗，以观民风。刚柔、燥湿、好恶、贞淫，相其偏敝而施政教焉。后世簿书、期会为务，其于移风易俗，则曰：“非我所能。”于戏！此所以无善治也。夫武昌，敦礼义、负气节、喜文学、登台辅者相望，然而所隶诸邑，风俗亦微不同。志《风俗》。

武昌府

江夏[县]附郭

江邑幅员,绵亘百里,当省会冲。租税所入,不足以备一年之储,仰给者,皆湖南、沔汉所(轮)[输]运。其山则复领,泽为巨浸。穄畦町疇^①,十不三四。有田者,不躬畎亩。置产难,而弃业易。拙于封殖,敦于《诗》、《书》^②。耻于武健,习于仁柔。史迁所谓“凿窳偷生而无积聚”^③,洵然与!至其廛市牙侏、鱼米市魁、土木技艺、卜筮阴阳,率多外籍,风气可知矣!若序黉之儒,经术之外,无他畸习。抱陨拙之耻,高不见之节。缙绅先生悬车^④之后,深自养重,唯与亲戚话旧、山水娱情,鲜杂宾^⑤、他嗜。高风劲节,自昔而然。当明季时,浸淫以薄。而今之士大夫,尤能兢兢守礼,不妄干法纪云。岁时之俗,与各邑同也。

武昌县

武昌郭临大江,内瀦巨浸。山水清华,秀士以风、雅相高;土地瘠确,小民以渔、稻为业。昔孙权自建业徙都,不及九年,复归于[建]业。当是时,鄂州重兵当西蜀。顺是而下,楼櫓泳溯,如游户庭。江东英俊以徙都故,多聚于此。濡染吴风,兹邑为多。吉凶之礼、媵腊之俗,无他异。近闻马灵诸乡,谗谰喜讼^⑥。以是相消薄,是殆不然,流转谓之风,僻陋谓之俗,岂不克移易乎?

① 穄畦町疇:能种庄稼的田地。穄畦:泛指庄稼。町疇:泛指田地。

② 《诗》、《书》:代指儒家经典。 ③ 史迁:《史记》作者司马迁。凿窳:苟且懒惰。《史记》《货殖列传》原文为:“楚越之地,地广人稀。饭稻羹鱼,或火耕而水耨。果隋蠃蛤,不待贾而足。地势饶食,无饥馑之患,以故凿窳偷生,无积聚而多贫。是故江淮以南,无冻饿之人,亦无千金之家。” ④ 悬车:致仕。 ⑤ 杂宾:行为不端的宾客。 ⑥ 谗谰:方言词,话多。

咸宁县

咸宁西北诸湖，大浸稽天^①。境少沃野。其地为鄂上游绾毂，其风斗狠，僭越名分，明末年积渐使然。然其秀民守常，彬彬如也。节、序祈、报，略如他邑。惟二月花朝、腊月八日，民间以为纳采、问名、嫁娶之期。妇女正月十六夜，群游于市。士大夫家亦皆然。旧《郡志》唐李善、李邕、李鄘、李栻、李璡、李沆，宋冯京，皆入江夏。今《县志》谓其族裔，皆在境里。别详《人物传》中。

嘉鱼县

嘉鱼，编里十二，武郡所隶为最小矣。然其俗仅土著耕凿，无车、牛之牵。民用淳朴^②，士尚风节，是以名贤间出。文章气节之士，前代为盛。而今，则数十年隳二闾者寥寥^③，岂俗化使然与？抑盛衰之变，有必至也？

蒲圻县

蒲圻负山带河，湖陂内汇。外为长堤，捍壅水患。稻黍、鱼鳖，耕渔足食。其俗昔俭而今奢，昔讷而今嚣，昔等威而今（戾隼）[群集]。《县志》所谓“先民轨物，几经变易”者也。然而户尚《诗》、《书》，士安诵读。使其去轻浮之习，尚敦素之风，黄溥之理学，魏观、廖明略道南之文章^④，任献夫之端正，未必不见于今日也。

崇阳县

崇阳土贫，民窶惰窳，不善治生。山泽萑苻颇苦盗贼^⑤。贱服贾而

① 稽：至。 ② 用：因此。 ③ 隳二闾：中春、秋二举。 ④ 廖明略道南：廖道南，明蒲圻人。正德进士。历官翰林侍讲学士，直经筵。归田后，为世宗作《楚纪》六十卷等。 ⑤ 萑苻：芦苇等丛生。

尚读书,人文科甲,优于他僻邑。岁时伏腊,醵金赛祀。疾病则延师巫。喜作社,餽必醉^①。正月五日谓之牛日,以饭饲牛。七月二十六日为张乖崖忌辰,群走祭于北峰亭:亦俗之厚者也。

通城县

通城僻处,山多水少。民生其间,资性重厚。甘淡泊,务耕织,不事服贾,故邑虽弹丸而鲜奸悍。士气亦磊落,然而人物罕著。自唐、宋以来,进士可考者四人;明三百年间,二人而已:多力田,故尔。地虽少水,往往蛟龙起陆,漂杀人畜。又当衢道,军旅往来。明末寇乱,白骨盈野,今幸生聚有年矣。俗俭。不尽与他邑同。

兴国州

兴国远江近湖,俗尚俭朴。饭稻羹鱼,有果蓏、竹箭、茶茗之利。士尚义而好文,明卿而后,风流不坠。至于健民讦讼^②,盗党踰伏^③,为有司忧。是在牧民者能行所无事,化之以礼,饬之以法。上廉则下有耻,何难一挽颓风也?

大冶县

邑僻处陬隅,民鲜素封之积^④。国朝以来,(甄)[屡]能输将应期,无复异时犷戾之习。惟里役习为包收,黠者喜讼,牵连攻讦,有累善良。又且等威莫辨,渐长凌竞。波靡有端,风行无象,但其风气淳蓄,实为江湖之奥区。故能名哲挺生,人才彬彬秀出。惟渐以《诗》、《书》、《礼》、《乐》,则比屋可封何愧焉!

① 餽 jùn:宴会。 ② 讦讼:控告、诉讼。 ③ 踰伏:潜伏。 ④ 素封:无官爵封邑而富同封君的人。

通山县

通山僻在万山,土地最脊。风气刚毅,民多朴野。士尚气节,无绮罗、滋味之嗜,无媮惰淫靡之习^①。产茶,即以茶为业。犊褌椎髻^②,与估客交易无纷争。唐人所谓“山静似太古”,庶几有之。军旅不行,游士不至,故兵兴独少患焉。当闯寇李自成溃败入楚,掠食山谷,乃一蹂躏。而卒死于九宫山樵夫之手,足快千古。岁时风俗与他同,惟二月十五日花朝,作“扑蝶会”。

灾异志

“五行”之志,始于《洪范》^③。《谷梁》、夏侯、仲舒、向、歆^④,率纪事应,不无牵合,故宋儒诮之。虽然,未可尽诬也。霍光优谋,恒阴昼晦。二使入蜀,亦见于天。灾不虚生,事无小大。鲁君国无灾异,则仰天而歆曰:“天其忘我乎?”是故,荧惑守心,三言徙舍^⑤。太白渴饮,一语征

① 媮惰:苟且怠惰。 ② 犊褌:“犊鼻褌”的简称,形如犊鼻的短裤。

③ 《洪范》:《尚书》篇名。 ④ 《谷梁》、夏侯、仲舒、向、歆:《春秋谷梁传》、夏侯始昌、董仲舒、刘向、刘歆,皆汉代言五行灾变中著名者。 ⑤ 王充《论衡·卷四·变虚篇》传书曰:宋景公之时,荧惑守心。公惧,召子韦而问之曰:“荧惑在心,何也?”子韦曰:“荧惑,天罚也;心,宋分野也。祸当君。虽然,可移于宰相。”公曰:“宰相所使治国家也,而移死焉,不祥。”子韦曰:“可移于民。”公曰:“民死,寡人将谁为也?宁独死耳。”子韦曰:“可移于岁。”公曰:“民饥必死,为人君而欲杀其民以自活也,其谁以我为君者乎?是寡人命固尽也,子毋复言。”子韦退走,北面再拜曰:“臣敢贺君!天之处高而耳卑,君有君人之言三,天必三赏君,今夕星必徙三舍,君延命二十一年。”公曰:“奚知之?”对曰:“君有三善,故有三赏,星必三徙。三徙行七星,星当一年,三七二十一,故君延命二十一岁。臣请伏于殿下以伺之,星必不徙,臣请死耳。”是夕也,火星果徙三舍。

亡^①。况水火、旱饥，非牵引事应者比也。志《灾(祥)[异]》。

武昌府

周

孝王 十三年，江、汉冰^②。

汉

和帝 永元四年^③，旱、蝗。

献帝 建安二年^④，大水。

惠帝 永康元年秋，久雨害稼^⑤。

三国

吴 黄龙元年四月^⑥，夏口凤凰见^⑦。

赤乌元年八月^⑧，夏口麒麟见。

十三年十二月雷雨，武昌端门内殿灾。

晋

武帝 太康二年^⑨，江夏大水。

惠帝 太安中^⑩，江夏民张聘乘牛出。牛忽言，曰：“天下乱，乘我

① 李太白《苏武》诗云：“渴饮月窟水(冰)，饥餐天上雪。东还沙塞远，北怆河梁别。泣把李陵衣，相[看]泪成血。”相传李白赴水揽月死。 ② 冰：结冰，指气温低。作谓语，下同。 ③ 永元：汉和帝年号，公元89—105年。 ④ 建安：汉献帝年号，公元196—220年。 ⑤ 此则有误。汉仅桓帝有“永康”年号，为公元167年，应在献帝之前；惠帝而有“永康”年号，则为公元300—301年，属晋，应后置。 ⑥ 黄龙：三国吴大帝年号，公元229—231年。 ⑦ 见：现的古字，出现下同。 ⑧ 赤乌：三国吴大帝年号，公元238—251年。 ⑨ 太康：晋武帝年号，公元280—289年。 ⑩ 太安：晋惠帝年号，公元302—303年。

何往？”聘惊，归。犬复言，曰：“归何早？”牛乃人立而行^①。

南[朝]齐

永明十一年，武昌白象九头见。

南[朝]梁

大同二年^②，咸宁地生白毛。

文帝 大宝元年正月^③，咸宁雨黄沙。

[南朝]陈

宣帝 大建十四年^④，江水赤如血。

北周

武帝 建德二年^⑤，大旱。

唐

(元)[玄]宗 开元十八年，鄂州言景星见^⑥。

代宗 广德元年十二月夜^⑦，江夏火。焚舟三千余艘，延烧民舍二千余家，死者数千人。

德宗 贞元八年^⑧，鄂州献白鹿。

顺宗 永贞元年^⑨，大旱。

① 人立：像人一样站立，即后两腿站立。 ② 大同：南朝梁武帝年号，公元535—546年。 ③ 大宝：南朝梁简文帝年号，公元550—551年。 ④ 大：“太”的古字。太建：南朝陈宣帝年号，公元569—582年。 ⑤ 建德：北周武帝年号，公元572—578年。 ⑥ 景星：瑞星。古人认为出现在有道之国。 ⑦ 广德：唐代宗年号，公元763—764年。 ⑧ 贞元：唐德宗年号，公元785—805年。

⑨ 永贞：唐顺宗年号，公元805年。

穆宗 长庆元年春正月^①,有星孛于翼^②。

文宗 (太)[大]和四年^③,武昌大水。

宋

太宗 太平兴国七年六月^④,江水涨高五丈。

真宗 咸平六年^⑤,江夏生异草。如柏,其枝叶傅地如绣。

仁宗 景祐元年八月有星孛于张^⑥、翼。

英宗 治平二年六月^⑦,兴国放生池中,莲一葩两房;而同跼军廩小池中^⑧,双花连蒂。

神宗 熙宁元年,咸宁雨白鼈^⑨。状如马尾,长者尺余。

哲宗 元祐七年^⑩,鄂州嘉禾一本,一枝两穗;三本,三枝三穗。

高宗 绍兴五年,江涨。

三十年八月朔,日食于翼。

孝宗 隆兴元年^⑪,大水。江夏漂军垒、民舍三千余区。

乾道五年八月朔,日食于翼。

七年,旱。自春徂秋,兴国军等处,首种不入。

淳熙元年,大饥。十一月,鄂州南市火,燔千余家。

六年十一月,鄂州大风覆舟,溺人甚众。

十二年,鄂州火燔万余家。江风暴作,结庐于堤、泊舰于岸者,焚、溺无遗。

十四年,荆江溢,鄂州大水,流民室三千余家。

① 长庆:唐穆宗年号,公元821—824年。 ② 孛:盛,特别亮。翼:星宿名,属南方朱雀七宿。 ③ 大和:唐文宗年号,公元827—840年。 ④ 太平兴国:宋太宗年号,公元976—984年。 ⑤ 咸平:宋真宗年号,公元998—1003年。

⑥ 景祐:宋仁宗年号,公元1034—1038年。张:星宿名,属南方朱雀七宿。

⑦ 治平:宋英宗年号,公元1064—1067年。 ⑧ 跼:山麓。 ⑨ 鼈:长毛。

⑩ 元祐:宋哲宗年号,公元1086—1094年。 ⑪ 隆兴:宋孝宗年号,公元1163—1164年。

十五年，咸宁久雨害稼。

光宗 绍熙三年十二月^①，鄂州火，燔民居八百余家。

四年六月，江夏大水，漂民庐舍；武昌多猛虎害人。

宁宗 开禧四年八月^②，鄂州南市火。

嘉定元年冬，燠如夏。

七年，兴国泮池莲骈花并实，至三、至四。

十六年，江、湖合涨，城市淹浸；鄂州大风，坏战舰三百余只。

元

世祖 至元元年十一月^③，地震；是岁大旱。

六年二月，兴国雨雹。大[者]如马首，小者如鸡子。

成宗 元贞元年^④，咸宁野蚕成茧更数百里，民取为纆。

仁宗 泰定二年^⑤，咸宁屯蠖食桑。

文宗 至顺二年^⑥，大饥。

顺帝 至正元年四月，江夏火；十二月，又火。

十二年，江夏雨粉，民家门户、柱壁著粉痕如针样无数；冬，雨黑雪。兴国雨血，雨毛。

明

洪武八年，火焚大冶，儒学、公署、民居殆尽。

二十六年六月十五日，有星陨于蒲圻南团村。入地五尺，得石大如瓠，青黑色，形类狗头。盖狗星也。

① 绍熙：宋光宗年号，公元1190—1194年。 ② 开禧：宋宁宗年号，公元1205—1207年。 ③ 至元：元世祖年号，公元1264—1294年。 ④ 元贞：元成宗年号，公元1295—1297年。 ⑤ 有误。泰定为元泰定帝年号，公元1324—1328年。 ⑥ 至顺：元文宗、宁惠宗年号，公元1330—1333年。

永乐五年^①，地震有声。

十九年正月，龙见于蒲圻西良湖，是岁大疫。

宣德八年，咸宁大旱。

九年，武昌大水。

正统□年，兴国两虎斗于南市死。

天顺二年，崇阳大旱。

成化元年，大饥。

四年，大水。十月朔，地震有声。

六年，咸宁大旱。

十年秋，兴国大水，乘船入市。

十七年，崇阳正月十九日雨，至五月初九日止。

二十年，大旱。民食草木，殍者大半。

二十三年，大旱。江夏，人相食；兴国，火。

弘治元年，大旱。

三年春，江夏久雨。小豆种之，蔓生不实。

六年，江夏九月雪。至明年正月，每夜雷电、雨雪。

七年冬，大水，树枝尽堕。

八年十一月、十二月，兴国、崇阳，雪深五尺，弥旬不消。牛、马冻死无算，野兽举手可捕。

十一年，江夏久不雨，城中火数发。有鸟衔火，鼓翼焰起，民皆惊。（僦）[仅]月余^②，乃定。七月，地震，江夏地生白毛。

十三年，兴国火。秋，大水。

正德二年：正月朔日，庆云见于翼^③、轸。兴国儒学戟门外，见五色云就地起。三月，咸宁雨雹，杀禾、麦。

四年，大旱。兴国雨黑谷，大如枣核。八月朔日食，既。

① 永乐：明成祖年号，公元1403—1424年。 ② 仅：将近。 ③ 庆云：即下文五色云，古人认为喜庆、吉祥。

五年，蒲圻蝗，食松尽死。

六年五月，通山大雨雹，水平地数丈，人、畜多溺死。是岁，兴国大旱，州民欧玉玺自食其子。东乡兴教、崇庆诸里，虎食六七百人。

九年，武昌大水。居民漂流，田禾淹没殆尽。

十一年冬，淫雨，山崩，湖鼠害稼。咸宁桃李华。

十二年，大水，民饥。江夏地震。

十三年，大水。

十四年，江夏大旱。

嘉靖元年，大水。

二年，大旱，殍、流无算。

五年，兴国蝗。

七年，通山大旱，秋复大水。咸宁风雷拔木。

九年，五月，江夏水溢、山崩，湖鼠食稼，遣都御史吴廷兴赈、恤；冬，江、汉冰合^①。

十一年，崇阳飞蝗铺天。

十四年，大旱。江夏譙楼、仪门灾。兴国火，张氏一门焚死二十三人。

十八年，四月，崇阳恒雨。五月，大水害稼。七月十四日，流星如瓮，白色。少顷，大如屋，赤如炬，尾有芒角，有声，没于西方。

十九年五月，崇阳、通城暴雨。沿河漂没，暮则溺鬼悲号。

二十三年，旱。三月，兴国大雨雹。崇阳四月不雨至六月，民食草根。八月，武昌譙楼、仪门灾，乡村有不火而自焚者。

二十四年正月十八日，楚世子英耀弑其父。是岁，地震，大饥。

二十五年，兴国龙王庙钟自鸣。

三十年，大饥。十二月，地震。

三十七年，江夏、武昌异风拔木、摧屋，江湖人溺死无算。十二月，

^① 据《湖北通志》和《江夏县志》，此事应在洪武九年，误抄在此。

地震。

三十八年，大饥。通山蒲蒻结实，民采食之。

四十年，春，震雷，大雪。夏，武昌大水害稼，大风拔木。

隆庆元年，五月，月光昼见，月下二小星随之。江夏大水，民鼠害稼。

二年，春，大雷电以雪。夏，武昌大水。

三年，春，大冶黑雨。冬，红雪。虎白昼噬人。

四年冬，无雪。

五年，五月，大水。武昌生秃尾黑鼠，食麦、谷尽，又山食茅根，水食菱芡，次年春乃灭。是冬无雪。

万历二年，大冶恒阳，异风拔木。

三年，楚府后殿灾，通山火。四月朔，昼暝。

四年，地大震。

五年五月，大水入通山市，荡去民舍。

六年四月，咸宁大雨雹。

八年，蝗。秋，大风，兴国屋宇牌坊倾圯。

十六年，大旱。

十七年，旱。疫。黄鹤楼灾，延烧千家。有狐自汉阳门入，阴雨作人哭声。城外龟、蛇斗，死。自是，水旱相仍。税珰陈奉激令民变。又有逆宗崇仁攫金，杀巡抚赵可怀。武昌人相食。

二十年，大旱，湖水尽涸。

二十二年，地震凡三昼夜。

二十七年，江夏大火，延烧县治、黄鹤楼、居民数千余家。

二十九年正月朔，蒲圻火。

三十年五月，有虎入蒲圻城。岁大水，蛟龙起，地陷山崩者数处。

三十二年五月，通城龙、水忽起，民多漂没。

三十三年二月，地大震三昼夜^①。

三十四年，江夏火，焚民舍数千。

三十六年，大水。江豕入山涧中，人、畜多溺死，沿江民居尽没。

三十七年，江夏望山门火，飞焰焚洲上千余家。

三十八年三月初六日午，天鼓鸣，大旱。

四十年，大水。

四十八年，武昌囚曾星耀，杀理刑孙有禄于黄鹤楼。夏，龙见于大冶。秋，大水。冬，大雪。蒲圻竹茎叶似雕镂龟文。

泰昌元年^②，江水冰。

天启元年^③，正月二十一日，兴国黑雪如麸。十月初五日，蒲圻雨黑子。如黍如菽，食之味甘。楚藩承运殿灾。

二年二月，蒲圻大雨雹，大风拔木。江夏大水。

三年六月初一日，龙水暴涨，崇阳、兴国、通山、嘉鱼等处，庐舍漂没，老幼死者无数。

五年，大饥。七月，大雨雹。

崇祯元年，夏，大水。秋，大旱。七月初九日，大风拔木。十月三十日，蒲圻龙斗于空中，江、河鱼、鳖浮出。冬，木介^④。

二年，大旱。

四年，四月二十一夜，蒲圻雨冰。七月十八，地震有声。十二月十二日，地复震。

六年，地震，江涌如沸。

七年六月，地震。

八年，宝通塔霞光如火树。

九年，江夏大水，鼠化为鱼；通城地震。

① 据《湖北通志》和《江夏县志》，此事应在三十二年。 ② 泰昌：明光宗年号，公元1620年。 ③ 天启：明熹宗年号，公元1621—1627年。 ④ 介：甲冑，指树木裹冰，如披甲冑。

十一年,七月,有蝗,大冶禾、棉俱尽;咸宁,雨土。

十二年九月,金沙洲火。烈风、雷雨,军门旗竿折,九月昼晦。

十三年,四月,飞蝗蔽天。十月,昼晦星见,鸡犬惊鸣,五刻乃复。十一月,蒲圻桃李尽华。

十四年,□月□□日,昼晦如夜;江水污秽如泥,臭。夏,兴国、大冶产石面。是年,天下大旱、疫,死亡无算。

十五年,正月朔,咸宁文庙红光见;八月,学宫井溢东西流。春,大疫。七月某夕,洪山栖鸟惊噪不止,及晚,尽折巢去。八月十七日黎明,江中黑雾,见一长人一足,一手指东而下。

十六年,五月晦,大雨雹,有龙坠于地,各寺钟自鸣。先是,汉阳门有哭声。献逆袭^①、陷城,屠戮殆尽,知县曾栻死之。十月朔,昼晦如夜。

国朝

顺治二年,江夏水。李自成残寇焚、杀蒲圻诸县。秋,大有年。

三年,武昌、蒲圻、兴国旱。江夏有豹如犬,近人吮其血。

四年,大水,江、湖为一,谷价腾贵,人多饿死。讹言:鸡翼生距,久将害人。一时杀鸡无遗种,吴、越亦如之。

五年,江夏淫雨。

八年,火药局灾。楚废宫砖石,喷激如雨。声闻百里,死伤无数,延烧民舍千余。有梁栋飞过汉阳,延烧百室。

九年,正月,大雪。夏、秋不雨,江水涸,湖、渚陆行。大饥。

十年,春,大歉,民食草木。江夏雨乔麦。四月初三日,通城雨雹,烈风拔木。大冶虎至儒学。

十二年,二月,昼晦。三月,群燕巢于武昌城下甃石之上。营九垒:中一垒方尺余,外八垒环列内向。五月,讹言兵下,城中人尽奔散。卒

^① 献逆:指张献忠军队。

无兵至，乃还。

十四年二月，武昌昼晦，大风拔木、覆屋。

十五年，武昌，大水。大冶，虎入市。冬十月，江夏霜成冰。

十六年，大水。

十七年，大水。冬，积雪盈月，江水冰。

康熙元年春，大雨雹，武昌旱。

二年，咸宁地震有声。武昌、咸宁、兴国、大冶大水。七月，咸宁天鼓鸣。

三年，黄鹤楼及谯楼灾，延烧民间，死伤甚众。

四年正月二十九日，武昌昼晦，咸宁天鼓鸣。

七年六月，虎入金沙洲，伤数人。大冶，地震。咸宁，龙见，荡民田宅十数里。

八年，四月，武昌大风，自北而南，江、湖人多溺死。崇阳，拔大木。秋，雨雪。冬，燠，虹见、蛙鸣、桃李华、催春鸟啼。

九年十二月，大冶、咸宁大雪四十余日，雷电以雨。

十年，蒲圻虫食苗既。

十一年夏，不雨，江夏讹言火龙见。民家产歧首驴。

十四年二月□□日，武昌昼晦，大风拔木覆屋。

十五年，夏五月，武昌大水。秋，复大水。

十八年，自四月不雨，至于冬十月。八月，火民居无算。

十九年春，大饥。总督蔡公毓荣、巡抚张公朝珍、布政徐公惺各捐银千余两。曰：“昔人有矫节发仓廩者，吾为天子保民也。”乃敦请乡绅周家鼎、同耆善徐封英等^①，轮流分赈。他士闻风，各捐助不一。凡赈过饥民一十二万七千二百有奇。

二十年夏，雷震鹤楼二眉山人观鹤碑。先是，为术人朱方旦立。明年，方旦伏诛。

^① 耆善：年长心善。

二十一年秋，大水。

二十二年春，淫雨三月。

二十五年闰四月三十日，兴国、通山孽龙肆出，洪水奔腾横溢，砂石冲压田庐，人畜当者多死。

兵事志

鄂州东连吴会，西控夔巫，北枕三关，南引百粤，割寓内之半而为边。自古兵交，于兹为剧。《[左氏]春秋·鲁昭五年》伐吴，“遽射以繁阳之师”，会夏洎^①，实为战争之始。其后，乌林、赤壁，荒涂^②、故垒，犹可指而道也。晋则以武昌为重镇。历代用兵，史不绝书，其祸未有惨于张献忠者。毛人投堞^③，曾何足云。本朝耆定^④，虽陆梁小丑，屡作不靖，而武昌奠安。庙谟所算，庶勋所集，不可弗志。安不忘危，抚今鉴昔。志《兵事》。

汉

献帝（兴平四）[建安二]年冬十二月^⑤，孙策击黄祖至沙羡。刘表遣从子虎及南阳韩晞将长矛五千来救，策大破之。祖脱身走，获其妻子及船六千艘。士兵杀、溺死者，数万人。

八年冬十月，孙权西伐黄祖，破其军。

十（三）[二]年^⑥，权复西击黄祖。祖横两蒙冲，挟守沔口。偏将军董袭与别部司马凌统，各将敢死士百人，人被两铠，突入蒙冲。袭以

① 原文为“冬十月，楚子以诸侯及东夷伐吴，以报棘、栎、麻之役。遽射以繁阳之师，会于夏洎”。② 涂：道路。③ 毛人投堞：小股武装进攻。④ 耆定：平定。⑤ 兴平：汉献帝年号，公元194—195年。有误，“兴平”无四年。据史，应为建安二年（公元197年）。⑥ 有误，据史为十二年（献帝建安十二公元207年）。

刀断两继，蒙冲乃横流，兵遂进屠其城。祖挺身走^①，追斩之，卤其男女数万口^②。

[十三年，]刘备败当阳，与关羽船会。遇刘琦兵万余人，与俱到夏口。冬，操遁还南郡。

后帝 建兴十二年^③，孙权遣陆逊、诸葛瑾将万余人入江夏、沔口，向襄阳。

景耀三年^④，吴主从弟秀为夏口督。吴主恶之，会遣何定将兵五千猎夏口，秀惊，奔魏。

晋

武帝（太康元）[咸宁五]年二月^⑤，诏王浚、唐彬与胡奋，共平夏口。顺流长骛，直造秣陵。

惠帝 二年，陈敏据历阳叛。列上尚书，称被中诏，自江入沔汉，奉迎銮舆。刘弘遣江夏太守陶侃、武陵太守苗光屯夏口。

大安二年五月^⑥，义阳蛮张昌反。江夏太守弓钦讨之不克，奔武昌。秋七月，攻武昌，陷之。

永兴二年十二月^⑦，陈敏据江夏。遣陈恢寇武昌，陶侃破之。

[怀帝] 永嘉中^⑧，石勒破江夏，朱伺与杨琰走夏口。

愍帝 建兴三年夏^⑨，巴蜀流人据湘、湖为乱，杜弢诱五溪蛮掠武昌，陶侃破之。

[元帝] 永昌元年^⑩，王敦反，至石头。四月，还武昌。

① 挺身：独自脱身。 ② 卤：通“虏”，俘获。 ③ 建兴：三国蜀后主年号，公元223—237年。 ④ 景耀：三国蜀后主年号，公元258—263年。

⑤ 有误，应为咸宁五年（公元279年）。 ⑥ 大安：即太安，晋惠帝年号，公元302—303年。 ⑦ 永兴：晋惠帝年号，公元304—306年。 ⑧ 永嘉：晋怀帝年号，公元307—313年。 ⑨ 建兴：晋愍帝年号，公元313—316年。 ⑩ 永昌：晋元帝年号，公元322—323年。

安帝 元兴三年^①，刘裕起兵讨桓元^②。五月，战于峥嵘州，大破之。

[南朝]宋

顺帝 [升明元年]时^③，柳世隆守夏口。沈攸之攻之，不能克。

[南朝]齐

废帝 永元三年^④，萧衍命王茂、萧颖远等逼郢城。[齐]东昏侯遣宁朔将军吴子阳等十三军救郢，败。七月，郢城降于梁。

[南朝]梁

简文帝 大宝元年^⑤，邵陵王纶奔武昌。任约入寇，纶走，遂据之。

孝元帝 (大清)[大宝]二年^⑥，侯景遣其将任约、宋子仙袭郢州，执刺史[萧]方诸。六月，王僧(办)[辩]围郢州，获贼将宋子仙等。

敬帝 承制[元帝 承圣]四年^⑦，司徒陆法和以郢州附于北齐，遣江州刺史侯瑱讨之。齐使慕容恃德镇夏口，瑱攻之。恃德食尽，请和。

[南朝]陈

武帝 永定元年冬十月^⑧，西讨。都督周文育、侯安都于郢城败绩，没于王琳。

二年三月，王琳立梁永嘉王庄以奉梁，后即位于郢州。周遣大将军史宁攻之，刺史孙瑒兵不满千人，乘城拒守，不能克。

① 元兴：晋安帝年号，公元402—404年。 ② 桓元：桓玄。“元”为“玄”的避讳字。 ③ 升明：南朝宋顺帝年号，公元477—479年。 ④ 废帝 永元：公元501年。 ⑤ 大宝元年：公元550年。 ⑥ 太清为梁武帝年号，据史，应为大宝二年。 ⑦ 史无“承制”年号，据史，应为元帝“承圣”（公元552—555年）之误。 ⑧ 永定：南朝陈武帝年号，公元557—559年。

文帝 天嘉元年三月^①,[孙]瑒举州内附。

废帝 光(天)[大]元年九月^②,周将(括拔)[拓跋]定入郢州,与[梁]华皎水陆俱进^③。都督淳(於)[于]量、吴明彻大破之。

唐

德宗 兴元元年^④,李希烈以夏口上流,使其骁将董侍募死士七千人袭鄂州。刺史李兼出战,大破之。于是,希烈不敢有窥江淮意。

文宗 太和五年,鄂、岳多盗剽行。州观察使崔郾训卒治兵,作蒙冲追讨,悉诛之。

僖宗 乾符二年二月,王仙芝陷鄂州。

光启二年^⑤,土人杜洪乘虚入鄂,自为节度留后。[天复三年]淮南杨行密使李神福、刘存率舟师讨之。拔永兴,遂围鄂州。朱全忠遣曹延祚合吴章兵救洪。[昭宗天祐二年,]存击败之。城陷,执延祚、洪及汴兵千余人。送广陵,悉诛之。以存守鄂州。行密死,马殷遂取其地。

宋

高宗 建炎初,金将刘萼拥众十万自光、黄犯武昌。

理宗 开庆元年九月^⑥,元太弟忽必烈帅诸军渡江,进围鄂州。张胜坚守不下,死之。十月,元人攻城益急。贾似道大惧,乃密遣宋京诣元师请称臣、纳币,太弟不许。会元主卒,拔寨而去。

景定元年春二月^⑦,元兀良哈歹会张杰于鄂州,帅师北还。贾似道使夏贵等杀其殿卒于新生矶。

① 天嘉:陈文帝年号,公元560—566年。 ② 陈无“光天”年号,应为“光大”之误。公元567—568年。 ③ 北周统帅为宇文直,权景宣与拓跋定分领水、陆军。梁遣司空华皎率水军助周。 ④ 兴元:唐德宗年号,公元784年。

⑤ 光启:唐僖宗年号,公元885—888年。 ⑥ 开庆:宋理宗年号,公元1259年。

⑦ 景定:宋理宗年号,公元1260—1264年。

度宗 咸淳十年,元伯颜遣阿里海牙进薄阳逻堡。夏贵率众来援,阿术即以昏时率四翼军溯流二十里至青山矶。是夜,雪大作。黎明,阿术遥见南岸多沙洲,即登舟指示诸将径渡。万户史格一为荆鄂都统程鹏飞所败,阿术引兵继之,大战中流。鹏飞军却,阿术乘胜至鄂东门。鹏飞被重创走,阳逻堡亦溃,伯颜遂渡江趋鄂。

端宗 景炎二年^①,淮人张德兴义兵起。元使郑鼎拒之,战于樊口。九月,元陷寿昌军,德兴死之。

元

顺帝 至正十二年正月,徐寿辉陷武昌,威顺王宽彻普化弃城走。寿辉复遣丁普郎、徐明远陷兴国,改为兴国军。元随复之。七月壬申,湖广行省参政阿鲁辉复武昌。

十五年七月,寿辉将倪文俊复陷武昌。

十六年,寿辉遣倪文俊袭兴国,陷之。复为兴国军。

十八年秋,伪汉[陈]友谅陷兴国军,改为兴国路。

二十年,伪汉陈友谅败死鄱阳湖,其将张定边乘夜以小舟载友谅尸及其子理趋武昌,立为帝。明师复围之。

二十一年八月,明太祖遣康茂才、赵得胜引兵下兴国。刘谦攻克石榴寨。

明

[元顺帝 至正]二十三年,明太祖取兴国。

二十四年以武昌围久不下,乃亲往誓师,督诸将击之,擒其元帅张必先。既而遣罗复仁谕以大义,理遂率其太尉张定边诣军门降。凡府库,悉令理自取。城中民多饥困,命给粟赈之^②。

① 景炎:宋端宗年号,公元1276—1278年。 ② 此二条乃元顺帝年间的事,应上属元朝部分。

崇祯十年九月九日，流贼张献忠攻孝感，不克。总督熊文灿督师征剿，无功。复以相国杨嗣昌督师征剿，困贼西山中，几歼。而献忠突围出，不意陷襄阳。自是，兵、贼交讧^①，江北诸郡，血涂千里。大江以南，以危巢为安堵，巨家豪室流寓鄂城，视长江如天堑焉。

十五年，闯贼李自成引河水灌汴梁，与平贼将军左良玉大队决战于朱仙镇。官军败绩，良玉率残众奔襄阳。招纳亡命，收聚溃卒，得数万人。移驻武昌，将士骄淫，无复纪律。

十六年，督师孙传(廷)[庭]败没于李自成，贼势将及江北。张献忠有窥窃江南，虎踞巫巴之志。既陷蕲、黄州，从樊口窥渡。良玉新败，所过收兵。掠舟东下，焚劫如贼焉。巡抚王杨基闻变，乘上流无警，扬帆渐西。楚藩仓卒召募护卫兵，皆游手浪民。相国贺逢圣启楚藩发镪为战守画。五月二十九日，贼突至东门。城陷，献忠升王殿，以肩舆舁王，浮之江中。逢圣闻变告，夫人危氏先自尽，乃投滋阳桥下以死。同时致命者，诸生冯渐卿、明睿、汪士奇，而明睿一门为最烈。其余抗节死而名淹没者，不知凡几。署江夏县事、长史徐学颜，冠带坐公堂死焉。献忠搜杀城中，三昼夜乃已。复驱未杀男妇数十万人出汉阳平湖门，挺而挤之江中。浮尸相属，血波膏浪。献忠遂署伪官，开设科目。徜徉久之，左良玉始自安庆遣将方国安等西上。贼遂取輜重，掠乡村男女西入蜀。良玉以恢复奏功，封宁南伯。进封宁南侯，开藩镇楚。藩下将佐，多授总兵官挂印。是年，江北诸郡邑尽为李自成窃据。左帅部将惠登相、徐勇、刘扁子，俱自朱仙镇败绩奔楚。初，良玉以失机夺爵，带罪图功，遂阴以鄂城委贼。受贼金宝而复收之^②，因以功复爵云。

国朝

[世祖 顺治元年](甲申)二月，左良玉发兵恢复安陆，军容甚整。薄城旬日不克，闻京师为李自成所陷，遂撤师回省。

① 讧：扰乱。 ② 受：“授”的古字。

[二年](乙酉)春,良玉子孟庚闻李自成为本朝所扼,奔北南下,王师相继追剿,乃起狂谋,以诛君侧奸马士英为名,反于武昌。胁抚、按附和,巡抚何腾蛟誓死不从,置之。良玉既至九江,号令不行,恚死。标下一路焚杀。孟庚行至鲁港,为黄得功所败,迟回江上。而李自成入楚境,众尚数十万。及渡江,多奔。窜至通山县九宫山,为农夫陈九伯乘便以锄击死^①,众遂星散。英王大师至武昌,置官抚辑。东下南京,孟庚降焉。

五年,江浙悉平。刘固山自江南帅师至鄂,进湖南。

十一年,经略洪公承畴帅师至鄂,规取滇黔。

十四年,世祖因湖南寇盗未靖,亟需剿抚,且大军进取滇黔,谓侍臣曰:“总督李荫祖尽心竭力,百姓颂之。使得人人如彼,天下何患不平?”时公为直隶、山东、河南三省总督,有经济才,殚忠报国,乃加公太子太保,移督全楚。公戢兵爱民,威惠并布。同经略洪定黔疆,力却沅民负米之议而餉糗充足。招抚流离十余万人。时有妖民李善友作乱,光、固、蕲、黄,翕然响应,势不可遏。议请会剿,公镇静自如,密遣人侦察善友等二十余人。兵不劳,而党类悉平。

十六年,李自成余党郝永忠等盘踞房、竹、秭归,连结四川大宁、夔、巫,众十余万,游掠诸境,民苦荼毒。公筹画机宜,次第剿抚,民咸德之^②。

[圣祖] 康熙二年,攻取西山李自成遗孽也。楚、豫、秦、蜀,四面用兵,运粮夫役以数十万计。一夫雇价至四五十金,而运米石不四斗。厥后点行不就道,聚屯大冶山中。巡抚遣官抚绥,乃散。

十三年,藩逆吴三桂反于云南,湖南尽陷。贝勒大将军统旗兵驻省进剿。

十四年,进取岳州。用水师,兴造战舰,如:锚索、棉簾、油灰、板铁、

① 陈九伯:本志《武功列传》作程九伯。 ② 上二则湖南本有,国图、江苏本皆无,似为后来据李荫祖事迹补增。

棕麻等项，取给独多。

十九年，安亲王既平湖南、西粤，班师驻鄂城。马将军复统旗兵征广西柳州叛镇，憩武昌养马，分驻诸门外。适提督桑公格转云南提督，标兵畏入滇，中道叛归者数千人，日夜露刃游市中，势将横决。布政徐公惺护、理抚军印、务，示以利害，出帑遍给，保其归伍，众始辑服。

二十年，因滇蜀尚未尽平，诏巡抚移驻荆州，料理粮饷。滇蜀是年底定，秋后，即有回京旗师相续过鄂城。

二十一年，滇蜀荡平。巡抚王公新命，奉旨自荆州回省。总督董公卫国，亦自荆州还省。滇粤奏凯，诸王、大将军班师回京，陆从荆襄，水必江汉，船只供应无算。

二十二年，滇蜀大师留后者，携家口陆续回京，及运送逆藩家口，俱由武昌募船，更换递至江南。

二十三年，滇中大师留后者奉旨回京，由武昌募船，更换递至江南。

兵防志

传曰：“固国不以山溪之险，威天下者不以兵革之利^①”。然当关莫敌^②，古实志之。武昌为东南一大都会，形势之雄，控制三楚。其间山林藪泽，旷莽蒙密，易为宵小之所窜伏，留心民社者，能不长虑却顾，以深桑土绸缪之计乎？历观汉、唐、宋、明以来所设戍守，不一其处，而距塞要害^③，星罗棋布，未有如我朝之周且密也。迩年以来，荆岳用兵，半壁骚动，独江汉之间，晏然无警，非由设施之善与？古称有备无患，盖可忽乎哉。志《兵防》。

① 见《孟子·公孙丑下》，原文为：“固国不以山溪之险，威天下不以兵革之利。” ② 指“一夫当关、万夫莫敌”。 ③ 距塞：据守。距，通拒。

周

大国三军，次国二军，小国一军。楚国为子爵，止一军。其后渐强，始为军政，作荆尸^①。城濮之战，有西广、东广、若敖六卒。邲之战，有二广以为亲军，游阙以为游兵。至威王时，带甲百万，天下称雄。

秦

分天下为三十六郡，郡置材官。（南）〔同〕郡车徒，则材官领之。

汉

初沿秦制，置车、骑、材官。调民为兵，有卒更、践更、过更之制。建武中^②，罢郡国轻车、骑士、材官、楼船及军假吏，悉还民伍，惟践更如故。

三国

魏高贵乡公 甘露四年夏六月^③，分荆州置二都督。

晋

〔晋武帝〕 太康元年，既平吴，诏去州郡兵。郡置武吏百人，小郡五十人。

南北朝

宋孝文帝 分荆湘、江、豫州三郡置郢州，治江夏。罢南蛮校尉，迁其营于建康。

① 荆尸：春秋时楚军阵法名，见《左传·庄公四年》。 ② 建武：汉光武帝年号，公元25—56年。 ③ 甘露：魏高贵乡公年号，公元256—260年。

隋

仍周齐府兵旧制。九年，平陈，诏民间甲仗悉皆除毁。

唐

高祖 武德初^①，沿隋制置府兵。

太宗 贞观十年，更号统军为折冲都尉，别将为果毅都尉。诸府总曰“折冲府”。凡天下十道，置府六百三十四。

[代宗] 广德二年，于鄂、岳、沔置三防御使。

宋

[太祖] 建隆元年，诏诸州长吏选所部兵送都下。又选强壮卒，定为兵样，分送诸道。又以木挺为高下之等，散给诸军、州，委长吏、都监召募、教习。

[孝宗] 乾道末，各州有都统，司领兵。鄂州四万九千，荆南二万。

[神宗] 元丰四年，诏团练东南路诸军亦如京畿之法。共十三将，荆湖北路为第七路。

[高宗] 建炎后，屯驻大军，鄂州都统司水军。

元

于诸路设总管元帅府，统兵征伐。

至元二十五年，调扬州省军赴鄂州代镇戍士卒。

明

改元帅府为都使司，以勋戚领之，驻扎省城，而以各卫隶焉。其调遣、征发，统于五军都督府。

巡抚湖广、兼赞理军务都御(史)[使]一员。

① 武德：唐高祖年号，公元618—626年。

清军副使一员

屯田副使一员

分巡武昌,兼兵备佥事一员。

镇守湖广挂平蛮将军印总兵官一员。以上俱驻扎省城。

武昌卫指挥使。指挥同知。指挥佥事。镇抚。左、右、中、前、后千户所千户、百户。

武昌左卫指挥使。指挥同知。指挥佥事。镇抚。左、右、中、前、后千户所千户、百户。

国朝

督标:中军副总兵一员,游击二员,守备三员,千总六员,把总十二员,马、步战、守兵二千名。

抚标:游击二员,守备二员,千总四员,把总八员,马、步战、守兵一千五百名。

武昌:城守参将一员,中军守备一员,千总二员,把总四员,马、步战、守兵一千名。分防江夏、武昌、咸宁、蒲圻、嘉鱼、通城、崇阳七县,并上、下水塘共三十六处。

兴国州:城守参将一员,守备一员,千总一员,把总二员,马、步战、守兵五百名。分防大冶、通山县,并上、下水塘共九处。

道士袱:守备一员,把总一员,马、步战、守兵三百名。分防南、北两岸水塘共三十处。

武昌卫:守备一员,千总一员,百总一员。

武昌左卫:守备一员,千总一员,百总一员。

卷之四

秩官志

按《沿革》：汉之江夏，吴之武昌，皆在今武昌县。宋曰郢州，隋、唐曰鄂州，明为武昌府，国朝因之。故前代太守，刺史，内史，知州、军，其名不一。应编入江夏、武昌二邑，以纪其实。而秩官称“知府”，断自改武昌府始。武昌为楚首郡，常时则有簿书、期会之烦，兵交则有驿骚、供亿之苦，其克优优布化、与民休养者，无多焉。汉唐以来，剖符析圭，其人具在。能杰然勉为循良，而遗甘棠之爱于民间，皆有传；余则记其姓名，庶亦不泯没云。志《秩官》。

武昌府

知府

明

- | | | | |
|-----|---------------|-----|------------|
| 汪大本 | 见《宦迹》 | 王德芳 | 清河，贤良方正。 |
| 傅藻 | 义乌人 | 朱胜 | 阳溪人，荐举。 |
| 邵旻 | 见《宦迹》 | 刁正 | 章纶[人] |
| 吴福 | 钱塘人 | 张勋 | 会宁[人]，进士。 |
| 张纶 | 桐城人，进士。 | 程宗 | 常熟人 |
| 聂贤 | 长寿人，进士，见《宦迹》。 | 秦夔 | 无锡人，见《宦迹》。 |
| 蒋恭 | 苏州人 | 王达 | 泾县人，进士。 |
| 冒政 | 见《宦迹》 | 胡瑾 | 江陵人 |
| 陈晦 | 莆田人，进士，见《宦迹》。 | 曹成 | 郑州人，进士。 |

- | | | | |
|-----|------------------------------|-----|------------|
| 邢 昭 | 顺天人,进士。 | 黄 颢 | 莆田人,进士。 |
| 张 恺 | 通州人,进士。 | 陈 槐 | 鄞县人,进士。 |
| 沈 暕 | 云和人,进士。 | 王 奎 | 大庾人,进士。 |
| 郭 仕 | 太和人,进士。 | 喻 义 | 余干人,进士。 |
| 张希尹 | 万泉人,进士。 | 仲 选 | 沐阳人,进士。 |
| 何 相 | 贵池人,进士。 | 张 明 | 蒲田人,进士。 |
| 何 城 | 榆林人,进士。见《宦迹》。 | 杨 贤 | 济宁人,进士。 |
| 严 中 | 余姚人,进士。 | 蒋 珊 | 武进人,进士。 |
| 王春泽 | 漳莆人,进士。 | 张 渊 | 鄞州人,进士。 |
| 任 闻 | 成都人,进士。 | | |
| 徐应簧 | 淳安人,进士,有生祠在河街 ^① 。 | | |
| 赵文同 | 进士 ^② | 黄宋宇 | 进士 |
| 黄季勋 | 丰城人,进士。 | 吴一深 | 南昌人,进士。 |
| 李向阳 | 雅州人,见《宦迹》。 | | |
| 曹 楨 | 镇江人,进士。见《宦迹》。 | | |
| 孙承荣 | 长洲人,见《宦迹》。 | 张以谦 | 洛阳人,见《宦迹》。 |
| 韩 济 | 龙溪人,见《宦迹》。 | 沈宪祖 | 顺德人,见《宦迹》。 |
| 傅良选 | 雅州人,进士。 | 胡允公 | 进士 |
| 邓来鸾 | 南昌人,见《宦迹》。 | 洪天擢 | 徽州人,进士。 |

国朝

- | | | | |
|-----|----------------|-----|---------|
| 王 羔 | 字小猛,四川人,举人。 | 王任杞 | 直隶人,举人。 |
| 王维屏 | 字带汾,山西人,进士。 | | |
| 梁知先 | 字朗公,邹平人,进士。 | | |
| 李应昌 | 字(□□)[建华],辽东人。 | | |

① 江苏、湖南本无此条,字体较大疑增补。 ② 国图本在最末,疑因增补,移至后。

张 璠 字□□,河南人,贡士。
 吕为章 字□□□,□人,贡士。
 余三汲 字□□,辽东人,贡士。
 刘余霖 字筠庵,顺天人,贡士。
 杜毓秀 字岳华,定边堡人,有传。
 裴天锡 字长龄,江南江阴人,进士^①。
 武廷适 字周南,山西大同人,贡士^②。
 朱(昌)[留]绪 江南徽州人,贡士,仁慈。
 尤 汶 北直,□□□□,监生。

同知

明

冯原智	吴县人	刘德明	涿州人
潘 亨	山阳人,举人。	杜 恺	
王 瓚		万 璋	南海人,举人。
冯彦辉	慈溪人	冯 彰	
明 绍	潘 经	李 信	晏石珠 凌文献
沈 景	盛应期	李 磐	王 猷 张 旻
常 赐	进士	吴 宙	常熟人,举人。
赵从龙		唐 翱	琼山人,举人。
金 述		彭 祥	
周文汉		蒋 芝	成都人,进士。
沈 本	兴化人,举人。	朱廷文	广东人,举人。
祝 珣	南溪人,举人。	曾才汉	泰和人,举人。
焦 霖	周至人,举人。	彭 懋	南昌人,举人。

① 字体略大、风格不一,应为后增补。 ② 国图、湖南本刻有此条,证为其后刻本。江苏本无。

周时中	侍林人,进士。	王徽猷	晋江人,进士。
刘 田	河南人,进士。	胥 遇	眉州人,进士。
王 轩	清苑人,进士。	周 泉	闽县人,举人。
张翼先	太和人,举人。	卞孔时	

国朝

宫象璧	字百朋,辽东人,升本省兴屯道。
李应昌	字建华,辽东人,升本府知府。
刘应中	字君雅,井(泾)[陞]人,举人。
金元祯	字兴所,辽东人。
刘芳标	字卓庵,沈阳人。荫生,升知府。
稽宗孟	字淑子,淮安人。举人,升知府。
聂 源	字天一,万全卫人。举人,升知府。
鲍复泰	字汇亭,沈阳人。荫生,升知府。
唐嗣昌	字星渠,全州人。举人,有传。
牛 奂	字潜子,林县人。贡士,升知府。
亢从时	字正斋,临汾人,贡士。中书改授,升知府。
朱 璘	字清玉,上虞人,贡监。
何 勋	字□□,福建□□人,□□□□□监生 ^① 。

通判

明

邓思敬	王 恺	吴 经	李 和
冯 震	华亭人,监生。	曹 霓	彭 镒 丹徒人,监生。
陈 林	邓 圻	魏 平	王 蔓
成 礼	孙 久	吉水人,举人。	车 宁

① 刻印本皆无此条,江苏本笔增。

郑煜	举人	李玺	稷山人,举人。
王宸	施惠	郭贤	陈镜 孙缙
戴结	左暹	张昂	张禧
张秉清	婺源人,举人。	康济	唐诰 周宾
缪章	郭侑 新乡人,举人。	赵德刚	张鯤
尹觉	嘉定人,举人。	张宗德	邹正东 双流人
冯鲂	张价	杨梓	安□人,举人。
李楷	四川人,举人。	李华	双桂 宁州人,举人。
陈言正	赵崑	周如底	余姚人,进士。
张缜	龙骧人,举人。	丁介	龙骧人,举人。
孟守直	郑秀 江西人	龙云	南昌人,举人。
高岐	大理人,举人。	马镗	刘莆
王心	天长人,进士。	邹瑚	张钝 吉水人,举人。
黄道明	江西人,监生。	范鹏	德阳人,举人。
曹燧	望江人,选贡。	陈富春	莆田人,举人。
夏时	(商)[商]城人,监生。	李苾	南充人,举人。
万瑞	南昌人,举人。	汪鳌	东流人,贡生。
陈希文	钱塘人,进士。	甘节	上元人,举人。
王绢	莆田人,举人。	杨继文	容县人,举人。
张以栋	四川人,监生。	俞应裕	桐庐人,官生。
李必闻	雅州人,举人。	郑之松	宣化人,举人。
汤侨	大成人,选贡。	汪性大	贵溪人,举人。
谢应元	沙县人,举人。		

国朝

范体观 字宾王,保定卫人。举人,升同知。

姜士登 字□□,宁远卫[人],举人。

张淇 字□□,邯郸人,贡士。

- 郎熙化 字太和,广宁卫人,贡士。
 李元阳 字□□,大兴人。副榜贡,升同知。
 张 联 字阁斋,曹县人,贡士。
 丘象升 字曙戒,山阳人。进士,侍讲降补。
 张元祯 字紫石,大嵩卫[人],贡士。
 鲁 冲 字凌霄,广宁卫人,升知州。
 张凤翮 字彩臣,泰州人,荫生。
 张 芑 号雪岑,桐城人,贡士。
 孔毓珣 字□□□□,山东曲阜人。圣裔,贡士^①。
 张 麟 字□□□□,浙江□□人,监生。
 徐光晃 字□□□□,浙江分水人,□□监生。

推官

明

- | | | | |
|-----|---------|-----|---------|
| 项 俊 | 朱 玘 | 朱 复 | 当山人 |
| 廖 镛 | 双流人,监生。 | 党 俊 | |
| 杨 昊 | 詹 华 | 屠 熙 | 平湖人,举人。 |
| 余秉清 | 奉新人,举人。 | 张以庄 | |
| 刘 玟 | 庆阳人,监生。 | 卫 道 | 华县人 |
| 李 淮 | 卫 钰 | 黎 饶 | 戴 持 |
| 梁 珍 | 长江人,举人。 | 沈汝璋 | 鄞县人,举人。 |
| 叶应时 | 慈溪人,举人。 | 文 方 | 合州人,监生。 |
| 刘起宗 | 巴县人,进士。 | 杨 珂 | 太和人,举人。 |
| 刘以节 | 海阳人,进士。 | 徐 爌 | 太仓人,进士。 |
| 余敬忠 | 铜陵人,进士。 | 刘时秋 | 宝坻人,进士。 |
| 崔行可 | 南充人,进士。 | 郑 迁 | 莆田人,进士。 |

① 刻印本无下二、下三条,江苏本手写增。

程正谊	永康人,进士。	杨 栋	
马化龙	宁远人,举人。	胡嘉栋	
邓来鸾	进士,升本府知府。	禹好善	进士
李春蓁	进士	施凤仪	进士

国朝

秘汝焕	举人	张 著	张惟养	王 嫔
张迎楔	字□□,无锡人,进士。	卢士登	字子瀛,宜兴人,进士。	
康熙间奉□□裁。				

理刑同知 康熙甲寅年添设^①

王养晦	字翰儒,河南人,进士。
王锡鼎	字□□,四川人,举人。
傅为格	字□□,浙江人,贡监。

经历司经历

明 失考

国朝

王应瑞	字□□,山阴人,吏员。	李毓秀	字□□,大兴人,吏员。
郑国翰	字□□,灵石人,恩贡。	朱之焜	字□□,高邮人,进士。
白九蛟	字腾宇,长安人。吏员,捐纳知县。		
孟一麟	字瑞芝,香河人,吏员。		

① 康熙:清圣祖年号,公元1662—1722年。 甲寅年:公元1674年。

知事

明 失考

国朝

朱正色 字□□,山阴人,吏员。 裘士骏 字□□,山阴人,吏员。
张国栋 字□□,华州人,吏员。 赵嘉模 字□□,房山人,吏员。
吴刚思 字德乾,武进人,进士。 徐世荣 字□□,临川人,吏员。
胡弘忠 字葵庵,奉天人,例监。

照磨所照磨

明 失考

国朝

王国栋 字□□,山阴人,吏员。 王 搢 字□□,山阴人,吏员。
施文盛 字□□,乌城人,吏员。 庞 谦 字□□,山阴人,吏员。
金守信 字□□,大兴人,吏员。 王 政 字□□,长洲人,吏员。
景可贤 字□□,南郑人。吏员,升(布)[部]照磨。
陶大有 字来仪,山阴人,吏员。

司狱

明 失考

国朝

吉养龙 字□□,满洲人,吏员。 王士骏 字□□,山阴人,吏员。
徐 奇 字东来,长洲人。吏员,升府照。能诗。
周相宗 字□□,三原人,吏员。

儒学教授

明 [多]失考

尚登龙 京山人,贡士。 任大治 浙江人,进士。
 黄廷师 福建人,进士。 张尚辰 荆州人,贡士。
 甘士彦 江西人,贡士。

国朝

张元伯 郧西[人],廪生,题授。 胡来廷 广济人,贡士。
 潘君谐 安乡[人],贡[士]。 董士哲 枝江人,贡士。
 龚元英 竹山[人],贡[士]。 谭 晓 长阳[人],贡[士]。
 程一斐 字坦之,黄安[人]。举人,升助教。
 王钦命 字劬庵,广济[人],举人。
 罗人龙 字骧子,枝江[人],贡[士]。

训导

明 [多]失考

郑元型 河南光山人,贡[士]。
 安国泰 北直平谷人,贡士,入《名宦》。
 刘集德 石首人,贡士。 徐有为 黄州人,贡士。
 刘擢翼 陕西人,贡士。 唐 莲 桃源人,贡士。
 鲍 馨 麻城人,贡士。 王之尝 黄陂人,贡士。

国朝

程当时 景陵人 吴景明 兴国人
 刘承漠 沔阳人,贡士。 刘关国 潜江人,贡士。
 李起魁 临湘人,贡士。 陈盛楸 潜江人,贡士。
 李 藩 武陵人,贡士。 张圣翼 房县人,贡[士]。
 周世对 黄冈人,贡[士]。 石永年 黄梅人,贡士。

递运所大使

明 失考

国朝

周 镇 仁和人,吏员。 谢孔教 大城人,吏员。

叶 鼎 会稽人,吏员。 陈廷栋 富平人,吏员。

江夏县

汉守

李 肃 董 宣 刘 琦

魏守

桓 禺

吴守

周 瑜 有传 程 普 有传
孙 奂 郤 礼 郝 普 刁 嘉 刘 度

晋守

谢 尚

五代宋内史

朱修之

南齐内史

隆慧晓 有传 柳世隆 张 绪 萧 岳 孔秀之
萧思话 有传 孙 谦 有传

梁守

韦 勰 有传 萧 琛 乐 蔼 王 志

陈守

周罗暉

唐刺史、令

冯景奏 有传 李 兼 有传 马 珣

宋知鄂州、令

黄庭坚	有传	杨 砺		张舜民	有传	清 凤
张商英	有传	詹体仁	有传	刘子羽		韩彦道
曾三能		罗 愿	有传	项安世		梁 焘
孟 珙		赵善俊		刘 沆		梅 海
刘清之	有传	赵令畧	有传	朱寿昌	有传	
张 諤	有传	吴 愈	有传	魏 瓘	有传	
王子溉		王 武				

元尹

周 鏜

知县

明

李永信	有传	王 雱	有传
徐 善	有传	吴世英	盐城人,举人。
魏 宏		胡 裴	汤溪人,进士。
陈 禄	滕县人,[举]人。	龚 锐	
文 诚	四川人,举人。	叶宗杰	四川人,举人。

- | | | | |
|-----|---------------|-----|-------------------------|
| 王 轩 | 四川人,举人。 | 马舜民 | 江都人,举人。 |
| 王文卿 | 浙江人,官生。 | 马 玉 | 江西人,举人。 |
| 萧 绍 | 永丰人,举人。 | 陈学夔 | 有传 |
| 汤 宪 | (栗)[栗]阳人,举人。 | 吴德元 | 歙县人,举人。 |
| 梁拱辰 | 云南人,举人。 | 萧九成 | 南昌人,举人。 |
| 丘时雍 | 福建人,举人。 | 韩 栋 | 安庆人,举人。 |
| 黄世厚 | 萧山人,举人。 | 叶祖尧 | 凤阳人,进士。 |
| 莫 杨 | 有传 | 叶凤翔 | 婺源人,进士。 |
| 游季勋 | 有传 | 董绍舒 | 山阴人,进士。 |
| 方道通 | 歙县人,进士。 | 徐日久 | 有传 |
| 樊尚燝 | 有传 | 李应公 | 四川人,进士。 |
| 王尔玉 | [□□]人,进士。 | 赵 江 | [□□]人,进士 ^① 。 |
| 刘 勳 | 江南人,进士。 | 朱统镛 | 有传 |
| 徐名琦 | 浙江人,进士。 | 徐学颜 | 有传 |

知县

国朝

- | | | | |
|-----|---------|-----|------------|
| 尚 沔 | 安阳人,举人。 | 董象乾 | 万泉人,进士。 |
| 张其修 | 盛京人,贡士。 | 黄云会 | 东流人,贡士。 |
| 吴日来 | 侯官人,贡士。 | 赵应登 | 上元人,吏员。 |
| 马中骏 | 宜阳人,举人。 | 蔡兴镐 | 盛京人 |
| 甘国辅 | 盛京人 | 卢仲魁 | 盛京人 |
| 吴世贡 | 乌程人,贡监。 | 刘朝英 | 开元人,甲午,有传。 |
| 马云会 | 辽阳人,荫生。 | | |

① 二人原“进士”在“人”前,疑误二字,又颠倒。

县丞

明

沈 瑶	温 经	周 慎	高邦靖	刘 相
施 金	王显邦	郑 采	欧世杰	潘 锦
陈 撰	靳 臣	周汝兰	安正孝	杨一阳
陈世瑞	冯时雷	高一上	刘鸣鹤	林公辅
向兆麟				

国朝

郝 澎	盛京人,贡[士]。	谢士贤	山阴人
李调元	盛京人,生员。	吴汝楫	江南人
王燮昊	盛京人	王之应	山东人,贡士。
王斗枢	陕西人,贡[士]。	王亦宜	
韩居杲	洪洞人,岁贡。	惠之琯	富平人

主簿

明

徐文煊	张 凤	朱 锡	蒲宗义	刘知良
程世禄	倪存耀	李 敷	孙 缙	杨 震
王 湖	陈大经	钟 远	张东冈	王 修
杨 机	戴 儒	高 铨	聂梦熊	王 旗
力 晟	熊 渭	王 爵	王鹈翩	左 瑞
杨文潮	韩 地	章梦英	刘立忠	李 确
欧阳地	王嘉宁	王万春	郑大宾	张文耀
吴瑞隆				

国朝

何守环	黄国弼	以后奉裁
-----	-----	------

典史

明

张承福	罗峻	陈海	俞禄	马远
龚镗	潘廷学	梁钟	刘蔓	黄通理
周德宠	余洪阁	黄承芳	胡玉麟	曾文光
晏起龙				

国朝

刘奇名	陕西人	曹鸿运	陕西人	戴贞	浙江人
陈文显	浙江人	赵应元	陕西人	程国枢	富平人
邓儒芳					

教谕

明

沈浩然	沈仲维	刘宗	蔡仁	张雅
简钺	罗袞	徐爵	余仕举	王申
杜从易	陆穗	周南	苏大有	丁用中
何纬	刘季芳	王铨	姚一理	杨秉纪
王廷椿	林应魁	举人,升知县。		
欧阳东伯	邹馆	麻城[人],举人,升通判。		
唐之宾	万同泰	孝感[人],举人。		
萧如兰	王汤孙	举人,庚戌进士。		
陈鉴	广东[人],举人。	尹际寅	黄文星	
胡来臣	魏国宾	张威如	何世延	

国朝

王蔚	举人,升知县。	江载清	黄安人,举人。
何询之	汉阳[人],举人。	黄图巩	荆门[人],贡士。

唐 封 麻城,举人中进士。 寻 奇 浏阳人,贡士。
 杜士英 黄冈,举人。
 张希良 黄安,举人,乙丑进士。馆选。
 王 煌 黄陂,举人。

训导

明

王 进	李一敛	何 瑄	赵秉彝	张 杭
廖 麒	蒲 作	陶 贤	李 会	徐白凤
李 侃	陈 见	马 阳	裘汝洪	杜惟翹
任可久	张叔豹	李怀民	冯世良	鄢 軫
罗九思	刘 瀛	王直卿	邹昌言	何 乔
赵元楨	潘 煌	郭 康	李御选	刘 甸
王显仁	郑启周	任弘道	陆 迎	陈梦阳
刘 科	樊 卫	李芳春	李呈明	周继初
郑 重	向日芳	何其忠	屠宗远	伍云同
罗邦玮				

国朝

张开魏 云梦人,贡士。 蔡之芳 华容人,贡士。
 周颂孙 襄阳,贡[士]。 鲁 录 孝感,贡[士]。

巡检

国朝

施承绪	吴国祚	冯时俸	胡启贞	金 钰
盛国员	刘增献	贾万里	张文炳	尉道弘
郭 挺	栾 芳			

驿丞

国朝

陈 秦	王大捷	张光先	陈 恕	张化蛟
胡起麟	张德化	吴士斌	张正教	谢维新
郭维镇	张 璘	张 文	周之浩	钟樊翰
赵弘竟				

武昌县

晋守

陶 侃	有传	熊 远	刘 诩	丘巨源	
赵 诱		诸 洽	周 抚	桓 宜	以上守有传
桓 阶		易 雄	桓 雄	以上判	

〔五代〕〔南朝〕宋守、内史

王元谟 蔡兴宗 沈庆之 有传

南〔朝〕齐守

伏曼容 有传

〔南朝〕梁〔守〕

何 远 有传 吉士瞻

唐刺史、令

韩仲卿 王廷璘 孟仕源 以上令

后唐知军

刘仁瞻

宋知军

梅 海	邓胜求	刘 沆	张 咏	王 庶
李 植	蔡 开	詹体仁	张世杰	
岳 飞	有传	方 泽	有传	
张 英	黄(廷)[庭]坚		刘子羽	韩彦直
曾三聘	罗 愿	项安世	梁 焘	孟 珙
吴景偁	朱 堯	周 复		
李 楷	邯鄲人,淳熙年任,见吕公洞石刻。			
胡朝颖	段震年	王 霁		

元

马天敏	赵从仕	王文贲
-----	-----	-----

知县

明

戚元礼	有传	孟 吉	谢叔宾	张光大	袁士晦
宦 绩	江阴人,进士。		姚 智		
何 原	高苑人,监生。		王友信	南昌人,进士。	
许 诚	有传		牛 逵	长子人,监生。	
文 哲			钟 振	钱塘人,举人。	
杨子奎	江津人,举人。		曹景诚	本溪人	
刘 缙	分水人,举人。		陈应魁	高安人,监生。	
谢廷举	番禺人,举人。		刘吴镗	卢州人,举人。	
王 浚	威远人,举人。		汪 玺	有传	
聂 贤	长寿人,进士。		商 清	扬州人,举人。	
朱 钦	河南人,监生。		许 能	什(方)[邠]人,监生。	
贾 伦	祥符人,监生。		刘 壬	安福人,举人。	
王 琳	安丘人,举人。		黄 侃	丰城人,举人。	

丁 洪	铅山人，进士。	郭时明	监生
陈 璋	永州人，举人。	孙 福	资县人，举人。
许穉卿	海宁人，进士。	李宗旸	临桂人
赵民顺	巴县人，进士。	王 锐	信阳人，进士。
王 诰	闽县人，举人。	谌 谦	丰城人，举人。
陶 性	临桂人，举人。	李依仁	石埭人，监生。
唐 徽	南充人，举人。	张 铎	南充人，举人。
黄 圻	富顺人，举人。	叶 楠	吴县人，监生。
朱 环	贵州人，举人。	施从教	云南人，举人。
王 楠	南充人，解元。	李有朋	有传
刘 礼	丰城人，举人。	赵士登	泾县人，进士。
沈弘宗	上海人，举人。	高凌奎	成都人，岁贡。
孙应阳	清平人，举人。	黄应龙	有传
唐 鼎	陕西人，举人。	何以让	唯州人，举人。
王继贤	长兴人，进士。	刘曰淑	南昌人，举人。
陈大受	顺天人，贡士。	毛宗莈	云南人，举人。
黄一骥	镇海人，举人。	李跃龙	商丘人，进士。
刘体仁	有传	陈治安	会稽人，举人。
韩东明	安肃人，举人。	韩 相	晋州人，有传。
王 琇	有传	汪承诏	
邹逢吉	进士，有传。		

国朝

郑可范	鹿兆图	山东人，贡士。	涂 翀	宛平人，进士。
冯太初	临清人，贡元。	张春枝	泰兴人	
刘谦贞	嵯县人，举人。	杜 旭	丰城人，举人。	
熊 登	南昌人	卜陈彝	秀水人，进士。	
王之纪	辽东人，荫监。			

县丞

明

- 沈 斯 (愈)[俞]海广 含山人,监生。 徐仲朴
- 文 理 睢阳人,监生。 郭 暹 叶县人,监生。
- 蹇 霆 巴县人,恩生。 王正伦 德馨人
- 郭仲杰 合州人,监生。 白 珍 梓潼人,监生。
- 钱 彻 如乐人,监生。 单 言 双流人,监生。
- 杨鸣凤 双流人,监生。 谭 孜 巫山人,监生。
- 王思宪 剑州人,监生。 王 贵 仪(真)[征]人,吏员。
- 秦 弁 丰都人,监生。 余 相 怀宁人,监生。
- 柳 荣 吴县人,监生。 胡 芳 上海人,监生。
- 卫国武 贵州人,选贡。 冯 儒 西充人,吏员。
- 曹文璧 太平人,吏员。 黄 袞 会同人,监生。
- 金钟礼 无锡人,吏员。 邹孟儒 思南人,监生。
- 沈 珩 慈溪人,吏员。 罗尧相 吉水,例贡。
- 李云举 合肥人,例贡。 徐尚纲 武义人,监生。
- 汪应鯤 傅 凤 李继芳 资阳人,贡士。
- 孙光裕 四川人,贡士。 李遇春 四川人,吏员。
- 娄大簪 山阴人,贡士。 谌士选 四川人,贡士。
- 凌子伟 太湖人,贡士。 陈载宽 四川人,举人。
- 林汝听 广东人,贡士。 任占魁 高邮人,吏员。
- 赵奇勋 江西人,吏员。 诸可宾 会稽人,吏员。
- 陈云骏 监生 陈朝荇 监生

国朝

- 周俊明 山西人 娄 星 绍兴人,监生。
- 王宗圻 平阳人,监生。 陈洪畴 嘉兴人,吏员。
- 诸日彤 余姚人,吏员。 马应星 直隶人,吏员。

谢宸恩 侯官人,监生。

主簿

宋

吴亮工 马龟年

元

孟德成 贾 玮

明

朱广华 沿山人,监生。

王 达 河南人,吏员。

罗 纬 合州人,监生。

赵 纶 茂州人,监生。

郑 和 名山人,监生。

刘 胤 江油人,监生。

阎 澜 蒲县人,监生。

度宗武 蓬州人,吏员。

郭 琰 金溪人,吏员。

赖宗儒 金溪人,吏员。

季 桂 进贤人,吏员。

潘廷学

雷汝嘉 进贤人,贡士。

郑文星 四川人,贡士。

苏 贤 番禺人,举人。

李 和 新建人,吏员。

张 鄂 绩溪人,吏员。

娄 进 中牟人,监生。

洪 维 慈溪人,吏员。

李金南 文昌人,监生。

高 绶 东明人

黄 广 赣县人,吏员。

张廷高 富顺人,吏员。

张 寅 涪川人,例贡。

林公义 凤阳人,例贡。

杨开泰 云南人,贡士。

冯世安 陕西人,吏员。

范公溥 汤溪人

典史

宋

姚天骥 邹应博

明

杨 敏	沧溪人,监生。	王 潮	陆安人,吏员。
辜 钿	南昌人,吏员。	林 钺	莆田人,吏员。
汪 相	桐城人,吏员。	许 彰	闽县人,吏员。
徐廷桂	永丰人,吏员。	郭 彩	莆田人,吏员。
林 桂	增城人,吏员。	刘 襄	上海人,吏员。
陈仲节	大理人,吏员。	杜嘉诏	眉州人,吏员。
马 辙		陈 鹏	垫江人,吏员。
张应元	江西人	吴之鹏	广东人
夏之时	当涂人	王子仪	钱塘人
余可革	浙江人	傅道新	江西人
王资遴	钱塘人	陈一鄂	旌德人,吏员。
金轸器		史承英	浙江人
顾 澄	绍兴人		

国朝

唐之璜	陕西人	石 泰	绍兴人
孙元德	余姚人,吏员。	纪祚昌	陕西人,例监。
许文学	浙江人,内阁供事。	陈允吉	直隶人,吏员。
陈时夏 ^①			

教谕

宋

王禹奎	萧逢辰
-----	-----

① 仅国图本有,占空行,为后补。

元

王 龄

明

吴 纲	华亭人	夏 崇	大足人
张 琦	鄞县人,举人。	杜 巽	贡士,有传。
董 寅	新安人	桂 昌	慈溪人,举人。
罗 顺	(卢)[庐]陵人,儒士。		
官 清	建阳人	彭 聪	泰州人
杨 凯	宜宾人,举人。	周 翰	安福人,举人。
邵 诚	巴县人	陈 韶	莆田人
邓良臣	彭山人	白 绣	临桂人,举人。
胡 淮	嵊县人	李宗阳	杨 覲 新繁人
莫宗易	马平人,举人。	蓝 湑	福建人,举人。
朱 瓚	有传	徐敷言	保宁人
许 启	仁和人	樊 輿	南昌人
周贵盛	泾县人	张子翼	有传
黄文鸾	河源人,岁贡。	陈天爵	怀庆人,岁贡。
程万珠	(零)[鄞]都人,明经。		
甘继宾	举人	蒋大经	
左以猷	星子人,明经。	胡承纪	京山人,明经。
田兴常	贵州人,明经。	闵廷训	景陵人,明经。
梁汝宁	鄱西人,明经。	刘 美	黄冈人,举人。
曹国用	桂临人,明经。	龚 录	澧州人,明经。
田生芝	麻城人	韩邦哲	黄安人,举人。
薛士杰	孟县人,明经,有传。	徐采齐	华亭人,明经。
蒋春震	辰州人,明经。	许安贞	叶县人,明经。
王家录	有传	王大捷	武陵人,举人。

别仲茂 景陵人,举人。

汤应芳

国朝

方起湄 黄陂人,举人。

董良宣 有传

刘鹏翼 襄阳人,明经。

覃之琦 彝陵人,明经。

杨 鵠 武陵人,明经。

曾士荒 孝感人,举人。

向兆麟 京山人,举人。

张仲经 举人

训导

明

吴 玘 吴县人

朱绍勋 吉水人

余资深 上统人

王修业 吉水人,儒士。

陈 忠 纳溪人,举人。

伍 诚 嘉定人

周 宁 海宁人

张 春 巴县人

邓 玘 金溪人

李 荣 乐平人

朱 宾 当涂人

丁 英 临桂人,举人。

郑 旭 兴隆人

杨 质 连州人

杜 琛 天台人

(洗)[洗] 政 南海人

张 玘 山阴人,举人。

黄 聚 南安人

(刑)[邢]国宪 宜山人

徐 实 缙云人

杨一魁 绵州人

徐 纪 金溪人

王 新 武平人

严文彦 陆(凉)[良]人

萧雷春 简州人

李 岐 合州人

徐公蕃 海门人

徐延桂 遂溪人

陈 骈 长乐人

蒲维藩 南充人

屠希曾 乐清人

杨志义 长宁人,岁贡。

张士英 西平人,岁贡。

雷 邗 泸州人,岁贡。

王 珂 彭县人,岁贡。

谭 思 铜梁人,岁贡。

邹天荣	远安人,岁贡。	文 莹	
董 淳	巴县人,岁贡。	金 冕	桂林人
杨逢春	道州人	王之棟	德安人
林宗惠		杜学颜	云南人
危文灿	黔阳人	白起采	
陈天简	德安人	周道南	黄陂人
周道芳	汉川人	杨东芳	桃源人
尹心灏	汉川人	李春叶	鄖阳人
罗其贤	崇庆人	何应林	广东人
卢可久	唐县人	周应泰	麻城人
彭 澧	澧州人		

国朝

刘信国	潜江人,明经。	董士哲	枝江人,明经。
段云琦	鄖阳人,明经。	齐士望	襄阳人,明经。
程光禧	黄冈人		

咸宁县

知县

明

冯 昶	有传	张兴祖	有传
王 原	有传	叶子城	有传
林和生	有传	上官仪	有传
谢 绅		庞 端	有传
张 昌	嘉鱼人	陈 灏	有传
钟 启	永丰[人],贡[士]。	唐 宪	
钟 灌	永丰人,进士。	李 鼎	昆山人,举人。

- | | | | |
|-----|--------------|-----|---------|
| 汪 祥 | 山东人,监生。 | 徐 旻 | 陕西人,监生。 |
| 施 达 | (金)[全]椒人,监生。 | 王 介 | 有传 |
| 陆 坦 | 吴县人,进士。 | 潘 泽 | 建平人,举人。 |
| 丘 魁 | 蒲城人,举人。 | 吴 聪 | 永丰人,举人。 |
| 林 旦 | 归安人,举人。 | 邓 守 | 乐昌人,监生。 |
| 茆 信 | 江南人,监生。 | 梅 簪 | 旌德人,举人。 |
| 萧立业 | 有传 | 譙宗柏 | 南充人,举人。 |
| 张时举 | 云南人,举人。 | 何仁嗣 | 灌县人,贡士。 |
| 阳 铎 | 金堂人,举人。 | 李春和 | 广昌人,举人。 |
| 吴世忠 | 歙县人,举人。 | 林 楚 | 漳浦人,举人。 |
| 杨以宁 | 巴县人,举人。 | 刘绎思 | 临桂人,举人。 |
| 茶 昊 | 三原人,举人。 | 葛应蛟 | 有传 |
| 邵 龄 | 休宁人,恩生。 | 胡学礼 | 中江人 |
| 林 椿 | 侯官人,举人。 | 钟 沂 | 会昌人 |
| 康 直 | 直隶人,举人。 | 曹维藩 | 吉水人,举人。 |
| 周日庠 | 有传 | 朱凌霄 | 有传 |
| 王元柄 | 蒲城人,举人。 | 徐可大 | 江西人 |
| 秦懋观 | 有传 | 曹应聘 | 有传 |
| 刘世科 | (城)[成]都人,举人。 | 彭 淳 | 南海人,举人。 |
| 许 通 | 江西人,举人。 | 刘尽善 | 顺天人,贡。 |
| 陈奇勋 | 桂林人,举人。 | 孟良范 | 有传 |
| 陈鹤龄 | 博罗[人],举人。 | | |

国朝

- | | | | |
|-----|--------------|-----|---------|
| 杨腾柱 | 宁乡人,贡。 | 周文华 | 有传 |
| 冯源泗 | 有传 | 朱复亨 | 大兴人,举人。 |
| 何廷韬 | 辽东[人],官荫,有传。 | | |
| 王士瀚 | 贡监 | 詹象泰 | 江南人 |

典史

明

张 中	达州人	裴 泰	临淮人	张 理	宁晋人
韩 恕	荏平人	滕 宾	招远人	吴 忠	无为人
王 智	大名入	沈廷璋	崇德人	何本清	汉川人
吴 鳌	后大经	刘 文	陈 言	冯天禄	
萧 勋	王 国	夏守严	童世思	何尚义	广东人
吴仲和	祁门人	孟天爵	直隶人	杨克宽	上杭人
潘 棕	宣城人	区 英	广东人	黄 焯	
纪应封		王明赞	浙江人	胡乃宿	浙江人
林承佑	福建人				

国朝

章兆鼎	绍兴人	傅天惠	大兴人	卫起凤	山阴人
邹廷瑞	孙 成	陕西人			

教谕

明

郑均礼	华容人,贡。	丁世修	
吕永明	会稽人。	王子清	荣县人
蔡 绅	南城人,举人。	舒 绅	兴化人,举人。
黄 孚	连州人,举人,	袁 杰	富顺人,监生。
孔 善	新淦人,儒士。	方 贵	浮梁人,举人。
伍 福	刘 秩	赵 辂	曲靖人,举人。
张 清	仪(贞)[征]人	钟 林	
孟 贤	宜山人	曹伯恩	吴 炼 新城人
牟 训	罗江人	江 贞	婺源人
丛 佳	如皋人	张 斗	安岳人

江南云	贵溪人	杨希说	海阳人,举人。
王廷臣	后卫人,举人。	王 涛	贵池人,举人。
罗继元	新城人	张 源	宾州人,举人。
毕 集	洛阳人	雷用龙	建安人,举人。
冉德宁	四川人	孙起宗	左卫人,举人。
费思箴	荆门州[人],举人。	赵子文	归州人
万邦俊	南昌人,举人。	吴嘉龙	贵州人,贡。
李应旻	富顺人,举人。	张士旗	福建人,举人。
宋德祁	黄州人,贡生。	董以修	德安人,举人。
黄可柱	罗田人,举人。	胡一鶚	余姚人,举人。
董正京	京山人	纪 元	广东人
龙 湘	汉阳人,举人。	张拱翼	澧州人
王绥和	徽州人	彭式右	江西人
陶 彦	黄安人		

国朝

郭都城	黄冈[人],举人。	刘效曾	潜江人,贡生。
喻良臣			

训导

明

游 艺	长清人,举人。	周 垌	慈溪人,举人。
周 诚	合浦人,举人。	温 弼	垫江人,举人。
周 谔	吉安人,监生。	林 恂	当涂人,举人。
李 芳	新城人,举人。	何 瓚	怀宁人,监生。
王 纶	夹江人,举人。	刘 志	萍乡人,监生。
李 实	安岳人,监生。	王 庆	昆山人
程 英	慕 熙 浙江人	周 显	广东人

王 福	建昌人	蔡宗荣	广西人
花润奇	江西人	韩 恂	广西人
李绍芳	四川人	赵文玘	河南人
程友道	福建人	孟士奇	广西人
郭 缙	云南人	孙 铎	江西人
何 翔	四川人	李时秀	江都人
李 介	吴 慧 南海人	游 骢	永州人
陈 镗	古田人	汪 阶	休宁人
曹 梓	四川人	胡希旦	南溪人
詹云卿	四川人	黄 阅	内江人
萧叔询	太和人	刘金枢	都昌人
高希佑	胙城人	许希贤	临湘人
覃可交	巴县人	王绳武	福建人
蒋 仪	大足人	徐 志	德安人
罗民新	宝庆人	李能白	曲靖人
黄世通	贺县人	杨继美	常德人
邹 扬	荆州人	刘天衢	辰州人
杨应祥	鄖阳人	陈希贤	祁阳人
袁汝绶	公安人, 贡。	余可甲	罗田人
邹应聘	祁阳人	李 璲	麻城人
郭尧京	汝宁人	石成壁	德州人
张昌应	鄖阳人	杨宇柱	姚安人

国朝

吴希璘	临湘人, 贡。	邓起凤	黄梅人, 贡。
邹璧明	随州人, 贡。	刘士龙	武陵人, 贡。
胡 钲	孝感人, 贡。	李登申	郴州人, 贡。
杨昌言	安陆人, 贡。	周登任	广济人, 贡。

驿丞

国朝

黄文焕 大兴人 严廷章 昆山人 夏日永 绍兴人

嘉鱼县

知县

宋

施 群 唐 钧 陈景福 姜 偃 晁^①
柴景望 朱 镗 萧 洞

元

达鲁花 赤 尹 成文炜 苏 靖 虞 盘
成 宣 李 夔

明

姚以德 有传 王孔昭 吴启文 刘秉政
边 整 汤 济 冉 通 万县人,进士。
陈伯达 李 绅 王 本 望江人
曹 顺 南波人 武 韬 董 圭 元城人,监生。
罗 纯 荣昌人,举人。 莫 震 有传
刘 循 南城人,监生。 黄 开 建德人,监生。
高 举 凤阳人,监生。 孙 伦 有传
马炳然 有传 姜 溥 有传
张 轮 四川人,监生。 吴 琛 永丰人,举人。
陈治定 苍梧人,举人。 朱 振 直隶人,监生。

① 原文为一个字。

折 冲	神木人。监生。	陆 槐	宣城人，举人。
陈文伟	浔州人，监生。	虞守愚	有传
陈一言	马平人，举人。	吴 鯤	宣城人，举人。
石渊之	有传	李玘冲	举人
桃 梧	慈溪人，进士。	甘文瀚	黄 茂
陶民悦	桂林人，举人。	章 桂	贵池人，贡士。
吴 瀚		符大宾	合浦人，贡士。
张 符	涪州人，贡士。	越民乐	贵州人，举人。
熊尹臣	新昌人，举人。	王天佐	安福人，举人。
刘元相		杨光宇	临桂人，举人。
吴 骅	宜兴人，举人。	经仁谦	全州人，举人。
黄孟经	龙州人，贡士。	蒋时馨	有传
蒋守浩		郭维翰	丹徒人，贡士。
庞一德	有传	文邦儒	举人
蔡用吉		王尧臣	郭仲选 有传
唐国士	有传	张 铭	王来仪 昆明人，举人。
陈 定	举人	梁弘建	举人 程可登 有传
王良鉴	有传	刘士焜	

国朝

陈一道	江夏[人]，举人，委任。	王应虹	山东人，举人。
邓林尹		李焯然	翼城[人]，进士，有传。
郭 植	邯郸人 来 鉴	李世锡	胶州人，进士。
李元震	建德人，举人。	白受辉	辽东盖州人，官生。
李长龄	监生	呼应肱	辽东锦州人，官生。
年昌龄	辽东广宁人，监生。	荆振日	丹阳人，举人。

县丞

明^①

李 成	张子敬	蔺 成	乐 直	高 铉
李才亨	汤仲济	郭 仪	胥 葩	李文兴

主簿

元

狄 忠

明

梁 兴	关仕中	崔守敬	李 威	周 恒
钟处云	王 清			

典史

明

王继祖	吴 祐	陈景辉	尤 恭	王 熙
侯 观	陈以常	薛 ^②	卢 受	马 进
张 荣	钱 象	朱元让	陈 玉	倪 彬
王 贷	张 珣	童武昌	刘 全	吴 善
梁 鉴	李 循	王 填	刘 经	刘廷用
牛 贤	叶天禄	王思贵	杨 琴	黄明高
郭正朝	黄光伟	鄢 斌	李朝阳	姚用夫
邵子亢	黄文明	夏 实	翟义安	林稟秀
张朝贵	朱 琮	祝尧仁	曹 章	张大经
刘 穆	周 振	翁 木	陈可德	罗 坤
李自逵	江上濂	喻士登	龚左泰	

① 原版倒乙在“县丞”上,据正。 ② 原文为一个字。

国朝

陈文奎 李傅芬 赵邦祥 池 芳 许宗耀 吕大韶

教谕

明

萧仕冲 莫 镛 阳曜宗 熊 祯 古 鉴

陈 升 刘池蕴 有传 孙允恭 欧阳宪

朱 珙 张 经 李大韶 朱加爵 林 琚

李士文 有传 覃 煦 邬 宪 有传

何钟秀 萧 珏 张钦之 何 愈 戚 宠

孙日培 向王道 魏 廉 马载道 梅 文

杨文会 滕养志 朱贤光 张二和 杨希贤

龙奋渊 李大晋 光山人,选贡。

衷允元 南昌人,举人。 周希孔 湘潭人,岁贡。

杨长春 安陆人,举人。 张维新 举人

朱永思 王命宣 张国宗 金溪人,举人。 杨士超

国朝

张效葵 举人 李熙明 郴州人,举人。 冯 琮

刘士臣 沔阳人,举人。 郭更名 麻城人,举人。

范文叔 当阳人,贡士。

训导

明

王 藻 张 坚 郭 维 袁 海 朱 良

刘 济 范 谟 李 圭 黄 贞 杨 辉

石 磐 有传 温 端 郭孔恕 陈谦山

曹 纶	陈 ^①	卢廷柏	陈 雄	周嘉谟
刘 德	尹如俸	顾 颀	戴 瑶	关 管
高 迁	刘廷璋	檀 玮	周有恒	梁上义
宋聚星	杜 容	李正荣	蒋永泰	蔡 震
郭宗义	伍 瑜	璩 镐	杨文炳	陆 学
蒋材盛	黄宗辙	聂 宛	夏 诰	王 松
李尧勋	李继东	晏承恩	杨希贤	杨 熙
艾叔久	沅州[人],岁贡。		唐之宾	桃源人。岁贡。
郑应夔	常德[人],岁贡。			
李三畏	临(童)[潼]人,恩贡。		朱 □	达州人,岁贡。
宋元时	丹徒人,岁贡。		谢廷瑚	休宁人,贡士。
王元敬	袁程度	邹孟儒	杨宗孟	

国朝

韩再琦	田之玉	罗似锦	李嘉彦
詹士郎	黄冈人,贡士。		李桂林 郧阳人,贡士。

驿丞

奉 裁

巡检

马应星	白 琳	吴继鄴	李世明	贾福基
-----	-----	-----	-----	-----

河泊所

明

老大顺

① 原文为一个字。

国朝

管之骐 王居岐

蒲圻县

知县

唐

郑元瑾 荥阳人,有传。 李必闻 有传

宋

朱 寿 天长人,有传。 简世杰 江西人,有传。

汪 泳 休宁人,有传。 钱仁老

薛仪老 永嘉人,有传。

元

王 斌 有传 韩世辅 河南人,有传。

谭天佑 茶陵人,有传。

明

柯日新 平凉人,有传。 丁士梅

李居仁 山东人,有传。 钱 昭 山东人,有传。

黄 广 同安人,有传。 张 煜 古田人

吴 俊 四川人 高 鼎 杜 绅 四川人

回 裔 河间人 胡 中 江西人 葛凤仪 天津人。

周 洪 上海人,有传。 朱 贤

罗 列 南海人,有传。 解 哲 江西人

徐 淮 广西人,进士。 朱 鹏 四川人

金麒永 应天人 张 佩 江西人,有传。

- 李 邦 四川人 苏 琮 江西人
 韩完尧 广西人 韩 唐 (颖)[颖]川人
 王 谷 安江人 刘 虔 四川人
 刘善毓 丰城人 范 言 浙江人
 方一桂 莆田人,进士。 吴本固 河南人,进士。
 沈 正 当涂人 沈 森 李 桂 全州人
 崔一濂 南海人,进士。 罗学礼 内江人,举人。
 叶 汉 苏州人,举人。
 高邦佐 乌程[人],举人,有传。
 毛 彬 青州人,举人。 陈 履 东莞人,有传。
 周 逵 忠州人,举人。
 胡其高 井研[人],进士,有传。
 王三宅 (伋)[汲]县人,进士。
 章嘉祯 德(青)[清]人,有传。
 高 举 淄川[人],进士,有传。
 吴弘济 秀水[人],进士,有传。
 倪斯蕙 巴县[人],进士,有传。
 王之杰 遂宁[人],进士。
 汪有功 歙县[人],进士,有传。
 张光前 泽州[人],进士,有传。
 顾其仁 华阳人,进士。 宣大勋 蒙化[人],进士,有传。
 吴 炳 宜兴[人],进士,有传。 尹 洗 安肃人,进士。
 林增志 瑞安[人],进士,有传。 廖道廪 韶州人,举人。
 曾 枬 临川人,有传。 姚继舜 徽州人,贡士。

国朝

- 张 苏 东昌人,恩贡。 戴成名 开原[人],贡,有传。
 江一经 建德人,监贡。 王道久 阳城人,举人。

任溯昉	阆中人,进士。	张圻隆	西华人,进士。
王来宾	杏山人,官生。	张应龙	奉天人,官生。
李 清	安邑人,例监。	霍际斯	广东人,举人。

县丞

唐

李必闻

元

狄 忠 河朔人 邓 仔 有传

明

朱尔钦 ^①	陕西人,进士。	丁则行	
戴 城	青田[人],进士,有传。	王 纲	郝子谦
铁 ^②	姑(熟)[苏]人	傅 □	永丰人。
刘 猷	河内人	蒋 茂	华亭人
王 镐	乐平人	石中良	四川人
汪 显	婺源人,有传。	郑 璜	
霍 睿	绥德人	杨 斌	剑州人
郑 瓚	成都人	廖廷之	双流人
汪 远	徽州人	金允升	昆山
刘芳誉		吴 芳	巫山人
孙体恒	清江人	廖逢吉	达州人
王 言	石埭人	周希闵	缙云人
李淳应		王嘉言	良乡人
景守节	安邑人,选贡。	唐一德	义宁人
			刘正教 沧州人

① 尔朱:湖南本二字倒乙。 ② 原文为一个字。

陈克敬	宁德人	芮攀龙	陕西人		
程梦麟	彭泽人,有传。			陈嘉言	乌程人
穆枝蕃	南皮人	谭文周	太平人	金梦麒	桐乡人
王元英	宁波人	杜同益	鄞县人		
卑必升	海门人,恩贡。				

国朝

齐俨然	房山人,恩贡。	郑国宝	大兴人,吏(贡)[贡]员。
吕荣宾	旌德人,监生。	马斯才	万全卫[人],恩贡。
王 鼎	桐柏人,岁贡。	陶 朴	合水人,岁贡。
汪 涉	山东人,岁贡。	刘閤儒	高淳人,贡士。
丘 志	天津人,廩监。	李秀发	江宁人,例监。
柳承芳			

主簿

宋

舒邦佐 江西[人],进士,有传。

元

李 佑 李 桂 侯 玉 济阴人,有传。 侯 矩

明

胡 □	宣城人	王 俊	陆 隆	吉安人	张 杰
刘 恭	吉安人	徐 禧	王 源	奉节人	白潮宗
谢 和	段 锦	李 遇	王 胜	宿迁人	
冯 经	宜春人	孙 全	孟津人	雷鸣高	
陈 因	山东人	汪 爵	祁门人	谢 联	
卢敏政	汪存古	四川人	徐 祯	四川人	

陈世柏	艾仲阳	四川人	贾绍阳	罗 亨	四川人
秦 周	亳州人	韩雨中	婺源人	罗慎祥	青阳人
吕应麟	金坛人	何汝霖	(壁)[壁]山人	何应珍	彭泽人
陈若愚	武隆人	王 锐	淳安人	李时植	浙江人
谭希曾	丰城人	刘光聘	青阳人	宗大绶	如皋人
汪可受	歙县人	罗 宏	吉水人	周之藩	霸州人,监生。
钟 律	诸暨人,监生。	毛邦卿	溧水人,监生。		

国朝

宁应宾 青阳人

典史

唐

郑光系 荥阳人,有传。

宋

赵 方 进士 陈庆勉 进士 萧之才

元

刘 让 葛 元

明

朱 琮	吉安人	陈 纲	邹 益	泸州人
胡 海	光州人	潘 镇	潘 估	蒲 俭
吴 经	巴县人	郑 铭	吴 英	武进人
何 道	四川人	黎 山	南海人	
金 骥	会稽人	莫 慰	桂(宁)[林]人	
陈 湘	江西人	王 恩	宁波[人]	

杜一学	南海人	李 重	丰城人		
李 桂		王文湛		徐时显	江西人
龙显武	太和人	胡中崙	丰都人	张汝舟	邵武人
唐 璚	汉川人	何应瑞	临江人	阮士亨	于潜人
张应蛟	山阴人	黄廷睿	青神人	沈 迁	
吴嘉庆	南直人	魏国尚	合肥人	寿得和	山阴人
周尚宾	望江人	宋文遇	南昌人	林一增	永寿人
阮世澄	福建人	宋大绶	南昌人	杨逢春	会稽人

国朝

曹复彬	会稽人	刘敬儒	保宁人	江化龙	青阳人
赵永禄	同州人	唐国弼	大兴人	潘家进	浙江人
潘宏锦	昌平人	赵迪祥	灵寿人		

教谕

宋

李 洪	宋 偲	宋 侃	黄庭凤	雷益明
黄廷训				

元

刘 昭	赵子美	杨元孚	黄元善	董奇发
宋孟卿	宋公政			

明

钟彦良	柳闰民	朱 鉴	有传	甌邦吉
黄 纯	有传	黎公弁	有传	胡 实
傅 善	严 谨	郑 肃	郭 统	张 暕
辛 懋	郭 显	罗 弼	欧阳至	裴 璋

胡 乾	陈云鹄	康 厚	马进阶	吴世忠	
李嘉言	李尚德	吴复清	林民止	有传	
王朝兴	何钟秀	周允惠	何师圣	董廷缙	
张大化	徐景化	马斯良	李世荐	蔡士用	有传
廖守遴	万 仞	蒋季炯	张应轼	魏开之	
李不伐	刘 传	黄衷赤	有传	吴道善	
王立位	舒中天	李惟晋	陈一道		

国朝

刘 莒	藩世鼎	熊世谟	程良惺	徐祚弘	
朱家藩	李 袞	郅西人,贡士。		李必泰	举人

训导

宋

高启渭	王宣议
-----	-----

元

朱公明	黄炎南	项 琛
-----	-----	-----

明

马 敬	有传	唐 岳	艾 观	任时用
李德明		沈孔熙	曾 谟	邬 信
曾 鼎		洪 山	林文礼	甘 洪
袁 忱		钱 儒	胡 镗	沈 英
袁廷光		苏显祚	李 圭	方梦龙
李朝阳		张大韶	蔡仲襄	袁 肃
张 儒		杨时霁	吴守仁	崔世忠
何士逊		熊光祖	邢懋才	周良(璧)[璧]

陈天街	刘秉铁	有传	张存绅	有传
梅遇春	李必秀	胡景文	李 泽	

国朝

周文昱	许师邵	李光炳	杨成珙	李 儼
卢世銓	慈利人,贡士。			

崇阳县

知县

唐

温迁约 有传

南唐

杨文检 郑 迪 荥阳人

宋

张 泳	邠城[人],进士,有传。	欧阳奕	进士,有传。
段少连	开封人,有传。	李 涓	南丰人,有传。
钱师仁	绍兴人 陶懋隆	王 溉	
陈 微	高安[人],进士,有传。	任希夷	有传
尹 谷	潭州[人],进士,有传。	蔡 观	魏 济
王嘉福	陈 或 陈建勋	瑞阳人	

元

卜 颜 蒙古人 阳文焕

明

- 胡兴福 邑人,有传。 杨伯成 龙泉人,有传。
- 顾 华 浙江平阳人 元 俊 杨 泰 渭南人,有传。
- 孔 禧 骆士廉 山阴人,进士。 李善将
- 虞 宗 福建人,贡。 朱履平 丁 琯
- 崔 玘 真宁人 廖 忠 陕西人
- 申 广 定州人 刘 信 南溪人,进士。
- 赵 弼 太和[人],进士,有传。
- 宋 曷 浙江人,举人。 李 信 泗州人
- 胡 浚 婺源人 李 锐 安福[人],进士,有传。
- 尤 弼 无锡人 张 瑞 举人
- 张 佩 有传 王 谷 江安人,举人。
- 姚 宁 吴县人,监生。 程 贤 乐平人
- 陈 恩 靖安人,举人。 李 炤 浮梁人,举人。
- 杜 桂 长宁人,举人。 阮复初 华阳人,举人。
- 王 儒 嘉兴人,举人。 沈 崇 涪州人
- 尹廷用 中江人 袁 卓 分宜人,监生。
- 易贞元 临桂[人],举人,有传。
- 杨道南 闽县人,举人。 施 霖 长(州)[洲]人,举人。
- 毋 欢 巴陵人,举人。 郑一凤 晋江人,举人。
- 庞 瑜 南海人,举人。 舒弘化 富顺人,举人。
- 胡秉性 信阳[人],举人,有传。
- 譙田龙 南充人,举人。 周应中 会稽[人],进士,有传。
- 王学曾 南海人,进士。 宋兴祖 汉州人,进士。
- 李鼓声 南海人,举人。 陈洪烈 光山[人],进士,有传。
- 王 晔 云南人,举人。 邓以诚 福建人,举人。
- 王元吉 云南人,举人。 杜宗彝 上海人,举人。
- 李 冲 鹤庆人,举人。 张 汇 仁和人,贡。

聂有声	宜宾人,举人。	周世尝	华阳人,举人。
李鹏程	华亭人,举人。	魏光前	遂平人,贡。
徐应问	南昌人,举人。	强兆龙	无锡人,举人。
蒋应仔	山阴人,保举。	李方曾	仁寿人,举人。

国朝

王念藻	长治人,举人。	马士鯤	寿张人,有传。
翟善	阳和人,贡士。	贾汉谊	曲沃人,官生。
贺人龙	通许人,有传。	白养正	苏州人,贡。
高景之	山东胶州人,进士。	蔡兴镐	辽阳人,举人。
金绵祖	辽东人,有传。	李特生	河南人,举人。

主簿

宋

蔡仲舒 新昌人,进士。

元

吴秀

明

陈嵩 洪武间任,后裁革。

典史

明

梁以善	宣化人	杨泰	程浩	卢江人
李昂	陕西人,监生。	刘巽	南昌人	孙郊
鞠祐	高唐人	程河	青神人	程缙
安就	睢州人	张昶	高邮人	郝九容
				眉州人

李 瑞	新都人	梅晦英	莆田人	陈 瑞	泸州人
牟高济	富顺人	徐良器	内江人	李 全	临安人
王闰成	惠安人	熊 溶	南昌人	王 瑞	南充人
徐 球	南靖人	林以德	莆田人	龚万选	夹江人
鲜 杰	德阳人	李 珊	南丰人	周 洪	彭县人
李 珊	安仁人	杨 杰	钱(唐)[塘]人		
郭云霄	莆田人	孙元叙	丰城人	周云光	安义人
黄 佐	邵武人	郎 桥	怀宁人	郑 较	山阴人
莱 芮	岳池人	朱 盛	大庾人	黄时麟	丰城人
胡钦舜		高德茂		吴志笃	
徐时聘	四川人	陈先恩	福建人	程守道	休宁人
陈良器	山阴人	杨国景	扬州人		

国朝

朱永祚	山阴人	陈御雯	绍兴人	蒋 升	山阴人
马重惠	北直人	刘维鼎			

教谕

元

宋 哲	眉山人
-----	-----

明

吴彦华	新兴人,举人。	梁太安	番禺人,贡。
姚宗文	华亭人,贡。	程 鉴	江都人,举人。
陈 琼	李居正 吉水人,进士。	关 闰	丰都人,举人。
晏 辅	巴县人,贡。	胡 翔	侯官人,举人。
余 瑄	丰都人,举人。	王 顺	安福人,举人。
爨约束	俞 缙 上虞[人],举人,有传。		

张克礼	西平人,贡士。	冯 升	云南卫籍,海盐举人。
毛 衡	新昌人,贡士。	谢 琚	绪 纪 马平人,举人。
邓 秀	保昌人	徐 行	西安人,贡士。
李 山	嘉善人,贡。	刘文法	苍梧人,贡士。
张廷桂	浮梁人,举人。	樊 峻	合州人,贡士。
李廷均	浮梁人,举人。	徐 睿	马平人,举人。
刘 湛	汉川人,举人。	杨 简	义安人,举人。
张敷潜	晋江人,举人。	沈 寅	嘉宁人
廖守后	全州人,举人。	王来宾	慈溪人,举人。
乌熙和	新昌人,举人。	欧阳节	永州人,贡士。
萧应魁	武冈人,贡士。	郑元龙	襄阳人
方茂德	举人	赵嘉猷	监利人,贡士。
张 允	黄州人	刘洪功	潜江人
吴继宗	福建人	董明衡	钟祥人
王国章	江西人		

国朝

马世盛 景陵[人],举人,有传。

训导

明

龚 善	邑人,有传。	黄师鲁	邑人	廖朝元	高视人
胡 鉴	眉州人,儒士。	丁致和	邑人,教士。		
张 迪	眉州人,儒士。	李 胜	洛谿人,举人。		
戴 弁	举人	胡 暹	柴 仁	乐平人 ^① ,贡。	
杨 宁		魏 敬	瑞昌人,举人。	吴 让	安岳人

① 此处原还有一“人”字。疑衍,已删。

- | | | | |
|-----|----------|-----|--------------|
| 张 瑄 | 永新人,举人。 | 陈士奇 | 临安人,贡士。 |
| 涂 奎 | 荣昌人,贡士。 | 徐 文 | 怀宁人,贡士。 |
| 陈 善 | 海宁人,贡士。 | 饶 玘 | 资县人,举人。 |
| 黄尚礼 | 举人 | 黎 鼎 | (悟)[梧]州人,举人。 |
| 刘 举 | 华阳人,贡士。 | 孙 玘 | 徐州人,贡士。 |
| 唐 臣 | 蓬州人,贡士。 | 吴思明 | 保昌人,贡士。 |
| 黄明彝 | 江津人,贡士。 | 孙 昱 | 合肥人,贡士。 |
| 董 鉴 | 卢氏人,贡士。 | 冯 潮 | 德安人,贡士。 |
| 赵希孟 | 涪州人,贡士。 | 周嘉禾 | 嵩明人,贡士。 |
| 田宗正 | 南部人,贡士。 | 孙应祥 | 均州人,贡士。 |
| 马朝立 | 新繁人,贡士。 | 张凤来 | 潼州人,贡士。 |
| 杨 铨 | 南充人 | 郭 定 | 南溪人,贡士。 |
| 叶永昌 | 慈溪人,贡士。 | 官 善 | 涪川人,贡士。 |
| 王 瑄 | 清平卫人,贡士。 | 张鷟翼 | 泸州人,贡士。 |
| 莫 隐 | 清平卫人 | 马 凤 | 怀宁人,贡士。 |
| 吴养正 | 井研人,贡士。 | 后 达 | 九江人,贡士。 |
| 伍自省 | 四川人,贡士。 | 张师心 | 琅县人,贡士。 |
| 徐继芳 | 六合人,贡士。 | 罗继元 | 新城人,贡士。 |
| 盛廷赞 | 武宁人,贡士。 | 孙日培 | 虹县人,贡士。 |

国朝

- | | | | |
|-----|---------|-----|---------|
| 甘继贤 | 蕲州人,贡士。 | 蔡 丛 | 安陆人,贡士。 |
| 李如之 | 彝陵人,贡士。 | 刘体仁 | 平江人,贡士。 |
| 曾绍英 | 郧阳人 | 陈齐鸣 | 应山人,贡士。 |
| 陶大任 | 彝陵人,贡士。 | | |

通城县

知县

宋

孔端植 曲阜人,圣裔,有传。 束元善 有传

元

监 侯	札木花	卫良弼	郝 英	韩 玉
李 杰	王德成			

明

马 极	有传	高世昌	曹允升	杨 庆	有传	
万 钟		杜 敏	有传	喻 俊		
杜 暹	胡 俊	王 恭	褚 潭	有传	陈 佩	
阎 禄	余云龙	有传	李 兰	衡 准	莫 磷	
何其贤	有传	李 贡	殷学逵	林 涣	侯 相	
罗 鹏	徐 鼎	夏汝砺	傅以智	朱 节	陈希欧	举人
杨汝桂	举人	简廷仁	有传	臧 石	有传	
产 科	刘 栋	周之德	赵凤朝	有传	岑学曾	
赵廷俨	有传	吴 谿	严 寅	梁云鹏		
杨 浩	内江人,选贡士。		王雍然	仪陇人,贡士。		
侯之屏	安州人,贡士。		贾复淳	萧县人,贡士。		
沈道全	慈溪人,举人。		朱宗让	芜湖人,举人。		
戴明圣	淮阳人,举人。		赵三台	彭县[人],恩贡,有传。		
周昌会	鄞县人,举人。		陈梦说	举人		

国朝

牛 汜 举人 赵齐方 曲沃人,进士。
盛 治 江都[人],进士,有传。
毛钟彦 长洲人,举人。 巢逵翔 西安人,举人。
章元际 泾县人,拔贡。 张 起 大兴人,吏员。
蒋希古 宜兴人 丁克扬 (肃)[萧]山人,进士。
陈秉政 辽阳人,官生。 范 炜 浙江人,进士。
张圣典 奉天人,例监。

县丞

明

李 选

主簿

宋

束元嘉^① 王 洪

元

李 芳

明

白 翥 有传

典史

元

张思祖 李 寅 李元享 史敏行

① 嘉:“哲”的古字。

明

胡 仲	李 恭	罗 广	有传	李 溥
余 正	林 菴	范 滋	童 顒	陈 相
张 鹤	邹天宥	徐三暘	何 颐	赵江山
刘 珩	陈万策	庄自严	马 彬	陈尚志
徐廷干	邹慕舜	胡侯文	王宜中	赵 国
李 华	杨九成	褚从望	于守仁	陆一瓚
翁 辉	陈一治	朱显忠		

国朝

曹曰凤	青阳人	刘曰芳	直隶人	马振德	通州人
邢 珍	沈得朝	义乌人	孙振麟	直隶人	

教谕

元

苏克让

明

朱 隆	丘 谷	丁 琦	举人	戴 谦	有传
罗 宁	濮 智	举人	徐 友	周 纲	
黄 铨	刘 启	敖 四	何遵武	有传	
张尧臣	选贡	周大才	有传	王 畿	举人
黄谦之		周之岐	举人	胡良番	
刘则唐		朱 恩		董士良	
曾士弘	有传	戴时济		辜维贤	
尹尚张		黄鹤鸣	举人	乐继同	有传
郑宗相	选贡	李 华		罗道范	
徐应斗	举人	康君邦	贡士	梁斗辉	举人

万国宁 贡士 彭益泰

国朝

别仲茂 庚午举人,有传。 夏熙臣 孝感人,贡。
以后奉裁^①

训导

明

刘 昭	王 俊	黄 裳	彭 懋	朱 崧
杨一贞	冯 介	尹有容	刘 宏	有传
杨廷芳	杨 治	张振纓	王廷秀	朱世英
宋 从	仲 迂	譙 恕	柯宗翰	龚 渭
潘 江	张 美	宋廷珂	陈奇策	举人
陈天则	贡士	周效良	举人	陈凤鸣
王 儒	韩希愈	杨 孝	有传	苏以治
钟朝佐	王 符	侯 寄	杨尚义	王梦龙
贺应表	陈宗颜	郭继先	彭良相	刘国定
向好乐	何遇高	王蓁新	朱化熙	

国朝

李之洵	束 夏	有传	何师旦	袁士英
潘 滋	梅 ^②	徐州岱	吴中贤	

① 此行原在上条后,因裁后不宜又有人上任,故移至此。 ② 原文为一个字。

兴国州

宋知军

王 琪		杨 绘	有传	孙 路	有传	董敦逸	有传
薛徽言	有传	朱 服	有传	王十朋	有传	李 宜	有传
吴 球	有传	富元衡	有传	周紫芝	有传	郭 彖	有传
沈 坦	有传	赵逢龙	有传	虞(旂)[旂]孙	有传		
冯去疾	有传	李寿鹏	有传	谢 涛	有传	赵 琳	有传
吕 沆	有传	欧阳华		朱 京	有传	张汉卿	有传
陆九龄	有传	毛鼎新	有传				

元

翟居德	有传	陈天祥	有传
-----	----	-----	----

缉捕府

明

罗以旌	广平人	林彦枢	番禺人	林 圯	仁和人
冯乘云	绛州人	施时珪	平湖人	尚觀光	业州人
余 枢	南昌人	陈南金	莆田人	王嘉量	保定人
夏之彦	德州人	徐应问	南昌人	苏梦灿	广东人
李世球	广西人	杨 煜	云南人	赵三荐	广西人

国朝

张梦伯	何鸣凤
-----	-----

知州

明

樊 继	有传	胡 瀛	罗山[人],进士,有传。
-----	----	-----	--------------

- | | | | |
|----------|---------|-----|--------------|
| 鲍旭 | 举人,有传。 | 吴绅 | 歙县[人],举人,有传。 |
| 李东 | 番禺人,有传。 | 谭绍宗 | 铜梁人 |
| 吴法 | 龙溪人 | 杨祐 | |
| 刘纶 | 云南人 | 吴希贤 | 宜城人,有传。 |
| 阮范 | 安福人 | 罗应元 | 云南人 |
| 周鹏 | 南海人 | 唐宁 | 怀远人 |
| 郑聚东 | 四川人 | 向黄 | 贵州人 |
| 林腾鲤 | 永安人 | 潘翊 | 钱塘人 |
| 邹应哲 | 萍乡人 | 戴大礼 | 乌程人 |
| 李东萍 | 丰城人 | 唐汝礼 | 兰溪人,有传。 |
| 杨士元 | 上海人,有传。 | 叶德华 | |
| 黄如金 | 海宁人 | 韩子祁 | 浙江人 |
| 顾起淹 | 吴县人 | 吴一桢 | 福建人 |
| 柳烺 | 宁夏人 | 马攀龙 | 巴县人 |
| 吴遇 | 江西人 | 朱希闵 | 景州人 |
| 汤以伯 | 宣城人 | 高维岳 | 宣城人 |
| 谢天祐 | 江西人 | 万廷谦 | 南昌人 |
| 余枢 | 南昌人 | 李时番 | 浙江人 |
| 陈尧宗 | 福建同安人 | 崔元登 | 建昌人,有传。 |
| 林(翹)[翹]楚 | 福建人 | 梁之桢 | 剑州人 |
| 姚文明 | 四川人,有传。 | 孟良范 | 铁岭卫人,有传。 |
| 周汝谊 | 上海人 | 何鸣鸾 | 辽东人,有传。 |

国朝

- | | | | |
|-----|---------|-----|-----------|
| 史承英 | 钱塘人 | 程文光 | 辽阳人 |
| 李道庸 | 泰兴人 | 许安邦 | 辽阳人 |
| 杨霖 | 合肥人 | 杨遵 | 山西蒲州人,有传。 |
| 王之宾 | 辽东人,有传。 | 王俟 | |

张辉祖 满州籍,榆林人。荫生。

州同

明

邓 珍		徐 徽	武宁人	吴 良	芜湖人
霍 瑶		牟 忝	巴县人	高世岳	
郑允璋	闽县人	黄 立	吉安人	周国相	灌阳人
徐 完	吴县人	林爱民	福宁人,有传。	张阜时	吉水人
陈天锡	泾县人	范 譔	宣城人	应存性	
唐一凤		王可大		张问仁	
朱正色		何维愈		袁有凤	
黎文杰		陈 江	将乐人	杨克柳	
俞 口		浦士及		闻朝中	英山人
张 衷		张学周		郑必达	
徐光家		杨所涵		汪仕任	南阳人
董世荣	休宁人	王 复		黄嘉爵	
李之秀	山阳人	王起蛟	平乡人		

国朝

李 沔	山东人	张硕弼	巩昌人	李超麟	乔国栋	岐山人
马恭循		范 恺	苏州人	张 第		

州判

宋

郭周孚 赵子升

明

毛世禄 鄞县人 马 敷 有传 朱 鹤 吉安人

蔡日齐	大庾人	舒文举	南昌人	谢 恩	射洪人
徐学道	景州人	孙 濂	宣城人	萧以训	安福人
张鸣凤		王学曾		吴子相	
吴梦德		王之相	宣城人	胡汝皋	陕江人
杨一道	武进人	朱 昆		杨 立	
叶时及	梁大相	顾曾约		陈懋龄	鄱茂林
尹应聘	王学让	湛应泰		金有蕃	江孟奇
李 径	河南人	马 欵	闽县人	胡光宗	胡尔瞻
杨光裕	贵州人	郭卫土		蔚 孟	
周居仁	北直人	尹 见		曾曰琥	
杨名英	陕西人,有传。				
史承英	浙江人				

国朝

郑邦璧	张懋新	北直人	张法孔	阎 朴	陕西延安人
丁其隆	陕西人	方 岱	陈可毅		

吏目

明

翟 萱	有传	范有直		周邦辅	太仓人
何应奎	有传	李尚德	河南人	张大悦	莆田人
吴胜任	吉安人	宣希文		黎经纶	番禺人
黄世荣	南海人	吕大武	武进人	王 文	南直人
杨 集	广东人	王 彬	武进人	余 凤	浙江人
李 珥	莆田人	苏美珠		刘 琚	
潘士元	刘 鹄	雷 霈	张廷宦	陈尚德	
王一鄂	吴惟通	揭世仰	蔡万年	陈所有	
梁思爱		金懋瑞	海门人	李文秀	陕西人

郭 晖 山西人 丁昌祚 扬州人 罗 诰 广东人
 张尧臣 浙江人,有传。 李遇夏 北直人,有传。

国朝

李云龙 北直人 王之爵 浙江人 李文秀 河南人
 刘 位 浙江人 俞应坦 北直人 胡国泰 绍兴人
 乔养贞 陕西人 潘士良 浙江人

学正

明

张 策 桂林人,举人。 倪 凯 上虞人
 张 佑 鄞县人 蒋 昂 举人,有传。
 徐 鉴 上饶人 吴 贤 四川人
 吕天恩 灌阳人 王三聘 云南人
 刘辅仁 漳浦人 李若愚
 刘子苏 张继文 临海人
 丁邦宁 丹徒人 陈云鹏 金州人
 陈子凤 殷尚锦 夏建寅 乐上应 廖守晋
 杨春芳 张文锦 林云翔 舒子侑 姚 闽
 黎朝熙 王尧仁 鄱阳人 彭万年
 徐鸣珂 刘所节 杨所修 四川人
 阮国允 黄冈人

国朝

邓 嵘 福建人 邓 锦 黄冈人 程一斐 黄安人,举人。
 龚弘毅 潜江人 刘遐祚 新州人,举人。
 陈敏常 黄冈人,举人。

训导
明

杨钟和	岳池人	张 璪	涪州人	陈 璟	
金 桃	嘉兴人	刘 惇		陈 谦	成都人
陈 济		郭 升		李 博	资阳人
林 虎	分宜人	王化民	广西人	刘 孚	简州人
侯大有	邻水人	谢以聪	安福人	郭 斌	四川人
贾 儒		徐 桐	金华人	宋 厚	
徐之葵	四川人	王 策	平乡人	董任良	四川人
刘希文		陈廷诰	四川人	张国仕	四川人
丘希霄	苏克民	莫时英	罗曰英	李春茂	
冯克先	熊 轩	刘天宠	马国图	何永涑	
吴守经	杨达春	王良臣	徐应召	苏文光	
程应征	刘守仪	项利资	王思齐	张 莒	
芮 泽	金一恪	胡来宾	汪大沛	桂一昆	巴县人
余梦龙	王立先	左 价	孙崇礼	易廷相	德安人
贾光先	顾良粹	李之白	京山人		
杨 裕	马负图	四川人	周卜世	京山人	

国朝

董廷策	龚日章	潘君谐	魏师殷	黄州人
罗光暎	郾阳人	姜祚昌	陈 琰	

大冶县

知县

宋

毛 友	莫 扞	桐乡人,进士。
-----	-----	---------

元

刘 仅 睢阳人 周 镗 有传 黎颜叔

明

冯万金	有传	吴 懋	王伯时	徐崇敬
于 贤	有传	綦 祯 有传		张 全 有传
梁 嵩		薛 谦	黎 庸 有传	
沈文育		叶 浦	贝 明	常 雷
吴 雍	贵溪人,举人。		张 绶	
王 选	河南人,举人。		吴 俊	吉水人,监生。
王 定	河南人,监生。		谢 贞	寻[浔]州人,举人。
李 盛	梅康人,监生。		刘 珑	建德人,举人。
王 纲	山东人,监生。		王继先	有传
朱 秩	山阴人,举人。		马 同	吴宣济
赵 盛	广林人		吴 纲	河南人,监生。
张文昌	陕西人,举人。		赵 鼎	有传
张朝锡	南昌人,举人。		陈 琅	武进人,恩生。
吴 环	王 玘 云南人,举人。	梁士介		南海人,举人。
张 瀚	直隶人,监生。	贾栖鸾	有传	
鲍 德	四川人,监生。	林 梁	广东人,举人。	
苏茂阳	四川人,监生。	陈 官	常熟人,监生。	
丁 模	蔡 寅 有传	李嘉猷	云南人,举人。	
陶 性	方谦吉 有传	吴 仁	有传	
郭 达	河南人,举人。	杨令名	云南建水人	
杜士全	有传	陈九万	有传	
邬有望	江南人,举人。	黄瑞辉	广西人,举人。	
张九河	山西人,举人。	杨世华	有传	
杨方盛	有传 孟邹伟	林 缙	广东人,举人。	

金宇泰 江西人,举人。

郑学陆 有传

王嘉猷 江西人,举人。

王 羔 四川人,举人。

国朝

黄若猷 襄阳人,委任。 杨宏泰 刘源湛 河南人,进士。

王象春 江南人,举人。 辛宗尧 辽东人,功贡。

石之瑗 陕西人,拔贡。 张元枋 江南人,举人。

陈飞鸣 浙江[人],选贡,有传。

石邦柱 山东人,贡[士]。周寿国 北直人,贡士。

谢 铎 广东人,贡[士],有传。

董国相 辽东人 陈邦寄 辽阳人,贡士。

文 经 广西人,举人。

县丞

明

陈 骏 罗仲礼 罗舜用 陈继宗 吴江人

王 铭 广东人 施 砾 罗彦宠 袁 敬

胡 经 袁 格 南昌人,监生。 魏 銓

曹 镛 桐乡人,监生。 郑文匆 上饶人,监生。

敖 申 江西人,监生。 丘九叙 甘 佐 南丰人

赵 泰 吴 鉴 张 达 贵州人,监生。

路 正 四川人 李一中 胡 良 新昌人

杨遂用 陕西人,监生。 黎 鳌

张 烘 涪州人,监生。 朱邦宜 四川人

丁 席 叙南卫人,监生。 刘永春 南昌人

胡断化 云南人,监生。 覃章德 思恩人,监生。

何可誉 桂林人 王丛桂 广安人

朱 珩 怀宁人,县吏。 胡 旦 六合人,监生。

汤日新	上元人,监生。	王文明	蓬州人
钱世用	丰城人	林 朝	全椒人
陶廷箴	当涂人	薛天相	四川人,监生。
陶汝渭	内江人	宓得禄	浙江人
张二南	四川定州[人],选贡。		
林应宿	祁门人	沈文卿	海宁人
刘登士	山东人,监生。	赖 境	福建人,监生。
吴仕麟	平湖人,监。	许文煌	江西人,监生。
陈时霖	浙江人,监生。	章命德	钱塘人
吴禹卿	山阴人,监生。	谢来官	泗洲人,监生。
张世富	监生	徐思成	监生

国朝

高 诵	清丰人,监[生]。	岑鸣雷	大兴人,监生。
张必遴	大兴人,监生。	王显国	霸州人,贡[士]。
许凤翼	玉田人,贡[士]。	孙元德	大兴人
陈长溶	宛平人,监生。	黄宗颢	太湖人,监生。

主簿

宋

黄 河 有传

元

卢 瓚 赵 升

明

尹维善	刘 宁	李 达	张 衍	漳浦人,监[生]。
李 清	冉 瓚	四川人,监[生]。		

饶 振 谭 海 叶仕奇 淮阳人
 杨景时 雷 崇 同州人,监[生]。
 田 显 赵 昂 四川人,监[生]。
 张 鹤 (戇)[贛]榆人,监[生]。 郭尚达
 李文辉 章 绚 四川人
 吴 山 四川人,监生。 胡廷美 贛州人 杨 遂 四川人
 朱子贤 南溪人 燕 梅 四川人 王 瑞 淇县人
 李 儒 雅州人,监[生]。 万怀忠 六合人,监[生]。
 梁 栋 广西人,监[生]。 傅良德 江西人,监[生]。
 刘鸣凤 徐州人 曾守约 四川人
 夏时周 郑世滔 伍攀桂 梁适抡 罗高伟

典史

[明]

韩 升 乔 迁 桐城人 冯 华 车 路 彭 泰
 萧 珍 方志荣 卓 良 郑 愈 王 贤 吴 焕
 苟廷辅 诸 细 余姚人 宗一元 江西人
 洪 柱 杭州人 关 式 广东人
 周 富 大庾人 夏廷俊 宣城人
 黄 钟 芜湖人 刘思齐 丰城人
 陈 琛 钱塘人 王学芹 江西人
 陈汝霖 内江人,举人。 何宗淮 分水人
 伍成元 全州人 朱尚元 南直人
 郭宗岐 林廷宾 杨应祉 陈士英

国朝

陈 蒞 浙江人 徐光勗 浙江人 王 铎 陕西人
 阮世贵 北直人 程云鹏 华州人 杨继震 会稽人

教谕

明

谢 济 临川人 颜希烈 安福人 陈师义 涂 迪
 梁 靡 戴 师 林光甫 丘 吕 浙江人 白 珂
 邹 府 柯 忠 福建人,贡士。 刘 木 刘 簪
 辛万石 简仲弼 成都人,贡士。 王 猷 江津人,贡士。
 周 行 屠希曹 丘 皓 兰阳人,贡士。
 戴 镗 丽水人,贡士。 刘 洋 熊良臣 江安人,贡士。
 陶 禄 常德人,贡[士]。 张 绩 圻州人,贡士。
 刘 烜 汉川人,贡士。 徐 述 内江人,举人。
 姚大受 永昌人,举人。 曾 上 解鹤林
 陈鸿恩 黄州人,举人。 钟 祥 刘弘基 淮南人,贡士。
 方日隆 王 焯

国朝

欧阳任 广济人,贡士。 盛世彦 罗田人,举人。
 刘重鼎 江夏人,贡士。 王禹书 湘潭人,贡士。

训导

明

刘 泽 张 玺 周 旻 庞 淳 周 玘 处州人
 周 伋 龙 泗 永丰人,贡士。 袁 凤 安乐人,贡士。
 邓储秀 彭山人,贡士。 匡钟桂 马平人,县贡。
 彭子迁 吴 筭 清阳人,县贡。 何 浚 兰亭人,贡士。
 王 锦 福建人,贡[士]。 祝廷臣 德兴人,贡士。
 曾 绰 从化人,县贡。 黄既荣 博罗人,贡士。
 周 挺 金溪人,县贡。 胡从周 合肥人,贡士。
 饶养直 周仁人,府贡。 徐 纶 将乐人,贡士。

桂立远	石埭人,县贡。	谢承恩	德化人,贡士。
蒋允正	费崇仁 义宁人,贡士。	李东山	南充人,县贡。
陈嘉言	崇明人,贡士。	张 鹄	因原人,县贡。
萧时鸣	华容人,贡士。	侯希远	平濮人,贡士。
燕大训	桃源人,贡士。	曾仲选	郧县人,贡士。
陈 范	景陵人,贡士。	舒 葵	陈弘器 叶兴相
郑 坦	崔 训 胡效祖	叶遇之	
韩 ^①	陕西人,贡[士]。		

国朝

林懋伟	宝庆人,贡士。	官抚邦
王名俊	黄梅人,贡[士]。	王先正 黄陂人,贡士。
陈梦杨	谷城人,贡士。	陈士望 郑逢晋 石门人,贡士。

巡检 道士洪

明

陈尚质	戴 顺	梅 彪	平原人	李 珊	桃源人
彭 铠	临川人	王守正	安丘人	刘 珍	山阳人
牛 ^②	章丘人	丘德洪	邵武人	侯 佐	眉州人
蒋 槐	曾文举				

国朝

宋起时	楼如巍	韩国蕴	沈维贤	陈 禕
-----	-----	-----	-----	-----

① 原文只一字。 ② 原文只一字。

河泊所 华家湖

明

毛添福	祁文礼	李 观	保定人	师 瓚	安阳人
应必善	张时和	圻县人	李 祁	凤阳人	
张尧民	吴桥人	邢 侯	文安人		

国朝

李 京 张贞玉

河泊所 张家湖

管听旺	徐 甫	周 襄	冀城人	路 遥	平源人
王 麟	马邑人	唐 温	吴桥人	李文明	陈启明

河泊所^①

明

刘得兴	窦 雄	张永吉	吴 政	大足人
赵 栋	西充人	吴 松	天长人	王 诏
傅彦嵩	林县人			

以上万历年间任,明季裁。

通山县

知县

宋

蒋之奇	有传	程 京	金华人	朱朝仙	顾 立
-----	----	-----	-----	-----	-----

① 河泊所:疑地名遗漏。

李 浙

郑 伟

蔡仲舒 新昌人,有传。

元

达鲁花赤 脱 欢 京西人

明

任 昂 王克中 有传

邹 翀 新淦人

蒋通甫 无锡人,有传。

王子芳 金华人

殷 桂 吴县[人],监生。

蓝 清 四川[人],举人。

刘 刚 泰和[人],监生。

叶 茂 仁和[人],监生。

陈 鲁 钱塘[人],监生。

吴 芸 星子[人],监生。

卢 淳 桂林[人],监生。

褚 潭 天台人

刘 杰 安福[人],举人。

贾 迪 费县[人],监生。

戴 诤 有传

杨 粟 崇明人

刘 锦 慈溪[人],举人。

秦 初 桂林[人],举人。

闵 元 南昌[人],举人。

卢 恺 祥符[人],举人。

张 文 寿光[人],监生。

陈 京 余姚[人],监生。

冯 江 江阴[人],监生。

童 瓚 于潜[人],监生。

岑 衡 顺德人

刘 谟 有传

孙 溥 有传

冯思仁 沛县[人],监生。

范 汾 会稽[人],监生。

龙 铎 望江[人],监生。

周应龙 武进人,监生。

沈 驯 山阴[人],举人。

吴尧猷 太和[人],举人。

张一拱 海康[人],监生。

吴道夫 崇安[人],举人。

林 金 连江[人],举人,有传。

陈 乾 滕县[人],举人。

万 全 江西[人],监生。

洪朝璋 海阳[人],举人。

柯一凤 贵池[人],举人。

戴 昊 大足[人],举人。

譙田龙 南充人,举人。

宋承殷	凤翔人,举人。	王嘉相	嵯县人
张书绅	中江人 俞临吉	路九同	举人
徐 浩	虞 瑶 举人	陈可耕	广东人,贡士。
朱 绂	眉山人,举人。	丘献可	谢 祥 举人
罗以旌	举人	熊唐夫	江西人,举人。
谢云骏	当涂[人],举人。	夏可雷	涪州人
刘仕镇	金溪人,举人。	王廷钺	金坛人,贡士。
潘 张	霍庆[人],举人。	张世涵	临川[人],举人。
马负图	南溪人,贡士。	赵向宸	东莞人,进士。

国朝

胡士遇	冠县人,贡士。	王之蕃	清河人,贡士。
宋一赞	奉新人,贡士。	王有志	辽东人。贡士。
叶冲斗	铁岭人,贡士。	陈治国	蓬莱人,贡士。
郭如俨	(径)[涇]阳人,进士。	任钟麟	苍溪人,举人。
张 挺	济宁人,举人。	龚在升	嘉善人,进士。
韩 武	沈士薰 钱塘人		

县丞

元

王淑宜 碭山人

主簿

元

王巨石 观城人

典史

元

成允中 临沂人 杨 寿 丰城人

明

刘 恭		杨 整	魏县人	杨 谦	雅安人
廖 信	井盐人	翁文端	蒲田人	李荣贵	夹江人
牟 坤	遂宁人	沈 泽	常州人	张友刚	巴县人
朱 让	上海人	方 舆	贵溪人	徐 望	武义人
赵 杲	彰明人	李 学	四川人	陈 鉴	河南人
刘 袞	曹城人	张 举	梓潼[潼]人		
何 珊	六安人	林 岳	三水人	陈 朝	内江人
朱 佩	崇德人	洪 筹	慈溪人	张公服	
严 纪	扬州人	李廷珍	江西人	林伯和	浙江人
杨 沂	凤阳人	刘 振	高安人	徐 润	丰城人
袁惟震	易州人	杨时茂	义乌人	周廷赋	
汪希贤	袁九思	唐承聘	熊士登	陈献荣	
刘 域	吴国相	刘惟雄	毛志和	方时桂	
朱万策	林秉贤	喻士奇	郑秉忠		

国朝

张元祯	山阴人	郑英龙	金溪人	穆王臣	大名人
沈作霖	山阴人	穆先春	临县人	于 美	山东人

教谕

明

张济淑	永兴人	吴士贤	宜春[人],举人。
陈仓真	德庆[人],举人。	廖 谨	南海人

丁 泰	贵池[人],监生。	杨昌裔	侯官[人],举人。
陈 铨	昆山[人],举人。	罗 玘	高安人
舒 浚	贵池[人],监生。	简 昂	
周 华	吉水[人],举人。	刘 用	苏州[人],监生。
唐 泗	连江[人],监生。	张 倬	铅江[人],监生,有传。
陶 乾	临海[人],监生。	谢 表	中卫[人],举人。
刘 纶	云南[人],举人。	黄 淑	海丰人,监生。
林大珠	漳浦[人],监生。	刘光震	
张 礼	龙里卫[人],举人。	卞 谷	江阴人
徐之葵	都昌人	曹 梓	什邡人
沈复贤	垫江人,举人。	孙 岳	宿州人
刘应斗	武冈人	柳东作	武陵人
雷 芳	王纯仁	徐敦典	柳 耀
谈明瀛	苏九垓		王鼎臣
			刘任贤

国朝

谭 桓 景陵[人],举人。

训导

明

仇 毅	东平人	林伯达	本州人
郭 观	如皋[人],举人。	倪 端	江都[人],举人。
符 洵	南丰人	封 巽	赣县[人],举人。
余 华	余于[人],举人。	李继从	新喻[人],举人。
谢 善	新建[人],举人。	奚 铨	无为[人],监生。
刘龄春	鄱阳[人],举人。	刘 训	吉水人
王 铭	陈问行	周光镐	邹 珍
周仕学	长寿人	耿 渊	尹 诰
			乌程人

郝 亮	莫州人	李大彰	四川人	凌 洪	四川人
王 信	光山人	庄 晏	江浦人	李 岳	彭县人
徐 锐	永嘉人	汪 璪	宣城人		
孙 瑶	海州[人],监生。				
周邦彦	宜山[人],监生。	朱 蕃	汉川[人],监生。		
宁 锐	芜湖[人],监生。	牟 佐	纳溪[人],监生。		
陈相宸	诸暨[人],监生。	余 龙	长寿[人],监生。		
沈 勋	监生	汪 台	宜良人,监生。		
张应举	鹤庆人	杨 柱	四川人	李依仁	宜宾人,贡士。
张 中	彰明人,贡士。	古嘉表		丰都人,贡士。	
唐宗尧	平溪卫[人],贡士。	刘承教		仁寿人	
周 颐	绥宁人,贡士。	彭 都		安义人,贡士。	
赵时举	桂林人,贡士。	丘尚夔		黄冈人,贡士。	
蒋士元	沅州人,贡士。	黄卷通		龙阳人,贡士。	
李鸿恩	李 权	贺应表	唐之贤	姚 润	
陈国治	文可奇	龙一道	傅大受	沔阳人	
马师颜	黄正通	章斐然	新会人	钟鸣远	
刘世伟	胡汝砺	黄正色	长沙人	龚思宏	

国朝

李起梅	高 潜	永州人,贡士。	陈式训	沔阳人,贡士。
□□□	□□□,□□。	龚家仁	公安人,贡士。	□□□
□□□,□□。				

武秩志^①

井田既废^②，而兵民始分，文武之司，于焉异制。膺民社之寄者，务尽力于抚绥；居爪牙之任者^③，贵宣猷于敌忾^④。虽职掌或有殊乎，其于守土则一也。夫兔罟之伦，犹见美于篇什^⑤；矧鹰扬虎视^⑥、寄腹心而捍牧圉者^⑦，何可或遗？武昌自我朝底定以来^⑧，凡于厄塞险要、湖山旷莽之处^⑨，额设经制等官^⑩，以资防御，其姓氏斑斑可考，乌可使之淹没无闻与？前此，职制不一。其间折冲御侮、勋业彪炳者，统见于《兵事》，故不复载。爰志《武秩》，自本朝始。

督标

移驻未久，止将现任开列。

副将 中营

傅尔学

游击 左、右两营

靳起功

王 相

① 武秩志：“武秩志”国图本无，江苏、湖南本有。 ② 井田：传说古代的一种田制。以方九百亩的土地，成井字分割。八家各耕种百亩，共耕中间百亩公田作为赋税。后废。传说又认为其时兵民不分。 ③ 爪牙之任：由野兽攻防的武器引指武将。 ④ 宣猷：建立显赫的功绩。 敌忾：指抵抗愤恨的敌人。 ⑤ 指《诗经·周南·兔罟》“赳赳武夫，公侯干城”歌颂武臣。 ⑥ 鹰扬虎视：如鹰飞扬，如虎雄视。 ⑦ 牧圉：牧场，指国土。 ⑧ 底定：平定。 ⑨ 湖山旷莽：即湖旷山莽。 ⑩ 额：按名额。 经制：统领。

守备 中、左、右三营

邸进奎 胡定海 李国俊

千总 中、左、右三营

田文学 邵三异 李定邦 李志华 丁奇勋

李 玉

把总 中、左、右三营

鲁国祥 郝翀云 徐文彩 周应奎 张启富

邵三余 王国才 胡耀乾 魏楚材 石 玉

王继辅 刘 文

抚标

自康熙十三年始

游击 中、右两营

王宗臣 李兆捷 徐良佐 毛来凤 阿 岱

单 同 盖一鹏 马骏声 王之珍

守备 左、右两营

乐廷柯 李芳毓 桑 格 张文斗 田一成

卢维翰

千总

边 杰 方进才 刘 玉 陈 明 陶世贵

李文升 薛 辉 周 越 朱 胜 王有仁

夏 成

把总

刘应昌	薛 辉	王大才	王三策	成友明
张 先	任 虎	王得胜	陶世贵	李文升
朱 胜	李 仲	沈朝相	刘 麟	李 彪
王得功	王有仁	胡应举	韩见川	张 虎
张 才	程 明			

武昌城守

参将

陈 可	贾应魁	林应箕	折光秋	李兆捷
张中极	李廷秀			

守备

王国泰	张 泰	何 聚	陈一明	李芳毓
李文贵	王国柱	萧鹏程		

千总

贾进才	许负奇	汪洪济	王自龙	陈 玉
李成芳	李文贵	韩 泰	沈华荣	张应龙
王友功	李 彪	李得贵		

把总

晏 廉	汪洪济	王 虎	高起龙	张 虎
易弘猷	陈 玉	李成芳	刘 玉	王志元
李得贵	王自龙	余国章	李文贵	沈华荣
李有得	王见吉	刘世龙	韩 泰	陈 明
王友功	张应龙	陈 顺	马 学	刘以通

刘公臣

兴国营

参将

高士清	邬乘鸾	孙喜策	陆显贵	高 鼎
张华基	兰 泗	昂 三	张自彪	盖一鹏
吴 志				

守备

陈朝用	张国勋	李 润	刘本善	马应举
化守登	徐汝智	六 十	傅 鼎	汪之渭
陈国用				

千总

郑惟甫	陈崇旺	韦汝存	史 宾	周 英
胡定安	刘得功			

把总 左、右二司

陈崇旺	郭 英	王一龙	张明榜	徐得申
韩得功	韦汝存	林云凤	史 宾	周 英
王光坎	胡定安	苏自礼	徐有胜	陈 凤
刘得功	尹 文	袁尚隆		

道士袱营

顺治四年设^①

守备

崔应先	俞成龙	常进福	吴自泰	马迪吉
孙 兰	王之栋	王九思	徐汝智	刘化育
卢 润	边 杰	周云新	常守明	汪世福
黄 云				

把总

方天贵	吴自泰	张尚德	黄 才	郝显月
常守明	程 二	刘 南		

武昌卫

守备

施武烈	腾之龙	王 闾	金鼎盛	李尚忠
和 善	林 翊	许维鼎		

千总

胥光祚	郝明远	吴河东	翟良甫	徐 烈
-----	-----	-----	-----	-----

百总

段尚绣	王 章	段朝选		
-----	-----	-----	--	--

^① 顺治：清世祖年号，公元1644—1661年。

武昌左卫

守备

沈鹏远

侯 广

钟其瑞

田生蒿

徐肇基

刘世隆

沈天泽

千总

曾 奇

蒋以时

胡学孔

丁良捷

张国斌

百总

姚之桂

张弘道

刘弘魁

张之源

卷之五

宦迹志

武昌府：汉为江夏郡。三国吴分江夏更置武昌郡，治武昌县，徙都焉^①。晋以武昌为县，隶江州；江夏为县，隶荆州。其间迁置不一。《晋书·地理志》江夏郡所属，无今之州、县，而武昌郡乃有沙羡、鄂，则此时称江夏守、牧者，非今地也。刘宋复于江夏县立江夏郡^②，兼置郢州。隋平陈之初，为鄂州；大业初^③，复立江夏郡。唐〔初〕复为鄂州；天宝初^④，改江夏郡；乾元初^⑤，复为鄂州。南唐〔为〕武昌军。宋以鄂州属荆湖北路。元至元中^⑥，为鄂州路。凡此，刺史、太守、知军、总管，皆得书入。武昌府旧《志》以汉、晋江夏太守收入江夏县，厥谬尤甚。相传既久，不能尽去其籍，惟厘正入太守之类。其内史、从事等官，皆太守之贰倅，例得书。曰令，曰知县，曰丞，曰〔主〕簿，曰教谕、训导，则见各县。《诗》曰：“无小无大，从公于迈”^⑦。百世而下，可兴感焉。志《宦迹》。

武昌府

汉

董宣 字少平，陈留人，江夏太守。先是，有剧贼夏喜等乱郡境^⑧。

① 都：建都。 ② 刘宋：南朝宋，因其帝刘姓，故称。 ③ 大业：隋炀帝年号，公元605—618年。 ④ 天宝：唐玄宗年号，公元742—756年。 ⑤ 乾元：唐肃宗年号，公元758—760年。 ⑥ 至元：元世祖、惠宗年号，公元1264—1294年、1335—1340年。 ⑦ 见《诗经·鲁风·泮水》。 ⑧ 剧贼：猖獗的盗寇。

宣初到，移书界上^①，曰：“朝廷以太守能擒奸贼，故辱斯任^②。今勒兵界首，檄到，幸思自安之策。”贼遂降散。

潘浚^③ 刘表辟为江夏从事。时沙羨长贼蒧^④，浚按杀之^⑤，一郡震栗。

三国

周瑜 吴中护军，领江夏太守^⑥。败黄祖于柴桑；后，又败曹操于赤壁。

陆逊 字伯言，吴人，为大都督。孙权徙都建业，征逊辅其太子留守武昌。

程普 北平人。初，从孙策攻黄祖；后与周瑜败曹操于乌林；又进攻南郡，走曹仁；拜裨将军，领江夏太守，治沙羨。性好施予，喜士大夫，年最长，时人皆称“程公”。

滕牧 武昌牧。宽恩以结民，武备以防寇：当时称能。

晋

陶侃 字士行，鄱阳人，武昌太守。平山寇，缚西阳王秉帐下二十人斩之，江路肃清后都督荆州诸军事，鄂州士女相庆。

乐凯 守武昌，督护宣请武昌地为营，凯言于王敦^⑦，谓不可夺民

① 界上：同下文“界首”，边界。 ② 辱：辱没、勉强担任，担任的谦辞。

③ 潘浚：各本原皆误接上条后，今据文义独立。 ④ 长贼：匪首。 蒧：窟穴。

⑤ 按：查办，即捕获。 ⑥ 领：汉代后称地位较高的官员兼较低职务。

⑦ 王敦：字处仲，王导从兄。娶晋武帝女襄城公主，拜驸马都尉。出为扬州刺史。讨平杜弢，拜江州牧。后引兵入石头，杀周●、戴渊，还驻军武昌。明帝讨之，敦病死，被出尸受刑。

地。敦怒，凯惧不敢言。郭舒曰^①：“古之狂也，直周昌^②，汲黯^③、朱云不狂也^④”。

赵诱 字元孙。代陶侃为武昌太守，有善政。

桓宣 铨人，陶侃奏为武昌太守。与侃子斌攻樊城，拔之。

卞敦 字仲仁，济阳人。元帝时，值杜曾、王如为乱，领江夏相。戍夏口，讨沔中，皆平之。杜弢寇湘中，加湘州刺史。

郭舒 元帝时守武昌^⑤。

南北朝

褚烜 字彦绪，河南阳翟人。为江夏内史，门庭萧索。出行，左右捧黄纸帽箱，风吹纸剥。江夏还，得钱十七万于石头，并分与族亲。病，无以市药。

伏曼容 字公仪。少笃学，明《易》。宋明帝时为武昌太守。

萧思话 宋孝始置鄂州建^⑥，治江夏^⑦，以思话为刺史。有威望，爱才好士，人多归之。

沈庆之 字弘先，宋武昌内史，处分军事^⑧。内外整办^⑨，百姓欣悦。

孙谦 字长逊，莒人，齐永明为江夏太守^⑩。居官廉慎，素床莞

① 郭舒：晋元帝时武昌太守。 ② 周昌：周苛从弟。秦为泗水卒吏。从刘邦入关破秦。为中尉，拜御史大夫，后封汾阴侯。为人强力，敢直言。 ③ 汲黯：字长孺。汉景帝时为太子洗马，武帝时为谒者。出为东海太守，以清静达到大治。召为主爵都尉，以数直谏，不得久居位。后为淮阳太守，十年而卒。 ④ 朱云：字游，汉平陵人。元帝时少府五鹿充宗贵幸，为梁丘易，云与辩论，连拄五鹿君。成帝时为槐里令，上书愿借上方剑，斩佞臣张禹，皇帝发怒也不畏惧。 ⑤ 守：任太守。 ⑥ 孝建：南朝宋孝武帝年号，公元454—456年。 ⑦ 治江夏：以江夏为州治。 ⑧ 处分：指挥。 ⑨ 办：治理得好。 ⑩ 永明：南朝齐武帝年号，公元483—493年。

席^①，不施幬帐^②。郡多猛兽，谦至绝迹。劝课农桑^③，务尽地利，所入多于邻境。

隆慧晓 齐隆昌元年为江夏内史^④，立身清肃，政事和平。

韦睿 梁初，为江夏太守，行郢州事^⑤。以惠爱为本，甚有政迹^⑥。

何远梁 武昌太守。杜绝交游，馈遗秋毫无所受。水物甚贱，每食不过槁鱼^⑦。武昌江水远，汲者苦渴，教以凿井，民利焉。

唐

冯昭奏 鄂州刺史。志气刚劲，不畏强御^⑧。

柳仲郢 牛僧孺辟为武昌幕府^⑨。有风矩，僧孺叹曰：“非积习名教，安能及此？”

李谦 鄂州刺史。李希烈反，遣兵袭鄂，谦大破之。希烈畏谦，不敢有复窥江淮之志。

温迁约 以蒲圻尹起家，历检校司空^⑩、鄂州制置使兼知鄂州。详崇阳《宦迹》。

宋

杨砺 字汝砺，京兆鄠人。太宗中，举进士。诣阙献书，擢屯田员外郎。知鄂州^⑪，以善政闻。

① 莞：管的异体字，这里指竹。 ② 幬帐：床帐。 ③ 课：致力。

④ 隆昌：南朝齐郁林王年号，公元494年。 ⑤ 行：兼摄。 ⑥ 政迹：同政绩。

⑦ 槁鱼：干鱼。 ⑧ 奏：进，提升。强御：豪强。 ⑨ 牛僧孺（公元779—847年）：唐鹾觚人，字思黯。贞元元年进士。唐宪宗时，与李宗闵对策，条指失政，以方正敢言进身，累官御史中丞。唐穆宗时，拜同平章事。唐敬宗立，封奇章郡公。与李宗闵、杨嗣复结朋党，排异己，权倾天下。著有《玄怪录》。唐杜牧写有《唐故太常少师奇章郡开国公赠太尉牛墓志铭并序》，新、旧唐书有传。牛僧孺曾以同平章事身份任武昌军节度使。 ⑩ 历：经历过，即任过的官职。 ⑪ 知鄂州：任鄂州知州。

魏瓘 字用之。坐^①门客论天书之伪，谪监鄂州茶税。后，再知鄂州。

朱寿昌 字康叔，天长人。初调蒲圻，创学校，辟田野^②，民便之。富弼^③、韩琦雅重其孝^④，徙知鄂州。

黄(廷)[庭]坚 字鲁直，分宁人。绍兴初知鄂州，有善政。为童惇、蔡京等所恶^⑤，坐谪宜州。徽宗即位，起监鄂州税，坚辞不行。

张舜民 司马光举其刚直^⑥，坐党落职^⑦。知鄂州，以诗书为政，士安民怀。

梁焘 字况之，郢州人。坐党谪知鄂州。作《荐士录》，具载姓名。人见此书，曰：“公所植桃李，乘时而发，但不向人闻耳。”焘笑曰：“焘出侍从，致位执政。八年之间，荐用不尽，负愧多矣。”

方泽 字公悦。哲宗时，知武昌军，政和民阜。

① 坐：因……获罪。 ② 辟田野：鼓励开垦荒地。 ③ 富弼：字彦国，河南人。少笃学，有大度。宋仁宗复制科，举茂才异等，授将作监丞。庆历中，知制诰。再使契丹，力拒割地，致数十年和平。归，拜枢密副使。至和中与文彦博并相，天下称富、文。以母忧去位。英宗立，召为枢密使，封郑国公。熙宁中，再入相。王安石用事，称疾求退。后加拜司空，进封韩国公致仕。卒谥文忠。

④ 韩琦：字稚圭，自号赣叟。天圣中举进士，初授将作监丞。赵元昊反，进枢密直学士，历官陕西经略安抚招讨使。与范仲淹在兵间久，名重一时，天下称韩范。赵元昊称臣，召为枢密副使。嘉祐中，拜同中书门下平章事。英宗嗣位，拜右仆射，封魏国公。神宗立，拜司徒，兼侍中。卒谥忠献。 ⑤ 蔡京：字元长，仙游人。熙宁进士，元丰末知开封府。绍圣初，权户部尚书，助章惇定雇役法。徽宗时因童贯以进，累迁左仆射，兼中书侍郎。更盐钱法，贬元祐臣，复王安石新法。进司空，拜太师，封魏国公。四执国政，屡罢屡起。靖康之变，天下罪为六贼之首。钦宗立，贬衡州安置，徙韶、儋二州，行至潭州死。 ⑥ 司马光：幼聪颖。宝元初举进士，历同知谏院。神宗时，为御史中丞。以议王安石新法不合去，居洛十五年，不论时事。哲宗初，起为门下侍郎，拜尚书左仆射，悉去新政。在相位八月卒，赠太师、温国公，谥文正。著《资治通鉴》等。 ⑦ 党：结党。

张商英 字天觉，蜀州人。知鄂州时，蔡京欲推方田于天下^①，又筑圉土以囚罪人。商英《谢表》有曰：“方田扰安业之民，圉土聚乡徒之恶。”此言一出，虽匹夫匹妇皆传为口实，自是英名益重。

吴柔胜 湖北转运判兼知鄂州。值岁歉，大讲荒政^②，全活不胜纪。

张洵 通判鄂州^③，有吏才。卒，赠太子太傅。

吴愈 字秀谦，德安人。知鄂州，值金兵入寇，率兵众御之，擢兵部侍郎。

赵令寔 宋宗室。建炎初^④，通判鄂州。骂贼不屈，死，葬武昌。

张闾 字大猷，永嘉人，历鄂、台二州教授。以忤秦桧，竟罢奉祠。入为御史、吏部员外郎，应诏陈弭灾御盗之术。

王信 字诚之，丽水人，孝宗时知鄂。常论士大夫趋向之弊；又论朝廷有恤民之政，而州县不能尽恤民之实；又论预备。三说及屯田利害，皆见嘉纳。

詹体仁 知鄂州，兼总湖广饷事。时岁凶艰食，即以便宜发廩赈救^⑤。韩侂胄议开边^⑥，一时争言兵。体仁独移书不可轻动，宜遵养俟时。

赵方 湖北转运判官，兼知鄂州。尝自言性太刚，请刘光祖书^⑦“勤谨和缓”四字以自戒。详蒲圻《宦迹》。

① 方田：王安石新法之一，以东西南北各千步为方，据土质肥瘠分等定税。

② 讲荒政：谋划救荒方法。③ 通判鄂州：任鄂州通判。④ 建炎：宋高宗年号，公元1127—1130年。

⑤ 便宜：方便、适宜，这里指采用方便、适宜的办法的权力。⑥ 韩侂胄：字节夫，韩琦曾孙。以荫入官，为汝州防御使，知●门事。参与赵汝愚策立宁宗，以传导诏旨见幸。斥朱熹等，倡庆元党案。欲立功名，兴恢复之议。以太师平章军国事，总三省印，序班丞相上，封平原郡王。师屡败，金人以斩首议用兵者为议和条件。嘉定初，斩其首，函遗金人。

⑦ 刘光祖：字德修，阳安人。第进士，为漳州提刑司检法。淳熙中召对，论恢复事。光宗时，为侍御史。官终显谟阁直学士。卒谥文节。著有《后溪集》。

罗愿 字端良，新安人。淳熙中知鄂州^①，有善政。博学好古，朱文公特称重之^②。

刘清之 临江人，淳熙中通判鄂州。鄂，大军所驻，兵籍多伪。清之白郡守及诸司，俾伪者以实自言而正之^③。

王霆之 宁宗时，知武昌军。尝言：“两淮藩篱，大江门户。门户不固，岂能(从)[久]安乎？”乃以防微利害，移书宰相。

元

成遵 至正中^④，武昌路总管。时武昌为沔寇残毁，民多死于兵；而大江上下，皆剧盗阻绝。遵假军储钞万锭，募勇敢士，以戈船且战且行，余粟济民^⑤，所活甚众。

明

汪大本 徽州人。洪武初知武昌府^⑥。勤于抚字^⑦，教养有法。下车即募财捐俸^⑧，以构讲堂、修斋舍。郡士向学，自大本始。

邵旻 宣德初^⑨，知武昌府。性忠直，为政公平。三载，六事咸举^⑩，百弊悉除，召为工部右侍郎。

聂贤 长寿人。由进士弘治间知武昌府^⑪。公廉有为，创兴学校。累官刑部尚书。

秦夔 字廷韶，无锡人。天顺庚辰进士^⑫，授南京兵部主司。转郎中，出知武昌府。屏奸植善，兴学劝农。创养济院，定均徭法，积谷备

① 淳熙：宋孝宗年号，公元1174—1189年。 ② 朱文公：朱熹，嘉泰初谥文。 ③ 正之：改正兵籍。 ④ 至正：元惠宗年号，公元1341—1370年。

⑤ 余：购入谷物。 ⑥ 洪武：明太祖年号，公元1368—1398年。 ⑦ 抚字：抚养，即安抚。 ⑧ 下车：指到任。 ⑨ 宣德：明宣宗年号，公元1426—1435年。

⑩ 六事：考察地方官政绩的六项内容：田野辟、户口增、赋役平、盗贼息、军民和、词讼简。 ⑪ 弘治：明孝宗年号，公元1488—1505年。 ⑫ 天顺：明英宗年号，公元1457—1464年。 庚辰：公元1460年。

荒。其力缚剧盗，首罪妖伶。皆美政也。

陈晦 莆田人，由进士知武昌府。捐金开河，(商)[商]民利便。

季向阳 四川雅州人。美风仪，尚气节。先为兵部郎中，上疏言事，有直声。出知松江府，调武昌府，有冰蘖操^①。后升河南提学，吏民号泣送者如市。

何城 字叔防，榆林卫人。楚世子英熠弑父愍王显榕，巡抚车纯欲寝其事^②。城与提学应橧力争，以疏闻，世子伏诛。

孙承荣 字元阳。顺天籍，长洲人。万历间^③，知武昌府。居官清苦。性温醇，喜怒不形。综理庶事，不言而(辨)[办]。其蠲免府米数千金，以苏民困，至今赖之。

曹慎 号肖崖，镇江人。万历间，知武昌府。提奖士类，升提学副使。寻忤权贵去。

韩济 龙溪人。万历间，知武昌府。多惠政，士民德之^④。

张以谦 号益吾，洛阳人。万历中，知武昌府。勤劳为政，民歌抚字。鼓舞士子，多所成就^⑤。民思之，立祠江浒^⑥。

洗宪祖 字觐之，顺德人。万历末，知武昌府。博大坦易，与民休息。待士推诚，宽柔以教，如家人父子焉。偶遇黄鹤楼之变，贼囚操戈不忍犯，曰：“洗爷，仁人也。”忠信行于盗贼如此。

傅良选 雅州人。天启间^⑦，知武昌府。每念寒士，忽一日檄两学曰^⑧：“诸生中岂无映雪^⑨、焚膏而不继者乎？本府近追隶人冒破银两^⑩，聊可为贫生之助。”于是教谕列贫生名以上，尽取以济之。

洪天擢 字简臣，徽州人。由丁丑进士知武昌府。气度闲雅，政尚

① 冰蘖操：喻寒苦而有操守。 ② 寝其事：隐瞒这事。 ③ 万历：明神宗年号，公元1573—1620年。 ④ 德之：感念他的恩德。 ⑤ 成就：成才。

⑥ 江浒：江边。 ⑦ 天启：明熹宗年号，公元1621—1627年。 ⑧ 檄：发函。

⑨ 映雪：传说晋孙康家贫，冬夜映雪光读书。这里指无钱买油点灯。 ⑩ 冒破：虚报、冒领。

宽简。尊士爱民，有古人风。然每遇奸宄蠹民，则持法如山。是时，楚藩官校挟王势，占民间草场。廉得其实^①，悉清还原界，郡民感之。升下江兵备道。

胡嘉栋 河南西华人。万历时，推官、税监陈奉纵群校百余，恣行不法。嘉栋与分巡僉事冯应京共持风纪，尽逮治之。

卞孔时 四川人。万历时，同知、税监陈奉率群党作恶，公每事与抗。而地方梟恶通珰^②，竟以诬奏得罪去。

胡允公 号太初，石阡人，天启初进士、推官。政治清简。以豪迈之才，忤时而去，公论惜之。

国朝

唐嗣昌 江西举人。同知武昌，榷税廉明，通(商)[商]裕国。署府篆，料理军供，惟恐病民，贤声尤著。卒于官。

杜毓秀 字岳灵，陕西定边堡人。少负才，投笔从戎。进剿西山时，以才能调军前督运粮草于香溪，功为最。寻以安陆丞驻防新堤，廉能声著。时滇黔用兵，抚宪张公朝珍才之^③，题知武昌府^④。剔蠹爱民，下贤礼士。负性忼慷，遇事抗言。惜以劳瘁成疾，卒。

江夏县

唐

窦参 字时中，扶风人。为万年尉，同舍当夕直者闻亲疾，惶遽，参为代之。会失囚，京兆按直簿劾其人，参曰：“彼以不及，谒亲而往，参当坐。”乃贬江夏尉，人皆义之^⑤。

① 廉：查访。 ② 珰：汉代武职宦官帽子上的装饰品，后用指宦官。

③ 才之：认为他有才能。 ④ 题：上奏章推荐。 ⑤ 义之：认为他仗义。

宋

王子溉 高宗时,知江夏。视民如子,民(久)[从]而慕之。

王武 字文翁,丰城人。宁宗初,为江夏尉。平租宽禁,有功于民。

明

李永信 洪武间,知江夏县。谨明理学,以淑生徒^①。

徐善 洪武间,知江夏县。劝民稼穡,治行为诸邑最。

陈学夔 字汝谐,宜山人。由进士知县,尽革宿弊,吏莫敢为奸,县事厘然一新。雅好士类,所拔多名士。今人称贤令,必首陈公^②。

莫扬 字子充,吉安进士,天性惇笃。居官四载,上官有所需索,多不应。宁忤上官,不为朘剥作俑。值行《丈量之令》,率里老、弓正,为文祭城隍。为血誓己,揖弓正,再拜曰:“令长不难拜若属,以若属成令长美事,惟此再拜。若属或因缘为奸,令长闻知,不尔贷祸于而家而身,亦惟此再拜。”众感泣,不敢负公。又力主行《一条鞭法》,邑人赖之。岁旱,蒲伏祷^③,大雨如注。性不佞人过,亦不喜敲(朴)[扑]^④,而邑人大治。秩满迁刑部主事,卒于官,不能殓。楚士民在京者,捐貲会葬焉。

颜文选 字巽之,宣城进士。片言决讼,狱无滞囚,六曹掾莫敢措一语。每两造成,不问赎醵。潞府请湖田,力为调停;又请金口垵民房七百余间,公核得沿江崩陲^⑤,连年火烧殆尽,又力为调停。民皆德之。

游季勋 丰城人。慈祥爱民。公庭无事,不用鞭笞。饮食无兼味。以母丧去,无他囊篋。行至白浒镇,群盗猝至。稔知为公^⑥,曰:“游公,廉吏。”解散去。

徐日从 西安进士。善论文,雅意好士。谓楚文奔放,宜以沉炼机警矫之。

樊尚燝 字钟阳,进贤人。万历末知县事,有惠政。后为御史,巡

① 淑生徒:使学生正派。 ② 首:列首位。 ③ 蒲伏:匍匐。 ④ 敲扑:用刑。 ⑤ 陲:崩塌。 ⑥ 稔:熟悉。

盐两淮。念学工未成，复捐两百金寄县，俾成之。

朱统镠 江西瑞昌王宗室。丁丑进士，知江夏县。下车之日，知楚宗慄悍，一裁以法，权贵敛手。念楚民凋敝，以兴利除害为己任。修城堡，浚濠池，夜寐夙兴，不憚劳勩。又虞江夏逋税者^①，匪閭阎小民，咸属强宗及权贵。乃创为小枷，令里长载之，书逋税者姓名于其上，耻辱甚于刑法。强梁乃服。

陈鉴 字子明，广东举人。崇祯中任江夏谕^②。日聚生徒，讲论经义，博综风雅。加意贫士，不责脯（脩）[脩]^③。庚午^④，应贵州聘。著有《江夏小史》，详载风土人物，成一家言。

徐学颜 浙江人，楚藩长史。崇祯末，署县事。献逆告警，昼夜堤防^⑤，身先士卒，誓死以守孤城。继而贼势蜂拥，巡抚王扬基渡江去。公力难支，乃肃衣冠^⑥，自缢死。城乃陷。

国朝

刘朝英 字千夫，霸州文安人。知县事，正直忠厚，与人以诚信。滇黔倥偬，军供猬集。戴星出入，供应必周。心瘁神闲，处若无事。朔望尤必率师儒耆老，讲谕六条^⑦。加意学校，捐貲课士。刊有《雄楚编》。康熙二十二年^⑧，修辑邑乘。以疾，卒于官。

武昌县

唐

韩仲卿 武昌令。有美政，民刻石颂德。

① 逋：逃。 ② 崇祯：明毅宗年号，公元1628—1644年。 ③ 脯脩：学费。 ④ 庚午：公元1630年。 ⑤ 堤防：同提防。 ⑥ 肃：整。 ⑦ 六条：汉代考查郡国官员政绩的六条标准。 ⑧ 康熙：清圣祖年号，公元1662—1722年。

元

陈天祥 元(正)[至]元间,权知寿昌。治叛纳降,以理谕贼各归田里,擒其魁毛遇戮于市。又尝纵囚,约三日归狱,如期而至。卒于官,士民祀之。追封赵国公,谥文忠。

明

戚元礼 瑞昌人,元末授寿昌令。入明初,兵火之后,荆榛弥望。劳来不倦^①,抚集流亡。创建县宇学宫,规(画)[划]有方,民不知劳。父老至今德之。

许诚 正统四年知县事^②。宽猛得宜,处县事如家事。尝旱祷不雨,哭泣引咎,雨滂沱焉。

汪玺 字廷信,(愁)[婺]源人。弘治四年,由举人知县事,廉、威有声。躬自步祷,宿斋后堂,遘疾而卒^③。嘉靖间^④,知县湛谦、教谕朱璜建“凤台书院”,祠祀之。后赠户部右侍郎,从祀“名宦”。

李有朋 字乐吾,东阳人。隆庆四年^⑤,由举人知县事。政多抚字。邑旧无城,下车二年,申文建造。不期年,而堞雉雄峙^⑥。又建澄清楼、不尽亭、凤凰台、水府祠,以固水口,至今德之。祀“名宦”。

黄应龙 号切斋,广东顺德人。万历十七年,由举人知县事。邑大饥,始任即捐俸施粥;复请于当道,蠲田赋十之六。民免殍离。辛卯^⑦,岁稍丰,乃建义仓,积谷弥万,以备赈济。民怀其惠,建祠于金牛镇,尸祝之。寻迁户部主政,累官四川宪副。

刘体仁 号同吾,内江人。万历四十一年,由进士知县事。英敏严毅,百政毕修。尤好品定文章,精搜名理。公余燕见,论学课艺。先是,

① 劳来:慰问,招徕。 ② 正统:明英宗年号,公元1436—1449年。

③ 遘:遭遇,感染。 ④ 嘉靖:明世宗年号,公元1522—1566年。 ⑤ 隆庆:明穆宗年号,公元1567—1572年。 ⑥ 堞雉:同雉堞,指城墙。 ⑦ 辛卯:万历十九年,即公元1591年。

邑无学田，捐俸市得二百余亩。每岁督其入，以周寒士。寻以内艰归^①，后擢承天太守。

韩相 号经垣，晋州人。天启三年，由进士知县事。英年端范，望之若神。按治奸宄如律，一邑肃清。鞠讞如神^②，征收有法。居恒镇静寡言，而敏辨莫及。邑人建祠于城隍庙左，祀“名宦”。

王琇 字幼昙，山东安丘人。崇祯二年，由举人知县事。治政公平，慈威并著，人莫敢欺。其弭盗务绝根株，不使滋蔓。莅官三载，杖杀巨盗百余人。时有“盗不入境，民安于寝”之谣。

邹逢吉 字五从，江西湖口人。崇祯十年，由进士知县事。甫下车，值马迹乡峡山土寇倡乱，领阍帅刘承彻捣平之^③。暇即讲道论艺，按士以礼，听讼明简。值流贼蹂躏江、黄，与邑绅分门防守，募勇健立龙、虎二营，以资捍御。行取入京^④，值闯逆犯阙，骂贼不屈，死。

杜巽 正统四年，由贡士任教谕。严立教条，正身率物。虽祁寒暑雨，未尝少怠。科目得人^⑤，后先相望。附祀“名宦”。

朱瓚 新淦人。嘉靖二十年，由举人署学事。教诲诱掖不倦，筑义堤、文星塔、东皋祠、凤台书院。升应天府教授。士子肖像祀之，附祀“名宦”。

张子翼 字汝临，广东琼山人。嘉靖三十八年，由举人署武昌学博。品藻人伦^⑥，平章山水。武昌旧无地志，子翼始修集。又著《三楚通志》。署邑事仅越月，能郤衙常例修“义堤”，民至今德之。

薛士杰 孟县人。天启三年，由明经教谕。表率人伦，奖拔士类。持已接物，以长厚为风。自朔旦外^⑦，邑曹曾无请谒。闭斋清课^⑧，荐绅诵之。

① 内艰：母亲去世。 ② 鞠讞：审理案件。 ③ 阍：门槛，指地方。

④ 行取：明、清时，地方官经举荐入到朝廷任职。 ⑤ 科目：各类科举。

⑥ 品藻：同对文“平章”。品评。 ⑦ 朔旦：农历初一。 ⑧ 清课：清静、刻苦攻读。

王家录 字愧修，黄冈人。天启辛酉举人^①，壬戌副榜^②。初署武昌谕，师范著闻。庚午应聘四川^③，所得多佳士。擢北雍学录，升陕西关南道僉事。闯寇攻榆林，督率军民，誓死捍御。孤城无援，力竭不支，遂自刎于南城楼。不殊命^④，取纸笔溅颈血大书数百字。午刻，城陷，遂自缢死。尸伏椅上，六日不僵，贼见之惊栗。蒿葬南城关外。事闻，赠光禄少卿，荫一子，给赐祭葬，建祠旌表。后其子源发、源复起柩回籍，而面貌须发犹凛凛如生。

国朝

董良宣 字赤敷，蕲州人。顺治九年^⑤，由举人署武昌谕。鄖阳明经段云绮，字君实。同时司训。弟子入其堂者，蔼然如坐春风。会邑侯与绅士角，良宣、云绮力袒之，忤县令。意嗾直指以不中考功，法皆褫职去，士林惜焉。

咸宁县

明

冯昶 嘉兴人。洪武戊申兵革初定^⑥，民多逋窜。昶知县事，忧勤立政。剪荆棘，招流亡，垦辟草莱，劝课农桑，民翕然归之。乃创公宇，兴学校，立坛壝^⑦，治桥梁。百废俱举，上下辑睦。民始知有安堵之乐。

张兴祖 洪武二十四年，知县事。建仓廩，置铜漏壶，更筹分明^⑧，至今称之。

王原 四川铜梁人。永乐间^⑨，知县事。劳心抚字，不事表暴^⑩。

① 辛酉：公元1621年。 ② 壬戌：公元1622年。 ③ 庚午：公元1630年。 ④ 殊：绝也。不绝命，即没有死。 ⑤ 顺治：清世祖年号，公元1644—1661年。 ⑥ 戊申：公元1368年。 ⑦ 同坛，祭祀用。 ⑧ 更筹：时刻。 ⑨ 永乐：明成祖年号，公元1403—1424年。 ⑩ 表暴：汇报、宣传。

尝作《劝民歌》，使民诵之。

叶子诚 浙江会稽人。永乐年，知县事，有惠政。

林和生 福建晋江人。永乐间，由阴阳官荐知县事^①。九年不携家室，清廉勤干。去之日，行李萧然。

上官仪 福建沙县人。宣德间，由进士知县事。文学政事，独步一时^②。清操厚德，吏畏而民爱之。尤工书画，片纸人争奔藏。后擢沧州守。

庞瑞 江西吉水人。正统三年，由举人知县事。平易近人，民悦其政^③。

陈灏 浙江平阳人。天顺间，由荫子知县事^④。周知闾里利病，凡所兴革，悉中机宜。征输营缮，勤瘁匪懈^⑤。时虽工役烦兴，民不知劳。

王介 福建侯官人。弘治十七年，由举人知县事。下车首询民利害。其衙门猾蠹，三日之间，俯首自去。礼教以正民俗，法律以齐豪右。编丁产，定赋役。三年内，门无私谒，令行禁止。以赎醵易谷万石，正德乙巳岁饥^⑥，全活甚众。调知江夏县，吏民攀留不忍舍。

萧立业 字勤斋，江西新喻人。嘉靖二十年，由贡士知县事。博综今古，为政勤敏，有决断才。抑豪右，抚循善。在邑三年，废坠修举，积弊一清。尝曰：“吾治咸无愧古人，但多植引道松，为劳民耳。”咸民语贤令^⑦，必以勤斋为首称焉。

葛应蛟 浙江黄岩人。万历戊寅知县事^⑧。建义仓，修城池。日不暇食，不干没一钱^⑨。有为有守，称良吏焉。

周曰庠 江西临川人。万历癸巳^⑩，由进士知县事。温厚和易，与

① 阴阳官：明洪武十七年，府、州、县设阴阳官，不给禄。② 独步一时：为当时魁首。③ 悦其政：因其政悦。④ 荫子：承袭父亲恩荫为官的人。

⑤ 匪：不。⑥ 正德：明武宗年号，公元1506—1521年。乙巳：公元1509年。

⑦ 咸民：咸宁人民。⑧ 戊寅：公元1578年。⑨ 干没：贪污。⑩ 癸巳：公元1593年。

物无忤。然持身廉慎，冰蘖自将，居常布衣蔬食。邑东北近湖，城且就圯，建议筑堤，城以不溃。去之日，士民扳辕泣下。

朱凌霄 广东南海人。由举人知县事。平恕不忍伤一物，而廉谨自持。躬校簿书，每至夜分，胥吏莫窥其际。比拟律令^①，参稽出纳，详审缜密。

秦懋观 号彬庵，仁和人。万历四十四年，由举人知县事。慈祥仁爱，催科若缓，抚字为先。民皆受恩，士咸见德。寻即内召^②，复守滇南。假道经咸，士民徘徊，皆不忍别。

曹应聘 号觉庵，滕县人。天启二年，由贡士知县事。古貌古心，擅言语。政事之长，遇事犀烛庖解^③，廉直有声。代摄知蒲圻，两邑颂之。

孟良范 号洛九，镇藩卫人。崇祯庚辰，由拔贡知县事。厘剔弊蠹，催科、抚字咸宜。尝摄旁邑，皆有声望。

伍福 字天爵，江西临川人。景泰间^④，以举人署县博。为文敏赡，顷刻千言。其教躬先范物，惓惓诲迪。增修学舍、祭器。屡典文衡，皆称得士。朔望课试，饮射之仪，咸裁定允当焉。

刘秩 江西万安人。正统间，任教谕。其教人，先行后艺。一日三进诸生于前，谆谆不倦。平时衣冠不去身，见有岸巾者^⑤，曰：“礼乐不可斯须去身，是何礼也？”其严毅如此。

王庆 昆山人。博物洽闻，律身清介，尤惇信谊。成化中^⑥，分教咸邑。有为立宅者，庆撤其材为冯文简公立祠，又复金莲池之侵于闾右者，大节凜然可纪。

万邦俊 贵州铜仁人。万历壬辰^⑦，以举人任。英资秀发^⑧，倜傥

① 比：每次。 ② 内召：召回朝廷内任职。 ③ 犀烛庖解：洞察幽微，处理精到。 ④ 景泰：明代宗年号，公元1450—1456年。 ⑤ 岸巾：因洒脱或不拘礼节掀起头巾，露出前额。 ⑥ 成化：明宪宗年号，公元1465—1487年。

⑦ 壬辰：公元1592年。 ⑧ 资：素质。

多大节。以文名，聘试南畿。尝摄篆武昌^①，定经界、剖疑讼，人称神明。

国朝

周文华 号在中，山西翼城人。顺治四年，由丁亥进士知县事^②。性简默严冷，政事勤明。供应军需，无溢派而民不扰。

冯源泗 字子滨。顺治九年，由恩荫知县事。练达精勤，严惩奸蠹。雅重师儒，嘉礼贤士。升全州牧去，民不能忘。

何廷韬 字毅庵，辽东沈阳人。康熙二年，由官荫知县事。性慈才敏。寓抚字于催科之中，推爱人于节用之内。输解粮饷有方。防缉逃人，招徕流寓。至勘灾江夏，绘图以求蠲赈，民勒石以铭德。

嘉鱼县

宋

唐钧 政和间任^③，始筑新堤，以苏^④水患。

元

成文炜 延佑间在任^⑤，政务农桑，重修学校。

苏靖 元统间任^⑥。修学，有政声。

成宣 皇庆间^⑦，令嘉鱼。筑堤有功，祀“名宦”。

李夔 至正甲辰^⑧，开设县治，修筑桥梁。

① 摄篆：代理官职。 ② 丁亥：公元1647年。 ③ 政和：宋徽宗年号，公元1111—1118年。 ④ 苏：解救。 ⑤ 延佑：元仁宗年号，公元1314—1320年。 ⑥ 元统：元惠宗年号，公元1333—1335年。 ⑦ 皇庆：元仁宗年号，公元1312—1313年。 ⑧ 甲辰：公元1364年。

明

姚以德 洪武初，擢知县事。元末，邑当敌冲，流亡几尽。以德开草莱、课耕耨。数年间，人苏物阜。升滨州知州。民思之，为谣曰：“南有嘉鱼，乐贤之区。姚侯莅止，以扶以锄。昔也干戈，今也袴襦。蔚蔚桑麻，雨露所濡。树德方滋，征车在途。永怀去思，没世弗渝。”祀“名宦”。

边整 洪武中知县。有德政，民多怀之。

莫震 字廷威，吴江人。正统辛酉^①，由进士知县事。为人修洁。春秋祀典，必敬必戒。重修邑志学庙，以教化爱养为务。每秋冬，亲行郊野。相士宜，修陂池，与民兴利。疆场整饬，封域肃然，有古循吏风。迁福建延平府丞，祀“名宦”。

冉通 万县人，由进士知县事。政平讼理，邑有遗思。

罗纯 四川荣昌人。天顺辛巳^②，由举人知县事。惻怛无华^③。十有二年，名完身洁，以任蒲去。

孙伦 字维序，四川泸州人。大顺戊戌^④，由举人知县事。内外推诚，以礼自飭。修学宫，条五礼，黜浮屠^⑤，人皆尊其教。亲藩旗尉恃势强取民木，使人谕之，不听，乃刑遣之。王怒，以欺侮奏。众为之危，伦曰：“事但公平，虽死何悔？”法司勘，以非罪状闻，诏释之。以迎上官，溺江卒，邑人哭失声。祀“名宦”。

马炳然 字思进，成都内江人。由进士知县事，为政明察而不烦苛。暇则巡行村落，贫富多寡，程力赋事，胥役不能为奸。三年大治，流民复业。岁饥，辄开仓救之。明年又饥，朝廷出内帑钱以赈^⑥，炳然即放散。虽忤太守意，弗惜也。征拜监察御史，累迁至湖广巡抚道。遇贼

① 正统辛酉：公元1441年。 ② 天顺辛巳：公元1461年。 ③ 惻怛无华：诚朴不浮华。 ④ 有誤，明无大顺年号，张献忠大顺和明英宗天顺皆无戊戌年。 ⑤ 浮屠：梵文“佛陀”的旧译，这里指佛教。 ⑥ 内帑钱：内库，即国库的钱。

劫，不从，遂杀之。谥毅愍，祀“名宦”。

姜溥 字希广，直隶广德人。弘治己酉^①，由进士知县事。才高器迈，严剔蠹弊，条为规(画)[划]，巨细毕举。又以邑治滨江，水数为患，乃自百疋山，修长堤至三角铺二百余里，以捍涨溢。又修学养士，文教聿兴。民歌其德。祀“名宦”。

虞守愚 字惟明，浙江义乌人。嘉靖三年，由进士知县事。时数涝，民饥。公下车，加意拊循，专务安息。嘉鱼粮少差繁，每拨邻邑之粮为朋^②，守愚请于上，移差就粮，民受其惠。暇则延诸生讲艺，多所启发。未几，优调。士民追思勒石。

石渊之 字本深，浙江上虞人。嘉靖十五年，由举人知县事。为人敦厚、醇谨，不事表暴，政尚平恕。以老致政。著有《省耕劝农诗》。

吴骥 宜兴举人。万历丙子^③，知县事。前此，城皆垒土，骥始易以陶石，而力役不扰。祀“名宦”。

蒋时馨 字兰居，漳平人。万历丙戌^④，由举人知县事。端肃廉平，所立法率著为令。兴学校，培风俗。士民追思，勒石祠祀之。

郭仲选 字澹渊。河西举人，知县事。筑长堤、腰堤、尾堤、扼龙堤，以保障黄湖口。复建岳公楼，修铁桥亭、拜风台。升大理评事，祀“名宦”。

庞一德 字与虔，南海人。万历乙未^⑤，知县事。学优德重，奖掖士子，多所成就。壬寅^⑥，赴部改用。民思，祀之。

唐国士 字玉屏，南直上海人。万历丙辰^⑦，由举人知县事。忠厚存心，文章训士。专以至诚动物，不示能沽誉。加筑长堤，修复旧迹。升福州府判。

程可登 字愧岸，广东高明人。崇祯甲戌^⑧，由举人知县事。政静

① 己酉：公元1489年。 ② 朋：配合者。 ③ 万历丙子：公元1576年。

④ 万历丙戌：公元1586年。 ⑤ 万历乙未：公元1595年。 ⑥ 壬寅：公元1602年。 ⑦ 万历丙辰：公元1606年。 ⑧ 崇祯甲戌：公元1634年。

学优,娴于礼节。修文庙,建弥高亭、文昌书院。尤加意城垣,及贼氛熇炽^①,赖以戒守。

王良鉴 字藻悬。崇祯己卯^②,由贡士知县事。癸未六月,猷贼破武昌。城陷被执,骂贼死之^③。

刘士焜 字石渠,常州府人,由贡士知县事。当闯寇猖獗,郡属多镇兵,颇为民害。多方调护,村市赖以保全。

石盘 字鸿渐,浙江仁和人。成化乙酉^④,由举人任学训。性恬淡,无所嗜好。诸生贫乏者,多赙给之。其故人为卿相^⑤,每召见,不诣,耿介如此。祀“名宦”。

刘池蕴 江西吉水人。正统间教谕,善于训诲。每说书论文,有未达其意者,多方引喻。幼稚者,指陈口授,亹亹不倦^⑥。人即忤之,恒无怒色。

李士文 字在中,福建连江人。嘉靖五年,由举人署教谕。刻励清苦,勤于教诲。嘉靖己丑成进士^⑦。官至浙江按察使。

国朝

李焯然 字钟山,山西翼城人。顺治辛卯^⑧,由进士知县事。端肃清正,三年中,闾阎无一胥之扰。士民怀之,立“去思碑”。

乌宪 字克章,浙江余姚人。顺治戊戌^⑨,由岁贡任教谕。资性威重,动遵礼法。博通五经,与诸生日讲一经。二年,人人各有所得。

① 熇炽:盛烈。 ② 崇祯己卯:公元1639年。 ③ 死之:因此被处死。

④ 成化乙酉:公元1465年。 ⑤ 卿相:执政大臣。 ⑥ 亹亹:勤勉的样子。

⑦ 己丑:公元1529年。 ⑧ 辛卯:公元1651年。 ⑨ 戊戌:公元1658年。

蒲圻县

唐

郑元瑾 郑州荥阳人。武德初平萧铣^①，元瑾首为蒲圻令。时值西良水淤洳^②，疏请改于凤山监地建署宇，开学校，辟田土，定经制。厥功居多。子楚椿为青州司马。厥后，族胄入相者九人。

李必闻 太宗子、蜀王愔之后，左金吾、仓曹参军之孙，谷城令从简之子也。永徽中^③，为蒲圻丞。厥有惠泽，民讴颂之。

郑允系 郑州荥阳人。永年令知十之孙，金乡令令则之子。开元中^④，为蒲圻尉，政绩卓异。

宋

朱寿 杨[扬]州天长人。绍圣中为蒲圻令^⑤。邑人张掖撰《学碑记》云：“蒲学宫创于宋绍圣间，大成殿为令尹朱寿建。寿起兴文教，民德归厚。”官至少卿。

简世杰 字伯俊，江西靖安人。隆兴元年进士^⑥，初官靖安司理参军。范成大器之^⑦，荐为蒲圻令。政本岂弟^⑧，行之以信，不设科条，民不忍犯。擢知贺州。

① 武德：唐高祖年号，公元618—626年。 萧铣：少贫，隋炀帝以外戚擢为罗川令。大业末岳州校尉董景珍等以梁故事，推为皇帝，建元凤鸣。唐武德初徙都江陵。唐诏赵郡王孝恭与李靖讨之，铣兵败投降，被斩于京城。开国至灭仅五年。

② 淤洳：壅塞。 ③ 永徽：唐高宗年号，公元650—655年。 ④ 开元：唐玄宗年号，公元713—741年。 ⑤ 绍圣：宋哲宗年号，公元1094—1098年。

⑥ 隆兴：宋孝宗年号，公元1163—1164年。 ⑦ 范成大：字致能，号石湖居士。绍兴进士，累擢参知政事。绍熙中卒，赠少师，追封崇国公，谥文穆。有文名，尤工诗，有《石湖集》等。 ⑧ 岂弟：即恺悌，和乐平易。

汪泳 字若游，徽州休宁人。乾道五年进士^①，历湖口县主簿。淳熙十五年，擢知蒲圻。创建学校，政声藉甚。上言：“王者行政，必自均力役始。”孝宗嘉纳之。迁大理寺丞，出知泰、湖、处三州。转中奉大夫，封休宁县男。子裴袭荫。

薛仪老 温州永嘉人。端平三年^②，授蒲圻令。严明精敏，作新学校^③。先是，绍兴末有同族季宣者令武昌，行保甲法，民以为便。仪老悉仿而行之，政通民和，三年有成。邑人张掖撰文以纪。

舒邦佐 字平叔，江西清江人。淳熙八年进士，授蒲圻簿。先是，同邑简世杰为令，有惠政。邦佐克绍厥美^④，勤恪有声。迁衡州司录。

赵方 字彦直，衡山人，从张栻学。由淳熙八年进士，初授蒲圻尉。善决疑狱，尝曰：“催科不扰，是催科中抚字；刑罚无差，是刑罚中教化。”人以为名言。后为湖北转运判官，兼知鄂州。累官刑部尚书、京湖制置大使、端明殿学士、正议大夫，封长沙县男。后遂寓蒲圻，开第于梅隐坊。子四：董、蕤、范、葵。

陈庆勉 字志问，徽州休宁人，绍定五年进士^⑤。淳祐八年^⑥，调蒲圻尉。湖北漕使萧逢辰举之曰：“性资纯恪，学问老成。”擢第二。十年，一寒自若，邑民叹服。有清静无为之化。寓蒲圻四载，后转漕使，通判武冈军。

李洪 嘉熙三年为学正^⑦，令尹汪泳肇创学宫，洪与直学宋侃、陈圭，学谕宋偲、雷益明协力捐帑，以成其美。

元

王斌 至元三年，为蒲圻令。与丞簿协恭出治，加意学政，行乡饮

① 乾道：宋孝宗年号，公元1165—1173年。② 端平：宋理宗年号，公元1234—1236年。③ 作新：改变风气。④ 克绍：能继承。⑤ 绍定：宋理宗年号，公元1228—1233年。⑥ 淳祐：宋理宗年号，公元1241—1252年。

⑦ 嘉熙：宋理宗年号，公元1237—1240年。

酒礼^①。五年，学宫成。

韩世辅 河南人。至正元年，为蒲圻尹。以儒饰吏^②，明恕清通。凡编户籍、定差法，惟公惟审。建敬德堂于学宫，邑人何天骏撰文。

谭天祐 字寿夫，茶陵人。至正末，由荐举为令。临民惠和，检身廉慎。擢知湘乡州。

邓仔 至正十五年，授蒲圻丞。富于学问，娴于词令，有古人风。时县尹王斌修学宫成，仔撰文。

侯玉 字德润，济阴人。至正十八年，为蒲圻簿。守己检约，居常布衾菜饭。莅事抚民，类多仁爱。邑之士民，诵其德政。后迁建昌经历^③。

朱公明 至元三年为训导。令尹王斌创学宫，公明与学正刘昭、董奇发、黄元善任其事。工成，行乡饮酒礼，邦人感化。

明

柯日新 平梁人。元至正甲辰^④，明太祖命知蒲圻事。干戈甫息，民多逋窜。忧勤立政，抚綏伤残，招集流亡，垦辟草莱，疆理土田，躬督耕桑，民咸襁负而至。乃创宫宇，建庙学，置邮传，治桥梁。唐岳撰文纪之。

丁士梅 洪武初，以翰林院编修授知蒲圻。立政陈纪，文教丕敷。魏观尝赠以诗^⑤。

李居仁 山东人。洪武十年知县事。莅事刚决，威而不猛。兴学校，徙坛壝^⑥。庶民从风，不假督责。以廉慎称。

黄广 字业广，福建同安人。洪武二十五年，由国学生知县事^⑦。外和内刚，一介不取，民亲之如父母。凡治顽民，必谕以利害，俾知自

① 参见《学校志》。 ② 饰：改变。 ③ 经历：元大都督府官名，掌出纳文书。 ④ 甲辰：公元1364年。 ⑤ 魏观：参见《山川志》。 ⑥ 坛 ● wèi：祭坛。 ⑦ 国学生：同下文国子生，国子学生员。

改。怙终不悛^①，则痛惩之。时旱，祷雨辄应。擢知德庆州。

钱昭 字鲁麟，山东郅城人。洪武二十九年，由国子生知县事。刚敏果断，不阿私好。周知闾里利病，凡所兴革，悉中机宜。给馈饷、督征输、理营缮，而民不扰。六载考绩，以忧去^②。

吴俊 字敏德，四川安岳人。知蒲圻，平恕廉洁，民迪其教^③。

葛凤仪 天津人，举乡贡。成化七年，铨知蒲圻^④。为政严明果断。凡县署、学宫、宾馆、神龛，悉为新之。勤劳匪懈，日不暇给，功成遂卒。

周洪 字廷诰，上海人。成化十八年，由进士知县事。教民农桑，土田高燥者，造筒车灌溉，民足衣食。又置学舍及各县社学，每学置田三十亩。又创义仓六所，储谷三万石。至正德初，邑大旱，民赖以生。邑有大奸顽，大书其门，虽权右不避^⑤。民大感化，征拜监察御史。

罗列 字天爵，广东南海人。弘治四年，由进士知县事。宅心宽厚，施政慈祥。慎律令，精书算。立条约，民不忍欺。置惠民药局。三年，征拜御史。终福建参政，年踰[逾]九十卒。

张珮 字儒佩，江西新淦人。由举人初任崇阳令。正德十一年，改知县事。为政刚毅，规(画)[划]有法。凡土田广隘、户口多寡，各集其数，以均赋役。黠吏豪民，莫不敛畏。时有巨寇罗大洪、贺璋，分据蒲、嘉二邑。都御史秦金檄珮擒之，上其政最^⑥，升工部主事。

方一桂 字世芬，福建莆田人。嘉靖二年进士，知蒲圻。为政简肃，振颓革陋，焕新文物。后拜监察御史。

吴本固 字道深，河南商[商]城人。嘉靖八年进士。性行端实，政尚体要。初至，即条上十二事：据丁粮以辨里甲，重委任以编徭役，省科派以节民财，捐不急以苏民困，除积弊以均劳逸，禁公差以革骚扰，复社仓以便敛散，修桥梁以利济涉，立乡长以息讼端，汇钱粮以免貽累，体

① 怙终不悛：有所仗恃，终不悔改。 ② 忧：居父母丧。 ③ 迪：信服。

④ 铨：选授。 ⑤ 权右：权门右族。 ⑥ 上其政最：上报他的政绩最突出。

民情以宜走递,处河泊以充课程。上台嘉纳,行之。荐剡交至^①,升户部郎中。

李桂 广西全州举人。嘉靖二十三年令蒲。宽厚平恕,加以拊循^②。时连年大旱,亲诣各乡,劝借富民谷数千石,民赖以生。升苏州府判。去邑,父老谈之流涕。

高邦佐 浙江乌程人。嘉靖四十三年,由举人知县事。廉介不畏强御。有公事须费,辄捐己俸,不派里役。催科以时。不许私帮^③,而解粮亦自,不累。之官不携妻子,惟仆从一二人。升知平度州。

陈履 字德基,广东东莞人。隆庆辛未进士^④,令蒲。平易近民,重礼绅衿,醇厚笃实,人称为长者。调休宁。去之日,哭声载途。立有去思碑。

胡其高 字汝升,四川井研人,辛未进士。万历二年,自蒲城调知县事。邑旧无城,暴客猝至无备^⑤。其高始创筑,今名曰胡公城。筑城之时,获有异应。民立生祠,勒石记德。

章嘉祯 字元礼,浙江德清人。万历间,由进士知县事。以经术饰治,毁淫祠,邪俗一变。时奉旨丈量,公平自矢,期图永利。以外艰^⑥,即日弃官去蒲,民追思。后官至通政使。

高举 字鹏程,山东淄川人。庚辰进士^⑦,自完县调知县事。性严明,谳时务。摘发奸伏^⑧,各得其情。征拜监察御史,官至浙江巡抚。

吴弘济 字汝楫,浙江秀水人,由丙戌进士知县事^⑨。值戊子、己丑连岁饥^⑩,拊循赈济,不遗余力。访积盗汪若海等,笞之立毙。作兴学校,立书院。士民诵之。擢监察御史去,[民]思,立石。

倪斯蕙 字禺同,四川巴县人,由壬辰进士知县事^⑪。丰度端凝,

① 荐剡:举荐。 ② 拊循:护养。 ③ 私帮:私自结伙贩运货物。

④ 隆庆辛未:公元1571年。 ⑤ 暴客:盗贼。 ⑥ 外艰:父、祖去世。

⑦ 庚辰:公元1580年。 ⑧ 摘发奸伏:揭发奸邪和隐密。 ⑨ 丙戌:公元1586年。 ⑩ 己丑:公元1588—1589年。 ⑪ 壬辰:公元1592年

清而不刻，严而不残。建立社仓，除衙蠹，正风俗。父老云：“百年来贤令，当以倪为首称。”擢吏部主事。去之日，深山穷谷闻者，莫不奔送流涕。为立碑祠。官至户部侍郎。

汪有功 字祖倩，歙县人。由甲辰进士知县事^①，明敏峻洁。甫任即访积盗数人，杖毙之，萑苻无警^②。听讼片言而定，人服其才识。有丞贪戾，屡谕不悛，白巡按立斥去，通邑称快。擢南京监察御史去。[民]思，立石。

张光前 字尔荷，山西泽州人。万历三十九年，由庚戌进士知县事^③。立躬端肃^④，决断如神。时大造黄册^⑤，编造称平。四年之间，革弊苏困，颓废俱起。以艰去^⑥，后历仕大理寺卿。

宣大勋 字荃孚，云南蒙化人。由癸丑进士^⑦，初任黄安。调知县事，明通豪迈。邑磐石湖苦涨，修筑堤防，绵亘十里，自是不复水患，名宣公堤。任四年，卒于官。邑人于堤上立像祀之。

吴炳 字可先，宜兴人。万历四十八年，由己未进士知县事^⑧。气度温和，断事明慎。课士月给供饌，毫楮梓文示劝^⑨，得隽者多。复“乡贤、名宦”祠。凡为民兴除者，惟力是视。历任江西提学。

王之杰 字世望，四川遂宁人。戊戌进士^⑩，令蒲。为政严肃，胥吏凜然。差役不扰乡村，给孤赈贫。升刑部主事。

林增志 字可任，浙江瑞安人，由戊辰进士知县事^⑪。明理学以振人文，勤爱养以奠民命，申禁约以正僚属。修学宫，备祭器，纂邑志，筑堤梁，治候馆^⑫，清刑狱。公余课士，所援知名。前后隽者，多出其门。

① 甲辰：公元1604年。② 萑苻：芦苇丛生的水泽。③ 庚戌：万历三十八年。④ 立躬：同立身，即为人。⑤ 黄册：为征派赋役而编制的户口册籍。⑥ 艰：父母去世。⑦ 癸丑：公元1613年。⑧ 己未：万历四十七年。⑨ 毫楮：笔纸。⑩ 戊戌：万历二十六年。疑壬戌，即明熹宗天启二年（公元1622年）之误。⑪ 戊辰：明毅宗崇祯元年（公元1638年）。⑫ 候馆：接待宾客的馆所。

考最，升翰林院编修。

曾枳 字秀子，江西临川人。崇祯十二年，由辟举知县事，临事明决。寇氛交江，军需旁午，一以息事宁人为本。有不便于民者，不惜忤上以请。癸未六月^①，猷贼破会城。遂请援于制院，檄副总何日德帅所部来守蒲，以游击、鲜传二弁兵隶之。合平日训练乡勇，得劲卒三千，措置画刍饷，城守之志益壮。初，贼以轻骑百人，走间道猝至河北。枳扬兵沙磧，命武学生侯定国发三矢，摧其前矛。乡勇奋出，贼惊遁。月余，不敢逼城。七月十一日，贼整大队，称二十万，严阵四集。官兵溃走，枳单骑追兵，愤懣坠马，气绝暴卒。乡民吴珊瘞之王敦庙侧^②，为草薤以泯其迹^③。后其子来蒲，发冢槥敛^④，面色如生。通邑哭奠，棕归，祖祭如市。状闻，赠恤有加。

戴城 字邦固，浙江青田人。洪武十八年进士，授蒲圻丞。访名儒，作文教。建读书楼，与诸生讲明经术^⑤。且抚善锄奸，老弱欣戴。擢户部员外郎。

汪显 字迟钝，婺源人。弘治四年，由贡生授蒲圻丞。清介慈祥^⑥。理军匠，筑渠堰，务以德兴治。寻卒于官，父老悼之。

程梦麟 江西彭泽人。万历末，为蒲圻丞。谨慎和易^⑦，著有《字学》诸书。升靖州参军。蒲人感之，去思立石。丞之有碑，自梦麟始。

马敬 字文安。其先山东人，从兄宦游寓蒲。脱略世故^⑧，邃心于学，独涵理性。兴之所寓，发为诗歌，清逸秀拔。洪武六年，举明经。任本庠训导十八年，请老于家，祀“名宦”。

朱鉴 字用明，福建泉州人。永乐十五年，由举人任教谕。迪教有方^⑨，学者信孚。值岁大旱，率诸生躬自虔祷，大雨如注，民咸赖之。奏最，擢监察御史。累官至都御史。

① 癸未：崇祯十六年（公元1643年）。② 瘞：埋葬。③ 薤：束草。

④ 槥敛：按丧礼下葬。⑤ 讲明：讲解、阐明。⑥ 清介：清正、耿直。

⑦ 和易：温和、平易近人。⑧ 脱略：脱去，不沾染。⑨ 迪教：启迪、教诲。

黄纯 字粹中，全椒人。永乐十五年举人，教谕蒲圻^①。持己刚毅，施教严明。擢兵科给事中，转江西佥事、提督学政。

黎公弁 字之冕，江西临川人。举明经，正统九年授临〔颖〕教谕，再谕蒲圻。博物洽闻，设立条约。每漏下至二鼓，课诸生不倦。有《蕲川十六咏》，时传诵之。

林民止 福建莆田人，由举人任教谕。历落豪迈^②，能诗工书，诸生咸受启迪。居恒鼓琴、繙书^③，翛然自远^④。万历甲戌成进士^⑤，官至知府，祀“名宦”。

蔡士用 字汝贤，邵阳人。万历三十四年任蒲圻教谕。接人和易，取予耿介，升德安府授。去之日，乡绅门士祖饯郊外，观者啧啧。立碑记颂，题曰：“泮水甘棠”^⑥。谢鹏举撰《记》。师儒有碑，自士用始。

刘秉铁 字宽伯，黄州广济人，太仆卿天衢之子。状貌魁奇，以贡补本学训导。冲襟素韵^⑦，遇博物之士辄相与把臂扬榷古今。升巴东教谕，著有《隐弇斋古乐府》、《三晋纪游》及《蕲川》等集行世。

李不伐 山东寿光人。万历末，以乡贡署蒲谕。性方介，无阿徇^⑧。遇祭必宿戒，竭诚无苟。督诸生，执事有恪。旧衙舍在启圣祠后，不伐恶其褻也，捐俸创居祠右。以忧去，后官司李。

张存绅 字叔行，华容人。有书癖，凡金石图书、古文奇字及稗官委巷之小说^⑨，靡不综洽。以贡补本学训导。即苜蓿清苦^⑩，日事校讎。每跨款段^⑪，命一奚童自随，收得异书甚多。著有《雅俗稽言》。寻卒于学舍，命以所著书枕籍棺中^⑫。士论悼惜。

① 教谕：作谓语，任教谕。 ② 历落：磊落，洒脱不拘。 ③ 繙：翻阅。

④ 翛然：超脱的样子。 自远：使自己远离（尘俗）。 ⑤ 甲戌：公元1574年。

⑥ 泮水：指学宫。 棠：指棠树政，即惠政。” ⑦ 冲襟素韵：情怀旷淡。

⑧ 阿徇：同阿徇，迎合曲从。 ⑨ 稗官委巷：指民间。 ⑩ 苜蓿：一种植物，可作肥料、饲料，或者食用。此同苜蓿自甘，宁愿过清淡生活。 ⑪ 款段：马行迟缓。这里作宾语，指行动迟缓的马。 ⑫ 枕籍：铺垫。

黄衷赤 字元初,宜兴人。崇禎九年,由举人任蒲谕。有隼才。知县林增志雅意作土^①,衷赤与之同心修飭学宫。堂庑俎豆,尽为一新。以请假归。

国朝

戴成名 字泰宇,辽东开原人,由贡士知县事。时方用兵,催餉甚急。单骑遍谕士民,以抵销正项,民不扰而事集。赋役克清,邮政亦举。其决讼以情,取下以法,待士有体。立义学,聘宿儒为之师。以疾卒。归槨时^②,衣衾弓矢,数具而已。邑人为立“志思碑”,国朝循吏为首称云。

李偁 荆门州人,由岁荐任训职。其任事修学、补葺及布砌围垣、措置门屏、特修名宦乡贤祠,兴作俱不假他手,省浮费课实功,面给工直。居恒课士,解经。兴会风雅,题咏甚多。旋奉裁去,士绅惜之。

崇阳县

唐

温迁约 字从礼。僖宗六年,黄巢据荆南,攻陷鄂州。迁约纠义旅由长沙来往藩翰^③,贼不敢侵,邑赖以全。僖宗嘉之,命为崇尹^④。凡十二载,功德及民最久。历宦检校司空、鄂州制置使兼知鄂州。

宋

张咏 字复之,郾城人。宋太平兴国五年进士,以大理评事为崇阳令。性刚方,抚良祛奸,训民以义。构北峰亭。岁劝农耕。相白泉水,为堰障上流而东之^⑤。凿破刚山为渠,引水灌负郭田十五里。邑产茶,

① 作土:兴建。 ② 槨:棺材。 ③ 藩翰:捍卫。 ④ 隋崇阳地入蒲圻县,参见《沿革志》、《宦迹志·武昌府》。 ⑤ 东之:使之东流。

咏至曰：“茶利厚，官将榷之。”使拔茶种桑，后果榷茶，崇得免。尝一吏自库中出，视其鬓有钱，诘之，乃库中钱也。命杖之，吏不受杖，曰：“一钱何足道！尔能杖我，不能斩我。”咏援笔判云：“一日一钱，千日千钱。绳锯木断，水滴石穿。”自仗剑斩之，申台自劾，境内肃然。迁著作郎、工部尚书，谥忠定。其画像自赞云：“乖则违俗，厓则绝物。乖厓之号，聊以表德。”祀“名宦”。

欧阳奕 咸平三年进士^①，监兴国酒税，徙令崇阳。严明方质，尤以廉洁自持。自为布衣，非义不受。莅官临事，长于决断。祀“名宦”。

段少连 字希逸，开封人，以秘书郎令崇。为人倜傥有识度，自乖厓后，惟少连能继其风。祀“名宦”。

李涓 字浩然，南丰人，靖康元年令崇^②。金人犯汴，钦宗檄召天下勤王。时鄂七邑当发三千，皆未集。涓愤，独以所募六百人往。或曰：“安可以寡相尝也^③！”涓曰：“事棘矣^④！当持一信报天子，为东南义士首倡。”乃出家钱，易牛酒犒之，众皆感泣。即日引而东北，过淮蔡，大雪。敌游骑大集，涓驰马先犯其锋，遇敌力战，殪其骑卒。涓被枪，犹血战大叱。左右掖战，死之，年五十三。赠朝奉郎，官其三子，赐庙额曰：忠显。祀“名宦”。

钱师仁 绍兴人。尝修“白泉陂”，惠政及民，民深德之。祀“名宦”。

任希夷 朱子门人^⑤。理宗时令崇阳，有善政。累官参知政事，谥“献宣”。

尹谷 字务实，号耕叟。潭州进士，德祐间令崇阳^⑥。性刚直、壮厉，所至廉正有声。丁艰归，以荐知衡州。潭受兵，纵火自焚。李芾叹曰：“务实，男子也。先我就义矣！”祀“名宦”。

① 咸平：宋真宗年号，公元998—1003年。 ② 靖康：宋钦宗年号，公元1126—1127年。 ③ 尝：试。 ④ 棘：通亟，紧急。 ⑤ 朱子：朱熹的尊称。

⑥ 德祐：宋恭宗年号，公元1275—1276年。

陈仲微 字致广,号遂初。瑞之高安人。嘉泰二年进士^①,淳祐间令崇。性忠勤,寝食公署^②。日与父老、樵竖相尔汝^③,下情毕达,吏无所措手^④。尝修石枳陂、复远陂,撤白泉堰故陂易以石。又以浚泻水^⑤,以防止水,谓之竭。多功德于民,迁判黄州,官至吏部尚书。厓山兵败,辟地安南而卒^⑥。仲微天禀笃实,虽生富贵,恶衣菲食,自同窶人^⑦,故能涵沃六经,精研淹贯,称为“文溪先生”。邑祀“名宦”。

明

胡兴福 邑人。洪武甲午以明经授知县事^⑧。时经元兵燹,衙宇皆其创建。招集流亡,抚惠疮痍,百废皆举,而民不知劳。

杨伯成 浙江龙泉人,洪武间知县事。时初开垦定课,上司欲仿长沙例起科。耆民杨朝宗等诉山田硗确,竟得亩三升八合科税,至今赖之。尝勉邑民欲造舍宇者:“及我在任,量免差役,以待汝成,一切公私皆便。”民多怀之。

杨泰 陕西渭南人。洪武中岁,荐知县事。莅政平恕,赋役适均,务与民休息。寻以报政去^⑨,耆民陈秀等诣阙奏留^⑩。又三年去任,邑士宋忠复奏留。不允,调山西翼城令。

孔禧 山东章丘人,洪武间任。操履端洁^⑪,莅事刚明,吏民不能欺。在任九载,升应天府治中^⑫。

骆士廉 山阴进士,洪武中任。操守廉介,抚字有方,吏民悦服。

焦玘 真宁人。景泰七年,以岁荐任,明断而胥不敢欺。邑有虎

① 嘉泰:宋宁宗年号,公元1201—1204年。 ② 寝食公署:在公署寝食。

③ 相尔汝:互相用你称呼,指没有等级隔阂。 ④ 措手:做手脚。 ⑤ 浚:浚畎,田间水道。 ⑥ 辟:避的古字。 ⑦ 窶:贫穷。 ⑧ 有误,洪武无甲午年。

⑨ 报政:汇报政绩。 ⑩ 耆民:民中长者。 ⑪ 操履端洁:操洁履端,操行端正。 ⑫ 治中:明清惟京府置,与通判共参理府事。

患,祷于城隍,虎自毙。及瓜^①,迁兵马司。

刘信 字明节,南溪人。成化丙申以进士任^②。刚毅威严,劝农桑,课生徒。征拜御史,历粤东参政,没于王事。

赵弼 太和进士。成化壬寅知县事^③,政尚宽简。恤民隐,葺学宫,立里社,教子弟。性甘澹薄,食脱粟饭,味不具肉。其幼子每索肉泣,或闻而馈之,弼拜却不受,曰:“仕非为肉也。”六载,以忧去,父老遮道不忍舍。后知邯郸,历太仆卿。刘大夏赠以诗^④。

李锐 安福人,字抑之。由进士知县事,廉明正直,区画邑政,井如也。注意学校,多所鼓舞。尝恢展城垣,广豪随所指,皆适宜。冬行阡陌,督修陂塘,广置诸仓积谷。(巳)[乙]巳岁凶^⑤,发而赈之,延活甚众。征拜工部主事,历广东参政。

张瑞 正德戊辰^⑥,由举人任。为政平易,勤恤民隐。岁大荒,出谷赈活甚多。连年盗发,出没不常,擒缉有法,遂平。升开封府通判。

张珮 江西新淦人。正德甲戌由举人知县事^⑦。廉敏持法,折挫豪右,扶植贫民。门屏吏卒,谢绝请托,以事至庭者咸兢兢焉。调蒲圻知县。

易贞元 临桂人,由举人知县事。廉介自持,遇事不苟。尤恤孤弱,禁强御。早步祷乳山,应时澍雨^⑧。调平江,歿于官,崇民多致哀焉。

胡秉性 信阳人。隆庆戊辰^⑨,由举人知县事,优综理之才。勤兴书院,助寒生以膏火,捐俸置学田。请旌节妇。万历元年,行取御史。

① 及瓜:“及瓜而代”典故的简缩。典出《左传·庄公八年》,指到任期结束。② 丙申:公元1476年。③ 壬寅:公元1482年。④ 刘大夏:字时雍,天顺进士。弘治间河决,尚书王恕荐治竣。廷臣交荐,历兵部尚书。孝宗尤亲信。武宗立,乞休归。刘瑾坐事戍肃州。后赦归复官致仕,卒谥忠宣。⑤ 乙巳:公元1485年。⑥ 戊辰:公元1508年。⑦ 甲戌:公元1514年。⑧ 澍雨:下大雨。⑨ 隆庆戊辰:公元1568年。

周应中 会稽进士。丁丑^①，由真定县调知县事^②。才敏性决，案无留牍。公庭震肃，闾阎安堵，豪猾重足。修城有法，无烦民力。履亩均赋，栉沐风雨。其鱼鳞大丘，归户由单，井然有序。户丁有册，四差有册。每为编户规画久远，至今思之，立生祠。

王学曾 南海进士，己卯年任^③。均赋筑城，区画精妥；课文作士，多所启迪。士民得赖之。行取御史。

陈洪烈 光山进士。戊子^④，由长阳县调知县事。留心民瘼，建义仓以备凶荒。垂为典则，及今遵之。

程鉴 江都举人，宣德中任学博。性严介，以礼自持。事母孝，虽寒暑未尝去衣冠^⑤。升国子助教。

俞绘 上虞举人，成化年为学谕。博涉群书，尤严学规。终日公服坐堂，与诸生论经义；夜秉烛巡视，稽勤惰，九年不倦。时诸生皆居黉宇，书声撤[彻]丙夜^⑥。尝修志，有《诗文集》。迁惠州去。

龚善 邑人。以明经洪武四年为学谕。学宫旧在上津，善卜梵(安)[庵]故址吉，乃谋诸令顾华改创焉。建斋舍以嘉惠后学，迄今颂之不衰。

杨国景 江都人，崇祯末主簿。集乡勇御贼，为贼所得。骂不绝口，死之^⑦。

国朝

马士鯤 字起北，寿张人，由选贡知县事。时邑当兵燹之余，人民离散，田野荒芜；又军需旁午，里差繁剧。招集流亡，设办粮饷而民不苦差^⑧。兴起学校，奖励士子。升广安州，历任成都知府。

① 丁丑：公元1577年。 ② 繇：由。 ③ 己卯年：公元1579年，

④ 戊子：公元1588年。 ⑤ 寒暑：偏义复词，偏指暑。 ⑥ 丙夜：三更，夜晚十一时至第二天凌晨一时。 ⑦ 死之：因为这被杀死了。 ⑧ 苦差：因差役而痛苦。

贾汉谊 字长傅，曲阜官生，甲午间任。性刚介，多才。建学丈田，修石视陂，平里役，碑禁羨耗，治讼多所平反。历任七载，恩威并济，境内肃然。升去，士民遮留不忍释。

贺人龙 字允升，通许人。由岁荐知县事，有节操。当西山餉役倥偬^①，经理有法。接士民以诚，若家人父子。尤作养士子。十载去位。送者至蒲嘉，暨江汉焉。立“去思碑”。

金绵祖 号梅山，辽东人，甲寅间知县事^②。值剿长岳，取办军供，不一而足。凡可为民宽减者，必力为议请。崇虽素无逋欠，而征收无法，奸弊日滋。因为画一之法，条餉米麦丁徭总计银若干，注里户名下。十日轮比十里，不致混淆无次，收纳两便。洞悉民情，少收词讼。清介之性，历久益坚。与人交，藹若春和。一有私干，则严于秋肃。偶驻弁肆虐，即单骑冒暑，亲谒上台，必黜弁辍兵而后已。切民痼瘼^③，大都如此。

马世盛 字帖思，景陵人。壬午举人^④，壬辰为学谕^⑤。以文行作士，砥砺课艺。执卷就讲者，无宁晷^⑥。与弟子接，油油焉若家人。崇学久废，力赞重新。寻以母忧去，士民送至蒲圻境，洒涕而别。

通城县

宋

孔端植 字子固，至圣四十八世孙^⑦。令通城，廉平爱民，民亦爱之。卒于任，遂家焉。

黄裳 字匹叔，隆庆人。孝宗初调通城尉，光宗时进士。谓中兴规模，当据利便。汉中、襄阳、江陵、鄂渚、京口当为五镇，以将相大臣守

① 倥偬：既多且急。 ② 甲寅：公元1674年。 ③ 痼瘼：疾苦。

④ 壬午：公元1642年。 ⑤ 壬辰：公元1652年。 ⑥ 宁晷：清闲的日子。

⑦ 至圣：宋真宗尊为“元圣文宣王”，寻避讳，改“至圣”。历代因之。

之。五镇强,则国体重。除太学博士,后升礼部尚书。

束元善 自邻邑主簿,以才能调通城令。据理执法。毁淫祠,正风俗。善政为一时所称。

明

马极 永阳人。洪武初任,公勤廉介。披荆棘,置学治。攘除群凶,抚绥遗黎。逾年,田野辟,户口增,境内大治。建文庙殿庑、明伦堂、社稷山川坛、桥梁、关渡、邮舍、分司、仓廩。均徭役,节浮费,里民乐业。治县四年,迹书上考,升宁国府丞。《一统志》叙为“武昌第一名宦”^①;士民立碑,崇祀“名宦”。

杨庆 字佑之,四川长寿人。由举人知县事。建立义仓,劝民输谷。民知有耻,士知学问。九载奏绩,耆老保留,奉旨复任。爱民如子,治事如家。前后二十三年,古所谓长子孙者耶。

杜敏 字志聪,北直霸州人。由贡士知县事。廉洁律己,明断服人。重修县治,培植学校,建桥梁、便民仓。十五讞疑狱,能辨冤诬。政善民安,至今思之。

褚潭 浙江天台人,由进士知县事。正大存心,质成者咸服。区处税契赎醵^②,买谷万余石,以备赈。修学舍,编五经,广激励之条。焦劳七载,致仕归。

何其贤 号江云,四川泸州人,由举人知县事。操履纯洁,任事勤谨。节省里甲^③,隆礼师儒,上信而下服。

简廷仁 号高崖,广西马平举人,知县事。严毅不依阿,萑苻屏迹^④,至今言盗息民安者,称简公。

臧石 号载璞,山东济宁人,由选贡知县事。一介不苟,秉公尚简,听断明允。履亩清丈,差役不敢需索。七载,升陕西泾州知州。去时,

① 叙:排序。 ② 区处:安排。 ③ 节省:精简。 ④ 萑苻:芦苇丛生的地方。这里指荒野中的盗贼。

行李萧然^①。

赵凤朝 号麓泉,云南太和人,由举人知县事。恬淡恺悌,待士民如家人。事不深求,尤轻刑赎。岁荒民饥,发廩无余。虽取怒于上,不计也。踰年,告疾去。皎然清白之守,士民称服。

赵廷俨 号霍冈,山西岳阳人,由恩贡知县事。才负敏决,政尚通变。调停新征旧逋,使民乐输。约束狐鼠^②,村市安堵。创建石城,钱粮夫役,无扰于民,邑赖保障之功。

赵三台 号参六,四川古益州人。由贡知县事,慈良明决,士民安堵^③。

罗广 成化二十一年任典史,勤励任劳。平余备赈,建义仓、城隍祠。捐俸修学,建教谕、训导舍。称干材焉^④。

何遵武 广东东莞举人,为教谕。宽和礼让,口不言利。手不释卷,长于古作。升四川灌县知县。

刘宏 江西安福县人,贡士,训导。貌甚古朴。任九载,甘清苦。遇抚院按临谒庙时,命讲五美四恶章,气象从容,发挥明畅,亟称而厚赉之^⑤。遂以实学注上考,升兖州府授。

国朝

盛治 号霖襄,江都人。顺治己丑^⑥,由进士知县事。葺城垣,创公署。召流民给以官地,令充市厘。年荒,捐俸糴买谷三千余石赈饥。壬辰春,虎发村市,禱而逐之,虎遂屏迹。至省刑罚、核编审、修学、造士诸政,国朝为开创第一名宦。

别仲茂 庚午举人^⑦,为教谕。修学宫,举废坠,复乐咏吟,人皆称焉。

① 萧然:简陋。 ② 狐鼠:小人、坏人。 ③ 安堵:安居。 ④ 干材:有办事才干的人。 ⑤ 赉:赏赐。 ⑥ 己丑:公元1649年。 ⑦ 庚午:公元1690年。

兴国州

三国吴

甘宁 字兴霸，临江人。初从孙权，周瑜、吕蒙荐之。每有陈说，权深嘉之。以所获士众授宁，屯富口^①。随周瑜拒曹操，宁计破之。拜西宁太守，领阳新、下雩二县。

晋

孟嘉 字万年，鄂人。永和中^②，为阳新令。嘉少有名，庾亮领江州，辟为从事。问风俗得失，对曰：“不知。”亮以尘尾掩口而笑曰：“嘉，盛德人也。”又为桓温参军，陶潜为之作《传》。

宋

谢涛 字济之，姑苏进士。以秘书著作郎知兴国军，清静端介。时真宗考史籍内出朝士有治绩者二十四人，涛在选中，擢太常博士。

王琪 字君玉，华阳人，登进士。调江陵主簿，上《时务十二策》，仁宗嘉之。以中书知兴国军，政尚简静。

杨绘 字元素，绵竹人。以进士为开封推官，神宗召知谏院，谓绘：“立朝寡援，不畏强御^③。朕一见许其忠实。”后以他事，出知兴国军。强敏洞达，一出于诚。

王十朋 温州乐清人。绍兴中^④，廷对忠鯁，高宗亲擢为第一。知兴国军。

郭周孚 字仲光，建安人。尝游苏轼之门，声誉藉甚。居母丧，哀毁骨立，庐墓三年。以朝散郎通判兴国军。

① 富口：即富池口镇，参见《图考志》。 ② 永和：晋穆帝年号，公元345—356年。 ③ 强御：有权势的人。 ④ 绍兴：宋高宗年号，公元1131—1162年。

李扶 字持国，松溪人。幼孤，事母孝。第进士^①，调永兴丞。适大冶为兵火所荡，当道檄摄县事。招流亡，垦田里。盗贼屏息，百姓晏然。

富元衡 字公权，姑苏进士。知兴国军，砥节清慎，始终不渝。

周紫芝 字少隐，宣城人。家贫不第，嗜学益苦。年六十一，始以廷对第三，历左司员外郎，出知兴国军。为政简静不扰。有《出郊劝农诗》。

沈坦 绍熙中知军事^②，樽节浮费^③，为郡民代输。

赵逢龙 字应甫，鄞人。为学淹博纯实，登嘉定进士^④，历知兴国等州。每至官，有司例设供帐^⑤，悉命撤去。日具蔬饭坐公署，事至，即面决遣。为政务宽恕，抚谕恻怛。尤究心荒政，出羨余为余本。

虞旂孙 嘉定中，以大理丞知军事。事无大小，次第毕举。

冯去疾 字兆山，朱子门人。刊四书定本于沧浪亭^⑥，号兴国本。今失其传。

李寿朋 淳祐中，知军事。修武备，招水步军六千人，建富池、沙池等寨。始辑《兴国志》。

李宜 理宗时，知兴国军。金使招之，宜斩其使。尝葺大成殿、新贡院^⑦，免浮屠钱。修富池，构沧浪亭。

赵琳 字君善，姑苏进士，知兴国军。清修寡欲，室无媵妾。藏书万卷。

秦羲 字致尧。太宗时，有南唐军校马光璉等亡命荆楚为盗。羲受诏缚光璉以献，帝壮之。后监兴国茶务，精心敏识，史官许其酝藉^⑧。

王洙 字原叔，宋城人。调富川簿，召为天章阁待制。

① 第：考取。 ② 绍熙：宋光宗年号，公元1190—1194年。 ③ 樽节：即樽节，节省。樽通樽。 ④ 嘉定：宋宁宗年号，公元1208—1224年。 ⑤ 供帐：举行宴会及其陈设。 ⑥ 四书：儒家的四部经典《论语》、《大学》、《中庸》、《孟子》。 ⑦ 新：使新，即新修。 ⑧ 酝藉：即蕴藉，宽容有涵养。

陆九龄 字子寿，金溪人。秦桧当国，无敢道程氏学者，九龄独尊其说。登乾道进士，教授兴国军。兴俗俭嗇而少知学，九龄益严规矩、肃衣冠^①，劝綏引翼，士类兴起。与弟九渊相师友，学者号为二陆。

元

龙卜花 字巨川，封丘人。至正间，徐寿辉监军杨普雄破兴国，卜花率众复之。以功升黄州翼副千户，守兴路。十三年冬，伪将王右丞、梅参政以兵数万，水陆来攻，卜花战破之。后倪文俊率众十万，掩袭至城下。卜花尽力出战，被执，城遂破。

翟居德 字安常，金台人，为本郡录事参军。遇旱请祷，霖雨沛然。居官廉勤，卓有政绩。

明

樊继 字星昭，句容人，由国子生知州事。兴学校，毁淫祠，劝民丧、葬、祭用家礼。州患虎，祷于城隍，明日两虎自斗死。朝天堤坏，命二人立堤之两端，令往来者各负士一簣。不数日，堤成。民号樊公堤，祠其像于堤上^②。

鲍旭 字景升，池州人，由举人知州事。修常平仓六所，慎典出纳，水旱不为灾。朝天堤桥圯，砌以石，复亭其上^③。人呼为鲍公桥。

吴绅 字廷端，歙县人。由举人知州事，清勤宽厚。在官九年，惟携一仆。韩巡抚省部，未至行台，先诣狱亭查勘，仅大辟数人耳，乃去。

胡羸 字孟登，罗山人，由进士知州事。莅事明敏，剔奸蠹，弘奖士类。

李东 字元震，番禺人，由举人知州事。始莅任，置豪强十数人于法。自是奸不敢肆，讼亦渐息。旧多逋赋，东征一缓二，输无愆期。

① 衣冠：古代士以上衣冠有定制。这里代指士人。 ② 祠其像：建祠塑像。 ③ 亭：建亭。

杨祐 字汝承，钱塘人。少登进士，以庶吉士出知州事。风裁凜然，奸盗(惕)[惕]息^①。妖人向四保自号“活佛”，结龕高宗岭，谒者拥途。按执之，民惑乃止。

吴希贤 字宗孟，宣城人，由举人知州事。性朴茂，事弗便于民者，悉裁之。立忠节祠，祀谢叠山先生。

唐汝礼 号默斋，浙江兰溪人，由举人知州事。时瑞昌民杂处兴国，多梗化匿赋^②。白诸当事，立兴瑞里以分别之。履亩丈田，无有不均。以忧去，功未竟而民德之。

杨士元 号复宇，太仓州人，由进士知州事。严明，喜任事。修筑州城，以石坚之^③。建书舍于“叠山祠”旁，捐俸课士。前守丈田未竟，力竣其役。方册公平，侵、冒弊绝。

崔元登 字澹生，江西南城人，由举人知州事。综核吏事无巨细，洞察无遗。长于听讼，奸徒一面即能默识^④，称为神君。修《兴国志》。

姚文明 号南瞻，四川射洪人。由举人知州事，宽和乐易。民间有讼事，为反复开释，至有涕泣而去者。州人肖像祀于“福胜寺”右^⑤。

孟良范 号洛九，辽东人，由功贡知咸宁县^⑥。擢知州事，强敏有胆。双迁里巨盗华红毛等结党剽掠，范率家丁子弟黄昏驰捕。及晨而返，获其渠魁十数人，尽歼之。升武昌知府。

林爱民 字惟牧，福宁人。由进士，以户部主事谪州同知，翛然无迁谪意。申革商[商]税，敦奖士风，廉、慈出于至诚。

马别 字抑之，上蔡人。由进士，以御史论事谪州判。一介不取，无淫于刑。著有《昭德录》。

杨名英 陕西人，由选贡授州判。年少倜傥，善骑射。流贼渡江攻省城，当道檄兵救援^⑦。名英率众星夜赴难。不三日而城陷，遂

① 惕息：心跳气喘，形容极其恐惧。 ② 梗化：顽梗不化。 ③ 坚之：使之坚。 ④ 一面：状中结构，见一次面。 ⑤ 肖像：作谓语，塑像。 ⑥ 参见咸宁县部分。 ⑦ 檄兵：传檄召兵。

死于贼。

翟萱 昌邑人，吏目。性慈良，不取民一物。嘉靖南巡，以廩馈薄挹死，百姓哀之。

何应奎 号南岩，广昌人，由监生授吏目。耻为诈言虚礼，弗徇堂长之欲。嘉靖南巡，以董夫役不忍逮捕死^①，民为之痛。

张尧臣 浙江人，为州吏目。流贼既破省会，抄掠兴国。尧臣率乡、寨兵至石鼓璫堵剿，没于阵。

李遇夏 顺天人。为吏目，有才略。值李贼南下，漫布州境。官民奔窜山谷，遇夏守死不去。昼则取神庙麾盖、兵仗，巡行城堞。夜烧大竹为炮声，贼疑之不敢近。

蒋昂 侯官人，由举人授州学正。持身端洁，每与诸生共作文。士有空乏者，赙之^②。

国朝

何鸣璫 号青岩，辽东人，由功贡知州事。调饷有功，后升本省抚院。

杨遵 字从先。莆州举人，由阌乡令升知州事。先是，州堂毁于土寇，遵出貲创建。重修儒学，每咏士^③，亲为品题。癸卯火灾，死者甚众，给棺殓葬。时征郟西贼孽，各邑雇募夫役，不堪其苦，遂聚据为乱。从先请兵歼其魁，余皆就抚。

大冶县

宋

黄河 字景萧，休宁人。理宗时进士，调大冶簿。邑湖中三山产铁，尉巡警，盗铸者四十人起为敌。河至，匹马往谕，焚其具，一境晏然。

① 董：主管。 ② 赙：周济。 ③ 咏士：布置学生赋诗。

延朱文公门人万人杰为学者师^①，俾俗知趋向。后知岳州，以廉谨称。历朝议大夫。

元

周镗 字以声，浏阳人，通《春秋》。元泰定四年^②，试《大别山赋》，登进士第，授衡阳县丞。至正中，调大冶县尹。状如甴懦^③，从容恻怛，而抑豪强毅然不可犯。累迁四川行省儒学提举。还家无何，盗起。镗使其兄弟远引，自谓身受国恩，脱不幸必死。贼执镗，欲推以为主。镗瞠目厉声大骂，遂遇害。

明

冯万金 黄州府人，洪武甲辰年知县事^④。披荆棘以立廨宇，招流亡，劝农桑，一一皆有法。祀“名宦”。

吴懋 西安府儒士。洪武年，以苏州知府谪知县事。宅心端正^⑤，守己廉洁。虑民之不率教也，作《戒谕文》，民传诵之。祀“名宦”。

于贤 四川达县人。永乐中，以国子生为监察御史。左迁知县事，孜孜以养民为己任。识见明爽，莅事果断。期年^⑥，而政平讼理。以忧去，起复御史。祀“名宦”。

綦祯 四川綦江县人。永乐四年，由国子生知县事。以宽莅民，民无不悦。奏造粮船，清吏役，修学校。秩满，士民诣阙奏留，因再任焉。祀“名宦”。

张泉 江西德化人，永乐年以荐举知县事。勤于政事，案无积滞，称为各县最^⑦。

黎康 交趾进士，天顺元年知县事。果断明决，除强暴、抚遗黎，不

① 朱文公：朱熹谥文，故为尊称。 ② 泰定：元泰定帝年号，公元1324—1328年。 ③ 甴懦：懦弱。 ④ 有误，洪武无甲辰年， ⑤ 宅：居处。

⑥ 期：周。 ⑦ 最：最好的。

挠于势。后入覲，为校尉毛复讎诬，罢官。铨司重其介，为请给半俸，许养于故宦所，遂家焉^①。今其墓在县治兴道观左。

王继先 江西高安人。正德五年，由举人知县事，狷介刚明。去之日，犹捐俸建学舍二十间，囊无余貲，士民叹息。

赵鼎 字钜夫，云南河阳县人。乡举第一，嘉靖十四年知县事。法绳豪右^②，虽怨不恤。兴士类，辑邑乘。风流蕴（籍）[藉]，吟咏山川。自学校、公署、桥道、邮舍，罔不修举。

贾栖鸾 四川巴州人。嘉靖三十五年，由举人知县事，纪法严明。时盗纵横，栖鸾签水南之民在治者，责以缉捕，擒十余人。盗以为神，自是不敢犯境。寻以忧去^③，士民攀辕称“如贾父”。

蔡寅 字汝亮，四川庆符人。隆庆三年，由举人知县事。规为整肃，驭下有法，听断无疑。升安宁提学。

方谦吉 江西贵溪县人。万历八年，由选举知县事。遇事有识见，令行禁止，吏胥重足立。催科有法，待士有体。未久，以忧去。

吴仁 江西萍乡县人。万历壬午^④，由选贡知县事。时通行天下丈量，仁履屨周行田野^⑤，熟谙弓算，人不能欺。其鱼鳞册，尺寸不忒^⑥。建学宫，修邑乘，事皆可垂永久。

杜士全 字完三，南直上海县人。万历丙申年^⑦，由进士知县事。均赋役，其征输听民自封投柜，吏胥里甲不能高下其手。自正供外，绝无繁费，民感颂于今。有开採中使至，不畏权势，详见胡应辰《碑文》。

程九万 字海朋，四川涪州人。万历壬寅年^⑧，由贡士知县事。多材艺，谙吏治。一日坐堂治事，听后堂工钉橡桷声，退而呼匠曰：“汝所用钉内杂竹钉若干。”讯之，果服。其聪察类此。

杨世华 字光五，云南鹤庆府人。万历年，由举人知县事。事有厉

① 家焉：安家在这里。 ② 法绳：按法律惩治。 ③ 忧：父母去世。

④ 壬午：公元1582年。 ⑤ 履●：鞋，这里指步行。 ⑥ 忒：错。 ⑦ 丙申年：公元1596年。 ⑧ 壬寅年：公元1602年。

民者^①，申台请罢之，至于涕泣以道。有兴国州守戾鸷，所过贪残。每行拘掇，执持不发，民咸赖之。

杨方盛 字戒夫，云南鹤庆府人。万历丙辰^②，由进士知县事。尸坐山立，喜怒不形。人望而畏之，豪强敛戢。元旦，诸生巾服贺，方盛坐定，徐曰：“今日如某某不出，可以征品。”诸生皆惭。明于钱谷，清汰吏胥，盗息民安，四境大治。

郑学陆 字翼宣，浙江西安县人。崇祯甲戌^③，由举人知县事。性慈厚，语言和藹，而吏胥悚息。其征赋，为总券，分为十限。完者截券角，以识之。完欠易稽，无有欺负。峡山有柯笃生、吕瘦子者，鸠盗数千人啸聚，声言攻城。无墉可守，居民窜避。学陆练兵城守，每得盗辄杖杀之，与守宪袁继咸协力，檄兵四出剿扑。贼平，以劳勩致疾^④，请告还里。老幼送者，哭声震野。

国朝

陈飞鸣 号鹤州，浙江海宁县人。康熙四年，由选贡知县事。存心淳正，尝记明月轩以见志。当功令首重催科，惟权缓急劝谕输将，不恃敲扑而事亦集。常奉上委查湖掺，秋毫无取。有以数金为传食费，峻却之。其清慎类此。

谢鏐 号碧岩，广东英德府人。康熙十一年，由选贡知县事。和易近人，周知民隐。催科不急，听讼不罚一醵。十三年，有妖人黄金龙之变，堡民立砦窘贼。适守宪徐公惺至，鏐力请止诸路入境之兵。贼首以次就擒，民不大扰。次年荒歉，鏐募赈有方，民得于四乡给粟，无中饱之弊，邑鲜流亡。至军需旁午，檄如雨下，悉心调剂，无所朘削^⑤。后以盗案累误^⑥，士民踴助交代，而良吏之风犹存焉。

官抚邦 字綏之，蕪水县岁贡，顺治初任司训。学问该博，古文、诗

① 厉民：虐害百姓。 ② 丙辰：公元1616年。 ③ 甲戌：公元1634年。

④ 勩：辛劳。 ⑤ 朘削：盘剥。 ⑥ 累误：因过失或牵连受处分。

词卓然名家,善书法。常自诩谦^①,其言呐呐^②。至于教育人材,赏识俊异,惟恐其不尽成也。披荆立学,尤为劳勩。升四川县令,即归。著作甚夥,在治有《琦玕诗草》。

通山县

宋

蒋之奇 字颖叔,宜兴进士。熙宁间^③,以监察御史令通山。之奇凡为部使者十二任,六典会府。皆以治称。

蔡仲舒 字正臣,新昌人。景祐间进士^④,初调崇阳簿,迁知通山。弭盗有功,加太子中允。

明

王克中 洪武十年知县事,清廉有政声。

蒋通甫 无锡人。洪武二十七年知县事,多政绩。

戴德 山阴人。成化十六年,以举人知县事。操履勤慎,平易近民。修举废坠,案牘积弊为之肃清。久于任,士民怀之。

刘谟 如阜人。正德十三年,以监生知县事。政尚和易,爱惜百姓,称良牧焉。

孙溥 贵池人。嘉靖二年,以举人知县事。扶善锄恶,遇事敢为。监司以不阿抑之,遂浩然致仕去。祀“名宦”。

林金 连江举人,嘉靖丁未^⑤,知县事。勤敏决断,裁抑豪右,拊循善良。葺修学宫,撤毁淫祀。每公暇赋诗,有《爱山堂集》。七年,升河池州。比去,民大泣。立石表思,祀“名宦”。

① 诩谦:谦逊。 ② 呐呐:迟钝。 ③ 熙宁:宋神宗年号,公元1068—1077年。 ④ 景祐:宋仁宗年号,公元1034—1238年。 ⑤ 丁未:公元1547年。

焦田龙 南充举人,隆庆辛未知县事^①,文章、政事兼优。居通四年,升兴国守,摄崇阳事,两县士民戴之。去之日,莫不下泣。

陈铨 昆山人。正统十三年,以举人署教谕。正身率物,启迪勤劳。典试福建^②,有怀赂者,怒执送狱。祀“名宦”。

李岳 彭县人。正德十一年,以监生为训导。温恭敦雅,且练达多识^③,士类推服。

王信 光山人。正德间训导。天性友爱,教士多所造就^④。

张应举 鹤庆岁贡,嘉靖间训导。性刚直,善诗。尝受业杨升庵之门,教士勤学立身,一以杨先生为法云。

国朝

任钟麟 四川沧县举人,顺治辛丑知县事^⑤。慈祥清慎,剔弊厘奸^⑥,邑民称之。

选举志[一]

选举之法,莫慎于周。论秀书升,隶于司徒而爵于司马,故所举皆有用之才。后代教养之义寢衰^⑦,而科目取诸文字,甚至干荐。贵主籍,托军容^⑧。登庸之典^⑨,近于儿戏。明初,辟举、科目兼行,场屋专取经义。末世士习偃蹇,古学堕坏,良可叹惋!然而俊杰多出其中,何者?英雄无旁奋之门,精神无别用之地。斯亦入彀之深谋,纲罗之奇策也。圣朝龙兴,斟酌前制。顺治乙酉^⑩,首事宾兴^⑪。四十年来,名世辈出。

① 辛未:公元1571年。 ② 典试:主持考试。 ③ 练达:干练通达。

④ 造就:培养使有成就。 ⑤ 辛丑:公元1661年。 ⑥ 厘:惩治。 ⑦ 寢:逐渐。 ⑧ 军容:军职,始南北朝。中唐以后,为“观军容使”的简称。 ⑨ 登庸:选拔任用。 ⑩ 乙酉:公元1645年。 ⑪ 宾兴:周代举贤之法,后指科举。

今天子神武圣文，昭回之光^①，敷被万国。试士题目、春榜，次第皆出诏旨，三代以来未有之盛也。至于援纳一途^②，以佐科贡所不逮，盖亦贤郎之遗意欤^③？其视前代，又加慎矣！志《选举》。

武昌府

进士

明

洪武^④

刘仲廉 乙丑^⑤，尚书，有传。

永乐

杜宗晦 甲申^⑥ 王 礼 甲申 熊 进 甲申

武 楫 甲申 曾 敬 甲申，四川提学。

崔 谦 戊戌^⑦

正统

辛 浩 壬戌^⑧，有传。

景泰

熊 俊 甲戌^⑨，监察御史。

成化

陈九叙 辛丑^⑩，知府。 许 节 辛丑，知府。 王 溥 甲辰^⑪

弘治

徐 钺 庚戌^⑫，肇庆知府，有传。

海 铨 庚戌 徐 钰 庚戌，有传。

① 昭回：日月。 ② 援纳：提拔和纳贤。 ③ 贤郎：以钱捐官。

④ 年号原文小字双行，但因为年代顺序的标目，仍用宋体，且另起一行，下同。

⑤ 乙丑：公元1385年。 ⑥ 甲申：公元1404年 ⑦ 戊戌：公元1418年。

⑧ 壬戌：公元1442年。 ⑨ 甲戌：公元1454年。 ⑩ 辛丑：公元1481年。

⑪ 甲辰：公元1484年。 ⑫ 庚戌：公元1490年。

正德

严时泰 辛未^①,布政。 牟 盛 丁丑^②,户部主事,有传。

韩 楷 辛巳^③,巡抚,有传。

嘉靖

詹文光 己丑^④,廉州知府,有传。

冯世雍 癸未^⑤,徽州知府,有传。

顺 境 戊戌^⑥,知县。 曹当勉 壬戌,参政,有传。

隆庆

周文卿 辛未,副使,有传。

江沛然 辛未,户部郎中,有传。

万历

常居敬 甲戌,巡抚,有传。 丁应泰 癸未,刑科给事中。

朱文卿 壬辰,广信知府。 刘廷柱 壬辰,兗州知府。

梅开元 乙未,固始知县。

张文光 戊戌,翰(材)[林]检讨,有传。

向于宸 癸丑,刑部主事。

崇祯

丁时魁 庚辰,户部主事。

国朝

顺治

吴正治 己丑,见任大学士。 张廷宾 己丑

萧维模 己丑 刘临孙 壬辰

张瑾光 己亥 范其铸 戊戌

① 辛未:公元1511年。 ② 丁丑:公元1517年。 ③ 辛巳:公元1521年。 ④ 己丑:公元1529年。 ⑤ 癸未:公元1523年。 ⑥ 戊戌:公元1538年。

屠天佑 辛丑,知县。

程启张 辛丑,武城知县。

郑二成 辛丑,知县。

康熙

周之美 庚戌 周之麟 庚戌 罗俊 壬戌

举人

明

洪武

刘仲廉 甲子 秦进 甲子 奚瑛 甲子

张添祐 甲子 徐克温 丁卯 谭彬 丁卯

方嵩 庚午,有传。 易文政 庚午 王仕中 庚午

汪茂时 庚午,金事。 刘朝宗 庚午 杨继本 癸酉

傅宗仁 癸酉 张郁 癸酉 郑璧 丙子

刘端 丙子 刘镛 丙子 袁启 丙子

傅训 丙子 张必贵 丙子

建文

卢文政 己卯,有传。

徐海宗 己卯 李元善 己卯 柏坚 己卯

刘先 己卯 万义 己卯

永乐

杜宗晦 壬午 王礼 壬午 熊进 壬午

武楫 壬午 曾敬 壬午 刘文斌 壬午

张尚德 壬午 王永锡 壬午 熊杰 乙酉

李纯 乙酉 何清 乙酉 宋镛 乙酉

朱质 乙酉 喻纯 乙酉 徐文质 戊子

熊宣 戊子 吴僖 戊子 余安 戊子

唐玺 戊子 易贞 戊子 熊英 辛卯

刘源 辛卯 钟思荣 甲午 贺岷 甲午

刘忠	甲午	陈谦	甲午	许斌	甲午
王旬	甲午	刘弘道	甲午	董礼	甲午
于玺	甲午	崔谦	甲午	许崇善	丁酉
刘翀	丁酉	薛思敬	庚子	史芳	庚子
李观	庚子	任宣	庚子	任环	庚子
吴軺	癸卯,金事,有传。				
张祥	癸卯	刘文海	癸卯	奚铎	癸卯
韩忠	癸卯	丁启	癸卯		
宣德					
陈冕	丙午	吴勤	丙午	王彦诚	己酉
马嗣宗	壬子	奚钺	乙卯		
正统					
辛浩	辛酉	杨麟	丁卯	孙熙	丁卯
刘观	丁卯	陈文伟	丁卯,有传。		
景泰					
熊俊	庚午	刘毅	庚午	海永宁	庚午
刘志纯	庚午	陈文英	庚午		
刘余庆	癸酉解元,副使,有传。				
李吴森	癸酉	陈昌	癸酉,知府。	何本	癸酉
傅铨	丙子	韩孟端	丙子		
天顺					
余本政	己卯,两淮运副。				
胡中	己卯	田伦	壬午	刘绍铉	壬午
成化					
吴琦	乙酉	王纪	乙酉	徐镛	戊子
余本钊	戊子	韩伯清	戊子	金鉴	戊子
海瑄	辛卯	辛鉴	辛卯,知府。		
陈九叙	辛卯	王溥	辛卯	许节	辛卯

廖 瓚	甲午	田 昂	甲午	徐 钺	甲午
张 才	丁酉	潘 缙	丁酉	杨 观	丁酉
余 瑶	庚子	陈 完	庚子	林 贵	癸卯
陈 榧	癸卯	徐 铉	丙午	海 鲤	丙午
刘 绶	丙午				
弘治					
海 鲸	己酉	黄 宁	己酉	徐 钰	己酉
刘 宾	己酉	严 杰	己酉	邹彦魁	壬子
寇仲方	壬子	吴廷璋	壬子		
赵 迁	乙卯,江山知县。				
李 鹏	乙卯	徐 馨	乙卯		
张钟灵	戊午,解元。				
沈 贲	戊午	杨 瑞	戊午	林 本	戊午
张 璞	戊午	黄 金	戊午	罗 镗	戊午
安 节	辛酉	严时泰	辛酉	陈 辅	辛酉
林一凤	甲子	刘 纶	甲子	田嘉禾	甲子
胡 康	甲子				
正德					
吴 瑄	丁卯	许耿清	丁卯	牟 盛	庚午
韩 楷	癸酉	周 钺	癸酉	李 珍	癸酉
李 璋	癸酉	李粹然	癸酉,兄弟三人同榜。		
王 洪	癸酉	吴拱辰	丙子,知府。		
冯世雍	己卯	詹文光	己卯		
詹文庆	己卯,瑞州同知。				
邓 林	己卯	詹 乾	己卯		
嘉靖					
吴 旻	壬午	吴光祖	壬午	王 瑞	壬午
李 萃	乙酉	刘 管	乙酉		

- 刘 珊 乙酉,绵竹知县。
- 张 札 戊子,主事。
- 李 维 戊子 顺 境 戊子
- 萧 溥 戊子,井陘知县。
- 吴绍曾 辛卯 张桃 甲午,温县知县。
- 欧阳梧 甲午,广元知县。
- 刘 菁 甲午 牟 举 丁酉,东昌府判。
- 徐直之 丁酉,知县。 陈 仁 丁酉
- 彭冀衡 丁酉,宁州知州,有传。
- 余 芳 丁酉,珙县知县。
- 王守成 庚子,袁州同知。
- 张 榼 庚子 周 冲 癸卯,江安知县,祀“名宦”。
- 王克钦 癸卯 张 翥 丙午
- 张希范 己酉,蓬溪知县。
- 郭 懋 己酉,赵州知州,有传。
- 刘 孜 壬子,铜陵知县。
- 侯 甸 壬子 韩原性 乙卯
- 胡鹤来 戊午,知县。 田应鸣 戊午,莘野知县。
- 王 辂 戊午 陈嘉言 戊午,知州。
- 侯应爵 戊午,参政,有传。
- 曹当勉 戊午 方廷楚 戊午,新宁知州。
- 陆通霄 辛酉,副使。 詹 朝 辛酉,庐州通判。
- 陈 善 辛酉,知县。 周文卿 辛酉
- 张启明 甲子,通判。
- 隆庆
- 江沛然 丁卯 吴时泰 丁卯,推官。
- 聂文湛 庚午,知县。 周廷臬 庚午,知县。

万历

常居敬 癸酉 陈 璧 癸酉,户部主事。

丁应泰 癸酉 葛大礼 癸酉

马 彦 癸酉,上蔡知县。 张文光 丙子

包万象 丙子,云南知府。 朱文卿 己卯

杨启荣 己卯,通判。 梅开先 壬午

刘廷柱 壬午 牟三近 乙酉

郭正位 戊子,国子监丞。 薛应期 戊子,同知。

常居安 戊子,隆昌知县,有传。

柳 东 辛卯,神木知县。 刘崇举 辛卯,西华知县。

侯世屏 辛卯,郎中。 张凤翼 辛卯

冯国桢 辛卯,知府。 黄养正 辛卯

向于宸 甲午 吴思温 甲午,参政,有传。

张云鹦 丁酉,刑部员外。 易之锐 丁酉,知州。

王宗臣 庚子 张维祯 庚子,副使。

孙志先 庚子,知县。 艾 斐 庚子,成都同知。

刘 彦 庚子 杨大名 癸卯,嘉兴府判。

刘有声 己酉,高唐知州。 易文明 壬子,同知。

李呈芬 壬子,户部主事。 卢维先 戊午

天启

常士显 辛酉,宜宾知县。 周 沂 辛酉,临清道。

冯 奇 辛酉,上蔡知县。 吴思文 辛酉,岳池知县。

贡其志 甲子,屏山知县,有传。

魏希哲 丁卯

崇祯

詹大有 庚午 谢凤洲 庚午 丁时魁 癸酉

朱盛淦 癸酉 詹谨之 丙子,济南推官,有传。

胡公臣 丙子 朱盛浸 丙子

屠奏绩	丙子,临川教谕。				
周家鼎	己卯,有传。	邹振奇	己卯		
黄鸣阳	己卯	张廷宾	己卯	朱盛宁	壬午
朱容揔	壬午	丁之鸿	壬午	李以范	壬午
刘敷仁	壬午,有传。				

国朝

顺治

师觉先	丙戌,保定同知。	张瑾光	戊子
吴正治	戊子	张燕翼	戊子,礼部司务,有传。
刘临孙	戊子	萧维模	戊子
殷安国	辛卯,武冈学正。	范 仪	辛卯
汪开楚	甲午,孟县知县。	屠天佑	甲午
涂云步	甲午,广平知县。	程启张	甲午
田卜昌	甲午	陈翼明	甲午,监利教谕。
范其铸	丁酉	华生甫	丁酉
汪屿南	丁酉	杨兆杰	丁酉,兵部主事,有传。
周之美	丁酉	郑二成	庚子

康熙

梅嘉楠	癸卯	白鼎应	癸卯	吴大成	丙午
周之麟	丙午	庞还朴	丙午	黄嘉应	丙午
曹 挺	己酉,汉川教谕。				
罗 俊	壬子	黄五美	壬子,应城教谕。		
王鼎隆	壬子	费映荪	壬子	周国贶	甲子

贡监

明

刘 经	田 济	宋以方	余文珽	李 明
-----	-----	-----	-----	-----

陈 昂	刘本清	鲍 琼	邓有庆	王 忠
常 琼	谢 京	蒋志学	罗 采	余 臣
吴 镛	黄 奎	陆 凤	彭 淮	贾 钺
耿 介	刘 策	罗 紘	贾 铨	冯 棐
张 宽	张鹏翼	尹 铨	孙 绳	汪若水
苏 雨	徐敷之	洪 介	陈宗虞	余 相
李 校	董 籍	何 曷	黄 洲	周 相
余 鍊	涂 行	何 杲	黄 璧	刘 杭
许 庆	萧 方	李 芑	刘 节	余 荫 有传
石 璞	张 维	冯世宁	刘 镐	杨 山
张启东	王自新	易 乾	田 苏	胡尚庠
薛 钰	石 琢	李元化	沈 容	陈 仕
石 巍	李 乔	余 葵	许 枏	聂 镜 知县
白 升	游 鸿	康 宁	刘大缙	恩贡,知县。
王聘已	恩贡	李元敬	薛 霖	张 昂
张 斗	朱 锦	朱 钦	汪 寅	黄正色
陈 贤	吴 寅	吕 朴	萧懋功	陈世远
马宗儒	教谕	贺廷洲	常自微	选贡,大宁知县。
尹就汤	孙善述	罗一恕	陈 增	陈 在
高应选	林 皋	孙志元	选贡	张一鹏
许可继	李应箕	陈其愚	李德源	郭先祖
张一龙	杨 捷	陈 澄	陈德应	宋允登
余孟学	牟三立	罗 凯	荆州教授	金至黄
李 孚	曾学夔	梁文辉	余文焕	清涧知县
李光祚	怀远知县	余孟学	选贡,庆远同知。	
张光初	邻水知县	蔡士达	选贡,叙州判。	
熊兆祯	商城训导	周炳灵	兴县知县	
胡 试	麻城训导	游文聚	景陵教谕	

马显祖	保定通判	万 策	杭州通判	
胡自牧	恩贡	陈靖之	恩贡	梅开盛
白需吉	刘帅抃	朱盛凌	选贡	刘成龙
朱盛梁	许明垣	白文熙	孙可大	襄阳训导
陈士彦	段以熙	教谕	朱盛洵	通判
马 驰	杜之清	何应轸	游士英	知县
熊兆璧	游明羽	白文炳	郑古爱	刘敷仁
马钟伟	刘承芳	吴思难		

国朝

沈 宽	知县	夏 璜	邓日晓	江中柱
邓之槐		尹奇养	周绳祖	通城训导
孙明铍	恩贡	杨之琇	颜育鹤	贡监,涪州知州。
李 度	副榜	鲁可远	贡监,□□知县。	
余汝翼		汪以载	魏文煌	余应龙
刘德健	知县	潘 晶	熊姜梦	
孟安齐	澧州学正	祝守峻	汤尚聘	张凤翼
孟醇儒	恩贡	邓日章	方之焕	程 翀
曹汉参		任万里	新宁训导	周有开
赵应瑞	景陵训导	汤懋昭	程大覃	选贡
杨来宸	选贡	程 玮	副榜	
段 彝		吴 璜	刘世俊	张汝艺
洪石碣	孝感训导	胡 弇	黄自棻	杨世封
关 敏	副榜	张洪谟	副榜	
李朝琅		赵 良	王以鯤	萧何复 副榜
周士达		杨盛华	詹地泰	胡 升
周邦彦		邵之渭	刘大观	李经邦
毛文焕	汉阳训导	周国购	安陆训导	

周惟朴	归州训导	陈立功	黄陂训导		
杨 昀	浹浦教谕	谢梦弼		杨兆億	京山训导
陈肇熙		王 旭		陈嘉训	唐世俊
汪 濛		李世裕		张 岂	绛州同知
史传国	知县				

武科进士 前无考

国朝

康熙

陈 谋	庚戌	陈 昉	庚戌	吴之骅	庚戌
胡道宗	癸丑	刘宗天	己未		

举人 前无考

国朝

顺治

杜 夔	丁酉	李逢泰	丁酉	朱永年	庚子
丁 彭	庚子				

康熙

吴秉忠	癸卯	胡宗海	癸卯	尹之治	癸卯
谢世第	癸卯	李允暹	癸卯	陆邦畿	癸卯
万民钦	癸卯	陈 谋	丙午	陈 昉	丙午
吴 璠	丙午	孙绍德	丙午	金振声	丙午
顾仁杰	丙午	张应桂	丙午	陈 玉	丙午
夏 明	丙午	易孔传	己酉	殷说若	己酉
方映魁	己酉	魏晋墀	己酉	吴之骅	己酉
朱 早	己酉	罗上选	壬子	王国先	壬子
李志韩	壬子	赵佳荫	壬子	胡道宗	壬子
卢上缙	戊午	刘宗天	戊午	胡成咸	戊午

黄 暹	辛酉	黄鹤翔	辛酉	萧 储	辛酉
蔡应谟	辛酉	龚 斌	辛酉	周 旦	辛酉
赵廷琬	甲子	王本相	甲子	傅承诏	甲子
刘先铨	甲子	周惟臣	甲子		

江夏县

进士

隋

黄凤麟 著文籍十卷

唐

李 邠 有传

宋

大中

李 璵 有传

治平

冯 京 《通志》载在咸宁,今两存之。

元

泰 定

聂 炳 有传

明

洪 武

李盛 戊辰 张添祐 甲戌

永乐

曹 闾 丙戌 邓 真 辛卯,山东按察使,有传。

何 忠 辛卯 刘 渊 戊戌,有传。

正统

王 竑 己未,兵部尚书,有传。

王 埏 壬戌,布政,有传。

景泰

上泰 甲戌,吏部员外。

天顺

杜 铤 丁丑 任 玺 庚辰,监察御史。

成化

周仲芳 戊戌

弘治

刘 绩 庚戌,镇江知府,有传。 张 璞 乙丑,有传。

正德

何 炯 辛未,知县。 吴 宝 甲戌 殷承叙 甲戌

罗 英 甲戌,参政,有传。

嘉靖

万民英 庚戌 黄 茂 乙丑 帅 兰 辛未

万历

郭正域 癸未,有传。 段 然 乙未,有传。

汪之彦 戊戌,推官。

熊廷弼 戊戌,兵部尚书,有传。

董 暹 甲辰,副使,有传。 游士任 庚戌,有传。

陈之洵 庚戌,副使,有传。

贺逢圣 丙辰,榜眼,大学士,有传。

吴裕中 己未,监察御史,有传。

刘民悦 己未,知府,有传。

天启

李玉华 壬戌,知县。

李应选 乙丑,阆中知县,有传。

崇祯

鲁 鉴 甲戌,有传。

李大年 丁丑,温州府推官。

李自重 庚辰,济南推官。

吴元伯 庚辰,特赐进士。

国朝

顺治

陈一道 丁亥

陈 基 己丑,即墨知县。

戴治盛 壬辰,霍丘知县。

袁鼎先 戊戌,新河知县。

陈肇昌 戊戌,广东提学内升。

吴升东

己亥,候选主事。

汪士奇 己亥,候选中书。

江 源 辛丑,茌泽知县。

康熙

陈国祝 丁未,永清知县。

胡鸣皋 庚戌,青县知县。

汪 琯 庚戌,吏部员外。

杨之奇 丙辰。

举人

明

洪武

徐 观 甲子

樊时中 甲子

李 盛 甲子

余思泰 丁卯

何 源 丁卯

宋 启 庚午

李时亮 庚午

温仲和 庚午

郭 平 癸酉

杨 贵 癸酉

张添祐 癸酉

陈 岳 丙子

余 祐 丙子

黄 瑱 丙子

胡 源 丙子

宋 惠 丙子

建文

李 巽 己卯

永乐

吴 谧	壬午	马 武	壬午	曹 闾	壬午
卢 韶	乙酉	杜胜宗	乙酉		
邓 真	戊子,解元。	辛友贞	戊子	杨 遂	戊子
鲁 竑	戊子	张 弘	戊子	何 谅	辛卯
詹 炳	辛卯	刘 渊	甲午	刘 钟	丁酉
陈 鉴	丁酉,有传。				
严 简	庚子	许 谦	庚子	李友文	庚子
熊 英	癸卯	贝宗海	癸卯	曾永和	癸卯

宣德

邓珏	丙午,崇祀“乡贤”。			李 俊	乙卯
----	------------	--	--	-----	----

正统

王 竑	戊午	王 庾	辛酉
-----	----	-----	----

景泰

任 玺	庚午	王 宾	庚午	樊 镛	庚午
刘允宽	庚午,霸州知州,有传。				
宋 鉴	癸酉	宰 敬	癸酉	张 敏	癸酉
上 泰	癸酉	陈 瑄	丙子,参政。	杜 竑	丙子

天顺

赵 文	壬午
-----	----

成化

汤 泓	乙酉	丁 锐	乙酉		
上 观	戊子,知府。	周仲芳	丁酉	刘绍佺	庚子
段 经	丙午	余 翀	丙午		

弘治

刘 绩	己酉	黄 金	己酉,以指挥荫袭中。		
陆彦广	壬子	姚文道	壬子	康 贵	壬子
王 凤	辛酉	何 炯	辛酉	翟 懋	辛酉

张 轺 甲子

正德

陈大绩 丁卯 段 绣 丁卯 陈 梅 丁卯

丘 璠 丁卯,卫籍。 罗 英 癸酉 吴 宝 癸酉

王 铠 癸酉 罗 云 丙子 高 岱 己卯

康 科 己卯,知县,有传。

翟 表 己卯

嘉靖

杨继英 壬午 陈宗年 乙酉 邓 彬 乙酉

吕调音 辛卯,眉州知州,有传。

张 鹏 丁酉,通判。 赵子伯 庚子,知州。

杜一山 庚子,知县。 陈 墀 庚子 王应明 癸卯

方 清 癸卯 顺廷训 癸卯 丘桂芳 癸卯

张启晨 丙午 栗应瑞 丙午 罗 琳 己酉

黄 茂 己酉 萧鸣虞 己酉,内乡知县。

侯 甸 壬子 冯 尚 戊午,知县。 刘体元 戊午

黄 芬 辛酉,知县。 余 蓁 甲子,知县。

隆庆

吴守约 庚午,嘉定知县。

万历

萧时鸣 丙子,重庆通判。

郭自成 己卯

郭正域 壬午

欧阳晟 乙酉

任家相 戊子,中顺天乡试,有传。

段 然 辛卯

刘成功 辛卯,宾州知州。

熊廷弼 丁酉,解元。

汪之彦 丁酉

胡之宁 丁酉

葛大同 丁酉,袁州知府。

董 暹 庚子

陈之洵 庚子

吕时焕 庚子,惠州同知。

贺逢圣 癸卯

杨 焕 丙午

游士任 丙午
 谢登第 壬子
 李应选 乙卯
 彭光祖 戊午,迁安知县。

天启

刘应震 辛酉,黄冈教谕。
 李玉华 辛酉
 陈尧典 丁卯,丰都知县。

崇祯

杨士吉 癸酉
 吴元伯 癸酉
 黄正色 丙子,芜湖知县。
 谢时扬 丙子,崇德知县。
 李自重 丙子
 夏九功 丙子
 陈一道 丙子
 万宗孟 己卯
 詹大衍 壬午
 戴治盛 壬午

国朝

顺治

刘藜灿 丙戌,安定知县。
 陈肇昌 辛卯
 徐奇功 甲午,知县。
 杨 硕 甲午
 江 源 甲午
 林广生 丁酉,清丰知县。

王时化 己酉,解元。
 吴裕中 乙卯
 刘民悦 戊午
 胡柱明 戊午

刘相可 辛酉,峨眉知县。
 金 城 丁卯,合州知州。

鲁 鉴 癸酉
 李大年 癸酉
 万尔昌 丙子
 吴 球 丙子,祁阳知县。
 黄文旦 丙子
 陈楚望 丙子,合肥知县。
 蔡之俊 己卯
 朱正国 己卯,安乡教谕。
 向 澜 壬午

陈 基 戊子
 袁鼎先 甲午
 徐如梅 甲午
 任启余 甲午
 陈昌谟 甲午,武功知县。
 吴升东 丁酉

叶自岩 丁酉,黄冈教谕。

汪士奇 丁酉

康熙

丁盛时 癸卯

汪 惇 癸卯

邓文源 丙午,任丘知县。

胡鸣皋 己酉

杨之奇 壬子

吴 岳 丁巳,特开乡试中。

黄 松 戊午

孙笃斐 辛酉中,黄州籍。

余尚钰 甲子

艾自馨 丁酉,教授。

夏雨澍 庚子

陈国祝 癸卯

徐尚达 丙午,怀远知县。

刘 奇 己酉

张 耀 己酉

周 灏 壬子

陆 韬 丁巳,特开乡试中。

詹士懿 戊午

秦如镐 甲子

贡监

明

洪武

方 鼎 参政

宣德

丘 陵 参议 王 玘 户部主事 樊 鉴 罗 茂

王 鹏 毛 贤 皮 宣 江 华 范 琼

王 麒

正统

黎 忠 推官,有传。 姚 琼 何 冕 王 钺

董 珽 段 让 知县 曾仲贤 董 珍 刘 玺

成化

耿 铨 萧 广 李 槐 杨 昱 王玉鉴

周 麟 张 通 王 璠 詹 楨 郭 玺

弘治

吴俊	奚恭	汪必辅	彭玉	段富	
刘通	张友谅	叶景韶	方耀	沈世昌	
陈会	宰廷俊	宋文鼎	杜钧	常庆	沔县知县

正德

吴祯	巩昌知县	史云程	吕瑄	谢铠	
叶文兰	骆金	刘清逸			

嘉靖

曾铠	龙霖	毛瑞	吴宪	张雍	
熊钟岳	王重	萧汉	赵仪	葛秀	
陈聪	陈熙	杨芳	唐辅贤	张芳	
吕调元	赵子仲	刘钺	叶翹	蒋成	
郑笈	张楷	陈常	罗龙	李沛然	
葛九畴	詹节	恩贡	谢钦	黄华	

游 鄂

万历

王应昌	黄芳	毛善	贺文举	刘体亨
张翱南	周至德	选贡	王钱	余有执
王虚己	罗衣	曾守礼	恩贡,通判。	李灼
吕翰	王本和	陈光裕	郭化成	刘文灿
吕廷鸣	张应箕	向本瀛	陈莹	刘崇文
袁旦	大名,通判。	王宗皋		
孙鹏举	渭县知县,有传。	颜国年		
曾先	恩贡,岐山知县。	张应亨		

天启

许炜	朱正国	恩贡	李春元	江弘育	李畅然
夏大生					

崇祯

李一枝

刘应龙^①

王师文 恩贡,莱州通判。 汪 湛 恩贡

高启明 余伊学 戴文星

吴 琮 任丘知县 徐封魏 李如梅 潮州通判

傅之卿 训导

国朝

顺治

聂文翰 陈 冉 电白知县 林 秀

沈一道 县丞 胡自章 知县 胡良建

余 经 臧日爆

龚 芳 副榜,澧州学正。

庞 载 副榜,汾阳知县。 张四维 崇仁知县

刘日升 恩贡 瞿 清 熊 雯 遂溪知县

程 封 拔贡 叶 秀 麻阳训导 刘承秀

刘梦龙 慈利训导 姜宸遴 恩贡

康熙

陈 适 江陵训导 常士元 冯景昉

陈骏声 程文焕 章 程

王 瑶 让世馨 副榜 吴元俊

张正芳 训导 汪 沅 任之奎

陈于王 詹大冲 黄陂教谕

万为随 桂阳训导 蔡 端 麻阳训导

饶启心 教谕 陈 襄 平江教谕

胡士迁 应城训导 蒋弘毅 辛田教谕

① 江苏、湖南本手写补作“何应轸 副榜,钦取监元。”

吴世禄	光化教谕	严 奭	陈大毕
陈大年		陈大章 中书	陈大辇
陈大华		汪 泓	陈际昌
王家佐		蔡 瑞	程 契
江 松		郑廷(璧)[璧]	李乃豫
高惟岳	蒲台县丞		

武科进士 前无考

国朝

顺治

尹 钦 壬辰,总兵。 孙子后 壬辰

康熙

吴国治 丁未

举人

明

崇祯

汪海若	丁卯,解元。	汪 韬	癸酉
桂联芳	癸酉,守备。	刘成祥	癸酉,守备。

国朝

顺治

周 斌	辛卯	尹 钦	辛卯	周正昌	辛卯
王遇暹	辛卯	徐三才	甲午	刘志远	甲午
杨安国	甲午,署副将 ^① 。			张孙易	甲午
任 重	甲午,参将。	齐之楚	甲午	孙子后	丁酉

① 署:代理。

江九鼎	丁酉	马应运	丁酉	黄佐	丁酉
沈庆昌	庚子	严万年	庚子	袁钟灵	庚子
钱必选	庚子	曾世荣	庚子	任其经	庚子
黄明道	庚子	周大成	癸卯	孙继仲	癸卯
杨德明	癸卯	李廷谏	癸卯	吴庄生	癸卯
郭邦彦	癸卯	解天禧	癸卯	刘克刚	癸卯
叶文桂	癸卯	刘遐	癸卯	徐斌猷	丙午
吴国治	丙午	余璫	丙午	陈弘猷	丙午
赵朗	丙午	熊全	丙午	王之鼎	丙午
程祉	丙午	叶奇遇	丙午	石琮玉	丙午
吴鸿景	丙午	曹扩	丙午	丘绍孔	丙午
陈国栋 ^①	壬子	熊奇龙	壬子	蔡之骐	戊午 ^②
张士杰	戊午	盛时	辛酉	陈铭	辛酉
舒其昌	辛酉	陈袭	辛酉	任浚	甲子
杨甲斌	甲子	吴中礼	甲子	姚黄	甲子
黄国典	甲子				

辟荐

汉

费 祎 有传

晋

孟 嘉 有传 孟 陋 有传 李 光 有传

① 栋：江苏、湖南本手写补作“柱”。 ② 戊：江苏、湖南本手写补作“庚”，误。

唐

李 善 崇贤馆学士,有传。 李 邕 御史中丞,有传。

李 栻 凤翔节度使

宋

李宗孟 举茂才。年十三,召试舍人院。

明

辜 皋 举人才,有传。 曹 泰 举经明行修,尚书,有传。

刘 维 举智略,尚书。 田大圭 举人才,县丞。

武勋

汉

马 震 封涿亭侯

明

王 贵 千户

国朝

杨安国 游击 高明霄 世袭二等阿达哈哈番

卷之六

选举志〔二〕

武昌县

进士

宋

嘉熙

邵应豹 戊戌,有传。

嘉祐

张山翁 荆湖宣抚司干事

咸淳

张 谔 仕至司农,有传。

元

延祐

丘 堂 甲寅,平江州判,有传。

元统

邵公任 壬午,武冈州录事。

明

洪武

李 盛 乙丑

弘治

李廷蕙 乙未刑部主事^① 熊 泰 乙丑

正德

胡 椿 戊辰,仕至户部员外。

孟廷柯 辛未,仕按察司,有传。

嘉靖

李 维 壬辰,参政。 熊 桴 庚戌,仕至巡抚,有传。

万历

孟绍庆 庚辰,历仕至按察司,有传。

孟习孔 乙未,仕至太仆卿,有传。

刘学周 乙未,江陵知县,有传。

杨正奇 丙辰,仕至汾阳参政。

彭祖寿 己未,仕兵科给事中。

崇祯

邬明昌 丁丑,钱塘知县。

国朝

顺治

邬汝楫 乙未,桐城知县,有传。

严翼王 乙未,滋阳知县。

姜 愬 己亥,长治知县。

康熙

周士皇 癸丑,扶沟知县。 王懋才 壬戌 王懋德 壬戌

举人

宋

嘉熙

① 弘治年无乙未年,有误。

邵应豹

元

至治

王廷扬 癸亥,有传。

泰定

李瑾中 丙寅 聂炳中 丙寅 汪存礼

至正

卫士真 庚寅,书院山长。 胡明寿 龙泉书院山长

明

洪武

唐 音	丙子,杭州教授,有传。	何 诚	丙子,石泉知县。
李 英	壬午,罗山教谕。	黄仲德	壬午,武阳教谕。
王宗贤	乙酉,灌阳训导。	孟 佑	乙酉,同知,有传。
王 辛	乙酉,章丘县丞。	朱 勋	乙酉,交州同知。
童 禧	甲午,歙县知县。	黄 敏	甲午
邵 圭	甲午,郎中,有传。	詹文升	甲午,长汀知县。
田 济	庚子,河间同知,有传。		

宣德

宁胜先 丙午,遂宁知县。

正统

孙 熙 丁卯,汝宁推官。

景泰

周 源 庚午,广信知府,有传。

方 进 庚午,云南僉事,有传。

李 显 癸酉,顺天府判。

天顺

姜 辅 己卯,刑部员外。

成化

张 镛 己酉,知县。

弘治

汪 淳 乙卯,寻甸知府,有传。 熊 泰 戊午

张 佐 戊午,弥勒知州,有传。 李廷蕙 戊午

胡 裕 辛酉,通判,有传。 胡 椿 辛酉

贺 爵 辛酉,内江知县。

周 楫 甲子,推官,有传。

严 杰 甲子,资县知县。 孟延柯 甲子

正德

周 楷 丁卯,知县,有传。 陈 銓 丙子,灵川知县。

嘉靖

李 维 戊子 熊 桴 癸卯 李 绪 己酉,同知。

孟 仿 壬子,镇宁知州,有传。

隆庆

吴时泰 丁卯,重庆推官。 孟绍庆 庚午

万历

周庆地 癸酉 方学诗 癸酉,建昌知县。 刘学周 戊子

朱朝望 戊子,衢州同知。 王之楨 甲午 孟习孔 甲午

王守经 丁酉 周事一 丁酉,邓州知州,有传。

杨正奇 丙午 孟 登 己酉,兰阳教谕,有传。

袁梅芳 壬子 彭祖寿 戊午 胡 勋 戊午,荣泽知县。

天启

周有翼 辛酉,副使,有传。 周有纪 辛酉,临安知县。

曹若参 甲子,户部主事,有传。 蔡 仕 丁卯,朝邑知县。

崇祯

邬明昌	丙子	姜 愼	己卯	王元善	己卯
邬汝楫	壬午	严君化	壬午		

国朝

顺治

刘 遏	辛卯, 汉川教谕。	黄道晃	辛卯
李之骥	辛卯, 宁陵知县。	孟道脉	甲午, 娄县知县。
严翼王	甲午	夏 棕	丁酉, 清河知县。
王之鲸	庚子, 秦州知州。		

康熙

王谓鼎	壬子	周士皇	壬子	王懋才	戊午
高 俊	戊午	王懋德	辛酉	张 谦	辛酉
孟立德	辛酉	周世仁	甲子		

贡监

明

蔡 洙	主簿	王 樊	宁国府同知
陈文蔚	襄阳教谕	胡文寿	本县训导
刘汉章	吴县县丞	邓公明	
方 原	周至县丞	王 哲	鸿胪寺主簿
王添福	陕西道御史	胡思文	广东道御史
周 缙	有传	王思忠	工科给事中
永乐			
李友承		何文焕	刑部主事 严 斌 主簿
柳 文	鸿胪寺序班	汪士铭	广东道御史
李 衡		姚文彧	金溪知县
刘 魁	四会知县	王 观	上元县丞 孟仕恭

宣德

余仲信 繁峙知县

张希智 县丞

谢志高 推官

李 琥 有传

正统

汪 广

易 景 兵马司

王 龄 武隆知县

鲁 谧 布政司经历

孟思贤 华阳知县

景泰

张 斌

姚志诚

黎 钺 浮梁县丞

易仕廉 綦江知县

天顺

熊思文

严 俊 青神知县

苏 润 序班

胡 琦 主簿

胡 卿 江安县丞

成化

易 荣 经历

刘 伟

邵 铤 经历,有传。

熊友信 安县知县,有传。

李 海

黎 忠 福州知府,有传。

华文富

李 纯 卫经历 周士公 州判

孟仕逊 东阿县丞

李 昱 安东县丞

赵 鼎

孟思□^① 卫经历 朱 泰

高 镛 熊 铤 审理

萧 瑄 上高县丞

李 汉 赵州知州 梁 成 主簿

严 诚 邵 钦

曾 辉 主簿 易 观 检校

唐 瓚 庆云知县 伍 聪 知县

贺 睿 苍梧知县 龚 政 密云训导

徐 达 经历

① 国图本手写补为“诚”,然江苏本残字似为左“金”旁顶。

郭 经		陈 玺 经历	田 良 训导
王 瓚 纪善		周 佐 上林苑丞	方 汉 临邑县丞
唐 耜 州判		田 奭 金溪县丞	方 涣 卫经历
胡 禄		周 相 瑞安县丞	
弘治			
叶 广		王 文	邵 淮
朱 昕 典宝		熊 清 南海县丞	吴汝霖 卫知事
陈云汉 许州训导		王 吉 副提举	严 敞
毛 伦 经历			
正德			
周 储		卓 智 苍梧县丞	余 槐 有传
唐 悌 文昌知县		李廷节	李 芳
何 伟 永崇知县,有传。			
刘 澜 州判		方 环 经历	汪 圭 知事
姜 直 州同		姜舜彝 布政司经历,有传。	
嘉靖 ^①			
李文瑞 吴江县丞		李 仪 卫经历	张廷猷 断事
胡 裡 经历		胡 禳 章丘县丞	
黄朝用 太平知县,有传。			
张廷槐		姜 坚	邵元彬
陈继芳 荆州教授,有传。			
邵 浹 奉化县丞		姜 亶 临安教授	张 檄
周时举 华州州判		胡 桂 卫知事	周 鼎
方 珥 汝阳训导		王 藩 主簿	周 梧 州判
周之京 峨嵋知县		邵 枏 照磨	
李 相 清河县丞,有传。			

① 嘉靖:国图本抄漏。

熊 焯	扬州训导	曹 涵	训导	姜 墨	训导
严希旦	训导	毛 锐		刘梦庚	巫山教谕
熊梦祥	铅山县丞	张子楫	训导		
隆庆					
钱 盛	孟绍序	彭泽知县	黄 惠	熊国瑞	
胡文表	李时雍	有传	方天旦		
万历					
周庆远	鲁山县丞	邵中美		萧凤采	
周宗召	训导	汪大经	知县	孟 敷	训导
刘承敬	通判	万汝济		陈舜典	训导
胡从韶		孟绍勋	副榜	胡万宾	教谕
杨 燧	济南教授,有传。				
刘 衡	通判	李自成	训导	黄 冕	贡元知县
吴之肃	训导	宋德盛	通判	孟心孔	瑞州府判
刘 拱		杨 璉	梧州府判	孟绍望	丹陵教谕
姜 倅		萧时元		万 里	训导
章应鳌	训导	杨维乔	教谕	李懋夫	
吴 轨	淑浦教谕	曹廷对		张 埧	
天启					
孟道弘	同知	孟晋第		周政一	
周有谷	知县	周有冯			
李周华	赣州知府,有传。				
孟鼎第	清河知县				
崇祯					
熊正南	知州	邵巨	河阴教谕		
孟道翼	光禄署正,有传。				
孟赐第	华州同知	唐开勋	经历	江之会	
黄廷对	训导	童一开		姜大良	竹溪教谕

李楚生	有传	童心恪		杨道壮	训导
孟履吉	钦天盐博士	明 著	钦天盐博士		
彭文华		刘汉清		熊浣初	
吴如揆		周有赉	训导	叶芳春	
刘光钥	训导	胡有忠		吴正夫	
夏 璜					

国朝

李天锡		刘日襄	有传	周有受	祁阳教谕
刘日永	有传	张皋谟	真定知府	周有猷	宁远教谕
陈 诤		孟道明		孟人吉	主事
孟易吉	綦江知县	姚 黄		孟安齐	澧州学正
周文光	训导	刘先蕙		闵 才	澧州学正
程 翀	训导	杨道临	训导		
康熙					
孟醇儒	县丞	余继善	县丞	周士贵	训导
孟长民	训导	涂宗尼	训导	唐 弓	
孟见齐	训导	张稷谟	通判	周主一	
邬能炳	石门教谕	吕之声		杨士升	枝江教谕
刘带蕙	训导	邬能燠	训导		

武科进士

明

万历			
吴时乔	丙戌,以功世袭指挥,有传。	吴汉才	己未
夏永清	己未,守备。		

国朝

顺治

周樊勋 沈岐仪 守备

康熙

汪辉然 庚戌

举人

明

万历

吴时乔 乙酉 周仕一 辛卯 汪如鏜 庚子,见《孝义》。

王定一 吴汉才 王守中 夏永清 戊午

天启

唐銮色 辛酉 吴继武 丁卯

汤 铭 丁卯 石补天 丁卯

崇祯

张士璜 癸酉 龚乘上 (巳)[己]卯 夏平世 庚子

袁定邦 庚午 吕 望 (巳)[己]卯 孟继邹

毛钦明 有传 徐豹变 (巳)[己]卯 汪澄清 壬午

国朝

顺治

李梦弼 甲午 方可从 向文明 周樊勋 庚子

沈岐仪

康熙

孙继仲 癸卯 徐云阁 癸卯 汪辉然 己酉

吴仕瑶 己酉 苏廷浩 己酉 魏 佐 壬子

叶有功 壬子 何仕清 壬子 徐秉忠 甲子

辟荐

明

周明善 举贤良方正,定远知县。

蔡 哲 举经明行修,追封济阳王,有传。

邵楚贤 举经明行修,知县。 罗 远 举经明行修,知县。

万 钟 举经明行修,助教。 蔡 润 举人才,知府。

李明德 举人才,扬州知府。 汪 璵 举人才,知府。

王文玉 举人才,苏州知府。 张 任 举人才,宝庆知府。

陈 渥 举人才,云溪知县。 张 铭 举人才,武阳知县。

伍朝宗 举人才,雷州同知,有传。

毛楚西 举楷书,教谕。 汪朝宗 举楷书,知府。

王 樊 举经明行修,同知。

武勋

明

黄 琛 驸马都尉,骠骑将军。 黄 铤 都督僉事

咸宁县

进士

宋

陈 倬 陈康民 陈求道 有传 王 晔 有传

冯 京 治平中三试第一^①,有传。

元

李鹏翔 有传 胡可仕 有传 王 谒 有传

^① 治平:宋英宗年号,公元1064—1067年。

冯良卿 广西路安府同知 冯升之 楚威顺王参谋
李 祥^① 有传 葛仲容 澧州路学教授

明

永乐^②

陈 智 丙戌,有传。 秦荣祖 丙戌,有传。
冯 敏 乙未,有传。 鲍 时 甲辰,有传。

宣德

方 洙 丁未,有传。

弘治^③

王子成 癸丑,琼州知府。

正德

黄 表 辛未,有传。 周家庆 庚辰

嘉靖

唐时举 丁未

隆庆

程 沂 戊辰,有传。 王 焕 辛未,有传。

顾 问 辛未,有传。

万历

孟养浩 癸未,有传。 赵邦柱 己丑

赵嗣芳 丙辰,有传。

国朝

顺治

郑邦相 戊戌,知州。 郑之湛 辛丑,翰林院侍讲。

① 祥:国图本抄作“详”,形近误。 ② 永乐:国图本抄漏。 ③ 弘治:国图本抄漏。

举人

明

洪武

鲍琮 庚午,有传。 刘 忠 丙子

张诚杰 丙子,断事。

永乐

潘 奇 己卯,永丰知县。 彭 敬 乙酉^①,府同知。

陈 智 乙酉 秦荣祖 乙酉

秦 苑 戊子 冯 敏 甲午

樊 谦 戊子,上饶教谕。 邹 郁 辛卯,达州学正。

鲁 谅 甲午,大庾教谕。 李 荣 甲午,南浦训导。

万 福 甲午,断事。 唐 震 丁酉,四川按察司。

陈以忭 庚子 方 洙 庚子

任 广 庚子,南漳训导。 鲍 时 癸卯

王 质 癸卯

宣德

钟 振 丙午

正统

王 纶 丁卯,知县。

景泰

李九思 庚午,巫山教谕。 方 杲 癸酉

陈 汉 癸酉,潜江教谕。

天顺^②

陈 宝 (巳)[己]卯,知府。 俞 敏 壬午

成化

王 禴^③ 乙酉,有传。 余良佑 甲午,推官。

① 国图本抄作“癸”,误。 ② 国图、湖南本无,江苏本有。 ③ 国图、湖南本作“糸”旁。

王子成 丙午

弘治

方 琛 壬子,知县。

王 祺 壬子,袁州同知。

樊 立 壬子,知县。

徐 馨 辛酉,知县。

钱 珊 辛酉,有传。

正德

余 珂 庚午,泸州知州。

黄 表 丙子 周嘉庆 己卯

嘉靖

姚 亨 甲午,有传。

何楚钟 甲午,静宁知州。

余 让 丁酉,泸州知州。

吴 镗 庚子,知县。

程 沂 癸卯 唐时举

丙子 王 焕 辛酉

隆庆

顾 问 庚子 刘 止 庚午中顺天乡试

万历

赵邦柱 丙子

赵邦梅 己卯,宜黄知县^①。

孟养浩 壬午^②

廖学易 辛卯,有传。

阴朝阳 甲午,彝陵学正。

赵嗣芳 庚子

余 蛟 庚子,府同知。

王维受 癸卯,永新知县,有传。

王珍锡 癸卯,主事。

陈所问 己酉,国子监博士。

余应升 壬子,黄冈教谕。

孟应乾 戊午,有传。

天启

李 玉 甲子,有传。

崇祯

郭翹中 中顺天乡试

① 宜:国图本抄作“宣”,形近误。 ② 壬:国图本抄作“子”,误。

国朝^①

顺治

郑邦相 辛卯 郑之湛 庚子

贡监

明

李 濂	葛 素	吴 澄	吏目	黄友善	知州
周安义	绵州知州 ^②	王必高	典史		
晏允忠	监察御史	商 振	员外		
金世雄	知县	王 楨	知县		
吴仕华	知州	吴思政	知县		
曾 恕	知县	徐 铠	知县		
王 敏	鸿胪寺序班 ^③	罗中孚	知县		
韩 瑜	照磨	陈思恭	王府典仪		
徐 瑛	典宝	鲁 和	州判		
余 峻	宁州州判	张 观	县丞		
陈 纁	莆田知县	张 信			
刘 政	断事	钱 贵	经历		
朱 芾	经历	刘 谦	经历		
周 璲	经历	曹 澜	经历		
方 楷	主簿	龙 斌	都事		
夏 时	主簿	熊 鉴	主簿		
商 质	知事	李 泰	检校		
雷 春		饶 忠	知县		
吴 政	主簿	卢 智	主簿		
叶 春		吴 举			

① 国朝：国图本抄漏。 ② 国图本误抄作“线”。 ③ 寺：国图本抄漏。

严敬照磨
 李晋训导
 裴广吏目
 秦琮教授
 熊正
 樊综
 鲁广训导
 汪洪
 夏瓚训导^②
 李友谅县丞
 黄玘
 章显主簿
 金璪经历
 徐泰同知
 余璫训导
 余体乾
 孙秀
 钱玠知县
 余圯
 钱塘兵马司
 镇瑀县丞
 姚亨
 王廷恩
 施镛知县
 徐铎

李约
 黄金^①
 施瓚典宝
 杨瓚教谕
 樊睿
 陈瑛
 钱忠推官
 雷誉
 张诚
 彭校县丞
 韩淦县丞
 陈春知县
 潘冕训导
 朱禔^③训导
 余玠
 方悦知县
 樊孟芳知县
 钱柯知县
 万里
 余瑚县丞
 施璜知州
 刘东璧
 余大经
 唐毓
 张霖

① 金：国图本误抄作“全”。 ② 训导：国图本抄夺。 ③ 禔：国图本误抄作“烟”。

唐 诰	知县
余 席	训导
王廷禄	
车 轩	
傅 皋	
郑一鹏	训导
顾春阳	都给事
余吉士	
熊美才	
程 械	
韩仕明	
陈 炳	
刘以任	
郑崇儒	
何所尚	知县
余大炜	
周之麒	县丞
阚正观	教谕
周之奭	
顾九德	通判
刘 摈	训导
王维昌	
陈元勋	同知
朱 贲	训导
施 淳	达州训导
季而昌	知县
王宠锡	
何 京	

黄 金	知州
余 惠	经历
张仁纲	
周 仁	
王廷平	训导
余吉鸣	
黄子楷	县丞
刘 止	
何良相	
钱东颜	推官
王维城	
陈 淑	
徐 琳	
赵邦楫	
余希文	
吴 简	教谕
黄 铉	学正
唐廷英	
周之龙	
阮 宪	教谕
孙世辅	
王维培	
王献箴	州判
郑廷柱	
赵九畴	
刘 渐	
王钦锡	训导
曹明燮	拔贡

白文明	训导	阮鸣鸾	
赵嗣蕙		陈奇勋	学正
王禹锡	长山县丞	陈 灿	知州

国朝

朱世昌	恩贡	张鹏程	长宁知县
余象贤	潜江训导	余日君	拔贡
张 檄	副榜,登州府判。	陈其懋	知州
沈建昌	襄阳教授	王晋锡	慈利教谕
陈 璧	吴县知县	刘德健	成都府推官
王命爵	教授	刘 晔	恩贡
李旭白	知县	潘 标	安仁训导
涂之俊		赵拱乾	慈利训导
唐范英	恩贡	阚 晔	
钱有年		余希圣	
廖 宰	孝感训导	王命旦	
钱象俨		郭民瞻	
涂式金		胡鸣鸮	
李赞中		胡登悌	
唐世皞		彭师沉	
夏尚志	泸溪教谕	杨扶日	

辟荐

明

李 广	有传	刘 维	有传
李 祥	有传	唐敬昭	大理寺经历

国朝

王家相 永州知府

嘉鱼县

进士

宋

宝佑

程一飞 李 桂

咸淳

李大同

明

永乐

宋兴文 甲申,大兴知县。 程 鉴 乙未,工部主事。

李 英 戊戌,州判。 孔 儒 丁丑

景泰

李 田 甲戌

成化

李承恩 甲辰 吴廷举 丁未

弘治

李承芳 庚戌 李承勋 癸丑

正德

周 夔 辛巳,富顺知县。

嘉靖

吴调羹 己丑 尹 相 壬辰

方逢时 辛丑 雷上儒 癸丑

万历

李 沂 丙戌,吏科给事。 李 懋 己丑

游士任 庚戌,监军御史。

天启

熊开元 乙丑

崇祯

金 声 戊辰 尹民兴 戊辰,大仆寺卿^①。

尹奇逢 辛未 任弘震 庚辰 任乔年 庚辰

举人

宋

嘉熙

李伯殊 戊戌 李伯嘉 解元,钱塘县尹。

宝佑

鲁登龙 乙卯 李 格 解元

咸淳

李大同 戊辰 李大圭

嘉定

李义山 枢密院编修

明

洪武

李 玘 庚午,成都教授。 陈 宜 己卯,工部员外。

殷 宏 己卯,遂平知县。

永乐

宋兴文 壬午 李 真 乙酉

雷 晏 乙酉 胡文曷 辛卯,训导。

① 大:太的古字。

周 恕	辛卯,岳池知县。	史 让	辛卯,德兴训导。
黄思信	辛卯	程 鉴	甲午
李 英	甲午	岑必通	甲午,教谕。
程存诚	甲午,教谕。	张 本	丁酉
程 鹏	丁酉,知县。	张友文	丁酉,广州府判。
李 华	丁酉	薛思敬	庚子,阳春知县。

宣德

李 沧	己酉	岑 玫	壬子	古 信	乙卯
-----	----	-----	----	-----	----

正统

徐永聪	甲子	童以明	甲子	程 涵	丁卯
-----	----	-----	----	-----	----

景泰

孔 儒	庚子	雷九成	庚午,训导。	李 田	庚午
-----	----	-----	--------	-----	----

龙 渊	癸酉,涪州知州。
-----	----------

成化

李为臣	戊子	杜 福	戊子	李承恩	庚子
吴廷举	庚子	李承箕	丙午	李为义	丙午
童 圭	丙午	陆 贤	丙午	李承芳	丙午

弘治

徐 玹	己酉	鲁 儒	己酉,顺庆府同知。
李承勋	壬子	杜循序	壬子
任 岳	乙卯	李承颜	乙卯

正德

李 整	庚午	吕 端	庚午	周 夔	癸酉
-----	----	-----	----	-----	----

嘉靖

吴调羹	乙酉	尹 相	戊子	李宝联	戊子
李乔龄	庚子	方逢时	庚子		
李 冬	庚子,中四川乡试。				
雷上儒	己酉	程一夔	壬子	李宝蒙	壬子

李宝约	戊午	任邦实	辛酉	周廷韵	甲子
万历					
李 沂	癸酉	李 憭	戊子		
邓杨楚	丁酉	中顺天乡试			
游士任	丙午	熊开元	戊午		
天启					
尹民兴	甲子	金 声	甲子,中顺天乡试。		
崇祯					
任弘震	庚午	尹奇逢	庚午	方贞通	庚午
任乔年	庚午	雷士顺	丙子	李占解	壬午
高自远	壬午,建平知县。				

国朝

康熙

刘均运	己酉	周志德	己酉	林仪骝	辛酉
-----	----	-----	----	-----	----

贡监

明

徐兴权	桃源知县	徐兴道	
朱文昂	都督府知事	王 志	典史
游良能	射洪教谕	刘景文	刑部主事
宋文显	修武教谕	夏 圭	
徐方贡	州判	李 暹	主簿
舒文焕	照磨	李 忠	县丞
来如宾	吏目	崔 嵩	鸿胪寺序班
王思诚	卫经历	危 安	
王 礼		姚思俊	
李绍原	海宁知县	龙必升	渭南县丞

李 珪 江山知县
 刘 绅 布政司知事
 蔡 澄 知县
 邓廷爵 知州
 周 溥 经历
 石玉成
 杜 祯 检校
 孔 选
 游廷昌 营山知县
 李 淮 主簿
 李 谟
 孙 玘
 邓 禄 知县
 朱 俊 训导
 孙 明 训导
 江 灏 经历
 罗 锦
 徐 圭
 程 正 训导
 徐 璋 知事
 李承亨 训导
 王 邦
 周 宾 训导
 来 绶 永宁教谕
 程 贤
 任万全 训导

李 鼎 主簿
 张以善 县丞
 黄 淮 县丞
 李 显
 李 震 都督府经历
 周 忻
 李仁源
 江 源 通判
 张 澄 江油知县
 李 源 知县
 王 琨
 李 黄
 徐 谅 知州
 张 淳 县丞^①
 许 谅
 周 文 知事
 丁 贵 卫经历
 舒 聪 训导
 李 熙
 任 升
 蔡 琛
 程 贯 浦江知县
 李 春 沧溪教谕
 雷 辇 训导
 李鹤龄 训导
 雷正春 训导

① 国图本缺淳县丞三字。

徐 墉		李 整	
吕 端		徐 绶	襄阳教授
杜 璘		李 璿	训导
李 珩		蔡从政	
蔡从文		周如孟	
李尧民		徐 堂	训导
雷孟春	训导	李嵩龄	训导
蔡从岳		杜循古	
李九龄 ^①		王彦卿	
萧 壅	训导	万 新	训导
李 桀	训导	游继思	
李承清		古 述	
李承问	训导	孔 述	训导
郑 寰		李 似	
任民思 ^②		李 森	天长知县
李 皦	教谕	李 褒	主簿
蔡 偲	教谕	古宗儒	训导
杜廷元	训导	鲁孟詹	
雷 玳	宜黄教谕	萧辅尧	训导
蔡 佃	训导	刘光国	曹州同知
尹 梅	训导	游体嘉	训导
程 坪	建阳教谕 ^③	古 柏	训导
杜廷升		陈时叙	
雷敏中	县丞	程鹏搏	县丞
黄 袍		古 榧	处州教授

① 湖南本无“九”字。 ② 国图本“思”误抄作“恩”。 ③ 国图、湖南本缺“教谕”二字。

李宝会	上高教谕	李 慄	饶州教授
尹汝杨	教谕	李作楫	东安教谕
邓扬楚		尹以谈	枝江教谕
尹以谒	训导	汤 训	训导
李 快	常州教授	黄文炳	通山教谕
徐继治	训导	古学礼	叙昌教谕
李宙宪	训导	李宙奕	黄州教授
周昭文		尹以论	
任完璧		方逢运	训导
方 接		毛 序	
徐自新	训导	陈嘉谋	
游士逵	训导	尹以誉	训导
胡希亮		萧颐吉	福州府判
雷 骧		方日隆	训导
李宙逊		李占与	训导
李宙裘		吕缙明	
雷 骥		游时昂	
赵应康		黄应祥	
李宙奋	崇阳县学贡 ^①	汤有光	
邓人龙			

国朝

李宙皋	县丞 ^②	李开唐	沔阳学正	古完珍
余 芳		熊合元	大冶教谕	
邓胤星	景陵教谕	方弘鼎	汉阳教谕	
方弘勋		赵希仲	知县	金敦溥 教谕

① 国图、湖南本缺“学贡”二字。 ② 国图、湖南本缺“县丞”二字。

高其升	蔡用予	杜麟昌	
尹民昭	谢廷聘	周于岸	
来谕国	李占星	方弘祖	
任昌应	童心开	龙文鼎	
赵凤池	李宙奇	雷善祥	
周士任	周士毅	李宙都	
萧为备	游明粲	马世龙	选贡,训导。
宋一俊	胡时敏	金殿臣	训导
尹士大	李正聪		

武科进士

明

方日中 探花

举人

明

崇祯

方壮猷 丙子 王德勋 壬午

国朝

顺治

刘镇定 辛卯 毛楚翰 庚子

康熙

杨象德 己酉

辟荐

宋

李 瀛 通判 李 憬 译史 李 英 奉议大夫

明

程道弘	举荐,綦江训导。	李德庸	举□,国子监助教。
蔡克明	县丞	程 恒	本县训导
李 恺	本县教谕	鲁 翔	凤翔教授
雷士英	本县训导	万 钦	王府纪善
李明德	黄冈教谕		

武勋

明

李方品 游击 吴廷谔

蒲圻县

进士

宋

天圣

费师古 有传

元丰

廖正一 有传

政和

任献夫 有传

绍兴

曹大享 大理寺评事

端平

倪起潜

嘉禧

周登仕

咸淳

刘有开

元

泰定

何槐孙 有传

明

洪武

邓 槐 庚辰,有传。

永乐

王 恺 甲申,有传。 罗 弘 甲申 龙景亨 丙戌

正统

卢 中 乙丑,有传。

景泰

魏 铭 甲戌,知府。

天顺

龚 晟 甲申,参议。

成化

汪 洪 丙戌,有传。 王 儼 己丑,有传。

黄 玕 乙未,有传。

弘治

江师古 癸丑,有传。 廖 汉 癸丑,有传。

正德

胡尧元 辛未,有传。 仵 瑜 丁丑,有传。

廖道南 庚辰二名,辛巳殿试。

嘉靖

龚良传 丙戌,有传。 谢存儒 丙戌,有传。

马 练 己巳,知府。 傅 卿 甲辰,有传。

张东周 丁未,有传。

谢鹏举 癸丑,有传。

隆庆

张 书 戊辰,有传。

谢师彦 辛未,有传。

万历

何思登 甲戌,有传。

魏 说 戊戌,有传。

宋时魁 甲辰,有传。

张时雍 癸丑

魏 裳 庚戌^①,有传。

邓廷献 癸丑,有传。

谢师启 辛未,有传。

马天锦 乙未

魏珩如 辛丑,有传。

魏 诏 丁未,有传。

国朝

顺治

余开熙 己丑,吏部郎中。 马淑昌 壬辰,乙未殿试,商水知县。

徐淑嘉 辛丑知县 徐美大 庚戌

王之鹏 乙丑,奉文改姓马。

举人

宋

宝佑

黄廷训

元

延 佑

何 维 有传

至治

^① 戌:国图,湖南本误作“戊”。

王廷阳

泰定

何槐孙 江存礼 有传

天历

熊 恺

至元

黄 溥

至正

王显文 费原杰

明

洪武

邓 奎 癸酉,绵竹教谕。 邓 林 丙子,教授。

黄 煜 丙子,有传。 邓 槐 己卯

郭 敬 己卯

永乐

王 恺 癸未 罗 弘 癸未

王原道 乙酉 汪朝宗 乙酉,通判。

龙景亨 乙酉 龙 时 戊子,灵璧教谕。

张从政 戊子 马 骏 戊子

李潮海 戊子,庆阳教授。 王文友 甲午,成都训导。

刘 锡 甲午 吴存性 丁酉

余 恭 丁酉,有传。 宋致中 丁酉

刘从义 丁酉 刘 钊 庚子,吉水知县。

宋 庸 庚子,巴县训导。 李 璿 庚子,九江训导。

徐 浩 癸卯 黄 城 癸卯

黄 堰 癸卯,有传。

正统

王文修	辛酉,涪州训导。	程 镛	辛酉,灵宝教谕。
龙 霖	甲子,教谕。	卢 中	甲子
宋 奎	丁卯,教谕。	廖 清	丁卯,有传。
景泰			
廖 俊	庚午,有传。	魏 铭	庚午,有传。
李 溥	癸酉,教谕。	王 璧	丙子
刘 沧	丙子	王 莹	丙子
余 祯	丙子	龚 晟	丙子
天顺			
朱 玺	己卯,定远知县。	周 鉴	己卯,教谕。
石 均	己卯,训导。	江 晟	己卯,训导。
王 俨	壬午		
成化			
梅 瑄	乙酉,涪川教谕。	王 璫	乙酉,通判。
廖 傅	乙酉,刑部司务。	黄 玆	乙酉
汪 洪	乙酉	孙 暹	辛卯
黄 颐	辛卯	廖 佐	甲午
徐 澄	甲午	汪 浩	丁酉
仵 绅	癸卯	廖 汉	癸卯
江师古	癸卯	但存学	丙午,有传。
魏 浚	丙午		
弘治			
魏 穎	壬子	郑宗仁	壬子
邓 荣	乙卯,原武知县。	魏 颀	乙卯,永宁知县。
郑宗儒	甲子,镇江府判。	李兴贤	甲子
游 伸	甲子		
正德			
魏 颂	丁卯,福州府判。	周廷辅	丁卯

魏 溶	丁卯	仵 瑜	庚午,解元。
胡尧元	庚午	龚良傅	庚午
胡尧凯	癸酉	廖道南	癸酉
曾大启	丙子	郑 璵	己卯
谢存儒	己卯	李 璞	己卯
游凤仪	己卯	马 练	己卯
嘉靖			
胡 昱	乙酉	魏正初	戊子
龚良猷	戊子	饶士亨	辛卯,海丰知县。
魏 表	甲午	张东周	丁酉
宋儒珍	丁酉	傅 卿	癸卯
魏 裳	丙午,有传。	饶敬承	丙午,有传。
邓廷猷	丙午	谢鹏举	壬子
熊兆祥	壬子,有传。	何思登	戊午
魏朴如	辛酉,有传。	谢师启	甲子,有传。
王良谟	甲子,有传。	龚 棻	甲子
郑之亮	甲子	马之猊	甲子,有传。
魏拱辰	丁卯	任文定	丁卯,有传。
谢师彦	丁卯	张 书	丁卯
熊万仞	庚午	邓士达	庚午,石泉知县。
龚 棹	庚午,有传。	何希孟	庚午
万历			
谢承范	癸酉	张 谐	丙子
余 登	丙子	龚 本	丙子
魏 圭	丙子	王廷策	己卯,有传。
刘应命	乙酉,有传。	周于蕃	乙酉,有传。
饶思承	乙酉	徐 锦	戊子
何梦星	戊子,知县。	周 淳	戊子,有传。

宋时魁	戊子	袁昭文	辛卯,有传。
谢自修	辛卯,上林知县。	邓士亮	辛卯,有传。
魏 诏	辛卯	魏 说	辛卯
马天锦	甲午	张于阶	甲午
魏珩如	丁酉	汪 良	丁酉,知州。
张于升	癸卯,知县,有传。	王台彦	癸卯
熊 崇	癸卯	张时熙	癸卯
刘朝荐	丙午	饶若蒙	丙午
张时雍	丙午,中顺乡试。	任经世	己酉
徐鸣玉	己酉	黄图升	壬子,有传。
王鼎彦	壬子,有传。	龚逢祥	乙卯,有传。
邓日崇	乙卯,赣州同知。	米良昆	乙卯
天启			

余 宗	甲子,工部郎中,有传。		
龚维三	甲子	邓日芳	丁卯
李 轸	丁卯,有传。		

崇祯

李 甲	庚午,有传。	邓之梅	庚午
舒凤池	庚午	李应谦	癸酉
黄中通	丙子	邹振奇	己卯
谢胤璜	己卯	黄鸣阳	己卯
马淑昌	壬午	邹应锡	壬午,有传。

国朝

顺治

张启谿	丙戌	余开熙	戊子
任自弘	甲午	徐淑嘉	甲午
任 崇	甲午,教授。		

康熙

王祚垣	丙午,彭水知县。	黄 锦	丙午,祥符知县。
徐美大	己酉	宋希若	壬子,彝陵学正。
龚 璋	壬子	吴之騄	丁巳
谢登启	戊午	王之鹏	辛酉
刘之翰	甲子		

贡监

明

洪武

赵德贵	兵科给事中			王朝贵	知事
陈文礼	廖崇信	涂宗富	彭 礼	宋继民	推官
程 远	罗 纲				

永乐

茅 芳	训导	徐思诚	知县	唐 铎	同知
寻 原		曹仲升		龙 潜	
高大本		尹添旭	县丞	余 宗	
彭文辉	经历	熊仕奇		方永庆	
黄 钟		王 解	宛平知县	来思铭	
徐兴贤		李廷信		程景升	
仵 清		李 璧		田 惠	
宣德					
饶 璪	卫经历	吴 苾		黄 恕	知县
王 价	县丞	石 昕	通判	寻思聪	夔州通判
正统					
黄 鉴	高邑知县	但胜恭	县丞	唐 政	训导
王仕升		陈 茂		徐思贤	
邓从政		廖 琼	主簿	李 裕	县丞

张 本 推官

景泰

费 敷 县丞

王 春

马 骐

熊 梁

任 升 新都教谕

成化

王 坦

饶 泰 训导

廖 性

唐 本 训导

廖维南

弘治

徐 庆

马文献 训导

魏 珉

傅 涵

石维山

正德

胡 文

石 镜 教谕

马 潮

孙 玺

唐 贵

宋尚儒

嘉靖

龚 鉉 经历

江 渊 宣化知县

周 禧

傅 霓

仵 祐

龙 铎 尉经历

彭 鉴 训导

游 志

李 瑞 经历

连 芳 训导

龚乾申

徐 源

魏 厚

黄 嵩 训导

李志学 元城教谕

但维城

李 绘

周廷圭 修仁知县

黄 谔 训导

毕竟成

徐应元

张 诤

黄 仑 推官

李 铨 县丞

王 明 王府教授

马 衡 县丞

郑 孜 教授

周 章 怀集教谕

谭 兴

王 臬 训导

王 辅 训导

马文明 连筠教谕

宋 轸

唐 谱 训导

龚 炼

马之龙

陈 沐 训导

李仕爵 绵竹教谕

费 軺

刘 爵

沈 相

任翰臣

廖金训导		石 鏊 训导		但 伟	
宋 淮		任 洛		龚乾中	
田 甫		龚良衡		周 浹	
谢存恕 知县		龚乾瑞 霸州同知		费能达	
刘 采		吴廷仪		廖仲儒	
袁 璧		黄鹤中		何 珍	
陈 纬		魏正道 教谕		魏正恭	
丘 冈		张 謨		谢三训	
石 佩		田稷耕		田汝耕	
廖钦兆					
隆庆					
魏正参 仵 密 县丞 魏 圭 廖 彦 龚乾曜		县丞 魏翼如		游良贵	
马之骥 万历					
罗承荣		王 邦		郑 瑗 训导	
谢承祚 通判		任文台 有传		马 介	
任 启 浦江教谕		黄 宸		唐时正	
田亮耕 训导		王进臣 石门教谕		魏彬如	
郑 怡 河阳知县		谢思望		丘之櫟 训导	
祝于祖 训导		邓一鄂 教谕		宋儒杰 夔州教授	
吴 宁 训导		任遇隆 有传		何梦周	
孙承烈		米济世 教谕		费裕德	
但维节 训导		龚逢历 训导		罗 冕 湘乡教谕	
谢三进		但维简		魏栗如	
邓士望		龚逢尧		邓士元	
王学孔 有传		谢思迪		谢思相	
谢自治		谢天蓀		魏 讦	
谢 增		马天铭		刘调鼎	

泰昌

刘光辉

天启

徐邦隆 李思纲 训导 李 绅

余应治 魏方琨 张叔吉

谢弥典

崇祯

黄中通 魏 湛 训导 邓日昌

但 鼎 雷御龙 凤阳府同[知]

古大复 黄冈教谕 魏 诒 陈明廷

邹 旻 杨 浚

国朝

顺治

邹大贤 龚逢烈 华容教谕 饶弘人

唐征汝 丘今芳 有传 廖志鹏

张奇勋 周成臣 谢绍庆

黄金门 龚维祚 潘之祯 知县

骆中骏 张大纲 龚 瑾

沈芳嗣

康熙

任熙联 谢元观 邓蜚英 徐维机 李 萌

但近迥 舒弘育 魏方恕 谢长庆 刘 恺

许之豫 副榜 李应晋 徐维椿 安乡教谕

江 鉴 白 瑚 雷 辟 褒城知县 田承暉

刘洪大

武科进士

明

万历

张时麟 乙巳,参将。

举人

明

万历

张时麟 癸卯

崇祯

马际昌 庚午,副总兵,有传。 王武臣 壬午,游击。

国朝

顺治

张 升 戊子,以銮仪卫旗籍中山东乡试。

康熙

费 圭 辛酉 沈 达 辛酉 杨四美 甲子

辟荐

元

汪存孔 举(傳)[博]学宏词试《大别山赋》

明

田 赋 应《求贤诏》,知县。 王德源 举贤良方正,知县。

王允茂 举经明行修,知县,有传。

陈汝楫 举经明行修,知府。 任时用 举经明行修,知县。

魏 观 举人才 李德庸 聘授训导

黄师鲁 燕遗民 李 懋 何 燊 举秀才、明经,有传。

马 敬 举明经 艾 观 张志通 举明经,授州判。
龚 善 举明经

武勋

明

但应龙 拜武德将军 汪 清 封明威将军
刘 铎 封安远将军 漆永受 征交趾有功,授千户。
汪 旻 指挥 姚镇东 指挥 刘 闲 指挥

国朝

马际昌 副总兵

崇阳县

进士

唐

金兴政 侍郎 金同庆 郡守

宋

宝庆

温 威

嘉熙

廖思齐 榜眼

淳佑

徐一挺 龚士龙

宝祐

徐梦宏 廖如琛 杨起莘

元

李政茂 乙卯，有《庆云嘉禾表》行世，相传中洲“状元书屋”即其读书处也。

廖应用 乙卯 廖正大 及第 廖政大

明

永乐

杨 曷 壬辰，按察使，有传。

龚伯宁 甲辰，新昌知县，有传。

成化

饶 裕 壬辰，外省乡中。 黄 珂 甲辰，尚书，外省乡中。

弘治

戴 书 壬戌，巡抚，有传。

正德

王 畴 戊辰，副使，有传。 汪必东 辛未，礼部郎中，有传。

汪文盛 辛未，大理寺卿，有传。 熊允懋 辛未，佥事，外省乡中。

余 才 甲戌，少卿，外省乡中。

嘉靖

蔡 乾 丁丑，佥事，有传。 陈 海 丙戌，海门知县。有传。

龚 湜 己丑，知府，有传。 汪宗元 己丑，通政使，有传。

黄 华 壬辰，外省乡中。 汪宗凯 乙未，尚宝司卿，有传。

饶天民 乙未，苏松巡按，有传。 汪宗伊 戊戌，吏部尚书，有传。

刘景韶 甲辰，巡抚，有传。 胡 定 丙辰，布政使，有传。

汪廷钺 丙辰，大仆寺卿^①，有传。

饶仁侃 壬戌，巡抚，有传。

万历

周 易 庚辰，外省乡中。 王 仰 己丑，闽县知县。

① 大：太的古字。

陈忠爱 己丑,贵州提学,有传。孙 铤 壬辰,大名府判。

熊则祯 丙辰,御史,有传。

天启

王应斗 壬戌,御史,有传。

汪 桂 乙丑,建宁知府,有传。

举人

宋

廖如璋 廖如璫 廖如璧

元

廖友大 廖应解 廖德明

明

洪武

雷 诚 庚午,江都知县。

永乐

洪 泳 壬午,教谕。 卢文彬 壬午,教谕。

丁 义 戊子,教谕。 宋广志 戊子,州同。

蔡 宁 辛卯,御史,有传。 夏 谦 辛卯,教谕。

杨 曷 辛卯 舒 义 丁酉

刘魁胜 丁酉,教谕。 周 軺 庚子,御史,有传。

宋 昌 庚子 戴 皐 庚子

艾 常 癸卯,县丞。 周仕安 癸卯,徐州州判。

宣德

鲍 谦 己酉,宿松训导。

正统

庞 贵 丁卯 黄宗泗 丁卯中外省,知县。

景泰

胡 浩 庚午，郟城训导。

夏 琼 丙子，教谕，有传。

天顺

程子南 己卯，中外省。

杨孟凯 壬午，知县，有传。

廖仲贵 壬午

饶 玘 乙酉中外省

成化

王守贞 丁酉，知州，有传。

艾 杰 丁酉，教授，有传。

姜 英 庚子，教授。

龚伯宁 癸卯

廖 绣 癸卯，长史。

弘治

王 甸 壬子，万载知县。

戴 书 乙卯

王 畴 辛酉

汪必东 辛酉

周景祥 辛酉

饶天爵 甲子，崇庆知府。

正德

汪文明 丁卯，教谕，有传。

甘三德 丁卯

汪文盛 庚午

蔡 金 庚午中外省，知县。

廖 东 庚午，广安知州。

蔡 乾 癸酉

陈 海 丙子

汪文正 己卯

汪必登 己卯，有传。

陈 泗 己卯

嘉靖

龚 湜 壬午

甘 惠 壬午

熊 丸 壬午

饶天民 乙酉

胡 濂 乙酉，有传。

陈 曾 戊子，知县。

汪宗元 戊子

王近素 戊子

汪宗凯 戊子

王文瑞 戊子，学正。

陈 仕 戊子

王近敏 戊子

叶永昌 戊子

王东兴 辛卯，长史。

艾叔午 辛卯

熊 祚 辛卯中外省

汪宗伊	甲午	熊 儒	甲午,陈州知州。
王近讷	甲午,通判。	王近思	丁酉
汪如璧	丁酉,有传。	汪宗召	丁酉
王近光	丁酉	刘 乾	庚子,知县。
刘景韶	庚子	阴汝登	癸卯中外省,知县。
饶 曾	癸卯,知州。	陈邦治	丙午,福州同知。
卢凤来	丙午,扬州通判,有传。		
陈 采	丙午,海门知县。	龚叔贲	丙午,浮梁知县。
汪廷钺	己酉	陈 羔	己酉
孙 纲	己酉,知县。	陈若夔	己酉,知县,有传。
陈若鲁	己酉,太宁知县。	邓际可	己酉,知州。
胡 定	壬子	饶仁侃	壬子
王作书	壬子,知县。	雷时敏	乙卯,知州。
王近愚	戊午	饶 倬	辛酉
熊汝谐	辛酉,知县。	汪 度	甲子
吴楚材	丁卯,知县,有传。	金 瓯	丁卯,新化知州。
万历			
蔡靖猷	癸酉	陈 博	己卯,推官。
王 仰	乙酉,闽县知县。	孙可僎	乙酉,盐运使。
谢所教	乙酉	汪晋吉	戊子,知县。
陈忠爱	戊子	孙 铤	戊子
孙可似	甲午,曲靖府通判。	孙 鏞	癸卯,南阳同知。
黄色中	己酉,顺庆知府。	王应斗	乙卯
熊则祯	乙卯		
天启			
汪 桂	甲子		
崇祯			
陈云升	庚午,九江通判。	汪春昌	己卯

饶 琦 壬午 张 朝 中外省,侍郎。
蒙正发 (申)[中]外省,给事中。

国朝

顺治

谭 琳 丁酉,知府。

康熙

吴阶之 丁巳,特开乡试中。 米 舫 戊午

汪 垂 辛酉 黄河源 甲子

贡监

明

洪武

周 琮 仕至左布政,有传。 蔡 奎 刑部郎中

宋 忠 知府,有传。 夏 泰 金事,有传。

杨 昱 邓 商 林 玉

永乐

陈文宗 金事,有传。 吴 超 工部主事

庞元富 知县 王 琛 如皋知县

陈 惠 知县 (传)[傅]源 邵武通判

魏 荣 将乐知县 夏应奎 黎显祖 闵 琮

胡原俊 罗江知县 龚 文 沅江通判

吴 诚 岑溪知县 郑仕亨 简 融 甘 显

邓文质 吴伯谅

宣德

廖 彬 长山知县 汤子良 吴 忠 吴 恕 杨思昂

余 杰 训导 廖 鼎 陈 纪 府经历

廖 震 郁林知州 柳 厚 知县 蒙文彬 保宁通判

黎 文	卫经历	夏文璣			
正统					
熊 谅	临漳知县	张 衡	建始教谕		
傅 恭	饶州推官	龚志敏	卫经历		
吴 暹		刘 吉			
张 礼	郛城知县	吴 璿			
景泰					
雷 铉	峨眉知县	王 凯	陈 志	甘(澍)[澍]	
沈 升	黄 宪				
天顺					
陈 福	宋 铉	丁 忠	王 迪	刘 圭	
程 鹏	黄 明	陈 忠	县丞	宋 瀚	
陈 璟	荔浦知县	陈 钺	县丞	丁 琢	断事
成化					
鲍 懋	经历	宋志道	卫经历	曾 镜	
叶伯海		庞仲贵		胡 谕	长兴训导
陈 通		毛 伦	涪州州判	苏 英	州判
陈 祥	县丞	庞永哲	璧山知县		
弘治					
谢 润		龚 斑		甘 济	池州训导
刘 金	县丞	徐 圭		廖 光	邳州同知
蔡 贯	商城训导	邓如珊		谢 安	府经历
雷 溟	县丞	丁守经		龚 瑞	罗山训导
吴 杰	卫教授	娄 琇	卫经历	杨 沂	教授
汪 藻		殷 轸	州同	张仕庠	
饶 洋		丁守约	巫山训导	叶 霖	
丁 彦					

嘉靖

饶 祥

谭 实 南江训导

龚 奎 万州州判

宋 贤 清河训导

陈 伋 县丞

程伯春 高安训导

孙大用 犍为训导

蔡 翰

丁世熙 有传

饶 佶 梓潼教谕

蒙时言 经历

郑宗器 池州训导

汪廷海 学正

隆庆

蔡于登

陈 表 教授

殷公仁 归德通判

汪如莹

陈启琮 凤翔通判

胡献靖

熊汝猷 都昌训导

刘 蒙

万历

阴国卿

陈云鹤 通判

龚衍材

陈 悌

曾伯英

汪本沂 知县

龚伯皋 卫经历

孙大经

王近伟 通判

金 实 井陘训导

戴季升

柳中廷 知县,有传。

陈 职 知县,有传。

殷 陟 富顺训导

饶至大 万年训导

戴可教 徽州教授

汪廷佐 繁昌训导

刘日崇

宠汝周 昭化教谕

廖元易 通判

汪 广 县丞

金万宪 武陵教谕

陈仲虞 武康训导

熊懋赏

汪 交 仁寿教谕

汪学海 宁海教谕

饶光明

吴楚宫 文安训导

吴 权	知县,有传。		吴楚宫	文安训导
吴 权	知县,有传。		吴楚易	
吴 植	湘阴教谕		陈云台	
黎 朝			黄补袞	
廖日效	太平教谕,有传。		王学元	
甘 霖	罗次知县			
天启				
孙 纓	雅州学正		王汝梅	福州教授
陈士元	选贡,知县,有传。			
吴养大	选贡,县丞。		陈 珏	
卢绳愆	桃源训导		陈治纪	
崇祯				
王国宾	景陵教谕	汪世耀		庞 渭 汉阳训导
余廷彦		金声清	平江训导	陈国瑛
饶光召	桃源训导	汪世炜		胡 忱
刘 诤		汪 柱	嘉鱼教谕	王心臣
陈大夏		李继芳	断事	陈一言
龚叔乾	县丞	廖世同	茂州州判	甘寅亮 经历
汪文中		陈若蒙	兵马司	饶 侗
王作仕		陈若钝		汪宗龙
汪宗莱		饶 僎	理问	汪宗良
饶 恂		蒙 鼎	府经历	蒙 鼎 县丞
陈若愚		汪潮海		汪 膺
饶 忠		饶 恕		汪谦吉 经历
熊则麟		饶安世	兵马司	陈治绩 靖宁州判
熊兆吕	光禄监事	孙 珏	南北兵马副指挥	
王士葵	通城教谕	陈 冕	浏阳教谕	

国朝

顺治

熊兆昌 澧州学正

陈 瓚 教谕,有传。

刘学向

汪节吉 知县

饶亮士 卫经历

吴闻知 都司经历

陈辅祚 副榜

郑养贤 通判

汪 樾 教授,有传。

金如璧 训导

熊仕征 同知,有传。

艾长馨

陈荣祚 县丞

汪际旻

黄金印

康熙

陈 斑 钟仕杰

何 修

王应奎

戴尧天

黄金华 吴天知

邹鲁儒

汪 樾

余 瓚

陈载古 汪 型

武科进士

明

金 淮 都司佾书

举人

明

万历

刘炳文 癸卯,有传。

雷 行

刘 讷

国朝

康熙

黄云际 癸卯

王 威 丙午

万承祚 己酉

田年丰 壬子

马腾猷 戊午

解由进 戊午

刘 炳	戊午	唐 彰	戊午	梁国柱	辛酉
王试璧	辛酉	周 灿	甲子		

辟荐

元

周均叔 举明经,为宜春山长。

明

胡 鉴	举人才,授本学训导。	黄觉中	举人才
胡兴福	举经明行修,授本县知县。		
娄原拯	举人才,授府照磨。		
王景昭	举人才,授涿州知州。	龚 善	黄师鲁
廖朝元	丁致和 俱举经明行修,授本学训导。		
陈应忠	知州		

武勋

明

金 鸾	指挥使	金志鉴	指挥同知	叶仲绅	
田文正		谭 震	副千户	刘日孚	有传
雷 恒	千户	叶 正	副千户	田 胜	千户
雷 仁		陈鹄翔			

通城县

进士

宋

宝佑

杨起莘 有传

明

永乐

刘士昌 甲辰,副使,有传。

成化

刘绍元 辛丑,无为知州,有传。

国朝

康熙

曹 觉 乙丑

举人

明

洪武

黄添贵 丁卯,休宁训导。

汪茂赏 庚午,金事。

永乐

田子昌 乙酉,清化知州。

魏友义 乙酉,知县。

傅 源 乙酉,交趾知县。

徐志义 乙酉,县丞。

刘试才 甲午

余必胜 甲午,经历。

黄用文 甲午

姜维性 丁酉,韶州训导。

金 谅 庚子,理问。

刘士昌 庚子

舒化安 庚子,经历。

刘 哲 癸卯,顺庆训导。

洪伯良 癸卯,通判。

正统

方 瑛 戊午,断事。 邓 恭 戊午,平阴知县。

景泰

何 隆 丙子,教谕,有传。 金 玺 己卯,宁陵知县。

天顺

刘绍元 壬午

成化

李 茂 丁酉,光州训导。

弘治

陈天祐 壬子,襄城训导。

正德

吴景寅 庚午,丰县教谕。

正德

谢 梓 癸酉,知县。

嘉靖

舒大猷 丙午,布政使,有传。 熊世英 丙午,知县。

胡 泽 己酉,教谕,有传。

万历

续 霖 甲午,知县,有传。 吴应鹏 庚子,推官,有传。

国朝

康熙

张 宾 丙午 曹 觉 辛酉

贡监

明

洪武

孔克亮 知县,有传。 胡文达 威州同知

方添常 镇宁州同。

永乐

汤 赉 万德彰 陈良贵 州同知 黄献逊 胡仕进

彭俊道 知县 鲁廷茂 朱思忠 聂必达 洪思敬

程文贵 郑必胜 徐芳杰 张文达 艾文显 周必文

胡文海 熊得进

宣德

陈必高 辜侍昭 郭文质 山阴训导

郑志良 卫经历 胡鼎上 县丞

正统

余志名 宁县训导 王 崇 范 纯 宣化知县

杨 懋 知县 钟 秀 舒 焕 知县

景泰

陈 逊 刘玉圭 罗 文 府经历 吴 宣 侯 信

汪 胜 罗 政 胡 海 陈 圭

天顺

张 恺 胡 政 刘试恕 通判 周 砥 平阳府通判

伍 英

成化

吴 进 张 昶 魏 政 何 阳 彭泽训导 萧 定

罗 嵩

陈 律 知县 胡 玺

弘治

胡 荣 杨 铨 刘玉圭 湖口训导 吴 淳 断事

刘孟儒 县丞 吴景明 原州训导

正德

徐守城 彭水知县 何 信 电白训导 卢仲秩 忠州州判

李时秀 陈 显 县丞 吴尚经 卫经历

艾 鳌 训导

嘉靖

萧 懋 上高训导 胡守纪 胡时盛 浦江知县

何 寅 知县 李 介 资县教谕 吴 廉 泰州学正

洪 溉 永平府判 罗仲亢 汉中通判 谢 仁 大足知县

何 宏 有传 吴 立 卫辉训导 李邦直 推官

甘 荣	顺庆训导	吴联芳	胡 安	
黄天贵	推官	张 甸	杨 潜	华州州判
王兴举	训导	邹 洁	刘 卿	
徐克谐	县丞	熊嘉丸	吴尚恭	知县
刘孟垣	知县	胡万伦	魏良相	
隆庆				
卢 立		余 善	选贡,审理。	
胡 淳	从化教谕	周 祐		
万历				
舒大治	有传	何 谟	宣慰司经历	
宋廷佐		徐克尹	教授	
宋明道	鄱阳训导	刘性有	蓬州州判	
王天鉴	训导	周 书	训导,有传。	
卢 敦	安县教谕	卢宗颐	圻水训导	
刘性文	(叙)[淑]浦县训导	胡顺则	选贡,印江知县。	
郑 谦	益阳训导	杨大猷		
吴文懿	沅陵教谕	杨大颂		
卢维祺	荆门学正	熊一魁	训导	
胡试可	训导	孔弘宪	宁波教授	
卢维纪	随州学正	杨大颀	平江教谕	
刘一英	顺庆通判			
天启				
刘汝灿	祁阳教谕	卢锦心	知州,有传。	
卢维德		卢仲秩	大足知县	
卢文彬	盐运使	吴之麟	县丞	
廖为珍	训导	郑一隆	训导	
余士皋	汤之孙	段在郁	吴廷辅	训导

崇祯

胡楚完	训导	续道统	刘性笃	训导
刘格禹	杨大颐	卢维垣		

国朝

顺治

胡奇玠	安乡教谕	吴鼎臣	训导	徐士旦	
卢国荐		徐士昌		孔闻学	
吴之泰		刘之紓	训导	鲁应才	光化教谕
郑士杰	训导	胡顺我		刘之禎	
毛一苞		刘允诚		刘致焕	
杨鼎铉		张灝睿		张叔廷	
萧廷相		袁应台		胡进范	

武科进士 前无考

国朝

康熙

解斯和 癸丑

举人 前无考

国朝

康熙

孙 贤	己酉	解斯和	壬子
唐时谟	壬子	张祚昌	甲子

辟荐

明

杨志忠 举人才,经历。 胡文忠 举人才

兴国州

进士

宋

雍熙

吴 諤

庆历

阚 洞 张 轲 郭 袞

景祐

吴中复 有传 吴几复 有传 吴嗣复

嘉祐

周 傅 吴秉礼 郭良翰

元佑

李 翔 有传

元符

吴公袞 吴 堦

崇宁

盛子充 吴 哲 刘 轸 李 沔

宣和

张 邦

绍兴

刘 仪 吴彦夔 周朋来 周震来 赵汝弼

乾德

沈荣祖 沈继祖

淳熙

周泰来 周之纲

绍熙

赵崇古 焦 抑 桂如虎
庆元
桂如渊 刘馥庆
嘉定
赵必择 周文虎 万必正 赵淳夫
端平
桂 淋 冯 伟 冯 元 桂 评
嘉熙
冯 倜 桂 谟
淳祐
冯 亿 冯 偲 冯 仪 吴由申 姜 育
赵良干
宝祐
赵汝定 桂 谠 冯 泌
咸淳
成 鏜

元
天历
梁起凤 有传

明
永乐
赵贵和 丙戌,仕至御史。
天顺
冯 俊 庚辰,仕至都御史。
成化
徐 鏞 己丑,仕至都御史,有传。 刘 规 己丑

冯良辅 辛丑,仕至参政。

刘 春 丁未

弘治

徐 钺 庚戌,仕至知府。

徐 钰 庚戌,仕至左布政。

郭 浹 癸丑,仕至御史。

刘 珂 丙辰,太仆寺,有传。

刘 台 丙辰

钟 湘 壬戌,参政,有传。

正德

刘鹤年 戊辰

刘守绪 甲戌,太仆卿,有传。

刘彭年 甲戌

刘守愚 丁丑,员外。

嘉靖

杨儒鲁 丙戌,金事。

邹尧臣 丙戌,参政。

张 烜 己丑

叶国华 壬辰,顺天府尹。

刘起宗 戊戌

徐 纲 甲辰,工部右侍郎,有传。

吴国伦 庚戌,河南参政,有传。

刘师颖 癸丑,兵部员外,有传。

熊 坦 己未,新会知县。 郑宗学 辛未,福建参政。

万历

黄士吉 壬辰,工部主事,有传。

曹志遇 戊戌,广东副使,有传。

石 烜 石未,工部郎中,有传。

潘师道 癸丑,仕至按察司。

刘之待 丙辰,监察御史,有传。

崇祯

梁招孟 戊辰,盐运使。 曹景参 辛未,吏科都给事。

冯之图 甲戌,福建漳南道,有传。

刘世斗 癸未,户部员外郎。

国朝

顺治

华士眉 己丑,长治知县。

卢 高 壬辰,仕至驿盐道,有传。

方师海 壬辰,定襄知县,有传。

吴景祉 乙未,南丰知县,有传。

华士瞻 乙未,兵部职方司。 张翰扬 乙未,户部郎中。

吴岂黄 己亥,浚县知县^①。

举人

明

洪武

杨 用 甲子 蔡 雄 丁卯,知府。

陈 本 庚午,御史。 王荫生 癸酉

陈 毅 癸酉 成 务 丙子,按察使,有传。

夏廷震 丙子,兵科给事中。

永乐

戚 端 壬午 朱 黻 壬午 赵贵和 乙酉

张 斌 乙酉 鲁 贯 乙酉 郑 铨 戊子

汪 素 戊子 姜 志 戊子,光禄署正。 余 瑀 戊子

王敏忠 戊子 胡 敦 戊子 曹 谦 甲午

李 浩 甲午 黄 璵 甲午 张 倦 丁酉

谢 潭 丁酉,郎中。 姜思齐 丁酉 陈 智 丁酉

谭兴祖 庚子 明 恺 癸卯,教谕。

宣德

刘 端 壬子 官寿昌 壬子

① 后四字国图本无,江苏、湖南本手写补。

正统

汪 懋 戊午 严 云 辛酉,教谕。 叶 芳 丁卯

景泰

陈 軫 癸酉 严仲正 癸酉,同知。

周 铭 丙子,教谕。

袁 美 丙子 韩孟端 丙子

天顺

徐 宣 己卯 叶文玫 壬午

成化

冯 濂 乙酉,知县。 丁 铨 戊子 徐 鏞 戊子

陈 辂 辛卯,知县。 袁 昂 辛卯,推官。 徐 钺 甲午

袁 相 丁酉 冯体乾 癸卯

徐 铤 丙午,司务。

弘治

吴 杰 己酉,教谕。 徐 钰 己酉 刘 珂 己酉

郭 浹 己酉 石 鉞 壬子 钟 湘 壬子

邹缙绅 壬子 陈 𡩊 乙卯 冯 本 乙卯

刘守绪 辛酉 谭 鲁 辛酉,御史。

周启东 辛酉,知县。 朱日曜 丙子

正德

郭 泗 丁卯 明 诚 丁卯

柳孟芳 丁卯,知州。 陈 绩 丁卯

傅 云 庚午,知县。 费 让 庚午,知县。

柯贵德 庚午 刘守愚 庚午

吴 宪 己卯 郑 材 己卯

嘉靖

徐 化 壬午,知县。 严光治 壬午 杨儒鲁 壬午

周包荒 戊子 叶国华 戊子

冯 珑	戊子,通判。	徐 纲	辛卯		
刘寿峤	辛卯,同知,有传。			徐直之	丁酉
刘师颖	庚子	陶 弼	丙午		
刘 储	丙午,知州。吴国伦	己酉,解元。		刘 旁	己酉
熊 坦	壬子	皮志文	乙卯,建宁知县。		
叶 棣	乙卯	钟文印	辛酉		
石子璞	辛酉,户部主事。				
华存礼	甲子,有传。				
郑宗学	庚午				
万 历					
刘文定	癸酉,知州,有传。	黄大賁	己卯		
黄士吉	壬午	曹志遇	壬午	黄大壮	壬午,富顺知县。
徐汝化	壬午			刘唯一	乙酉,犍为知县。
孙敏政	乙酉,盐运使。	曹景辰	乙酉,按察使。		
成正位	乙酉,顺庆同知。	刘三友	辛卯,桂东教谕。		
华三祝	辛卯,推官。	石 炬	甲午		
李承望	甲午,同知。	华至礼	甲午,成都通判。		
杨继时	甲午,连州知州。	俞尧衢	甲午,知州。		
潘师道	丁酉	杨日楚	丁酉,巫山知县。		
曹景旦	丙午,许州知州。	杨继泰	己酉,永昌同知。		
梁招孟	壬子	刘之待	壬子		
余有光	乙卯,知府。	吕嗣著	乙卯		
王登邦	戊午,知县。				
天 启					
曹大壮	甲子	曹景参	甲子	刘良炘	甲子,知县。
冯之图	丁卯	吕嗣哲	丁卯		
崇 祯					
刘世斗	癸酉			方师海	丙子

张令闻	丙子,珙县知县。	吴景祉	己卯
柯邦栋	己卯	何玉蟾	壬午。

国朝

顺治

华士眉	丙戌	何 让	丙戌	梁受孟	戊子
华士瞻	辛卯	卢 高	辛卯	张翰扬	辛卯
董用康	辛卯	吴岂黄	甲午	马嘉申	甲午
吴两生	庚子	杨倬成	庚子		

康熙

瞿之俊	丙午	王大骐	丙午,南溪知县。
陈 愚	己酉,荆门学正。	徐光林	己酉
钟良知	己酉	吴甫生	壬子,解元。
徐学标	辛酉	陈 箕	甲子
吴国祯	甲子		

贡监

明

曾大仁	夏斗旻	郑均叔	马 涛	有传	孔启元
叶 普	冯惟德	戚元礼	田 奎		陈 忠
易应斗	潘兴科	曹相国	刘从圣		侯嘉藩
刘惟贤	华愈秀	王思宪	俞 瑀		熊 江
沈 澄	陈 常	御史	郑 友		阮 寿
杨希礼	徐 让	徐孟瑀	刘 谅	有传	刘 清
潘 昭	董 纲	邹 衢	万 安		夏 渊
钟 南	知州	彭 杰	蔡 澄	知县	
汪 让	钟 钺	乐 辅	郭 辅		伍 爵
潘 权	易 让	郭 琮	秦 琪		胡 瑶

黄 礼	同知	姜 芝	刘师颖	知州
骆 驥	刘 昌	司永安	袁如章	汪 瑗
郭 俊	李 坚	连 芳	熊 美	吴 鉴
柳 文	刘 宪	毕 嵩	费 俭	刘 珣
陈定川	衡 平	陈 政	胡 衡	严弘靖
冯体中	明 远	董 炬	邓 潮	钟 清
易 卿	田 赋	王 浩	姜 洁	王 弼
王 训	黄 钺	吴 超	马 叶	徐 钦
张 翼	王 畿	谭永敬	萧 韶	汪 环
李 贵	王 泰	姜 英	叶 聰	杨 正
郑 邦	姜 表	冯体范	明 义	刘 钦
成 材	司守约	谢 理	费 昶	刘守经
黄 冕	明 华	郭 济	刘学夔	谢 璠
万 珊	姜 琨	袁永弼	司守观	刘守绩
刘守教	叶 湊	俞 科	明汝器	刘 楫
刘思贤	马 训	马 绪	柯大顯	杨儒衡
袁永年	周启南	柳尚古	刘 璜	冯 弁
袁永徽	刘 侗	金 石	宋希益	刘 佃
李如佩	吴 试	易道南	刘 焯	刘 烜
华春盛	周苞茅	刘之斗	华春选	黄宗简
董 儒	庄以善	陈 本	李 耀	司 奇
朱 衾	张春和	刘 赞	刘师关	庄以简
刘之感	皮志颜	吴 赞	华春焕	俞一举
邹 袞	陈联芳	徐承孺	郭宏远	柯世贞
朱家隆	黄大同	黄裳吉	乐自端	吴 寔
明辅世	董三策	易应芳	熊士禄	吴嘉会
徐守鼎	吴邦储	石之介	刘家英	梁交孟
曹大议	侯嘉膳	马道遵	吴承宠	柳日萱

刘良笏	石题之	熊士骥	曹大雅	石攻玉
雷一鸣	刘兴覲	司忠朝	陈启明	刘用灏
冯思翼	石麟祥			

国朝

石今剖	王以家	雷作霖	俞庆维	袁 吉
侯维烈	吕士周	吴自拔	华愈灿	谭学海
舒子彦	曹士灏	训导	郭维楚	冯俞昌
张异卿	华士鳌	训导	袁汝芳	华士睿
余振业	训导	舒崇隆	曹可稷	
冯全昌	知县	徐学知	柳世懋	侯镇笏
宋定蕃	曹可仰	陈 懋	乐之实	涂上达
卢 秀	余士久	吴一生	钟 角	

武科进士 前无考

国朝

顺治
卢嘉璋 辛丑,守备。

举人

明

万历

曹景澹	壬子,守备。	吴学曾	丙午	叶恒盛
崇祯				
潘良鹏	壬午,达解元。	孙承武	壬午	

国朝

顺治

卢世授	辛卯,守备。	王名世	辛卯,都司。
陈元良	辛卯	赵一翥	甲午,解元。
李时发	甲午	司其迥	甲午,守备。
赵一腾	甲午	邢茂常	丁酉
卢嘉璋	庚子		

康熙

瞿之辂	癸卯	皮尔类	癸卯	王德尚	丙午
刘秉柱	己酉	洪寿国	己酉	黄经邦	甲子

辟荐

宋

庆历

王希圣

明

洪武

孔克仁 应召,仕至按察司。

武勋

明

李源	指挥	韩良	千户
钱志广	千户	项任	千户

大冶县

进士

宋

(和)[皇]祐

万 禎 有传

宝祐

张士毅

德祐

陆明端

元

至正

向世祥 评事 周朝用 成都府同知

明

永乐

周 贵 甲申

天顺

周宗智 庚辰,金华知府,有传。

嘉靖

刘 曷 己丑,员外。 刘秉仁 丁未,巡抚。

吕调阳 庚戌榜眼,大学士、太保,有传。

周大烈 乙丑,太仆寺卿。

万历

吕兴周 丁丑,顺天府尹。 胡应辰 癸未,副使,有传。

徐立朝 戊戌,户部郎中。 余玉节 辛丑,副使,有传。

国朝

顺治

周 琮 己丑,海澄知县,有传。

余国柱 壬辰,见任户部尚书。

朱大任 庚戌,知县。至广西学道致仕^①。

举人

唐

开元

江水清 解元,有传。

明

洪武

危以忠 丙子,南昌同知。 冯 圭 桂阳州学正

甘如翔 己卯

永乐

明子荣 辛卯,萍乡训导。 张伯均 辛卯,巴县教谕。

郭 经 庚子 陈 升 庚子

赵 岳 癸卯 柏 华 癸卯

宣德

王 戢 丙午 吕 焕 壬子 石 聪 乙卯

正统

杨子霖 戊午

天顺

周宗智 己卯 徐 宣 己卯,通判。

黄 玺 己卯,行人。

^① 末句国图本无,江苏、湖南本手写增。

成化

石麟 乙酉 邹彦奎 乙酉,新喻知县。

弘治

徐应华 辛酉,彭山知县。

正德

王尚忠 丁卯,知县。 冷儒宗 丙子,济南训导。

嘉靖

胡希琼 丁酉,潼川知州。 周大烈 庚子

胡希寅 丙午,常州通判,有传。 尹厚 壬子,南昌通判。

隆庆

胡宸 丁卯,改名应辰。

万历

徐立朝 辛卯 胡基 甲午,都昌知县。 余玉节 丁酉

方晋 丁酉 华袞 丙午,平凉知府。 董儒绅 己酉

周文昌 乙卯,顺德推官。 余文明 乙卯,知县,有传。

向明元 乙卯,处州同知。

天启

周宁尔 甲子

崇祯

胡绳祖 丙子,潜山知县。 尹珩 壬午,有传。

国朝

顺治

胡念祖 丙戌,教谕,有传。 刘维超 丙戌,沅州学正。

罗遇圣 丙戌,安仁教谕。 林瑾 丙戌,卫教授。

周琼 丙戌 刘应夔 戊子,国子监学正。

余国柱 辛卯 叶春焕 辛卯 朱大任 甲午

康熙

袁继安 壬子 熊心漳 戊午

贡监

明

洪武

陶澄 监察御史 张隆 监察御史 谭隆 金事

周志高 知县

永乐

刘德昭 严州同知 江溥 典簿 江达 主簿

黄必显 经历 黄永诚 延津教谕 陈遂良 知县

宣德

何维 监察御史 江仲周 济宁知州 范宣 桐乡知县

吕熙 江汉 金华通判 皮谦 知县

李庸 绩溪知县 汪昂 知州

天顺

孙以铭 推官 丘渊 推官 孟可道 主簿

吴庆 知县 吴春 知州 赵忠

向珍 知州,有传。 王纯 镇江通判 尹刚 知县

周济 县丞 郑鉴 县丞 张荣

刘俨 徐荣 经历

弘治

何观 照磨 罗通 主簿 余通 县丞

李校 知县 赵昂 赣榆主簿 黄冕

冯清 邹鲁 吴英 州判

郑达 刘世忠 皮杰

朱渊 皮宽 项宣 经历

梁孟荣 县丞 余文 经历 陆升 知县

正德

张泰	断事	王昌	经历	冷琬	训导
陈辉	县丞	尹冕		吴綦	主簿
周永绍	都事	周销		萧霖	
陈冕		向晖		许开	主簿
尹元		宁良	知事	张文教	
徐东溥		刘材义	训导	郑德	
周南	宜山知县	陆凤和	教谕		
嘉靖					
方承恩	知县	盛杰	知县	周伯溪	
周大夏		向希恩		杨麒	
周宗信		罗钦		华岳	
张尚吉	永昌通判	吴绣	主簿	石文振	
李良佑	训导	江自然	知县	吴宗学	
陈仪	县丞	许大显		周永綍	永平教谕
尹尚卿		向希武	知县	卫邦卿	训导
江楚襟		向惟中	教谕	詹大同	弥勒知州
金循序	教谕	黄佺		徐器宏	凤阳教授
金迪	训导	郭宾唐	长山教谕	刘烜	经历
隆庆					
余韵	主簿	尹孚	薪水教谕	周颖	
万历					
陆铎	教谕	向惟嵩		周中鼎	
黄待问	潜江教谕	董廷宾	教授	向日丹	有传
卫廷藩		尹之训	惠州通判		
向宸	通判,有传。	江楫		刘学可	县丞
皮应彰	教谕	尹炽	教授	李之魁	
尹之遇	知县	黄绍伋	训导	向雷	澧州学正

向 云	训导	金维南	训导	吴成德	华阳教谕
皮应乾	训导	余选中	训导	黄自立	训导
尹应明					
泰昌					
余翼明	常州通判				
天启					
余浚明	汪 潢	留守司经历	陆东范		
崇祯					
向明谏	县丞	陈士衡	有传	余际明	
向明诏	荆门学正	向明诗	均州学正	陈 瑞	
周之德	训导	李天成		卢以翰	训导
叶之梅		余顺明	知县,有传。		
向明相	县丞	尹 瑞	县丞	伍 祐	经历
金 逵	知事	周 价	光禄寺署丞	余玉成	县丞
尹士亮	经历	袁光绂	光禄寺署丞		
华辅实	鸿胪寺序(班)[班]				

国朝

顺治					
郑景延	副榜	张福朝	德庆知州	郭暹	
林廷莱	淮安府同	余国樞	安庆府同知		
王道生		胡公鹤		刘 浚	长沙教授
段 衿	知县	秦日昌	县丞	余燕贻	枣阳教谕
吴 鉴	沔阳学正	陈 铎	训导	刘舜年	训导
康熙					
余光煌		向士煜	训导	刘长年	
余国桢	训导	杜之馨		刘应颺	
余国楷	旌德知县	余光烜		左正家	副榜

郑 宫		余光炅	信宜知县	余光焯	训导
汪大润	象山知县	张松年		柯麟仕	
余光焯	中书舍人	余光彬	行人	刘羲年	
李之岳	训导	石国纶	训导	黄一贞	教谕
李 侗	嘉兴县丞	余光熒	通判	余国梅	

武科进士 前无考

国朝

顺治

马鸣瑞 辛丑

康熙

齐 贤 己未

举人

明

天启

陈 敕 辛酉

崇祯

方继叔 癸酉,参将。

国朝

顺治

马鸣瑞 庚子解元

康熙

齐 贤 壬子 何一元 戊午

辟荐

明

洪武

范俊 左佾都御史,有传。

永乐

何达 举怀才抱德^①,山西道御史。

方宏远 举贤良方正^②,抚州同知。 梅志清 举孝廉

隆庆

向日红 举文行兼优^③,佾事,有传。 余道定 通判

通山县

进士

宋

咸淳

韩温 甲戌

明

天顺

吴伯通 甲申,仕至副使。

弘治

熊伯通 庚戌,知县。

嘉靖

朱廷立 癸未,礼部侍郎,有传。

陈宗夔 戊戌,仕至副使,有传。

熊坦 癸丑,知县。

万历

舒弘绪 癸未,庶吉士,改吏科。

①②③ 都是科举类型。

举人

明

洪武

李 荣 丙子,教授。

焦 雍 己卯

永乐

李茂成 乙酉

陈 庆 乙酉,知州。

吴锡祐 乙酉,知县。

吴 敏 丁酉,推官。

吴 瑞 庚子

焦以正 庚子,府同知。

熊茂林 癸卯

景泰

曹 瑛 庚午,推官。

韩廷彧 癸酉,太平知府。

聂 茂 丙子,知县。

天顺

吴原哲 己酉,知县。

吴伯通 壬午

成化

吴原正 辛卯,有传。

吴原聪 甲午,知州。

熊伯通 癸卯

朱伯骥 癸卯,有传。

正德

熊伯峰 丁酉,苏州通判。

朱廷立 己卯

嘉靖

陈宗夔 甲午

夏 祚 庚子,陈留教谕。

郭允禎 丙午,知县,有传。

姜时棠 己酉,知州。

周存象 壬子,通判。

熊 坦 壬子

陈以训 乙卯

万历

舒弘绪 癸酉,有传。

徐昌时 丙子

程士奇 癸卯,郎中。

全其真 丙子,知潜山。

郭乔竣 乙卯,兵马司。

国朝

顺治

吴孟桂 甲午,汉川教谕。

康熙

朱万锦 己酉,知县。

姚之年 壬子

马翰如 壬子

舒其超 甲子

朱宝瓚 甲子

贡监

明

卢文瑛 御史

朱志先 布政使,有传。

陶 铸 布政使

卓朝用 有传

徐 俭 御史,有传。

郭进忠 垫江训导

杨 庆 焦 翥 知县

杨 顺 知县

韩添相 汪 杰

吴 兴 县丞

程添泽 姜友高 县丞

聂 铭 主事

陈嗣兴 陈克(巳)[己] 县丞

孙 孚

姜思恭 周志远

陈宗韶

陈克志 孙 辂

张必敬

全以昂 谢子彰 县丞

姜 逊 知县

徐仲渊 夏胜先 同知

朱 信

方 茂 经历

徐 原

杨 鉴 县丞

方志通 经历

卓 隆 经历

陈 福

邵 环

杨 頊

姜 福 知县

黄 钟 推官

姜 俊 县丞

宋 瓚 州判

蔡 亨

焦 瑞

周 绶

邓 庸

熊 威

瞿 文

姜 恕

韩 珽

宋兴隆		鲁 政		杨 珽	
徐 定		严守贵	县丞	徐 遵	
陈 环		叶芳春	经历	焦 绅	
许 浩		涂仲贡		汪应林	知事
陈伯雄		徐 暄	训导	朱原纪	
吴孟祯	推官	余仕圭		宋 滋	
徐伯昆	州同	刘 观		周仲英	教谕
熊伯智	教谕	聂 元	县丞	杨 昭	县丞
周 淇	断事	陈 琉	有传		
舒有年	推官	吴从敬	光禄寺署正		
夏大用	经历,有传。				
方 员		汪中濂	训导	金仲贤	太仆寺主簿
朱伯鹏	大足知县			陈瑞诚	州判
涂 阜		孙 本		鲍 阁	县丞
徐伯钺		鲍 闾	县丞	吴文言	
陈文乾	经历	陈 恕	知县	夏 纪	知县
陈文盖	训导	陈兴贤	教谕	宋守约	学正
焦 兰	教谕	徐伯山	学正	熊 蟠	训导
乐有律		张义德		徐 旦	经历
周希文	州同	涂宗儒	教谕	徐仲书	
舒 彦	训导	许 诏	州判	徐 棠	通判
吴万甲		周 书	教谕	朱之来	
汪汴清		陈季丰		涂宗奎	恩贡,知县。
陈志雄	县丞	焦 默		徐 斐	恩贡,训导。
宋 柬		舒吾素	县丞	吴 澶	
焦宗会	选贡,推官。			朱之楫	选贡,有传。
许仲让	光化教谕			陈 黻	
胡伯宝	南川训导			张日升	南康教授

余淑贞	岳州训导	朱之柱	知县,有传。
周懋官	州同知	李思学	
严仕贤		夏为霖	彭泽教谕
沈犹恬	光山教授	罗 选	安陆训导
沈继约	选贡,通判。	姜一梧	黄冈训导
舒弘绩	麻城训导	祝应举	奉新训导
焦养重	兴宁教谕	熊士骥	州判
黄希范	长沙教授	夏德立	京山教谕
舒弘抱	新宁教谕	胡 侗	圻水教谕
叶春杨	教谕	严中宽	监利教谕
宋之奇	监利教谕	熊 飞	吉安府判
沈襄明	知县	余文士	桐柏教谕
郭梦道	知县	夏云霓	知县
陈幼学	训导	谭大元	
程怀珍		郭乔圻	训导
陈宗器	照磨	韩师瑜	州判
舒 问		宋 极	州判
方 灿	主簿	韩履吉	
朱之梅	韩逢吉	朱宝和	熊名选
朱承耀			熊名世

国朝

舒其忠	罗万里	沈于先	谭学忠
阮先声	谭学瑀	县丞	朱承煜
			知县
许立达	江浦知县。	殉节,赠副使,	荫一子。
黄献宸	县丞	吴光位	舒鼎臣
			训导
徐思升			
朱宝三	吴朝举	训导	谭学琼
			陈 介
唐振烈	朱宝璐	副榜	叶廷祥
			阮金声

朱上士 训导 舒清臣
黄 钟

谢宇士

谢 朴

武科进士 无载

举人

明

崇祯

阮 嘯 癸酉

国朝

顺治

余梦斌 辛卯 程大智 辛卯 桂士泰 甲午

辟荐

明

韩 衡 举贤良方正,主事,有传。

张 勉 举人才

黄天性 有传

涂万钟 通判

清康熙湖广武昌府志校注

武汉地方志编纂委员会办公室 编

(下册)

武汉出版社

卷之七

人物志 [一]

今夫地之所重，顾不以人哉！星野著于上，方域界于下，而人为之经纬焉。又必贵有瑰奇、俊伟、倜傥、非常之俦，落落布置其间，能俾后之人，怀古苍凉，闻风感慕，人顾不綦重哉！维楚有才^①，是不一地；而武昌首郡，实踞上游。子文、孙叔之功^②，倚相^③、灵均之选^④，代不乏焉，夫勋德尚矣。皋、夔、稷、契，愿为良臣。以暨有猷有为，经纶雷雨，固千古之所荣也。而甘化碧之烈^⑤，招和泪之诗，与夫刚操介节，险孝奇忠，匹夫匹妇，志不可夺，又非所称廉顽立懦^⑥，为风百世者耶？至若儒林概理学之全，文章系华国之叶，潜光硕德，方外幽踪，皆尚论得失之林也。兹敢酌古准今，约遵史例，稽时按地，分类而并列之，庶几不溢不漏，使览者可以讨论焉。然非因次第之后先，而有所轻重也。志《人物》。

勋德列传

宋

冯京 字当世，江夏人。少隽迈不群，乡举、礼部、廷试皆第

① 维：通惟。 ② 子文、孙叔：令尹子文、孙叔敖，楚名相。

③ 倚相：楚良史。 ④ 灵均：屈原的字。 ⑤ 化碧：《庄子·外物》：“苌弘死于蜀，藏其血，三年而化为碧。”后指忠臣烈士。 ⑥ 廉顽立懦：使顽者廉、懦者立。

一。时尚未娶，张尧佐负官掖势，欲妻以女。拥至其家，束以金带，曰：“此上意也。”须臾，宫中持酒（榖）[肴]至，出奩具。京笑不视，力辞。出，判荆州府事。还，修《起居注》。时吴充以论温成皇后追册事黜知高邮。京直充言，疏称不当黜。刘沆请并斥京，仁宗曰：“京何罪？”但解其《起居注》，旋复试知制诰。避妇翁富弼当国嫌，拜龙图阁待制、知扬州。改江宁府。以翰林侍读学士召还，纠理刑狱。知开封府，数月不诣丞相府。韩琦疑京傲，语弼。弼使往见京，曰：“公为宰相从官，不妄造请，乃为公重，非傲也。”出，安抚陕西。请城古渭，通西羌唃氏畀木，征官以断夏人右臂。除端明殿学士，知太原府。神宗立，复为翰林学士，改御史中丞。王安石方议新法，更张失度，为民患，京论之。安石指为邪说，请加黜逐。帝不听，擢枢密副使。当是时，河东、麟府、丰三州，城械不治，官吏皆受谴。京以率先本道上章自劾^①，帝优诏答之。进参知政事，数与王安石论辨^②，极言保甲、养马不可行。又荐刘攽、苏轼掌外制。会选人郑侠上书言时政，荐京可相。吕惠卿谮京朋党，罢知亳州，旋以资政殿学士出知渭州。值茂州寇叛，徙知成都府。藩部何丹方寇鸡棕关，闻京兵至，诣京降。议者欲捣其巢穴，京请于朝，禁侵掠，给稼器糗粮，遣之归番部。皆喜，受盟，愿世为汉外藩。复召知枢密院，京以疾未至。帝迟其来，至形之梦，因有梦寐不忘之诏云。随以观文殿学士知河阳。哲宗立，拜保宁军节度使，知大名府，又改彰德。范祖禹论京：“生平先后为安石、惠卿所倾阻，中立不倚；且昭陵学士惟京在，付以枢密，必允公论。”时京已老，乃以中太一宫使兼侍讲，改宣徽南院使、拜太子少师致仕。

绍圣元年薨^③，年七十四。帝临奠于第，赠司徒，谥文简。所著文集、奏议三十卷。

① 本道：以自己的职务。 ② 辨：义同辩。 ③ 绍圣：宋哲宗年号，公元1094—1098年。

或曰：京，咸宁人。父商有隐德焉。

孟宗政 字德夫。其先曲沃人，徙居武昌。任荆鄂都统制。敌窥襄阳，势张甚，骤如风雨。宗政乃与统制扈再兴、陈祥合谋誓师。三陈设伏^①，趋左右两翼奔击之，敌遂摧败。寻枣阳围急，宗政闻警，率锐疾驰，奋迅冲突，如从天降，敌为披靡遁去。权知枣阳，初视事，有爱仆犯令，立斩以徇^②，一军股栗。筑堤防、修垣堞，简阅军士，严陈整伍以待敌，完颜赛不夹城下。宗政复与再兴合兵犄角，身先士卒，出奇制胜。自是敌皆偃息，不敢复窥襄汉矣。枣阳遗民来归者以万数，发廩赈之，籍其勇壮，为忠顺军。巡徼唐邓间，威震强邻。累官太师，封永国公，谥葬武昌之清水潭。

赵葵 字南仲。其先衡山人，父方为蒲圻尉，因家焉，遂为蒲圻人。葵生于蒲之梅隐坊，有异征，或梦南岳神降于其家云。年十二三，随父任制置，即能从诸将冒矢石与敌战。长，更饶胆略，畅晓兵事，与扈再兴等冲锋陷阵，奋勇报国。嘉定十年^③，败金将乌古论、高琪于枣阳。十三年，败金将阿海于邓州。十四年，又败之于唐州。以功授承务郎，知枣阳军。十五年，起复直秘阁，通判庐州，进大理司直、淮西安抚参议。绍定元年^④，知滁州，同兄范协力讨李全。四年，获全杀之，积勋历任。至景定元年^⑤，授两淮宣抚使、判（杨）[扬]州、鲁国公。咸（熙）[淳]元年^⑥，进少傅。二年，加少师、武安军节度使、冀国公。年八十一，卒。赠太傅，谥忠靖。

兄范，字武仲。累立战功，升端明殿学士、京、湖、关、陕宣抚使，知开封府、东京留守。

① 陈：“阵”的古字。② 徇：“殉”的异体字。③ 嘉定：宋宁宗年号，公元1208—1224年。④ 绍定：宋理宗年号，公元1228—1233年。

⑤ 景定：宋理宗年号，公元1260—1264年。⑥ 咸熙：为三国魏年号，南宋景定后应为咸淳。

明

王竑 字公度，江夏人。正统己未进士^①，授户科给事中。十四年，英宗北狩。景泰帝监国，廷臣伏阙劾中官王振罪，锦衣指挥马顺叱令出。竑愤甚，奋臂摔顺发，啮其肉。百官争捶，顺立死。盖顺故振鹰犬，曾阿振指惨毙谏臣、侍读刘球于狱者。由是中外称快，直声震天下。旋因边警，擢佥都御史，督守居庸诸关，著有劳绩。事平，巡抚淮扬兼总督漕运。官弁畏服，贪墨者解绶去。景泰癸酉^②，徐州萧沛间大饥疫。竑亟发粟赈贷，设局煮糜医药，全活者众。英宗复辟，石亨、张轨追论击顺事，罢为民。四年，复职征平凉寇。七年，复督漕运，徐人扶老携幼、欢呼迎候者以数万计。宪宗立，用言官荐，晋兵部尚书。时两广用兵，筹画多采用。力荐韩雍督军务，后果成功。又荐修撰岳正给事中^③，张宁不听，遂移疾。上命医往视。章三上，致政归。卒年七十五，赐祭葬。

李承勋 字立卿，嘉鱼人。弘治壬子^④，以儒士举于乡。癸丑^⑤，成进士。除太湖令，俗犷悍难治，承勋能以善政变其习。征为部郎，出守南昌。时宸濠阴蓄异志，百计尝之，不为动。地多剧贼，丁大王等陷瑞州，承勋力剿破贼，五寨悉平。境内安辑，即上请蠲租。八年，桃源贼王浩倡乱，承勋料贼所由^⑥，间道设伏擒之。以治行第一，累官巡抚辽东。节省积羡，为战、守、备。下不肥私橐，上不费大农金钱。事闻，进一级。以病乞休，旋起南刑部侍郎，晋尚书。疏论弭灾异、浚河道诸事，悉嘉纳。嘉靖初，召为吏部尚书，辞。乃迁兵部尚书兼都御史，加太子少保，提督团营。时郭勋怙宠骄

① 正统：明英宗年号，公元1436—1449年。己未：公元1439年。

② 景泰：明代宗年号，公元1450—1456年。癸酉：公元1453年。

③ 给事中：任给事中。④ 弘治：明孝宗年号，公元1488—1505年。壬子：公元1492年。⑤ 癸丑：公元1493年。⑥ 承：江苏、湖南本作“廷”，误。

纵，承勋严加挫抑，剪其党羽。十年，诏问耕桑礼，承勋言：“礼，文也。政，本也。惟崇节俭，重力田，兴水利，足民衣食为急务。”又问郊禘，以推本经术、顺人心对。卒，赠少保，谥康惠。

方逢时 字行之，嘉鱼人。弱冠，登嘉靖辛丑进士^①。筮仕初，三为县令，民皆德之，累官至广东按察司，备兵惠州。会有山贼名花腰蜂者，据白马窑之险，构乱十余年。聚党杀掠，民日夜惨罹俘馘。官军屡衄^②，不能制。逢时用奇设间，先遣兵控守要害，断其出入。适遇倭寇复至，逢时侦知贼中有徐姓者尤狡黠，遂移檄示花，告以徐将约倭图花，花果杀徐。孤其党，因率兵破擒之。随谕长乐贼叶再楼杀倭自赎，叶慑其威名，遽还报，然心犹豫持两端。方时乘其懈^③，阳遣兵护其家，重兵袭之，尽歼焉。境内帖息，东人庆若更生。会量移山西，备兵宣府，士民遮留载道，哭声震野，建生祠以祀。寻升都察院，巡抚辽东。履任甫十日，大同告警，即命巡抚大同。战守方略，悉中机宜，屡建奇功于阃外云。特赐蟒玉，专理兵部团营。加太子太保、兵部尚书。御书“尽忠”二字及“丹心葵向日，劲节竹凌风”一联赐之。又叙功加少保，荫子世袭。卒年七十四，祀“乡贤”。

吕调阳 子和卿，大冶人。由广西籍，举嘉靖甲午乡试^④。庚戌廷试第二人^⑤。累官建极殿大学士，同张居正辅政。文章德业，备极荣遇，具在国史。兼以属籍桂林，详著粤志，兹特撮其大略云。卒赠太保，谥文简，祀“乡贤”。

谢鹏举 字仲南，蒲圻人。少贫，力学。嘉靖癸丑进士^⑥，授户部主事。历守临江，广贼张涟大举入寇，蹶至清江镇^⑦。鹏举躬擐甲胄，截江大战。遣善没者豫沉水中凿贼舰，水沸起，贼骇愕。乘其乱

① 嘉靖：明世宗年号，公元1522—1566年。 辛丑：公元1541年。

② 衄：战败。 ③ 方：应为“逢”误。 ④ 嘉靖甲午：公元1534年。

⑤ 庚戌：公元1550年。 ⑥ 嘉靖癸丑：公元1553年。 ⑦ ●：越。

纵击，大破之，溺死者无算。宪司欲尽戮其俘，鹏举泣请曰：“此皆良民，为贼驱者也。杀之而冒功，冤鬼夜号矣。其宁忍之？”乃止。以功赐金币，擢广东参政。海寇曾一本驾巨舟千艘，筑垒临城。鹏举婴城固守，贼引去。升浙江按察使，转左布政。先是，监织造局者价不全给，私耗以万计。鹏举尽畀之，众咸感悦。甲戌入觐，以廉能为天下第一。召对，锡燕^①，赏金币有加，陟副都御史。倭寇内江，督兵往剿。功不满者仅数级，或请下海穷搜。鹏举正色曰：“汝欲以满级袭锦衣耶？杀无辜而欺朝廷，吾不为也。”捷闻，荫子承祚入监。寻升右都，掌南院。以与江陵议不合，投劾归山。居二十九年，门庭萧寂，朝遣礼部主事袁宏道诣家存问。卒年九十三，予祭葬。

忠烈列传

唐

李溪 字景望，江夏人。大中末进士^②，累官户部郎中，分司东都内使。郝景全多行不法，溪劾之。黄巢陷洛，溪挟尚书八印走河阳。时留守刘允章为贼胁，遣人求印，溪不与。允章悟，不臣贼。嗣襄王之乱，转侧淮南。高骈受伪命，溪苦谏不纳。入为中书舍人、翰林学士。辞职归华阴，复以学士召。乾宁元年^③，进礼部尚书、同中书门下平章事。宰臣薛昭纬素疾溪，讽刘崇鲁诋之。时逆臣擅命，昭宗孤立。知溪忠，决意用之。溪勉强涕泣受命。而李茂贞及王行瑜、韩建果拥兵阙下，列溪罪，竞杀之都亭驿。昭宗不能保有一臣，此亦稽侍中之血也。行瑜诛，诏复溪官爵，谥文。溪好学，家有书至万卷，世号李书楼。子沉有俊才，亦遇害，赠礼部尚书员外郎。

① 锡燕：赐宴。 ② 大中：唐宣宗年号，公元847—859年。 ③ 乾宁：唐昭宗年号，公元894—898年。

宋

陈求道 字得之。咸宁人，后徙蒲圻。陈康民之子。举进士，靖康间判都水监^①。金人围汴，徽宗括民间金帛贿和，求道力言不可，不听。时康王勤王在外，求道请立为元帅，缓急可倚恃，荐刘定赉蜡书达康王而还。金立张邦昌，下令京官不赴者死。众相视嚅嗫莫敢发声，求道痛哭长号曰：“嗟乎！国亡不能存，主辱不能死，尚忍北面拜贼耶？”吐血累日。邦昌以开封尹召之，竟不屈。居尝以二帝蒙尘为耻，感愤欲自杀，救得免。高宗即位，河决陈留四十日，漕运阻绝，京师大恐。留守宗泽命求道治之，七日，河尽复故道。餉道通，军民父老皆欢跃。建炎四年^②，迁邓襄随郢镇抚使。兵食不给，屡疏陈请不报，遂归。自咸宁挈家就食嘉鱼，值兵乱，乃之蒲圻，寓龙堂寺。未几，招抚刘忠反，贼党数千人一夕掩至，劫拥还嘉鱼。至茗山，欲尊求道为主。求道正色厉声叱之。贼遂杀其妻蔡氏及三子符、洎、淦。求道益怒骂不已。贼以刀劈口，拔其舌而死。符子颢窜山谷得免，贼退，始得求道尸葬于蒲圻之兴坡。今墓存。

方琼 通城人。宣和间命为将军^③，戮力防御，卒死国难。葬于龙印石，立庙鸡鸣岭下以祀之。

元

聂炳 字韞夫，江夏人。太定四年^④，同周鏊试《大别山赋》登进士第。初授同知平昌州事，转宝庆路推官。会峒獠寇边，湖广行省右丞秃赤统兵讨之，屯武冈。以炳摄分省，理问官事。时悍卒多掠民为俘，指为獠，冤惨莫诉。炳言于秃赤，分别考验，释归良民被掠者

① 靖康：宋钦宗年号，公元1126—1127年。 ② 建炎：宋高宗年号，公元1127—1130年。 ③ 宣和：宋徽宗年号，公元1119—1125年。 ④ 太定：即泰定，元泰定帝年号，公元1324—1328年。

数千人。至正十二年^①，迁知荆门州。淮汉贼起，荆门失守。炳募土兵，得众七万，复其城。又复江陵。既而蕲、黄、安陆贼复炽，贼帅喻君正合兵攻荆门。炳率孤军昼夜血战，援绝，城陷。被执，骂贼不屈，死之。

明

周琮 字仲方，崇阳人。洪武间岁荐^②，试刑部郎中，迁浙江左布政。三载，以母忧归。永乐初^③，补河南。未几，调陕西。三任皆大藩，而治陕独久。七年之内，吏畏民怀。寻奉命，偕户部侍郎左献总饷于边。琮以军兴，急王事不得惮艰险，决策而前。事竣还，遇寇与敌，死之，年四十八。子軫归其丧，敕葬上金成乡龙方之源，大学士杨溥志墓。陕人哀之，为立祠。

夏泰 崇阳人。永乐间，任金事。交趾陷没，死之。

李璈 武昌人，由贡授左军都督府都司。正统（乙）[己]巳土木之变^④，随驾北狩。职橐饔，侍左右。冰天毡幕，备极艰苦，誓死不变。后蹈钟刘之难，以身殉之。天顺初^⑤，追恤其劳，荫子汉入监。

汪洪 字克容，蒲圻人。成化乙酉^⑥，举顺天乡试第一。丙戌^⑦，成进士。授户部主事，历员外郎。值中官西厂汪直、威宁伯王越出征^⑧，主客军马不下数十万。塞下岁数饥，边储匮乏，赖洪转饷。直固怙宠开边衅，而越又附直喜功，洪曲为调剂，事集而民不扰。本兵上其功，宪宗嘉之，赐赉有差，迁山东佥议。时冢宰尹旻亦同王越媚

① 至正：元惠宗年号，公元1341—1368年。 ② 洪武：明太祖年号，公元1368—1398年。 ③ 永乐：明成祖年号，公元1403—1424年。 ④ 正统：公元1449年。湖南本作己，亦误。 ⑤ 天顺：明英宗年号，公元1457年。 ⑥ 成化：明宪宗年号，公元1465—1487年。 乙酉：公元1465年。 ⑦ 丙戌：公元1466年。 ⑧ 中官：宦官。

直，纵其子贪贿干求，洪峻拒焉。旻譖之，左迁知蜀绵州。岁大旱，莩骨盈野。洪捐俸煮糜分给之，又多方劝赈，全活者甚众。既乃躬视土宜，疏水源，创修石磬七堰，溉田数千顷。民德之，为建生祠。先是，都御史张赞开坝底诸堡以通茂州。洪至，往理戎务。归至石泉，土官突出。洪倚堑控弦与之交射，为流矢所中，坠于偏桥之悬崖而死。居人每于阴雨月夕，见其乘马、挟弓矢怒跃如生时，为立祠祀之。

仵瑜 字忠甫，蒲圻人。正德庚午^①，举乡试第一。丁丑^②，成进士。己卯^③，授礼部主客。世宗入继大统，疏上勤圣学、笃亲亲、开言路、敬大臣、选诤臣、去浮屠、拯困穷、重守令、修武备、储人才十事，上嘉纳之。仍故官，提督四译馆^④。当是时，四译朝贡，如哈密、佛朗机诸国。中朝权宦黜其宝賂如外府，而诸国亦各以货取（钩）[钓]，致积有轻心，独朝鲜最恭谨，彬彬有上国风。瑜则示之以礼轻、重畏、怀之，四译罔不悦服。故相传其后闻瑜死，咸膜拜流涕云。嗣是，遂有议大礼之事。议大礼者，世宗谓继统不继嗣，改称孝宗敬皇帝为皇伯考、兴献为皇考，昭圣皇太后为皇伯母、章圣为圣母也。时惟席书、张璁、霍韬、方献夫、桂萼主其议，大学士杨廷和、蒋冕、毛纪力谏，以为干正统。久之，廷和、冕及礼部尚书汪俊相继去。廷臣抗言极（辨）[辩]，或谪、或罢、或狱无虚日。瑜窃叹曰：“世道升降，系此一举。吾，礼官也，有死而已。”甲申十月五日^⑤，少宰何孟春率百官伏阙死争，哭声震阙廷。世宗大怒，悉下百官于锦衣卫狱。越三日，械至午门，杖三十。死者十有六人，瑜与焉。绝命时，犹张目谓其友中允廖道南曰：“噫嗟！吾事毕矣。子勉之。”年四十有八。

① 正德庚午：公元1510年。 ② 丁丑：公元1517年。 ③ 己：国图、江苏本作“巳”，误。 己卯：公元1519年。 ④ 四译：四面需翻译才能沟通的国家或政权。 ⑤ 甲申：公元1524年。

隆庆初^①，赠少卿，荫子密入监。

贺逢圣 字克由，一字对杨。江夏人。父阳亨邃于理学，称醇儒，及门者众。逢圣守庭训，为郡诸生，事父母以孝闻。万历癸卯^②，举于乡。再会试，不第。以家贫缺甘旨，有捧檄思受教职谕应城，成。丙辰^③，进士，廷对第二人，授翰林院编修。天启壬戌^④，分较礼闱，迁国子司业，寻充经筵侍讲官。当是时，魏珰窃国柄，能生杀予夺，人人争媚之，至为建生祠，珰视之弗重也，必欲罗致逢圣，得一言以为荣。使人持厚币乞上梁文。逢圣拒之，谢不能。然珰心尚属逢圣，甲子^⑤，命典留都试。或谓逢圣曰：“此出上公意，宜往谢。”逢圣笑不答，即日戒装出都。魏珰乃大怒，矫旨自涿州追还，遣他僚代。于是，珰流毒荐绅，杨左诸贤横罹惨祸，逢圣乃力疏归养。甫抵里门，而削籍之命下矣。烈皇帝即位，诏起南祭酒，值丁二亲艰。服阕，入都陞见。上喜，由少詹至礼部尚书，诏入阁办事。历阶少傅，荫一子中书舍人。休容清正，时称圣相。因与首辅不协，屡疏乞休。上不许，辞愈哀，上乃赐宴曰：“先生不能强为朕留耶？先生暂归，行且召先生，先生其无弃朕。”寻遣行人存问里居，应门止老仆一二人，时与邻曲亲旧握手道故，坦率不异寒素。

时岁癸未春^⑥，左将军良玉收兵东下。流贼张献忠乘虚结浮桥渡江。逢圣倡率士民，登陴督守城南门。贼昼夜攻城急，乃请楚藩发藏金劳军。王不应，逢圣犹慷慨誓众，以忠义相激励。六月朔，巡抚王杨基拥兵遁，城遂陷。公谓夫人危氏曰：“大臣家不可辱，奈何？”夫人遂率诸妇婢投后园池中。逢圣乃从容出，投淄杨桥下以死。贼退六阅月，湖水涸，乃得尸。貌如生，植立桥柱间，白须飘飘若神。见

① 隆庆：明穆宗年号，公元1567—1572年。 ② 万历：明神宗年号，公元1573—1620年。 癸卯：公元1603年。 ③ 丙辰：公元1616年。

④ 天启：明熹宗年号，公元1621—1627年。 壬戌：公元1622年。

⑤ 甲子：公元1624年。 ⑥ 癸未：公元1643年。

者皆环拜，哭失声。谥文忠。

吴裕中 字磊石，江夏人。父璧山，教授乡里。尝积谷千石，万历间，岁大饥，廉其值以出，乡人德之。生四子，裕中其季也。五岁，授句读。一日自塾归，持两梨奉父母。父摩其顶曰：“孝子。”应声曰：“忠臣。”父深奇之。父歿，益自刻励。万历乙卯^①，举于乡。己未^②，成进士，授广东顺德令。顺固剧邑，多陋规。凡胥史各曹监引给发水陆舟邮，皆有额例以为常。裕中慨然曰：“岂吏而贾耶！”斥绝之。又置石关，修海门，严武备，大著廉能声。兼摄新会篆，县多山险，为盗藪。裕中建署，设哨搜辑之，盗遂戢。乙丑^③，召入御史台。巡视中城，遂以直谏遘魏珰之祸云。魏珰罗织忠说，群小为之羽翼，焰张甚。次辅丁绍轼以大臣亦比之，内通客氏，外结崔田助为虐。裕中素感愤不平，于是年十二月二十四日夜半，肃衣冠设香烛昭告二祖、列宗，伸纸具疏。未数行，旋风灭烛者三。裕中怒叱曰：“是何鬼物敢尔！”呼童子速续火，疏斥绍轼奸邪、误国欺君。二十五日奏上，阁票拟已^④，有旨：“姑不究。”绍轼力嗾珰矫旨削夺逮问。裕中适往某侍郎所，同两谏垣、两庶常^⑤，袍服未易。缇骑至，坐中皆失色，裕中从容前曰：“昨具小疏，此必为我。”随至午门，杖一百。血如注，肉糜烂，骨皆寸折。口呼：“天子圣明！”晕绝。舁出，苏，语所知曰：“杖亦君恩，但小疏四，才达其一，诸君谁为我续缮者？”又顾语侍者曰：“吾母远隔数千里外，岂知儿今夕为国死耶？”遂绝，时丙寅正月初三日也^⑥。谍者走报绍轼，方手茶瓯，忽堕地碎，偃身连呼：“饶我，饶我，无与我事！”左右惊问，曰：“适见吴御史来。”越二日，死。

裕中讣至江夏，其母曰：“儿果以谏死乎？儿真范滂，吾得为滂

① 乙卯：公元1615年。② 己：国图、江苏本作“巳”，误。乙未：公元1619年。③ 乙丑：公元1625年。④ 已：国图、江苏本作“巳”，误。⑤ 谏垣、庶常：官员。⑥ 丙寅：公元1626年。

母足矣!”

崇祯初^①，赠太仆卿，褒三代，荫一子，谥曰忠烈。

孙鹏举 字天孙，江夏人。以明经授新化学博，著说书若干卷。荐知渭源县，以忧去。起，补松阳知县。致仕，归。张献忠陷城，冠带坐中堂。家人挽之，怒叱去。贼至，遇害。

吴思温 字江黄，江夏人。万历乙卯举人^②，始任均州学正。时释奠先圣，典礼多阙。思温乃铸祭器，定仪注，夙期戒事，罔或不虔。升知云南顺州，苗蛮犯顺，抚循有方，民以获安。仕至广西布政，致政归。献贼薄城，率兵守保安门。城陷，抗节死之。

贡其志 字以达，江夏人。甲子举人^③，四川云山知县。致仕归，贼破城。其志义不辱，率妻妾阖门自焚死。

李甲 字孚先，蒲圻人。貌修伟，美须髯。博洽，好古慕奇。性多愤激，不可屈。

崇祯庚午举于乡^④，署零陵谕。聘试云南，称能得士，迁蜀双流令。邑旧无城郭，甲为凿濠编柳，备不虞，作《柳城赋》。邑又积苦府餼税，甲立条禁，飭吏胥无苛敛，民便之。土司有啖以金帛者^⑤，甲叱曰：“令为民来，不为金帛来。”兼署新都，政声大著，擢建昌卫同知。甲已趣装去县治^⑥，值流寇屠成都。甲闻变，发愤怒甚，誓不与贼俱生。遂驻黎州，同兵备胡恒，户部范文光、郑廷爵，参军曹勋，荣经令黄儒，举人刘道真起义兵杀贼。乙酉春^⑦，进师荣经。甲独冒矢石先登，马逸而北。有掖之遁者，甲愤呼曰：“生复何为？吾得死所矣！”遂被执，奋跃骂贼死。

时两仆李事从、李视篆相随不去。事从冒白刃出甲积尸中，蹙踊号恸，以死殉。视篆护甲骸，单力不能归，因剃发为僧，寓名山县

① 崇祯：明毅宗年号，公元1628—1644年。 ② 乙卯：公元1615年。

③ 甲子：公元1624年。 ④ 庚午：公元1630年。 ⑤ 啖：吃，喂，指贿赂。 ⑥ 趣装：催促。整理行装。 ⑦ 乙酉：公元1645年。

翠峯庵。厝尸庵后塔中，视篆坐卧塔前，有闻必告，饮食必请。每中夜痛哭絮语，若相问答然，如是者八年。视篆亦随没，托藏尸于其徒槃寰。

又十五年，甲仲子蕊珠由汴而秦，崎岖山坂，重趼达益州，觅父于新都。仓皇走名山而西，途次历诉寻父状。忽遇槃寰相告语，得父遗骸并视篆骨，舁以归。时惨痛不自胜，仰天呼曰：“冤哉，天乎！吾父万里孤忠，今相见于枯崖断壑间，谁知者？”监军道程凤翔闻之，称甲讨逆殉难，可与巡、远比烈云^①。

盖李甲一门，臣忠子孝，而两仆更义，有足传^②，故详志之。

吴兹明 武昌人，以椽任山东黄县尉。城破不屈，死，黄人祠祀之。

陈靖之 江夏人，由岁荐授太昌令。介节自守，罢归，无寸椽担石。献贼陷城，慷慨骂贼，死之。

马际昌 蒲圻人。崇祯庚午武举^③，初授巡抚军前赞书。抚军卢象升疏荐其智谋沉静、有儒将风，擢中军参将，署副将事。乙酉^④，左良玉拥兵清君侧之奸，潜谋不轨，胁之南下。际昌恐陷不义，不从，遇害。

金声 字正希，嘉鱼人。力学嗜古，喜静坐读《易》。其时艺、古文辞，皆多清悟、创辟，发前人所未发。浩落有古大家风，而实自成一家言。性更倜傥好奇，以忠孝节义自任。善谈兵及当世务，铿锵激昂不倦。由选贡入北都国学。天启甲子^⑤，举于乡。崇祯戊辰^⑥，成进士，授翰林院庶吉士。上封事数千言，执政以词臣言兵事越职，欲出之。上特嘉其忠直，擢山东道御史。居台，益感激受主知，自奋励。屡与执政忤，例转山东佥事。告归，居于南。值马士英挟川兵数

① 巡、远：唐张巡、许远。安禄山反，二人力守睢阳，保护了江淮。虽城破死节，后代评价很高。② 足：值得。③ 庚午：公元1630年。

④ 乙酉：公元1645年。⑤ 天启甲子：公元1624年。⑥ 崇祯戊辰：公元1628年。

万，威制中外，纵之卤掠^①。声疑流贼至，率徼民袭杀之，祸几不测。有力言其误者，事得解。卒以抗执不可驯，死于南。尝观尧君素《岁寒之诏》及《成仁取义衣带遗书》，而当时有恐史书编不到之悲，则固不得仅以文士例声矣。有《燕诒阁》、《尚志堂》诸稿行世。

国朝

刘日襄 字放云，武昌人，少著文章声。顺治初^②，以贡授广西宾州守。宾固严疆，控扼诸蛮洞。日襄治宾方一载，适城陷。日襄曰：“城亡与亡，复何言。”遂不屈死。事闻，赠广西布政司右参议，赐祭，荫一子入监。

许立达 通山人，任江浦知县。顺治十六年六月，海寇陷城殉难。赠江南按察司佥事，荫一子入监。

儒林列传

晋

李重 字茂曾，江夏人。好学，有文辞。少孤，与群弟居，极友爱。为始平王文学，疏陈九品官人之弊，谓：“阶级少则人心定，久其事则政化成。”时谓名言。迁太子舍人，转尚书郎，后迁吏部尚书。务抑华竞，不通私谒，以清操见称。奏搜求隐逸，以山林避宠之士高谊可风，宜加优命。时不能从，出为平阳太守。修学校，表笃行。清简无欲，正身率下。永康初^③，赵王伦辟为相国、左司马，忧愤卒。家贫无殓殓地，诏于典客署营丧。追赠散骑常侍，谥曰成。

孟陋 字少孤，江夏人，清操绝伦。布衣蔬食，文籍自娱，口不及世事。丧母毁瘠过甚，不御酒肉，苦居者十余年。亲族交谓之曰：

① 卤：掳。 ② 顺治：清世祖年号，公元1644—1661年。 ③ 永康：晋惠帝年号，公元300—301年。

“少孤，毁性无嗣，更为不孝。”然后从吉。简文帝辅政，命为参军，称疾不出。桓温躬往造焉。或谓温曰：“孟陋高行，学为儒宗，宜引在府，以和鼎味。”温叹曰：“会稽王尚不能屈，非敢拟议也。”陋闻之曰：“亿兆之人，无官者十居其九，岂皆高士哉？我病不堪供命，匪敢以不出为高也。”陋博学，长于《三礼》，注《论语》行于世。

宋

李义山 字伯高。世居丰城，后徙嘉鱼西堡，为嘉鱼人。少读书，即解大义，师事朱晦庵、张南轩。嘉定十年，成进士。历知吉、饶等州。境有寇窃，推诚诰谕，皆感服，民以安。摧折豪强，德威并著。淳祐间^①，除枢密院编修，又除知大宗正丞、兼金部郎。入对首言：“为善不可有疑心，去恶不可有悔心。”又言：“陛下有好善之心而无迁善之勇，有疾恶之名而无去恶之实。”皆切中情实，上首肯之。时称其“行美于瑜，节介于石”云。赐爵中大夫、直秘阁、丰城县开国男，食邑三百户。所著有《制美堂漫录》、《思过录》、《后林遗稿》若干卷。

张丰应 大冶人，师事朱仲晦。讲学白鹿洞，曾讲《尚书》、《周官·慎刑章》，一时叹服。会峒獠寇乱，摄行司理。俘获渠魁^②，释其胁从数千，人称通儒。其与文公问答，详见《朱子语录》。

万楨 字正淳，号止斋，大冶人。和祐元年进士^③，师事朱文公，多所阐发。文公尝当称其气象尽好，能于性情、持守上用力。元至正间，县令周镗立祠祀之。今崇虚观，其读书处也。

冯洽 字深之，大冶人，朱子门人冯倚之弟子也。手录性理诸书，诵说不厌。

邵应豹 字起南，号菊逸。先世淳安人，父祖历官湖湘汉沔间，

① 淳祐：宋理宗年号，公元1241—1252年。 ② 渠魁：首领。

③ 和祐：无此年号，有误。

乐武昌风土，遂家焉。应豹登宋嘉熙进士^①，调常德司户，转知江夏。母老，即辞禄侍养。时丁、贾二相皆应豹同年，当路薰灼，应豹独绝之。自幼笃孝，母疾，医须鹄肉和药，应豹默祷，有鹄自投于庭，母疾遂愈。其后居丧，哀毁成疾。再祥，不禫^②。李庭芝辟知宝应，转知浔州，皆有惠政。老还武昌，杜门谢客，吟咏自若。其出处进退，皆能守礼度义焉。卒年九十五，爵淳安县开国男，食邑三百户。

吴必大 字伯丰，兴国人。少从吕祖谦、张栻游。晚师朱晦庵，究心理学，言行一出于正。曾以父任补吉水丞，属权奸指晦庵为伪学，遂弃官归。

元

宋愿 号文斋。先自宋季徙蒲圻，居于蕲塘之龙窟潭。愿生而颖敏，学务经术。潜心讨论，至忘寝食。皇庆中^③，授濂溪书院山长，转澧州学正，有善诲声。

明

王允茂 字才英，蒲圻人。嗜学，通经义，能诗。以道义律身，介然自守，不苟合于流俗。与兄志学相友爱。尤精于诗传讲义，从游问难者甚众，士类叹服，称楚林先生。乡人皆化其德。洪武十八年，以荐知泰宁县。岁旱，祷雨辄应。暇则与人论道赋诗，吏民爱之。其卒也，哭之如其父母云。子恺举进士，为名宦。

李德庸 名弘，以字行。宋李义山之曾孙，迁于蒲为蒲圻人。庸幼读书，即务探微旨。及长，讲明性理之学，深达阃奥，得其渊源。先辈推让之。洪武十九年，辟为本学训导，勤于教诲。永乐五年，应

① 嘉熙：宋理宗年号，公元1237—1240年。 ② 禫：除丧服礼。

③ 皇庆：元仁宗年号，公元1312—1313年。

江西乡试聘，得士萧时中，被召入京。会皇储监国，经筵进讲称旨，迁国子助教。陈足疾，免朝参。十年，致仕。

廖清 字源洁，蒲圻人。弱植清苦，躬耕力学。正统十二年举于乡，授武义教谕。慨然思绍金华正学，手录金仁山、许白云及宋景濂诸集诵读研究，体验身心^①，朝夕不怠。晚年，所得益深。二子传、佐，皆登第。

廖俊 字文英，清之侄。笃志力行，以古贤哲自期。景泰元年举于乡，授汉川学正。西土隘陋，罕事诗书。俊一日偶至开元寺，闻梵音清朗，叹曰：“此中岂无佳士乎，何不可挽墨归儒也？”乃择其年少者赵杲、方璧、周冕、张教四人，馆于学宫之旁，朝夕诲之。杲成进士，璧、冕俱乡举，教以明经为府判。汉（州）〔川〕始知向学，迄今称其德不衰。久之，调嘉定，造士如前。晚归，结庐芙蓉山。悠然有会，著有《芙蓉百咏》。子汉，孙道南，皆登进士。

艾杰 字世英，崇阳人，天顺丁酉举于乡^②。苦学安贫，一介不苟。知府秦夔以其邑绝田百亩予之，谢不受。授江安谕，力正文体，率行冠婚礼。每坐讲堂讲学，必严肃衣冠以身为教，终日无懈怠，不间寒暑。生徒不能婚葬者，助之。修《蜀志》，擢成都府教授。

朱伯骥 通山人。成化癸卯^③，举于乡，授广州推官。往从陈白沙游，浩然有归志。上白沙书曰：“古之待士也甚恕，故士之自为也甚通。今之待士也甚刻，故士之自饰也甚周。自为之道也，伸缩张弛由乎我，而光明俊伟之业成。自饰之周也，举动视听从乎人，而消沮闭藏之念作。此人才所由分，而事业所由异也。且夫人之情，忌人之获誉，喜人之获谤。是故九人之誉，不足敌一人之谤。苟非中流砥柱，特立独行，几何不熏灼而波靡也。”白沙以为知言。遂弃官归，筑室溪南，面山临水，专精理学，横经课子。暇，则逍遥山谷，咏歌

① 体验身心：指亲身体验。 ② 丁酉：有误，天顺无丁酉。 ③ 成化癸卯：公元1483年。

自得，人称南溪先生。

李承芳 字茂卿，嘉鱼人。有夙慧，生七月，以灰画地作“土地”二字。年十四，其伯父田为中丞，指乡里富贵者示之曰：“儿志及此乎？”对曰：“否！否！徒富贵，非儿志也。”成化庚戌成进士^①，授大理评事。性不喜矜饰，视鲜华泰侈为秽浊，去之若浼。蔬布清寒，翛然自得。尝曰：“余得俸钱三十缗，可津而南矣。”迁寺副，遂谢病归。与其弟承箕同隐黄公山讲学赋诗。论治必以教化为本，有劝之仕者，辞以素无吏才，非敢自薄也。著有《东峤集》。

李承箕 字世卿，承芳之弟。幼不喜举子业，好讲学及古文辞。非礼不言动，同党称为道学先生。成化丙午^②，与兄承芳同乡荐。弘治庚戌^③，当上公车，定以元旦启行。除夕，兄弟共侍亲节宴。至中夜，母叹曰：“今夕有二子，明夕当何如？”承箕遽泣下，不忍去。劝兄就驾，自愿留家奉养。承芳成进士，承箕遂弃科名，不复言仕进。读书大崖之峰，因号大崖。博综坟典，倡明绝学。徒步三访陈白沙于东粤，师事之。不事生产，屡空晏如。尝同承芳对坐，家人告瓶罄，二人相视曰：“吾道非耶？”以理学名天下，配享濂溪，里人建祠祀之。

汪文明 字希舜，崇阳人，天性朴直。诸生时，读书大集山下。每游桃花洞，濯清泉，辄忘言自得、会心正远，人莫窥其际。正德丁卯^④，乡荐教谕乐安，日进诸生，语以正学先行而后文，迁蜀彭县令。值岁旱，祷雨立应。劝课农桑，推诚化导，民信而爱之。未几移疾，彭民聚祷于丹景、九龙二山焉。

李整 字端彝，嘉鱼人，承箕第三子。正德庚午^⑤，乡荐再下第，遂不就试。养静田园，键户不出。笃志经史，手不释卷。诵读之

① 成化庚戌：有误，成化无庚戌年。 ② 成化丙午：公元1486年。

③ 弘治庚戌：公元1490年。 ④ 正德丁卯：公元1507年。 ⑤ 正德庚午：公元1510年。

外，无他嗜好，泊如也。作诗赋、古文辞，咸有体要。临终神气闲定，嘱诸弟曰：“善事父母，无堕家声。”正襟危坐而卒。

胡尧凯 字廷和，蒲圻人。博综坟典，崇尚经术。正德癸酉乡举^①，高尚其志，竟不复出。专究心于理学，游于嘉鱼李承箕大崖之门，学者称之。盖渊源于陈白沙云。

汪必登 字希文，崇阳人，正德己卯乡荐^②。醇雅，嗜学。敦孝友，制行不苟，耄年犹讲学不倦。没之日，学者私谥为“榜山先生”。

尹相 字商衡，号介石，嘉鱼人。性方严，风采峻肃。嘉靖戊子举于乡^③，壬辰成进士^④。初授行人，擢南刑给事中，建、白皆得大体^⑤。十五年太庙灾，应诏陈六事；十六年雷火灾，陈五事：皆深中时弊，极恺切。至纠武定侯私跻配享为非礼，尚书霍韬变礼为纷更，皆关国家大典。不避权宠，直言无隐。以丁忧起，补礼科左给事，寻晋吏科都给事。是时严嵩擅权，相独持正不阿。会御史何维柏疏劾嵩，嵩疑相指授，奏相党维柏。皆被逮，杖八十，诏狱。相淡然无愠色，适杨继盛、周怡同在狱，见之，叹曰：“蒙难而能正其志，尹子其庶几乎！”再阅月，始释归。家居，角巾野服，蓑笠躬耕，啸歌田里。闻蒋道林讲学桃源，扁舟往从之。常用图章镌“刚毅木”三字，曰：“讷非吾所能也。”穆宗即位，追录言官，坚卧不起，加秩太常寺少卿致仕。八年，卒。

朱廷立 字子礼，号两崖。通山人。朱伯骥之子也。

初与徐曰仁、邹守益、钱德洪同受学于王阳明之门。登嘉靖癸未进士^⑥。其为学体深而用博，温粹无疵，器度豁如。至进退可否，一律之以礼义，略不苟阿时好，人亦肃然敬惮之。初令诸暨，民健讼。

① 正德癸酉：公元1513年。 ② 正德己卯：公元1519年。 ③ 嘉靖戊子：公元1528年。 ④ 壬辰：公元1532年。 ⑤ 建、白：做事、说话。

⑥ 嘉靖癸未：公元1523年。

作《讼诚》，民为感动，罢讼。又议作海塘。岁省夫值百金。既去，邑人立祠以祝。辛卯^①，巡顺天，督修河道。功成，又出视蜀。会土夷蠢动，围长安堡甚急。廷立督众力战，平之。捷闻，上嘉叹，赐金币。寻以忤时宰，闲住。乙未^②，诏复官，督京畿学政。崇正学，精于衡鉴，学者称为朱夫子云。丁酉^③，升南太仆卿。以母老，乞终养归。南北科道交章荐之，起都察院佥都御史，迁大理寺卿。疏陈三事，曰：“慎刑名，清吏习，正士风。”上嘉纳之。迁工部右侍郎，历礼部右侍郎。适复有忌之者，即谢政归。闭门习静，日坐“炯然亭”，惟以著述讲学为事。廷立笃于孝友，抚兄孤如己出，宗党贫乏者，辄周之。卒年七十有五。

所著有《盐政志》、《马政志》、《家礼节要》行于世，其《两崖集》及疏草藏家塾。

陈宗夔 字惟一，通山人。嘉靖甲午乡荐^④，戊戌成进士^⑤。邃于理学，学者翕然宗之。居官虽政事旁午，有执经问难者，辄为解说，必使豁然无疑义然后已，汲引后学无倦时。累官至浙江兵备，驻嘉兴。会倭寇猖獗，宗夔设方略，身先士卒，败之。寇知有备，始引去，一方赖以保全。与乡人处，油油然无所忤，有犯之者终不之校，亦足征其素养云。

刘应元 字筠乔，武昌人。深于理学，高尚不仕。遇异人指授河洛太极之微，弃举子业，师事蕲州日岩子。与王元美、顾子良、徐太室、王荆石、沈少林相阐论，有《洪范辨疑》、《学易宗旨》、《当世要务》诸书。

舒彦 字楚杰，通山人，由岁贡任四川庐山县训导。性朴讷，言若不能出诸口。至讲论义理，则博辨引喻不可穷，远近负笈从之。数捐俸以给贫士。其诲人，以醇厚正直为修身力行之本。当道知其贤，

① 辛卯：公元1531年。 ② 乙未：公元1535年。 ③ 丁酉：公元1537年。 ④ 嘉靖甲午：公元1534年。 ⑤ 戊戌：公元1538年。

委署县事。却（尝）〔常〕例，秋毫无所取于民。解官之日，行李萧然。归里二十年，日惟读书课子，绝不问户外事。冰檠之操，老而弥笃云。

郭正域 字美命，江夏人。诸生时即负才名，敦气节，刚毅不可挠。抚军延为子师，庭检其书篋，信宿^①，称病出。郡守征其古文辞，遣吏促之急，辄辞不应，曰：“岂待士礼耶？”万历癸未成进士^②，选庶常。益肆力学问，诗文追汉魏大家之风。凡古今典故、经济要略，尤所究心。久之，补编修，历官谕德庶子。凡五年，叙迁南京国子监祭酒。条上《监规》七事，并请毋以纳贡混明经之选。李都督者，宁远裔孙、魏国婿也。骑过文庙门，博士执而扶之^③。侯家奴大哗，魏国亦盛气至，正域徐曰：“以博士扶都督，诚过。然祖制：公侯子入学习礼，亦国子生耳。奈何走马先师庙门？是博士扶国子生，非扶都督也。”令交相谢而止。比还朝，官礼部侍郎，摄部事。孟夏朔，日食，值庙祀。正域言：“礼，诸侯旅见天子，入门不终礼者四，日食其一也。当祭而日食，则宜专救日，翼日享庙。”从之。夏至陪祀，诸臣多托疾不至。正域谓：“祀事不度，由上久不躬祀所致，请下诏勅励。”其意盖以讽切人主云。当是时，江陵张相前既以振刷得祸，神庙日以玩愒^④，中外惰窳，蠹丛其中，请托公行，名器滥褻，讹言繁兴，国本几机柅，而谗人高张，愠于群小也。四明相沈一贯久居政地，实为之藪。其能谨慎、守法度者，次相归德沈鲤也。正域既侃直不阿，归德亦颇倚之，而与四明不同，薰蕕相枝柱。乃一贯恨之益深，正域持之益力。谥议起，有当议夺者，其子孙诉于政府，一贯曰：“我在，谁敢夺！”正域曰：“敢夺者，我也。如黄光升当谥，则海瑞当杀；如许论当谥，则沈炼当杀；如李本当谥，则葛守礼诸臣皆当镌其秩、没其恤矣。”疏上，留中。故事：藩封由中尉

① 信宿：住宿两天。 ② 万历癸未：公元1583年。 ③ 扶：鞭打。

④ 愒：旷废。

进封者，次子不得封郡王，而秦王为其次子请封世子，正域坚执不与。秦王曰：“既不得封世子，请封郡王。”一贯已拟旨下部矣^①，正域又固争之不肯复。巨铛鲁保既窃两淮鹺政^②，更妄思兼南浙织造，请专敕与关防。一贯票旨与之，正域上奏曰：“南浙各有内臣。保欲任二职辖两地，旁午迭扰，民奚以堪？且诸阉效尤，诤争何已时也^③？得不给。然而正域非私有銜于一贯也，亦为国家禁请托惜名器耳。”乃一贯则益积不能平，而楚狱妖书之难作。楚宗人华樾上书讼楚王华燊非恭王子，事类莒灭鄆。楚王惧，辇金钱走阙下。王以正域同邑里，愿以馈首相者馈正域。正域以其赂也，益疑之，请行勘。一贯右王，楚王亦许正域，谓华樾为正域党。正域以楚王馈金并书上闻，有旨回籍听勘。行次杨村，而妖书适又布满国门矣。妖书者，为东朝作危语，波四明，不知谁何笔也。四明言之上，上震怒，下诏大索。四明党人引绳批根，竟指为正域所为，而沈鲤与同谋。尽械正域家之仆隶、媼婢老幼十五人，刺蕪针灼^④，五毒惨至，酷考无状^⑤。时有首告妖书泄仇于州官阮明卿者，为荆门州同知胡化逻获，指称造妖书之妖人则皦生光也。党人皆极加刑拷，逼令连引正域。二人各痛哭叫号，极口愤詈曰：“冤哉，天乎！死则死耳，头可断，不能杀人媚人也。奈何教我奉沈相意，罗织郭侍部耶？”御史牛应元、汤兆京、沈裕等又皆力辨，冤遂白。夫群飞刺天、聚蚊成雷，此何等时也？党人且以正域性忼激，可迫为萧望之之危害虚喝，而正域意气慷慨不为动。当五十，赋诗自寿，斯诚静镇有定力、安义命勇不可及者矣。方正域东朝讲读，时神庙尝夜饮，偶问：“哥儿此时出阁否？”自是遂以午夜出讲为常，值天雨雪寒甚，炉无宿火，皇太子冷噤，色惨沮。正域大声呼近侍曰：“无论皇太子玉体不耐严寒，即我等三四

① 已：国图、江苏本作“巳”，形近误。 ② 鹺：盐的别名。

③ 已：国图、江苏本作“巳”，形近误。 ④ 蕪：烧。 ⑤ 考：拷打、刑讯。

措大承乏禁近^①，何故使肤栗齿击、僵冻死乎？”禁中乃各出火炽炭，寒始得解。夫东朝即勤学，何至雪夜出讲神庙之问，安知非有先入之者，欲假冰霜为挺击？而正域之拥护国本，虑至深远矣！正不得以琐节为軼事也。归田历十年乃卒，学者恒称明龙先生。

熹宗即位，奉遗诏赠太子少保，赐祭，阴一子中书舍人^②，谥文毅。

所著《黄离草》三十卷及《典礼志》、《武江郡县志》行于世。

余玉节 字振衡，大冶人。幼英异，十岁试童子即以对策称。万历丁酉举于乡^③，辛丑成进士^④。丁外艰计至，号恸几绝。踉跄归，苦粥尽礼。服除，授户部主事。差榷临清关税，节羨耗，束胥，惠商，及税额即止。历迁刑部郎中，出任吉州知府。甫至，即问民疾苦。知马驿漕艘为最甚，乃竭虑讲求，为画一之法，大族不得为梗，民便之。值岁饥，捐奉劝赈，活万人。暇则率诸儒生与邹南皋、李懋明讲学于白鹭、白鹿书院中。时会逆珰有毁废天下书院之议，并议改白鹭为珰生祠。玉节正色曰：“无论祠不宜立，即立祠，宁必书院？俟吾捐俸买地庀材耳，何亟亟为？”事遂寝。崇祯丁卯^⑤，迁云南粮储僉事。未赴，适梅岭妖贼狂逞，人不知兵，虔民震惧。两台知玉节才，奏留参藩，改赣州分守副使。即月单车就道，谕百姓曰：“毋恐，予自有经画。”于是简将、训兵，清野、足粮，严斥堠，明号令，信赏罚，俾民有固志。然后誓兵进剿，用计设伏，大摧贼锋。皆远窜，鸟兽散去。捷闻，特擢僉都御史、巡抚南赣。

以劳疾卒，所遗仅敝笥中袍服、图书，无他长物云。

朱英骖 字宾桃，受封江夏楚藩。诸孙出就外传，凡讲论问答，苟有益于身心性命之言，汇录成册，不好浮词。及长，筑“共学堂”与同邑贺阳亨，黄陂黄武皋、[黄]武滨互相师友。其学先敦修而后

① 措大：贫寒的读书人。 ② 阴：通“荫”。 ③ 万历丁酉：公元1597年。 ④ 辛丑：公元1601年。 ⑤ 有误，崇祯无丁卯年。

冥悟，笃实力行。父卒，庐墓三载。两台疏其行谊，神庙嘉之。时方建宗学，求可为宗子师者，遂拜骀为大宗正焉。

向宸 字宾白，大冶人，笃志正学。万历间以岁荐判云南曲靖府，见“三教祠”，艷然不悦，改为“二氏祠”，而迎先师像龕于学宫之进贤楼云。事见《滇南纪略》。

国朝

余顺明 字丽生，大中丞余玉节第五子也。

初，中丞守吉安，与邹南皋、李懋明讲学于白鹭、白鹿两书院。顺明方少，闻其绪论辄跃然起曰：“大丈夫立身行己^①，固当如是。”长遂博极群书，以起衰救弊为己任，与同乡谭元春，闽中蔡一敬，吴中杨彝、张溥等往来倡和，名流推重。天启辛酉乡试副榜^②，例读书成均，不欲就。母夫人谓之曰：“而父既没，吾年暮矣，辟雍钟鼓不可代毛生檄乎？”因卒業北雍，选深州倅。任半载，有能声，授藁城令。中途闻闯逆之变，挈配刘氏，各乘车归。道遇一妇蓬跣卧泥中，将自毙，问之，曰：“吾夫张别山也。”顺明即下车，令婢扶入己所乘车中^③。自觅蹇驴，屡颠蹶，见者窃笑。至金陵，归别山。别山夫妇哭拜，各留诗赠别去。别山者，名同厂，故相江陵冢孙，仕中翰。闯变时仓皇走出，都不及顾其家，与顺明并未识面。别山诗云“患难之间托死生”，其义洵足高矣。先是，崇禎辛巳^④，岁大祲饥，死者相枕（籍）[藉]。顺明倾囊橐易谷以赈，妻刘脱簪珥佐之，全活甚众。邑令欲上闻，顺明不可，曰：“吾行吾心所不忍耳，岂藉此博荣名耶^⑤？”顺治丙午^⑥，母夫人年八十四，卧疾，吁天愿以身代。居丧哀毁呕血，竟绝粒卒，年六十三。学使者李可汧疏其行，祀“乡

① 己：国图、江苏本作“巳”，形近误。 ② 辛酉：公元1621年。

③ 己：国图、江苏本作“巳”，湖南本作“已”，俱形近误。 ④ 湖南本作“巳”，形近误。 ⑤ 博：换取。 ⑥ 有误，顺治无丙午年。

贤”。

所著《屺楼集》、《休夏篇》、《河洛定解》行于世，学者宗之。

刘敷仁 字济甫，江夏人。早失怙。母氏知书，为陈说大义。与景陵谭友夏读书山寺，以名行相砥砺。所交皆吴越贤流，户外履满。凌给谏茗柯、林太史可任悉屏驺从，戒徒隶曰：“刘先生门无杂宾，勿以仆御溷高士也^①。”崇祯壬午^②，顺天乡试第四。甲申南归^③，筑室余荷塘，杜门学《易》，著有《添学草》、《悟山草》文集若干卷。

詹谨之 字仲庸，一字芝城。江夏人。幼即端方好学，为文根柢六经，一时有唐应德之誉。崇祯丙子^④，举于乡。顺治初，任济南推官。平反大狱，以泽物为怀。旋解缓归里，与子孝廉大衍及大冲、大衢等，潜心理学，晨昏讲习。所著诗文若干卷。

周家鼎 字峙铉，江夏人。明崇祯己卯举于乡^⑤。癸未^⑥，即筑室梅城，与母偕隐。湛心学道，订“贞通大会”，定期讲学。方伯瞿聘主“江汉书院”，巡抚张请修《通志》，皆辞不出。性磊落，尝致屡空。或劝之治生，曰：“吾昔受知萧夫子，初见即曰：‘人生不能嚼菜根，必非男子。’敢忘师训哉！”盖家鼎出云涛萧汉之门，而汉出石斋黄道周之门，渊源有自云。晚年喜著书，念先贤如熊襄愍、吴忠烈、贺文忠诸人，信史未立，各为传以表之。又以礼制久湮，取紫阳旧书，准今酌古，期于各当，名曰《家礼议宜》。又以丧制二十七月，非所以示民有终，故其居母丧，苫块蔬粥者三年，不以祥禫为限。至先圣诞辰，家鼎取《史记·孔子世家》以夏正推算，每年于八月二十七日率子弟致斋，望拜行礼。后值圣裔孔兴禧至楚，征其月日，益信。有偷儿从邻窬入，捕者得之。邻惧，请迁去。家鼎大惊曰：“我何至令人有此语？”竟不问。卒年六十八。

① 溷：使污浊。 ② 崇祯壬午：公元1642年。 ③ 甲申南归：公元1644年。 ④ 崇祯丙子：公元1636年。 ⑤ 己：国图、江苏本作“巳”，形近误。 己卯：公元1639年。 ⑥ 癸未：公元1643年。

所著有《易》、《诗》、《贞通》诸解。

魏廷谟 字溟一，一字樵邸。江夏人，高才雄笔。幼从乡先生讲学“问津书院”，清悟绝人，能晰圣贤奥旨而意气特豪迈。与人谈古今兴废治乱，则义形于色，抵掌移日。癸未，献贼临江欲渡，廷谟奏记当事为未雨之计，请发兵捍卫寿昌。团练勇敢，列戍青山、白浒及卓刀泉，互相犄角，时不能用。无何，鄂城果溃。康熙癸丑^①，牧伯聘修省志，还币不至，惟寓书志中事宜数千言，人以为至论。卒，年九十一。先自为志，砬石于墓，手题而镌之。遗稿若干卷，藏于友人吴元俊家。

孟光第 字仲弼，武昌人。父绍勋，万历中袁州学博，多隐德。台使者檄署宜春，固辞归。葺草间曰“鹿庄”。光第奉训惟谨，性至孝。母刘患疽，为吮之，密祈以身代，母亦遂瘳。闯贼奄至，乘舟避乱湖中。城陷，渡绝。以所乘舟济难民，全活甚众。居恒持心纯一，得主静之功。著有《心镜录》、《问难蒙引》诸书。卒年八十一，学者私谥孝静先生。

劳绩列传

后汉

费祎 字文伟，江夏郡之郾人也。诸葛亮举为校尉。使吴，时孙权滑稽，诸葛恪才辨，祎应机条对不能屈。后主时为黄门侍郎，亮请为参军。值魏延、杨仪相憎恶，祎为分别谏谕，遂得各尽其用。亮卒，祎任后军师，代蒋琬为尚书令。国方多事，公务烦猥。祎识悟过人，省读书记，举目即究意旨，终身不忘。朝脯视事，日中接纳宾客，饮食博奕，尽人之欢而事无废举。魏军及境，羽檄交驰，人马擐甲，大夫来敏求共围棋。祎意气间暇，对奕不倦。敏曰：“君信可

^① 康熙：清圣祖年号，公元1662—1722年。 癸丑：公元1673年。

人，必能办贼，向聊试君耳。”祗至，敌果引退。出驻汉中，官府政务遥先咨断。当国功名，略与琬比，后进开府。为魏降人郭循所害，谥曰“敬侯”。

晋

张光 字景武，江夏人。以牙门将伐吴有功，迁都尉。从征氏羌，戍马兰山。贼围之百余日，光抚厉将士^①，屡出奇兵击贼，破之。擢新平太守、加鼓吹。属雍州刺史刘忱被密诏讨河间王颙，光起兵助忱，忱委任秦州刺史皇甫重。重自以关西大族，每轻光，谋不用。及二州军溃，为颙所擒。颙谓光曰：“前起兵欲作何策？”光正色曰：“但刘雍州不用鄙计，故令大王至此。”颙壮之，表为右卫司马。时刺史刘弘雅重光，称为南楚之秀。陈敏作乱，江夏太守陶侃与敏将钱端相拒于长岐。光将水军，设伏破之。侃表光勋，迁材官将军。梁州刺史彝镇汉中，时逆贼王如余党李运、杨武等自襄阳入汉中。光遣参军晋邈拒之，邈受运等赂，玩贼欺光，贼遂猖獗。光婴城固守^②，自夏迄冬，愤激成疾。佐吏劝光退据魏兴，光按剑曰：“吾受国厚恩，不能翦除寇贼，今得自死，便如登仙，何退还也？”声绝而卒，百姓悲之。

子灵迈多才略，有父风，与贼战没。

唐

李鄘 字建侯，江夏人。北海太守邕从孙，起居舍人喧之子也。举进士，以书判高等授秘书正字。为李怀光所辟，累迁监察御史。怀光叛，鄘陷贼中。因给怀光以兄病在洛^③，疾且革，母欲往诀。怀光戒其妻无得从，鄘竟遣俱行。怀光诘之，谢曰：“鄘名隶军籍，不得奉母驾，奈何不使妇往耶！”其辞直，无以罪。当是时，故相高郢亦

① 厉：励的古字。 ② 婴：环绕，在……四周。 ③ 给：欺骗。

在贼庭，遂阴相结，密奏贼虚实于朝，德宗手诏劳之。事泄，怀光严兵召二人。鄜词气慷慨，三军感动。怀光惧，囚之不敢杀。河中平，马燧破械致礼，入为吏部员外郎。时值张建封卒于军^①，徐州兵乱，囚监军，逼拥建封子愔主军务。帝以鄜刚敢，特遣持节宣慰。鄜直抵其军，传旨召将士陈祸福，声色壮厉。一军皆环听目视，悚息不出声。立脱监军使，俾复位。愔立上表谢罪，然犹称兵马留后自若也。鄜叱曰：“无天子命而擅称留后，大不敬，失人臣礼。”立使削去。及还，称旨，迁吏部郎中。顺宗朝拜御史中丞，迁京兆尹、尚书右丞，寻拜检校礼部尚书、凤翔尹、陇右节度使。还镇太原。入为刑部尚书，兼御史大夫、诸道盐铁转运使。五年冬，出为扬州大都督府长史^②、淮南节度使，加检校右仆射。政严事理，府库充积。当是时，淮蔡用兵，郛镇李师道党逆相唇齿，鄜发楚寿州等兵二万余压贼境，刍粮糗糒自备，不以烦有司。宪宗方以兵兴用不足，命盐铁副使程异乘传谕江淮劝输^③。鄜立籍府库留一岁储，余尽纳之朝廷。夫当藩镇各相雄长之日，不自封殖而以佐国家，呜呼，忠矣！先是，吐突承璀监淮南军，宠贵甚，然独严惮鄜。归，引为相^④。鄜耻由宦倖进，转郁郁不自聊。及登祖帐，奏伎乐作，泣数行下，叹曰：“嗟乎，宰相岂吾所长哉！”缓行底京师^⑤，引疾不领政事。以太子少傅致仕，遂卒。

子柱仕至凤翔节度使。

宋

孟珙 字璞玉，武昌人，孟宗政子。为西京兵马钤辖，屯枣阳。招唐、邓、蔡三州壮士为忠顺军。创平堰于枣阳，跨九阜建通天漕，

① 值：国图本抄作“植”，形近误。 ② 扬：本作“杨”，形近误。

③ 输：国图本误抄作“谕”，形近误。 ④ 以上各本四十页误与七九页抄淆，据正。 ⑤ 底：通抵。

溉田十万顷，边储充实。击武仙于顺阳，破走之，遂复邓州。端平元年^①，复下蔡州，振旅还临安，转荆湖制置使。冬十月，复荆州、荆门军。明年三月，复襄阳。奏曰：“樊、襄，朝廷根本。今百战得之，当加经理，如护元气。”乃以蔡、息降人置忠卫军，襄、邓降人置先锋军。大兴屯田，练兵积谷，为进取计。淳祐四年，知江陵府。五年九月，寝疾，叹曰：“三十年收服人心，竭诚恢复，志弗伸矣。”此又诸葛武侯、宗留守而后，可为英雄泪满襟者也。珙在军中临将吏，颜色凜然；退则焚香隐几，翛然静对。尤邃于《易》六十四卦，各系四句，名曰“微心”。自号无庵居士。卒，赠太师，追封吉国公，谥忠襄。谕葬贤庾乡金紫山蓼仪寺。

明

胡尧元 字廷献，蒲圻人。儿时拜颜真卿祠，叹曰：“烈哉，大丈夫许国当如是！”正德辛未成进士^②，授户部山西司主事，督金盖、马房诸仓。刘瑾党阉谷大用以其门客属，尧元不从，更沮辱之。部堂王琼以谷言相诘让，尧元张目曰：“尚书倚若为冰山耶？”琼大恚恨，赖冢宰杨一清雅重之，薄谪高邮同知。邗沟承诸湖之委，春（秋）[夏]水溢，秋冬则又苦涸竭，潦不可田。尧元兴水利，浚沟洫。又修筑涵洞、石闸，以时启闭，民甚赖之。当是时，武宗多嬖倖，群小怙宠骄恣。侯指挥妻马氏召入宫，而阉人史泰督制御服还京，所过郡县网奸利为贼害。尧元外职小臣，两抗疏言事，至引唐纳寿王妃为喻，而更欲以己首贸史泰首斩悬国门谢百姓。危言正议，时论壮之。迁判江西瑞州，逾年，宸濠反。尧元自吴城闻变，间行归郡。知府宋以方已被执，而僚属尽亡去矣。尧元召士民泣谕死守，请兵于中丞王守仁，即日具疏。上闻，擢为守。尧元谓妻黄氏曰：“吾当与城存

① 端平：宋理宗年号，公元1234—1236年。 ② 正德辛未：公元1511年。

亡，汝善为计。”黄氏泣曰：“君其尽忠，无念妾也。”遂怀印抱女，顾视幼子宣及家人胡永，指所汲井曰：“脱有急，此吾死所矣。”尧元出，乃洒涕集兵，誓不反顾。适伪驸马李蕃掠城，设伏石鼓潭擒之，军大振。守仁使备贼无西^①，尧（仁）〔元〕曰：“濠无西意，恐东下为忧耳。”遂声言：瑞兵十万且至。南昌城中，夜数惊。濠惧，七月朔，举倾国之兵，锋锐甚，疾走南都。尧元受守仁令，擐甲胄，励壮士，决战黄家渡。伪都督凌十一，骁贼也，驰马挺矛将及，尧元佯却，发一矢啗之，并擒贼将周瑞。又追之于八字脑，俘斩无算。师次鄱阳湖，与吉安守伍文定部分将士乘风纵火焚贼舟，炮声震天，江水沸立^②，遂擒濠。贼平，还郡。黄氏欷歔额手曰：“吾与君复相见，天也。”嘉靖壬午^③，论功升广西左参政。土酋岑猛守田州，以兵力自雄，凌轹他郡。中丞姚镛疏请用兵，檄尧元监军。猛男邦彦素剽勇，而其将陆绶号万人敌。尧元选精骑射杀绶，猛奔妇翁岑璋所。璋以其女失爱于猛，怀怨怼。千户赵臣素与璋善。尧元侦知之，遣臣说璋斩猛自効。璋果佯发兵千人助邦彦守要害，实为内应，竟杀邦彦并酖杀猛，斩首以献。尧元亦冒瘴，卒。

大中丞石金疏其死国事，赠中顺大夫，布政使，谕祭葬。

熊桴 字元乘，武昌人。宏才博学，性孝友。嘉靖癸卯举于乡^④。庚戌成进士^⑤，授太仓守。剔奸节费，兴学劝士，州大治。倭寇入犯，时承平无备，桴城守五昼夜，倭退。明年复至，以舟师逆击，大破之。功上，升佥事，备兵苏松。每战，辄出奇制胜。南沙、宝山之役，擒贼首王直。捷闻，三赐金币，进副使。金山军乱，单车召诸将吏，轻重予答，诛其首恶，事遂定。在吴十二年，与倭大小三十余战，斩首功至三千四百级。建崇明等五城，开杨林等四渠，补太仓、珊海等田赋二千二百有奇，郡县皆庙祀之。迁云南参政，土官素

① 无：通毋。 ② 沸立：像被煮沸似的立起水柱。 ③ 嘉靖壬午：公元1522年。 ④ 嘉靖癸卯：公元1543年。 ⑤ 庚戌：公元1550年。

仪为乱，抚降之。量移山东，惠通河决，湮徐沛，桴相地要害，凿渠筑堤，分导三河水，河患以息。擢宪使，录河功，进秩正二品，寻迁浙江右布政。适海盗曾一本作乱，推桴巡抚广东。时寇方围会城，闻风遁去。桴乃上平寇四策：行乡约、保甲、团练之法；奏蠲鱼盐逋课；造战舰于闽、广二省；拊循士民。区画具备，然后进兵击一本于朝海虎头门，四败之。疏请置一县，随遣安南彝目还国，檄其都统，使备境上，防贼南逸。一本分据马耳澳、牛田洋诸处，桴又传檄闽兵协剿。一本势益蹙，乃计诱日本裨王丘古所寇惠州^①。桴亲入惠州，为守御计。值把总周云翔忽叛，杀参将，为倭内应，城几旦夕下。桴急纵火焚贼，旋纵反间诛云翔。益纵兵急击古所，并获之，斩贼首一千五百级，追还被俘士女八百人。两赐金币。又平岭西黎、汝城岭东蓝亚公等诸贼，请建长宁、永安二县，控扼山寇。劳瘁抱病，以乱本不可不翦，力疾趋惠潮偃击，三战皆捷。遂擒一本于莲花澳，伏诛。病剧，犹日理兵事，卒于军中。

上闻，震悼。有以死勤事之旨，进副都御史，左侍郎，荫子焜入太学。

著有《镜湖集》、《水陆事宜》、《抚粤疏议》诸稿行世。

熊廷弼 字芝岗，江夏人。慷慨负气，雄文伟辩。身長七尺余，膂力过人，能左右手射。万历丁酉^②，举乡试第一。戊戌成进士^③，授保定推官。察吏治、简军实、询民隐，无巨细，咄嗟立办。计终任，讫狱平反，其所雪冤滥及改矜疑者三百余人^④。兼捦郡篆凡二年，蓐奸梟弊，悉除民所疾苦，作征收法。抚军汪应蛟下其式行之六郡，民皆额手称便。在治六载，考居天下理官最，召擢御史台。朝廷以廷弼文武才，命按辽东，至则筑河海边城七百里，墩堡数百。创常平仓十七所，积谷百万斛。塞下充实，而民无惊扰。其为缓急备，计

① 裨：辅佐。 ② 万历丁酉：公元1597年。 ③ 戊戌：公元1598年。

④ 矜疑：不恰当的怀疑。

至深远云。辛亥督学南畿^①，所拔多寒士。津要子弟，则故摧折之，请託不行。其阅文，目数行下。设案六，随等第优劣分置之。优则自赏，劣则自罚，赏罚皆以酒。饮辄极醉，醉辄拔剑舞，白光烁烁，盘旋呼啸，兴尽颓唐乃已。坐中蜚语归^②，家居。会郡邑频水，乃请当事督江、咸、嘉、蒲四邑民筑堤二百余里，迄今赖之。时值辽东三路师燬沈阳，城堡尽没。报至，举朝目张口嘻，束手无一策。御史杨鹤谓：“非熊廷弼不能办此。”神宗从其言，起为大理丞兼河道御史，随授兵部侍郎兼副都御史，代杜镐经略，赐上方剑。受命甫阅月，收屡败之余烬，辑流亡，筑城浚濠，修战守备，俾兵民有所凭依，无愁苦喘粟之声，辽阳屹然重镇矣。顾廷弼性刚峻，不能少啜嚅，与中朝议多不合。熹宗初即位，即以袁应泰代之。方四月，而辽阳失，关门大震。上始叹曰：“熊廷弼若在，边事岂坏至此哉！”立起为兵部尚书，手诏曰：“朕冲年邁兹多难，汝当念先帝恩，勉一出以全君臣大义。”廷弼拜命恸哭，誓以死报。驰赴阙，陛见，宠遇益隆。比出阙，大司马张鹤鸣设饯三十里外，意欲有所嘱。廷弼击案大言曰：“今日毋得言边事。”鹤鸣由此衔之，乃怂恿巡抚王化贞分其权。廷弼以败兵之气不能遽复，当养威持重、坚壁固守以观衅，倘轻师挑战，必取赵括之祸。化贞则谓得劲兵六万，复辽阳如反掌。经抚齟齬如水火，而中枢多左袒化贞。当是时，廷弼兵五千守右屯，化贞兵十三万军广宁。化贞遂进兵，廷弼随亦赴援。猝遇化贞于闾阳驿，化贞仓皇丧气，乘四橐驼载輜重窜走不敢停。官民纷纷数十万箚卷过驿西，而广宁已不守矣。廷弼马上拊掌曰：“六万兵恢复辽阳安在哉？”化贞涕泣言曰：“公当奈何？”曰：“吾惟护百万生灵入关耳。”廷弼去，化贞益孤孺，遁归，河西遂陷。法司会勘，廷弼岸募如故。廷臣素恶之，寘之狱。会杨涟劾魏忠贤二十四罪，奸党指称稿出廷弼手；又讐廷弼旧牙将蒋应旸妄传观音经，图讖妖言，弃市，并坐廷弼。中

① 辛亥：公元1611年。 南畿：京城南边。 ② 中蜚语：被流言攻击。

使捧驾帖至，廷弼则洗沐整冠登堂，胸囊一疏，冀以付中使。提牢主事张时雍诘之曰：“囚安得上书？”廷弼应声咤叱曰：“此赵高言也。”临刑北面再拜，赋《绝命词》云：“他日倘拊髀，安得起死魄。绝笔叹可惜，一叹天地白。”乃就刃。劳瘁孤臣，不死疆场而死西市，哀哉！

瑯败，化贞伏诛。自是，庙堂思廷弼，辅臣韩爌为讼冤，追谥襄愍。

廷弼爱才好士，虽厮养下卒，一语偶中，辄握手引坐。至争利害、辨是非，则愤气垒涌，目光如炬，以此庸人皆忌之。

遗稿有诗文奏疏若干卷行于世。

刚正列传

宋

吴中复 字仲庶，兴国人。登宝元进士^①，授峨眉令。性刚廉，尽毁境内诸淫祠，归装不载一物。迁通判潭州。御史中丞孙抃初未识面，荐为殿中侍御史。或以问，抃曰：“昔人耻呈身御史，今岂有识面台官耶？”中复益励风节，劾宰相梁适、刘沆。仁宗飞白书“铁御史”三字赐之，擢龙图阁直学士。后知永兴军，值河北行青苗法。使者至，将先下州县。中复檄曰：“敛散自有期，今先事扰民，何也？”拒不听。安抚司韩琦方疏谏青苗，录其语上之，卒以此罢官。

王质 字景文，兴国人，绍兴间举进士^②。时孝宗屡易宰相，质上疏谏，有忌之者譖其年少好异论，遂罢去。孝宗复命廷臣各举谏官，虞允文称质鲠亮不回，可右正言。中贵人畏其伉直，共阻之，出判荆南。民有讼婚者，因贫不能婚，后期致讼，质给以私钱，俾之

① 宝元：宋仁宗年号，公元1038—1040年。 ② 绍兴：宋高宗年号，公元1131—1162年。

娶。有盗窃人衣，讯其情，实迫于饥寒，质悯之，自与衣遣去。荆人化其德，立祠祀焉。

明

赵德贵 蒲圻人，刚毅。慎许可，寡交与。洪武时，以贡授兵科给事中。独立，敢言。明初法令严，易触忌讳。竟以罪死，公论惜之。

成务 字惟几，兴国人。洪武丙子举于乡^①，授广平教谕。适御史按邑，率诸生郊迎。望见随行携挈繁重，遽麾诸生返。御史骇问，对曰：“行李绚耀甚盛，恐坏士子心术。”御史奇之，以敢言堪风宪，荐擢行人。使暹罗，改御史。历四川、河南、陕西、顺天诸处。永乐间，设贵州行省。上见务英伟，曰：“黑御史可按察，振扬风纪。”贵州人亦以“铁面”称之。历官二十五年，未尝携家。

龙景亨 字伯通，蒲圻人，永乐丙戌进士^②。性英毅，遇事辄议论数千言，孤抗不能容物。授监察御史，监税龙江关。立法严，人不能犯。先是，罗弘为御史以廉，陈文礼以明，既景亨以严，台中号称“三直”。

辛浩 字养正，江夏人，正统壬戌进士^③。任监察御史，弹劾不避权势，谪戍辽阳。俗尚武勇，不好文学。浩至，选集将校子弟教之，皆有成，彬彬多儒雅风。天顺中，复其官。

孔儒 字宗学，嘉鱼人，景泰庚午举于乡^④。丁丑会试^⑤，场屋灾。闱中官司逃火，仓茫夺路。众拥挤，失门所在。儒升墙端，引手拯出者无数。事闻，上索墙端举子姓名，众以儒报。随召入谕劳，不俟终闱，即赐进士第。授巡城监察御史，屡疏建白，动关大计。尝以

① 洪武丙子：公元1396年。 ② 永乐丙戌：公元1406年。 ③ 正统壬戌：公元1442年。 ④ 景泰庚午：公元1450年。 ⑤ 丁丑：公元1457年。

星变，条陈灾异，指斥无所忌讳。清军南浙，益树风节。后除度远知府，致仕。

王俨 字民望，蒲圻人。成化己丑进士^①，授兵部主事。改都水，治吕梁洪事竣。迁刑部郎中，往按郑府盟津王狱，多所平反。出守成都，妖僧海无边等惑众，戮之。擢河南右布政，复按泾阳王狱，具讯得实。转山西右布政，中官刘琅索金鬻玉，俨峻拒之。陟副都御史，巡抚山东，疏陈弭盗五事。召为户部右侍郎，以忤逆奄刘瑾^②，被矫诏谪戍辽东三万卫，寻赦归。卒年八十八。武皇哀之，谕祭葬。

吴廷举 字献臣，嘉鱼人。洪武中，祖戍梧州，遂隶戎籍。登成化丁未进士^③，授广东顺德知县，洁己爱民。时有权珰家庙在治所内，大臣属廷举为修葺，廷举不从。至县即毁淫祠，更撤其材作书院、修学宫。御史汪姓者亦嫉其专忤上官，以他事按之。廷举即自囚服梏手诣讼。合邑大夫士庶见之惊哭，环拥泣诉令无私状。御史大惭，谢。弘治中，迁成都同知。广东盗起，擢兵备讨贼，平之。改兼盐法，值刘瑾遣官敛诸省库银解京，意实索羡。廷举止以额银解，不予羡；又劾太监潘中二十罪：瑾怨，矫旨逮系狱拷掠。无可文致，竟谪戍雁门。瑾诛，起，备兵云南。随擢江西右布政，讨桃源贼，深入，为贼所获。廷举端坐，待贼以属民礼，贼环顾错愕不敢动。久之，伺得贼要领。反^④，执其魁，贼遂平。晋广东左布政，升副都御史。赈济湖南，土官相仇杀，廷举驰檄谕，各解息。疏陈六事，阴请备宸濠。当是时，濠久蓄异志，招纳亡命，多行不法。畏巡抚孙燧严切，遗书中朝腹党必亟易去燧，然切勿令吴廷举来，来，即又一燧也。盖与淮南王憚汲黯同一辙云。嘉靖初，召为兵部侍郎。又上疏忤政府，改南工部。寻晋尚书，即疏归。衣敝居隘，妻子不免饥、寒，而性又好施予。卒之日，几无以敛。隆庆元年，追录，赐葬、祭，加

① 成化己丑：公元1469年。 ② 奄：通阉，宦官。 ③ 成化丁未：公元1487年。 ④ 反：“返”的古字。

太子少保，谥清惠。

方廷举湖南赈饥时过咸宁，率县令诣寓仙洞鞭龙祷雨，雨随大注。因购田一顷，岁贍贫士。由湖广底粤西，夹道引松成林，皆其所植也。

江师古 字克永，蒲圻人。弘治癸丑进士^①，授工部主事，管清江浦闸。时中贵往来舟经沽头，作威凌轹，师古屹然持正不为动。正德初，逆瑾柄国专恣，即投劾归。敝衣垢袜，陋室匡床，泊如也。

廖汉 字天章，蒲圻人。弘治丙辰进士^②，授户部主事。陈情便养，改南京。时督储都御史叶贇偏执狗权，汉与力争，兑法务宜于民然后已，司徒王轼闻而黜之。及司储廩出纳，有齐庶人者干冒挠法，汉严加禁治，厘清夙弊，人咸称便。监兑江西，方伯林泮服其孤介。正德初，服阕如京师，值逆瑾煽虐，士气波靡，乃上疏抗论，时政留中不报。再疏自陈，即徒步出都门买舟归，结茅五洪山下。布衣竹杖，时与樵夫、田叟阡陌坐谈。至达官富人，则不相往来。督耕课子，非其力不食。子十二人，次道南，别有《传》。

张璞 字中美，江夏人。弘治乙丑进士^③，授监察御史。按云南，单车行部，远近凜然。时镇守太监梁裕为刘瑾心腹，滥取民间柴薪酒米、各色银两数千，占役军士，剥害边民，莫敢谁何，璞以法重惩之。会鹤庆同知敖英贪酷，璞正拟草疏论劾，裕遂结英构谋诬璞逆，瑾遂逮系下璞锦衣狱。刑部主事孙继芳疏救不报，竟死狱中。嘉靖初，赠太仆寺少卿。

孟廷柯 字培之，武昌人。正德辛未进士^④，授大理寺副。同翰林修撰舒芬谏武宗南巡，廷杖几毙，谪户部照磨。世宗初，擢四川佥事，历陕西参议、备兵商洛。寻迁云南参政，商洛老幼遍道涕泣挽留，肖像以祀。时云南剽掠贼起，用兵剿捕，仓无现储。廷柯千里转

① 弘治癸丑：公元1493年。 ② 弘治丙辰：公元1496年。 ③ 弘治乙丑：公元1505年。 ④ 正德辛未：公元1511年。

运，饷不告匱，迁本省按察使。致政，归。

汪文盛 字希周，崇阳人，与兄文明友爱笃至。正德庚午年十八^①，举于乡。辛未成进士^②，授饶州府推官。时宗藩骄恣，悉绳以法。因被诬，逮系犴狴中^③，著《春秋辨说》。廷论白其枉，还职。适桃源贼起调德，（兴）〔与〕都御史俞谏、陈金檄往视师，规画多中，入为武选主事。以谏武宗南巡，廷杖濒死者再。嘉靖初，查汰冗员，文盛力持风纪，裁抑珰戚。出守福州，建“三山书院”，构“罗一峰祠”，表“郑少谷墓”，筑罗源诸邑城，浚上王港以滋灌溉，罢撤不经之祀，处置琉球诸国贡使，咸得其宜，闽人德之。丁内忧，归。起，督浙江学，饰修“天真书院”，力阐紫阳实践之教，以端士习；禁西湖冶游，订浙东乡约以正民风。而凡名贤芳躅、忠孝遗徽，如白香山、苏子瞻、岳武穆、于忠肃之茔庙，皆相度修葺享奠，致敬惟谨。复以父忧归。起，补督学陕西。方较士西安，而滇南廉访之命至。时值交趾内讧，莫登庸与子方瀛篡夺其主，称兵窥伺。陈棕、黎宁播迁赴诉，特晋文盛巡抚，以定其乱。于是选锋锐，布恩威，驰檄八寨五邦，谕以大义，进师致讨。方瀛授首，其党阮璟、范正毅等皆投诚服罪。捷闻，上遣兵部尚书受其降。玺书褒锡，赐金绮，陟大理卿。遘疾归，卒，赐祭葬。

所著有《白泉文集》，祀“乡贤”。

韩楷 字以正，江夏人。正德辛未进士^④，授刑科给事，迁掌礼科。以议大礼，廷杖几毙。出为池州知府，历江西左布政，擢右副都御史，巡抚云南。致政，归。楷（当）〔尚〕为诸生，拓落不羁。及家居二十年，乡人化其退让。

康科 江夏人，性肮脏不谐俗^⑤。正德乙卯^⑥，举于乡。两试知

① 正德庚午：公元1510年。 ② 辛未：公元1511年。 ③ 犴狴：监狱。 ④ 辛未：公元1511年。 ⑤ 肮脏：丑恶，古怪。 ⑥ 正德乙卯：有误，正德无乙卯年。疑己卯形近误，公元1519年。

县，皆以伉直忤权贵罢。归，篋中止余俸金八钱。家四壁立，闭户读书不辍，邻人亦罕见其面。督学过访，敝衣出见。即谢于家，不复往拜其门。

翟表 字立之，江夏人。豪迈不群，能诗文。正德乙卯乡举，任松江教授，迁知县。御史行部，乘马逸，知府令表往驭，表摇首曰：“焉有为令长而作御史厮养卒者乎？”改苏州教授。

汪宗伊 字子衡，崇阳人。嘉靖甲午^①，省试第一。戊戌^②，成进士。初令浮梁，民苦水饥。宗伊条禁常例五事，著为令。民无横征，赖以安集。入为兵部主事，历武选郎。执论杨继盛劾严嵩孙鹄冒军功一事，忤嵩落职。隆庆四年，起南文选郎，历尚宝、太常、光禄、京兆、南户部侍郎，刷弊厘奸，号称勤慎。升总督仓场、北户部尚书，改南吏部尚书。疏乞致仕，奉温旨。林居二十余年，持身敦朴正直。年七十九卒，赐祭葬，谥恭惠，祀乡贤。在南京，取靖难死节诸贤姓名勒石南雍，著有《表忠录》及吏部、大理、太常、尚宝《志》，《应天府志》，上元等县赋役册，臆说，注疏，《传家录存稿》，奏议诸集。

徐纲 字浴泉，兴国人。父兴汉，好施予，遂罄家产。纲十岁为孤儿，母黄氏守节教之。嘉靖辛卯乡举^③，训读养母。甲辰成进士^④，除西安推官。擢兵科给事中，敕勘边务，静正不阿。世宗建醮，命诸臣黄冠行香。纲极谏，廷杖濒死复谏。寻转顺天府尹，事皆底绩。隆庆元年，简授工侍，修世宗陵寝。报成，封三代、荫二子。万历改元，致仕。阅岁，晋本部尚书。三年，卒。谕祭葬。

张书 字子中，蒲圻人，隆庆戊辰进士^⑤。选庶常，每于馆中扼腕谈天下事。改授工科给事，总河潘某糜费金钱钜万，绩用弗成。书

① 甲午：公元1534年。② 戊戌：公元1538年。③ 辛卯：公元1531年。④ 甲辰：公元1544年。⑤ 隆庆戊辰：公元1568年。

抗疏论之，迁掌兵科。大同都督马芳倚恃政府内援，朘削行伍^①。书廉得其状，奏劾之。芳馈金求解，书唾其面。时奏疏必先关白辅臣，书独先奏后具揭。出为河南参政，有李天公者，家为窟室，藏兵械、聚刍粮，将谋不轨。书侦知，密计擒获，两台推其功。适时相荐一瞽目星士于书，冀为索赠，且诃其所为^②。书不与金，又谩骂辱之。其人肤诉^③，旋中京察，谪判泗州。后屡起屡仆，而愍不可改。以刑部主事致仕。

周文卿 字荇之，江夏人。正直尚气，不能屈抑。隆庆辛未进士^④，授韩城令。丁艰，补南海，以廉洁闻。邑多虚粮为害，乃清无税沙坦补无田之粮，士民便之。又小海中所在多涌源，豪强占焉。文卿不避权势，悉清之以利农。创建龙津桥，民不病涉，迄今尸祝。历迁陕西兵备。与同僚执礼相争，致仕，归。居家杜门却扫，年八十卒。

谢师启 字叔蒙，蒲圻人。隆庆辛未，与弟师彦同登进士。授东昌推官，执法严峻。拜御史侍经筵，论劾冢宰。巡视仓漕及按两浙，风裁愈厉。以忤柄臣，出为河南佥事。驻禹州，多善政。迁福建参政，罢归。师启英敏练达，黑发悬车^⑤，时论惜之。著有《琅玕草》、《游岳草》行于世。

何思登 字一举，蒲圻人。嘉靖戊午举于乡^⑥，万历甲戌成进士^⑦。授行人，册封诸藩，馈遗一无所受。迁南户部主事，出守云南。以綏緝緬甸有功，赐金嘉劳。丁内艰。服阕，补池州守。劝耕桑，著《圣谕六解》。慕宋包孝肃之为人^⑧，作“希包堂”。迁云南兵备，未几还里。复起广西副使，入贺东宫，加参政归。卒年八十。思登生平清介退让，至刚肠嫉恶，则不肯随俗俯仰，能言人之所难言。所著有《翼正录》、《自镜肤语》、《砭俗箴》诸集，祀乡贤。

① 朘削：克扣。 ② 诃：侦查。 ③ 肤：大。 ④ 辛未：公元1571年。 ⑤ 黑发悬车：英年罢官。 ⑥ 嘉靖戊午：公元1558年。 ⑦ 万历甲戌：公元1574年。 ⑧ 包孝肃：包拯，谥孝肃。

孟养浩 字义甫，咸宁人。万历壬午^①，乡荐第五。癸未成进士，授行人，擢兵科给事中。时值宠庶夺嫡，国本杌隉几危，大小臣谏者辄谴谪不敢复言。养浩出典闕试，首策以明伦为问，意主讽谏。事竣，转户科左，养浩毅然奋曰：“此吾报国时也。”遂具疏力陈三不可谓：“皇子不可不册立，册立不可不豫教。父子之爱，天性也。不豫教而谩云册立，则是敝帚宗社而愈疑天下臣民之心也。其谓天性之爱何？”章上，神宗震怒，切齿敕内竖杖一百^②，杖十辄报。养浩大呼“高皇帝”者三，遂晕绝不复省。杖毕，苏，削籍归。过采石，舟几覆。榜人恐且泣^③，养浩笑曰：“死固吾分，然顾不死于杖而死于水耶？”卧吟石介《渡淮诗》以济。抵家，谢客居三十年。光宗立，起南少常，晋佥都御史、提督操江^④。熹宗时，迁南户右侍郎。未任，卒。以功在国本，荫一子入监，遣官祭葬。

舒弘绪 字崇孝，通山人。幼就童子试，县令拔置第一。事亲孝，家贫能竭其力，令询得实，怜而重之，字曰“崇孝”。为诸生甫八月，即举于乡。万历癸未成进士^⑤，选庶常。改授吏科给事中，慷慨直言，弹劾不避权威。戊子典试粤西^⑥，时神宗储位未定，弘绪力请册立，撻怒落职。杜门谢事，放志山水。著有《行意草堂诗集》。

李沂 字景鲁，嘉鱼人。母梦虬飞中庭，光芒射地，觉而生沂。幼警敏，七岁能诗。万历丙戌成进士^⑦，选庶吉士，与修会典。上祀南郊，诣辟雍皆侍从，试《玉壶冰赋》，立奏。上悦，改吏科给事中。时厂臣张鲸怙宠横行乱纪，台省疏劾，未下。流传鲸以金宝进御。沂入垣甫七日即疏鲸恶，并述风闻流传语甚悉。上怒甚，入白皇太后。太后曰：“忠臣也。”意稍解，命逮送镇抚司讯。□至，再廷杖百。鲸党密嘱杖者毙之。沂大呼“太祖高皇帝”者三，忽风霾大作，杳

① 万历壬午：公元1582年。 ② 内竖：内廷宦官。 ③ 榜人：船工。

④ 提督操江：任操江提督。 ⑤ 万历癸未：公元1583年。 ⑥ 戊子：公元1588年。 ⑦ 万历丙戌：公元1586年。

冥昼晦，杖下忽觉减痛。九卿、台省疏二十上，阁臣申时行、许国、王锡爵先后密救，至以去就争之，乃戍鲸。沂病创邸中，上密遣官侦之，见沂拥被卧，粗布百结，皆泣去。削籍，归。后元旦上召见，诸阁臣犹袖沂疏出曰：“何憨呆至是。”海内有八狗、三羊、十君子之谣，沂君子之一也。光宗即位，赠光禄寺少卿。

李憺 字景颖，嘉鱼人，万历己丑进士^①。初任衢州司理，部内有鹺银缺额者，收治现在主藏吏，而监守干没^②，实多历年所。憺廉得积监鹺银各主名^③，而究出始盗之人，论如律，主藏吏罪得末减^④，时论快之。丁内艰，蔬粥庐墓如礼。服阕，补礼部主客。奉命册封蜀藩，王所馈遗，一无所受。有门生新莅县，执贽为寿，却之曰：“君不知故人，且而书生初入官，将焉得此？”命督催楚、豫逋赋，但以文移传知，秋毫无扰于民。历迁仆少卿。三疏乞休，家居四载，读书大崖山，有终焉之志。部檄趣至京，补光禄卿。卒，遣礼官致祭。

赵邦柱 字安甫，咸宁人。万历己丑弱冠，成进士，授户部主事。监崇文门税课、九门盐法，蓟州赏边，锱铢不私。改吏部，屡迁通政参议。故事，诸中贵指银台为外府^⑤，所请乞、词讼，动以百数。冤罹惨虐，多至破产丧身。邦柱痛抑之，中贵大窘。会上疏至殿廷，群珥环垢淬语，邦柱持刺诘，北寺皆窜去。吏胥旧有指称割换等弊，要挟索贿，邦柱县牌门屏^⑥，许受害者自诉，弊遂绝。风采赫然，士论壮之。乞差归里，遂卒。著有《南游草》、《悠然斋尺牋》、《纳言愚得》诸书。

段然 字幻然，江夏人。万历乙未进士^⑦，授南平令，调吴县。守制复，补辉县。所至有异政，迁南户科给事中，屡献谏言。会宗室华越等讦奏楚藩，然上疏直华越。时相忌之，谪江西按察司知事。久

① 万历己丑：公元1589年。② 干没：贪污。③ 廉：查访。

④ 末减：减少。⑤ 中贵：同下文“群珥、北寺”，指宦官。⑥ 县：

“悬”的古字。⑦ 万历乙未：公元1595年。

之，迁兵部员外。历官以风节闻，朝野惮之。

张文光 字公覲，江夏人。万历戊戌进士^①，选庶常，授检讨。以论楚藩华燿事忤时相，谪光山县丞。久之，迁尚宝司丞。每慷慨言事，激昂不自禁。升少卿，乞差南旋，卒于道。

魏诏 字奉之，蒲圻人。万历丁未进士^②，授嘉兴府教授，迁国子博士，转刑部主事。会御史刘光复以直言下狱，诏抗疏论救，取忤堂官，而光复得免热审^③。又以都督凌应登击御史凌汉冲于朝，下部议，诸司皆不当上意。最后诏入对，面奏应登当拟戍，汉冲宜免官，称旨。改兵部武选司，时内监明廉欲干预黄政，诈言勤劳，希冒廩糈，诏上疏纠劾，明廉获罪褫斥。升江西提学副使，以崇雅黜浮，拔幽疏滞为己任，士风为之一变。乞归。家居四载卒，年六十三。

游士任 字肩生。世为嘉鱼人，徙江夏。万历庚戌进士^④，任长兴知县，擢广西道御史。熹宗初，魏珰潜附客氏，谋蛊上心，然祸未显著，举朝尚未有谏者。士任忧之，慨然曰：“此乱本也。”会差巡按山东监军务，陛辞前一日，具疏参客、魏，指为妖孽，极言无隐。自是台、省交章，皆士任启之也。及逆珰矫旨，逮杀杨涟，并逮士任，下锦衣狱，拷掠备至。幸不死，谪戍安庆。崇祯改元，诏释之，还其冠服。

熊则禎 字兴国，崇阳人，万历丙辰进士^⑤。初令建安，召为河南道御史。值魏珰煽逆，杨涟横罹惨毒。则禎愤激不平，随同科道合疏纠参，又另疏特参。其略云：“皇上若不将忠贤速赐处分，何以正国法、伸公论。毋徒曰：‘已有旨了，姑不究也。’”言极切直。时巡视东城，逆珰密加侦逻。以廉慎，无可踪迹。会外转陛辞，珰竟使人以危言恫之。则禎至官，愤成疾，卒。

① 万历戊戌：公元1598年。 ② 万历丁未：公元1607年。 ③ 热审：明、清暑期刊罚减等处理。 ④ 万历庚戌：公元1610年。 ⑤ 万历丙辰：公元1616年。

刘之待 字碧山，兴国人。万历丙辰进士，授浙江道御史。性伉直，与杨涟同时各疏参魏珪，革职。崇祯二年，复官。

余文明 字健公，大冶人，中丞余玉节长子。端重有气节，读书以经世为务。万历乙卯乡荐^①。中丞卒于虔，二千余里扶柩，哀毁骨立。服阕又二年，授海宁令，以拒珪解组归。流贼张献忠寇大冶，文明赴左良玉营请师。说其副将余世忠，抵掌慷慨，义形于色，三军感动。随率子侄，竭谋剿贼。献忠痛恨，搜杀余姓数百人，移营宵遁，残民获全。

刘民悦 字时可，江夏人。少为诸生，以《平播表》得名。年五十，万历戊午举于乡^②。己未成进士，令富顺。其俗豪役贫贱代贵巨，里收赋税多不归县，因缘为奸。民悦廉得其实，悉厘正。每谏讼，曲直一断以理，不曲承上官指。中忌，罢归。天启辛酉^③，请闲地得苏州教授。饰学宫，考古祭器、乐器，作《郡学志》。迁南国子博士，又迁南户部主事。管江北仓，例多羨余，民悦曰：“会计有定额，何例也？”部尚书郑三俊服其廉。报政入京，出知汝宁府。部内有持官府短长者，号八通家，民悦悉治之置于法。期年，复中忌归。逍遥林壑，以寿终。著有《杖景园》诸集行世。

熊开元 字鱼山，嘉鱼人，天启乙丑进士^④。令吴江六年，专抚字，不催科。举最，召入省垣。以吴江征输不足，仍谪外。久之，补行人副。崇祯十五年十二月，请独对召。入德政殿，复请屏阁臣。首揆求退，上不许。及开元面奏，即首揆也。次日补牍特参，上怒，下之狱。刘宗周请释开元及姜垓，上愈怒。落宗周籍，杖开元，仍诏狱。至十七年始出，遂遁去，隐于僧。

刘寿峤 字景仁，兴国人，嘉靖辛卯乡举^⑤。授蜀仪陇令，移摄

① 万历乙卯：公元1615年。 ② 万历戊午：公元1618年。 ③ 天启辛酉：公元1621年。 ④ 天启乙丑：公元1625年。 ⑤ 嘉靖辛卯：公元1531年。

大竹。以廉能最，迁南昌府丞。两邑争留之，不可，各立生祠以祀。南昌有熊生者为严相戚，凭势侵乡人田，群诉，诸上官莫敢问，咸檄移丞鞠。寿峤乃使人召生至，正色叱之，自脱官帽于案上，命挞之。悉断还所侵田，即纳绶去。弃一官而自行其志，独见古之遗直焉。前偶失编，特录于此。

曹志遇 字二箕，万历戊戌进士^①。以户部主事出知重庆府，时某尚书子不法，按如律。有同乡为其属吏者以墨闻，不少贷，调知高州府。修《府志》亦失编，补录。

经济列传

宋

吴择仁 字智夫，兴国人，以荫任雍丘簿。元祐中^②，金水河堤坏，十六县皆简属官应役，得谐朝堂白事。宰相范纯仁独异之曰：“簿领中乃有是人耶？”会畿内饥，多盗，选知太康。以静镇为政，群盗相戒不入境。中贵人谭稹奴犯法，按致之理。稹谮之，徽宗命户部郎宋乔年往鞠，罪无指实。遂以荐闻，进直秘阁副使。命往筑郑州城，又有谮之者。帝密遣使取城土试验，命卫卒三掷之，坚如铁，谗得不行。拜户部侍郎，知开封府，治宦官杨戡匿卖珠人事。戡以他事中之，出知燕州。终徽猷阁直学士。

元

何槐孙 字德孚，蒲圻人，幼颖慧，日记数千言。泰定三年举乡贡，明年会试高第。天历二年^③，授江西宜黄县尹。剖决簿书，洞烛民隐，人不敢欺。值岁饥，劝赈有方。再推德安、云梦，俱著政声。

① 万历戊戌：公元1598年。 ② 元祐：宋哲宗年号，公元1086—1094年。 ③ 天历：元文宗年号，公元1328—1330年。

至正二年，迁度元路总管府推官。申条约，决疑狱，未尝以声色厉人而委曲得情。胸有成画，又能镇之以静。除奸禁暴，理雪冤滞，阖郡畏服。著有《善政指南》书及碑碣诸文行于世。

明

辜皋 江夏人，洪武初征辟。知德兴县，宣布威德，招抚流亡。会寇发，聚民兵保障。时开矿椎铜为民患，皋以言利伤民非国家本计，奏罢之。乃修学校、建桥梁，辟蓁芜，民皆安集。鸡犬相闻，遂为乐土。

王恺 字时举，蒲圻人。永乐元年乡荐，甲申成进士，知江宁。时靖难初定，百务倥偬。恺剴烦剖剧，处之裕如。命抚畿甸，劳来有方，逋氓咸集。一日，上问户部钱粮出纳，恺代对纤悉不爽。以预修《永乐大典》，迁左中允、侍东宫讲筵。汉庶人扈从北征，阴谋夺嫡，构陷宫僚，悉下之狱。恺在狱十年，诵读不辍。仁宗即立。被逮者皆擢枢要。恺以母艰终制，宣德初^①，起补广西佥事。值猺獞构乱^②，遣恺同征蛮将军山云，御史韩伟、陈汭往抚，宣谕土官効顺思恩。果化，皆平。五年，如京师。上嘉其绩，赐游后苑。元夜观灯，上疏陈六事。九年征大藤峡，参赞有功。至浚州，建学宫，兴教化。正统四年，迁广东左参议。往抚钦廉叛寇黄宽等，勒石纪功于招远山。遗稿诗文数千篇，名曰《云谷集》。

陈智 字孟机，咸宁人，永乐丙戌进士^③。奉旨归省，赐钞，给驿符。召授京畿道御史，出按八闽。有书生张姓者拟辟系狱，狱成矣。引问，色冤甚。智好言婉询之，张称：“幼时父在，家颇饶，与王姓约婚。父没，家遂中落。妻之父欲背盟，妻执义不从。遣婢期夜至其家，愿私赠金帛资婚礼，因商之同舍杨生。杨谓谋叵测，遂不

① 宣德：明宣宗年号，公元1426—1435年。 ② 猺獞：古代对瑶、壮族的蔑指。 ③ 永乐丙戌：公元1406年。

去。是夜妻与婢皆为何人所杀，无主名。今已矣，以一死殉妻耳。”智遽叹曰：“杀而妻者，同舍生也。而何梦梦耶？”遂擒杨生，讯服伏辜，张得释。复按苏松，发奸摘伏，称神君。迁陕西宪使。洪熙初入觐^①，户部奏：以马给朝覲官，岁纳一驹如例，智即具疏谓：“职官为国牧民，而令为户部孳马，失朝廷礼下体，非新政所宜。”仁宗嘉纳之。及宣宗即位，入覲，例授本身诰命，疏请移封于父。是年父卒，庐墓三年。起陕臬，前后凡十六年，风节称天下宪长第一。宣德五年，升江西布政使。永丰张子良乱，智止戮其首恶，余党悉宥免。正统初，进都御史。智性刚急，有御史讯囚失实，竟笞之。后罢归，正统十一年卒。

邓真 字存诚，江夏人。永乐戊子乡荐第一^②，己丑成进士^③。授监察御史，上疏陈时务十事，上悉从之。迁山东按察使，转布政。谏狱详明，爱民如子。卒于官，吏民或见其行止如生，以为神，绘像祀之。

杨曷 字文昭，崇阳人。永乐壬辰^④进士，授监察御史。守制起补，贫至不能趋朝。后为山东道，是时法尚严，曷屡疏奏免坐死者三百余人，耿介不避权势。宣德四年，迁浙江佥事，分按浙西。遍历郡县，出系囚，反疑狱，部内肃然。山贼据百丈山芦弄洞，频出金衢剽掠。曷猝往贼穴，围其山。贼首自经死，余奔散，金衢以安。七年考满，入朝，以疾辞归。正统二年，少傅杨士奇、少保杨溥荐曷可大用，引见。操楚音以对，睿皇嫌其乡语，仅补广东臬使。士奇曰：“何尚土音耶？”曷笑曰：“世楚人，未得齐传耳。”至广东，大雪，人以为异。三载，致仕归。卒，年八十六。

刘允宽 字公量，江夏人，景泰庚午乡举^⑤。任严州通判，有惠

① 洪熙：明仁宗年号，公元1425年。 ② 永乐戊子：公元1404年。

③ 己：国图、江苏本作“巳”，形近误。 ④ 永乐壬辰：公元1412年。

⑤ 景泰庚午：公元1450年。

政，迁霸州知州。霸为九河故地，洼潦多水害。允宽建造桥梁，水患息；又节费储羨，积粟至四万斛、银至三千两以备荒。三年考满，民请留。巡抚彭韶下其所行事为他邑法。历任十二年，迁庆远郡丞，以方正闻，吏民畏怀。家居十七年，无私请谒。尝条议利弊，为德乡党，如移青山便民仓于平湖门外，近输五十里。劝除女穿梭鱼上滩等诸酷刑，侃侃言之，无遗力。而性伉直，当面斥人过，人益敬惮焉。

龚晟 字德辉，蒲圻人。天顺甲申进士^①，授江西道御史，巡按两淮盐法。值广东寇乱猖獗，敕晟往巡。晟至，疏陈：“两广事不相协，齟齬互诤。宜建制府于苍梧，择遣重臣总督两广军务，兼巡抚调度兵饷。东西策应，如常山率然，功可立奏。”上从之，起复韩雍总制，大破蛮荒。又拜陕西护军，号令严明，兵民安堵。成化十一年，孝宗已六岁，尚处西宫，中外虑为万贵妃所危。晟首请册立东宫，国本遂定。寻疏论元宰李时，量移贵州参议以归。

徐镛 字用和，江夏人。成化己丑进士，授行人。迁监察御史，巡视通州。时浚大通河，镛独疏不可，徒费金钱无益，既而漕舟果不达。复出按闽还，因灾异，上言论列贡赋课程，革奸弊，均禄食四事，时重其言。弹劾权宠，极论名器之滥，请汰冗官。会星变，请免庆成宴，谪镇原知县。值岁饥，修预备仓。掘地得窖钱十万，用以代输流亡逋课。改令临潼，父老泣送之。弘治初迁淮安知府，转广西参政。历河南布政，督漕副都御史。

刘珂 字公佩，兴国人，弘治丙辰进士^②。授长洲令，兴学校，禁赌博，缉盗贼。垦田三千余亩，兴水利七百一十处，置义塚三，毁淫祠十。会有浚河之役，水部奏征郡属雇值，珂力恳当道疏请奏免，岁省费不下十余万。补太仆寺丞，陈备边水利八事。及逆瑾乱政，乞休归家。居二十余年，卒。

① 天顺甲申：公元1464年。 ② 弘治丙辰：公元1496年。

戴书 字天锡，崇阳人，弘治壬戌进士^①。授南大理寺正，谳狱原情。迁四川屯田僉事，清盐法，兴利革弊，廉洁无私。历陕西苑马少卿，备兵甘肃，上安边疏。病居十载，无担石储，性不干人。起备兵临安^②，遂平寻甸安铨之乱。以大学士李时荐，晋副都御史巡抚贵州。时因寇扰不靖，书上《八可征策》。区画精当，人服其识。平生刚方，晚更屏绝嗜好，敛约如布衣。祀乡贤。

龚良傅 字起岩，蒲圻人，御史晟之孙。正德丙午举于乡^③，嘉靖丙戌成进士^④。授都水主事，治漕有功。迁武选司，简将士，汰冗卒。命册封怀藩，一介不受，王为立“却金亭”以志之。升浙江按察僉事，断狱多所矜恤。飭胥吏，除盗贼。时溺女成风，公为法禁，民称□父。转河南参议，岁大祲，捐俸、劝赈、设粥，全活甚众。陟山东副使，备兵海上，卒于官。

王畴 字叙之，崇阳人。幼聪慧，三岁失母，哀毁如成人，事继母尤孝谨。登正德戊辰进士^⑤。授南大理评事，论驳得情，深谙法律。有罪坐杀人者，不胜拷掠，诬服狱成议辟。畴力辨其冤^⑥，人共誉之。未几，获真犯于淮北，时称神明。武宗朝内殿灾，畴疏陈四事。以谏辞出忠悃极恺切，几蹈批鳞之祸。迁江西僉事，转四川副使。归，居家手不释卷。性方正，甘处清贫。著《石洲文集》，尝作《废钟亭说》以见志。

谢存儒 字懋珍，蒲圻人。幼通经术。嘉靖丙戌进士，授行人，擢给事中。陈时务要略，上褒之。会论许祭酒失职状，谪判邛州。兴学、劝农。鞫断明敏，他郡有疑狱皆属谳焉。历礼部郎中，迁知南昌府。会大旱，存儒至，雨如注，田畴沾足，民皆欣异。参政陕西，檄诸郡兴屯田、广积贮、缮甲兵、修城堡、简卒乘，饷充备豫，边威大

① 弘治壬戌：公元1502年。② 起：病愈出任官职。③ 正德丙午：有误，正德无丙午年。④ 嘉靖丙戌：公元1526年。⑤ 正德戊辰：公元1508年。⑥ 辨：通辩。

振。转山东布政使，年饥谷贵，令民以钱兼漕，折省漕费过半。擢副都御史巡抚河南，黄河决，相地势高下为疏浚，患以息。又疏请折钧州陶器价革祥符炬夫之费，民德之。晋兵部侍郎，坐司尚诏之乱不即讨，逮杖狱，放为民。

汪宗元 字子允，崇阳人，嘉靖己丑进士^①。以行人擢工科给事，历南太仆卿，修《马政条例》，转太常卿。修《太常志》、《经济考》，迁副都御史，督理河道。疏浚有方，漕流以通。以不附权相严嵩，谪福建参政，转右布政。防御岛寇，察民疾苦，复三运、八运之法，岁省民金万余。厘其赋为正办、杂办，条理井然，吏无侵欺。檄汀、建各盐商，使画疆而鬻，去其互税，商民称便。历官通政使致仕，归养，卒。著有《皇明文选》、《春谷集》，祀“乡贤”。

饶天明 字明先，崇阳人。嘉靖乙未进士^②，授中书舍人。擢河南道御史，疏请崇祀薛瑄。以劾郭勋议河套廷杖。寻按苏松，奏表节义，列泰伯、文天祥于《祀典》。治澱山、吴淞诸水，旱涝有备。守凤阳，谪判合州。归，园居三十年如布衣。年八十，卒。有《见一轩》诸稿。

张东周 字子用，蒲圻人。嘉靖丁未进士^③，授刑部主事。先是，台中有许福一案，疑狱也。岁余不能绝驳讞，牵累旧苦狱系。东周录其从前积案，参互研勘。穷究四日夜，竟得其情，全活甚众。世宗大悦，书名屏，左迁礼部主客司员外郎，提督四译馆。上疏陈崇正学等七事，时世宗方重青祠建醮，盖亦隐以为谏云。会严嵩得一富藩赂，欲册立之，东周力争，嵩以为恨。出为云南兵备，普安、缅甸诸蛮皆畏怀帖息。以积忤权珰，谪潼州倅^④。条教详明，州人颂之，卒于官。

邓廷猷 字汝嘉，蒲圻人。嘉靖癸丑进士^⑤，授户部主事。历任

① 嘉靖己丑：公元1529年。 ② 嘉靖乙未：公元1535年。 ③ 嘉靖丁未：公元1547年。 ④ 倅：副职。 ⑤ 嘉靖癸丑：公元1553年。

知建昌府，时流寇倡乱，廷猷率励各属，简丁壮，缮守备，相机剿抚，寇随以平。于是重农积粟，以赈民饥；毁淫祠，建书院，以兴教化，郡以大治。性介直，以忤直指调云南大理。去官，归。居家，子弟以严肃见惮。

孟仿 字思哲，武昌人。居父丧，哀毁逾礼。嘉靖壬子举于乡^①，授兴安令。邑治瑶民难处，瑶有渐被文教者。仿特蠲溢羨千金，请于督学，增设瑶庠卷面，得书瑶字。岁补弟子员，俾皆欣慕礼让，潜易其俗。邑高燥，去水远，尝苦旱。仿议浚筑渠堰^②，借溉河水。取涂所经有大姓田业为梗，仿谕众以值偿之，仍贷其赋。渠成，灌救数万顷，士民感悦，号为孟公塘。迁贵州镇宁州牧，不赴，归。年七十余，卒。

熊兆祥 字汝飞，蒲圻人。嘉靖壬子举于乡，授峨眉令。时经妖贼蔡百贯之乱，民物凋残。兆祥专意休养，务从宽恤，惟恐伤之。邑处穷源，田不任旱。兆祥究心水利，导引龙门洞水，开渠作堰，灌润百里。越雋有屯田，与民田犬牙交错。军官多混冒民田作屯，有倍征之苦。积弊百年，尺籍亦紊。兆祥履亩諏勘，分别军民经界，民得免征者三百石有奇。都蛮变乱，绥辑有功，民赖其赐。迁判重庆府，署府篆暨合州篆，冰槩自矢。有以羡金进者^③，不受也。以母老，告终养归。

常居安 字惟静，江夏人。万历戊子乡举^④，授隆昌知县。安奢两蛮构衅，议剿，欲以隆昌积储佐军饷。居安力持不可，曰：“积储原以备荒，万一隆昌早乏谷，将奈何？”牒抗上官者再。后廷议竟与居安合，而隆昌果旱，得积储赈济，民以宁。迁判延平署福宁篆，时议量裁海艘，可岁省金钱万馀。居安复力持之曰：“海寇叵测，使御敌无具，误国殃民，得不偿失，慎勿贪省事名。”后海寇果大发，人

① 嘉靖壬子：公元1552年。 ② 浚筑渠堰：即“浚渠筑堰”。

③ 羡金：余钱。 ④ 万历戊子：公元1588年。

皆服其远识。才不大用，时论惜之。

魏说 字肖生，蒲圻人，裳之孙。万历甲午举于乡^①，戊戌成进士，授南工部主事。丁内外艰，服阕，补北工部主事。当是时，郑妃嬖，怙宠肆毒虐。其朝于母后，礼宜侍立。及回宫，迁怒宫嫔，不置座，愤使神庙搆拷之。尝取梨木方条百余，日毙数命，真可惨目腐心者。说以杉木易之，又减其数以为讽，神庙亦稍霁威焉。转郎中，典试广东，督学四川，评刻唐宋八大家文为诸士式。迁山西副使，历参政，升山东按察使。值妖贼倡乱攻围，郡邑羽书告急。说乃点烟丁，给粮糗，警守御，然后腾檄招抚，示以利害。布告诫戢，贼皆感激请降，徙业自新。以功晋大仆寺卿，转留都尹。主藏者以羡金进，说尽以输正课而减民间征额。暇，则进诸士子讲业论文。迁户部右侍郎，兼都察院右副都御史。熹宗时，魏珰以说同姓，讽使投刺叙谱谊，说峻拒之，遂挂冠归。卒，年八十一，端坐而逝。著《青山阁集》八卷，祀“乡贤”。

王台彦 字明珍，蒲圻人。性凝重，寡言笑，好施予。饮酒辄尽数斗，乃益庄。万历癸卯举乡试^②，谒授四川达州牧。州有白莲妖贼聚众万余将作乱，剋日破州城。里民奔首，不问。三告，乃曰：“彼皆善士，奉西竺教，吾方敬礼之不暇，若乃敢以大辟诬佛弟子耶？”笞之。贼闻喜甚，谓此书呆谨事佛，易与耳。诘朝，率数十人投牒谢，台彦伏甲尽擒之，立毙杖下。檄散其党，州以安。父艰起，补知信阳州。时应山杨涟以击珰惨死，舁骨归，道经信阳。其知交皆畏珰耳目，首鼠窜，不敢视。台彦慨然流涕曰：“此吾同年友也。乃得此忠直臣，竟死矣。可奈何？”出抚棺哭，极哀失声，从者皆呜咽下泪。倾橐厚赙之，涟丧得归，台彦力也。迁贵州思南府同知，分试称得士。转铜仁太守^③，铜仁地多苗，叛服不常。前官弁多掠歼其老穉

① 万历甲午：公元1594年。 ② 万历癸卯：公元1603年。 ③ 大：太古字。

妇女，报首功；遇健斗者辄避，弗敢问。台彦必得真叛苗乃诛之，余尽释归，苗感服，咸喙息^①。擢毕节道副使。先是，水西、安奢二酋逆命，入黔中围七城，惟贵阳、安庄不下。守一岁，城中人相食。王三善兵至，围乃解。残民争就野，伏地啖草如牛羊。而是时，安位复以争界内乱。朝廷遣使往勘三四辈，辄不返。台彦至，携二仆，从十余骑竞抵其巢。渡六广河，行窅谷中，达水西大方，檄召安位。位不赴，复遣其酋陈国基召之。位使其骁帅阿乌味率众数千，唱言迎使者。台彦端坐叱之，酋相顾乃跪听，顾时时摩娑刀环、盘槩、挽弩，示不服意，台彦若弗见闻。夜宿酋帐中，鼾然就寝。突有酋躡足拜榻前，赍金珠以献。台彦笑曰：“若辈以吾可威劫货诱耶？吾为若辈万首领来平若界，以救若死；若界不平、争不息，天朝兴百万师问罪，若虽阻险，能积岁月抗耶？此金珠，沙砾耳。勿轻若性命也。”酋错愕退，私相语曰：“是公廉非前比。且其言诚可信，勿宜负。”遂献印归命。台彦按图立表定界还，置连珠七城为驿路，税粮举以入黔中。归治，得公廨中骨，视之人颅也。遍掘之，几数十石。因命僧尽觅城中枯骸近万埋瘞之，曰：“此皆义魄也。”设祭，去。功成，赐白金宝钞，授苍梧参政。乞休章三上，允归。后焚香整衣坐，卒。

尹民兴 字宣子，嘉鱼人，慷慨有志节。天启甲子^②，举于乡。崇祯戊辰^③，成进士。授宁国令，调繁，改泾县。惩剔奸弊^④，人号神君。内召，丁艰。服阕，赴都。上十四策，嘉纳之。擢兵部职方司主事，召对平台，陈兵务。历员外郎中，巡视九门，屏绝将弁包苴^⑤，清望凜肃。事有重大，上辄召辅臣问：“职方云何？”召对文华殿，赐茶赐羹。尝劾罢不职督抚四人，风裁益峻。又召对中左门，疏凡三十余上，皆兵机边事。镇臣刘超叛，条上方略，卒擒超，晋太仆寺少卿。都城戒严，辅臣督师，敕民兴察核镇抚功罪。西镇王定后期

① 喙息：休息，平定。 ② 天启甲子：公元1624年。 ③ 崇祯戊辰：公元1628年。 ④ 惩剔奸弊：即“惩奸剔弊”。 ⑤ 包苴：礼物。

不发，民兴缚定将斩之，督师力劝，乃止。后南都马士英、阮大铖交荐起用，民兴耻之，即具疏参劾，并请自罢斥归隐。性孝友，尚义。著有《庵园》、《竹简》诸集。

国朝

杨兆杰 字又仁，江夏人，少倜傥负奇气。顺治丁酉举于乡^①，谒选授大理推官。时滇南初定，悍弁骄将尝起大狱，没人财产，多冤滥，草菅民命。兆杰每案必多平反，且力争，不恤利害。尝同僚帅饮“洱海（楼）[楼]”观鱼，索笔大书于壁曰：“一网莫教全打尽，留些微命活清池。”其亢直如此。然台司益器重之，擢兵部职方司主事。入谒，大司马询沿途武备，自滇黔抵京邑，水陆形势、兵马强弱、镇将材否，抵掌谈，不啻悬河聚米云。至所条论，节冗费、清盗源及请裁提督文武剪制，申议楚粮诸务，皆练达中机宜，闻者伟之。康熙戊申^②，安南王黎维禧逐都统莫元清，流寄滇境，请于朝。敕命简材干、善辞命者往谕，廷议推兆杰偕侍读李仙根往，赐正一品蟒服，诏公卿宴饯。比至安南，维禧遣陪臣至。兆杰叱曰：“天子诏旨，维禧不拜迎而遣汝谰诐，当斩。”维禧惧，出郭拜伏如礼承旨，令退还高平四州地及降人，安置元清。还报，上大悦。旋榷淮关，以父讦归，庐墓山间，病卒。兆杰生平至性孝友，后母、异弟无间言。尝买妾，问知有夫，立还之；在云南时载还何罔卿、曹石霞两嫖于万里外^③。皆人所难者。

著有《日南记事》、《诗文集》行世。

① 顺治丁酉：公元1657年。 ② 戊申：公元1668年。 ③ 曹：国图本抄作“曾”，形近误。

卷之八

人物志 [二]

才猷列传

三国

李通 字文达，江夏人。以侠闻，（常）[尝]生擒黄巾大师吴霸，用其众。岁大饥，倾家赈济，士争为用。建安初^①，诣曹操于许，拜振威中郎将。破张绣军，封建功侯^②。操与袁绍相拒官渡，绍遣使招通。部曲泣曰：“今孤危独守，不如从绍。”通按剑叱之曰：“曹公明哲，必定天下；绍虽强盛，任使无方，终为卤耳^③。吾死不二。”即仗剑斩绍使。后拜汝南大守，卒谥刚侯。

南齐

李圭 字孔璋，江夏人。历任至尚书右丞，时中外谷帛至贱，圭议出上库钱五千万及诸州钱，皆令杂买，从之。后岁荒，赖以赈救。进少府。

宋

吴审理 兴国人。登皇祐进士^④，知辰州。獠人数为寇，始至惟结以诚信，解甲撤备，群獠感服。比去任，獠寇如故。故诏令复官，

① 建安：汉献帝年号，公元196—220年。 ② 封建功侯：被封为“建功侯”。 ③ 卤：“虏”的通假字。 ④ 皇祐：宋仁宗年号，公元1049—1054年。

在辰十年，境无一警。

王奕 字日华，咸宁人，枢密副使王韶孙也。宋末元兵南下，众心危惧。奕集少壮数千，结为一棚，保护邑里，民赖以安。

明

蔡哲 字思贤，武昌人。从明太祖于创业时，初授江西行省理问，升右司郎中。命往赣州招抚熊天瑞，遂令遣子入朝。蜀明升遣使来贡，又命哲报聘。哲潜挟书工同行，图其山川险易归献，为取道伐蜀张本。累官行省、参知政事，追封济阳王。

曾泰 江夏人。洪武初以秀才征辟^①，学行兼至。每慷慨论事，言皆底绩。有能声，超拜户部尚书。

何燠 字仲明，蒲圻人。性简默，知学问。洪武初，授休宁县簿。时戎务倥偬，征调严迫，燠区划有方，民赖休息。至董办木植、监筑城垣，勤劳尽职，三载考最。后以公事诖误^②，民思慕之。洪武十七年，仍以明经荐知滇之镇南州，卒于官。

葛素 字叔绘。身長八尺，音如洪钟。洪武十四年岁贡，授工科给事中。丁母忧，服（阙）〔阙〕赴京。时楚藩侵斧头湖为鳧雁池，校尉横甚。民被威劫，频受鞭挞。素以计缚其用事者十人，欲与诣阙。王恐，遣使求解，还所侵湖于民，咸人赖之。

李懋 蒲圻人，洪武初知新昌州。兵燹之余^③，创建州治。厅署、谯楼、学校、桥梁，悉加修葺。百废具举，而民不扰。又为《谕俗八条》，恳恻真挚，民咸感诵。

邓槐 字大材，蒲圻人，洪武庚辰进士^④。端慎守礼，与人交无倦色。初授成都新繁知县。蜀自明玉珍窃据后，百务废弛，民不聊

① 洪武：明太祖年号，公元1368—1398年。 ② 诖误：贻误。

③ 兵燹：战火损害。 ④ 有误，洪武无庚辰年，应在明惠帝建文二年，即公元1400年。

生。槐至，创规制、设条教、修水利、垦荒田，民咸复业。再任新津，政声益著。

陈文礼 字贵和，蒲圻人。洪武三十三年^①，以贡授监察御史。会有冤狱屡献莫决，文礼立辨奸诬，人服其明断。

孟祐 字符吉，武昌人。永乐乙酉乡荐^②，授香山令。土产珠玉，官其地者见之辄心艳多墨^③，祐独冰檠自守^④。三年报最，迁太原同知。驻代州，增陴设险，条便宜十事^⑤。抚臣然其议，颁行各堡，边鄙以宁。

周恕 嘉鱼人。永乐辛卯乡荐^⑥，任岳池令。前令以迟缓废事系狱。恕至，清其积弊，累年逋赋悉完，讼狱悉理。前令得释且复官，恕即致政而还。

吴軺 江夏人。永乐癸卯乡举^⑦，授兵部主事。勤于职事，机警明敏。能先事观变，料无遗策。外艰守制，当道需其才，诏夺情起复。改户部，迁山东按察僉事。

熊友信 字以泰，武昌人。宣德三年贡监^⑧，授成都府安县令。县苦苗，无公署，令至附居城隍庙。友信始构草堂二间；率民兵攻苗，战无不捷，苗遂不敢为害。九载，士庶诣抚按留之。加绵州，俸又九年致仕。

黎忠 字行恕，江夏人。正统中^⑨，以贡监任建昌推官。闽寇邓茂七攻陷邻境，忠选练骁勇，屡出奇兵摧贼锋。抚臣杨宁上其功，迁福建知府致仕。

王庾 字仲景，江夏人。正统壬戌进士^⑩，擢户科给事中。会山

① 有误，洪武无三十三年，可能为明惠帝建文二年，即公元1400年。

② 永乐乙酉：公元1405年。③ 墨：贪污，不廉洁。④ 檠：黄柏，性寒味苦。⑤ 条：逐条列举。⑥ 永乐辛卯：公元1411年。⑦ 永乐癸卯：公元1423年。⑧ 宣德：明宣宗年号，公元1426—1435年。⑨ 正统：明英宗年号，公元1436—1449年。⑩ 正统壬戌：公元1442年。

西有边警，以庾练达兵事，暂改御史，巡按山西。简卒伍，勤训练，严守备。事平，迁左给事中。景泰初^①，又以风力可倚重^②，敕镇河南。平生事无过举，历官广东右布政使。

陈文伟 江夏人，以武生中正统丁卯乡举^③。膂力过人，性磊落不羁，善骑射。尝蚤起行山野中^④，遇虎，徒手搏之，虎立死。后会试，场屋火^⑤。文伟右手据墙垣，左手挽扶同事生，俾履其肩而出，活数十人。须臾，火燎身，乃顾谢后至者曰：“吾不能矣。”揖之而后行，以此名闻天下。仕安丘知县，有流贼百余突进，掠库金去。文伟单骑挟弹驰追之。挥弹，中一贼左目；再弹，中一贼右耳。贼大惊，伏地。文伟叱之曰：“好为我送库金还。”群贼皆诺：“唯命。”仍单骑尾其后。抵县，群贼请死。文伟瞠目视笑曰：“鼠贼何足污吾刃？且汝就死而吾缚之，不武，非丈夫也。”不问其姓名，各杖三十，遣之。御史竟以纵寇劾免，遂归。弟文英、子完，皆乡举。

方进 字秉善，武昌人，景泰庚午举于乡^⑥。游太学，有文誉。授南都理刑，旋擢御史。迁云南佥事，抚制民蛮，饶有方略。巨猾郭景茂等负险集党，掠劫为雄，进设计擒之。其宝物尽归公帑不以私，而所获人口皆给遣完聚，滇人德之。

周源 字本清，武昌人，景泰庚午举人。擢御史，独秉风裁。理河南军政，替役代伍之弊为之一清。寻按贵州，奏增乡举额。有金铎者乱政扰民，源发其奸，称神明。赈饥顺天，活军民以万计。出守扬州，时韩祥杀曹玘谋其财，诬张俊；张诚以通奸杀朱普，诬周恒。狱成矣。源至，明其冤平反之，韩祥、张诚皆伏罪。丁内艰起复，转广信。又值陈友信奏给事中王姓者，李咨用奏按察使刘盱等，各问拟如律，连及万人。源会问，剖决如流，多为洗雪，众皆欢呼而出。升

① 景泰：明代宗年号，公元1450—1456年。 ② 风力：气魄和能力。

③ 正统丁卯：公元1447年。 ④ 蚤：早的通假字。 ⑤ 火：作谓语，起火。 ⑥ 景泰庚午：公元1450年。

广西参政，劾指挥王英贪暴，中外快之。致仕，卒于家。

李田 字舜耕，嘉鱼人。景泰甲戌进士^①，任户部主事，监临清粮。成化初^②，以督餉征蜀有功，擢广东参议。累官副都御史，巡抚京畿。岁饥，奏发廩赈之。为政持大体，贵戚敛手。中官汪直用事，怒田不私谒，遂归。

向珍 字子席，大冶人。天顺十二年^③，由太学生授广西兴业令。时木头岗等徭贼作乱，珍练兵拒敌，保全境土。成化乙酉^④，两广总督都御史韩雍讨贼，闻珍名，召与计事。贼连寨横扼道路，珍从贼垒潜行往见。韩奇之，委以兵事。珍用火攻捣贼穴，擒斩无算。幕府上功，升郁林州守。仍前御贼，拊循其民。卒于官，民立祠祀之。邑城北有向公井者，则其备贼时祷浚所得之泉也。

吴原正 字复初，通山人。成化辛卯科乡举^⑤，谒授广西博白令。筑城设堡，民赖以安。迁思明府丞，经略有方，土酋惧且怀之。卒于官。

黄玠 字敬润，蒲圻人。成化乙未进士^⑥，授浙江西安令。政严峻，豪猾为之屏迹。擢福建道御史，力持风纪，不畏强御。值都匀苗乱，王师进讨，玠奉敕监军，料敌制胜多奇中，能出群策之右。改土为流、改州为卫，皆其定议，与有功焉。迁大理寺丞致仕，卒。子诚笃学苦吟，推敲之际，至坠堑不知，亦足供好事者诗话云。

王禴 咸宁人。成化乙酉乡举^⑦，授河间通判。值边警，大司马余子俊命畿辅各举廉能官督餉，大同共推禴往。踰月，事果竣。秩满，父老相率诣抚按恳留。禴力辞归，杜门不出。宗族乡党有贫乏

① 景泰甲戌：公元 1454 年。 ② 成化：明宪宗年号，公元 1465—1487 年。 ③ 有误，天顺无十二年。 天顺：明英宗年号，公元 1457—1464 年。

④ 成化乙酉：公元 1465 年。 ⑤ 成化辛卯：公元 1471 年。 ⑥ 成化乙未：公元 1475 年。 ⑦ 成化乙酉：1465 年。

者，解推周恤无德色^①。因为逆瑾所媒孽，罚米五百石，竟破其家。年八十，卒。子成登进士，知琼州府。

但存学 字宗儒，蒲圻人。成化丙午乡举第二^②，授叙州推官。礼士爱民，至舞文猾吏，则痛斥法绳之。屡辨疑狱。迁判重庆府，值采木之役，委令取办。存学恐近地扰民，亲历险阻，滚入松播蛮落。抽简调度有方，材不竭而役不烦，民咸德之。

仵绅 字佩之，蒲圻人。成化癸卯举于乡^③，丁未成进士^④。授户部主事，监税九江。绅性警敏，精于心计，明习吏事。参伍考验，悉中机宜。创建公署，代者便之。

徐钰 字用砺，江夏人，与兄钺同登弘治庚戌进士^⑤。使交趾，年甫弱冠。交人以其少也，思慑之。设宴礼故烹猩首以进。钰举箸刺其两目，交人悚服。改贵州道御史，告归。嘉靖初起汉中知府^⑥，历四川布政。

张佐 字良臣，武昌人。弘治戊午乡举^⑦，谒选授西充知县，改令云南河西。时河西屡困于寇，断扼上流，水泉告竭，民不聊生。佐计殄群贼，禱浚久湮之源，筑龙池以溉四境；至近海之田多雨则涝，佐开通渠以泄之，居民得安耕业。寻署路南州事，平十八寨，监筑州城。迁知弥勒州致仕。

钟湘 字呆夫，兴国人。弘治壬戌进士^⑧，历户部郎、知漳州。会广东邻境山寇倡乱，命闽抚合兵剿之，兵屯漳界。刍粟日费数百金^⑨，悍卒扰民难御。湘区画戒备，先率敢死士捣贼巢穴，缚其首恶。给诸胁从者牛粟而遣之，贼为感泣。海贼闻之，亦悉降。以功进

① 解推：“解衣推食”的省略，典见《史记·淮阴侯列传》。② 成化丙午：公元1486年。③ 成化癸卯：公元1483年。④ 丁未：公元1487年。⑤ 弘治：明孝宗年号，公元1488—1505年。庚戌：公元1490年。

⑥ 嘉靖：明世宗年号，公元1522—1566年。⑦ 弘治戊午：公元1498年。

⑧ 弘治壬戌：公元1502年。⑨ 刍粟：粮草。

阶三品，禄视参政。岁饥，多方赈济。忽疾笃。库有羡金，悉登簿籍，纤毫不私。擢广东参政，未行，卒。漳人立祠，肖像祀之。

胡裕 字天宏，武昌人。弘治辛酉乡举^①，谒选得内乡令。毁淫祀三百，招徕失业流民千余家，缓征均徭，当时有“八异”之歌。三载考最，迁潮州府通判致政。归，笃学修行，至老不倦。

周楫 字巨川，武昌人。倜傥多奇气，娴方略。弘治甲子乡荐^②，授惠州司理。惠州故多山险，群蛮逼处，严武备。直指使按郡阅兵，俾官弁各试射，楫连发七矢皆命中。直指奇之，荐剿大茅岗。楫简精锐深入设伏，自当中坚，麾所部兵分两翼左右进。蛮奋斗，逞勇直前，而所伏兵抄出其后。蛮骇窜，尽歼之。积尸枕藉山谷间，楫惻然叹曰：“此亦天地所生，乃至此！马服君^③、李北平何如哉^④？吾累子孙矣。”亟告病归。征擢御史台不就，优游林下卒。

刘守绪 字克承，兴国人，正德甲戌进士^⑤。授奉新令，从王守仁合兵剿宸濠。时濠攻安庆，留贼万余守省城，而伏贼数千于城外为应援。守绪提兵四百，从间道夜袭破之。城内孤，为震动。濠平，录其功，官至太仆寺卿。

黄表 字一屏，咸宁人，建文忠臣黄子澄之后也。子澄原籍分宜人，靖难初，诛及九族，蔓延一邑，孥戮殆尽。其义子文富抱子澄骨葬于蒲。幼子仲真易姓名田中直，匿居咸之湾湖。仁宗立，褒子澄之忠。录其后，许复姓。表生而颖异，日记千言。正德丙午举于乡^⑥，辛巳成进士^⑦，授工部主事。机警善通，变合时宜。世宗朝，与费宏、张璁等议兴献礼称旨。适以父艰归，旋征召，将大用之。行至淮安，病卒。录此，以著子澄之遗忠不绝云。

① 弘治辛酉：公元1501年。 ② 弘治甲子：公元1504年。 ③ 马服君：战国赵名将赵奢。赵封其于马服，赐号马服君。 ④ 李北平：汉李广，武帝时为北平太守。 ⑤ 正德：明武宗年号，公元1506—1521年。 甲戌：公元1514年。 ⑥ 有误，正德无丙午年。 ⑦ 正德辛巳：公元1521年。

魏正初 字汝复，蒲圻人。嘉靖戊子乡贡^①，知易州。廉介，不燃官烛，诸寮惮之。易州税少而徭多，三年一徭，老稚无遗算。正初曰：“十五成丁，六十免役，古制也。”乃复老稚一千二百有奇，招集流徙。会秋警，大司马议城白羊御之，正初勒奇兵二千为诸郡先。迁襄府右长史，王甚敬礼焉。乞归，卒。

彭冀衡 字孟登，江夏人。嘉靖丁酉乡举^②，由长葛教谕迁中牟令。值土寇攻城，督民兵亲战，歼贼首冯锡、张东山等，以功迁宁州知州。宁俗劲悍轻生，稍有睚眦忿，辄自投崖死。冀衡为条教约法，民不犯。寻以母老告归，时报迁丽江同知，宁人思之，生祀焉。

胡希瑗 字子翼，大冶人。嘉靖丁酉乡举，丙辰谒授潼川州守^③。州领七县，当孔道。希瑗素负练达才，吏民畏服。有盐井不时闭塞，逋赋积累，希瑗力清弊窦，课集而民称便。有御史里居，怙势凌虐乡党、挠官法，希瑗阴翦其羽翼制之，不敢逞。会三殿灾，征材于蜀，或议伐学宫乔木。希瑗叱之曰：“若丧心耶？何议及此？无木，宁得罪耳。”遂亲陟山谷相择，卒采大木以应，视他郡独先。以劳惫卒于任，州人思之，祀“名宦”。

刘景韶 字子成，崇阳人。嘉靖甲辰进士^④，授潮阳令，擢刑部主事。值京师戒严，守安定门。清野坚壁，全活万众，迁职方郎。出为贵州佥事，安抚诸苗。以擒乱苗王黻功，增俸赐金。会倭犯淮阳，转海防副使。御战淮海，大捷，再赐金绮，淮人筑京观、立生祠。晋抚凤阳。以内艰，归。始景韶为郎时，以诗文声闻王、李七子间。晚益好学，著有《燕台》、《秋蛩》、《大白》诸集。祀“乡贤”。

饶敬承 字象贤，蒲圻人。嘉靖丙午乡贡^⑤，令蒙城、南部二邑，升宾州知州。时八寨猺贼阻险攻掠，粤西大震。敬承擐甲胄，亲

① 嘉靖戊子：公元1528年。 ② 嘉靖丁酉：公元1537年。 ③ 嘉靖丙辰：公元1496年。 ④ 嘉靖甲辰：公元1544年。 ⑤ 嘉靖丙午：公元1546年。

冒矢石，督兵进战。奋勇克敌，歼其叛渠。捷闻，升平乐府同知。解任归，宾人勒碑祠祀。

胡希寅 字云野，大冶人。嘉靖丙午举人，任广东开建令。粤地多猺贼。会当丁祭，集诸博士弟子员释奠先师庙^①。四鼓，城门启，群贼突至。众仓皇走，希寅大呼曰：“贼至当扞卫城郭，卫城郭即卫若等家室也。走者治以军法。”乃纠丁壮三百余，亲冒矢石奋击之。贼素轻文吏，（城）〔诚〕无豫备，忽出不意，骇而窜。希寅乘势追逐，擒杀百余人，巡抚殷正茂奏其功。终希寅之任，贼不敢犯。迁常州判，致仕。

郭懋 字子德，江夏人。聪颖通古今，有大节。嘉靖己酉举于乡^②，授杞县教谕。值流人万余为贼乱，破考城、柘城，径薄杞。承平久，闻贼至，皆惊窜，争门出。令惧，将弃城走。懋曰：“贼无能为也。吾足一动，彼即突入肆劫掠，且得罪。吾守城，彼乌合乞活耳，能顿兵仰攻耶？”遂为居守，邑以全。奉台檄，代行杞令事。乃集邑中丁壮，治刍茭、给甲械，洒酒享士，日张盖鼓乐巡城，金鼓声不绝，俾贼遥耳目之。宣言大军旦夕至。设伏捕贼间谍，擒数骑，获其伪制金龙衣，贼遂引却。事闻，迁威远知县。遭母艰归，起补舒城。舒小而剧^③，掾吏为政。懋至，严加操切。吏无所事事，佯丐休以伺动静^④。懋笑曰：“吾几误视若等。若等皆高士，令无能，何足为若等辱？”听投檄去。吏大惶恐，因丞簿肉袒谢。懋数其积罪轻重，各予笞而复之。终懋任，吏畏法不敢为奸。故事，马母岁一征驹，舒人患之。懋请计值以银代，民称便，江北永为例。舒故无城而民又善讼，懋因范土为埴，令讼者如式纳之以当金矢。甫半载，城成，而讼者亦减。荐“治行异等”，以不谒分宜相，卒不征。子正域，别有传。

① 释奠先师庙：在先师庙行释奠礼。 ② 嘉靖己酉：公元1549年。

③ 剧：难治理。 ④ 丐休：请假。

胡定 字正叔，崇阳人。嘉靖丙辰进士^①，授德清知县。会倭寇躏入浙直，民多奔窜失业。定白去奉征军饷万余金^②，吴越以苏。丁忧起，补滑县，益著廉能声。两邑皆生祀之。召为礼部郎，历任山西、福建督学。倡复古文辞，士习文体为之一振^③。转山西参议，计擒巨盗赵天智，散矿贼数千人。不烦一兵，关中以安。寻参政浙江，迁四川按察使，历广西左布政使，致仕。定孝友仁爱，居家杜门著书，卓然大雅，有古君子风云。

侯应爵 字天赐，江夏人。嘉靖戊午乡举^④。授乳源令，清浮粮二百石。曲江为韶首县，役颇烦，应爵代为均之。英德，其邻邑也。有讼不能决，发令应爵审理，能持平听断，韶人德焉。摄篆新会，创建海城。迁廉州同知，剿罗旁贼，中首功，加四级，超迁罗定僉事。擒猺寇飞龙虎等，抚其众数百余人。迁贵州参议，以母老乞归。居家，地方利弊知无不言。楚赋征米以食卫军，谓之府米，应爵力请当道裁其半，民便之。年七十七卒。

魏朴如 字文可，蒲圻人，工古文辞。弱冠，领嘉靖辛酉乡荐^⑤，授卫辉府同知。丁艰起，补叙州，转安庆。会巨寇刘汝国作乱，朴如亲履行阵，生擒贼首二人。上闻，旌其功，赐金，擢守浚江。岁苦涝，疏河以为永利。三年乞休，加副使致仕。著有《怡云亭集》。

周大烈 字两泉，大冶人。嘉靖乙丑进士^⑥，授铜陵县知县。抚军海忠介器重之，荐擢南兵科给事中。改设天策南仓于金陵水次，省陆运者三十里，民便之。又为冶邑除南粮，冶人赖其利。寻晋行太仆寺卿。

刘师颖 字叠峰，兴国人。早慧，七岁能文，督学使奇之。登嘉

① 嘉靖丙辰：公元1556年。 ② 白：上奏，打报告。 ③ 士习文体：文士习气和文章风格。 ④ 嘉靖戊午：公元1558年。 ⑤ 嘉靖辛酉：公元1561年。 ⑥ 嘉靖乙丑：公元1565年。

靖癸丑进士^①，授武库主事。上书屡言军政，上皆嘉纳。命发辘车餉边及赴云中兑塞马，师颖严用军法控制，所过不扰。转武选郎，卒。

谢承范 字元畴，蒲圻人。万历癸酉乡荐^②，通判吉安府。有治声，迁同知梧州府事。梧逼猺，尚多盗贼。备稍弛，辄猖獗弗能禁。承范规陈利害，简阅戎器，严侦候。用长技以制冲突，指麾皆谙韬略。监司委以征讨，遂深入险阻，歼其叛渠。猺皆喘伏不敢出穴，梧民赖以安。方论功赏，冒瘴，卒。

刘文定 字安所，兴国人。万历癸酉乡荐，知六合县。地极冲烦，民苦于役，日就疲病。文定竭心措置，减省休息；有巨盗为祸害弗能制，以计擒灭之。民立像祀焉。

常居敬 字惟一，江夏人。万历甲戌进士^③，授南昌府司理。讯狱详慎，擢户科给事中，掌工科。充浙江副主考，称得士。督理漕河有功，晋太仆卿。巡抚浙江，时倭寇披猖。居敬自募兵三千人讨之，而以千人助攻宁夏，糗粮自办，上嘉其忠。寻中人言，挂冠归。

任文台 字位南，蒲圻人。性至孝，博学。以万历戊寅选贡^④，司训瑞昌。历丁内外艰，起补保安教谕。遇寇警，阖邑悼惶无守志。文台戎服登城，召诸生励以忠义，皆鼓勇乘障。百姓益感奋，振臂呼跃，植戟睥睨间，士气百倍。寇惧却去，城赖以完。时称“广文千城”。创修《保安邑志》，转澧州学正。所至教先行，谊诸生^⑤。有抑代伸之^⑥；婚葬不给者，捐俸以助。迁河南教授，致〔仕〕归。著有《家乘》及《秦楚杂著》。

胡应辰 字汝拱，大冶人。父希璠，卒于潼州。应辰年甫十三，哀毁骨立。守吏挽柩出侧门，叱令由中门出。家甚贫，一老仆鬻薪给

① 嘉靖癸丑：公元1553年。 ② 万历：明神宗年号，公元1573—1520年。 癸酉：公元1573年。 ③ 万历甲戌：公元1574年。 ④ 万历戊寅：公元1578年。 ⑤ 谊：建立友谊。 ⑥ 抑：冤屈。

朝夕。万历癸未成进士^①，授户部主事。榷九江关税，不以筭缙余羡自润^②。有商艘误失打，顺流越关下。应辰察非故，令办税去，无加罚。转饷兰州，一日，戍兵尽出，寇忽抵城下。应辰不为动，徐令老弱乘陴，多张旗帜，杂沓往来。敌疑有伏，遽引去。越三日，督臣郅光先之援始至。奏闻，赐白金文绮。旋迁宪副，备兵川东。播贼杨应龙叛^③，上《平蛮七略》，监军讨播。进战，遂擒其前锋李旭。值议抚撤兵，遂罢归。居乡，秉正好义。卒，年七十二。

刘应命 字长俞，蒲圻人，万历乙酉举于乡^④。授眉州学正，尝捐俸赈恤贫士。署青神篆，民有以积逋无偿者，应命不忍追比，力请释免之。迁夹江知县，值讨播之役。奉檄征解粮械，多方规画，军兴以济。爰书中有大辟负枉者，狱成矣，辨其冤，竟得湔雪。擢知德庆州、钦州，有警拮据，征缮一如平播时事。粤俗薄葬，应命情谕法惩，曲加欣助，民皆感动知孝。岁饥，设糜劝赈，清徭减榷，民无不戴其德云。

孟习孔 字鲁难，武昌人。诸生时，攻苦习业，镂心制艺。尝以指画，胸衣为之穿。万历甲午举于乡^⑤，乙未成进士，授香山令。地在海中，蕃汉杂处，尝以互市起争，几致变叵测。习孔羸服屏驂从^⑥，亲往谕之。蕃感其诚，皆散去。调吴县令，县故剧邑，多豪强。轻心躁气，湍激易动。有织造阉为贼害，纵爪牙横于市。吴人噪，欲兵之。习孔召士民陈说利害，婉语阉加约束，祸以熄。丁母艰，服阕，补曹县。曹俗淳易理，惟苦粮役。富民奸吏因缘飞诡，贫弱者代之僵。习孔请于上官，力惩欺隐，用法均之，民得苏。三为令，三举卓异焉。征擢南工部主事，榷税茺关。转兵部车驾，出守开封，晋兵备副使。寇氛日炽，转饷大名，料马固原，皆立办，升太仆

① 万历癸未：公元1583年。 ② 筭缙：结算金额。 ③ 播：州名。

④ 万历乙酉：公元1585年。 ⑤ 万历甲午：公元1594年。 ⑥ 羸服：便服。 屏：摒弃。 驂从：随从。

寺卿。逆珰祸起，杨应山为首忠。一时楚人皆削籍^①，习孔亦归里。珰败还职，不赴。行里巷间不乘不盖，如老布衣。卒，年七十六。

周淳 字完初，蒲圻人。万历戊子举于乡^②，授九江推官。惩奸奖善，不遗余力。以疏论本郡守相诟讟，谪山东运判摄济河县事，迁恩县令。两遇荒祲，淳竭力蠲赈，给粟煮糜，亲加省视，烈日、溽暑无倦容，全活甚众。移知武城甫两月，疏浚河渠，漕运以通。迁兖州府郡丞，摄大名府事。白莲贼倡乱，淳素谙武略，工骑射，率士卒讨平之。晋秩，思恩知府，谢病归。著有《座右十箴》、《课士语》。

邓士亮 字寅侯，蒲圻人。万历辛卯举人^③，甲辰副榜^④。两任州学正，擢肇庆府推官。考最，入为宗人府经历。升南户部员外，榷扬州关税。赢金万余两，悉输内帑，无所私。升郎中，出知四川马湖府。苗寇犯顺，士亮会同守备王从周迎战。斩苗首威夜、月池等，四十余寨悉平。时上司出价取铜万觔，既而不用，追价。士亮曰：“昔以价征铜，今以铜征价，两厉吾民，何能堪此？”乃捐俸解补。旋升上川南道，卒于官。著有《屏史》二十卷、《心月轩集》十六卷，行于世。

周事一 字括苍，武昌人。万历丁酉乡荐^⑤，授邓州守。廉简不烦，有惠政，锄抑势豪，所辖三县咸服其能。大盗刘六聚党百余，出没不常，逞肆抄劫，民苦其害。事一设计截捕擒之，余党解散。捐俸修学宫，暇则集生儒课文、讲艺。卒于官，士民痛惜焉。

黄色中 字根心，崇阳人。万历己酉乡举^⑥，授广东海康令。特荐边材，迁汀州府佐，摄行福州海防事。督兵剿寇，以功擢顺庆知府。时猷贼屠蜀，色中从川督拒战，历迁宪臬。父忧归里，遂不复出。著有《易经注》、《管窥集》。

① 藉：同籍。 ② 万历戊子：公元1588年。 ③ 万历辛卯：公元1591年。 ④ 万历甲辰：公元1604年。 ⑤ 万历丁酉：公元1597年。

⑥ 万历己酉：公元1609年。

王鼎彦 字随庵，蒲圻人。有隼才，负气使酒骂坐，不事家人产业。兄台彦屡戒之，顾自解嘲曰：“狂顾不先于狷耶？性亦何可强也。”万历壬子举于乡^①，一上公车不第，即为汗漫游^②。闻吴越间多名人、佳山水，往从之，辄一二载忘归。归辄蹙额曰：“捉吾入瓮中，殊不耐也。”久之，谒选得河南内乡令。以亲丧归，补令粤之藤县。历任，内迁刑部郎。遇刑狱不平，必欲直之，强项不可驯，多忤其上官。崇祯庚辰^③，擢按察副使备兵榆林。境为陕极边，逼河套，骄军悍卒（尝）〔常〕易哗，危地也。有大将张天礼，为其健儿张自得所劫，尽有其家资。据城叛，杀副将、游击各一人。结伙贼杨光明为外援，抚镇莫敢问。鼎彦则以计给光明曰：“张自得，首恶也。若除之，不第罪可赎^④，且论功。”光明竟杀自得降，乱稍定。久之，复招降流寇贺弘启等六千余骑，边以平。时值岁数祲，饷半减，边无宿储。兵皆采草实疗饥，几为变。鼎彦故行边入营垒，见盂中余饭，色深碧，莫辨何物。攘而尝之，喉涩欲吐，旋大噱食曰^⑤：“味亦颇佳。”市数斗归，因进诸饥卒，慷慨泣谕，与之同甘苦。百计抚之，乃获安。及谢事还，诸降卒泣送五百余里。癸未^⑥，迁桂林参议。未任，值闯难，遂入江南。益狂甚，落拓行吟。七十，归蒲，家业荡尽。卒年七十七，贫无以葬，兄子九功、九真为发丧。著有《正始堂集》十卷。

周有翼 字翊公，武昌人，天启辛酉举于乡^⑦。崇祯丁丑会试^⑧，副榜第一，授保宁司理。单车赴任，文卷山积，断决如流。每录囚，句思字泣。（尝）〔常〕于死狱中求其生，平反独多。摄知巴州，偶

① 万历壬子：公元1612年。 ② 汗漫游：出世游，逍遥、无牵挂的游玩。 ③ 崇祯庚辰：公元1640年。 ④ 不第：不但。 ⑤ 噱：笑。

⑥ 癸未：公元1643年。 ⑦ 天启：明熹宗年号，公元1621—1627年。 辛酉：公元1621年。 ⑧ 崇祯：明毅宗年号，公元1628—1644年。 丁丑：公元1537年。

外出，贼突至薄城。闻报率兵赴援，贼解去，巴人感而祀之。擢庐州守。庐城先为流寇所堕坏，有翼经营议修筑，有成绪。以才力荐，拟晋安庐副使，移疾归。家居，赈饥埋骼，乡里称其德。

余宗 字叔夏，蒲圻人。天启甲子举于乡^①，崇祯辛未授河南之孟县令^②。抵任即开水利、苏驿困、筑城、筹饷，能声大著。迁虞衡主事。戊寅^③，董修司经局，以备藏书。又督修祭器，奉先殿告成，举禴祭监制如式。上亲御，色喜，改都水员外郎。时京师戒严，督修炮台，刻期告竣，加俸一级。河工告急，奉敕督理淮徐、中河兼徐、吕二洪河务。奏分任河工一疏，报可。因即飭沿河郡县邳、宿、丰、碭之间，畚鍤齐举。自是河漕底绩，粮运无阻。庚辰中^④，河饥，宗为请石价银千八百两市安东黍麦分济，全活数千人。有视工科臣责其礼际，以他事中之，遂拂衣归。

李軫 字君翼，蒲圻人。天启丁卯乡举^⑤，授清平县谕。捐葺学宫，训士有方，迁国子监助教，与修国史。历迁户部主事，监督海运，亲太二仓粮务。勤于其职，戴星出入，运弁敛肃。值近仓居民失火，时正夜中，軫星驰往救。烟焰炎烈，东城兵马司及各守卫官皆环视，束手莫敢向迳。軫忽出袖中手录书一册，号召市民曰：“有致水一器者，领一字；有能奋前扑灭者，领数字。当重赏。”一时水器涌集，冲注如雨，火顿熄。诘朝，出钱数千缗缴赏。人服其敏。丙子秋^⑥，师逼芦沟桥，都城戒严。部发勘合运六仓粮给军饷，人咸畏避。軫率先倡行，事平纪录。积劳成病，乞休归。家居十四年卒，年七十六。

李玉 字琢之，咸宁人，天启甲子乡举^⑦。负才不羁，博闻强记，以经济、理学自任。崇祯初，峡山贼炽，屡败官兵。守道袁继咸

① 天启甲子：公元1624年。② 崇祯辛未：公元1631年。③ 戊寅：公元1638年。④ 庚辰：公元1640年。⑤ 天启丁卯：公元1627年。

⑥ 丙子：公元1636年。⑦ 天启甲子：公元1624年。

率游击刘承颖往讨，受方略于玉。用其计，遂平贼。献贼陷楚，玉先避地江右获免。自此绝意仕进，以疾卒于家。

陈王廷 兴国庠生。闯贼至河，王廷进谋于州牧。坚壁守城，时出奇计破贼。贼败走，城以固。

程铎 字仲声，江夏人。崇祯戊辰进士^①，授惠州司理。折狱详慎，多所平反。会九连山贼程万等倡乱，据险结寨。然素知铎所行事，敬服之。适诸生廖理中为万所获，万遂因理中请降。铎单车抵贼巢，谕以大义，万即解散其众。而余党钟灵秀犹负固，即率万往歼之。山贼平，凯旋。疾作，取笔书“英雄气尽”，遂卒。民为罢市，素服奔哭，拥棹不能行。建祠祀之。

鲁鉴 字冰长，江夏人。方弱冠举崇祯癸酉乡荐^②，甲戌成进士^③。筮仕愿试闲职，就留都教授。迁国学博士，历礼部郎中。提督云南学政，滇中士习、文体为之一振。癸未^④，晋太仆少卿。值流贼乱，南北梗塞，不能赴。留云南署蕃臬七印，迎刃而理。后间道归里，隐居湖滨，孝事继母，屡荐不出，乡党重之。

国朝

谢应璜 字皇黼，蒲圻人，崇祯己卯乡举^⑤。顺治乙未考“身言书判”上上等^⑥，授豫章之崇仁令。崇故剧邑，号难治。前令视事辄败，败辄以累后人。应璜以一岁疏清六年之积逋，劝输有方。又大盗盘踞山谷，首尾蔓延六邑，为崇害顽梗者数十年。应璜单骑造其垒，披心抚谕，咸稽首受降。调滇南河西县，冒瘴，卒于官。

邹应锡 字尔圭，蒲圻人。幼孤，事母孝。崇祯壬午乡举^⑦，顺

① 崇祯戊辰：公元1628年。 ② 崇祯癸酉：公元1633年。 ③ 甲戌：公元1634年。 ④ 癸未：公元1643年。 ⑤ 崇祯己卯：公元1639年。
⑥ 顺治：清世祖年号，公元1644—1661年。 顺治乙未：公元1655年。
⑦ 崇祯壬午：公元1642年。

治十六年谒选，授太湖令。时海氛波沸，江南北悉震。传言伪檄且至，人心动摇，太湖城市一空。应锡召士民谕以大义，指画成败，坚意守御，练集乡勇，朝夕睥睨，间稽出入，谨斥堠。城得全，民赖以安。迁知光州，致〔仕〕归。著有《影娥池草》、《南归吟》、《完鉢草》、《北游草》、《皖吟》、《弋阳退食草》凡十卷。

鲁可远 字远公，江夏人。有文名。顺治初，以拔贡授瑞安令。赴任经温州，而瑞安已为海寇攻陷，并困温州。可远在围城中，代画守御策。寇退，赴瑞安。镇兵欲送之，可远曰：“贼既退，无烦兵也。”遂单骑往。甫至，增修隍堞，立木城。未几，寇复逼，可远授计守将汪勇出奇兵破贼。自是，贼不敢窥瑞安。以劳疾卒于官，上下哀感。囊空无一钱，其子镛归家作扶椁计，而耿逆告变。事平，始得复赴瑞，士民已公葬、立石。当乱时，瑞民多梦可远欲移殡出城，因移之城外僻壤。越三日，而城中宅火。或又见其柩上有红封，即视之，乌有也，返顾复然，更相传。耿寇至，亦见一人官服立柩前，惧不敢动。众益骇异，惊为神，因共殡之东山下。至是，子镛启土扶之归，瑞安士民泣送者数千人云。

郑邦相 字又侨，咸宁人。顺治戊戌进士^①，授鄱阳令。为政简易，凡丝布米豆之类，悉准民零折估值输粮，民便之。又详请北运米就本县交兑，免渡湖覆溺不测，及抵省诸杂费。鄱湖积多盗，邦相招得盗渠，令捕盗自赎，尽得其主，名盗无脱者，邑为建“得眠亭”。迁滁州守，会丁祖母艰，即归不仕，时年五十五。又十五年，卒。

周士灿 兴国州庠生。时风火尖茅坪山有土寇为民患，士灿设谋剿平之；又兼守城有功，一时称其才。后以选贡，授广济县训导。

^① 顺治戊戌：公元1658年。

端良列传

南唐

吴仲举 字太冲，兴国人，学通《春秋三传》。李煜时，为彭泽簿。宋太祖命曹彬下江南，遣使招降诸郡。彭泽令欲降，仲举责以大义，杀使者。彬执之，仲举曰：“吾世禄李氏，国亡而死，职也。”彬义而释之。太宗诏用李氏旧臣，以仲举为平阴主簿。后为零陵令。

宋

吴几复 兴国人，仲举子。天圣进士^①，知蓬州。多惠政，民戴之如父母。

廖视 字德远，蒲圻人，端明殿学士正一之孙。宁宗时授司理参军，历任房陵县令，转朝奉郎、通判衡州事。湖南经略许泾荐视于朝曰：“视器质端方，克守家法。尝任理椽，以直去官。两为剧县，治状称最。衡阳二郡，备著贤劳。”承摄道、永二州，首尾年余。剔除奸弊，爱惜财赋，一毫不以妄用。代者赖之。

张谔 武昌人。好学，善议论。登进士，除太子中允。寻迁司农，有政绩。三角山下有谔墓焉。

元

李鹏翔 字时起，咸宁人，登进士。至正初^②，累官翰林学士。世居梓山之下，文章德业为时称重。以疾，卒于官。

① 天圣：宋仁宗年号，公元1023—1032年。 ② 至正：元惠宗年号，公元1341—1370年。

明

李祥 字从吉，咸宁人，元进士。洪武初，任督府断事，累官至四川布政使。祥为人识度明雅，威仪庄肃，上素重之。及卒，亲制赠诰，极加褒美。

刘任 武昌人，仕元，任四川行省参议。归明，为兵部尚书。出为广东行省参政，以善政闻。时东筦伯何真降附，任处之得宜。召秩应天府尹，卒于官。

宋忠 字德敬，崇阳人。洪武初授清流令，兴学剔弊。有群盗啸聚，忠抵贼巢抚之，俱出降，立巡检以管束之。迁刑部员外郎，清流、士民请于朝，擢知汀州府。祀乡贤。

范俊 大冶人。洪武间，由岁荐应辟举，拜监察御史。守正不挠，累官左佾都御史。立朝以风裁见称，与同时李兴邦、艾良齐名，权贵避之。卒于官。

刘仲廉 江夏人。洪武乙丑进士^①，淳质有守。永乐初营建北京，多效劳绩。陟工部侍郎，转尚书。

方嵩 字中山，咸宁人。邃《春秋》之学，举洪武庚午乡试第三^②。任上海石泉谕，迁邵武教授。丙戌分考浙江^③，得杨复；甲午分考江西^④，得陈循。皆置第一，时服其藻鉴。改江津教谕。所至严立教条，以师道自重。年七十致[仕]归。以子洙贵，封监察御史。

唐音 字仲节，武昌人，有文誉。洪武丙子举于乡^⑤，授建昌谕。迁杭州府教授，专门受业之士魏驥等二十人皆登津要，升唐府长史。先是，仪卫军舍领王银贸易，亏本者多鬻子女以偿。音怜之，启王曰：“子女，府中人口，岂可轻之而重钱帛？”王嘉纳之，宽其逋责。迁叙州同知，致[仕]归。与丁鹤年往来倡和，以寿终。

① 洪武乙丑：公元1385年。 ② 庚午：公元1390年。 ③ 丙戌：公元1406年。 ④ 甲午：公元1414年 ⑤ 洪武丙子：公元1396年。

卢文政 江夏人。幼嗜学，温雅有度。洪武乙卯举于乡^①，授吏部主事。累官至太仆丞致仕，年八十余。所著有《历代一览》。

杨志忠 通城人。通书史，有才能。洪武中以“人才”荐，授汉中府经历。有奇绩，当路推重。

陈渥 武昌人。洪武间以贡任元溪知县，多遗爱，祀名宦。

邵圭 字廷璧，武昌人。永乐甲午乡举^②，授工部主事，转户部郎中。居官清慎。总督通州仓储，练达勤职，经制有方。武昌织机局岁解色段，以楚地丝劣，远市于蜀，民甚苦。圭为奏革，咸深感慕焉。致仕，归。凡贫不能婚葬者，捐貲助之。乡曲子弟能诵读者，喜加诱诲，扶掖不倦。

李瑁 嘉鱼人。永乐间以贡授江山令，居官务矜恤，视民如子。时闽浙海寇为患，瑁奉檄征剿有功。抚臣请优擢，恳辞，归。

武楫 江夏人。永乐甲申进士^③，任知县，司牧有方。秩满，百姓诣留，命驰驿复任。

秦荣祖 字显宗，咸宁人。永乐乙酉举于乡^④，丙戌成进士^⑤。太宗赐敕奖励，给宝钞卹传，俾归力学待用。六载，召赴京。授潜江令，调知固安，俱有政声。卒于官。

冯敏 咸宁人，宋司徒冯京之裔。元末，其祖避乱迁居江西永丰。父伯淳幼孤，鞠于刘氏，敏因冒姓刘，初名智。永乐乙未进士^⑥。奉命赈饥河南，能称任使。擢南兵部武选司主事，改北礼部仪制司。仁宗临御，尝以奏牋进，嘉其仪度，遂洒宸翰^⑦，更赐名“敏”。少传杨溥字之曰：“钦训。”转员外郎，得赠其亲，乃请于朝，复冯姓，归籍咸宁。仕终绍兴知府。

① 洪武乙卯：公元1375年。 ② 永乐：明成祖年号，公元1403—1424年。 甲午：公元1414年。 ③ 永乐甲申：公元1404年。 ④ 永乐乙酉：公元1405年。 ⑤ 丙戌：公元1406年。 ⑥ 永乐乙未：公元1415年。

⑦ 洒宸翰：挥御笔。

陈文宗 字景周，崇阳人，永乐岁荐擢吏科都给事中。举劾不避亲仇，奏疏备载《楚纪》。转江西佥事，廉能著声。

程鹏 字万里，嘉鱼人。永乐丁酉乡荐^①，授广西河池令。风俗犷悍，喜斗狠，动辄戈矛相敌如战争。鹏推诚训导，化以礼让，民为丕变。迁沧州同知，清操益著。

龚伯宁 字文卿，崇阳人。永乐甲辰进士^②，授新昌县令。芟豪强、息争讼、课农桑，公明廉介，政绩卓异。凿天宝山引水灌田，民赖其利。入觐，没于京。民思之，建祠县左，题曰“国朝第一爱民父母龚公端节之祠”。“名宦”、“乡贤”并祀。

刘士昌 字时亨，通城人。永乐甲辰进士，授陕西道御史，迁浙江按察司副使。有直声，时号“朝阳鸣凤”。

童以明 字用昭，嘉鱼人。笃于友爱，事叔如严父。正统甲子乡荐^③，授迁江令。兴学校，励风俗，正婚姻之礼，尚獠皆率其教。在任六年，卒。归橐萧然。

卢中 字守正，蒲圻人。正统乙丑进士^④，授刑部主事，历员外郎中。父贵贤义方极严，中奉训惟谨，居常布衣蔬食，门无私谒。及奏绩，诰封及亲。蒲令率里人捧冠服谒其第，贵贤设具候，令执礼甚恭。令去，召中于庭责之曰：“尔胡以官服桎乃翁、劳乡里哉？”鞭之乃已。后迁浙江参议，清廉一秉父训，图书外一无长物，时论贤之。

魏铭 字日新，蒲圻人，观之曾孙。景泰辛未进士^⑤，授户部主事，监通州仓税。以抗礼直指，被劾，调景东倅，改判扬州。时扬郡旱甚，守令祷雨不应。铭誓竭精诚，更率父老子弟徒步露祷。及三日，忽风起云飞，大雨如注，有黄龙夭矫空中，迅雷惊电绕其前，不

① 永乐丁酉：公元1417年。 ② 永乐甲辰：公元1424年。 ③ 正统甲子：公元1444年。 ④ 正统乙丑：公元1445年。 ⑤ 景泰辛未：公元1451年。

为动。是岁，郡大熟。迁温州守，投劾归。性廉介，卒之日至不能具丧礼。

刘谅 字守贞，兴国人。景泰间，以国子生选授盐城令。诲士课农，实心为政。岁值蝗，祷于城隍，蝗悉赴海死。旱，祷雨。雨遍境内，独一村不雨。谅心动，廉之，得妻杀夫者，遂正法，时以为异。淮有乔亮者，睚眦杀人，昼伏夜出，行剽劫猖甚。当道捕不获，责谅捕。乔闻，自缚投县曰：“（母）[毋]累仁贤！”荐“治行”第一。

刘余庆 字廷吉，江夏人。景泰癸酉^①，乡荐第一。天顺复辟，特选二十八人入朝，余庆与焉。擢浙江道御史，历贵州副使。有冤狱一怀孕之妇，拷掠枉拟。余庆曲折详求，独得其隐情，原宥之。时都匀作乱，民被梳栰^②，余庆捐俸抚绥。事平，致仕家居，绝迹公门，以清白遗子孙云。

周宗智 字子正，大冶人。天顺庚辰进士^③，授南户部主事，历北礼部郎中。彭文宪时入相，重其介直，每与议大事。后与冢宰尹旻不相合，出知金华府。德威兼济，吏畏民安。及入覲，觉旻尚有余愠，挂冠归。家居二十余年，进阶嘉议大夫。卒，年八十四。

杨孟凯 字廷相，崇阳人，天顺壬午乡举^④。知简县以廉洁称，政尚平易。立社学，刻家礼。岁饥蠲赈，民免流徙。七年谢任，囊无余钱。事母至孝，母卒，凯年已近七旬，庐墓三年，冢生芝草。李梦阳诗以志之，李锐为之序。

黄顺 字敬德，蒲圻人。成化戊戌进士^⑤，授温县令，再调陈留。为政岂弟近民^⑥，凡顽民梗化，多为条约劝谕，不妄施刑罚，民怀其惠。致仕，归居乡党，尚如诸生时。性淳谨，终身无疾言遽色，人称长者。

① 景泰癸酉：公元1453年。② 梳栰：劫掠。③ 天顺庚辰：公元1460年。④ 天顺壬午：公元1462年。⑤ 成化戊戌：公元1478年。

⑥ 岂弟：同恺悌，和乐的样子。

李为义 字用勇，嘉鱼人。成化丙午乡荐^①，授彭泽令。清廉抚字。时有宦竖至其地，处之得宜，不为势屈。

徐钺 字用宁，江夏人，弘治庚戌进士^②。性孝友。兄镛构病，钺愿以身代。授浙江瑞安令，有德政。迁户部主事，再补工部，监芜湖关税。以母老，乞终养。正德中起礼部员外，迁肇庆知府，致[仕]归。

王甸 字易之，崇阳人。弘治壬子乡举^③，授大庾令。清介自持，节冗费、惜民力。免梅岭夫役，民德之。以才能调万载县，有政声。壮年致政，律身不苟。祀乡贤。

钱珊 字鹤汀，咸宁人，弘治辛酉乡举^④。授四川崇宁县令，执法廉平。丁艰归，止取俸银十八两。服阕，补令增城。益励清操，田庐仍其旧业。兄玠，潜心理学，著有《性道录》。

熊清 字源洁，武昌人，弘治间由监生授南海县丞。浑厚端谨，耿介不阿。梁少傅子求造海船，竟不许，其抗直多类此。卒于官。

饶天爵 字明臣，崇阳人，弘治甲子乡举^⑤。历任崇庆守，锄强植弱，兴学校、重礼教。任满致[仕]归，足不履城市。祀乡贤。

陆升 字腾霄，大冶人。弘治间以贡授石埭县令，最称廉平。甫七月，即移疾去。当道重其介，留之。不听，行李萧条。御史江沂、太守张鸣凤各遣使给送，抵家赠之以诗。家居二十四年，不一入城市。

姜舜彝 字咨政，武昌人。醇笃有守，存心理学。由正德间监贡，授江西布政使司经历，有能声。委监南赣盐税，势家觊希^⑥。脱课宗藩、属托留筏者^⑦，悉裁以法。至革南新里胥之弊，处宁府废没之基，俱能切中事宜。致政归家，辟墅一区。焚香读书，寒暑不辍。

① 成化丙午：公元1486年。 ② 弘治庚戌：公元1490年。 ③ 弘治壬子：公元1492年。 ④ 弘治辛酉：公元1501年。 ⑤ 弘治甲子：公元1504年。 ⑥ 觊希：少有非份之想。 ⑦ 属托：请托。

以寿终。

周楷 字式之，武昌人。以孝闻，居丧哀毁庐墓。正德丁卯乡举^①，授虞城令。杜奔竞^②，绝苞苴。积久烦苛之案，极意疏理，俾无滞讼。常曰：“居官以爱民为本，与其刻于民，宁若拂乎上。”士民德之。有《乌庵集》一卷。

魏颂 字美之，蒲圻人。少以经济自期，太史廖道南深器之。正德丁卯举于乡，授颍上令。兴学爱民，著循良声。丁母艰，补祥符令。中州都会，冲繁难治。颂至，申功令，起凋瘵^③。大吏疏其治行，为权右所嗾，稍迁福建倅。历知北徐州，以不能俯仰上官，拂衣归。

魏溶 字文盛，蒲圻人。正德丁卯举于乡，授邻水令。邻俗喜讼，有兄弟争田者，溶引苏琼事泣谕之，民亦感泣，卒相让，风化大行。居官清约，囊无赢钱。卒于官，百姓哀号，祀“名宦”。季子正蒙，性至孝，成进士。

罗英 字汝延，江夏人。正德甲戌进士^④，授户部主事。迁员外郎，再迁安庆知府，称清白吏。所较量斗、斛、秤以铜为范。安庆人至今守之，曰：“罗斗”、“罗尺”云。岁旱步祷，大澍雨。郡人为立生祠，仕终参政。

牟盛 字汝登，江夏人，正德丁丑进士^⑤。授吉水令，有廉能声。宸濠之变，武宗借口亲征，征调百出，盛多方措应而阴修保障，吉水民赖以无恐。迁户部主事，历郎中。督饷易州，不媚阉宦。遂以内帑盗发，坐典守落职。家居清约，执父母丧，尽哀庐墓。卒，罗淇先志其圻。

① 正德丁卯：公元1507年。 ② 奔竞：奔走竞争，指争名逐利。

③ 起凋瘵：扶植贫穷、有病的人。 ④ 正德甲戌：公元1514年。 ⑤ 正德丁丑：公元1517年。

陈海 字幼孚，崇阳人。弘治丙子举于乡^①，丙戌成进士^②。性刚介，不与世推移。授海门令，奏《民瘼》一疏，忠爱蔼然。

胡濂 字深甫，崇阳人，弘治乙酉乡举^③。颖异博雅，善属文。天性孝友，侍母王氏疾，夜不卧，倦即假寐榻下。奉三兄怡，怡朝夕析产，涕泣数日，田地取硖薄，视犹子如己子。恻隐好施，收养茕独，疾则医药，死则棺衾，虽悬罄不顾。有夫妇鬻女，道哭甚哀，濂即捐金赎之。性复侃直，面规人过，人咸敬惮之。谒选，得定远县。洁己爱民，剔奸弊，振废弛。县治滨江，城数（圯）[圯]，民不宁处。濂相度川原，择风气所会聚，去旧城十里以作邑居。上官廉其贤，兼署巴县，巴即大治。比歿，蜀人哀慕立祠，肖像祀之。

詹文光 字用宾，江夏人。嘉靖己丑进士^④，授吴江令，历官廉州知府，俱有清操。生平无愧心之行，以亲老致[仕，奉]养归。

龚湜 字茂扬，崇阳人，嘉靖己丑进士。以行人擢南御史，直声震于时。历南台，剪巨豪王秀二^⑤，人快之。迁潮州守，有惠政。入观，遂致[仕]归。慕先达刘东山之为人，因号少东。所著有《少东集》。祀乡贤。

马练 字元素，蒲圻人。嘉靖己丑进士，授嘉定知县。除豪猾，浚渠浚，有政声。升南户部主事，历郎中，迁河南知府，所至端慎、恺悌。及致仕家居，和易好施。岁饥，尽散廩粟给贫民，贷不取偿。邑人士高其谊^⑥。

卢凤来 字桐甫，崇阳人，嘉靖丙午乡举^⑦。性刚介，初任仁和教谕，淬励诸生。迁遂平令，以清白著。历判开封府，调扬州。归，惟杜门读书。宗人贫乏者每推助之。著有《鸣岐存稿》。

舒大猷 通城人，嘉靖丙午乡举。由安仁教谕迁江油令、眉州知

① 有误，丙子在正德，即公元1516年。 ② 丙戌：公元1526年。

③ 有误，乙酉在嘉靖，即公元1525年。 ④ 嘉靖己丑：公元1529年。

⑤ 剪：除灭。 ⑥ 谊：“义”的古字。 ⑦ 嘉靖丙午：公元1546年。

州。擢南户部员外郎，转郎中、四川龙安知府。调韶州，升广东分巡海南道兼提学副使，历任至浙江右布政使致仕。勤慎清白，三朝十一任抚按，荐举章二十二上，七赐银币。集有《诸儒粹议》、《策学纂辑》、《县志》、《族谱》及《清心亭集杂稿》。卒年八十二，祀乡贤。

郭允楨 字大泉，通山人，嘉靖丙午乡举。授北直蠡县令，诏令修葺边墙有功，调广昌。力拒流寇，抑强豪，抚良善。邑有“郭公祠”。

唐时举 字省庵，咸宁人。父毓明经^①，有子三，独器重时举。分产罄与昆季，谓时举曰：“汝不藉此也。”岁除，仅有粟数筐曝阶下。时举方负暄手书读，粟为群豕食且尽，不知也。妻怒投其书，时举且笑且拾书曰：“此中粟千万钟，岂可量哉？”嘉靖丙午举于乡，丁未成进士^②。除会稽令，政尚简易，周悉民隐。奖拔寒士，首得陶望龄，人服其鉴。入为廷尉，值严嵩屡起大狱，株连冤滥，时举多所平反。未几，卒于官。人惜之。

汪廷钺 字彦举，崇阳人。嘉靖丙辰进士^③，初令任丘。擢户部主事，督漕南都，以清慎著称。佥事陕西，抚安边境。调广西，以病不赴。事母孝，产业让于兄弟。万历初，晋衔大仆卿^④。

饶仁侃 字近刚，崇阳人，嘉靖壬戌进士^⑤。司理饶州，讞狱平恕。入为刑部主事，擢御史，巡按山西，历南京畿道大理寺少卿，以右佥都抚滇。爽朗和易，所至有去后思。

马之貌 字威如，蒲圻人，嘉靖甲子^⑥乡举。知养利州，申明礼法，土司咸遵约束。旧有药、鱼、鸭市官，畜牛马及诸土产异品之物，官得岁收其利，之貌悉革除之。丁艰起，补茂州。州军多于民，之貌著军饷包封事宜，一无减克，军感其惠。与监司争安抚封议不

① 明经：作谓语，中明经试。 ② 嘉靖丁未：公元1547年。 ③ 嘉靖丙辰：公元1556年。 ④ 大：“太”的古字。 ⑤ 嘉靖壬戌：公元1562年。

⑥ 嘉靖甲子：公元1564年。

合，归。性至孝，每逢父母忌日，泣下沾襟。年八十三卒，有《粹白堂集》。

郑之亮 字邦采，蒲圻人。嘉靖甲子乡举，授临淮县令。临淮为凤阳首邑，最冲疲。监使虎而冠，辇上贵人频往来，供帐日候于境上，民不堪。之亮至，不忍腹民以媚客，题数语于驿亭，见者知不可犯。擢福建道御史，补江西佥事，迁苑马少卿。著《临淮志》。

王良谟 字克讷，蒲圻人。嘉靖甲子乡举，授元城教谕。教士先行后文，以忧去。起，补贵池，迁蓬溪令。始建社仓二十余所，民赖之。稍迁真定府判，拂衣归，蓬人立祠焉。生平好义，乐施予，置义田赡族，额其庄曰“景范”。

华存礼 字泰峰，兴国人。嘉靖甲子乡举，授淮安桃源令。爱民如子，居官廉。民感之，建生祠于河上。

程沂 字春野，咸宁人。嘉靖癸卯^①，举省试第一。隆庆戊辰成进士^②，授乐平令。循良有声，行取卓异。赐宴及花币，陟户部主事，督饷山西，卒于官。

黄朝用 字汝贤，武昌人。嘉靖间岁贡，授元城县丞，以贤能陟太平令。丁内艰起，补屯留。值岁凶，负租至三十余万。朝用不忍催比，竟告归。父老遮道乞留。比归林下，手不释卷，以寿终。

江沛然 字应吾，江夏人。隆庆辛未进士^③，授山阳令。丁艰，补吉水。俗产女多溺之，沛然首禁焉。征科有法，吉人循以为例，累迁怀庆推官。历南都察院经历，谳狱多平反，而又执法不阿，海忠介亟称之。寻迁南部郎，以蜚语中京察，再迁审理，遂拂衣归。著有《欧阳一老人稿》。

王涣 字午槐，咸宁人，隆庆辛未进士。三为县令，刻意立行，有清名。

① 嘉靖癸卯：公元1543年。 ② 隆庆：明穆宗年号，公元1567—1572年。 戊辰：公元1568年。 ③ 隆庆辛未：公元1571年。

龚棹 字时发，蒲圻人。隆庆庚午乡举^①，授东乡令。听断不避津要，一折之以理。后补乐安，迁判淮安府事卒。

张谐 字弼乡，蒲圻人。万历丙子乡举^②，授山东淄川令。宽和为理，设糜赈饥。置学田、义仓，为淄川永利。先是，邑有苛税，谐申请台司罢之，民获安辑。

余荫 字庇之，江夏人。万历间恩贡，授普安州判。有土司专擅不法，头目张朝觐为其党羽。荫至，力加振刷。朝觐欲饵以利持短长，假馈槟榔以纳贿。却之且杖朝觐，清其积弊。迁汝宁同知，丁艰未赴。遭朝觐反噬，愤郁卒。居官无长物，止废带数围、图书数卷而已。

孟绍庆 字谷余，武昌人，万历庚辰进士^③。授户部郎，多殊绩，屡迁云南副使。以征沔贼有功，晋按察使致[仕]归。读书手不释卷。

王廷策 字治卿，蒲圻人。万历己卯乡举^④，授荆门州学正。乙酉聘试山东^⑤，所拔皆名士。陟国子学正，补代州知州。代州有剧盗，捕不获，州人冤陷良民苏登高等，狱既成。廷策至，立辨其诬，湔雪之。真盗渠帅闻之，大感叹，立出自首服。岁旱屡祷雨，皆应。后归里，一年卒。

周于蕃 字价人，蒲圻人。万历乙酉乡举，初授竹山谕。造士有声，秩遵义府司理。遵义旧隶播，播平，始建郡于蕃。多方劳来，悉反土司侵地。摄知江津事，民勒碑颂德。转留都司理，决疑狱、禁私钱，威惠并著。屡经荐剡，卒于官。著有《寤语集》。

孙铤 字载仁，崇阳人。万历壬辰进士^⑥，授户部主事署郎中。出为山西潞安知府，以部差事谪判嘉定州，奉旨修复新津堰。时堰久

① 隆庆庚午：公元1570年。 ② 万历丙子：公元1576年。 ③ 万历庚辰：公元1580年。 ④ 万历己卯：公元1579年。 ⑤ 乙酉：公元1585年。 ⑥ 万历壬辰：公元1592年。

废，屢治屢圯，难坚。铤远募石工，择其良，得毛姓者董其事。堰遂成，灌溉数州邑，贻久远之利。民德之，立祠以祀。调深州，卒。

袁昭文 字海屿，蒲圻人。万历辛卯乡举^①，授湘阴学正。陟判临洮府驻肃州，距临洮孤悬二千里。殫力运筹，形神为瘁。〔丁〕内艰起，补判新安，署歙篆，又摄海阳事。汰吏胥、革富商，换单（尝）〔常〕例银，榷关芜湖。量移禹州，节邮传，省供亿，新学宫，历有善政。迁守邳州，会隆昌王侵石笋山税，力争之不得，拂衣归。卒年八十二。

刘学周 字翊成，武昌人。万历乙未进士^②，授江宁令。〔丁〕外艰归，补南陵。惠政得民，著声遐迩。以才能调繁，改江阴。士民争至南陵来迎，南陵人以土塞城门不令出。事闻于朝，旨甫下，留原任。又以〔丁〕内艰归，复补宣城。方议内召，病卒。所治邑皆感而祀之。

马天锦 字聚生，蒲圻人。万历乙未进士，授兴化司理。屢白沉冤，详载《莆中生祠记》。迁工部主事，节慎器物，岁有余金以还内帑。累迁兵部郎中，告归。

魏珩如 字白叔，蒲圻人。万历辛丑进士^③，授湖州教授。升国学博士，擢翰林院检讨，为福藩讲官。旋参两浙屯盐，有条行六款，可垂永久。又开涌金门通百物，浙人赖之。抚按上其功，赐金嘉劳。以病假归，山居啸歌。与侄诏倡和，有《六友山房集》。

董暹 字长驭，江夏人。万历甲辰进士^④，授宣城令。丁艰，补建阳，著能声。擢吏部主事，有忌之者论归。起礼部主事，迁员外郎。提学广东，鉴公衡平，称能得士。迁按察使，漕运都御史李若星荐其才堪大用。未几，卒。

① 万历辛卯：公元1591年。 ② 万历乙未：公元1595年。 ③ 万历辛丑：公元1601年。 ④ 万历甲辰：公元1604年。

王维受 字虚白，咸宁人。万历癸卯乡举^①，授永新令。孤介质直，邹南皋甚器重之。

张于升 字青如，蒲圻人。万历癸卯乡举，授凤阳令。性简傲，不能与时俯仰。左迁粤东宪幕，摄连州篆。连属多山，为盗藪，难治。于升静镇劝谕，以德化之，盗为弭伏不出。迁河南舞阳令，解授归。于升性癖好洁，耽山水。县北有洼樽石，为宋人遗迹。于升得之，拟于摩诘辋川，自号“小辋川”。卒年七十三。

张时熙 字仲正，蒲圻人。万历癸卯乡举，授元城谕。迁武陟令，民俗刁悍，时熙恩威并济，吏民畏怀^②。时流寇猖獗，严修武备，境内获安。后以左迁，转令云南归化县，致〔仕〕归。

饶若蒙 字完白，蒲圻人。万历丙午乡举^③，授清河县令。时飞蝗蔽野，民多流窜。若蒙多方赈贷，境内赖以全活。考最，擢户部主事，转员外郎中。以忤权贵，左迁长芦盐运司知事，转仙游令。清豪族侵占田产，又获戾于津要，左迁绍兴府经历。摄篆新昌、余姚、萧山三县，皆有惠政。升应天六合县令，拂衣归。置祭田，给贫族，年八十卒。

徐鸣玉 字振之，蒲圻人。万历己酉乡举^④。授长乐令，断事严明。丁父艰，起迁贵阳司理。有剧贼猖獗，鸣玉同郡守剿除之，境内肃然。转判临洮，致〔仕〕归。

邓士望 字子畏，蒲圻人。万历中例贡，授上林丞。迁判〔毫〕〔毫〕州，转达州同知，著敏练声。署云阳，有囚被赦，为蠹胥勒索，羁留十年不遣，士望立为申释。卒于官，人思其德。

陈之洧 字淡夫，江夏人。万历庚戌进士^⑤，授晋江令。累官山西副使，卓有政声。天启丙寅^⑥，魏珣柄政。之洧叹曰：“四海横流，

① 万历癸卯：公元1603年。 ② 吏民畏怀：为“吏畏民怀”并提修辞手法。 ③ 万历丙午：公元1606年。 ④ 万历己酉：公元1609年。

⑤ 万历庚戌：公元1610年。 ⑥ 天启丙寅：公元1626年。

双亲垂白，吾不能以身许国矣。”遂以终养乞归。

郭乔竣 字龙门，通山人。万历乙卯乡举^①，授徐闻令。革十六社之陋规，蠲三十里之苛派。又置“登云馆”，为多士肄业之所。勤政节爱，历六载如一日。邑人立石曰“民之父母”。迁南京北兵马司正，致仕。归里，每多义举。谦让之风，后进则之。

朱之楫 字斯济，通山人，廷立第四子。万历间由恩贡授建平县令，多善政，立祠祀之。迁温州海防同知，御倭有功，进阶朝列大夫。告归，养母孝，友谦敬，好善若不及。

朱之柱 字石斋，通山人，廷立第五子。由岁贡授四川东乡令，清勤饬己，锄强暴，扶贫弱。时播州寇乱，督粮征剿有功，神宗赐金，书“钦赐殊勋”四字以嘉奖之。迁夔州同知，告归养母。见乡党孺子，亦改容。接引老年，督僮仆灌园以自适。年七十五卒。

彭祖寿 字山公，武昌人。年十岁，能文。万历己未进士^②。神宗见“题名榜”，喜其名，笔识之。廷试二甲第一，授中书舍人。天启丁卯^③，顺天乡试，魏珪以私人子弟密授诸房官。知祖寿慙，不以属，其所取皆知名士。迁兵科给事中，弹劾无所畏。以疾卒于京。

孟道弘 字能儒，武昌人，天启辛酉岁贡^④。累任西安同知，摄知三元县。律身清约，秦人生祀之。后充监军，讨捕流寇有功，总督郧阳。陈良训题补关南道僉事，以病免归。

李应选 字进卿，江夏人。天启乙丑进士^⑤，授阆中令。入为户部主事，督饷兰州，军兴以济。历迁陕西布政使。推本省巡抚，以疾辞。卒于官。生平笃行古谊，为邑典型，而治绩所在有声。

蔡仕 字士田，武昌人，明初济阳王蔡哲七世孙。天启丁卯举于乡^⑥，选授江陵谕。迁陕西朝邑令，修城堡，储糗粮，治武备，留意搜

① 万历乙卯：公元1615年。 ② 万历己未：公元1619年。 ③ 天启丁卯：公元1627年。 ④ 天启辛酉：公元1621年。 ⑤ 天启乙丑：公元1625年。 ⑥ 天启丁卯：公元1627年。

求将材。而兵革倥偬中，讲艺不辍。恨时事不可为，弃官隐居终身。

吴元伯 字开吴，江夏人。幼孤力学，受业者众。崇祯癸酉举于乡^①。庚辰下第^②，特恩八月重试，赐进士。授礼部司务，迁吏部，历武选员外郎，善于其职。出为山东沂州参议。甲申之变，挂冠归。卧病不出，卒年五十八。

国朝

张廷宾 字上卿，江夏人，崇祯己卯举于乡^③。顺治己丑成进士^④，授黎丘令。讨平山贼，亲历各村镇，抚集流亡，襁戴还者相属^⑤。王师旋经黎邑，廷宾单骑伏谒，极言残黎之苦，请严禁侵掠，安集新民。王为感动，且将荐之。以病卒。先是，廷宾妻许氏死闯贼之难，有诗哭之，极哀。另有传。

熊正南 字乾先，武昌人。崇祯间恩贡，授大名令。值岁饥，请开庾发粟，又捐俸赈之，全活甚众。国初，条议本邑利弊数事，勒石垂久，至今赖之。

张皋谟 字汝士，武昌人，顺治间拔贡。累官真定知府，所至大著政声。

周琮 字子佩，大冶人，顺治己丑进士。授闽县令，宽猛兼济。甲午分试^⑥，能得士。居乡以厚德称，著有《鹿原诗草》。

张瑾光 字子待，蒲圻人。顺治戊子举于乡^⑦。己亥再行会试^⑧，成进士，授司理。时直指奉裁，司理多溺职，瑾光独守法不阿，平反得情，研求名臣经济以正己，率属自期，一时仰其丰采。著有诗文若干卷。

① 崇祯癸酉：公元1633年。 ② 庚辰：公元1640年。 ③ 崇祯己卯：公元1639年。 ④ 顺治己丑：公元1649年。 ⑤ 襁戴：同襁负，用肩背驮。 ⑥ 甲午：公元1654年。 ⑦ 顺治戊子：公元1648年。 ⑧ 己亥：公元1659年。

文章列传

晋

孟嘉 字万年，江夏郡之郾人也，司空孟宗之孙。少有名，太尉庾亮领江州，辟为阳新令。时褚裒为豫章太守，有识鉴。亮大会府州人士，嘉坐次甚远。裒问亮：“有孟嘉其人在不？”亮曰：“在坐，卿当自觅。”裒历观，指嘉谓亮曰：“此君小异，将无是乎？”亮欣然笑，喜裒得嘉。后为征西桓温参军，温甚重之。九月九日，温宴集。龙山佐吏并着戎服。风吹嘉帽落，嘉不知。温令左右勿言，观其举止。良久，笑还其帽，命孙盛为文嘲之。嘉请笔作答自誉，文辞超卓，举座嗟美。嘉好酣饮，愈多不乱。温问：“酒有何味而卿嗜之？”嘉曰：“酒中趣公固未易知耳。”后转从事中郎，迁长吏。

李充 字弘度，江夏人，善楷书。王导辟为丞相府掾，转记室参军。著《学箴》以规虚华之士。顾其称老子曰：“绝仁弃义，家复孝慈，岂仁义绝而后孝慈生哉？患乎识仁义者寡，而利仁义者众也。先王虑道德不行，故以仁义化之。仁义不笃，又以礼律检之。检愈烦，而伪愈广。老庄乃明无为之益，塞争欲之门。故化之以绝圣弃智，镇之以无名之朴。圣教救其末，老庄明其本耳。”此亦深疾末俗浮竞，（狗）[徇]名失实，以自托于穷愁发愤之意，非庄论也。征北将军褚裒引为参军，充苦贫，力求外补，乃除剡县令。寻补著作郎。时典籍散乱，充删除繁复，各以类从，分列四部，极有条贯，秘阁以为永制。累迁中书侍郎，卒于官。所著有《周易旨》、《尚书注释》、《庄论》、诗、赋、表、颂二百四十篇。子颢亦有文义，郡辟孝廉。

梁

费昶 江夏人。工乐府，制鼓吹曲。梁武帝重之，敕曰：“才意

新拔，有足嘉异。昔郎恽博物，卞兰令辞^①，束帛之赐，实惟弘奖。可赐绢十匹。”《南史》称为“閬里才子”。

隋

黄凤麟 江夏人。大业中^②，举进士。累迁侍御史、北部员外。有文集十卷。

唐

李善 字次孙，江夏人，有雅行。淹贯古今，第颇短于属辞，有“书簏”之诮。时重《昭明文选》，善受其解于同郡曹宪。后为左侍中，进崇贤馆学士，转兰台郎。坐事废，寓居汴郑间讲《文选》，受业者众。有《文选注》十六卷行于时。

李邕 字太和，善之子，少负盛名。同时崔融、苏味道、李峤、杨炯诸人，皆以文翰显，邕历加评论。尝诣李峤，愿一见秘书，峤因荐直秘阁。未几，辞去。峤惊，诘问奥篇^③，应如响^④。以张廷圭荐，拜左拾遗。会御史中丞宋璟奏张昌宗兄弟言不顺，请付法^⑤。武后不应，邕在阶下大言曰：“璟所陈，社稷大计。陛下宜听从。”后色解，即可璟奏。元宗时^⑥，拜殿中侍御史，改户部员外郎，出为陈州刺史。邕高文典册，尤长碑颂。虽贬职遐逝，而中朝衣冠及天下都会、名山川寺观，多赍持金帛，往求其文，馈遗不下巨万。然性好施，拯孤恤穷，亦振手辄尽。素轻张说，说衔之最深。适为仇告诬赃，说主其事，下狱论死。许昌男子孔彰上书救之，愿以身代；邕妻温氏亦投匭陈情^⑦。得减死，谪遵化尉。从杨思勰讨贼有功，历括、淄、滑三州刺史。上计京师，儒绅慕其才望，阡陌聚观，以为古人。天宝初迁

① 卞兰：三国魏开阳人，武宣后从子，少有才学。 ② 大业：隋炀帝年号，公元605—618年。 ③ 奥篇：深奥的篇章。 ④ 响：回声。 ⑤ 付法：交付法办。 ⑥ 元：“玄”的避讳字。 ⑦ 投匭：上书。

汲郡、北海太守^①，同襄阳杜甫宴饮历下亭，赋诗倡和，甚相得也。邕素磊落豪侈，不拘细行，而口语品题，能臧否人物，关键不闭。李林甫忌而恶之，矫旨就郡杖杀，时年七十余。先是，卢藏用尝谓邕曰：“君才如干将莫邪，但虞缺折耳。”邕不能戒，遂及。所遗文集七十卷，其《韩公行状》、《洪州放生池碑》、《批韦巨源谥议》，文士推重。至狄仁杰及五王、张柬之等《六君咏》，尤奇伟，豪气激发，则又诗人杜甫所为朗咏而增哀者也。代宗时以恩例，赠秘书监。

宋

李大同 嘉鱼人。博雅能文章，翛然遥寄，绝远尘俗。咸宁戊辰^②，以《周礼》中乡试第一，授国子监学录，即归隐不仕。聘之，作诗以辞。

费师古 蒲圻人。年十九，登天圣二年进士。赋姿敏异，才气焕发，尤长赋咏。所著有《叠秀亭诗草》。时知谏院范镇以请建皇储罢职，师古抗疏留之不报。官至谏议大夫。其子姓名翱者举进士，为南嘉李氏经师最知名。

廖正一 字明略。世家安陆之竹林，号“竹林居士”。后居蒲，读书凤凰山中，深造独得。善为文，藻彩焕发。元丰三年成进士^③，授华阴司理参军，累官至端明殿学士。出知常州，有惠政。蔡肇致启褒美苏轼、黄庭坚、晁补之，皆称为国士。后轼左迁黄州团练，而范純粹亦安置鄂州，正一与之声应气求，最为密迩。先是，其族有曰绍深者知衡州，遂徙衡。时则进士偁暨弟倚，咸负才名，当世推重，盖与正一后先相望云。

任献夫 字安世，蒲圻人，政和八年进士^④。凝然静穆，若不能

① 天宝：唐玄宗年号，公元742—756年。 ② 有误，宋无咸宁年号。

③ 元丰：宋神宗年号，公元1078—1085年。 ④ 政和：宋徽宗年号，公元1111—1118年。

言，而思致精审，雅善属文。冲澹潇散，不求异人，人自不能及之。仕历荆门州刑曹，民怀其惠。

李翔 字仲览，兴国人。博学，能诗。苏轼谪黄州，时相过访。后登元丰进士，作怀坡阁以寄思焉。

张掖 蒲圻人，任澧州石门主簿。性行端雅，问学渊博。时县令薛仪老、学正李洪俱极一时之选，而摘文挥藻必属之掖^①。所著有《修学记》。

元

何维 蒲圻人，延祐元年中乡试^②。时常德孙以忠、沅州李焘、澧陵李明孙才名相埒，而维尤逸气豪上，未易颉颃^③。即所试《求贤诏》一篇，辞令古茂，有汉诏之风。

丘堂 武昌人，延祐甲寅进士^④。曾同茶陵陈谊高、醴陵冯福可试《云梦赋》，瞻丽杰出。一时与衡山何克明并擅才名，称丘何焉。

聂炳中、李瑾中、汪存礼 皆武昌人，同中泰定丙寅科^⑤。乡试有《大别山赋》，俱登“文选才名”科目，一时称盛。

明

胡文寿 武昌人。元至正间乡贤，授龙川书院山长。归明，太祖授本县司训。诱掖不倦，制作极一时之选。惜散逸，多不传。所存有《樵楼上梁文》、《西山寒溪》诸诗。

程立中 嘉鱼人，力学能诗。明初法令严，士多晦迹不敢仕。立中以食贫，故为监门之隐，役于官。晨集，后期至^⑥。尹将辱之，立中高吟一诗寄讽。尹遽谢曰：“子才士也，吾真愤愤不识子。”延之

① 摘文挥藻：写文章。 ② 延祐：元仁宗年号，公元1314—1320年。

③ 颉颃：对抗。 ④ 延祐甲寅：公元1314年。 ⑤ 泰定：元泰定帝年号，公元1324—1328年。 泰定丙寅：公元1326年。 ⑥ 期：约定时间。

坐与语，益知其贤。荐于朝，授县丞。因拙催科下狱^①，一夕呈诗百篇以进。朝廷悦其忠爱，令复官。九载，致仕。

孔克仁 字原夫，兴国人。宣圣五十五代孙，父任兴国教授，因家焉。洪武初，与宋濂同以文士应召。讲《左氏春秋》，极被宠遇。累官浙江按察使。

韩衡 字克佐，通山人。洪武五年，任兴国学训导。举文学赴京，作《钟山应制诗》，除庐州知府，改湖州。通经术，博学好古，才名特著。

陈汝楫 字济民，蒲圻人。善诗赋，工草书。洪武初，举明经。累官至广平知府，有卓异声。

邓林 字时茂，蒲圻人，洪武丙子乡举^②。长于诗，托物寄兴，各有体裁。初授江津教谕，再调大竹，秩秦府教授，藩封敬服。所著有《恂斋集》、《月中桂赋》。

黄煜 字士昭，蒲圻人。父楫，号雪洲，能诗文。烟蓑雨笠，隐于城南水滨。煜幼颖异，积学该博。能识奇字，辨古文讹謄。举洪武丙子乡试，授合肥教谕。风格冷然，赋咏自乐。屡典文衡，为世所宗。未几，弃官归。益肆力于诗赋、古文辞，束帛求碑颂者履满户外。创修《蒲圻县志》，所著有《凤凰山赋》、《三礼说》。

魏观 字杞山，蒲圻人，读书蒲首山中。构亭曰梅初，赋咏其间，陶然自得。元吕忠肃公诵其诗，荐之朝，辞弗就。明祖平江汉，征聘诸贤，观同青田刘基、金华宋濂谒见，上与语，大奇之。授平江学正，迁国子监助教、浙江提刑僉事。吴元年，改两淮盐运使，入知《起居注》。洪武元年，建大本堂，命观侍皇太子说书，暨授秦、晋诸王经。二年十月甲戌，甘露降于乾清宫。上问观曰：“是何祥也？”观对曰：“帝王仁民泽物，则甘露降。陛下宽恤赋税，众庶救宁，神应之臻。”良为允协。十一月，冬暖如春。上召观偕危素、詹同、吴

① 拙：不善于。 ② 洪武丙子：公元1396年。

琳、宋濂游内苑。赐宴紫阁，命各赋诗一章以述君臣同游之盛。上览观诗，大悦，亲为制序。三年正月，转太常卿。改定太庙祝文，称“孝子皇帝臣”；凡遣太子行礼，称“长子某”。著为令，进侍读学士。十二月辛酉，編集《大明志》成，进国子祭酒。四年九月，坐考祀孔子礼稽缓，谪知龙南县。未至邑，召还为礼部主事，赐宴奉天门，命赋诗。五年三月，廷臣荐观有治才，出知苏州府。时值兵乱后，观至，建学，举乡饮酒礼，敬老亲贤，定仪节，风教蔚兴。擢四川行省参知政事，父老疏留，仍还郡。寻以修府第于士诚故基、浚锦帆河，御史张度诬其兴既灭之基。上怒，遂并高启、王彝论辟死。王彝，观所征礼；而高启，则为观制《府第上梁文》者。与观皆一时才贤。死非其罪，咸哀痛之。既而上亦自悔，而死不可复生矣。命所过沿江致祭，皇太子、诸王哀赙有加^①。

刘渊 字伯广，江夏人，隽逸不群。字法赵松雪，诗效陆天锡。宣德九年，以“经明行修”举。御批卷曰：“文理通畅，宜授教职。”遂任云南嵩明州学训导，改安陆、江夏，历京山教谕。讲诲不倦，文人多出其门。

李沧 字朝宗，嘉鱼人。宣德己酉^②，乡荐第一。庚戌会试，乙榜一名，赐进士冠带，给俸入翰林院读书。品格雅饬，学行兼美。应制赋诗，辄蒙恩赉。由金溪、保宁两籍博士，正统典广西省试，景泰中典云南、贵州等处两省试事，凡三与文衡焉。

陈曾 字廷元，崇阳人。雅有清尚，薄势利，遇贫乏辄解推^③。虽家无余储，弗惜也。举天顺戊子乡试^④，令真阳，廉介著声。工于诗，著有《孝经集解》、《诸儒格言》。“名宦”、“乡贤”两祀之。

刘绩 字用熙，江夏人，弘治庚戌进士^⑤。幼警敏不羁，博洽经

① 赙：出钱帮人办丧事。 ② 宣德己酉：公元1429年。 ③ 解推：解衣推食的简省。 ④ 天顺戊子：有误，天顺无戊子年。 ⑤ 弘治庚戌：公元1490年。

史。凡所撰述，古雅冲淡，不与俗同。闻望重一时，与李梦阳为著作交。历史部员外，出知镇江府。所著有《礼记正训》、《太玄注》、《芦泉诗文集》。究以才名婴忌，晚年避迹岳阳。

张钟灵 字白湖，武昌人。赋性倜傥，潇澹自好。读书论古，以名贤自期。领弘治戊午乡试第一^①。举进士不第，遂不屑以利禄干进。放情山水赋咏间，幽韵可风，有《白湖诗文》。

廖道南 字鸣吾，蒲圻人。博古嗜奇，希慕司马相如、王褒、杨雄之为文，奥丽自喜。正德辛未进士^②，嘉靖改元，赐出身二甲第一。选庶常，授编修。四年，纂修《明伦大典》成，迁右春坊太子中允。六年，命进讲《洪范》及《大学》衍义，充日讲官。七年，星变日食，应诏陈言，又进《灵雪赋》。九年，奏《遵圣谕以陈旧制》，申明祀典，毁淫祠淫像。先是，姚广孝以吴僧挟术数成靖难之举，髡其顶^③、缁衣、嗜杀，配享太庙，道南特奏罢之，移祀大兴隆寺。又奏稽古乐章，复进《大祀圜丘赋》。十年，彗星见。陈议修省及议崇典礼事，申明宗庙大典禘祭吉礼，有诗赋并颂进；赐甘露，作《宝露颂》；祀方泽，作《方泽颂》。皆以进。又进《帝苑农蚕赋》。十一年，圣驾临雍，进颂。更自进《景德崇圣颂》。十二年，坐不代讲谪判徽州府。十三年，召复职。赐《大报歌》，应制奉和。是时世宗宠信方士陶仲文，觊长生，崇尚斋醮，阁臣严嵩等皆以青词被恩幸，因有御制《钟粹宫步虚词》，道南亦恭和以进，仍进《九五斋恭默室颂》。十四年，丁忧。制满，晋一级。十八年，世宗驾幸承天，有《恭纪盛烈颂》，又奏《恭纪瑞应》诸颂。以言官拾遗，闲住。十九年、二十年，又进《昭圣谟》、《述圣谟》两颂。前后奏章暨所进诗、歌、颂、箴、赋，世宗皆嘉纳留览，付史馆。二十六年，卒于家。著有《文华大训殿阁词林记》、《楚纪》及文集。

① 弘治戊午：公元1498年。 ② 正德辛未：公元1511年。 ③ 髡：剃去头发。

汪必东 字希会，崇阳人。正德辛未进士^①，授户部主事，转礼部祠祭郎中。议大礼，廷杖濒死。迁广西参议，历云南参政。表楚庄蹻开滇功，檄父老立祠祀之，自必东始。生平邃于经史，慷慨风议。善书，工诗。当在祠祭时，凡郊庙大典、禋祀文移，悉出其手。书类二王，片纸只字，海内皆相珍重，名闻天下。著有《南隽集》、《易问大旨》、《楚纪》、《望海赋》诸稿。

李珍 字贡甫，江夏人。诸生时以学行称，督学蔡潮尝重之。举正德癸酉乡试^②，授大足教谕。时获玉兔，副使张属珍作赋献之，朝台使者交章荐。迁乐安令，革坊里诸费。入覲旧例，馈路费、京费六百余金，尽以归之库，代诸贫民逋赋。调紫阳学宫，典礼多阙，为著《祭祀仪注》。雅意山水，不喜仕进。归田后，让产伯兄，徜徉泉石间，萧然吟咏。诗拟杜子美，字仿颜真卿，一时推许。子萃亦精六书，能诗。

吴童 字求叔，蒲圻人。疏散自适，落落不与时偶。筑室落霞溪，与下雉吴明卿、京山李本宁，诗坛酒社，时相往还。著有《吴山人大隐堂集》。

姚亨 字嘉会，咸宁人。英敏绝伦。家贫不易得书，持数金就书贾赁二十一史阅之。贾曰：“史卷累牍，非经岁不能遍。”亨请三月为期，流览略备。学士廖道南亟称其才，以明经举嘉靖甲午乡试^③，（举）[授]户部员外郎。致政归，图书数卷，啸歌一室而已。子民亲，字望谷。淹雅有父风。征文者屢满，日不暇给，秉烛至夜分，卧占口授。才名大著。

汪宗凯 字子才，崇阳人。嘉靖乙未进士^④。性聪颖，博极群书。历官尚宝卿，归田。手不释卷，以著述为事。嶮崎历落，才思浩瀚。伸纸挥毫，辄数百千言。著有《棠溪集》诸书行世。

① 正德辛未：公元1511年。 ② 正德癸酉：公元1513年。 ③ 嘉靖甲午：公元1534年。 ④ 嘉靖乙未：公元1535年。

王如璧 字子白，崇阳人。嘉靖丁酉科乡举^①。令璧山，有恺悌声。归家，日事著述。下笔辄数千言，著有《入蜀》、《出蜀》、《梦南》稿。

王近光 字子观，崇阳人，嘉靖丁酉科乡举。授渠县令，以廉明称。归，惟图书数篋。博经、史，善诗、文。年八十，犹耽赋咏，手目不停披览。著有《氏族大全》、《补韵府群玉》、《补镂冰集》等书行世。

魏裳 字顺甫，蒲圻人，质直好学。为诸生，试辄高等。太史廖道南家居，自负博辨，兼先达，贵倨。屡觞诸生，引说经史，各唯唯逊谢，无敢发其覆者^②。裳独剖对不穷，又故起避席请益，时时出其意表。太史爽然自失曰：“何物宁馨？咄咄乃尔。”又十年，嘉靖丙午举于乡^③，庚戌成进士^④。授刑部山西主事，始王元美世贞、李干麟攀龙倡为诗赋、古文辞，有盛名，裳自视弗如。治司空城旦少间，即刻苦细论就正，非夜分弗释也。会丁母艰，哀毁仆地，绝旦乃苏。服除，补山西司。稍迁员外郎，最后为济南知府。时攀龙已弃官，里居谢客。裳三及门，不出，遣苍头持刺报谢。裳仍往，候之益恭。李乃揖之庭，呼酒共饮，谈诗极欢。裳此际虚心自下，盖大异于为诸生与廖太史折角时云^⑤。会齐鲁间贼寇蜂起，裳画策诛其渠帅一二人，余党散归农。守济南，有敏练声。迁山西副使，分巡冀南道。究以性高简，招指摘去官。楚抚聘修《湖广通志》，凡成七十六卷。裳于书，自经典、性理、子史，诸天官、卜筮、龟策、地理家言，靡不精究。著有《云山堂集》。

吴国伦 字明卿，兴国人，领嘉靖己酉省试第一^⑥。庚戌成进士^⑦，授中书。擢兵科给事中，以诗文名一时。与历下李干麟攀龙、

① 嘉靖丁酉：公元1537年。 ② 发其覆：去除掩饰。 ③ 嘉靖丙午：公元1546年。 ④ 庚戌：公元1550年。 ⑤ 折角：雄辩。 ⑥ 嘉靖己酉：公元1549年。 ⑦ 庚戌：公元1550年。

琅琊王元美世贞、广陵宗子相臣、天目徐子与中行、南海梁公实有誉、临清山人谢茂蓁榛连社唱和^①，称七才子。时严嵩柄政，才国伦，欲罗致之。国伦顾独立自好，不为屈。又值兵部职方杨继盛疏斥嵩十大罪，婴嵩怒^②，冤陷下狱。临刑，国伦同世贞往西市抚继盛，哀恻永诀，经纪其后事。嵩闻恚甚，遂谪白鹿洞知事。屡迁至高州府。御岛寇有功，迁贵州提学。转河南参政，致仕归。专志著述，有《甌甌洞正续稿》数十卷传世^③。祀乡贤。

何伟 武昌人。嘉靖间贡士，任永崇令。性聪慧，究心经史，制作为一时宗。

吴楚材 字国贤，崇阳人。隆庆丁卯乡举^④，授会宁令。解组归，著有《邑志美合编》、《强识略》行世。楚材性嗜学，博雅渊湛，以兴起古学自任。与唐顺之、李攀龙、王世贞、吴国伦日以诗文相剗切，名满海内。

任文定 字兆麟，蒲圻人。以儒士举隆庆丁卯乡荐，尝刲股疗父疾。邑修城垣，有枯骨万余，为埋而祭之，轻财好施。八上公车不第，谒选得南阳府丞。岁凶，捐俸赈饥，祷雨，雪冤狱。署舞阳内乡，皆有惠政。文定幼颖敏，日记数万言。作诗赋、古文辞，捉笔立就。喜绘山水、人物，自成一家。与人立谈，退，戏写其形貌，惟肖。书法钟王，好蓄古名书墨迹。其书画，人多宝重之。

向日红 字葵卿，大冶人。隆庆二年，以荐举授清河令。毁淫祠，开油河，声绩甚著。万历初，张居正为相，破格擢御史。外转巩昌道僉事。还里，修邑乘。工于诗，思致清远。著有《白云草》。

任家相 字白甫，江夏人，诸生时与郭正域齐名。万历戊子举京闾乡试^⑤，授（愁）[婺]源谕。刻紫阳诸书及《节孝传》。迁翰林院待诏，充福王讲官。上《劝学箴》，有条陈疏，朝论黜之。迁工部

① 榛：疑衍 ② 婴：遭遇。 ③ 《甌甌洞正续稿》：正稿和续稿为两本书稿。 ④ 隆庆丁卯：公元1567年。 ⑤ 万历戊子：公元1588年。

司务，卒于官。著有《云龙阁草》。

邵元彬 武昌人。博学，有文章名。万历己丑贡南监^①，选入史馆与修二十一史。著有《史鉴考略》、性理诸书。诗文数卷，藏于家。

向日丹 字怀赤，大冶人，万历间由选贡授营山令。土司杨应龙犯蜀，巡抚以日丹才可办寇，调知广元县。广元为播地咽喉，七省兵屯云集。日丹募练士兵三百名，冒矢石捣其巢穴。大兵继进，遂擒应龙。叙功，迁云南阿迷州守。时母年八十二，就养任所。日丹叹曰：“吾忘身狗国^②，足报朝廷，非所以报吾母也。”辞职归，林居养志。又七年，母卒，庐墓尽礼。日丹能文工诗，自名一家，所著有《灌园集》十卷。卒年七十二。

邓扬楚 嘉鱼人。由选贡入顺天监，中万历丁酉乡试^③。潜心著述，力宗先辈大家，与四方胜流相师友，为京邸名士之望。

孟登 字诞先，武昌人。读书强识，倜傥负奇气，慷慨亢直，无所屈。万历己酉举于乡^④，授兰陵学谕。雅意作人，解推寒士，迁知藤越州。时流寇四起，盗贼横行。有贼持兵械假官军入境，登啖以酒食，设伏擒杀之。上台犹以专杀镌其秩。善古文诗辞，与艾南英、刘侗、谭元春诸人游，才名相埒。逆旅白下，刘侗道没，倾囊以殓。著有《诗经匡说》、《史纲要语》、《壮心草》、《老斫园》诸集行世。

赵嗣芳 字用韞，咸宁人，举万历庚子乡试第一^⑤。丙辰成进士^⑥，授户部主事。辛酉典试关中^⑦，迁登莱海防，解绶归。久之，起川南宪副谢政。嗣芳美容仪，尚廉隅。思以文章名家，不乐烦剧，薄宦辄归。所著有《百迟斋集》杂文三十卷。年六十三，卒于家。

黄图升 字孟起，蒲圻人。负异姿，读书目数行下，诗文有汉魏

① 万历己丑：公元1589年。 ② 狗：通“殉”。 ③ 万历丁酉：公元1597年。 ④ 万历己酉：公元1609年。 ⑤ 万历庚子：公元1600年。

⑥ 丙辰：公元1616年。 ⑦ 辛酉：公元1621年。

标格。举万历壬子省试第一^①。遨游吴越间，山川奇胜无不搜讨，所结纳皆天下知名士。会试两拟元，中副元。授工部主事，辞职就黄安谕。聘典黔试，得元胡允敬。终大名知县，归。著有《洗尘篇》、《濯缨馆集》、《孟起常谈》。

周书 字别南，通城人。万历间岁贡，授青田县训。学问该博，风度豪举。长于诗赋，有《六一轩集》。

龚逢祥 字安冶，蒲圻人，万历乙卯乡举^②。博通群籍，文逼史汉，诗拟盛唐。兼能书，有右军笔意。性好交游，不问家人产业。谒选得平凉司理，廉明无冤。一时碑铭序记，多出其手。以不能唯阿，拂衣归。著有《法喜草》、《崋山堂集》、《芙蓉图》诸刻。

孟应乾 字伯阳，咸宁人，万历戊午乡举^③。风韵隽远，望之若璧人。诗文清妙，在晋魏苏韩间。性笃孝，色笑如孩提，友爱怡然。著有《二阁草》诸集行世。

陈士元 字四长，崇阳人。万历间选贡，授东乡令。治迹载艾南英《惠政册》。能文章，受知督学葛寅亮，与金声谭元春齐名。

王应斗 字北垣，崇阳人。万历乙卯举于乡。天启壬戌成进士^④，授鄱阳令。两举卓异：试童子，得贺登选，为名御史；丁卯充同考试官^⑤，首取熊维典，为名都谏，时称知人。擢云南道御史，以封疆事下于理^⑥，事白释归^⑦。暮年手不释卷，工诗歌、古文辞。著有《湛辉阁集》、《凌沧草》、《怡云草》，藏于家。

米家昆 字彦伯，蒲圻人。万历乙卯举于乡，时尚未冠，授光州学正，迁涉县令。丁内艰，起补丰县，调恩县。公余雅意文翰，所为诗有晋魏体裁。尤工书法，类米南宫，人多宝之。

① 万历壬子：公元1612年。 ② 万历乙卯：公元1615年。 ③ 万历戊午：公元1618年。 ④ 天启壬戌：公元1622年。 ⑤ 丁卯：公元1627年。 ⑥ 理：管刑狱的官署。 ⑦ 白：清楚了。

汪桂 字伯禎，崇阳人。天启甲子举于乡^①，乙丑成进士^②。授行人，迁兵部主事。辛未分考武闈^③，杜幸门，同翰林刘必达等闲住。起，补光禄署正，迁户部主事，榷九江钞关。屡奉加税，以羨余应，不复派累贾舶，迁建宁知府。性恬淡，好山水。野服一杖，任意登临，无幽不历。凡游览所得，即叫笑，伸纸泼墨，淋漓满幅。自呼“卧雪居士”。建宁命下，陈情乞休。卒于京，著有《梅村诸稿》。

任弘震 字澹公，嘉鱼人。早慧，八岁《咏梅诗》有“残雪休竞艳，看君和鼎时”之句。肆力为制义，兼治古文辞及声歌诗赋之学。崇祯庚午^④，始与长子乔年同举于乡。庚辰成进士^⑤，授户部主事。品格清高，以文名于时。著有《青凤轩集》。

李汇 字素民，蒲圻人。赋形奇古，面赤如点丹砂，髯长过腹，癯然不胜衣。好学博古，骚雅工诗，豪狂嗜酒。尤长于古文词。邑令义兴吴炳，才士也。奇其文，亟称之。累试不售，退而著书。深自爱重，如犀之于角、象之于齿，见者无不叹服。又多忧时悯世，激烈敢言。明末催科甚急，民苦之，汇为书启邑令，有曰：“朝廷多事，不敢于重之中，求一分之轻；父母有心，何难于急之际，存一刻之缓？”令感动，为之详请停征。卒，年四十五。受业门下者，百余人。著有《藏编》、《迂编》、《深柳堂集》数十卷。

袁昊 字昌明，蒲圻人。少负才气，倜傥不羁。好施予，不营产业。与人言，期期若吃；遇公事，辄发愤敢前。屡蹶棘闱，士论惜之。著有《春秋全旨》、《拔薤录》、《愤余草》。

胡允同 字敬嗣，大冶人。少有逸才。子纯祖、崇祖，丙子登贤书。人为贺，笑曰：“男儿当自立，子贵何与吾重轻？”卒，年四十五。著有《延清园拜石亭诗草》。

① 天启甲子：公元1624年。 ② 乙丑：公元1625年。 ③ 辛未：公元1631年。 ④ 崇祯庚午：公元1630年。 ⑤ 庚辰：公元1640年。

冯之图 字书先，兴国人。崇禎甲戌进士^①，以户部郎任漳南参议。归里，坐卧一小庵，自号鹿山老樵，甘淡泊。以诗文名。卒，年八十四。有《易老堂集》行世。

国朝

胡念祖 字鹤心，大冶人。避寇寓金陵。工文章，崇禎十七年贡生。顺治丙戌乡举^②，署罗田谕。奉母尽孝，清苦自甘。所著多散失，惟存《诗瓢》一卷。

陈瓚 字石岸，崇阳人。顺治间岁荐，任安乡训。迁湘乡谕，致[仕]归。性介傲，好风雅。尝于香山水帘中，手勒“静练”二大字。善诗画，其斋联有云：“贫同原宪羞称隐，画学云林不写人。”以其名与倪瓚同，故寓意云。

魏方振 字宜尔，蒲圻人。性英敏端恪，言笑不苟，取与必严。邑令高其品谊，聘修邑乘。生平肆力经史，读书白龙寺。顺治间临贡，卒。著有《皇极敷言》、《涉园合编》、《世史大书》、《易象明书》、《梅庄草》诸集。

丘今芳 字莲石，蒲圻人。幼颖慧，耽诗酒，别号醉乡侯。顺治时贡，恬隐不仕。卒之前五日，预为文自祭。著有《寒山集》。

邬汝楫 字梦阳，武昌人。顺治乙未进士^③，授桐城知县。清约自好，有诗歌行世。

刘日永 字怡亭，武昌人，顺治间拔贡。授瑞州倅，日以诗、古文自娱。摄知新建县，驿传冲烦，调应有方，不以病民。浮梁土寇蹂躏，奉檄安辑，单车就道。推诚招徕，浮人尸祝。擢北城兵马，摄通蓟道事。岁歉倡赈，饥民赖以全活。卒于官。著有《待月轩诗稿》及古文杂刻行世。

① 崇禎甲戌：公元1634年。 ② 顺治丙戌：公元1646年。 ③ 顺治乙未：公元1655年。

熊仕征 字渭熊，崇阳人。顺治甲午恩拔^①，任安吉州同知，卒于官。著有《竹园草》、《离骚存疑》，藏于家。

武功列传

元

李英 字茂林，嘉鱼人。元末壬辰兵变^②，武昌失守，所在相聚为盗，英能保障乡闾。癸巳^③，参政阿鲁辉领兵克复武昌，招募忠勇。英倡率义兵出应，授敦武校尉。是年秋，蕲黄寇以舟师溯武昌而上，杀掠蒲圻、咸嘉间殆尽，由县新堤挽舟出大江。英率兵尾其后，设伏击之。寇死者相枕藉，获寇舰、铠、仗、輜重甚多。献俘于官，授奉议大夫、同知岳州府事，子孙俱贵显。

方子贵 通山人。元末盗贼蜂起，人无宁居。子贵集众保乡里，盗不敢犯。授兵马，敕镇通羊，管军万户。

张文忠 字甫相，兴国人。身長一丈二尺，技勇绝人。元末，立鲫鱼寨以御乱，总管秦文郁署为永兴簿。明太祖与陈友谅战于康山，文忠率所部来归。转饷助军，进秩大夫。

明

黄琛 武昌人。洪武时，以帐前参随舍人擢兵马指挥。上爱其谨厚，命尚蒙城王女。后授千户，累从征讨，多著劳绩。洪武元年，封蒙城王女为庆阳公主。琛为驸马都尉，仍世袭指挥。寻迁中都留守，授骠骑将军。卒，赐葬凤阳。

汪清 蒲圻人，世居新溪。明太祖既平陈理，清首谒辕门。扈从征讨，累立战功。进阶明威将军，后以事改观海卫指挥。侄昊及孙

① 顺治甲午：公元1654年。 ② 元末壬辰：公元1352年。 ③ 癸巳：公元1353年。

迴、元孙鏞袭荫。

但应隆 蒲圻人。国初以功擢指挥，从高皇帝征陈友谅于鄱阳湖有功。因叙不及格，逃山中。久之，论定，御史罗洪题请拜武德将军。

李广鹏 咸宁人。从明太祖平定豫章，授江西行省参议。与参政陶从善招袁州路官军，委用宣武刘忠征进有功。洪武二年告归，卒于家。

漆永受 蒲圻人。洪武二十四年，谪戍梧州。永乐四年，英国公张辅征交趾，从指挥王谅、千户姚真进攻黄江，身先士众，败之于咸子冈，又败之于平海口。七年，从征清化，擒敌首，授交州中卫千户。后于慈廉、广威二州，屡建奇功。宣德四年调征，亡于阵。弟永奉袭荫，仍守梧州。

徐祥 大冶人。洪武时授燕山左护卫副千户所。靖难兵起，命攻居庸关有功，官都指挥使，封兴安伯，食禄千石，赐铁券。祥在诸将中年稍长，及封，益勤，慎谦抑，不敢骄怠。永乐二年卒，上辍朝三日，遣官致祭，赐钞四十锭恤其家。子徐永世袭伯爵。

徐麟 祥之诸子^①，随父征讨有功。洪武三十三年，除金吾左卫指挥僉事。本年，升指挥同知，世袭。

刘铎 字振远，蒲圻人。父志清没于阵，时承平久，文吏偃蹇自矜大，视将卒生死若鸿毛，不加存恤，逐其孤。铎年十四，慷慨不求怜，洒涕与同辈泣别。有马都阍者，奇其貌，留之记室中，初隶武昌左卫前所军。天顺元年，从征铜鼓五开苗贼，力自奋，有功，授小旗。嗣后征交洞，征东苗，征荆襄流寇，征靖州八寨，自天顺至弘治六年，镇远侯顾溥檄征贵州叛苗，阅历三朝，崎岖百战，累功至指挥同知，加封安远将军，世袭武昌左卫。前乃役于军，今乃役其军；老少异，贵贱殊。马都阍可谓知人。铎虽生长戎马，有敦诗说礼风。晚

① 诸子：非长子的诸子之一。

居山轩，手不释卷。年九十七，无疾终。孙闲袭职。

吴时乔 字凤洲，武昌人。初以庠生困棘闱，弃去。就万历乙酉武科^①，丙戌成进士^②。授靖州守备，迁四川都司。土酋杨应龙犯顺^③，奉檄援剿。散家财募壮士，得奇兵千余人。身先士众，挥戈陷阵，斩贼渠一十五人，监军上其功。积劳发疾，卒。事平论叙，世袭武昌卫指挥。

刘日孚 崇阳人。庠士从戎。以征倭功，授武昌卫指挥僉，世袭。又平施州卫叛寇，遂乞归养。时义仓初建，捐资独多。尝分田以给期功之亲，岁给义谷，建义冢。里人德之。

刘炳文 字心白，日孚子。以世袭指挥，中万历癸卯武举^④，授督抚中军，秩贵州守备，署清浪参军。靖苗纪功，迁凤阳副留守，山东掌印都司。庚申^⑤，总督王在晋题署登州总镇军务分守漕河参将。捕剿白莲，晋浙右总兵。未任，御史房可壮劾以旷职。御史赵疏救之，称其护漕有功。淮府部院李养正亦加疏荐。起狼山总兵，病卒，年止三十九。著有《营阵图》、《藏拙》等稿。

毛钦明 武昌人。崇祯时武科，授登莱守备。登莱踞海中，倭人出没，钦明独当一面。久之，以年老辞职归，以不仕嘱其子。

余开衡 字衡山，武生；侯定国 字正君，皆蒲圻人。开衡体貌伟岸，尚气节，膂力过人。而定国孝友，沉毅，好读史传，多权智，精骑射，射辄没羽命中。开衡尤善双刀，每起舞，寒光凛冽。两人以武勇冠邑中。尝野外较技，观者如堵墙，无不惊叹踊跃称绝艺。顾往往慷慨论列时事，相对语辄愤惋、歔歔泣下不自禁。癸未春^⑥，逆贼张献忠躏蕲黄，屠会城，属县皆闻风畏避。蒲令曾杖奋忠义，募壮士及烟兵千人，洒涕誓众，决意死守，命两人为督领。六月二十四日，

① 万历乙酉：公元1585年。 ② 丙戌：公元1586年。 ③ 犯顺：叛乱。 ④ 万历癸卯：公元1603年。 ⑤ 庚申：公元1620年。 ⑥ 癸未：公元1643年。

贼轻骑百人为探哨，拏船渡。定国先发三矢，贯前骑二人，贼大惊。开衡亟舞刀，大呼杀贼，贼众披靡遁去。七月，贼全队压境。曾令率两人阻河拒战，众寡不敌，官军悉反走。开衡、定国独陷阵，被重创，绝复苏，蒲令曾杖死之。两人入国朝淹抑病死，闻者无不惋惜焉。

朱希光 兴国人，素好义。献贼入境，立伪知县。希光同邓嘉会袭贼于白沙山，追至大冶县，擒其伪官，人多勇之。

国朝

程九伯 通山六都人。顺治二年五月，逆闯李自成为王师追蹶，率贼万余人突至邑境。九伯聚众围袭，歼杀之于小源口。总督军门嘉其义勇，札委德安府经历。

李侍义 蒲圻人，沉静有智略。崇祯癸未^①，献贼破会城。侍义团练乡勇，堵御保境，一方以全。顺治乙酉^②，闯贼掠蒲，侍义率乡勇逆战于大田畈，贼溃走。生擒数人，磔示之于官路亭。贼屯黄茅山、杨林诸处，侍义计劫其营，伏兵截其要路，贼至，伏发邀击之。贼大惊，散渡临湘河而南。自是，邑西南隅无贼害。抚镇闻其名，屡聘不就。年七十五，卒。

笃行列传

宋

陈倬 字思立，咸宁人。有腴田五千亩，兄田仅一千亩，倬愿合产而居。或有诮其愚者，倬曰：“人各私其财，愿为乐耳。兄弟聚首，朝夕言笑，此吾至乐也。饱暖之外，多田何为？”其后兄子康登

① 崇祯癸未：公元1643年。 ② 顺治乙酉：公元1645年。

元祐进士^①，康子求道为忠臣，见《忠烈传》。

李宗仪 江夏人。与从弟宗儒四世同居，相友爱。好学，笃行。筑书院，建祠以祀先圣，给田以贍来学。工部侍郎李祁、都水使者陈求道皆受业其门。子彦章有父风，汴京失守，吏部程千秋勤王，发廩佐军。予以官，不受。

盛子充 兴国人，登崇宁进士^②。亲丧，庐墓。宰相王黼、蔡攸招之，皆不赴。

元

黄溥 字彦传，蒲圻人^③。至元元年乡荐，授庆元路鄞山书院山长。为人敦朴务本，言动不苟，士子则之。

廖均用 蒲圻人。元末避乱南山，散财餧士，乡民赖以全庇。躬耕储谷至二十万石，值岁大旱，有司劝赈，均用尽发所蓄以活饥民。崇、咸、嘉、蒲四邑取济，不责其偿，人称长者。

明

胡文忠 通城人。洪武时，以人才荐授四川南川县尉。公勤廉介，行谊淳谨，邑民立祠祀之。

任忠 嘉鱼人。以公事役京师，舟过采石，风势猛甚。望见前舟有妇人失足坠水，顷之浮出。忠亟以钩竿挽其衣，援之而上，复甦，舟人皆不知。促舟前行，泊岸，恰邻舟有悲泣声。忠心动，询得实，即呼所救妇出相认，果夫妇也。其人解囊金、额首谢，忠不受。坚求其姓名，亦不答。竟解缆去。

程尧臣、弟舜臣 嘉鱼人。见有绝流而渔者，尧臣顾谓弟曰：“一船鱼，半船血，残忍至此，何习此恶业耶？”尧臣初名“尧成”，

① 元祐：宋哲宗年号，公元1086—1094年。 ② 崇宁：宋徽宗年号，公元1102—1106年。 ③ 此三字国图、江苏本无，湖南本手写小字增。

为乡人诬奏，征入对簿，事得白。上廉知其素行仁厚，改“成”为“臣”，留京师，赐第一区。

邵滋 字时雍，武昌人。秉姿敏异，有孝行。由监生授袁州经历，勤慎著声。

鲍宗 字礼夫，咸宁人，通春秋三传。洪武庚午乡举^①，历台州、瑞州、吉安教授。古心古学^②，所至以身率人，少师杨文贞亟称之。

吴国典 字少松，兴国人，授楚府典仪。母冯氏早世，事父极孝，寝必相傍，疾不解衣；事继母汪氏不异生母。起家素封，好施予，捐貲修城、建桥、掩骼、拯殍甚众。

石榴 字乔松，兴国人。四岁丧父，与母贾氏伶仃孤苦。榴克自成立，守礼循义。乡党宗族咸相钦服，家声遂振。

徐应招 字缙岑，兴国人。补邑文学。父病痿痺四年^③，扶掖医药，不一假手僮仆，劳瘁成疾。父亡，竭力养母。母偏爱弟，而弟又狂傲使酒^④，多所悖犯，戒之不悛。或谓：“当讼之官，惧以官法。”应招泣曰：“不能化弟于善，而校其曲直，吾滋罪矣；且以怵母，其宁忍之？”弟亦遂感悟。耄年宿疾剧甚，嘱其子学知曰：“人谁不死？汝但存心反己，力行孝友，则吾死不死矣。其葬我于父母侧。”遂瞑。

邵楚宾 字利用，武昌人。明经，不仕。洪武初，首诏署学事。教育人才，行春秋释奠礼。

汪循 崇阳人，邑庠生。孝事后母。兄弟五人，货财无私。御史、督学皆旌之。

周猷 武昌人。其父缙勤王事败，谪戍兴州。猷为家，督抚诸弟极友爱，乡党宗族无间言。以子源贵，封监察御史。

余恭 字尚钦，蒲圻人，孝妇戴氏子也。戴生五子。恭举永乐丁

① 洪武庚午：公元1390年。 ② 古心古学：有古人的心胸和学问。

③ 痿痺：肢体不能运动或丧失感觉。 ④ 使酒：借酒使性。

酉乡试^①，入太学。会大工兴，选太学生有干才者督役。恭分遣浙江，不苟一介。邑侯重之，为立忠孝坊，旌其母子。

沈才全 通城人。性孝友，抚孤侄如己子，待邻里若亲戚。妻亡，鰥居四十载，守身甚谨。年七十，手不释卷。巡抚旌为义夫。

吴志渊 通山人。学行修整，有隐德。景泰元年，以子瑞赠光禄署丞。

饶昱 字道清，通城人。祖胜昭，宣德间兄弟同居，立有家训。昱遵守之，巡按翁理为《义门记》。

艾诚 通城人，邑庠生。父得痼疾，躬汤药，久而不倦。自开义塾，以教乡人。

焦志文 通山人。居乡制，行不苟，寿九十余。

韩本 通山人，知府韩廷彧子。端介有气节，重信义，敬贤恤贫。有《半醉诗集》。

魏浚 字文渊，蒲圻人。性孝友端厚。母疾，祷于睢阳神祠，朝夕裸膝百拜。凡三月，母疾弗愈，哀毁逾礼。成化丙午举于乡^②，不赴鹿鸣宴。人问之，曰：“方忆吾母，不忍耳。”再事继母，尽孝敬。值大疫，家人皆徙居，浚以母病不去。八上春官不第，选乐安令，有御寇功。正德中，刘瑾以传奉索钱。浚抗不应。弃官归，行李萧然。居三十余年，绝迹公庭。有乡人李致良被冤逮狱，力为白之有司，全活七命。又有故人子犯罪乞解，则捐金以赎。卒，年七十六。子八人。

王守贞 字乾亨，崇阳人。天顺丁酉乡举^③。性刚直，乐善，敦孝友。知广安八载，乞养归。以田宅让兄。蜀人祀“名宦”，移文入“乡贤”。

李（圯）[玘] 蒲圻人，敦孝义。与弟瑞创立家规，广置义

① 永乐丁酉：公元1417年。 ② 成化丙午：公元1486年。 ③ 有误，天顺无丁酉年。

田，子孙七世同居。成化中，旌表其门。

龚逢璧 字楚白，蒲圻人。慷慨自喜，戚党中有贫不克振者，必恤之，亦不乐有惠物名。晚岁益质任自然，绝去机智。颇好酣适，有羲（黄）〔皇〕上人之风^①。

方孟铤 字世用，嘉鱼人。正直不苟，尝为郡邑侦盗。能曲行其善，积有隐德。江夏有巨室被盗诬，太守檄令往緝。孟铤只身造其门，假“借炊”为名，坐堂上伺之，无盗状，知其枉。出郡檄示之，其人哀诉。孟铤力为辨其冤，郡守取囚质之，果诬也。其人携百金以谢，孟铤曰：“汝本无辜受陷。今事得白，宜也，何谢为？”固却之，其人父子感泣去。又岳郡有二盗货劫物于嘉鱼，孟铤规知之，戒其乡人勿与贸易。盗畏事露，归船置酒延饮，欲诱杀之。孟铤竟往赴告以实，劝令改业，盗为化服。万历六年，以曾孙逢时贵，赠少保、兵部尚书。

陈大德 字祖渊，崇阳人。存心制行，各循矩度，不敢逾闲。年九十余，训里族、教子孙，悉以礼义，遂貽家法云。

吕调音 字宗夔，江夏人，嘉靖辛卯乡举^②。授汝阳知县，调清浦，迁眉州知州。所至称廉平。宦归，犹如寒士。知汝阳时，识巡抚赵贤于总角。贤抚楚，数式其庐，一无所请。或以罪废，行千金为寿，调音拒绝之，挥之去。卒，贤为表其墓。

傅卿 蒲圻人，福建莆田籍。嘉靖甲辰进士^③，历官南户部主事，转员外郎。为人坦直，无私曲。笃于乡里，凡解粮至南畿者，必竭心为之周旋。历广西佥事。丁艰归，哀毁踰礼。壮年挂冠，朝臣屡荐不出。

陈若夔 字观一，崇阳人。正德己酉乡举^④，授孝丰谕，迁淳安

① 羲皇上人：伏羲，传说中的古帝王。古人认为当时的人都恬静闲适，后以称隐逸之士。 ② 嘉靖辛卯：公元1531年。 ③ 嘉靖甲辰：公元1544年。 ④ 有误，正德无己酉年。

令。政迹见《雉山遗事》。居家浑厚端谨，杜门赋诗，著《观一轩集》。

吴子钿 字东阳，兴国人。禀质温良谨飭，自好读书，不求仕。日惟教子课孙，年九十一。郡守陈尧宗旌其门曰“表式乡闾”。

冯祺 字松坡，兴国人。孝友力田，终身不履城市。与胞弟析箸^①，房产听弟自取。年四十，教子无成，尝叹：“祖父世有隐德，而求一青衿难若登天。”其时孙之图甫六岁，摩其顶谓子守楝曰：“其在是乎？勤教之。”寿六十四，无疾卒。之图入仕，乃归窆^②。提学副使侯官曹学佺铭其墓。

李相 字樊滨，武昌人。嘉靖间附监。幼失父，力学不倦。任清河丞，推产与前母兄；家稍给，（尝）〔常〕以赈贫、寡。人服其孝友。

龚乾瑞 字汝贤，蒲圻人，性恬退。嘉靖间贡，授霸州丞。到任一日，即挂冠归。家居乐道甘贫，课子孙必以礼法。邻戚有贷必应，不能偿亦不责也。年六十七，卒。子菜，中嘉靖甲子乡试^③。

魏襄 蒲圻人。蚤失父^④，与弟聚甚相友爱。里中大饥，道瑾相望^⑤。襄设糜、掩骼，力所可至，无不为之。一时大著义声。

魏正潜 蒲圻人。风雅正直。见族里贤子弟，辄勉以学问。著有《字学易通》、《家乘》、《家约》等集。

曹当勉 字可贤，江夏人。嘉靖壬戌进士^⑥。授行人，擢刑科给事中，累官至江西参政。生平无遗行，纯笃君子也。

熊炽 字心轩，江夏人。广东巡抚桴之子。承父荫，未仕，以子履初封都督府都事。性恬澹，制行高洁。随父任广东，父歿，幕府无私橐，所余帑金尽付司库，祭奠赙赠，皆卻不受。岭南有“清公子”

① 析箸：分家。 ② 归窆：下葬。 ③ 嘉靖甲子：公元1564年。

④ 蚤：“早”的通假字。 ⑤ 瑾：“殣”的通假字。 ⑥ 嘉靖壬戌：公元1562年。

之名。年八十余，卒。著有《衡岫子於於亭集》。

郇必信 字廷实，武昌人。幼有至性。母病求医，至江浒，风涛大作，榜人不敢渡。自起刺舟，中流舟覆，恍忽若有人持之，竟得济。迎医归，母病寻愈。母没哀毁，骨见衣外。兄弟中居最幼，析箸产数千金，悉推予诸兄。平生多隐德，尝被酒，自言：“四十年前道逢一士，为豪所持陷入狱，心哀之。搜橐中装不足，又市衣襪为救，得解。”他日或更咨之，曰：“无是事，醉后妄言耳。”崇祯丁丑^①，年百岁。其孙进士明昌上言，天子览书甚悦。诏赐冠带、粟肉，使所司表其闾。明昌旋令钱塘，迎养于官舍。寻卒，倪元璐志其墓。

祝眉寿 字以介，蒲圻人。邑诸生。尚气节，乡里有为不义者，辄曰：“祝以介得无知乎？”其见惮如此。

贺时泰 字阳亨，江夏人。父廷秀，世居邑之南门。时泰为诸生，谨言饬行，不妄交游。贫甚，力学。课诸子，教授生徒。常岁除粮绝，持一鸡易米豆五升，具三日食。为诗自励云：“清苦丈夫志，风霜善自持。”其后子逢圣贵，又大书于堂云：“他年鸡豆未忘念，此日儿孙莫妄思。”盖有隐德云。著有《思聪录》及《女箴》二十四则。

孟佻 字莲湖，武昌人。幼孤，抚于祖父，事继祖母以孝闻。庚申、己丑两年岁饥，游离遍道。佻捐赀賑济，所活甚众，人德之。年八十，无疾卒。以子习孔贵，封河南参政。祀“乡贤”。

陈忠爱 字荃卿，崇阳人。万历己丑进士^②，授南户部主事。累官至贵州提学刑副使，致仕。家居加惠士民，事关邑政，竭力为民请命。辑古人嘉言懿行，垂训子孙后学。邑人立有碑记。

周宗道 字弘轩，武昌人。邑庠生。秉质醇厚，诚信不欺。伯叔贫窶，割己产以周恤之。闻人之善，则喜为之赞叹传诵；闻人有急，则戚然忧。读书课子，不慕势利。子事一既登“贤书”，犹朝夕督课

① 崇祯丁丑：公元1637年。 ② 万历己丑：公元1589年。

如童蒙，勉以清白。

周唯一 武昌人。邑庠生，立身严谨。值岁大祲，倒廩以施，不责券。年七十余，卒。

续霖 字惟和，通城人。万历甲午乡举^①，授安乡谕，升孟县令。壮年勇退，居家布衣蔬食如寒士，有古朴风。孟县建有生祠。

余必迪 字石丘，大冶人。乐善好施，捐廩解推无德色。以子振衡贵，赠中宪大夫。

魏翼如 字进可，蒲圻人。性简严，笃义，好施。有仲父被诬沉狱，贫不能自免，翼如为鬻产求脱于仇家。子诏领乡荐。

夏时行 字义庵，武昌人。孝亲敬师，好贤恤贫。万历十七年，倾廩济饥，赖以存活者数百人。寿八十有九。

柯春早 字梅实，武昌人。年十二，屹如成人。父完璧临卒，勉以显扬。春早攻苦力学，九试于乡不售。喜拯人之急，恒储药饵衣棺以备施予。拆券弃负，排难解纷。又率乡人为“孝义会”，互相资助，赖以归窆者甚众^②。

宋时魁 字文可，蒲圻人。万历甲辰进士^③，授行人，累官至河南知府。醇谨缄默，喜愠不形于色，而中怀晓畅，屹然不移。因福藩就封，不堪骚动，遂以亲老告归。杜门绝迹，出俸余置义田四百余亩，为族众周贫及重差相助计。又捐金建罗田桥，人利赖之。

任遇隆 字衡云，蒲圻人。事两继母，抚诸弟，孝友无闲言。万历乙巳岁荐^④，授长沙司训。迁临武谕，山獠遣子听讲。迁酉阳司教授，致仕归。年八十，卒。

周庆延 字川南，武昌人。笃学，讲业坦机素心，一时名俊争师之。年八十终，谓其子孙曰：“吾生平佩服东平王为善最乐，蘧伯玉寡过，未能，未敢辄念。尔曹善为之。”孙有翼，举于乡。

① 万历甲午：公元1594年。 ② 窆：下葬。 ③ 万历甲辰：公元1604年。 ④ 万历乙巳：公元1605年。

邓廷佩 字亚泉，蒲圻人。临贡不仕，乐施予。邻有鬻妇偿税者，廷佩捐金代偿之，全其妇。年歉施粥，贵余贱粿。凡可行义者，皆为之。以子士亮乡举授职，赠肇庆府推官。

陈戡 崇阳人。以贡授保山丞，迁禄丰知县。开南壩抚腾口，改创学宫，设立义冢。五乞休，归。置祭田、积义谷以祭祖贍族。著有《昭义录》。

潘赤 字凤池，兴国人。创家祠，碑祖墓，葺《族谱》。岁祲，道多莩殍，能散积谷以周之。

胡来晋 字九山，武昌人。敦义嗜学，乡里贫乏者资给之。有族人鬻身者，捐金代赎，兼为娶妇。获盗于家，识其人，释而扶出之，不言其姓名。其厚德类如此。

胡有恒 字味南，武昌人。孝友爽直，邑人推重。妇翁死无嗣，妇族以产分授，介然弗取。少精举业，晚游太学。子勋登万历戊午^①“贤书”。

杨廷和 字正轩，武昌人。幼颖慧，孝友醇笃，善音韵琴律之学。邑令李乐吾建城，廷和请以石代砖，省陶埴之费，而民亦不劳，至今城垣坚久。又置义冢，周贫穷，人服其德。子璉仕至别驾。

汪毓星 字子魁，武昌人。明敏能诗文。谦谨正直，不阿时好。万历间初行丈量，众议莫决，毓星规画条例。事竣之日，悉如所议，咸服其练达。治家端肃，子弟皆守家规。以冠带乡饮者三^②。卒，年八十四。

陈俊武 咸宁人。刚直不苟。任丹阳税课，二年告归。筑室梅坡以居。岁旱，出谷济饥。伐木为榿，收葬无主者几三千人。卒，年九十五。

袁盛 字近轩，蒲圻人，与兄璧砥砺名行。事父孝，先意承志。

① 万历戊午：公元1618年 ② 三：表多次。

专任甘旨^①，不以烦兄，使得力学成名。及兄以明经任英山，卒于官，盛千里徒步與棹归。生平以道义律身，远迹敬服。以子照文贵，赠如其官。

李周华 字迂庵，武昌人。父李双池事母至孝，生周华。博学嗜古，介节自守。天启间恩贡，累官刑部员外、赣州知府。解官归，居无室庐，借栖友宅。

孟道翼 字高是，武昌人。由例监授两淮运判，迁光禄署正。事嫡母，掖幼弟，孝友无间言。岁荒，倾家助赈。直指闻于朝^②，赐诏旌奖。

但仕 字汝孝，蒲圻人。邑庠生。尝拾遗金于途，俟其人还之。有醉骂之者，家人欲殴之，禁弗许。其人归，暴卒。得无讼，人服其厚而智焉。

朱蕴钊 字澍宇，楚藩宗室。六龄，失怙。母督诲之甚严，择贤师传讲肆如寒素^③。蕴钊由是有文誉。事母至孝，母当六十称觞，有白鸠、白鹄绕庭飞鸣，人谓节孝所感。同时有《双白唱和诗草》。初，艰于嗣。母以百金买一妾，色甚丽。甫入室，见有戚容，不忍即纳。令婢探之，初不应。越四月，妾方泣告：已嫁夫倪烈四月。烈因收军装资，误失金，坐狱。舅姑鬻之以赎罪。豫言，惧不得值，隐忍为此。蕴钊闻，立还之，更赠以资，遂终身不置妾媵。又值中州饥，流莩楚中者载道。蕴钊捐赀劝赈，全活者众。后其妻连举二子。

杨四智 字伯起，蒲圻人。邑庠生。积学笃行，老而不倦。家贫，设教糊口。见江干白骨累累，出馆谷造舟收瘞之。熊开元题其舟曰“慈航”。

黄金茎 字白峰，蒲圻人，邑庠生。父母年俱九旬，温清不懈。

① 甘旨：奉养双亲的食物等。 ② 直指：直指使者，朝廷直接派往地方处理事务的官员。 ③ 寒素：贫寒无爵位。

兄弟追随，嬉笑如儿童时。子鸣阳，举崇祯乙卯乡试^①，训诲益严。著有《月益庵集》。

潘铤 字萧池，兴国人。捐产与兄弟共之，作孝、弟、忠、信、礼、义、廉、耻《八训》、《八戒》于家祠，以示子孙。

国朝

贾纯肖 兴国人。性淳好义。人有贫乏者，衣食之；有习读者，教诲之；不能婚丧者，助赙之。壬辰岁歉，出粟赈活多人。

刘兴觐 兴国人。贡士。明末族人因逃乱散失家业，兴觐出己田三百亩分耕，族人得全。

宋维举 字四隅，蒲圻人。豪爽好施。与侄时魁置义田三百余亩，蒸尝而外，族之冠婚有赠，丧殓有赙，贫难有赈。崇祯末，荒乱相续，乡里多待以举火。自署其居曰“积善种德之楼”。

张拱翼 字念川，蒲圻人。诚朴醇谨，乐施予。凡遇危渡险，径捐金修治。今宣公堤畔“瓦窑港桥”，其一也。前崇祯庚辰岁大饥^②，倾廩捐赈，贫民到门者辄给之。

方师海 字忠焉，兴国人。顺治壬辰进士^③，授定襄令。律身廉介，没不能殓。

卢高 字远心，兴国人。家贫，坚志力学。顺治壬辰成进士，选庶常，出为浙江驿盐副使。归而自课其子，督仆耕耘，仍如寒素。

张燕翼 字安仲，江夏人。顺治戊子乡举^④，戊戌会试副榜^⑤。究心学问，言动以礼。授黄陂谕，历国子学正，迁礼部司务，卒于官。尝有以金见寄者，寇乱后其人已歿，访其孤，还其原金，其隐德不欺如此。

① 有误，崇祯无乙卯年。疑己卯，即公元1639年。② 崇祯庚辰：公元1640年。③ 顺治壬辰：公元1652年。④ 顺治戊子：公元1648年。

⑤ 戊戌：公元1658年。

吴景祉 字二来，兴国人。顺治乙未进士^①，知南丰县。笞人至十，辄涕泣不自禁。或劝其稍自润，景祉曰：“视作秀才时何如？而尚求（赢）〔赢〕也。”遂罢官，贫不能归。子甫生领乡试第一，始旋里。徜徉丘园，不干邑事。年八十余，卒。

廖正常 字兴民，武昌人。邑庠生。读书自好，足不户外。授徒为业，门下多知名士。性孝友，与弟正国同居共爨，白首无间言。乃伯道无儿^②，人共惜之。

张拱璧 字正阳，蒲圻人。幼孤，事母至孝。顺治壬辰^③，邑大旱。次年，谷价涌贵。拱璧积谷千余，尽设糜粥哺饥，全活甚众。卒，年七十。子瑾光，顺治己亥^④成进士。

陈仲谋 字望宇，兴国人。攻苦一经，遇不酬志。孝事继母，人无间言。丙（戊）〔戊〕冬^⑤，大兵经过，捐豆助饷，以缓里征。

张士达 蒲圻人。天性孝友，遇宗族有恩义，有无相周。献贼陷城，里人石坤生将被杀，士达捐金赎之。顺治丙戌、丁亥间^⑥，叠遇奇荒，捐贷不倦。三举乡饮，年九十卒。

张应世 兴国人，邑庠生。顺治丁亥岁荒，授经为业，出束修谷百石，就高桥赈饥，人高其义。

孝义列传

孝行

吴

孟宗 字恭武，江夏人，性至孝。母年老病笃，冬月思笋，地冻无从可得。宗入竹林哀泣，须臾，忽见笋数株森然茁。持归作羹，母

① 顺治乙未：公元1655年。 ② 伯道：晋邓攸的字，义行无子。这里是“和伯道一样”的意思。 ③ 顺治壬辰：公元1652年。 ④ 顺治己亥：公元1659年。 ⑤ 丙戌：公元1646年。 ⑥ 丁亥：公元1647年。

食毕病愈。仕吴，为望江雷池监鱼官。每得时物，必以寄母。母曰：“汝为鱼官而多得鲈，何所自来？且非避嫌之道。”还之。宗自是益励清节，累官至司空。

宋

黄遵 兴国人。性至孝。精绘事，其写真尤神似。凡所得画资，辄易甘旨奉母。忽感疾死，心尚暖，三日复苏。扶坐良久，云：“始至一公府，垂帘静肃。吏呼名召入，遵自陈无罪。吏曰：‘尔寿尽矣。’遵惊，泣拜曰：‘母老，更无兄弟，乞赐终养。’吏有难色，拜泣不已。忽帘内紫衣人索籍，视之曰：‘汝母尚有十载余，矜尔至孝，可归终养。’因取笔注籍发遣。”及母以寿终，葬毕服除，遵遍辞亲识，痛饮数旬，卒。

元

胡亨政 字端叔，武昌人。幼丧父母，值乱，流离艰苦。后时平，追感哭奠，补服衰麻，庐墓终制。举孝廉，不就。

明

李玘 字伯玉，嘉鱼人。洪武庚午乡荐^①，授天长谕，历知泗州、宿州。性至孝，居丧苫块终制。为亲求葬地，夜梦神人指示。次日登山，遇一老翁云：“尔地在鹊巢树下。”忽不见，人谓孝感所致。

戴思明 蒲圻人。洪武中，其父详行野遇虎，思明奔救之。直扼虎吭，虎竟死，详复生。

周琳 字尚贡，武昌人。父缙有子四人，琳其仲也。建文朝，缙以胄监委勘钱谷著劳绩，授永清典史掇县事，居官廉谨。靖难兵起，守令相率迎降，永清地极北，兵民寡弱难独守。缙怀印南奔，道闻继

^① 洪武庚午：公元1390年。

母丧。还葬毕，墨其绋，纠义勤王。及金川失守，即其家械赴京师。缙自分必死，慷慨就道。及至京，下之狱，谪戍兴州。生二子琨、珙，将家焉。适永乐大发兵入沙漠，缙名在征调中。贻书诸子曰：“吾老矣。今当从戎，委骨穷边。客籍所生方幼稚，无可使孰代者？”书至，兄弟四人璵、琳、珣、瑀，皆共泣涕争往。琳更独奋曰：“家事属长兄，两弟未有子，皆不可出。当代者，琳也。何敢辞？”遂趣装隶行间，驰塞外，战死鹞儿岭。友人汪姓者，收其骨葬之。妻何氏，誓死抚二子溥、滋成立。缙以是得归里，年八十考终焉。琳父子，固孝而义者。

陈孝子 逸其名，不知何许人。相传江右诸生，尝来江夏。冬夏恒著一麻衣，肩一担。一载木主，刻母像；一载竹器，盛饮食。浪游城市，尝与市上婴儿伍。有邀饮食者，必向木主前卜兆曰：“母亲吃茶。”遇吉兆，喜动颜色，曰：“娘娘欢喜。”即过其家。与人谈古今忠孝、节义事，辄娓娓不倦；至可悲可愤之际，辄流涕痛哭不可禁。类具有至性或穷于所遇，感激而至佯狂者，其古申生、匡章之流亚与！不然，何载母而不及父也？

黄观象 江夏人。居父母丧，哀毁踰礼。庐墓六年，墓侧产芝。诏赐粟帛。

杨秀 嘉鱼人，天性纯孝。值邑多虎患。一日，天垂暮，虎至秀家屋后。秀母出门外收所晾衣，为虎攫。秀奋不顾身，急持斧竭力砍，中虎脑。虎负痛咆哮去，母得全，时秀年方十二。

杨遇春 咸宁人。父早丧，事母孝养备至。母卒未葬，家忽火。猝迫不能移，乃伏棺，期与母俱烬。众力挟之出，泣号曰：“母尸不全，春何以身为？”复投河，众又挽之。须臾，宅毁无遗，而母棺独存，铭旌亦不焦损。邑令闻诸上，刻石表之，碑在东高山麓。

刘从凤 咸宁人。遗腹子。母周氏梦凤止其舍，因名焉。补邑庠生。母卒既葬，从凤与妻饶氏徙居墓侧，朝夕哀慕。一夕，母忽来舍曰：“吾生矣。”言语如平时，人皆谓刘母复生。积十年，母忽曰：

“我死魂也，感儿、媳至孝，魂得凭依来此。阴阳间隔，安得长为幻惑，将从此逝矣。”遂不见。从凤号呼不已，母空中语曰：“儿无过哀。其以孝训子孙可耳。”嘉靖中，命与杨遇春同勒石。

叶相 通山人。父任山东盐运经历，卒于官，六年不能归。相时犹童子，间关跋涉，备历艰苦，扶柩还葬。庐墓侧三年。后从游李大厓之门。白沙陈献章、少保李承勋俱赠以诗。御史翁仰韩观风至县，单骑诣其家，亦赋诗赠之。

李九龄 嘉鱼人。父为义任彭泽令，有疾，医祷皆不效。时九龄年十三，忧之，泣曰：“吾尝见《辍耕录》，有割腹剜心以愈亲疾者，吾当效之。”引刀自割，母夺其刃。复潜入僻室，割臂肉为汤以进，父得愈。

潘廷桂 字贞庵，江夏人。性至孝。幼时每得果饵，即以奉亲。九岁时，母病，吁天请代。母愈，遂茹素终身。成化二年，以岁荐授江西南昌府经历。其父就养，卒于署。廷桂扶柩归，至鄱阳湖，风大作，舟尽覆。桂度不免，以索系棺于身，誓死相随。忽漂至一洲，得免。比葬，庐墓三年。太守秦夔、提学薛纲旌其间。

熊怙 通山人，进士熊伯通子。幼厌举子业，事父尽孝。父卒，亲负土石为坟。庐墓三年，有芝草、练鹊之祥^①。侍郎朱廷立为之《纪》。

王纯 嘉鱼人，市民也。父名万仁，奉母至孝。母病剧，万仁割股调药以进，母遂愈。后服丧，庐墓三年。纯事母，一如其父。亦割股愈母疾^②。父母死，合葬，亦庐墓三年。县令葛中选闻其事，五鼓徒步命一役引至墓所。见纯寝苫莹内，嘉叹久之。申闻于朝，岁给绢米。

殷辂 字质中，蒲圻人。母丧，庐墓三年。黄珂、廖道南皆有诗

① 练鹊：属鸣禽。雄鸟有羽冠，尾部有两根长羽毛。又称绶带鸟，拖白练。② 刲：割。

纪其事。

冯天禄 江夏人。冯炳养子也，事父孝。父病，天禄问人曰：“人言割股愈病，然乎？”人曰：“孝所感耳。”天禄即焚香告天，割胁肉烹以进父，骨尽出，父病稍愈。凡三年，父遗溲便床簣间，手为捧拾，无难色。后遇道士授禁方曰^①：“持此可疗恶疾。”试之，果验。与药不问贫富，专以活人为念，乡人皆称为“冯孝子”。

周玺 字廷用，江夏人。母陈氏卒，庐墓三年。有文豹驯于墓侧，人谓孝感所致。又捐貲建“白洋桥”，捐粟赈饥。有司以闻，表其门，赐冠带。今郡城中有“孝义坊”，为玺也。

沈良教 通城人。年逾六旬，父母尚存，温（清）〔清〕定省之礼^②，老益修谨，无倦色，出入必告。巡按旌其门。

孙伦 大冶人。亲没，庐墓三年。

蒙爰 字子民，崇阳人。邑庠生。父丧，庐墓三年；后母丧，亦庐墓三年。督学旌之。

丁世雍 崇阳人。贡生，不仕。嫡母丧，庐墓三年。御史伊敏生表其门。

刘绍箕 崇阳人。父病噎，累医不效。有人授禁方，须啖黑猿肉可疗。崇阳故无猿，乃走山中，索猿拜祷。三日不获，则刳股肉进。越三日，南谷中又得猿。作供，父疾遂愈。又尝为父隔河谒医，河涨，即冯河渡，几灭顶。既济，水乃大至。济南李攀龙表其墓。

王仲才 大冶人。业农，不识字。父璋病垂危，吁天，刳左股，烹以进父。父曰：“余病若此，尚能食肉耶？”仲才讳曰^③：“比得奇方，内有药物调煮，第食之^④，即愈。”父乃强食，病果瘳。邑令闻而招之，仲才曰：“吾救吾父耳，何与他人的事？乌知所谓‘割股孝子’哉？”趋避之，不肯至。

① 禁：珍秘。 ② 温清定省：即冬温、夏清，昏定、晨省。 ③ 讳：隐瞒。 ④ 第：只管。

徐养德 大冶人。家贫。母老，备极孝养。甘旨衾服，拮据必周。母有足患，每疾发，则夫妇寝食俱废，调护百方。守令奖之。

孟绍举 字达余，武昌人。孝友笃至，母病，至尝粪。居父丧哀毁，盛暑不释缞经，庐墓五年。后举明经，未仕，卒。著有诗集。

陈玺 字子珍，武昌人。母疾，焚香祝天，割股以进，疾遂愈。由贡监授蒙化经历，有政声。

程忠昆 武昌人。八岁丧父，母薛氏守志。及长，娶妇刘氏，逆姑。忠昆出之，终身不再娶。乡评怜其节孝，举于邑。转详“旌恤”^①。

汪廷材 字允用，武昌人。邑庠生。父济，肇庆太守。既歿，庐墓三年。母刘氏歿，亦如之。白鹿游于墓下；墓傍银杏久槁，复华^②。里人上其事，旌之。

张岐凤 字号泉，江夏人。邑庠生。父母没，俱庐墓。有涌泉、驯虎之异，士大夫多为诗歌以表之。

任弘善 嘉鱼人。弘震之弟。割股疗亲，县令葛中选额扁以赠^③。

汪孝子 失其名，崇阳人。万历初，麻衣草履，庐墓终身。上闻旌闾。

谭弘襟 兴国人。父母俱八旬，服劳奉养不异婴时。及父母同时歿，号泣七日，不食，以孝卒。

刘汉宗 本籍黄州，移居兴国。父歿，庐墓三年。

萧廷满 江夏人。父早逝。母周氏病笃，廷满吁天割股疗母疾。及母卒，既葬，遂绝不茹荤。邑令造庐，赠之粟，不受。旌曰“廉孝”。

潘玉华 字元素，武昌人。幼有至性，每读《论语》至“父母

① 旌恤：这可能是计划中的一个部分，今无。 ② 华：开花。

③ 扁：匾的古字。

之年^①”辄呜咽流涕。年十八，母沉痾不起。玉华吁天，祈以身代。梦有神人若告语者，因惊寤。调药以进，母顿苏。江夏熊襄愍尝书扁赠之曰“冲龄至孝”。

孟道一字万生，武昌人。邑文学试有声。祖及父丧，哀毁几殒。母病疽，躬为吮嗽。

刘庆蒲圻人。母叶氏病剧，刲股以进，母痊。

黄宗荣蒲圻人。母目盲，朝夕舐之，目复明。卒，年九十五。

饶承教蒲圻人。母病，刲股以进，母疾寻愈。后其子若驥、若骝，亦皆刲股以救母。郡丞叶文懋有“孝萃一门”之旌。

熊兆圭江夏人。邑庠生。前经略、今谥襄愍熊廷弼之长子也。貌伟岸，能文章，似其父。顾经略性刚急不能稍下人，圭每几谏，叱之曰：“竖子何知？”圭退而流涕。经略既以封疆故陷吏议，系狱三年。圭走京师职橐饘^②。及经略死，西市传首，魏琯即大索圭。圭潜拾父骸骨，步而驰，足俱穿。对母姊及家人大哭，皆失声。姊胡即痛愤死。圭泣曰：“姊死矣，我男儿也，忍独生耶？顾巢毁卵破，祸方将，母老、诸弟弱，谁胜此难者？”居无何，魏琯用御史梁梦环疏追赃二十万。谍下楚抚按，兆圭暨诸弟皆就狱。乃举田园、器用、图史书籍、弓刀剑服录报台。阅三月，御史刘徽疏再上覆赃二百万。兆圭乃扼腕太息曰：“吾父直愍忠耳，何所得赃？且得赃二百万？吾不死，吾父冤终不白。吾得死所矣。”翌日，呼仆汝士至，手两纸授之曰：“一以报吾母，一以示县官。”挥令亟去，亟阖所寢室，抽刀亟自刎。狱吏惊，亟启视之。血冲激溅满牢户，刀握固在手，植立尸不仆。圭母闻之，踉跄哭踊至，率婢妇群噪而詈县官。时天启丁卯正月十八日也^③。三日，尸始出狱，面如生。远近闻者，莫不悲之。传播京师，部催为之少缓。又数月，县令估前录报所鬻金，仅二万。崇祯

① 《论语·里仁》：“父母之年，不可不知也。一则以喜，一则以惧。”

② 职橐饘：负责供应衣食。 ③ 天启丁卯：公元1627年。

改元，获免。

石麟祯 兴国人。邑庠生。避难慈口里，嫡母余氏为土塘贼所执，欲兵之。麟祯跪求，愿以身代。贼将下刃，次子维岳，年十一，又泣求代父。贼俱杀之。母余氏得生还。

柳皇序 武昌人。父柳佳甫，死于贼。母李氏孀居，偶病。皇序年甫十三，割股救母。嗣后，孝养益笃。家务无巨细，必禀命而后行。一饮食不敢先母，三十年如一日。

朱盛球 楚藩宗室。幼年割股疗亲，手腕斑痕，见人辄掩。

周之一 字重儒，武昌人。邑庠生。少孤，能惕励自立，家难外侮皆为立解。事孀母尽孝，温（清）〔清〕定省之礼，必极诚敬。得疾不起，临终泣嘱诸子曰：“汝父不孝，中道弃母。汝等善事之，吾死瞑目矣。”言訖而卒。

陈撰 字春和，咸宁人。邑庠生。天性纯孝。母熊氏病剧，刲股救之；母卒，庐墓五年。忽学道有得，栖止常轮山中。朝夕登高，望母墓，则呜咽哀鸣。乡人为筑“望亲台”。

章缙 大冶人。邑庠生。父病三年，侍寝不懈。比属纆，父属以“抚幼弟”。既葬，遂偕弟课读一室，寝食与同。弟或弗率，辄呼父灵而戒责之，涕泣竟夜。洎弟成立，入庠纳室，乃异寝焉。

陈昌言 通山人。邑庠生。祖与父相继早丧，奉祖母吴氏、母焦氏，竭力尽孝。家贫甚，与妻子并日减飧，而二母甘旨不缺。

陈怀瑾、〔陈〕怀珽 通山人。俱庠生。兄弟同产，一割股以愈父，一割股以愈母。父母歿，皆庐墓六年。岁时行家人奉养之礼于冢上，事死如生。

方逢时 咸宁人。母王氏病疫垂绝，逢时刲左胁肉以进。母见神人教之食，立痊。

彭楚书 蒲圻人。生五月而孤，其母艰辛抚育。稍长，傭力养母，子职无缺。母病笃，割左乳以进，母遂愈。邑侯林增志旌之。

国朝

杨于昆 字五美。世居黄陂，父泮所徙江夏。补弟子员，旋又登武科，授镇筴守备。抚降峒苗，晋参将，封怀远将军。尚气节，待子兆杰严甚。既贵，小拂意辄予杖。性至孝，尝割股愈亲疾。先是，泮所割股；后兆杰亦割股。人称“杨氏三孝”。

艾自馨 字德维，江夏人。丁酉乡举^①。善事继母，人称纯孝。

贺世麟 字景瑗，蒲圻人。邑庠生。博古，讲学。母钱氏病笃，割股。以忧卒。

徐鸣珍 字席之，蒲圻人。性朴厚。与兄鸣玉并有声庠序。居父丧，水浆不入口者六日。三年内，未尝嬉笑入室。癸未秋^②，母病笃。流寇入城，众皆奔窜，鸣珍独侍疾，号泣不去。贼执之，告以实，贼众不忍加害。次子淑嘉登顺治辛丑进士^③，鸣珍淡然不以介意。

余光亨 大冶人。邑庠生。父没，每食必祭。家贫，事母三十年，定省不离左右。每遇甘脆，必以遗亲。母没，以哀毁卒。

周士贵 字先秦。周士俊 字宅三。武昌人，兄弟皆至孝。父有翼病，士贵祷天祈代。父没，士俊先以哀毁卒。临危，嘱诸子毋用帛敛，以未能终父丧也。士贵痛父及弟，昼夜号泣不辍，亦伏几而卒。

杨宗震 江夏人。邑庠生，事父母有异孝。时猷贼屠城，负母陈氏出，为贼所执。母大骂，贼欲兵之。宗震痛哭，愿以身代。贼义释之，夜负行五十余里。母得脱，随回寻获父守廉。复遇贼，欲刃其父。宗震奋抱贼臂，父得脱。贼怒，斫宗震，碎其颅。一贼力解，免。后闻贼屠戮遍野，宗震匿其父母山谷中。岁歉粮绝，拾菽麦进者累月，亲以生全。阅三十年，母病，侍汤药，竟夕不解带。夜半露跣，仰天叩祷，愿减年益母寿。哀声动里闾。母死，哀毁，备丧葬

① 丁酉：公元 1657 年。 ② 癸未：公元 1643 年。 ③ 顺治辛丑：公元 1661 年。

礼，结茅墓侧。朝归奉父，夕出伴母。又阅八年，父病，无异其母病时事。及父死，哀恸呼抢，视母死时倍甚也。曰：“母逝，父犹存。父又逝，吾安适？吾当事父母于地下矣。”择日葬父，先五日绝饮食。妻子环泣谏，不听。扶柩登山，鸡骨蹙踊。葬毕，捶胸顿足呼“吾父”者三，遂以头触地，流血殒命。士民怜之，公请旌表。

张岐凤^① 江夏人，邑庠生。博学敦行，孝德尤著。母袁氏卒，庐墓三年，晨夕悲号。寻丁父丧，亦如之。尝有虎盘旋于旁，若相慰存。庐侧旧有泉无声，至是忽潺湲冲突，号鸣响应。里中士夫竞为歌诗记其异。事闻，当道题额曰“孝格虎泉”。

义烈

唐

廖忠 通城人。宣宗大中间^②，愤黄巢之乱，与弟恕起义兵，纠率精勇，大战杀贼。脰被贼断^③，犹跃马操戈如追贼状。走七里，然后仆。即今七里山走马岭是也。乡人感其烈而祠之。

明

方宸 字侍臣，嘉鱼人。少倜傥不羁，多力，善骑射，横槊自豪。尝输粟赈荒，给冠带。正德己巳^④，岁大饥。流民啸聚。剧贼贺璋、廖琪等尤凶黠，聚党数百人，横行江湖间，焚掠无虚日。官兵莫敢谁何，抚按疏闻，榜募能擒获者加重赏。宸同弟案出应募，领众冲锋，大破之。余党旋复猖獗，宸转战，力斗穷追。遇贼伏林莽，运矛暗刺坠马死。弟案救兄，奋勇杀贼无算，亦斗死。贼亦创死多，不能军，遂溃散。抚按上其事，追赠府检校。

陈士衡 字君平，大冶人。天启时选贡，未仕。为流贼所执，驱

① 此人国图本无，江苏、湖南本增。 ② 大中：唐宣宗年号，公元847—859年。 ③ 脰：脖子。 ④ 正德己巳：公元1509年。

令刈草。士衡抗贼不屈，引颈就刃，遂见杀。

明睿 字作圣，江夏人。邑庠生。善文辞，书工钟体。慷慨壮烈，读书以名节自励。癸未献贼薄城^①，亟招匠造木主，人不解其故。城陷，越四日，贼已禁焚杀，闻睿名，大索。睿乃自题木主曰“明苦节明生之位”。设祭毕，曰：“吾祖、若父为王臣，几三百年。吾食廩饩，亦三十年。一旦反面从贼，生不如死。”谓妻子曰：“若等速逃，吾得死所，勿以我为念。”妻陈氏曰：“君死，吾岂忍独生，请先君死。”遂赴井，睿继之。长子曰：“吾当从吾父母于地下。”踊身入井，其弟三人，暨女弟又二龀者^②，挥涕争赴井，皆死焉。阅数月，淘智井得之^③，凡九人。里人称之为“明井”。

朱华赧 字德心，楚藩宗支、崇阳郡藩七代孙。任侠负气，力能扛鼎。尝摩娑一剑，酒酣耳热辄抚而睨之曰：“吾当与若相终始。”人莫测也。崇祯末，寇逼邻境，遂命家人从屋后掘一池，日徘徊于其上。或沉吟若有思，或忽视剑咤叱裂眦，髯毕张，厉声不辍。及城受围，集妻子池旁，大呼曰：“我托身肺腑，誓不与贼俱生。城亡，汝辈义不可辱，当死此。少濡忍，惟有剑耳。”已而城破，举家如其言，皆跃入池中死。赧仗剑率家丁巷战，杀贼数十人。贼大至，力不支，遂自刎。阅旬有五日，面如生。从孙盛浚焚其骸，瘞之二府寢。

朱蕴铤 字希周，东安郡藩后裔。博学，工诗文。年二十五，力辞中尉禄。天启甲子试^④，冠“宗科”。崇祯时，诏宗室有文武才者，许照品俸换授职官，直指汪特疏荐之。献贼至城陷，骂贼不屈死。

朱恭敬 楚宗支。献贼陷省，倡率关外居民生缚数十贼，将杀之。贼众至，被杀。

何应轸 江夏人。崇祯乙亥拔贡^⑤，不仕，家居著书。城破贼执之，不屈死。

① 癸未：公元1643年。 ② 龀：儿童换齿。 ③ 智：枯。 ④ 天启甲子：公元1624年。 ⑤ 崇祯乙亥：公元1635年。

汪泽民 江夏人。邑廩生。献贼入城，又有莱州通判王师文同时被执。皆慷慨就刃，不为贼屈。盖献贼之祸，江夏屠戮最惨。其间惨魄惊魂总罹威杀，固不得概以死义目之，然即抗节致命，谁共见闻？其湮没不传者，仍不可胜纪云。

刘承汉 字心五，武昌人。邑庠生，居恒以忠义自许。癸未夏，献贼陷武昌。为贼所执，令之跪，承汉厉声叱曰：“鼠贼，我岂跪汝哉！”贼怒截其舌，喷血喷贼面。扼吭死。

贺昌明 字宸极，武昌人。邑庠生。磊落好奇，志节矫岸。癸未夏，献贼陷武昌。闻其名，访求甚急。昌明自设灵座于堂，走匿得免。甲申三月之变^①，痛哭几绝。倾家貲设祭开吊，披麻执杖，远近闻而赴奠者以万数。遂遁迹烟霞，不知所终。

王士荐 崇阳人。邑廩生，善射。隔河挟矢射贼，矢竭投河死。

黄金甲、杨同芳、杨元凯 皆崇阳县庠生。献贼至，典史杨国景集壮男守隘。金甲等誓与同义，为贼所获，皆骂贼不屈死。督学义兴堵、胤锡详祀长沙“群忠祠”。

赵继忭、王士芳、汪柱、蒙上和、赵之城、孙树蕙 皆崇阳庠生。献贼之难，皆抗节不屈死之。

陈瑞 字五玉，咸宁人，邑庠生。值世乱，厌举业，谢去之。崇禎中，江水竭。瑞忧之，作《涸江叹》。乙酉^②，流贼群江至。瑞曰：“吾惟有从彭咸之故居而已。”二女孙未字，晨起，扁舟载之紫潭，令先没水。瑞浩歌一绝，自投焉。卓立水中，数日不仆。

柯永亮 兴国人。闯贼入境，永亮曰：“祖宗食大明粟三百年，可死不可生。”同子柯天生举家十八口，俱自沉于江。

吴贞 字五台，兴国人，膂力过人。甲申，议剿茅坪寨贼。贞勇敢自任，率乡兵冲锋抵贼巢。贼溃，转战。贼据险死斗，众皆散走。

① 甲申：公元1644年。 三月之变：李自成攻进北京，崇禎皇帝自缢身亡。
② 乙酉：公元1645年。

贞独大呼杀贼，殁于阵。

舒柏 兴国人。刚勇自命。甲申寇起，柏奉院道檄堵剿于南市、黄颡口、石鼓埭等处，有功。复率乡勇战于双港桥，斩贼将，夺其马。贼合围，势益盛。柏奋呼陷阵死，长子舒龙亦死焉。

姜一俊 兴国人，督兵守城。剿献贼，死之。

国朝

吴宿 字连山，兴国人。性孝友，乡党称善士。丙戌冬^①，土贼犯城。宿往责其渠，晓以大义。贼怒杀之，骂不绝口。

王日新 兴国人。奉檄剿土寇郑大发，深入贼穴，死之。

郑爱明 兴国人。随州守剿土贼郑大发，鏖战太平山下。州守马蹶，爱明护守易马，立战，死之。

附录

李仲高 蒲圻人。天顺三年大旱，出银谷各万以济之，全活甚众。子兴贤谨事庶母，兄弟不分析，衣食自甘粗恶。每饮食，集一堂长幼，男女各为席。乡里有婚葬不能举者，助之。正德四年大旱，以舟载谷分济之。

朱恩、杨镗 江夏人。明楚藩引礼生。嘉靖二十四年正月十八日，楚世子英耀弑父愍王，先锁恩、镗于别馆。时府僚已将暴薨讣闻，二人夺门告变。过宫门，叩铜环大呼宫中人曰：“世子弑国主，好为藏少子。”内臣因藏英烱沟中，获免于难。二人于是以曳灯长绳系腰越内城，缒高观山下。恩足折，镗扶恩奔告。巡按伊敏生以状闻，英耀始伏法。后少子英烱立，是为恭王。而恩、镗以穷老，人惜之。

徐封英 江夏人。慷慨有志，好善乐施。顺治壬辰岁歉^②，封英

① 丙戌：公元1646年。 ② 顺治壬辰：公元1652年。

泛舟江上，运米数千斛糜食通邑，饥莩大振。康熙己未岁又歉^①，乃复率先乐输，竭赀助赈。当事旌为善人，署其门曰“乐善不倦”。癸亥^②，举“乡饮耆宾”。

① 康熙己未：公元 1679 年。 ② 癸亥：公元 1683 年。

卷之九

人物志 [三]

隐逸列传

汉

马廖 字文起，沙美人。父为北地太守，永初四年^①，坐羌事下狱死。廖感父以仕丧身，悼为吏，叹曰：“老子有言：‘名与身孰亲？’吾岂为名乎？”遂绝意世务，韬光乡里。教授百人，尤精天文、风角之学^②。辟召不就，时称北郭先生。年八十卒。

晋

郭翻 武昌人。少颖异，博究群书。性狷介，不肯降志。庾亮闻其贤，荐之不至。咸康末^③，乘小舟过武昌省墓。时庾翼镇武昌，躬造强起之，不从。又以其舟小而狭，欲其就大舟，不可。翼乃俯身入其舟中，终日而还。

李廞 字宗子，江夏钟武人。祖康秦州刺史，父重平阳太守，世有名望。廞好学，善草隶。臂疾不能行，弹琴诵读不辍。河间王辟太尉掾，不赴。后避乱随兄式南渡，司徒王导复辟之。廞曰：“茂弘乃欲以一爵加人耶？”

郭希林 武昌人。高尚不仕。凡辟召俱坚却之不肯就，终身畎

① 永初：汉安帝年号，公元107—113年。 ② 风角：古占卜之法，以五音占四方之风以定吉凶。 ③ 咸康：晋成帝年号，公元335—342年。

亩，有〔郭〕翻之节。孙盛诸人无不叹其隐德。

南北朝

胡叔 江夏人。居家蒿室草径，惟酒自适。尝谓人曰：“我此生活，似胜焦先^①。”不治生产，饥贫不以为耻。养子曰“螟蛉”，以自随。恒乘一犍牛，布囊容三四升，饮啖醉饱^②，便盛余肉以付螟蛉。

唐

江水清 大冶人。开元间^③，始令乡贡明经、进士，水清即举乡试第一，仍以亲老侍养不仕。授徒于灵峰山之讲堂，一时人士宗之。

高骧 威武王孙。性孝，嗜学，恬退。兄骈为西川节度，骧往见之，叹曰：“三世为将，道家所忌。”遂遁迹远举，客游江汉间。爱崇阳山水，卜居之。筑“愚亭”，引客赋诗，因号“愚翁”。后荆南高季兴过其亭，命图骧像于亭中^④。

宋

杜淦 江夏人，自称“汉阴老人”。居水滨，戴笠躬耕。尝言：“仕者忍耻，耕者劳力。寄形宇宙，随化委蜕，吾何有此哉！”

程师德 大冶人。高才博学，独善其身，不求仕焉。苏轼尝与之游，其家多轼翰墨。

李昌国 江夏人，善古篆。与苏轼、黄庭坚诸人游，自适其志。笃于训子，其三子康侯、康年、康直皆仕进，显于时。

元

程从龙 字登云，嘉鱼人。少嗜学，每夜读书达旦，寒暑手不释

① 焦先：三国魏隐士。 ② 饮啖醉饱：即饮醉啖饱。 ③ 开元：唐玄宗年号，公元713—741年。 ④ 图：作谓语，画。

卷。栖迟乡里，教授后学，多所成就。不乐仕进，能诗。环居独种梅，尝倚树而歌，著《梅轩集》，人称“梅轩先生”。

严士真 字正卿，崇阳人。淹贯经史，旁通仙释，以诗名。深山绝壁，翛然独往^①。感物写怀，辄有题赋。著《桃溪百咏》。洪武初^②，弃家游匡庐，不知所终。

严静山 字绍安，人又称为“云谷先生”。性耿介，隐而不耀。涉猎经史，工于诗。与丁鹤年友善，同受业于“南湖书院”。所居山水环抱，故鹤年赠诗有“出门便有好湖山”之句。寿九十四终，著《云谷绪余稿》。

卫均执 武昌人。隐居南山，自号“白云老人”，足不入市廛。能诗，与丁鹤年尝相往还。

胡可仕 咸宁人。兄弟三人皆明《春秋》，可仕举乡试第一。陈友谅兵起，遁迹不仕，教授乡闾。邑人鲍琮、方嵩，皆游其门。卒年八十。

明

吴彻 字文通，江夏人，雅善吟咏。家贫落魄，好奇节。元末天下乱，为陈友谅所得，置诸亲密，以“先生”称之。岁壬寅，友谅进攻豫章，遣彻微行覘探，为明太祖所获。亲释其缚，问曰：“闻汝能诗，为我赋《天闲百马图》。”彻应声曰：“问渠何日渡江来？百骑如云画鼓催^③。九十九中皆汗血，当头一个是龙媒^④。”太祖击节称赏。度其终不为我用，姑以揶揄友谅，乃刺“诡谲秀才”四字于彻面遣还。友谅恶之，曰：“安有如此形容而可为我先生者乎？”彻遂掉小舟遁去。后友谅败死，次子陈理奔还武昌，负固久不下。太祖怒，将屠城。忽有称“诡谲秀才”求见者，召入问曰：“汝安得尚在

① 翛然：超脱的样子。 ② 洪武：明太祖年号，公元1368—1398年。

③ 画鼓：有彩绘的鼓。 ④ 龙媒：指骏马。

此？”良久，复命题《西山夜雨诗》，彻复应声曰：“莫厌西山夜雨多，也应添起洞庭波。东风肯与周郎便，直上金陵奏凯歌。”太祖悟其意，遂下令班军还建康。盖此时张士诚据姑苏，可乘虚而蹶金陵之后也。后屡下诏物色之，竟辞不出，曰：“吾面目犯憎矣！”里中因号之曰“范增”。

李德良 嘉鱼人。勤学善悟，精思穷理至忘寝食，不得其义不止。与弟德庸自相师友。有司以礼罗致德庸应荐，官国子监助教。而德良恬于肥遯^①，长隐不顾。后其子玘、璇及孙沧，皆登乡荐。

蒋义 字志道，崇阳人。博通经史，隐居不仕。洪武十四年诏访隐逸，有司举义以应，不就。征，以老辞。有诗集。

易道充 字希颐，兴国人。慕周茂叔之为人，别号“濂溪居士”。天性孝友，而澹静无欲。于于浑浑^②，有无怀、葛天之风^③，不愧高士。

燕遗民 字逸德，号“空谷老人”。蒲圻人。累以贤良被征，高卧不起。每翛然独往深山绝壁、曲涧清溪，则啸歌终日，感物写怀，濡毫挥藻，逸气浩发。名流重之。

李为臣 字用忠，嘉鱼人。超迈不群。成化戊子乡举^④，五试春官，皆乙第。当道奇之，选郡丞。谢去，曰：“吾岂为五斗米折腰耶？”遂归隐，以诗赋、古文辞自娱，终其身。

李阜受 嘉鱼人。幼能求父遗书。颠沛散亡之际，编辑不少懈。及长，喜读《通鉴》、性理等书。弃去举业，立志清隐。二子承芳、承箕，以科名、理学称海内。

何端 字邦正，通城人。读书通晓大义，磊落不羁。耕隐南塘，寄情诗酒，葆其天真。年八十二，卒。

① 肥●dùn：●，通“循”。肥●，隐居。② 于于浑浑：纯朴自得的样子。③ 无怀、葛天：传说中的古帝王，指上古之民。④ 成化：明宪宗年号，公元1465—1487年。戊子：公元1468年。

李国经 兴国人，幼习举业。试弗售，遂闭户修实学，敦孝友，崇礼让，专攻古文辞，绝意世务。自号“青莲子”，人共贤之。

唐杰 字伯鲁，武昌人。善楷书，能琴。制“隐者之服”，深衣大带，不随流俗。早年知已有贵显者，招之不往，乡邦推重。寿八十，终。

龚乾曜 蒲圻人。副使良传子。岁贡，肥遁不仕^①。敦尚实行。兄嫂相继卒，遗孤才数日，哺乳教养、分田给产同于己子，俾得成立。寄情山水间，自号“江湖愚隐”。子挺有父风。

龚挺 字仲长，乾曜子。赋姿颖异，弱冠即通子史百家言，文笔雄古。以试《吕强不受都乡侯论》补博士弟子高等，同学推为“畏友”。顾独不乐仕进，即谢去科举业，筑室龙翔山。颇喜悟真，参同诸书，泳游窪尊白云间，怡然自得。有求文者，随手应之，辄焚其草。邑人士每过山房问字，亦不厌也。宪副魏朴如、御史谢师启相访，留诗以赠。魏诗云：“鸣琴一曲依流水，欹枕千峰散落霞。”谢诗云：“石上烟霞无洒扫，沙边鸥鸟识行藏。”可以知其概矣。子逢祥，中万历乙卯乡试^②。

丁世熙 崇阳人。质朴，不谐俗尚。博涉经史，尘视轩冕。嘉靖中贡^③，不赴部。乐处丘园，高尚其志，士论重之。

胡正清 字端本，通城人。家贫笃学，言动不苟。性僻，嗜书。以教授为业，所得脩脯尽以易经史^④。凡天文、地理、经济以及医、卜、杂技，无不通晓。尤工于诗，绝远尘俗，自成一家。无资剞劂^⑤，遂多散失云。

熊楚望 字维远，兴国人。立己峻介，不随时俯仰。与同里吴大参，汉阳萧祭酒诗文相倡和。而家徒壁立，缁袍兀冁^⑥，泊如也。

① 肥遁：同“肥●”。 ② 万历：明神宗年号，公元1573—1620年。乙卯：公元1615年。 ③ 嘉靖：明世宗年号，公元1522—1566年。 ④ 脩脯：指学费。 ⑤ 剞劂：刻印。 ⑥ 兀冁：即兀傲，孤傲。

吴仕 字行义，崇阳人。秉质淳厚，文辞尔雅。栖迟一壑^①，手不释卷。半生绝迹城市，事继母以孝闻。

李德智 字太痴，江夏人。生平薄名利，甘石隐，好黄老养生之学。松下清斋，不茹荤秽。颇善符术，尝以治病活人。而深自韬晦，浑浑穆穆^②。人皆钦为长者。一日晨起，见有人形似丐，倚其门目逆之。德智曰：“女奚视为？毋乃有盗心乎？”其人曰：“非也。某铜鼓卫人。赍本卫坟房料银数十余金纳都司，过黑牛渡，舟覆失文移，欲归请之。某孤身挟重赀往还洞庭间，恐不测。闻公厚德，愿以相累。”期以四旬，来取委金去。其人竟死于路，有见之者至其家告丧。丧归，卫勘官银，无有也，逮其家人。则意前告丧者谋匿官银^③，因致命收拷之。告丧者不胜刑掠枉承，陷狱论死。德智日俟其人来，过期久不至，疑有变，乃封前银诣都司纳焉。都司移文往勘，则告丧者正在狱中。县令大惊曰：“楚有大贤人若此乎！”立出告丧者至庭中，设几焚香告天曰：“我拜前尔拜后，此非常人也。”德智寿八十九，终。

孟绍甲 字武夫，别号“置兔翁”。武昌人。云南按察使廷柯孙也。生三岁不言，不啼笑，家人呼为“哑”。忽一夕灯下自顾影秃而无髻，乃大呼佛号数声，遂能言。及长，颖异绝人。每日诵书一寸，过目辄不忘。年二十，因其祖廷柯谏武宗南巡被杖几死，遂焚衿不求仕，隐居著书。性爱画山水，又爱游杯湖、退谷，结庐其间，蒔花种柳，更自称“花翁”。竟陵钟惺诣之不值，题绝句云：“野竹应藏避客身，却疑童子说山人。春村茗粥秋村酒，月见西川雪入闽。”万历中，数水旱。绍甲卖产赈饥、埋殍死者。安陆守刘体仁闻其贤，馈钱十缗。绍甲笑曰：“昔范史云不以一斛麦易操，吾岂为十缗钱改节耶？”悉返之。年八十四，卒。著有《忠孝传》四卷，《长夜灯》三卷。

① 栖迟：游息。 ② 浑浑穆穆：纯朴端庄。 ③ 意：怀疑。

汪楚瑞 字钟衡，武昌人，能诗文。教授生徒，前后数百人。读书谈道，垂五六十年。晚精于《易》，卜筮多奇中。性厌尘嚣，生平足不入市廛。寿八十，无疾而终。

孔拱 字执谦，通城人。少孤，力学穷经、史。隐居自乐。善诗文，著《锡山草堂集》五卷、《村居杂兴》三卷。

孟养蒙 字湘巖，咸宁人。少司农孟养浩之季弟也。清旷简远，喜吟咏。初游太学不第，决意远引。慕太史公之为人，乃北走燕赵，东探禹穴，度石梁，觞“兰亭”，观海蜃，登“敬亭”寻谢李芳韵，躋足熊湘天柱之峰。神宗朝，伯兄养浩以直谏归，日偕之为物外游。幽岩绝巘，跻梯独往。布衣道氅，遇樵夫田叟，较晴量雨，谈山野间景物，每至笑语移日。有冠盖人在座，则寂如也。筑“冷然馆”，又构屋于玉鸡峰下。拥书万卷，晚号“方闲老子”，著有《茗柯帖》、《方闲堂集》。子应乾中万历戊午乡试^①。

廖正国 字怀见，武昌人。少贫窶，性至孝。事父母色、养备至。与兄相爱，白首不析居。结庐于“盘龙石”畔，自号“烟波逸叟”。以诗书朋友为嗜，好延接名流。虽瓶无贮粟，乐之不疲。每遇好花（凉）[良]月，辄棹扁舟载酒，选胜招邀徒侣，分韵倡和，以此终其天年。

沈韵 字四声。其先默德邠国人，来居鄂渚。少孤，补博士弟子员。工书画，喜为诗。崇祯间^②，左辖王冀阅韵《西湖》诗，延之署中，倡和吟咏。楚城陷，家属沦没，随冀羁旅吴越间，久乃归。葬母毕，废弃举子业，隐梁湖之孤山，偕其妻蒔圃卖药自给。呼牛应马，怡如也。尝采野蔬于荒陌，有擎拳欲殴者，笑谢之去。樵于山，不习运斤，伤其肘。村人皆笑之，习之久，咸相爱敬，呼为“沈秀才”。间持醪黍造请，论古和歌。自号“蓑庵处士”，足不履城市者

① 万历戊午：公元1618年。 ② 崇祯：明毅宗年号，公元1628—1644年。

二十年。卒，年五十有二。其诗惜多散佚。

邬昶 字稚晋，武昌人。少孤贫。父凤阿有文名，歿时昶方总帅。稍长，即折节读书，顾不屑作干禄家言。工诗赋、古文辞，好浇花灌芍小圃中。竹木清蔚，优游环堵，缙袍蔬食，吟咏之声若出金石，有穷愁著书之概云。

程墨 字贞白，武昌人。补博士弟子员。安贫力学，淹贯经史。崇祯癸未^①，猷贼陷武昌。伪开科取士，墨大怒曰：“鼠贼敢尔辱及我庠序耶！”遂弃家遁迹，黄冠卧云漱石，几榻萧然。寿八十二，无疾而终。

魏辰 蒲圻人。少敏慧，浩落不群^②。博学，工书。蹶场屋，即弃去制科，自署“宜置丘壑”。维摩、黄庭诸书，时兼繙阅。结庐静坐，以无疾终。

王象奎 字翰宿，崇阳人。以岁荐应授职，绝意仕进。作书及诗达学博张廷宾，自称“年老不堪世务”，遂躬耕于野。好黄老养生之学，为人质朴有古风，著有《竹窗余韵集》。卒，年八十三。

龚叔升 字维木，崇阳人。孝友素著，循礼守义，不肯随俗俯仰。以古人为师，户牖间皆著格言。藜藿自甘，萧然独得，无不称为君子。

朱华圉 字淮仙，楚宗藩中尉英照次子。六岁就外傅，即举“大学”二字问师曰：“此何等学也？”师奇之。十四通古今，不屑就试。二十好新建之学及周、程、朱、陆诸书，会通一贯之旨。尤喜著述。有《汇书》、《宋元诗选》暨《梅湖》、《桃溪》诸集。晚更为一书曰《圣学宝鉴》，论列圣贤，发扬忠奸^③，五十万言。崇祯癸未三月^④，梦游石壁，见有诗云：“飞泉如白鹤，隐见渡平林。暗壁流花（辨）[辨]，渔郎何处寻？”随告亲友曰：“时危矣，去之可也。”即

① 崇祯癸未：公元1643年。 ② 浩落不群：开朗坦荡，不同凡响。

③ 发扬忠奸：发奸扬忠。 ④ 崇祯癸未：公元1643年。

弃家遁入桃溪，不知所终。

尹珩 字右玉，大冶人。为诸生时，负奇节。博通今古，疑义多所辨析。与江夏贺文忠逢圣、熊襄愍廷弼素友善，以志操相砥砺。贺尝赠以其父阳亨先生“清苦丈夫志，风霜善自持”一诗。袁继咸亦重其文行。举崇祯壬午乡试^①。次年，献贼陷会城。珩泛宅吴门，流寓十四载。律身极刻苦，自署“河上旅餓”。每逢母难日，勺水不入口。一日，忽思归，挈家还里。逾年，卒。诗文有《怀仙阁稿》。

邵楚贤 武昌人。由贡任安溪令，即致归。性澹泊，与人无竞。寿百岁，子五人。

严方塘 武昌人。寿百岁。子年八十岁，居丧哀痛、孺慕^②。刘中叔书其门曰：“百岁老翁天下少，八旬孝子世间稀。”

余自强 大冶人。补博士弟子员，弃去。富于著述。当事荐举，坚辞不出。

曹明燮 字兰生，咸宁人。崇祯九年拔贡，高尚其志，即不仕。徜徉诗酒，以终其身。

胡富 字近山，江夏人。隐居东关，行不远出。尝诵邵康节《焚香吟》，讽咏不辍，并绘其像祀之。有抱病无医者，济以药饵。殁不能殓者，槥之^③。曾在随州旅店拾遗金二十余饼，访其人还之，其人感泣，剖金以谢，固却之。

赵全节 字友松，江夏人，事孀母至孝。补博士弟子员，尝走吴越、燕赵间。有志理学，进谒东林顾泾阳宪成先生，泾阳赠以序言。崇祯末，忽散仆婢、捐产殖给族众，遁迹岩谷。著书数种。入国朝，督学使援招隐例，屡征之，不应。卒年八十有三，语其子曰：“生寄死归，吾归矣。当葬我以皇甫谧、扬王孙之例。”怡然卒，邑人称为“赵处士”。

① 崇祯壬午：公元1642年。 ② 孺慕：孝敬。 ③ 槥：小棺材。这里泛指并作谓语，捐棺材安葬。

艾然 字木田，江夏人。弱冠补博士弟子员，即淡于进取，诗酒自豪。性孤戇，视尘俗若浼，遇不平辄发指。癸未夏，城陷，挈妻子走避鹿泉山。妻死，益自放。结茅东郭，种圃蒔花，取蔬果自给，荷锄而吟。暇则读书著述，尝以意自作《春王正月辨》及《周易疏》，一空诸解。晚年气稍平易，署其斋曰“待尽庵”。卒，年七十有三。

国朝

胡从化 字内宁，江夏邑庠生。父富喜吟邵康节诗，祀其像。从化亦如之，更名其居曰“邵窝”，从父志也。子鸣皋，登康熙庚戌进士^①。

李云从 字能白，大冶人，邑庠生。世居黄石矶，筑室江干，手植花竹，课读其中。凡义仓、义塚、津渡、药饵、赈饥，无不力为之。方伯徐惺重其行谊，邀与相见，时年七十矣。寻卒。

附录

严秉端 字崇正，武昌人。居家孝友，志行超卓。邑令闻其贤，辟之，不就。读书、游泳，既老不倦。自宾饮外，足不入市。大学士严嵩（常）〔尝〕铭其居曰：“仕不屑意兮，耻溷于流。佚穷自晦兮^②，惟志之求。孝亲悌友兮，终以好修。潭石沧漣兮，我所钓游。约取寡得兮，人谁我尤。”卒年七十有九，有诗集传于世。但严嵩与之交而铭之为“隐”，恐如卫大将军之称郭解为“贫”也。

周政一 字寰熙，武昌人。少以文名，三试不第。入南雍，中副榜。归，建一室，曰“圭窦”。三径松菊，非其徒不得入。键户数十年，乐隐终。

① 康熙庚戌：公元1670年。 ② 佚穷自晦：隐居。

流寓 [列传]

江夏县

汉

祢衡 字正平，平原人。负才尚气。曹操欲见之，不往，因遣送刘表。侮表，表不能容，送江夏太守黄祖。祖长子射善于衡。一日，大会宾客，有献鹦鹉者，授简于衡作赋。其词忧世虑祸，非狂士也。终为祖所害。

晋

戴仲若 谯郡人。《水经注》：“黄鹤山，林（间）[涧]甚美，仲若野服居之。”^①

宋

范纯粹 苏州人。仲淹子。累官龙图阁直学士、知金州。坐元祐党落职^②，鄂州安置。

李纲 邵武人。宋名相。建炎初^③，罢为观文殿大学士、提举洞霄宫。会陈东言：“黄潜、汪伯彦不可任，纲不可去。”后有旨，纲落职，居鄂州。

张山翁 字君寿，其先晋州人。景定三年^④，进士。德祐元年^⑤，为荆湖宣抚司干官^⑥。鄂州守张晏然议纳款，山翁以书让之。晏然既

① 传世本仅作“谯郡戴仲若”。 ② 元祐：宋哲宗年号，公元1086—1094年。 ③ 建炎：宋高宗年号，公元1127—1130年。 ④ 景定：宋理宗年号，公元1260—1264年。 ⑤ 德祐：宋恭宗年号，公元1275—1276年。

⑥ 干官：古官名，本作幹官，掌均输。

降，山翁被执。令降，不屈。行省官贾思贞义之，贷不杀。后居黄鹤山，聚徒教授。有《南纪》、《缙林藏》、《云山相锄》诸编。

明

杨士奇 庐陵人。洪武初，为学士。以失印，避罪至武昌。流落无依，变名杨立可。时杨仲举戍武昌，士奇途中值雨，偶憩仲举家，见其方为童子句读。与谈，有契。士奇因善《易》，遂许授焉。仲举即让馆与之，而自教于他处。

管讷 洪武初，任楚藩长史四十余年，以忠谨称。致仕，王留之，禄养终身。能诗，有《蚓窍集》、《秋香诗》。

杨仲举 姑苏人。洪武间，戍武昌。杨文贞公避地过其家，立谈投契，遂为患难交。仲举累官尚书。

沈钟 应天人。（洪）〔弘〕治间^①，任湖广提学副使。发明经旨，士丕变。遂家江夏，一室图书，焚香静坐。

牟斌、韦玺 俱锦衣卫指挥。正德初^②，淮安知府刘祥忤刘瑾。逮祥下狱，使斌、玺讯之，二人明祥非罪。矫制谪斌、玺沔阳卫百户，两人徙居江夏。嘉靖初，复其官。两人皆读书，能文。

周应龙 江陵人。寓居保安门苍龙桥，寿一百一十二岁。崇祯初，乃卒。

佟卜年 字“百八”，别字“观澜”。奉天人。万历丙辰进士^③。知河间县，卓有政声。（常）〔尝〕寓江夏。熊司马惜其才，疏请监军。被冤狱死，反葬于城东之洪山^④。子国器，曾为应城诸生。崇祯十七年贡，荐授推官，未及仕。国朝，官至巡抚。

① 弘治：明孝宗年号，公元1488—1505年。 ② 正德：明武宗年号，公元1506—1521年。 ③ 万历丙辰：公元1616年。 ④ 反：“返”的古字。

武昌县

晋

戴若思 广陵人。名渊，以字行。少游侠不拘，遇陆机赴洛，将掠之。机窥其指挥，知非常人，遥谓之曰：“卿才如此，乃复作劫耶？”若思投剑就之，机与言，深加赏异，遂定交焉。因折节读书，举孝廉。机荐之赵王伦曰：“若思诚东南之遗宝，宰朝之奇璞也。”王敦起兵，据石头。若思（授）〔受〕诏，与百官见敦。敦曰：“吾此举动，天下以为何如？”若思曰：“见形者谓之逆，体诚者谓之忠。”敦笑曰：“卿可谓能言。”吕猗与若思有隙，劝敦杀之，遂遇害。葬武昌，时亦寓居焉。古有“昌乐院”，戴渊作《记》，今废。

车应 字武子，南平人。博览，多通。家贫，夏月取练囊萤照书，以夜继日。风姿美邵，机悟敏速。桓温引为主簿，迁西征长史。每有盛坐而应不在，皆云：“无车公不乐。”避乱武昌，隐洪道乡湖中，卒葬焉。今车湖，以应得名也。

王隐 陈郡人。博学，多闻。受父铨遗业西都，旧事多所谙究。家贫无资，依庾亮于武昌。亮供其纸、笔书成，诣阙上之。

陶潜 浔阳人。浔阳晋属武昌，有宅，往来其间。世号“靖节先生”。

唐

元结 字次山，瑞昌人。天宝间进士^①。苏元荐结可用，召诣京师。上《时义》三篇，帝悦曰：“卿能改朕忧。”擢金吾参军。时有父母随子在军者，结说镇府曰：“孝而仁者可与言忠，信而勇者可以全义。将士父母宜给以衣食，则义有所存矣。”代宗立，乞侍亲归樊

^① 天宝：唐玄宗年号，公元742—756年。

上。浪游江湖，自称“浪士”，又称“漫郎”，又称“赘叟”。入兴国州之回山，有洞临江，结名之曰“琦环”，因结庐焉。

孟嘉 曾祖孟宗，为吴司空。父緝，晋庐陵太守。卒，葬武昌，子孙家焉。详江夏《人物传》。

胡曾 天复间进士第一^①。家邵阳之永成乡，避难武昌。

宋

王齐万 蜀人，寓武昌县刘郎洑。苏轼赠诗云：“与君斗酒论诗文，酒酣访古江之滨。仲谋公瑾不须吊，一酹波神英烈君。”

元

丁鹤年 其先西域人。鹤年博穷经史，工于诗文。宦武昌，遂葬焉。伯氏登进士者三人，鹤年恬然布素，忘于仕进。元末兵起，避地定海间。父葬为贼所发，生母又病死，遂绝酒、鱼、盐、酪者二十年。道路通，乃告谍归武昌。卜期葬父而淋雨不止^②，鹤年拜雨中愿晴，半日密云不雨。葬讫，霖雨如故。复访生母坟，自秋徂冬。忽梦母牵衣恸哭，晨询邻老亦有同梦者，即于旧所居宅之西，见土窟陷。鹤年意谓：“母葬时无棺，下辘土砖，上覆舟板，或者朽陷耶？”果得母骸。啮血点骨上试之，良久，血入骨，而骨变茜色。又念：“母一齿黑如漆。”视之，益验。遂敛骨归葬。所著有《丁鹤年诗集》。卒，葬寒溪里。人伤其无后，树梅花以识之。通判尹觉有《里社崇贤记》。

国朝

詹谨之 传见江夏《人物》

徐德恒 少生西陵，长游齐安，寓籍于武昌。恬澹自好，隐于

① 天复：唐昭宗年号，公元901—904年。 ② 淋雨：同下文“霖雨”。

医。邑有病者，多舁至其家。亲爱护视，与之刀圭而去。年七十余，颜如壮夫。自号“守一子”。

咸宁县

宋

冯商 字式之。宜州陇水人，寓金城乡。为著作郎。壮岁无子，至京师买一妾。问所自来，曰：“吾父居官，因纲运拆，鬻妾赔偿耳。”商恻然送还，不索其钱。及归，以告妻。妻曰：“阴德如此，何患无子？”居数月，妻有娠。将诞，里人梦鼓吹送状元至冯家，即京也。后以京贵，累封至宣徽南院使、太子少保。

蒲圻县

元

岢玉崖 精形家言，著名江湖。明初，上彻御听。因去发，一瓢一笠，游至蒲圻。卒，葬凤凰山下。

崇阳县

唐

高骧 见《隐逸》

元

艾朝端 临川人。至顺间进士^①。寓乌石里白马滩。子福三，教授于邑，因占籍焉。

^① 至顺：元文、宁、惠宗年号，公元1330—1333年。

兴国州

宋

王质 字景文。其先郢州人，徙兴国。博通经史^①，善属文。九江王阮云：“听景文论古，如读酈道元《水经注》。名山大川，贯穿周匝。”举绍兴进士^②，召试馆职，不就。孝宗屡易相，质上疏极言。天子知其忠，忌者谗其“年少好异议”，遂罢去。会虞允文宣抚川陕，命质草檄。援笔立就，词气壮激。允文执其手曰：“景文，天下材也！”以荐为右正言，中贵人多沮之，出判荆南府。奉祠山居，绝意禄仕。淳熙十五年^③，卒。

谢枋得 字君直，弋阳人。豪爽磊落，以忠义自任。登宝祐进士高等^④，除兵部架阁^⑤。每愤贾似道窃政，因试士发策摘其奸状。贾怒，竟以讪谤镌两秩，安置兴国军者八年。偶读苏东坡《过石田驿》诗有“溪上青山三百叠”之句，遂号“叠山”。授徒讲学，辑《文章轨范》，守令皆及门执弟子礼。

刘蒙之 清江人。以奉议郎知兴国军事，筑朝天堤。占籍，入永兴。今宣化坊深湖刘氏，其裔也。

明

俞戩 字文戩，钱塘人。洪武初，以先世谪居兴国，号“瓠落子”，自为《传》、《赞》。娱志诗文，不求闻达。无家室，依弟以老。尝高歌铉然，空谷响答。人聆其音，以卜休咎。盖善于风角^⑥、《嘯

① 国图本抄作“传”，形近误。 ② 绍兴：宋高宗年号，公元1131—1162年。 ③ 淳熙：宋孝宗年号，公元1174—1189年。 ④ 宝祐：宋理宗年号，公元1253—1258年。 ⑤ 架阁：架阁库，宋元时代储藏文牍、案卷的机构。这里指主管架阁库的官员。 ⑥ 风角：角笛声。

旨》者^①。五羊廖瑾有文以纪其事。

孔文学 宣圣裔也。元末为永兴儒学掾，因世乱，结庐阳新之同埠。隐居终身。

大冶县

唐

张志和 字子同，婺川金华人。年十六，擢明经。以策干唐肃宗，待诏翰林。亲丧，不仕。居江湖，自号“烟波钓徒”，又号“元真子”。每垂钓不设饵，志不在鱼也。与陆羽善，羽尝问其孰与往来者，对曰：“太虚为室，明月为烛，四海诸公并处，何有往来？”李德裕称其“隐而有名，显而无事。不穷不达，严光之比”云。旧传道士泐矶有其“钓台”遗址。今按：志和西塞山《渔父》词，乃嘉兴之西塞，非大冶也。然志和曾游湖湘，或一过焉。

通山县

明

廖恂 教谕瑾三子，随任通山。举湖广乡试，寻登进士，任员外郎。

贞节列传^②

江夏县

宋

张氏 江夏民妇。里中恶少谢师乞过其家，持刀逼欲污之。张大

① 《啸旨》：唐孙广撰，记述啸的历史、技法和曲目。 ② 目录作“列女”。

骂曰：“庸奴！可死不可辱！”师乞以刀断喉。未即死，犹擒师乞告邻人，遂死。嘉祐中^①，封“旌德县君”，表其墓曰“烈女”，令郡、县岁时致奠。宋知鄂州罗愿有《记》。

元

左氏 王允茂妻，江夏尉延庆孙女。元季兵起，茂羁掣、永未归，氏备尝艰苦。允茂归，同避乱寓闽之泰宁。茂卒，子恺方九岁。邵武卫官欲娶之，氏抱子呼天，矢死以拒。还葬，躬纆、教。子历官官僚。

石氏 周宪章妻。至正中^②，从父禄仕于公安。夫卒，织纆抚孤四十年，饥寒不易。以寿终。

明

张氏 孟福妻。年少守节，洪武中，旌表。弘治中，市火延烧，旌坊独存。

冯氏 梅福妻。年二十，福歿于兵。氏力贫，孝养舅姑^③，守节至老。洪武中旌表。

陈氏 曾养吾妻。养吾歿于兵，陈苦节。洪武中，旌表。

张氏 陈德显妻。年二十七，显卒，子幼。氏勤俭治家，养姑六十年。宣德中^④，旌表。

朱氏 郭英妻，武昌卫人。年二十五，英卒，守节。成化中，旌表。

杨氏 丘达妻。达为书生，夭死。氏年十九，勤苦守节。历三十五年，卒。成化中，旌表。

康氏 陈玉妻。玉亡，氏年甚少。抚幼子于襁褓，力贫，守节，

① 嘉祐：宋仁宗年号，公元1056—1063年。 ② 至正：元惠宗年号，公元1341—1370年。 ③ 舅姑：公婆。 ④ 宣德：明宣宗年号，公元1426—1435年。

寿八十五。成化中，旌表。

吴氏 刘思忠妻。年二十三，守节。成化中，旌表。

彭氏 武昌所千户陈志妻。年十八，归甫数月，志奉调征洪江寇阵亡。氏遗腹生子政，世其官。成化中，旌表。

陈氏 胡镇妻。镇任千户，卒。陈年十九，无子，守志以老。弘治中，旌表。

郭氏 陈镒妻。镒为诸生，死，时郭年二十六。正德中，旌表。

宁氏 吴杰妻。年二十，杰死。氏恸号欲自经，亲族慰之曰：“夫死子幼，不爱其身，将孰爱其子乎？”乃不死。或曲诱百端，欲移其志。宁剪发，处垢不栉沐，矢死无二，抚幼子成立。守节六十余年，寿八十二。正德中，旌表。

朱氏 白受采妻。朱氏 白文灿妻。

周氏 白升妻。三世完节。两朱氏皆宗女，皆少寡抚孤。姑媳相依，慈孝备至。升既成立，不幸又夭。周氏复矢坚贞。其父微辞讽以改节，氏怒不顾，父号哭而起。卒抚两孤成立。

韩氏 白若采妻。少年誓节以老，与二朱一周称“白门四节”云。

黄孝女 年十九，父为牙儉，毙于宦仆。女痛哭三日，死。里人即其居祀焉。

熊孝女 大司马芝冈仲女也，赘浏阳胡大司寇子。数年，父凶问至，女蹙踊擗身号曰^①：“痛哉，天乎！吾父戮力疆场，风霜万苦，受此惨酷，儿女不能一见，身首淋漓。上天下地，有此奇冤耶？”（椎）〔捶〕膺长恸而绝。世以比岳女银瓶云。

吴氏 朱英燐妻。年二十四，抚幼子成立袭爵。乃曰：“吾早归地下，报吾夫矣。”遂绝粒三日，死。旌表。

冯氏 危景福妻。年二十五，景福死，抚孤凤翔。凤翔夫妇卒，贫苦无依。孙昂甫二岁，又抚之。孀居六十余年，寿九十一。万历三

① 蹙踊：捶胸跌足，哀痛的样子。

年，旌表。

杜氏 詹文宪妻。守节三十余年，事姑以孝闻。

欧阳氏 名金贞，知县欧阳梧之女。幼授《孝经》、《烈女传》、《史略》，即解其义。许聘罗钦仰。父迁官拓城，携钦仰从焉。舟次仪真，钦仰堕水死。金贞年甫十四，未字。惊泣，即欲赴水，父母持之。次日，钦仰尸浮水面，金贞恸哭，欲自缢。父母曰：“汝未字，何得弃生？”金贞曰：“女自分无活理。即如父母言，愿终身称‘未亡人’。”及殓，剪发系右臂以殉。抵家，葬毕。告父母曰：“人家有妇，本以事姑。姑既失子，岂可令并失妇？愿归罗。”父母从之，有求婚者，父梧作诗贻之曰：“生未愿有家，老去身无主。可怜重可怜，挥笔泪如雨。”贞得诗大哭。后父补官淳安，迁广元令。而金贞姑病卒，乃归宁。又有讽之者曰：“汝今更何望？”贞曰：“我昔殓罗郎时，有一束发缠其手，谁能掘塚开棺取发还我，则易志矣。”生平独坐卧一楼。年六十岁，汪道昆奏闻，旌表。

舒氏 徐广妻。广客东吴，溺死。父母怜其少而贫，欲夺其志，舒誓不改。卒，年六十二。

曾氏 邑庠生伍境妻。境早卒，遗三子尚幼。曾纺绩抚教^①，守节五十年，寿八十余。万历中，巡按史弼题请旌表。

张氏 黄养德妻。年少抚孤守志，以寿终。

程氏 陈龚德妻。夫早丧，抚孤启谟、启猷成立。城破，氏骂贼投水而死。

危氏 贺文忠公夫人。文忠与夫人贵为宰辅，家无衣帛之妾。夫人自年少甘贫苦，侍舅姑尽孝。癸未城陷，投后园池水以死，文忠投溜阳湖。

张氏 池可深妻。夫丧，氏年二十五。抚两岁儿跃鯤，事舅姑，辛勤倍至。跃鯤补弟子员，邑父老欲举其节，氏令跃鯤谢之曰：“惟

① 纺绩：古代纺指纺丝，绩指缉麻。后泛指纺织。

欲天知，泉下人知。近世表閭多以贿成，吾朝夕不给，暇及此哉？”众卒举之，邑宰旌其门。卒年九十有二。有《茹节录》，贺文忠、李冢宰梦白，皆为之《序》。

周氏 朱华圉妻，奉孀姑以孝称。癸未城陷，偕女暨媳周氏跃身火中自焚。

向氏 江夏民李瑀妻。夫故，向年二十九，遗孤一岁，强族密肆吞噬。向哀毁筑舍墓傍，白燕巢门，紫芝生室。巡抚孙具题旌表。

徐氏 故文学刘滋妻。年十七，归刘。奉舅姑克孝，与文学相敬如宾。有子遇文，才三龄，而文学赴陕抚侯公之幕，殁于逆旅。徐闻抢号，一日三雉经^①。翁姑救之，曰：“妇即不为两衰朽计，独不念茕茕一孤耶？”徐乃忍死。无何，父母欲夺其志，私许名门，拏舟以逆。徐觉，奋身投水中。援之，不死。遂截发毁容，茹苦事二人，而抚藐孤^②。三孙纯臣、良臣、名臣，相继列学宫。顺治乙酉^③，氏年已七十，流贼奔窜残武昌，氏骂贼以死。先是，崇祯季，巡抚疏其节，报：“可。”遭乱未举。及顺治十六年，两台以闻。俞旨^④：“建坊旌表。”

国朝

长山烈妇 未知籍贯。或云妇姓范；又云姓邬。顺治乙酉，流贼南窜，驱郢襄士民以从，妇与夫俱被掠。至寿昌途中，得脱。夫病于长山铺，身余一珥。夫逝，妇即以珥泣倩人掘穴^⑤。有少年阴喜妇色，争为穿穴。穴成，强氏偕去。妇曰：“穴且深^⑥，俟我下视之。”下则以手执夫尸痛哭，触颡流血，批土自掩曰^⑦：“乞并埋我！”众挽之，不起。会天暮，风雨暴作，众皆委去。平明往视，见血流满面死

① 雉经：自缢。 ② 藐孤：幼弱的孤儿。 ③ 顺治：清世祖年号，公元1644—1661年。 乙酉：公元1645年。 ④ 俞：通谕。 ⑤ 倩：请。

⑥ 且：虽然。 ⑦ 自：江苏本作“白”，形近误。

矣。里人拜奠，为成塚，号“长山烈妇塚”云。

黄氏 金口余士凤妻。士凤殁，氏年甫二十六，抚遗孤楚珩。楚珩补弟子员，复早逝。家徒四壁，氏节弥坚。卒，年八十有二。

（束）[束]氏 福建布政司经历凌升妻也。未字凌时，刳股救母。里中奇其孝，闻于有司，旌閭曰“闺孝可风”。长归凌，生二子云阁、天阁。才数岁，夫死。抚孤三十三年如一日。卒，年六十有二。

朱氏 明宗女，适武昌卫指挥使杨世泰，封恭人。崇祯癸未^①，世泰运粮京师，张献忠陷武昌。氏率子韬逃窜，步不能前。泣谓韬曰：“汝父生汝一人，勿以予故，致绝杨氏后。汝其急逃！汝父归，可白吾言。”遂赴水死。越三日，韬潜求其尸葬之。韬子之奇，顺治丙辰进士^②。

万氏 生员陈大柱妻。夫逝，氏年仅二十，子嘉徽尚襁褓。忍死抚孤，事公姑至孝。邑人上其节，旌奖。后嘉徽以军功知云南楚雄府鄂嘉县，夫妇继殁，遗孙伶仃孤苦。复抚之成立。年八十二，卒。

桂氏 陈毫妻。夫歿，氏年二十八。抚子昌谟，奉孀姑生养死葬，内外无间言。昌谟登顺治甲午“贤书”^③。氏年七十七，卒。

许氏 黎城张廷宾妻。闯贼南窜，氏匿山中。遇贼不辱，杀之于咸宁驾乘铺。

杨氏 年十六适刘国柱，生两子。越六年，夫歿。氏谨事舅姑，饮槩茹荼三十余年^④，抚两子。长士龙生子吉，次士元生子咨。又不幸两子继亡，两妇亦与杨同志以抚二孙。屡经变乱，备历艰苦。始则抚子生孙，继又抚孙生子。二代两孙，四世一室。冰霜之志，六十年如一日也。有司旌奖其门。年八十二，卒。

朱恭人 武昌卫指挥李茂德继妻。懋德以征讨尽瘁卒，恭人年方

① 崇祯癸未：公元1643年。 ② 顺治丙辰：有误，顺治无丙辰年。

③ 顺治甲午：公元1654年。 ④ 饮槩茹荼：同“含辛茹苦”。槩、荼，味苦。

二十。抚前室子思诚，贤孝著声。闯逆寇武昌，独守孤柩不去。所生子思忠、思圣泣劝之，氏阖其扉不听。贼至，骂贼不屈，刃于柩前。

吴氏 辜懋斋妻。夫病笃，闻医言“视病者羹味辨存亡”，窃而尝之，甘。以语医，知不起。月余歿，氏年仅十九。父母欲夺其志，不得。癸未，贼陷城，氏扶孀姑何氏、子起龙走。先是，有入铁室之梦，果入空窑得免。姑歿，贫无以殓。有燕飞绕梁上，视之，得金人。皆异之。卒，年六十有六。

刘孝女 幼孤，与弟、妹皆伯父绍尧恩抚之。崇禎壬午，女年十五，染疫。绍尧视医药，获痊。继而尧病，女辛苦营救，竟不起。哭二昼夜而死。

孙氏 诸生郭惟一妻，事舅姑尽孝。惟一以哭父死，氏年仅二十八。伯氏欲以其子继嗣，氏曰：“未亡人有遗腹，生子固幸；如女，立嗣未晚也。”伯父乃遣其仆人为妇妆以尝，氏卒不能犯。又贿蓐媪^①，俟其娩杀氏。谋颇露，氏峻防闲，薪水悉以老婢运入，寸步不越寝门。逾月将娩，不令人知。独闭寝户，晕绝数次，始生男。咬脐，拭血，置于床乃就枕。久之，姊氏叩门不起，闻儿啼声。辟户入，氏卧床无声。煮羹强饮之，始苏。会同里有窈人毛姓同日生女，伯氏因以女易子为词，讼于官。刺血非伪，伯氏伏罪。孤儿名炳，氏教之如严父。初，氏又有小叔侧室出，欲不举。氏代举之，亦抚以成立。与炳俱为名诸生。孙数人，皆善文，次第列学宫。

刘氏 危宁埜妻。年二十六，值献贼屠城，与宁埜散失。刘抱子随母姑走恩武村。贼追至，见刘，欲辱之。刘谓之曰：“吾羞野合。”贼强之上马，刘曰：“军中不能携幼子，待吾以子付母姑。”乃从容哺其子，拜辞母与姑，故作欲上马状。适路傍有塘，乃急坠塘死。后儿亦不育。事闻，朱都宪旌曰“从容尽节”。

陈氏 胡国伋妻。年十九，国伋早逝，生子钊仅数月，矢志守

① 蓐媪：接生婆。

节。纺绩勤苦，上奉舅姑，下抚幼子。五十五年，钊补邑庠生^①。

万氏 举人尔昌之妹，适工部郎中靖科元孙天赐。乙酉，山贼突起，举家殁焉。氏年十九，携二岁孤脱于难。又遗腹一子，柏舟自矢。茹荼集蓼。教子必纯、嘉植为名诸生。

武昌县

明

何氏 孝子周琳妻。通《孝经》，劝孝子代父从军。后战死，氏闻恸绝。复苏，具衣冠招魂以葬。矢志抚孤，年七十而卒。

冯氏 蔡洙妻，生一子真童。洙以明经授庐陵主簿，卒于官。氏年二十九，扶柩还武昌。剪发自誓，〔守节〕四十余年。正统间旌表^②，免其家徭役。

胡氏 安县尹熊镗妻。生子甫月，镗卒。扶柩归葬，蓄刀床头自誓。属有危疾，英弟善医，将诊脉。氏曰：“嫂叔不相问，礼也。吾未亡人，安用药？”有司高其行。年八十有二，卒。孙妇严氏，二十守志。邑称“双节”。

易氏 周俭妻。俭为诸生卒，氏年十九。正德中，旌表。

龚氏 郭文妻

胡氏 张璠妻

唐氏 生员邵柯妻

黎氏 黄珂妻

舒氏 盛仕哲妻

李氏 曹通妻

陈氏 肖相妻。以上俱青年守节，贫不易志。唐氏、黎氏，有郡

^① 钊：江苏本作“刘”，形近误。 ^② 正统：明英宗年号，公元1436—1449年。

县守令题诗，见《邑志》。

双烈姬 唐氏，女环儿，汝阳优人陈望妻、[女]。正德三年秋，至江夏九峰，遇贼史聪，亦以傀儡游食^①。见望妇、女色丽，给望同出求食。夜及青山，杀之。携其妇、女、幼侄入武昌山中。持刃胁唐氏，不从，又杀之，投荆棘中。临环儿以刃，儿骂曰：“贼杀吾父母，恨不啮汝肉！”贼又杀之，弃粪壤中，血入土寸许。成儿逃出首官，贼伏法。邑人张钟灵买地改葬之，表其墓。

胡氏 庠生吴如揆生母。

丘氏 其庶母也。父维寰没，揆甫五岁。胡、丘守志，一心共济。万历某年，中丞徐公旌其门曰“双节”，谭元春为立传。

刘氏 孟绍勋继妻。勋卒于官，氏年二十六。截发毁容抚孤，苦节五十余年，有司旌之。

江氏 庠生宋景郊妻，苦节抚孤。直指屡给衣帛旌异之。

朱氏 庠生陈敬王妻。抚幼孤至冠婚，而孤又死。依食于两弟以卒，年七十有七。

童氏 儒童吴如恒妻，生子士贵。如恒卒，氏年仅十八，父母欲夺其志，氏断发，掬沟中秽食之以自誓。及士贵授室，举子大昌，士贵又卒。乃听妇改适，而自抚其孙，迄成立。年八十，乃卒。

胡氏 庠生田九巖妻。甘贫，抚六岁孤一麟。亲党怜而衣食之，苦节五十余年。

黄氏 维扬人，太仆孟鲁难侧室，娄县令孟道脉生母也^②。避难浔阳，遇贼索金帛甚急。氏夺贼刀，刺喉而死。

杨氏 儒士张肖月妻。

邵氏 里民邵云寰妻。年二十二，夫卒。生三子俱幼，家计萧条，氏甘心苦节。流贼至，挈三子走避。被执，骂贼而死。后四月得

① 傀儡：木偶，这里指木偶表演技艺。 ② 国图、江苏本作“毋”，形近误。

尸，貌如生。

王氏 庠生王家臣继母，抚爱倍于前母。夫歿，茹苦守节。为贼所执，骂贼而死。

姜氏 儒士吕顺吾妻。年十八，夫故。遗（孙）〔子〕仅三月。甘贫守节，训子有成。年七十六，卒。

吴氏 庠生曾某妻。夫卒，遂不食。父走问，视女在床，宽之曰：“儿强饭，何用死为？”瞠视曰：“父何言？”遂转身面壁。饿五日，死。比发柩，吴棺先举，重不前，乃先曾柩。有司旌之。

潘氏 武进士吴时乔妻。乔援剿四川杨应龙，氏脱簪珥以饷战士。乔卒于军，氏年二十，扶柩归里，崎岖万状。守节至八十六，卒。

胡氏 光禄署正孟道翼妻，封安人。父病，氏躬侍药餌。疾革，脱簪珥治丧葬。流贼突至，被执，骂贼而死。

胡氏 闵时举妻。年二十三，夫故，孤才岁余。纺绩营生，苦不易志。卒，年六十有九。

王氏 举人王渭鼎之姑，适谢某。年十九，夫故。遗孤一岁，殇。或将夺其志，辄引刀欲死。赤贫无依，足不逾户。卒，年七十七。

周氏 庠生孟世第妻。年十八，夫故，遗子谦吉。甘苦训养，乡里推重之。

金氏 孟道凝妻。年十七，夫溺水死。遗腹举子，名辉祖。守节四十年。

黄氏 周实指妻。嫁甫一载，夫歿。抚孤至八岁，复殇。孝事舅姑，未尝缺礼。卒，年七十有二。

杨氏 儒生熊晋妻。晋以奇贫谢世，氏无子女可依，誓死不嫁。苦节三十余〔年〕，卒。

熊氏 李荃臣妻。父大名令正南，尝教女以《诗》、《书》，即能解悟。及归李，值献逆陷武昌，氏为贼得，欲污之，夺刀自刎。邻媪

见氏气未绝，救苏，扶窳山谷。有胡姓者欲为子求娶，氏曰：“吾颈可断，前事汝不闻乎？”其夫因觅氏为贼所杀，氏闻恸哭三昼夜，曰：“夫为我死，我何忍生？”遂自缢。

胡氏 里民熊正茂妻。适熊数载，正茂死，生子甫二岁。甘贫抚育，守节五十余年。

谢氏 魏夔一妻。夔一早逝，遗女杰儿，家无担石。氏年二十二，辟纻自给^①，断（晕）[葷]蔬食。遭乱，匿身石穴中，虎伴其侧，竟不之害。兵后饥荒，亲戚劝其早计，谢曰：“吾何计？唯雉经耳。”人遂不敢言。后氏守礼甚严，兄弟馈遗外，不饮他人杯水，竟死饥寒。

吴氏 贡生吴如揆之女。年十四，赘蕲水郭吏部长孙。未三月，遇贼于水次，加数刃未死。顺治四年山贼乱，杀郭生，扶氏上马。氏口啮之，贼杀于郭生尸侧。

柳氏 徐弘轩妻。早生一女，逾年而孕。弘轩卒，时氏年仅十八。后举子，抚及举孙，而相继见背，但依其女之子以度日。守节八十年，至九十六，乃卒。

高氏 庠生吴自强妻。夫病，割股以救。夫歿，值岁饥，吸羹饮水，贮旨蓄严师训子^②。久之，绝炊。邻有富人持百金饵其父，聘为继室。氏闻，沉河以拒。赖邻翁救活，邑令旌之。

胡氏 庠生刘士奇妻。年二十，适刘士奇卒。举遗腹子，上奉八十翁姑及终，经营丧具。苦节四十余年，卒。

严氏 耆宾周庆年妻^③。

卢氏 马八里汤氏妇也。汤以远行遇盗，妇匍匐寻夫，备历艰苦。归而抚子，发黄齿落。井里称为“汤节妇”。

汪氏 庠生曹大椿妻，孝事公姑。癸未，猷逆南渡。氏避匿月

① 辟纻：治麻之事。 ② 贮旨：贮存好吃的，指积贮钱财。 ③ 耆宾：乡饮酒礼的职位。

山，指怀中婴谓其夫曰：“君当自为计，妾所生为此子，母子相为存亡。脱有不虞，妾义不负君。”五月，贼入樊湖，氏抱婴儿赴水死。越七日，尸浮浅渚，面如生，两手抱婴儿不可解。并婴儿纳棺中，葬焉。

李氏 黄州庠生潘南岳妻。

高氏 龚耀卿妻。

投江女子 不知何县人。流贼之乱，有渔夫于大江回流间见其面如生，异而收葬之。发本有绳系油纸小封^①，取示人，则《绝笔诗》也。有云：“寄与双亲休眷恋，入江犹是女儿身。”或云：见其尸自浔阳溯流四百里云。

樊口女 不知谁氏。女及笄，未嫁。左贼东下，抱上马，以手侵其乳。女啮贼手不得脱，贼众批其颊，断其首，而齿已入骨。剜肉出齿，贼亦死。

胡氏 易方起妻。适易生一子，夫即死。经兵艰难，不改其志，唯以纺绩度日。年八十五，乃卒。

胡氏 庠生彭嵎妻。嵎歿，无子女。无应门之使，立锥之业。绝荤茹素，缝纆自活，不改苦节。

傅氏 吴太来妻。太来故，氏年二十一，一女二岁，誓无二心。女长适柯敬老，敬老早卒，女年二十无出，女亦誓死不二。母子贫苦相依，称“双节”云。

吴氏 庠生柯启祯妻

严氏 文学王思美妻

方氏 周翊明妻

严氏 庠生万友吉妻

以上俱以节烈闻。

^① 本：根。

咸宁县

宋

蔡氏 陈求道妻。为贼刘忠所劫，不从，并三子杀之于茗山。一孙逃。

卢氏 袁友正妻。友正卒，哀毁骨立。昼日往守冢，冢无苕荏^①。一日，忽谓家人曰：“袁子至矣。速与我治衣棺。”言竟而卒，人皆骇之。《邑志》又载萧氏。

王氏 陈思忠妻。生一女。年二十六而思忠卒，苦节四十年。正德中，都御史吴廷举旌奖。卒，年六十五。

刘氏 民张纲妻。合卺甫七月，纲死，遗腹生一女。远近闻其贤淑，求配者百计，莫能动。家甚贫窘，了无愠色。卒，年七十五。都御史吴廷举旌奖。

余氏 庠生赵麟妻。麟卒，氏年二十余。以死自誓，与一婢共寝处者五十年。督学颜鲸以状闻，旌奖。

明

余氏 赠中丞孟机妻，少司农养浩母也。事姑至孝。机好施予，恒赞助之。岁大祲，余曰：“此行惠时也。”尽出谷以济人，自餽粟麦。机卒，长恸呕血。块处一室^②，人罕见其面。后养浩廷杖归，拜母曰：“儿几无以见母。”余曰：“儿今始可以见我矣。”直指请于朝，旌表。以子贵，赠恭人。

周氏 顾九阶妻。少年矢志，院台旌奖，年八十。

李氏 训导余象贤之母。夫死，年方二十一，生贤甫周岁。家徒壁立，茹苦奉姑，躬纆教子，冰操四十余年。旌奖。

① 苕荏：杂草。 ② 块：孤独的样子。

杨氏 鄱阳县令郑邦相妻，翰林郑之湛母也。明末，叛兵冲斥^①，望屋而噬。杨不及避，义不受辱，竟犯锋刃以死。

周氏 庠生郑邦遇妻。与郑邦相妻同日投水死。

余氏 庠生郑璠妻。隆庆中^②，旌表。

傅氏 王子英妻。夫无嗣，孀居四十余年。隆庆中，旌表。

程氏 汪廷妻。早寡，泣血丧明，抚妾子成立，有司旌奖。

金氏 饶安世妾。年十七，安世没，执灵于榻牖，昼夕哀号者数十年。

胡氏 廩生唐之薰妻。薰殒，求殉不得，每哭辄呕血数升。藐孤斩如，设夫灵室中，朝夕依之。衰经廿余年^③，宛若初丧。家无仆婢，绩纆自给。

黄氏 庠生郭翊中妻。翊早亡，子民瞻始孩，氏矢志事奉舅姑。明末流寇执于黄泥洞，骂贼触石而死。血渍石，碧色长存。

樊氏 庠生镇朝经妻。归镇甫周年而经卒。樊事姑以孝，庐夫墓侧三十余年。

余氏 庠生张煜妻。适煜数载未有嗣，煜故，自缢死。

嘉鱼县

明

任氏 县民李仲富妻。年二十生一子而仲富卒，守节终身。洪武二十八年，旌表。

罗氏 避贼芦苇中，贼执之。氏骂不绝口，贼支解之。

杨氏 崔琰妻。年十八，丧夫。抚一子，茹苦终身。

方氏 方孟镓长女。自幼许配，未适而夫死。誓不更字，父母不

① 冲斥：同充斥。 ② 隆庆：明穆宗年号，公元1567—1572年。

③ 经：古丧服用的麻带。

能夺其志。依母兄，纺绩自（贍）[贍]①。年六十有一，卒。

周氏 李为邦妻，随夫侍翁任保宁教授。舟覆，夫死。氏遂赴水，人争救起。姑龙氏百计劝慰，乃守节抚二子。一补于庠，一举明经。

杜氏 方守妻。夫病，割股以救，果愈。夫没，励节抚孤。

石氏 任子李宝韬妻。年二十七，韬卒。抚两月孤儿，冰霜自矢，享年七十有七。历辞有司旌表，孙宙著有《节孝录》。

程氏 孔玉莹妻。年十六，莹早逝，遗子连塘。抚育婚冠，娶妇蔡氏。连塘早逝，遗子绍芳甫四月。姑妇相依以抚。绍芳十五入泮，遇雪冻缺食，锄薪得金数两，始度岁歉。闻者谓天相苦节也。程寿八十，乃卒。

饶氏 庠生李占熺妻，比部郎饶公完白之女也。适熺未期而熺死，誓死守节。尽碎奁具，着布素，亲劳苦若窶人子。人咸称之。

徐氏 进士熊开元次室。避乱至粤，舟次程乡县蒿口。徐知不免，谓熊曰：“当使公见妾死，必不死背后芥公怀。”次晨，贼掩至，夹岸而陈。徐急出，赴水死。异日得其尸于下流，视衣履叠叠缝，无少罅②。

章氏 贡生童心开妻，世居白湖。癸未，猷贼入邑。章随夫抱子陟险，入白云山石洞。贼大索山中，心开幸脱，氏被执，骂不绝口而死。

刘氏 张隆妻。正德中，流贼入境。氏匿草间，贼拽出，欲劫以行。刘以衣结其体，蟠坐于地。贼不能污，因杀之，蟠坐如生。

余氏 庠生李之馨妻。遇猷贼，骂贼死。

童女 童洞儒长女，未适。流寇陷城，女同兄庠生伯隆避湖中。兄谓妹曰：“止因汝累。”女曰：“如有事，必不累兄。”贼至，女知不免。持所携针线竹筐，远掷之，曰：“此中有宝，汝可取。”贼果取筐，女跃入水死。兄亦得脱。

① 贍：通“贍”。② 罅：“罅”的异体字。

彭氏 黄若水妻。夫妇俱被兵掳。其妇对兵云：“若要阿去^①，放夫回乃可。”兵乃释夫。彭望夫行远，度势不及追，高声曰：“汝放心去，吾死不从贼。”贼怒，立支解。

蒲圻县

元

费氏 何愧孙妻。夫病几殆，刲臂和药^②。子燊有传。

刘氏 王兰孙妻。年甫二十六，子德俊才六岁、德原生六日，而兰孙亡。姻娅欲夺其志，誓死靡他，抚二子咸至成立。至正壬辰^③，寇起蕲黄，蹂践乡邑，而二子奉母独完。

宋氏 黄开妻。夫歿，无嗣。誓不更嫁，以姊子沆为后，以寿终。

明

宋氏 魏云瑞妻。元季兵乱岁荒，舅姑相继歿。云瑞卒于齐安，氏扶夫柩涉江归厝。教二子，遂为名儒，大学士宋濂为《墓铭》。

左氏 王允茂妻。夫没，誓死守志，教子成名。

任氏 连辅妻。适辅阅七月而夫卒，矢志守节。抚遗腹子芳，以“明经”任射洪训。孀居六十余年。

曾氏 任胜聪妻。胜聪卒，遗孤儿七月，守节。卒年八十，弘治中旌表。

魏氏 廖宾南妻。适宾南一岁，而宾南逝。氏年二十，甘贫。奉姑，立叔之子为嗣，毁容衣縗者六十年。寿八十八，卒。

赵氏 谢存宪妻。年二十五，存宪卒。抚孤三诒^④，又卒。赵偕娶妇龚氏，甘贫守节。嘉靖中，旌表。

① 阿：我，东方民族第一人称。 ② 刲：刺、割。 ③ 至正壬辰：公元1352年。 ④ 三诒：其子名。

徐氏 王世廉妻。事姑能尽孝敬，姑病，侍汤药，不栉沐者累月，溲溺皆亲承之。年二十五，夫病笃，欲以身殉。时子良谟尚在妊，夫勉止之。夫卒，抚孤勤苦万状。以子贵，膺恩赠。

戴氏 余某妻。姑疾将革，氏告天请代，刲臂肉以进。姑食之，霍然。子恭，举入太学。

杨氏 刘炽妻。炽生而天阉，杨事之无愠色。夫丧，极其哀毁。饮食必躬奠立而俟之酒清肉干而后彻^①。二婢感其义，俱年四十余不嫁。万历初，知县胡其高申详旌表。

金氏 谢师彦妻。师彦举进士，卒于京。氏年二十，生子士成才数月，姑郑孺人劝以抚子，忍不死。四十年，毁容缞服。督学周继昌、巡按应朝卿旌奖。

谢氏 黄祐妻。年十六适祐，恪事二姑。祐患疾卒，抚二子成立，持家有声。妇何氏、孙妇魏氏，俱以二十孀居，乡人称为“三世孤贞”。

邓氏 魏正模妻。生子十岁而夫逝。久之，有夸其志者。氏曰：“吾不死，以姑老子幼耳。奈何逼我死耶？”身居市井一室而人无间言。谢侍御师启有传，郡丞任文定为《志》、《铭》。

魏氏 刘元妻。年二十五岁，元卒。氏守贞，教三子有成。年三十，豫营同穴于元之墓。年九十，卒。

张氏 魏方升妻。年十八，升早世。姑龔慰谕之，得不死。勤孝贞操，人无间言。年三十五卒，邑中怜之。

余氏 龔案妻^②。生女甫二岁，而案即世。将殉，姑马氏以女不可失恃苦劝慰。自是毁容素服。越十年，始立侄逢旦为案后，恩勤不啻己出。守节七十三年，有司屡加旌奖。

屈氏 龔案孙维翰妻。年二十守节，抚孤龔理。游泮，不幸亦殒，妻谢氏誓以死。

① 彻：撤去。 ② 案：“审”的古字。

谢氏 龚维翰子龚理妻。理早卒，氏守节。人称“世节”焉。

黄氏 县丞但维城继室。

田氏 郭立本妻。年十九，立本卒，遗腹生子铎。与姑向氏相守四十年。魏司徒题其门曰“双节”。

魏氏 邓日华妻。华早卒，氏深居扃户，苦节三十余年。县令林增志旌奖。

姚氏 谢自强妻。归谢二载，夫卒。即自经，救免。数日，语其侪曰：“夫死无子，必以我殉。”竟卒。

周氏 刘观妻。年二十七，夫卒。与妾张氏俱誓死，以“双节”称。抚两孙，俱游泮。

谢氏 名三淑，庠生魏柱国妻。献逆屠城，避地獭山。为贼获，骂贼赴方塘而死。邑令姚公继舜表其冢曰“英烈之墓”。

魏氏 庠生曾曰忠妻。年二十，生子士雄。越二年，忠歿，氏矢志不二。

王氏 谭廷玉妻。年二十五，夫卒，孀居四十七年。邑侯曾旌表。

国朝

舒氏 余应试妻。

但氏 单则敬妻。则敬起义拒寇，死之。氏避湖干，闻讣，投河。姑知其有娠，力救。弥月，生男。今武庠生日升也。孀居四十年，事舅姑无间言。

陈氏 雷元声妻。年二十四，声卒，生子女二人。翁姑念氏年少家贫，劝令改嫁。氏髻发以誓，身佩剪刀。子又丧，织纺自给以老。

崇阳县

明

蒋氏 邑庠生廖秉文妻。年二十一，遗腹生一子。守节至白头。

吴氏 杨鎰妻，早寡。或夺其志，氏斫庭前桂誓曰^①：“此吾夫手植者，欲改行有如此。”以寿终。

杨氏 冯玺妻。夫亡，年仅二十。抚妾遗腹子成立，苦节以终。

谷氏 知州冯鳌妾。年二十，夫亡无子，徒步迎棺归葬。家贫，绩纴易食，至亲罕见其面。知县易贞元居以官地一廛焉。今县前承流坊南岸有棹楔址。

程氏 汪廷妻。早寡，泣血丧明。抚妾子成立，有司旌其门。

金氏 饶安世妾。年十七，安世歿。置灵于榻牖者数十年，以寿终。

（清）〔国朝〕

李氏 杨林畷刘细二妻。年十九，夫歿。无子，止一女。丧服八年，苦节以终^②。

通城县

明

江氏 陈子达妻。永乐中^③，达运粮北京，死于途。江年二十五岁，誓不再嫁。纺织自给，抚孤成立。年八十一，卒。

国朝

皮凤贞 县东门皮氏女，许配周文彬。未字而（凤贞）〔文彬〕为贼所掠。越十年，翁姑、父母皆欲他许，女以死自矢。闺门四十年，无间言。

① 廷：“庭”的古字。 ② 此条国图、湖南本无，江苏本手写增。

③ 永乐：明成祖年号，公元1403—1424年。

兴国州

明

刘氏 字茂惠，知府刘英女。英谪知海盐县，时州判官周惟登侨寓海盐，因为其子真娶之。真没，父英亦没于官。茂惠还兴国，年甫二十余，竟依二弟终老。

刘氏 张凤妻。凤没，氏年二十，誓守。年八十，卒。

冯贞女 字慕洁，幼许严氏子聘。严氏子死，慕洁即往服丧。逾年，舅姑相继没。严氏无遗丁，慕洁力殓三丧。后贫窶，依弟。弟又贫，终安之。郡守杨公祐上其事，都宪林公大辂令州守岁给米四石。御史伊公敏赐钱帛焉。

石琼秀 诸生石汉之女，受州人张经世聘。经世病卒，琼秀闻讣，赴丧次，一恸几绝。徐强起，上堂拜舅姑，曰：“不幸犹得事二尊，人身是张家妇，无他志矣。”未几，舅死。琼秀独事其姑，辛苦饥寒备至。后数年，呕血死。

庄八儿 富池驿人。父曰庄宁，三世为庄家仆。八儿年十六，配刘学良，学良亦为人仆。越二年，病死。八儿哀绝，复生。久之，有少年佣耕者求赘，其主与舅姑许之。八儿度不能抗，诺焉。将期，更麻衣出拜，众以为将受僭^①。须臾，入室自缢死。

从二姑 赵璵妻。适赵六年，璵病且死，目其妻而不能言。二姑泣曰：“得无以妾为念乎？惟有与君同穴耳。”璵既葬，朝夕奠哭，私语其婢曰：“善事吾姑，吾夫待吾冥冥旬日矣。”语毕，遂不食。寻以他事给婢出，解其经，闭门缢死。

艾氏 四川什邡人。郡人陶弼令绵竹时，纳为小姬。弼死无子，妻黄氏妒悍，恬不为哀。独艾姬抱尸抚棺哭七日七夜，不食而死。黄

① 僭：“婿”的俗字。

妒不已，瘞艾于坏垣下^①，且迳其上。郡守杨士元闻之大惊，取其尸改迁，与弼合葬，为文祭之。

徐氏 陈国相妻。生二子甫襁褓，相死。氏年二十，以死誓，抚孤成立。

张氏 燕人也，妻州民吴稽。稽客死燕中，不能归葬。张氏父母逼再适，誓死不从。因焚夫骨，负之左臂。抱二岁孤儿，沿途趁食至兴国，守节终身。

卢氏 吴璧良妻。年十九，夫亡，无子。欲以死殉，自经者再，众妇防护。逾月，既念舅姑在，遂忍死。年老家贫，双目俱瞽。言及夫与舅姑，犹血泪映睫。

江氏 潘师孔妻。师孔死，子良臣方九月，矢志。事舅姑至老。

王氏 庠生李本素妻。献贼入境，偕二子避徐山。闻警，自缢，夫亦同死。子正蔚、正英。

卢氏 江惟海妻。生子孺生，苦节五十年。

李氏 刘宗牧妻。年十七，夫死，遗腹生子良砺。良砺生世斗。崇祯癸未进士^②，官户部主事。苦节六十三年，寿八十卒。未及旌表。

皮氏 孙瑜妻。年十九，夫死。孝事舅姑，有子启泰，庠生，殇。而氏竟以孀独终。

大冶县

明

舒氏 徐广妻。弘治间，广客东吴，溺于江。氏年二十四，父母怜其寡而贫，欲夺之。誓不他适，抚二子一女，纺绩治生。卒，年六十二。

程香儿 州民胡肫妻。甫婚八日，以归宁渡三山湖遇风，夫溺

① 瘞：埋葬。 ② 崇祯癸未：公元1643年。

死。程即赴水从之，舟人援起。痛不自胜，众挽其袖，竟绝袖而溺。万历末，里人犹藏其袖以风贞烈云。

黄氏 黄大节女，生员皮克昌妻。年十八，守节抚襁褓遗孤为诸生。以哭夫陨泪丧明。年六十。

杨氏 王祉妻。年二十八守节。事姑以孝闻。抚三子，皆诸生。

詹氏 市民黄笙妻。年二十一守节，抚子以鼎入泮。

陆氏 卢时化妻。

盛氏 李春开妻。二十守节，教其子成立。

杨氏 周雪盘妻。年二十四守节，抚五岁孤，天启甲子举人周宁尔也^①。氏寿八十。

国朝

余氏 庠生尹如翁妻。贼陷邑，如翁遇害。氏年二十有三，仅生一女，赤贫无子，矢死不二。

王氏 柯楚吾妻。年二十三，楚吾没。仅存一女，周岁。家族逼令他适，氏知利其所有，遂尽散财产于族人，止余一老婢相伴。辟纻苦节自甘。

陈氏 瞿允亮妻。亮早丧，遗孤一岁，贫薄无依。翁年七旬，骨痿不能动起。妇以纺绩供，朝夕喂食反哺，辛勤无怠。康熙六年^②，翁九十五，乃卒。氏送终如礼，而孤亦成立。

华氏 陈太明妻。年十九而寡，遗孤甫三月，一女二岁。夫家、父母家俱欲嫁，氏坚志，抚孤成立。年六十七，终。

段氏 年十六，适查姓。三年，丧夫。抚孤诏，为诸生。又丧，其妻张氏，年少无所出。姑妇守志相依。姑年八十余，妇年亦六十余。

柯氏 邑廩生胡秉炅妻。十九，夫歿，遗孤齐泌甫二岁。抚之方

^① 天启：明熹宗年号，公元1621—1627年。 ^② 康熙：清圣祖年号，公元1662—1722年，

入庠，氏没。

胡氏 孝廉胡念祖女，武昌庠生孟崑妻。少寡，饥穷。坚苦守志。

詹氏 翰林孔目大衢女，余大司农长子、中书舍人光煌妻。适光煌五载，无出。光煌卒，詹雕夫像置室中，饮食必祝。缟素侍姑，无笑语声，日复憔悴。数年姑没，氏过哀病剧，不肯服药。卒，年二十七。

陈氏女 及笄，夫歿。有欲娶者，而女不知。迎者至，遂缢死。

徐氏 生员汪沛然妻。沛然没于贼，氏年二十余，无子。抚侄联芳延汪祀，饥寒苦节，六十年如一日。

张氏 徐偕妻。十九守志，子才一岁，抚之存立。年七十五，卒。

汪氏 经继维妻。十九岁丧夫，事翁姑，抚幼子。家贫苦节，县令旌之。

杨氏 儒士胡允敬妻。年二十余，舅姑与夫俱歿。氏砺节，抚孤震祖游武庠。年至七十。

曹氏 周竣妻。二十三岁守志，抚孤子德深成立。

刘氏 方之兴妻。年二十二夫没，无子。父母怜之，令改节。毁妆不从，日吁天祈死。阅五年。病瘵，不肯疗治，曰：“吾得死所矣。”竟卒。

刘氏 庠生吴启豫妻。夫歿，氏年二十余。家贫，女工自给，白首不移。

柯氏 朱仪妻。少寡抚孤，不免冻馁。母、兄欲夺其志，誓死不从。年八十六，卒。

通山县

明

全氏 阮兴妻。年十九，夫亡，遗腹生子继，姑夺志，不从，守节终身。

刘氏 生员朱之彦妻。年十八，夫丧，氏守节自誓。寡言笑，足不履中庭，数十年如一日。都御史汪道昆以状闻，诏旌其门。

陈氏 庠生沈思文妻。夫丧，氏年二十二，舅姑早逝，子方三岁，誓死自守。抚院旌其门。卒，年八十有五。

焦氏 熊民怀妻。年十八，适熊才八月，民怀死。氏仆地气绝，救之苏，以死自誓。事姑甚孝，年九十余。

附录

朱氏 明蒲圻人黄宸妾。宸卒，时朱年尚少，家甚贫，纺绩针指自给，养嫡郑氏及遗孤，勤苦无怨。嫡卒，祭葬尽礼。笃于恩义，绿衣守志^①，足风薄俗^②。

赵氏 明咸宁儒官王宾妻。宾年九十五岁，卒。赵年百有三岁，耳目步履仍如少壮时。驿传道张同、江夏熊大司马为勒“坤贞人瑞”碑。子惟昌广文年八十五。孙琰锡庠生，年九十余。一门寿考，有足传云。

钱梅窗 咸宁人，明孝廉钱珊妹。七岁能诗，有《咏比干庙》诗云：“天步商家事已倾，老臣肝膈最艰辛。佯狂不肯为奴态，抱器那堪去国情。七窍丹衷悬日烈，千年青史照人新。停车欲把忠魂奠，南涧无因得藻苹。”辞不必工，而义则甚正。后归于光山孝廉李宗乾。附传之。

仙释 [列传]

江夏县

唐

罗公远 相传鄂州人。小说家言元宗好仙术^③，开元中秋夜，公远导为月宫之游。以学隐形术不尽其传，怒欲斩之，遁去。后数岁，

① 绿衣：下等人的服色。 ② 风：影响。 ③ 元宗：即玄宗，避清康熙皇帝讳改称。

元宗使辅仙玉入蜀，见公远于黑水道中曳杖徐行，仙玉策马不能及。呼曰：“大师云水适意，岂不念内殿相识耶？”公远还顾，与玉据石而坐。因出书一缄，并蜀当归以寄。及元宗西幸，始悟其寄意云。

刘本德 好古，多艺，商于江湖^①。乾符中^②，大饥，本德出米数万斛赈之。后有鹿裘道人来访，把臂入深涧。忽一老人邀入山院，曰：“此洞天也。以汝行善，故得至此。”语毕不见。后竟仙去。

朱翁 鄂州道者。筑室穿地，环布药蔬。手植松柏，即成十围。与州将陈士明邻。士明幼而勇，好斗鸡。每狎侮翁。翁曰：“孺子无赖，吾试与汝戏。”士明之居，相去二三百步。翁以酒饮之，使归取鸡来斗。自辰至酉，不达家。度其行步，逾五十里。乃顾视，不越百步。士明号泣，拜翁求恕。翁笑曰：“孺子更侮我乎？”乃释之。翁杖履浪游，不知所之。

明

徐骇儿 不知何许人。口不能言，听其声音，似云“徐骇儿”，众遂名之。常卧于洪山四天王像下，发结如鞭，垢污不可近。所乞诸物，怀而食之。久之，有远僧遇诸途，膜拜于地。徐骇儿不答，去。人问僧曰：“汝何拜此？”僧曰：“是一大法师，我曾座下听讲。”久之，徐骇儿止大树下，鼻垂两白柱——大如指，长二尺许——而逝。

胜学禅师 号无念，姓陈氏，应山孟畈村人。父名必贵。九岁，礼宝林寺无极和尚。初不识字，往参荆州无闻和尚。开示：“万法归一，一归何处？”日夜提参，豁然有悟。偈云：“数载东山昏雾濛，凭栏终日待晴空。夜来忽睹霜前月，万象全彰一镜中。”洪武中，楚昭王迎至洪山，寻迁九峰。奏闻，召见。赐以诗及杂彩衲衣、金钵盂、净瓶各一，又赐光禄果饌，遣中官送还山。又遣中官赉桐实、松

① 商：“商”的异体，经商。 ② 乾符：唐僖宗年号，公元874—879年。

花，御制诗文二轴。略曰：“身外无身，戒外无戒。在处有佛，又何指方寻佛？本性即佛，佛外更有何佛？佛外更寻他佛，又何佛之有哉？”赐《归武昌诗》二首，《怀僧无念诗》一首，见《御制文集》。永乐初，示寂^①，年八十。塔在九峰。

刘邈 不知何许人，或曰汉川，或曰景陵。或曰：本诸生，就试武昌，不利，遂得狂疾，坐卧垢污。于贡院侧聚板为庐，与人语似多隐中者。诸生有问“遗才”题目，大骂：“不明道理秀才，一部四书从头至尾都是题目。”及试，题果“大学之道”二句，“然而无有”二句。己酉科，江夏县学生王时化问“今科解元”，应声曰：“盖有之矣，我未之见也。”是科场题，即此二句。而王果领解。是时士子喧传，巫风不戒，亦不可弗志也。又传邈死时，鼻垂玉柱。弟子以瓮覆其尸。

不知何处僧 崇祯末，住修静寺。屏处，不甚见人。言未来祸福，不爽。尝受一宰官舟资数金，渡江即畀舟子。或问：“何多也？”曰：“彼云‘舟资’，我今不到岸乎？”张献忠未破城之前，指城东门谓人曰：“此灶窠也。”又曰：“城内一圈猪，张屠、李屠至矣。”行城中，每左右指曰：“一群鸭儿。”每五更，沿街叫呼：“谢檀越布施。大难到，早为计。”癸未元旦，忽去不见。六月，城陷。纵火于城，驱民于江。张屠，献忠；李屠，自成也。相传僧号修如。

武昌县

三国吴

介象 会稽人，有方术。孙权闻之，征象到武昌，称为介君，为起宅第以御帐给之，赐遗累千金，学蔽形之术。（常）〔尝〕试法后宫，及出殿门，莫有见者。变化隐见，及种瓜果，取东海鲙食，皆倾

^① 示寂：佛及高僧去世的用语。

刻而至。按此幻术，不足为奇。孙策斩甘吉，而权迎介象。权智不及曹操父子远矣。

明

黄镇 事见《县志》。少为继母所窘，逃出，遇异人于武彝山，能召天神立至。以移树命之，顷间风雷交作，树之东西异位。遂授法而归。岁旱，母命溉园，即磨墨染符。黑云大雨，不出园外。本县令，黄州、武昌太守檄镇祈雨，屡验。谢金帛彩币不受，母迫责之，缢于“九曲亭”。举棺，人疑其轻。启视，惟一履在焉。后贾人称遇于四川琼台山云。

慧光禅师 万历时黄梅黄氏子。幼有出世志，以二亲在堂不得遂。亲没，遂祝发，遍参名山。至安庆，遇法界和尚。随游京师，忽夜梦金甲神报曰：“律师缘在武昌，况汝祖、庐山远公驻锡之地。宜速行。”慧光至寒溪，惟山岿存佛殿。其余四壁剥落。慧光遂坐荆棘中，七日不火食。感贖封孟侑、参戎周忠一捐千金，重兴法苑。为寒溪中兴之祖。寿八十，说偈趺坐而逝。

本开 吁江人。幼崇佛典，祝发沙门。中年，得参旨奥。丙申、丁酉间来武昌。居“西山寺”，讲演“大乘”。用阐宗风。且戒律精严。焚修勤苦，兼善诗。时人钦慕焉。

嘉鱼县

元

张绍思 “静保寺”僧。辟谷数年，出入乘白马无辔，随以黑犬。自斲石塔于寺后，入塔端坐而逝。

明

觉来先生 早岁习举子业，补邑诸生。博采内典，随有感悟。结

草区外，负米自炊。习止观，修静土。放生戒杀，持咒礼经。久之，心臆洞然，了无滞碍。坐脱之日，感应殊异。邑人金正希、熊鱼山、尹洞庭、任澹公共建塔于白湖净土庵之前。

无相僧 名如堂，南阳人也。始有欧歔之疾^①。住岳阳深山中，持《莲花经》二十年，夜梦金臂人饮以玉露，疾瘳。一日语人曰：“本以十月，因修忤事，展留一月，旦日酉时，老僧逝矣。”及旦，礼佛，入龕趺坐。久之，奋身呼曰：“去。”众请曰：“师何去？”曰：“无处去。”遂寂。

蒲圻县

晋

葛洪 号稚川。以句漏出丹砂，因求为句漏令。后弃官，遍游名山，及邑丫髻山。距山十余里，复有山对峙竞秀。因栖其上，故人称为黄葛山。谓曾有黄真人居之也。上有剑池、丹灶。其水清冽，饮之能愈宿疾。有邑令见朝礼者骚绎欢呼^②，恐不便地方，因塞井、平灶。山空日暝，时闻棋声。

唐

刘元靖 武昌人。闻有道士王道宗，往师之。遍游名山，入南岳，凿石穴以居，绝粒炼气。唐敬宗召入思政殿，问长生术。寻放归。武宗复召入，受法录，赐号广成先生。旧传访道南岳，借径于蒲，耽玩山水者积岁。故羊泉有仙人洞、仙人桥，皆刘之遗迹云。

① 欧歔：呕吐。 ② 骚绎：疑同骚驿、驿骚，即混乱。

兴国州

明

黄中理 宁州人，庭坚八世孙。光州固始尉患痹，弃官归。有人自称金花君，谓之曰：“吾疗而疾，疾愈当为道士。”以帛粘其体，燃灯遍灼之。越七日起，行，乃居九宫山瑞庆宫。太祖召至京宠劳，命礼部宴之。赐玉炉、袈衣还山^①。

戒生 浙江人。明季，郡人迎至银山寺，开堂接众。岁饥荒，多所济给。其对人，与父言慈，与子言孝。随地开发，未尝劝人奉佛也。年七十，端坐说偈逝。瘞塔之夕，燐火千百炬，弥满空谷。众惊呼，遂散去。

大冶县

（五代）〔南朝〕陈

九郎仙者 本县启石里人，姓陈氏。（五代）〔南朝〕末尝总土兵，守本里。与尖山王大夫战，不胜。走泉洞，死之。尸流出洞，沉于山溪港。渔人举网，得而置之，明日复得，如是者数次。其时大旱，祷云：“若为仙，明日可得雨乎？”异日，果大雨。遂泥裹尸，塑祝之。其后祈祷有验，至今人号为“陈九郎仙”云。

唐

智印祖师 王姓，失其名。德宗时，武陵龙阳县人。遇石头择师^②，指以遇东则止。元和中，游至东方山，遂结庵修行。年三十三，趺坐而化，舍利藏于塔中。

① 袈衣：外衣。 ② 择：“释”的通假字。

广慧禅师 不详里氏。元和中^①，同智印游，结庵白雉山。手磊乱石为塔^②，留偈。祷雨多验。

宋

源公 不知何许人。绍兴中，结庵于天台山。修行有成，年八十，趺坐而化。本山太平院，其道场也。

明

黄菊山 南昌武宁人，入九宫山学道。洪武初，召至京师，陛对诗云：“无声无息最幽深，一寸山河一寸金。清浊混融人莫测，帝王居处即天心。”称旨，赐玉香炉、袈衣还山。寓居于本县流水里。年七十余，寿终。墓本里之李家堡^③。

昙晦禅师 暹罗国人。母梦白龙负如意珠光，感而生师。遍参诸国，至中土寻尊宿。领临济宗，悟禅，住平等山。楚王迎奉之。崇祯壬申腊月日^④，趺坐吉祥而逝。全身归塔。

方伎 [列传]^⑤

江夏县

明

吴伟 字次翁，少孤贫。善绘画，不师而能。山水、人物入神品。性憨直，与俗寡谐。求者非其人，不应。虽素与昵好，一言弗合，辄投砚而去。成化间，成国公延至幕下。一见以“小仙”呼之，遂以为号。平江伯礼聘渡江，声誉日起。宪宗皇帝召至阙下，授锦衣

① 元和：唐宪宗年号，公元806—820年。 ② 磊：垒，堆砌。

③ 墓：坟墓位于。 ④ 崇祯壬申：公元1632年。 ⑤ 方伎：各种技艺。

镇抚，待诏仁智殿。伟有时大醉，被召，蓬首垢面^①，曳破皂履，踉跄行。中官扶掖以见，上大笑，命作《松泉图》。伟跪翻墨汁，信手涂抹，风云惨澹生屏障间。左右动色，上叹曰：“真仙笔也。”伟出入掖庭，奴视权贵人。权贵人求图，又多不与。于是，权贵人怒，数短之。居无何，放归南都。伟好剧饮，或经旬不饭。其在南都，诸豪客日招酣饮。又好妓，饮无妓则罔欢，而诸豪客竞集妓饵之。孝庙登极，复召见便殿，命画，称旨。授锦衣百户，赐“画状元”印章，宠眷日厚。伟思还楚，蒙恩许祭扫武昌。途次采石，有旨趣回京，赐西街居第。逾二年，伟称疾得归，居秦淮之东涯。正德三年五月，武宗即位，遣使召之。使者至，未就道而中酒死，时年五十。子山从遗命，葬于金陵。人称“画隐”，亦曰“画仙”。

赵梦弼 浔川人，徙居江夏。年至八十，因号“肖翁”^②。家世受医，精脉法。诊诸病者，则形神俱往，徐以一二语发其隐，投药立效。胡方伯病且死，发两七而痊^③。赴人之急，百里外中夜叩门，无不相应者。既老，犹杖以往。岁大祲，煮药如池，全活甚众。年八十八，一日遍辞亲友，无疾而终。

罗练 故儒家，深医学。诊脉，断生死不爽。御史李某吐黑痰，诊之曰：“殆有所思不遂耶？”李惊起曰：“神医也。吾少贫，聘婚某氏，为妇翁所嫌，离去。妇为我死，吾不忍再婚耳。”服药，立愈。楚王妃周氏微恙，诊之曰：“今午殆不起。”时妃犹饮食言笑，午果中风死。诸如此类甚多。著医书授其子。一日，子乘醉为人视疾，练怒曰：“奈何以人性命为戏？”焚其书，无传者。

武昌县

晋

王廙 字世将，琅琊临沂人。善属辞，工书，画为晋朝第一。镇

① 垢：恶。 ② 肖：疑“赵”误。 ③ 七：疑“剂”误。

军谢尚于武昌昌乐寺造东塔，戴若画造西塔，并请虞画。

南北朝

蔡铁 善卜。为南郡王义宣府史。王镇武昌，于内斋见一白鼠缘屋梁上，命左右射得之。内函中，命铁卜之。铁曰：“白色之鼠，皆明而户。弯弧射之，绝其左股。腹孕五子，三雄二雌。”王命剖之，如言，赐钱万贯。

崇阳县

明

杨一欧 以堪輿授钦天监博士

杨启敬 字景南，授钦天监博士。

逸 编

宋

吴立礼 兴国人，吴中复长子。治平进士^①，历官御史。有父风。

杨启萃 通城人。理宗宝祐丙辰进士第三名^②——文天祥同榜是科一甲二十一名——人皆以“状元”称之。官终九江倅。

元

梁廷凤 字仪甫，兴国人。任思恩主簿，林叔大称为“百叠山中一人”。

马镛 字迪坚，兴国人。至正中，以“茂异”授沅州路教授，

① 治平：宋英宗年号，公元1064—1067年。 ② 宝祐丙辰：公元1256年。

修《兴国志》。

卫士真 武昌人，通经史。至正庚寅科^①，石鼓书院山长。

明

刘维 字纪之，咸宁人。从太祖经营治定，授工部尚书。

朱志先 字湄溪，通山人。洪武十九年，以监生授山东布政。左迁鹤庆郡判，升徽州知府，复补临安。有芳声。

黄天性 字大本，通山人。洪武三十年，以“贤良”荐任广德州同知。迁都水主事，修漕河，沛人建“德润堂”祀之。

徐俭 字节甫，通山人。监生。任江西道御史，多所建白。

孔克亮 通城人。洪武间岁贡，授旌德令。更历英山、陕西咸宁令，俱有政绩。

汪茂赏 通城人。洪武庚午乡举^②，吴江教谕。升户部员外郎，历四川按察僉事，有政声。

卓朝用 通山人。永乐间，授西宁令。奉檄董民夫赴太和山，卒于途。西宁人思其清谨，莫不悲恻。同事吏郑以敬护其丧归，见《宁州志》。

田济 字汝霖。永乐庚子举人^③，历成都通判、西安同知。以“才堪治剧”调河间，致归。

何隆 通城人。景泰丙子乡举^④，四川新津县训导，升长寿谕。恬淡能诗，品行足称。

刘绍元 通城人。成化丁丑进士^⑤，任无为州守。有善政，士民尸祝。

汪淳 字宗程，武昌人。弘治乙卯举人^⑥。授漳平县令，以才力

① 至正庚寅：公元1350年。 ② 洪武庚午：公元1390年。 ③ 永乐庚子：公元1420年。 ④ 景泰：明代宗年号，公元1450—1456年。 ⑤ 有
误，成化无丁丑年。 ⑥ 弘治乙卯：公元1495年。

闻。晋南户部主事，出守彝甸。善于其职，尤得彝情。以病致仕。

周启东 字意鲁。闽之莆田人，卜居兴国。州守胡瀛政创学宫，须得启东屋基乃成规模。启东竟捐其址，而姑取偿于桑枣废圃，不计值。后中弘治辛酉举人^①，知泾县。

胡椿 字永龄，武昌人。弘治辛酉举人，正德戊辰成进士^②。授新昌县令，升户部主事，转署员外郎。综理会计，吏不能欺。僚案推能焉。

胡泽 字汝淮，通城人，嘉靖己酉乡举^③。授霍山谕，正身立训。应聘同考，所取得人。庐州府祀“名宦”。

俞科 字石峰，兴国人。由“选贡”授浮梁教谕，操履清正。著有《石峰漫稿》。

廖日效 字明初，崇阳人。以贡授常德训，升太平县谕，署县事。剿土寇魏小泉有功，上闻，实任知县。

吴权 字次崖，崇阳人。以贡任四川渠县知县，有治声，祀“名宦”。

舒大治 字子道，通城人。万历间恩贡。资性醇雅、孝友，称于乡党。

卢锦心 字闾生，通城人。以贡授江西新淦县佐，奖荐四次。升陕西茂州，未任。

黄士吉 字岷岳，兴国人。万历壬辰进士^④。授工部员外，督造乾清、坤宁两宫。神宗御书“半窗明月”赐之。庚子^⑤，典贵州乡试。迁浙江提学，卒。家无私财。与兄弟均之建兴国会馆于京师，郡人德焉。

石炬 字石门，兴国人。万历丁未进士^⑥。授南工部主事，管夏

① 弘治辛酉：公元1501年。② 正德戊辰：公元1508年。③ 嘉靖己酉：公元1549年。④ 万历壬辰：公元1592年。⑤ 庚子：公元1600年。⑥ 万历丁未：公元1607年。

镇闸启闭。以时有冢宰舟过命开闸，不从，淹留旬日致釁，竟罢归。入“乡贤”。

杨燧 字敬斋，武昌人。勤学，精《易》理。以贡授黄冈训导。迁慈利县谕，擢济南府授。所至奖励后进，一时名士，多出其门。年八十，卒。子正奇贵，累赠武选郎。

蔡宁、杨宗凯 崇阳人。居丧庐墓，以孝闻。

王廷试 崇阳人。父仰知闽县，束下过刻，中毒死。廷试赴闽，诉于官。会审，三人伏罪。廷试一时俱手刃之，观者鼓噪。巡按护廷试，下之狱，乃免。闻于朝，竟以孝释归。

蔡国祥 字兴之，武昌人。济阳王蔡哲六世孙。济阳既以武功显，子孙多习其余风。至国祥，始折节读书。弱冠补博士弟子员，食廩饩。甘贫，力学。子仕登乡荐，官华阴知县。

邓士毅 字子达，蒲圻人。性豪迈，不谐流俗。怡情诗酒，曼声长啸，旁若无人。颜其亭曰“乐天”。以子日崇贵，赠如其官。

曹廷对 字心葵，武昌人。博通经史，工古文词。传经三十余年，生徒数百人，不计其赞，出门下者多名士。晚以“明经”就选，未仕，卒。子若参登“贤书”。

龚台 字文友，蒲圻人。恂谨，博学。善为经师，邑荐绅多出其门。督课诸孙，善于提命。长孙维三乡举，老以“宾饮”冠带。卒，年八十三。

卷之十

艺文志 [一]

文之辨体也宜严，而郡邑志中之艺文，其辨体也益宜严。故文贵典，险怪者宁弗登，不然，《坟》、《索》曷不弁《谟》^①、《诰》也^②？文贵醇，鄙野者宁弗登，不然袒裋曷不入朝庙也？文贵洁，荟蔓者宁弗登，不然畹亩曷不滋荼蓼也？至郡邑志中之《艺文》，则从乎其人焉，从乎其事焉，而一以地为断。诗赋记铭，必因其地之山川；书疏碑传，必因其地之贤俊；创修述载，必因其地之风俗与形胜。否则，登之不胜登也。而又必当择其典者、醇者、洁者，然后登之。虽古名流才士，勿应徇也^③。盖人之有是非美恶也，或别之于两人，或驳之于一人^④，非圣者弗能纯也，惟文亦然。夫传其人之美与是焉，则必喜矣；暴其人之非与恶焉，则必怒矣。至于文，则不问其是非美恶，而皆欲传之、暴之始为快乎？楚之为艺文薮也，旧矣。鄂渚雄风，又都会之倡始。然而“阳春白雪”之高，不有“巴里”乎^⑤？梗楠杞梓之良^⑥，不有寸朽乎？则隐之而弗登，以全其高且良焉，宁如书麓腹笥贵多求益之侈其丑博云尔哉。特摘其尤者著于篇。体类分列，时代相次，为可考也。志《艺文》。

① 《坟》、《索》：《三坟》、《八索》，传说中的上古典籍。 ② 《谟》、《诰》：《尚书》文体名。与《典》相比，列在后面。 ③ 徇：曲从。
④ 驳：夹杂。 ⑤ “巴里”：“巴人下里”的省称。 ⑥ 梗、楠、杞、梓：黄梗木、楠木、杞木、梓木，皆良材。

骚

战国

九章

屈原

江夏虽或郢有别属，然灵均为楚辞赋之祖。况所称“鄂渚”，必非邈不相涉。《县志》存此数首，今仍之。

[余幼好此奇服兮，年既老而不衰。带长铗之陆离兮，冠切云之崔嵬，被明月兮，珮宝璐。世溷浊而莫余知兮，吾方高驰而不顾。驾青虬兮骖白螭，吾与重华游兮瑶之圃。登昆仑兮食玉英，与天地兮同寿，与日月兮同光。哀南夷之莫吾知兮，旦余济乎江湘。]① 乘鄂渚而反顾兮，欸秋冬之绪风。步余马兮山皋，邸余车兮方林。乘舲船余上沅兮，齐吴榜而击汰。船容与而不进兮，淹回水而凝滞。朝发枉渚兮，夕宿辰阳。苟余心其端直兮，虽僻远之何伤？入溱浦余儃徊兮，迷不知吾所如。深林杳以冥冥兮，乃猿狖之所居。山峻高以蔽日兮，下幽晦以多雨。霰雪纷其无垠兮，云霏霏而承宇。[哀吾生之无乐兮，幽独处乎山中。吾不能变心而从俗兮，固将愁苦而终穷。

接舆髡首兮，桑扈裸行。忠不必用兮，贤不必以。伍子逢殃兮，比干菹醢。与前世而皆然兮，吾又何怨乎今之人？余将董道而不豫兮，固将重昏而终身。乱曰：鸾鸟凤凰，日以远兮。燕雀乌鹊，巢堂坛兮。露申辛夷，死林薄兮。腥臊并御，芳不得薄兮。阴阳易位，时不当兮。怀信侘傺，忽乎吾将行兮。]

右《涉江》②

① “九章”中各本误缺，据王力《楚辞韵读》（上海古籍出版社1980年版）补。② 右：古行文右起左行，标题在后。

皇天之不纯命兮，何百姓之震愆？民离散而相失兮，方仲春而东迁。去故乡而就远兮，遵江夏以流亡。出国门而轸怀兮，甲之晁吾以行。发郢都而去闾兮，怊荒忽其焉极。楫齐扬以容与兮，哀见君而不再得。望长楸而太息兮，涕淫淫其若霰。过夏首而西〔浮〕兮，顾龙门而不见。〔心〕嬋媛而伤怀兮，眇不知其所跖。顺风波以从流兮，焉洋洋而为客。凌阳侯之泛滥兮，忽翱翔之焉薄！心结结而不解兮，思蹇产而不释。

将运舟而下浮兮，上洞庭而下江。去终古之所居兮，今逍遥而来东。〔羌〕灵魂之（神）〔欲〕归兮，何须臾而忘反？背夏浦而西思兮，哀故都之日远。登大坟以远望兮，聊以舒吾忧心。哀州土之平乐兮，悲江介之遗风。

〔当凌阳之焉至兮，淼南渡之焉如？曾不知夏之为丘兮，孰两东门之可芜？〕心不怡之长久兮，忧与忧〔愁〕其相接。惟郢路之辽远兮，江与夏之不可涉。忽若（去）不信兮，至今九年而不复。惨郁郁而不通兮，蹇侘傺而含戚。

〔外承欢之约约兮，谿荏弱而难持。忠湛湛而愿进兮，妒被离而鄣之。尧舜之抗行兮，瞭杳杳而薄天。众谗人之嫉妒兮，被以不慈之伪名。憎愠怆之修美兮，好夫人之忼慨。众踥蹀而日进兮，美超远而逾迈。〕

乱曰：曼余目以流观兮，冀壹反之何时？鸟飞反故乡兮，狐死必首丘。信非吾罪而弃逐兮，何日夜而忘之？

右《哀郢》

〔思美人兮，揽涕而伫眙。媒绝路阻兮，言不可结而诒。蹇蹇之烦冤兮，陷滞而不发。申旦以舒中情兮，志沉菀而莫达。愿寄言于浮云兮，遇丰隆而不将。因归鸟而致辞兮，羌宿高而难当。〕

高辛之灵盛兮，遭玄鸟而致诒。欲变节以从俗兮，愧易初而屈志。独历年而离愍兮，羌冯心犹未化。宁隐闵而寿考兮，何变易之可

为！知前辙之不遂兮，未改此度。车既覆而马颠兮，蹇独怀此异路。勒骐驎而更驾兮，造父为我操之。迁逡次而勿驱兮，聊假日以须时。指嵒冢之西隈兮，与纁黄以为期。]

开春发岁兮，白日出之悠悠。吾将荡志而愉乐兮，遵江夏以娱忧。揽大薄之芳茝兮，搴长洲之宿莽。惜吾不及古之人兮，吾谁与玩斯遗芳^①？解篇薄与杂菜兮，备以为交佩。佩缤纷以缭转兮，遂萎绝而离异。吾且儗偃以娱忧兮，观南人之变态。窃快在（其）中心兮，扬厥凭而不俟。芳与泽其杂糅兮，羌芳华自中出？[纷郁郁其远承兮，满内而外扬。情与质信可保兮，羌居蔽而闻章。令薜荔以为理兮，惮举趾而缘木。因芙蓉而为媒兮，惮褰裳而濡足。登高吾不说兮，入下吾不能。固朕形之不服兮，然容与而狐疑。广遂前画兮，未改此度也。命则处幽吾将罢兮，愿及白日之未暮也。独茕茕而南行兮，思彭咸之故也。]

右《思美人》

赋

汉

鹦鹉赋 有序

祢衡

时黄祖太子射宴宾客会，有献鹦鹉者^②，举酒于衡曰：“祢处士，今日无可娱宾^③，窃以此鸟远至而^④，明慧聪善，羽族之可贵，愿先生为之赋，使四坐咸有荣观^⑤，不亦可乎？”衡因为赋，笔不停辍^⑥，文不加点，其辞曰：

① 斯遗芳：作“此芳草”，失韵。此用闻一多《楚辞校补》据《远游》、《哀时命》改。 ② 献鹦鹉者：《文选》作“宾客大会”。 ③ 可：《文选》作“用”。 ④ 鸟远至而：《文选》作“自远而至”。 ⑤ 有：《文选》作“共”。 ⑥ 辍：《文选》作“缀”。

惟西域之灵鸟兮，挺自然之奇姿。体金精之妙质兮，含火德之明辉。性辨慧而能言兮^①，才聪明以识机。故其嬉游高峻，栖跼幽深。飞不妄集，翔必择林。绀趾丹嘴，绿衣翠衿。采采丽容，皎皎好音。虽同族于羽毛，实殊智而异心。配鸾皇而等美，焉比德于众禽？

于是羨芳声之远畅，伟灵表之可嘉。命虞人于陇坻，诏伯益于流沙。跨昆仑而播弋，冠云霓而张罗。虽纲维之备设，终一目之所加。且其容止闲暇，守植安停。逼之不惧，抚之不惊。宁顺从以远害，不违忤以丧生。献全者受赏，而伤肌者被刑。尔乃归穷委命，离群丧侣。闭以雕笼，剪其翅羽。飘流万里^②，崎岖重阻。逾岷越障，载罹寒暑。

女辞家而适人，臣出身而事主。彼贤哲之逢患，犹栖迟以羁旅。矧禽鸟之微物，能驯扰以安处。眷西路而长怀，望故乡而延伫。将陋质之腥臊^③，亦何劳于鼎俎？嗟禄命之衰薄，奚遭时之嶮巇？岂言语以阶乱。将不密以致危？痛母子之永隔，哀伉丽之生离。匪余年之足惜，愍众雏之无知。背蛮貊之下国^④，侍君子之光仪。惧名实之不副，耻才能之无奇。美西都之沃壤^⑤，识苦、乐之异宜。怀代、越之悠思，故每言而称斯。若乃少昊司辰，蓐收整饬。严霜初降，凉风萧瑟。长吟远慕，哀鸣感类。音声凄以激扬，容貌惨以憔悴。闻之者悲伤，见之者陨泪^⑥。放臣为之屡叹，弃妻为之歔歔。感平日之游处^⑦，若埙、篪之相须^⑧。何今日之两绝，若胡、越之异区？顺笼槛以俯仰，窥户牖以踌躇^⑨。想昆山之高峙^⑩，思邓林之扶疏。顾六翮之残毁，虽奋迅其焉如？心怀归而弗果，徒怨毒于一隅。苟竭心于所事，

① 辨：《文选》作“辩”。 ② 飘流：《文选》作“流飘”。 ③ 将陋质：《文选》作“忸陋体”。 ④ 貊：《文选》作“夷”。 ⑤ 美：《文选》作“羨”。 ⑥ 泪：本作“涕”，失韵，据《文选》改。 ⑦ 日：《文选》作“生”。 ⑧ 相须：相互应和，旧说二乐器能相和。 ⑨ 踌躇：《文选》作“踟蹰”。 ⑩ 峙：《文选》作“岳”。

敢背惠而忘初。托轻鄙之微命，委陋贱之薄躯。期守死以报德，甘尽辞以效愚。恃隆恩于既往，庶弥久而不渝。

南朝

临楚江赋

谢（眺）〔朏〕

爰自山南，薄暮江潭。滔滔积水，裊裊霜岚^①。忧与忧兮竞无际，客至行兮岁已严^②。尔乃云沉山岫^③，风动中川^④。驰波郁素，骇浪浮天。明沙宿莽^⑤，石路想悬^⑥。于是雾隐行雁，霜眇虚林。迢迢落景，万里生阴。冽攢茄兮极浦^⑦，弭兰鷁兮江浔。奉玉樽之未暮，餐胜赏之芳音。愿希光兮秋月，庶永照于遗簪^⑧。

唐

春赋

李 邕

肇木德以周仁，启春生而赋质。二仪泰而广运，三正合而元吉。和气蔼兮充寓，光风浏兮被物。岂因时而则舒，亦乐道而奚恤？

我圣君大抚万国，肆覲群后。承天之禧，嘉岁之首。文物灿于南宫，兵戈森于北斗。揽百辟以同心，贡千春之遐寿。于是明诏有司，摅求时令。迈惟一之德，究吹万之性。剿土木之庶功，阜稼穡之勤政。畋渔止杀，狴犴复命。至若固阴作闭，蛰户未开。虵盘土蓄，燕伏岩猜。穴蚁敛翼，冰鱼鼓鳃。蠢蠢宛委，戢戢低徊。迟击蒙兮久矣，耿献岁兮悠哉。谓将死而没代，俄作解而警雷。廓视听于元壤，脱惊駑驾于焚莱。瞰青阳以书物，被白日而登台。若旬时甫田，宿昔

① ●●：《万家辞赋》作“裊裊”。 ② 至：《万家辞赋》作“之”。

③ 山：《万家辞赋》作“西”。 ④ 动：《万家辞赋》作“荡”。 ⑤ 莽：《万家辞赋》作“莽”。 ⑥ 想：《万家辞赋》作“相”。 ⑦ 冽：《万家辞赋》作“列”。 茄：《万家辞赋》作“笳”。 ⑧ 庶：《万家辞赋》作“承”。

于：《万家辞赋》作“兮”。

层薄。惊洪铸之神用，伟元化之工作。卷河山之赞衰，置天地之和乐。律何谷而不暄？光何容而不灼？植也知归，动焉咸若。

尔乃杨回曲沼，李杂芳园。条烟浓而泄地，花绵缦而当轩。玉颜景照，罗袂风翻。惋良人之讐信，省贱妾而衔恩。蝶栩栩兮梦感，鸟嚶嚶兮思存。戛瑶桂以絙瑟，引金罍而浮樽。俯侯轩而下泣，昭韶物而何言？借如老军追鲁，远使穷河。霄驱鸟游，野次星罗。冰皑皑而雪下，风飒飒而霜过。迟日一照，挟纊尝多。遣畴岁之寒栗，袭初节之妍和，千岩为之动色，万壑为之流波。将回轡而秦望，请举手而幽歌。

有地高公族，鼎贵侯家。丹楼缠于御道，画阁耸于朝霞。明珠买妾，黄金掷龟^①。列行游衍，直视骄奢。跨浮云之宝骑，顿流水之香车。漫平郊而藉草，忽上苑之观花。飞鞭、蹴鞠，旋舞、琵琶。麾戚里之途远，驻长安之日斜。岂知夫东门在外，渭水濡沙？散归闲之召父，隐养正之姜牙。趣下里之潦倒，喧乐土之繁华。苟炙背而垂钓，但开田而种瓜。

明

[吊] 鹦鹉洲赋^②

李梦阳

承帝皇之嘉惠兮，荷在陋而明扬。信枯杨而再华兮，惧身微而命彰。岁协洽以南骛兮，触炎日之盛阳。浮江汉以长迈兮，过夏口之故洲。城蹇产以隄隄兮，划冲江而绝流^③。睹佳名而中惕兮，吊斯人之不修。

我既佩明月与宝璐兮，何不遂凌世而高步？舍王驷而不驾兮^④，又奚暇与豺狼而争路？惟圣人之贵时兮，神龙岂人得而縻？彼鸾凰之

① 龟：《全唐文》作“蛙”。 ② 吊：原文无此字，据《空同集》补。

③ 冲：原文作“衡”，据《空同集》改。 ④ 王：原文作“玉”，据《空同集》改。

谓瑞兮，固亦以其高举而见希。何先生之灵嫫兮^①，独不深藏而远游也。偁取方以捐圆兮^②，吾恐睿者之所尤也。繁炎鼎之既沦兮，世淆浊而崩改。操梟视而虎噬兮，祖又贪夫厥土。荃纵不甘心于厥俦兮，独不可色斯举也。峣峣者将必缺兮，余固知仇者之不与也。矫吾櫂以淹留兮，情览望而悼伤^③。灵惝怳而如见兮，聆湍濑之浪浪。山垒垒以来合兮，孤坟郁而崢嶸^④。诵英篇以沉顾兮，痛翠禽之蚤戕。物有以舌羁缚兮，人有以才隕身。譬用机各攸当兮，恨见几之不先。心屈佛以悒悒兮^⑤，翳营营之不可留。

沛扬楫以东进兮，顺武昌而下舟。溯岩岸以却视兮。投哀步于斯洲^⑥。

凤山书院赋 有序

廖道南

蔡潮，字巨源，别号霞山。为湖广督学，寓蒲，肇修凤山书院。时道南为诸生，蔡公乃命作《凤山〔书院〕赋》，其辞曰：

霞山先生仰谦山之嵯嵯^⑦，俯涣水之洸洋。背艮岫以枕阴，面晋旭以宾阳。于是乎经野觅土，諏日择吉。鸠工聚材，测景平臬。伐巽木以为宇，拔泰茅以为堂。隆大过以为栋，建书院于凤冈。盖以植人，纪树天纲，考法象，陈典常。而永垂丕休之烈于无疆也。

爰有三湘公子，九嶷大人。馭黄鹄之飙输，参绣麟之云輿。抗招摇以遐征，指摄提而上驰。蹑巉岩而眺望，肆悬河之修词。

公子曰：“窃伏湘湄，遐哉邈矣，不图今日院斯落矣。青青子衿，于胥乐矣。且吾闻诸蓬莱之阳，扶桑发赭^⑧，迷谷扬彤，楸蠹映

① 嫫：美好貌。原文作“嫫”，据《空同集》改。 ② 圆：《空同集》作“育”。 ③ 悼：《空同集》作“增”。 ④ 崢嶸：《空同集》二字倒乙。 ⑤ 佛：怒。原文作“拂”，据《空同集》改。 ⑥ 步：《空同集》作“些”，俱疑“皆”形近误。 ⑦ 嵯嵯：山势盘曲的样子。 ⑧ 赭：红。

波^①。其屈缩枸杖，摇屿其菁葱，乃有青阳之宫。绮疏繁星，藻桷宛虹。安期涉咸池而洗日，羨门登暘谷而凌空。昆仑之西，蚂渊泱泱，泐泽沦漪。冢遂崔嵬其中霞，泰器嵒崎其截霓，乃有素灏之居，晶宫栖魄，璇题纳曦。容成据沙棠而逍遥，韩众依子桐而栖迟。炎僇之南，緬渺丹垠，紆回紫暎。育遂畅薰风之籁，轸岩悬火德之躔，乃有朱明之垣。金支通牖，玉蕤照筵。祝融司祗而开宇甸，赫胥御纪而垦天田。瀚海之北，气凝霜竈，精结冰嶠。吉良产千金之骏驹。吾具五色之质，乃有元景之室。閼家九关，礧礧万壁^②。嘯父掣长鲸而挥擢，任公跨巨鳌而戾颡^③。先生益用龟朋，革孚豹蔚。睇青阳之瞳眈，飡素灏之澈淦。服朱明之陆离，被元景之赫奕。无乃穷四荒、超八极，于焉栖息尔矣。”先生曰：“恣远游者畴与近取诸身，务外观者畴与内求诸心，子言博矣，盍载陈之。”

公子又曰：“太昊乘震，执规司春。玉衡秉信，珠斗回仁。苍骊驾而协气和，鵾鸟巢而条风温^④。于斯之时，红药翻阶，朱槿荫庭。灵运赋池草而冥机自触，孝绰感山樱而雅韵攸成。炎帝成离，执衡司夏。赤鸞鸣晨，丹良烛夜。于斯之时，萝烟裊帷，松风入榭。江淹怀绮树而兴慨皋兰，傅元思秀麦而宣谣田稼。少昊乘兑，执矩司秋。悲台萧瑟，哀壑飕飕。鹊梁迴（面）〔而〕津桥横，蟾桂芬而月殿幽。于斯之时，竹君万个，木奴千头。左思睇翔凤而金飏初动，潘岳咏归燕而玉露方流。颛顼乘坎，执权司冬。同云集霰，寒澌凝淙。日陆旋而品汇藏，星纪周而象纬从。于斯之时，令属元英，律应黄钟。穆王跻平圃而白云缥缈，梁主游兔园而素雪玲珑。先生渐仪鸿羽，鼎食雉膏。煦春元而熙熙，茂夏亨而陶陶，广秋利而肃肃，孚冬贞而昭昭。无乃顺四时，周六虚，于焉居诸尔矣乎？”先生曰：“善言天者必征诸人，善言古者必准诸今。子言近矣，愿终陈之。”

① 橄●：山名，见《山海经·东山经》之首。 ② 礧礧：山石的样子。

③ 戾颡：一种龟。 ④ 鵾鸟：燕子。

公子又曰：“粤稽有汉，西雍是京。嵯峨虎观，蜿蜒凤城。麒麟煮鼻而芙蓉披，鸚鵡頰頰而椒兰荣。乃有承明之庐，著作之庭。铜龙承宇，金马标门。方朔占岁星之色象，更生招太乙之威神。粤稽有晋，江左载作。钟山龙蟠，石城虎跃。显阳鞞炳而亘赤乌，永安离奇而延朱雀。乃有华林之圆，升元之阁。江实浮波，山葩吐萼。陆机咏芳藻以敷文，谢眺赋青山而寻乐。粤稽有唐，起于晋阳。华清毓秀，兴庆蜚香。勤政通天而接熊耳，飞山凝碧而起鸛翔。乃有结璘之楼，郁仪之堂。虬漏宵沉，铃索昼张。李白摘辞而焜煌鳌掖，韩休抗疏而飞翥鸾章。粤稽有宋，昌于汴京。浑河为池，嵩岳为城。嘉惠嘉福，以延弘庆；纯和熙和，以联迩英。乃有徽猷之制，宝谟之箴。十阁丛起，两制并名。易简承恩而御书飞白，永叔视草而史策垂青。先生节以制度，颐以保贞。绍汉贤之高躅，步晋哲之芳尘，追唐臣之逸轨，播宋儒之光灵。无乃兼四代，冠群英，于焉浚明尔矣乎？”先生曰：“载事者存乎史，载道者存乎经。子言美矣，吾何能焉？”

九嶷丈人喟然叹曰：“於乎，繁嘻！子知其一，未知其二也。夫北人见布而疑麇^①，越人见罽而疑毳^②，拘乎艺也，奔蜂不能化桑蠋，伏雌不能伏鹄卵，泥乎类也。若公子者，未免驰志艺文之末而或遗其本，游精散殊之博而靡得其约也已。乃若先生之登兹凤山也，其东则有丰财、灵应，幽兰、点笔，萧堆仙云，雪峰丫髻，河抱石牛而掩映星河，溪洄赤马而虚涵天目。其西则有铁山、壶山，蒲首、瑞云，感山、庐山、芙蓉、石门，湖出二罗而澄潭潏蓄，水趋六口而长江吐吞。其南则有桃花、白石，月山、梅岑，金紫、五洪，云台、荆泉，鹿洞谿谿，而林阴夕合，羊楼岨岨，而崖花昼妍。其北则有龙翔行将，凤隐、石盆。雷坛、天马，明水、山门，北渡浮舟而汙樽怀古，西寻遗堞而乌石藏灵。是故凤凰于飞，维石岩岩。三峰层峦，五水萦湾。金叠石笋，金台云磐。隆冈秀起而趋翼南门，平原衍彝而回抱西

① 麇：麻，指麻布。 ② 罽：毡类毛织品。 毳：鸟兽毛。

关。是故其为书院也，其中则有集云之楼。峥嵘绉绉，崑崙绸缪。飞甍特起，丛枿孔修。若升元圃之丘，烂瑶宫，森贝闕，朝暉入，而暮靄浮。其左则有无逸之所，堂曰“颐贤”，丽泽辅友。斋曰“六行”，慎修恪守。若窥琼林之牖，辨商彝，测姬卣，辉璧月而灿珠斗。其右则有务敏之轩，堂曰“文会”，列鼎鸣弦，斋曰“六德”，仰高钻坚。若升石渠之筵，庇广厦，履细旃，罗宝典而肆瑇篇。其前则有叠翠之门，灵峰矗立，河流吐吞，蛟腾虎变，鹄举鸢骞。若排建章之阁，金支簇，朱旗翻，浥仙掌而迎朝暉。其后则有六峰之亭，仰高游息，耽幽会冥，窗草交翠，野竹摇青。若入华林之园，采芝秀，纫兰馨，杳鹤渚而回鳧汀。是故山以凤灵，院以山名。先生之建兹院、设兹教也，而岂徒哉！昔者凤凰之为世瑞也，轩辕临元扈而受图，伶伦适嶰谷而协律。高辛聆音而拊鞞，少昊名官而纂历。巢于阿阁，尧命羲和以授时；仪于箫韶，舜察璇玑以齐政；翔于紫庭，文王占景纬而游歌；止于岐山，召公陈《卷阿》而讽咏。兹盖传之道统，纳之世轨；昭之人文，章之物采；示之贤规，约之邦纪。所以淑斯文者，懋矣；望诸生者，厚矣。视唐之集贤、丽正、舍象、光顺，宋之嵩阳、白鹿、石鼓、岳麓，盖异世而同符焉尔矣。先生闻之，有睟其容^①，有盱其衡^②，喟然叹曰：“有是哉！”

九嶷丈人乃歌曰：“惟九嶷兮，蒲山之宗。仁者寿兮，静斯同。”三湘公子亦从而歌曰：“惟三湘兮，莼水之濛。智者乐兮，动斯同。”先生乃赓载歌曰：“九嶷嶽嶽兮，君子以崇德；三湘潏潏兮，君子以广业。吾与吾徒期大同兮，永贞吉。”

国朝

黄鹤楼赋 有序

胡梦发

鄂渚黄鹤楼，《志》称费文祗乘黄鹤憩此；相传王子安、回道人

① 睟：温和慈祥。② 盱其衡：举眉扬目。

亦曾驻鹤。江山盘郁，栖真隐灵。其信然邪！或谓楼踞黄鹄矶上，“鹄”、“鹤”字音义相类，故名。抑何与前说戾也！要创始江左，以前观任昉《述异记》所载荀瑰事可见。爰自癸未，劫灰飞荡。后则小构仅存。今兹阙逢执徐之岁^①，复灾。督府中丞奋兴率作，拓而新之。巍巍翼翼，恢旧观矣。梦发遂率狂瞽著赋，其辞曰：

洪惟井络含精，云汉流英。溶溶沄沄，交带合襟。紫三楚之都会，表鄂（诸）[渚]之丰城。耸天地之奇峭，峙夹岸之崑崙^②。束洪渊于峻阬^③，象元武之威神^④。尔乃当山之首，面汉之阳。铲崇冈而缮堞，剝隆阜而高骧^⑤。石余怒以水饮，巖黄鹄于中央^⑥。

越兹楼之肇启，溯灵迹其弥长。羽客曾经税其云驭，高人则又覩夫虹裳。惟诡异纷其可悦，故列真从而徜徉。或探橘怀中，或落梅城畔；或结枣如瓜，或掷桃若嵌；或石镜留书，或异香不散。日至月游，风臻雾涣。于是构兹闲馆，基峻俯深。景以地胜，地以仙灵。巨观既毁，草创徒存。鲁共之制蔑赌，楚望之实匪称。蜚廉𡵓而祝融作^⑦，柏梁灾而建章营。

则有九州作牧，万邦为宪。声震穷谷，仁蔼春甸。叔子忠公，士行机鉴。乃萃宾寮，维藩维翰。相兴览焉，感而再建。尔其庀材也，荆山杞梓，蜀道楠樟。下衡湘，历岷江。以聚乎郭门之旁。千夫吁噢而后作^⑧，五丁戾殛而始行。削之，旋纹簇锦；屑之，郁烈芬芻。莫不直将仞度，围假寻量。其鳩工也，梓人之长，都料之匠。斧斤非任，引墨是尚。审曲面势，具巧呈象。抚小图大，以规鼎创。匠石辍技而咨嗟，后倅含指而惆怅。排修楹而特起，并干郁以崇跻。陋觚棱之恒制^⑨，造员峤之殊仪。极嵯峨以上锐，宇纓紆而闪施。擢莲台与

① 阙逢执徐之岁：甲辰年的专称。 ② 崑崙：山势不平的样子。

③ ●：门。 ④ 元武：“玄武”为避讳改字，指龟蛇。 ⑤ 剝：疑“剝”异体字。 ⑥ 巖：疑“矶”异体字。 ⑦ 𡵓：“鲜”的异体字。 ⑧ 吁噢：同邪许。 ⑨ 觚棱：宫阙转角处呈棱瓣形的瓦脊，也指宫阙。

仙掌，象华盖之葳蕤。游梦亘其龙矫，浮栋宛以虹綏。侏儒踰居而拱负，虬螭蟠结而梁栖。罽毼被绮而交蒂^①，藻井垂葩而倒披。顾兔摩轮于锁闼，翔鸟拂羽于璇题。枅栌累叠^②，榱桷截业。修掞曲，按鄰比。密接盘，虚驾回。繁芒乱泽，雕栴文楣。动即回惑踟蹰，黄羽盈壁绘列。岂繄毳毼，招之可得。躡层梯以百尺，扣危栏而上征。行周流于复道，启朱鸟之窗扃。奂重檐乎阁外，中寥廓而仑囷。逼中天之丽彩，来万里之空青。疏八风以洞达，势随摇而匪宁。玩神明于峻极，畴缥缈而虞倾。

于是万井烟生，九衢尘鹜。金羊入市，刀龟作布。居比蜂联，行同蚁顾。人分马寸，喧阗擊互。一往一来，孰知其故？国门荡荡，目无遗遘。渺众山其已卑，彼陀陂焉足数？可以推大别，蹙晴川^③。凌八极，傲三山。荡心胸，生羽翰。御风行，善冷然。释人寰之憔悴，挹灏气而孤骞。若夫江流浩浩，终古不息。一望金沙，两辨赤壁。夏浦对崢嶸之洲，白虎连凤鸣之渚。无风犹浪，触石逾激。骤江妃与水母，驰川后与渊客。沈冥昼晦，磕磅霹雳。孟婆怒吼，澎湃淳潏。玉马骏奔，白鹭竦立。凭槛睨射，胆魄怵栗。悲贾客之颠危，讶舟师之利疾。固已吞云梦于胸中，不必观广陵之秋汐。

是以楼惟三上，登有千绪。物与时迁，情因景会。至若光风骀荡^④，杜若兰薰。芳洲草绿，不为王孙。叹祢生之才调，意何有乎众宾？诂倜傥之致咎，擅一赋而流声。衣沾鹦鹉，路指凤凰。江山清壮，台观琳琅。霞景灭没于丹楯^⑤，云物蒙绕于华瑯。凭高极远，载阴载阳。斜辉鸦背而低度，余烟木末而悠扬。汰蠓螻之游氛，希鸾鹄之骖翔。及夫璧月流天，金波滉砌，瑶星愈迤，银河乍溢。半空飘铃铎之声，隔浦响渔舟之笛。将神旷乎尘外，抑事符于天际。足使仲宣罢登，岳阳辞记。寂瑶台之笙鹤，咽秦楼之凤吹。

① 罽毼：建筑上阻拦鸟雀的网。 ② 枅栌：梁上方木。 ③ 蹙：通“蹴”，踢。 ④ 骀荡：悦怡。 ⑤ 楯：栏杆的横木。

于斯时也，墨妙笔精之士，吴吟郢调之徒，怀紫霞之逸志，侣白云以遨游。方乘兴而腾赏，遂远目以销忧。携雅朋而酌醴，揽胜概而扬讴。始淋漓于四壁，终轹轳夫千秋。嗤青莲之阁笔，何崔颢之难侔？雄气毕，广心裁。幽径迳^①，翠微来。金容礼，紫关开。黄粱炊而欲寤，玉笛杳而还猜。瞻遗像之仿佛，闻步虚乎啾谐^②。庶其旦莫遇之^③，而曰：“弃妻子如敝屣哉！”阻蓬莱于弱水，想昆仑之五城。谅斯地之无让，故数驾夫胎禽。虽神明其必眷，候人谋而始兴。

所以二公之经营也。时既丰矣，民既和矣。于焉大作，孰不悦喜？费徒取夫禄糈，役无骚乎闾里。既飏合而雷奔，亦山集而川委。材不露而加福^④，朴不示而咸镂。愜人情以改为，会何伤乎侈靡？盖三湘七泽之称首，而五方名胜之观止也。是故望之若云垂，仰之如霞起，熊熊光耀，纷不可理。罔象慑而潜形，奇相訾而顺轨。洵凭壙之巨镇，扼江汉而为纪。张楚国之雄风，扇诸侯之盛美。王勃赋而骋才，吉甫燕而受祉。并霄壤兮齐终，奋弱管兮聊拟。

乱曰：元气溟濛，方外遐踪，有丹丘兮。仙飞鹤舞，朝唼夕酤，于此楼兮。邦君孔嘉，修废增华，嫩风猷兮。崔嵬巖崑，天临地涌，与神谋兮。金碧焜煌，激景江光，眩曷瘳兮。穿穹上出，瞬眴恍惚，纷相繆兮。养素含精，吐纳元英，乃许游兮。愜恨高寄，四海无匹，俨清都兮。隐隐真真，静正群生，猗君侯兮。矗乎閼特，奠我大国，永无忧兮。

游洪山赋 有序

裴天锡

昔兴公《天台》，明远《芜城》，皆极山川之绵邈，戛金石之铿锵。此固才人之致，斐然之作也。余陟观郊外，揽胜洪山。登眺之余，慨焉寄志。敢云躡景曩贤，聊以怡情时会云尔。

① 迳：曲折连绵。 ② 啾谐：乐声缓慢和谐。 ③ 莫：“暮”的古字。

④ 福：充满。

灵雨初零，和飏袞薰^①。驾我骐驎，届此良晨。既因时而畅志，亦谋野以问耕。眺废宫之苍凉，听垌牧之嘶鸣。俨亭台于空外，度内府之新声。信物类之易迁，怅荣悴其倏更。仰贤哲之嘉谟，贵立德以垂馨。

于是出闾都，循郊埭。市喧歇，野香发。幕芸烟于菰圃，漾曲尘于芳陌。云冉冉而停俟，泉涓涓而波活。忻丽景之开鲜，恬愿侗之民质。庞眠篱以守畔，鹑隐藁而啄粒。戒前驄其勿哗^②，静闲闾之动息。尔乃岚绕翠螺，畴铺碧莎。屹参差之垠堦，衍蜿蜒之陂陀。雉鸢麦而翻浪^③，莺拖柳以织梭。睫璀璨于髹桷，襟豁朗于磊砢。衡宇连櫺，衢术逶迤。铸蟠龙之黝黝，嵌崔巍以攫拿。并围镇之玉带，移故物于铜驼。

夫何舍卫之肇基兮，繄梦泽之鸞峰。郁扶輿之清英兮，峙层城之穹窿。岳崇号于“大洪”兮，院勒名曰“宝通”。戍削于仙李之俶纪兮，感祥于慈忍之济宗。乃闾岬之鼎建兮，遂騫翔于鄂封。耸琉璃之飞甍兮，绚淋漓之文龙。转三车于化城兮。开四映之迦宫。

由唐越宋，多阅年祀。霏沕暘蒸，霜摧飏暄。井藻缘桷^④，斑莓隸砌。鼯鼯啸侣而陆梁，伊威翕群而欢悦。烟冷桑蒲之炊，雨堕金仙之泪。岂灵光之岿然？类黄陵之将圯。匪巨力与精诚，畴振颓而厘废？

爰有清忠统使，居士无庵。挽阳戈于嵒晚，超羲解于极先。悟梵刹之建竟，协考卜而缔旃。相巘原而云布，缀遄遄以星联。罗狮貔之瑰诡，肃檀藏之庄严。定岩扃之形模，已结络于垓埏。逮前明之中叶，更增美于雄藩。

前有轩亭兮，矫翼以髣髴。后则涌塔兮，盘空而崑嶷。儼三阶之履泰兮，递历级而峻层。象九宫之列垣兮，位大雄于爽垲。甲南国

① 飏：风。 ② 驄：古代掌管养马驾车的人。 ③ 鸢：野鸡叫。

④ 桷：方形的椽子。

兮，俯格泽之经躔；拱北辰兮，轶芝葩之擎盖。凭土木兮称贤，浩劫灰兮不改。忽隐现兮何穷，诉古今兮寤恹。

余乃倚目乎泱漭之域，旷怀于缥缈之乡。思茅茨之不剪，宁僭饰以辉煌。纷野马之氤氲，愿问途以偕臧。日衔山而霭紫，葭茁水以凝苍。企伊人于湄浹，慕沂舞之徜徉。叹咏归而喟然，识进取之有狂。敢旁希夫由径，旋税驾于周行。

诗

五言古

南朝

登黄鹤矶

鲍（昭）〔照〕

木落江渡寒，雁横风送秋^①。临流断商弦，瞰川悲棹讴。适郢（东无）〔无东〕辕，还夏有西浮。三崖隐丹磴，九派引沧流。（竹泪）〔泪竹〕感湘别，弄珠怀汉游。岂伊乐饵泰^②，得夺旅人忧。

和伏武昌登孙权故宫

谢（眺）〔朏〕

炎灵遗剑玺，当涂骇龙战。圣期缺中壤，霸功兴（寓）〔宇〕县。鹄起登吴山^③，凤翔陵楚甸。衿带穷岩险，帷帟尽谋选。北拒溷骖镳，西戡收组练。江海既无波，俯仰流英盼。裘冕类裡郊，卜揆崇离殿。钓台临讲阅，樊山开广燕。文物共葳蕤，声（名）〔明〕且葱蒨。三光厌分景，书轨欲同荐。参差代祀忽^④，寂寞市朝变。舞馆识余基，歌梁想遗啭。故林衰木平，荒池秋草遍。雄图怅若兹，茂宰深

① 横：《先秦汉魏晋南北朝诗》作“还”。 ② 乐饵泰：《老子》：“乐与饵，过客上。” ③ 山：《先秦汉魏晋南北朝诗》作“台”。 ④ 代：《先秦汉魏晋南北朝诗》作“世”。

遐眷。幽客滞江皋，从赏乖缨弁。清卮阻献酬，良书限闻见。幸籍芳音多，乘风采余绚。于役倘有期，鄂渚同游衍。

渡西塞望江上诸山

江淹

南国多异山，杂树共冬荣。潺湲夕涧急，嘈嘈晨鹄鸣。石林上参错，流沫下纵横。松气鉴青藹，霞光铄丹英。望古一凝思，为滞桂枝情^①。结友爱远岳，采药好长生。尚畏佳人晚^②，秋兰伤紫茎。海外果可学，会当溯蓬瀛^③。

入西塞示南府同寮

何逊

露清晓风冷，天曙江晃爽。薄云岩际出，初月波中上。黯黯连嶂阴，骚骚流沫响。回楂急碍浪，群飞争戏广。伊余本羁客，重睽复心赏。望乡虽一路，怀归成（岐）〔岐〕想。在昔爱名山，自知欢独往。情游乃落魄，得性随怡养。年事以蹉跎，生平任浩荡。方怀让彝语，谁知羨鱼网？

唐

度石门山 五言排律，误入古风。

杜审言

石门千仞断，迸水落遥空。道束悬崖半，桥欹绝涧中。仰攀人屡息，直下骑才通。泥壅奔蛇径，云埋伏兽丛。星缠牛斗北，地脉象牙东。开塞随行变，高深触望同。江声连骤雨，日气抱残虹。未改朱明律，先含白露风。坚贞深不惮，险涩谅难穷。有异登临赏，徒为造化功。

① 为：《先秦汉魏晋南北朝诗》作“留”。 ② 尚：《先秦汉魏晋南北朝诗》作“当”。 ③ 会当溯蓬瀛：《先秦汉魏晋南北朝诗》作“岁暮诵仙经”。

鄂渚招王昌龄、张偿^①

常建

刘芦旷野中，沙上飞黄云。天晦无精光，茫茫悲远君。楚山隔湘水，湖畔落日曛。鸿雁又北飞^②，音书固难闻。谪居未为叹，谗枉何由分？五日逐蛟龙^③，宜为吊冤文。翻覆古其然，名宦安足云？贫士任枯（稿）[稿]，捕鱼清江渍。有时荷犁锄^④，旷野自耕耘。不然春山隐，溪涧花氤氲。山鹿自有场，贤达亦顾群。二贤归去来，人世徒纷纷^⑤。

西山

常建

一身为轻舟，落日西山际。常随去帆影，远接长天势。物象归余清，林峦分夕丽。亭亭碧流暗，日入孤霞继。渚日远阴映，湖云尚明霁。林昏楚色来，崖远荆门闭^⑥。至夜转清迥，萧萧北风厉。沙边鸥鹭泊，宿去蒹葭蔽。[圆月逗前浦，孤琴又摇曳。冷然夜遂深，白露沾人袂。]

哀秘书监江夏李邕^⑦

杜甫

长啸宇宙间，高才日沦替^⑧。古人不可见，前辈复谁继？忆昔李公存，词林有根柢。声华当健笔，洒落富清制。风流散金石，追琢出岳锐^⑨。情穷造化理，学贯天人际。干谒走其门，碑版照四裔。各满深望还，森然起凡例。萧萧白杨路，洞彻宝珠惠。龙宫塔庙涌，浩劫浮云卫。宗儒俎豆事，故吏去思计。盼睐已皆虚^⑩，跋涉曾不泥。向来映当时，岂独劝后世？丰屋珊瑚钩，麒麟织成罽。紫骝随剑几，义

① 偿：《全唐诗》卷一百四十四作“债”。 ② 鸿：《全唐诗》作“春”。

③ 五：《全唐诗》作“午”。 ④ 犁锄；《全唐诗》作“锄犁”。 ⑤ 人世：《全唐诗》作“世上”。 ⑥ 崖：《全唐诗》作“岸”。 ⑦ 《全唐诗》卷二百二十二作《八哀诗·赠秘书监江夏李邕公》。 ⑧ 沦：《全唐诗》作“陵”。

⑨ 出：《全唐诗》作“山”。 ⑩ 盼：《全唐诗》作“眄”。

取无虚岁。分宅脱骖间，感激怀未济。众归颺给美，摆落多藏秽。独步四十年，风听九皋唳。呜呼江夏姿，竟掩宣尼袂。往者武后朝，引用多宠嬖。否臧太常议，面折二张势。衰俗凜生风，耕荡秋旻霁^①。忠贞负怨恨^②，宫阙深旒缀。放逐早联翩，低垂困炎厉。日斜鵬鸟入，魂断苍梧帝。荣枯走不暇^③，星驾无安税。几分汉庭竹，凤拥文侯簪。终悲洛阳狱，事近小臣毙。祸阶初负谤，易力何深诘！伊昔临淄亭，酒酣托末契。重叙东都别，朝阴改轩砌。论文到崔苏，指尽流水逝。近伏盈川雄，杨公炯，未甘持进丽李公峤。是非张相公，张相说，相扼一危脆。争名古岂然？关键歛不闭。倒及吾家诗^④，旷怀扫氛翳。慷慨嗣真作，和李大夫，咨嗟玉山桂。钟律俨高悬，鲲鲸喷迢递。坡陀青州血，芜没汶阳瘞。哀赠竟萧条，恩波延揭厉。子孙在如线^⑤，旧客舟疑滞。君臣尚论兵，将帅接燕蓟。朗咏《六公篇》，公有张相第五王洎秋相《六公诗》，忧来豁蒙蔽。

送夏侯子之江夏

贾至

扣楫洞庭上，清风千里来。留欢一尊酒^⑥，欲别复徘徊。相见楚山下，渔舟忆钓台。羡君还旧里，归念独悠哉。

望鹦鹉洲赠祢衡^⑦

李白

魏帝营八极，蚁视一祢衡。黄祖斗筲人，杀之受恶名。吴江赋鹦鹉，落笔超群英。锵锵夏金玉^⑧，句句欲飞鸣。鸩鸩啄孤凤，千春伤我情。五岳起方寸，隐然讵可平？才高竟何施？寡识冒天刑。至今芳洲上，兰蕙不忍生。

① 耕：《全唐诗》作“排”。 ② 怨：《全唐诗》作“冤”。 ③ 暇：湖南本作“暇”。 ④ 倒：《全唐诗》作“例”。 ⑤ 在：《全唐诗》作“存”。 ⑥ 尊：《全唐诗》作“杯”。 ⑦ 赠：《全唐诗》作“怀”。 ⑧ 夏：《全唐诗》作“振”。

黄鹤楼送康太守^①

王 维

城下沧江水，高高黄鹤楼^②。朱栏将粉堞，江水映悠悠。铙吹发夏口，使君居上头。郭门隐枫岸，候吏趋芦（州）[洲]。何异临川郡，还逢康乐侯^③？

江夏送客^④

孟浩然

以我越乡人^⑤，逢君谪官者^⑥。分飞黄鹤楼，流落苍梧野。驿使乘云去，征帆沿溜下。不知从此后^⑦，别袂何时把^⑧。

樊山漫作^⑨

元 结

漫家郎亭下，复在樊水边。去郭五六里，扁舟到门前。山中竹绕舍^⑩，庭中有寒泉。西边双石峰，引望堪忘年。四邻皆渔父，近渚多闲田。且欲学畊钓^⑪，于斯求老焉。

窳樽诗^⑫

元 结

巉巉小山石，数峰对窳亭^⑬。窳石堪为樽，状类不可名。巡回数尺间，如见小蓬瀛。樽中酒初涨，始有岛屿生。岂无日观峰，直下临沧溟。爰之不觉醉，醉卧还自醒。醒醉在樽畔，始为吾性情。若以形胜论，坐隅临郡城。平湖近阶砌，远山复青青^⑭。异木几十株，枝条冒檐楹^⑮。盘根满石上，皆作龙蛇形。酒堂贮酿器，户牖皆罍瓶。此樽可常满，谁是陶渊明？

① 《全唐诗》卷一百二十五题无“黄鹤楼”。 ② 高高：《全唐诗》作“江边”。 ③ 逢：《全唐诗》作“劳”。 ④ 《全唐诗》卷一百五十九题作《江上别流人》。 ⑤ 人：《全唐诗》作“客”。 ⑥ 官：《全唐诗》作“居”。 ⑦ 后：《全唐诗》作“分”。 ⑧ 别：《全唐诗》作“还”。 ⑨ 山：《全唐诗》卷二百四十一作“上”。 ⑩ 此句《全唐诗》作“山竹绕茅舍”。 ⑪ 畊：“耕”的古字 ⑫ 《全唐诗》有注“在道州”。 ⑬ 窳：方言词，下凹、低陷。 ⑭ 远：《全唐诗》作“近”。 ⑮ 枝：《全唐诗》作“林”。

招孟武昌 并序

元 结

漫叟作《退谷铭》，指曰^①：“干进之客，不得〔能〕游之。”作《杯湖铭》，指曰：“为人厌者，勿泛杯湖。”孟士源常黜官，无情干进，在武昌，不为人厌。可游退谷，可泛杯湖，故作诗招之。

风霜枯万物，退谷如春时。穷冬涸江海，杯湖澄清漪。湖尽到谷口，单船进阶墀^②。湖中更何好？坐见大江水。欹石为水涯，半山在湖里。谷口更何好？绝壑流寒泉。松桂荫茅舍，白云生坐边。武昌不干进，武昌人不厌。退谷正可游，杯湖任来泛。湖上有水鸟，见人不会鸣。谷中有山兽，往往随人行。莫将车马来，令我鸟兽惊。

赠僧皎然

颜真卿

秋意西山多，别岑紫左次。缮亭历三癸，趾趾邻什寺。元化隐灵踪，始君启高致。诛蓂养翹楚，鞭草理芳穗。俯砌披水容，逼天扫峰翠。境新耳目换，物远风尘异。倚石忘世情，援云得真意。嘉林幸勿翦^③，禅侣欣可庇。卫法大臣过，佐游群英萃。龙池护清澈，虎节到深邃。徒想嵎顶期，于今没遗记。

葛山^④

孙 逖

圆潭写流月，晴明含万象^⑤。仙翁何时还？绿水空荡漾。凉哉草木腓，白露沾人衣。犹醉空山里，时闻笙鹤飞。

登西山^⑥

柳宗元

鹤鸣楚山静，露白秋水晓^⑦。连被度危桥^⑧，萦回出云杪^⑨。西岑

① 指：旨意、意向。 ② 进：《全唐诗》作“近”。 ③ 翦：《全唐诗》作“剪”。 ④ 《全唐诗》卷一百十八题为《葛山潭》。 ⑤ 含：《全唐诗》作“涵”。 ⑥ 《全唐诗》卷三百五十二题为《与崔策登西山》。 ⑦ 水：《全唐诗》作“江”。 ⑧ 被：《全唐诗》作“袂”。 ⑨ 云：《全唐诗》作“林”。

极远目，毫末皆可了。重叠九嶷高，微茫洞庭小。迴穷两仪际，高出万象表。驰景泛颓波，遥风迎寒筱。谪居安所习？稍厌从纷扰。生同胥靡遗，寿等彭铿夭^①。蹇连困颠踣^②，愚蒙怯幽眇。非令亲爱疏，谁使心神悄^③？偶兹遁山水，得以观鱼鸟。吾子幸淹留，缓我愁肠绕。

寻西山隐者不遇

丘 为

绝顶一茅茨，直下二三里^④。扣关无僮仆，窥室唯案几。若非巾柴车，应是钓秋水。差池不相见，黽勉空仰止。草色新雨中，松声晚窗里。及兹契幽绝，自足伤心耳^⑤。虽无宾主意，颇得清净理。兴尽方下山，何必待之子^⑥？

宋

游武昌寒溪寺

欧阳修

连山蟠武昌，翠竹蔚樊口。我来已百日，欲济空搔首。坐看鸥鸟没，梦逐麝麋走。今朝横江来，一苇寄衰朽。高谈破巨浪，飞屐轻重阜。去人曾几何？绝壁寒溪吼。风泉两部乐，松竹三益友。徐行欣有得，艺术在蓬莠。西上九曲亭，众山皆培塿。却看江北路，云水渺何有？离离见吴宫，莽莽真楚薮。空传孙郎石，无复陶公柳。尔来风流人，惟有漫浪叟。买田吾已决，乳水况宜酒。所须修竹林，深处安井臼。相将踏胜决，更裹三日糗。

黄州陪子瞻游武昌西山

苏 辙

千里到齐安，三夜语不足。劝我勿重陈，起游西山麓。西山隔江

① 等：《全唐诗》作“比”。 ② 踣：牵绊，《全唐诗》作“踣”。

③ 悄：忧愁的样子。 ④ 下二三：《全唐诗》作“上三十”。 ⑤ 伤：《全唐诗》作“荡”。 ⑥ 之子：一作“夫子”。

水，轻舟乱鳧鹭。连峰多回溪，盛夏富草木。策杖看万松，流汗升九曲。苍茫大江涌，浩荡众山蹙。上方寄云端，中寺倚岩腹。清泉类牛乳，烦热须一掬。县令知客来，行庖映修竹。黄鹅特新煮，白酒亦近熟。山行得一饱，看尽千山绿。幽怀苦不遂，滞念每烦促。归舟浪花暝，落日金盘浴。妻孥寄九江，此会难再卜。君看孙讨虏，百战不摇目。犹怜江上台，高会饮千斛。巾冠堕台下，坐使张公哭。异时君再来，携被山中宿。

发咸宁行松径至芦子^①

黄庭 [庭] 坚

咸宁走芦子，终日乔木阴。太丘心洒落，古松韵清深。聊持不俗耳，静听无弦琴。非合胡部律^②，而独可人心。

出兴国郊劝农

周紫芝

星言出郊坰，缓轡遵微途。陂池湛新绿，阡陌问上腴。春色向睨晚，农事日已趋。有司奉汉诏，训辞宣帝谟。父老数十辈，龙钟发皤如。扶杖前致辞，谓当极勤劬。曩也事格斗，今皆反田庐。农桑遂温饱，里胥缓征诛。兹焉不以力，是自贻瘠癯。椒浆酌大斗，起坐时劝呼。相期当腊蜡，庶几悦须臾。殷勤颇自愧，小信殊未孚。倘非获三登，何以谢汝徒？同寮数君子，妙略怀远图。愿言规迟暮，共此丰岁娱。

元

望黄鹤山张君

沈如筠

寂历远山意，微杳半空碧。绿萝无春冬，彩烟照朝夕。张子海内

① 《黄庭坚诗全集》题作《鄂州节推陈荣绪惠示沿檄崇阳道中六诗，老懒不能追韵，辄自居韵奉和之——晚发咸宁行松径至芦子》。 ② 合：《黄庭坚诗全集》作“今”。

奇，文为岩廊客。圣君多梦想，安得老松石？

明

眺杯湖寻元次山宅

王锡爵

肃船下湘渚，巉石当其崖。清川带烟霞，碧岑远尘埃。回冈秀林木，触处崇亭台。昔有漫郎者，卜筑溪山隈。风月满户牖，吟弄招朋侪。钓石隐礧溪^①，梧琴调徂徠。斯人不可作，高标遗九陔。岩岩十丈碑，千古无苍苔。我行滞江皋，郁抱终以开。徘徊且登眺，白云入我怀。寄语赏心客，明年还复来。

江夏题王太守城南精舍

徐桢卿

林步不觉远，溪流随兴长。悠然深竹里，独往丝萝庄。山色佳南郭，平畴连北堂。野人来荷锄，蚕月百草芳。寤惬白雪赏，载谣丛桂章。垂杨足池鲤，闲牖有壶觞。念此牵情性，何劳缁素裳？

将适郢城饮饯黄鹤楼作

徐学谟

兹楼匪往覩，冉冉惊代移。黄鹤恋旧渚，飞薨复参差。予亦縻尺组，历稔欣来斯。山川旷畴昔，超忽纡襟期。于时及春霁，澄景丽以披。英僚集时彦，芳宴挹华滋。迢迢汉阳郭，隔岸纷旌麾。云水入夕阴，迟我以驱驰。眷焉蒙惠盼，扳赏未云疲。班马方萧萧，沅潯临路（岐）[岐]^②。猥忝旬宣寄，空藉岁月私。悠悠逐物役，愧未询菑嫠。

金叠山

黎公弁

青山天际来，势若双飞蛾。平明宿雨收，岚气生林阿。非烟亦非

① 礧溪：水名，在陕西宝鸡市东南。相传周吕尚未遇文王时，垂钓于此。此指吕尚。 ② 沅潯：水面辽阔的样子。

雾，炫日金碧多。流莺缓语处，坐爱春风和。

白石山

廖道南

白石层巘岼^①，清泉响潺湲。闲云抱幽石，倦鸟巢空山。野老相对酌，寒宵相与还。

西塞山前别子行作

吴国伦

鄂渚多名山，蜿蜒绕江介。遘兹清和景，与子同游迈。上下三百里，惊涛莽澎湃。小洄溯大洄，辍棹探奇概。涉巘摩穷霄，分泉汲沆漑。回舟遇天风，须臾下西塞。巨浪排山鸣，积石亦诡怪。揽衣造其巅，业已出霞背。南北铎一水，众山俱垒块。岩藏古玄宫，列坐无纤碍。黄冠煮新茗，童子进鲑菜。浅酌聊数行，白日垂瑗瑱。庶几古逸民，清言自为快。眷眷十日饮，遂恐千秋代。子行将何之？既留忽长慨。胜迹杳未穷，良晤难可再。愿比双黄鹄，逍遥九天外。

重阳后一日登西山

吴国伦

九日不登高，烟霜淡林麓。十日秋气清，西山倚天矗。复道纡新綦，琳宫隐扶木。振衣蹑其巅，一纵千里目。荒城大如斗，众山渺焉伏。扫石坐层云，鸣钟发幽谷。僧至焚妙香，居然在天竺。忽闻西域莲，掩彼南阳菊。何言非吾土？良游此堪卜。

涌月台

游士任

登台一长啸，鹤惊云欲徙。极目尽太虚，太虚正如洗。光浮石骨寒，沫喷金沙起。萧然见短碣，锥画逼籀史。苍藓食断纹，古香从荒靡。依稀闻铁笛，梅花落其里。此下豁古洞，可有青泥髓。

① 巘岼：山峰陡峭的样子。

武昌孟诞先来寒河见访

谭元春

退谷与杯湖，元孟分主客。不为人所厌，至今人叹息。幸而子相念，使我如古昔。

菩萨泉

谭元春

山雨出山流，过草淅淅然^①。遥立山寺听，知为菩萨泉。文殊光不没，溪禽白如烟。疏素以相对，遂忘终日焉。

寒溪寺

释戒显

寒溪始何时？远公旧法窟。开肇先东林，筑桥未薜没。下有古涧泉，昼夜流汨汨。低眉试一鉴，幽凉沁心骨。东坡高韵在，“九曲亭”兀突。江天浩淼茫，对面悬赤壁。私幸远祖缘，来往时相值。何当凿莲池！一洗林泉色？

国朝

晓登黄鹤楼

王孙蔚

崔嵬江上楼，高枕黄鹤脑。振衣踏丹梯，不觉入苍昊。下界尚熹微，海日及我早。霁影青天落，山郭互回抱。万户起风烟，秋深武昌道。凭栏澹忘归，畏向尘中老。月下岂无笛？亭前仍植枣。不见跨鹤人，相与为倾倒。且复白云边，极目望三岛。

谒吴忠烈公墓

魏廷谟

延陵观周乐，精气贯鸿蒙。维楚界南服，诗见二南中^②。挺生皋、夔佐，直节标丹衷。明季值熹庙，阍珰称上公。击奸首发难，总宪杨大洪。赤血洒殿廷，浩气归长虹。钟元孙先生《墓表》有杨公大洪击珰本末。豸冠名御史，白简风雷同。巧佞居政府，巨恶首为

① 淅淅：同淙淙，水声。 ② 二南：周南、召南，诗经十五国风之二。

戎。阴霾蔽日月，谗口塞圣聪。矫诏杀直臣，白昼为晦蒙。拜杖皆主恩，臣敢恤其躬。北堂有滂母，勉子以効忠。方其草疏时，鬼泣于幽宫。灭烛心愈烈，捐身气愈崇。下与龙比游，无成乃有终。英主践帝座，褒嘉皆至公。何以报直臣？宝鼎及彤弓。何以答圣明？碧血洒苕弘。恩纶光泉壤，春秋俎豆丰。青史纪盛事，典礼何崇隆。任丘吴季君，忠孝躋高踪。墓表插云汉，祠宇敞巍宏。痛此孺慕怀，白首尤冲冲。我来拜阡草，松楸郁青葱。君家产奇英，述继本源通。里人诵先德，发粟周困穷。生公真不偶，维岳来衡嵩。千秋万岁后，正气盈苍穹。

癸亥夏泛武昌望黄鹤楼

熊开楚

作客频依水，蓬窗此销夏。微风入帆来，一望长江泻。已非谢公屐，又愧米颠画。悠然千载心，荡漾山月夜。

中秋后一日游天台山

官抚邦

苍山无暑来，况入清秋半。岭路转疏烟，松阴荫遐览。肃杖探独秀，峰峰竞回面。意自相伯仲，色受云岚变。会当凌虚无，乃以群峦限。林闼住游禽^①，风香趋古殿。岿然经阁开，草木得清粲。空阶夜无寐，情想月上淡。

拟游白云洞

李元震

邑南有林峦，栖迹颇幽邃。峭蒨莫能名，白云以从类。岩潭可恣娱，来者尽登跂。我欲假天风，向往未能至。讵敢忽名区？实亦愁短轡。饥疲望壶飧，扶伤泚清泪。讼廷露槐根，书牒供胥吏。只此愧杖藜，焉能友荷簣？子厚仕柳州，穷历凄寒地。子瞻记公余，疏凿搜奇异。何时毕尘土，名贤附佳致？终从白云游，山灵免贻刺。

① ●：阻绝。

东郊春赏

胡介祉

朝旭升楚岭，丽景冠广陌。雨露所涵濡，颇喜罢兵革。东郊美风光，欢赏遍裙屐^①。扬袂吹香尘，流艳动芳泽。晴云拂如绵，细草软于席。酒旗江上楼，鸡犬花边宅。鸣鸟弄笙竽，踏歌互络绎。远爱桃烟红，近拖柳浪碧。珍重青轩女，容颜莫轻掷。寄言冶游郎，迟暮复何益？群卉方向荣，万物各有适。眷此春日佳，庶用相爱惜。

南郭乘薰

胡介祉

燭火围层霄，流精烁卓午。况复蝇营营，劳人转难拒。何处避炎歊^②？竞说城南浦。蝉鸣醒耳多，地僻爽吹聚。或憩寺门阴，或倚岩上树。峰峰生奇云，点点送红雨。芰荷远近开，清香沁肺腑。心静暑自驱，坐深凉月吐。倦至枕石眠，羲皇奚足数？安知褊褊子^③，刺促徒自苦。不见炙手威，势失亦无补。何如乘好风，散发卧山坞？

凤山清晓

胡介祉

鄂城何逶迤，连冈互纡复。维彼凤凰岑，胜概骋遐瞩。万井若鳞次，千雉壮地轴。晓色望尤佳，天净豁心目。澹澹吹晨风，微微洒轻霏。带露花更香，隔林鸟犹宿。寺钟落虚无，村火点空绿。群动寂未嚣，元气清可掬。白云会山山，仿佛（束）〔束〕苍玉。晞发渐高春，人烟散鸡畜。转惜闾閻喧^④，变幻悟境促。何当置金箱，披图就朝沐？

夏口归帆

胡介祉

朝行汉江中，暮宿汉江侧。风波有时平，（款）〔欸〕乃何不息^⑤？击汰复扬舲，来往无停织。遥瞻灵妃旌，还睇冯彝室。长年三

① 裙屐：衣着时髦的人。 ② 歊：热气。 ③ 褊褊子：不晓事的人。

④ 闾閻：市场。 ⑤ 欸乃：摇桨声。

老知，转仄樯乌力。风急帆若飞，风微帆似直。两两夕阳边，婀娜千百幅。历历趋夏口，渐落如归翼。声喧万人家，舟舳接门阈。楚火并船灯，滉漾隔江色。飘蓬估客心，舍楫独恻恻。翻笑博望槎，寻源渺无极。

鹤楼夜月

胡介祉

鹤楼虽屡登，杂沓失真境。凌夜敞虚寥，江山趣斯领。籁息漏较长，月出气逾静。浩荡琉璃平，澄辉漾万顷。芳洲萦匹练，遥岑俨妆靚。潜虬射金淙，流光互驰骋。灯红辨危樯，鹭白惊散荇。飘飘美天风，顿觉尘鞅屏。恍闻玉笛音，吹落江城冷。仙人不可期，凭栏发深省。缥缈屯军浦，销沉锁穴影。坐看众星稀，寒鸦噪万井。

金沙晚渡

胡介祉

绿英媚芳洲，红蓼映清浏。浴凫乱浅沙，昏鸟翻遥阜。粼粼晚霞生，漠漠残云走。苍然望城郭，指点日已酉。夕影碎江光，炊烟喧渡口。行歌返渔樵，迤逦旋贩负。结伴归邻童，荷锄或村叟。载欣复载奔，褰裳惟恐后。招招彼舟子，欲济知印否？乍见衔尾开，鼓拽忽左右。出门各有程，登岸会须守。试问滩头人，此意可能剖？

芳洲烟雨

胡介祉

江流杳无极，江色何潏沔！魍魎杂蛟螭，日月相磨荡。昏旦气自殊，阴晴景难仿。有如晴复阴，空濛失所向。阳台既迷离，鹤楼迴莽苍。冥冥隔云岫，村村罢渔网。伤哉鹦鹉洲！一望弥天壤。芳草不复生，芳名真无两。陈迹微茫中，千载徒俯仰。才高自古忌，怒涛转悲怆。举杯试酌君，英灵倘来往。至今烟雨时，如闻挝鼓响。

梅亭夕照

胡介祉

梅亭秀城南，屹立压睥睨。复岭互延袤，连峰递亏蔽。潭幽可濯

纓，树远拟浮芥。晴明湛平芜，空翠湿岩砌。落日气更清，夕烟吐仍翳。倒射江光来，一一增妍丽。璇宫隐复见，贝阙启乍闭。恍如青芙蓉，骈植金波际。又似五色芝，遥挂若木势。倏忽余霞收，流景渺难系。手无鲁阳戈，恍然悲尘继。坐听上方钟，松露滴衣袂。

八分霁雪

胡介祉

朔气收石林，初阳散潏潏。饥鹰距未击，啁雀羽尚敛。忆昨同云飞，四顾浑无玷。恍如玉井峰，莲花冠郊陕。何期风日和，寒威去冉冉。洒处随高低，消时有盈歉。峰南磴渐干，峰北径还险。遏壑归流泉，浮空尽旻广。瓦暖冲湿烟，草枯露丛葑。缀珠树已轻，铺练岚或染。不用炉火围，但见斜晖闪。想彼山中人，高卧门独掩。

宝塔灯辉

胡介祉

洪山古道场，化塔标巖嶠。创始自何年？岩壑振高洁。丹梯凌虚无，紫云互明灭。升巖类转蓬，摩空似盘穴。炉气霏烟霞，铃音响环玦。渐见灯辉流，夜色更幽绝。层层只树光，面面昙花结。朱椀映烂熳，宝座显曲折。近似舍利红，远若繁星列。询知三昧火，大地照俱彻。慧觉路非遥，湛然生禅悦。金篦刮眼膜，回首消一切。

丙寅仲春，由江夏往嘉鱼，督视工筑长堤，寓目即事 裴天锡

出郭风气佳，久雨晴觉好。芽柳茁初青，波光荡空昊。我行岂玩物？程度忧心悄。马鞍抵金口，田庐逼浩渺。浸周百千顷，曲迂四县绕。尝恐竹箭倾，咄嗟冯夷啸。汝民难虑始，毋曰：“役滋扰。”成公有遗迹，藓碑可幽讨。堤防倘后时，何以豫污潦？畚鍤岂不劳？修筑备须早。已逾龙火期，戒哉宜勉劬。尚喜急公功，鼙鼓弗胜召。会将占蒲杏，农事俶相告。祝尔吹豳欢，以售冯登报。翳余实鞅掌，刺促理回棹。返照澹沙汀，渔歌没鸥鸟。惭非谢灵运，吟咏寄游眺。盼

盼大崖巔^①，烟嵐沍縹緲^②。

修嘉鱼县学宫暨仰高亭六十韵

裴天锡

涉江溯岷山，观澜必思源。况乎学古儒，敢不崇圣贤。万物役元化，孰识天地先？灵秀属斯人，精一开心传。大成集东鲁，性道浚渊泉。泗水绮流波，杏花芳满坛。终古俨仪型，俎豆钦视瞻。辟雍隆首善，闾宫血垓埏。萍实献祯祥，凤兮辉辙环。肉蒲及器车，同符尧禹年。书社虽未封，吾道遂已南。骚经续小雅，忠类家父篇。灵均倘升堂，商赐可与言。静悟太极初，道州溪有濂。自兹基闽洛，张楚宗风騫。夏汭首都会，礼教攸宜全。如何海桑绿，泮（璧）〔壁〕寒苍烟？所赖贤公卿，庀材慨议捐。俯惭吴刚斫，差拟精卫衔。罗娑桂树枝，拮据井干边。一簣佐九仞，桷题颇舄闲。巍焕圣人居，妥侑群情安。岂惟瑞人文？主敬心式虔。岁俶董堤防，行行抵龙潭。问津仰高亭，拜庙凜莫愆。莫君昔肇修，卓尔志希颜。珉碑勒嘉训，宁曰资游观？良冀绍述徒，博约砺钻研。肯构百余载，简朴宜坚完。风雨积漂摇，枚实改旧櫨^③。载俯殿庑际，咨嗟滞回遄。丕髹半剥落，支撑槁櫨攢。焄蒿接如在，奚以恬诵弦？于昭陟降灵，匪兕毋乃叹。此亦守土职，胡容埃盘桓？失今缓揆度，颓圯虑将遄。逝或需经始，赏费益浩繁。及时鳩厥工，勿俾木石脰^④。我愿矢必竭，我力难独肩。将助藉同心，见义勇为前。鱼狱挺英哲，儒林矗梗楠。白沙峻孤标，双峙大崖巔。忠孝多名流，汉霞不可攀。翳惟乐育地，菁莪蔚阿岩。鱣堂集衿佩，淳告互勤宣。是寻兼是尺，为楹亦为椽。各以鼓舞心，竞抒衷赤丹。毋惮葺者劳，应念作者艰。君看浮屠氏，招提恣求贪。祸福惊愚蒙，倡呼和亿千。转瞬止须臾，金碧飭庄严。吾侪师圣谟，教泽畴弗沾。何为报本根，而更愧异端？幸逢右文代，阙里锵龙銮。虹光

① 盼盼：勤劳不休息的样子。 ② 沍：如水弥漫。 ③ 櫨：屋檐板。

④ 脰：磨损。

护绂麟，玉书賚琼田。道隆则从隆，允执丽中天。有开必有继，星日悬玑璇。无息维至诚，兹理原固然。皇皇庙雝肃，翼翼亭翔轩。创垂永千秋，千秋共勉旃。

七言古

唐

送费子归武昌

岑 参

汉阳归客悲秋草，旅舍叶飞愁不扫。秋来倍忆武昌鱼，梦魂只在巴陵道^①。曾随七将过祁连^②，离家十年常在边^③。剑锋可惜虚用尽，马蹄无事今已穿。知君开馆恒爱客^④，樗蒲百金每一掷。平生有钱将与人，江上故园空四壁。吾观费子毛骨奇，广眉大口仍赤髭。看君失路尚如此，人生贵贱那得知？高秋八月归南楚，东门一壶聊出祖。路指凤凰山北云，衣沾鹦鹉洲边雨。勿叹蹉跎白发新，应须守道勿羞贫。男儿何必恋妻子，莫向江村老却人。

江上吟

李 白

木兰之枻沙棠舟，玉（萧）〔箫〕金管坐两头。美酒樽中置千斛，载妓随波任去留。仙人有待乘黄鹤，海客无心随白鸥。屈平词赋悬日月，楚王台榭空山丘。兴酣落笔摇五岳，诗成笑傲凌沧洲。功名富贵若长在，汉水亦应西北流。

黄鹤楼歌送人^⑤

顾 况

故人西去黄鹤楼，西江之水天上流^⑥，黄鹤杳杳江悠悠。黄鹤徘徊

① 魂：《全唐诗》作“著”。 ② 七：《全唐诗》作“上”。 ③ 常：《全唐诗》作“恒”。 ④ 恒：《全唐诗》作“常”。 ⑤ 《全唐诗》二百六十五卷作《黄鹤楼歌送独孤助》。 ⑥ 天上：《全唐诗》作“上天”。

徊故人别，离壶酒尽清丝绝。绿屿没余烟，白沙连晓月。

送王九

孟 郊

昔登江上黄鹤楼，遥爱江中鹦鹉洲。洲势逶迤绕碧流，鸳鸯鸂鶒满江头^①。江头日落沙碛长，金沙耀耀动颿光。舟人牵锦缆，浣女结衣裳。月明全见芦花白，风起遥闻杜若香。君行采采莫相忘。

武昌老人说笛歌

刘禹锡

武昌老人七十余，手把庾令相问书。自言少小学吹笛，早事曹王曾赏激。往年征战戍蕲州^②，楚山萧萧笛竹秋。当时买醉恣搜索^③，典却身上乌貂裘。古苔苍苍封老节，石上孤生饱风雪。商声五音随指发，水中龙应行云绝。曾将黄鹤楼上吹，一声占断秋江月^④。如今老去兴犹迟^⑤，音韵高低耳不知。气力已无心尚切^⑥，时时一曲梦中吹。

宋

李公择求黄鹤楼诗因记旧所闻于冯当世者^⑦

苏 轼

黄鹤楼前月满川，抱关老卒饥不眠。夜闻三人笑语言，羽衣著屐响空山。非鬼非人意其仙，石扉三扣声清圆。洞中铿铉落门关^⑧，缥缈入石如飞烟。鸡鸣月落风驭还，迎拜稽首愿执鞭。“汝非其人骨未坚^⑨。”黄金乞得重莫肩，持归包裹弊席毡，夜穿茅屋光射天。里间来观已变迁，似石非石铅非铅。或取而有众器喧，讼归有司今几年？无功暴得喜莫颠^⑩？神人戏汝真可怜。愿君为考然不然，此语可信冯

① ●●：水鸟名。形大于鸳鸯，好并游，紫色，俗称紫鸳鸯。 ② 征战戍：《全唐诗》作“镇戍到”。 ③ 醉：《全唐诗》作“材”。 ④ 断：《全唐诗》作“尽”。 ⑤ 兴犹：《全唐诗》作“语尤”。 ⑥ 无：《全唐诗》作“微”。 切：《全唐诗》作“在”。 ⑦ 参见《苏轼诗集》卷三。 ⑧ 铉：有作“𦉰” ⑨ 未坚：有作“腥膻”。 ⑩ 莫：有作“欲”

公传。

西山 并序

苏轼

嘉祐中，翰林学士承旨邓公圣求为武昌令，常游寒溪西山，山人至今能言之。轼谪居黄冈，与武昌相望，亦常往来溪山间。元祐元年十一月二十九日，考试馆职。与圣求会宿玉堂，偶话旧事，圣求尝作《元次山窪尊铭》，刻之岩石。因为此诗，请圣求同赋，当以遗邑人，使刻之铭侧。

春江绿涨葡萄醅，武昌官柳知谁栽？忆从樊口载春酒，步上西山寻野梅。西山一上十五里，风驾两腋飞崔嵬。同游困卧九曲岭，褰衣独到吴王台。中原北望在何许？但见落日低黄埃。归来解剑亭前路，苍崖半入云涛堆。浪翁醉处今安在？石臼杯饮无尊罍。迺来古意谁复嗣？公有妙语留山隈。至今好事除草棘，常恐野火烧苍苔。当时相望不可见，玉堂正对金銮开。岂知白首同夜直，卧看椽烛高花摧。江边晓梦忽惊断，铜环玉锁鸣春雷。山人帐空猿鹤怨，江湖水生鸿雁来。请公作诗寄父老，往和万壑松风哀。

与子由同游寒溪西山

苏轼

散人出入无町畦，朝游湖北莫淮西^①。高安酒官虽未上，两脚垂欲穿尘泥。与君聚散若云雨，共惜此日相提携。千摇万兀到樊口，一箭放溜先舄鹜^②。层层草木暗西岭，浏浏霜雪鸣寒溪。空山古寺亦何有？归路万顷青玻璃。我今漂泊等鸿雁，江南江北无常栖。幅巾不拟过城市，欲踏径路开新溪^③。却忧别后不忍到，见子行迹空余凄。吾侪流落岂天意？自坐迂阔非人挤。行逢山水辄羞叹^④，此去未免勤盐齏^⑤。何当一遇李八百？相哀白发分刀圭。

① 莫：暮的古字。 ② 舄鹜：古书上指鸥。 ③ 溪：《苏轼诗集》作“蹊”。 ④ 羞：疑“嗟”形近误。 ⑤ 盐齏：腌菜，指生活清苦。

过江夜行武昌山上，闻黄州鼓角

苏轼

清风弄水月衔山，幽人夜渡吴王岷。黄州鼓角亦多情，送我南来
不辞远。江南又闻出塞曲，半杂江声作悲健。谁言万方声一概？鼉愤
龙愁为予变^①。我记江边枯柳树，未死相逢真识面。他年一叶泝江
来，还吹此曲相迎钱。

松风阁

黄鲁直^②

依山寻阁见平川，夜阑箕斗插屋椽。我来名之意适然，老松魁梧
数百年。斧斤所赦今参天，凰鸣娲皇五十弦。洗耳不须菩萨泉，嘉二
三子甚好贤。力贫置酒醉此筵，夜雨鸣廊到晓悬。相看不归卧僧毡，
泉松澡石复潺湲。山川光辉为我妍，野僧早饥不能饘^③。晓见寒溪有
炊烟，钓台惊涛可昼眠。怡亭小篆蛟龙缠，安得此身脱拘系？舟载诸
友长周旋。

元

寄武昌白云老人卫均执

丁鹤年

故人家住南山下，心与白云共潇洒。芝草遥赓黄绮歌，莲花近入
宗雷社。嗟予江海避风尘，白首归来失所亲。青眼相看如昔日，只有
南山与故人。

明

黄鹤楼

方孝儒

东夏口，西武昌，赤壁峭绝当中央。将军气盖世，磊落惟周郎。
得鲈鱼，沽美酒。就黄州，谒苏子。谪向江湖动星斗。噫歔歔！人物
销铄，尘迹荒凉。惟有江水，千古万古共流长。

① 鼉：扬子鳄。 ② 黄鲁直：即黄庭坚。 ③ 饘：粥。这里作谓语，
食粥。

次武昌

孙 蕡

武昌城边黄鹤楼，飞簷远映鹦鹉洲。汉阳树白烟景湿，行人如鸥沙际立。江南风土寒气迟，居人九月尚絺衣^①。酒旗临江开行屋，当炉小姬能楚曲^②。蜻蜓船内旋回风，今夕停船酒家宿。

汉江歌送范子之桂阳

李梦阳

汉江江上鸂鶒鸣^③，汉江游客无限情。青山落日下帆影，芳草月明闻櫂声。黄鹤矶头暮云尽，鹦鹉洲边春水生。莫倚仲宣能作赋，洞庭南接桂阳城。

寄题黄鹤简秦开府

李东阳

扁舟我忆江头泊，曾上高楼访黄鹤。仙踪恍忽不足论，俯视渊澄仰寥廓。石根岷岷若天凿，栋宇参差连地络。断岸秋横赤壁矶，惊流夜溅观音阁。衡岳云开鸿雁峰，洞庭水落鱼龙宫。使槎贾舶日来往，其上或与银汉通。鹄飞已识员方势^④，雕击似起扶摇风。旧游仿佛不再到，前日少年今老翁。江东才子中台彦，万里乾坤迹应半。碧嵩青岱几停车，楚水荆山一挥翰。登斯楼也记须成，望美人兮君不见。昼日偏明豸绣衣，炎天不改冰霜面。凭将激浊扬清手，坐使澄江净如练。归云倦鸟亦何心？目送高飞入宵汉。

黄鹤楼次李西涯阁老韵

秦 金

黄鹤枕江江岸泊，楼外横空有孤鹤。万里乾坤一望中，景象沧茫胸次廓。古洞斜岬犹鬼凿，朱帘卷映青丝络。鹦鹉洲寒月满台，汉阳树暝云连阁。烟岚紫湿芙蓉峰，蓬莱飞堕神仙宫。繡书无尘白日静，乘槎有路青霄通。神游八极匪汗漫，毛骨爽飒凌天风。潇湘逶迤悲帝

① 絺：细葛布。 ② 楚曲：作谓语，唱楚曲。 ③ ●●：古指杜鹃鸟。 ④ 员：“圆”的古字。

子，樊口幽绝留坡翁。题名总是金闺彦，个中风月平分半。云鹤谁降绝代词？龙蛇或去惊人翰。旬宣蹇我来何迟，突兀燕楼骇新见。忧乐常关范老怀，霜铁宁改赵公面。天开图画真奇哉，失却丹青披素练。北望君门思渺然，万古朝宗此江汉。

梦游黄鹤楼奉答凤山院长

王守仁

扁舟随地成淹泊，夜向矶头梦黄鹤。黄鹤之楼高入云，下临风雨翔寥廓。长江东来开禹凿，巫峡天边一丝络。春阴水阔洞庭野，斜日帆收汉阳阁。参差遥见九（疑）〔嶷〕峰，中有（薛）〔嶷〕岵重华宫^①。苍梧云接黄陵雨，千年尚觉精诚通。忽闻孤雁叫湖水，月明铁笛横天风。丹霞闪映双玉童，醉拥白发非仙翁。仙翁呼我金闺彦，尔骨癯然仙已半。胡为尚局风尘中，不屑刀圭生羽翰。觉来枕簟失烟霞，江上清风人不見。故人仗钺镇湖襄，几岁书来思会面。公余登眺赋词葩，醉墨频劳写湘练。写情投报愧琼瑶，皓皓秋阳濯江汉。

大别山

楚庄王孟婉

名山钟秀自天开，岿然盘礴天之隗。汉水西来出其下，江流东合涛声回。江汉滔滔南国纪，万里朝宗自兹始。秋兴亭前晚黛浓，郎官湖上朝烟紫。紫翠虽无千万重，蜿蜒远势如游龙。奠安永壮雄藩域，疏凿曾经神禹踪。圣功每自遗编见，秀色今看在郊甸。岩柯何处柏森森，古木苍烟拥台殿。

仙枣行

郭正域

仙枣千年不肯实，一朝结果大如瓜。向来小吏偷啖之，须臾白日飞紫霞。我闻大枣不可得，无乃秦玉海中黄布之旧花？不然安期所遗之故核，朱绘红玉围青纱。又闻王母降汉室，玉门仙枣纷如麻。蕊珠

^① （薛）〔嶷〕岵：高大的样子。

满树皱绛雪，金九缀叶团丹砂。神仙灵药各有分，我欲剥枣手难拿。亭子高高催飞雨，鳞甍碧瓦摇风沙。至今岩畔多老枣，残根剥落缠枯槎。螭齿古藤支绿蚁，蜂飞暗叶藏青蛇。那知不有神仙至，再看老枝生黄芽。安得累累（朴）〔扑〕满地，饱食江城百万家。

飞云洞歌

吴国伦

不信回山天下奇，彩云出没江之湄。江上停舟跨云走，飞峦曲磴相撑支。须臾云色破烟雾，幻出芙蓉光陆离。一窍由来浑沌凿，悬脂滴乳纷累累。白玉为楼鳌脊负，寒泉作雨山心垂。中有澄潭杳莫测，下临丹府幽难窥。高松尚息千年鹤，绝壁常荣九色芝。灵宫却在祇林麓，紫葺苍藤欹蔽亏。俯身殊欲堕空界，抗足还如踏武彝。天花密坠霞精结，石髓浓分露掌持。入关已隔人间世，到境翻疑太古时。二客如狂但呼酒，徘徊落日峰阴移。我闻洞天三十六，（污）〔汗〕漫仙踪何所之？可知真宰爱灵閼，千秋更许还丹期。莫怪漫郎游未遍，只应我辈归迟迟。函关望气虚相借，玉笥藏书此亦宜。西塞山头月渐落，长江万里天风吹。

游西山

张 縯

武昌王尹为予言，此有胜景名西山。苏公昔日屡游眺，至今遗迹留其间。侵晨迂道策羸骑，（绿）〔缘〕云拂雾登层峦。秋深甘苦正结实，砂红漆黑纷斑斑。山巅古寺不知代，白云丹壁深回环。参天松栢相翳蔽，余地杂种青琅玕。天风时时一磨戛，琼佩响彻千飞鸾。石洞暗滴雪乳湿，山腰迸出清泉寒。老僧仪状类野鹿，迎拜道左缁衣宽。引入荆榛看古碣，苔藓剥落文多漫。云是苏公厥弟辙，记载胜迹为兄刊。蹇予生平爱岩壑，往往幽梦青云端。劫来鄂渚就微职，奔走官府无时闲。簿书堆案讼器集，累岁逋欠征难完。青山对面若蓬闾，渺隔瀛海何由攀？今日恣情此山景，笼鸟飞空驹脱闲。缅想坡翁慕高趣，竚立怅望惭尘颜。从行钱生年英妙，意在道义非游观。不辞巨觥

引满爵，细论借酒申交欢。嗟哉！吾道乐如此，安得终隐不言还？

国朝

南村来武昌登黄鹤楼，将归，赋《别鹤篇》见赠，余步韵为《留鹤篇》以答之

徐 惺

故人宦梗元飘泊，闭户愁吟怜病鹤。登临空复古人情，眼前身世真郢廓。大江高接岷川流，万壑千支细如络。巨鳌临江架天起，两山隔岸排双阁。武昌城内突奇峰，犹传旧日楚王宫。故址荒烟埋蔓草，苍茫一径遥相通。我每登山一眺望，目空八极生长风。我友南村江上至，咏诗不减柴桑翁。如我浮沉愧时彦，百年潦倒今过半。搦管安能问甲兵，持筹那复亲文翰？不知终日亦何为，君即闻之不如见。人生知己几聚首？江山自古存真面。时清江上息楼船，指顾南天销组练。仰空招鹤且莫归，黄鹤年年在江汉。

夏夜黄鹄矶同友人作

王又旦

大别山前云欲蒸，鸡鸣关外月初升。旅人郁燠无可却，绕矶上下穷攀登。江风鼓浪摇空碧，汉树无声低玉绳。万象漫诞收不得，百鸟伏藏蛟龙兴。惜哉仙人跨鹤去，楼头踪迹留名称。乘云御风寻常事，到今不返翻可矜。岂如浇胸数杯酒？眼前胜事犹堪凭。不须更把龙髯拂，不须更食寒筵冰。但愿年年与君饮，幕天席地忘崩腾。

重构黄鹤楼

杨兆杰

我年七岁见黄鹤，鲁国公输神斧凿。唐人词赋晋人书，宝古淋漓光焯烁。更记五月五日江上斗龙舟，武昌儿女善戏谑。颈系彩线缀长虹，臂挂百宝珍珠络。玉笛金管琥珀杯，白凤庖丁供浆酪。酷暑清凉蝇蚋无，仙人笛里梅花落。未几我从父官边塞游，妖氛怪雾横鲸鳄。土焦一炷楚王宫，波赤三江公子膊。吁嗟，黄鹤楼成灰！吁嗟，黄鹤人失魄！我年二十始归来，高者为丘低为壑。“涌月碑”残“镜亭”

昏，丹枣枝枯如败葇。几度构成几度灾，造物小儿真太恶。清新开府斥千金，肯使风流竟萧索？鼎新前制更辉煌，白云冉冉临飞阁。停车子舍偶来游，职方手掌山河度。明月夜澄芳草洲，紫烟晴绕高冠阁。忽闻铁笛一声秋，万里关山莽寥廓。

招鹤谣

胡鸣皋

谁云世上无神仙，飘渺当年幻化间？试看武昌城中辛氏楼，橘皮画鹤何翩翩。拍手向君舞，乘云忽飞去。云去还复来，鹤归向何处？吁嗟，黄鹤胡不归？黄鹤之楼复崔嵬。下有浩渺不断之江水，上有嶙峋涌月之高台。鹦鹉迷离，凤凰徘徊。吁嗟，黄鹤胡不归？

张石虹任江夏广文，闻而作歌

金德嘉

坐君以梅花玉笛之高楼，啖君以沆瀣金盘之仙枣。上有翩翩黄鹤戛天而飞鸣，下有萋萋鹦鹉洲边之芳草。男儿入不腰金衣紫侍承明，出不驱马安车高牙与大纛。一官咄咄拥青毡，谁能豁尔崑崙磊落之怀抱？前年北上黄金台，去年南走岐亭道。今年奉檄汉阳门，涌月城头月皓皓。噫嘻，张郎有官冷亦得！君不见，少陵歌中衮衮诸公竞磨灭。又不见，龙螭风雨其人出河汾，人言绛帐未必输金门。有舌且将读典坟，有笔还能书获麟。后有万年前千古，何须如秦张禄、汉平津？相思一夜西风起，眼底英雄使君耳。有便遗我双鲤鱼，明年携手燕山市。

挽刘贞节

周家鼎

江汉有清流，黄鹄挺孤标。双翼不可折，锻羽愁飘摇。鄂城高迥婺星耀，哀哉刘氏妇年少。年少早为未亡人，白发在堂儿在抱。五十年来誓柏舟，之死靡慝砥中流。饮冰嚼雪营甘旨，含凄饮泪望孙谋。具此刚肠匪石转，临难岂甘复苟免？一朝骂贼竟捐躯，守身偏自逢多难。向知死易存孤难，存孤繁衍死亦安。性生姜桂老（逾）〔愈〕

辣，拚倾热血留心丹。君不见，楚王台上待持节，江水东流名不灭。岁寒始见松柏操，赖君古道照颜色。忠臣不二君，列女不二夫^①。王蠋之言岂我诬？普天大事多糊涂，男儿巾帼胡为乎？噫嘻，男儿巾帼胡为乎？

洪山寺影墙双龙歌

叶泽森

楚江江上山嵯峨，蜿蜒诘曲周盘陀。东有一峰更苍润，金轮宫殿凌沧波。沧波千顷亘匹练，回眺长江渐如线。绀宇丹楼一径通，雕墙峭壁双龙现。借问此龙胡为来？云是前朝朱邸开。养就神池吞日月，呼吸帝座走风雷。鎬壁苍黄祖龙死，尘灰沉没土花紫。瓦砾榛芜弃道旁，山僧举手劳相徙。忆昔真龙起沛丰，手提三尺定群雄。鲸鲵斩尽封京观，云梦来游舞大风。宫中时报生龙子，锡圭胙土当于此。方城维城汉水池，千秋万岁神明祉。朱甍绣瓦倚斜曛，楚舞燕歌镇日闻。才人梁苑朝朝雪，神女高唐暮暮云。为云赋雪无穷已，离宫别馆连天起。玉砌金铺辉日明，铜乌铁凤飞烟里。一朝蛾贼满江关，龙去江流竟不还。剩有丹青镌旧壁，败鳞残甲落人间。洪山古寺千年筑，佛火青磷互相续。中丞詫现宰官身，涂金衅碧辉林麓。却传此物委泥沙，拂拭牵携供宝华。从今（締）〔諦〕听空王法，此后应忘帝子家。呜呼，龙种当时绝，石马铜驼总荆棘。东平树色秋风靡，蜀国鹃啼春雨血。独有双龙护法筵，晶荧鲜采炫青莲。任他赤豹元熊斗，只伴青狮白象眠。

黄鹤楼

李为霖^②

蛇山之首汉江尾，危楼巖岵奇且伟^③。势如鸟（革）〔翻〕如翬

① 列：“烈”的通假字。 ② 曾任武昌督粮道。 ③ 巖岵：有作岌岌，高、险的样子。

飞^①，上去青天咫尺几^②？风雨户牖临空开，簷牙八面生莓苔。直指青霄燕影落，倒如长江蛟阵回。晴川高阁遥相峙^③，芙蓉花外汉阳市。贾客操舟逐逝浪，望中有若轩与轻^④。巍峨大别踞其西，东接高观烟树齐。更上层楼穷醉眼，置身天际众山低。俯睇江河日东下，千里帆樯怒涛泻。一声欸乃起汀洲，几点渔灯明子夜^⑤。夜深有客独凭楼，明月飞来楼上头。金榼斜出天河近，晰晰檐前星欲流。武昌城里十万户，烟火霏微难指数。迷离不辨楚王宫，波明疑是（滋）〔汉〕阳渚。南楼胜事不可追^⑥，七重九柱亦何为？玉笛飞声到楼角，江淮人（动）〔恸〕楚天悲。烂漫题诗满（庭）〔亭〕侧，谁云有景道不得^⑦？啸歌忽觉天地宽，冷然欲生乘风翼。鹦鹉洲沉古渡前^⑧，黄鹤矶头酒旆悬。安得归来（同白）〔问黄〕鹤，吹笙重见（缙）〔堠〕山巔^⑨。

初赴江夏黄鹤楼宴集作歌呈席上诸君子

叶映榴

大观山势蟠长蛇，矶头黄鹄立浅沙。危阑百尺倚江水，羣飞雉堞排青霞。春流三面玻璃色，十万鱼鳞画煤墨。羽旗花盖摇丛铃，软脚殷勤罗酒炙。披襟拄颊坐平台，螺鬟点点芙蓉开。仙翁已去太白杳，何人吹笛衔金罍？云璈促撈鱼龙戏，五色毼毼翻杂伎。楚歌激袅怨兰

① 羣：五彩山雉。② 咫尺几：“几咫尺”的倒置，极言近。

③ 晴川高阁：即晴川阁，明嘉靖年以唐崔颢“晴川历历汉阳树”诗意，在汉阳临江处的龟山禹功矶傍禹王祠建。建筑精美，风景宜人，与黄鹤楼隔江相望，同为武汉重要名胜古迹。④ 轩与轻：古代两种畜力车，前高后低称轩，前低后高称轻。这里泛指畜力车。⑤ 灯：有作“火”。⑥ 南楼胜事：指《世说新语》所载庾亮太尉与殷浩等南楼咏谑事。事中南楼在今鄂州城南，鄂州古称武昌，后人因此误以为今武昌黄鹤山白云（一称岑）楼为南楼。⑦ 相传李白登黄鹤楼见崔颢诗题：“眼前有景道不得，崔颢题诗在上头。”⑧ 鹦鹉洲沉古渡前：古鹦鹉洲明末被江水冲没。⑨ 堠：瞭望敌情的土堡。黄鹤楼最早是瞭望敌情的城堡，故称。

丛，蜀管凄清摇薜荔。殊方音乐徒参差，风花飘荡浮玉卮。桂楫乍凌鸚鹄渡，衣香犹惹凤皇池。晴川渺渺成今古，此地年年换歌舞。鄂渚宫城生野荠，阳台佳丽埋焦土。何如健笔摇紫云？眼前碑板徒纷纭。一拳捶碎那复惜？作俑苦记崔司勋。短发毵毵厌华组，昨春燕赵今吴楚。应官走马似飘蓬，人生会合团风雨。拂衣拟种横云田，摊书蜡屐消长年。旅梦宵连建业水，归心日绕淮南船。箫鼓初停人尽醉，烈炬传呼烛光膩。五更斜月上江楼，隔岸渔灯漾空翠。

文昌阁

谭琳

文昌古阁山之麓，数武距城迥深谷。层层岩涌一亭悬，嶙嶙日挂千峰宿。上有丹釜传仙踪，至今洞云能饱腹。烟雨出没路无端，钟声鹤唳时相逐。去来舟影度栏干，霜天石白溪水绿。我来坐此问当年，歌舞楼台今几族？凭轩高景一望收，竟日清光悦心目。静息偏宜略涉喧，载酒乘楂兴无足。天地往往多奇观，山川何处容人俗？

楚宫老妓行 南京乐籍蓝七娘，善秋千、蹴鞠入楚宫^①，乱后为尼。

顾景星

白头缁衲谁家姬？身似虚舟眼如雾^②。自言十五学新声，名在宜春内人部。初随阿母长（千）〔干〕里^③。转入金沙洲里住。门前车马隘阊阖，席上缠头不知数。章华娇贵世应稀，徵歌度曲辨音徽。龙楼宴月香成阵，凤簾障风肉作围。曾逐行宫同象辂，不嫌花底夺鸾篦。鸳央瓦暗流萤度，翡翠帘深络纬啼。年年恩典官铺后，善和门外饶花柳。东肆郭郎西肆歌，社北厨娘社南酒。半仙小女斗腰支，齐云儿郎好身手。王舍空门乍改移，平台戚里今何有？乍来岂识婆罗门？梦中只记君王后。初时夏腊尚红颜，几度春秋成老丑。君不见，古来

① 蹴鞠：我国古代的一种以足踢球运动。 ② 虚：《白茅堂集》作“庐”。 ③ 长干里：古建康里巷名，多乐伎，在今南京市南。

祔翟椒房尊，几多失势为桑门。柔福当年死沙漠，妖尼诈作平王孙。家亡国破有如此，媼乎，媼乎，何足论。莫到玉钩斜下路，天阴新鬼哭黄昏。

仙枣亭

裴天锡

吾闻波斯之枣黄白色，房若蕉花子长尺。石虎园中嘉种生，青鸟衔来崑山核。云里仙人去不归，海上三山那招得？我来怀古亭畔立，飒飒江风吹汝急。有叶还随枫树丹，有实谁似轻梨碧？黄鹤翔瀛岛，鸢雀榆粉栖。叶县王乔鳧舄奇，道州元结忧蒸黎。更有情深杜陵叟，堂前一枣欲济西邻饥，当秋不忍插疏篱。噫吁嘻，但愿食瓜剥枣歌乐国，仙枣如瓜不须惜！

贞节行 有序

汤思孝

石火电光炯击^①，则现天地有正气。而不正之气猝与之遇，则炯击亦然。睢阳齿、侍中血，皆此气为之。虽欲不如是，不能者。文山，固悟其微也。刘贞节之死献贼，一刚烈，一凶顽两气炯击，应手立碎，宜矣。谓之忠义殉国^②，可；谓之立心立命，无不可。不然，七十岁老人乃畏节不全而死耶？歌咏纷纷，叩盘扪烛干，惟画肉不画骨。其犹有蓬之心也夫！特作此，以正之。

妖芒夜吼石堕空，铜马流腥江水红。七旬刘母起骂贼，皓发萧萧怒激冲。“乾坤名义植今古，为子宜孝臣宜忠。尔贼胡独反天性，瘕猗蹠突为豨豨^③！”善恶几先斗搏击，魑惊魍魎碎谁容？纬嫠偏痛宗周陨，漆室悲愁邻寇讐^④。嘻嘻出出嘯祝融，伯姬六十罹厥凶。刘母之死亦如此，畸情岸魄，归全一性，乃在天地未有中。芳年不听

① 炯：古代同“闪”字，闪电。 ② 殉：“殉”的通假字。 ③ 蹠：兽蹄。 豨豨：泛指野兽。 ④ 漆室悲愁：刘向《列女传》鲁穆公时，君老太子幼，漆室女倚柱悲嘯。

庭前之乌臼，浩气还喷天上之青虹。吾知当时刘母悬崖撒手高高千仞峰，头迎白刃如春风。

洪山宝藏寺^①

龚志皋

楚风最雄惟岳渚，武昌城枕山之麓。千岩万壑一览收，江烟山雾常相簇。投闲选胜步城东，洪山结构仙境通。丹楹画栋开天半，缥缈不数蓬莱宫。老僧诛茆最高顶，清风明月随时领。遥睇城西黄鹤楼，山云灭没存孤影。借问瑶台建者谁？帝子王孙泪欲垂。世事蚤随桑叶落，兴亡惟有浪花知。

五言律

唐

汉口宴别^②

宋之问

水广不分天^③，舟移杳若仙。清江浮暖日^④，黄鹤弄晴烟^⑤。积水移冠盖，遥风逐管弦。嬉游不知极^⑥，留憾此山川^⑦。

送元公归鄂渚

李 白

桃花春水涨，之子思乘流。岘首临蛟浦，江边问鹤楼。赠君青竹杖，送尔白苹洲。应是神仙辈，相期汗漫游。

江夏别宋之悌

李 白

楚水清若空，遥将碧海通。人分千里外，兴在一杯中。谷鸟吟晴

① 藏：据江苏、湖南本，国图本作“通”。 ② 口：《全唐诗》卷五十二题为“江”。 ③ 水：《全唐诗》作“汉”。 ④ 清江浮暖：《全唐诗》作“秋虹映晚”。 ⑤ 黄：《全唐诗》作“江”。 ⑥ 知：《全唐诗》作“可”。

⑦ 憾：《全唐诗》作“恨”。

日，江猿啸晚风。平生不下泪，于此泣无穷。

陪宋中丞武昌夜饮

李 白

清景南楼夜，风流在武昌。庾公爱秋月，乘兴坐胡床。龙笛吟寒水，天河落晓霜。我心还不浅，怀古醉余觞。

送李二十九弟入蜀，余下沔鄂^①

杜 甫

正解柴桑缆，仍看蜀道行。檣乌相背发，塞雁一行鸣。南纪连铜柱，西江接锦城。凭将百钱卜，漂泊问君平。

送人归江夏^②

王 维

万里春应尽，三江雁亦稀。连天汉水广，孤客郢城归。鄂国稻苗秀^③，楚人菰菜肥^④。悬知倚间望^⑤，遥识老莱衣。

（沂）〔溯〕江至武昌^⑥

孟浩然

家本洞湖上，岁时归思催。客心徒欲速，江路苦邅回。残冻因风解，新梅度腊开^⑦。行看武昌柳，仿佛映楼台。

晚泊汉阳渡^⑧

王 贞 白

落日临古渡^⑨，武昌城未开。残灯明市井，晓色辨楼台。云自苍梧去，水从蟠冢来。芳洲号鹦鹉，千古祢生才^⑩。

① 《全唐诗》卷二百三十二题为《公安送李二十九弟晋肃入蜀，余下沔鄂》。② 《全唐诗》卷一百二十六题为《送友人南归》。③ 鄂：《全唐诗》作“郢”。④ 菜：《全唐诗》作“米”。⑤ 间：《全唐诗》作“门”。

⑥ 参见《全唐诗》卷一百六十。⑦ 梅：《全唐诗》作“正”。⑧ 晚：《全唐诗》卷七百一为“晓”。⑨ 落日：《全唐诗》作“落月”。⑩ 千古：《全唐诗》作“用记”。

江行次武昌县

卢纶

客寄五湖间^①，扁舟往复还。年年生白发，处处上青山。去国空知远，安身竟不闲。更悲江畔柳，长是北人攀。

潭州使院〔书情〕寄江夏贺兰副端^②

戴叔伦

云雨一萧散，悠悠关复河。俱从泛舟役，近隔洞庭波。春水去不尽^③，秋风今又过。无因得相见，却恨寄书多。

重阳日鄂城楼送屈突司直

刘长卿

登高复送远，惆怅洞庭秋。风景同前古，云山满上游。苍苍来暮雨，渺渺逐寒流^④。今日关中市，萧何共尔忧。

送鄂州张别驾归襄阳觐省

司空曙

苍烟岘峰路^⑤，腊日汉江春。带雪半山寺，行沙隔水人。王祥因就宦，莱子不遗亲^⑥。正憾殊乡别^⑦，千条楚柳新。

江上逢司空曙

李端

共有髫年故^⑧，相逢万里余。新春两行泪，故国一封书。夏口帆初落，浔阳雁已疏。唯当执杯酒，暂食汉江鱼。

秋晚与沈十七舍人^⑨

杜牧

邀侣以官解，泛然成独游。川光初媚日，山色正矜秋。野竹疏还

① 客：《全唐诗》作“家”。 ② 参见《全唐诗》卷二百七十三。

③ 春：《全唐诗》作“楚”。 ④ 渺渺：《全唐诗》作“淼淼”。 ⑤ 烟：《全唐诗》卷二百九十三作“苍”。 ⑥ 遗：《全唐诗》作“违”。 ⑦ 憾：《全唐诗》作“恨”。 ⑧ 有：《全唐诗》作“尔”。 ⑨ 《全唐诗》题末有“期游樊川不至”。

密，岩泉咽复流。杜村连潏水，晚步见垂钩。

中秋夜泊武昌

刘淑柔 女子

两城相对峙，一水向东流。今夜素娥月，何年黄鹤楼？悠悠兰櫂晚，渺渺荻花秋。无奈乡关断，烟波总是愁。

宋

凤凰山赠廖明略

黄廷 [庭] 坚

江净明花竹，山空响管弦。风生学士尘，云绕令君筵。医是肱三折，官当岁九迁。老夫看镜罢，衰白敢争先。

渡金湖

王十朋

隔岸呼舟子，湖光日欲曛。人家数点火，风物一川云。小渡渔人占，中流县界分。秋清山驿冷，萧瑟夜深闻。

过樊口

王十朋

短棹经樊口，高人忆漫郎。杯湖谁复泛，退谷自深藏。鄂渚风烟接，吴宫草树荒。遗音开八曲，小大两洄旁。

元

南湖

丁鹤年

南浦幽栖地，当门罨画开^①。青山入云去，白雨渡湖来。石润生龙气，川光媚蚌胎。芙蕖三百顷，何处着炎埃？

明

夜宿武昌留赠

顾 观

茅屋江声合，松舟月色迟。把杯频就席，剪烛共题诗。鼓瑟清湘

① 罨画：色彩鲜明的图画。

夜，闻箫赤壁时。美人千里外，迢递寄相思。

鄂渚

边 贡

鄂渚维舟楫，登高览洞庭。地连秋水白，天入暮山青。望关瞻星斗，怀人感鹁鸪。渔歌向夕起，呜咽不堪听。

寓武昌

徐祜卿

洞庭木叶下，潇湘秋欲生。高楼今夜雨，独卧武昌城。重以桑梓念，凄其江汉情。不知天外雁，何事乐南征？

武昌守风

薛 瑄

连日北风疾，江涛泊岸鸣。天垂平野月，浪飏近船灯。湖与归心阔，秋同客思清。不眠听鼓角，高枕念王程。

港口铺

蔡 潮

夜雨长安路，三年两度过。阅人松尚茂，忧国鬓先皤。故旧咨询遍，寒暄感慨多。六峰亭自好，奈我别愁何？

过蒲圻

何景明

向晚蒲圻道，遥闻鸡犬喧。斜阳入深巷，疏雨过闲门。县市浑依水，人烟只类村。萧条灯火夕，沽酒共谁论？

温泉洞

罗洪先

淡日天初曙，（晴）〔晴〕烟逐马来。鸟啼山谷应，云出洞门开。望阙心千里，寻春酒一杯。夕阳人影乱，我亦看山回。

羊楼洞

廖道南

万嶂入羊楼，双溪绕凤丘。天开珠洞晓，月傍石潭秋。翠入梧桐

秀，香来蕙若幽。登临一长啸，日夕紫烟浮。

武昌分司园亭燕集

徐中行

南征一隔岁，花木遂成林。池乱芙蓉影，庭交薜荔阴。暮云停授简，秋水净披襟。不是蒙庄子，安知傲吏心？

游武昌江龙盘矶寺

王廷陈

柱石表江心，花宫傍太阴。天寒龙卧稳，云迴雁飞深，栋宇飘明镜，汀洲隐梵音。诸天知不远，昏黑下禅林。

九日同田子宴武昌西山

王廷陈

令节樊山宴，深秋楚客哀。云长一雁往，江远片帆来。倦倚丹枫憩，回看苍渚开。登高复能赋，知尔大夫才。

丫髻山

吴 童

双峰群壑外，孤日大荒西。去海江流渺，摩天雁影迷。仙人留废井，云屋有鸣鸡。秋兴逢摇落，良朋喜并携。

蕲塘

吴 童

陂塘烟雨净，千顷入虚无。飞鸟落明镜，游人在画图。红疏莲暂放，翠密苕全铺。今日陪陶谢，高阳一酒徒。

又：

进艇沉沉碧，披禁冉冉香。幽花迎断岸，密竹隐回塘。鹅子毛殊白，鳊雏口尚黄。池心当五月，绡绌早生凉。

季秋同王二子修、四弟子翰游龙泉寺

汪宗凯

菊月征鸿度，花宫并马游。惠连重梦草，王粲共登楼。秋色诸天净，泉花万象幽。觉来悲幻境，长啸趁沧洲。

偕元相凤山书堂纳凉

魏 裳

暑气深山薄，登高兴不违。情同河朔饮，坐息汉阴机。问字人犹在，传经地已非。交亲重握手，惆怅暮云归。

雨中渡鄂江

吴国伦

一叶看山棹，凌晨破浪开。烟横极浦暗，雨挟万峰摧。鸥鹭栖樊口，蛟龙撼鄂台。中流不知险，与客剧衔杯。

武昌黄茂才以仁过访索题其书室

吴国伦

负郭斋新辟，穿云径始通。江声回鄂渚，竹色隐吴宫。问业吾何有？论文汝自工。今看下帷处，还与董生同。

戎湖洞

吴国伦

何年疏地肺？一径取天台。流水穿厨过，飞云拥坐来。石犀浑欲吼，山鬼误相猜。变幻看浮世，何如此泛杯？

散花洲

吴国伦

一区芳草色，云是散花洲。无复周郎返，惟看汉水流。寒生西塞麓，月隐大江舟。旅宿依渔岸，寒鸦噪未休。

由汉口入郢

吴国伦

汉水几千曲？飞流自陇西。到来云梦阔，翻觉楚云低。积潦平江县，垂杨匝古堤。踏春游女出，仿佛浣纱溪。

山中感兴

燕遗民

寥落湖山曲，凭谁话起居？出门惟水石，相见但樵渔。酒熟还堪漉^①，葵荒欲自锄。久深泉石想，早晚赋《归与》^②。

① 漉：过滤。 ② 赋“归与”：写《归去来辞》。用陶渊明典，指隐居。

又：

泉谷烟光净，林塘暑气清。幽花篱落见，好鸟竹间鸣。禾黍皆丰稔，桑麻自长成。还闻茅屋底，灯火读书声。

银山寺

杨 祐

铁壁乘秋兴，银山续旧题。长天连去鸟，远树带清溪。洞口崖疑断，云深寺欲迷。汉储何日定？吾意亦灵栖。

雷山寺

熊 桴

乘兴寻幽刹，庭阶鸟迹封。人家流水外，风物画图中。胜日衣冠会，高山秀气钟。凭登且开抱，天地一浮踪。

赠熊子崇归武昌

刘景韶

匹马下并州，萧然一敝裘。楚云迷水国，烟树隐江楼。世难谁青眼？愁深自白头。山中有丛桂，谁共尔淹留？

游洪山

袁中道

醒却秣华梦^①，来为冷石游。迂回缘绿嶂，枕藉见红楼。雪影江天静，林烟沙渚浮。倚阑神顿爽^②，信矣癖山丘！

蟠龙石

孟廷柯

高阁压洪流，天光一鉴浮。烟花开丽景，风日惬嬉游。倒海涛声壮，平津树影稠。倚栏更凝睇，万里有归舟。

西山积翠

张钟灵

见说春游处，芳深旧路微。树晴莺自乐，花盛蝶争围。脆嚼黄葍

① 秣华：繁盛的花。 ② 阑：栏杆。

菜，轻扬白苧衣。伏公开广燕^①，惆怅谢元晖。

春日偕胡子文内翰、郭启之黄门游碧云寺

张居正

驱马春郊道，垂杨荫远堤。偶因寻社侣，乘暇到招提。山迴藏云细^②，泉分绕涧低。不缘簪绂累，长此对幽栖。

武昌观音阁

郭子章

卓锡江心古，楼高晓露清。懒云依净地，斜月下青城。僧定栖禅寂，江流绕石鸣。烦嚣虽未远，沙渚暮烟轻。

宿燕矶

万虞恺

蟠龙回小国，飞燕落江乡。阁道沉沉夜，岩花细细香。经声传碧殿，渔火点沧浪。良夜宁忘寐，高歌酒一觞。

芙蓉峰

廖俊

我爱芙蓉好，青山飞白云。湖光浮鹤梦，树色落鸥群。翠竹娟娟静，丹荷的的芬。石梁坐终日，谁复共论文？

龙翔山

魏朴如

石磴缘溪入，晴窗把翠微。地于人境绝，心与世情违。天外闲云度，林边倦鸟归。过逢忘坐久，苔壁下残晖。

泛菴川

谢师启

未暇乘桴去，悠然抱瓮归。磻溪称隐钓，泌水咏忘饥。华发三湘客，青山一布衣。门前旧栽柳，长大已成围。

① 燕：“宴”的通假字。 ② 迴：远。

上方寺

谢师启

上方尘不到，静境客相依。涧响清幽榻，云深冷薄衣。鸟闲归树早，僧老出山稀。俱得安禅意，听经掩竹扉。

雪中投宿栖隐寺

袁宏道

下马历巉岈，晶晶四壁寒。山门云占断，佛舍雨浇残。茶好临泉试，松宜带雪看。轩窗无一可，辜负此峰峦。

金牛勘灾

李有朋

百里城南道，单车岂漫游？翻云过白雉，摄雨到金牛。炊火几家晚？香秔一半秋。赧然惭禄食，田野有荒丘。

刘旦寅邀游寒溪西山

谭元春

日落湖光动，江流烟物微。情闲随路去，行缓数峰归。二寺交幽磬，一楼容澹晖。太平剑花死，石上但苔衣。

舟回青龙堤小饮

向日丹

野涨回孤艇，山城起暮烟。浪花吹岸坼，荇带夹风旋。树密云常合，亭欹月故悬^①。清歌欢转剧，那得酒如泉？

隆山寺

王 蔓

爱此清幽寺，茅庵近碧岑。路疑行不到，房觉坐来深。明月空中影，浮云世外心。人生不满百，能得几登临？

龙岩寺

王鼎彦

晴烟生片石，春色照清溪。路入萝阴合，峰悬竹影齐。看云随鹤

^① 欹：倾斜。

去，坐树听莺啼。岩际开松院，山僧龙共栖。

雪峰寺

王鼎彦

绝巘开清梵，花宫峙雪峰。麦田云外种，萝径雨余封。鸟韵沉朝翠，泉流答午钟。凭高仙驭近，松鹤解相从。

游“龙头石洞”，阅“真人堂”纪事

王应斗

犹是人间路，偏惊色界幽。昼游翻秉烛，暑在即披裘。万壑潜通海，孤涛迭送秋。不知从此外，更复有丹丘？

桃溪道中即事简高星岩明府

李宙复

倚石窥平陆，沿溪得径长。娟娟萦篆水，曲曲引虹梁。马足撩云乱，林花泛日香。却疑晴旭里，空翠湿征裳。

又：

层峦多雾宿，野水暝平沙。政简民无扰，风庞事有涯。乞浆排榷户，听瀑绕山家。斲断青云色，挥鞭日未斜。

国朝

黄鹤楼

刘子壮

晴川与黄鹤^①，气势遥纵横^②。静见水声合，空疑山势争。三洲秋色远，万树午烟晴。帆影中流处，摇摇江汉情。

挽刘贞节

刘洪奎

古钗照明月，凄凉霭暮阴。青灯枯泪眼，白发老贞心。家世非为幸，君恩独此深。梅川魂不迈，云鹤永相寻。

① 晴川与黄鹤：指晴川阁与黄鹤楼。 ② 纵横：对峙、呼应。

将之匡庐过西塞

官抚极

古刹翠微边，幽人试往还。竹修千片浪，松老几堆烟。短杖云中立，长帆镜里悬。匡庐若在望，随处足留连。

期黄公石虹、尚白悔人集东山

徐 惺

客老集难得，诗多况益贫。可能天上月，长侣树中春。白发添诗兴，青山半故人。一杯思共醉，矫首看苍旻^①。

又：

念我悲方剧，人从江上来。芙蓉将欲采，丛桂已先开。小阁看山近，层林待鸟回。一时成胜事，不减仲宣才。

周梅城隐九峰约过，未果

王 岱

寒烟残九点，君住最空明。云白上方雪，峰青下界晴。灵文惭未读，鸾啸漫传声。为问花源者，何年初避兵？

望黄鹤楼

李兴祖

遥望鄂城上，仙风在此楼。残霞万户晓，孤月半亭秋。啸傲幽人意，登临过客留。旷怀何处是？铁笛夜悠悠。

登黄鹤楼

王士瀚

洞庭流水急，北注绕江城^②。三面开春阁，千帆趁晓晴。鹭从沙岸白，人待笛风清。倚徙忘归去，悠悠淡客情。

雨中过道士洑

顾天锡

树杪穿云窟，山根倒翠微。波间闻鹿走，峰上有鱼飞。风雨生群怪，洄涡幻百围。元真垂钓处，此地是邪非？

① 矫首：抬头。 ② 长江至武汉段为由西南往东北流向。

风波港望西塞山

顾天锡

秋容全在水，九月蓼花天。岂敢惮行路？所思经岁年。云迷枉渚外，山断夕阳前。此地风波恶，闻名亦可怜。

卓刀泉

龚志皋

路僻人行寂，山峰翠作堆。松阴孤寺出，竹下老僧来。杂坐谈遗迹，荒碑没草莱。寒泉清且冽，传自汉家开。

横山弘山寺

顾天锡

佛寺横山外，茅篱曲径通。茶烟云影杂，鸟语柳阴笼。室透香风细，幽同静谷空。晚春乘兴到，碧草衬残红。

九峰寺

潘国祚

出门一以眺，次第见秋容。远浦闻鸦乱，前蹊怯虎踪。一峰高出雾，绝壑忽生松。兰若渺何许？遥闻木末钟。

晚眺松风阁

熊大作

层阁凌霄汉，清风到客衣。远山迎暮碧，幽壑驻余晖。鸟抹松筠出，猿穿涧峡归。有僧能解脱，相对共忘机。

小雷山寺

孟绍甲

峭石环山寺，幽花发野藤。雨中三夜宿，树里一窗灯。溪果供诸佛，园蔬课小僧。如何无传记，佳处写层层？

偶书寺壁

释戒显

过江山色好，望里旧坡亭。一径入寒碧^①，千禽语乱青。客幽莲

① 径：小路。

社韵，僧老竹林经。喜得寒溪响，年年此卧听。

同邑侯江公式绳游大沙洲

李光炳

出郭寻幽胜，晴沙衬马蹄。年光新物候，春色点寒溪。平野随洲阔，轻云带阁齐。君侯频载酒，笑语动芳畦。

再过石洞

周应昌

还忆初游地，因成此日诗。清泉石半落，寒坞雪痕欹。峭峻岩高古^①，荒唐路透迤。所欣归后路，红叶影离离。

武当宫 凡元旦及万寿节，百官于此行礼。

叶映榴

上清朝拜日，曾到玉皇宫。古殿琉璃暗，空梁玳瑁红。将军弹宝瑟，侍女漾金虫。借问丹青吏，何年召葛洪？

陆贾庙

叶映榴

文轩归上国，蕙帐对洪波。奇计传陈孺，先声压赵佗。承尘翻蝙蝠，野茧出蚕蛾。满眼轻装客，千金买玉珂。

金华山 一名大观，土色正赤。

叶映榴

磬户千寻秀，楼台十万家。树根藏琥珀，泉脉漏丹砂。地底回笳鼓，晴空卷暮霞。炎丘应有路，何必羨金华？

武昌舟中

顾景星

春浪拍天浮，春烟指戍楼。舟行移两岸，人语下中流。兵革长经眼，风尘会白头。楚江杜蘅绿，吾意在沧洲。

① ●：疑“拔”形近误。

黄鹤楼夜眺

顾景星

暝色动巍峨，江声万井多。烟生浑陆海，灯出倒星河。旧兒犹闻哭，军谣不似歌。郢乡西去路，在在有横戈。

楚故宫

谭 篆

寒日下红墙，西风扫大荒。城乌啼故树，野雀守空仓。相国怀沙痛，王孙抱柱伤。不情呜咽水，江汉日汤汤。

雪后偕叶慕庐登西山

王追骐

偶有招寻兴，冲寒强自禁。层冰环九曲，薄霰隐双林。老衲山中梦，幽人雪后心。（冷）〔冷〕然怀抱远，世外惜知音。

大观台

徐 惺

屋后台千尺，虚亭立翠微。中峰看日下，半壑带云飞。竹露闲沾榻，松阴暗点衣。从兹凭坐卧，天暮不须归。

西塞山旅泊

汤思孝

似有愁深处，无涯秋色中。传知到西塞，停目送南鸿。晴岭寒空碧，霜林响碎红。竭来那能住？舟子哨催风。

前题

杨 泓

岸泊缘思酒，幽寻路透迟。疏林何处磬，古寺有遗碑。断网欹湍磴，寒花缀短篱。为询渔父语，始忆志和诗。

春暮游弘山寺次韵

龔志益

梦想招提境，寻春试一过。落花依细草，小鸟浴晴波。幽径松篁绿，东风蛱蝶多。踏青刚此日，无计奈愁何？

其二：

晴云迷曲径，花外石桥通。巷陌莺初到，长林草渐丰。泉声留嫩绿，树杪缀残红。最喜无人境，前山晓日笼。

其三：

渐入弘山寺，藤花碍柳蹊。竹低容侧帽，树密欲扶藜。身到都忘去，心空路不迷。渔舟堪指点，归骑复缘溪。

其四：

回首望萧寺，翻疑无路通。茅檐苍树合，花圃晚霞笼。远塔云痕紫，晴江山色空。平原聊极目，城角夕阳红。

黄鹤楼宴集 时高廷尉谪苑招陪徐果亭先生

马焕曾

鄂渚名贤集，移樽向此游。难招黄鹤返，犹见白云留。壁垒烽烟静，乾坤江汉流。群公幽兴足，清啸满高楼。

咏橘皮画鹤遗事

张 华

橘颂歌湘浦，留芳鹤可胎。人传岳阳至，或自汨罗来。酒得辛家贵，诗堪崔子裁。谪仙何阁笔？遮莫未衔杯。

黄鹤楼夕眺

张 艺

鹤去去何处？层楼尚可梯。波澄孤月静，天阔万山齐。白雪音难和，青莲卷自携。翻成诗话旧，来往遍留题。

武昌郡觐省过西塞山——昔吴明卿先生题为“虎豹关”——赋此志喜

裴友沐

关曾称虎豹，今日喜安流。吴楚民风异，孙曹霸气收。沉沙余战戟，细雨半渔舟。为诵趋庭句，南楼思更悠。

阳逻大士阁

顾景星

香磴倚岩阿，云根卧薜萝。长江回地轴，高阁入天河。系缆惊湍

少，扁舟乘兴过。听钟夜方半，何处起渔歌？

黄鹄矶 俗传有孝子李机同吕仙乘鹤去。 顾景星

僦舍宜江槛，移尊对石矶。埠船争客渡，沙燕间人飞。问句传崔颢，逢仙说李机。不须骑鹤返，城郭已全非。

卓刀泉^① 何五芝

荒原留古屋，中有卓刀泉。僧老擎茶碗，碑残记汉年。鸣蛙喧晚吹，流水界春田。百拜瞻遗像，千秋一黯然。

宝通寺 孟一麟

古寺临荒甸，悠然竹径穿。泉声云外落，塔影树中悬。鸟说千秋偈，潭空万里天。禅那谁共解？苍碣隐萝烟。

七言律

唐

黄鹤楼 崔（灏）[颢]

昔人已乘黄鹤去，此地空余黄鹤楼。黄鹤一去不复返，白云千载空悠悠。晴川历历汉阳树，芳草萋萋鹦鹉洲。日暮乡关何处是？烟波江上使人愁。

鹦鹉洲 李 白

鹦鹉来过吴江水，江上洲传鹦鹉名。鹦鹉西飞陇山去，芳洲之树何青青！烟开兰叶香风起^②，岸夹桃花锦浪生。迁客此时徒极目，长洲孤月向谁明？

① 此诗据国图本补。 ② 起：作“暖”。

赴黄鹤楼崔侍御宴^①

白居易

江边黄鹤古时楼，劳致华筵待我游。楚思渺茫云水冷，商声清脆管弦秋。白花浪溅头陀寺，红叶林笼鹦鹉洲。尽是平生未行处，醉来堪赏醒堪愁。

鄂州寓严涧宅寄怀^②

元稹

风有高梧鹤有松，偶来江上寄行踪。花枝满苑空啼鸟^③，尘榻无人忆卧龙。心想夜阑惟足梦^④，眼看春尽不相逢。何时最是思君处？月入斜窗晓寺钟。

晚次鄂州

卢纶

云开远见汉阳城，犹是孤帆一日程。估客昼眠知浪静，舟人夜语觉潮生。三湘愁鬓逢秋色，万里归心对月明。旧业已随征战尽，更堪江上鼓鼙声。

黄鹤楼

贾岛

高槛危檐势若飞，孤云野水共依依。青山万古长如旧，黄鹤何年去不归？岸映西州城半出，烟生南浦树将微。定知羽客无因见，空使含情对落晖。

鹦鹉洲^⑤

刘长卿

江洲无浪复无烟^⑥，楚客相思益渺然。汉口夕阳斜渡鸟，洞庭秋水远连天。孤城背岭寒吹角，独戍临江夜泊船。贾谊上书忧汉室，长

① 《全唐诗》卷四百三十八题作《卢侍御与崔评事为予于黄鹤楼置宴，宴罢同望》 ② 《全唐诗》卷四百十四题作《鄂州寓馆严涧宅》。 ③ 苑：作院。 ④ 阑：作闲。 ⑤ 《全唐诗》卷一百五十一题作《自夏口至鹦鹉洲，夕望岳阳，寄源中丞》。 ⑥ 江：作汀。

沙滴去古今怜。

送田端还鄂渚使府^①

武元衡

孤云迢递恋沧洲，劝酒梨花对白头。南陌送归车骑合，东城怨别管弦愁。青油幕里人皆玉^②，黄鹤楼中月并钩。君去庾公犹独在^③，驰心千里大江流。

黄鹤楼

卢 郢

黄鹤何年去杳冥？高楼千载倚江城。碧云朝卷四山景，流水夜传三峡声。柳暗西州供骋望，草芳南浦遍离情。登临一晌须回首，看却乡心万感生。

西塞山下回舟作

陶 峴

匡庐旧业是谁主？吴越新居安此生。白发数茎归未得，青山一望计还成。鸦翻枫叶夕阳动，鹭立芦花秋水明。从此舍舟何所诣？酒旗歌扇正相迎。

黄鹤楼

陆龟蒙

手把仙人绿玉枝，吾行忽及早秋期。苍龙阙角归何晚？黄鹤楼中醉不知。江汉交流波渺渺，晋唐遗迹草离离。平生最喜听长笛，裂石穿云何处吹？

西塞山泊渔家

皮日休

白纶巾下发如丝，静倚枫根坐钓矶。中妇桑村挑叶去，小儿沙市买蓑归。雨来蓴菜流船滑，春后鲈鱼坠钓肥。西塞山前终日客，隔波

① 《全唐诗》卷三百十七题作《送田三端公还鄂州》。 ② 皆：作如。

③ 犹独在：作“应借问”。

相羡尽依依。

赤壁山^①

崔涂

汉室山河鼎势分，勤王谁肯愿元勋^②？不知征伐由天子，惟许英雄共使君。江上战余陵是谷，渡头春在草连云。分明胜败无寻处，空听渔歌到夕曛。

西塞山下^③

韦庄

西塞山前水似蓝，乱云飞絮满澄潭^④。孤峰渐映湓城北，片月斜生梦泽南。爨动晓烟烹紫鳊^⑤，露和香蒂摘黄柑。他年却棹扁舟去，终傍芦花结一庵。

黄鹤楼寓题^⑥

罗隐

驿云芳草绕离边^⑦，勿向东流倚少年^⑧。秋色未催榆塞雁，客心先下洞庭船^⑨。高歌酒市非狂者，大嚼屠门亦偶然。车马同归莫同恨，昔人头白尽林泉^⑩。

宋

寄谢鄂倅南宫城

冯京

常思鹏海隔飞翻，曾得天风送羽翰。恩比丘山何以报，心同金石欲移难。经年空叹音书绝，千里相思道义宽。每向江陵访遗迹，人犹指点县题看。

① 《全唐诗》卷六百七十九题末有“怀古”。 ② 愿：作“顾”。

③ 《全唐诗》卷六百九十八题末有“作” ④ 飞：作“如”。 ⑤ 鳊：作“蕨”。

⑥ 楼：《全唐诗》卷六百六十作“驿” ⑦ 驿：《全唐诗》作“野”。

⑧ 勿向东流：《全唐诗》作“敢对青楼”。 ⑨ 客：《全唐诗》作“人”。

⑩ 昔：《全唐诗》作“古”。

子由次磁湖以诗迎之

苏轼

惊尘急雪满貂裘，泪洒东风别宛丘。又向邯郸道中见，却来云梦泽南州。睽离动作三年计，牵挽当为十日留。早晚青山映黄发，相看万事总都休。

答子瞻

苏轼

惭愧江淮东北风，扁舟千里得相从。黄州不到六十里，白浪俄生百万重。自笑一生浑类此，可怜万事少从容。夜深魂梦先飞去，风雨对床闻晓钟。

黄鹤楼

范（大成）〔成大〕

谁将玉笛弄中秋？黄鹤飞来识旧游。汉树有情横北渚，蜀江无语抱南楼。烛天灯火三更市，摇月旌旗万里舟。却问鲈乡垂钓叟，武昌鱼好便淹留。

黄鹤楼

王十朋

江汉西来于此会，朝宗东去不须分。银涛远带岷峨雪，烟渚高连巫峡云。鹦鹉洲悲狂处士，蛟龙池化故将军。登临长愿如今日，尘静元规楚不氛。

谋野堂

王十朋

满目江山富一堂，公余身在水云乡。遥岑更作有无色，西子为谁浓淡妆。荷有香能凝燕寝，纓无尘可濯沧浪。使君坐此谋何事？境静心清百虑忘。

恩波亭

陶去泰

高阁嵯峨压古堤，平湖烟景占东西。洗空尘累登临爽，晖映天光上下迷。树景纳波山吐月，荷香入座雨收霓。使君为惠真无已，拉我

闲来倚杖藜。

元

寄九宫山提点兰谷

虞伯生

芳兰谷中结茅屋，期我不来松月高。六月持书展江浒，日午戴笠经山坳。登真有决问王许，避地无术惭由巢。誓将白发洁泉石，清凉谷口还相遭。

兵后还武昌

丁鹤年

避乱移家大海隈，楚云湘月首频回。归期实误王孙草，远信虚凭驿使梅。天地无情时屡改，江山有待我重来。白头哀怨知多少？欲赋惭无庾信才。

樊口隐居

丁鹤年

万里云霄敛翼回，挂冠高卧大江隈。春深门巷先生柳，雪后园林处士梅。翠拥樊山邀杖履，绿浮汉水映尊垒。谁能领取坡仙鹤，月下吹箫共往来？

黄鹤楼

丁鹤年

西风黄鹤旧矶头，皓月中分此夕秋。乌鹊无依频绕树，鱼龙有喜竞乘流。烟云尽卷天逾大，河汉低垂地欲浮。拟买桂花陪胜赏，老来佳句恐难酬。

明

重九前一日登黄鹤楼

孟 洋

黄鹤仙游溯八溟，层楼高结入青冥。浮云薄日垂江汉，落木清秋下洞庭。梦渚只余双鸟白，楚山不断万峰青。明朝况是黄花节，发兴冯虚倒玉瓶。

避地莼滨偶成

魏 观

云扉俯瞰莼湖滨，风光迴隔蕲阳尘。青虫悬丝不到地，黄鸟蹴花时近人。酒为得欢当乐饮，客虽非伴且相亲。朝来群小詫吾舅，二老至今仍皂巾。

和秦武昌赤壁怀古

李东阳

楚云荆树拥嵯峨，一棹曾冲万里波。时代不同嗟我晚，江山如此奈人何？地从割据终全盛，天遣文章为不磨。闻说宦游兼吊古，鹤楼东下水声多。

按察司公署

吴廷举

北边七夕已微凉，南国经秋尚亢阳。鹏翮高飞前度健，马蹄老厌近来忙。桃看两县花如锦，谷喜千家实满场。谁伴凤川台上客，玉箫吹月据绳床。

前题和韵

顾 英

花烬明窗坐夜凉，问来甲子忽重阳。只从尘世劳形过，不信青山笑我忙。贮酒岂能胜小户？作诗还敢擅名场。倚山公署鸣秋柝，细雨声声点梦床。

望黄鹤楼

罗洪先

黄鹤楼前秋水长，江天北望远苍苍。白云千载归何处？此日孤吟自夕阳。苹蓼已围新陴堞，汀洲犹见旧艖舫。谁家短笛城头起，不为烟波有故乡？

港口驿

蔡 潮

洞庭倚棹候南风，忆得莼川在眼中。草草三年江上别，悬悬千里梦魂同。新梅点水冬将尽，羸马冲泥雪正融。无奈长亭寒日短，暮云

山寺起疏钟。

自崇阳抵通山时华林盗警

蔡 潮

桃溪邂逅复通城，宦辙应惭似水萍。更有真愁难仗酒，可怜终岁只论兵。四郊羽檄勤烽火，百里铙歌杂鼓声。明发间关经岳道，好将时务策诸生。

富池楼回文二首

成始终

悠悠碧水远连天，落日江堤柳系船。楼对晚山青点点，户临春草绿芊芊。鸥边渚接晴霞暮，鹤外云迷远树烟。愁客遣怀诗共酒，游遨重到（巳）〔已〕来年。

其二：

滩连远浪细生纹，罢钓鱼舟逐鹭群。湍急滚沙冲石转，派长流渭到江分。残村古树红藏屋，叠嶂晴岚翠接云。阑曲凭来闲眺览，寒波白雁落纷纷。

黄鹤楼留别许督学伯诚

廖道南

千仞飞楼凌紫烟，重城阁道入青天。樽前日月低红树，槛外星辰拂绮筵。石镜秋悬黄鹤梦，金沙春起白龙眠。（巳）〔已〕从北极瞻南斗，更望中台接上元。

萃景楼

王 济

偶乘清兴泛仙槎，三月春残满树花。石壁倒悬惟鸟道，竹林深处有人家。直登绝顶疑天近，曲转回廊觉路赊。胜地淹留陪酌久，短檣回首白云斜。

西山秋意

米 舫

孤岫寒霖响自如，望中无限客情于。叶残东渚闻香稻，帘卷西山

隔古庐。野水信吹童子笛，平湖常拜故人书。依稀枫冷天将暮，何事重云隐月蜍？

望仙寺

汪必东

一径松阴半亩苔，望仙山已似蓬莱。灵鸦翻树时三匝，瑞鹤归巢日几回？园圃有花多是药，墙隈无处不开梅。却怜道士游何许？输与高僧卓锡来。

登黄鹤楼

杨慎

江上高楼海内名，登临此地古今情。风前估客蒲帆影，夜半仙人玉笛声。春水雪消巴子国，烟波晴接汉阳城。东南暇日多嘉会，笑指浮云望太清。

送周云卿之任通山

唐顺之

湖南此去意何如？绿浦清枫万里余。地僻且看衡岳雁，官贫岂食武昌鱼？千家凿井分江水，几处开田傍石渠。抚字由来重良牧，他年玺锡看褒书。

汉江望黄鹤矶

李梦阳

汉江江上鸕鹚鸣，汉江游客无限情。青山日落下帆影，芳草月明闻棹声。黄鹤矶头暮云尽，鹦鹉洲边春水生。莫倚仲宣能作赋，洞庭南接桂阳城。

武昌

李梦阳

武昌城北大江流，沱水夹城鹦鹉洲。楚蜀帆樯风欲趁，蛟龙涛浪暮堪愁。青烟自没汉阳郭，新月故悬黄鹤楼。无限往来伤赤壁，三分轻重本荆州。

黄鹤楼^①

沈 周

昔闻崔颢题诗处，今日始登黄鹤楼。黄鹤已随人去远，楚江依旧水东流。照人惟有古今月，极目空余天地秋。借问回翁旧时笛，不知吹破几番愁？

游西山和朱启东韵

张钟灵

载酒遥从野老行，寻诗高入上方春。对鸣长日花间鸟，小立春风柳外人。绿水鸣畴秧马滑，晴波万里白鸥驯。品题细拾江山景，落笔春光字字新。

来山铺

陈大壮

午坐松阴覆薜萝，楚笳晴唤鸟音和。溪连山色虚沉翠，水散春声曲放河。避石肩舆缘路滑，吹风木叶向人多。愁容为许开芳兴，频对长亭发啸歌。

燕矶

雷 贺

春日晴登江上峰，长烟一抹翠鬟浓。泥香芹草来新燕，水煖桃花起蛰龙。碧濂渔帆回袅袅，紫云仙驭护重重。醉过幽梵还临眺，落月江传礼佛钟。

观音阁

龚秉德

秋风空忆故山薇，忽向江心扣竹扉。雀啄荒苔随砌落，鸟迎寒雨逐船飞。酒边狂客花传斝，云里高僧珠系衣。自古登临多藻赋，不知谁继谢元晖？

普惠院

王 甸

与客携筇访净扉，东流人渡一舟微。云开老鹤频依锡，雨压残花

^① 国图本题作《黄鹤楼题壁》。

易湿衣。荒径绕林松叶滑，午风清坐鸟声稀。踌躇欲尽无边兴，更出山僧几局棋。

龙泉寺

王 畴

晓乘晴旭上高林，午坐寒阴过别岑。狐兔未潜青野合，鱼龙初静碧潭深。绀园楼阁相亏蔽，墨沼烟云自古今。拟把世纷归澹泊，一襟秋水共禅心。

多宝寺

朱廷立

城头隐隐漏疏钟，睡起山翁一驻筇。古殿尚留前度句，年华易老后生容。凭谁下榻能分芋？当暑移尊喜近松。衣钵相传知己远，佛灯高烛白云峰。

江上怀古

方逢时

漠漠春阴黯不开，江干独上思徘徊。楚宫楼阁浮云净，鄂浦烟波落日催。去国王孙空有赋，忧时迁客漫多才。闲情欲和沧浪曲，澧芷湘兰尽可哀。

游大崖

方逢时

禅宫深寄碧山阿，拄笏来登一放歌。径竹生寒侵翠袖，石峰凝黛拥青螺。笋芽新试分僧供，贝叶闲翻诵佛陀。坐对远山忘去住，幽情久已系藤萝。

赤壁山

方逢时

危矶巖嶂倚高江，人道曹刘旧战场。往事已随寒浪灭，遗营惟有暮山长。云霞尚带当年赤，芦荻空余落日黄。欲吊英雄千古憾，渔歌萧瑟起斜阳。

赤壁

魏 裳

崔嵬风雨一登临，落木潇潇万壑阴。赋里不须疑赤壁，尊前应自见乌林。东风共羨回天力，西蜀堪怜报主心。忠武芳名垂宇宙^①，将军千古未沉沦^②。

黄鹤楼

吴国伦

黄鹤仙人去不回，汉滨楼阁自崔嵬。千帆雨色当窗过，万里江山动地来。云梦天低湘女怨，洞庭叶下楚臣哀。当时玉笛今寥落，独有梅花泛客杯。

樊口阻风同仲美作

吴国伦

飘风五日暗江陲，兀坐孤蓬玩绿蘼。雷阜总迷云气尽，江涛更助雨声悲。（已）〔已〕无村市堪呼酒，赖有邻船但乞炊。前路险彝都莫问^③，停桡是处好言诗。

甘将军庙

吴国伦

黄龙洲接大江回，卷雪楼高巨浪摧。古屋将军遗像在，荒村伏腊瓣香来。何年一破窥吴计？异代还怜翊汉材，有客停舟荐兰芷，樯鸟噪雨若为哀。

重登西塞山怀古

吴国伦

江上重登西塞山，千盘石径九矶环。洄波响震蛟龙宅，绝壁雄分虎豹关。百里风帆苍碛外，几家村市白云间。可怜鼎足纷争地，汉水东流总不还。

① 忠武：诸葛亮后封忠武侯。 ② 将军：指关羽。 ③ 彝：“夷”的避讳字。

武昌燕矶夜宿同赵灏阳、习豫南

黄凤翔

危岑缥缈斗牛边，极目空江拥暮烟。天上德星今夜聚，尊前明月几时圆？松萝风袅传僧磬，芦苇云深泊钓船。对尔长吟《招隐赋》，寒衾藉草正堪眠。

萃景楼

朱 璘

西林云气晓冥冥，屐齿苔痕次第经。三国至今传汉统，半山犹自说苏亭。秧田过雨高低水，松径盘烟屈曲青。漫向斜阳语兴废，大都天地亦浮萍。

绛桃盛开——原移自浙中者——诸友过赏，感而赋此

谢鹏举

绛桃元出钱塘馆，种在蒲山地亦宜。怀核自怜经路远，看花长恨挂冠迟。红英历乱还须酒，绿叶商量欲索诗。传语骚人高兴者，及时相赏莫愆期。

白龙寺

谢鹏举

幼别禅林老再登，跻攀无力怯嵯峨。暗思旧寓伤陈迹，细指荒丘问故僧。雨过园林声淅沥，秋生岩壑气严凝。红尘奔走成何事？欲学参禅悔未能。

九日集雄楚楼怀旧

宋 登

沱水燕关忆壮游，短衣孤剑老荆州。天涯纵酒逢青眼，马上看枫掉白头。日暮饥乌还绕树，烟寒古堞自深秋。江空鸿雁无消息，千里相思月满楼。

普济寺

范 钦

秋后六日转新凉，淡云疏雨净山房。即拼车马深深醉，况有兰薰裊裊香。江海一身朋辈远，岁时万里梦魂长。亭花槛竹劳相忆，来日

来时复此场。

望黄鹤楼

张居正

枫霜芦雪净江烟，锦石游鳞清可怜。贾客帆樯云里见，仙人楼阁镜中悬。九秋槎影横清汉，一笛梅花落远天。无限沧洲渔父意，夜深高韵独鸣舷。

龙翔山

谢师启

青嶂巉岩俯碧湾，千峰削玉见南山。初过郭北人烟接，稍去桥东鸟路间。碍日藤萝经岁久，媚江梅柳报春还。谢公有癖迁双屐，咫尺郊溪始一攀。

黄鹤楼

郭正域

黄鹤高飞去不留，丹梯缥缈锁丹丘。遥连瀛海三千界，侣接神仙十二楼。满眼帆樯飞漠漠，一天烟树晚悠悠。却嫌李白少情思，不肯题诗在上头。

和伏武昌登孙权故宫

王 琥

茫茫何处觅遗宫？立马溪头问野翁。古殿有基芳草里，乱山无主夕阳中。西门柳影荒村静，南浦波声故垒空。不独降王吴似蜀，六朝秋水起江东。

登黄鹤楼

邹迪光

凭陵矫首大荒浮，万里苍茫接汉丘。夜气半衔三楚阔，天风长带九（疑）[嶷]愁。虚闻仙子乘云去，侣有灵均鼓瑟游。最是晴川烟水滑，片帆漠漠下扬州。

正气楼

李 沂

正气楼开海岳收，字惊华袞耀千秋。生逢盛世毫无补，身处江湖

更有忧。请剑不闻天上语，飞云空见日边浮。何人共遗登临兴，高视雄谈隘九州？

西河舟火

孟养浩

城头暮角引微凉，杨柳蒹葭共渺茫。几点寒光明极浦，数声短笛破沧浪。熹微不辨流萤色，仿佛初惊过雁行。莫遣寒山钟夜度，有人愁对满天霜。

黄冈湖

邓 秀

山行戒仆披蓬蒿，天风吹露沾征袍。夜如何其月皎皎？道之云远心忉忉。波寒不戢鼃鼃怒，夜静厌闻豺虎号。荒村息驾秉烛坐，俗吏簿书空尔劳。

自武昌过蕲城

余启文

霜拥寒峰入暮垂，凭高搔首接篱欹。青山不似交游色，芳草徒多绮艳思。沧海北平朝秣马，黄河南畔夜乘陴。伤秋风雨松筠老，已遣清芬待雪迟。

高真祠值雪

雷时敏

雨雪黄昏古道幽，垂杨叶尽草含愁。还惊短日捧髭鬓，忽引长风过市头。官马夜嘶孤客店，寺钟寒度万家楼。明朝且未称萧索，北斗程遥莫自繇。

登黄鹤楼

何 迁^①

西山落日佳气来^②，东阁白云飘满台^③。野老独游河汉杪，仙人疑在潇湘隈。故邀月色净琴瑟，谁遣江光浮酒杯。孤清对此发长啸，

① 何迁：公元1502—1574年，字益之，号吉阳。德安人。嘉靖二十年中进士，任户部主事、九江知府至刑部侍郎。学识渊博，晚年讲学吉阳山，诗有中唐风格。有《吉阳集》等。 ② 西山：龟山，在黄鹤楼西边。 ③ 白云：云气。

岘首牛山空尔哀^①。

道士洑

袁 向

群峰尽处障江湄，峭壁峻嶒薜荔垂。树里青烟微露寺，岸边丰草半藏碑。千年古洞飞云迥，百室村墟夕照迟。湍悍生憎矾下水，去帆临浪故逶迤。

入楚寄徐子与金宪

张佳应

功名当日羨君侯，不谓仍同失路愁。垂老宦情相顾拙，异时侠气好谁投？逐臣饱历苍梧瘴，词客偏逢鹦鹉洲。几欲裁书附黄鹤，楚云先入大江流。

荆泉洞

王鼎彦

翠壁丹崖鸟道通，飞梁奇似玉玲珑。祠官岁请潭龙雨，山叟时占石燕风。何代仙人棋迹古？前朝游客字痕蒙。分明指点寻源路，流水桃花向此中。

白雉山

向日红

翠微深处白云幽，曲径纡回到上头。北望烟尘关塞月，西来风雨洞庭秋。星河晓傍疏钟落，雁景斜连古塔浮。怪底仙人骑白雉，却缘此地一丹丘。

① 岘（xiàn）首山：在襄阳县南。晋羊祜都督荆州诸军事长达十年，绥怀远近。曾登山，置酒言咏。死去，州人罢市巷哭。后其部属和襄阳百姓在岘首山其生前游息处建碑立庙，岁时祭拜。望其碑者莫不流泪，因名为堕泪碑。牛山：在山东淄博市东。《晏子春秋·谏上》记载：“（齐）景公游于牛山，北临其国城而流涕曰：‘若何滂滂去此而死乎？’”。空：有作“胡”。

登西塞山

向日丹

孤峰岑崒大江边，万仞芙蓉霄汉悬。雨过似移巫峡近，波回疑与海门连。远天帆影来秋色，幽壑钟声起暮烟。应羡当年垂钓者，青蓑稳傍白云眠。

登沼山寺尹茂才携酌

向日丹

累日欢呼兴转狂，更携余酒过僧房。不辞傍险行偏好，总为耽山癖未忘。万岭参差新树绕，一岩缥缈古云藏。须臾有客携壶至，又拼酣歌到夕阳。

同诸友饮青龙阁

向日丹

登楼呼酒醉榴花，豪客连翩兴未涯。十里湖光晴滟好，八窗云气晚凉赊。风苹细漾沧波乱，石壁欹临古阁斜。纵饮迟回天欲暮，隔林疏火傍渔家。

酌小瀛洲值雨

向日丹

岿峩龙角小瀛洲，座里湖光八面收。古阁垂垂烟树矗，残山片片水云浮。几家疏柳依层岸，隔浦微风送晚舟。醉后漫催归楫蚤，一帘凉雨且淹留。

登沼山寺

余玉节

仄径扶筇破滑苔，层云冉冉荡胸来。周遭一水萦空翠，却略群峰护古台。（铃）〔铃〕铎风传清籁响，松杉日转法轮回。登临欲探千年胜，碑版寥寥猿鹤哀。

西塞读书

王可象

山事闲中取任赊，从来相妬在繁华。有时听溜皆成韵，到处闻香不见花。渔父忘机双鹭下，道人开户一峰斜。颓斑细绿谁能写？装点

还须属米家。

又：

炉香碗铭罢残编，独曳藤鞋任往还。龙窟寺前新涨急，玉虚殿后碧峰圆。气连古木千梢冷，市接东陵一带烟。山里志和今在否？斜风渡口乱归船。

狱邸别孙何知 天启壬戌

熊廷弼

老友相看四十秋，临歧执手泪交流。故乡万里今君去，孤室一灯予独留。揽辔修途白日澹，披衣中夜小星稠。归家儿女若相问，莫道阿爷作楚囚。

夜过灵泉寺

王应斗

破帽青鞵信浪踪，溪光林影自重重。云间蜃气生楼阁，山下灵泉应鼓钟。近浦雨残朝看竹，隔床风细夜闻松。谁言惠远疏灵运，乱后逃禅兴亦浓。

过留云庵

李 汇

野寺萧然附郭西，薜萝烟路使人迷。闲门枫叶惊秋犬，小圃菰花护午鸡。草茗传香留客话，粉笺书字向僧题。残经初歇归云静，虚磬一声群树低。

二月二日华容寺题，用许仲晦韵

张 缜

湖边茅屋深蓬蒿，陌上车尘何太劳？岩林驻马云烟冷，野寺入门钟鼓高。梅花颠倒舞斜日，草色微茫连断壕。岂惟柳枝青袅袅？闻道新红已破桃。

玕洞飞云

余顺明

峭然壁立俯江浔，缥缈岚光绕碧岑。幽洞堪横高士骨，飞云为系

漫郎心。依峦触石层阴合，拄笏铭泉瀑润侵^①。回忆昔人工选胜，犹教杖履动追寻。

鹤楼望大江

许承钦

大泽风高更倚栏，江山如画带愁看。西连庸蜀烽烟直，北抗沧溟海气寒。庙社有时归草昧，乾坤何处不波澜？徘徊试取柯亭笛，吹落梅花满玉坛。

东流寺

王守贞

雨雨风风柳入秋，欧家陂上一横舟。石砦茅屋依山静，古刹禅房傍水幽。多士文章今去捷，几人车马此来游？老僧不尽殷勤意，茗碗浮香苦我留。

过寒溪步邬峒庵韵

阎汝梅

鸡头菱角小船香，风静残荷气满床。元亮归来三径醉，灵均佩处九秋芳。花寒犹树山中桂，日出才歌陌上桑。村落渔樵无识者，错闻鸚鵡拟鸳鸯。

国朝

庚子二月既望，黄鹤楼招同傅绣水余西崖、夏人淑、毛子霞及家儿始奋，分韵

彭而述

飞楼缥缈着江干，霜鬓登临记往年。隔岸春城生槛外，乱帆斜日到樽前。云连秦蜀开荆甸，水下东南尽楚天。莫向桑沧生感慨，孙刘兴废几茫然。

望南湖

李元震

闻道洞庭天际浮，君山螺翠拥中流。欲吞溟渤曾无地，行尽潇湘

^① 侵：湖南本作“钦”，同音误。

总是秋。帝子烟波飞木叶，神巫歌曲隐龙湫。不知屈宋魂何处，风雨常教估客愁。

黄鹤楼

王泽弘

频来鄂渚泛虚舟，览胜还登黄鹤楼。横笛难醒人世梦，长江莫浣古今愁。千家堞影寒云暮，两岸山光落照秋。放浪闲身聊纵目，渔歌半夜起中流。

江夏城楼雨后眺月

刘醇骥

列筵广宴人初散，缅邈城头避暑过。雨里汉阳风浪远，云中楚国暮钟多。高低访古回乌帽，南北怀人坐绿莎。涌月台前江水满，洞天何处不笙歌。

与吴子峻季谭磊石先生《忠烈事诗》以志挽

洪周禄

蹇蹇孤忠震帝京，荃弘千载哭犹生。风雷翻为凌高节，天地难居是盛名。属草欲除珰后珥，引裾先拔眼前丁。阴风飒飒吹灯事，却与椒山抗疏并。

黄鹤楼

王孙蔚

独立飞楼尺五天，窗环平野入尊前。长江晓结千峰雨，大别晴开万树烟。紫雁北来迷楚浦，白云西去认秦川。凭栏愁看陶公柳，舞却春风又一年。

避暑松风阁

徐 惺

平明问渡过江皋，阁上松风十丈高。正与远公闲泼茗，却惊苏子又挥毫。人间酷暑应难避，世外浮名莫过逃。但觉清凉心地好，不须回首叹波涛。

孟夏舟发鄂渚

徐 惺

五年无计出山城，忽值悲余江上行。白日长天飞鸟度，青洲远渚浴鸥轻。波平细听邻舟语，风静遥看草树明。一枕蘧蘧梦初醒，沧浪渔父最关情。

过九峰

徐 惺

空山是处拥蓬麻，今到峰头翠转加。九点晴峦初日照，一天老树碧云遮。自闻龙语曾开井，却向狮崖好试茶。最爱远公心地净，清谈坐久摘枇杷。

题冯公慕冈报德祠 公劾罢税使，楚人德之。

石崑玉

烟尘爇燹暗长沙，谁作卿云捧郁华。借剑天关惊虎豹，燃犀鄂渚走龙蛇。九重春到三家市，五两风轻百贾舠。多少疮痍魂未定，归来长护野棠花。

黄鹤楼同周星公、陆鹤田、张夏钟、李屺瞻、张石虹、毛子霞、蒋玉渊分赋

孙 卓

行役劳劳万里身，停舟鄂渚忽经旬。何缘羁旅逢佳客，且借江山当主人。云气乍开波影乱，霞光欲散月华新。相看青眼从疏放，莫负尊前酒数巡。

九日登黄鹤楼

张希良

一上丹梯人境外，秋高霜洁大江空。洲沉鹦鹉波犹绿，山冷胭脂树半红^①。词赋岂能经浩劫？楼台别自有雄风。与君醉把茱萸酒，鹤渚龙峰兴亦同。

① 山冷胭脂：黄鹤楼东北有胭脂山，石暗红色。

己亥夏日阻风武昌

陈肇昌

短棹孤帆却月东，江涛飞接野云红。思秋忽忆沾沙雨，入夏偏多逆水风。河洛酒堪驱暑酷，昌黎书不济途穷。故人已作临邛令，肯为相过慰转蓬？

春霁偕诸子登南楼和时庵韵

任 重

庾楼春暖柳新弯，怀想风流不可攀。画栋光浮千树色，碧窗晴映一峰闲。巫云远向三湘出，衡雁遥从七泽还。极目重簷望江北，片帆何处是燕山？

武昌送乐丛望西山松树

胡之太

冬日城西送远公，遥看绝顶树童童。印空影挂白云里，冲汉枝横落照中。苍老独存三古气，婆娑平挹大江风。何人手植孤峰上？长瞰孙吴避暑宫。

黄鹤楼即席

金德嘉

高楼自古足登临，此日逢君载酒寻。花信正来梅落后，春光渐入柳丝深。江山并是樽前客，风雨谁知醉里心？仙子有时还弄笛，愿将幽感托清音。

将之粤阻兵，泊舟登黄鹤楼

李念慈

黄鹄矶头黄鹤楼，严城屹立几千秋。神仙有迹云霄迥，江汉无情日夜流。两郡人家隔岸接，三湘烟雨拍天浮。陆公祠下兵帆集，何处堪容使粤舟？

追挽吴忠烈

梁清标

甘陵旧事讵堪论？一疏飞霜叫帝阍。碎首殿阶留碧血，伤心旅棹

泣青门。汉庭再启膺滂祸^①，湘水谁招屈贾魂^②？剩有遗编传孝子，五侯当日几人存？

武昌寓楼正对黄鹤山诸胜

秦松龄

心闲如与境相谋，坐对名山即胜游。不信云霞随地涌，却看金碧半空浮。雨深古殿仙人去，草没荒宫帝子愁。忽听城头吹画角，自怜独卧武昌楼。

重登黄鹤楼

杨大鲲

楼前风物亦何常？涌月台连太白堂。自古神仙多嗜酒，几人登眺不怀乡？橘衣谁见跼蹐舞？枣实何时纂纂香？阅尽孙刘无限事，不如对景一飞觞。

江上送春得“妍”字试士题

胡介祉

九十春光过眼前，酒旗歌扇为谁妍。红残杜宇声中雨，绿遍王孙草外烟。是处相思频弄笛，何人偏解共离筵？高楼多少关情者，坐惜韶华空自怜。

避居普济寺

胡允同

病后幽居到化城，秋云黯澹见离情。寒鸦乱点山无色，凉叶辞林树有声。法界乍疑灵鹫近，尘心尚觉毒龙横。寻常载酒登临地，回首年华感慨生。

己亥小除招同何不偕、陈元孝登黄鹤楼^③

毛会建

百尺楼飞雉堞间，逐忙携手一跻攀。当矶浪接洞庭水，隔岸峰高

① 膺滂：李膺、范滂，是东汉反抗宦官，被指为朋党处死的大臣的代表人物。② 屈贾：屈原、贾谊。③ 小除：节日，小年。

大别山。世网难招黄鹤住，君恩独放白云间。如何十载烟波客，薇老吴中人未还？

雄楚楼

蒋 铨

巍然百尺倚扶桑，特护薇垣镇北方。山绕凤凰关地脉，江连衡岳接天荒。凭陵浩气千秋赏，映带文星一路香。雄楚名高天下望，方城汉水自金汤。

松风阁

熊 登

才剪棘榛问故踪，已看高矗并云峰。钟声俨向空中落，鸟语偏从静里浓。隙地补完山正好，晓窗开处石为供。规模欲使浑如旧，再把周遭尽种松。

深柳堂感赋 堂在道署西偏

叶映榴

烟丝如画裊空除，影入芳塘水榭虚。雨后风流争似昔，眼前萧散不如渠。官厨犹索长安米，箕敛羞看货殖书。遥忆故园池畔柳，此时愁黛可曾舒？

其二

巾箱书卷渐凝尘，簿领成堆欲等身。批答来除章句习，驱驰颇似利名人。江帆风正思归棹，桦烛花开梦老亲。已是别离惊改岁，那堪梅雨更兼旬。

其三

云叶烟条映绮栊，辛夷花落讼堂空。曝余古画蒸霉白，扫破苍苔渍水红。谷贱偏无千日酒，雨多只望五更风。已为俗吏休嫌俗，闲课阴晴祝岁丰。

其四

葳蕤鱼钥锁重扉，楼上晴光霭翠微。但见印硃污毳服，有谁刀尺剪春衣？潜身敢羨蜘蛛隐，中饱频愁鼠雀肥。那得痴儿公事了，手持

官纸送斜晖？

其五

鹊尾香炉手自熏，蝇头笺牒杳难分。丁年萧飒惊青鬓，子舍迢迢望白云。花事一春忙处过，江声万里枕边闻。悬鱼已久嫌腥食，野雀空羈鸾凤群。

其六

闲看潭影绕前墀，鼓角沉沉白日迟。吴地冰鲜应出水，楚山簳笋软垂枝。故园客到偶行酒，残梦觉来犹咏诗。莫讶逢人多白眼，肚皮原不合时宜。

陶侃墓

叶映榴

玉帐牙旗金仆姑，勤王戎服佩昆吾。曾闻剡荐烦贤母，不分余粮借老奴。樊口舸船销夜雨，武昌门柳宿啼乌。竹头木屑劳心力，石马荒凉卧绿芜。

其二

温峤笺题足古今，问公何事更沈吟？可知今日回军意，犹是当年运甓心。黑石坳尊埋旧宅，绿沈金甲冷寒林。垂天八翅终长梦，断碣迷离不可寻。

祢衡墓

叶映榴

芳洲野水浸红兰，弦管初停降玉棺。鹦鹉赋心空旖旎，凤凰毛骨竟摧残。搢搯不歇中原恨，笺刺新衔上帝官^①。日夕回帆闹津鼓，参覃犹似骂曹瞒。

黄鹄矶晓望

叶映榴

送客重临古渡头，清江无际浪花浮。波开静见鱼龙舞，水阔先漫

① 笺刺：古名片。

鸚鵡洲。石磴雨荒懸薤叶，夾城云暖卧沙鷗。五湖極目烟光合，生計終尋范蠡舟。

黃鶴樓懷古

翁介眉

仙人樓子勢嵯峨，傲吏閑邊一再過。酒向辛家拼盡醉，詩非太白且高歌。蕭蕭草樹浮雲斷，渺渺帆檣落照多。我亦烟波江上客，聊同野鶴共娑婆。

華嚴庵詠桂

金綿祖

清秋帘卷一天長，問桂迤來入上方。亂點階前金布地，高飄雲外月移廊。昔傳仙吏名曾顯，偶對華嚴字亦香。寄語鷄窗時努力，好教攀折几枝芳。

秋夜黃鶴樓有懷

徐 奇

旧時明月今時樓，烟波杳渺凝素秋。一聲羌笛起江郭，几点漁火依汀洲。無人傳語問黃鶴，有客賦詩空白頭。瀟湘洞庭自此去，高云遠意相悠悠。

秋日招友游文起閣

胡繩祖

閣名昔號小瀛洲，即是真仙亦可留。疏杵几家沙岸外，輕烟一片柳枝頭。人分野色渾依檻，月涌波聲共入樓。乘興不知風露冷，夜深猶忘蕩歸舟。

泊鸚鵡洲

毛際可

澄江一望淨无烟，此夜还停汉口船。秋色苍苍迷远浦，疏林历历自晴川。移樽坐对菰芦月，倚笛寒惊雁鹜天。欲吊正平何处是①？洲

① 正平：祢衡字。

横江夏几千年。

泊汉阳门

汤思孝

秋尽枫丹霜暗催，羁途野泊此徘徊。锁江烟漠鱼龙冷，绕树风号乌鹊哀。汉口船随孤鹭去，矶边人带晚霞来。故乡有梦愁无寐，待遣更深莫放杯。

登黄鹤楼即事

李 藩

带蜀襟吴四顾雄，当楼七十二芙蓉。横天星斗参差近，接地风云变幻同。杜宇泣秋麋子国，鹧鸪啼月楚王宫。黄粱一饭犹安枕，今古兴衰一梦中。

赤壁怀古

侯于周

霜天落日大江流，峭壁凭临万里秋。白浪惊翻横槊恨，淡烟空锁卧龙谋。乌林云树遥飞雁，六口汀芦隐钓舟。何事子瞻频载酒，只将赤(埠)[壁]拟黄州。

登黄鹤楼远眺

裴天锡

巍楼百尺岸江皋，极目空凌万顷涛。隔岸烟青云影静，层峰障碧隼飞高。怜才独惜祢洲杳，念古当思禹迹劳。闻说观游资政理，暂凭幽兴寄庄濠。

登黄鹤楼

严有慎

仙去楼空鹤不还，独留长笛倚云间。江回匹练分全楚，地拥孤城压众山。无数飞帆来日下，有时清磬落人间。登临不尽兴亡意，古碣摩挲旧藓斑。

客邸独登黄[鹤]楼

荆彦鸣

江流日夜客心哀，独上江楼有几回？水际白鸥终日见，空中黄鹤

几时来？春明何处乡心切，风暖谁家归棹催？极目关山真怅望，千年还赏左司才^①。

黄鹤楼

汤 播

昔年空咏“白云”句，今日初登黄鹤楼。黄鹤层楼高岌岌，清江万里去悠悠。晴川极目都无树，芳草连天别有洲。仙客诗人俱往迹，满前风景若为愁。

黄鹤楼东望兼呈裴使君

庄天锦

红衣落尽楚江秋，有客频登黄鹤楼。天际风帆随雁渡，日边烟树倚云浮。遥瞻亲舍思千里，欲作家书起百忧。幸有故人堪慰藉，西风未典鹔鹕裘。

咏黄鹤楼

汤思孝

供奉无诗偏万古，正平有赋亦千秋。听残好鸟春风唤，愁煞长江日夜流。铁笛吹来声入破，李谪江上吹笛事^② 羽衣去后梦还留。子瞻赤壁赋鹤事 开元麟德何须问？天地烟波点白鸥。

庚申秋，楚有哗兵，徐子惺方伯摄巡抚相几敕戢，乱庶遄已，步韵寄悔人

顾景星

传闻黑虎功无敌，在眼沙虫怪转多。只手斡旋愁气运，几年妖孽到人痾^③。楼头啸咏原无事，帐外欢哗敢若何？见说老貔当道卧^④，肯容獾子暂相过。

其二

军事阴符许独知，毫厘千里辨安危。康庄屡覆悲前辙，欹器如扶

① 左司：唐韦应物。 ② 李暮江上吹笛事：原书中注，下同。

③ 痾：疾病，指战乱。 ④ 貔：似虎的猛兽。

忍后时。反侧祇看元帅令，指挥先控鬼神奇。自闻藩镇贤留后，八郡甘心饷六师。

其三

公卿垂问满长安，近日堪谁大筑坛？乐毅有才仍未荐，曹蜍无用不遭弹？饥鹰啄胃恒思掣，野父忧时每罢餐。肯信南州徐孺子，得官将相救凋残？

其四

病卧江干细雨中，尝思虎帐坐春风。半囊赤仄难呼酒，几簋黄精莫奏功。岷水他年须堕泪，深源毋事只书空。行吟近有朱翁子，何不焚书论五戎？

黄鹤楼

潘国祚

飞栋岩峣迥不群，危峦依旧倚斜曛。谁能画壁招黄鹤？我欲乘风问白云。夹岸楼台芳树尽，万家烟火一江分。向人莫话沧桑事，笛里梅花可赠君。

春日洪山寺纪游

裴友沅

晴郊春满落花天，结侣幽寻意渺然。云气静飞千嶂瀑，钟声遥散一林烟。壶觞喜值庭趋暇，山水偏多兰若缘。只此相将修楔好，诗成犹忆永和年。

赋得“昔人已乘黄鹤去”

龚嘉楷

武昌黄鹤大江头，闻道仙人驾鹤游。丹灶何须陈岁月，苍颜那肯驻春秋^①？数声玉笛谁曾听？一片孤云不可留。碧落逍遥无定处，恍疑天上泛虚舟。

① 那：哪的古字。

赋得“此地空余黄鹤楼”

龚嘉稽

青山自古抱江城，鹤去楼存无限情。月下落梅何处觅，亭前植枣几曾荣？云霏仍瞰千帆雨，画角遥瞻万里晴。劫火曾经轮奂改，危岑犹是旧时名。

赋得“黄鹤一去不复返”

龚嘉稽

振羽翱翔忆旧林，自然清唳入云深。既随明月归天表，岂驭长风下漠阴。丁令不还难再遇，佐卿已化向谁寻？遥知警露栖蓬岛，常侍仙翁花底琴。

赋得“白云千载空悠悠”

龚嘉稽

水流有意日潺潺，云出无心散复还。秋伴书空迷雁影，春垂浓荫惜花颜。淡烟疏雨临清渚，落照残虹媚远山。朝夕随风飞上下，看来人世许谁闲？

赋得“晴川历历汉阳树”

龚嘉稽

晴川相峙俯烟霞，暮火朝炊十万家。矶上对瞻夹岸柳，楼中遥望隔江花。几多翠靄来天际，一派苍茫入水涯。大别风光看不厌，最怜红树晚笼沙。

赋得“芳草萋萋鹦鹉洲”

龚嘉稽

鹦鹉洲沉实可哀，正平遗冢已无堆。依依犹恋王孙草，落落谁怜狂士才？共道（苍）〔沧〕桑岁月改，（那）〔哪〕知聚散古今催。司勋当日题诗句，岂料沙空雁不回？

赋得“日暮乡关何处是”

龚嘉稽

帆飞其奈客情何？古渡斜阳感慨多。望远吴山开万叠，眼前楚水逝千波。半生歧路违乡国，每日闲吟忆薜萝。极目江干无限思，凭栏

时听“掉船歌”。

赋得“烟波江上使人愁”

龚嘉楷

太白当年曾搁笔，惭余何事苦钻研？只因飘泊常为客，忽起离愁动远天。诗律未工人渐老，鹏搏有志砚徒穿。千秋惟有沧浪水，屈宋才名亦枉然。

赋得“昔人已乘黄鹤去”

龚志夔

十里青山万劫尘，药炉丹灶峙江滨。神仙自昔多耽酒，蓬岛谁曾一返轮？明月清风千古在，飞花舞絮逐年新。乘云黄鹤知何处？惟见苍波忆昔人。

赋得“此地空余黄鹤楼”

龚志夔

楼名黄鹤古矶头，矶下长江日夜流。仙枣亭空留夕照，玉箫声响忆（苍）[沧]洲。曾经庾亮邀宾客，早是深源足唱酬。多少兴亡成往迹，巍然独瞰楚天秋。

赋得“黄鹤一去不复返”

龚志夔

神仙曾记费文祗，丹就空存黄鹤矶。城外洪流常浩浩，夜深明月故依依。乘云一去无消息，化鹤千年竟未归。何用徘徊江水畔，清秋犹有鳊鱼肥。

赋得“白云千载空悠悠”

龚志夔

一片云横古渡头，夕阳无语送千秋。敲残棋局怜今古，吹落梅花等泡沬。不住波涛飞雪浪，空悬明月照南楼。白衣苍狗如长在，驾鹤仙人亦可留。

赋得“晴川历历汉阳树”

龚志夔

无限汉阳江上柳，清波摇月掉歌声。拂云浓淡参差影，隔岸朝烟暮雨情。日落栖鸟争树宿，春深小骑踏花行。危楼对峙堪终古，曾锁中流铁索横。

赋得“芳草萋萋鹦鹉洲”

龚志夔

春风江畔碧于萝，犹忆王孙载酒过。浪逐桃花空浩渺，杯邀明月共婆娑。乾坤不毁余芳草，洲渚无情没逝波。独有正平千载下，赋中鹦鹉未消磨。

赋得“极目乡关何处是”

龚志夔

曲中杨柳正含情，无那他乡月倍明。梦里故园惊改岁，楼头铁笛起三更。花前对酒多新雨，天际看云忆旧盟。何日青山归卧稳，任他风雨绕江城？

赋得“烟波江上使人愁”

龚志夔

江深汉广自年年，势霭声声破碧烟。逝水无情流昼夜，高楼有客忆神仙。渔灯野浦惊萤火，燕剪春堤落柳绵。搔首青天云不住，萧萧虚送鬓丝悬。

五言排律

唐

石头口水驿^①

张九龄

山槛凭高望^②，川途渺北流。远林天翠合，前浦日华浮。万里缘

① 《全唐诗》卷四十九题作《候使登石头驿楼作》。② 高：《全唐诗》作“南”。

津渚^①，千艘烟渡头^②。渔商多末事，耕稼少良畴。自守陈蕃榻，常登王粲楼^③。徒然骋目处，岂是获心游？向迹虽愚谷，求名亦盗丘^④。自阴方木所^⑤，空复越乡忧。

西山寻韦谔^⑥

孟浩然

扁舟一水阔^⑦，因访故人居。落日清川里，谁言独羡鱼？石潭窥洞彻，沙岸历纡余^⑧。竹屿见垂钓，茅斋闻读书。款言忘景夕，清兴属凉初。回也一瓢饮，贤哉常晏如。

明

赠方令尹一桂

廖道南

忆昔乘槎夕，相逢黄鹤楼。楚兰歌宛转，淮桂赋淹留。纳纳乾坤大，盈盈河汉流。海天回白日，江国滞清秋。溪绕双流合，池环九曲浮。飞虹联绝（壁）[壁]，华月抱虚舟。挥藻江淹浦，寻芳谢眺洲。八闽牵思切，三岛纵神游。烟际菰蒲杳，风前竹树幽。独怜叠嶂远，谁与共赓酬？

洞渊观

朱廷立

山溪通道院，海气接蓬莱。羽客逢人笑，桃源洗药回。洞深花未见，香满水飘来。留赏旋烹藻，谈玄数举杯。松窗凝玉液，鹤步印瑶苔。巾袂云常湿，头颅雪不催。纵未栖林壑，谁能复省台？养生还澹泊，密意对君开。

杉坑寺

朱廷立

入夜寻名寺，追欢集众贤。佛灯分照席，村酿买辞钱。林暗传花

① 里：作“井”。 ② 烟：作“咽”。 ③ 常：作“尝”。 ④ 亦：作“异”。 ⑤ 自：作“息”。方：作“芳”。 ⑥ 《全唐诗》卷一百六十作“辛”。 ⑦ 此句《全唐诗》作“漾舟寻水便”。 ⑧ 余：作“徐”。

气，山空响石泉。野云留树杪，春服舞风簷。旧榻宁须借？高僧共不眠。笑予诸事懒，妙赏一何便。

大泉洞

朱廷立

独羨神明宰，风流迥不群。邀宾临古洞，鼓棹出尘氛。潭净兰舟集，滩高野酌分。园禽窥异客，山鬼避雄文。日出浮龙沫，波生荡石纹。仙源何窈窕！瑶卉自缤纷。巾服渔樵习，弦歌虎豹闻。千崖晴滴雨，万壑午留云。碧树收清影，沧浪弄夕曛^①。回飈吹短发，明月照微醺。忆昔叨通籍，逢时愧策勋。中年辞汉阙，远志在河汾。轩骊吾何有？封章草自焚。一枝栖自足，百感向谁云？偶尔滇中凤，嗟渠帐里蚊。探奇如啖蔗，谈艺似闻薰。妙语新来得，英声旧所欣。藉君多逸思，裁谢寄殷勤。

颜忠烈白石庙

龚逢祥

削成一片石，万古白粼粼。素壁缠云雾，空祠集鬼神。阴风低半树，杀气戾高旻。血染流泉碧，苔依断碣新。三良瞻异代，完节重千钧。父老争投谒，春秋荐藻苹。峰峦标挺直，日月抱嶙峋。仰止堪长叹，（那）〔哪〕能赎百身？

国朝

还里同诸姻友登青龙阁有感

周蓼恤

高阁秋冬际，平湖水尽收。半黄依薄日，万绿少狂流。翻似山中住，追思镜里游。渔舟寒数点，老树立深愁^②。鸭放群沙岸，鹭干几处洲。青鞵无湿土^③，素影间浮沤。雾散人家出，山晴几席投。青龙渊自跃，苍鹿迹常留。蔬水清贫供，宾朋笑语酬。偏开窗四面，宜种橘千头。坐缓烟迷岫，情空槛近鸥。廿年伤远别，兴尽一凭楼。

① 曛：日没余光。 ② 愁：与秋同音兼义。 ③ 鞵：同鞋。

夏口归帆十六韵

何询之

天水杳无际，江空日夜浮。凭高望远浦，击楫泛中流。五两占风使，千艘挂席稠。鸦飞水面合，云涌浪前收。影乱江阴雨，樯悬赤壁游。狂山偏易改，狷水不能留。乌榜分飞疾，舳舻郎袖手休。随波自俯仰，触景任优游。纷若乘槎客，翩然泛斗牛。酒香来夏汭，山色迫南楼。飘渺青峰外，苍茫古渡秋。烟云横岸柳，新月挂银钩。帆落夕阳晚，船归沙羡头。参差争一泊，先后济同舟。一幅真图画，千年可卧游。数峰江上好，何必忆沧洲？

七言排律

(唐) [宋]

卷云楼

白玉蟾

烟水苍苍古渡头，寒鸦噪罢缆方收。泊舟鳧渚鸥汀晚，夜入兰宫桂殿秋。绿苇黄芦悲落日，白苹红蓼斗沧洲。冥冥千古如今梦，浩浩长江不管愁。雁阵归时云似幕，风樯高处月如钩。金涛飞起银花舞，万顷寒光十二楼。

明

赠秦娄江赴楚宪金二十韵

何 迁

楚甸孤烟覆汉旌，谿皋千骑拥仙卿。沙边龙角三湘渺，日下雕戈七泽横。司马崖亭长堕泪，范公祠庙故含情。花繁滢泮分秋色，雨过潜沱报晚晴。但使风流开列国，不妨礼乐闭专城。章台节迥终羊祜，夏口才危失祢衡。露冕蹇帷看俶傥^①，洞庭云梦喜逢迎。沅溪瘴净朱旂绕，岳麓霜飞绣幰行^②。马援江南非盛业，寇恂河内本朝英。文章早岁驰东斗，谏诤当今重洛京。气掩权珣回彗曜，名高诚谡出承明。

① 俶傥：同倜傥。 ② 幰：车上的帷幔，指车。

十年扈跸燕宫壮，一夕投荒浙水清。谁遣贾生身独远，讵知宓子教还成？天台踪迹疑逃越，栗里行藏更适荆。经笥竭来秦博士，褒衣仍坐鲁诸生。陆离我抱依刘叹，感激君悬惠梦评。只拟荒途纫秀蕙，敢期华屋揽青萍？紫金阁静春呼酒，白兆林空夜听莺。邂逅正怜移席暮，踉跄何意别筵轻。鹄班凤翥他时事，极目岩廊望傅霖。

五言绝句

唐

汉江 ①

宋之问

岭外音书断，经冬复历春。近乡情更怯，不敢问来人。

题西塞山

韦应物

势从千里奔，直入江中断。岚横秋塞雄，地束惊流满。

和伏武昌登孙权故宫

刘长卿

上下故宫城，长江一何有？寥落几家人，犹依数株柳。

南湖

薛能

西塞长云静，南湖片月斜。漾舟人不见，卧入五陵花。

江行

柳（谈）[淡] ②

繁阴乍隐舟 ③，落叶初飞浦。萧萧楚客帆，日暮寒江雨 ④。

庾楼

贺复生

宿鸟归天尽，浮云薄暮开。岐山青数点，不肯渡江来。

① 《全唐诗》卷五十三题作《渡汉江》 ② 柳（谈）[淡]：即柳中庸，中庸是其字。 ③ 舟：作“洲”。 ④ 日暮：作“暮入”。

宋

赤壁山

王安石

日净山如染，风暝草欲薰。梅残数点雪，麦涨一川云。

元

江天暮雪

揭傒斯

孤舟三日往，不见有人家。纷纷竹篱处，却恐是梅花。

明

过夏口寄恽君

李梦阳

君居楚城里，我傍楚城过。相思连夜发，无奈是江波。

青山矶

王世贞

武昌在前头，逡巡不肯去。为爱青山矶，且对青山住。

谢公祠

吴国伦

古祠依鹭渚，疏柳过渔舟。不是名贤寓，谁知水郭幽？

荆港浦

张 佩

晓泛桃溪水，夕渡桃峰云。谁云种桃者？花发忽逢君。

羊楼洞

廖 汉

万石如群羊，山光落天宇。我来溪上月，萝阴满岩树。

南湖十一月二十四日夜月

谭元春

明月涵南湖，湖中鳧雁呼。霜气结寒声，能使明月孤。

国朝

西塞

毛际可

传闻西塞山，迷人在何许？白鹭忽飞来，翅湿桃花雨。

又

独往谁能继？轻舟我暂过。年光随逝水，千古一渔蓑。

楚山谣

潘国祚

朝见楚山青，暮见楚山紫。楚山高几寻？欲往隔秋水。

晚过黄龙寺

潘国祚

碧瓦前朝寺，重过百感生。夜深清磬发，飞入楚王城。

登龙泉山

潘国祚

林尽陟危巅，旷然见天宇。山根片云生，村西一日雨。

九峰松

裴鸣翰

松是何年种？问松松不语。阅尽往来人，日夕连风雨。

祭风台

江南龄

季汉鏖兵处，一炬成鼎足。大风云飞扬，余威分逐鹿。

七言绝句

唐

黄鹤楼送孟浩然之广陵

李 白

故人西辞黄鹤楼，烟花三月下扬州。孤帆远影碧空尽，唯见长江天际流。

与史郎中钦听黄鹤楼上吹笛

李 白

一为仙客去长沙^①，西望长安不见家。黄鹤楼中吹玉笛，江城五月落梅花。

武昌阻风

方 泽

江上春风阻客舟^②，无穷归思满东流。与君尽日闲临水，贪看飞花忘却愁。

送客知鄂州

韩 翃

江口千家带楚云，江花乱点雪纷纷。春风落日谁相见？青翰舟中有鄂君。

赤壁山

杜牧之

折戟沉沙铁未销，自将磨洗认前朝。东风不与周郎便，铜雀春深锁二乔。

黄鹤楼^③

李群玉

江上红楼翠霭间^④，满帘江水满窗山^⑤。青枫绿草将愁去，远上吴云暝不还。

宋

江行赠雁

欧阳修

云间征雁水间栖，赠缴方多羽翼微。岁晚江湖同是客，莫辞伴我更南飞。

① 仙：《全唐诗》作“迁”。 ② 阻：《全唐诗》作“留”。 ③ 《全唐诗》卷五百七十题作《汉阳太白楼》 ④ 红：作“层”。 ⑤ 江：作“春”。

福胜寺

王 质

修篁俨立万天寒，一缕轻烟起博山。挥罢尘毫深觅睡，不知明月满人间。

望夫石

王安石

云鬓烟鬟与谁期？一去天边更不归。还似九疑山上女，千秋常望舜裳衣。

九宫诗

谢枋得

真人何代结幽栖？累世奎章焕紫泥。日月高奔黄道近，衡庐傍出玉绳低。

南楼

张 愈

城上新开百尺楼，白云人伴白云舟。山川半倚三吴胜，江汉常吞七泽流。

明

钓台

赵贞吉

醉骨烟云艇慢开，半竿风雨上鱼台。无人知是寒山子，明月玉箫呼未回。

赠孝子叶相诗

陈献章

一抱遗骸一恸深，岭危天险路逡巡。昨宵鬼哭通山月，会有人歌孝子心。

罗湖

廖道南

芙蓉山外大罗湖，湖里风烟兴不孤。月明荡桨采莲实，流水香花泛白凫。

又

大罗湖接小罗湖，秋水湖心浮白芦。渔翁日夕不举网，钓得鲂鱼美似鲈。

真湖

湖到江边出六溪，溪中水涨碧天齐。公无渡河烟浪阔，不如归伴山云栖。

道士洑西塞山

王世贞

西塞山头啼杜鹃，湔涛百尺泄楼船。总令渔父心无事，耐可中流倚醉眠。

西山古树

吴国伦

辟暑宫开万石间^①，古藤如树树如山。婆娑不驻吴王辇，风雨禅僧自掩关。

百丈泉

吴国伦

回山山半蕊宫悬，树杪飞流百丈牵。怪是仙源神谩出，居人饱饮亦长年。

滴乳岩

吴国伦

雪乳泠泠滴未干，蕊珠千叶不胜寒。怪来今古无人迹，却有老龙岩际蟠。

龙翔山

吴 童

鱼矶尽日落风湍，春水才生理钓竿。向夜江天初过雨，残云狼藉

^① 辟：“避”的古字。

客星寒。

西良湖

廖俊

县以湖名尚有蒲，飞飞双鹤水云孤。野人不识兴亡恨，长向江头问赤乌。

松雪峰

廖俊

乔松高出白云端，积雪槎枒彻夜寒。好似湖南无影树，请君写入画图看。

桃花泉

陈汝楫

溪南松树绿如云，飞瀑时从绝壁闻。不用荷亭消暑气，一樽留客醉斜曛。

又

桃花流水合荆溪，夜雨春波拍断堤。偶尔今朝出门首，平畴雉雒麦初齐。

辞乡饮

向惟中

叨得升平八十春，辟居逃罪不知贫。一官惭负君恩久，薄劣何尝躐上宾。

元真子钓台

向日红

荒台突兀半烟萝，垂钓何年此笠蓑？幽壑夜来风雨过，依稀犹听鳜鱼歌。

桃花流水

袁宏道

华阳巾子碧绦环，紫府帘前旧押班。阿母筵头争一掷，醉中输却小蓬山。

登黄鹤楼

毛一公

十里江城入望来，晴川烟树面江开。等闲折尽寒堤柳，此际何堪更落梅？

鹦鹉洲泛舟

谭元春

西塞山浮渔可家，此湾黄鹄且停槎。雁知江晚微留响，芦为洲秋乱作花。

郊行即事

尹 洗

山家村屋抱河洲，云色湖光触目幽。几艇渔舟横野渡，数堆乱石起中流。

马伏波祠

王应斗

莫怪风涛彻夜惊，将军千古志难平。望高铜柱犹来谤，功盖云台不署名。

江涨

杨际春

春流添涨漾危堤，望入寒烟处处迷。来往行人愁断绝，孤帆一片古城西。

西塞山

顾天锡

大冶江头西塞山，山前风浪与天连。百丈无功千斛小，未闻翻却打渔船。

又

斗舰楼船此地闻，旌旗去尽见孤云。渔翁不问前朝事，还理渔竿下夕曛。

国朝

富池

刘子壮

初日沧江宿雨醒，乱山无数一峰青。锦帆宫馆灰飞尽，几点寒鸦送客舸。

西山晚眺同孟先服天友

邓云程

选山不到山深处，只当高人未读书。杖履已知山骨冷，行行山尽更何如？

高观园咏牡丹

徐 惺

黄鹄峰头笛韵斜，蓝关秦岭不争差^①。浮华觑破皆如水，不用先开顷刻花。

仙枣亭

叶映榴

仙源杳杳暮山青，人去台空树倚亭。早识飞升在弹指，悔曾辛苦读黄庭？

过西塞

顾景星

半江落影波光乱，千仞冲云鸟上难。东对九矶青不断，轻舟一过一回看。

寓楼望黄鹤山

顾景星

鹤山山色家家见，欹枕看山日日新。向午小楼初睡觉，红亭绿树数游人。

赤壁和杜牧之韵

汤思孝

意气周郎未肯销，存吴霸越忆前朝。姑苏铜雀俱麋鹿^②，无福分香到二乔。

① 蓝关：蓝田关，在今陕西省蓝田山。 ② 麋鹿：“白驹过隙”典，喻短暂。

又

阿瞒自是才情种，赎却文姬归汉朝。洛水怀甄狂作赋，可知妄诞说藏乔。

洪山道中

潘国祚

峰峰云气接天苍，树树蝉声噪晚凉。十里藕花香不断，西风吹梦过浔阳。

高观山晚眺

龚志益

当户青山镇日看，今来绝顶望前滩。嶙峋怪石藏幽壑，恰露林梢夕照残。

其二

树里青山翠色多，闲来叩石任婆娑。晚风直送归帆影，遥听澄江欸乃歌。

其三

城北城南入望中，楚宫芳草起悲风。晚烟处处迷归路，一任春禽怨落红。

其四

俯视城南尽绿芜，归来仄径倩人扶。回看老树藤萝合，一幅云林似得无？

江夏寻梅

江南龄

南来此地访梅花，谁是孤山处士家？踏遍江城无玉笛，马蹄西去夕阳斜。

黄鹤楼远眺

储 锦

两山分翠锁江城，远近楼台照水明。那说烟波只黄鹤？题诗高处独留名。

长林杂韵

储 锦

杖履崎岖苦问津，溪流曲处见秦人。所嫌隔世村难合，野鸟云林声自频。

又

春在农家不自知，我来拈出两般奇。截（扬）〔杨〕为柱条生壁，煮菜为羹花满卮。

诗余

宋

补渔父词〔鹧鸪天〕

黄庭坚

西塞山前白鹭飞，桃花流水鳊鱼肥。朝廷尚觅玄真子，何处如今更有诗。青箬笠，绿蓑衣，斜风细雨不须归。人间欲避风波险，一日风波十二时。

明

青龙阁中秋咏月〔望江南〕

方可嗣

中秋月，最好起逡巡。望望崦嵫收馥节，沉沉寒影上冰轮。回首玉乾坤。

才出岫，轻彩望中新，有水无边淹绮户，委金不定耀通津。开宴兴何频！

又

中秋月，最好正宵中。六宇关山随地阔，十方世界散光同。平准好天工。

青女下，取次露华浓。莫待借将云点缀，何须砍去桂毵毵。流韵自溶溶。

又

中秋月，最好夜将阑。鼓角悲凉催晓曙，星河缭乱散朝山。故故

照人残。

低画阁，轮侧转团圞。玉镜（漫）〔漫〕衔三峡底，素娥不奈五更寒。余韵许阑珊。

国朝

初冬饮黄鹤楼同李蟠庵诸同年赋〔三妹媚〕^① 毛际可

篱花开未了，正木叶霜寒，枫红渐少。高阁重登，觉星星双鬓，已成衰老。俯仰当年还共忆，曲江春晓，云影波光，晴明荡漾，芳樽齐倒。

漫说崔郎诗好，但我辈凭栏，各抒怀抱。涌月台边见新蟾，转盼又生林杪。指点轻舟何日是，严陵归道？更叹侧身天地，尚依刘表。

黄鹤楼同汤次曾赋〔渔家傲〕 王际可

不道年光真已暮，楼头吹笛梅初吐，缥缈烟波萦客绪。王郎语：“此邦信美非吾土。”

两鬓霜华消不去，胸中磊砢杯中醑^②，醉后狂呼还自许。相尔汝，奚囊诗卷同千古？

由蕲州入大冶道士洑，同杨接三登西塞矶头山最高处，得龙窟、报恩二招提^③。旷如，奥如！日夕忘返，倚声记之〔沁园春〕 汤思孝

宋子悲秋，临水登山，此为楚江。觉夹岸分帆，渐趋峡势，层岚束浪，如濫岷觞。我岂汤休^④？君真杨亿^⑤，夙昔绿深兰若场^⑥。寻幽

① 妹：有作“姝”。 ② 磊砢：石不平，指不平之气。 ③ 招提：梵语拓斗提奢，意为四方。后省作为拓提，误为招提，指四方僧人。后又指僧舍、寺庙。 ④ 汤休：南朝宋僧，即惠休，本姓汤。善为文。 ⑤ 杨亿：宋著名诗人，博闻强记。 ⑥ 兰若场：寺院。兰若：梵语阿兰若的省称，意为寂静之处。

遍，忽凌空石丈，篁翠摇凉。

漫游到处皆乡，认黄叶依稀枫树霜。则浦说女儿，昔传词话，洎称道士，今见名扬。鹭白鱼肥，志和诗句，西塞留题果那方？朦胧问，问柳星博雅，可辨毫（茫）[芒]？

过武昌县，舟人遥指诸葛祭风台，风驶不得泊访，再用前韵

汤思孝

帆直凌虚，势若晨风，翅张掠江。道冬月铍飏，朔随占角，春深铜雀，耐可称觞。赖诸葛回天，阿瞞褫魄，羽扇挥来火一场。几愁煞，恐吴宫双艳，缺佩金凉。

南飞鸟雀辞乡，谶匝树无枝月满霜。算梁父吟高，局闲眼冷，短歌调促，器小眉扬。穗帐台寒，临邛井焰，总付销沉乌有方？空回首，但沙霾日晕，古庙烟茫。

登武昌黄鹤楼远眺，三用前韵

汤思孝

危阁飞甍，兀冪参天，目穷汉江。是崔子题诗，碑萋碧藓，吕翁留醉，霞灿红觞。黄鹤谁乘？午余残劫，纵做仙人夜半场。闲寻算，者刹那螻蚁，枉费炎凉。

烟波一派愁乡，早乌柏丹枫尽着霜。更水怪吹风，喧豗奚事？神鸦抔饭，嘯舞空扬。渡断芦洲，滩消鹦鹉，磨灭英豪何处方？无须问，且急呼浊酒，天道茫茫。

寓武昌，过汉口群饮绍辛楼，四用前韵

汤思孝

一个长年，片叶梭舟，掣冲沔江。见豪贾贩脂，墙能衣绣，佳人挟瑟，座惯歌觞。寒畏要人，老惭猥妓，杂遝何堪侠少场？无拘忌，索素心三五，醉也清凉。

雄风胜踞兹乡，骇万艘嵯飞暑路霜。奈铁笛吹残，谁賒酒价。白云鹤杳，但见帘扬。秋兴亭空，晴川阁冷，惭愧风光擅此方。天豔

惨，忽高唐行雨，梦感冥茫。是日雨。

题署中深柳〔三部乐〕

叶映榴

姿制风流，问黄鹄矶边，朗吟谁又^①？曲阑芳榭，伴我千条丝柳。有多少，密意闲情，向疏花冷叶等闲拖逗^②。彩笺方胜，难寄缕金歌袖。

亭前碧波，斜挂似垂腰带眼，春来添瘦。乍惊轻萍几点，绿波新皱。记从前小桥分手，几曾傍莺儿载酒，画帘残烛，但梦绕，江南烟岫。

清明日登白云山〔满江红〕

荆彦鸣

客里光阴，早又是，清明时节。随步处，南湖芳草，连天新碧。杨柳阴边山脚转，桃花簇处人家出。向村农，遥问白云山，多纡折。

危磴上，巉岩绝，樵径断，迷行迹。恍置身空际，众山都失。洞锁烟霞人不到，江横匹练遥相接。更烟波，日暮足愁余，乡关隔。

洪山寒食〔东风第一枝〕

毛士储

峰澹轻岚，林妆残霭，梨花滴尽疏雨。欲烦莺约游期，更倩燕寻佳侣。踏青东郭，看裊裊，晴丝绕树。俯洪山，百尺危栏，此地凭临今古。

草似褥，钿车停处。花比练，罗衫攀取。寄声柳下人家，莫厌频赊桂醕。禁烟寒食，又过了，韶光如许。笑介推，身隐焉文，絮絮龙蛇相语。

登黄鹤楼〔江城子〕

庄友涛

鹤归何处剩高楼，俯江流，对芳洲，无限羁人，旅泊共来游。万

① 问黄鹄矶边，朗吟谁又：为“问谁又黄鹄矶边朗吟”的倒置。

② 拖：疑挑误。

顷烟波空浩渺，消不尽，古今愁。

碧堤影里绿（簑）〔蓑〕舟，落霞收，淡云浮，欸乃一声，惊起岸边鸥。莫有湘灵来鼓瑟，人不见，水悠悠。

过楚故宫〔惜余春慢〕

汤思孝

怨鸟啼残，杜鹃。恨花开过，虞美人。早则着罗时节。消愁无地，吊古多情，觅觅故藩遗迹，何处歌台舞衣^①？拍草停烟^②，淡黄蝴蝶，缭垣边冷遍。鬼灯藜刺，恶红惨碧。

想畴昔堕马妆成，回波筵罢，多少峡云梁雪，只今惟见，瘦髻泥鬟，嘶彻断风斜日。御菜园中贮娇，御菜园是楚藩歌姬处。旧事宣和，有谁重说？更转思，汉理宫人，曾记梅亭衔璧。梅亭，是伪汉陈理出降处。有宫人出嫁民间，针纫为生。正统间，六安马致远泊舟汴岸，询其轶事。

丙寅春，胡砥庵招饮扬园〔解语花〕

毛际可

禁烟百六，酒债寻常寒食游。初罢名园傍郭，嚣尘隔。近宾阳门。偏称曲栏高榭，将军招迓。看行里玉盘轻泻，笑语喧，礼数容宽，脱帽松阴下。

更喜小池融洽，况纡回三径，翠欹红亚。双峰突兀，还堪对下。有棕亭新架。才华衰谢，懒即席墨痕飞洒。沈醉时倒载归来，任儿童惊诧。

滋阳桥吊贺相公〔满江红〕

王之珍

楚岫湘云，瞬息里，三千桃熟。销磨尽，带砺河山，几更仙屋。时际波番英气散^③，半生犀照衣冠簇。过滋阳，往事不堪嗟，言念

① 何处歌台、舞衣：“歌台、舞衣何处”为韵脚倒置。② 拍：疑 泊误。③ 番：疑翻误。

触。

人臣义，振颓俗^①，清渊近，争避浊，与昭昭皎日，耿光谁续？红白莲漪濯绿波，爰趋公相骈车速。最异是，鄂水响潺潺，眉峰蹙。

箴

晋

学箴

李 充

夫极灵智之妙，总会同之和者，莫大乎圣人。是以物必有宗，事必有主。见形者众，及道者鲜。逐迹愈笃，离本愈远。遂使华端与薄俗俱兴，妙绪与淳风并绝。将越礼弃学，而希无为之风矣。

其词曰：茫茫大古，悠悠鸿荒，蚩蚩万类，与道兼忘。圣迹未显，贤名不彰。怡此鼓腹，率我猖狂。资生既广，群途思通。暗实思明，匪予求蒙。遗己济物，而天下为公。大庭倡基，羲农弘赞。六位时成，离晖大观。泽洽雨濡，化流风散。比屋同尘，而人罔僭乱。爰及中古，哲王胥承。质文代作，礼统迭兴。事籍用以繁，化因阻而凝。动非性扰，静岂神澄？名之攸彰，道之攸废，乃损所隆，乃崇所替。刑作由于德衰，三辟兴乎叔世。既敦既诱，乃矫乃厉。敦亦既备，矫亦既深。雕琢生文，抑扬成音。群能骋技，众巧竭心。野无陆马，山无散林。风靡不动，化罔不移。人之失德，反正作奇。乃纵欲以越礼，不知希竞之为病。违彼彝途，而遵此险径。狡兔凌网，游鱼遁川。至迹深妙，大象幽元。弃饵收置，而责功蹄筌。先统丧归，而寄旨忘言。政异微词，拔本塞源。遁迹永日，寻响穷年。刻意离性，而失其常。然世有险彝^②，运有通圯。损益适时，升降惟礼。道不可以一日废，亦不可以一朝拟。礼不可为千载，制亦不可以当年止。非仁无以长物，非义无以齐耻。仁义固不可远，去其害仁义者而已。力

① 颓：疑颓误。 ② 彝：“夷”的避讳字。

行犹惧不逮，希企邈以远矣。室有善言，应在千里。况乎制行，复礼克己。风人同箴，敬贻君子。

明

敬一箴

嘉靖御制

夫敬者，存其心而不忽之谓也。元后敬，则不失天下。诸侯敬，则不失其国。卿、大夫敬，则不失其家。士、庶人敬，则不失其身。禹曰：“后克艰厥后^①，臣克艰厥臣^②。”《五子之歌》有云^③：“予临兆民，如朽索之馭六马^④。为人上者，为何不敬^⑤？”其推广“敬”之一言，可谓明矣。一者，纯乎理而无杂之谓也。伊尹曰：“德惟一，动罔不吉。德二三，动罔不凶^⑥。”其推广“一”之一言，可谓明矣。盖位为元后，受天付托，承天明命，作万方之君，一言一动、一政一令，实理乱安危之所系，若此心忽而不敬，则此德岂能纯而不杂哉？故必兢兢畏怀，如郊禋之时，俨神明之鉴享。发政临民，端庄戒惧，惟恐拂于人情。至于独处之时，思我之咎何如？改之不吝；思我之德何如？勉而不懈。凡诸事至物来，究夫至理，惟敬是持，惟一是协。所以尽为天子之职，庶不忝厥祖厥亲，由是九族亲之，黎民怀之，仁泽覃及于四海矣。

朕以冲人，纘承丕绪，自谅德惟寡昧，勉而行之，欲尽持敬之功，以驯致乎一。德其先务，又在虚心寡欲，驱除邪逸。信任耆德，为之匡辅。敷求善人，布列庶位，聊可行纯一之道，以坐致太平雍熙之至治也。朕因读书，而有得焉，乃述此以自勸焉：

人有此心，万理咸具。体而行之，惟德是据。敬焉一焉，所当先务。匪一弗纯，匪敬弗聚。元后奉天，长此万夫。发政施仁，期保鸿

① 克艰：能难。 ② 见《尚书·大禹谟》。 ③ 《尚书》篇名。

④ 《尚书》有“馭乎”。 ⑤ 《尚书》作“奈”。 ⑥ 见《尚书·咸有一德》。

图。敬怠纯驳，应验顿殊。征诸天人，如鼓答桴。朕荷天眷，为民之主。德或不类，以为大惧。惟敬、惟一，执之甚固。畏天勤民，不遑宁处。曰敬维何？怠荒必除。郊则恭诚，庙严孝趋。肃于明庭，慎于闲居。省躬察咎，儆戒无虞。曰一维何？纯乎天理。弗叁以三，弗贰以二。行顾其言，终如其始。静虚无欲，日新不已。圣贤法言，备见诸经。我其究之，择善必精。左右辅弼，贵于忠贞。我其任之，鉴别必明。斯之谓一，斯之谓敬。君德既修，万邦则正。天视民怀，永延厥庆。光前垂后，绵延蕃盛。咨尔诸侯，卿与大夫，以至士庶，一遵斯谟。主敬协一，罔敢或渝。以保禄名，以完其躯。古有盘铭，目接心警，汤敬日跻，一德受命。朕为斯箴，拳拳希圣。庶几汤孙，底于嘉靖。

应槩修程门立雪箴

廖道南

于皇孔圣，梦见周公。仰思坐旦，道行志同。肆若孟氏，隐几而卧。达则兼善，才高王佐。迨于有宋，水洛星奎。二程崛起，伯仲名齐。明道学孔，中和纯粹。定性知命，俯仰无愧。伊川希孟，严毅刚正。直躬弗屈，天牖其性。海内群彦，鼓篋及门。传心讲学，浩气恒存。游氏定夫，粹然德宇。从事扶沟，师门见与。杨公中立，天资彝旷。载道而南，殊可嘉尚。元冥司命，积雪盈庭。二君列侍，月美风吟。眷兹画图，宛然心目。若孔铸颜，仰钻瞻忽。寥寥千载，吾谁与归？惟警庵公，为南楚师。教以躬行，道由心契。月岩讲学，岳麓游艺。秉铎黄陂，追踪二程。梦寐见之，景怀仪刑。惟予小子，夙钦高蹈。至人神交，启我精奥。顾图思义，岁寒雪零。希贤希圣，为座右箴。

铭

唐

怡亭铭 亭在郎亭山下。裴鸥卜夫亭之，李阳冰名夫篆之。

裴 虬

峥嵘怡亭，盘礴江汀^①。势压西塞，气涵东溟。风云自生，日月所经。众木成屋，群山作屏。顾予逃世，于此忘形。

退谷铭 并序

元 结

杯湖西南是退谷。谷中有泉，或激或悬，为窞为渊。满谷生寿木，又多寿藤萦之。始入谷口，令人忘返。

时士源以漫叟退修耕钓，爱游此谷，遂命曰“退谷”。元子作铭，以显士源之意。

铭曰：谁命退谷，孟公士源。孟公之意，漫叟知焉。公畏漫叟，心进迹退。公惧漫叟，名显身晦。公恐漫叟，辞小受大。于戏！退谷，独为吾规。干进之客^②，不羞游之。何人作铭？铭之谷口。荒浪者与？退谷漫叟。

杯樽铭 并序

元 结

郎亭西乳有丛石，石临樊水。漫叟构石颠以为亭。石有窞颠者，因修之以藏酒。士源爱之，命为杯樽，乃为士源作《杯樽铭》。铭曰：

窞颠之石，在吾亭上。天全其器，实有殊状。如窞而庑，似倾几欹，非曲非方，不准不规。孟公高贤，命曰：杯樽。漫叟作铭，当欲何言？时俗饶狡，日益伪薄。谁能拉饮？共守淳朴。

① 盘礴：即磅礴。 ② 干进：谋求官职。

异泉铭

元 结

天宝十三年春至夏甚旱，秋至冬积雨。西塞西南有回山，山巅是秋崩坼^①，有穴出泉。泉流百仞，浮江中可望。

于戏！阴阳变极，气异；气错物变^②，时异。以至柔破至坚，事异；以至下处至高，理异。故命斯泉曰：异泉。铭于其上^③，其意岂独旌异而已乎？铭曰：

何故作铭，铭于异泉？为其当不可阙^④，坼石出焉。何用作铭，铭于异泉？为其当不可下，穷高流焉。君子之德，显与晦殊。为此铭者，忘道也欤？

宋

武昌官葬暴骨铭

苏 軾

有宋绍圣二年，官葬暴骨于是。是其无主？仁人君子，斯其主矣。东坡居士，铭其藏曰：

人耶？天耶？随念而徂。有未能然，宅此枯颅。后有君子，无废此心。陵谷变坏^⑤，复棺衾之。

明

德新堂铭

方 杲

上帝降衷，是曰太极。无臭无声，既铉且默^⑥。吾人秉之，是谓懿德。大而彝伦^⑦，微而事迹。遵而行之，怡然有得。真知允蹈，行之不息。日新又新，表里洞徹。明德既新，乃见天则。斯须不谨，利昏欲燭^⑧。灵台一蔽，前功俱失。虽曰降衷，天理斯隔。明德既昏，愚暗同域。贸贸纷

① 各本作“拆”，义同，据下文及文意改。 ② 《全唐文》无上八字。

③ 其：《全唐文》作“泉”。 ④ 阙：闸板，这里作动词，设闸板的意思。

⑤ 坏：有作“迁”。 ⑥ 铉：“玄”的避讳字。玄默：谓寂静无为。 ⑦ 大：湖南本抄作“太”，误。 ⑧ 燭：饱。

纷，欲往何适？呜呼！戒之敬之，修之克之。去昏复明，如鉴之拭，尘翳不留，光彩方射。人欲静尽，天君司职。往圣维师，成汤是式。

赞

唐^①

惠公禅居赞^②

元 结

溯樊水二百余里，有涌溪。入溪八九里，有虬山^③。之阳，是惠公禅居。

禅师以无情待人之有情，以有为全己之无欲。各因其性分，莫不与善。知人困穷，喻使畊织^④。因人灾患，劝守仁信。故闾里相化，耻为弋钓，日勤种植。不五六年，沮泽有沟塍，荒皋有阡陌。桑果竹园，如伊洛间。

所以爱禅师者，无全行，无全道，岂能及此？乡人欲增修塔庙，托禅师以求福，禅师亦随人之意而制造焉。直门临溪，广堂背山。庭列双台，修廊夏寒。松竹苍苍，周流清泉。岑岭复抱，众山回旋。斯亦旷绝之殊境矣！吾以所疑咨于禅师，禅师曰：“我恐人忘善，以事诱人。及人将善，固不以事为累。”吾以所惑咨于禅师，禅师曰：“公若以惑相问，我亦惑于问焉；公若不惑，我复何对？”于戏！吾漫浪者也，焉能尽禅师之意乎？县大夫孟彦深、王文渊，识名显当世，必能尽禅师之意，故命之作赞。赞曰：

圣者忘迹，达人化心。惠公之妙，无得而寻。如山出云，如水涵月。惠公得之，演用不竭。无情之化，可洽群黎。将引天下，同于涌溪。

① 诸本皆在“赞”前，有违体例，据改。 ② 赞：有作“表”。

③ 虬：有作“蛇”。 ④ 畊：“耕”的古字。

卷之十一

艺文志 [二]

奏谢表疏

宋

河阳谢上表

冯 京

久尘右地，无补圣明。坐窃弥藩，尚宽罪戾。恩私溢望，愧灼兼怀。

伏念臣才不逮中，智非经远，特逢盛际，再列近司。擢之于寻常之中，振之于颠危之下。便蕃异数，究极宠光。龊龊备员，仅能寡过。碌碌成事，无足论功。徒肩许国之诚，靡讲卫生之术。曩婴疾疹，殆至膏（盲）[育]。虽赖上医，迄存余喘，然而气血潜耗，智虑早衰，筋力乏于步趋，耳目乖于听览。勉从职事，仍历岁时。覆餗之讥^①，已腾众口；乞麾之请，遽恻上心。

矧惟右辅名都，二城重镇^②，水陆皆便，次舍非遥。食物具宜，堂皇尤峻。使传罕经于馆候，讼牒希至于庭除。加以时雨既优，宿麦滋茂。盗贼屏息，闾里阜安。不烦施为，有便颐养。

此盖伏遇皇帝陛下，天地容覆，日月照临。私臣以不报之恩，谅臣有可矜之理，终始眷遇，进退保全。顾何心颜，敢爱躯命？惟愿稍

① 覆餗：典据《易·鼎》：“鼎折足，覆公餗。”喻力不胜任而败事。餗：美味佳肴。② 二：国图本作“三”，误。

加药餌，益近方书。朝露未晞，恍复还于旧观。爝火不息，誓更竭于精神。

国朝

御赐“清、慎、勤”三字谢恩疏

余国柱

奏为恭谢 天恩事：

康熙二十一年八月初六日，接到内阁中书索纪赉捧皇上颁赐御书“清、慎、勤”三字，到臣。臣随率同在苏司道文武各官，出郊叩迎至臣公署。恭设香案，望阙叩头，祇受讫^①。一面选材制额，遴工镌刻。高置公堂前楹，昭示永久外，恭惟我皇上，法天垂文，体圣立训。危微精一，传十六字以执中，正直荡平。锡亿万人之皇极。

昨者，载清反侧，式奠乾坤。干羽两阶，已格苗顽之俗；梯航万里，远归日表之邦。羈金马于南嵎，界穷章亥之所步；祠宝鸡于西甸，地弥禹契之所书。盖已星宿呈祥，山川效瑞。功远逾于虞夏，德迥迈于轩姚矣。乃于橐弓辑矢之年，又念吏治民生之弊。恤小民之干止，选极工寮；飭庶尹之公廉，责先大吏。故每当岳牧之举，必简出于宸衷；且更于陛见之初，屡申戒以面谕。尚虑群臣之怠玩，特洒奎翰以遥颁。环海乂安，咸颁同轨、同文、同伦之庆；温纶诰诫，交勉维清、维慎、维勤之怀。爰于几务之余，篆以飞龙之画。天章璀璨，屈盘河汉之形容；玉纬焜煌，照耀星辰之色象。分之九牧，赉以专官。使勒著于堂檐，各悬之为榜署。帝鉴有赫俨，对质于鬼神。屋漏难欺，益严儆于夙夜。凡我臣子，仰答君亲，敢不厉以恪恭，深其祇畏。矢之白日，必内无衾影之惭；宝此素丝，庶外竭涓埃之报。

臣材惭樗散，学愧颡愚。以梧掖之小臣，荷枫宸之特卷。乃甫膺殊〔宠〕〔笼〕，拔自众人之中；旋畀雄疆，任以江左之重。每忧覆餗，弥惧处膏。窃思清者，必精白乃心；至于慎勤，则寅恭厥志。

① 祇：敬。

此固根性之有素，亦祇臣分之宜然。若令稍涉于徇名^①，即为外饰；但使仅怯于畏法，亦属矫情。盖嗜欲蔽其神明，则临事每伤于简忽；货利纷其智虑，则昏气即成于疏慵。分之虽有三名，操之实惟一贯。苟能旌此素心，不复萦于外诱。贪泉歆水，果无改白璧之操；错节为机，又岂少铅刀之用？此实微臣自矢之懔，敢为大庭共勗之箴？嗣是，仰睿训于云霄，寅瞻宝画；对天威于咫尺，矢此寸心。惟有竭蹶弩骀，时时凛三言之戒；申严属吏，在在励百尔之忠。臣谨具疏奏谢。伏乞睿鉴施行。

钦赐御制《〔叙〕升平嘉宴诗》谢恩疏

余国柱

奏为恭谢 天恩事：

康熙二十二年正月十四日，据提塘官李世昌奉到钦赐御制《叙升平嘉宴诗》一册到臣。臣随恭设香案，望阙叩头谢恩，祇受讫。

恭惟我皇上，止戈为武，立极右文。本泰道交孚之时，值升平奏凯之会。爰咨臣尹于就日瞻云之下，并矢咏歌于醉心饱德之余首唱。自天咳唾，皆成珠玉；众音繁会，里讴尽叶笙镛。体制用栢梁之遗，盛事轶《卿云之什》。兼之宸翰，亲洒弁章。典诰畴咨，义聿昭于海迪；训词深厚，情共竭于赞襄。

至于臣肃奉简书，方违鞶鞶；欲脂车辖，尚恋金茎。猥荷特召之荣，得预禁庭之宴。翔鹭已辞于太液，更唼恩波；啼莺行远乎上林，重瞻春色。且自遥驰江表，空深望阙之怀；岂期圣念眷存，复赐芝泥之册？龙章凤彩，目曜瑶笺；玉振金声，听希广乐。捧持私幸，拜舞增华。使在殿陛之班，亦复惊承惠渥；况属封疆之吏，由兹益见宠光。忆同嘉宴于群工，恰惟斯月；回覩天颜于咫尺，便隔经年。犬马微臣，藿葵如结。臣谨奉为世宝，慎守奎章。不羨唐家，仅携飞白之字；奚论宋室，徒侈宝绘之文。当益凛切于温纶，庶几对扬于嘉命。

① 徇：“殉”异体。

臣无任忭舞感激之至！相应具疏奏谢，伏乞睿鉴施行。

疏

晋

论九品官人法疏

李 重

先王议制，以时因革，因革之理，惟变所适。九品始于丧乱，非经国不刊之典也。古者诸侯之治，分土有常。国有定主，人无异望。仕无出位之思，臣无越境之交。上下体固，民德归厚。秦反斯道，罢侯置守。风俗浅薄，自兹降矣。汉革其弊，斟酌周、秦，并建侯、守、牧、司。必各举贤贡士，任之乡议。事合圣典，比踪三代。

方今圣德之隆，承魏代雕弊之迹，人物播越。士无常朝，人无定处。郎吏蓄于军府，豪右聚于都邑。事体舛错，与古不同。谓九品即除，宜先开移徙。且贡举之法，不滥于境外，则冠带之伦，不分而自均。建树官司，功在稽久。阶级少则人心定，久其事则政化成。圣王知天下之难，从事于其易。若任非所由，事非所核，虽竭智虑，无益于治，即人思反本。修之于乡，华竞自息而礼让日隆矣^①。

唐

救李邕下狱疏

孔 彰

臣彰上言：

窃惟明主御宇，舍过取能；烈士抗节，勇不避死。晋用林父^②，岂念过乎？汉用陈平，岂念行乎？禽息殒身，岂惜生乎？北郭碎首^③，岂爱死乎？向若林父死，陈平弃，百里奚不用，晏婴见逐，则晋无赤狄之利，汉无皇极之遵，秦不兼西戎，齐不表东海矣。

① 华竞：浮华奢侈。 ② 林父：春秋晋荀林父，曾被楚在邲地击败，后攻灭赤狄路氏。 ③ 北郭：北郭佐，传说以死明晏婴冤屈。

臣伏见淄州刺史李邕，学成师范，文堪经国，刚毅忠烈，难不苟免。迺者张氏弄权，人畏其口，而邕折其角；韦氏恃势，言出祸应，而邕挫其锋。虽身受谪屈，使奸谋中折。然则邕之有造于我国家也，大矣。前宋璟每厚遇之，岂徒以才重？抑以其忠于国者奇耳。今闻坐赃，丑败厥行。且斯人所行者，拯孤恤、救穷乏、矜患难，积而能散，家无私聚。陛下下吏讯之，闻诸道路，执法者将加之以刑。噫！天之将丧斯文，死在朝夕，永辞圣代。

臣闻生无益于国，不若杀身以明贤。臣彰顾朽株腐材，轮辕无取，徒兽视禽息，虽生何为？况贤为国家之宝、社稷之卫。若丧国家之宝、失社稷之卫，哲人云亡，邦国殄瘁，将若之何？是臣之所痛惜矣！臣愿以六尺之躯，甘受膏斧，以代邕死。臣之死，所谓落一毛；邕之生，有足照千里。然臣与邕，生平不款。臣知有邕，邕不知有臣。是不逮邕，明矣。夫知贤而举，仁也；代人任患，义也。臣获二善而死，死且不朽，则又何求？伏惟陛下宽邕之生，速臣之死。令邕率德改行，全林父之功；使臣得瞑目黄泉，附范、郭之迹，臣之大愿毕矣。陛下若以阳和之始，难于用斧钺。俟天成命，敢忘伏剑？岂烦大刑，然后归死？皇天后土，实鉴臣之心。

昔吴楚七国叛，周亚夫得剧孟，以为寇不足忧。夫以一贤之能，能敌七国之众。伏惟陛下敷含垢之道，存弃瑕之义，远思剧孟，近取李邕。岂惟成恺悌之泽？实以副天下之望。臣先君孔子曰：“乡人皆恶之，未可也。”况大礼之后，天地更新，惟明主深思之。臣闻士为知己者死，且臣不为死者所知而甘于死者，岂独为惜邕之贤，亦以成陛下矜能之德，惟明主图之。

为夫请戍边自赎表 附

温氏

妾温氏言：

邕效职不谨，状涉贪狼^①。逼迫囹圄，获罪以闻。诚宜不待刑

^① 贪狼：贪恶如狼。

书，便当殒灭。然有所隐忍，恐负明时。天闻复远^①，号诉不敢。仓卒之际，分从严诛，岂谓天鉴仁明？邕得生窜荒外，再造之幸，上答何阶？死罪，死罪。

邕少习文章，薄窃时誉，疾恶如仇。往任拾遗，奏张昌宗之党。后参宪府，劾武三思之罪。坐此为累，不容于众。秉邪佞者切齿，攻文章者侧目。由是频谪远郡，削迹朝端。不见阙庭，何啻十载？岁时凝恋，闻者伤怀。属国家有事，东岳大礼告成。法驾西旋，路遵近境。邕奉牛酒之献，各展臣子之心。不意天泽曲垂，恩私属沭。邕当再跃，何以为心？恳至夙诚，冀遂申效。妾闻正直见用，邪佞生忧。邕之祸端，自此为始。且邕比任外官，竟无一议。天颜暂顾，罪则旋生。谚云：“士无贤不肖，入朝见嫉。”伏惟陛下明察此言，妾之微躯万死无恨。死罪，死罪！

邕初蒙勘，当即便禁身，水不入口，向逾五日。孤直援寡，邪党相趋。窘急至深，实不堪忍。气微息奄，惟命是听。遗邕手书，事生吏口。贷百姓蚕种，抑称枉法；市罗以进，命作赃私。吏以为能守此加罪，当时匭使朝堂，潜皆守捉。号天诉地，谁肯为闻？严命将行，恭往奔逐。泣血去国，没骨炎荒。长任钦州，示以无用。

妾愿充邕一卒之用，效力明时。膏涂朔边，骨粪沙壤。使得身死王事，成邕夙心。妾则碎首粉身，万死为足。妾夫妇义重，当见其志，不避罪责，冒死上闻。悦天光垂照，即当殒灭。妾之荣幸，实荷再生。奉表投进恩匭。

明

时务十事疏

邓 真

其一曰：吏部职专选法。洪武中，内外诸司，官吏俱有定额。今冗员甚繁，日增于旧，非任官惟贤初意。凡各处考满官到部，当辨其

① 复：远。

贤否、优劣、年劳、久近，以为黜陟。今有积岁至七八考不得迁一级者；有期年未滿，即升数级者。凡进士、监生出身，自有定例，今〔有〕躐除方面、躐跻华要者^①，亦有除授佐二、沉滞未僚者，何弗伦也？至参补《吏典》，立“选拔”、“正拔”之名。此吏部之弊也。

二曰：户部职掌钱粮，出纳尤当慎用。今各府、州、县税粮，或有经二三年、四五年不完者，本部恬不为意。每年指以催征为名，纷然遣官在外，有一二年、三五年不返者。惟务剥害良民，以致田里不安，赋税多逋。本部明知其非，皆不举奏。其诸色税粮既已送纳到仓，而官攒人等，通同盗卖，虚出通关；亦有未曾送纳到仓，各府、州、县夤缘为奸，伪造通关，奏缴到部。此户部之弊也。

三曰：礼部职掌礼仪。凡各彝朝贡使臣至京^②，随当具奏，接待如仪，不使远人舛望。今饮食、供帐，委之会同馆。应赏赐者，故意迟留。又有各处彝民、土目来贡者，往往不即奏达，止令于会同馆听候。或十日、半月不引奏者，或已进贡，不即发遣。此礼官之弊也。

四曰：兵部职掌兵政。凡天下军马多寡虚实，当周知。如某卫、某所见在军马若干，欠缺、逃亡若干，时常点检，具奏整理。今乃尸位素餐，优游度日。兵务废弛，马政不修，军伍不整。有经三五年、十数年空歇不补者。马匹孳生，有三五年拖欠不完者。是致各卫通同作弊，互相蒙蔽。贪赃坏法，非止一端。此兵部之弊也。

五曰：刑部、都察院黑白不分、是非颠倒，令人无所控诉。亦有淹禁三五年、十年者，皆委而不问。审决之际，所在官司略不究心，以致死于非辜。大理寺职在〔祥〕〔详〕刑，一概蒙隐。随其轻重高下，不能有所辩理，真若痴愚，旅进旅退。此刑官之弊也。

六曰：工部职掌造作。今所急务者，惟行在、宫殿。其诸造作，皆可随宜。乃不度民力，不分缓急，买物料以一科百，以十科千，动至数千万计。民受其害，不可胜言。且匠有连年服役，不少闲者；有

① 躐跻：越级提升。 ② 彝：“夷”的避讳字。

经年买闲，在外生理者；有狡猾托故而逃避者。致役使不均，人心不服。旧制，凡军器除存留操备，其余皆令入库。遇有损坏或补造，就各卫军器局修治，不许私制。近有无知小人，私带军器及私藏其家，或公行货卖。不知此等军器，何人制造？旧制官府买办物料，止收本色。今贪利之徒，一概揽纳，不收本等物料而折收钞贯等项。恣肆贪残，吮民膏血。此工部之弊也^①。

九曰：洪武中，各卫、官、旗军士编成队伍，各有统属。今擅将别卫军士入伍，又行招纳逋藏逃匿。此军政之弊也。

十曰：内外各卫所军士，皆有定数。如伍有缺，即当勾补。今各卫所官吏惟耽货贿，军伍空缺，差人勾补，纵容卖放，百无一二。该管官吏，徇私作弊，不行举发。又有勾解到卫，受赃故免；及以差使为由，不令服役。此军卫之弊也。

凡此十事，皆今日急务。宜令所司，各举其职，而后天下之治成。

旱灾疏

汪文盛

臣窃闻：古之牧民者，务在四时，守在仓廩。天不生财，地不出宝，则田野荒芜。田野荒芜，则仓廩不盈。仓廩不盈，则民乃草菅，将捐其地而走矣。臣又闻能积于不涸之仓，藏于不竭之府者，可御水旱之来。当患而为之备，既灾而为之捍者，可免流离之苦。天灾流行，国家代有救灾恤民，古之道也。

臣谬以疏庸之才，滥叨牧民之寄。莅郡以来，勉思报补，夙夜兢惕，未知所云。

为照：福州府地方所属十县，滨依山海^②。岩谷多而膏腴之壤狭，陂渠少而灌溉之备疏。居里无甚裕之家，盖藏有几邻？粟无可通之路，转贩尤难。故于岁事之盈亏，尤切民生之利害。前年以来，阴

① 原文缺七、八曰，疑漏。 ② 滨依山海：即“依山滨海”。

郁尤甚，雨水过多，田地崩陷，种获不广。所产枝员果木，根苦久浸。枝干折拔于飓风，子实垂结而殒落。瓜菜薤芋，虚名无补。荞麦麻豆，咸地匪宜。嘉靖五年春正月至于夏四月，连雨日夜不止，平畴荡为巨浸者浹旬，禾苗坐见淹没者过半。五月中旬至七月，亢阳为灾，易月不雨。顾兹平壤，全无肤寸之滋；瞻彼高原，皆如卦兆之圻。云方凝而复散，雨欲作而骤休。虽祈祷之具修，缘感通之殊邈。早禾水淹未尽者，或为旱气所伤，多是白秕；或为螟虫所食，止有薄收。况本地全赖晚禾、大冬二项济饥。炎天毒热，土脉干燥，犁锄不入，赤地相望。即今，晚禾秧苗早死，全未布插；大冬已插在田，一切鞠为枯草。无泉源为之灌输，有风日为之炎铄。旷野难耕，皆成稿白；穉苗方秀，顿觉萎黄。节序已过，原野如焚。纵获秋霖，无益穡宝。

臣忝司牧民，目睹灾旱。民不得所，咎必有由。谨按去冬十二月以至今年夏秋日落之时，赤红异色蔽天西北方，如火光凝薄，或至经夜不散。梅花镇东地方，海水忽赤，经旦复清，鱼虾可数。省城左右旗鼓二山，前后夜鸣。各处井泉枯竭。入夏以来，耳不闻蝉，（哇）[蛙]蚓不鸣。臣之愚陋，固不能仰测天文、俯求地理、旁究物情，然推之于人事，则有隐忧者矣。何者？赤红之气，正当西北之方，是阳德不顺，常当其下有兵荒之象也。海之为言，晦也。浊黑而晦，乃其常性。今清固反常，赤又难委于古矣。山体本静，旗鼓宜偃仆，今乃飞鸣，是不静而摄动者之职，于法为贼也。井泉竭，地道泄也。夏无蝉鸣，湿不能化跗翼也。土不反宅，蛙蚓结也。天告于上，地告于下，物告于中，人有讹言，野有讳语。稽诸数端，恐不但旱荒而已。揆厥所由，匪降自天，皆由臣不职。不能慎身奉法、平政召和以延民命，徒为民之牧，食民之粟、饮民之水，以致上天降罚。不于罪身，反耗教下土^①。一郡之田，尽受赤裂。《诗》云：“泉之竭矣，不云自

① ●：败坏。

中^①。”言祸乱有所由起也。今臣待罪福州，已及三年。食不止福民数升之粟，饮不止福民数杯之水。为民不利，上干天和，重伤国本如此，则夫旱灾之来，其由臣身也，必矣！

臣又闻：古者三年耕^②，有一年之积^③；九年耕^④，有三年之积^⑤。闽版籍繁而食地浅，为者寡而用者多。上农之夫，中丰之岁，公私并用，已有不及。在昔如此，况于今日乎？小民废于生谷，半牟转输之利；腴田苦于兼并，不知储峙之法。故一旦饥馑，万目睽睽，众口嗷嗷，奔走告急，乃其真情。昔管仲曰：“粟行于五百里，则众有饥色。其稼亡三分之一者，命曰小凶。小凶三年，而大凶。大凶，则众有遁去。”在昔如此，又况于闽民今岁之旱乎？将来之势，意外之患，可以逆见。臣所以不敢避斧钺之诛，而上渎圣明之听也。伏望皇上轸念边陲，哀其困苦，视万民如密迩、四方如邦畿，乞敕户部，从长议处，将该年税粮蠲免。转行镇、巡等官，多方设法，处置谷米以备赈济；料理边防，用戒不虞。仍乞敕工、礼二部，将各年未完并本年坐派，暂且停止，候有收之年带征。古人云：所费者财用，所收者人心。是大有望于今日也。

窃又念臣牧郡既已无状，腴颜就列，心甚不安，乞将臣早赐罢黜，以消天谴，以谢人怨。别选贤能官员，前来拊循雕瘵之民，举行救荒之政。地方幸甚！人民幸甚！

陈情疏

汪文盛

臣闻：“陈力就列，不能者止。”^⑥臣又闻：“器有所极，强之者必倾；志有所安，违之者必败。”盖器循良而易施，君子不强量以邀受志。过求而难勉，明王无拂愿以责功。

① 见《诗经·大雅·荡之什·召旻》。② 原文有“必”。③ 原文作“食”。④ 原文有“必”。⑤ 原文作“食”。见《礼记·王制》。⑥ 见司马迁《报任安书》。

臣实庸流，行能无算。幸属天地纯和，山川容纳。鼓舞生成三十有九岁，虚靡廩禄十又六年。抚臆论心，刻肌镂骨。感恩图报，臣之志也；殉国忘身，臣之忠也。顾葵藿之性^①，虽见日而即倾；奈蒲柳之姿^②，则望秋而先谢。伏念臣早年遇事，风霜不计于残躯；中岁缠痼，药餌有同于常膳。多而罔效，劳则鲜功。徒抱许国之忧，未讲卫生之术。迫王程之有限，念官守之尚遥。嘉靖二年十月初一日，只得前来福州府到任。力疾管事，触犯瘴疠，动劳精神。偶值庸医，用方乖缪。差之指下，祸延四肌。几至不仁，仅存余喘。迺者，地方旱灾殊甚。昧先量己，志欲补于休明；失在信书，事浸过于烦碎。夙夜忧劳，痰火交作。有攻心之病，无对（证）[症]之药。卒难平复，遂成怔忡。外若充盈，中实虚损。气血潜耗，智虑全衰。筋力乏于步趋，耳目急于听览。器本小而易盈，志欲前而不逮。而臣母氏夏，旧感痰气，心腹满胀。母欲臣之宦成，隐忍不言；臣欲母之心悦，勉强就列。惟迁延以度日，欲侥幸而收功。不寤自秋徂冬，日甚一日，步履艰难，饮食少进。近寄家书，思臣一见。夫私家无不得已之情，则居官不见驰驱之苦。腹心无可攻之疾，则手足不知从事之劳。臣之愚顽，母氏钟爱。闻臣有病，愈见焦劳。臣以念母而病益增，母以思臣而病未愈，天地之间，无有如臣母子至情之苦也。臣之进退，实为狼狈。况臣母年七十二岁，而臣任离五千余里。病因虑过，药石难攻。老与时违，调护最切。所赖思子而即见，庶几因喜而或痊。苟天命之勿损，实圣恩之无穷。

今臣病卧床褥，日月沉重。官舍非调养之所，郡牧非闲旷之官。母老而不归，亲危而不顾，有臣如此，将安用之？虽擢发不足以数臣之罪，沥血不足以写臣之忧。乞敕该部查议，准臣致仕。俾得解组宫庭^③，还车故里。寻医问药，投老山林。事亲读书，拟迹贤哲。匹夫

① 葵藿：指向日葵。 ② 蒲柳：水杨，入秋即落叶。喻低贱。

③ 庭：指朝廷。

自尽，各伸所志之私。万物由庚，皆受曲成之赐。

浚河疏

汪宗伊

题为浚河，以备漕运，以图经久事。

我朝岁漕江南之粟数百万石，以供君国之需。乃开会通河，达之通州。世宗皇帝又开通惠河，直达京师。

臣由大通桥闸，以至石坝，伏睹圣德神功，万世永赖，无得而名焉。自通州以达丁字沽，犹有可言者，敬为皇上陈之：

苇之浅以至丁字沽，五十九，浅。运、卫有司额设堤浅夫一千五百有余。诚于秋冬之交，粮完水涸，即令堤浅夫役，逐浅挑浚。春夏之间，粮运盛行。又以堤浅夫役，随船扒浅，即粮船利涉，无待盘剥^①。嘉靖以前，未闻置官剥船者^②，非无大旱水涸、不容不剥之时也。雇募民暂为盘剥，可行即已，不取一时之快，而起不赀之费也。河西务之议置剥船，比例闸河，其实不同。通会之开河，以舟运代车载。山水陡峻，闸难启闭，故每闸设舟剥船——即浅船——省脚价，速运输，经久之道也。至于河西务，有船可运，又加之剥，是为重费。当时，亦为河西务设也，乃分二百只于外河以为湾。民往利之，计外河岁费一千七百余两，河西务岁费二万三千七百余两。若有益于漕计，犹之可也。船户窃盗，乘机插和；遇雨沾濡，船损湿坏，无益于漕粮也。运官沿途梟卖，军旗因而侵费；起欠挂欠，皆由于此，无益于运官也。船户通同积书，每年只剥三次，勒令民船帮贴；沉粮赔补，沿河骚扰，无益于居民也。然水涸之时，必待盘剥，犹为不得已而用之。

今则不然。通州至张家湾，乃以管浅者为拦河之官^③。不论水之深浅，运船可否通行，一概拦阻，勒令自湾起剥，云“花板石浅涩。”花板石浅与南营浅相对东西两岸，紮之俱水可行舟。花板石浅

① 盘剥：转运。 ② 剥船：即驳船。 ③ 管浅者：管河道淤塞的官。

既可通行，则通州至湾无容起剥。里二寺至桃花口浅，中经河西务钞关。往年乃阻之关南，上从桃花浅，经从王家摆渡，通令起剥，云“桃花口、王家摆渡浅涩。”桃花口浅与海潮相接，潮经桃花口、蔡家口、蒲沟至老米店而止。王家摆渡即舒鸡浅，临船扒疏，并力拽挽，亦自可行。非若通黄河地方淤沮者比也。臣四月初五日巡视至河西务，行该关主事徐一正、霸州兼理河道兵备副使顾褒，随船扒浚。自初六日以后，河西务节报过关浅，船并未起剥。或云“水长及查，每年五六月，船俱起剥。”岁旱水涸，固亦有之；但五六月间多雨，乃理之常。岁岁起剥，岂皆水浅哉？河西务二日可抵湾，每船不过脚银一两，乃加之三钱。后又每两加二钱，乃云“每两扣抵价三钱，十年即可完原价。”其实，三钱原在船价之外，乃朝三暮四之术也。十年造船三万金，岁计之费三千金。因费三千金而以二万三千七百余金扣抵之，得毋又重费乎？又每年以舡船预那借官钱千百两^①，积书每以不剥稽运恐愒各官^②，而各官亦狃于故习，不悟起剥之更稽迟也，乃不得不剥。臣所谓取一时之快而起不费之费也。然不以为费者，运官利于剥，费不已出也；船户利于剥，岁得厚费也；积书利于剥，因而侵分也；各官利于剥，可以市恩也。但于国计则未为利耳。若将外河之船归之河西务，无雨水浅或海船载重，呈详总督，应剥则剥，通行则止。严禁乘机插和，贻累居民。庶几官虽费，而漕粮无损，民不受害。此亦权宜之计也。

经久之计，莫若浚河。乞敕下户、工二部计议，查照开通惠河事例，偃通巡仓各御史、工部管河、户部坐粮各郎中、密云兵备道，将通州以至张家湾河道会勘，作河浚治。洪狭应该挑阔，沙淤应该疏深。会勘建闸，启闭以时蓄泄。区画停当，合用夫役钱粮，通行议处。上请仍敕户、工二部尚书覆勘，待秋冬水涸，大加疏浚，务令深广，积水五六尺以上；沿河纤路，俱各修整，令可坦行；相度建闸，

① 那：挪的古字。 ② 恐愒：恐吓。

旱涝蓄泄。臣考通惠开河四十里加之建闸，仅用银七千两。今通州抵湾，旧运河也，又不及四十里，因其势而疏浚之，为力必易。乃任其岁费数万金，又稽迟粮运，累苦居民，而不为之议长久之计哉！其里二寺以至桃花口浅行管河郎中、河西务主事、霸州兼理河道兵备督管河把总等官，调集沿河地方军卫有司、堤浅夫役挑浚，务令河身深广，海浅粮船，通行无碍。合用口粮器具，该道酌议上请。如来年粮运浅涩，听总督之臣参奏，仍将起剥脚价从公估议，载入议单。非天旱水涸，粮船阻滞，不得辄议盘剥。以后查照通惠闸河例，每年秋冬务挑浚一次。待粮船至日，管河郎中照例移驻河西务，会通该关主事。更添设管河把总二员，一员自王家摆渡而南，一员自桃花口浅而北，各照信地，率领额设堤浅夫役，随宜分派，随船扒疏，并力拽挽，庶河渠疏通，粮船利浅。不惟剥价岁省数万金，而粮运亦便益百倍。经久可行，似无出此。

奏缴尚方疏

熊廷弼

奏为缴还尚方，席藁待罪事^①。

臣本不才，蒙神宗皇帝知遇，属以东事，且赐尚方剑一口，使得便宜行事。臣用是斩贪懦将三人，逃叛卒数十人，聊正军法，以彰国威。

顷台臣顾造论臣，谓尚方之剑，仅供作威逞志之具。臣则何敢？但臣负尚方而不能用者，实多。按军法，讹言狂惑、摇动众心者斩。乃军中挟私快臆，表里为奸，流言匿单，布散鼓惑，而臣不能用也。军法，部署铃辖以下，商议兵政，务在和允，违者以违制论，误者斩。乃军中事事抗违，玩怠军马钱粮，任意虚糜，全不报验，而臣不能用也。军法，离伍者斩。乃军中一日而逃二千人，不许一人正法，而臣不能用也。军法，妄言敌至，夜呼惊众者斩。乃军中闻江潮声，

^① 席藁：坐卧在禾秆编成的席子上。

夜半惊溃，乘机抢掠，而臣不能用也。军法，取人财物者斩。乃军中指骗阅规科敛各营路如朱桂芳、高鸿中等，而臣不能用也。臣负尚方多矣。

科臣杨涟论臣当缴还尚方，席藁待罪，且责臣以一刀两断，不宜做近来顽钝行径。臣病势沉重，死期将至，虽欲作顽钝行径而不能待。谨将原赐剑一口具疏奏缴^①，不敢再留作威逞志，为顾造过忧。

惟是剑为朝廷威灵所系，剑还而臣已失恃，官军已无顾忌。五日京兆，玩侮易生，所关封疆存亡甚重。伏乞如臣前疏，亟赐罢斥听勘。一面议遣才望来代；一面移抚臣于辽阳，督臣于广宁，蓟镇抚臣于山海关支撑。目前危急，人情事机，间不容发，而无徒悠悠，使国家受麻木不仁之症病。臣幸甚！残辽幸甚！缘系缴还尚方，席藁待罪事理，未敢擅便，为此具本专差守备杨进亲赍谨具奏闻，伏候敕旨。计缴尚方剑一口，连匣。

万历四十八年九月二十四日奉圣旨^②。

纠权珰疏

熊则桢

为权珰罪状已著，天诛不容久稽，恳乞圣明，俯采群言，毅然独断，立赐处分，以杜祸本事。

顷者魏忠贤逆竖，自职堂官杨涟首言之，科道诸臣有合疏、有单疏；大小九卿，上及阁臣，各有疏矣，职言似无所关重轻。第忠贤之恶，举朝发指，非人置一喙，而填胸忿惋无由发抒。忠贤之恶，罄竹难书，即章满御前而盈贯巨奸犹无从描写。

间者，皇上独悯其畴昔微劳，宠眷不衰，臣以为忠贤何劳之有？夫皇上当潜邸时，已俨然号曰“皇太孙”。前星继离，出照少海，渐次扬波，岂有操危虑深之遭，藉忠贤以维持调护也？无阿保之忠而听其微居积之奇货，误矣。即颐指气使，亦其犬马之分固应耳，何

① 待：疑“特”形近误。 ② 万历：明神宗年号，公元1573—1620年。

言劳也？

皇上又以任事不避嫌怨，臣以为忠贤何事之有？扫除之役是其事，此外即为越俎，即为罪案。忠贤目不识丁，平日有何蕴藉，今日展为作用也？夫其不避嫌怨者，岂其欲留景耀于春秋，垂功名于竹帛？不过恢张气焰，树置（瓜）[爪]牙，以成履霜之冰，以作振瑾之续耳。及今图之，犹可及图；图不及时，蔓难图矣。

皇上又以无忠贤将孤立于上，夫无论凝承辅弼，大法小廉，累累若若，以致尧舜之君，以襄唐虞之烈；即二十四监奄竖，中岂无小心谨慎、什百于忠贤者在？皇上遴选而用之，何致使令不足于前耶？

皇上又谓忠贤不置一辨^①，觉省烦聒，不知此正忠贤大奸大诈作用也。彼以辨无可辨，不如付之一默；又习见皇上厌薄抗疏申辨者，故揣摩而中其意耳，而皇上竟坠其术中也。夫问刑之法，唯审情真罪当，若以不辨便及宽政，将重辟极刑，皆得以缄口卷舌而漏网矣，恐无此条例也。大罪二十四款，千真万真，职不必更为注脚，唯“向里边说说”一言，即缙绅习以为常，恬不知怪。职初入都时，一闻作如是语。窃计今日慈宁无听政之帘，桂掖鲜司晨之牝，将向何人说乎？询知而知，其要向忠贤关说也。嗟乎！昔范雎入秦，佯为不知王在，而直入永巷。左右叱之^②，雎曰：“秦安得有王？独有太后、穰侯耳^③！”王闻而悟，遂疏太后而罢穰侯。似今日独有忠贤之说也，可借秦为喻也。

皇上以英明神武之资，值东西交讷之日，正宜大奋乾刚。睿剑一断，使天下晓然于大圣人作为，高出庸君世主万万。胡绕指柔肠，恋恋一么么罪竖不忍割也^④。则通国之所不解矣？然忠贤何冥顽不灵

① 辨：“辯”的通假字。 ② 巷。左：国图、江苏本二字形近误印为“卷。在”。 ③ 穰侯：秦昭王母宣太后异父弟魏冉，封于穰、权倾一国。

④ 一么么罪竖不忍割：不忍心处死一个小宦官。

乎？意天夺其鉴也。盖际此时，而叩首谢死，尚可徼皇上移郊移遂^①；不然权势日甚，罪恶日盈，天益怒于上，人积怨于下。金璧煌煌，祇为追魂之鬼。异日欲保要领也。得乎？抑职犹有慨焉，纶扉重地，非皇上所寄为心腹之任者耶？皤皤黄发，温眷隆重，而坚欲弛担以鸣高，翼翼小心，貌瘁神愁，而最苦独拍之寡和。其它或亦泛泛悠悠，视为不必然，而甚且声气联络，若因之以为固然。况乎外廷宵小，线索潜通。若傅继教、傅应星辈其人者，里钩外应，暗弄机关。或入幕交欢，隐借之以驱除异己；或投絨张焰，明主之构祸清流。不知肺肝，如见清议难逃，抑且神悖词穷，心劳计拙。臣愚亦不知其何所见而坠坑落阱，至此极也？

臣草疏甫毕，忽接邸报，见圣旨之斥宪臣也愈严，而眷罪竖也愈笃。夫以忠肝义胆，疑其肺肝；以依凭城社者^②，反倚为凭藉。是非沕淆、贤奸倒置，又一部十七史所未有事矣！

皇上若不将忠贤速赐处分以伸公论，器器国是，孰是宁息之期哉？伏惟圣明，省览施行。毋徒曰：“已有旨了，姑不究也。”臣不胜惶悚待命之至。

治兵理财实效疏

吴裕中

臣窃念年来举国蒿目忧者^③，惟兵与财两端耳。兵非骄即弱，非逃即溃，费金钱如许，谁称必胜之戎？财不在官则在民，不耗于私则糜于公，授贼首何时？孰操尝（羸）〔羸〕之算？于是，以刻剥严武弁，以搜派责诸司。当事大臣，心血几呕，究竟兵莫用命，民徒疾呼。国家不得已之搜刮，仍半入贪饕之手，此局牢不可破。譬如走疾影、墜深谷，聚讼弥深而酿祸弥烈也。

方今武联惟事苞苴，参游结契于监司，总戎献媚于抚按。彼别无

① 移郊移遂：贬到边远地方。古代国都百里外为郊，郊外百里为遂。

② 依凭城社：指城狐社鼠。③ 蒿目：同矚目，关注。

点金之术，不过借经费名以侵克军糈耳。究其始，岂非枢部自树之风声哉？谋登坛者，费数万；求专城者，费数千。虽关说疏题或出他人，而牵制操纵总在该部。是安望诸武臣精白一心简兵练卒，使投石超距之士^①，效死封疆乎？该部倘能力持不开一窠，而武弁各得自爱以肃三军，抚、按、监、司而下，谁不转相程效也？故欲剔兵之蠹，必先自兵部始。

财之匱也，事例平兴，征求繁扰。曷若从各处饷税诸科之糜费者，一加节省，而国家数百万之金钱可立办矣。尝见外有批委，悬以徇有力之请，饱司、府、佐、领之橐，而公家曾不得多收一钱之用。究其始，岂非农部自标之榜样哉？即如督催辽饷，一差迎送，馈问不减外吏、需次营委，动掷千金。又安望其实心洁己，不自示一隙以畏后言乎？名曰“交际”，其实皆民膏，皆国帑也。与其扑满盗之而泥沙散之，何若锱铢积之而天府登之？岂不堂堂正正昭臣子急公之谊？乃徒事弥缝，狼顾鼠息，使中宵魂梦仆仆靡宁，奚为者也？该部倘能力持“交际”可却，俾外有观法，亦各以节省之余，岁终报部。则欲剔财之蠹，必先自户部始。

兵部忧兵，户部忧财，洗心涤虑，风示外吏，穷源探本，计莫善此。不然，虽日事督责，岂能期有成效哉？

劾次辅丁绍轼疏

吴裕中

疏曰：朝廷恩礼不薄，辅臣党恶有据，敢冒陈愚悃，仰祈圣裁。速赐罢斥以厉臣节、以奠宗社事。

次辅丁绍轼，本一奸邪巧令小人。其入阁一疏，矢口经济，大率谓人人骗官，事事隳实，有题目而无文章。臣初怒焉心折^②，以为或出忠爱。近被臣同官赵应昌有言，乃辄具疏求去，至再至三，佯喜佯

① 投石：古代士兵的战斗技能和训练项目。超距：跳跃。 ② 心折：内心折服。

怒，巧作如簧之波，阴结倚丛之局。而其人之中藏已逼露矣。

如明旨中“心直口快”四字，不过为次辅解嘲存体之言，绍轼次疏，千喜万喜，感皇上赐此一语，亦即以为特达之知。又曰：“何尝尽直？”曰：“开口几何？”岂赞襄四月来，尚有匿肠，尚尔扞舌乎？抑以为皇上之知遇有未深，而图像有未肖也？至皇上遣官谕留，恩礼备加，或者谓大臣之用心，非众人之可识，乃三疏，口口声声咬定题目重复，发挥只谓：“缘马世龙而去，可谢天下，可报皇上。”夫世龙，一操戈环甲之武臣耳^①，世龙之去留，何足以谢天下？何足以报皇上？

当今内有客魏之交通，外有崔田之暴横，人情惨于蝸蟾，国势危若累卵。如此重大题目，绍轼绝口不肯言、不敢言，揆席文章，仅借轻描淡写之世龙以塞责。真有不可解者！从来邪正消长之界，多由大臣依违苟且，遂成莫挽之势。方今善类几空，邪焰弥炽。所称受特达恩遇以父安宗社者，其道安在？是骗官者，次辅；隳实者，次辅；有题目而无文章者，次辅。误国欺君，莫此为甚！尚尔播弄唇舌，哓哓幸幸，此臣所中夜腐心，愤不顾躯，而未敢缄默自己者也。

伏乞皇上立赐乾断，蚤斥绍轼，则政本之地，扩然肃清。从此创慑群奸，保全善类，则国是尚有可为之机，天心尚有可回之路。民生幸甚，宗枋幸甚。

臣得从龙逢、比干于地下，所甘心矣。臣不胜悚息待命之至。

为孟养浩请恤典疏

陆师鲁

奏为忠谏有功国本，劳绩茂著江防，乞赐破格恤录，以慰先帝之心，以励致身之节事。

窃闻“忠无不报”。人臣委质事主，丹衷无愧，职业克修者，均之可以言忠。至有不惮捐躯以维大本，不惜性命以勤绸缪者，此非常

^① 环：撰误。撰甲：穿上铠甲。

之忠也。在臣子有非常之忠，而朝廷无非常之报，亦非所以风有位已！若今新升南京户部右侍郎孟养浩者，臣等之旧堂官坐院金都御史也。忠义天植，憨直性生，所称社稷之忠臣非耶？慨昔宠妃乱政，先帝以承祧主鬯之长子请册立^①，则并封三王。有议请豫教，则屡推来岁举行。至以册立、豫教请者，几同仗马一鸣，则斥于时。朝阳希声，国本几危。养浩忧之，适由大行选给谏，曰：“此报国时也。”主试闽中，策以五伦。讽谏不悟，乃焚香草疏，甘为龙、比，牒列“三不可”。疏上，皇祖怒甚，杖一百，为民。虽弃其身，而三王并封之议顿止，豫教、册立之典，次第举行。夫养浩以一身生死为商山羽翼，天地、祖宗，实式凭之。比归，唯闭户读书，虽乡人罕睹其面，三十年如一日也。先帝继离出震，即起太常少卿，改升操江巡抚。下车以来，以察吏安民为兢兢。一闻辽变，寝食不遑。念根本重地，东南半壁视此以为安危。日简营军而操练之，汰老弱，募勇敢，修舟楫，备战具。数月拮据，劳苦备极。至二竖为灾，犹然力疾视政。故地卿之命，曾不数日。枕未伏，而箕尾乘矣。劳忘其劳，以致于死。检橐洗如，衣棺之费几无所出。留都吏民，无不泣下沾衣。

臣等看得：孟养浩才雄三楚，气塞两间。彩笔谏天，蚤传牒于青琐；宏词倒海，遂专对而皇华。晋秩掖垣，谏草几篇，真动鬼神之泣；典试闽省，伦理一策，默喻父子之情。念青宫毓德之时，乃宗社灵长之寄。迟久未立，猜疑横生，于是矢捐七尺之躯，以行四皓之策。疏成，圣怒不测，旨下，廷杖为民。梧垣之籍削矣，而东宫之座稍安。养浩之身去矣，而皇祖之心渐转。故虽蓄不轨之阴谋，难摇有主之宸衷。卒正大名，以安国本。居然定策，国老伟矣，夹日虞渊。去国只半榻琴书，无复承明之梦；居家唯一帘风月，不闻长乐之钟。杜门谢客，耻投刺以干人。漱石枕流，懒求田而问舍。豹隐已深，雀罗弗启。迺者先帝登极，诏书首颁。亟录社稷之功，随下赐环之诏。

① 主鬯：犹主器。

一晋常少，再擢中丞。节钺建钟山之阜，吏肃民怀；锁钥严天堑之防，波恬浪静。当兵戈久抛之日，值辽阳失守之警，手不停批，身不贴席。问江之要害，遍设斥堠；察地之险彝，慎固封守。蒐车练卒，日无一刻之闲；置器筑城，时废三餐之节^①。旌旗动色，壁垒改观。原因被杖，血气枯而不荣；一值忧勤，膏肓伏而不治。家徒叹四壁，几无易簣之资^②；检点只空囊，犹须麦舟之助。蹇蹇孤忠，允符死勤王事之谊；迢迢旅衬^③，洵为鞠躬尽瘁之臣。三品以上，例有祭、葬、赠荫，如养浩者，例外加厚，可也。至于易名之典，常人待查待访，如养浩者，不止以忠谏安国本，以匪躬固丰镐。自大行以至今，官由乡评，以至朝议，终始不变，穷达如一，粹然无议者，恐于今不多见焉。给之以谥，谁曰不宜？

大臣恤典，多系子孙自行陈乞。养浩二男未及舞象^④，双寡俱在壮年，待其自陈，必至废而不举。臣等山斗之仰，向已得之风闻，兹且亲炙其休光，目击其行事。屹然山凝岳峙，蔼然霁月光风。言不激而行不随，澄不清而挠不浊。可胜泰山梁木之感，为之流涕而叹息也。用是合词上请，伏乞敕下该部，蚤为题覆，议祭、议葬、议赠、议荫、议谥，毋稽盛典。近来恩予太滥，臣等方欲裁抑，以绝幸窳，而于养浩，辄欲破例优恤。所谓臣子有非常之忠，不可无非常之报者，此也。旌忠贞而报幽魂，端有望于朝廷之特典矣。

臣等无任吁天祈祝之至，齎捧谨奏闻。伏候敕旨。

① 三餐之节：三餐的规律。② 簣：“簣”误。③ 衬：“棹”误。

④ 舞象：儿童成年的代称。

书

唐

与鄂州柳中丞书

韩愈

淮右残孽^①，尚守巢窟。环寇之师，殆且十万，瞋目语难^②。自以为武人，不肯循法度。颀颀作气势、窃爵位自尊大者，肩相摩、地相属也。不闻有一人援桴鼓誓众而前者，但日令走马来求赏给，助寇为声势而已。

阁下，书生也。《诗》、《书》、《礼》、《乐》是习，仁义是修，法度是束。一旦去文就武，鼓三军而进之，陈师鞠旅，亲与为辛苦。慷慨感激，同食下卒。将二州之牧，以壮士气。斩所乘马，以祭蹠死之士^③。虽古名将，何以加兹？此由天资忠孝，郁于中而大作于外，动皆中于机，会以取胜于当世而为戎臣师。岂常习于威暴之事，而乐其斗战之危也哉？

愈诚怯弱不适于用，听于下风，窃自增气。夸于中朝稠人广众聚会之中^④，所以羞武夫之颜，令议者知将国兵而为人之司命者，不在彼而在此也。

临敌慎重，诚轻出入。良用自爱^⑤，以副见慕之心^⑥，而果为国立大功也。

幸甚，幸甚。不宣。愈再拜。

又与鄂州柳中丞书

韩愈

愈愚，不能量事势可否？比常念：淮右以靡弊困顿三州之地，蚊

① 淮右残孽：指吴元济。 ② 瞋目语难：气势汹汹却不敢说话。

③ 蹠：踢踏。 ④ 聚会：《韩昌黎全集》作“会集”。 ⑤ 用：《韩昌黎全集》作“食”。 ⑥ 幕后：《韩昌黎全集》有“之徒”。

蚋、蚁虫之聚，感凶竖煦濡饮食之惠，提童子之手坐之堂上^①，奉以为帅。出死力以抗逆明诏。战天下之兵。乘机逐利，四出侵暴。屠烧县邑，贼杀不辜。许、颍、淮、江，为之骚然。丞相、公卿、士大夫，劳于图议。握兵之将，熊罴豺虎之士^②，畏懦蹙蹙，莫肯杖戈为士卒前行者。

独阁下奋然率先，扬兵界上，将二州之守，亲出入行阵，与士卒均辛苦，生其气势。见将军之锋颖，凜然有向敌之意。用儒雅文字章句之业，取先天下武夫，关其口而夺之气。愚初闻时，方食，不觉弃匕箸起立。岂以为阁下引军单进，与死寇角逐，争一旦侥幸之利哉？就令如是，亦不足贵。其所以服人心，在行事适机宜，而风采可畏爱故也。是以前状辄述鄙诚。眷惠手翰还答，益增欣悚。夫一众人心力耳目，使所至如时雨，三代用师，不出是道。阁下果能充其言，继之以无倦，得形便之地，甲兵足用，虽国家故所失地，旬岁可坐而得，况此小寇，安足置齿牙间？勉而卒之，以俟其至，幸甚。

夫远征军士，行者有羁旅离别之思，居者有怨旷骚动之忧。本军有馈饷烦费之难，地主多姑息形迹之患。急之则怨，缓之则不用命。浮寄孤悬，形势销弱。又与贼不相谙委，临敌恐骇，难以有功。若召募土人，必得豪勇。与贼相熟，知其气力所极，无望风之惊；爱护乡里，勇于自战。征兵满万，不如召募数千。阁下以为何如？尚可，上闻行之否？

计已与裴中丞相见，行营事宜不惜时赐示及。

幸甚！不宣！愈再拜。

宋

与鄂州朱寿昌书

苏轼

武昌寄居，王殿直天麟偶说^③：岳鄂间田野尤讳养女^④。初生以

① 童子：即吴元济。 ② 豺：虎属。 ③ 殿直：皇帝的侍从官。

④ 田野：乡村。

水浸杀，呶嚶良久，父母亦不忍闻。

鄂人有秦光亨者，今已及第，为安州司法。方其在（毋）〔母〕也^①，其舅陈遵梦小儿挽其衣。遵念其姊方娠，儿已在水盆中矣，趋救乃免。

愿以此明告诸邑，令此风便革。人必乐从，其阴德十倍于活壮夫也。

上张太岳书^②

方逢时

生自归江南浦，苦力松楸，草土余形，日觉衰惫。岂意先帝龙驭上升，草莽之臣，攀号无地。恭遇新皇御极，朝野之人，举手加额。台下首膺简命^③，总摄百僚。明良之会，千载一时。昔人所称垂绅正笏、不动声色，措天下于泰山之安者，何幸于台下亲见之！

方今海内宁谧，台下以一德赞辅，太平有象矣。窃观古之人树显勋、成（太）〔大〕业、万世不朽者，多不在清平安乐之时，恒在于国步艰难之日。故伊、周公之圣，益显著于太甲、成王之世，有由然矣。新皇英睿，尧舜之资也。台下忠亮，伊周之亚也。经纶巨略，弘济嘉猷，诚非愚贱所能仰窥万一。

今日之事，惟有保其身体、傅之德义以为急务。二者之外，惟恪守成宪，简用旧人，抑遏侥幸，表达忠直，杜绝谄佞，爱惜名器，撙节财赋，宽省刑法，申严军旅，慎固封疆，以俟休命之凝因。假之五六年，天下大定矣。

草土之中，又间听愚者之论，谓圣主幼冲，宫闱深远，中官之权，渐不可长。孤心惕然，此杞人之忧也。夫中官为患，自古而然。刚之取祸，柔之取辱。传记所述，历历明监。愚窃以为此辈虽多不肖，然其中亦有才智谨厚之士。其僻狠之习，固与人异，而欲富贵、

① 在母：在母亲腹中，即母亲怀孕时。 ② 太岳：张居正号。

③ 台下：对对方的尊称。

恶死亡之心，则与人同也。惟在辨别之明，操纵有道，使机尝在我^①。作其忠顺之志，消其不肖之心。入我彀率而不觉，庶克有济耳。

新郑公之去，士类寒心。昨得邸报，读其初政诸疏，深叹服其忠诚之笃至，而又惜其机括之蚤动也。得罪之由，或在于此。夫恳切之言、整肃之志，直达无隐，施之长君可也。若天聪未启，圣志未昭，宫中府中之事，不免暂有所寄。苟不密其斡旋，曲为防闲，而先忧过计，径情直达，则众心摇惑，群志纠纷。彼方怀承牴牾之疑^②，我乃为袪臂扼吭之举^③，适足以触其畏怒之邪念，岂能助其格正之宏功哉？此《书》所以有“敬保”之训，而《易》所以发“于巷”之象也。且直言正谏，一有不从，则奉身而退，此台谏小臣之职也；若夫顾命大臣，以身系天下之休戚安危，其所调燮剂量，转移感动，固必别有其道。此孤生之所以戚戚于新郑公之志，而欲为台下一披豁之者也。

且圣德方新，四方耸听，尤宜时出德音，昭布德言，使海隅苍生晓然知上向意，益坚其爱戴归往之念，不识以为何如？抑愚之心，又有妄言焉？昔唐韦澳谓周墀曰：“愿相公无权爵禄刑赏，与天下共其可否，勿以己之爱憎喜怒移之。天下自理。何权之有？”此虽一时之言，或可一簣之助。愿为台下诵之。

为嘉鱼改拨汉阳与姜按台书

尹 相

不才僻处山林，久企丰采，未通问候，为罪。忽闻汉阳拨县之意，无任惊忧。及询县吏，申文甚欠详悉。不得已，以嘉鱼事向门下白之^④：

县治外江内湖，百姓无恒产。名虽一十二里，实在人户，不满四百。计粮则六千余石，而田困于征科矣。计差则数十余样，而丁困于

① 尝：“常”的通假字。 ② 牴：束缚。 ③ ●：扭转。 ④ 门下：对人的尊称，同“阁下”。

力役矣。此大较也。甚者，于江路递送之夫，上对巴陵，下对江夏。月无虚日，民莫能支。成化间，济之以崇通之钱而废；正德间，济之以府仓之折而又废。嘉靖来，始移一二徭征于兴国，以示阴庇。乃若蒲圻协济，于今二十年，只成画饼，此苦盖不敢再控者也。又甚如军户之漕运者，十有九破，民与伍两籍皆空。如水夫之在递运所者、在三驿者，弓兵之在两巡司者，其逃、其绝弗问也：一切取办于见役之户。管粮之家，苟且支持，沦胥以败而终莫之救^①。自今大势观之，辟则尪羸之人^②，特奄奄一息耳，安能更为人役哉？即使汉诚得之，亦不济事，且将尽驱吾民而亡，实两损也。地方洪水连年，百姓卖妻鬻子，割骨肉以延旦夕。顾其家无所可恋，独累累丘墓，是其凄凄依依者耳。急之，则亦不复顾矣。苦状如斯，嘉鱼亦汉阳也。宁不动明公一视之念乎？汉可恤，嘉尤可恤。并置于怀而两全之，仁斯溥矣，吾民幸甚。

对楮无任祈恳之至。

为修长堤与刘抚台书

尹 相

嘉鱼县北，旧有长堤一座。自马鞍山起，直抵金口。循江而下，委曲约二百余里。堤之内，有括江夏、咸宁、蒲圻并本县诸湖，周围亦四五百里。湖之畔，四县百姓衣食田产，亦不下数千百顷。此堤若完厚，夏间水涨，必由金口逆灌而上，其势迂缓。及弥漫，必须半月，即早稻皆收。此堤若坏，江水直从马鞍山尾注入诸湖。由上而下，其势顺易，不过二三日，田禾皆没。一春生理，悉作鱼铺。百姓嗷嗷、官府咋咋者，六十年。

于今计，此堤遗迹略存，实于四县皆利。若按地计丈，每县各该堤若干，各该钱粮若干，仍委各县贤能，各率地方赖利之民，四分修筑，则刻日可成功矣^③。地方粒民之计，莫切于此。伏惟留意。

① 沦胥：相率牵连。 ② 尪羸：瘦弱、疾病。 ③ 刻日：限定日期。

与亲友书

贺逢圣

逢圣顿首拜启本县戚友里党：平日但蒙一面之知，即未蒙知，而颇悉寒家不敢为恶，亦荷怨詈之不及者，伏恳终惠明德，曲成逢圣晚节，其为衔戢莫大焉^①。

先中宪《六谕》颺言“和睦乡里”^②，过庭尤所谆谆^③。又谓“汝逢圣，心最不可粗。心粗则胆大，胆大则为祸本。古人下笔写字，一点脱误，便说到死处。汝慎之，记之。”其它不可殚述。

今逢圣仰荷皇上殊恩，谬叨政地，日夕饮冰，措躬无所孰非。我同里先生长者，庇阴之余，谨遥望桑梓，顿首以谢。谚有之：“福出人所羨，祸出人所怨。”此言虽迹，实该至道。范文公亦曰：“宗族乡党，我生长、幼学、壮仕，为我助喜，我何以报之哉？”逢圣未能图报，矢心且少作孽。敬陈三世备尝艰苦，及不肖三十四年铭心之概于左^④：

先大父、大母，前嘉靖乙巳岁侵^⑤，三日仅黄豆一升。岁除，一伏雌易米二升五合^⑥。先中宪所刊祠堂对联“当年鸡豆未忘念，此日儿孙无妄思”。逢圣今日不念，是自绝其祖父母之泽也。先中宪授馆四十年，止一青布衣，坐处已变蓝色。先恭人让居于嫗，栖止数尺陋室中。下湿上漏，炊爨即在床前，烟熏眼泪。逢圣哽咽不能书，今日不念，是绝其父母之泽也。即逢圣戊戌馆于钟祥，己酉馆于嘉善寺，或御冬以絺，或六月荐草。癸卯揭^⑦，晚无宿春。丙辰报至，深夜丐酒。今日不念，忽作两截人，是自绝其子孙之绪也。念之若何？亦曰罔敢作孽而已。罔敢作孽若何？公门无一字之干，本宅无生事之仆，钱粮无分毫升合之逋，陆递水驿不往索一骑一舟，山场、湖地不讨管一尺一寸。长江上下，无营运装载之一船。其或非意相加，则力减子

① 衔戢：敛藏于心，表示衷心感激。 ② 颺言：宣扬。 ③ 过庭：用《论语·季氏》典，这里指对晚辈的教诲。 ④ 于左：同“于后”，古人书写，右起左行。 ⑤ 侵：凶。 ⑥ 伏雌：母鸡。 ⑦ 揭：公布科举成绩。

孙，谨遇而已。此极猜琐事，逢圣何胪列乃尔？先正有言：“孝子一步不忘亲，积之成大孝。忠臣一事不顾私，积之成纯忠。廉官一铢不苟拾，积之成清白。烈女一笑不闻音，积之成贞节。”天下事皆起于细微，燭火燎原，蚁穴溃堤。吾畏其卒，故怖其始。

夫逢圣无公门之干，而或有伪饬竿牍^①，公祖、父母弗信也。逢圣无生事之仆，而或有鲜衣怒马擅入衙门者，公祖、父母弗信也。逢圣无逋欠之钱粮，而或有诡寄脱漏、鱼肉里甲者，公祖、父母弗信也。逢圣无邮驿湖山船只之扰，而或有武断强梁、树牌走税者，公祖、父母弗信也。逢圣无雀角鼠牙之事，而或有指称族戚——如昔年状写逢圣——及持拜年名帖作规避嘱托之先资者，公祖、父母弗信也。弗信，则于事罔济矣。罔济，则不成何益矣。逢圣措大，食芹之美，方期公诸人人，而并冀不惜瑱规，以玉成其始终，则先中宪犹有望也。

伏惟先生长者鉴原。幸甚！幸甚！

与林紫涛按台

尹民兴

嘉鱼北绢里役敛银付机户，机户自造自解，不再干里役者也。前因户房、机户表里为奸，崇祯元、二、三、四、五年，尽行侵没；六、七、八年，又以滥恶驳回。罪非独在机户也。观其冤单，元、二、三、四、五、六年，户房侵扣已一千七百余两；七、八、九年，可例推焉。今应户房、机户均为赔造，不过以通邑之原银，完屡年之逋解，何本县再比，里役敲捶，竟日肉血飞庭，牢户充满，妻孥窜亡，而侵盗国用者既不之罪，而转横需里役以金钱之多少，为赔补之重轻？白日中昏，国法堕地已。夫以数月之内，而欲水旱交侵之苦邑，重赔四千余金，此即破骨裂肢，万万不得之数。

惟老公祖行提户房、机户及累年里役严讯，此项银两果已完纳在

^① 竿牍：书信。

公，收帖可据，则机户与诸胥皆为应追之赃，而亦有必得之罪。不然，朝廷之御用明饱此辈之私囊，穷户之精膏独供宵人之滥嚼。老公祖洞测民艰，自为酸鼻；而煌煌明旨屡戒侵渔，倘一上闻，何能不为震撼也？伏惟严究，通邑幸甚！

序

唐

鄂州何大夫创制夏亭诗序

符 载

[丰城有神剑，非司空无以发沉塞，扬光彩，为天下之大宝；江夏有善地，非亚相无以起雄峙，作亭榭，为天下之至胜。虚极必盈，晦极必明，开物之务，系于贤者，此自然之理也。

先是，]^①郡中寺曰“头陀”，名与碑并。登临钟萃，大云气色^②，下配砾石。公政教既备，[游心佛寺，慨此颓落，乃沛然而张之。耸阿阁，矗长槛，严像设，炽台塔，凡所相好，皆鼎新也。方务剪伐，用探胜会，一时景欬！

值甘心采入^③，意谓粹绝，余将获之，乃缘后殿，穿窈窕，出乎苍莽之巅，[果有实境，待我而启，万古不偶，今为知音，通塞之际，若有感也。观乎经营之初也，铲嵒嶰，堙坎口，]斩榛樾榘株枿^④，[翳荟扫尽，天形嶷然^⑤，山川云气，一朝喷泄。公智动于内，形象于外，口疏手指，]焕然成亭，[侈俭无过，因归于中当。]

[于是，延宾介，洎郡之士君子，相与]开襟登之。[殊解乎，]凌泱莽，驾峥嵘，压夏口，撑大别。开井闾于砌下，拥城闉于宇后。

① 《鄂州何大夫创制夏亭诗序》中原文没有这一部分，据《全唐文》补。

② 色：原文形近误为“邑”。 ③ ●：冒进之意。 ④ 樾：器物粗劣，不坚固。榘：断木。枿：同蘖。树木砍伐处所生的新芽。 ⑤ 嶷然：端庄、卓异。

倚檻凝立，〔在青冥中〕。连山积水，悠渺无际^①，〔长想一去，周流物表，何如宇宙，于此为细？繇是言之，〕固知公宏迈可以拔幽陋^②，才智可以陶品彙，应用不测，与造物者为徒乎！〔崇崇夏，籍南岷，何羊祜之事，齐芳永久？〕

夫诗者，比兴而咏志也。凡我登览盛美，情傲无述，岂文士之意乎？况主人唱首，韵铿金石，得不搜思，上承献酬。请咸继大夫之后，赋六韵之作尔。

宋

送张复之宰崇阳序

王禹偁

今之县尹，古之诸侯。自秦郡天下，小国皆化为县。县有政，听郡条而后行；县有长，观牧守而后动。秩卑禄微，弗足自庇，固不暇使风俗之移易。逮乎炎汉隆兴，始有重外之旨。故命郎官出宰百里之邑，秩四百石。尊其位，厚其禄，盖欲分君忧而求民瘼也。由汉而下，邑官益卑，故梁竦有徒劳之言，渊明起折腰之叹。洎胥伍史，区区于风尘间。遂使抱王佐者，耻而不居；黷货利者，稔而自处。苟县政有缺，率曰：“吾将罢兹邑而适他邑，乌用革焉？”县人有病，亦曰：“吾将舍此民而莅他民，乌用易焉？”观其视一邑及一邑之民，若行客之宅邸舍也。待旦而去，固无所惜。风行雷同，浸以成俗。良由国家小亲民之任，轻字人之官所致也。将极其弊，圣人孰能制乎？

宋天王嗣位之五载，亲选贡士，分甲、乙科。中甲科者，通理郡事；乙科者，专任县政。尊以廷评之位，重以使者之车。县政有阙，得以擅革；县人有害，得以专易。既革且易，不康何待？《诗》所谓“能官人者”，岂独美于文王乎？

清河张咏，字复之。本宅九河间，少有奇节。钓鱼待膳外，读书无虚日。秉笔为文，落落有三代风。今春举进士，一上中选。将我主

① 悠渺无际：《全唐文》作“悠悠渺渺”。 ② 固：《全唐文》作“因”。

命，莅乎崇阳。分君之忧，使帝心休休乎！求民之瘼，使民心熙熙乎！江淮之南，郡大惟鄂。鄂人得贤，亦孔之乐！波映鹦洲，烟藏鹤楼。白云芳草，思古悠悠。堂有鸣琴，足以振穆若之风。尊有醇醪，足以养浩然之气。惟江汤汤，鉴其襟袖。惟山峨峨，媚其户牖。鲰得鲂鲈，果多橘柚。吏隐于兹，足保无咎。且优且游，勿为江山羞。复之勉旃云尔。

明

碧崖亭序

宋 濂

濂与太常卿魏观先生游甚久，知其为孝敬人也。先生常谓濂曰：“予家鄂之蒲圻，有山曰‘蒲首’焉。巉然而起，如云旂翠蕤^①，荡摩空蒙间。对峙双石，槛直上如筭，中厂碧千寻^②。嘉葩灵草杂被之，纷红骇绿俨图画中。先人爱玩不忘，日支筇步其下；或濯缨涧底，咏诗坐盘石上；或望云出没崖谷，悠然忘返：遂以‘碧崖’自号。时移事迁，层崖绝壁，虽苍然不改于旧；而先人则追逐群仙于风马云舆中，弗能见之。每过其下，不觉潜然出涕^③。故于宦游所至，揭‘碧崖’之名于楣间，所以志之，思夫亲也。虽然，名之固寓也，而言之则尤寓也。曷若亲履其地而求先人之遗迹乎？方今圣人在上，方以孝治天下。他日筑亭山麓，仍以‘碧崖’名之。当风日清美^④，与二三子游其间，指而言曰：‘彼清泉浏浏而斜出者，此先人濯缨之处也；盘石垒垒而可坐者，此咏诗之地也；岩谷沉沉、灵气之宣通者，此望云出没之所也。’一俯一仰，精神参会，非惟慰其遐思，抑将藉是以励夫所学，期克肖乎先人。予虽老矣，此心敢忘？子幸为辞。”

濂曰：“传有之：舜食则见尧于羹，坐则见尧于墙。古之上圣若斯，况下者乎？人子之于亲，遇事触物，无有不可感励者，况亲所游

① 旂：旌旗下面的饰物。 ② 厂：敞的同音通假字。 ③ 潜：今为潜。

④ 风日清美：即“风清日美”。

历者乎？”斯亭之建，当与“甄氏之亭”并称。其视崇台芳榭以骋游观者何如也？先生字“杞山”，观其名也，学富，德行修践扬中外，其善政盖章章云^①。

辞曰：岩之云兮，英英其升。岩之木兮，欣欣其荣。怅仙人兮，何之飙风？薄而上征，岂降精而委祉兮，发为休征。三秀之苗兮，膏露之凝。渺长思于无穷兮，视一息于千龄。金可销而石可泐兮，又焉能爽吾之精诚。

黄鹤楼诗卷序

方孝儒

奇伟绝特之观，固无与于人事，然于其废兴，可以知时之治乱焉。夫黄鹤楼，以壮丽称江湘间。当天下盛时，舟车旌盖之来游，考钟鼓、肆管弦，燕会于其上者，踵相接也。

元末诸雄之相持，武昌莽为盗区^②。屠伤杀戮，至于鸡犬。求尺木寸垣于颓城败垒间而不可得，天下之乱极矣。

大统既一海内，建亲王镇楚，以其地为国都。旄头属车往来乎其上者，四时不绝。盛世之美，殆将稍稍复睹，余恨不获见之。兹焉睹其状甚悉，云涛烟树，咫尺千里。夏口、汉阳，苍苍如目睫^③。展卷而卧阅之，恍然如乘扁舟出入洞庭彭蠡之上，而与李白、崔（灏）[颢]同游也。今四方日就治平，而江湘尤予所愿游者。他日苟或再登，为之赋咏，以追踪于古之作者，或者其始诸此乎？

送彭万里之江夏序

汪仲鲁

王师西平江汉^④，伐罪吊民，义明势张，人心翕合。是故，一战而杀其大将^⑤，焚其巨舰；再战而俘其众，不可以数计；三战而歼其渠魁，降其将卒数万，尽得其楼船。古今大快，靡逾于此夫！

① 章章：义同“彰彰”。 ② 莽：荒凉，这里作状语，是“荒凉地”意思。 ③ 目睫：指眼前。 ④ 王师：指清军。 ⑤ 其：指李自成。

杀主自立、逆乱天常者，人得而诛之。国家申明春秋大义于天下，江汉之民望风顺服。知者献谋，勇者效力，抱才艺、怀道德、山林幽远之士，率皆振奋而愿有为于时也，况其勇健、有谋、直言、好善如吾彭万里者哉？万里以万户侯从镇同安职守，招怀屡建勋绩。向之三战，皆豫焉。

兹再往江夏，且视予疾以别。予睹国家盛事绝古今，多士云集，而予则病废甚，不能振拔有为，独壮万里之行也。执其手而语之曰：“王师方拯民于水火之中，俘获者尽释不杀。夫义之著，所以胜敌也；仁之孚，所以安民也。敌胜而民安，以定天下不难也。大丈夫树勋名于不朽，殆不违斯言也夫。

杏坛行李序^①

李承芳

杏坛在鱼岳山之首，先辈想象孔子之迹，居孔子鼓琴其间，地殊峻绝也。学宫居其左，大江环其右，皆在岳麓。岳之腹，建大成殿。凡衣冠士谒宣圣，即止望杏坛，多不能升中界垣门。曰：“远尘关常闭之，不易启。”虽显者至，亦无得而入焉。吾师舞阳郭先生蒲归，余乃率诸弟子辟关，登杏坛而饯之，盖重之也。

夫先辈重其地，故处以宣圣；严其禁，不轻假之人。地以圣益尊，人以尊而忌。尊则敬，忌则慎进，道者之机也。先辈之意，固有在也。予于是安敢轻犯其禁也哉？吾先生之道，传之圣，而教淑诸人^②，门户同也。而况本诸诚，达诸用，非徒恃言语、文字之末，声音笑貌而为之者，所谓可以质之圣者矣。赠言，圣之遗也。诸弟子为之诗，承芳作序。

郡大夫考绩序

吴国伦

杨公刺兴国三年，当报政受成。大宰会部使者难其代，属诸监司

① 杏坛：相传孔子授徒讲学所。 ② 淑：获益。

议曰：“兴国，民且罢者也而苏，事且隳者也而振，法纪且弛者也而张。藉令一日微杨守，谓兴国何？”因檄下，视事如故。第上其治行，请留焉。

故事，郡邑长吏考绩其最者，得被玺书褒宠，而爵其所生。吴子往贺公，公曰：“何贺？”吴子曰：“子之仕也，父教之忠。今公修其职，膏泽其民，致其身，华袞其亲，是忠之效而臣子之所荣也。犹不足贺与？”公于是始有喜色。

乃其佐王君、张君，谓吴子知公，无浮誉，因以赠言属焉。吴子曰：“公治行具部使疏中，为士林所脍炙，予复何言？虽然，有部使所不尽言者。夫今之书上考者，类称廉于操、惠于抚、智于计、敏于为、神于撻发而威于弹压^①。审如是，岂惟汉二千石不足良，即孔门诸贤无一可与从政？予窃以为不必然。夫士端向意以行其学，而善用其才，即偏长可以图成，兼长可与语化宰天下。如是，何论郡邑？”

杨公其才兼人，又好古而习当世务，乃其向。意则以明作行岂弟，盖得用爱之权。古谚有之：“为政犹沐也。”沐者，虽弃发必爱，然徇弃发之爱，而忘长发之利，不知权者也。故用爱之权，先法。孔子曰：“吏者，平法者也。”又曰：“椎锻，所以平不平也。榜檠，所以矫不直也。”圣人为法亦然。今用恩，则见以为树德；用法，则见以为树怨。不已愚乎。国侨氏之喻烈火，董闳于之警深溪，期民无犯，仁人之用心也，德孰大焉？乃众庶不可使知之耳。公惠政未易具述，姑述其大者。初，银山之矿，郡人无远近聚而冶焉。公虑其徒实繁，其渐必为乱，因厉禁以绝之。小人以为失利，而实销一祸本也。已，乃严左右之奸法。若向之虎而冠、狐而三窟、鬼魅而不可方物者，望公咸股栗。寻尽得其阴事，按讯之，咸伏罪。小人以为难事，而实塞千百年弊窠也。已，乃覆匿输而输法正，绳匿盗而盗风寝。抑一二豪右，而凌暴之，患不复作。已，乃正经界，均版图，籍诸匿户

① 撻发：撻奸发伏的简缩，揭露隐伏的罪恶。

羨田，以厘正徭赋，而物力、民力胥以调焉。已，乃虑事量功，撤故城而新之。其为保障计，益固。凡此，皆众庶所始难，而终必赖者，公独毅然任法行之，岂得已哉？所谓去大甚而遗百姓以安，兹其爱兴国深矣！鬻子之告武王有曰：“治陈于刑，而仁行焉。”此，犹其著者也。《易》曰：“家人有严君焉，父母之谓也。”^①旨微矣夫！家政匪严不克爱，况为民父母者乎？吾故知公得用爱之权。今兴国卒德公也，则所谓三年有成也。公自今且日陟通显，其谓兴国何？

叠山书院会课序

吴国伦

叠山书院，在州治之东半里许，襟一水而障百垒山。盖谢君直流寓时故居也，后人因而祠之。祠隘而久且芜废。嘉靖中，州守宣城吴公稍稍拓地，宏栋宇，州士人始有读书其中者。而书院则今守杨公增置云。杨公，江左闻人，而风节凛凛不在君直后^②。每政暇辄诣黉舍，与诸生谈经术。折衷疑义，因品其课业而绳墨之，诸生翕然称得师。久之，四方有志之士风慕景从、担囊鼓篋而来者日益众，至有僦居旗亭、闾闾间者。杨公曰：“奈何暴士而市也？不忝师帅乎？”因增置书院以馆之。凡二年，所得诸生课业之隳者若干目，授之梓而属予序。予知公意，非为诸生急近名，庶几辅而翼之，且以树后进耳。昔者君直被放，非有官守拘挛，故得从容授徒。手编诸名家文以为士轨范，至今流播海内，工举子业者采焉。乃杨公日亲民，事簿填委，又举经界、缮城二大役，皆不劳而定。犹能用其迎刃之余力，为诸生斫轮，即诸生罔不得且应焉？政教盖兼之矣，何论轨范哉？夫登高欲望，临渊欲窥，处地便也。御使人恭，射使人端，处形便也。况士志于学，履先儒讲授之地，而师事邦大夫之贤，有不思奋而进者乎？藉令群居终日，无以择于旗亭闾闾矣。诸生方求益于公，而公又不以予

① 见《易·家人》。② 凛凛：同“凛凛”。

为阳鰩而下问焉^①，敢附其毫^②说如此。

林可任父母祈雨有应序^③

魏 说

昔之称循吏者，云“家视其邑，子视其民”。盖谓人情于家，未有不经纪拮据；于子，未有不疾痛关切者。至于为家与子，而不惜以身从，则尚未之前闻。今观林可任父母祈雨一事，劳心焦思，痛关养切，真家视邑、子视民，已为从来之所希有。而至于头颅抢地，维朝维夕，不觉其皮破血出，则不知有其身矣。至于呱呱初泣，适与祈会，不一过而问、昵焉，则又不知其有子矣。治本异等，民无间然，而手为告文，绵绵自讼，愿以身当。沿街跪叩，入庙告神。百姓聚观，抢地号天，靡不泪下。毕竟精诚至处，天亦难违。赵闾中之稽首流血，应时滂沱；谅谨儒之身塞无状，嘉澍充到。此从来祈求者未有之事，邑父老子弟从来所未见之事，安得不玆议为言以纪之，为歌以咏之？不佞年逾六旬，此真父母、真德政，真是向所未有，又安得不效一言，为邑父老子弟之先？

问刑管见叙

魏 说

余于是，始信求律者当求之自心也。何言之？以余之愚，宜于律无所领。然而余每阅招，必心诚求之，往往至于卒然忽然之间，余眼恍恍焉，若有所见；余心搢搢焉，若有所动。余眼、余心俱仓皇岌岌，心不及与眼谋，眼不及与手谋。颠倒掀曳，既恨不一睹律如是云云为愉快，又戛戛乎律之不如是云云为疑且惧也。两心交蹙，若急湍回澜，靡所决发。及一见律果如是云云，而余眼大明，余心大定。明且定，而余始大畅。余故曰：“始信求律者，当求之自心也。”凡此者，皆予先主之以求生之心，故每至一毫可生之处，辄若彼惻然翹然

① 阳鰩：鱼名，容易上钩。后指不请自来的人，这里指没有学问的人。

② 毫说：指乱说。③ 父母：对县令的敬称。

突露于吾眼吾心之前不能吾匿也。不然，彼之犯此者，即不论果与否，其牒中定俱不法之词（克）〔充〕塞黷乱，最易混目。苟不先有一念求生之心主于中，则吾溷乱一阅，彼即有可生之意，亦若伏而不吾示矣。

虽然，其紧要尤系于招，而其最紧要尤系于初招。故曰：“刑者，成也。一成，不可变。”言初招之最宜慎也。初招倘不慎，后即能昭雪，已受无穷刑累矣。昔潭州盗杀商人狱，具经七推而不获理，最后得潘德廊明之。内乡仓督之系父子祖孙，沉系多年，赖唐云翔力为申释。夫潭州之狱，若初推得理，安得至七推？至内乡父子祖孙之系，比其后虽得昭雪，而死者业已九人。此皆得申理者，尚且如此，况不得申理者哉？且又不特此而已也。生者固可念，死者又不可怜乎？如人命之事必须检者，欲得真伤以正其人之罪而申死者愤，盖亦为略有未明者设耳。今乃一切俱必检验，何也？昔李东冈视狱，见墙隈白骨。问之，乃年久死罪者。东冈愀然曰：“一死已偿其罪，胡为又暴其骨？”即令收埋之。夫以死罪者，仁人君子且怜其暴露如此，况无罪者哉？由此观之，检者乃欲正犯者之罪，而先暴死者之骨，则又安可以溷乱为也？此皆始于初招不详，以致后来不得不尔。不然，情有可疑者，初审时肯一细心调停之，命生者免拖累，死者速即土，岂非大德深仁而奈何不为也？张九龄曰：“六合之众，悬命于县令，宅生于刺史。”知言哉！

且刺史、县令之所以不即了者，亦非尽溷乱之过，亦多牵于情节、大小、轻重之间，不能自决耳。余以为情介两可，便宜依轻。死中有路，他又何烦屡讯？如自缢、自溺，或病、或跌之类是也。昔唐帝命玉工为带，工误毁一铤^①，匿不以闻，私市他玉足之。帝觉之，大怒。京兆府以欺君，论死。夫由后言之，果是欺君。由前言之，止是一误。两情相介，轻重悬绝。而柳浑乃毕竟止引误毁乘舆器物之

① 铤：古代腰带扣板，这里作量词。

律，拟之以杖。噫嘻，此事若在今人，敢舍欺而论诬哉？故余愿治律者不必问律，但当问其人之情。苟其情有可原，能细求之，未有无其律者。此所以余谓“求律者当求之自心”也。视事半年，得若干牍刻之，就正于治狱之仁人君子焉。

因书数语于首。

江夏县田赋志序

郭正域

江夏，赢邑也。田不满八千，户仅逾一万，而当省会冲。往闻之先大夫言：“德靖而前^①，公家之费倚办里甲，有田之家计亩输直，谓之‘日生’。算田而“直日”，积日而应役。上官猝至，若仆马长短、若廩饩牢醴、若床褥帷幔、若朱墨笔楮、若屏障薪火、若灯烛苇席，尽取及“直日”之家。其藩臬大夫猝至，数十金之产立尽。其两台制使猝至，各郡邑守相麇集奔谒，诸费不贲，数百金之产立尽。而胥吏又因缘为奸，转移其间。有力者移之而过期，无力者移之而应期。赢瘠之户，应时而稿。一时小民，视田土为厉阶。故田直贱甚，不一二金而博数亩。即世业之家捐以与人，人不敢售也。自御史唐公，革“日生”为官买。计一岁所需若干，第括金钱入库。公家之费，取办有司而民不知。后御史陈公踵而行之，于是畎亩有乐生之心。一时田价腾踊，十倍曩昔。数十余年而化为乐土。故民间无里甲之扰，则唐公之为也。

往岁，“条编之法”尽行江以南，而吾邑犹十岁而轮甲，五岁而轮徭。盖小民徒偷九年、四年之逸，而不计十年、五年之劳惫不可支也。

往岁，都御史刘公亦慨然议行，而有司因循岁月。自郡守刘公、邑侯莫公，始力成其议。法初行，而言便者五，言不便者五。行逾年，而言便者八九。又逾年，而人人称便矣。故邑中无均徭里甲之

^① 德靖：正德、嘉靖，明武宗、世宗的年号。公元1506—1567年。

累，则刘公与莫公之为也。

先嘉靖时，景府请邑中田地四千六百余顷、租银二万五百余两，征收耗银且十之三四。中使猝至，锁械士民，号泣道路，激生他变。台使议以全省钞银暨长宝二府商税，抵去一万二千八百八十有奇。而吾邑纳景府尚赢七千六百有奇，小民犹然苦之，逃匿四方。都御史方某又议以吾邑解司禄俸取偿通省抵出田粮输纳景府，稍宽人力。议未上，景王薨。万历十七年，潞府复请景府额田，邑中父老闻之色变。会韩公、孙公至，乃集邑中缙绅父老议曰：“夫邑田不满万，而潞邸请去四千，则无邑矣，彼有此土，则有此民，而吾邑无民矣。无邑无民，则无官矣。”遂与院司诸公议，合力以请于上官曰：“上所为亲亲意，食租衣税耳。请潞府勿得以中官收租税，县官代为之征收便。”会议不果，乃复搜故牒，躬诣九湖水涯，只得田五百九十余顷、地四百二十余顷、塘五十顷有奇、山二十二顷有奇，共租银一千五百七十三两，曰：“潞府所有，止此耳。彼所请尽湖田，而连年淹没荡尽。安得彼尽请之而令吾民尽畀之也？且江夏赢邑，难为加税。吾邑既供潞邸赋，则他赋应少减，以舒民力。请以吾邑禄银七百有奇，取给兴国诸处邑中。惟临湖田地册籍，系景府所请者，加派输纳潞府，止得银八百两。”一时畎亩闾阎，翕然称便。故邑民不知有藩邸之扰者，则韩公与孙公之为也。

邑中府米、军饷止三千石耳。后军人于秀一等，以府米在外邑多逋负，请改县中为近。于是诸军人纷然请索，藩司漫为许可。左右掾吏既纳贿诸军人，复漫然纂入赋书。久之，邑中府米加增至六千石有奇，且他赋不减百一，而府米遂滥其半。岂尽以散诸军人？米足则征银，于是府米为利窠矣。夫田不过两端，兑军为拨运，府米为存留。有田之家，良善者，即府米不敢负升合；而梗悍者即兑饷亦为逋负。及监兑使者檄至，则以府米而偿兑军，是输者无所不输，而负者无所

不负。何谬盩也^①？邑侯颜公严核各里各亩兑若干、府若干，每秋至，粟米之征先兑而后府。上有蠲租，则府米尽免，则人无偏累矣。又请于院司，蠲去本县府米一千五百，实征米四千五百石，著为令。甲不变，而省约一千五百之虚耗，则颜公之为也。

大抵吾邑地小而土瘠，官众而民淳。地小，则县家不能当上官之求。土瘠，则小民不能称有司之急。官众，则掾吏之奸窳百出。而民淳，则赋敛之目日增而莫知所以增也，月损而莫知所以损也。增者不易见怨，而损者亦未易见德。奈何？弗表也。惟是仁人君子踵武而至，守之无变可也。

太史氏曰：“吾邑，羸邑也。今天下会省俱两邑：浙江之仁和、钱塘，江西之南昌、新建，广东之南海、番禺，福建之侯官、闽县，四川之成都、华阳，陕西之长安、咸宁。而吾楚为巨藩，厄中原，南服要害，顾独以一邑当省会之冲辖？其它省一县附郭，如河南之祥府一百二十里，广西之临林一百二十九里，俱广大沃衍，而吾邑独六十三里耳。

又黄、宝、衡、永之间，每田十亩，获谷几百钟，少亦不下六七十钟。而吾邑土地硗确，每田十亩，上者不满谷十七八钟，下则八九钟。又置产之家，与佃民计亩而分之，各得其半耳。佃民之躬秉耒耜者，称贷于人，西成未赛而釜瓮已竭。其城中号称饶厚者，亦无一岁之藏；贫家无半月之藏；市民无宿舂之粮。盖吾邑之田不足食吾邑之民，朝营而暮食，惟仰给长宝商舟。商舟稍滞，甑尘已生，老弱悬磬而枵腹矣。且全省之地，五方之民聚焉。计炊爨而待饱者，不下百万，一旦有警而外户且闭，庚癸一呼^②，而雀鼠亦不胜罗矣。且今宗藩之禄银、官师之廩饩、师徒之餐钱、兵卒之粮饷、吏胥之践更，无所不取给；而蕞尔敝邑，无所不供。当事者非不惄然深虑，议蠲、议省而蠲与省之所余者，曷亦动伐山竭泽之忧，而为抽丝剜肉之防乎？

① 盩：戾。 ② 庚癸：军粮的隐语。

送莫令尹入覲序

陈忠爱

莫公之尹吾邑也三年，为岁癸未，以岁事覲于天子。又三年，为岁丙戌，又以岁事见于天子。三代之制，三年天子秉圭而见诸侯。侯、伯、子、男以事诏于太宰，太宰比群吏而诏之王。然则公之往，以述职也。夫以公早夜于楚，莫肯告劳。国中自三尺以上，田峻、女红^①，人人能为公言，又何俟乎公之自述之也？

江夏隶会省中，执法之所莅也，直指之所按也，藩臬诸大夫之所鳩也，郡太守之所视也，四方输蹄之所凑也。令一人耳，事无巨小，吏环向而问令。鸡鸣而起，日出而谒诸上官，燃烛而视爰书、校钱谷、问三老，扶其不勉者而罚其不若者^②，盖为令之难也。异日国家大惩创，令虽劳勩^③，修故事而行，可以寡过。公始为政，而更赋之令下。亡何，均田之令下。邑之民诚小心畏法，而田于吾邑者不尽吾民也。四方之侨寓者众，伺其万一而侥倖于法之所不及，以诡射于土著之民。盖有厥田上上厥赋下下，厥赋上上厥田下下者。抑赋以就田，则损赋；抑田以就赋，则损民；（困）〔因〕田以定赋而轻重其间^④，则人得以为奸于田与赋之际，而赋与田俱损矣。公慨然曰：“吾以一窃之法行执环中，以应无穷。”盖令始布而人有言不便者，公为法悬之通衢曰：“吾为法而父老子弟其有不便者，速以告。”盖法始行，而人乐焉。朞月，而人安焉。前言不便者，争言法善矣。

邑中凡三大旱，公以身祷，蒲伏道路并走^⑤。群望其容有戚，父老曰：“天乎，雨我公田，劳我父母。”浹旬，而雨如澍，岁以大穰。

夫为令者，滑稽炙轹以应上官之供^⑥，而市井苦之。公未有异也，乃其大旨则“宁失上官，勿得罪于百姓”。自公为政，而市不异肆。负担者、居货者、狙侏者^⑦，不知有官也。

① 田峻：官名。② 扶：鞭打。③ 勩：劳苦。④ 困：疑“因”形近误。⑤ 蒲伏：即匍匐。⑥ 炙轹：比喻善于辩论。⑦ 狙侏：牙商的古称。

公之为吾邑，凡六年于兹矣。而食无二珍，身无异采。朝夕厌藜藿，而妻子不饱粱肉。甚者，不能饰行礼，则有所贷请而后往。乡老曰：“自结发以来，未见廉吏若此者也。虽古所称‘辞鱼留犊’，何以加焉？”夫汉世良吏刘方，一县尹，至劳玺书劝勉。又无他才能，而不过曰：“不烦，夫天下未有有利而无害者也。”上多能，则下多诈。上之人诡得之，则下之人诡中之。故声华者接踵^①，而惴惴者希踪^②。于是粉饰招揭以簧鼓上人之耳目，而羶悦小民之趋附，实意漓矣。以比于公，则所谓阳鲚也。公口无伐言，身无择行。洁然者，远之。画然者，去之。诚信而行。其忧民也，蒿目而其中若焦。持筹而议之，其论不烦而民以宁。休休然若春日之日^③，如赤子于慈母也。庶几乎日计不足，岁计有余者也，而况乎今以六岁计。

公报政于朝，而天子一旦下玺书，必求所谓不烦者，则公首召矣。

周侯清粮序

陈忠爱

崇阳居鄂西偏南，漕正耗米《全书》额业已定。尔来弊窳愈益开，剥肤愈益（刺）[刺]。如民间之贷廩，梭斗之奢费，无名之虚派，额外之增支，大舟之科敛，小舟之厚糈，闰糜贴解之滥收，收户之神丛参随，史书之尾闾，奸宄之包揽，斗面之淋尖，更仆难数。剜肉医疮，萌无如矣。

丁巳秋，周侯甫下车，一意抚循。申问更老，得民所疾苦。家视邑，子视民。明年，揽振废坠^④，苏起困弊^⑤，慨然曰：“南漕国计，谁非民脂？划蠹更始，是诚在我。”反复数百言，以请郡大夫、臬大夫、藩大夫、御史中丞。升斗则准漕官量，征收则裁减冗役。编户担挽，唱筹入廩，出入起运，躬自登查，清籍奇赢，勤眎封职^⑥，先劳

① 声华：声誉。② 惴惴：至诚。③ 休：通煦。④ 揽振废坠：即“揽坠振废”。⑤ 苏起困弊：即“苏困起弊”，⑥ 眎：视的古字。

毕至，晨昃不遑问食。诸凡耗外之耗，贴外之贴，取甲填乙，如前所称诸弊，悉行厘汰。自是，好仁好义，应捷鼓枹。向所娄迫而逋负者，今一朝络绎而至；向所攒眉吞声以输者，今鼓歌彻道而至。即一丝一粒，狐鼠股栗靡敢侵。牟诸当事者，金报曰：“可。”“美哉！”始基之矣，是墨墨编氓之幸也^①。盖条贯昭苏若此，其孚尹旁达也。

已而，缙绅先生、父老子弟，争请寿之石，以垂长利。侯不任德禁，曰：“不。”不已，而相问言于忠爱曰：“崇壤美疴^②，于今剜瘡，大夫实生我也。后来视崇篆者，按以循行，利乐无极，大夫实长生我也。幸先生识之，而备與人之诵。”不佞曰：“唯唯。”

夫寡约不茹，豪猾不吐。清静宁一，为民解月岁之苦，一时之积也。催科更始，公私两便。为吾邑画百千秋之伐，百千祀之积也。一时之积，一时之爱；百千祀之积，百千祀之爱。侯兼之也。此岂不佞既都人士之私言乎？與人歌之矣，其歌曰：“嗟嗟南漕，金壬赂章^③，倚为窟穴。民髓其枯，负痛自禁，愁云惨结。何幸公来，宁我鸡犬，脱我鸛鹰。减赢省余，忍以削浚，夺我藿羹甌羸。从此欣然色起，有如再生。质言文告，檄自上下，芳犹式张。村姬野老，问是何缘？碎肌莫偿。欲请天子，释级跻廉，其如帘堂。唯有稽首，呼天吁日，塞户盆香。易垂余庆，书告阴隲，和气致祥。行其尸祝，庚桑畏垒，山高水长。”我侯德政緬緬，法有特书。

请复义仓序

汪 槩

义仓非古也。义仓之“义”，亦第如五霸之“仁”。自仁义日远，有以“仁义”为名者，则亦为民物立命之事也。长孙平耿寿昌，亦周礼十二政之遗意耳。昔朱子于其乡，值岁俭，请于官，得米以赈，而春秋入其所偿之息。原本义仓也，岂遂若散青苗钱之弊，而当世訕

① 编氓：指普通人民。 ② 美疴：典出《左传·襄公二十三年》，意为姑息。 ③ 金壬：奸人，小人。

之。南轩规之，何也？毋亦少图于偿息之不利于官，而一时间有感于青苗钱之激论耶？

崇阳义仓倡自官，而其法一令民间之自为。十一乡俱建有仓廩，而其酌乡之户口定谷数之多寡，则非安石以县不以乡之故矣。其掌之者，里举物望之老。岁终交接，公私籍稽。人人有声名之惜，行检之羞，又非安石以吏胥而不以乡老之故矣。若其间稍有不均不周，以意为高下者，乡私攻之，邑合攻之，而惩其罚于公，要其秉于公者直借焉而已，皆原本于朱子义仓之遗也。使义仓而公家得与焉，则名色滋生，不惟不可持久，而民反有受其累者矣。如以公今之预备仓可鉴也，岁屡给贫困，而十一乡饥馁之民曷及？其报于册者，非不监门图之勿啻而领于官者，则有操瓢者非操瓢之人，嗟来者非嗟来之人。将饥者仍饥，而饱者益饱。窃恐桑孔之算无遗者，亦所不屑而耻心荡然者而为之，则义仓之断不宜于官也，明甚。呜呼！古士食飨，不得称贫生。里巷诟谇，恶声及养济院，则攘臂益力，奈何举莫可问也？

闻昔义仓立时，慕义者种种：有延塾师课民间弟子者，有旅馆以待过客者，有鬻质醵债还司马之钗、焚冯欢之券者^①，故残忍刻薄之习不闻。而邑号风俗，彼耗磨五贼^②。缺口镊子之事无所容其技^③，所赖于义仓者，不綦重哉！今岁屡丰，而民反菜色。如稍不稔，饿殍游离，则处之不可不预也。昔《春秋》桓公四年书“有年”，宣公十有六年书“大有”。一谓桓四年、宣十六年外，余皆旱灾凶荒之岁也，故《胡传》直笔为“灾异”。自今观之，崇之象，不大类是乎！

诚使义仓复，屡丰之陈朽可分，水旱之腾贵可减，不可谓非救荒之遗意耳。苟鉴预备中饱之蠹，俾穷民均沾遍济，一令民间自为与？行，殆亦所谓观于乡而知王道之易易也。

① 欢：一般写作“醵”，音同。冯醵：为战国齐孟尝君焚券市义，建狡兔三窟之策者。② 五贼：五种危害庄稼和人民生活的东西。③ 缺口镊子：不能拔毛，喻一毛不拔的吝啬鬼。

熊中丞疏稿序

汪 桂

忠诤之名，非臣子所乐居也。臣子而有忠诤之名，则天下事先有不忍言者矣。不忍言而不敢不言，故其言之幽愤凛烈，使读之者不寒而栗、无雷而震，则有如我嶰翁熊先生之疏击魏贼也。

先生二载言路，诸所条上封事，大要平心缓烦，指陈利害，不必曰“如何而可为痛哭”、“如何而为长太息”，令余读之，而自欲为之痛哭、自欲为之长太息而不禁也。何也？彼其沥血剜心而出之，可以泣鬼而贯虹，故不觉其感人而动物也。夫精诚如此，虽开金石变风雷，何难焉？而不能回宸听之悟、去肘腋之奸，卒以招吾楚清流之祸，并先生亦因以一麾秦甸，岂非其所能者人，其所不能者天乎？

尝记称功颂德、举国如狂之日，先生犹与余握手长安，每相对呜咽，誓不与佞谀共此乾坤。则当三秦赍志之日，将无慕仲连之孤蹈^①，甘鲍焦之引愤^②，抱抑郁而长终，借哀挽于离筑者乎^③？则余之凭吊先生，亦有不忍言者矣。顷余承乏使员，跋履山川，每藉以吊古忠烈节义之遗踪。虽或其人与骨俱已朽，而考其邑里、志其丘墓，辄为泫然以悲，低徊留之。彼千秋碧血犹惨我心脾，而况余与先生生同时，志同义洽，托姻亲。生聆警歎^④，无言足音；死追素紼，常感梦思。则今之读遗草，而梦且悲也，又何能已已！

嗟夫！昔人有云：“廉颇、蔺相如虽千载上死人，懔懔恒如有生气；曹蜍、李志虽见在，恹恹如九泉下人。”余视当时魏贼之私人，青紫蟒玉，直土苴耳^⑤，纵还家黑头，不如死人之久矣。然则先生之所以死而不死者，端在是稿。故于其梓也，洒泣而序之，亦因为慨叹云。

① 仲连：战国齐人鲁仲连。终身不仕，好为人排难解纷。 ② 鲍焦：周隐士，相传不满当时政治，抱木饿死。 ③ 离筑：荆轲刺秦王，好友高渐离击筑送别。 ④ 警歎：咳嗽声。 ⑤ 土苴：粪草，比喻轻贱之物。

李太清忠谏疏稿序

熊开元

邑前辈李先生太清，尝为谏官，斥大珰，忤显皇帝旨得罪还，直声震天下。然既往矣，不可得见，疏亦不传。

事逾五十年，厥仲子宙奇搜得遗草暨一时论救慰劳，书以示余。余读之竟，而叹当时之长治非偶也。高祖制中官，不预政、不御外臣冠服。终洪武之世，中外谧如，尚矣。厥后观军奉使，圣子神孙，渐不无少借，亦时遣时撤，日月载更，人皆仰见。惟提督京营东厂暨特赴刑曹、审录三大政，不审何故，相沿为令行不改。而东厂一差，伺间（郤）〔隙〕以达至尊，尤官府关键所托。自非贤如吕强、马孝亮其人，罕不因缘作奸、媒孽之加也。匪繄庶工，虽心膂股肱，左右君侧且犹虞不免，况夫批鳞蹈尾，言出祸随。谁无性命忧，其身试不测也？万历间，厂阉张鲸怙权播虐，既以台省奏下法司，而仍许其自效。呜呼！难言之矣。先生才入垣，义不忍迷国，斥鲸虎狼，兼采途人入告，请以身执其辜。显皇帝不恡，付先生诏狱。榜掠既备，且有旨朴于廷。杖甫下，云愁风黯，颺所传药纸^①，上负青天。宰辅百职争相顾曰：“人诺诺耳，百其身赎此君谤谥不得耶？”旦夕封事盖数十上，上意未即解，而忠诈之诛列眉矣。不旬日，先生创未平，而鲸已遣使。非一时上下，克和心德，鲸必不去；后之为鲸者，将益繁。承平五十年，始终不渝，可谓王道易易哉。君子谓此一事备三善焉：先生之忠也，同朝之义也，主上之转圜如不及也。希世而一遭者也。然非先生精诚不避榘质，感通不至此。则是刻之成也，先生非特至今存，虽百世不死矣。

国朝

孔氏楚派源流序

孔子六十六世孙孔兴灿

孔氏肇于沂岱，势若垂天之云，弥漫四布。而别宗之瓜绵其族而

① 传：疑“傳”形近误。

棋置于都郡者，又不可屈指而计也。

按《阙里志》，圣祖四十世孙绩，唐末起于鲁，司理吉州，即以官为家。七世而生三贤，曰文仲、武仲、平仲，俱以文章鸣于宋。厥嗣与仁，以司封郎中职于元上都。其后或宦南康，或侨浔阳。今九江诸族，皆其裔也。五十八代孙公通，卒于浔。其子彦真偕弟彦礼，奉其母孙氏，越豫章而楚游胥宇^①，至蒲之中心坪包官岭居焉。嗣是，彦真生承福，承福生弘贤、弘武，世安于蒲。然以先圣人后世业儒，孙正裔补博士弟子员。

先是，隆庆四年，曲阜宗长溪呈查豫章派之人楚者，固已知蒲裔为司封郎中后矣。万历四十八年，圣公尚贤又题请南派，敕令在蒲子姓业儒者，人给衣巾；职耕者，家蠲徭役。其履历恩荣，俱载家庙《记》中。后九江宗长尚志赍圣公胤植文札，给付胤祚、胤勋、胤楷、胤芳等，各遵祖制，入庙奉祀。此明天启六年事也。国朝定鼎，加意右文。循先代荫典，令各州县有司，光昭圣裔。顺治十七年，六十六世孙兴灿、兴铨、兴联等，各执笾豆，祠春秋于大成庙。而且照例优免，倍加作兴。蒲邑孔裔沐朝廷高恩厚泽，固已优于海内，且方兴而未有艾也。而圣祖在天之灵，不更重有慰与？

重建江夏县儒学序

徐 惺

尝闻三代教学之事：其地自国学以至党、庠、里塾，其人自乐正以至族师、里胥，比长其事。自祭、菜、鼓、篋以至饮射、读法、养老、乞言、受成、献馘，其名异而学则一也。汉唐以来，乡举里选之法渐湮，继以科目取士，而郡邑学宫之建置，著于令甲，千百年无有替。一代之高贤硕辅，往往振起其中。盖学校之重于天下，如此。三楚列郡以武昌为省会，而江夏实附郭首邑。城西北凤凰山之麓，冈阜隆起，县学峙其间。殿宇堂庑颓废过半，甚且鞠为茂草。大司马、开

^① 胥宇：相宅，寻找可以居住的地方。

府张公曰：“郡学既修举矣，此邑学而就圯，可乎？”余亟起对曰：“声名文物最盛，莫若南纪江汉之间。而于数郡之中，等而上之，至于首郡。又于数十邑之中，等而上之，至于郡之首邑，则会省之观感，所系至重且远，又非他郡若邑可同日语者。”大司马由武昌郡学以及江夏首邑，盖此意也。由此推之，各郡、各邑以及天下，兴起圣入之道，以成公之志者，实始基之于此。余当载笔以观厥成矣。

全楚文献·序

陈肇昌

昔杞、宋无征，圣人惜焉。文献不綦重哉？吾楚春秋以前，其事不多见，即《楚书》、《杻机》，先贤尝述之，其书不传，或传非其故矣。祖龙而下，辽邈千祀。自正史外，有《耆旧》、《先贤》诸传，暨有《楚纪》、《楚史》、《楚宝》诸书。古今人物，烂然称大备矣。而考献则详，征文则略。夫古人单言剩句，苟其关于治忽^①、当于理道，皆可揭日月而寿江河。令其散佚无纪，与冷风荒烟同归于尽，岂不悲哉？楚国山川雄灏，人多光明磊落之概，尚气节而耻唯阿。纲常名义，断然各行其是，即至触忌忤时，有不惜。而其为文，亦如其人，落落成一家言。当其意匠独造，非特不苟同于世而已，即楚人求与楚人同，弗屑就也。故往往不骤为世所称许，而不能使其书之不传。自古迄今，习性若一矣。以献论之，循蜚以下，祝融、云阳、烈山，皆起于南服。自风后、重黎，下逮尹吉仲山甫，浸寻而春秋、战国、秦、汉、魏、晋、隋、唐、宋、明。其间，攀鳞翼、蹑风云，声施史册，代有名人。即不幸而遭桎机^②，放废幽忧，攀槛，抗声啮齿靖节，如屈平、唐介、李庭芝、张镠、杨涟诸君子，可不为烈烈者乎？孔孟既没，道统中绝千有余年。

濂溪出，而火薪复续。伊、洛、关、闽，皆奉祧焉，学者推为再生仲尼。自是，真儒踵出。虽统系少分，纯驳不一，要以明理卫道、

① 治忽：治理和忽怠。 ② 桎机：即机陞，困厄。

殊途同归而已。以文言之，著作家谓荆降而楚，即不与中国会盟。然自沙丘肇都，赫然称“神明之胄”。鬻子以匹夫，为王者师。《典》、《坟》、《丘》、《索》之书，独其国人能识之。鸡次之典，铎氏之征，虽牝离^①、劬襄^②、间关^③，负载保守勿失，若《天球》、《河图》。然《左氏》以传辅经，史家宗之。湘累以骚变雅^④，言词赋者祖之。无极泄千圣之秘蕴^⑤，后此理学家即万绪千言莫能轶其环内。天地之大，文又宁有踰是者乎？其它稽史志、采遗闻，哀然以文章命世，大校大家数十，名家数百，虽未敢执鞭，弭与海内相雄长，就楚论楚，亦班班可述者也。第劫火灰飞，九成埋瓮。征献犹易，征文实难。昔之作者详此而略彼，或亦其势为之也。

昌也寡昧而滥竽，所至往与文士相周旋。前在岭南，既已搜刻彼都文献，念楚为桑梓之邦，尤不可任其放失无征。不揣绵力，博采旁諏。上自邃古，爰暨我朝。名卿硕彦，潜德隐流，莫不详其素履，掇其英华。人以代叙，集各单行，题曰《全楚文献》。录考政事，述人民，记土地，志也。国有令宪，当事者所务详也，不敢滥也。别善恶，示褒讥，备法戒，史也。圣天子正赏罚于上，馆阁诸公载笔所宜慎，不敢僭也。编次甲乙，采萃遗书，核品严文，落华取实，在楚言楚，此天下所共谅而有志者所务明也。于以备辘轳而献当宁^⑥，且以俟博雅之君子。其于张楚，或不无微裨云。

楚储末议序

毛际可

皇上建极之二十四年，例擢藩、臬、大夫之声绩茂著者内陟卿贰。而纶霞田先生视漕政甫五月，膺特简得与是选，此国家数十年来百尔臣工所未遘之异数也。

余偶游三楚，时先生已谢篆事，因得晨夕过从。以《楚储末议》

① 牝离：离散。② 劬襄：动乱不宁。③ 间关：曲折。④ 湘累：指屈原。⑤ 无极：宋明理学称理或太极。⑥ 于：疑“余”同音误。

见示，余三复而叹曰：“天下莫重于粮储，而利之所在，百弊滋焉。自郡邑之长以至收掌之佐贰、出入之吏胥与夫里豪市蠹，无不盘踞蚕食其中。而居监司之任者，又视以为膏腴藪焉。大约兵食其一，而民已耗其五。监司享其利之什三，而郡邑佐贰以下已分其利之什七。民力竭矣。况自滇逆拘乱，湖北独扼其冲。攻守数年，运刍飞挽。俾蠢尔称干，不敢越彝陵一步地，则楚省固为朝廷之首庸。而闾里之颠连困苦于军需而无告者，尤当事所当悯恤矣。然其间稍有一二自好，踌躇瞻顾，则又诿于成例之牢不可破，是犹当怀山襄陵之后，不加疏浚，而为之助流扬波，岂有心者所敢出哉？先生莅任，即饮冰自矢，日进属员而申饬之，凡较斛、样米、截贴、通关诸费，无不痛加裁汰。以身为倡，而下亦闻风惕励，共砥廉隅。追呼不扰，鞭扑弗施。父老扶杖感泣，谓自我公以前所未尝有。又鄖阳势处上流，苦于兵多米少；黄州居下江数百里之遥，溯流牵挽，又苦于兵少而米多。先生量其地之远近，移缓就急，无不称便。其时封疆重臣若制府徐公、中丞石公，振纲饬纪，洞悉民艰。凡有陈告，往往朝请而夕下焉。而总漕徐公，以厘剔为己任。方先生之拜命出都，以公事晋谒，首询及楚漕利弊。先生毅然曰：‘楚漕兴革，自当不遗余力。所难者，天下漕政历来之利弊耳。’徐公避席延问，先生夜归，草数条以进，徐公悉踊跃举行之。嗟夫，属吏之于上官不敢一忤其颜色，能以职掌自明者，已为难矣；若先生之直谅敢言，与徐公之虚怀善下，诚可谓千载而一时者也。今徐公立三法、厘三害、筹三便诸疏，理漕已有成绩，而先生方入对阙廷，行且以天下漕政昌言之。东南之民，庶其有瘳乎？先生向视学南省，所拔悉知名士，文告条约剴切详明，人谓先生才名素冠海内。职于文，固所优为。今复以此编问世，读之者无不心开目明，非刘晏、裴耀卿所能及。而世犹以为经术无当于世务者，幸藉先生一雪此言耳。”

送大中丞石公巡抚云南序

毛际可

大中丞石公抚楚之二年，荣膺特简，移节滇阳。春王之吉，将解

维南指，新定毛际可久庇宇下，知公最稔，敢拜手而献以言：

盖公之由浙藩而开府三楚也^①，攀辕卧辙者，联接衢路，公按轡几不得行。已去，而讴思之，鸠工勒石属际可为文以记。大率谓公自弱龄筮仕以来，宦游所至，遗爱在人。故当浙藩之命下，浙民企踵而望曰：“是固向者视嵯于浙，大有造于吾民。”而惟恐来之或后者也。楚抚之命下，楚民亦企踵而望曰：“是固向者分守于楚，大有造于吾民。”而惟恐来之或后者也。暨二载，政成，咸以际可之言为信有征。今者奉命抚滇，复相聚而疑曰：“天子以我公与楚，而骤夺之以予滇。且滇地僻远，苗蛮杂处，乃劳元臣以叱驭，何也？”际可窃以为不然。惟昔叛逆拘变，三楚独当其冲，刍糗输挽，络绎旁午，闾里之疲困已极，特命公以休息之。公始至，即杜杂徭，苏邮驿，恤商贾。辑豪右之奸，严贪黷之禁。朝廷复蠲两年租税之半，公奉宣德意，而并减其正额之耗赠焉。楚民悉出汤火登衽席。而滇阳，越在万里外，向为元凶之窟宅，其荼毒逾惨，且逆风所煽，久不知尊卑上下之义，非得如公者，养之若父母，诲之若师保，何能无南顾虑哉？盖庙堂之建置区画，如善诊视者，自本以及标，移缓以就急，固非寻常耳目所能测也。独是公于楚浙之间循环往复，若造物假以夙缘者。异日天子念浙闽兵燹以后，疮痍尚未全起，特晋大司马兼御史大夫以统辖焉，则吾浙之食德，宁有艾哉？

碑 [记]

唐

韩仲卿去思碑记^②

李 白

[仲尼，大圣也，宰中都，而四方取则；子贱，大贤也，宰单

① 浙：水名，即浙江。 ② 韩仲卿：韩愈父。《李太白全集》标题为《武昌宰韩君去思颂碑并序》

父，人到于今而思之。乃知德之休明，不在位之高下。其或继之者，得非韩君乎？〕^① 君名仲卿，南阳人也。〔昔延陵知晋国之政必分于韩，猷子虽不能遏屠岸之诛，存孤嗣赵，太史公称天下阴德也。其贤才罗生，列侯十世，不亦宜哉！七代祖茂，后魏尚书令安定王。五代祖钧，金部尚书。曾祖峻，银青光禄大夫、雅州刺史。祖泰，曹州司马。考睿素，朝散大夫、桂州都督府长史。分茅、纳言、剖符、佐郡，奕叶明德，休有烈光。君乃长史之元子也。妣有吴钱氏，及长史即世，夫人早孀，弘圣善之规，成名四子，文伯、孟轲二母之俦与？少卿当涂县丞，感慨重〔诸〕〔诺〕，死节于义。云卿文章冠世，拜监察御史，朝廷呼为“子房”。绅卿尉高邮，才名振耀，幼负美誉。

君〕自潞州铜鞮〔尉〕，调补武昌令。未下车，人惧之；既下车，人悦之。惠如春风，三月大化。奸吏束手，豪宗侧目有纆玉者。三江之巨横白额且去，清琴高张。兼操刀永兴，二邑同化。时凿齿磨牙而两京、宋城易子而炊骨，吴楚转输，苍生熬然，而此邦晏如，襁负云集。居未二载，户口三倍其初。铜铁、曾青不择地而出^②，大冶鼓铸，如天降神。既烹且炼，数盈万亿，公私甚赖之^③。官绝请托之求，吏无丝毫之犯。〔本道采访大使皇甫公侁闻而贤之，擢佐辎轩，多所弘益。尚书右丞崔公禹，称之于朝。相国崔公涣，特奏授鄱阳令，兼摄数县。所谓投刃而皆虚，为其政而则理成。〕去若始至，人多怀恩。新宰王公名庭璘，严然大华^④，涣然洪河^⑤。含章可贞，干蛊有立，接武比德，弦歌连声。服美前政，闻诸耆老，与邑中贤者胡思泰一十五人及诸寮吏，式歌且舞，愿扬韩公之遗美。白采谣刻石而作颂曰：“峨峨楚山，浩浩汉水。黄金之车，大吴天子。武昌鼎据，实为帝里。时艰世讹，薄俗如毁。韩君作宰，抚兹遗人。滂汪王泽，

① 此原文缺部分，据《李太白全集》补。 ② 曾青：矿物名，可为颜料和冶金原料。 不：“未”，义同。 ③ 甚：作“其”。 ④ 严：作“岩”。 大：“太”古字。 ⑤ 涣：作“浼”。

犹鸿得春。和风潜畅，惠化如神。刻石万古，永思清尘。”

明

楚昭王碑文 在灵泉山

楚王季垵撰

季垵无似^①，永惟王祖、王考至德，令行昭园。庄园未有树碑，昕夕靡宁^②。敬述梗概，上闻于朝，冀于文儒为著刻辞以贻来世。仰荷玉旨，谓国家先代陵碑皆后圣亲述，用克详也。爰命季垵，自述其辞。臣季垵俯伏膺命，不敢以不文不勉，谨序昭园之碑曰：

王祖讳楨，姓朱氏，大明太祖、圣神文武钦明启运俊德成功统天大孝高皇帝、孝慈昭献至仁文德承天顺圣高皇后第六子，生母昭敬太充妃胡氏。王祖生于甲辰年三月三日，英姿谨质，聪慧出伦，天性端重，幼而好学，皇曾祖、皇曾祖妣咸所钟爱。洪武三年四月七日，受金册、金宝封为楚王。

十四年四月廿二日之国——湖广之武昌。既至，惓惓奉祖训，率礼度。留心典籍，靡他嗜好。书十事座侧，旦夕自警。恭慎俭约，恒存省己。直言谏论，听纳如流。鉴前古藩王之失，府中官属，皆出廷授，未尝外通宾客。爱恤国人，恒恐伤之。地产之利，卒推畀民，不受贡献。岁歉，尝减禄米之半以纾民。军校遵奉戒约，毋敢侵越。国中怀德，如戴父母。太祖高皇帝皆称曰“贤王”。名马及海外贡珍之赐，殆无虚月。时宗室诸藩（洲）〔州〕地商税多已停止，楚国仍旧，盖加宠云。仁宗昭皇帝在春宫，敬爱之厚。每湖广三司官辞，必戒以善事贤叔。洪武中，屡奉命率师征铜鼓及安福古州叛蛮。宏谟睿略，所至成功。岁时入觐，褒赉加厚。及其从臣，并荷荣赐。太宗常谕之曰：“楚国之安，由王之贤。岂资辅导？若庇汝等获久于禄，亦由王贤。而汝等幸遇也。”

王祖性至孝，自幼侍父母。遇有疾，恒色忧。居丧，哀毁踰礼。

① 无似：不肖。 ② 昕夕：朝暮，谓终日。

忠事朝廷，夙夜惟敬。治家严整，训励王考兄弟及季琬等，必务于学。尝作《家训》以贻之。

王祖文史之余，兼精武事。不惑于邪，全州妖人进所撰经忏，言梦中无量寿佛所授。虑其乱众，械送京师斩之。国中文武之臣，贤者礼之终身，虽死犹恤其家。长史管时敏有辅翼功，其病也，两命驾视之。既没，哀之恻，命王考视其葬。

永乐廿二年二月甲子，不豫^①。丁卯，起沐浴更衣，召王考兄弟谕曰：“高皇帝得天下良难，吾保楚国亦不易。吾享国五十余年，无毫发玷。若等必遵祖训，忠朝廷，务保守之道。苟违吾言，吾死有灵，必不尔佑。”又曰：“国必有君，家必有长，而后齐一。吾没后，庶事必咨稟世子，而行勿违。”

戊辰，薨。语不及他事。春秋六十有一。讣闻，上震悼。辍朝三日，遣丰城侯季贤赐祭，谥“昭”。命有司治丧，宗王及朝之公卿大臣皆致祭。祖妣王氏，定远侯王弼之女。洪武十二年正月四日册为楚王妃，三十年十一月五日薨。今从王祖，合葬江夏县灵泉山之原。

子男十：长王考讳孟烷，封楚王。薨，谥庄。次巴陵悼简王孟煜，次永安懿简王孟炯，次寿昌安禧王孟焯，次崇阳王孟炜，次通山王孟爚，次通城王孟灿，次景陵王孟炤，次岳阳悼惠王孟燿，次江夏王孟炬。女九：长华容郡主，嫁仪宾马注。次沅江郡主，次临湘郡主，皆先卒。次清湘郡主，嫁仪宾耿琇。次云梦郡主，亦先卒。次安乡郡主，嫁仪宾魏宁。次澧阳郡主，嫁仪宾张鉴。次兴宁郡主，嫁仪宾葛隆。次祁阳郡主，嫁仪宾李澄。孙男二十五：长季琬，今嗣封楚王。次黔阳王季埶。东安王季堞。季堞未封。嗣永安王季塾。嗣岳阳王季境。余镇国将军。女十九：长新化郡主，嫁仪宾刘猷。次先卒。次湘乡郡主，嫁仪宾王谦。余县主。曾孙男十六，女八。

敬陈诗曰：高皇奉天，大正四海^②。爰初赐履，秉德执诚。以绥

① 不豫：作具体不适。 ② 海：疑“境”误。

以理，温温靖恭，翼翼小心。维孝颙颙，维忠湛湛。临下维和，莅祀维钦。允武且文，如王如金。奕奕楚邦，实奠南纪。时叙物丰，风厚俗美。帝喜其贤，民被其祉。五十余年，毖终犹始。灵泉之山，瑶琨在园。大君有命，小子无文。呜呼王祖，陟降在天。锡监垂祚，裕我后昆。正统十二年三月日^①，孙楚王奉勅立石。

楚庄王碑文

楚王季垸撰

呜呼！古之人论撰其先世德善勋业，铭诸鼎彝以庇其身、以重其家国。予小子，何足以知之？窃惟王考庄王，嗣承国祀，延及我后人。懿德硕行，宜有纪述，重以皇王恩命不敢违，谨拜手稽首，序其实，勒石神道。

王考讳孟烷，太祖高皇帝之孙，楚昭王之嫡子。母妃王氏。王考生而英伟，甫六岁就外傅所读书，即会大意。成童习武，事射命中。洪武丙子秋九月，冠于京。又明年夏五月，受册宝封为楚世子。甲辰冬十一月，袭封楚王。

王考天性孝友，事王祖考、王祖妣容色婉顺，得其欢心。待诸弟极爱厚，出入相携，讲学食饭，未尝异席，终身不衰。居王祖考、王祖妣丧，守礼终制，遵奉祖训及朝廷法度，惟恐不至。遇庆贺及贡献，必敬必诚。奉神明斋，明严肃以求感格。待官属崇信贤良，才识弗称，亦矜恕之。凡经事王祖考者，必思保全。护卫军校，节其力役。饥寒者，恒出布粟赈之。尝念国家备边御侮将士勤劳，而王府军校多安闲，又以二护卫归朝廷。府中旧于西安牧马，尝闻边军缺马，请命总兵者，任其选用。宣德甲寅，武昌民饥，为糜粥济之，多所全活。近城多有虎伤人畜，王考出捕，悉射杀之，民免于害。每朝京师，所赐衣服、名马、锦币、宝钞诸物，不可胜计。

正统四年秋八月癸未，王考有疾，一切礼仪，请命季垸代行。疾

^① 正统：明英宗年号，公元1436—1449年。

亟，付以国事。谕今谨守王祖成宪，分毫无改。壬寅，悉屏宫人。起，更衣冠，端坐而逝，春秋五十有八。

讣闻，上哀悼，辍视朝三日，遣成安侯郭晟谕祭。谥曰“庄”，敕有司营葬如制。是年冬十二月庚寅，葬灵泉山之原。

王妣邓氏，宁河武顺王愈之孙。子四人：长季琬，初封武陵王，今嗣封楚王。次黔阳王季埭。次东安王季堞。次季堦，未封。女三人：长新化郡主，嫁仪宾刘猷。次早卒。次湘乡郡主，嫁仪宾王谦。

呜呼！惟我王考，聪明仁厚，乐善循礼，谨守宪度，以保家国，始终无过举。尤勤问学，经史子集，咸究其要。有诗文集。善大字，有楷书《黄庭经》传于世。宣庙尝称之曰：“宗室中至亲至贤者也。”宜臻高年，为我子孙式。遽见遐弃，呜呼痛哉！永惟先德，不能已于言。

谨拜手稽首而献诗曰：“懿我楚国，王祖肇封。爰及王考，帝训是崇。仰惟帝训，子孙矩度。保国安民，式由皇祖。启之承之，念兹在兹。宜我家国，世济光熙。江汉朝宗，藩翰攸峙。天监厥衷，用锡我类。闵予小子，嗣守家邦。允怀继述，夙夜靡遑。峨峨昭园，庄园在侧。穹碑有辞，用示无极。” 正统十二年三月奉敕立石。

重创蒲圻县治碑略

黎 淳

武昌称蒲圻为巨县^①，地富嘉山水，有古人风。比岁绍位匪人：老生以年授者，毫荒不屑务；俗吏以干迁者，纵情不顾法。胥徒益横，县遂疮痍。

圣天子哀元元之久困，特重其选。成化辛卯春，定远葛侯凤仪知蒲圻。初下车，稽赋役，苦如荼；阅簿书，弊如髮；召诘其官属，皆萎荂如醉^②。庭积器讼，野多逋逃。侯嗟咨良久。于是，大新其典，威令风行，惠利川流。未及再朞，庶富可教。

① 武昌：指郡。 ② 萎荂：疲倦。

爰睹政事堂朽坠弗称，乃协谋僚佐，鸠工简材，以癸巳正月丙午重建厅事五楹。后为退寝，中作穿堂，前树仪门，其楹各依厅事之数而崇灭三之一，深广随。仪门之内，庀六房。房之后，舍群吏。辟门疏牖，飭以丹碧^①，琢石陶瓦，缭以垣墉。鼓钟二楼，卓立左右。巍然秩然，雄视楚邦。民罔苦劳，政无遗憾。经绘器局，超迈前人远矣。

遂序次其事，勒诸贞珉，系以诗曰：帝式九围，天眷懋加。洽于大顺，万姓一家。侃侃葛侯，来蒲正位。匪心之欺，惟天是畏。昔吏纷纷，今吏恂恂。侯能馭之，革醜为仁^②。昔民聒聒^③，今民绰绰。侯能抚之，变忧为乐。昔阅仓库，粟帛空空。侯来几时？仓积库充。新作蒲堂，聳民观听。爰及百司，毕完以盛。侯坐学宫，冠冕峨峨。绌经绎史，鹿鸣雅歌。侯燕其僚，伐鼓考考。亦有醪羞，燕及鰥老。四野辟除，侯出劳农。春雨蚕眠，秋雨稻丰。众人爱侯，赏其才捷。太史曰：“非，循吏以德。”侯克循良，惟德动天。跻于津要，天子万年。成化九年立石^④。

重修庙学碑颂

魏 裳

天子以孔子之道师天下，使郡邑立学。世所称贤公卿大夫，何尝不遵孔子之业也？传言：郡邑长吏崇化，以厉贤才治行著，若于庠序之事未皇，亦浅之乎其治矣。汉殷褒修起学宫，布文明之化。晋范宁兴学劝士，后世多其作人。当时少府用度，躬自省约，崇儒抑俗，洁己先之，非诵法孔子然耶？

刘大夫为咸邑，下车存问邑中耆老，咨民瘼，加意拊循。逾年治成，文教兴。即汉晋二子亡让已。一日进学，弟子曰：“国家功令，多士习之。吾所职者，岂直校文艺、给糈养哉？孔子之庙不饰，谓有

① 飭：“饰”的通假字。② 醜：作通暴、猛兽。③ 聒聒：疑“聒聒”误，多言或喘息貌。④ 成化：明宪宗年号，公元1465—1487年。

司何？”乃命工程，材新栋宇。修泮池及学宫，弟子舍皆治。始壬申冬至今夏，卓有成功。文学毕君则使赵生鹤属余言。

窃以褒宁有声汉晋间，其所用者，大也。乃所臻治理之效，则自作人致之。予观大夫治行，岂不庶几古昔哉？载稽往牒，咸自宋庆历始为学人才盛。冯京、陈求道，皆当世所谓贤人，亡论成名、高第也。京入政府，危言抗节，忤安石、惠卿。求道不屈邦昌，至拒刘忠以死，精忠伟烈，天下至今高之。岂非学之效乎？大夫泮宫作，士子衣冠俎豆其中，由圣人之道以垂令名不朽，大夫名由是益贤已。

乃为颂曰：今上御宇，文治中兴。鲁侯穆穆，明命祇承。鞠躬履方，既令仪德。居今行古，棣棣其则。惟民康乂，多士作孚。昭暗革浊，人易其趋^①。豫章、荥阳，名非虚立。佐王宠灵，君师无敎。岂弟君子，邦国之光，勒言于石，泮水之章。

兴国城碑文

吴国伦

初杨侯城兴国成^②，父老欲碑之^③。侯不可，曰：“予虞其有复瑕，瑕不足恃也。其俟之三年乎？”逾岁淫雨，啮而瑕者数处，更筑之。

盖三年，城不复瑕。父老曰：“可碑矣！”侯又不可，曰：“城非从地出，予实罢民力兴事^④，而复攘以自劳^⑤，人其谓之何？”父老以告吴子。吴子曰：“侯意深哉！夫《春秋》成城必书，重民力也。昔华元巡功，子罕行筑，皆以诬者之口增畏，可知古人大役必不得已而后兴，即防民之口犹防川。难矣，岂其易居成功乎？侯过自谦让，有以也。”父老识之。

又逾岁，侯迁襄阳丞去。父老环城而嗟曰：“微侯，其孰遗我以安？可碑矣！”乃砉石以请于吴子。吴子曰：“今乃知父老之不忘侯，

① 趋：“趋”的异体字。 ② 城：作谓语，筑城。 ③ 碑：作谓语，立碑。 ④ 罢：“疲”的通假字。 ⑤ 劳：作为功劳。

非有为也。”因纪其事而勒之。

按兴国居鄂下雉间，故永兴县地。历宋、元，或为军，或为路。明兴，始署为府，寻改州。州故有城，委土为之。城西一面墉山，其三面皆堑湖。久之，尽圯，而仅址存。属承平百余年，民间外户不闭。小有野警，一虞侯之力能制之，故有司不恃城，居人亦晏然无所告急。至嘉靖中，邻境盗渐起。间一窃发，则阴结里人为乡道^①，然犹惮捕不敢近城。久之，乡道皆盗，且引邻境盗深入，为父老忧。有司始戒严，议城守，请给县官缗钱缮治之^②。既得请，乃复料民而役、计亩而材。民自为城，而县官缗钱莫知所出入矣。未一二年，城又尽圯。颇为黠盗所窥，遂有乘墉而入，斩关而出者。有司案息莫敢问^③，且亟下令：“勿告变！告变者，杖杀之。”嗟乎，兹毒于藉寇兵甚哉。

隆庆中，唐侯汝礼来，请括邻邑之田庐我境内者籍为里氓。因得而租庸之、衣冠之，使无负险，而潜夺其远心，且用以备他盗。盖自籍里以来，而又继以杨侯善弹压四境，庶几其安堵矣。乃杨侯视城之圯也，则愤然不胜其忧。曰：“古者司空不视涂，犹以为非国，而况国无城郭乎？夫盗贼何常之有？今恃一日羁縻，而忘久远计，非是。”因与父老约，曰：“亡羊而不补牢，可谓智乎？厝火而卧积薪，可谓安乎？今父老皆有阖庐以辟燥湿，而郡不城，犹野处而露寝，难且复作，将奈何？”诸父老无不欣然愿受命。侯乃率其丞史，物土方，度丈数。揣高卑厚薄，而差算其徒庸、财粮，奏记两台。使两台使如其议以请于朝，报“可”。于是，得留贡金三千有奇为城资。侯乃聚诸父老之稍有家者，授以心计，分董其役。掘旧址入地深五尺，实以巨石基之。基以上，则琢石鳞次而甃之。石以上，则陶填而陴堞

① 乡道：即“向导”。② 给县官缗钱：使县官给缗钱。谓语“给”带双宾语，与宾语“县官”构成使动关系。③ 案息：屏气。案：“累”的古字。

之。外削而内陲，丰下而锐上。周遭可六百余丈，高二仞，厚半之。为门五，而楼橹其上。东曰下雉，西永兴，小西曰阳新，南曰镇山，北曰高陵。盖从其道所邮适也。为水门三，为警舍三十。始事在万历戊寅之初夏，而即以其秋告成，望者莫不称神速。城既成，侯乃议所与守。于是设门候，严更柝，以健卒布守诸警舍，而犹侦以游徼，提以逻骑。以故，居人无不帖席卧者。予闻之：“民所曹好，鲜其不济也。民所曹恶，鲜其不废也。”故曰“众心成城”。是役也，侯不得已与众图之，而因与众守之。藉令当外户不闭时，父老且晏然难与虑始，侯亦且避选事名而无因以动众，城岂真从地出哉？夫事以时举，功以会成。今侯去郡且一年，而城已五年岿然为江汉巨观。外足以销邪心，内足以壮士气。父老不能一日不恃城，宜不能一日忘侯矣。予庶几无愧辞哉？

侯吴郡人，名士元，字仁甫，起家进士。在郡故多善政，不书，特书其成城者如此。

其为诸父老先而碑侯者，予从兄国典也。

铭曰：九州群牧，星错禹疆。为墉为垣，具曰金汤。肆予永兴，丽彼职方。内包山泽，外堑长江。承平滋久，城复于隍。奸宄窃发，比屋踉跄。杨侯至止，维民所恃。牧职既修，民艰斯庀。爰省颓雉，殷忧如毁。乃询耄耆，乃谋卿士。鸠工虑材，卫我赤子。岂不闵劳，久安伊始。百工斯陈，百堵载新。坚壁文堞，突尔嶙峋。自夏徂秋，厥功何神？涂歌巷颂，我侯何仁？侯也不有，退让逡巡。去而见思，始被贞珉。

宝陀碑文

吴廷举

银青光禄大夫、陇西郡公李纲，自通城如崇阳，中路宿岩头寺，为目之曰^①：“宝陀岩男，宗之从行。建炎戊申六月十九日也^②。”宝

① 目之：给它题字。 ② 建炎：宋高宗年号，公元1127—1130年。

祐癸丑秋孟^①，陈仲微题碑“总阁山僧”，已不能考碑文。又于总干胡公鼎话次得之，盖丁未贬鄂州，戊申往来崇、通所染。碑石遂为山僧鬻于蒲川，为《喜雨记》；既，又易为《庆元县学记》：而碑阴无恙。

得所闻，亟遣客朱生谒邑大夫摹刻之。一置县厅，一置岩所。七十年流落它邑，一旦归之故山。何前者之漫不省耶？因思一时君子、小人进退，若有关于天而人不与者。汪、黄在建炎欲罢张传而废宗泽，则先去纲。此机之失，人也。奸桧相绍兴^②，欲罢诸将并诛岳飞，则先贬浚，此机再失亦人也。独丁未武昌之命，则首异议者出于浚。宋高帝仁明神武，未之信也。再疏而后窜，亦浚所发。一浚也，而建、绍如二人焉。人乎？天乎？使浚移奸邪反复之疏，以窜卖国之臣，则两河复在旦夕，何待异日江上之役哉！盖三山以后识趣，非复殿中执法时，而机会往矣。则于潜善、伯彦辈何责？又何以诘奸桧之议已哉？其视大声疾呼于七年之前，决策从容于受围之际，定经制招抚于七十五日间者，始终一节，何如？

仆庚戌趋府，尝拜岳侯鹵簿祠下。兹又得宝陀真迹，敬祠祀于山间，俾岁以是日奉寒泉之荐，并述二公本末云。正德庚辰仲冬^③，太中丞东湖吴公廷举命崇阳知县乐平程贤翻镌。

王侯去思碑记

胡 定

公讳学曾，字唯吾，别号“省轩”。广东之南海人。举万历丁丑进士，试醴陵令。朞月，报政。天子用巡察使言，徙知吾邑。

公为政务正身帅下，蠲耳目之娱好，自菲恶以先百姓，有伯起介然不淄之节。察闾阎患苦，罢遣隶厮。犬不夜吠，岑熙、刘宠不能过也。耻言深文，不骛倣诡缘饰以阳贾声誉。而令举必时，法必丽，犁

① 宝祐：宋理宗年号，公元1253—1258年。 ② 绍兴：宋高宗年号，公元1131—1162年。 ③ 正德：明武宗年号，公元1506—1521年。

然引绳尺裁成之。其忠信以断，似季路。致法而不忍人，又似子羔。疾俗侈福设章服，与民要约，禁无得淫靡事老释徼诬。民戢不敢犯令。

又以为民不知法而冒抵文，乃科条章律，为书悬布，令可家喻而户说之。吾邑人所奉以矜法寡罪，不至触罟堕井、陨身破户者，岂少数哉？其为起教于微渺而禁恶于未萌，良徙薪之智、清浊之源也。晚近治狱吏率钩礲深次骨，沾沾自喜，上者能悯之，即称贤耳。公之言曰：“与其哀矜于得情之后，孰与求生于未犯之先。”德念深矣！

余览其书，未尝不俛首叹焉^①。其指在道德齐礼，几民无讼为贵，而后裁之政刑者也。诸所罢行，如平赋均徭、兴起黉序、勤课耕桑及他画令，俱侯所著治、崇规、要中，更仆未易数也。总之，其指不离是。邑新城亡何雨坏几画^②，而公私空拙，不能举役。公至，则白请蠲诸里废局，与民易价为再筑，而躬亲规画、省劝不辍，城遂以完。百雉言言，民用是赖斯廩廩，千百世之伐矣。其尤异章大者，邑尝不戒于火，公亟向拜祷，风为之反。事大类汉江陵，即桓公言长者侯不自为功，要所感动，先后如一辙，诘偶然也。

侯以久任留邑六年，前后台使累章荐其贤。岁大计吏，以异等征入。且发，邑长老子弟相与奔走扶携，遮道攀留之。不得，至脱侯靴去。

既去，愈益思之，不能已已。乃相率谒定，言曰：“吾欲如崔瑗、荀勗立石以诵侯德，愿公识之。”余瞿然辞避，曰：“幸长老言之！顾余言何能颺公美以慰公等？且吾故知侯，侯有庚桑楚之意，何如？”长老曰：“虽然，吾君则诚庚桑楚也，吾将为畏垒之人乎？且吾闻庄周多寓言，其说不雅驯，不有“国风”、“鲁史”、“甘棠”、“田畴”之歌乎？幸公为我歌之无让，第无令我公知也。”余曰：“唯唯，请为父老歌，附之野史焉。”歌曰：皇帝临照，视我劳人，谁宁

① 俛：“俯”异体字。② 画：疑“尽”形近误。

汝好？帝之天覆，简序南邦，而公来造。君侯来思，其道光明，素丝委蛇。其政恢恢，汜濩育之，又纲维之。人曰邑艰，乃公易治，奏刀砉然。人曰邑顽，而公子之，弗格匪奸。人剧我邑，公治以简，鸣琴衍衍。既衍崇墉，其德翔畅，偃然风从。皇帝念功，遂征中牟，尊德殚忠。耕夫辍耒，妇叹于室，走告儿童。曰我长老，民之父母，始覩自公。公之去矣，邦胥赖矣，畜我不终。我作歌词，甘棠之思，以继国风。千万斯年，式我侯度，永遵于中。

杨侯去思碑记

余玉节

滇南杨侯，治治四年，吏习民安，后先如一日。会报政之期，台使者上其绩，人主嘉之，迁永之别驾以去。报至之日，深山穷谷之民，无不毕聚邑庭，谋伏阙上书，借我杨君一年。侯闻而急止之。予知侯意在趋王命，因从旁谕之曰：“无以为也。请留之说，虽古有之，然寇恂之于（颖）〔颖〕川，耿纯之于东郡，皆因车驾过其地，民因得遮道陈乞。我国家无此往例，纵天子体恤民隐，不难破格以慰尔士民，顾治去京万里，往返非数月不可，赫赫明命，侯其能宿于家乎？”父老垂涕，泣谋所以送侯者。

发程之日，予与诸士大夫先侯輿数十里外。甫出郊而扶老携幼者以数万计，尽班荆伏地。少顷，车盖冉冉从城中出，众齐声呼曰：“我公来矣。”一跃而前，填塞道左。侯于是下车。有牵衣执袂愿侯留信宿者；有焚香祝天为侯祈万福者；有治尊酒为侯河桥饯者；有怀百钱为侯道里费者。是时，哭声震治，侯亦哽咽不能语云。

侯行数日，予亦迁盐官。行抵在即，请假归。归甫息肩，而父老之群集者如前曰：“向者借寇之举，以吾子止之，予等议不能夺也。侯恩德实在人心，谁忍忘之？今将勒之石，以志不朽。非吾子其孰执笔焉？”予承之：“唯唯。”因思治地瘠而民负气，颇称难治。吏楚者谈及治，辄为动色。此非独治之民哉？呜呼！可以观直道矣。

侯讳世华，号光五。滇之鹤庆人。癸丑之夏，奉简书来。

人咸谓侯以名家莅小邑，其举动必异寻常。侯至不然，恂恂自处，不作喜怒，惟下令于国中曰：“今之束发读书、长而服官者，谁实自处卑下，以身名为尝试？又谁实有胸如漆，黑白当前而不辨？无亦有欲之衷，无以自主，民亦得以疑而玩之乎？今与诸士民约，倘予受人一钱以屈吾法，有天日在，欲尔士民知吾心耳。”

数年以来，冰檠之操，久而弥笃。人知侯行顾其言，翕然信之。

两造陈于庭，霁威谛听。戒胥徒不得横槌、叱咤以作威严。虽妇人孺子，使得毕吐所欲言于前，侯随以一语定之。非重囚，未尝陈三木、囊头。间有黠捍弗率者，侯愀然曰：“尔不畏明刑，夫独无良心乎？”无不为之感动者。

每遇征输，先平权量较若画一。里胥衙蠹，不得高下其手。终侯之任，无有逋负。

以为侯忧者，治频年水旱。侯徒步露祷，忧形于色，有古减寿乞霖之风。每与上官言民间疾苦，或流涕满面，咸谓杨令长者。其赈恤丐贷可便宜行者，悉心为之，全活甚众。

月朔登学宫，鸣讲鼓，考诸士之文艺而次第之。选其尤者付之剞劂，以示劝。暇则进诸生扬榷古今，以德业相勉。治人文勃然改观。乙卯之后，歌鹿鸣者凡三人。开国以来未之有，作人之功不可诬也。

事上官，不激不随。治故莅兴国，会刺兴者某子为人暴戾，所过无不残灭。尝以盛气凌侯，并欲鱼肉治民以示武。侯不之较也，执属吏礼愈恭。惟遇提摄无罪人，则以去就争之，屹不为动。久之，其人以墨罢去。向非有侯，则治民之毙于杖下者，不知凡几矣。

每遇乡绅考政问俗，虚己以听。或有干以私者，侯唯唯否否。退则据理以行，纵其言验，人不疑侯以私也。至于庭中之人，吏抱文书，皂隶执蒲鞭，事权毫无所与。有侮文弄法者，无所肆其奸。盖自侯下车以来，以嘿止纷^①，以厚胜残，治之风俗，为之一变云。

① 嘿：“默”的异体字。

抑予因是，而有感于邑令之难也。两汉循良所以耀今古者，彼其时守令以下赏罚兴革咸得行其意，天子端拱以考其成。进无名法之拘，而退无掣肘之虞，故得从容展布若挽。近世名分太严，动多牵制。如邑长吏者，有郡守以辖之，有监司以辖之，又有镇巡以临之，当事者方奉承意旨，调停议论之不暇，何暇以实心行实政乎？其作为吏者，又念非有操切、矫激之事，无以骇观听而笼声誉。彼其视教化迂图，视休戚为秦越。非独世风相习，盖亦势激之使然。

我杨侯天植慈祥，信心而动，不以毁誉介其怀。其为政以德化为先，以躬行为本。未尝矫板榻叶杯之节，而人亮其守；未尝工龴箚察渊之智^①，而人服其明；未尝逞拔薤啼鸡之威，而人遵其法；未尝博三异十奇之声，而民爱戴之如父母。如侯者，不亦难乎？

善乎！陈仲弓之治太丘也，曰：“强者绥之以德，弱者抚之以仁。”仇季香之治蒲亭也，曰：“以为鹰鹯，不如鸾凤。”我朝方克勤之治济宁也，曰：“近名必立威，成功必害人，吾不忍为也。”诵斯三言，可以想侯之为人矣。其它懿行美政，名不尽载。

予不佞，姑据父老之脍炙者，而为之撮其大概如此。万历戊午岁仲夏吉旦立石。

国朝

蒲圻任侯修堤遗爱碑记

余开熙

自古膺司牧之责者，惟奉行天子莫民之至意^②，而实致其勤劳，不以嫌忌稍为推诿，洵足称为忠诚者矣。若夫为惠于法之所不及计而曲为矜全，使幽明人鬼之兼利，虽古之至仁，何以加焉？

嘉鱼、江夏长堤，自宋政和以来^③，五百七十年于兹。始之者唐均、陈景诸君，继之者成宣、姜溥诸君。熊公廷弼所谓“居然江上

① 龴：储钱罐。箚：筒的异体字。 ② 莫：安定。 ③ 政和：宋徽宗年号，公元1111—1118年。

一长城”者，固已人人甘棠志之。逮有明正德己卯，吴清惠公廷举疏请修筑，费江、蒲、咸、嘉四县秋粮折色余银一万两。至万历中，嘉鱼葛侯中选再请增修新旧堤埝，前后发府库六千两，厥功巨矣。其所以令水居之民，室庐如故，桑麻被野，免垫没沉溺之灾者，皆历来诸公之力也。

我邑侯任公于康熙五年奉天子修筑堤防之令，已协修嘉鱼、江夏长堤若干，竣事在案。至康熙六年，又协修二县长堤若干。自是，而巴蜀西来、潇湘南下与岳、澧、辰、常之水自西南来者，可永永无患矣。

暨厥功告成，有嘉鱼周子于岸、李子正葱向予而请曰：“修堤之役，主之者督院张公、中丞刘公与藩司刘公、分守程公、本府孟公，而四邑侯均与有劳焉。独蒲侯任公有为惠于法之所不及计而曲为矜全者。夏田寺堤旧多庐墓，工人意欲平挖，以其径省而功易臻。任侯严禁之，令堤埝绕出其外，虽多劳费不惮也。是其幽明人鬼之兼利，其功德为不浅矣。愿先生一言以识之。”

予于是而重有感焉。曩归自京师，道金陵溯游而上。江湓沙磧之地，固多墓田。每波涛冲啮，往往见其棺之前和。因为之歔歔惋叹曰：“是何必五百年后之王果，方为之收瘞者乎？”今任侯体天子莫民之至意，而因为之，福及于泉壤，后之人宁徒甘棠思之已耶？

其任土筑堤，照依水乡之多寡，各有印册，兹不具述。第为序其仁恩之翔洽者如此。

任侯讳溯昉，号闻城，四川阆中人。由顺治戊戌科进士，授知蒲圻县。

邑侯王公新修北河浮桥碑记

龚 璋

蒲邑之有北渡也，载《水经》。为陆水浚三山，汇下隼，漱城趾

而西^①，跨水为桥以纬乎南北。自京、洛、闽、蜀之道，咸达焉。桥之沿革，具详邑乘中。越少尹泰兴焦君，实经其始。嗣新之者，督学临海蔡公璋。自龆龄时寻白云窪樽之迹，恒栏虹屈，映带远翠。晴天鸥起，雨后鼉曝。又或风动鳞沫，月净沙明，则有吹洞箫于水际，褰丽谯之高霞。时盖傍取凤驿隙地赁租，以佐葺费。物阜材良。固其所已数十年来砻砻议修，俄复就圯。尝窃询故老，具道所以，其积渐然也。当事者近颇委于比年之里甲，里甲编籍率岁一易。桃花春涨，訇涛澎湃，或山水聱訾合^②，水挟其怒势，与桥相礲射，少复完矣。里甲惧其当得输修也，苟可以诿卸者无不至，尚何暇念及利涉。不获已，为补苴计，则醵钱于里，出例金以造于庭，里当若干两。庀材鲜良，工不贵楷，舟漏楫脆^③，俯视危栗。

今十有三年夏，我邑侯王老父台，新膺简命来莅兹土，值赫然用师之际，惊荔落落。侯殚心吏治，多方怀柔，悸者以歌，荡者以集。接士惟谦和，治卒惟严明。雨毕节解，爰下桥梁之令。有以往例告，侯瞿然曰：“予惟视事浅，无能捐俸以赞兹役，而反有所渔耶？且曩者‘囊帛秩终’之谣何如哉？”立却之，告者惭惧而退。露冕稽程，刻期省课，里各具一艘，艘各书其里民姓字。工人竞劝，不屑馨鼓。煌煌济美，绍于旧观。鹳首鳞次，卧栅坚密。天兵攸指，万骑雷动。篙工免掠舟之恐，河涘获安堵之庆。侯之有功于斯人甚大，桥成，众谋贞诸石。侯雅不以侈己功，无所费辞焉。

爰退而笔之书，谨拜手作颂曰：桥斯建漪，唯侯实才。繄卓鲁之初政，早储能于弼谐。桥斯成漪，唯侯实仁。视国侨之遗爱，丕播物于鸿（钩）[钩]。桥斯永漪，唯侯克寿。恍叔卿之骖螭，翔逶迤于天步。鹄允效灵漪，犀亦协瑞。镌碧落于棠阴漪，俾勿替于世世。

① 漱：漱的异体字。 ② 聱：疑“霈”误。訾：愆的异体字。

③ 脆：疑“脆”误。

守宪徐公大冶去思碑记

余国柱

古人臣风采著闻，则天子书其名，以备非常之用。兹守宪徐公，卓异为天下最，名闻当宁^①。晋秩河南观察使，既行有日矣。会大冶土人黄金龙等倡乱，爰以单车往临而靖其变。命蘄黄道士泐诸营止兵勿进，命县令谢鏐简别奸良渠从，斩馘献俘，宥其平人。不夹日之间而大难削平，四民安堵如故。随进诸生，校文艺、讲法令，事已辄旋。夫雨露之垂天表，江河之行地中，泽至渥也。至于苗方稿而澍之，火方炎而沃之，则功尤伟巨矣。今冶人获庆再生，睹天日而长子孙，伊谁之赐？其敢忘公之大德乎？

公讳惺，字子星。江南上元人。顺治己丑进士。历官几三十载，清风亮节，海内仰之久矣。其莅楚也，行李萧然，布衣蔬食，正谊以帅其属。而其属亦莫不惩贪戢暴，以承风肯。孜孜博采利弊，诸如禁羨耗、复官马、行保甲、颁铎书，一切务去其厉民者而举其惠民者。清署待米而炊，乃岁辛亥大歉，则措豆粟数千万石，贍活饥民无算。或值冤系无辜，困穷无告之夫，仁心所存靡异，下车扇喝^②。及夫方药舟梁，咸以清苦俭约余费施济。至若赏功旌善，迄今兹购捕诸逆，彰信明义，雷厉风飞。如以十《左氏》易一有罪，如悬千金徙一市木，虽贷费以为之，勿惜也。遇大政大义建立，屹如山岳。而风度简远，天才迅发。案牍盈前，援笔洒洒，吏从旁受书，顷刻俱毕。时延见父老，问民所疾苦。嘉海子衿，矜全善类，则又恫乎其如伤，藹乎其冬煦而春阳也。盖张弛文武之道，宽猛水火之用，胥尽之矣。拊治一事，特绪余耳，曾足殫其包蕴哉？迹公行事，大约：公诚体物似范文正，清高挺节似赵清献，精敏制变似张乖崖。数公各擅其长，我公咸有其美。

由此言之，公既受知人主，异时宰天下当不异于治楚。而其治楚之事，口碑心版，已遍江之南北，不独治之一隅。然而公实生治，治

① 当宁：指皇帝。 ② 扇喝：为中暑者扇风，指救助。

无以不朽公不可也。于其行也，寿之以石，倘亦有以备他日史官《名臣记》中之数行。（乎）〔于〕是为颂辞曰：皇帝十三载，寓内升平。有膏其雨，有福其星。婉婉徐公，来牧于荆。入为人子，出为人亲。仁因类锡，忠自孝成。旬宣底绩，甿庶革心。何下邑弹丸，有顽未驯？是曰邦沟，犹羊之败群。将议剿扑，五路会军。公言不尔，救此一方民。我出我车，于冶湖滨。飞书振旅，驻节绥人。丑（徙）〔徙〕骇散，莽伏不兴。禽俘日至，遂奏辑宁。驺虞止杀，麒麟好生。邑无蹂躪，大庇生灵。公心如水，皎洁澄清。寒潭浸月，玉壶涵冰。公心如日，历落光明。云开万里，雾卷千寻。公乎行部，水远山深。厨传弗扰，鲑菜自营。公乎退食，坐啸行吟。孤高鹤性，洒洒鸾情。在躬忘贵，与世疗贫。无车不雨，有脚皆春。恩深江汉，望重蓼衡。沔源旁带，雉岭斜分。莠诛禾长，石剖玉存。芒刃罔缺，宁须斧斤？无纵无苛，德威是凭。手推霹雳，胸罗甲兵。贤宰承流，载扬清芬。从兹感化，风俗可淳。天子曰咨，治行予闻。汝方古人，独立使君。往臬豫州，行堪大臣。楚人从之，争截鞭箠。冶人从之，共慕孺婴。公膺简书，暂稽王程。清风两袖，长徒二零^①。式采民艮^②，入告紫宸。惠我无疆，视此贞珉。

免彝陵驮夫碑记

顾景星

康熙十八年二月，王师复岳州，观兵洞庭之南，将由归州、巴东，恢取全蜀。时湖北布政使司徐公惺权驻彝陵，运饷后继，皆取给于湖北郡县。水陆险隘，艨艟、蹶噉不利行^③。旧用驮夫，囊橐以负。高若坠云，深如出渊，率石致三斗。喘眩踣毙^④，不相收视，亦十四、三。而民间计里出夫，一夫敛雇募钱数十缗。疾首尽心，莫此为甚。其夫行不百十里，或遁去，则又责之郡县。不胜力而仆者，则

① 零：古车、船中放置器物的竹木条。 ② 艮：“艰”的异体字。

③ 蹶：蹶的异体字。 ④ 踣：疑“踣”形近误。

鞭。壮夫兼负，行不数十里，项折筋绝，僵殒岩谷。春雨会流，众溪暴发，咫尺之间，阻岭相望。至于束马县车^①，（輶）[輶] 轺千里而外仰^②，又难焉。

于是徐公深忧之，请于大将军、兵主王。其略曰：“巫、夔接壤巴、归，为四川东隅门户；阶、文、宁羌、汉中，为四川西北隅门户。历代用兵，东西并进，首尾互击。今阶、文、宁羌、汉中，应陕西大军进剿。而巴、归、巫、夔一路，直抵重庆，丛山插天，倾流入地。旁通施州、苗峒，林深箐黑。骑不联镳^③，步难成列。夫跃马鸣镝，鹏搏隼逝^④，践垒履町疃，搴旗拉槁苙者，满军之长也。援高縋壑，蛇行猱捷，劫营偃火鼓，迹谋听箴箴者^⑤，汉卒之能也。以汉卒驰平原，犹以满军盘岨曲^⑥，势均不可。今彝陵、巴、归既有满军弹压，大将军、兵主王驻荆州据中坚之势，指撝绿旗^⑦，声援趋便。前军入飞鸟，后旅则蚁附取阴平之间道。搯沅湘之要害，易巖赵人之垒^⑧，揜伏石门之山^⑨，信汉卒所能。至于汉卒需粮，不须远仰内地，何者？盖就水草者，骑之宜也；因刈获者，步之利也。輦车在路者^⑩，运重之拙也。出镳易粟者，轻赍之便也。今惟俟巫山一下，本司星驰饷银，听各营公买，如是则禁旅不致冲犯幽险，有刍糗不继之忧；民间不致疾首尽心，有敛钱雇运之苦。汉卒得轻装施巧，以收其成功。湖北数年供亿，疲毙之残黎，不填于沟壑。外则国用不虚糜，内则保全其元气。用兵之筭疑莫如此^⑪？”

是时大兵前驱已过巴东二十里，抵西瀼，与蜀境接。公又言曰：“比者屡据塘报，归、巴百姓，贼杀僂过半，屋室毁烧无存。信然如此，是有地无人。大军经临，供亿安出？昔诸葛亮南征，数因粮匱班

① 县：“悬”的古字。② 輶轺：车行不平。③ 镳：疑鑣误。

④ 搏：“搏”的通假字。⑤ ●：“侦”的异体字。⑥ 岨：“阻”的异体字。⑦ 撝：指挥。⑧ 巖：“帜”的异体字。⑨ 揜：疑“揜”误，“搜”的异体字。⑩ ●车：连车。⑪ ●：疑“善”形近误。

师。其后乃谋屯田。为先守后攻之计。今巫、夔至重庆，沿路洞、砦，自昔出没为害。近因贼协诱^①，鬼鼠其踪。闻我军至，必藏粮坞壁，伏莽瞰。同昔武侯入蜀，诫张桓侯‘惟德服民’。远哉斯言！今日之谓矣。维各提镇恩信至诚，感孚洞砦，丝粒不动，鸡豚无扰，彼必革心内响，为我先声。出粟助军，还民归业。贼既远徙，无所接援。我则银到，有可售易。豫储以待全师，乘机以联攻取。如是，而不开西蜀之门，旂逆吴之首者^②，未之有也。”

提督徐公治都，以公言入告。上可其奏，遂用汉卒前茅，易米以银。公复虑绿旗深入，米未即得，复出钱雇民舟，以官糈先运若（千）〔干〕万石，由襄河入。罢彝陵驮夫，省湖北民募。陆运银两，岁不下数十万。

河北之民，如魔得苏。妇子相贺，喜极流涕。踊跃仰天，为公祝厘，赞国万年。绿帜弥山，抵于西川。禁旅阗阗，伐鼓渊渊。桓桓将军，威德是宣。庸、罗、羌、濮，夔、玃、氏、蛮。厖角稽首^③，壶浆后先。嶮岨负戴^④，今兹免焉。民力以裕，军期弗讐。鲐耄得养，雏黄以安。云谁之思？其敢忘旃^⑤。宜勒金石，继诸岷颠。

重修武昌府儒学记

徐国相

武昌为楚都会，车骑冠盖之冲，故声名、文物甲于诸郡，而学宫之制，亦特加弘丽焉。自明季焚掠以后，洊历军兴^⑥，修葺之举，阙焉罕觐。余承乏三楚，始至，行释奠礼，见栋宇飘摇，垣墉圯毁，荆榛满目，为之忾息。移日，亟图修复之举。乃与新任裴守咨谋营度，即毅然以为己任。念民力匱乏，罔敢轻议捐输，不揣捐俸为倡。而藩臬诸君，暨百执事，相与有成。庀材伐石，乃墍乃涂。自圣殿、两庑，与夫启圣之宫、棖星之门、名宦、乡贤，无不焕然一新。又于其

① 协：“挟”的通假字。 ② 旂：“旌”的异体字。 ③ ●：疑“髡”误，卸去。 ④ 嶮岨：同“险阻”。 ⑤ 旃：表彰。 ⑥ 洊历：经历。

后建“敬一亭”，轩楹奕奕，更胜旧观。至“明伦堂”侧，向为民庐窃据，俱加厘剔，以为儒官之署。而诸生斋舍、庖湍^①、学田之属，亦次第经营焉。经始于甲子冬，落成于丙寅夏。裴守乞余言，以勒丽牲之石。

尝考庠序学校之制，三代为昭，而修建无所。考惟泮宫之作，昉于鲁僖。然《春秋》一书，不与浚洙筑即之役，轻用民力者，同类共讥。则以英才乐育，民虽劳而不怨也，而况尺椽寸甃，不以需之闾里者乎？迄今读其首章曰：“其旗旒旒，鸾声嘒嘒”，可谓极礼乐之雍容。其三章曰：“在泮献馘”，“在泮献囚”^②，则兵刑亦于是兼备焉。古之人入而为士，即可出而为卿、大夫者，由此其选也。岂仅以宫墙数仞之地，拾青紫、梯显荣而已哉？曩者滇逆称千舳舻东下，惟楚首扼其冲。糗粮刍挽子来恐后，其父兄子弟固已明于君臣上下之义，而士之肄习于其中者，复能遵功令、重师儒、饬彝常，秉经术，格物致知，以为端修己治人以为务^③。尽性至命，以为究竟。不惑于异趋，不狃于中止。且为之司铎者，一以苏湖遗范，躬行而董率焉，安见圣贤不可学而至于乎？

今天子尊经右文，行幸阙里，且以万世师表，风厉学宫，炳如星日，为汉唐来数千百年所未有。而兹学之重新，适当其时焉。所谓运会所届，有开必先行。且有若先达郭明龙、吴磊石，贺对扬诸公，起而应圣朝，菁莪朴棫之盛，并为俎豆生色焉。余拭目俟之。

大中丞石公去思碑记

陈肇昌

康熙丙寅冬，前滇抚以读礼告归^④，天子命廷臣各举所知可以安边柔远、克胜厥任者，金曰：“惟楚抚中丞石公为宜。”而公之政绩，久已简在枫宸。特锡敕命，往抚乃师。鹳首南指，刻期就道。

① 湍：浴室。 ② 见《诗经·鲁风·泮水》。 ③ 前“为”和后“以”疑多余。 ④ 读礼：指守丧在家，读有关丧祭的礼书。

而吾楚之荐绅、博士弟子员，以及山氓、泽叟，无不惶惑失措，如赤子离慈母之怀。因成命不可复更，无所吁诉，遂勒大别之石，而征余言以记。

夫楚幅员辽阔，财赋殷繁。自明季兵燹，疮痍尚未全起。又值滇逆拘乱，王师毕集于彝陵、虎渡间。攻守逾年，挽糗运刍，云委山积，几于农夫释耒、红女下机。幸天子圣神威武，驱除反侧，而闾阎之颠连已极矣。公节钺至止日，进监司诸君子以暨郡邑之长，告以皇上子惠元元之至意。减耗赠，杜杂徭，平市价，凡贪吏之侵渔与夫豪右之武断，皆访察置之于法。而与属员语，则推心置腹，不逆诈，不市恩。如鉴朗衡平，物来即应。而人亦愿以驱使自效，咸曰：“有公如此，何忍负之？”则自公前所未觐也。

公戒行之晨，尚以沔阳水灾、江陵沙压之苦，慷慨入告。是公一日在楚，即为苍生造一日之福。而骤夺之以予滇，则诚楚民之不幸也。

夫从来为德于吾楚者，岷山遗爱惟羊太傅为最著。其后杜元凯贞珉纪勋，一置于山，一沉于渊。其为不朽计者无穷，而终不能与太傅比美，惟公庶几似之继。自今千百年后，大别山之石其即为岷山之碑也哉。乃再拜为之颂曰：公先辽海，丰沛之乡。从龙先世，奕奕躬桓。中外联翩，子姓昆弟。青箱誉望^①，乌衣门第。弱龄簪仕，三齐两浙。分守郢襄，音徽未歇。公再来楚，虎节龙旌。儿齿黄发，夹道欢迎。楚居南服，江汉大邦。滇凶告叛，独扼其吭。峙乃糗粮，军需旁午。廩竭杼空，吁嗟茷楚。公曰：尔众，往奠乃居。一夫不获，时予之辜。减徭省敛，恤患蠲灾。桁杨不试，吏惕民怀。农恬于亩，朝耘夕耔。士安于庠，左图右史。幸登衽席，室家苟完。何期新命，往莅苗蛮。曷能攀辕？望尘而泣。勒铭志思，丰碑屹立。千秋陵谷，有时而迁。公德在人，于万斯年。

① 青箱：指世代相传的家学。

卷之十二

艺文志 [三]

记

唐

鄂州新厅记

赵 憬

自昔秦置郡有守，汉魏以降因之，其秩二千石。虽有监刺而宰制威福之重，盖古之诸侯。鄂在楚为国，秦为县，吴为江夏郡。绵历至宋，乃维八郡，置郢为鄂。隋氏披其郡，尤谓之州。官则刺史，而政无条刺之法矣。皇朝沿袭旧制，或为郡，或为州，剖符责成，其实乃太守之职。

前代建置所理之处，其城不恒。今之州，即旧城于江夏，吴仲谋经营之，程普始守之。当荆吴，江汉之冲要，为蕃镇固护之雄制。天宝以前，四方无虞，第据细户众寡等襄州望，鄂是以齿于下。后寓县沸腾，屯兵阻险，斯称巨防。朝廷寻州陟列将，寄勋贤之重。广德二年，遂联岳、沔事置三州都团练使。大历八年，加观察、处置使。十四年六月，二使废，时置当州防御使，且属于江西。国家姑务省官息人，而终虑咽喉襟带之地，思典守者既轻其权矣，复欲俾任重，尤难其选。是年十月，乃命秘书少监兼侍御史李公授之。公名兼，陇西人也。到官三年之五月，使改为三州防御使，江、岳隶焉。仍领元戎之副，董江西诸军，锐师以伐叛于襄阳。既而克平，九月，就加散骑常侍，防御洎州如旧。

公之莅鄂也，今兹四年。以清德诚信为教化，以至公深仁为字育，则廛闾里闾，侨旧咏歌，如婴儿之得乳母，馁夫之逢念岁。理军施令，其士卒欢庆亦如之，但加乎肃、畏而已。由是所防二千余里，洞庭、彭蠡在其间，水舟陆车，山藪陂野，方诸侯。井赋盐泉所入，岁约三千万缗，商在其外。明年，西朝天子。天子嘉之，俾平水土，乃拜司空。俾敷五教，乃拜司徒。入参大政，出曜威武。范阳君以智略佐之，由御史中丞、行军司马、节度留后而领于是邦。幕府得人，于斯为盛。下车之日，无土不殖，桑麻翳野，舟舳织川。城高以坚，士选以饱，《诗》所谓“谁谓宋远”、“谁谓河广”^①者矣。

自贞观以来^②，列名氏者而房梁公为首，存乎东壁。大历之后，继声躅者，宜司徒公为首，遂列于座右也。

贞元^③

黄鹤楼记

阎伯里

州城西南隅，有黄鹤楼者。《图经》云：“费祎登仙，（常）[尝]驾黄鹤返憩于此^④，遂以名楼。”事列神仙之传，迹存述异之志。

观其耸构巍峨，高标岌岌。上倚河汉，下临江流。重簷翼馆，四闼霞敞。坐窥井邑，俯拍云烟，亦荆吴形胜之最也。何必赖乡九柱、东阳八咏，乃可赏观时物，会集灵仙者哉？

刺史兼侍御史、淮西租庸使、鄂岳沔等州都团练使河南穆公，名宁，下车而乱绳皆理，发号而庶政其凝。或逶迤退公，或登临送远^⑤，游必于是，[宴必于是]^⑥。极长川之浩浩，见众山之累累。王室载怀，思仲宣之能赋；仙踪可揖，嘉叔伟之芳尘。乃喟然曰：“黄

① 见《诗经·卫风·河广》。② 贞观：唐太宗年号，公元627—649年。③ 贞元：唐德宗年号，公元785—805年。④ 据《文苑英华》等改。⑤ 登临：《文苑英华》作“登车”。⑥ 据《文苑英华》等补。

鹤（时来）[来时]^①，歌城郭之并是；浮云一去，惜人世之俱非。”

有命抽毫，纪兹贞石。时皇唐永泰元年岁[次]大荒落月孟夏日庚寅也^②。

殊亭记

元 结

癸卯中，扶风马珣兼理武昌。以明信、严断、惠正为理，故政不待时而成。

于戏！若明而不信，严而不断，惠而不正，虽欲理身，终不自理，况于人哉？公能令人理，使身多暇。招我畏暑，且为凉亭。亭临大江，复出山上。佳木相荫，常多清风。巡回极望，目不厌远。

吾见公才殊、政殊、迹殊，为此亭又殊，因命之曰：殊亭。斫石刻记，立于亭侧。庶几来者，无所惑焉。

皂袍井记

范 瑛

皂袍井者，西城横街东井也。去黄家街井可十三四丈许，去西河亦不过三十丈。雨晴潮汐，气相达也。河水清涟，衡水甘冽，以炊以饮，以浣以浴，无朝暮不鳞次者。独此井介两水之中，汲而炊，则白者以赤，人愈不敢饮焉。汲而浣，则素者以苍，人愈不敢浴焉。

故老传闻，或谓颇宜染色，而咸俗朴陋，无黼黻之华、绘绣之饰。染坊画肆皆愚人，又不解辨其色、察其性，宜何所施？宜何如配制？而奇士之能监别此水者，既无所事于咸，亦不得过而存之，是以此水颇反辱于闾里贩竖庸丐之手。

噫！掘井九仞而不及泉，洵为弃井，今掘及泉矣，而性不谐于俗，又不忍作风波以动人。《易》曰：“井渫不食”^③，为我心恻，可

① 据《文苑英华》等改。 ② 永泰：唐代宗年号，公元765—766年。

据《文苑英华》等补。大荒落：纪年法中太岁运行到地支巳方位之年的称谓。

③ 此句见《易·井》。

叹也。夫假使遇良工，宿之丹秫以眎其所渍，合之蓝蒨以观其所就，吾见其耀山龙而映火藻也。金瓶素纈、辘轳银床之侧者，岂不并受福哉？抑又闻古服饵家以丹砂布井底，后人饮之，率多寿考，时有仙去者。夫安见此水不即丹砂之所融液？饮之而久，又安知其不寿且仙也？悠悠千年，必有能品此者。旧志且逸其名，吾是以既悲此井之不遇，而犹惧来者之无闻也，作小记以传之。

宋

樊山记

苏轼

自余所居临皋亭下，乱流而西，泊于樊山，为樊口。或曰燔山，岁旱燔之起龙致（两）[雨]^①；或曰樊氏居之。不知孰是？

其上为芦洲。孙仲谋泛江遇大风，舵师请所之，仲谋欲往芦洲。其仆谷利以刀拟舵师^②，使泊樊口。遂自樊口凿山通路，归武昌。今犹谓之吴王岬，有洞穴，土紫色，可以磨镜。

循山而南，至寒溪寺。上有曲山，山顶即位坛、九曲亭，皆孙氏遗迹。西山寺泉水白而甘，名菩萨泉。泉所出石，如人垂手也。山下有陶母庙，陶公治武昌，既病登舟，而死于樊口。

寻绎古迹，使人凄然。仲谋猎于樊口^③，得一豹。见老母曰：“何不建其尾^④？”忽然不见。今山中有圣母庙，予十五年前过之，见彼板仿佛有“得一豹”三字^⑤，今亡矣。

九曲亭记

苏轼

子瞻迁于齐安^⑥，庐于江上。齐安无名山，而江之南武昌诸山，

① 雨：据《栎城集》改。② 拟：《栎城集》作“指”，义同。

③ 《栎城集》作“孙”，误。④ 建：有作“逮”。⑤ 《栎城集》作“家”，误。⑥ 齐安：古郡名，即黄州。

（披）〔陂〕陀蔓延^①，涧谷深密^②，中有浮图精舍。西曰西山，东曰寒溪。依山临壑，隐蔽松栢，萧然绝俗，车马之迹不至。每风止日出，江水伏息。子瞻杖策载酒，乘渔舟乱流而南。山中有二三子，好客而喜游。闻子瞻至，幅巾迎笑^③。相携徜徉而上，穷山之深，力极而息。扫叶席草，酌酒相劳。意适忘反^④，往往留宿于山上。以此居齐安三年，不知其久也。

然将适西山，行于松柏之间，羊肠九曲而获小平。游者至此，必息。倚怪石，荫茂木，俯视大江，仰瞻陵阜，旁瞩溪谷。风云变化，林麓向背，皆效于左右。有废亭焉，其遗址甚狭，不足以席众客。其旁古木数十，其大皆百围千尺，不可加以（斥）〔斤〕斧^⑤。子瞻每至其下，辄睥睨终日。

一旦，大风雷雨，拔去其一。斥其所据^⑥，亭得以广。子瞻与客入山视之，笑曰：“兹欲以成吾亭耶？”遂相与营之。

亭成，而西山之胜始具，子瞻于是最乐。昔予少年从子瞻游，有山可登，有水可浮，子瞻未始不褰裳先之。有不得至，为之怅然移日。至其翩然独往，逍遥泉石之上，撷林卉，拾涧实，酌水而饮之，见者以为仙也。

盖天下之乐无穷，而以适意为悦。方其得意，万物无以易之。及其既厌，未有不洒然自笑者也。譬之饮食，杂陈于前，要之一饱，而同委于臭腐。夫孰知得失之所在？惟其无愧于中，无责于外，而姑寓焉，此子瞻之所以有乐于是也。

改建儒学门、堤记

闻人模

兴国学宫徙于城西，自乾道庚寅始也^⑦。然古刹障前阨塞，而

① 据《栾城集》改。 ② 涧谷深密：即“涧深谷密”。 ③ 笑：“笑”的古字。 ④ 反：“返”的古字。 ⑤ 斤：据《栾城集》改。 ⑥ 斥：开闢。 ⑦ 乾道：宋孝宗年号，公元1165—1173年。

庙、学共为一门。往来憧憧，弗敬弗肃，非所以明制度、示观瞻。又学之路，旧并民居，既迂且狭。负笈之士，未免循墙而趋，盖越四十稔而莫能易也。

大理丞虞公为治之明年，政成人和，年谷再登。事无大小，次第毕举。一日奠謁，顾谓模曰：“教化者，风俗之机，学校者，教化之源，兹郡守之先务。今路之与门，士久以为病，可不厘而正之乎？”即日捐粟于廩，出金于帑，命模庀事督工^①。由殿而庀，颓圯者兴，漫漶者饰。于是相厥阴阳，度黉宫之地而为门。复出公田，易浮屠之地以为堤。门之为屋三，门修三寻，广大如之。堤之为路，袤八十步，广三步一仞。命工以佣直，役力以农隙，民不告劳，官不耗用，皆成于公经画之妙，而得于公樽费之余。

伟哉，门堤之成也！面揖三峰，下瞰平湖。植柳蒔莲，左右映带，见者改观。方领矩步、委蛇其中者，莫不叹昔谋之难、而今成之易也。合辞而进曰：“是隼功美绩，有待而成。愿有以寿其传，庶足以侈虞先生莫大之德。”予告之曰：“轮奐之美、版筑之工，是特外观云耳。若乃漱芳润、挹菁华，培植乎内心之学者，盍知所自勉乎？故凡出入是门、由行是路者，当思所以闲放心^②，距非念，屏纷华之好，趋正大之学。宫庭可守而户牖不可开，正途可趋而邪径不可蹈。由是而升堂入室，由是而舞雩咏归，则千载之下，洙泗遗风凛然不坠，是邦侯之所望于尔士。尔无负于邦侯者，将于此乎见矣。”

张乖厓祠堂记

王 鉉

《乖厓祠堂记》，为崇阳民记也。公讳咏，字复之。太平兴国中^③，尝宰崇阳。盖流风善政，遗之至今，虽三尺童子，能传公之临民。何德及此而遗爱至于如此与？公之临民，无文字以慰斯民，而民

① 庀：办理。 ② 闲：防止。 ③ 太平兴国：宋太宗年号，公元976—984年。

不能忘公之心，且有请于余也。

余惟公生有奇节，志操过人，而临政之绩，最著于蜀。盖始于崇阳而盛于西蜀。

先是，邑地广人稀，境之会茂林重岭。民阻于食，遂畚粟植茶，拙于治产。公宣以政教，舍末务本。俗素无桑，使拔茶而艺之。教令未孚，而公绳之以法。不数年，尽一邑之境皆植桑，至今罗纨衣被。

公一日坐北峰亭，乡民市菜还者，公召笞之，以其不能自蒔而易于他人也。自此，家植蔬、果，俗习勤、俭，利用、厚生，民到于今受其赐。其教民之术，大略类此。

夫当盘错之地者，过于严、密；临朴野之境者，失于鄙、慢：是不能教者也。惟公治崇阳，一以恺悌之心待之，故人皆知爱而不能忘公。呜呼，可谓盛德矣哉！然而公之治蜀之绩，世皆知，其传之众也。至于崇阳之遗美去思，则士大夫不能得而传矣。兹承乏崇阳尹，以记公之祠，不独著邑人之不忘^①，而将广其传也。

元丰三年九月一日新淦州军士推官^②、承务郎、试秘书省（较）[校]书郎以权县事王铉记。

昭勇祠记

王 质

昭毅、武惠、遗爱、灵显者，王庙号也。富池者，王庙所也。曰甘者，王姓也。巴郡临江者，王乡里也。某为秦丞相者，王远祖也。某为吴尚书、某为会稽令者，王子也。某为吴太子太傅、某为晋镇南大将军者，王孙也。镇南者，死王敦之难于襄阳，晋忠臣也。吴，王所事国也。大帝，王所事主也。西陵太守升城督、折卫将军前部督，王所历官也。破曹公于乌林、于濡须，获朱光于宛城，遏张辽于合肥，解曹仁于南郡，擒黄祖于武昌者，王生而在吴之功也。捍寇贼，护城邑，兴云雨，泽生灵于元丰、于建炎、于绍兴、于隆兴者，王歿

① 著：使显著，表明。 ② 元丰：宋神宗年号，公元1078—1085年。

而在宋之功也。王生而事刘表、若黄祖，皆弗克终，而其际会建功立业者，吴也。

王歿而历晋、若宋、若齐、若梁、若陈、若隋、若唐、皆无所宠嘉，而其尤大章明较著者，宋也。宋有天下，追绿前代忠臣、义士。于是，以王为“褒国公”，开宝五年太祖皇帝锡之也。以王为“褒国武灵公”者，元丰五年祷雨有应，郡以状闻，神宗皇帝锡之也。以庙为“昭勇”者，政和二年部使者以王功闻诸朝，徽宗皇帝锡之也。以王为“武惠王”者，宣和五年道士臧存真以王功上公车，徽宗锡之也。以王为“武惠、昭毅王”者，建炎二年以灵卜惊张遇，郡以状闻，太上皇帝锡之也。以王为“昭毅、武惠、灵显王”者，建炎四年以阴兵震金人，御营使刘光世以状闻，太上皇帝锡之也。以王为“昭毅、武惠、遗爱、灵显王”者，绍兴二十一年部使者以王功闻诸朝，又太上皇帝锡之也。王太子吴将军、会稽令于开宝、于元丰增号。王于宣和又再增号，于建炎又增号，于绍兴又增号。顺佐、柔懿，凡两夫人之加增也。绍威、绍灵凡两侯，若尚书、若会稽也，建炎四年刘光世之请也。

呜乎！吴于王厚，宋于王尤厚也。今昭毅武惠遗爱灵显王有大功于吴，庙食于此垂数百年。四方之人往来长江，奔走祠下者，岁以万计。而王之威灵震耀烜赫，事异可书，岂非转战之功、忠勇之节上贯白日，下警九军，故其英风义概，凜然如有不可掩者与？词曰：

维大江兮南纪，亘万古兮长流。望丹楹兮如霞，宅神宫兮上游。翼故国兮废域，竭臣节兮始谋。蹈白刃兮当前，激懦夫兮颜羞。凜英魂兮犹在，遗胜福兮九州。俨王冠兮锵佩，耸重屋兮云霄。酒欣欣兮既旨，鼓坎坎兮吹箫。神燕娱兮醉起，望白云兮江涛。顾神驭之杳冥兮，安知其不乐于斯楼。

鄂州改建社稷坛记

朱 熹

淳熙十年春，朝奉郎、知鄂州事新安罗侯愿以书来曰：“吾州郡祀之坛，始在中军寨。去年秋，通守清江刘君清之至而往谒焉。视其地褊逼洿下，燎瘞无所^①，不称藩国钦崇命祀之意；且念比年郡多水旱札瘥之变^②，意其咎或在是。则言于州，请得度地更置如律令。

“已而，刘君行州事，遂以属录事参军周明仲行视。得城东黄鹤（上）[山]下废营地一区^③，东西十丈，南北倍差。按《政和五祀书》为四坛^④，而属其役事于兵马监押赵伯烜。作治未半，而愿适承乏。”又属都监王椿董之，以速其成焉。

某月，坛成。东社、西稷居前，东风伯、西雨雷师居后少却。坛皆三城有墼^⑤，墼四门。前二坛址皆方二丈五尺，崇尺二寸。后（三）[二]坛址皆方一丈六尺五寸，崇八寸。其迹城面皆有杀尺，崇四分而去一，二城方杀如之，而崇不复杀。前二墼皆方四丈二尺，门六尺，间丈五尺。后（三）[二]墼皆方二丈八尺，门五尺，间一丈四尺。其崇皆四尺。社有主，崇二尺五寸，方尺。剡其上，培其下半，石也。南五丈，为门三间。北二丈有奇，为斋庐五间。缭以重垣，甃以坚甃，而植以三代之所宜木。亦既，拣时日，属僚吏，修祝号以告于神而妥之矣。则又与刘君谋以吾子尝学于礼也，是以愿请文以记之，俾后之人勿坏。”

熹按：社实山林、川泽、丘陵、坟衍、原隰五土之祇，而后土勾龙氏其配也。稷则专原隰之祇^⑥，能生五谷者，而后稷周弃氏其配也。风师箕，雨师毕也。是皆著于《周礼》，领于“大宗伯”之官。唯社稷，自天子之都至于国里通祭；而风雨之神，则自唐以来，诸郡始得祀焉。至于雷神，则又唐制所与雨师同坛共牲而祀者也。国朝礼

① 瘥：疑“瘥”的异体字，埋葬。 ② 札瘥：疾病。 ③ 山：据传世朱熹文集改。 ④ 祀：有作“礼”。 书：有作“画”。 ⑤ ●wèi：围墙。

⑥ 祇：土神。

文，大抵多袭唐故。故今郡国祀典，自先师先圣之外，唯是五者。盖以为二气之良能，天地之功用，流行于覆载之间，以育万物而民生赖焉者，其德惟此为尤盛。是以于其坛壝时日之制，牲帛器服之品，降登馈奠之节，莫不参订讨论，著之礼象，颁下郡国，藏于礼典。有司岁举行之；而部刺史又当以时循行，察其不如法者。盖有国家者，所以昭事明神，所以降祥锡福于下，其勤如此。顾今之为吏者，所知不过簿书期会之间，否则觴豆舞歌，相与放焉而不知反。其所敬畏崇饰而神事者，非老子释氏之祠，则妖妄淫昏之鬼而已。其于先王之制、国家之典，所以治人祀神者，曷尝有介于其心焉？

呜呼，人心之不正，风俗之不厚，年谷之不登，民生之不遂，其亦以此与？今罗侯之与刘君，乃能相与延爱乎此，非其学古爱民之志，卓然有见乎流俗见闻之表，其孰能之？熹虽不文，不足以记事实，重久远，然二君子过以为尝从俎豆之事，不远千里而属笔焉，因为书之，使刻于丽牲之石。

元

通城修社稷坛记

程文海

社稷，郡邑通祀也，而或废不立，立或不式。予乘轺行春，武昌境中，见其具且式者，无几耳。盖推之自郡始，继而咸以维新告，通城与焉。予或记、或否者，顾吏民有请、不请也。

越二年秋，文海以公事至其邑，邑长以治中好学而文，请记其事。治中议以诿予，予谓治中曰：“民人社稷，天子受之于天，以授于下而分理者。知一而不知二，或并忘而遂怠且虚之，可乎？夫民为神之主，神依人而祀，固不可废也，政亦不可慢也。至治，馨香感于神明之谓何？盖民为贵，社稷次之，荷任其寄者，皆不可不知也。”吾之所能言者，治中亦能言之。治中曰：“公之言，我心也。请以为记。”治中名祭孚申，居白云山中，号曰“白云”。

其邑长，前曰卫良弼，后曰韩玉。县尉，张思祖。

大冶县儒学记^①

虞 集

大冶在江湖之表，山川包络，形气涵蓄。宝藏兴焉，邑之所由得名也。土田之常赋，日用之利力役供亿，视他邑为尤烦。吏于是者，宜乎学校之事有所未遑。至今令长、长沙周君镗以名进士来治之，始克有所尽心焉。

至正元年辛巳十又二月，使人适临川之野而告曰：“某之在斯邑三年矣，幸无获戾于上下，乃克重修礼殿、神厨、经阁明伦堂左，以祀乡先生万公正淳，既告成于夫子矣，请属文以祀之。”集进其使者，问之曰：“修学之资何所从出？”对曰：“浙省之粟，航海以实京师，岁数百万石。比以水旱不给，命上流郡县、他省之所隶者，分其粟补之。地远民困亦不堪，盖通弊也。去年，大冶之运周君，率其民粟以行。周虑而慎防，无汎横，无羨费，至则输受纳者，而身先之，完民以归。计吏会其用，余中统钞二百余錠。召民而还之，咸曰：‘吾之无鞭朴掊克之苦，归无假贷、折阅之偿，先事而遑归，视累岁之费十不及一二，则吾令之赐也。’因辞不受，上下相让。久之，令察民之诚至，则告之曰：‘若是则以为学校之用可乎？’令曰：‘诺。’乃以之度材庀工，民不约而欢趋之，是以其成之速也。”然则，是可书也已。

噫！人心天理，汨之于风气习俗，久而极矣。长民者不笃于躬行，则民不信。不示之以好恶，则民无所从。不信而强使之，则治不立；不知所从而导非其道，则教不行。是役也，周君其有信乎。其人庶，其教之可施矣乎。古者学校先师之祭，取诸其乡而已，盖其父兄之所亲炙而弟子之所习闻。动焉，而威仪可以则；语焉，而声气可以感。若鲁之君子者，以为先无君子，则焉取斯哉？《诗》曰：“执柯伐柯，其则不远。”^② 尽言其取之近也。邑人之所共知、所共尊者，

① 大冶县：当时属兴国路。 ② “执……远。”：见《诗经·豳风·伐柯》。

其为正淳之学乎？正淳，朱子之门人也。勇彻于旧学之役，以求讲学问、践履之实。决去其仕进之末，以求至乎圣贤造诣之归。师友答问之遗书具在，乡里传之。观乎一时同门，得之甚正而行之甚笃者。故大冶之人，因其所素，尊敬而知其所从焉。则其宗传，可得而溯之矣。

呜呼！古者庠序之教，教之以父子、君臣、夫妇、长幼、朋友之伦，复其仁、义、礼、智之性。礼、乐，其物也。《诗》、《书》、《春秋》，其书也。孔子没，曾子、子思受其道而传焉，学者可以无差矣。然而数千百年，周子、两程、子张子出，而其说始复明。一再传而得朱子，圣经贤传，微言大义，莫不究极。折衷论定，无复余蕴。国家信而周之，布在天下，而穷乡远邑无明师良友，顾学者或不得说焉。斯邑之有正淳也，今去二百余年，而遗言余论不泯如此。表章其人以讽劝而作新之，则周君有功于斯邑至大。以周君既仕而不已于学，不为迂儒以废事，耻效世俗之吏习以苟禄，通于今日之法令而从容恻恒以究其能，行之三年而不变。使吾儒之为政者皆若周君，岂不盛哉！乃若取桃花山之地若干亩、三港畈、株林塘、盛家港、程家窝等处田园之见侵于豪强者，以归诸学，非私于学也，政当然也。至于其政之可纪者，则有进士夏君日孜之《记》云。

重修乖厓祠堂

阙 名

乖厓堂，为忠定张公咏作也。咏字复之。乖厓者，乖则违众，厓则绝物，此复之自赞其画像云。像传自成都仙游寺，摹写至鄂州刺史后屋。迫隘尘嚣，与像勿称，乃更祀于崇轩爽地，并书所以作堂意揭示来者。

公，陞城人，中太平兴国五年进士第。初宰崇阳，有异政。淳化初^①，复议擢使荆湖北路。越三岁，召拜枢密学士，出守成都。祥符

① 淳化：宋太宗年号，公元990—994年。

八年^①，卒于淮阳。追谥忠定，则景祐三年诏也^②。复之大节奇行，海内倾仰，其居朝廷之日少，处方面之日多^③。不登相位，时论惜之。寇平仲、王子明，皆复之同年之贤者。平仲相真宗，攘遏之功，天下赖之。而复之顾谓“直不我使”，则以复之当平仲任，其处之必有道矣。玉清昭应宫之役，子明不能强谏，奉天书行事，每有愧色。复之独抗疏，乞斩丁谓以谢天下。子明病革，真宗拟相复之，则复之亡矣。假复之无恙，丁谓何敢肆其奸？周怀政、雷允恭，亦安从始祸？复之尝议平仲“不学无术”。或谓复之太过，而平仲独心折焉。末路低回，还秉钧轴。讵与衬会^④，视复之学术，宁不少愧哉？复之本不欲仕，攘袂纓冠，诚非得已。凡所与交，多方外逸人。视弃轩冕，犹敝屣耳。其至大至刚直养之气，一生不少屈，至今凜然也。画像服饰，悉如隐者之态。使从游乎兹邑，尽复之所经行，神其会之矣。然余犹恨复之之于当时，私谤窃议果无足信，要以赵阅道、司马君实所录为实。

重建大成殿记

张 掖

蒲圻学，创于绍圣间。大成殿，实令尹朱公寿所建。建炎中，罹于火，殿独无恙。淳熙戊辰^⑤，新安汪公泳重建。岁久，柱蚀榱朽，螭倾城颓，浸入卑陋，尊事弗称。其间任宣化之责者，以时伏谒，心歉而力弗逮。端平丙申十月，薛侯来宰是邑，下车留诸生海之。大惧学较弗修^⑥，名教不立。爰命学正李洪，直学宋祝、陈圭，学谕宋偲、雷益明，学录倪起潜，俾共成之。经始于戊申仲夏，讵工于己酉季夏，庙貌炳焕。乃率邑僚暨弟子员告奠，退而讲乡饮酒礼。声名文物，视昔有加者如此。侯名仪老，永嘉望族，为政以严明通敏称。三

① 祥符：大中祥符，宋真宗年号，公元1008—1016年。② 景祐：宋仁宗年号，公元1034—1038年。③ 方面：地方，与朝中相对。④ 衬：灾祸。⑤ 淳熙：宋孝宗年号，公元1174—1189年。⑥ 学校：学校。

年有成，百废具举。于是乎书，（元）〔宋〕嘉熙三年立石^①。

敬德堂记

何天骏

县令，民之师。帅学，较政之本原^②。知所先务，其贤乎！蒲，壮邑。学，称之。岁月浸老，风雨震凌^③，凜乎倾压，欲兴修而未能也。

今令尹韩公，世辅中州之英，以儒饰吏，明而恕，清而通。考未再书，政声籍甚。报户籍，而士类必旌；别定差发，而儒家不泛及。其加意学较如此。一日，顾天骏曰：“学宫颓弊，盍议葺之？”丞逖公忠、簿李公主、尉刘公让赞其美。惟学廩薄则劝众士以助费，工役广则择能者以董事。自三门、两庑、公厨，撤而新之。直舍后形势高爽，溪山环秀。乃筑土甃石，增创一堂，为游息之所。朝夕程厉，众职竞劝。逾年而竣事，栋宇屹如，丹雘焕如。兹夫子宗庙之美，皆韩公作新之力也。邑当孔道，应酬倥偬。公不以簿书期会为能，而以学较教化为务，尚德也。堂成，名曰“敬德”，盖取鲁侯敬明其德而能修泮宫之义。吾党自今修藏其间，当知敬为入德之门，充而至于毋不敬。上则敬君师之德与贤尹之德，内则自敬厥德，以造于成德之地，尚无负韩公期望之意也。仝曰：“唯。请刻诸石。”

至元壬午嘉平吉日^④，较官资中何天骏记并书。承事郎、湖北道儒学提举成都杨彦博篆盖。司出纳李复孙、刘元老，掌事高支龙、宋孟卿、陈瑶清、郑梦璋、覃祥甫、熊楚杰、覃云甫、任建用、任介福，提督修造梁龙起、宋公正、黄炎南等立石。

① 嘉熙：宋理宗年号，公元1237—1240年。 ② 较：检验。 ③ 风雨震凌：即“风震雨凌”。 ④ 嘉平：腊月的别称。

神口桥记

汪泽民

崇阳有通道曰方山，自泥湖岭至于蒲之羊楼岭，距县四十余里。盘回峻隘，百步数折，中凡四十有余处，而湍悍莫甚于神口。

《志》载桥成有宋，浮屠詹氏板崖揭水，冒其险，乃即山鳩工，告于昌江余君白石，共勦葺之^①。是溪分于方，入之山。穷谷之中无人烟，深涨潏涌，商旅阻滞，往往绝食，因立志新成斯桥。于是叠石两岸，楹其中，架空而行构，艰危若履枕席。费出于余，而里之好义者，结屋以除风雨。桥八十尺，而屋称之。昔《周官》“司险”知川泽之阻，达兹有以佐其不逮焉，不书何以作劝？庠生陈忠言请记于余。

余以君八十之年而捐力济乎人以成，厥终性之厚者，事事有赖也。事无巨细，成于仁而败于不仁多矣。况一命之士，苟存心于爱物，其于人也，必有所济，余尝读尹名渊而重有感焉。

噫！天下人一心也。岂无继余作而广其善乎？姑记以俟。

明

通城开创县治记

刘 贤

鄂介江南要区，属邑曰通城，距郡五百里。昔为通城镇，属唐年县。宋熙宁五年^②，升为县。东挹黄龙、幕阜之奇，西联衡岳、洞庭之胜，南山在前，隼水在后。长江坦如，平壤旷如。衣冠文物，为他邑称。元失其驭，四海鼎沸。苗兵往来屯驻，杀人而食，撤庐以焚。民之逃徙，十将八九，水火可胜言哉。

圣神受命，应天顺人，削平僭乱，整理郡县。乙巳夏，永阳马极来知县事。始至，剪荆棘、焚菑翳，彝道途。攘除奸凶，抚辑遗黎。宣布德意，申饬宪章。未几，逃徙者咸复其业，慕化者强负而至。田野以辟，户口以增。中泽之雁不鸣，四郊之犬不惊。逾年，政治大

① 勦：“襄”的通假字。 ② 熙宁：宋神宗年号，公元1068—1077年。

行，境内乂安^①。乃度田正户，均征役，樽浮费，爱养民力。既庶而富，既富而教。弦诵之声相传，礼义之俗已兴。

一旦环视廨宇，慨然曰：“兹邑之废久矣，曾卑陋而可为政乎？先务之急，莫有甚于此者。”夙夜孜孜，载谋载治。刊山伐木，諏吉召工。或良材是断，或隙宇是迁。为屋三十余间，端大坚致，洞达轩豁。署事有厅，分宪有司。吏牍有房，禁鼓有楼。黝垩涂既，墨绳以法。又惧斯文遗坠，大建孔子殿庭。上下寻尺，视昔无比。三皇、社稷、秩祀之神，皆复庙貌。关渡桥梁，道里邮传，靡不完理。上官嘉之，（傍）〔旁〕邑效之。邑之士民廖王等状其事，请为文以垂无穷。

余尝奉明诏布告多方，由南嘉沂莒川历崇阳入其境。野无（隋）〔惰〕农，耕桑晏然。入其邑，民物熙熙，井田不哗；履其庭，胥执役勤，吏奉法谨。凡所创置修飭，文质得宜。左顾则黉宫岩岩，圣道以尊；右瞻则新庙翼翼，神祇安灵。噫！马极之为政足征，士民之所请不诬。极和缓直方，廉达明敏。尝从上征伐，合符征兵，谕旨远人；董工作，给馈饷，以功授宁国丞。时僚佐、令长，咸以罪废去，极莅事四年，绩书上考。他日理大府，典名藩，等而上之，功业未易量也。姑述其概，以副士民之所请云。

石枳陂记

张 宾

崇阳之南^②，有陂曰石枳，灌田万余亩。其流广而源长，其田美而多稼。虽甚旱之年，较他田差少获，民赖以生。世远，人不知始创之年代。旧有断碑，剥落剝灭^③，莫审其详。按其大略云；后唐长兴二年^④，知县陈公修陂，以木为之。而不逾数年，木朽，陂坏。厥后间废迭兴，亦有之矣。赵宋南渡后，废甚，民大以为难。宝庆二

① 乂安：安定。 ② 南：有作“东”。 ③ 剝灭：磨灭。 ④ 长 兴：后唐明宗年号，公元930—933年。

年^①，监鄂州监税掇县事刘焕，始命士人张孝林董其役，以石代木，然后坚完，陂得不废。元末兵燹以来，崇之民逃难解散，野无烟火。山溪之水冲啮无时，田既荒芜而陂则废坏极矣。

天朝开国敷治，民稍稍自远还，辟其田什之二三。无陂水灌溉，薄旱而稼不收，民甚苦之。前官斯邑欲兴，而以其役广为惮，遂不果作。洪武十年秋^②，元侯来牧是邑。因民之暇，兴坠起废。故老以为言，侯欣然曰：“足民食增国赋，二者俱在于斯乎！迨不可缓。”九月，乃率耆儒造其地，度其工。民之赴役者，如子之趋父。越三月而功成，累石如削，高丈余，广百步，计日工三万有奇。于是决通渠，泻浩渺，汪洋乎千顷之间。昔之稿者，今则濡；昔之润者，今则垫。四方民大集，岁余，垦其田什之八。农舍周匝，扶耒执耜者遍于千亩之间。厥后禾稼薿薿^③，含哺鼓腹而乐者，几千人矣，咸愿刻文以识之。虽然，昔之宰邑者皆畏其难而不敢为，今侯之成是陂也，初若易而成功速，果安在哉？要在乎顺民心、利民事也。《诗》不云乎：“岂弟君子，民之父母^④。”传曰：“民之所好，好之。”侯其有焉。《春秋》“大有年”必特笔书之，重民食也。今元侯兴百世之利，而民不失有年之望，又书法之不可缺者，予故为之记。

侯姓元名俊，字世临，河南人。后之君子观其所尚，足以知其人云。

时洪武十一年，岁在戊午冬十月，县文学修江张宾记。

游东山记

杨士奇

洪武乙亥^⑤，余客武昌。隐溪蒋君始吾，庐陵人，年已八十余，好道家书；其子立恭，兼治儒术，能诗。皆意度阔略，然深自晦匿，

① 宝庆：宋理宗年号，公元1225—1227年。 ② 洪武：明太祖年号，公元1368—1398年。 ③ 薿薿：茂盛的样子。 ④ 此句见《诗经·大雅·洞酌》。 ⑤ 洪武乙亥：公元1395年。

不妄交游，独与余相得也。

是岁三月朔，余三人者，携童子四五人，载酒肴出游。隐溪乘小肩舆，余与立恭徒步。天未明东行，过洪山寺二里许折北，穿小径可十里，度松林沙涧^①。涧水澄澈，深处可浮小舟。旁有盘石，容坐十数人，松柏竹树之阴，森布蒙密。时风日和畅，草木之葩灿然，香气拂拂袭衣，禽鸟之声不一类，遂扫石而坐。

[坐] 久闻鸡犬声^②，余招立恭起。东行数十步，过小冈，田畴平衍弥望，有茅屋十数家，遂造焉。一叟可七十余岁，素发如雪被两肩^③，容色腴泽^④，类饮酒者。手一卷坐庭中，盖齐丘化书。延余两人坐，一媼捧茶碗饮客。牖下有书数帙，立恭探得《列子》，余得《白虎通》。皆欲取而难于言。叟识其意，曰：“老夫无用也。”各怀之而出，还坐石上。

指顾童子摘芋叶为盘载肉，立恭举匏壶注酒。传觞数行，立恭赋七言近体诗一章，余和之。酒半，有骑而过者，余故人武昌左护卫李千户也。骇而笑，不下马，径驰去。须臾，具盛饌及一道士偕来。道士岳州人，刘氏。遂共酌，道士出《大乙真人图》求诗^⑤。余赋古体五言一章，书之。立恭不作，但酌酒饮道士不已。道士不能胜，降跽谢过，众皆大笑。李出琵琶，弹数曲。立恭折竹，窍而吹之，作洞箫声。隐溪歌费无隐《苏武慢》，道士起舞踈跚，两童子拍手、跳跃随其后。已而，道士复揖立恭曰：“奈何不与道士诗？”立恭援笔赋数绝句，语益奇。遂复酌。余与立恭饮多^⑥，皆醉。

起，缘涧观鱼。大者三四寸，小者如指。余操饼饵投之，翕然聚。已而，往来相忘也。立恭戏以小石掷之，辄尽散不复。因共慨叹海鸥之事，各赋七言绝诗一首。道士出茶一饼，众折而嚼之。余半饼

① 沙：《东里集》作“涉”。 ② 坐：《东里集》有。 ③ 被：“披”的古字。 ④ 容色腴泽：即“容腴色泽”。 ⑤ 大：“太”的古字。

⑥ 多：《东里集》作“少”。

遣童子遗余两人。

已而，夕阳距西峰仅丈许，隐溪趣余还曰：“乐其无已乎。”遂与李及道士别，李以卒从二骑送立恭及余。时恐晚不能入城，度涧折北而西^①，取捷径望草埠门以归。中道，隐溪指道旁冈麓顾余曰：“是吾所营乐丘处也^②。”又指道旁桃花语余曰：“明年看花时，索我于此。”

既归，立恭曰：“是游宜有记。”属未暇也。是冬，隐溪卒，余哭之。明年寒食，与立恭豫约诣墓下。及期，余病，不果行。未几，余归庐陵，过立恭宿别，始命笔追记之。未毕，立恭取读恸哭，余亦泣下，遂罢。然念蒋氏父子交好之厚，且在武昌山水之游屡矣，而乐无加乎此，故勉而终记之。手录一通，遗立恭。

呜呼，人生聚散靡常！异时或相望千里之外，一展读此文，存没离合之感，其能已于中邪？

既游之明年八月戊子记。

通山儒学记

韩 阳

古者上自王宫、国都，下及闾巷，莫不有学，所以重学校为政化之源，人才之本也。人材、政化之盛衰，每视学校之兴废何如耳。故泮宫一修，鲁人颂之，乡校一废，郑人刺之。盖以政化盛衰、人材隆替，有关于学校不小也。

肆惟圣朝，绍美唐虞，比隆三代，尊崇先师孔子之道，以化成天下万方九有，文教大兴，广之以学舍，联之以师儒，彬彬乎盛矣哉。

通山为武昌属邑，邑在万山之中，民淳俗朴。儒学距县治不百步而近，旧有殿堂，乃洪武初年所创。永乐中，县官非才者，惑于术人之谬，以学之讲堂与县治相抗，遂以其堂迁于礼殿之左。逮今将五十稔，未有能改而正之者。

① 度：“渡”古字。 ② 乐丘：指坟墓。

正统辛酉^①，匡南吴芸来宰县事。拜谒之顷，即以堂居庙左，于制匪宜，况前逼民居，后临山麓，隘陋局促，殊为弗堪，即欲迁而正之。正统戊辰，姑苏陈铨来典教事，而兹堂岁久将覆，诸生讲授何居？相与力排群议，鸠工度材，治地于礼殿之后，鼎而新焉，基即曩时故址也。曾不数月，其堂巍然，其斋翼然。弦诵之室，厨房之房与夫祭器、射圃之类，既废者复之旧，无者增之。既成之后，官不知费，民不知劳，是皆吾宰用心之勤、处事之宜也。始事于正统戊辰之冬十月，毕工于己巳之春二月。

未几，典教陈铨等具以其事谒予行台，再拜请文以记。嗟呼，学校之兴，所以明伦理，毓人材。政化以之而兴，风俗由之而美，岂细故哉！惜乎迩年以来为郡邑官者，惟簿书、期会是先，率以美教化、移风俗为不急，甚则视学校殿堂颓毁以为泛常，恬不加意。予恒病之，亦有致予嫉之而咎之者焉。今观吴芸氏之宰通山，孳孳以学校为念，不惟修而理之，矧又能正其前人邪术之谬，而上体朝廷尊师重道、毓材图治之盛心也。予故次第其事，俾勒诸贞石，以为将来之居官者劝云。

仰高亭记

莫震

亭在龙潭山顶，去县北二里处地。最高山之下，有潭环绕其右，渊深莫测。世传有龙潜焉，故名龙潭。山峙其上，故又曰龙潭山。山阳之麓，平坦阔广，树木阴翳，大成至圣文宣王之庙在焉。

正统丁卯，震重建大成殿。平两庑之旧基，自棂星门以达大成殿凡三级，各高丈许。殿之后又一级，建加封之碑亭于上。展旧墙于山腰，披垦荒莽，以陟其巅。时藤萝、棘刺蔽障蒙密，咫尺不辩^②。乃重命斧斤爰而伐之，则洞然开辟。一肆瞩之间：东则重冈复崦，峻起缭绕；西则长江襟带，浩无际涯；（白）〔北〕面，牛头诸山拱于前，

① 正统：明英宗年号，公元1436—1449年。 ② 辩：“辨”的通假字。

马鞍、青山诸峰列于后，俨然嘉鱼之巨镇。因建小亭于其中，与大成殿岌然相向。扁之曰^①：仰高。制度简朴，高广方正，无华丽雕斫之施。亭之前垒石为山，植以松桧，蔚然可观。经始于丁卯之十二月二十又二日，阅两月而落成焉。

夫亭以“仰高”名，未易言也。凡物之高者，或可仰。圣人之道，犹天然。仰而求之，无穷无尽，岂易言哉？今斯亭之建，非为快登临、资游览而作，盖顾瞻仰。名扁者知圣道之高不可几及，当知从事于博文约礼之海而致其功焉。致其功而尽心尽力、不少休废，则颜子所谓“卓立之地”其殆庶几乎？有志于道睹此，岂无小补哉？故为之记而道愚作亭命扁之意。后之览者，其毋以为无益而作也。典史嘉定倪彬请以是刻诸石，故从而书之。

时邑之属官、乡之仕宦，皆载姓氏于碑阴。

成化十六年谢侯修学记

薛 纲

武昌县学，古寿昌军也。前瞰南湖，后枕大江，其规模弘敞，殿堂壮丽，视他学为最。宋崇宁间建^②，议道、讲堂、进学、好问、兴艺、武士、就傅等斋庙至二百七十二间。淳熙，又迁置讲堂，列文会、行成、忠告、信道四斋。其为道计也，至矣。建元^③，升寿昌为郡、府，寻复为县。更改不一，学亦浸废。中间监、令王文贲、马从仕亦尝修之。入国朝，县令孟吉诚亦尝增置之。自后寥寥无继，黉舍丘墟矣。正统间，教谕杜巽，与今金宪方进秉善、太守周源本清——时为弟子员——各出己资，修建明伦堂，以为讲肄之所，其废坠可知。呜呼，自元迄今几二百年，能以兴学为务者，才二三人而已。

越庚子，广东谢廷举来知县事，顾瞻庙学倾圯，乃慨然捐俸为倡礼劝，乡大姓朱昌等皆乐为之助。不数月间，殿堂、门庑、斋号、廩

① 扁：“匾”的古字。 ② 崇宁：宋徽宗年号，公元1102—1106年。

③ 建元：皆南朝前，疑应为宋、明间。

室，焕然一新。前规泮池，甃以美石；外缭垣墙，植以槐柳。廷举之用心，亦勤矣。予督学至彼，喜黉宇更新，江湖辉映，晴金寒玉摇动，几席充焉，若有所得，乃进诸生而与言曰：“谢令兴学，知计道者也。乡人乐助，知向道者也。顾惟诸生，不以道路为务耶？夫道之在天下，如水之在地中。散而为池、为湖、为海、为江，皆水也。但止者滞焉，流者达焉。南湖滞于一所，而易为涸，止也。长江一泻千里，达乎四海而后已，不止也。诸生其为南湖之止，抑长江之不止乎？不止以求其止，必士而希贤，贤而希圣。不入精微，不诣远大。不已如是，庶不负为圣世之良材，亦不负予之海言与廷举之用心矣。”

诸生皆唯唯而退，遂镌诸石。

冯文简公祠堂记

陈 方

古之有功德于世者，不得祀于国，犹得祀于乡，昭崇报也。敬当祀而废，则失之慢；不当祀而兴，则失之谄。慢与谄，夫岂礼哉？

宋枢密使冯文简公名京，字当世，世居楚咸宁相山之下。其先君宣徽南院使、太子少师、赠司徒式之有阴德，遂生公。既长，博学有大志。仁宗皇祐元年乡试至廷试^①，皆居首选，时称冯三元。寻倅荆南，后擢修起居注。出知益州，民皆安之。神宗即位，以为御史中丞，上疏论王安石新法之失。安石指为邪说，请黜之。神宗不允，升为枢密副使。未几，参知政事。居政府，数与安石论辩不合。及吕惠卿议罢制举，公力争，以为不可。惠卿衔之，因诬以罪，出知（毫）[毫]州。熙宁九年，复召为同知枢密院事。元丰三年，拜枢密使。四年，罢，卒。乡之士，以宋进士三试皆第一仅三人，公在其一。诚可谓科甲中豪杰士也。公再历外寄，两入政府，民被其泽，主信其忠。虽奸回屡排^②，而中立不倚，其节操诚可以垂世范俗也。德之所

① 皇祐：宋仁宗年号，公元1049—1054年。 ② 奸回：奸恶邪僻。也指奸邪之人。

及，功之所存，仰诸天，俯诸人，复何愧怍哉！国未有祠，实宋阙典也。

至元初，乡之后进因立祠于相山之旁，春秋祀之。入国朝，祠就芜废。故址虽存，而无能续创者。

成化戊子，昆山王庆分教咸宁。受职之初，礼部亚卿业公谓曰：“冯文简公，咸宁人也。公为宋名臣，而祠祀久废，作兴之责，其在子乎？夫教之所施，忠孝是先。文简公之尽心于宋，忠矣。今其祠宇芜废若此甚，非所以崇报功德于昔，而激劝士习于今也。”庆曰：“诺。”暨至咸宁，适武昌同知冯章、通判陈琳以督赋继至，为庆措办材木作私第。庆曰：“私事在所缓，公事在所急。且亚卿叶公之命，予既诺之，先己而后彼，独不内愧乎？”特移私第之材以创之。有司嘉其志，即为剪荆棘，辟故址。材不足，增之；用不给，补之。命工役力，建祠三间。缭以周垣，揭以高门。通历月日凡几，而祠告成。后虑祠虽成，岁祀无征。祠旁旧有金莲池若干亩，久没于闾右。庆图复之，以池岁所树艺之利用，给常祀之费，而计可经久。庆之心，亦勤矣哉！诚不负亚卿叶公之命，而俾文简公之节行益昭示于悠久也。

呜呼！教人以言，人虽听之而未入之深；导人以行，人难见之而自然使之感。咸宁，文简公之乡。其世德之厚、节操之坚，故老犹有传诵之者。今便复因是祠而使之知崇报之典，兴礼义之心，又恶知无若文简公之出于其间乎？是则文简公之节行，必有待亚卿叶公而后著；叶公之心，似有待于庆而后克成其美也。用书此记诸石，庶将来有考云。

重修县治记

黄 裳

通城县治，创自国初，制度规模，久而渐坏。百余年来，未有

(緝) [葺] 而新焉者。今上即位，改元成化^①，大計天下吏，黜故更新，而杜侯敏至。

侯，霸州人，而豪杰者也。由太學事內府，諳練世故久矣。令通一載，政務舉興，民以和寧。乃議修縣治，增所未備，僚以下咸贊之。于是，隨宜設材，不取于民；量力致工，罔勞于眾。不數旬，材木山積，工役子來，有莫知其所以然者。期月而後，堂五間成，架步如法。穿堂四間成，裁就有體。皆板以覆椽，泥以乘瓦，堅固縝密，用為退思之所。曹、司後周為垣，高尋尺許，以嚴關防。二門側緝兩翼舍，各為小門，以謹出入。鐘鼓則為京觀而內之^②。左右立榜房各九間，張成憲以示勸懲。街衢則甃之以石，對待立長竿數十，遇恩慶以懸彩。坊巷要冲立巡鋪，夜警更點，慎火盜也。作土磚砌東、西、南、北城門為保障，加屋其上，以達遠望。與凡學校、壇廟、寺觀、橋梁，靡不煥然改觀。

告成之日，遐迩聚集，咸謂縣治維新，足副朝廷寄命之意。不有記，何以傳永久乎？遂請予。予惟世之位通顯、食厚祿者，意在金紫。侯之廉介清如水，斷決平如衡，慎重有德，後必有書《循良傳》者，予不及詳也。獨喜有益縣治，故記之以貽將來云。

蒲圻縣記

唐 岳

蒲之為邑也，東臨江漢之會，南控衡湘之要，自吾武昌觀之，可為巨邑矣。且左枕豐財，右連疊秀，前挹蕓川之清流，後有龍潭之美迹。山川之綢繆，人物之偉麗。賢官名宰，具在方冊。巍科顯仕，代不乏人。奈何兵火之余，街渠委于榛荒，人烟寧于荊棘，獸蹄鳥迹之交橫，商賈舟車之罕見。縣官結茅署事，百廢未舉。

甲辰春，聖天子受天明命，削平僭偽。選用賢良，整理部縣。明年秋，平梁柯公日新來知縣事。雅量足以鎮浮俗，正言足以戾佞諛。

① 成化：明憲宗年號，公元1465—1487年。 ② 內：“納”的古字。

清慎寡欲，廉公有威。主簿宣城胡公，学优而仕。典史郑公，有学有守，果而能断。于是刑政清明，人皆悦服。斯邑之民，流徙者举复其业；他县之民慕德来归者，强负继至。而田野以辟，户口以增。弦歌之声相闻，礼义之化以兴。

柯公乃谋于众曰：“吾为邑长而县邑荒秽不治，圣贤之祠鞠在草莽，岂非吾党之责乎？且吾闻务其三时，验其丁产，则动民而民不烦，劳民而民不怨。今年谷屡丰，四民安业，一新县邑，以称圣主光天下之意，夫何难为？”皆应曰：“诺。”乃同寅协恭，百工赞襄。献巧者，斧斤相闻；效力者，讴歌载道。辟草莱，树栋宇，而署事有厅，分宪有司，参赞有幕，吏牒有房，刑禁有所。又有戒石之亭，更鼓之楼，宅土之祠。周以垣墉，甃以陶甃，涂以丹雘^①。三皇、文庙、秩祀之神，皆复庙像。下至邮亭、传舍、津渡、桥梁，未及期年，靡不修举。何成工之速如是哉？盖有得于敬事而信，节用而爱人，使民以时之旨也。

邑之遗老属予为文，刻之贞珉以昭示无穷。予谓乱极而治，理之必然。当天造草昧之时，屯难未亨之际，钦遇国家启运，分职设官，一时之贤萃于斯邑，克复旧观，以立国家万年之基，是可书也已。

颜忠烈庙碑记

萧 铤

蒲圻邑西南二十里，有庙曰“白石”。所祀之神“颜氏”，盖唐太子太保杲卿、司徒真卿与其弟春卿也。太保、司徒之忠，人皆知之。而春卿，蒲圻人相传至孝。其曰“三位明王”者，宋所封爵。有司至今春秋祀之，其灵应异甚。

正統戊辰春^②，二尹王君斌——庐州六安人——谒拜祠下。顾瞻庭宇颓圯，黜恶患漫，慨然有撤而新之之意。适其夏旱，祷于祠，刻期而雨，岁以大熟。王君于是率诸父母修治之。经始于是岁之冬，而

① 丹雘：红色颜料，这里泛指各种颜料。 ② 正統戊辰：公元1448年。

落成明年春之三月。不弛前功，不改旧贯，寝堂、门庑焕然一新。蒲圻之民，咸相庆幸，以为神将永福兹土也。

至是，京卫武学教谕黄君墀属余为记。按祭法：圣王之制祭祀也，法施于民、以死勤事、能御大灾捍大患者，皆载在《祀典》。然而神之祠“白石”，其亦以其有功于蒲圻而祀之。毋乃谓其克忠与孝，而蒲圻之民追祀之与？当安禄山反范阳，河北二十四郡皆震动。是时，真卿在平原、杲卿在常山，皆召募勇士，以保疆土，诸郡翕然应之。二公虽未能灭贼以死，而忠烈已足以暴白于当时，庙而祀之，宜也。春卿退然家居，乃并享庙祀，何与？岂非一念之孝，足以动天地、贯金石，而蒲圻之民尤慕之与？然则忠、孝固不可以差殊观也。

黄公山钓台记

王 鏊

弘治壬子^①，嘉鱼李世卿考室黄公山之阳，广东陈白沙先生题之曰“黄公山钓台”。

有诣世卿而问焉，曰：“何哉？君所钓者，果在鱼乎？”世卿曰：“吾所钓者，非缗非竿，非鲋非鱸。终日钓焉，无所钓也。饵且不设，而何有于鱼？”伯氏茂卿，方为大理寺副，曰：“盍归乎？吾将钓乎黄公之山。”遂解官去。天下之士，闻而高之。顷年，白沙德业、文章惊动海内，天子虚己召焉。至，则授以侍从，中外动色。白沙终去不顾，世卿徒步万里往从之游，不肯复举进士。茂卿举进士，官大理甫三岁，竟去。岂白沙之门，必以不仕为高？贤者出处，固非世俗所能知哉？杨子云：“鸿飞冥冥，弋者何慕？”贾子云：“凤飘飘而高游兮^②，夫固自引而远去^③。”

于戏，吾安得从斯人者游而钓于台上也？

① 弘治：明孝宗年号，公元1488—1505年。 ② 飘飘：一般写作“漂漂”，同“飘飘”。 游：一般写作“逝”，义同。 ③ 夫：一般无此字。

大崖石室记

李承箕

大崖周遭皆山。山阴可一百余步，有石室焉。东、西、北门上，窍如立瓮，引风气，通日色。夏冽而冬温，可布席百余。非神空志定者，不可居。

往年予读书大崖，每因时一游焉。高林低莽，无行人迹。望山而行，逢石而憩。俯泉而饮，倚杖而歌。或寄之于长吟，或寄之于游观，或寄之于偃仰，或寄之于徙倚，随其所适，嗒然于山水之外。从予游者，立卿弟也。

今年，子卿弟读书大崖。而立卿成进士。请告而归，顾予以未老得闲、举无尘累之时。春莫矣，又相与一游焉。向之高者，已为人之栋；低者，已为人之薪。左右前后，旁通多歧路。惟巉崖旷石、暖霭氤氲、予之坐痕，犹居然在也。

西山记^①

王廷陈

辛卯秋七月，盘滨李子龙津、黄子按黄，以暇日游武昌之西山，玉泉张子、五丘王子及予从。

既渡，沿回江岸。初经市井，随迹原隰^②，故阡新街^③，递历互出。古松夹道，輿行松间，风激木末，响中笙簧。云阴藉裾，山禽逐盖。既出九曲道中，宛转盘折，登顿欲疲。曲竟，古碣不屋。剔藓考刻，感慨陈迹。遂乃憩花宫，登萃景楼。搴薜掇藻，骈秩宾筵。饗子割鲜^④，鲂鲤杂荐。鼓吹墀列，歌声近筵。数觞且辍，攀磴缘萝。直至绝顶，率情草坐。命酒藉石，袖拂烟霞。喜鹭惊鸳，悉出尊俎之下。面挹大江，帆樯陆离。遥揽白雉^⑤，倦云归岫；近引寒溪，迅湍赴曲；俯睇故城，颓雉积莽。吟谢客之诗章，抚孙权之剑石。豪华狼藉，俯仰怆神。遂奋起回立，觴转若环。劝酬不文，谑浪无禁。

① 西山记：名后有“游”。 ② 随：后有“足”，误衍。 ③ 街：有作“术”，义同。 ④ 饗：掌管烹煎的官。 ⑤ 白雉：山名，在县东。

已而落照在山，候吏催暮。于是二君遄归^①，予三客留龙盘矶宵酌。矶头临流洗爵，忽见江光霞色，窈窕微茫，超然有尘外之想，惜二君之不偕也。

游之明日，盘滨君赋之，属诸君和之，以及予。予曰：“古称登高能赋者，为大夫。予，山人也。不能赋，请为君志之。”

怀坡亭记

乔世宁

亭在武昌县郭外，西山之麓。初名“九曲亭”，盖宋苏子瞻谪黄时作也。黄与武昌距江，南北甚近也，故子瞻得时时往来“九曲亭”上。其弟子由为之《记》，《记》与《赤壁赋》并传，而亭废久矣。亭旁故有“孙权宫”，又有“试剑石”，又东有“庾公楼”，皆昔时遗迹云^②。

曩余泛舟武昌，登“蟠龙矶”以望西山，则见长江蜿蜒蜒蜒而来，两峰秀结，佳树郁苍，云气冉冉，随山水间。令人意兴超忽，未尝不想昔游之胜而叹“九曲”之芜也。今年，蜀人刘子起宗自谏院落职，量移武昌府推。既行县至武昌，则数游西山。因读子由《记》，乃始知“九曲”所在。谓高贤名迹，不可令湮灭无闻。乃与一二僚属，议复亭焉。而武昌人好事者曰严汉节，又出赀佐之。

亭既成，刘子观之，慨然兴怀焉，曰：“予与子瞻，皆蜀产也；又皆以侍从谪此；况其所游览，又子瞻遗迹也。予因慨然兴怀焉。”遂改题曰“怀坡亭”。而谓同年友乔子曰：“（予）[子]于起宗，为异姓子由，子宜为《怀坡亭记》。”乔子曰：“子之怀坡也，或以出处、升沉者同也。然感遇者，迹也；忧乐者，情也。子之情，则与东坡子异矣。往东坡子谪黄也，盖以诗受祸云。当其时，虽放浪江山^③，横睨宇宙，而伤谗畏讥，意不能无隐忧焉^④。今子偶以言事外

① 于是：二字有作“予与”，形近误。 ② 昔：原作“三国”，据史实和一般传世本改。 ③ 浪：有作“荡”。 ④ 焉：有作“云”。

谪，天子思贤，卿相容直，未几而量移武昌，今又迁南司空主事，行且召子矣。子之访“九曲”也，真可达观旷迹^①、翛然自乐矣！非复宽愁释怨、谐世违时者比也。故曰：‘子之情，则与东坡子异矣。’”

亭作嘉靖二十八年夏六月。

武昌重建正衙记

李有朋

武昌自白雉山发轫，迤迤西竺。匝江流^②，东向为猴儿岭、戚家山，以抱县治，回拱雉峰。旧治正衙跨龙背，居正位对厅事，颇为得体。后有嫌其凌风者，移置偏左，非宜也。且腐材不设墙壁，败瓦不蔽风雨^③。

武昌令东阳李子初至，有献议复之者。李子曰：“嘻，朝廷设官，以为民也。武昌比年水灾，今年为甚。昏垫之民^④，流离饥溺，依草蔽木，不获安堵。民之靡家，我何室为？”乃单车孤棹，阅灾访困。上其状院司，达之天子。获折起运十之七，蠲存留十之六，仍发谷三千以赈之，灾民甫更苏也。议者复以请。李子曰：“朝廷设官，以为神也。武庠庙蠹庑塌，两祠露莽，圣贤体褻；两坛圯，台鞠草，斋房拱木，祈报礼乖。神之未妥，我何室为？”乃申当道以设处，捐私囊以倡率，劝义民以补助，祠庙聿新，诸祀方有托也。议者复以请。李子曰：“朝廷设官，以承上也。我武民困财伤，诸务久弛。内缺听政之行台，外无停骖之游舍。即上人省方观风，巡行布政，何以待之？奉上之无其所也，而我何以室为？”乃修分司，新府署。葺金牛、葛店二公馆，而上官使客，庶有攸芋之便、即次之安也。议者复以请。李子曰：“朝廷设官，非止为目前计，实肩之以讎远之任也。我武襟江带湖，阻山藏藪。邑无城池，脱有吹沙而波、聚啸而谷，何以御之？民有厝薪履冰之虞也，而我何以室为？”乃尊明诏，筑城

① 真：有作“其”。 ② 匝：围绕。 ③ 蔽：“蔽”的通假字。

④ 昏垫：迷惘沉溺。

垣、建敌楼以卫民，而祈神永休于无教也。

议者复以请。李子曰：“嗟乎，此其时也！然举大动众之后，民有小康之望，余不敢伤民。有《大东》之歌^①，余不敢剥^②，盍缓之？”议者曰：“武自正衙之失所，风气不全。库藏虚，积仓匱，民族漓，士风否，皆坐是也。夫郎官应列宿，公署干躔度者也。亟正之，神之依也，人之赖也。”会邑人王官严汉节以闲屋若干椽来助，遂鳩工筑为后室五间，徙旧署五间于前。朽者易之，腐者新之。左为庖三间。缺其右，以有待也。

浹旬而苟完。李子居之，翻然而不宁。曰：“昔者大禹卑宫室而惟孝鬼神、力沟洫。杜子美在羁旅，茅屋风卷不之恤也，而惟愿广厦万间以庇寒士。陈蕃不治宅第，以为大丈夫扫除天下耳，安事一室。今吾一邑之内，祀典其已具举乎？贫寒其已尽庇乎？尘梗其尽已扫除乎？而所当营者尚多也，何以是室为哉？何以是室为哉？”

遂书之，闭阁以自思。

重修三贤祠记

李有朋

武昌山水佳丽，孙氏尝都之，以鼎角环宇，故多先贤名绩。若晋太尉陶公侃、唐侍郎元公结、宋学士苏公軾，芳躅相望，后人因立祀之。顾岁久祠第^③，寄主于西竺破龕间。慢神渎礼，于斯甚矣。

余获莅兹土，吊古访贤。乃率江浒，拂漫老退谷之石。溯寒溪，探陶公读书之台。跻九曲之墟，以葺“怀坡之亭”。而昔人风韵若与目接，每以祭落为欠。会守道文冈郑公、戎道怀萃卢公、兵道金溪戢公临县，相度城址，陟西竺省通邑形势。偶睹破龕寄主，询知其故，愀然曰：“表章先贤良，有司事也。”余心领之，以公事旁午，未果行。越岁乙亥，奉委建城。将竣事，乃以“三贤祠”为请，兵道泰

① 《大东》：《诗经》篇名，《诗序》认为是刺困役伤财之乱的。

② 剥：触犯。 ③ 第：草多路阻。

峰杨公、太府葵轩李公金允。遂卜地于城北澄清楼之左建之。筑土为台，甃石为基，创屋三间。经始于七月，告成于九月。簷阿翼翼，俯“退谷”之清波，笼“书台”之树色，排“坡亭”之云气。而草间之陈迹，焕然一新矣。乃升三公之主于中而祀之。

夫三公之生，二千余里，相距千数百载。或以宦游至，或以流遁至，或以迁谪至。时不同也，迹不同也，而同系人之思同享一方之祀，何耶？三公进而廊庙，其道同也；退而江湖，其志同也；死而不朽，其名同也。则同堂而祀也，其歆同也。然则修是祠也，岂徒仪文之具已哉？奉“运甓”之遗容，则思其恢社稷、清湘汉之伟功；睹“杯湖”之逸趣，则思其著经略、抒中兴之底蕴；追江风、山月之标度，则思其经济玉堂、沛泽诸郡之嘉猷。一瞻仰间，而古人抱负之瑰玮、志趣之奇卓、胸次之洒落，易地则皆然者。吾人生于斯，宦于斯，可俾是祠寥寥三公，笑人也哉？

重修怀坡亭记

李有朋

去武昌治西三里，蟠压江汉曰西山，中多昔贤名迹。故苏文忠公之谪黄也，往往泛舟而南，遨游其间。得广处辟而轩之，曰“九曲亭”。然亦因于故址，则前此已有作者，漫无考耳。自是而后，虽屡更废兴，而山之胜遂专美于苏矣。嘉靖中，少府刘公起宗行县，追抚胜游，慨其湮没，檄乡人严君汉节，即其址亭之。乃缘民情，更名“怀坡”以寄意焉，文宗乔公世宁为记诸石。

隆庆庚午，余令兹土。因省耕，得被野服、乘筍舆，沿松桥逶迤而历“九曲”。探访斯亭，则复堕甃倾壁，藜藿所鞠，黽黹据之。曾不三十年，已零落山阿，无怪乎吴苑、庚楼之荒凉也。怅惘而归。时严尚期颐无恙，延而致之，俾其循故事赞成。劳彼乐于趋事，鸠工庀材，逾时而亭就。

邀余登焉，则翼然于陵壑之表，昔人文采，恍惚如见。因谓严曰：“君知亭之所由名乎？黄与鄂为隔壤，由宋迄今且六百岁，若人

之怀独深于苏，然则守吾土者讵莫可怀耶？吾知之矣。盖武昌滨江带湖，犹徐之有黄河、杭之有钱塘也。苏尝守二方矣，建黄楼、筑湖堤。泛滥既远，灌溉遂饶，至于今赖之。鄂土卑下，众流所濞，合大冶、江夏、咸宁，无虑百川汇而泄诸樊口。才百步许，冻雨时澍，雪流复匝，则涌而为稽天之巨浸。故浸淫之灾，十岁而九也。向使苏任长人之责，则排决堤防当得善道，兹其乐土矣。惜哉，非其官守而徒为游适也。昏垫之民，望其风采，异地而思、旷世而感者，以是夫！后之人尚思远迹苏功而大庇民耶？则斯亭之怀，安知其不于彼而于苏也？”严曰：“命之矣。”

遂书为记。

武昌县建城记

丘 岳

天子御极之元年，诏天下州县治城郭。于是湖广巡抚、都御史赵公，巡按、御史李公奉诏惟谨，爰檄各道参政郑君，副使卢君、马君，佾事刘君、戢君、杨君，议城所属无城州县。其时，若武之崇阳、蒲圻，黄之麻城、黄安、蕲水、黄陂，各兴版筑，工咸底绩^①，屹然称巨防矣。惟是武昌，去郡治辽远。前瞰南湖，后枕大江，左峙马坡，右倚西竺，旧称四塞。然沿江一带，远接洞庭，近通彭蠡，舳舻风迅，瞬息百里。而灵溪、马迹诸乡，跨临大冶，与兴国、通、咸接壤，依山阻壑，藏寇匿奸。设有枹鼓之警，而邑无扞蔽，何以御之？故昔尝为都为郡，而孙吴父子、陶、庾诸人，皆屯重兵以镇之，则武昌非楚东要害地哉？

知县李子始莅兹邑，即以无城为患，有志城之未逮也。适议下，遂具状以请。三道上其状于两院，两院下其状于郡守李君，皆是^②之。李君毅然以为己任，询于邑之士大夫及父老，罔弗协于厥议，忻忻然惟趋事、赴工之恐后也。李子乃陟岷降原，观形度势，测景揆

① 底绩：完工。 ② 是：赞同。

日，审向辨方。费以粮输，夫因丁役。画地分里，计堵均桷^①。下磊以石，上甃以砖。民自劝功，官惟督察。经始于万历三年三月，告成于十月。

城周七百二十丈有奇，高一丈四尺，垛高五尺。基广一丈五尺，上减四分之一。正门四，水门二。门各有楼，中创敌楼一，各高二丈。正门曰“拱岳”、“朝京”、“通淮”、“望楚”，水门曰“蟠龙”、“来苏”，敌楼曰“澄清”。则今巡抚陈公所定也。远而望之，楼櫓翬飞，雉堞焜耀。峻者峭若断岸，直者矗似长云。纡而回者如蛟龙之蜿蜒于霄汉，密而固者若松竹之磅礴于冈陵。墩台铺舍，翼翼绵绵；井洫沟池，渊渊郁郁^②。旌麾舒列，扃钥是严。昼侦宵逻，铃柝是节。盖一夫当关，万夫莫前者也。

邑之人僉谋勒石，请记于余。余惟城郭之设，所以蓄威、昭德、待暴、制敌，有关人国大矣。是故《书》著“勤墉”，《易》戒“复皇”^③，城齐、城朔、城谢、城韩，诗人咏焉；城邢、城郛、城郛、城防，《春秋》书之。虽美刺殊旨，要之设险守国，王公所必重焉。今天子冲圣嗣位，履太平之昌祚，抚熙洽之鸿图，四方宾服，万国咸宁。此正恭己南面，可以无为而治。然方与天下更始，即厓桑土、牖户之虑^④，圣谟弘远矣。一时抚按、藩臬、郡县小大之臣，咸怀忠良，祇顺德意，增修陴垒，保障封疆。是治不忘备，安能思危。所谓君子万年保其家邦者，盖如此。虽然，城郭者，先王之所重而非先王之所恃也。盖城以卫国，末也；人以城守，本也。不务其本而专恃其末，民或委而去之，将奚赖焉？在昔有周，武夫（千）〔干〕城^⑤，城以武夫也；宗子维城，城以宗子也。夫宗子、武夫，言人也。城

① 桷：疑“椽”误。 ② 渊渊郁郁：疑“郁郁渊渊”倒正。 ③ 见《易·泰》。城倒伏于隍上，喻国君倾危。“复”通“覆”。 ④ 厓： “勤”的古字。 桑土、牖户：指防患未然。 ⑤ 指《诗经·周南·兔置》“赳赳武夫，公侯干城”。

人，则公侯腹心；城坏，则独居斯畏^①。而孟轲氏亦曰：“地利不如人和”。且始见惠王，不言利而言仁义，抑以人之大伦^②，君臣、父子而已。人知仁义则笃君亲，以令则行，以守则固。李子以仁义治邑，于兹四稔。邑之人感之深而信之久。以故，事一举而功易集。虽动大众，损大费，民不以为劳而以为惠也。然则后之为令者，宜何如？亦曰：渐民以仁，摩民以义而已。仁义之化行，君亲之念重，则人和本固，自有效死勿去者。是今日之城郭，固万世之金汤，而天子明命，使赋赵、李诸公，所以是若天子之命者，不亦无疆惟休哉！

余不佞，因邑人之请，故记此以表李子之功懋而因以告夫后之令兹邑者。李子名有朋，浙江东阳县人。以举人前任福安，多惠政，复补今官。其先讳诚之者，宋嘉定间知蕲州。金人犯蕲，诚之捍御死节。宁宗立庙崇祀，赐额“褒忠”，蕲人至今颂其烈焉。李子克令若此，亦不遏佚前人光矣。

是役也，董其事者，别驾李子必闻；核其实者，司理程子正谊；而县丞徐尚纲、主簿林公义、典史杜嘉诏咸效厥劳，法皆得书。

重修谯楼、仪门记

朱廷立

古今之建官也，有公第，势存焉，制存焉，情存焉。夫民非官，罔理；官非公第，罔以治事。是可已乎？故曰势存焉。贵贱有等，宫室有式，将以辩上下^③、定民志也。是可已乎？故曰制存焉。守令者，为民亲者也。令亲其民，民亲其令。民为令治第，情也。是可已乎？故曰情存焉。乃今例葺公第，费出公帑，惧伤民也。如取之民，则假是以自利者就踪迹之由是，法密而情微矣。

通山有县，旧矣，廨宇岁久就坏。大门四壁立，且隘。乃又无仪

① 城坏，则独居斯畏：参见《诗经·板》“怀德维宁，宗子维城。无俾城坏，无独斯畏”。② 此句参见《孟子·梁惠王》。③ 辩：“辨”的通假字。

门，齐民直视。厅事堂萧然，无威也。县故无谯楼，瓦壁四落，败柱欹倚风雨中，然犹悬巨钟焉，过者趋步恐坠。嗟乎，陋矣！

嘉靖辛丑冬，桥东张侯来治吾通。见而叹曰：“嗟乎，若是其敝也！不图新之，吾能一日居乎？”乃谋诸土人耆老，咸曰：“费。”侯曰：“吾处费。”曰：“力。”曰：“吾率力。”曰：“上官疑，疑弗成。”曰：“吾治私第乎？即疑之，吾不避。”于是度地、给费、鸠材、号工，不数月而仪门、而左右门、而左右路整整矣。彻门与楼之旧，伐石为台，台上起楼。不数月，而台崇崇矣，而楼翼翼矣。楼之上，东设鼓，声欢欢矣；西悬钟，音铿铿矣。是费也，岂公帑出哉？民之情，役之而弗怨，其所以亲我者如是也。则予所谓情存焉者，非迂阔矣。夫以数十年之陋，悉一新之，期月尔已，然则侯之为是也，仰承德意以为理人治事之地者，不谓速乎。吾闻之，新沐者必弹冠，新浴者必振衣。继自今，岂惟从政者新其政理已哉？凡我通人，出入是门、由是路者，咸慎厥履，无自轻焉。则所由者，皆义路矣；所出入者，皆礼门矣。闻钟鼓之声而致思焉，惰者以勤，迷者以觉，息者以兴，放者以收。鼓，信可以逊业矣；钟，信可以立武矣。然则侯之为是也，以貽我通之人，不谓厚乎？

嗟乎！吾能为所当为，人曷疑焉；欲所当欲，人曷夺焉。弗是之思，而顾诿曰：“人我疑也，人我夺也。”则凡经久之政俱废阁矣^①，是恶在其为民亲也？然则侯之为是也，以告新令尹，不谓远乎？予感而记之。

侯名一拱，海康人。桥东，别号也。

胡公生像记

王守仁

胡公孟登，以地官副郎谪二兴国。越三年，擢知州事。公既久于其治，乃奸锄利植，而民以太和。又明年壬戌，擢浙之臬司僉事以

^① 阁：搁置。

去。民既留公不可，则相率像公祀之，以报公德。

先学宫之北有叠山祠，以祀宋臣谢君直者，敝矣。卜于左方，撤而新之。其士曰：“合祀公像于是。”呜呼！吾州自昔之乱以入于今时，虽文风稍振，而陋习未除。士之登名科甲以显于四方者，相望如晨星，数不能以一二。盖至于今，遂茫然绝响者，凡几科矣。公斩山购地以恢学宫，洗垢摩钝以新士习，然后人知敦礼兴学，而文彩蔚然于湖湘之间。荐于乡者，一岁而三人。盖夫子之道大明于兴国，实自公始。公之德惠固无庸言，而化民成俗，于是为大。祀公于此，其宜哉。民曰：“不可，其为公别立一庙。公之未来也，外苦于盗贼，内残于苛政。鱼课及于滨山之民，输赋税者担负走二百里之外。自公之至，而盗不敢履兴国之界，民离猛虎鱼鳖之患，而始释戈而安寝。徙仓廩近地，免于跋涉。公之惠泽，吾独不能出诸口耳。于乎，公有大造于吾民，乃不能别立一庙，而使并食于谢公，于吾心有未足也。”士曰：“不然。公与谢公皆以迁谪而至吾州，谢公以文章节义为宋忠臣，而公之气概风声实相辉映。祀公于此，所以见公之庇吾民者，不独以其政事；而民之所以怀公不忘者，又有在于长养恩恤之外也。其于尊严崇重，不滋为大乎？”

于是其民相顾喜曰：“果如是，吾亦无所憾矣。然其谁记诸石而传之？”士曰：“公之经历四方也久矣，四方之人其闻公之贤，亦既有年矣。然而屡遭谗嫉，而未畅厥猷意，亦知公之深者，难也。公尝令于余姚，以吾人之知公，则其人宜于公为悉。”乃走币数千里而来请于守仁，且告之故。守仁曰：“是姚人之愿，不独兴国也。公之去吾姚已二十余年，民之思公如其始去。每有自公而来者，必相与环聚问公之起居饮食及其履历之险易、丰采状况、须发之苍白与否，退则相传告，以为欣戚。以吾姚之思公，知兴国之为是举，亦其情之有不得已也。然公之始去，吾姚既尝有去思之碑以纪公德，今不可以重复其说；而兴国之绩，吾虽闻之甚详，然于其民为远，虽极意揄扬之，恐亦未足以当其心也。姑述其请记之辞，而诗以系之。”

公名瀛，河南之罗山人。有文武长材，而方向于用。诗曰：于维胡公，允毅孔直。维直不挠，以来兴国。维此兴国，实荒有年。自公之来，辟为良田。寇弃于垣，尸量于泽。公曰：“吁嗟，兹惟予谪。勤尔桑禾，谨尔室家。”岁丰时和，民谣以歌。乃筑泮宫，教以礼让。弦诵诗书，溢于里巷。庶民淳淳，庶士彬彬。公亦欣欣，曰：“惟家人。”维公我父，维公我母。自公之去，夺我恃怙。维公之政，不专于宽。雨暘维节，时其燠寒。维公文武，亦周于艺。射御工力，展也不器。我拜公像，从我父兄。率我子弟，集于泮宫。愿公永年，于百千祀。公德既溥，公寿曷浹。父兄相谓，（母）〔毋〕尔敢望。天子用公，训于四方^①。

重修崇阳城记

汪宗伊

皇上登极之岁，诏天下郡县皆城。睿智远览，至仁遍覆，海隅苍生，尽措之久安长治之域也。于是监牧之良，祇承德意惟谨。万历元年，巡抚都御史赵公贤巡行，城崇阳，檄武昌推官程君正谊经度之。周览山川，定其广袤。以学偏左，拓其左隅，亦相土之宜也。后缩三之一，维城之便。程君摄县，垒城石三尺许，民宜之。谯君田龙，以兴国知州来治县事，代之去。谯君料丁粮，赋市廛，民方虑始。工监即，城壮矣，乃棘其欲。春雨浸淫，城坏无遗堵。周君应中继之，令行禁止，取径再域，民不敢怠。又兴他役，遂辍前功。黄君学曾，宰醴陵有岂弟声。吏部奏，移崇。君廉民疾苦，一意休息。行之期年，度民可用矣。力请各邑修城之羨金不得，又请发仓廩，又议鬻余地以济民之急，民亦鼓舞竞劝。暮春东作，又弛役，俾尽力南亩。农隙庸之，必殚心思。以石为城，缝衔以石，筑之以土，冯冯坚实。其高二寻，基之厚二丈，面之广半之，周一千三百三十步有奇。垒甃为女墙，甃石为四门。门之上各覆以楼，以备守御。

^① 此文与《王阳明全集》卷二十三文字多有出入。

崇阳自唐天宝为县，洪武甲辰开设，二百有余年矣。至是，始克有城，不亦艰哉。《春秋》凡城悉书，体国经野，莫急于斯。以重民力，以寓褒贬。若莒城之恶，城沂之美，直书其事，得失炳焉。是役也，天子命之，城墉言言，容保无疆。邑令处财力俱竭之余，兴已成复颓之工，乃能不拂民情，不夺农时，事期底绩。不愆于素，此春秋之所褒也。城成，役者忘其劳，居者安其佚。士民商贾咸德君经营之善，相与歌神功于寂若。予闻国以人心为城，时方令，则壤平、赋蠲，逋裁费以利用厚生，盖固本宁邦之道，与设险域民之义，相为经纬也。君廉静节爱，民悦易使。既已成效，其益之无倦，须之迟久，使民生乐利，风俗纯美，百姓亲睦，众心成城。四境之内，隐然天险不可升也。仲山甫城齐，而诗勗之曰：“天子是，若必如是。”而后有以钦若圣心，永树保障之绩哉。乐观厥成，乃记其事，以垂永世云。

条陈惠政记

舒大猷

通城为武昌下邑。去郡五百里，而遥介岳阳、分宁之间，盘亘崇山。俗朴而民愚，垂白之老不睹宪使威仪。以故，奸宄罔诘，诱上行私，恣肆而无忌。邑务如粮税、里甲、徭差之类，蚩蚩听命，罔敢逆。余昔宦游时，乘公归省，目击政令，耳闻田野愁叹之声，辶蹙无能为，每长太息。万历乙酉，遭艰家食。凡输赋往役，习见而身亲之，则喟然叹曰：“何政与法戾哉？”夫两台奉天子德意，倦倦以休息斯民为念，行四差，行条鞭，不啻三令五申，无非作法以惠民。奈何四差征银，而里甲答应“如故”；条鞭总科，而各则复分追之？一役兼数人而为党，一马报四家而后定。夫无定制，饥罔赈恤，狐鼠蚕食，我民隐忍不敢控，此岂与民休息初意耶？

越三年戊子，邑饥且缺令。当路定署职以请，抚台梅敦邹公曰：“通邻西江，饥则可虞，署事者非府倅张某不可。”遂易原拟，径檄义庵公以往。先是，公令钟祥，守兴国，署崇阳，所至辄有惠政。无

论久暂，士民咸戴之。通民甚手额公，而他署者且至，父老相谓曰：“奚为后我哉？”忽报特与署，阖邑欣欣如再造，益德梅敦公知人且爱人。四月，公下车，首厘凤蠹，次核冗役，次赈饥荒，次省公费。抚恤里甲，调停夫马。威爱交济，飚行而露湛。父老弹冠相庆曰：“公何来之莫耶？”

越三月^①，巡台又以艰大相谕，督入会省。公尤强驻数日，定其规制：如输纳则易知，有单，兼里并收；里甲，则裁额外之办送；解户，则革三总之科敛；皂壮，则人充一役，屏其白丁；救荒，则计口给粟，劝借有差。舆夫用禁役，吏胥去久恋。凡奸宄为民蠹者，荡涤如洗。规制大定，然后束装端发。父老攀卧相泣曰：“公何去之速耶？”公谓法贵永赖，无征则不信。倘恶害己者，去其籍，法奚以久？又次第厘革诸条，请为久远计。当道嘉其请，咸谓良法。翼善政惠民者，当恒守也，行邑镌诸石。今读经画数事，上体休息至意，下察闾阎疾苦，一剔沿习之垢，与民相安于无事。条鞭四差，较若画一。昔之诱上行私倚法为奸者，自屏迹无所容。盖条分缕析、家喻户晓。虽有黠者，莫之或欺。守此五者，锡山隳水之民，岂复愁苦、怨叹声乎？父老又喜色相告曰：“公何来之莫耶？何去之速耶？何惠之久远如是耶？”猷凤太息于粉榆之政，每喟然于林栖之时。兹焉邑事更新，民若更生，乐张君之政，曷维其忘？乃谕诸父老曰^②：“惠政其不朽哉？将来其不愆不忘哉^③？”父老：“唯唯。”相与磨贞珉，勒所陈五事，竖之邑门。大猷不佞，特纪始末，以弁碑石。爱吾邑者，其尚有考焉。

公名仕可，别号义庵。蜀之涪州人。由乡进士、本府同知，时署县兴国州。

同知何君惟愈，本府教授刘君九渊，本县典史马彬，咸度惠政之可久，而乐观其成云。

① 莫：“暮”的通假字，晚。 ② 谕：劝告。 ③ 愆：违背。

吕公祠记

吴国伦

按：公姓吕，讳调阳，字和卿，别号豫所。起家桂林。于嘉靖甲午中粤西乡试，登庚戌进士一甲第二人。由史官历司业祭酒、宫詹侍郎、大宗伯，仕至光禄大夫、柱国、少傅兼太子太傅、吏部尚书、建极殿大学士。累赠曾祖以下三代考妣俱一品，录荫子弟凡四人。至万历戊寅，十疏乞骸骨归。上赉予殊厚，且遣御医视疾，行人护行。逾岁，抵家。越庚辰元日，薨于正寝。讣闻，上悼之，辍朝议恤。赐祭十一坛，追赠太保，谥文简。遣官行营、起家，仪章甚备。朝廷恩礼大臣，未有加于此者。其子与周辈，因建祠飨公，而奉公生前累受诰、敕及身后所膺赠官诰、御制祭文，并勒丰碑，用彰主上恩德。光延俎豆，泽沃泉壤。公之为桂林重，不啻九鼎大吕矣。

及楚兴国之大冶县，为公先世故土，而五世以上祖冢累累。茅潭里中，有司为禁樵牧。过者无不改容下拜，曰：“此相国里也。”且始封一品，是曰“鉴祖”。非即由楚而戍粤者乎？其泽未斩，其游魂未必不依依故乡。况公每怀五世反周之义，由鉴祖及公，才四世耳。公尝一过茅潭，展墓叙族，而与里人交甚欢。已，又治第州城，亲为其季子兴武议婚、开产业。将遂以州为菟裘，计甚深远，海内士所共闻也。

夫桂林，特公家徙戍欧脱^①。一借公重，遽使全粤为名都，而家庙邑社，蒸尝岁举，里人乃不得望而禋之，奈负公之灵何？于是父老因诸士大夫谋于国伦。国伦以告郭公达。达曰：“盛典也，愿身任之。”旋请于韩太守济。济曰：“盛典也，愿力赞之。”盖守为公所举士，而令则国伦门人。故议不待更端而定，役不待迟久而兴。事之所由举也，盖有会焉。

令既相地于县北里许，后负西里山，前临车马孔道。于是捐俸攄^②材，诛茅测景。建堂三栋，而即以神棲居其中。乃布露台，除甬

① 欧脱：边地。 ② 攄：布。

道，营绰楔为门。缭以垣堵，涂以丹青，夹植松桂诸木翼之。门左方为守祠者庐。而又买地若干亩，附祠左右，岁可得数金，为春秋二祭资。又砬石以待碑者，士大夫若向佺事日红、周光禄檟、徐举人立朝与二三县僚、文学博士时时佐令视成。盖经始于庚寅初夏，而即以其秋落成。

郭令于是筮期奉相国主登堂入榑，端冕而牢祀之。诸父老与行路之人观者大悦，莫不窃叹：“微公不能发山川巨灵，微贤守令不能举千百年旷典！”猗与，盛哉！

季子趋而拜之，俯仰徘徊，怵焉有深感，退而告国伦曰：“先相国志欲反楚而先家兴武于州，乃竟扼于疾而夺于年，恫矣^①、恫矣！犹幸茅潭有社，郭门有祠。庶几先相国之灵两在乎？若曰‘神依于人’，则兴武在此。祭有先河而后海，岂河尊于海哉？或源也，或委也，今即源楚而委粤，亦人心之安也。而况两在并裡乎？”国伦然其言，季子遂具书报伯子时，伯子已自光禄少卿稍迁应天府府丞。过家得书，大喜。因与二弟举人兴齐、中书舍人兴文遣使已致币属国伦记其事碑之。国伦忆尝为公作状，论其世已祥。兹不具述，弟述祠所由建，为里人风。

夫里人窃窃焉愿祠公，谓公起鼎甲，拜相位，冠群僚，名闻中外。望而裡之，足以张楚，如是而已。乃公所以能使人祠，而守、令、士大夫之乐于祠公者，则不以名位，而以立朝大节。故在朝则朝重，在野则楚、粤兼重。里人不尽知也，考国朝以一甲第二人入相者，自永乐苗文康公衷至公凡七人。而位极一品且得谥，则徐文靖公溥与公二人。乃若历官三十年，守正而进，见机而退，始终醇白。上下无间言，为一代完名，则公一人而已。嗟乎，此殆有韦相疏太傅所不及者，难矣哉。若其启沃三圣，师表天下儒绅；定礼乐，弘谋猷；夹辅勋劳，书在秘室。即士大夫有不尽知，何论里人？其为楚、粤交

① 恫：哀痛。

重而交祀之，公盖足以享之也。

国伦，楚人，请以楚事喻。昔者尹吉甫起房陵，为周内史，其后，周与房陵并祠之。孙叔敖以下里士为楚相，后楚王封其子于寝丘奉敖祀，而下里之祀卒不废。诸葛武侯其先琅琊人，后起襄阳伏龙山相先主保蜀，所在有武侯祠。琅琊、襄阳之祀亦并不废。则信乎，“神依人”哉。

公盖与三君子无古今，而楚、粤并有子孙族类为依，又三君子缺典也。

今公下世已十三年祠成，且二年而韩守与郭令亦已相继迁秩去。季子日过我以碑为请，遂自忘其老病，勉为之而系以《侑神歌》三章，章八句。一歌曰：灵之来兮自玉京，抚三素兮下太清。驾苍龙兮骖赤麟，霞为佩兮霓为旌。咫尺兮殊庭，陟降兮明神。拊鼓兮鸣笙，俎豆兮苾芬。二歌曰：灵之来兮自桂林，逾九疑兮渺洞庭。来鄂（诸）〔渚〕兮思故林，眷东方兮乐缤纷。考兰堂兮壁以荪，充椒桂兮缭杜衡。采三秀兮奏五英，酌元鬯兮气氤氲。三歌曰：灵之来兮自茅潭，焱一举兮明霞端。森玉佩兮鸣珊珊，手琼芳兮是耽耽。俨息驾兮湖之干，簇孔盖兮候青鸾。云璈璫兮魄来还，享明禋兮旨且甘。

涉江游三山记

吴国伦

楚之东界为樊，楚盖有三名山云：西山在鄂县城西三里，东距西塞山百余里。由西塞逆而稍南十五里，则有所谓回山，飞云洞在焉。

余少常游两山，颇爱其奇，然都不尽记忆。顷得顾子承先生书，谈飞云之胜，而未及与俱游。逾岁，乃与友人王行甫约。又逾岁四月望前二日，始得裹粮买舟，偕方山人仲美江行。回山飞云缥缈，霄汉俨然，拱而招余，余颇应接不暇。盖所见江上诸山皆东行，独此山回面而西，因名回山；而西塞山则又绕出其后，奔而赴江，为樊楚内蔽，因名西塞，两山迤相望也。

余三人从黄石矶登岸，行经小山数重，村落萧疏，岩谷窅窕，绝

类陶征君所叙桃源。路已，穿一峡如括，中复豁然闾朗，乃得复陇南行。不尽一里，道傍卧一巨石如人，长一身有半，其平如砥。则据而少息。仰视岩际，有飞泉緌落^①。可百余丈，绝似庐山瀑布，令人心目顿清。稍折而东一里许，两僧方除道迎客。入一柴扃，绕佛堂后得绝壁，可五百仞。上下两洞，深广不及寻，并有云气出没。上者类石楼，下者类蕊珠宫。洞底泉滑滑涌，莫知所自。元居士所称“异泉”是也^②。泉分两小涧，绕佛堂右出，渐出渐大。已，汇为坎，落最下一洞。茂树间不复可睹，第飒飒作雨声耳。二客既侧足扞石登上洞，窥其中无他奇。余遂惮险止洞口，列藉俟二客下，听泉细酌。已，又移坐坎石上，静听之。磷磷锵锵，如奏金石。亭午，共饱僧饭。且行，余独迟疑乡道上所见泉落处当是奇境^③，顾恨无所取径，僧亦逡巡难之。有顷，一苍头奋臂攀长条自缒而下，大呼得奇。行甫遂飘然以身尝险下，仲美继之，余后至。俯睨崖，极斗削不受足。则一人引縆维大树上^④，而以其垂授余。度寸寸自汲，可十余武。又数人拥竹梯下之。既下，即不知身所从至。得三石岩，深广皆倍两洞。其一即百丈泉落处。石多文理，如五色云垂天而覆。命之曰“锦云幄”。坐幄下观泉，泉反在外。连者贯珠，溅者屑玉。视道上望见时，又一幻也。其一石多玄色，玲珑璀璨如聚多宝。命之曰“玄玉府”。其一石多白色，如石髓流而忽注，缤纷连蜷，莫可名状。命之曰“滴乳岩”。岩各可受六七人，旋命扫除，班坐呼酒。以古兕觥浮二客曰：“此自世外一区，古今人足迹罕至。吾属以穷日造而有之。即巨灵之掌、五丁之力，无所用。藉令失此而去，虽日陟回山而岁卧飞云洞，何奇？此庶几有天牖乎？”客然余言，起而觥余，交错痛醉。反照在绝壁矣，徐躡梯引縆而上如下时。别僧去，过卧石，则又据而回观百丈泉，醉忽渐解，因命之曰“醒酒石”。是夜，舟泊道士矶下。

① 緌：长而下垂。 ② 异泉：参见元结《异泉铭》。 ③ 乡：“乡”的繁体字是“向”的古字。 ④ 縆：拉升用的绳索。

明日，行甫稍病醒，余两人曳而强起登西塞山。《寰宇志》称西塞：“高一百六十丈，周三十七里。”今所登乃其横江一面耳，山既峭愕，而其下矶水冲激震撼。盖吴楚要害地，如周瑜破曹操，刘裕攻桓玄，皆据此险取胜是也。其麓多怪石夹径，蹲踞相扼如当关者，不可胜数。石穷，见一荒寺。叩之，无僧。又西上数十折，皆蹑石梯行。梯穷，而道观出。观在山半，万石与万水争长为林，疑即玄真子栖隐处。拟造绝顶，则道险不复可升。第登楼，俯江北诸山，大者如百斛困，小者簪笔覆敦耳。乃长江自蟠岷来，不知凡几千里，东逝无昼夜，则元气之所乘哉。

属行甫病惫思归，遂罢酒送之附估船去^①，余亦与仲美鼓枻而东。吴子曰：“予登西山与西塞山，盖不胜其怀古而悲。上下数千年，代谢兴亡，尽一瞬也。夫王略霸图非有可恃，则何恃而不湮灭哉？”及过回山弄百丈泉，而探古初灵阕^②，则飘然有遗世冲举之思矣^③。

砖城记

朱廷立

世称闽海多材，予于肖云林公益信焉。嘉靖辛亥，公以地曹郎出二兴国，日吟咏自适。已，署大冶篆，则日事事。贻予书曰：“苟一当事，则忧戚痛痒与民相关矣。安得不劳也？”予叹曰：“善夫，言哉！根诸道乎，予将考政焉。”居无何，县大治，民颂大作。

县土垣，岁久悉败。往盗之官库如探私囊，莫敢问。公曰：“是不可无先事之备。”于是度地集工，环以砖城，望者称为壮邑焉。予闻叹曰：“善夫政矣，垂诸远乎！予将考成焉。”乃民财无所伤，公帑无所取，诸所费皆他处给焉。比新令敬亭王子畿至，公还兴国矣。犹捐俸金以补工需之未足者。嗟乎！世路滔滔，久不闻此事矣，乃今

① 估船：商船。 ② 灵●：同“灵秘”，神奇的奥秘。 ③ 遗世冲举之思：指修道成仙。

亲见之耶？

已，敬亭因乔南胡子希瑗与予有世好，托其问记。予曰：“人亦有言：君子之结民也，本之事功。事功所就，本之心术。心术之正，本之学力。学术不明，遂至失其心术之正，依随于时格。故今之从政者，凡所用心，惟上之所督责我者耳、劝赏我者耳。至于督责之所不及、劝赏之所不加，则曰：是芻狗也，亦何足顾？况乎公以州二署县事，则上之督责劝赏我者，不在是也。公也一破时格，而事遂以就。保障之功，民将永有赖焉，其业谓之不朽。此岂俗吏所能有哉！忧戚痛痒与民相关，公所致力处也。家学相承，屡以得效谓事功，非自心术耶？谓正心术，非自致学问耶？明正学以为民坊，亦若今之冶城然矣。岂曰：冶邑之人得遂其安养已哉！闽海多材，信非虚语矣。”

观音岩记

朱廷立

县之西南，群峰秀异。耸然直逼霄汉，曰雨山。云：山多泉石，神龙所都。霖雨时行，多自此起，故名焉。往予以侍御史闲住者三年，以太仆少卿疏疾家居者将十年。凡通之山水，历览殆遍，独少兹山一游，然未知有观音岩也。

嘉靖己酉，予以礼部侍郎罢政，复寻旧日工课。明年，友人乐桥东向予言岩胜不辍口。予听之，宛然岩之在目也。欲与俱往，维时方春，农事孔棘不果。

是年十月望，予往先大夫方伯公里，九山韩子、赤崖朱子、犀溪郭子偶在焉。是日，宿湄溪。明日，指顾山形问讯水源，雨山乃发迹处。予望之兴动，欲了前约。适路人有言雨山人知予等来者，予四人慨然就道。桥东惜不与，岂去来人让未去人邪？路入罗城，转黄田，皆予平昔所未迹。山川初识，瞻眺一新。相逢村老悉古朴，有前辈风，令有远想焉。至福寿寺，寺无佳处，一味幽僻耳。地主鲁氏携尊，为之少憩。去寺，宿程大本宅。

明日，行十余里，雨山渐近。平日所望西南群峰，今在目前矣。

入山口，渡石桥。登山，僧披衣仓皇下山迎。穿林傍石，隐现无定。至，曰：“不如尊客即顾。”予笑曰：“予何尊客？山林狂叟，来与老僧借览山胜耳。”时从者步健，先登至山半，惊咤欢呼，若有追而获者，予乃知岩所在。须臾至岩，予等仰面羨曰：“以昔所闻，讵能尽此岩哉？奇观！奇观！兹来不徒矣！”

岩高十余丈，异石累累，珠联星附，无虑万状。其独出而下垂，本渺而末巨，状如锦囊孤悬虚室者，视他石为最异。中露一孔，其深隐隐金光一点灼然而外射者，观音象也。造化委形自然之巧，有如此者！世所雕刻普陀岩，何可及此？岩端古木斜出如盖，其根抱石盘曲如蛇虺，又不知其年数。岩险不可梯。僧曰：“村中人以金碧新观音象，则必呼山下金斋公。斋公至，则拜岩下，祝曰：‘吾上岩，取观音。’祝毕，攀援乱石迂折而上，人望之犹猿之援木然。至，则从孔中入，取观音，系负于背而下，又犹鸟雀出入于其巢然。其送观音而上，亦若是。盖十次矣。”嗟乎，危哉！设失手堕足，骨粉如矣。韩昌黎登华山，至绝险处，挽索悲号，斋公反胜之耶？盖所恃者，谓观音必相之。故其神全而无恐。《列子》所述登高山，履危石，临百仞之渊，背逡巡，足二分垂在外者，是之谓矣。览毕，由东复渡石砦而上至佛堂。青山四抱，如张画幅。钟鸣，四山皆响。香烟飘散，轻裊林杪，若轻云之过我也。石下泉流淙淙，有声入云。春来泉盛，瀑布遇石而激，如雪片片飞溅人衣。

夫以予所游诸山，此为第一。乃游者则甚少，岂其地僻尔乎？使当冲剧，则游者月不知其几矣。世有负庞德而弗自耀，又无有荐之者，终老岩穴，与此山何异也？徘徊指顾，肺腑清润，绝无渣滓。窥此境界，识此气象，始谓之大观。如徒曰：是为某山，是为某水。胸中无得也，何取于游？口占一诗，书以贻僧。

日落，下山至韩氏。宴楼上，剧谈山胜。惜未能一宿其上，细览其余。追忆嘉鱼李大崖游衡山，与诸友约曰：“七十二峰，一峰不尽一日，不游。七十二峰不尽遍，不归。”何其豪也。予等所游，曾不

浹时，风流不及前辈远矣。

明日，出韩氏，饮黄氏宅。黄氏兄弟具文雅，雨山地主，桥东内家也。为之尽欢去。黄氏、金斋公携茗碗逆于路。予笑之曰：“今复能上岩邪？”曰：“老矣。”予问观音岩中宽隘，应曰：“中容一儿，前容一人拜，其高可直立一人伸一手。”然予所见，特拳石一孔耳。人虽入，恐不能仰且旋，今若是耶？物远视则小，可以知岩之高。

出雨山，众谓予宜为记，予惧焉。夫山川以人而胜，兹游也，兹山增胜耶？犹夫旧邪？其人可知也，斯不可以无惧。是故，君子于其所谈笑，箴规存焉。于其所游乐，警戒存焉。何往非学业哉？是不可以不勉。

移建江夏儒学记

陈凤梧

古者学校之设遍天下，《传》所谓“家有塾，党有庠，术有序，国有学”。盖当是时，无一地而非学，无一人而不学，其详且密有如此者。三代以降，学校虽设，然其制疏而不周。邑附于郡郭，则不复建学，如江夏县。宋初，止就鄂州学别为一斋。绍兴以后，悉附于州学。元亦因之。于邑且然，而况党术之间乎？圣朝稽古制治，文教大兴，凡附郭之邑皆有学。其殿堂之制，师生之额，视诸邑无异焉。下至于乡间里巷，亦立社学以教之。盖即古者党庠术序之遗意也。于乎，盛哉！

按《志》，江夏县学国初在黄鹄山北，寻徙归厚坊。其地比于市井，喧嚣湫隘。司政教者屡欲迁而未果。弘治戊午，监察御史余姚王公恩来按湖南，风采大振。间谒县学而退语诸生曰：“学也者，上以崇圣贤，下以育材俊。是地，奚其宜哉？”遍择于城内外，无一可者。最后，得贡院之西凤凰山下。高明爽垲，乃卜迁焉。维时巡抚、都御史阎公仲宇议以克合王公，遂命冒太守政董其事。前为棖星门，次为大成门，中为大成殿。东西两庑翼之。殿后为明伦堂，为存诚、至善二斋，而庖廩饌堂附焉。明伦堂外，为师儒廨舍者三。东庑之

东，为诸生肄业之舍，凡五十六间，厘为七区。舍之南抵于通衢，为学门，则直棂星门之东。经始于是年冬，甫一载而告成事。轮奂完美，像设显严。其费计白金二百五十铤，皆王公赎刑所措画者。官不竭财，民不告劳。士大夫行而过者，咸啧啧称叹曰：“是学之形胜，殆天设而地藏之以遗今日乎？”

后六年为弘治乙丑，凤梧奉命来典学事。至，则淋潦之余，斋舍就颓。幸而分守参议吴公世忠、分巡佥事郑公岳，实维同志，加意于学。郑公先出罚金若干，付知县王铉葺之，于是斋舍复完。吴公则以圣贤像位礼不可褻，乃各护以龕几，垂以帘幕，而时其启闭，扃钥加严焉。正德丁卯，凤梧令再葺之。复于堂南设屏建门以辨出入，而制益备矣。先是，旧学历数十年未有举于乡者。莫迁以来，仅二三科，登名盖累累有焉，士以是欢趋之。呜呼，岂其然哉！

《书》曰：“天叙有典，敕我五典五惇哉；天秩有礼，自我五礼有庸哉。”典礼出于天而具于人，然所以惇而庸之，非学校不可。故聚民之俊秀而教之，盖欲其明人伦、兴礼教，以一道德而同风俗，岂区区于科目焉而已哉？而人材之盛衰，科目之多寡，又未必尽系乎学宫之向背何如耳？大抵君子群居讲习，必有清旷幽闲之地，以为藏修游息之所，然后可以居高明，远眺望，否则志烦虑乱，视壅志滞，而能有成者鲜矣。诸生继自今，益求乎其内，而无徒务乎其外。穷有所养，达有所施，以为学校荣。若徒恃山川之胜，而溺志于功利，岂今日所以建学之意哉？凤梧惧王公之绩久而磨灭，又惧诸生趋向之靡定也，故为书其迁建之本末，刻之学宫以告后来，因以为诸生励焉。

炯然亭记

邹守益

炯然亭者，吾友武昌朱子礼之所作也。子礼为诸暨宰，受学于王阳明先生，闻炯然良知之教，以省其身，以修其职。政成，入为监察御史。益思为德为民，以充所学。独惧其弗习也，作亭于所居，以识不忘。嘉靖己丑，按治于维扬，执讯金陵而论学，因以问记。

守益尝预闻良知之教矣，天命之性，纯粹至善，炯然在中，随感而应。范围天地，曲成万物，而各中其则。以言乎己，谓之明德，以言乎人，谓之亲民者。执规矩于此，而千方万员^①，率由以出，是圣门一贯之蕴也。子曾子发圣人之蕴，而易之以“忠恕”。中心为忠，无所偏倚，而炯然之大本立矣；如心为恕，无所偏倚以应物，而炯然之达道行矣。《大学》一书，扩忠恕之教以教天下者也。天下之平亦大矣，而不出于絜矩^②。矩也者，天然自有之中，而千方万员率由以出者也。天生蒸民，有物有则，孰无是矩者？患在逾之而不能絜之耳。如恶恶臭，好好色，所以不逾矩，而立忠也。所恶于上，毋以使下；所恶于下，毋以事上。所以絜矩而达恕也。圣人之学，以不逾矩为极功。然十五志学，三十而立，四十而不惑，皆所以求不逾矩也。故曰：下学而上达。达之为义，炯然精明，行著习察者也。行而不著，习而不察，摹方效员而昧于规矩，仁者见之谓之仁，知者见之谓之知，百姓日用而不知，盖知炯然之学者，鲜矣。“莫我知”之叹，伤夫终身由之而不知其道者也。“知我其天”，“五十而知天命”，良知精明与天合德，天即圣，圣即天乎？天之体，本明也，昏之以云雾，云雾扫而炯然矣。故曰：浩浩其天。水之体，本明也，昏以潢潦，潢潦净而炯然矣。故曰：渊渊其渊。人之良心，本明也，昏之以物欲，物欲屏而炯然矣。故曰：肫肫其仁。曾氏之称夫子曰：浩浩不可尚，仁之肫肫也；江汉以濯，渊之渊渊也；秋阳以暴，天之浩浩也。

呜呼，炯然之德也，其至矣乎。勗哉！朱君传而习之，夙兴夜寐，式克弘于遗训，则出门如宾，承事如祭，立参于前，舆倚于衡，是炯然者将无待于亭而得之矣。

咸嘉社学记

赵 迁

社之有学，夏、商、周三代庠、序、校之遗意，即古之所谓小学

① 员：“圆”的古字。 ② 絜矩：法度。

者是也。古之士，八岁入小学，十五入大学，由小学而升诸大学。学非有小大也，盖小学则学之始，大学则学之成。是故三代之上，非后世之所可及，以学之有渐也。惟我大明御极，历数世，圣化之久，学宫遍天下，而乡社亦在在有之。人文之盛，与三代而匹休。猗欤盛哉！

湖广武昌郡之属邑有咸宁、嘉鱼相接壤，而学之在社，尚有阙焉。正德岁之己卯，副都御史、东湖吴公适奉玺书有事于此，惻然念后学之士不可不教于蒙而得养正之地也。乃谋诸乡耆士大夫，卜诸二邑之交，山幽而水清，得涵养本源之趣^①。市材鸠工，命有司董其役。乃撤其所自为屋而立为正厅。厅之后为书馆，各三间，礼夙儒而主之。东为号舍，凡六间，以栖诸生。西为厨房三间，以便炊爨。缭以周垣。垣之外，杂植松竹，郁然成阴。大门左为宾馆，以接宾客之远至者。仍置田一顷七十亩，与民佃耕，岁除税外，取所余谷五十石为师束（修）〔脩〕费，及子弟之贫而愿学者，悉以周之。噫，公用心仁矣！

事既落成，咸令尹吴君聪、嘉令尹陈君文伟议于咸庠司训李君玠，走书丁宁于迁，谓迁志楚史，宜记斯社学之颠末也。夫天下之事莫重于始，社有学以养蒙，所以教成人之始也。始之不教，正本失矣，曷以望其成邪？君子之作事谋始，东湖公之是举也。吾知二邑之士他日彬彬礼乐，底于大成。或足以践功名，以善达天下；或足以践道德，以善达圣贤。渐有成效，伊谁之力与？东湖公建学之力也。虽然，二邑之先，孰不有是举、孰不有是心之同然者哉？久而玩，玩而愒^②，愒而泯焉，势也。吴、李诸君磨石以记，得此心之同，然将不独一时之士可以兴。孟子曰：“豪杰之士，虽无文王，犹兴^③。”百世之下岂无兴之者如东湖？而士之犹兴，岂无此豪杰者乎？东湖公功被

① 趣：疑借用佛教用语。本指众生轮回的去处，这里泛指处所。

② 愒：休息。 ③ 此句见《孟子·尽心上》。

天下者，不可胜纪。此学之一事，亦政之首务也，是宜记焉。

岁在正德辛巳之七月，适嘉靖龙飞之始四月也。

嘉鱼重修庙学记

方逢时

仲尼之道，师表万世，为群圣之宗。历代尊崇，设像祀之学宫，礼王者，至隆重也。逮我皇明，其尊崇之典，始亦因先代之旧。至世宗肃皇帝，谓今之王爵下同人臣，非所以为尊也。制彻像，去王，尊称之为曰“至圣先师”，改大成之殿曰“先师之庙”。故自国都以至卫、县，莫不有学，莫不有庙。其在嘉鱼，前代无论矣。洪武之初，庙建于龙潭山之阳，学则在于城南，分两址也。既而迁学于庙之后，前尹吴江莫公修之，而督学韩公为之记。正德之季，督学风梧陈公捐俸修庙，而“明伦之堂”则未暇及也。嘉靖戊子，学迁于北门之内。己亥，复迁于“三忠祠”之基，仍两地也。迩来六十余年，学既颓坏，庙亦倾圯。笱豆之所、对越之位，鞠为茂草；春秋之祀，备故事而已。

乃万历丙戌之秋，漳平蒋侯来令吾邑。恭谒先师，见栋宇摧颓、涂蔕剥落^①，乃隐然于心，顾师弟子而言曰：“吾夫子之道，如布帛菽粟然，吾人不可一日无者。而祀飨之所倾败若此，于心安乎？而况朝廷崇儒重道若是其至也，吾与若职忝师儒，置而不问，其如朝廷建学之意何？其如先师之道何？抑何以免于法吏之议？是在我矣。”乃欲大有所为。于时水旱荐臻，弗克如志。乃先有事于庙，以妥神灵。木石之费、甃堊之需，分毫不取于民。乃捐私俸，市材陶瓦，命匠鸠工。朽者易之，欹者正之；卑而窪、高而跂者筑之、平之。门甃以砖，周垣以土。殿宇庙庑飏然维新。

师弟子欣欣然相语曰：“昔者荆榛瓦砾之场，今变为朱甍碧瓦之所，非我蒋侯，孰能为此？蒋侯之政可谓知所先务。作人之化，于是

^① 涂蔕：一般作“涂堊”，涂饰。

而可征矣。是不可以无记。”相与征言于予。予既为述其事，乃揖诸弟子而谕之曰：“侯之斯举，固为不扰于民，而其意盖示诸生以为学之方也。夫天下之事，求诸人者常不足，求诸己者常有余。圣人之道虽大，而原于人心。万物皆备，反而求之，在我而已。故夫子之教有曰：‘譬如为山，未成一簣止，吾止也。譬如平地，虽覆一簣进，吾往也。’蒋侯盖有得于此，而今举之以教吾嘉尔。不然，诸生日驰于言语文字之间，而无得于身心之实，虽庙貌之修，栋宇之饰，谓有司者自尽其职则可，于诸生何有焉？是则蒋侯修建之意也，诸士勗哉！”

嘉鱼县程侯修城记

雷士顺

古者立国，城郭与宫室、宗庙并建。城者民之卫也，民则邦之本也。堕其卫以拔其本，岂计之得乎？故虽时极隆平，未有不城而治者。乃宇内郡邑治以不城者，亦复不少。聚庐而居，折柳而樊，固可几幸无事，质之设险守国之义，当不其然。我嘉鱼虽古治乎以山川参错，城之匪便，此有邑以来一大缺典也。正德甲戌，陆侯讳槐者，始筑土城。都御史秦公发旁邑粮储以佐厥工。顾滨江洼池，土城易襄^①。万历戊寅，抚院陈公疏请改立砖城。邑大司马方公规议官任费而民任力，庶瘠邑贫民不惊畏而思徙走。当道用其言计，处三十余金。吴侯讳骅，督修报竣。不两年而再圯，则匠作无法苟完，而工不坚也。至辛丑，庞侯讳一德，议以洲价为重修之费。院道报：可。阅岁，而复为完城。垂今几四十年，而全圯者、半圯者，又复如是。

崇祯甲戌，程侯蒞兹土。次日，登埤周望，愀然曰：“此何时何地，而俾城坏至此？且不堪视，詎堪恃乎？前之人留以俟后者，岂其不念民卫，亦时绌不敢举赢耳？吾将任之。”辄解囊金若干，付窑户领造砖灰。召匠估计，买料给工，具照民间常值，无亏短丝毫者。官

① 襄：疑“坏”形近误。

帑无半分可动支者，工皆雇募，无役民力半日者。计城内外之全例，共计百有余丈。周城腰墙，共计一百八十三丈。全修垛子三百六十个，半修四百二十个。补砌盖城楼四座，全砌盖者一座。新增守宿窝铺二十一间。新增栅栏二座。闭塞便门二处。通算支过银五百八十七两有奇。无粮储金钱之助，无洲价之乞。惟故民郑朝魁妻张氏有夫存日卖田留金，今送助修城一百五十两。乡督王廷元送出赎田菜、麦二十两，又助工二十两。侯之任费者，四百金。该捐已贲，非第捐俸薪、捐赎醵已也。

工告成，士民乐之，议勒功德于石，以垂不朽，且托名公撰述，以重其事。侯谓士顺曰：“牧民者补苴牖户，是本分事。有如借誉显贵，是施劳也。倘必计以示劝，则知我尚无子若。子其据实纪岁月，俾后人知城所自始，所自颓，所自修而止。必无文，无誉，无烦言，令吾有不安于心者。”士顺虽不敢当而不敢辞，承命志其大概如此。

重修西河桥记

孟养浩

西河之有桥，自张令君始。而人知有桥之利，而不虞河之害，则今二侯之伐云。

盖咸，孔道也。南通舜梧，北指尧柳，东西日月出入之所，靡不有车辙、马迹焉，而咸介其中。西河之水逼于城不数武而近，上合众流之冲，而下汇为湖。广褒数十里，粘天浴日，时阑入为河患。春夏之交，强悍善溃。汹涌砰磕，望而魄悸，所从来矣。

曹侯甫下车辙，延见邑父老问民所疾苦。佥曰：“善哉，大夫之言，邑孰有甚河患者？往张侯举之而中废，是固大夫事，岂惟咸幸？冠盖之往来，实式灵之。”侯曰：“唯，唯。”乃捐俸为资，伐石于山，诛材于麓。拮据其间，寝食几废。邑幕何公复毕智佐之。未朞月，功告成。輿者忭于途，辕者颂于逵，襁负者举手加额庆也。而侯适以迁宁国丞去。

今令君周公，睹而嗟异焉。盖骇其成功之易，而忧其拮据之难

也。其所为覆而饰之，奠而植之，孜孜焉，殚心力而图之者，视曹侯有加焉。而桥之功，遂以不朽。嗟，难矣哉！

诸生、吏民迫欲得余之一言，以示永永以无隳大夫之烈。余惟大役之难就，而功之不易成也。创之者难也，匪创之者难振前人中废之业而有其成功之难也。夫张侯始桥西河，不中道而蹶。后来者呶嚅喝噤，不出片语及桥西河事，岂尽物力拙哉？自爱其才，欲无受劳民伤财名，宁袖手民之鱼鳖而莫之拯恤耳。两侯甫弭节而力肩艰巨，不烦水衡一钱^①、司农斗粟，阅数月而告成事。平磕礧之洪浪，弱阳侯之汹涌。援千百之命于波臣齁齁之余，而置于平原达路间。官无废政，民不知役，是皆山川之所效灵精神之所凝注。振前人中废之业，而有其成功，奈何泯默无述也？语曰：“前事之不忘，后事之师。”夫桥能成，而河不能无溃。张能得之两侯，而两侯不能得之。异日有如暴风雨潦竭力以攻吾桥，而患苦我父老子孙，则侯之方策在矣。侯若曰：“毋滋，波臣实逼处此，以与我父老子孙争此桥也，是后之君子事也。余二人将有赖焉。”

不佞、邑人从父老后，则窃闻衮衣、章甫之谣，而述其大致如此。

通城便民仓记

徐应斗

长人者而欲有所竖建于民也，必有惠爱实心，经久远虑，又不惮勤动之劳，而后可善其利于不穷。通阻山溪之险，额运、南兑二粮四千二百有奇，每岁输甲、收解、仓屯、船运用耗不费，至每石派银四两，费且十倍正项。

杨侯莅通，咨访利害之端，而首及此，大为痛心。今年春，旷然虑永久、规便宜，鸠材庀工。较水陆远近，于星桥铺所建仓一座。分间为十一，度深絜广，储贮运可四千。正启厅堂，旁翼两舍；列张门

^① 水衡：皇室库藏。因由水衡都尉丞掌管、铸造，故称。

甬，周繚垣墙；更横甃叠岸岿然，会计一大观也。每岁秋中，亲临仓所，限日注收。计月米齐，随即分运，转解南运，漕兑之务，取次可完。向所苦仓屯、船运派四、倍十之费，一概可省。为通破除积蠹，兴建永利，真亿万年不朽功德也。且民便于转运，而莅兹土者，免拙催科。民乐于奉公，而操国计者无忧困乏。足裕之谋两得，光辑之效可臻。孰非侯真心远虑，爱民如子，治邑如家，而不惮勤劳之貽贄哉？第非常之原，侯创其始。更藉后来者以续芳猷，推广德意，补其所未备，维持之于有终。其为通民利赖，宁有纪耶？是役也，始工于初夏，终事于仲秋。

通民睹其成，乐其便也，则有歌于载道者曰：“孰释我劳？孰与我逸？乃建斯仓，惟侯之绩。孰任其劳？孰享其逸？乐只君子，永世无敎。”乃二三耆老以为此，碑于口者也。不藉一言，无以征永久，就而问记于予，予为摭其大概若此。

侯讳浩，号西濂。选贡，蜀之内江人。董其事者杨幕君，讳九成，号小桥，直隶太兴人，例得附书。

遂书之，畀乞言者，俾勒石识永焉。

重修武昌县学记

孟绍庆

粤稽鄂渚有学，国初创县市之西北，继而迁南关外仅百武许，其址即古南国作人地也。东山耸翠，西竺标奇；且合七泽三湘之水，汇而为湖，以停畜于其前。诚楚甸之巨观，而为崇祀之胜景也。矧地势绵坦，宫墙阖闾，体制颀印。乃其中端奉先师，环列配哲，而后先翼道诸儒，从祀于两庑。譬之太（薇）[微]，而列宿共之灿如焉^①。因而海迪有斋，藏修有所。以是二三博侯，日率青衿讲艺课文，其法一禀于孔氏而他不与焉。故士之应制而出者，或以气节著，或以艺文显，代不乏人。固因川岳攸钟，乃若渐摩陶淑，谓非立学之所致与？

^① 共：环绕。

第庙制有废兴，经营有详略。不佞先大人曾登之记业且明备矣。慨自高侯修葺后，岁月变迁，风雨摧折，蝼蚁蠹损，乃兴者日废，而制非其旧矣。

丙申岁，何侯自蜀令鄂。下车谒庙而四顾之，喟然叹曰：“尼父，百代之师。士子，四民之表。学校，万化之源。而报德报功，右文养士，诚不可不汲汲焉而为之所也。可令其圯靡而莫之振乎？司铎者谓何？而宁能辞其责哉？”乃命匠役，远求博采，得美材若干株。遂諏日鳩工，俾官以董其事。每乘公暇，不次阅视而饬廩之。至若糜费不貲，俱捐己俸。而公帑私役，毫不资借。乃戒之以勿亟，申之以虑终。视其事若家事，务祈久远，必一劳永逸，乃可由是。首正殿、次两庑，其工渐举，其材孔嘉。而其经制，又夙所称宗庙之美。以视旧制，不材巨而功伟哉！

维时例有释菜礼^①，以告成于庙。侯循故事，率师生祭奠，而一时从迈者，争快睹焉。畴不颂侯崇儒重道之盛心？而于继往开来，两攸赖也，可无记以垂不朽乎？余时以晋贺祝厘，便道于鄂。匆匆戒行而博侯金君、王君征余言以记之。余便欲搦管纪其事，以侯力辞之，乃止。及入滇久之，新任博侯田、杨、杜三君，遣人緘刺，万里外复征文于余曰：“何侯入觐毕，乞陈情归养。上可其奏，不允辞，暂许归蜀省二人。未几即擢大名府佐，恩至渥也。夫获上得下，均之可纪勒者，况往者学碑之请乎？”余感诸君敦求，而仰何侯伟绩，遂遐想其事，而为之记曰：“明兴二百余祀，人文辈出，所从来矣。何侯振作以往，无论贤科，接武迈出伦等，诚千载殊邁也。所谓南国作人，于何侯再见焉。誉髦之颂，宁不异世同符耶？至若宣圣谕，旌良贤，礼耆硕，奖节义，优荐举，勤考核，时廩饩，疏湑泄，课桑麻，平赋役，缓征输，恤鰥寡，广储积，剔奸烛照，听讼神明。种种善政，不一而足。乃其服中使，却横征，罢矿税，又时政之最不便于民者，一

① 释菜：古始入学礼，以芹、藻之属礼先师。

一调停而力沮之。其为民造福远害，何无疆焉？而此碑之勒，亦甘棠之遗意已耳。余特表而出之，以风侯之造士爱民者。

侯讳以让，字师仁。而“环斗”，其别号也。万历戊子以《易》魁于蜀，而为涪陵之世胄云。

武昌县儒学学田碑记

杨正奇

古者，天子令郡邑各建胶序以造士。而汉文帝诏士，以为纪纲风俗倡。至高皇帝，亦曰：“天下风俗自士始。”夫士也，萧然环堵，呻吟章句。兀轴之内，尺武绳行。不伍农功，不识三倍。甚则居室之伦不无戚于旷，松（揪）〔楸〕之应不无歉于时。以至寒暑之絺纻、藜案之灯火，不无肘见而尘冥，而且漠然曰：“无恒产有恒心，唯若辈能也。”是何纪纲风俗乃责之能，而不一为之计生产乎？

武昌之学，向无田也。自蜀内江刘侯号同吾、讳体仁者，莅政兹土，因寒士数人呈请预备仓储。侯以为此饥荒救赈之设，非所以待士也，遂慨然捐俸，多方置有田租，以济寒素，以见造士盛心。申明院司道郡，欲勒石立碑而读礼未果。后三年，韩侯父母斯邑。兴贤育才，雅化作人。固已人人诵旱麓之鸢，鱼歌新樛之云汉矣，犹以寒不一士，士不一费，若前课未足广其施而周其乏复。捐俸置立田租，以示矜恤而普慈惠，每岁令礼吏督收，与学关会，而免豪猾之侵渔。岁有常赋，士有常给。详报监司台直，无不忻赏，而乐寒谷之回春焉。昔智明令隆虑立田育士，士比于神君。圣天子诏而问之曰：“汝何术而治斯邑而得士心若此？”对曰：“臣不忍饥寒及士子耳。”寻擢中丞台，韩侯之谓乎。而后士乃从容于俎豆，养重于丘园。束帛之贲，士以光濯磨其心，而轨度其行。人争服于礼乐而风俗以维，则安可云“恒心必有，而恒产可独无”也？唯是饮芳泉者，敢忘其源哉。不有创者，无以启同心；不有继者，易以湮先德。刘侯创义于前，而韩侯继美于后，均所谓“养士以致民”，而曲体我国家作士之心也。后之君子，有能感韩侯而兴起者乎？是韩侯之造命士人更穷矣。

韩侯者，号晓寰，讳东明，帝邦之安肃人也。并记焉。

重修社稷山川坛记

孟绍勋

先王之制，凡有功德于民者，载在《祀典》。故郡邑有坛，乃为民立，用昭生成之报。

洪武初，知县谢侯遵制首创。以西为阴之盛，设社稷坛于西郊；以南为阳之盛，设山川坛于南郊。各去县治半里许，有神厨、斋寝等房。历岁既久，坛尽倾圯，址为牧地。

守者用悻邑剧事丛，自赋税、讼狱之外，谓之不急；惟循吏视此为先务。辛未冬，浙东阳李侯来知是邑。越明年仲春修祀，目击旧仪空存，嘉气湮郁，尤念民社之寄，自古为重。遂捐俸命工，崇乃坛壝，整整然饬乎尔；建乃斋所，沉沉然洁乎尔；环乃垣墉，委委然拔乎尔；肃乃奠瘞，森森然凜乎尔；悉乃物仪，秩秩然萃乎尔。题西所匾曰“祈报”，题南匾曰“禋祀”。规制大备，视前改观。由是神灵已妥，侯忠爱之心、昭格之诚，俱可识矣。神人不胥悦乎？

于是，耆父峻民属余为文，以纪颠末。余曰：“勋非能文者也。虽然，俎豆之事，则尝闻之矣。盖天生时，地生财，莫大于土谷。人非土不立，非谷不生。默相者神，故社祖后土勾龙氏，稷祖后稷周弃氏。曰雷雨，曰山川，曰城隍，皆民物之资，备三极之道。稽诸风散雨顺，箕毕主焉，《周官》所以禋燎也；雷霆鼓舞，《唐礼》所以同坛也。食报享祀，宜矣。且《祀典》行于郡邑，惟先圣先师及社稷山川达天下，亘万古尊奉不替，实为政教之本。自非达礼之原者，不能急流俗之所缓。明此以致治，王道不其易易乎？迺来雨暘时若穡人成，功祷应如响，有由然矣。侯自莅政初，首倡作人化淑，艾我士子；兹又务农重谷，祇肃祀事：是知幽明之故，诚政教兼举，蔼然学道爱人之遗风。故特书之，俾督事者用。勒于石，以昭不忘。

学田记

刘景韶

语曰：周士贵，秦士贱。诘直教也与哉，盖亦养之殊致云。周人百亩而彻，士有恒产，得以操缦而息之，以游于田矣。惟是人人有贵于己者，靡不有学，靡不有田，是上之所勩^①然也。周衰而井田废，陵迟以至于秦，六艺从此缺焉，止特贱乎哉？惟士无田不有康食，齐民末业，什则下之，亦犹邹鲁之于曹邴氏也。以其故，多去文学而趋利，不足以为士矣。君子观之其所谓养与教，不可稽。夫明兴，建学遍天下，其法盖准诸虞周。邑诸生亡论正业，即岁复其身，既廩其高等，输之成均宾兴，其贤者食之禄足，云“不家食矣”。顾田未可井授，无岩处奇士之行而长贫贱，以取给于上焉，是有司之守也。有司斤斤簿书，月旦、望一至学舍，谒夫子，为诸生陈说训诂大义，察其无所为养与丧也者而周之，世称良吏。誉隆且去，遑恤我后？即周之莫能遍，且难乎其为继矣？有能教之周之，摄虑而继之，盖既去而不能忘之，则胡侯之于兹崇人士也。

侯所课士、予谷、给膏火，菁莪其俗，语在《循治纪》。已而，政成被召。侯且依依念诸士子，复为捐俸若干，买田一区，俾学舍掌之以特周焉。田在郭南三里，凡若干亩，岁可收谷若干石。士所取给以养以相，愉快于冠婚丧祭之间，而其教益章，是侯所为周之万年一日也，且令后世得以观择嗣有兴焉。斯可继也，亦为侯贻之也。邑有学自国初始，学有田则始自侯，惠泽岂其微哉！嗟夫，是田也，古之遗爱也。胤是，而修礼以耕之，陈义以种之，讲学以耨之，本仁以聚之，播乐以安之，是在诸士之力田，无负置田者之意云尔矣。若名业或不相得，因缘为奸罔^②，士不周自贵而秦自贱，则吾岂敢知之哉？

侯去崇之明年，诸士雷生某等相与茹侯之爱不朽以告署县陈君某，博士廖君某、周君某、田君某，属余记其事于石。余故论著其大者，而主计、擘划、条法，具列诸碑阴。

① 勩：磨砺。 ② 罔：诱骗。

侯名秉性，字汝成。河南辛酉乡进士，今为南京御史。
万历三年五月朔日记。

重修金堤渡记

吴 仁

在县西南隅，有金堤渡。表为金湖，里为青山、黄土潭湖，通云城、西阳、茅潭之流而潴。雨水滂澍，合而湍悍。其道远通咸宁、通山，近则安昌、宣化，病涉者众矣。

后乃稍堤之，沿茅岭，亘之金堤寺，为小堤。又自寺港之东起，亘之龙潭壩，为大堤。堤东甃小桥，西为大桥，各三孔，以杀水势。顾桥叠石而堤委土，土石之隙弗胶，则不胜水之岁啮。湍激益甚，即水落而桥级欹反垒坠，舟为覆、马为蹠者，踵相吊也。

余因是亟焉，举其赎入，时其调发。取土于湖，伐石于山，登桥以级。级之石与土相犬牙，堤之土与石相鳞次。即水漫而不为淖，则道平而无所垒且啮焉。役于万历甲申春暮，而毕于其冬。

盖节续成之，不以棘欲称厉。即所费缗，余亦不有籍。特纪其时，以识堤所由利与病云。

委勘通山秋灾记

李元震

余自六月十一日莅嘉鱼，即逢灾旱。越八日，而踏荒之令下。十九日，躬亲履亩，遍历乡邑。是时，民方得微雨，仅以五分报，犹望大泽时降。继而不雨者又三旬日，民心皇皇，聊生无计。幸上台轸恤淳挚，有加无已。余急以十分请命，方沐俞允。

忽又委勘秋灾于役通山，力辞不能，敦迫益切。单骑减从，由八月四日漏尽出县东门。十里，至石井。十里，至蓁岭。回想六月间勘灾至此，彼时民间望雨如渴。至今日，而野色荒凉、风景萧瑟。踌躇四顾，何益？增人酸楚也。十五里，至舒桥。午炊民家，望其民有菜色，急以糗粮劳赉。非效德《翳桑》，亦貽诮《溱洧》已。又十里，由秦钟山至洪水铺。崎岖而前，乃嘉、蒲接壤处。嘉鱼弹丸，无数百

顷之阪，无千余烟之族。一交蒲界而人稠居广，景象顿殊。截小路三十里，有官廨。积尘冷甑，权宵于此。

黎明起程，十六里至官驿。傍有古寺，行人驻足。二十一里，至丁泗桥饷午。过桥为咸宁界，复截小路二十五里，乘荫徒梁间。绿叶参差，水声淙淙，徘徊久之。土人引道，十五里至马家桥。日暮，策马渡溪水，止宿。

鸡鸣戒途，行二十里。崇山峻岭，鸟道纡回，人马疲病，徒步艰难。至白沙铺，憩力停餐。十五里，至分水岭。过岭为通山界。按通邑里仅六里，入境即一、二、三之里。惟山口铺有泉水一源，稍济一顷。过此以往，平芜如焦。灾民望予有日，扶老携幼，齐拥马首，几不得前。十五里，至西港，倚巨桥栏眺望移时。离邑尚五里许，望见邑宰颜色，宰为吾乡龚闻翁。翁爱民若子，洁己如冰，民咸德之。通邑无城郭，下榻多宝寺。

次日，同闻翁阅四、五、六之里。民间拥道倍昨，而蓝缕之状、号泣之音，几不忍闻见。余两人驻马花桥，竭力绥慰。定数九分，例照十分蠲。民戴邑（候）[侯]，因戴予。噫，此何事也，而敢有德色。予不欲久劳民，

八之日，急于整鞭归。途淋雨凄清，金风四起，黄花满地，芦叶惊秋。耳闻目送，惟觉通山赤子依依聚泣于马首间也。薄暮，宿白沙。

九之日，宿丁泗桥。

十之日，入嘉鱼境，宿丰义里团。闻民间近弊，在科旱费，随路严稽。

晨兴，抵治。是役也，往返计八程，而两邑之颠连困状，恐监门图犹有未尽绘者云。

重新文庙记

张文光

尝观文翁兴学校，蜀人化其教；鲁侯作泮宫，颂者美其德。重道

尊师之典，从来久远矣。是以有民社寄者，莫不隆儒教为先务。而欲化民成俗，兴士向学，尤必推尊孔子，以示之趋。良士所诵法者，舍是无适也。今天下郡邑各有学，学各有文庙，以妥先圣、先贤之神。有司春秋菜焉，朔望礼焉。

蒲圻去郡东南三百里，鄂岩邑也。邑令王明府以进士解褐，万历己亥岁来尹兹土。本儒术，饰吏治。廉平仁恕，政明讼理，甚得民和。暇进青衿而廷教之，剖疑摅悃，迢迢得未曾有，多士蒸蔚向风。明年，入计。又明年，岁在辛丑，侯方受计京师。乃于元旦，祝融为祟，民突薪爇^①。爰自文庙，逮于客馆，悉归回禄。公既课最，竣事遄归。顾瞻庙貌化为灰烬，慨然叹曰：“此神所凭依，邑令首务。安可借口公帑匱拙、民力凋疲而缓建竖哉？”于时捐俸，入董赘用。聚财鸠工，经之营之。始事于秋八月中。起大成殿，旁为东西庑。朴斫暨茨，匪棘匪徐。培庠为高，去陋增丽。载阅月，而告成功。清庙堂皇，肃肃言言。用其余力，庑馆、宫室、斋舍、廩庾，焕然一新。百废具举，隆于旧贯。民无告劳，上罔知费。

工既竣，学博士李君告余曰：“以邑侯之建此巨观，而用不烦官府，民不废时务，拮据力殫，区画心劳，洵善政之最巨者，可无一言用纪成事？曩嘉靖间有作，则廖学士记之。夫纪事，太史公职也。敢砉石以请。”余曰：“唯唯。夫明府之新庙，是所谓尊孔子而示之趋者也。诸生抑知所以学孔子者何在乎？孔子之训，在六籍。道之大者，在求仁。而庸行，在伦叙。乃今世学者，占毕其遗言，不过劳精于制艺，素心于科第，以为仕进梯。一得通籍，又不过撓情于崇臚，结念于膏润，以为身家计。夫大业举而号圣学也，啜沫而遗髓，犹之乎竺乾真如竺之旨^②。仅流为披剃道德清虚之妙，仅流为焚修也^③。吾未见其能学孔子也。曷亦反诸心而寻理遏欲以熟仁乎？曷亦求诸道

① 爇：“然”的古字，燃烧。 ② 乾真如：佛教宇宙万有的本体。

③ 焚修：焚香修行。

而孝弟忠信以敦伦乎？仁熟则根本粹，而枝叶自夸荣。伦敦则大纲举，而节目自条理。修意修事，内外兼养，日就月将，自强不息，庶几升堂入室。壁立数仞之墙，宗庙百官坛敞阙里之坂，绍大成之心法，而接尼山之统绪。由赐以下之品，且将薄而不居矣。子大夫岂无意乎！庙以人而新，德以学而新，是在勗之已。不然，唔呶于口耳，驳杂其心原，章缝其衣冠，阔略于伦纪，岂惟负贤父师雅意，士人自待谓何？何宫廡之为也^①？士夫有捐貲助者，侯不拒，逮迄事而毕归之。或有议取官道树者，弗听。唯节两祀之费，益以橐金。市材陶埴，平买无勾乘滂稟，贫民子来焉。赏罚明，程督当，故举大成速若此，真足勒示永永。

王侯名之杰，潼川遂宁人，余同籍士。西蜀而服东鲁之道，有古循吏风。李君名世荐，楚麻城人，癸酉《礼经》魁。才高学邃，允称师摹。丞，唐一德，义宁人。簿，何沐霖，（壁）[璧]山人；陈若愚，武隆人。尉，胡中仑，丰都人。训，何师逊，安乡人；田筠，巴东人。皆一时与有贤劳，法得备书。

万历壬寅又如月吉^②，史官张文光记。

新建江夏县记

郭正域

县治旧在石子岗。隋开皇中，自塗口移焦度楼下。唐贞观，徙府城南。宋绍兴，又迁楼下。元因之。洪武九年，改黄鹄山西北。喧阗、愀隘，莫利形家。吏兹土者甫下车，辄慨然请易。而诘于力，不果。

万历间，叶侯来，夙兴宵寐。丁酉春，与诸大夫登楼望而叹曰：“岩邑也，首诸郡国，而卑隘若此。宜改作而新是图。”有议藩邸广阜仓者。侯曰：“时方多事，两宫肇建，三殿未兴。陇蜀议材，楚民议力，其何以堪？”议遂寝。冬十月，居民火起城外，飏驰二三里，

① 廡：同墙。 ② 月吉：正月初一。

奄至城内，县治官廨、堂皇、库狱俱尽。诸大夫曰：“天意其维新乎？”于是侯谋诸父老。诸父老曰：“惟清军使者旧廨在凤凰山麓，高明郁盘，风气攸萃。清军使者既格有堂、有房、有门、有寝，所省无算。”于是侯以告御史赵公、都御史李公暨藩、臬大夫，皆报“可”。乃复易左右一二藩宗地，计费一千一百二十有奇。于时，诸上官念县藏靡措，各损赎醵。都御史李公二百，御史赵公二百，藩司冯公一百，守道陈公、巡道丁公、下江防韩公各一百五十，太守刘公二百。侯复尽出餐钱佐之。始于某年月日，落成于某年月日。门、堂皆仍其旧，其东曰“清戎”，曰“管饷”，曰“抚民”，曰“巡捕”。而狱又居东北，维艮，曰“艮止”也，以止狱也。西曰“神祠”，维兑，曰“兑悦”也，以悦神也。宾馆于正东，维寅，曰“以寅宾”也。门以外为房，以彰善恶，以示功令，曰“以通众”也。门以内为房，以收赋课，以便输纳，曰“以顺民”也。堂左右为六曹掾史案牍房。阶下为戎石坊。堂东为二库堂。西为案阁。诸规制较前巨丽，而费不逾千金。因则不劳，节则不糜。役成而民不知，不复旧江夏矣。三代之制，百里为同，总名曰县。以奖王室，以协风俗。县之为义，其解曰弦，曰元。弦以施绳不枉，元以元静。徭役同，以比合众心。以今视古，官则为宰，地则公侯百里之内。有民人焉，有社稷焉。政事之堂，奈何朴樾也^①？侯莅政且五年，与民休息。会西方未宁，矿使又至，茧丝且尽，今赖侯，民以息肩。天启其会，维新斯邑。

改邑而后，风雨以时，水旱不警，天其默相地其效灵矣。昔蔡子居为中书，且迁去，令左右修葺廨宇，谓宾友曰：“庶来者无劳。”贤者之用心无穷如此。此后也，一劳永宁，可铭来世矣。百里之内士民老幼，瞻望斯堂，如睹春台矣。君子攸宁，求民之莫，此维与宅矣。

① 朴樾：即朴素。

武昌府新修江岸记

武昌枕江而城，江汉之水由岷、嶓建瓴而下，沿涂口折为龙床矶，湍悍回环。不数十里，与汉水合，新洲翼而迎之。黄鹄、大别对峙，受二渚之冲。江自东南来，沙羨当之。汉自西来，鹄山以下当之。陈公套而下，势稍东。洲愈逼，愈怒，直泻西江。其内为赵鼃矶，镌没水中。东南诸湖水出而灌江，江辘于城下。城中酺二渠，以泄积潦。江得汉水而益宽，黄鹄矶岩石斗绝，水周环洄激。岸土疏恶，沉沙溅沫，性不坚刚。江襄徊于吾邑，凡疏折而不欲遽去。盖洲与汉泊凑之。沿江而岸，殆难以畚鍤之力与阳侯、冯彝争于汪洋之际也。宋政和间，州守陈邦光为长堤，都统别廓东为湖心堤。绍兴间，役大军筑万金堤，建压江亭。今堤半在城内，居民栖止其上为閭閻矣。所谓万金堤者，半圯半没。

太守张公下车，问民所疾苦，父老以江岸对。太守请于汾阳直指史公，发赎醵五千金。太守巡行其上，凡几寒暑，与诸父老约曰：“岸址不高则易没，岸基不广则易颓。有岸者新之，无岸者兴之，其可乎？”因遣官视之。自下坛至阅兵楼，故无岸。阅兵楼至接官署，岸半圯。中闸口抵观音阁，水啮城址。往来通衢，岸大圯。至青龙巷，岸半圯。夏口驿而上，迤邐而南，又南抵王惠桥，故无岸。计费五千有奇。于是御史史公报曰：“太守精核不群，早为之嗣是。”巡抚张公，直指金坛史公，藩司杨公、张公，泉司董公具报：可。公谓诸濒水而与水习者，便于因仍，难与更始。彼水去，则蜂蚁聚；水来，则鸟兽散耳。数武之地，莫肯弃也。数椽之屋，莫肯撤也。吾何所施土功，垂永久？吾今夺其所，暂不便，而与以久安宁。因檄视旧堤，起南浦，尽郡城北址。因石于繁昌，因械于舟师，因民所苦陆沉于坳堂，而争峙于水浒者，增卑培薄。逾年而江复涨，为辍役者再，三岁始克有成。绪凡费金钱五千有奇。居民始相与聚族而歌且舞曰：“今而后，庶不垫于漭汗为风波之民也^①。”语曰：“利不再，不改

① 垫：陷没。 漭：同浩。

法。”故黎民所惧，天下晏如也。以濒水之民，师水之智，以五千金之费，奠百万户之居。以三时之勤，贻千万世之利。岂仅岁月胼胝计哉？余因悉其所以利害，以准湛壁下榘之绩，如汉河内诵史公者，以副舆论，故详志其事。

公名以谦，字本厚，别号益吾，洛阳人。

是役也，勘视为同知金精器，通判刘起龙，照磨李学臣，护卫唐仲和；督工为经历丁自新，知事胡元绍，县丞向兆麟，主簿王万春、吴瑞隆，典史曾文光、晏起龙，巡检胡遇春。

嘉鱼、蒲圻、咸宁、江夏长堤记

熊廷弼

予尝观嘉鱼老堤，自马鞍山至簪洲艾家墩，蜿蜒百里，古木苍苍，云连雾列，盖居然江上一长城也。按《志》，始自宋政和以来，唐均、陈景、成宣诸君，接连创置。既我朝正德年间，吴清惠公以赈勘之役，复疏请大修之。集嘉、蒲、咸、夏人民，合力修筑。引江水由金口入湖，以缓其势，而四邑赖焉。自正德至今，又百余年矣。岁久冲啮，所在溃决，水自上流百道直下，既猛甚；而又自艾家墩至赤矶山四十余里故无堤，水复横入，与直下者合凑；而四邑田土，崇朝立尽。庐舍人民，漂荡死徙，至不可为言。

嘉鱼李公光禄向予颦蹙而言曰：“吾人其鱼矣，老堤未修，新堤未续。吾与子盍图之，奉书诸当事者，为四邑靖命^①？”而是时，嘉令葛侯目击心伤，复为灾民申议。前后文书至十数上。于是，前中丞董公、直指史公、参藩陈公、郡伯马公咸欣然允发府库三千余金，区分四邑长吏募夫并筑^②。时嘉、咸、江夏，各次第讫工。而会署蒲篆者有派里甲之扰，致生齟齬。中丞梁公，直指钱公、彭公，方伯刘公，宪臬王公、张公，郡伯黄公，特檄江夏徐侯往勘，以受水之均而众议之不容违，始获卒业。而四十余里之新堤，于是乎告成功矣。光

① 靖命：疑“请命”，误。 ② 区分：安排、要求。

禄又与予计曰：“老堤当首冲，而溃者弗塞，卑者弗高，薄者弗厚，虽新堤，庸有济乎？”复为言之徐、葛两侯，转请于前诸当事者，再发帑三千金，专属葛侯修补。盖或协筑，或专修，皆所以遵向来成例也。自新、旧堤全而蜀水自西，潇湘之水自南，岳、澧、辰、常之水自西南来者，至鱼山皆弭伏，顺衍而下，不敢一窥湖。而四邑一旦污莱尽辟，流移尽复，庐居尽葺，桑麻树蓄，尽布蒲中野，而无复向时昏垫沉溺之虞，公私逋负之患。其于民食国赋，岂曰小补之哉？

光禄属予为记曰：“诸公之德意，邑长之勤劳，役民之成例，后来之劝规，皆于是在，子不可以无言。”予谢不敏，则屡以让公。而顷者，公作古人矣，伤哉！于是略次其事之本末，而申之以两言曰：“凡为地方举事者，为民之念要真，而同事之心贵一。真则饥溺由己，而劳费嫌怨之不辞，此长民者事也；一则秦越共济，而彼此异同之弗立，此吾四邑之为士民者事也。诚如是，则四邑长有此堤，四邑之民长受此堤之利，虽千百世存，可矣。”

董公名汉儒，开州人。梁公名见孟，安肃人。史公名记事，渭南人。钱公名春，武进人。彭公名宗孟，海盐人。陈公名采，清苑人。刘公名之龙，富顺人。王公名一祯，青阳人。马公名人龙，太湖人。张公名维枢，晋江人。黄公名景星，莆田人。徐侯名日久，西安人。葛侯名中选，河西人。咸宁令徐侯名可大，安化人。葛侯在任五年，强半居宿堤上，祁寒暑雨，备诸劳苦，不具述云。

九龙洞记

孟应乾

崇祯己巳八月中秋后二日，蒲圻友人田大春同游遇仙洞。去邑山行三十里许，按辔裹腹。而至九龙，有仙洞，犹钟台有桃花洞与寺。不数武，洞劈石屏十数丈，岩壑绵蒙，峭（壁）〔壁〕相望。临高降深，抵寺前。与大春必入寺，选僧钵，缘可共连日斋厨之累也。大春放脚，辄一往，作阮步兵哭。绝，又如唐周朴兴来得句，横行叫舞不休。

洞处山僻，遇康乐万龄物色绝少。其石涧石塘，龙眠豹息，蓑衣白须，累累下垂。白者泼乳喷锡，巧者镌玉镂晶。少深入，则石膩漆烟，奥远莫可测。声出，而响应声稍放。雾白内腾，水从上滴沥，清寒可畏。予不欲尽险而涉，呼大春援石磴一线一径而出。

还洞门，方纵步钓桥、桃树二岭。万松幽壑，如弦如沸，可坐可卧。吾乡周南野处士穿石为屋，传周子望亲台。更进访榜山，山与寺连，云奔雾驶。登峰造极，冷冷凭虚御风^①，振衣千仞之意，恨无残碑片石可观耳。僧于岭上一烟直起，盖煮茶待焉。

予共作诗十首，有“山寻各自分深浅”之句。明日返城居，送大春还蒲，有“归衫尚湿峰前雨，别影犹分洞里烟”一诗而别。

华陂记

王学曾

华陂，在县南二十五里圣人山前史家坞。当河正流，为陂横障，其功最巨。然受田之民抔沙石，藉柴木，百夫旬日办尔。而岁一修再修，随修随决，朝决而夕涸，民以为厉，何也？

万历七（季）〔年〕，余行视陂，见其流分三圳，圳分四十竭。平原入望，沟洫井列，而陂甚废弛。父老迎车，争言所以不修状。余曰：“是诚在我。”盖文学、楚材具牒请修^②，意至勤矣。旧《志》溉田三千八百，余始命履亩，得所溉七千九百四十亩有奇，因为定籍。亩五十为一工户，有长。工五十三为一圳，圳有长，命之曰：“各属其如期应役，违者必有罚；各长其秉公趋时，违者其罚倍。”文学以身率民，劝呼就役，计日奏功。

余及郑尉再往莅之，父老又以祀事请。余曰：“官地祀所自出，且种树以防水冲，其不可没入学田，宜也。”会报平上里称夜二字号有淤地。因牒郑尉与偕视，得一十六亩五分七厘，岁可收租一十石四斗九升，以赎前所没入学田租十石四斗六升八合。上之督学使曹公、

① 冷冷：即泠泠。 ② 文学、楚材：古代官名。

郡守刘公，凡复核而后得命。始以前地归之华陂，并清得其隐渔者、新垦者地二十五亩五厘四毫，岁赋粟一十五石四斗五升八合。田二亩、岁赋谷三石。已，又得平上里昆字号新淤地一十八亩二分六厘三毫，岁赋粟一十石二斗五升三合。合前共岁得粟二十五石七斗一升，谷三石，俾掌事者收支，届期剥羊酺豕以祭。详具载余所印给二簿，其一在民。庶几乎，有成劳哉！

然而非我作始也，金谓自唐尹温公迁约，宋令张公泳、陈公仲微以迄于今，代有作者。而其主计劈划惟，今始有定籍。以视来兹，当不与易矣。夫佚道之使不待督责，良民也。勤民之事无忘兴废，良有司也。彼疆有力者诚不能以既定之籍^①，而病其庐井封洫之人，乃食人之食而任其事者，独安能不加意于斯哉？

父老伐石请记，以垂久远。余不许。今年莱君尉行陂，石已镌，弗能禁也。

郑名校，山阴人。莱名芮，岳池人。

万历十一年二月，王学曾记。

重修儒学碑记

林增志

余始至蒲，谒文庙。甫及门，见棂星、墀楣欹圯弗治。迨升堂，见櫨题凡筵倾侧弗饰。（刘）〔浏〕览廊庑，缺陷荒隳，愕而喟曰^②：“武昌首善，蒲为望邑，非所称斌斌多才文献之邦乎^③？顾学宫何地？盖储养俊杰，化源所自。先圣之灵，托而康焉。国家所推最重者凡三，曰郊社，曰宗庙，曰学校而已^④。故文庙上自王畿，下达郡邑，崇而奉之者，如四渎祖海、五岳宗昆，所当极致其敬焉者。致其敬，则宜饬其观；观不饬则褻，褻则若奉祀不虔，无以获福。而奈何若是弛也？”及接诸生谈艺之余^⑤，乃及后先科名之数，则咸曰：“蒲固褊

① 疆：“强”的通假字。 ② 喟：赞叹声。 ③ 斌：同彬。 ④ 学校：即学校。 ⑤ 谈艺：谈论文章。

壤，然科名素甲郡国。壬子、癸丑以前，有联璧升南宫者矣，有四五荐乡书者矣。嗣后南宫绝响，乡书荐仅一二而已。”余复喟曰：“无俟诸生言，已从谒文庙知之已。”夫台池苑囿之崇，陂梁道路之弗，过而有识者，且占国之不复理，况学宫乎？故咏“采芹之什^①”，知鲁以之兴，歌“子衿之篇”^②，知郑以之替。信乎科名之消长，繁于学较之兴废。譬之巨室世家，未有门垣堂宇败落荒凉而似续克振其家声者。蒲之学宫，创自宋之绍圣，迨胜国，毁于燹。明兴，洪武初年重鼎以来，近三百祀。拂碑问字，修至再矣。历岁渐久，靡成不坏。

缮而新之，再辟文运，固守土事也。复计所阅司牧、司铎若而人，何无一暇不少顾？此岂更新固有待与？属时事之殷，军兴帑匱，持筹无措，多所未遑。

无何，义兴元初，黄先生以巍科随牒来谕兹邑。经术行义，卓然岿然。政暇时获周旋，私其绪论。殆艺文之鹄，人伦之表。端渠簠^③，肃衣冠，日同一二联事升鱣堂^④，帅诸生修礼容，讲新贯。每四顾愀然。陋黉舍弗治，无以称圣人之居，若有不能一日安其身者。因谋维新于予，而力请肩其任，余跃然为同声之应。

遂蠲吉首事，庀材鸠工。随所营度，未备者备之，未飭者飭之。备矣，飭矣，犹若未尽备与飭者，姑备之飭之。门墉栏楯，崇而外严其望。主室几鼎新而神妥其栖，梁栋榱桷整而宫肃其瞻。墀城甃，廊庑缮而升降回环若。祝敌完^⑤，筮豆嘉而合乐享祀飭。丹雘其外，富美其中。望之游之，栗栗而巉巉，枚枚而严严，焕然改其旧观焉。

先生尽心学较如此，洵知本务矣。乃复进诸生而诏之曰：“学之设也，所以维持风教，为造士之地，非粉飭太平之具也。故四时弦诵执读，与夫射御羽龠之习，抱琴鼓篋之游，时敬业而耸瞻。向者，咸

① 采芹之什：指《诗经·鲁颂·泮水》。② 子衿之篇：指《诗经·郑风·子衿》。诗序认为是讽刺乱世学校不修的。③ 渠簠：法度。④ 鱣堂：讲学之所，此指学校。⑤ 祝敌：乐器。

于斯自游圣人之门者，风日趋于器，才谀质薤，傲化徇仁，敝敝焉日斗其心，习于脂韦^①，沾者若膩。齧于声利，趋傅若膻。毁誉得丧，日汨日淆。气节消，真醇失。矫拂者饰貌，混同者圆熟。靡靡世套，竞济秽德。间有能自振拔，锐意刮垢磨光、日新其德者，无几。若文艺，则钉铏羔雁以贩名^②，梏蜡肤鞞以惊聩^③。徒标浮华之帜，本质窳乎缺已。虽风会使然，亦领袖率作之咎也。今学宫新矣，辉俎豆，振冠裳矣。惟尔诸生，其务慎重所自待。内澡练其神明^④，外润色其名行。思精而弗眩，气纯而罔驳。饮元奥而泽道德，则德日新而业富有。转移气运，机权握之自我。故庚午贤书之荐数，已顿增于昔。自此，思皇多士、济济克生，将超越壬癸以前矣。然则此举非直为观美也，所以作诸生仰止之气，则敬胜怠，尽人事以回气运也。诸生其亦勉自淬砺，充才适用，乘时思効与。”先生嘉惠后学甚勤，故计之周而勗之至也。

余祇服而昌言曰：“先生作人，盛心可以风矣。菁莪乐育，无以逾此。”因浩歌欧阳文忠公之诗曰：“吴兴先生富道德，洗洗子弟皆贤才”^⑤，以为先生贺，并以为诸生励，使无负其盛心也。

诸生皆矫矫思奋，仍谋所以不朽先生之赐者。乞余言以记其事，遂詮次牖其厓^⑥。

是役也，经费凡若干缗，始自先生捐俸，余出赎醵佐之。冶铸之具，诸生与焉。始役于庚午季秋，凡五阅月而告成事。董斯役者，同政金伯麟也。其干具甚办，是用藉手焉。

先生讳衷赤，直隶宜兴人。戎厅讳梦麒。余浙樵李人。

嗟嗟！修者，振乎弛者也。永者，存乎继者也。后之司铎司牧，共操是心，则蒲之文运不复晦燭、士气不复堙郁矣。所赖以浅少哉？

所载祀事之品与器，虞簿正之或逸也。因勒之贞珉之阴。

① 脂韦：油脂和软皮，指阿附者。 ② 钉铏：堆砌。 羔雁：礼物。

③ 鞞：同鞞。 ④ 澡：引申为洁白。 ⑤ 洗洗：形容众多。 ⑥ 厓：厓略，梗概。

是为记。

重建河北候馆记^①

沙羨为鄂渚望邑，踞江汉上游，南通云、贵、闽、粤，北达京师、中州。道称稍孔，以传以遽。走毂奔蹄，过续如织。则司里导疆，候人授馆之职，奚容暂废？驻节廨宇，苟焉安陋玩圯，冠盖俨然临之，不堪托足，则荒褻获盭^②，主东道者将安所施其颜？按《周礼》，凡国野之道，十里有庐庀物，各赡其事。修缮以时，以待宾客，则乘传者不虞于露处。蒲之河北，距郭五里许——于斯可以迓摺轩而舍祖轡——旧有馆，建自蒙化宣侯，逾十余祀。顾规制徧局，管度聊且，乏经远规。且邑事经递摄，彼且寄迹蓬庐，何有于置邮？遂致廨颓垣圯。荒舍数椽，风雨不蔽；断蓬一径，蛇鼠奄而有之。

余自今上乘龙元年冬杪受本县事，甫至，瞥观陋之。越明年夏，渐次经营积弛。城以内，厥绪脩就^③。旋及郊原诸废，首虑此馆为迎送要区。商诸同政，撤而新之。时戎、捕两署以清勾摭缉未遑，粮厅甫竣北饷事，乃属以董。出俸余授之，俾营度鼎革。基之卑者封之，枵者望之^④。周固缮致，延袤展拓，眎昔倍蓰^⑤。前树重门，颜曰“候馆”。中建厅事，崇广各若干。以“东来紫气”标其堂后，为退食，崇广视厅事稍减若干。左翼庖湑，右翼路室。最后辟疏寮凡四启。览崖泉菑淥，近在眉睫。尘衿顿浣^⑥，足令忘其身任传舍也。周遭缭以垣墉，飭之丹垩，焕然更改旧观。厥壤当万壑中，溪流时涨，奔泛为厉。庀石易塌^⑦，向前更展土五尺，广倍之。累磐石密砌以壮其址，实砂砾坚筑以果其腹，使不受汙于湍湍之怒激横啮。为绵远计者，靡不周。复于带前通道，创唐肆，设义浆，以待行旅。署

① 候馆：招待所。 ② 盭：“戾”的古字。 ③ 脩：粗。 ④ 枵者望之：补好破洞。 ⑤ 眎：“视”的古字。 ⑥ 衿：“襟”的古字。 ⑦ 庀：台阶。

“息阴”、“清喝”于东西风檐之下^①。

是役也，鳩工于仲夏廿二日，昉落于季夏二日^②。其经费统计若干。贄匪帑耗^③，隙罔农妨。惟以现镪平购财物，预给各匠杂役之直，是以咸乐于趋承，仅浹辰而事集也^④。传记盟主崇大诸侯之馆，宾至如归，侈为美称；况守土下吏于奉玺书取道者，不能致蠲洁整治之饬于传置周旋之暂，则簿书职事可知。故余忘其才之弗及，亟新之恐后。然匪冯、汪君之能其官，乌能经画周而轮奂美，用力省而成功速哉！因牖其颠末记之。

猗与！廨宇当震风凌雨之冲，则新者不难毁，而令长将送往迎来之敬，则缮者宜常完此，余之愿也。岁月易徂，葺而理之，使此愿不委于荒烟蔓草者，不无望于后来者云。

重筑北河城垣记

林增志

丸封如蒲，所称三里之城也。僻居万山，冲当四达。宁惟本邑库狱重大，即巨室盖藏之簒，单门妻孥之依，咸冯城以完其有^⑤。余戊辰冬受事，历周遭，谯（櫓）〔楼〕圯废甚矣！随申请上台，发帑钱修缮。败者葺之，缺者完之，毁者新之。每一丽谯工竟，辄诣阅帝观，犒匠役有差。惟北河一带，当千溪万泉之冲，而崇、通二邑朝宗之水，复取道于此。凡春夏之交，雨溢流涌，泛滥奔腾而下，其势撼岸激石，非至坚莫抵。旧垣自址而上，率以小石和土砌就。筑者、缮者递相因仍，苟且完局，不为经久计。一遇狂澜，如枯朽当廉利，靡不摧拉数仞。卤莽之累，下受啮而上倾隤，是以屡筑屡坏，徒糜畚鍤之费。庚午春，因水壮复圯。

余思唐颜鲁公守平原，当禄山未叛之先，逆知其不轨，潜为之（備）〔备〕。阳托霖雨，增陴浚隍。厥后二十四郡望风而靡，平原金

① 喝：署气。 ② 昉落：落成。 ③ 帑耗：征收款项。 ④ 浹 辰：十二天。 ⑤ 冯：凭。

汤岿然，得之预也。况今国家戒严，而全楚有红旗之釁。僻悬一蒲，悦暴客横发，而城适江于水，何以守御？则绸缪于北垣者，可不怀永图乎？

同政戎厅金君，素负干当，具留心民社，分猷宣劳，克祗厥事。因以董筑之役专属，君毅然力肩其任焉。其虑奠垣之址，非巨石密累不能巩扞址之（棧）[杙]^①，非断木深（斂）[楛]不能持^②。即命工入山鬪石，阅林伐木，身以单骑先之。材既庀而工举。穴城基，深入寻许下长厚条石，斫嵌整甃，埏灰胶之而涂其罅。崇五弓二尺，广二弓三尺。上下如一，计延二十弓有奇。崢若断岸，矗如凝云，怒涛无能肆其暴矣！盖展一时劳费，而利收永逸。视曩之岁事缮作者，其撙节不已多哉！君之经画调剂，井井有条。运斤操筑之匠石，荷畚秉锸之工，作时稽日省。间以酒肉劳其勤者，而惰游则斥之。冒炎率作，卯出酉入，为地方致其贤劳。虽戴星之勤，不加于此矣。故功集甚速。

始役于暮春八日，竣役于孟秋七日，凡四阅月告成事。费凡若干缗。崇墉屹然，为山邑防范之计，预矣。足以潜消溪峒、萑苻觊觎而閭阎帖席。余亦得藉君手，而不堕守土之职。君之茂绩，与兹城具无敝也，因志其事。然君之能其官，敷政之善，指非一倖，此特为修城而书云。

新筑河北砂子岭长堤碑记

蒲邑隶鄂而踞上游，介在山水之间，岩疆也，亦泽国也。道故孔，燕、吴、浙、粤、滇、贵、楚、蜀之逵逵焉。郭外河北驿路一带，地濒涧道，二隍汤汤合流所径。当春夏之际，千岩万壑复霈沸迸腾而出，势横流溢。洼者湿，而高者啮，逮潦尽砂石，纵拥衡蹶，阂轮妨（●）[蹄]，难于托足，为宾旅病。八达周行，坏若

① 杙：刺、戳。 ② 楛：敲打。

轔径鹿场。

本县业自至止，寓目骇焉。询所自圯，咸谓筑砌经费不贲。在官无额修公羨之编，在民少树义布埒之倡，因循所自来矣。昔单子聘楚迳陈，陈以道弗讥焉^①。此固守土者责也，可复因循是玩乎？时急于港口舆梁之役，执难兼举，拟竣桥工及此。嗣属时事孔棘，拮据征输，佐储胥之诎，公私如洗，一切未遑。然于此役，殆未尝少置于怀。虽俸薪已捐，于浩饷未济。因思库贮按院黄赎醵三十六两，系马师所辞本院之馈，详请改支为修路工费，果首六度，愜至人普济弘愿，欢喜俯允所请。仍檄嘉鱼再取赎醵一百两，以襄斯举。

本县即将前银一百三十六两给付砂子庵僧德慧，复择谨愿善民苏遇升、周继贤等同收，以董其役。庀料僦工^②，蠲吉始事。属同政戎厅金讳梦麒总其理。先是，前令吴曾给缘簿命僧募贲。逾期末及千丈，今已渐就圯矣。余未修者，计二千丈有奇。图为永逸，当虑周经始。其地或高或下，且彝且塞。彝者之余，未充塞者之累。本僧用价三两，购就近土陇一片，以资填塞。厥堤崇准五尺，趾广丈有三尺，固以巨石，面视趾减三之一。恢拓坚厚，较昔不啻倍之。堤旁咸密插柳，不数载将翠缕成阴。行者可翳其阴，堤且凭根茭弥巩也。每丈估工料经费共肆钱五分。则本院所施，足敷三百余丈，为攸往利长矣。盖本院秉砥矢之衷，标莹彝之度。愍兹历落，措之荡平。来若往者，凡安行亟行。而昔攒眉于褰裳濡足，短气于踟躅委顿者，今得信步展足，坦然由之。周行不隳，载德何极！曩霞山蔡先生督学湖湘，按部历蒲，怅县北大溪往往病溺，创浮梁三十艘，跨流而济，迄今利赖，称“蔡公桥”。兹堤属我黄公，趾美蔡梁，与山川具不朽矣！

是役也，徼灵直指台为大檀那^③，真旷睹盛举，故邦人士靡不感发，乐输其贲以佐浩费。僧与善民等发愿展力，咸克祇厥事。戎厅宣

① 弗：草多路阻。 ② 僦：集。 ③ 徼灵：承蒙神灵保佑。 檀那：梵语音译，施主。

劳督率，核费以稽其数，财无虚耗。甄别以励其作，工汰惰游，功因速就。本县得藉手以观厥成焉。首事于庚午孟冬既望，竣役于辛未仲春。直指台为属邑作千古佳缘，万古腾颂。佥谋勒之贞珉，为来兹存此胜事焉。

黄公讳宗昌，字长倩，别号鹤岭，山东即墨人。振扬东南风纪，为全楚永赖者，卓迹难枚举。将载之省乘国史，此不具书。马师讳一腾，字僧摩，号妙生居士，永嘉人。

澄清楼记

孟 仿

嬴秦不师古，荡裂前制，顾其制亦有不可易者，郡县是也。古之仕不得即至相，辄欲试令，岂不以令视民亲且专？操斤以斫即成器，无所忤于志焉耳。顾人之才，有能有不能；而才之用于人者，有善有不善焉。是故任事者非才之足患，抑亦不善用才之为患，昭昭矣。武昌虽蕞尔下邑，据其形胜，阻江带湖，实为东楚防御之险。故自汉魏以降，率为用武者所必经略云。明兴创制，建县立学。顾去世遐邈，其丘陵草木之余，凡厥旧迹，十泯八九。固陋因仍，波靡已极，邑之蛊坏弗胜矣！

隆庆庚午冬，东阳李大夫至。莅事之初，即戚额引为己责，喟然叹：“天下事有难，在天者不可升，休焉可也；在人，则君子以礼定国，即不敢忘众讳，务姑息、逡巡却步而莫之能振也。”于是毋或易，毋或慢，毋或玩愒。钦明诏，申院司，道諏咨卜筮，兢兢然覃精竭思，任事而必期图成。犹以县治枕江，独坐湫隘，非有楼以坐镇其后不可。于是乃拓地程物，鸠工办材。义以督民，凡厥子来。奉德意而竞趋之，不旬月而楼成，与城工相次第就襄矣。

楼成，榜曰“澄清”，遵院命也。计其楹，凡若干楹。周其厢：左则为“三贤祠”，以正祀典，崇报事也；右则为“志思亭”，尸祝

社稷，从民志也。闾其门^①，则将如也。崇其垣，则廓如也。楼眈城埤，独立江表。其栋宇飞举，檐阿轩豁。应龙高骧，虹梁翬荷，隐然以雄踞胜一方矣。大夫时一登焉，仰视俯盼^②。内则见其六街四衢，队分连合，阗阗如也；外则见其牧郊垌野，阳曜阴藏，焚焚如也。崇城则金汤百雉，言言如也；黉宫则宫墙数仞，雍雍如也。塔则巉岏鳞峋，嵒如也；堤则蹕蹕交属，翼如也。西则樊冈，霜阳缘其隈；东则凤台，龙蟠滨其足。南则白雉，东方曼倩之为陆沉者在是；北则竹楼，赤壁（元之）东坡之为胜概者在是。远则洞庭、云梦，范老之先忧后乐者可遐思矣；近则长江天堑，孙吴之焚舟荡敌者可惕衷矣。壮哉，观乎！其斯以为“澄清”者乎！

君子谓是役也，用才本之性情，可谓善用其才者矣。今圣君贤相在上，清恬宁谧，宇内无弄潢之扰，吾民饱食澡手而嘻。是役也，诚过虑，然即一旦有警，吾民不有大利赖者乎？诗曰：“惠我无疆，子孙保之^③。”其是役之谓也。因勒石于楼庭之东，以永不朽。

武昌寒溪寺记

冯云路

予行年四十有四，始亲到寒溪。探西竺，俯白雉；咳唾南湖，坐卧溪云。竺月释湛水融融请为之记，谓：“此地望诸居士久矣！”其师观南与法众具坚以请，予心异之。

时值奇荒，海内诸大丛林俱削色，独寒溪金碧如故，香花如故，二时威仪、课诵如故，此诚远公遗风不坠耶！询诸衲子^④，此地蓁莽已久，三十年前始为慧光戒公重建。戒公坚持苦行，结茆饭众，梦金甲神指示机缘，渡江遍寻。至本寺，颓然一佛殿仅存，有神如梦。遂入定七昼夜，不食。感邑绅孟公习孔、居士周公忠一，更大倡率，刹宇一新。盖此山烟云不减虎溪，戒公缔造不减神运也。建刹后掩关三

① 闾：高。 ② 盼：视。 ③ 见《诗经·周颂·烈文》。 ④ 衲子：僧人，因服衲衣得名。

载，出礼曹溪。越二年，微恙。还，示寂寒溪。去之夕，徒众方绕榻前，而行僧见公披衣礼佛出矣。行愿精坚，于此时能自著力，善哉！宜其法门昌炽，到今不为三灾所恼。两大弟子任真、抱朴，后先充扩为佛殿一，藏经阁一；东为斋堂一，香积厨一；西为旧禅堂一，下长白殿一；再西后兰若一，前丈室一。西山虎踞溪右，势甚犷。其山门微向东虎伏，作者大有手眼。竞陵谭元春书“古寒溪寺”四字。寺右昔为田亩，今灌园有堤，堤多树。其流泉即溪，溪有桥，桥边青翠数竿。内草堂一，督学高公世泰书“陶士行读书处”。寺后山，山上茂林修竹，孝子丁鹤年先生墓在其上。

予暇时同诸衲子步寻往迹，陟西山颠，有感焉。山自吴孙氏宴集，至唐元结始显。逾二百年，邓安惠公为邑令，访元子遗迹，作《洼樽铭》，则又显。宋苏轼谪居黄冈，爱其山水，多见吟咏，则又显。《志》载山下有溪，盛夏凉气逼人，是名寒溪。溪上有“菩萨泉”。陶侃为广州刺史，得阿育王所铸文殊师利金像。初送武昌寒溪寺，后惠远迎归庐山山中，世以二僧守之。会昌诏毁佛寺，二僧藏像锦绣谷中。比释教复兴，求像不可得，谷中有光时现，如峨嵋、五台状。今泉号菩萨，人莫知其本末。宋建昌李祥疑为像所在，属东坡为《铭》溪边。古桥石止一层，传云有指迹白书诗，时见时晦。沿溪西上为“九曲亭”，亭有苏子由《记》。嘉靖戊申，给谏蜀人刘起宗谪武昌，重构其亭，更名“怀坡亭”。久，复圯。今邑侯邹公复新之，更名“怀苏”。予忆“九曲”二字，毕竟天然，不可易。坡公当日载酒登临，夫岂无怀？伊谁怀哉？天地之大，其来久矣。登山，则黄鲁直所题“松风阁”、世传“吴王避暑宫”。循山西北上五里许，为樊口。东坡与秦少游书所谓“樊口有潘生，酿酒醇醪，小舟往来适兴”者。

予意山川古秘非计月可穷，其大分未尝不与今人相接。今此地之胜，自远公开山于晋，慧光继兴于明。观南诸上人守成勿替。王十朋、黄鲁直、李东阳、谭元春、高世泰则往来题咏，怀古情深者。元

结、丁鹤年、苏轼弟兄则结庐荡舟，流连依止。精气所注，溪月同寒。前后邑侯张公铎、李公有朋、邹公逢吉，则以宰官，为佛事僧伽赖覆庇者。若某甲偶来，缔盟泉石，缘起无生。感梵刹之重兴，恸碑铭之半灭。静言今古，笔未举而泪先之。石火电光，何堪顾盼？

虽然，无以谢诸上人请：“君不念开山远祖乎？不念尔祖戒公乎？”此山最著者，坡公。公气节文章，岂似后人造业末后云。西方不无此时，著力不得，则可验公分际矣。有解脱之意，而无纵夺之权，此事何生可了哉？

因为溪山纪述，而并勸之。

崇阳洪记

王应斗

县北二十里为崇阳洪，环邑之千溪万派汇于隼水者，尽出于洪。两岸山绵衍夹送，自浪口而下，至段马峦，势渐起，局渐收，流渐狭。又屈曲回绕，无半里直遂者。登舟则面与山敌，疑不知有出路。及湾尽溪折，又豁然无碍。竟二十里皆然，亦畅境也。

至洪则峰愈峻，其束愈严，河愈驶，泻万流于一口，如脱瓶瓮之喉。《志》载“壶头”，取斯义耳。汉马伏波征五溪蛮，经道“壶头滩”，即此地。其东岸樵径，不达通衢。惟西岸一径，通莒川。途广不盈尺，如鸟道然，几不受趾。又左倚绝壁，右蹶深涧，行者股栗。当承平时，夸示天险，谓“一夫当关，丸泥可塞”，此道其常耳。山下巨石层叠，横亘弥河。长可二里许，阔可逾十丈。两崖相遇以骨，欲求尺肤不可得。石不甚高卓，但厉齿磨牙，片片向上。状如盘蛇、如蹲虎、如上水鱼、如冲风侧翼、如骊龙项下鳞，鲜一寸驯伏者。其色苍铜、紫铁，如戈戟满地，琅琅森森，不可触犯。堪舆家以“水口甲三湘，人文蔚起”。想当然耳。石间洪路有三：中为大洪，东、西为小洪。每洪广三尺有奇，仅容小舸，深则不可测。水与石相战，其声如雷轰雹击，山为之聳。其飞涛喷沫，如洒玉飘花。邑《乘》“八景”中一称“壶头雪浪”，殆近之矣。

凡舟过洪上，不敢径下。必得本地长年一二人，以其生长惯习，有吕梁丈人风，每运篙有成算，悉中肯綮。又能随波曲折，如控生虬，首尾皆动。曾不转盼，已在百步之外矣。故在贾人多动色相戒，而负高兴者恒欲临之。天启中，荆溪吴石渠为蒲令摄崇邑，曾过此中，惊喜欲狂。即下，犹叫笑不已。谓榜人曰：“吾欲挽舟上，再下一次何如？”虽其语出好事，然洪之为洪，益可知也。

余长于是乡，幼尝躬历数四，然领略山川冒险穷奇，乃在壮老。今孟夏四月，有事南嘉，复过是洪。虽不遇涨溢，可幸无惧，而乘潮御风之致，未之少减。因作诗云：“一尺容刀路，千钧发箭机。”盖实录也。初十日，归舟抵洪下，漏尽二鼓，可以休矣，而意兴勃勃不自遏。旋鼓励舟人，亦各技痒，奋迅逆流而上。时月将落，风起，晦冥不见洪道。赖舟师胸有成竹，着着不差，如许敬宗识何、刘、沈、谢，虽暗中摸索，可得而知也。论捷便飞荡，上不如下，然震撼凌驾，骇谷崩山，奇与险十倍过之。余矜持舟中，追忆吴君之言，犹隐隐自喜。乃旁顾侍僮，皆心悸魄夺矣。

少顷，入平流山上，杜鹃声急。小泊待曦，命点烛蓬窗中，作上洪诗二绝。时奚童倦极嗜卧，未尝出声，然吾揣其意中曰：“有是哉，子之迂也。”

是为记。

熊桴三异记^①

张文光

不佞光髫龄稔闻吾乡有大中丞熊元乘先生者^②，其人具肤敏之才^③，竖彪炳之业。平岛倭，治洪河，殄狡寇。成三伟，伐勋猷，震于区寓。卒之日，穆庙嘉其忠至，增秩荫子，予祭葬焉。私心向往。已从《甌□□》中^④，悉先生素履让廩让贡、赈贫赡族诸善状，盖又

① 参见《人物志》一。 ② 髫龄：幼年。 ③ 肤敏：优美敏捷。

④ 甌□□：各本残缺，疑《甌甌洞稿》。

笃行君子哉！

戊戌光释褐，肄事西曹，获日与先生冢孙汝端氏游。益得闻所未闻，而后乃知天之厚先生与先生承天者，非偶然也。

方六龄时，随父乾斋公丞南海，舟舶五羊渡口辟秋潮。奔瀑比汛至，乐观水势汹涌如山而来，遂失足堕洋中。众谓必不救，而潮忽遽退百余尺，拯之，水仅没趾。夫汤汤何知？其进怀山，其退有期。而卒然涸落若此，异矣。

稍长，补邑弟子员，读书西竺，即吴王避暑宫山也。每篝灯达丙夜，寒暑罔间。一夕，山气冉冉逼人，四顾岑寂。窗外月微明，起觑之，则虎也。冰轮亭午，去兽尺有（只）[咫]。书生不能暴虺（虺）[虺]①，势惟待噬耳。先生疾呼曰：“某钟山川之灵，当捐躯报国，宁馁虎口乎？”须臾，帖耳曳尾而去。夫虎之与人异类，而好杀者性也。匪人（博）[搏]虎，则虎啗人。而胡然驯扰若此，又异矣。

备兵太仓时，一玳瑁鱼秉潮阁沙滩，为海卒击获，輿之天妃宫。总戎杨尚忠请观焉，带人俟械其侧，将贯腮弔尾②，利其鳞甲可为奇货也。忽鱼吁气若虹，冲破宫椽三。先生神之，命中军升至海口放焉，觴扬舟中。鱼已逝复返，昂首而作谢状，良久始去。浹旬，与倭战，我兵不能居上风，失利将北。众见神鱼扬（鬣）[鬣]喷沫，鼓浪推澜以助，而倭船漂然下矣。遂胜八阵，大获奇捷。夫介鳞水族，别生分类，宁识德怨而犹然报恩若此？又异矣。

虽然，异之者，以常人观也。先生睇此，直偶然耳，夫何异？

重修叠山祠记

魏师段

岁德旃蒙协洽③，予以训导来兹土。舟舫东关，见雉川木而乐之。诫苍头且勿入关，先寻览郊外。自以来此，当必二三年食眠不

① 虺虺：黄黑色的虎，此指虎。 ② ●：系。 ③ 旃蒙协洽：乙未年的别称。

去，则此方一峰、一泉、一亭、一石，皆余友也。著屐晚眺，得一祠址而登焉，予独罔识也。于残薨败砾中见一塑像，冠裳不全而星眸炯发，垂髯数行，凛凛生气摄人。予曰：“此非天竺古先生也？非柱下，犹龙史也，何其欲泯欲灭而孤清若此！”即敛容拜之。召诸生而咨焉，曰：“此宋文节公谢先生祠址，谢公墩也。先生宝祐间谪居兴国七八年，筑椽舍，开讲帟，扶进多士，力挽颓风。士民感其遗爱，尸而祝之。历朝来祠宇鼎新者，数矣；毁废者，数矣。”予既窃附斯文，备训多士，以昌明文宣师教。如先生服成仁之训，行取义之事，未得配于廊庑，曾一祠之不续乎？予因罗旧闻，详其始末。荒远者，不可得矣。弘治己未，州牧胡公瀛自墩徙祠黉宫北，意欲以丁祀之俊附祀于祠。阅四十有二年，嘉靖庚子，州牧吴公希贤复徙祠还墩，盖以先生原筑庐其处。阅三十有七年，万历丙子，州牧杨公士元感祠祀废兴不常，兼祠中灯火、守祠人衣食未有资给，无以垂远，捐俸置祭田五十五亩。奉例清丈，以其粮散寄诸里，使僧无旱潦追呼之苦，祠鲜荒烟断草之悲。杨公为谢先生计久远者，周且悉矣。嗣后，兹田割于兼并之囊，饱于吏胥之手。法久而弊，泽远而淹。吁嗟！自杨公丙子迄今丙申，阅八十有一年。数至九九而穷，穷则变矣。

夫丰于道而啬于数者，先生之为臣子分则然也。今神明矣，当必穷于数而后通。先生灵爽炳若列星，而不能言也。予小子段也，学虽弱，人虽微，幸得寓先生所已寓，自当言先生所欲言。乃具详郡司李张公，转详大中丞。林公批署云：“先贤祝田，岂容蠹役侵没。仰兵巡武昌道查追历年花利，修祠田，归住持专管。不许州役干预。”等语。时兵巡感先贤之淹没，痛祠宇之倾颓，力转行州正。州侯杨公，厘治方新，百废具举。大为倡助，以庇予所不逮。始得还其田付住持僧醒虚。田离城北十三里许，一区三十亩，又一区二十五亩。庄房一所，地租银一两。柴山具有四界。祠计三间，前后砖墙周匝。但青毡

力微^①，资费一时不备，乞匠法力不行。自丁酉岁及今日而始落成，屈指五年所。一椽一礫^②，悉皆予虑。予力竭矣，岂偶然哉？

后之住持此祠者，无以远而忘之。踵事诸君，亦当广其意而行之。亦曰：“此雉川事也，此谢先生事也。”非予训导事，则予小子幸甚！

再祠西有“三贤祠”，奉苏东坡、黄鲁直、王龟龄，同修祀事。今庙貌不克举，为设主楹左，以妥先贤，从旧典也。

敢碑之石，以记其事云。

祭器记 附

张山翁

樊明甫刺永之三年，毁淫祠，崇明祀，治教一彰。顾礼器苦窳弗称，乃募工于庐陵市，贡余于九牧，按博古款识，躬行考订。俾郡博士黄霖龙董其事，范尊、壘、豆、洗、爵、玷、簠、簋，二百四十有二。筮、俎、筐、幕，亦一新之。糜楮镪二千五百缗有奇。既成，博士贻书武昌，请记其实，将勒石以诏无穷。

惟仲尼述虞、夏、商、周之道，轨范万世，则备物之殫，以象其德。当用四代之器：泰，有虞氏之尊也。山壘，夏后氏之尊也。著，殷尊也。牺象，周尊也。爵、簋，皆从周。龙勺，夏也。一世帝王文质之宜，先儒申言之。旧独牺象之制，有可疑者。泰无识，著无禁，壘图山云于腹，则牺象之图形正也。自王肃得金牛、金象于墓中，以明器准祭器，遂启后世之疑。然言牺象负尊，今诸郡置酒于牺象之腹中，则又失王肃之旨矣。故有龙勺大尊口小之讥。呜呼！明器，鬼器也。祭器，人器也。仲尼万世如生，奈何以明器享之乎？此余以图山云牺象之形于尊腹者为正也。仲尼尝曰：“吾食于少施氏而饱，少施氏食我以礼。”礼有本，有文。器，礼之文也；敬，礼之本也。至敬无文，二簋可用享，而况四代之器，参错陈前耶？

① 青毡：指清贫者。 ② 礫：柱下石墩。

樊侯在湖湘为良二千石，而春秋丁祀为朝廷重典。侯暨乃僚，我将之心无未灌；既灌之，分博士诸生各执其事。洞洞乎，其敬也。属属乎，其忠也。勿勿乎，其欲飨之也。洞洞、属属、勿勿在我，享之在神。君子尽其在我者而已。心之精神，是谓圣人。仲尼之精神，昭回于天。本敬以聚之，则吾心之精神，贯通无间。仲尼之饱，将如少施氏礼器，为不虚作。

樊侯名炳，字明甫。授怀远大将军总营永州路事冠氏，世家也。

国朝

重修儒学记^①

龚鼎孳

余初筮令黄州之蕲水，尝修起学宫，以文学为多士倡。兹我闻园之宰通邑，亦有斯役。闻其告成之期，自辛亥迄癸丑，三年始竣也。问其版筑几何？宫、庙、堂、室，靡有不周修而兼创也。问其费所自出，则捐资俸，不敛民间一钱也。嗟乎，贤哉！

思国家甫韬干戈，即访求懿典，临雍讲艺，自汉以下莫隆焉。宜天下郡国响应，学校一时改观。然在通邑则有甚难者。通故武昌最下邑，蕞尔山谷，厥在下下。兵燹后，户口之存者无几。其于庠序之事，固有未遑。且累累百堵没在草莱中，已无片椽可恃，欲谋更新，百用毛起，虑始者不綦难乎是？即稍稍谋诸闾阎暨二三邑大夫、士。集狐共勦^②，厥功已伟，而况节缩匕箸，出自俸薪也哉？我闻园之治通邑，因其困敝之余，专事休息，载清载静，民以宁一，殆如古之舍。盖公者至不忍以学校之故而扰民，则复有何事肯出于扰民者哉？而学校则已焕然矣。嗟乎，贤哉！

古者政与教无殊司，今则守令以治其民，博士官以教其子弟。问此中司铎者，亦有如胡安定之治湖学者乎？夫通山之人士，重农桑，

① 以下至“杂著”数篇为江苏、湖南本无，疑后者所夺或前者所补。

② 勦：“襄”的通假字，助。

尚志节。然崎岖僻壤，少文而轻剽。诚以吾闻园之贤，而获偕良博士如胡公其人者，春秋弦颂磨揉而乐育之，驯至风移俗美，被服中和，宁仅仅如余往岁之蕲已乎余望焉？昔吕文穆号知人，独以宰相器许（颖）〔颖〕州司李。吾闻园理吴阊，卓有政绩，知非百里才。今宰通，其犹烹小鲜耶？

余不多赘，唯是职在秩宗而学校则礼官之所有事，爰缀数辞，喜先后之同心也。

重修武昌府儒学碑记

蒋永修

尝观都会之地，教化之本也。畿甸无论以外，如长安、汴都、建业、武林及楚鄂州诸首郡，其士习文治必为属郡之邑所弗及。虽下邑弦颂多可哀采^①，亦间且中歇，必不如省会都人士，数百年不衰。盖节钺监司治化之亲近，贤士大夫舟车之往来，经史诸子之书所聚会。而道德仁义之徒，挟铃铎，访遗逸者，必先至其地，以察风气之聚散，观文物之翕辟。故所见者大，所通者远，所聚者散。殊合上下四方之气象精神以成其学，此岂山陬海澨之国所能较彬雅、论明备哉？今独于武郡有伤焉！

余顺治初宰应山，尝来此间。见其风流都雅、辞章郁勃，尚气节而重礼义，足为百邑宗。余意三四十年后，当必有远如费祋、孟宗、李太和、冯当世，近如郭明龙、吴磊石、贺对扬、熊芝岗者，张楚军也。余去且十年，楚之官于京者曰：“寥寥剑佩，穷山百室不若也。”余讶曰：“是诬我已！”余历豫章暨平越，又且十年，辄有问辄所答如前。丁巳，余奉命督全楚学政。比至楚，诘朝进谒文庙，俱颓倾剥落、瓦砾荆榛、殊深怆感，余始悟兹人文之所由衰也。三代之下，其所以维系人伦、堤防名教者，恃有孔子耳。无孔子必无君臣父子，则必无兄弟朋友。夫人心善，因彼以为圣人之居荒凉若是，是褻圣道

① 衰：“褻”的通假字。

也。圣道可褻，亦何所不至？因之为涣散，因之为攘夺，因之为背叛。而欲使人读圣人之书、学圣人之文，彬彬乎其可观者，我知其无是理也。故虽治化之迹具在，贤士大夫经史诸子、道德仁义之徒去来其间者，亦未尝绝，而入则无圣道之归以为感发而征验。夫日纳于圣人之门以教，人而尚有不从，乃系属之地未耸观瞻，徒藉此陈迹泛涉，以望人之奋兴者，则断断乎必无之事也！

余于是惻然忧，惕然惧，以创葺为己任。因请于前抚宪张公，并告方伯徐公及同人诸君子，皆幸曲为措置，共勩是事。所愧余线才绵力，百计经营，未能独就，日为中道之呼，加以军供旁午，匠石支离，展转二三年间，日异月，月异岁，未易竣厥事也。今幸圣灵在天，又值今抚宪王公庚申秋仲荣戟初临。鼓舞整葺，踵事增丽。棣星泮水，易腐淖朽。

幸观厥成，余心少慰，然而未也。当笙簧久旷之时，其沉沦已甚，天机真性未能骤发。况都会之间，易为兴感，亦易为汨没。彼且视治化之迹及贤士大夫经史诸子、道德仁义之徒以为寻常，而纷华靡丽又非外郡可比，则日浸而月蚀之，虽寝食宫墙，恐无补也。噫！余所司何事而抱此无穷之忧乎？因语司铎王子、石子曰：“我辈既身任师表，务实心实意，知天地间惟此一事，而此一事在我。彼胡安定者，独非人杰乎哉？其教苏湖也，当时即取为国学法，人至今称之。亦以其所为者，乃天地间第一事。岂独至今称之，虽万世称之也。今独不能为安定乎？意惟计生徒之多寡以广学舍，量室庐之远近以为会期。分文行之科，比才智之等，程骑射算数之能。各有所领，如院长；（然）各有所分，如科房。然课艺有期，设讲有时，给假有规。其最优者，列闻当事；不率者，夏楚勿惜。凜凜不可犯，循循不可乱，则教之兴也。至于五经诸史，类而通之；汉魏八家，广以涉之。而又考居家之淑慝^①，察涉世之真伪，省退处之隐微。行之三四年

① 慝：邪恶。

间，则学之成也。目今抚宪以教化为己任，藩臬诸公皆勤勤于风土。自为条设廩饩，时加奖藉，且推行各郡。因以上其事于天子，其必然者也，余用是谆谆。其有不尽言者，则亦推行其不得已者尔。

王子钦命石子永年因请而勒诸石。

重修江夏县学记

蒋永修

余戊午奉命督全楚学政，驻居武昌。谒文庙，旧例不至江夏学，余特再展谒焉。俱圯废颓败，风雨飘零。兹固都会也，宁忍圣人之居若此耶？

比请前抚宪张公，告方伯徐公及诸同事，皆于军供之暇，留心整葺，意滋切矣。独愧余俯仰贤圣之学，又职斯任，勉奋绵力，竭蹶历三载，苟能效者无不效之，未易就也。且周旋诘曲，历湖南北万余里，凡此县庠拮据事，一委之广文杜子、鲁子，余心只悬系也。

今辛酉春，府上庠及兹庠始落成，愿为少慰。然创葺之难，于此为已极也。所幸大中丞抚宪王公节钺初赅，加意震厉。后此扶植有赖，则又大慰焉。

余今于府庠谆谆告司铎，勒其言于石。而其未尽，则又为此庠两司铎勉焉。教谕张子希良甫履此任，盖淹雅笃实讲圣学者。鲁子录，名家子，勤于文行。皆力任斯役以有成者也，谅守职无愧矣。然圣人之道之不明也，非学者为之，教者为之也。昌黎自任为人师，岂人之患乎？周、程、张、朱，乐育当代，惟日不及，无教人之责而有教人之心，总以力荷圣贤为己任。夫仁义礼智之道，我不为人言，又谁肯言者？我言之，人不听遂已之，又谁不肯已者？先儒日夜忧悯，岂但为一世？正人心，厚风俗，且笔于书、著于册，详勉周致，恐万世之下，不得开吾言也。而况有教人之责者，则胡安定可法矣。夫既为朝廷之所拣拔为千百人楷模，此千百人皆待我者。倘有一二背弃仁义，违忤父兄，我顾乃居斯任，对斯席，拥皋比称先生，乃有是生徒能无耻乎？或曰：“人固不易教也。”夫人亦相信以真耳，我实实为其父

师，谁不愿为子弟？我实实望以颜曾，人谁愿为●跖？至诚惻怛，教学之所通也。我实有圣道之责，顾使仁义礼智自我而息。假令天下之大，四海之广，尽如是为教，则人道之绝也，不终日矣。故有不率者，引罪负咎，自处不敢宽假之地。咨嗟俯仰，教其愧悔，滋其感悟，不啻入肺腑而与之语。人亦未有极愚不可开导者也。不得已则夏楚之，又则摈斥之，彼亦何憾？况所与言者，不过彼之父子、兄弟、夫妇、朋友，各爱其所至亲，敛其所自属，而孝弟仁义之名实，还自彼受之也，又何难之有也？

且江夏素多才矣！前此（母）[毋]论也，宋乡举、礼部、廷试皆第一者才三人耳，自王文正、宋子京外，则此邑冯当世也。当世与安石不合，为惠卿所倾，神宗有“渴想仪（刑）[形]，不忘梦寐”之语，其人可知。明王公度于殿廷奋臂摔马，顺啮其肉。百官争捶顺死，天下震动。吴磊石劾丁绍轼党客魏，魏矫诏杖杀之，杨左之先鞭也。他如郭明龙之气节文章、熊芝岗之才略刚毅，及贺对扬之清慎、忠介，且对扬尊公讲明理学，著《思聪录》，至今学者称阳亨先生云。凡皆自兹庠起家，声名播天壤、传后世者，而今何寥寥也？此岂非教者咎乎？故得其教则人才兴，岂第数公、前濂溪先生独非楚产耶？周公、仲尼之道复在此邦未可知。失其教，于数公之中，求一人似续之，不可得于今。得失较然矣，教尚可缓乎哉？且事甚患其待耳，彝伦名教，何日可废？乃曰：“姑待之。”则天地之事，孰有大于此者也？况处极不可待之时，若不早夜提撕，正君父兄友之位，复仁义礼智之性，则圣人之道至何日而后明也？余用是切切忧之。惧其陨越，滋惑无穷，故为此叮咛焉。

至若教人之法，则安定之已事，史册可考，故不备载此间也。是记。

江夏刘侯增建后堂记

叶泽森

三代以还，汉制近古。孝宣由侧陋登庸，民间疾苦尤悉。谓守

令，吏民之本，数变易则下不安。故有治理闻则以玺书勉励，增秩赐金而不轻为迁代。谈治效者，首西京云。后世文法苛细，转移频数，其官既如传舍之不可久留，而视其民亦如浮萍之遇风，偶相值已耳，又安望其务远大计经久耶？

江夏古沙羡邑，今为全楚首辖县。治在汉阳门右，明神宗时毁于火，移置今治，为故清军御史院。令甲，御史按部，不得以家累随。故凡御史院俱窄。改为县治，又增置库、狱吏舍暨丞簿宅，为令私居者，益库隘矣^①。国朝定鼎，江夏为用兵之冲。治是邑者戴星出入，栉沐不逮；又辄触文网罢，比年几岁易一人：前此作令者，匪特舍视其官，而且陷阱视其地矣！故堂皇居室敝勿治，至不可捍风雨。

康熙十有七年，我友开原刘侯作宰是邦。县廨祇寢室一重辟，亾漫漶，砖墁缺折。栋桷楹庑之属，咸墨腐城圯^②，令人有岩墙惧。侯故大家，食指众，至臧获无所宿。侯曰：“令者，邑之宰也。心者，身之宰也。人惟身安则心安，心安则神裕而张弛，措置咸得其宜。若身不安则心动，心动则神疲而举动或至于乖忤。今邑务如乱丝，以静气定力为之，犹恐不胜，乃复扰以不宁居，（呜）[乌]乎可^③？”因取其漫漶者、缺折者、黑腐城圯者，次第修饰，稍可栖止。又一年，请于连帅，乞贡院隙地三丈许，治室五楹。楹广丈，袤倍之，翼以两庑，于是，江夏之令始有燕寝之所矣。运甕于陶，伐木于山，予直于匠，皆捐俸以给；不足，则称贷益之，未尝敢以丝粟溷民也。

将期年而落成。侯曰：“是役也，不可以忘岁月，子盍为我记之？”余曰：“汉之吏至长子孙为姓号，故图计久远而安养斯民之术，惟恐不至也。今之为吏者，一切苟且迫促，以期速化。况江夏之疲剧烦难，尤人情所不能一朝居者乎？侯声望发闻，旦夕可待显擢，乃于其地筑室启宇，若为长子孙计者，则其平居与民所设施，必有经远优裕之谋，而不为苟且迫促之政，可知也。侯虽不能久于其邑，而继侯

① 库：短。 ② 城：台阶的级。 ③ 乌乎：怎么。

者能推侯治室之心以治民，即汉西京之化，理无难矣！

是记。

重建“庾楼”记

熊 登

武昌县治南越数武，有层楼旧址。石甃而坚，往来取道于下。其上则荆榛萦绕，鸟鼠攸居。过之者曰：“此南楼也。”或曰：“此谯楼也。”又或曰：“此庾公楼也。”夫南以壮形势，为培国脉；谯以达晨昏，为鼓民生。葺而新之，宜矣。

若夫据床玩月，游览焉已尔。且庾公当年未尽理于众口，到今犹艳慕其名，而况不为庾公者乎？诗云：“蔽芾甘棠，勿剪勿拜^①。”邦大夫、士有古道焉，致足嘉叹。虽然，楼之废兴，电光石火，为政者务崇乎实，毋取隆于名，则国脉民生，永有攸赖。是楼也，命之曰“南楼”，可；曰“谯楼”，可；即曰“庾楼”，亦无不可。

重建“松风阁”记

熊 登

昔滁有“醉翁亭”，永叔记之而“醉翁”传；徐有“放鹤亭”，子瞻记之而“放鹤”传。是非事以亭传，而亭以文传也；又非亭以文传，而文以人传也。士君子幸生斯世，尚友千古。为文为人，可苟焉已乎？

武邑西竺，素称名胜；而当年依山筑阁，落成之日，待鲁直而名，故其诗曰：“我来名之意适然。”又曰：“凤鸣娲皇五十弦，洗耳不须菩萨泉。”则“松风”之意迥然可会也^②。夫黄文节太史当荆公柄国时，属在粉榆^③，稍有依违，能不蹈柳州八司马故事乎？安得清风介节，到今日苏黄友善？试思鼎建伊始，必待鲁直而命名；今荒烟蔓草之余，又因“松风”而重建，则甚矣。为文未可苟，而为人愈

① 见《诗经·召南·甘棠》。 ② 迥然：闲适。 ③ 粉榆：地名。后指故乡。

不可苟也。

后之陟兹阁者，若犹是寓目怡情、侈游览之盛焉，则与重建之意不大相径庭乎哉？

新建“登高亭”记

何廷鞞

距咸东里许，有峰矗然。蹬折而升，路转峦回。与文简“书台”对峙，是名“登高”。相传晋孟嘉之游屐在焉。按万年从桓司马登高^①，风吹帽堕，孙盛作文嘲之，事属龙山，兹胡以名？盖是山为万年故里，风流可慕，字山者能不藉之以重邪？

予始至咸，偕僚博弟子员，间一登之。钟台、白望^②，排左堆青紫潭黄塘；右望罨霭以暨，陂田苍莽，溪练滢泱。俯瞰万类，揽不盈掬。肆意浏览，情难给赏。盖咸邑之胜，于斯集焉已。巔故有亭，溯所自废，父老都不记何年。噫！万年而后，登是山者，不知凡几。悠悠千载，顾使胜迹久湮，貽山灵之诮乎？

越明年，构亭其上。中仅四楹，环宇际砖甃之，以捍风雨。四门洞开，川光萧爽。岫外白云舒卷天际，一豁嚣欢之耳目焉。至春雨农蚕，秋风杼获，无事寻陌度阡，而艰劬历历在目，更可不劳而省也。彼叔子襄岷，长公九曲，未云妨政。予今第举前人之已废，安咸俗之淳简，而乐与斯民以休以游，又乌可少斯亭也哉？

游荆泉记

邹应锡

吾蒲山水多奇丽，而荆泉为最胜。

余以某年月日戒徒御，从郭南路驰十余里，皆错行阡陌草径，迂回将抵山下。连山如拳，石如叠丸，行者盘其间。倏两山东西立，千仞直下，流水惊石，潺鸣悲激。割断之，为关山，为雁岭，奔□□□接。以石桥渡此，不数武，有声从草木笼郁□□□上方古寺堂殿铃铎

① 万年：晋孟嘉字。 ② 钟台、白望：山名。

鸣；风飒飒；又竹树摩击，水石吞吐声冷，过于琴筑，已非人间之境矣！稍进，为郭尚书遗址，无所稽。过此，则顽石横塞，如无道路。沿溪而南，四山忽合。礧礧大石，寄山颠者翔欲下，涌山半者森欲斗。山随石颓，如虎豹惊走。山下水声悲哮，色沸白，如珠帘卷。旁巨石忽如卷蓬，怪蔓寿藤翳不能出。披视其下，潦涸随晴雨，而石顶所镌数字，已风雨摧披如鸟迹文。谛观，为“洞野”二字，盖邑先生廖太史也。

山泉至此，其源盖分有二。折而东则为梅泉，为雁岭之阴，路险绝。而南源又分有三：为荆泉，为芦泉，为荆泉洞，路平远。是日就午，余辈皆褰裳东渡，水不没趾。路从涧中，皆沙石积。约里许，见梅泉，仅涔蹄。水旁有小庵，无奇也，游者皆倦。老僧云：“每雨后，高山悬瀑盈眼，皆银河天落，山川颠倒。雨大更奇。盖巉岩环合，皆万仞。或断或续，如列屏障。水石争怒，自致奇观也。”逾山，则叠嶂险岭，直接湘岳，可千里。山中人与语，则愕视，如麋鹿俱不可近。雁岭之阴，小庵二。山中多琪花异草，不可识。山腰一勺水，可千人饮。询知为昔祷雨于此，照人影，如闻空中音。遂掘得古铜器一，为前代钟制，时为僧有。僧布袍跣履来邀宿。是夜，山高月近。仰视星斗，如适在顶，光可手摘。白气油然山半，不辨云峦，自觉骨戛青玉中。

晨起，从故道反，从者皆带香气。复褰裳南渡，寒泉迅流，夹岸皆欲飞舞。可二里许，水忽深碧。经百余丈，抱清怀洁，俯视皆身在镜中，毫发可数，土人名为秀水。其上大石，覆之如幄。丛萝蒙密，附石无根。祷者从水中入，谓中空有州，得州中水出即大雨如注。其神人往来事，语奇，无可据。石岩之阴，为芦泉。初极狭，侧足系纆而下，如石屋层楼，容万人，建丈旗。三里许，无隙而止。石岩之阳，为荆泉洞。石穴显敞，容千人。旁隙皆跼蹐入，倒石下垂或横出者，多如环戟。皆无根，欲动最痠者，则玉筋欲折。土人所谓“龙床椅”，皆白痕黑里。前人题识久摧剥，水气不可认。深入，则河流

断之。传好事者索死一往，从邻邑葛山出，直百余里。寒天洞气常暖，此中微和耳。出则连山，多小竹。石清，气犹可沐。其修竹杂树，皆藏人家。曳之，能道洞中诸胜。过此，则危峰层绵，前分者复合。

噫！水山之无题品湮没者，可胜言哉！以兹山泉之胜，而登览寥莫，岂山水亦有德而隐乎？彼箕（颖）〔颖〕者以隐人而祸山水以千古不能隐之名，故今万世下无不知所谓箕（颖）〔颖〕者。然则就使名人题品，又何足获山水之心也？余辈但得角巾、鹿衣逍遥其中，□月于夜半，羈云于暇日，实此生厚于天也。

余志以十年后与结生缘，荆泉洞山水闻余言！

文起阁记

胡绳祖

邑治烟火千家而其前为河，冬涸夏长^①。每当涨溢，水道循金湖、韦源通大江，苦涣散，无收束之势。阁于是奋跃而出焉，使水之来去皆吞吐、停涵于此。虽曰人事，实若天生。此阁之所由兴也。

距邑东南约里许，湖中有堤蜿蜒半抱。堤前砌石以为基，纵如千席，横如千席。后建大士阁，宝相威神，亦梵刹所希，瞻仰生肃。前建阁三层：绝顶祀文昌帝君，奎光弥布，云表下垂。中层以供游览，每载酒登临，窗棂达乡右。顾邑之烟火千家，一一呈现，如在波上。反若邑处外，而阁处内。前与左则群峰屏列：鹿头、龙角，兹其最著；其他耸者、伏者，拱者、立者，欹者、庄者，奔者、回者，隐者、现者。烟岚万态，尽入几席酒杯。渔蓑短棹，来往如在镜中。后则金湖、大江，供厥蕴隆，如兵家隐有千骑万乘之军其后。春风三月，堤柳腰轻；秋雨重阳，沙鸿音激。夏则凉风锦浪，冬则枯木夕阳。阁于四时，皆不岑寂。又左侧筑有浮图圆址，未成。前此，先大夫暨邑士大夫建于万历二十二年五月。岁久，水啮石颓，雨摧椽朽。立阁之

① 长：涨水。

下，上可见天，无复曩时层次。今重修，于顺治十八年秋月记成。

有客问余曰：“阁之平湖澄澈似西湖，层楼缥缈似黄鹤？”余曰：“凡云于彼乎似者，必于此乎未足也。阁自擅阁之胜，而必借境外之山川以助美，龙山有灵，未识肯随人呼拜否？人既有之，阁亦宜然。”

重修武昌府洪山报国万寿寺碑记

徐 惺

武昌襟江带汉，左凤凰，右鹦鹉，黄鹄矶绕西隅，烂柯峰回东麓。出郭山蜿蜒，怪石隆起，林木蓊郁，狮崖堆云。翠屏洼樽诸概，参差环列，塔影干霄，梵栋凌云。

唐大观中，灵济师自大洪山杖锡来游。至今，遂传为洪山崇宁万寿寺。宋节制孟公珙凿石堙壑，循旧址，宏敞壮丽。迨元江夏郡公黄文溍葺宇镌碣，历数百年，尘封象座，鼠窠古瓦，刹竿珠幢，几委荒烟蔓草。夫非无心感应，岂遂良因？

我大司马、中丞、夫子张公，以真佛子作大慈航。偶眷兹土，悯沉沦，鼓宝筏。庀材鸠工，尽圯毁以重新。不啻优昙发华而金姿诞应，娑罗变叶而塔像代兴也。即令绀殿崔嵬，复阁飞甍，层台曲径，数月告成。其与祇陀太子愿力布金八十，顷成精舍千三百区者何以异？譬诸湖水澄澈无垠、一尘不染。万缘皆空，是即正偏知。高峰壁立，振颓纲，缝绝纽。福慧两严，知行拜极，是即明行足。慈云布濩，洒甘露于大千，超万象而独立，是即无上士。总持教思，模范人民，仪型万世，是即天人师。林是毡檀，更无杂树；花惟簪筓，不嗅余香。制诸外道，降伏魔怨，是即调御丈。

夫峨峨洪山，汤汤汉水，悉本无心，不假思议，皆由本来佛。慧化万千亿身，只归一致。随机应感，自符弘愿。谓非正偏知、明行足、无上士、天人师、调御丈，夫其孰能若此？又岂孟节制、黄江夏两公所可望其涯涘哉？

是为记。

重修永济桥记

龚在升

余莅通六载，凡所兴革，不敢以宦地不常，目为传舍；亦不敢以公私交匮，苟且因循。学宫而外，业已次第具举矣。

县治南五里，有李渡桥。考旧《志》，桥旁从无李姓聚处。倡义建桥者，自宋淳熙迄元、明，亦从无李令尹踵事董修。桥〔名〕李渡^①，莫知所因。邑绅朱巨川，捐资数千，积岁十稔，曾一修葺，改名永济，前丙辰九月也。康熙甲寅仲夏，水冲桥圯，里人病涉。

余因江右寇警直逼通之九宫山，亲往隘口团练乡勇，取道李渡。见溪水暴涨，两岸山势峭立，即鼓楫乘桴蔑由以济。辄思古人徙薪防患，运甓习劳，正贵绸缪未雨。今非无事之日，毋论商农辐辏，藉为通衢，设赳桓之旅旦夕经临，而蹇裳问渡，非所以戒于擷资保障也。遂集绅士父老而告之，幸有同心，踊跃惟命。鸠工于乙卯九月，竣事于丙辰五月。长虹蜿蜒，亭宇岿峤。孰谓通人性铨，难与虑始哉？先是，天时淫雨，工人方苦沾足。及经营伊始，而三冬晴霁，仿佛春温。迨大雨倾注，河水泛溢，斯桥业已落成。矧谓兹桥更新，似有天幸。余之微诚，何能格天？毋亦好义者之愿力弘，而任事者之劝董敏哉？

夫桥成何足记？特以通邑硗瘠，时拙举羸，且修复于抢攘之日，乃趋事赴功，不谋而合。是役也，指臂相使，有官民一体之谊。爰勒石记之。

重建崇阳县治记

金绵祖

县有治，政教所自出也。古者巡行乡邑，有倚树为庐者。若日责其听断于棠阴柏影之下，其势必不能。则崇治之应更创，为不容缓矣。

夫崇治始于北峰亭畔，继在桃溪桥右，再徙而至今所。山围水

① 名：此字缺，据上下文义补。

绕，灵秀攸钟。故其冠盖相望，比户可封，非他邑所敢校。自癸未寇变以来，生齿凋耗，科第日渐寥落，官廨民庐，尽遭灰劫。岿然作鲁灵光之存者^①，了不可得。莅斯土者，又去就无常。议同筑舍，即时有葺修，岁久复为风雨侵蚀。若是，则崇治为不可复哉！而未敢即安也。

犹忆甲寅岁，予受篆来崇，父老候于道，备陈年来践更之累，村市萧然，士气沮丧，宾鹿不闻。虽运会应尔，良由县治颓废，兴举无期，本基拨而精神涣也。嗣后，绅士岁以为请。今天方降割，俾我民不克艰食，余茕茕在疚。不灾患是惧，而兴大功以召怨，余则曷敢？

乃崇人士义迫于不得已，联名上呈郡侯杜公，力为申请。大中丞张公慨然曰：“官民捐助，洵属盛举。敕行速修，以壮观瞻。”遂爰集学博曾君及绅士、诸父老盈庭佥议。首推黄子金华、何子修、汪子樾、丁子世美、汪子际烺、孙子嗣沆、□子垣、蒙子贞吉、陈子升祚、汪子□，力为分任，以便考核。于是捐俸发粟，鸠工集材，眎其缓急而先后之。先谯楼、大门，次仪门，次寅宾馆，次戒石亭，次大堂及赞政厅、库房，次左右六房，又次后堂；以至退食、偃息之所，庖廐仓廂，靡不毕举。外则芟荆度地，筑砖垣百丈，以树厥藩。虽址不加扩，而规模宏远，视昔有加。使三十余年茂草瓦砾，终日道谋，一旦焕若日星。凡胜衣之男，咕哔之士^②，莫不踊跃趋事。而躬自编于畚鍤之间者，则黄子金华、丁子世美、孙子嗣沆、汪子际烺尤为尽瘁。

是役也，经始于己未夏四月，落成于本年冬十有一月。其间有事东作，复阻于岁旱，车救不遑。计需民力，才百余日。捐输所入，仅四百有奇。轮奐之速，未有逾于斯者。此余向为虑始，今幸观成焉。

惟愿后之君子，坐堂皇而莅斯崇，幸鉴余今日音羽之劳，并上宪鼓励乐成之意、士庶急公从事之勇，为保障勿为茧丝，为韦佩勿为束

① 灵光：宫殿名。 ② 咕哔：诵读声，指读书人。

湿，庶几当年人文财赋之盛，更隆隆于不替，余与有荣施矣。
是为记。

武昌府重建“敬一亭”碑记

裴天锡

道岂有不一者哉？极之体本一也，阴阳判焉则二矣。中之体本一也，危微分焉则二矣。濂溪元公周子曰：诚无为，几善恶，盖极也。中也，是无为之诚也。阴阳也、危微也，是善恶之几也。言道而至于几，则二将入于非道，甚可畏矣。由是，万感乘焉，百欲纷焉。憧憧往来朋从，尔思所谓一者，不可复见矣。从不一以求其至一，圣贤于是著复性之功，曰：此非敬不可。戒惧慎独，以及如见如承。动亦敬，静亦敬，动静不一而敬无不一也。存理遏欲，以及谨仪敕度。内亦敬，外亦敬，内外不一而敬无不一也。以之敬身而身正，以之敬事而事治，以之敬民而民从，以之敬天而天格。久之，无不敬而俨若思，万感退听，百欲澄彻。程子所云“常惺惺法”者，敬之外无余念焉。无对待，无彼此。即敬，即一。即功力，即本体。善见不存，恶更何有？极之天则在是，中之允执在是，诚之不二无息在是，而吾性复，圣学全矣。

明之世宗曾有见于此，而著之为《箴》，且颁之天下学宫而欲师以此教弟子，以此学甚盛心也。第惜其义理之养尚浅，不能求贤自辅。当时薛文清、王阳明诸贤风流未远，如悟晰良知之赵公贞吉、罗公洪先，志兴古乐之杨公继盛，皆克派接程朱，学兼体用。乃摈之斥之、摧之折之。反感于斋醮长生之说、陶仲文异端之术。为《箴》为《叙》，竟徒托之空言。淆于似是，可胜叹哉！然而戒石之立，郡县凛为神明，是《箴》之传，庠序奉为纶綍。其所称敬怠纯驳，应念顿殊，征诸天人如鼓答桴之旨，足令人触目警怀，绎思惕志。洵心学之，渊源古今之金鉴也。顾敬一之道，凭于《箴》。《箴》之文，凭于碑。岿嵒片石，灵爽寓焉。昔人作亭，以翼覆其上，俾不为风雨薜莓所剥蚀、鼯鼯狐狸所践蹶。一其心于道，故敬其业于文也。

武昌郡为楚省都会，学宫重地。某既幸襄修建之举，而敬一之亭，屡经兵燹，苍凉山足，碣芜烟寒。虽殿阁堂庑轮奂皆新，而亭废犹故，间尝低回瞻眺而悲之。

恭逢总督部院徐宪台鸠工庀材，经营伊始，檄某董役。不揣下吏，拜承嘉命，竭蹶以趋，唯力是视。绵劳冰俸，敢爱厥私。是役也，不费于民，不移于帑。而規制轩整，木石坚致。固未睹昔构若何，而鄂之人士咸谓视昔有加焉。

虽然，其亦眷斯亭而知所兴起乎？夫濂溪周元公实维楚产，太极通书，传孔孟以来千余载不传之学；而明世宗入继大统，亦起自楚邦，敬一之《箴》潜与道契，则楚固理学之区也。今总宪之葺颓振圯，宁徒观美云尔哉？盖欲鄂之人士触目警怀，绎思惕志，以主敬之功力，合一贯之本体，则由体以达之用。敬吾君而一于忠，敬吾亲而一于孝，敬吾长而一于弟。知之精，行之熟，历之万事万物而敬无不一也。师以此教，弟子以此学。极于是，中于是。诚如是，将希圣希贤，继往开来之道与是亭均日新无已焉。即某等之协董是役而相与有成者，亦恪循斯训以永宪德于弗替也。夫岂小补之哉？敢斫石而敬为之记。

重修长堤记

裴天锡

鄂治多滨江，江水合众流入境，与湖为表里。嘉鱼当其冲，江夏受其流，而咸宁、蒲圻波及焉。田畴潴，庐舍湮，罹毒甚矣！昔之人欲障狂澜而下之，堤所由筑也。

而时异势变，历年愈久，举事愈难。宋之时，嘉鱼县尹唐均筑之，陈景去旧址更筑之。两人者创置非易，然延袤无几而工费俱约也。元之时筑于成宣，其规模较前远甚，然亦不过数十里。嘉鱼虽小，一邑成之。自明弘治，历正德、隆庆，姜溥、刘元相等相继屡筑。冲决无常，兴役无时，已非嘉邑所能堪。是以万历初，杨光宇有四邑协筑之请，然亦仅编银助费而已。至万历末年，下流激荡。日

久，虽高阜且为坎陷，旧堤不足恃也。时有司马熊公，建议自马鞍而下、赤矾而上，与山冈峻阜相间，为堤绵延百数十里，屹若长城。使江水由江口逆入，弭伏不为患。是非四邑分筑不能，而挠阻之端，由此始矣。何也？水之患，四邑共之；堤之境，江夏、嘉鱼二邑私之。若咸，若蒲，与堤相去或数十里，或百余里。所分筑者，尽嘉治也。令一下，其民不乐从事。不得已，始应命。堤虽成，犹坚控，愿后毋以为例。因复议每年每邑额编堤费若干，以协嘉鱼，而嘉鱼专任堤事。夫协堤之费，收之咸、蒲，给之嘉鱼，未必无侵蚀之者，是嘉民徒任堤工之苦，不得协费之实也；即其费尽归嘉民，而一邑之力，终不足济堤，乌得无溃溃之日？犹欲责嘉民而独修之，又奚有望焉？国朝康熙四年，顾御史疏请修筑。当事仍令四邑画界任工，复不得已应命而志不乐者，终在咸、蒲也。呜呼，难矣！然前此之役，堤费多出公帑；否则，其民安乐无事，家余积储，行有裹粮。虽工与费两出自下，犹无伤也。至承楚地用兵后，民久疲于供命，二釜且不给矣^①。而水复与民为难，二十三年，堤溃田浸，亟待增修。斯时以枵腹之民而欲驱之堤上，使露宿风餐，竭蹶效功，不更难哉？总制徐公、抚院石公、藩司王公、守道成公，稔知其难而又不可缓，命照界分筑之。嘉鱼以先受水，故闻命不辞。江夏以堤在境内不敢辞。蒲圻以堤界高爽，土刚而尚完，其修之也易，故亦不复辞。独咸宁分界地下土疏，易败难固，因欲复委嘉鱼，宁协以费，争诉不已。

诸宪台命太守裴天锡曰：“汝其往勘，务成兹役！”天锡曰：“是役也，民命系焉，国税攸赖。惟郡吏之责，敢不及期告成，以贻一方忧。”于是星驾赴堤，访父老，□故界，知四邑分堤，悉以救田多寡为准：江夏里六十三，患水者三十四；咸宁里十六，患水者八；嘉鱼里十二，患水者七；蒲圻里三十，患水者八。是以江夏堤界起赤矾

① 二釜：指两餐。古人因食物、照明条件有限，长期实行此餐制，仅农忙等偶有例外。

山，至夏田寺，其为丈五千五百有奇；咸接之，至殷家马头，为丈二千七百有奇；蒲接之，至石家墩，为丈二千四百有奇；嘉又接之，至马鞍山而止，为丈三千有奇。立法尽善，允可举行。乃率咸宁令詹象泰，聚其民而谕之曰：“尔民无谓上之不尔谅也，尔虽距江，均罹江厄；尔虽远堤，实享堤益。尔便协费，独力何成？尔苦艰筑，故辙岂更？邻邑有难，力所不逮。役尔民而代之劳，亦救灾恤邻之谊宜然，矧同舟共济者乎？尔不共命，余不尔宥！”因为之度地计工，纠其勤惰，劳之酒脯。而咸民乃相劝戒，持畚鍤，勤版筑，阅数旬而堤成。敢曰太守功，良由首宪爱民之深，故能成事于难也。

昔熊公之记长堤曰：“长民者，为民之心贵真；为士民者，同事之心贵一。”旨哉斯言！自兹以往，莅斯土者，勿弃前功，勿乱旧章。培之未圯之先，勿待坏溃而始救筑之。《月令》：土功宜始之日，勿当耕作而妨农。四邑之民，复能一乃心力，各修尔界，积广基址，种柳以护，何虑斯堤之不万年巩固哉？

为之记，著本末，列情势，示后人也。

杂 著

晋

征西大将军长史孟府君传^①

陶 潜

君讳嘉，字万年，江夏（鄂）〔邨〕人也。曾祖父宗，以孝行称，仕吴司空^②。祖父揖，元康中为庐陵太守。宗葬武昌（新阳）〔阳新〕县，子孙家焉，遂为县人也。

君少失父，奉母、二弟居，娶大司马、长沙桓公陶侃第十女。闺

^① 征西大将军：桓温官职。 府君：子孙对先辈的尊称。孟府君指陶潜外祖父孟嘉。 ^② 司空：《陶渊明集》作“司马”。

门孝友，人无能间，乡闾称之^①。冲默有远量，弱冠，俦类咸敬之。同郡郭逊以清操知名，时在君右，常叹君温雅平旷，自以为不及；逊从弟立，亦有才志，与君同时齐誉，每推服焉。由是名冠州里，声流京邑。

大尉（颖）〔颖〕川庾亮以帝舅民望，受分陕之重镇武昌，并领江州，辟君部庐陵从事。下郡还，亮引见问风俗得失。对曰：“嘉不知，还传当问从吏。”亮以尘尾掩口而笑^②。诸从事既去，唤弟翼语之曰：“孟嘉故是盛德人也。”

君既辞出外，自除吏名，便步归家。母在堂，兄弟其相欢乐^③，怡怡如也。

旬有余日，更版为劝学从事。时亮崇修学校，高选儒官。以君望实，故应尚德之举。

太傅、河南褚裒^④，简穆有器识，时为豫章太守。出朝宗亮^⑤，正旦大会州人士。率多时彦，君在坐次甚远^⑥。裒问亮：“江州有孟嘉，其人何在？”亮云：“在坐，卿但自觅。”裒历观，遂指君谓亮曰：“将无是邪？”亮欣然而笑，喜裒之得君，奇君为裒之所得，乃益器焉。

举秀才，又为安西将军庾翼府功曹，再为江州别驾，巴丘令，征西大将军、谯国（恒）〔桓〕温参〔军〕。君色和而正，温甚重之。九月九日，温游龙山，参〕^⑦、佐毕集，四弟、二甥咸在坐。时佐、史并著戎服，有风吹君帽堕落，温目左右及宾客勿言，以观其举止。君初不自觉，良久，如厕。温命取以还之。廷尉、太原孙绰为咨议参军^⑧，时在坐。温命纸笔^⑨，令嘲之。文成示温，温以著坐处。君归

① 乡闾称之：此句《陶渊明集》作“乡里伟之”。 ② 以：《陶渊明集》作“举”。 ③ 其：《陶渊明集》作“共”。 ④ 裒：《陶渊明集》作“褒”。 ⑤ 朝宗：朝拜。 ⑥ 在：《陶渊明集》无此字。 ⑦ 据《陶渊明集》补。 ⑧ 孙绰：《陶渊明集》作“孙盛”。 ⑨ 命：《陶渊明集》作“授”。

见嘲，笑而请笔作答。了不容思，文辞超卓，四座叹之。

奉使京师，除尚书删定郎，不拜。孝宗穆皇帝闻其名，赐见东堂。君辞以脚疾，不任拜起，诏使人扶入。

君尝为刺史谢永别驾。永，会稽人，丧亡。君求赴义，路由永兴。高阳许询，有隼才，辞荣不仕。每纵心独往，客居县界。尝乘船近行，适逢君过。叹曰：“都邑美士，吾尽识之，独不识此人。唯闻中州有孟嘉者，将非是乎？然亦何由来此？”使问君之从者，君谓其使曰：“本心相过，今先赴义，寻还就君。”及归，遂止信宿，雅相知得，有若旧交。

还至，转从事中郎，俄迁长史。在朝隤然^①，仗正顺而已。门无杂宾。

尝会神情独得^②，便超然命驾，迳之龙山。顾景酣宴，造夕乃归。

温从容谓君曰：“人不可无势，我乃能驾御卿。”

后以疾终于家，年五十一。

始自总发，至于知命。行不苟合，言无夸矜，未尝有喜愠之容。

好酣饮，逾多不乱。至于任怀得意，融然远寄，旁若无人。温尝问君：“酒有何好？而卿嗜之。”君笑而答曰：“明公但不得酒中趣尔。”又问：“听妓，丝不如竹，竹不如肉？”答曰：“渐近自然。”中散大夫、桂阳罗含赋之曰：“孟生善酣，不愆其意^③。”

光禄大夫、南阳刘耽昔与君同在温州，渊明从父太常夔尝问耽：“君若在，当已作公否^④？”答云：“此本是三司人。”为时所重如此。

渊明先渊亲^⑤，君之第四女也。《凯风》“寒泉”之思^⑥，实钟厥心。谨按采行事，撰为此传。惧或乖谬，有亏大雅君子之德，所以战

① 隤然：随和。《陶渊明集》作“随然”，义同。 ② 尝：《陶渊明集》作“常”。 ③ 愆：违背。 ④ 否：《陶渊明集》作“不”，义同。 ⑤ 渊：《陶渊明集》无此字。 ⑥ 《凯风》“寒泉”之思：指对母亲的思念。《凯风》为《诗经·邶风》篇名，中有“寒泉”句，抒思母之情。

战兢兢，若履深薄云尔。

赞曰：孔子称进德修业，以及时也^①。君清蹈衡门^②，则令闻孔昭；振缨公朝，则德音允集。道悠运促，不终远业，惜哉！仁者必寿，岂斯言之谬乎？

按：孟嘉已入《文章列传》中，今复录此，重渊明也。渊明品节、诗文不特为晋人第一，自清圣而后，与严子陵、管幼安、诸葛武侯、李邕辈，古今五六人耳。思其人尚爱其树，况文乎？特录之。

宋

平山先生墓志铭

谢枋得

平山先生母公，仁人也。少年见蜀人死于乱离，如痛人肌髓。收遗骸露骼藏之丛冢者，以万计。流亡苦寒、饥赖衣食以更生者，又几万人。帑不留钱，廩不留粟，悉倾倒施舍以活民命，家以此屡空。嗟乎？一年少书生，恻隐满胸怀，真能以天地万物为一体，岂非英雄人哉？

其尉安化也，峒岷作乱，单车牛衣入毳毼篁竹间，推赤心晓以祸福，开其生路。凶渠感恩罗拜至泣下，民社以宁。余谷万余石为社仓，四境无饥民。邑庠不养士，始辟斋舍，丰廩庖，日以六籍四书讲明，士皆笃文行。令有当为之事而不为者，公皆为之，士民爱戴如父母。

其摄令衡阳也，善政与善教并行。百姓得欢心而歌舞之，无以异于安化也。

部使者交荐，堂除南康令。公辞曰：“世与道交相丧，久矣！人物大凋零，愿作一冷官，为国育英材，可乎？”分教黄州，兼领雪堂、河南两书院事。教人必明体适用，文武无不能。功臣贵将子孙，皆愿立讲下。江淮湖右后进士，经公讲画有文名者尤多。沿江两帅借隆望以精神一阖，卫灵公岂能知仲尼哉？际可耳，公养耳。后帅辟为干办公

① 此句见《易经·乾卦》，相传为孔子所作。 ② 清蹈衡门：隐居柴门。

事，又辟主管机宜文字。虽不能悉心受教，公竭智殚虑葺罅漏，犹能护一面风寒。叛胆敌心有所惮，不犯（福）〔逼〕阃界。

时宰颇知公，除礼部架阁，仍赞军机，任改秩。襄围急，将相皆天夺其鉴，阳援而阴弃。公有策，可以解图，可以弭兵，可以使南北百万亿苍生全性命。知时宰必不用，襄必陷。忧愤成疾，竟以庚午闰十月十三日终于黄州官舍。

家无余财，厥子无以终大事。军民悲怜，敛殡葬祭诸费，皆阃帅给之。

公讳廷瑞，字仁叔。家世河东之龙门。后唐同光丙戌，高祖平章毋公昭裔从孟知祥入蜀，遂家焉。公生于成都，中进士第，兴元府推官。讳岩老者，其曾祖。登科，宰南溪。讳谏者，其祖，太学上舍生。讳自诚者，其父。生于己卯，享年五十二。娶刘氏，生三男：遇辰、逢辰、应辰，皆以奇才实学为达官、当方面者。所知由进士选举入仕，或辞禄庐墓，或贰郡，或丞邑止者，得伯夷、柳下惠之仁任者，合伊挚、吕牙之道，皆豪杰士也。逢辰仕建安，条上四十事，说达官为生灵留一发生意，人望翕然。

辛未正月十一日，子孙奉公枢葬于兴国军大冶县。乡曰永丰，里曰白雉，原曰黄龙山。

呜呼！公生而英伟，恢郭有大志，惠义而力仁。为布衣，已能哀怜锋镝遗黎，葬死者活生者，皆以万计，庶几古之君子！学足山人见天地、圣人之大，而仕止一掌故佐边阃。其没，年方五十二。诸公贵人不能用其才、行其道，以转亡为存、易乱为治也，惜哉！

枋得与公仲子相识晚而相知深。请予铭公墓。乃铭曰：“才可以扶国之亡而为兴，道可以挽世之降而为升。天不假孔明、公瑾以年，人已知汉业之必倾。计公生平之阴德，非古之大丈夫即不能。黄河之源不可穷，则奔流万里而入海。松根之茯苓不可剮^①，则柯叶千岁而

① 剮：斫。

长青。匪春种而秋获，信云簇而雨盈。志有续而道有传，必长拔巖崖辛苦之苍生而见清平。”

明

明伦堂遗教诸生

柳 东

先师道林蒋先生，甘泉湛先生门人也。自贵阳督学归来，静坐桃园精舍，尝示门人曰：“孔门之学，只在求仁。仁者以天地万物为一体，缘人从躯壳上起念，所以隔了许多藩篱。今欲复之，从何入？盖知天地万物为一体，方能以天地万物为一体。学人辈须收拾亥子之中，澄然静坐，忘助两无。顺其自然，不容丝毫人力。有一点己私起，即于几上迅扫之，如将克敌，以点识本来大公头面。识得后，时时刻刻，慎独而缉熙之。由此日就月将，渐入熟处。恍然见宇宙一身，工夫即本体矣。如此，方是知止，方是默识，方是默成，方是博约。同功敬义，一齐俱到。视民如伤，老安少怀。中和位，育实用，从此流出。合内外而一之，与天合德者也。舍乎此，则二氏矣。何也？盖吾儒之觉体万物以为公，二氏之觉外一身而守寂，其公私、大小不同故耳。太极定性，西铭等书（備）〔备〕言此意，白沙、甘泉、阳明诸先生，话头虽不同，总是一旨。学人辈口耳鲁论，不达此义，不知欲立立人，欲达达人，孔子已示人真头面。他如车裘共蔽，愿毋伐善施劳与夫一贯忠恕、修己安人之说，何莫非发明一体之义？”

夫先师静坐数十年，超然神悟。櫛柄入手，举其自得之宗旨以示门人，愧不肖立志不真，至今负之。窃思孟子谓“人之所以异于禽兽者几希”，又曰“放其心而不知求”。哀哉！吾人安可不惕然猛省？况此学一明，发之文章，则为道艺；措之事叶，则为德行。可以继往开来，至易至简。何惮而不为哉？不肖白首，尚期与同志共勉焉。幸人各识其真心而慎独，以造其极，庶学术不差矣。

儒学祭爵引

陈宗夔

此爵，乃文庙祭器也。惜无年号岁月，莫知所始。然观其型古，与今制大不类，盖必宋、元时物云。

予始得之表弟许汝彦，汝彦得之邻人，谓为焦岩河滨所获。以予好古，是以贻之。

予得之，喜不自胜。然又不敢自用也，谨送之学宫，以备酌献焉。因而叹曰：“夫子之道，其诚万世无敝矣乎！器，所以载道也。君子观器，即可以知道矣。然道之显晦有时，而器之遇合有数。此器埋没久矣，而一旦显出于圣朝隆盛之时，岂非吾道将行之兆乎？然又幸而不落莫于俗夫之手，乃归于予，以送学宫，仍备夫子酌献之用，是诚有数存焉已。夫时以经之，数以纬之，器存而道亦存焉。夫子之道不信，其为万世之无敝乎？闻民间尚有存者，使皆不自秘，如彦不自用，如予相与同送之学宫，以备祭器之阙焉，不可不谓之奇事而可传者也。

彦也，读书崇礼，乡士之嘉者。其先亦庠生，盖源流于吾道者。因表之，以为好事者传云。

祭爵引后

陈宗夔

初得此器，即送之学宫，以备祭器，存古也，且引以贻练亭曹君图志之。

曹君得之喜，遍访，其遗无存者。偶吴生濂以其续得者送上焉。其形似非爵，亦必用以盛祭器，况其概题为“通山县儒学祭器”，字尚未磨灭也。喜而留之，以候续考。

会县尉林伯和督运之南，遂捐俸托以铸之。林重其托，仍助其工费而铸其爵者二焉。虽不及其余，然亦其渐也。比归，出示曹君。喜其以渐而成也，适上丁行三献礼，每献有专爵焉。

同僚司训镜山古君、龙冈唐君相继至，亦乐先生陶铸之功大也，遂相与磨石纪之以述颠末，使后来者有所考见，而陶铸人材者更相砥砺。

亦犹夫子之铸颜焉，则材之盛其亦犹古之盛乎？不但礼器之可复也。

已，曹君复为之《赞》。古、唐二君，亦谓当纪之石，俾司祭器者有所守焉。

祭爵赞

曹 梓

祭爵三，邑人、副使陈宗夔为之《引》荐诸庙矣。

梓惩其不谨前而计后以务全之也，乃谋诸同寅，砉石为碑，《引》于上，立诸戟门之外。复拜手稽首而敬赞之于祭爵云：“昭灼尊灵圣，清醑（托系）〔系托〕。何时兵燹作？畴瘞诸儒。焦垆百一，存果之硕。晦复昭，明斯朔。大夫夔，（璧）〔璧〕完学。二为三，和尉慤。逮春秋，祝颛若。隐煌煌，奏格酌。今以俎，礼仪度。万斯年，承有恪。”

祀墓文

吕调阳

维水有源，其流则长。维木有本，其干则芳。繄维人斯，源本何在？衍度发祥，世德为大。越惟我族，系出楚邦。大冶之邑，茅潭之乡。洪武初元，调戍西粤。轮直番更，未有定宅。迨我曾祖，始家桂林。历祖若考，四传于今。肆予小子，谬忝甲科。玉堂通籍，金马鸣珂。匪曰能之，诒谋所启。孰开其先？大冶伊始。粤山楚水，千里来归。为言寸草，仰答春晖。睽隔云遥，一气感通。烈祖不泯，鉴兹虔衷。

揉篮井说^①

徐 行

井以揉篮名，取色也，其说见于黄帝正统云：“凿井而饮，色如揉篮。”按《易》：“井冽寒泉食”^②，则非寒冽之类不可食矣。揉篮，即其义也。

① 篮：按文意、字当作蓝。 ② 见《易·井》

然《笔谈》曰：“瘴水、乌脚不敢饮，饮则病瘴。”昔亦有梅花图者，坠于瘴，没顶乃出，举体尽黑，自谓必死，而夙病竟为之尽除。此类，又不知其为何也？岂非水色之有篮有乌者耶？乃《图经》又载：“黄山东峰朱砂泉，春水点茶色微红。”又非水之色有定者欤？揉篮亦犹是也。

今崇之揉篮，水味清洁，果不同于他水。至云：“其水昔曾作染”，则村俗不稽之谭耳。

书熊襄愍公传后

尹民兴

予与昭弟并读公治辽诸奏章，皎然日月，而窃怪当时诸蠹贼害其成不已，逐其人而又杀之以快志，其故何也？或曰：“公驭下严，交友刻，性气凌人，每事必求胜以免^①。”

久之，烈皇帝敕余行东边。边地诸长老为予言：“公束带见长吏，怡怡若家人。虽厮养下卒，一语偶中，往往握手引坐。”其推诚待人，不没人善类此。

惟诸奏多击瞽说，盛气不平，诚如人所訾。而予又观神皇帝之季年，一时贤大夫溺于李贽含垢无为之邪说，片策不发，以为全躯保妻子之图。最下贪金珠，若吠犬然，投骨即止。抱谋角立者，又如醉梦指东西，必败乃公事。公此时非瞻一身之死也，上而天子九庙，中而诸大夫，下至普天万亿苍生之性命，悬于一策成败之间。此何等事而排公以争，而欲公之争不必求胜乎？是无异于火发于室而责救焚者以邹鲁之步，覆舟在水而责拯溺者以容恭之手也。其不相继而焦烂者，几希矣。苏子瞻云：“士以气为主。”夫才犹火也，气犹风也。火挟风以昌，才乘气而大。有才无气，则为鬼域，为蛇蝎，柔环可狎，而专螫人于不见之中。此子长指为“阴贼”，而《巷伯》以为豺狼不食之余也^②。而欲公不性气也哉！

① 免：放手。 ② 《巷伯》：《诗经·小雅》篇名。

江南种殖议

周家鼎

闻之地之生物也，五土之宜：荆、扬宜稻，豫、并宜五谷种，青宜稻、麦，兗宜四种，雍、冀宜黍、稷，幽宜三种。又有曰：东方多麦、稻，西方多麻，南方多黍，北方多菽，中央多禾。高而阳者多豆，平而阴者多五谷。此皆自其大概言之耳。

昔者五谷、六谷、九谷之数，说各不同，而要之天之滋生所以育养民命者甚多。今惟麻、粱、苽及小豆诸类不常用外^①，其为稷、黍、二麦、二豆与稻者，率通同嘉种，无地不可生殖。至物性高下燥湿之宜，在人事相度之耳。

诗云：“貽我来牟，帝命率育。”则麦者^②，接绝续乏之谷。《尔雅》谓：夏时新旧之交，麦最先登，故以为重稷，为百谷之长，命曰“首种”。祭祀用之，谓之“明粢”。黍曰“芎合”；粱曰“芎萁”；菽则其类甚众，九谷特取其二。汜胜曰^③：“大豆保岁，易为，宜古之所以备凶年也。”凡此皆种之至美、造物之宝藏、生人胥托命焉。惟是西北之域，以麦为上。次则或稷、或黍、或粱、或菽，日用所需谓之“杂粮”。故风土人情多强劲丰（瘦）[腴]，荒不能灾。

而江以南独食稻，农民所务，舍此莫向。麦则视为贱者之食，至稷、黍与粱，恒种名不辨。菽则置为蔬菜。若苴若苽，又不知为何物矣。盖稻味甘美，胜于百谷。《邠风》之诗曰^④：“十月获稻，为此春酒，以介眉寿^⑤。”《鲁论》^⑥：“食稻衣锦。”则稻，所以康老疾，御宾客，诚重之也。但江南柔脆之性，膏粱之习，止崇其所嗜，他不之计。然稻者，大阴之精。虽易生，而纯待命于天。非淫潦不得入土，

① 苽：菰米，古六谷之一。 ② 见《诗经·周颂·思文》。 ③ 汜胜：汜胜之省称。汉成帝时为议郎，使督三辅种麦，关中遂穰，好田者师之。尝撰农书，在当时同类书中最为杰出。 ④ 邠：古作“豳”。 ⑤ 见《诗经·邠风·七月》。 ⑥ 《鲁论》：《论语》的汉代传本之一，相传为鲁人所传，是今本的源头之一。

非积水不获滋茂。五日无雨则渴，十日无雨则槁。是以《周礼》别设“稻人”之官，“掌稼下地”，以司蓄止均泻之政^①，诚难之也。《丰年》之诗曰“多黍多稌”^②。以稌性下湿，须必丰年，乃克与旱黍同熟。后世田亩，非有古者沟遂浍川之制，蓄泄有具，又恒产不尽膏（瘦）[腴]，彼苍者天，安得五日、十日如期浍萋之^③，应“获遂满车”、“满篝”之愿耶？以故，江南专恃稻为生者，春而屯膏则无由布种，夏即霖霖亦不能函活^④，愆期而雨，则秧老（无）[芜]丛。临刈而渴，亦粒秕不实。十年之内，以旱干呼告者常六七，以饥荒流亡者亦四五。众生咎天，而不解服耕之偏惰；司牧罪岁，而弗知民事之少齐。总之，以食为天者，除稻无以为生。江南所以不耐荒，一荒即乱离耳。

《食货志》曰^⑤：“种谷必杂五种，以备灾害。”《农书》曰：“山田宜种强苗，泽田宜种弱苗。”昔者《诗》记“叔苴”，《礼》载“瓜食”。下逮为稊为稗，汜胜之书亦谓“宜种之以备凶岁”。况五种之美，可任废弃，而独贪营一稻以为嘉殖耶？即曰：“稻之收获较他种为赢^⑥，众禾之工力，视艺稻常劳。然贪多务逸，以恒邀幸于不可知之天时，曷若原隰肥饶，酌宜均布，则失彼得此。或歉或饶，犹有退步资生，不至空望坐馁耶？余尝为说以告有田者，而人狙便安，皆不之悟。率谓杂殖之物，性地利举，未谙习云尔。”

岁壬子，鄂邑各乡无不成熟，而余里之永丰暨附近一二区独苦旱。然非尽无雨也，仍五日、十日而雨也，特霪濡微蒙，苗不能下田耳。而比户仰屋，咸辍耕号啼矣。幸犹赖州地及北来之麦，移助艰食也。洎夏至秧槁时^⑦，始群谋种菽。余劝之试种稷，逮秋复种菽，皆与与滋长^⑧。

① 见《周礼·地官司徒》。 ② 见《诗经·周颂》。 稌：稻谷。

③ 浍：灌溉。 ④ 霖霖：小雨。 ⑤ 见《汉书》。 ⑥ 赢：通“盈”，盈余。 ⑦ 槁：“槁”的通假字。 ⑧ 与与：繁盛的样子。

奄观铨艾，而益信天地生成之资，自然之利，无物不长。奈何惰昧寡筹，觅土鲜效，守逸于旨甘，委地宝于藜藿乎？今与我人约曰：“慎勿贱视麦秋，凡田之高原者，皆种二麦、稷、黍，次则佐以诸豆、粱、麻。其水田下湿者，乃种稻。即终需稻为他谷之本，亦应以他谷济稻之穷。俗所谓广种薄收，独愈于以孤注望岁，一匮而即无余地也。更愿长民者，移年例赈荒告免之精神，为之经画诫谕，少仿新畬百谷之咨茹，不惜黍稷烝髦之叮咛^①，力挽习便之日用，同登中土之农祥。虽江南眚痲之俗食稻养欲^②，不知戒种备事，而难与虑始，可与乐成。诚使督责树艺，或律以杂粮输公务，或准如往昔宅不种桑麻之罚。行之数年，习与性成，渐易俗尚，庶令稷、黍、麦、粱之储，与稻禾并重，则南方行普粒食之原，上官常省捐恤之议。百谷顺成，乐利同风，斯民其有瘳乎？”

圣诞会祭文

周家鼎

礼于二亲，生忌辰皆有致祭仪。师与亲，一也。

古者祀典，学人各祀其先师，盖以崇所自出。矧我先师孔圣，为斯道宗主，佑启后人千百世下所共高、曾奉之者乎？今自春秋二丁官司释奠外，其于降诞之辰，竟莫有记忆。

而举奠者尝怪缁黄之俦^③，各尊所好。如三月二十八、四月朔八及诸神降诞某某日，莫不聚众享献，殽核具陈^④，鼓吹交作。而我圣道广大，无祸福因果之说以动人，无象数声华之饰以炫外，故门墙冷落。即昌平笃生之庆，曹焉罔知，何碍天地之宽？然自反源源本本之义，能无恫耶？

或曰：时日不审也。稽《史记》、《世家》^⑤，仲尼生于鲁襄二十

① 烝髦：做上进的好人。② 眚痲：懒惰不肯出力。③ 缁黄：僧道。僧人缁服，道士黄冠，故称。④ 殽：“肴”的通假字。⑤ 《世家》：指《孔子世家》。

二年十一月庚子。惟是历数久迁，颇增异议，罕从折衷。而识者以夏正推算，断信为今之八月二十七日。里中同学，惟黄子右人、赵子硕言、刘子燕仲、定子子犹暨诸同志，慎核揽揆，于是以八月二十七日为准。竭诚秉德，如期祭奠，乐群合敬，致斋备仪。肇祀之日，虽近百人，而犹疑信半之。适值圣裔孔兴禧宦游来楚，群与相质。六十余代家乘，并参核杂传，悉日月合符，始信从无疑焉。

嗣是，大司马、总督蔡公雅意兴学，亦檄下各属，统于是日师生毕聚，另举殷荐，并会同讲究性理诸书，著为令甲。而圣会之举，于是盛行。

余山居简脱，莫识时务。丁巳仲秋，偶过泽宫，适诸子以圣会环集。奉牲醴拜舞，且为余历述祀事之始。继因风鹤，暂止一载，今幸举奠如常。予闻之，喜诸君子之乐道而尊师也。为此吁告同人，普同对越，庶不为浮屠氏所窃笑。更有交昂者，吾党念斯文之托惟兹，法言法服，永为作求，则羹墙之见，应非俎豆虚文也。

国朝

崇洪石镌

甘澹宁

崇祯戊辰，应府童子试归，雪陷泥淖，止宿洪下。次早天开，行至柳树桥石路将尽处，忽见壁间点画。微拂分明视之，有“大宗岁癸丑宝祐”七小字，下四行：“凿山引水，拔石通道，使往来者永有利济”，十六大字。旁一直行，有“岁巳宝祐”云云。其下似有十余字，多是此公姓名、官秩，则石筋绽裂，齿缝嵯嵯，莫可识认。后又有小字百余，只存一“丑”字于微茫依稀之间。归告先子，先子曰：“儿未行钦上里连河岭路乎？砥途砌级，为吾崇、长沙郡达武昌旧路。至隋唐始割属武昌。”而崇洪为后开之路，明矣。

继此十六年来，风雅凋尽，区区斯世之存亡，亦置度外。时顺治辛丑，偕长儿李至崇洪。低徊详审，而字迹宛在，如逢故物。因指示李儿泊同行之友。但昔年“凿”字，尚有“金”字，今去。“使”

字亦去“人”旁，而只存“吏”字一半。三十年间，石有莫保之势，况五百年耶？窃思其文曰“凿山引水”，必其初有巨鳌怪笋磨立水中，喷沫喘波，簇占交锁，凿之以通舟楫者也。文曰“拔石通道”，必其初为山麓陡顿，五丁束手，造良回驾，长天一线无可着屐，拔之以通车马者也。文曰“使往来者永有利济”，必其荒开草昧，自我作始，为前人所未及，贻后人以永赖者也。阅宋而明，吾崇仰止吴公纪胜增志，仙友汪公披览山川，独于斯缺焉。嗟乎！数何奇哉。

及遍搜崇记，在南宋都杭时，邮使命臣游滇、黔、闽、粤者，道经吾崇，故名入于小桥野店，莫不题咏。崇洪嶮巇，竟无半字。则宋代至宝祐前之道，不出于崇洪，昭昭矣。汉末，孙权往来江上，进驻崇阳，筑城中圳。今河以“吴城”名，“洗瓜”、“试剑”有池，不闻有崇洪遗迹。而黄巢陷逆之变，祸遍崇山。岩头、金界，斩塔有痕，亦不见于崇洪有恶迹，则汉唐两代之道，不出于崇洪，又昭昭矣。至隔岸“伏波”一庙，尤为疑案。想即“开山引水”之公所立，以捍卫保障一方者。大约如西郭之“丁祠”、北郭之“张祠”类耳。后人不察，以为马援征五溪经过而祀之，抑何荒唐不经也哉？不然，张乖崖、李忠显为宋名邑宰，何曾半字及崇洪？传至于明代，学道许少华临崇，考较抚院顾东桥、三宿北峰亭，其过崇洪有诗。明人见之而歌，岂汉、唐、宋人见之而不歌乎？第不知此作者何人？而独于其人之姓名、官秩不少坚也。噫嘻，可怪矣！意名邑宰陈仲微为之，或任希夷为之。仲微虽风流宰邑，兴创培植，品题至佳。按其于崇，尚为淳佑间，前乎宝祐。以洪之景，使其过之，恐咏溢他景之外矣。希夷踵仲微后，后乎淳佑，必此君乎？

山川有知，尚其来告。万季奇迹，不可无诗。

皮贞女小传

丁克扬

贞女皮氏凤贞，为楚之下隼人也。父文楚，母卢氏。弟大鹏、大受，俱为邑诸生。其先为襄阳皮日休后，诗礼名家，卓然可纪。

女生而贞静，姆教夙娴。年十三，许配邑之周姓名文彬者。彬祖修吉，固宦裔也。许甫四年，寇氛适炽。江之南北，无一寸干净地矣。彬为贼兵所掠，莫知其终。然为之翁若姑者，前此犹望其归，守贞数年，未足奇也。迨后十年不归，此子无复望矣。鸯钗终断，鸾镜长辞，贞女将安归哉？爰是父母舅姑劝令再适，虑其芳华易歇故耳。女则以柏舟自矢，甘寂处终其身。有婉而导之者，女辄涕泗横集，不欲作人世想。盖古之截耳者流也。父母舅姑亦遂殉其志而不为之强。迄今计其守贞之年，三十有一载矣。孤灯夜雨，冰蘖自恬，其殆霜雪不改其操者乎！然于亲没之后，足迹不出户庭。东城外桥梁三朽，渠三易之，更足多也。至躬亲织纴，分内事耳，不足为之子奇。所足奇者，以处子而终身不嫁也。

余以守官通城，缮辑《通志》，闻女之贞而奇之，爰为之歌以纪其事。歌曰：雋溪有贞女，十三许字人。干戈适抢攘，遍地皆黄巾。寇焰肆焚劫，楚俗无完民。藁砧被生掳，军马如云屯。尔时未婚配，夙实处子身。公姑夙夜望，儿归偕晋秦。去去弗复返，哀哉陷贼尘。承平日且久，音书绝鱼鳞。流光转迅速，倏忽年经旬。芳华恐终萎，命之别选姻。之子霜雪姿，清标轶群伦。掩袂辄涕泣，愿得全其真。椿萱既已逝，依弟三十春。终始志弗渝，节操凌松筠。内外甚肃穆，幽贞泣鬼神。我莅锡山土，采风及温纯。众口咸啧啧，为道闺中辛。世裔日休后，择婿名文彬。乱亡失所事，空忆延平津。毅然誓截耳，共姜堪比邻。彤管嗣音徽，洵属世所珍。闻言意凄侧，将以勒碑珉。咏歌愧不雅，藉兹达枫宸。

杂 考

赤壁

蒲圻县西赤壁，正刘备、孙权破曹操处，在乌林矶对江南岸，非苏子瞻所游赤壁也。

子瞻谪齐安时所游，乃黄州城外赤●矶，古之朱城。下有白龟渚，为毛宝军人放龟处。当时误以为周郎赤壁耳。宋元丰六年，东坡自书《赤壁赋》后云：“江汉之间，指赤壁者三焉：一在汉水之侧、竟陵之东、即今复州。一在齐安郡步下，即今黄州。一在江夏西南二百里许，今属汉阳县。”

江夏西南者，正曹操兵败之地也。按《三国志》，操自江陵而下，备与瑜等由夏口往而逆战，则赤壁明非竟陵之东、与齐安之步下矣。又按《墨庄漫录》云：黄之赤壁，土人云本赤墁矶也。”故东坡长短句^①：“故垒西边，人道是三国周郎赤壁”，则亦传疑而云耳。今岳阳之下，嘉鱼之上，有乌林、赤壁，盖公瑾自武昌列船，风帆便顺，溯流而上，遇战于赤壁之间。杜牧诗曰：“乌林（劳）[芳]草远，赤壁健帆开。”是则真败魏军之处也。今《一统志》亦曰：“赤壁在武昌府城东南九十里。”唐《元和志》：“在蒲圻县西一百二十里，北岸乌林，与赤壁相对，即周瑜焚曹操船处。”《图经》云：“在嘉鱼县西七十里，其地今属嘉鱼。”宋苏轼指黄州赤墁山，为刘备。盖刘备居樊口，进兵逆操，遇于赤壁。则赤壁当在樊口之上。又赤壁初战，操军不利，引次江北。则赤壁当在江南，亦不应在江北。今江汉间言赤壁者五：汉阳、汉川、黄州、嘉鱼、江夏，惟江夏之说合于史。宋李壁诗：“赤壁危机几度过，沙羡江上郁嵯峨。今人误信黄州是，犹赖《水经》能正讹。”据上诸说，则知东坡当日作赋时之误。盛弘之《荆州记》云：“蒲圻沿江百里有赤壁”，指西良旧治而言。《通考》注云：“蒲圻，吴县。有赤壁，在今西良湖侧。”亦非也。湖侧并无赤壁。今赤壁出蒲圻黄盖湖，距县五十里余，现有“武侯祭风台”遗址。土人尝于其处耕得箭镞、戈戟，其为破曹之地无疑矣。

邑人、副使何思登有《记》。唐杜牧之、胡曾有诗，载《艺文志》。

^① 指苏轼《念奴娇》词。

楚方城

《水经注》、《郡国志》曰：“叶县有方城。”郭仲产曰：“因山以表名。”《尸子》曰：“楚狂接舆耕于方城。”盛弘之云：“叶东界有故城。始犇县东，至淙水，达淝阳界，南北联络数百里，号为‘方城’，一谓之‘长城’云。酈县有故城一面，未详里数，号为‘长城’，即此城之西隅。”其间相去六百里，南北虽无基筑，皆连山相接。而汉水流其南，故屈完答齐（威）[桓]公云：“楚国方城以为城，汉水以为池”。杜预曰：“方城，山名。在叶南。”未详孰是？

按《统志》，裕州有方城山，裕之属为叶，秦置南阳郡，属荆州。屈完所谓方城，其即在叶者与？蜀杨慎《丹铅余录》云：“《左传》‘方城以为城’，古本‘方’本‘萬’字，古字‘萬’亦作‘万’，故讹尔。唐勒奏《七论》曰：‘我是楚也，世伯南（士）[士]，自越以至叶，垂弘境万里，故曰万城也。’”斯说凿矣。

冯京父名

《宋史》不见本传，按邵氏《见闻录》、升庵《丹铅续录》，谓京父名式，为左侍禁。京生而隽迈不群，式一日取其所诵书，题其后曰：“将作监丞、通判荆南府事冯京”。式既退官，十一年举进士第一，为“将作监丞、通判荆南”，时人谓式为知子，出《氏族志》及《言行录》。《氏族志》，宋人所编，当得其实。

传奇以为名商，凭臆杜撰，诚可喷饭。

吕仙

宋太守贾奭有古镜甚宝。有道人自称善磨镜，以药少许置镜曰：“须归取足之。”去不复来，乃见寺门诗曰^①：“手内青蛇凌白日，洞中仙果艳长春。须知物外烟霞客，不是街头磨镜人”。奭见而异之，

① “宋太守……寺门”：前江苏本有，后武大本有。

知为吕仙^①。

后复儒冠登武冈谯楼，叹曰：“佳哉，山水！五百年无兵火可避乱也。”愚谓武冈幽岩、峭壁，山水之佳，诚如吕仙所言，但自宋迄今，几历兵火，而近时避兵其中者多遭屠戮，岂神仙之言有验、有不验耶？

吕仙笛

橘斋史右丞夙病眉瘤，初至馆楼上，梦仙拭面而瘤脱。既觉，往谒“吕仙亭”，物色如所见。

平章忽刺歹夫人秃满伦氏患头风，日夜望仙祷祈。已而闻笛声，皆曰：“仙笛也。”公曰：“仙有灵，当再闻！”及夜，笛声起墙外。自是，夫人起居如初。出元郑璧《吕仙亭记》。

宋大宪

《一统志》作汉宋无忌为火神，而《总志·杂纪》作长孙无忌，其说又异。

吕公洞

张舜民《南迁录》云^②：“江夏吕公洞前有军巡夜，逢三人衣冠甚古，遗黄金片片。携归，光彩焕发。官觉收之，则皆化为石，命藏之军资库^③。”

① 吕仙：即吕洞宾，传说中人物。相传名岩，为唐京兆人。咸通中及第，两调县令。后修道终南山，不知所终。元、明称为八仙之一，道教正阳派号为纯阳祖师。② 张舜民：参见《宦迹志》。③ 苏轼《李公择求黄鹤楼诗因记旧所闻于冯当世者》、清潘永圜《宋稗类钞·道教·十三》也记载有类似传说。

峡山泉

峡山口有泉，方广不五六尺，深半之，其水清冽。每当除夕亥、子之交，泉忽涸；及元旦子初，沸涌如常。

桃痕

黄鹄矶有洼迹似桃。石上痕俗传吕仙假卖桃以验众，售桃者第云“归遗释子”，无及父母者。吕感忿，掷桃于石而去，痕遂存。

铁井

在铁佛寺。明正统间，泉忽涌。得汲器，有“铁树宫”字。相传井通南昌。

江夏旧姓

王伋、吕蕤，并江夏旧姓。伋为江安令，蕤为秀才。时张昌叛乱，旬日之间，众三万。江夏义阳士席，莫不从之，唯伋、蕤不从。昌以三公位征伋，密将宗室北奔汝南，投豫州刺史刘乔。纠合善士，得五百余家追随，伋等不豫妖逆。

陶侃

侃在武昌，与佐史从容饮燕，常有饮限。或劝犹可少进，侃凄然良久曰：“昔年少曾有酒失，二亲见约，故不敢踰限。”

岳武穆^①

飞领兵过茶陵，乡人尹彦德以牛、酒谒军门，犒军三日。飞曰：“汝当以诗书教其子孙。”乃亲书“一经堂”三大字遗之。彦德如其言，子伯正、仲正后果登第。

① 岳武穆：参见《古迹志》嘉鱼县。

飞初封武昌县开国子，后子霖遭湖北。过武昌，吏民设香案，具酒牢，哭而迎。有一姬尤哀，曰：“相公今不复来此矣！”霖呼而遗之食，问其夫何在？姬哭曰：“不善为人，为相公所斩矣。”问其子与婿，皆然。人以是知公之感人者深矣！

富池庙

吴将军甘宁祠也。建炎间，巨寇马进兵蕲黄，渡江至庙求杯珎^①，欲攻兴国。神不许，至于再三。进怒曰：“不问何珎，必屠城。”乃自取掷，坠地不见。珎附着门，平颊上，去地数尺。进惊惧，拜谢去，不敢屠城。

王敦

《语林》云：王敦尝坐武昌钓台，闻行船打鼓，嗟称其能。俄一槌小异，敦以扇柄撞几曰：“可恨！”时王应侍侧曰：“不然，此是回帆槌。”使视之，云：“船人入夹口。”应知鼓，又善于敦也。

① 杯珎：占卜用具。以两蚌掷空落地，观其俯仰，以定休咎。后以竹木削代。

索引

本索引为书中重要人物、诗文注释等查检设，以汉语拼音字母为序，同音调者参考汉字笔画数。《修志姓氏》“分订”以下，意义信息有限，故不收入。《秩官志》、《选举志》人多，事迹较少，亦不收。《列女列传》仅有姓，致重复率高，不便编检，意义不大，也不收入。

A

哀江南赋 109
哀秘书监江夏李邕 694
艾朝端 640
艾诚 604
艾杰 515
艾然 635
艾自馨 620
按察司公署 743
案而不断 5

B

八分霁雪 706
八索 9 677
白龙寺 749
白石山 701

白杨湖 73
白雉山 752
百丈泉 777
半刺 21
宝塔灯辉 706
宝通寺 737
宝陀碑文 852
鲍旭 391
鲍宗 603
杯樽铭 790
本开 668
避地莼滨偶成 743
避暑松风阁 756
避居普济寺 759
碧崖亭序 823
编户 72

边整 370

卞敦 355

卞孔时 361

别仲茂 388

兵后还武昌 742

丙寅春，胡砥庵招饮扬园

786

丙寅仲春，由江夏往嘉鱼，

督视工筑长堤，寓目即事 706

泊汉阳门 763

泊鹦鹉洲 762

补渔父词 782

不佞 7

不知何处僧 667

簿书、期会 6

C

蔡国祥 676

蔡京 357

蔡宁 676

蔡士用 380

蔡仕 582

蔡铁 673

蔡寅 395

蔡哲 553

蔡仲舒 397

参议 132

长林杂韵 782

常居安 548

常居敬 562

曹当勉 606

曹明燮 634

曹慎 360

曹廷对 676

曹应聘 368

曹志遇 542

车笠 11

车应 638

车胤 111

陈昌言 619

陈大德 605

陈待举 31

陈飞鸣 396

陈灏 367

陈洪烈 385

陈怀瑾、[陈]怀珽 619

陈海 576

陈晦 360

陈戡 609

陈鉴 363

陈靖之 511

陈俊武 609

陈梟 7

陈履 377

陈敏常 31

陈情疏 802

- 陈庆勉 374
 陈求道 505
 陈铨 398
 陈汝楫 588
 陈瑞 623
 陈若夔 605
 陈士元 595
 陈士衡 621
 陈天祥 364
 陈王廷 567
 陈文礼 554
 陈文伟 555
 陈文宗 572
 陈渥 571
 陈玺 617
 陈孝子 614
 陈学夔 362
 陈琰 31
 陈肇昌 23
 陈撰 619
 陈瓚 597
 陈曾 589
 陈之清 581
 陈智 543
 陈忠爱 607
 陈仲谋 612
 陈仲微 383
 陈倬 601
 陈宗夔 518
 成光（仲谦） 10
 成化十六年谢侯修学记
 886
 成始终 160
 成文炜 369
 成务 532
 成宣 369
 成遵 359
 程从龙 627
 程铎 567
 程光禧 30
 程鉴 385
 程九伯 601
 程九万 395
 程立中 587
 程梦麟 379
 程墨 633
 程鹏 572
 程师德 627
 程尧臣、弟舜臣 602
 程沂 578
 程忠昆 617
 程可登 371
 程普 354
 澄清楼记 941
 赤壁 748 979
 赤壁和杜牧之韵 780

- 赤壁怀古 763
- 赤壁山 740 747 773
- 775
- 重创蒲圻县治碑略 848
- 重登黄鹤楼 759
- 重登西塞山怀古 748
- 重构黄鹤楼 715
- 重建大成殿记 878
- 重建河北候馆记 937
- 重建江夏县儒学序 839
- 重建“松风阁”记 955
- 重建“庾楼”记 955
- 重九前一日登黄鹤楼 742
- 重新文庙记 926
- 重修崇阳城记 902
- 重建崇阳县治记 960
- 重修长堤记 963
- 重修叠山祠记 946
- 重修乖厓祠堂 877
- 重修怀坡亭记 896
- 重修江夏县学记 952
- 重修金堤渡记 925
- 重修庙学碑颂 849
- 重修谯楼、仪门记 899
- 重修儒学记 949
- 重修儒学碑记 934
- 重修三贤祠记 895
- 重修社稷山川坛记 923
- 重修武昌府洪山报国万寿寺
碑记 959
- 重修武昌府儒学碑记 950
- 重修武昌府儒学记 863
- 重修武昌县学记 920
- 重修西河桥记 918
- 重修县治记 888
- 重修永济桥记 960
- 重阳后一日登西山 701
- 重阳日鄂城楼送屈突司直
723
- 重筑北河城垣记 938
- 出兴国郊劝农 699
- 初冬饮黄鹤楼同李蟠庵诸同
年赋 783
- 初赴江夏黄鹤楼宴集作歌呈
席上诸君子 718
- 楚方城 981
- 楚宫老妓行 719
- 楚故宫 735
- 楚山谣 774
- 褚烜 355
- 褚潭 387
- 春赋 682
- 春霁偕诸子登南楼和时庵韵
758
- 春暮游弘山寺次韵 735
- 春日洪山寺纪游 765

春日偕胡子文内翰、郭启之
 黄门游碧云寺 729
 莼塘 726
 辞乡饮 778
 次武昌 712
 崇洪石镌 977
 崇阳洪记 944
 楚储末议序 841
 楚昭王碑文 845
 楚庄王碑文 847
 崔元登 392
 萃景楼 744 749

D

答子瞻 741
 大别山 713
 大观台 735
 大泉洞 770
 大崖石室记 892
 大冶县儒学记 876
 大中丞石公去思碑记 864
 戴成名 381
 戴城 379
 戴德 397
 戴若思 638
 戴书 546
 戴思明 613
 戴仲若 636

但存学 557
 但仕 610
 但应隆 599
 当宁 2
 道士泐 752
 道士泐西塞山 777
 德新堂铭 791
 登黄鹤矶 692
 登黄鹤楼 732 745 750
 751 763 779 785
 登黄鹤楼即事 763
 登黄鹤楼远眺 763
 登龙泉山 774
 登武昌黄鹤楼远眺，三用前
 韵 784
 登西塞山 753
 登西山 697
 登沼山寺 753
 登沼山寺尹茂才携酌 753
 邓逢晋 31
 邓扬楚 594
 邓槐 553
 邓林 588
 邓士亮 564
 邓士望 581
 邓士毅 676
 邓廷佩 609
 邓廷猷 547

邓仔 375
 邓真 544
 滴乳岩 777
 吊鹦鹉洲赋 683
 钓台 776
 叠山书院会课序 827
 丁鹤年 639
 丁士梅 375
 丁世熙 630
 丁世雍 616
 丁炜 8 28
 东方朔 136
 东郊春赏 704
 东流寺 755
 佟卜年 637
 董暹 580
 董良宣 366
 董其昌 160
 董宣 353
 洞渊观 769
 窦参 361
 杜淦 627
 杜敏 387
 杜士全 395
 杜毓秀 361
 杜巽 365
 度石门山 693
 渡金湖 724

渡西塞望江上诸山 693
 段然 539
 段少连 382
 多宝寺 747

E

鄂州改建社稷坛记 874
 鄂州何大夫创制夏亭诗序
 821
 鄂州新厅记 866
 鄂州寓严涧宅寄怀 738
 鄂渚 725
 鄂渚招王昌龄、张偿 694
 恩波亭 741
 恩荫 28
 珥笔 20
 二月二日华容寺题，用许仲
 晦韵 754

F

发咸宁行松径至芦子 699
 樊口隐居 742
 樊口阻风同仲美作 748
 樊吟 107
 樊继 391
 樊山记 869
 樊山漫作 696
 樊尚燬 362

- 反侧 1
- 范成大 373
- 范纯粹 636
- 范俊 570
- 范坦 150
- 泛菴川 729
- 方宸 621
- 方逢时 503 619
- 方进 555
- 方孟錠 605
- 方谦吉 395
- 方琼 505
- 方师海 611
- 方嵩 570
- 方外 5
- 方一桂 376
- 方輿胜览 117
- 方泽 357
- 方子贵 598
- 芳洲烟雨 705
- 飞云洞歌 714
- 费师古 586
- 费祎 524
- 费昶 584
- 风波港望西塞山 733
- 风后 20
- 冯昶 366
- 冯商 640
- 冯京 8 146 499
- 冯京父名 981
- 冯敏 571
- 冯祺 606
- 冯洽 513
- 冯去疾 390
- 冯天禄 616
- 冯万金 394
- 冯文简公祠堂记 887
- 冯源泗 369
- 冯昭奏 356
- 冯之图 597
- 凤凰山赠廖明略 724
- 凤山清晓 704
- 凤山书院赋 684
- 伏曼容 355
- 伏羲 9
- 芙蓉峰 729
- 福胜寺 776
- 附骥 25
- 赴黄鹤楼崔侍御宴 738
- 富弼 357
- 富池 780
- 富池楼回文二首 744
- 富池庙 984
- 富元衡 390
- 傅良选 360
- 傅卿 605

赋得“白云千载空悠悠”

766 767

赋得“此地空余黄鹤楼”

766 767

赋得“芳草萋萋鹦鹉洲”

766 768

赋得“黄鹤一去不复返”

766 767

赋得“极目乡关何处是”

768

赋得“晴川历历汉阳树”

766 768

赋得“日暮乡关何处是”

766

赋得“昔人已乘黄鹤去”

765 767

赋得“烟波江上使人愁”

767 768

G

改建儒学门、堤记 870

甘将军庙 748

甘宁 389

港口铺 725

港口驿 743

高邦佐 377

高观山晚眺 781

高观园咏牡丹 780

高举 377

高骧 627 640

高真祠值雪 751

葛凤仪 376

葛洪 107 669

葛山 697

葛素 553

葛应蛟 367

庚申秋，楚有哗兵，徐子惺
方伯摄巡抚相几枚戢，乱庶遄
已，步韵寄悔人 764

庚子二月既望，黄鹤楼招同
傅绣水余西崖、夏人淑、毛子霞
及家儿始奋，分韵 755

耕三积九 79

羹墙 13

龚伯宁 572

龚鼎孳 12

龚逢璧 605

龚逢祥 595

龚家仁 31

龚良傅 546

龚乾瑞 606

龚乾曜 630

龚善 385

龚晟 545

龚士稔 13 29

龚湜 576

龚叔升 633

龚台 676

龚枬 630

龚棹 579

贡其志 510

辜皋 543

顾璘 80

官抚邦 396

观音阁 746

观音岩记 910

管讷 637

广慧禅师 671

鬼谷 62

癸亥夏泛武昌望黄鹤楼

703

郭翻 626

郭懋 560

郭乔垞 582

郭舒 355

郭希林 626

郭允楨 577

郭正域 519

郭仲选 371

郭周孚 389

过楚故宫 786

过樊口 724

过寒溪步邬峒庵韵 755

过江夜行武昌山上，闻黄州

鼓角 711

过九峰 757

过留云庵 754

过蒲圻 725

过武昌县，舟人遥指诸葛祭
风台，风驶不得泊访，再用前韵
784

过西塞 780

过夏口寄恽君 773

H

寒溪寺 702

韩本 604

韩衡 588

韩济 360

韩琦 357

韩世辅 375

韩侂胄 358

韩楷 535

韩相 365

韩仲卿 363

韩仲卿去思碑记 843

汉口宴别 721

汉江 772

汉江歌送范子之桂阳 712

汉江望黄鹤矶 745

旱灾疏 800

何城 360

- 何端 629
 何槐孙 542
 何隆 674
 何鸣銮 393
 何其贤 387
 何思登 537
 何廷韬 369
 何维 587
 何伟 593
 何应奎 393
 何应軫 622
 何远梁 356
 何燾 553
 何遵武 388
 河阳谢上表 793
 劾次辅丁绍轼疏 810
 阖闾 95
 和伏武昌登孙权故宫 692
 750 772
 和秦武昌赤壁怀古 743
 贺昌明 623
 贺逢圣 508
 贺人龙 386
 贺时泰 607
 贺世驎 620
 贺铸 144
 鹤楼望大江 755
 鹤楼夜月 705
 横山弘山寺 733
 洪山宝藏寺 721
 洪山道中 781
 洪山寒食 785
 洪山寺影墙双龙歌 717
 洪天擢 360
 侯景 104
 侯应爵 561
 侯玉 375
 侯瑱 73
 胡秉性 384
 胡椿 675
 胡从化 635
 胡戴仁 6 28
 胡定 561
 胡富 634
 胡公生像记 900
 胡亨政 613
 胡嘉栋 361
 胡可仕 628
 胡来晋 609
 胡濂 576
 胡念祖 597
 胡其高 377
 胡叔 627
 胡文寿 587
 胡文忠 602
 胡希寅 560

- 胡希瑗 559
 胡兴福 383
 胡尧凯 517
 胡尧元 527
 胡羸 391
 胡应辰 562
 胡有恒 609
 胡裕 558
 胡允公 361
 胡允同 596
 胡泽 675
 胡曾 639
 胡正清 630
 华存礼 578
 华陂记 933
 华严庵咏桂 762
 华阳国志 22
 还里同诸姻友登青龙阁有感 770
 桓宣 355
 黄霸 122
 黄表 558
 黄朝用 578
 黄琛 598
 黄纯 380
 黄凤麟 585
 黄幹 144
 黄冈湖 751
 黄公山钓台记 891
 黄观象 614
 黄广 375
 怀坡亭记 893
 黄河 393
 黄鹤楼 711 717 731
 737 738 739 741 742 746
 748 750 756 764 765 775
 黄鹤楼次李西涯阁老韵
 712
 黄鹤楼东望兼呈裴使君
 764
 黄鹤楼赋 687
 黄鹤楼歌送人 708
 黄鹤楼怀古 762
 黄鹤楼记 867
 黄鹤楼即席
 758
 黄鹤楼留别许督学伯诚
 744
 黄鹤楼诗卷序 824
 黄鹤楼送康太守 696
 黄鹤楼送孟浩然之广陵
 774
 黄鹤楼同汤次曾赋 783
 黄鹤楼同周星公、陆鹤田、
 张夏钟、李杞瞻、张石虹、毛子
 霞、蒋玉渊分赋 757

黄鹤楼夕眺 736
 黄鹤楼宴集 736
 黄鹤楼夜眺 735
 黄鹤楼寓题 740
 黄鹤楼远眺 781
 黄鹄矶 737
 黄鹄矶晓望 761
 黄金甲 623
 黄金茎 610
 黄菊山 671
 黄军浦 73 105
 黄溥 602
 黄裳 386
 黄色中 564
 黄石公 130
 黄士吉 675
 黄顺 573
 黄天性 674
 黄庭坚 125 151 357
 黄图升 594
 黄玠 556
 黄应龙 364
 黄煜 588
 黄镇 668
 黄中理 670
 黄衷赤 381
 黄州陪子瞻游武昌西山 698
 黄宗荣 618

黄遵 613
 回文诗 160
 惠公禅居赞 792
 慧光禅师 668
 货殖 5
 霍际斯 30

J

汲黯 355
 己亥夏日阻风武昌 758
 己亥小除招同何不偕、陈元
 孝登黄鹤楼 759
 伎术 5
 既望 151
 季秋同王二子修、四弟子翰
 游龙泉寺 726
 季向阳 360
 寄九宫山提点兰谷 742
 寄题黄鹤简秦开府 712
 寄武昌白云老人卫均执
 711
 寄谢鄂倅南宫城 740
 祭风台 774
 祭爵引后 971
 祭爵赞 972
 祭器记 948
 嘉鱼重修庙学记 916
 嘉鱼、蒲圻、咸宁、江夏长

堤记 931

嘉鱼县程侯修城记 917

甲观 23

贾纯肖 611

贾汉谊 386

贾栖鸾 395

简世杰 373

简廷仁 387

江表传 147

江南种殖议 974

江沛然 578

江上逢司空曙 723

江上怀古 747

江上送春得“妍”字试士

题 759

江上吟 708

江师古 534

江水清 627

江天暮雪 773

江夏别宋之悌 721

江夏城楼雨后眺月 756

江夏旧姓 983

江夏刘侯增建后堂记 953

江夏县田赋志序 830

江夏送客 696

江夏题王太守城南精舍

700

江夏寻梅 781

江行 772

江行次武昌县 723

江行赠雁 775

江涨 779

江州 135

姜溥 371

姜舜彝 574

姜一俊 624

将适郢城饮饯黄鹤楼作

700

将之匡庐过西塞 732

将之粤阻兵，泊舟登黄鹤楼

758

蒋昂 393

蒋时馨 371

蒋通甫 397

蒋义 629

蒋之奇 148 397

绛桃盛开——原移自浙中者
——诸友过赏，感而赋此 749

焦圻 383

焦志文 604

郊行即事 779

结绳 9

介象 667

戒生 670

金叠山 700

金华山 734

金绵祖 386

金牛勘灾 730

金沙晚渡 705

金声 511

金台 6

晋安王 139

靳江 12

荆港浦 773

荆泉洞 752

荆振日 30

敬德堂记 879

敬一箴 788

靖州 192

炯然亭记 913

纠权珙疏 807

九峰寺 733

九峰松 774

九宫诗 776

九郎仙者 670

九龙洞记 932

九丘 3 9

九曲亭记 869

九日登黄鹤楼 757

九日集雄楚楼怀旧 749

九日同田子宴武昌西山

726

九域志 146

九章·涉江、哀郢、思美人

678

救李邕下狱疏 796

卷云楼 771

觉来先生 668

郡大夫考绩序 825

浚河疏 804

K

康科 535

柯春早 608

柯日新 375

柯永亮 623

客邸独登黄[鹤]楼 763

空谷足音 6

孔端植 386

孔拱 632

孔克亮 674

孔克仁 588

孔儒 532

孔氏楚派源流序 838

孔文学 642

孔禧 383

岿玉崖 640

L

来山铺 746

乐凯 354

雷峰寺 731

- 雷山寺 728
 梨枣 25
 黎公弁 380
 黎康 394
 黎忠 554
 李必泰 30
 李必闻 373
 李不伐 380
 李沧 589
 李昌国 627
 李琚 571
 李偁 381
 李承芳 516
 李承箕 516
 李承勋 502
 李充 584
 李大同 586
 李德良 629
 李德庸 514
 李德智 631
 李东 391
 李东阳 143
 李扶 390
 李阜受 629
 李纲 127 636
 李公择求黄鹤楼诗因记旧所
 闻于冯当世者 709
 李广鹏 599
 李圭 552
 李桂 377
 李国经 630
 李夔 369
 李洪 374
 李琥 506
 李汇 596
 李玘 613
 李（圯）[玘] 604
 李甲 510
 李瑾中 587
 李靖 114
 李九龄 615
 李居仁 375
 李涓 382
 李憭 539
 李懋 553
 李鹏翔 569
 李谦 356
 李廌 626
 李锐 384
 李善 585
 李士文 372
 李侍义 601
 李寿朋 390
 李焘 144
 李太清忠谏疏稿序 838
 李田 556

- 李通 552
 李为臣 629
 李为义 574
 李溪 504
 李祥 570
 李翔 587
 李相 606
 李沂 538
 李宜 390
 李义山 513
 李应选 582
 李英 598
 李邕 585
 李鄘 525
 李永信 362
 李有朋 364
 李玉 566
 李遇夏 393
 李岳 398
 李云从 635
 李整 516
 李重 512
 李周华 610
 李焯然 372
 李珍 591
 李轸 566
 李仲高 624
 李宗仪 602
 濂溪 20
 梁廷凤 673
 梁焘 357
 廖道南 590
 廖汉 534
 廖均用 602
 廖俊 515
 廖日效 675
 廖清 515
 廖视 569
 廖恂 642
 廖正常 612
 廖正国 632
 廖正一 586
 廖忠 621
 列女 5
 林爱民 392
 林和生 367
 林金 397
 林可任父母祈雨有应序
 828
 林民止 380
 林增志 378
 临楚江赋 682
 刘秉铁 380
 刘本德 666
 刘炳文 600
 刘朝英 363

- 刘焯 30
 刘承汉 623
 刘池蕴 372
 刘从凤 614
 刘大夏 384
 刘旦寅邀游寒溪西山 730
 刘铎 599
 刘敷仁 523
 刘光祖 358
 刘汉宗 617
 刘宏 388
 刘绩 589
 刘景韶 559
 刘珂 545
 刘邈 667
 刘谅 573
 刘蒙之 641
 刘民悦 541
 刘谟 397
 刘清之 359
 刘庆 618
 刘日孚 600
 刘日襄 512
 刘日永 597
 刘任 570
 刘绍箕 616
 刘绍元 674
 刘师颖 561
 刘士昌 572
 刘士焜 372
 刘守绪 558
 刘寿峤 541
 刘体仁 364
 刘维 674
 刘文定 562
 刘信 384
 刘兴觐 611
 刘学周 580
 刘毅 110
 刘应命 563
 刘应元 518
 刘余庆 573
 刘允宽 544
 刘渊 589
 刘元靖 669
 刘之待 541
 刘秩 368
 刘仲廉 570
 柳皇序 619
 柳仲郢 356
 六府 22
 六事 359
 龙景亨 532
 龙眠 21
 龙泉寺 747
 龙卜花 391

龙翔山 729 750 777
 龙岩寺 730
 隆慧晓 356
 隆山寺 730
 卢凤来 576
 卢高 611
 卢锦心 675
 卢世铨 31
 卢文政 571
 卢中 572
 泸溪 193
 鲁鉴 567
 鲁可远 568
 陆贾庙 734
 陆九龄 391
 陆升 574
 陆逊 354
 论九品官人法疏 796
 罗纯 370
 罗公远 665
 罗广 388
 罗湖 776
 罗列 376
 罗练 672
 罗人龙 30
 罗英 575
 罗愿 359
 骆士廉 383

吕公祠记 905
 吕公洞 982
 吕调阳 503
 吕调音 605
 吕仙 981
 吕仙笛 982

M

马炳然 370
 马伏波祠 779
 马极 387
 马际昌 511
 马敬 379
 马练 576
 马廖 626
 马士鯤 385
 马世盛 386
 马剔 392
 马天锦 580
 马镛 673
 马云会 29
 马之猊 577
 毛钦明 600
 梅亭夕照 705
 蒙爱 616
 蒙上和 623
 孟道弘 582
 孟道一 618

孟道翼 610
 孟登 594
 孟仿 548
 孟光第 524
 孟侑 607
 孟祐 554
 孟珙 526
 孟嘉 389 584 639
 孟良范 368 392
 孟陋 512
 孟绍甲 631
 孟绍举 617
 孟绍庆 579
 孟廷柯 534
 孟习孔 563
 孟夏舟发鄂渚 757
 孟养浩 538
 孟养蒙 632
 孟应乾 595
 孟宗 146 612
 孟宗政 152 501
 梦游黄鹤楼奉答凤山院长
 713
 免彝陵驮夫碑记 861
 祢衡 636
 祢衡墓 761
 米家昆 595
 明伦堂遗教诸生 970

明睿 622
 牟斌 637
 牟盛 575
 谋野堂 741
 莫扬 362
 莫震 370

N

南、董 13
 南村来武昌登黄鹤楼，将
 归，赋《别鹤篇》见赠，余步
 韵为《留鹤篇》以答之 715
 南服 20
 南郭乘薰 704
 南湖 724 772
 南湖十一月二十四日夜月
 773
 南楼 776
 南阳风俗记 3
 尼山夫子 9
 倪斯蕙 377
 拟游白云洞 703
 年弟 15
 鸟衡 63
 聂炳 505
 聂炳中 587
 聂贤 359
 牛僧孺 356

O

瓯脱 71
 欧阳奕 382
 偶书寺壁 733

P

潘赤 609
 潘浚 354
 潘廷桂 615
 潘铤 611
 潘玉华 617
 蟠龙石 728
 泮池 112
 庞瑞 367
 庞一德 371
 陪宋中丞武昌夜饮 722
 裴天锡 18 29
 裴秀 11
 彭楚书 619
 彭冀衡 559
 彭祖寿 582
 皮日休 144
 皮贞女小传 978
 缥緗 15
 平山先生墓志铭 968
 菩萨泉 702
 蒲圻任侯修堤遗爱碑记 857
 蒲圻县记 889

普惠院 746
 普济寺 749

Q

期黄公石虹、尚白悔人集东山 732
 戚元礼 364
 綦祯 394
 漆永受 599
 前题 735
 前题和韵 743
 钱珊 574
 钱师仁 382
 钱昭 376
 侨置 16
 谯田龙 398
 钦赐御制《[叙]升平嘉宴诗》谢恩疏 795
 秦夔 359
 秦懋观 368
 秦荣祖 571
 秦羲 390
 青龙阁中秋咏月 782
 青山矾 773
 清明日登白云山 785
 请复义仓序 835
 丘今芳 597
 丘堂 587

秋日招友游文起阁 762
 秋晚与沈十七舍人 723
 秋夜黄鹤楼有怀 762
 区夏 9
 全楚文献·序 840

R

冉通 370
 饶承教 618
 饶敬承 559
 饶仁侃 577
 饶若蒙 581
 饶天爵 574
 饶天明 547
 饶昱 604
 任昉 142
 任弘善 617
 任弘震 596
 任家相 593
 任文定 593
 任文台 562
 任希夷 382
 任献夫 586
 任遇隆 608
 任忠 602
 任钟麟 398
 戎湖洞 727
 揉篮井说 972

儒学祭爵引 971
 如来 151
 汝南郡 16 66
 入楚寄徐子与金宪 752
 入西塞示南府同寮 693

S

三长 14
 三楚 4
 三坟 9
 三复 3
 散毛 192
 散花洲 727
 山中感兴 727
 杉坑寺 769
 上方寺 730
 上官仪 367
 上黄 192
 上浣 3
 上巳 6 21
 上张太岳书 816
 邵楚宾 603
 邵楚贤 634
 邵圭 571
 邵旻 359
 邵应豹 513
 邵元彬 594
 邵滋 603

- 舍利 151
- 涉江游三山记 907
- 深柳堂感赋 760
- 神口桥记 880
- 沈才全 604
- 沈良教 616
- 沈坦 390
- 沈庆之 355
- 沈韵 632
- 沈钟 637
- 圣诞会祭文 976
- 胜学禅师 666
- 盛治 388
- 盛子充 602
- 十二次 62
- 石柅陂记 881
- 石炬 675
- 石琳 4 28
- 石麟祯 619
- 石榴 603
- 石盘 372
- 石如琯 30
- 石头口水驿 768
- 石永年 30
- 石渊之 371
- 时务十事疏 798
- 守宪徐公大治去思碑记 860
- 书熊襄愍公传后 973
- 殊亭记 868
- 舒邦佐 374
- 舒柏 624
- 舒大猷 576
- 舒大治 675
- 舒弘绪 538
- 舒彦 518
- 束元善 387
- 寿昌军 150
- 司训 2
- 司马光 357
- 四凶 7
- 祀墓文 972
- 松风阁 711 760
- 松雪峰 778
- 宋时魁 608
- 宋维举 611
- 宋愿 514
- 宋忠 570
- 宋大宪 982
- 送大中丞石公巡抚云南序 842
- 送鄂州张别驾归襄阳覲省 723
- 送费子归武昌 708
- 送客知鄂州 775
- 送李二十九弟入蜀，余下沔

鄂 722

送莫令尹入覲序 833

送彭万里之江夏序 824

送人归江夏 722

送田端还鄂渚使府 739

送王九 709

送夏侯子之江夏 695

送元公归鄂渚 721

送张复之宰崇阳序 822

送周云卿之任通山 745

搜神记 108

苏靖 369

宿燕矶 729

孙承荣 360

孙登 152

孙铉 579

孙伦 370 616

孙溥 397

孙鹏举 510

孙谦 355

孙树蕙 623

T

台、宪 15

太平御览 108

太史慈 130

昙晦禅师 671

谭弘襟 617

谭天祐 375

潭州使院〔书情〕寄江夏

贺兰副端 723

汤和 192

唐国士 371

唐杰 630

唐钧 369

唐汝礼 392

唐时举 577

唐嗣昌 361

唐音 570

柁机 5 7

桃痕 983

桃花流水 778

桃花泉 778

桃溪道中即事简高星岩明府

731

陶大任 31

陶侃 354 983

陶侃墓 761

陶潜 638

陶岷 151

滕牧 354

题冯公墓冈报德祠 757

题署中深柳 785

题西塞山 772

田济 674

条陈惠政记 903

茗溪 15
 眺杯湖寻元次山宅 700
 铁井 983
 通城便民仓记 919
 通城开创县治记 880
 通城修社稷坛记 875
 通山儒学记 884
 同耻 7
 同邑侯江公式绳游大沙洲 734
 同诸友饮青龙阁 753
 童以明 572
 图经 15
 涂口 16 67
 退谷铭 790

W

窳尊石 107
 窳樽诗 696
 瓦注 6
 挽刘贞节 716 731
 晚泊汉阳渡 722
 晚次鄂州 738
 晚过黄龙寺 774
 晚眺松风阁 733
 秋晚与沈十七舍人 723
 万邦俊 368
 万祯 513
 汪必登 517

汪必东 591
 汪楚瑞 632
 汪淳 674
 汪存礼 587
 汪大本 359
 汪桂 596
 汪洪 506
 汪茂尝 674
 汪清 598
 汪廷材 617
 汪廷钺 577
 汪文明 516
 汪文盛 535
 汪玺 364
 汪显 379
 汪孝子 617
 汪循 603
 汪泳 374
 汪有功 378
 汪毓星 609
 汪泽民 623
 汪柱 623
 汪宗凯 591
 汪宗伊 536
 汪宗元 547
 王斌 374
 王畴 546
 王纯 615

- 王甸 574
 王鼎彦 565
 王敦 354 984
 王侯去思碑记 853
 王涣 578
 王竑 502
 王恺 543
 王克中 397
 王继先 395
 王家录 366
 王介 367
 王近光 592
 王良鉴 372
 王良谟 578
 王齐万 639
 王琪 389
 王庆 368
 王日新 624
 王如璧 592
 王十朋 160 389
 王士芳 623
 王士荐 623
 王世贞 163
 王守贞 604
 王台彦 549
 王廷策 579
 王廷试 676
 王霆之 359
 王武 362
 王维受 581
 王象奎 633
 王信 358 398
 王煜 30
 王琇 365
 王学曾 385
 王奕 553
 王俨 533
 王廙 672
 王隐 638
 王应斗 595
 王禹书 31
 王禴 556
 王允茂 514
 王庾 554
 王原 366
 王之纪 29
 王之杰 378
 王质 641
 王仲才 616
 王子溉 362
 王子乔 131
 王洙 390
 望 23
 望夫石 776
 望黄鹤楼 732 743 750
 望黄鹤山张君 699

- 望南湖 755
 望仙寺 745
 望鸚鵡洲贈祢衡 695
 为夫请戍边自赎表 797
 为嘉鱼改拨汉阳与姜按台书
 817
 为孟养浩请恤典疏 811
 为修长堤与刘抚台书 818
 韦睿 356
 韦玺 637
 委勘通山秋灾记 925
 卫均执 628
 卫士真 674
 魏辰 633
 魏瓘 357
 魏方振 597
 魏观 120 588
 魏珩如 580
 魏浚 604
 魏铭 572
 魏朴如 561
 魏溶 575
 魏裳 592
 魏说 549
 魏颂 575
 魏廷谟 524
 魏襄 606
 魏翼如 608
 魏诏 540
 魏正初 559
 魏正潜 606
 温迂约 356 381
 温泉洞 725
 文昌阁 719
 文经 30
 文起阁记 958
 问刑管见叙 828
 乌宪 372
 邬必信 607
 邬汝楫 597
 邬昶 633
 无相僧 669
 吴本固 376
 吴必大 514
 吴彻 628
 吴炳 378
 吴处厚 151
 吴楚材 593
 吴国典 603
 吴国伦 592
 吴弘济 377
 吴几复 569
 吴景祉 612
 吴俊 376
 吴騄 371
 吴立礼 673

- 吴懋 394
 吴权 675
 吴仁 395
 吴柔胜 358
 吴绅 391
 吴审理 552
 吴思温 510
 吴时乔 600
 吴仕 631
 吴宿 624
 吴廷举 533
 吴童 591
 吴伟 671
 吴輶 554
 吴希贤 392
 吴愈 358
 吴裕中 509
 吴元伯 583
 吴原正 556
 吴择仁 542
 吴贞 623
 吴志渊 604
 吴中复 531
 吴中贤 31
 吴仲举 569
 吴兹明 511
 吴子钿 606
 五典 9
 伍福 368
 仵绅 557
 仵瑜 507
 武昌 745
 武昌重建正衙记 894
 武昌分司园亭燕集 726
 武昌府重建“敬一亭”碑
 记 962
 武昌府新修江岸记 930
 武昌观音阁 729
 武昌官葬暴骨铭 791
 武昌黄茂才以仁过访索题其
 书室 727
 武昌寒溪寺记 942
 武昌郡覲省过西塞山——昔
 吴明卿先生题为“虎豹
 关”——赋此志喜 736
 武昌老人说笛歌 709
 武昌孟诞先来寒河见访
 702
 武昌守风 725
 武昌送乐丛望西山松树
 758
 武昌县建城记 897
 武昌县儒学学田碑记 922
 武昌燕矶夜宿同赵灏阳、习
 豫南 749
 武昌寓楼正对黄鹤山诸胜

759

武昌舟中 734

武昌阻风 775

武当宫 734

武楫 571

X

西河舟火 751

西良湖 778

西塞 774

西塞读书 753

西塞山 779

西塞山旅泊 735

西塞山泊渔家 739

西塞山前别子行作 701

西塞山下 740

西塞山下回舟作 739

西山 694 710

西山古树 777

西山积翠 728

西山记 892

西山秋意 744

西山晚眺同孟先服天友

780

西山寻韦谔 769

西阳 148

峡山泉 983

夏口 66

夏口归帆 704

夏口归帆十六韵 771

夏汭 66

夏时行 608

夏水 66

夏泰 506

夏夜黄鹄矶同友人作 715

仙枣亭 720 780

仙枣行 713

咸嘉社学记 914

咸五登三 20

洗宪祖 360

峴首山 2

襄阳耆旧传 3

向宸 522

向日丹 594

向日红 593

向珍 556

萧立业 367

萧思话 355

萧廷满 617

小雷山寺 733

晓登黄鹤楼 702

偕元相凤山书堂纳凉 727

谢承范 562

谢存儒 546

谢枋得 641

谢公祠 773

- 谢铎 396
 谢鹏举 503
 谢师启 537
 谢涛 389
 谢朓 148
 谢应璜 567
 辛浩 532
 新建“登高亭”记 956
 新建江夏县记 928
 新阳县 66
 新筑河北砂子岭长堤碑记
 939
 兴国城碑文 850
 星经 63
 星野 25
 形胜 33
 杏坛行李序 825
 雄楚楼 760
 熊焯 606
 熊楚望 630
 熊桴 528
 熊桴三异记 945
 熊开元 541
 熊怙 615
 熊清 574
 熊仕征 598
 熊廷弼 529
 熊友信 554
 熊则祯 540
 熊兆圭 618
 熊兆祥 548
 熊正南 583
 熊中丞疏稿序 837
 修嘉鱼县学宫暨仰高亭六十
 韵 707
 徐德恒 639
 徐封英 624
 徐纲 536
 徐国相 3 28
 徐俭 674
 徐骇儿 666
 徐麟 599
 徐鸣玉 581
 徐鸣珍 620
 徐日从 362
 徐善 362
 徐学颜 363
 徐祥 599
 徐养德 617
 徐应招 603
 徐镛 545
 徐钰 557
 徐钺 574
 许诚 364
 许立达 512
 许逊 128

- 续案 608
 宣大勋 378
 薛士杰 365
 薛仪老 374
 学田记 924
 学箴 787
 雪峰寺 731
 雪后偕叶慕庐登西山 735
 雪中投宿栖隐寺 730
 轩轻 6
 寻西山隐者不遇 698
 循蜚 20
- Y**
- 丫髻山 726
 燕矶 746
 燕遗民 629
 严秉端 635
 严方塘 634
 严静山 628
 严士真 628
 颜文选 362
 颜忠烈白石庙 770
 颜忠烈庙碑记 890
 演河图 9
 羊楼洞 725 773
 羊祜 141
 扬觶 188
 阳逻大士阁 736
 杨曷 544
 杨伯成 383
 杨方盛 396
 杨于昆 620
 杨国景 385
 杨侯去思碑记 855
 杨绘 389
 杨嘉桂 30
 杨砺 356
 杨孟凯 573
 杨名英 392
 杨启萃 673
 杨启敬 673
 杨庆 387
 杨士奇 637
 杨士元 392
 杨世华 395
 杨四智 610
 杨鏜 624
 杨泰 383
 杨廷和 609
 杨同芳 623
 杨燧 676
 杨秀 614
 杨祐 392
 杨元凯 623
 杨一欧 673

- 杨遇春 614
 杨兆杰 551
 杨仲举 637
 杨志忠 571
 杨宗凯 676
 杨宗震 620
 杨遵 393
 仰高亭记 885
 姚淳焘 15 29
 姚亨 591
 姚文明 392
 姚以德 370
 邑侯王公新修北河浮桥碑记
 858
 易道充 629
 易贞元 384
 (沂) [溯] 江至武昌 722
 怡亭铭 790
 倚相 20
 异泉铭 791
 叶相 615
 叶映榴 11 29
 叶子诚 367
 颺 92
 夜过灵泉寺 754
 夜泊(婆)山 73
 夜宿武昌留赠 724
 谒吴忠烈公墓 702
 移建江夏儒学记 912
 殷辂 615
 荫子 367
 银山寺 728
 尹谷 382
 尹珩 634
 尹民兴 550
 尹相 517
 应槩修程门立雪箴 789
 鹦鹉赋 680
 鹦鹉洲 737 738
 鹦鹉洲泛舟 779
 荧惑 63
 咏黄鹤楼 764
 咏橘皮画鹤遗事 736
 涌月台 701
 由汉口入郢 727
 由蕲州入大冶道士袱, 同杨接三登西塞矶头山最高处, 得龙窟、报恩二招提。旷如, 与如! 日夕忘返, 倚声记之 783
 游大崖 747
 游东山记 882
 游洪山 728
 游洪山赋 690
 游季勋 362
 游荆泉记 956
 游“龙头石洞”, 阅“真人

- 堂”纪事 731
 游士任 540
 游武昌寒溪寺 698
 游武昌江龙盘矶寺 726
 游西山 714
 游西山和朱启东韵 746
 有司 6
 又与鄂州柳中丞书 814
 俞彧 641
 俞绘 385
 庾楼 772
 庾信 109
 舆志 109
 虞 孙 390
 与鄂州朱寿昌书 815
 雨中渡鄂江 727
 禹贡 63
 禹贡地域图 11
 禹翳 15
 狱邸别孙何知 754
 寓楼望黄鹤山 780
 寓武昌 725
 寓武昌，过汉口群饮绍辛楼，四用前韵 784
 御赐“清、慎、勤”三字
 谢恩疏 794
 元丰九域志 146
 元结 107 638
 元真子钓台 778
 袁盛 609
 袁昊 596
 袁昭文 580
 源公 671
 于贤 394
 玕洞飞云 754
 余必迪 608
 余恭 603
 余光亨 620
 余开衡 600
 余顺明 522
 余文明 541
 余荫 579
 余玉节 521
 余自强 634
 余宗 566
 俞科 675
 与子由同游寒溪西山 710
 虞守愚 371
 与鄂州柳中丞书 814
 与林紫涛按台 820
 与亲友书 819
 与史郎中钦听黄鹤楼上吹笛
 775
 与吴子峻季谭磊石先生
 《忠烈事诗》以志挽 756
 雨中过道士泐 732

喻良臣 30
岳飞 145
岳武穆 983

Z

载笔 3
再过石洞 734
皂袍井记 868
赠方令尹一桂 769
赠秦娄江赴楚宪金二十韵

771

赠僧皎然 697
赠孝子叶相诗 776
赠熊子崇归武昌 728
翟表 536
翟居德 391
翟萱 393
臧石 387
曾栻 379
曾泰 553
詹谨之 523 639
詹体仁 358
詹文光 576
詹象泰 30
张存绅 380
张阐 358
张商英 358
张东周 547

张谔 358 569
张丰应 513
张皋谟 583
张拱璧 612
张拱翼 611
张乖厓祠堂记 871
张光 525
张光前 378
张果老 104
张辉祖 30
张瑾光 583
张良 130
张珮 376
张璞 534
张岐凤 617 621
张芑 21 29
张泉 394
张瑞 384
张山翁 636
张绍思 668
张圣典 30
张石虹任江夏广文，闻而作
歌 716
张时熙 581
张士达 612
张栻 143
张书 536
张舜民 357

- 张廷宾 583
 张希良（石虹） 1
 张谐 579
 张兴祖 366
 张文光 540
 张文忠 598
 张巡 204
 张燕翼 611
 张尧臣 393
 张掖 587
 张以谦 360
 张应举 398
 张应世 612
 张咏 381
 张于升 581
 张志和 642
 张子翼 365
 张钟灵 590
 张仲经 30
 张佐 557
 章嘉祜 377
 章缙 619
 招鹤谣 716
 招孟武昌 697
 昭勇祠记 872
 赵邦柱 539
 赵弼 384
 赵德贵 532
 赵方 358 374
 赵逢龙 390
 赵凤朝 388
 赵继忭 623
 赵葵 501
 赵琳 390
 赵令巖 152
 赵令晟 358
 赵梦弼 672
 赵全节 634
 赵鼎 395
 赵三台 388
 赵嗣芳 594
 赵廷俨 388
 赵诱 355
 赵之城 623
 贞节行 720
 真湖 777
 争桑 71
 征西大将军长史孟府君传
 965
 正气楼 750
 郑爱明 624
 郑邦相 568
 郑学陆 396
 郑元瑾 373
 郑允系 373
 郑之亮 578

- 钲 121
 治兵理财实效疏 809
 智印祖师 670
 中秋后一日游天台山 703
 中秋夜泊武昌 724
 钟湘 557
 钟应遂 30
 钟繇 133
 仲山甫 20
 舟回青龙堤小饮 730
 周昌 355
 周淳 564
 周琮 506
 周大烈 561
 周德兴 80
 周官 10
 周洪 376
 周侯清粮序 834
 周楫 558
 周家鼎 523
 周琳 613
 周楷 575
 周梅城隐九峰约过，未果
 732
 周启东 675
 周庆延 608
 周琼 583
 周士灿 568
 周士贵 620
 周事一 564
 周书 595
 周恕 554
 周鏊 394
 周唯一 608
 周文华 369
 周文卿 537
 周玺 616
 周璫 603
 周应龙 637
 周应中 385
 周有翼 565
 周于蕃 579
 周瑜 354
 周源 555
 周曰庠 367
 周政一 635
 周之一 619
 周紫芝 390
 周宗道 607
 周宗智 573
 朱伯骥 515
 朱恩 624
 朱公明 375
 朱恭敬 622
 朱华赳 622
 朱华圉 633

- 朱鉴 379
 朱凌霄 368
 朱璘 19 29
 朱留绪 24
 朱盛铎 619
 朱寿 373
 朱寿昌 357
 朱廷立 140 517
 朱统镠 363
 朱翁 666
 朱希光 601
 朱熹文公 23
 朱英眇 521
 朱友恭 107
 朱云 355
 朱蕴铤 622
 朱蕴钊 610
 朱瓚 365
 朱之楫 582
 朱之柱 582
 朱志先 674
 住锡 113
 驻节 2
 诸葛恪 149
 祝眉寿 607
 祝融 20
 砖城记 909
 追挽吴忠烈 758
 滋阳桥吊贺相公 786
 子胥 95
 子由次磁湖以诗迎之 741
 紫阳夫子 2
 自崇阳抵通山时华林盗警
 744
 自武昌过蕲城 751
 邹蓼 30
 邹逢吉 365
 邹应锡 567
 奏缴尚方疏 807
 卓朝用 674
 卓刀泉 733 737
 卓、鲁 13
 酌小瀛洲值雨 753

参考文献

明嘉靖《湖广图经志》 明 薛纲、吴廷举纂修 明嘉靖元年
(1522) 刻本

明万历《湖广总志》 明 徐学谟纂修 明万历十九年 (1591)
刻本

清康熙《湖广通志》 清 徐国相、丁思孔修，宫梦仁纂 清
康熙二十三年 (1684) 刻本

清雍正《湖广通志》 清 迈柱等监修、夏历恕等编纂 清雍
正十一年 (1733) 刻本

清嘉庆《湖北通志》 清 吴熊光等修、陈诗等纂 清嘉庆九
年 (1804) 刻本

《湖北通志志余》 清 洪良品撰 清光绪年间抄本

清宣统《湖北通志》 清 吕调元等修、张仲炘等纂 民国十
年 (1921) 刻本

《湖北旧闻录》 清 陈诗撰 清抄本

《章学诚遗书》 清 章学诚著 文物出版社 1985 年版

清康熙《武昌府志》 清 杜毓秀纂修 清康熙二十二年
(1683) 抄本

清康熙《江夏县志》 清 马仲骏纂修 清康熙二十二年
(1683) 抄本

清康熙《江夏县志》 清 刘朝英纂修 清康熙五十三年
(1714) 刻本

清康熙《江夏县志》 清 潘家鼎等纂修 清康熙六十一年
(1722) 刻本

清乾隆《江夏县志》 清 陈元京纂修 清乾隆五十八年
(1793) 刻本

《明万历汉阳府志校注》 武汉地方志办公室编 武汉出版社
2007

《武汉旧志序跋校注》 武汉地方志办公室编 武汉出版社
2009

《武汉史稿》 皮明庥主编 中国文史出版社 1992

《元和郡县志》 唐 李吉甫主编 浙江巡抚采进本

《太平寰宇记》 宋 乐史撰 金陵书局

《元丰九域志》 宋 王存等奉敕撰 中华书局 1984 年版

《輿地广记》 宋 欧阳忞撰 四川大学出版社 2003 年版

《方輿胜览》 宋 祝穆撰 两淮盐政采进本

《明一统志》 明 李贤等奉敕撰 内府藏本

《康熙大清一统志》

《嘉庆重修一统志》

《中国历史地图集》 谭其骧主编 中国地图出版社 1982 年版

《水经注校》 上海人民出版社 1984 年版

《史记》 中华书局 1959 年版

《汉书》 中华书局 1962 年版

《晋书》 中华书局 1974 年版

《资治通鉴》 中华书局 1956 年版

《宋史》 中华书局 1977 年版

《明史》 中华书局 1974 年版

《十三经注疏》 清 阮元校刻 中华书局 1980 年版

《诸子集成》 中华书局 1954 年版

《文选》 梁 萧统 中华书局 1977 年版

《全上古三代秦汉三国六朝文》 严可均 中华书局 1958 年版

《陶渊明集》 晋 陶潜 辽宁教育出版社 1997 年版

《全唐诗》 中华书局 1979 年版

《栾城集》 宋 苏辙

《东里集》 明 杨士奇

《空同集》 明 李梦阳 吉林出版集团 2005 年版

《李太白全集》 中华书局 1957 年版

《王朝阳全集》 上海中央书局 1935 年版

《韩吕黎全集》 上海中央书局 1935 年版

《楚辞韵读》 王力 上海古籍出版社 1980 年版

《万家辞赋》 张志江等 中国社会出版社 2004 年版

《全唐文》 董浩 中华书局 1983 年版

《先秦汉魏晋南北朝诗》 逯钦立辑校 中华书局 1983 年版

后 记

武汉市旧志整理工作正式启动后，依据从日本复印回国的海内孤本——明万历《汉阳府志》，首先于2007年12月出版了《明万历汉阳府志校注》。2009年3月，出版了《武汉旧志序跋校注》，它反映了存世的、明清以来的《湖广通志》（6部）、《武昌府志》（1部）、《汉阳府志》（4部）、《武昌县志》（4部）、《汉阳县志》（4部）、《黄陂县志》（3部）、民国《夏口县志》（1部）和一批山水志、寺观志、会馆志、书院志等共30余种以及部分史料体笔记的编修概貌。2010年6月，出版了汉口历史上唯一一部县志的校注整理本——《民国夏口县志校注》。这次出版的《清康熙湖广武昌府志校注》是旧志整理的第四个成果。

这次整理特邀江汉大学人文学院古代汉语专家晏鸿鸣教授担任主要的校注工作。晏教授长期从事古汉语教学和研究，并发表汉语研究论文50余篇，参编《聊斋志异对照注译析》（广西民族出版社1991年）、《中华文学宝库·唐宋散文精华》（朝华出版社1992年）、《二十五史精选》（中国书籍出版社1995年）、《白话二十四史》（中国华侨出版社1998年）等，出版专著《古代汉语论要》（武汉出版社2002年）。

这次整理工作得到武汉大学图书馆和湖北省图书馆的大力协助，特致谢忱。

旧志整理工作是一项艰巨繁复的工作，由于各方面条件的局限，特别是我们学识水平不高，难免存在一些错误和疏漏，尚祈读者指正。

编 者

2011年5月